目次 | はじめに | API について | xConfiguration | xコマンド | xStatus | コマンドの概要 | 付録



アプリケーション プログラミング インターフェイス (API) リファレンス ガイド

RoomOS 11.32 を実行する Cisco コラボレーションデバイス用

D15502.13
RoomOS 11.32
10-2025

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

目次の項目はすべてハイパーリンクになっており、このハイパーリンクをクリックすると、対応する章に移動することができます。メインセクション間を移動するには、上部のメニューバーにあるボタンを使用します。

このガイドは、主に開発者とインテグレータを対象にしています。RoomOS ソフトウェアを実行しているデバイスのアプリケーション プログラミング インターフェイス (API) について紹介し、パブリック API コマンド (xConfiguration、xCommand、xStatus) のリファレンス ガイドとして機能します。

このガイドは、Onプレミス サービス (CUCM、VCS) に登録されているデバイスと Webex クラウド サービスに登録されているデバイスの両方に適用されます。

対象となるデバイスは次のとおりです。

Board シリーズ
- Board (55/55S、70/70S、および 85S)
- Board Pro (55 および 75)
- Board Pro G2 (55 および 75)

Desk シリーズ
- Desk Mini
- Desk
- Desk Pro

Room シリーズ
- Codec EQ
  (Room Kit EQ および Room Kit EQ PTZ 4K バンドルを含む)
- Codec Plus
  (Room Kit Plus、Room Kit Plus PTZ 4K、
  Room Kit Plus Precision 60、Room Kit Plus PTZ-12 バンドルを含む)
- Codec Pro
  (Room Kit Pro、Room Kit Pro PTZ 4K、および
  Room Kit Pro Precision 60 バンドルを含む)
- Room Bar
- Room Bar Pro
- Room Kit EQX
- Room Kit
- Room Kit Mini
- Room 55
- Room 55 Dual
- Room 70
- Room 70 G2
- Room 70 Panorama
- Room Panorama

Table of contents

はじめに 3
- RoomOS ソフトウェアおよびユーザ ドキュメント 4
  - API リファレンスガイドについて 4
  - プロジェクトワークプレイス 4
  - Onプレミスの登録済みデバイス 4
  - Webex 登録済みデバイス 4
- 新機能 5
- 新機能 14
- 新機能 23

API について 31
- Cisco 利用規約 32
- API の基礎 33
  - API に接続する 33
  - SSH 33
  - HTTP/HTTPS 33
  - WebSocket 33
  - RS-232 / シリアル接続 34
  - イーサネットポート 35
  - ユーザーの役割 35
  - パスフレーズ 35
- API 出力 36
- コマンド回線を使用する 37
  - API コマンド 37
  - その他のコマンド 37
  - コマンド 回線 ショートカット 38
  - 検索 38
  - 値のタイプと形式 38
  - コマンド 39
  - 構成 39
  - ステータス 39
- 複数行のコマンド 40
- 同期 API 呼び出し 41
- イベント 42
- フィードバックメカニズム 43
  - フィードバック式 43
  - 端末接続 44
  - HTTP XMLAPI 認証 45
  - HTTP XMLAPI セッション認証 45
  - 状況と構成を取得する 46
  - コマンドと設定を送信する 46
- HTTP 経由でのデバイスからのフィードバック 47
  - フィードバックの登録 47
  - ターミナルモードから XML への変換 48
- すべきこととしてはいけないこと 49

xConfiguration コマンド 50
- xConfiguration コマンドの説明 51

xCommand コマンド 307
- xCommand コマンドの説明 308

xStatus コマンド 482
- xStatus コマンドの説明 483

コマンドの概要 653
- サポートされているコマンドの表 654

付録 737
- 切断原因タイプ 738
- Cisco Web サイトのユーザ ドキュメント 739

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

第 1 章

はじめに

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

RoomOS ソフトウェアおよびユーザ ドキュメント

RoomOS は、デバイスがOnプレミスサービス (CUCM、VCS) に登録されている場合、および Webex クラウド サービスに登録されている場合の両方で、Cisco コラボレーションデバイスを稼働させるオペレーティングシステムです。

ソフトウェアの入手方法およびユーザ ドキュメントの場所は、デバイスが登録されている場所によって異なります。この API リファレンス ガイドを含む一部のガイドは、登録に関係なく、すべてのデバイスに適用されます。

API リファレンスガイドについて

このガイドでは、デバイスのセットアップと動作を微調整するための強力なアプリケーション プログラミング インターフェイスを紹介します。このガイドは、公開 API コマンド (*xConfiguration*、*xCommand*、*xStatus*、通常は *xAPI コマンド*と呼ばれます) の完全なリファレンスガイドでもあります。

使用できるコマンドは、デバイスタイプ、バックエンド (Onプレミス、クラウド)、およびローカルユーザーのロール (管理者、監査、インテグレーター、ルーム管理、ユーザー)によって異なります。

コマンドの概要については、「サポートされているコマンドの表、ページ 654」を参照してください。

プロジェクトワークプレイス

ビデオ会議用のOffィスまたはミーティングルームを準備する際には、「Cisco Project Workplace」を参照してインスピレーションとガイド回線を見つけることをお勧めします。

►https://www.cisco.com/go/projectworkplace

Onプレミスの登録済みデバイス

ソフトウェア

Onプレミスの登録済みデバイス用の RoomOS の新しいバージョンは、年に 3-4 回リリースされます。ソフトウェアは Cisco のウェブサイトからダウンロードできます。

►https://software.cisco.com/download/home

リリースノート

デバイスをアップグレードする前に、ソフトウェアのリリースノート (RoomOS 11) をお読みください。

►https://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/desktop-collaboration-experience-dx600-series/products-release-notes-list.html

►https://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/spark-room-kit-series/products-release-notes-list.html

►https://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/spark-board/products-release-notes-list.html

その他のドキュメント

また、定期的に Cisco ウェブサイトにアクセスして、この API ガイドの最新版や、お使いのデバイスの他のドキュメントを確認することをお勧めします。

►https://www.cisco.com/go/board-docs (ボード シリーズ)

►https://www.cisco.com/go/desk-docs (Desk シリーズ)

►https://www.cisco.com/go/room-docs (会議室 シリーズ)

API ガイドを見つけるには、*[ドキュメント (Documentation)]* をクリックし、*[リファレンス (Reference)] > [コマンドリファレンス (コマンド References)]* を検索してください。

付録のナビゲーションガイド回線 を参照してください。

Webex 登録済みデバイス

ソフトウェア

Webex クラウド登録デバイス用の RoomOS の新しいバージョンは、毎月リリースされます。ソフトウェアは、組織の Control Hub でセットアップされたとおりに、デバイスに自動的にインストールされます。

リリースノート

最新バージョンの Webex 展開の新機能を確認するには、Webex ヘルプセンターの *RoomOS デバイスの新機能* を参照することをお勧めします。

►https://help.webex.com/article/6ger7db/

この記事では、以前にリリースされた機能の概要、およびまもなくリリースされる予定の機能の詳細についても記載しています。

その他のドキュメント

Webex クラウド サービスに登録されているデバイスの詳細については、Webex ヘルプ センターを参照してください:

►https://help.webex.com

Cisco ウェブサイトに、*「Onプレミスの登録デバイス」*について説明されている、Onプレミスおよび Webex 登録デバイスの両方に対応する API ガイドとその他のガイドがあります。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

新機能

この章では、新機能と改善点の概要を提供し、新規、変更、削除されたデバイス構成、コマンド、ステータスを一覧表示します。詳細については、 ソフトウェアのリリースノート (RoomOS 11) を参照することをおすすめします。

RoomOS 11.32 の新機能と改善

Cisco Room Vision PTZ カメラのサポート

(Room Kit EQ、Room Kit EQX、Room Bar Pro、Board Pro G2、Board Pro、Codec Pro)

Cisco Room Vision PTZ は、電動のパン、チルト、ズームと組み込み AI を組み合わせることで、プレゼンターとスピーカーを動的に追跡してフレーミングするように設計されたビデオオーバー IP 追跡カメラです。

このカメラはビデオ オーバー IP 接続機能を備えているため、イーサネット経由で簡単にセットアップおよび管理できます。Room Vision PTZ は Cisco ビデオ デバイスと連携し、クラウドで管理できると同時に、複数のカメラを使用するシナリオや高度な展開を可能にするスケーラビリティも提供します。

LLDP ネットワーク検出のサポート

RoomOS は長い間、CDP (Cisco Discovery Protocol) を使用したネットワーク検出をサポートしてきました。現在、ベンダー中立の IEEE 802.1AB 標準ネットワーク検出プロトコルである LLDP (Link Layer Discovery Protocol) のサポートを追加しています。LLDP はさまざまなネットワーク ベンダー間で動作し、相互運用性を向上させます。CDP は引き続きデフォルトの検出プロトコルですが、管理者は必要に応じてこれを LLDP に変更できます。

Room Navigator でのマクロと UI 拡張のサポート

ルーム外の Room Navigator パネルにマクロ、UI 拡張機能、Web ビューのサポートが追加されました。これにより、以前は室内でのみ利用可能だったのと同じプログラミング性と拡張性が得られます。UI 拡張はスケジューラモードでサポートされ、マクロはスケジューラモードと永続 Web App モードの両方でサポートされます。

スタンドアロンの Room Navigator でサポートされます。

匿名のログと診断

お客様は、シスコの改善と問題の発見、そしてプロアクティブな解決に役立てていただくために、匿名のログと診断情報をシスコに送信することを選択できます。Cisco Unified CM 管理対象デバイスおよび顧客管理対象デバイスで利用できます。

ユーザーは、初期ウィザードを実行した後、以下の設定で診断データの送信を変更できます。

xConfiguration Webex プライバシー AllowUsageDataLogging: True/False

Cisco Table Microphone Pro *(Bar Pro、Board Pro、Board Pro G2)* ではデフォルトで BeamAndExtMic が使用されます

これにより、オーディオ ミキサーは内部マイクと Table Microphone Pro マイクの両方から音声を拾うことができます。

Table Microphone Pro および/または Ceiling Microphone Pro が唯一の外部マイクとして接続され、デバイス上でセットアップ キャリブレーション ウィザードが実行されている場合にサポートされます。それ以外の場合は、デフォルトの自動設定が使用され、外部マイクのみが使用されます。

2 列にまたがるフレーム *(Room Kit Pro、Room Kit EQ、Room Kit EQX、Room Bar Pro、Board Pro G2)*

フレーム カメラ モードでは、参加者が前の 1 列ではなく 2 列で表示され、最大 8 人の参加者が個別のフレームに表示されます。

オリジナルのフレーム エクスペリエンスは、引き続き xAPI を通じて設定できます。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

RoomOS 11.32 での xConfiguration の変更

新しい構成

オーディオサウンドとアラート DTMF フィードバック *(すべての製品)*

Cameras SpeakerTrack Frames RowConfiguration *(Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Codec EQ、Codec Pro、Room 70 G2、Room Bar Pro、Room Kit EQX、Room Panorama、Room 70 Panorama)*

カメラの立体視モード *(Board Pro G2 55、Board Pro G2 75)*

ネットワーク [n] ファイアウォール 着信 H323 *(すべての製品)*

ネットワーク [n] ファイアウォール着信ペアリング *(すべての製品)*

ネットワーク [n] ファイアウォール 着信 SIP *(すべての製品)*

Network [n] FQDN *(すべての製品)*

ネットワークサービス検出プロトコル システム名 *(Board Pro 55、Board Pro 75、Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Codec EQ、Codec Pro、Desk Mini、Desk Pro、Room 70 G2、Room Bar、Room Bar Pro、Room Kit EQX、Room Panorama、Room 70 Panorama、Cisco Desk)*

ネットワーク サービス LLDP モード *(Board Pro 55、Board Pro 75、Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Codec EQ、Codec Pro、Desk Mini、Desk Pro、Room 70 G2、Room Bar、Room Bar Pro、Room Kit EQX、Room Panorama、Room 70 Panorama、Cisco Desk)*

NetworkServices SNMP SysNameSource *(すべての製品)*

Provisioning RoomType CameraLayout *(すべての製品)*

セキュリティ CSR キーサイズ *(すべての製品)*

SystemUnit SoftwareUpgrade TruncateCop *(すべての製品)*

UserInterface Accessibility ScreenReader Speed *(すべての製品)*

ユーザインターフェース ホームスクリーン 周辺機器 Web アプリ AllowInsecureHttps *(すべての製品)*

ビデオ入力コネクタ [n] 割り当てられたシリアル番号 *(Desk Mini、Board Pro 55、Board Pro 75、Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Desk Pro、Room Bar、Room Bar Pro、Cisco Desk、Codec EQ、Room Kit EQX、Codec Pro、Room 70 G2、Room Panorama、Room 70 Panorama)*

ビデオ入力コネクタ [n] 変換 *(Desk Mini、Cisco Desk)*

Webex DevicePersonalization TaskBasedSignIn *(Board、Board Pro 55、Board Pro 75、Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Desk Mini、Desk Pro、Cisco Desk)*

Webex 近接モード *(全製品)*

変更される構成

オーディオ入力イーサネット [1..6] イコライザー ID *(Room 70 Panorama、Room Panorama)*

旧: 整数 (1..8)

新: 1/2/3/4/5/6/7/8

オーディオ入力イーサネット [1..8] イコライザー ID *(Board Pro 55、Board Pro 75、Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Codec EQ、Codec Pro、Room 70 G2、Room Bar Pro、Room Kit EQX)*

旧: 整数 (1..8)

新: 1/2/3/4/5/6/7/8

Audio Input Microphone [1..3] Equalizer ID *(Codec EQ、Room Kit EQX)*

旧: 整数 (1..8)

新: 1/2/3/4/5/6/7/8

オーディオ入力マイク [1..8] イコライザー ID *(Codec Pro、Room 70 G2、Room 70 Panorama、Room Panorama)*

旧: 整数 (1..8)

新: 1/2/3/4/5/6/7/8

オーディオ入力マイク [1] モード *(Cisco Desk、Desk Mini、Desk Pro)*

旧: ユーザーロール : 管理者

新: ユーザロール: 管理者、インテグレーター

オーディオ出力イーサネット [1..4] イコライザー ID *(Codec Pro、Room 70 G2、Room 70 Panorama、Room Panorama)*

旧: 整数 (1..8)

新: 1/2/3/4/5/6/7/8

オーディオ出力ライン [1..6] イコライザー ID *(Codec Pro、Room 70 G2、Room 70 Panorama、Room Panorama)*

旧: 整数 (1..8)

新: 1/2/3/4/5/6/7/8

カメラ PresenterTrack コネクタ *(Codec EQ、Codec Pro、Room 70 G2、Room Kit EQX)*

旧: 整数 (1..6)

新: 整数 (1..10)

Conference DefaultCall Webex Rate *(Board Pro 55、Board Pro 75、Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Cisco Desk、Codec Pro、Desk Mini、Desk Pro、Room 70 G2、Room Bar、Room 70 Panorama、Room Panorama)*

旧: デフォルト: 0

新: デフォルト: 20000

Conference MaxReceiveCallRate *(Board Pro 55、Board Pro 75、Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Cisco Desk、Codec Pro、Desk Mini、Desk Pro、Room 70 G2、Room Bar)*

旧: デフォルト: 6000

新: デフォルト: 20000

会議の最大転送通話速度 *(Board、Board Pro 55、Board Pro 75、Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Cisco Desk、Codec Pro、Desk Mini、Desk Pro、Room 70 G2、Room Bar)*

旧: デフォルト: 6000

新: デフォルト: 20000

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

Files EndSessionAction *(すべての製品)*
- 旧: なし/SendEmailToCreator
- 新: なし/SendEmailToCreator/SendEmailToCurrentUser

Macros EvaluateTranspiled *(すべての製品)*
- 旧: デフォルト: True
- 新: デフォルト: False

Proximity Services ContentShare FromClients *(すべての製品)*
- 旧: Include_For_Extension: mtr
- タイムゾーン (すべての製品)
- 値空間に追加: America/Coyhaique

ユーザインターフェース アクセシビリティ スクリーンリーダー ジェスチャー *(全製品)*
- 旧: デフォルト: Off
- 新: デフォルト: On
- 旧: Off/On
- 新: Off/On

UserInterface LiveAnnotation Enabled *(Codec EQ、Codec Pro、Room 70 G2、Room Bar、Room Bar Pro、Room Kit EQX、Room 70 Panorama、Room Panorama)*
- 旧: デフォルト: False
- 新: デフォルト: True
- Video DefaultMainSource (Desk Mini)
- 古い: 1/2
- 新: 1/2/3

ビデオのデフォルトメインソース *(Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Room Bar Pro)*
- 旧: 1/2/3/4/5/6/7/8
- 新: 1/2/3/4/5/6

ビデオ デフォルトメインソース *(Cisco Desk)*
- 旧: 1/2/3
- 新: 1/2/3/4

ビデオ入力コネクタ [1] カメラコントロール カメラ ID *(Board Pro 55、Board Pro 75、Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Codec EQ、Codec Plus、Codec Pro、Desk Mini、Room 55 Dual、Room 70、Room 70 G2、Room Bar Pro、Room Kit EQX、Room 70 Panorama、Room Panorama)*
- 旧: 1/2/3/4/5/6/7
- 新: 1/10/2/3/4/5/6/7/8/9

ビデオ入力コネクタ [2] カメラコントロール カメラ ID *(Board Pro 55、Board Pro 75、Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Codec EQ、Codec Plus、Codec Pro、Room 55 Dual、Room 70、Room 70 G2、Room Bar Pro、Room Kit EQX、Room 70 Panorama、Room Panorama)*
- 旧: 1/2/3/4/5/6/7
- 新: 1/10/2/3/4/5/6/7/8/9

ビデオ入力コネクタ [3] カメラコントロール カメラ ID *(Board Pro 55、Board Pro 75、Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Codec EQ、Codec Plus、Codec Pro、Room 55 Dual、Room 70、Room 70 G2、Room Bar Pro、Room Kit EQX、Room 70 Panorama、Room Panorama)*
- 旧: 1/2/3/4/5/6/7
- 新: 1/10/2/3/4/5/6/7/8/9

ビデオ入力コネクタ [4] カメラコントロール カメラ ID *(Codec EQ、Codec Pro、Room 70 G2、Room Kit EQX、Room 70 Panorama、Room Panorama)*
- 旧: 1/2/3/4/5/6/7
- 新: 1/10/2/3/4/5/6/7/8/9

ビデオ入力コネクタ [5] カメラコントロール カメラ ID *(Codec Pro、Room 70 G2、Room 70 Panorama、Room Panorama)*
- 旧: 1/2/3/4/5/6/7
- 新: 1/10/2/3/4/5/6/7/8/9

ビデオ入力コネクタ [6] カメラコントロール カメラ ID *(Codec Pro、Room 70 G2、Room 70 Panorama、Room Panorama)*
- 旧: 1/2/3/4/5/6/7
- 新: 1/10/2/3/4/5/6/7/8/9

ビデオプレゼンテーション DefaultSource *(Desk Mini)*
- 古い: 1/2
- 新: 1/2/3

ビデオプレゼンテーション DefaultSource *(Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Room Bar Pro)*
- 旧: 1/2/3/4/5/6/7/8
- 新: 1/2/3/4/5/6

Video Presentation DefaultSource *(Cisco Desk)*
- 旧: 1/2/3
- 新: 1/2/3/4

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

RoomOS 11.32 での xCommand の変更

新しいコマンド

Audio LocalInput Ethernet Deregister *(Room Bar)*

Audio LocalInput Ethernet Register *(Room Bar)*

Bookings CheckIn *(すべての製品)*

カメラブート *(Board Pro 55、Board Pro 75、Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Codec EQ、Codec Plus、Codec Pro、Room 55 Dual、Room 70、Room 70 G2、Room Bar Pro、Room Kit EQX、Room Panorama、Room 70 Panorama)*

Camera FactoryReset *(Board Pro 55、Board Pro 75、Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Codec EQ、Codec Plus、Codec Pro、Room 55 Dual、Room 70、Room 70 G2、Room Bar Pro、Room Kit EQX、Room Panorama、Room 70 Panorama)*

カメラ スピーカートラック セット *(Desk Mini、Desk Pro、Cisco Desk)*

カメラ スピーカートラック セット *(Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Codec EQ、Codec Pro、Room 70 G2、Room Bar Pro、Room Kit EQX)*

Cameras SpeakerTrack Set *(Board、Board Pro 55、Board Pro 75、Codec Plus、Room 55、Room 55 Dual、Room 70、Room Bar、Room Kit、Room Panorama、Room 70 Panorama)*

Cameras SpeakerTrack Set *(Room Kit Mini)*

ネットワーク SMTP VerifyConfig *(Codec EQ、Codec Pro、Room Bar、Room Bar Pro、Room Kit EQX)*

Peripherals Security Certificates Services Delete *(すべての製品)*

Peripherals Security Certificates Services Enrollment SCEP Renewal Request *(すべての製品)*

Security Certificates Services Enrollment SCEP Renewal Request *(すべての製品)*

Webex Registration Airgap Prepare *(すべての製品)*

変更されたコマンド

Camera PositionReset *(Board Pro 55、Board Pro 75、Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Codec EQ、Codec Plus、Codec Pro、Room 55 Dual、Room 70、Room 70 G2、Room Bar Pro、Room Kit EQX、Room Panorama、Room 70 Panorama)*

旧: CameraId: 整数 (1..7)
新: CameraId: 整数 (1..10)

Camera PositionSet *(Codec Pro、Room 70 G2、Room Panorama、Room 70 Panorama)*

旧: CameraId: 整数 (1..7)
新: CameraId: 整数 (1..10)

Camera PositionSet *(Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Room Bar Pro)*

旧: CameraId: 整数 (1..7)
新: CameraId: 整数 (1..10)

カメラ位置セット *(Board Pro 55、Board Pro 75)*

旧: CameraId: 整数 (1..7)
新: CameraId: 整数 (1..10)

Camera PositionSet *(Codec EQ、Codec Plus、Room 55 Dual、Room 70、Room Kit EQX)*

旧: CameraId: 整数 (1..7)
新: CameraId: 整数 (1..10)

Camera Preset ActivateDefaultPosition *(Board Pro 55、Board Pro 75、Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Codec EQ、Codec Plus、Codec Pro、Room 55 Dual、Room 70、Room 70 G2、Room Bar Pro、Room Kit EQX、Room Panorama、Room 70 Panorama)*

旧: CameraId: 整数 (1..7)
新: CameraId: 整数 (1..10)

カメラプリセットリスト *(Board Pro 55、Board Pro 75、Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Codec EQ、Codec Plus、Codec Pro、Room 55 Dual、Room 70、Room 70 G2、Room Bar Pro、Room Kit EQX、Room Panorama、Room 70 Panorama)*

旧: CameraId: 整数 (1..7)
新: CameraId: 整数 (1..10)

カメラプリセットストア *(Board Pro 55、Board Pro 75、Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Codec EQ、Codec Plus、Codec Pro、Room 55 Dual、Room 70、Room 70 G2、Room Bar Pro、Room Kit EQX、Room Panorama、Room 70 Panorama)*

旧: CameraId: 整数 (1..7)
新: CameraId: 整数 (1..10)

Camera Ramp *(Board Pro 55、Board Pro 75、Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Codec EQ、Codec Plus、Codec Pro、Room 55 Dual、Room 70、Room 70 G2、Room Bar Pro、Room Kit EQX、Room Panorama、Room 70 Panorama)*

旧: CameraId: 整数 (1..7)
新: CameraId: 整数 (1..10)

カメラトリガーオートフォーカス *(Board Pro 55、Board Pro 75、Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Codec EQ、Codec Plus、Codec Pro、Room 55 Dual、Room 70、Room 70 G2、Room Bar Pro、Room Kit EQX、Room Panorama、Room 70 Panorama)*

旧: CameraId: 整数 (1..7)
新: CameraId: 整数 (1..10)

カメラトリガーホワイトバランス *(Board Pro 55、Board Pro 75、Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Codec EQ、Codec Plus、Codec Pro、Room 55 Dual、Room 70、Room 70 G2、Room Bar Pro、Room Kit EQX、Room Panorama、Room 70 Panorama)*

旧: CameraId: 整数 (1..7)
新: CameraId: 整数 (1..10)

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

カメラのオートフォーカス診断の開始 *(Codec Plus、Codec Pro、Room 55 Dual、Room 70、Room 70 G2、Room Panorama、Room 70 Panorama)*

旧: CameraId: 整数 (1..7)

新: CameraId: 整数 (1..10)

カメラのオートフォーカス診断停止 *(Codec Plus、Codec Pro、Room 55 Dual、Room 70、Room 70 G2、Room Panorama、Room 70 Panorama)*

旧: CameraId: 整数 (1..7)

新: CameraId: 整数 (1..10)

Cameras SpeakerTrack BackgroundMode Activate *(Board Pro 55、Board Pro 75、Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Codec EQ、Codec Plus、Codec Pro、Desk Mini、Desk Pro、Room 55、Room 55 Dual、Room 70、Room 70 G2、Room Bar、Room Bar Pro、Room Kit、Room Kit EQX、Room Kit Mini、Room Panorama、Room 70 Panorama、Cisco Desk)*

新: フレーミング: オフ/オン、デフォルト: オン

Cameras SpeakerTrack BackgroundMode Activate *(Board)*

新: フレーミング: オフ、デフォルト: オン

Cameras SpeakerTrack Whiteboard ActivatePosition *(Codec EQ、Codec Plus、Codec Pro、Room 55 Dual、Room 70、Room 70 G2、Room Bar Pro、Room Kit EQX、Room Panorama、Room 70 Panorama)*

旧: CameraId: 整数 (1..7)

新: CameraId: 整数 (1..10)

Cameras SpeakerTrack Whiteboard AlignPosition *(Codec Plus、Codec Pro)*

旧: CameraId: 整数 (1..7)

新: CameraId: 整数 (1..10)

カメラ スピーカートラック ホワイトボード ストアポジション *(Codec EQ、Codec Plus、Codec Pro、Room 55 Dual、Room 70、Room 70 G2、Room Bar Pro、Room Kit EQX、Room Panorama、Room 70 Panorama)*

旧: CameraId: 整数 (1..7)

新: CameraId: 整数 (1..10)

会議同時通訳言語を選択 *(Board、Board Pro 55、Board Pro 75、Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Codec EQ、Codec Plus、Desk Mini、Desk Pro、Room 55、Room 55 Dual、Room 70、Room Bar、Room Bar Pro、Room Kit、Room Kit EQX、Room Kit Mini、Cisco Desk)*

新: StreamId: 整数 (1..1)

Conference SimultaneousInterpretation SelectLanguage *(Codec Pro、Room 70 G2、Room Panorama、Room 70 Panorama)*

新: StreamId: 整数 (1..4)

ネットワーク Wi-Fi 構成 *(Board Pro 55、Board Pro 75、Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Codec EQ、Codec Pro、Desk Mini、Desk Pro、Room 70 G2、Room Bar、Room Bar Pro、Room Kit EQX、Room Panorama、Room 70 Panorama、Cisco Desk)*

新: 接続: 自動/後で、デフォルト: 自動

Network Wifi Configure *(Board、Codec Plus、Room 55、Room 55 Dual、Room 70、Room Kit、Room Kit Mini)*

新: 接続: 自動、デフォルト: 自動

ネットワーク Wifi 削除 *(全製品)*

新: ProfileID: 文字列 *(0、255)*

古い: SSID: 必須: 必須パラメータ

新: SSID: 必須: オプションのパラメータ

周辺機器接続 *(すべての製品)*

旧: タイプ: AudioAmplifier/AudioMicrophone/Byod/Camera/ControlSystem/Other/PersistentWebApp/RoomScheduler/TouchPanel

新: タイプ: AudioAmplifier/AudioMicrophone/Byod/Camera/ControlSystem/Other/PersistentWebApp/RoomScheduler/TableExtender/TouchPanel/VideoSwitcher

プレゼンテーション開始 *(デスクミニ)*

旧: ConnectorId: IntegerArray (1..2) [4 の倍数]

新: ConnectorId: IntegerArray (1..3) [multiple 4]

旧: PresentationSource: 1/2/AirPlay/DirectShare/Miracast/None/Remote/WebView [multiple 4]

新: PresentationSource: 1/2/3/AirPlay/Miracast/None/Remote/WebView [multiple 4]

プレゼンテーション開始 *(Codec Pro、Room 70 G2、Room Panorama、Room 70 Panorama)*

旧: プレゼンテーションソース: 1/10/2/3/4/5/6/7/8/9/AirPlay/DirectShare/Miracast/なし/リモート/WebView [4 の倍数]

新: プレゼンテーションソース: 1/10/2/3/4/5/6/7/8/9/AirPlay/Miracast/なし/リモート/WebView [4 の倍数]

プレゼンテーション開始 *(Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Room Bar Pro)*

旧: プレゼンテーションソース: 1/2/3/4/5/6/7/8/AirPlay/DirectShare/Miracast/なし/リモート/WebView [4 の倍数]

新: PresentationSource: 1/2/3/4/5/6/AirPlay/Miracast/None/Remote/WebView [multiple 4]

プレゼンテーション開始 (ボード、ルームキット、ルームキットミニ)

旧: PresentationSource: 1/2/AirPlay/DirectShare/Miracast/None/Remote/WebView [multiple 4]

新: PresentationSource: 1/2/AirPlay/Miracast/None/Remote/WebView [multiple 4]

プレゼンテーションの開始 *(Board Pro 55、Board Pro 75、Desk Pro、Room Bar)*

旧: PresentationSource: 1/2/3/4/5/AirPlay/DirectShare/Miracast/None/Remote/WebView [multiple 4]

新: プレゼンテーションソース: 1/2/3/4/5/AirPlay/Miracast/なし/リモート/WebView [4 の倍数]

Presentation Start *(Codec EQ、Room Kit EQX)*

旧: プレゼンテーションソース: 1/2/3/4/5/6/7/8/9/AirPlay/DirectShare/Miracast/なし/リモート/WebView [4 の倍数]

新: プレゼンテーションソース: 1/2/3/4/5/6/7/8/9/AirPlay/Miracast/なし/リモート/WebView [4 の倍数]

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

プレゼンテーション開始 *(Cisco Desk)*
- 旧: ConnectorId: IntegerArray (1..3) [multiple 4]
- 新: ConnectorId: IntegerArray (1..4) [multiple 4]
- 旧: プレゼンテーションソース: 1/2/3/AirPlay/DirectShare/Miracast/なし/リモート/WebView [複数 4]
- 新: PresentationSource: 1/2/3/4/AirPlay/Miracast/None/Remote/WebView [multiple 4]

プレゼンテーション開始 *(Codec Plus、Room 55、Room 55 Dual、Room 70)*
- 旧: プレゼンテーションソース: 1/2/3/AirPlay/DirectShare/Miracast/なし/リモート/WebView [複数 4]
- 新: PresentationSource: 1/2/3/AirPlay/Miracast/None/Remote/WebView [multiple 4]

Presentation Stop *(Desk Mini)*
- 旧: プレゼンテーションソース: 1/2/AirPlay/DirectShare/Miracast/なし/リモート/WebView
- 新: PresentationSource: 1/2/3/AirPlay/Miracast/None/Remote/WebView

プレゼンテーション停止 *(Codec Pro、Room 70 G2、Room Panorama、Room 70 Panorama)*
- プレゼンテーションソース: 値空間から削除: DirectShare

Presentation Stop *(Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Room Bar Pro)*
- 旧: プレゼンテーションソース: 1/2/3/4/5/6/7/8/AirPlay/DirectShare/Miracast/なし/リモート/WebView
- 新: PresentationSource: 1/2/3/4/5/6/AirPlay/Miracast/None/Remote/WebView

Presentation Stop *(Board、Room Kit、Room Kit Mini)*
- 旧: プレゼンテーションソース: 1/2/AirPlay/DirectShare/Miracast/なし/リモート/WebView
- 新: PresentationSource: 1/2/AirPlay/Miracast/None/Remote/WebView

プレゼンテーションストップ *(Board Pro 55、Board Pro 75、Desk Pro、Room Bar)*
- 旧: プレゼンテーションソース: 1/2/3/4/5/AirPlay/DirectShare/Miracast/なし/リモート/WebView
- 新: PresentationSource: 1/2/3/4/5/AirPlay/Miracast/None/Remote/WebView

Presentation Stop *(Codec EQ、Room Kit EQX)*
- プレゼンテーションソース: 値空間から削除: DirectShare

プレゼンテーション停止 (シスコデスク)
- 旧: プレゼンテーションソース: 1/2/3/AirPlay/DirectShare/Miracast/なし/リモート/WebView
- 新: PresentationSource: 1/2/3/4/AirPlay/Miracast/None/Remote/WebView

プレゼンテーション停止 *(Codec Plus、Room 55、Room 55 Dual、Room 70)*
- 旧: プレゼンテーションソース: 1/2/3/AirPlay/DirectShare/Miracast/なし/リモート/WebView
- 新: PresentationSource: 1/2/3/AirPlay/Miracast/None/Remote/WebView

Security Certificates CSR Create *(すべての製品)*
- 旧: CommonName: 文字列 (0, 128)
- 新: CommonName: 文字列 (0, 64)
- 旧: CountryName: 文字列 (0, 128)
- 新: CountryName: String (0, 2)
- 新: LocalityName: String (0, 64)
- 旧: OrganizationName: 文字列 (0, 128)
- 新: OrganizationName: String (0, 64)
- 新: OrganizationalUnit: StringArray (0, 64) [multiple 5]
- 新: SanDns: StringArray (0, 64) [multiple 5]
- 新: SanEmail: StringArray (0, 64) [multiple 5]
- 新: SanIp: StringArray (0, 64) [multiple 5]
- 新: SanUri: StringArray (0, 64) [multiple 5]
- 新: StateOrProvinceName: 文字列 (0, 64)

ユーザインターフェース拡張パネルがクリックされました *(すべての製品)*
- 新: オリジン: Controller/OSD/RoomScheduler
- 新: PeripheralId: 文字列 (0, 128)

ユーザインターフェース拡張パネルを閉じる *(すべての製品)*
- 新: PeripheralId: 文字列 (0, 128)
- 新: ターゲット: Controller/OSD/RoomScheduler

ユーザインターフェース拡張パネルを開く *(すべての製品)*
- 新: PeripheralId: 文字列 (0, 128)
- 新: ターゲット: Controller/OSD/RoomScheduler

ユーザインターフェース拡張パネルの更新 *(全製品)*
- 旧: 場所: CallControls/ControlPanel/Hidden/HomeScreen/HomeScreenAndCallControls
- 新: 場所: CallControls/ControlPanel/Hidden/HomeScreen/HomeScreenAndCallControls/RoomScheduler
- 新: モード: Fullscreen/Modal

ユーザインターフェース拡張 WebApp 保存 *(すべての製品)*
- 旧: 場所: CallControls/ControlPanel/Hidden/HomeScreen/HomeScreenAndCallControls
- 新: 場所: CallControls/ControlPanel/Hidden/HomeScreen/HomeScreenAndCallControls/RoomScheduler
- 新: モード: Fullscreen/Modal

ユーザインターフェース拡張ウィジェットアクション *(全製品)*
- 新: オリジン: Controller/OSD/RoomScheduler
- 新: PeripheralId: 文字列 (0, 128)

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

ユーザインターフェースメッセージアラートクリア *(全製品)*
新: PeripheralId: 文字列 (0, 128)
新: ターゲット: Controller/OSD/RoomScheduler

UserInterface Message Alert Display *(すべての製品)*
新: PeripheralId: 文字列 (0, 128)
新: ターゲット: Controller/OSD/RoomScheduler

ユーザインターフェースメッセージプロンプトクリア *(全製品)*
新: PeripheralId: 文字列 (0, 128)
新: ターゲット: Controller/OSD/RoomScheduler

ユーザインターフェースメッセージプロンプト表示 *(全製品)*
新: PeripheralId: 文字列 (0, 128)
新: ターゲット: Controller/OSD/RoomScheduler

UserInterface Message Prompt Response *(すべての製品)*
新: オリジン: Controller/OSD/RoomScheduler
新: PeripheralId: 文字列 (0, 128)

UserInterface Message Rating Clear *(すべての製品)*
新: PeripheralId: 文字列 (0, 128)
新: ターゲット: Controller/OSD/RoomScheduler

UserInterface Message Rating Display *(すべての製品)*
新: PeripheralId: 文字列 (0, 128)
新: ターゲット: Controller/OSD/RoomScheduler

ユーザインターフェースメッセージ評価応答 *(全製品)*
新: オリジン: Controller/OSD/RoomScheduler
新: PeripheralId: 文字列 (0, 128)

ユーザインターフェース メッセージ テキスト入力 クリア *(すべての製品)*
新: PeripheralId: 文字列 (0, 128)
新: ターゲット: Controller/OSD/RoomScheduler

ユーザインターフェース メッセージ テキスト入力 ディスプレイ *(全製品)*
新: PeripheralId: 文字列 (0, 128)
新: ターゲット: Controller/OSD/RoomScheduler

ユーザインターフェース メッセージ テキスト入力 応答 *(すべての製品)*
新: 原点: Controller/OSD/RoomScheduler
新: PeripheralId: 文字列 (0, 128)

ユーザインターフェース メッセージ テキストライン クリア *(全製品)*
新: PeripheralId: 文字列 (0, 128)
新: ターゲット: Controller/OSD/RoomScheduler

UserInterface Message TextLine Display *(すべての製品)*
新: PeripheralId: 文字列 (0, 128)
新: ターゲット: Controller/OSD/RoomScheduler

UserInterface Presentation ExternalSource Add *(Desk Mini)*
旧: ConnectorId: 整数 (1..2)
新: ConnectorId: 整数 (1..3)

UserInterface Presentation ExternalSource Add *(Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Room Bar Pro)*
旧: ConnectorId: 整数 (1..5)
新: ConnectorId: 整数 (1..6)

UserInterface Presentation ExternalSource Add *(Codec EQ、Room Kit EQX)*
旧: ConnectorId: 整数 (1..6)
新: ConnectorId: 整数 (1..9)

ユーザインターフェイスのプレゼンテーション外部ソースの追加 *(Cisco Desk)*
旧: ConnectorId: 整数 (1..3)
新: ConnectorId: 整数 (1..4)

ユーザインターフェース WebView クリア *(全製品)*
旧: ターゲット: Controller/OSD/PersistentWebApp
新: ターゲット: Controller/OSD/PersistentWebApp/RoomScheduler

UserInterface WebView Display *(すべての製品)*
旧: ターゲット: Controller/OSD/PersistentWebApp
新: ターゲット: Controller/OSD/PersistentWebApp/RoomScheduler

ビデオ入力 SetMainVideoSource *(Desk Mini)*
旧: ConnectorId: IntegerArray (1..2) [4 の倍数]
新: ConnectorId: IntegerArray (1..3) [4 の倍数]
旧: SourceId: 1/2/AirPlay/Miracast [multiple 4]
新: SourceId: 1/2/3/AirPlay/Miracast [multiple 4]

Video Input SetMainVideoSource *(Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Room Bar Pro)*
旧: ConnectorId: IntegerArray (1..8) [4 の倍数]
新: ConnectorId: IntegerArray (1..6) [4 の倍数]

ビデオ入力 SetMainVideoSource *(Cisco Desk)*
旧: ConnectorId: IntegerArray (1..3) [multiple 4]
新: ConnectorId: IntegerArray (1..4) [4 の倍数]
旧: SourceId: 1/2/3/AirPlay/Miracast [multiple 4]
新: SourceId: 1/2/3/4/AirPlay/Miracast [4 の倍数]

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

ビデオマトリックス割り当て *(Room Bar Pro)*
- 旧: 出力: 整数 (1..2)
- 新: 出力: 整数 (1..3)
- 旧: SourceId: IntegerArray (1..5) [4 の倍数]
- 新: SourceId: IntegerArray (1..6) [4 の倍数]

ビデオマトリックス割り当て (コーデック EQ)
- 旧: SourceId: IntegerArray (1..6) [multiple 4]

新: SourceId: IntegerArray *(1..9)* [4 の倍数]
- 旧: 出力: 整数 (1..2)
- 新: 出力: 整数 (1..3)
- 旧: SourceId: IntegerArray (1..6) [multiple 4]
- 新: SourceId: IntegerArray (1..9) [4 の倍数]

ビデオマトリックスリセット *(Room Bar Pro、Room Kit EQX)*
- 旧: 出力: 整数 (1..2)
- 新: 出力: 整数 (1..3)

ビデオマトリックススワップ *(Room Bar Pro、Room Kit EQX)*
- 旧: 出力 A: 整数 (1..2)
- 新: 出力 A: 整数 (1..3)
- 旧: 出力 B: 整数 (1..2)
- 新: OutputB: 整数 (1..3)

ビデオマトリックスの割り当て解除 *(Room Bar Pro)*
- 旧: 出力: 整数 (1..2)
- 新: 出力: 整数 (1..3)
- 旧: SourceId: 整数 (1..5)
- 新: SourceId: 整数 (1..6)

ビデオマトリックスの割り当て解除 (コーデック EQ)
- 旧: SourceId: 整数 (1..6)
- 新: SourceId: 整数 (1..9)

Video Matrix Unassign *(Room Kit EQX)*
- 旧: 出力: 整数 (1..2)
- 新: 出力: 整数 (1..3)
- 旧: SourceId: 整数 (1..6)
- 新: SourceId: 整数 (1..9)

Webex 登録開始 *(全製品)*
- 旧: AccountLinkMode: デフォルト: <指定なし>
- 新: AccountLinkMode: デフォルト: 同期
- 旧: AccountLinkMode: 非同期
- 新: AccountLinkMode: 非同期/同期

削除されたコマンド

Webex ホットデスク セットのサポート *(Board、Board Pro 55、Board Pro 75、Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Desk Mini、Desk Pro、Cisco Desk)*

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

RoomOS 11.32 での xStatus の変更

新しいステータス

Audio Input RemoteInput [n] Role *(すべての製品)*

Audio Output RemoteOutput [n] Role *(Board Pro 55、Board Pro 75、Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Codec EQ、Codec Pro、Desk Pro、Room 70 G2、Room Bar Pro、Room Kit EQX、Room Panorama、Room 70 Panorama)*

Cameras SpeakerTrack Behavior Active *(すべての製品)*

Network [n] Wifi ProfileID *(すべての製品)*

Webex Airgap ステータス *(全製品)*

Webex ドメイン *(すべての製品)*

Webex サービスの暫定ステータス *(Board Pro 55、Board Pro 75、Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Codec EQ、Codec Pro、Desk Mini、Desk Pro、Room 70 G2、Room Bar、Room Bar Pro、Room Kit EQX、Room Panorama、Room 70 Panorama、Cisco Desk)*

変更されたステータス

Diagnostics Message [n] Type *(すべての製品)*

値スペースに追加されました: AnalogMicrophonesProfileCheck/CUCMRemoteExtensionMobility/CertificateRenewedRebootRequired/CviCrossTenantStatus/DigitalMicrophonesAmountCheck/DuplicateAddressDetection/EthernetMicrophonesProfileCheck/HotdeskCompanionModeExclusivity/HotdeskNonJoinableMeetingConfiguration/LockedDeviceHotdeskWorkspaceMode/MacrosDuktapeIsDeprecated/MacrosTranspilationIsDeprecated/MicrosoftTeamsRunningLocal/MicrosoftTeamsRunningRemote/PeripheralTypeNoLongerSupported/USBCameraConnection/UsbMicrophonesProfileCheck

値空間から削除されました: AnalogMicrophonesCountCheck/EthernetMicrophonesCountCheck/UsbMicrophonesCountCheck

MediaChannels Call [n] Channel [n] Audio ChannelRole *(すべての製品)*

旧: メイン/プレゼンテーション

新: メイン/プレゼンテーション/同時通訳

MediaChannels Call [n] Channel [n] Video ChannelRole *(すべての製品)*

旧: メイン/プレゼンテーション

新: メイン/プレゼンテーション/同時通訳

MediaChannels RemoteAccess [n] Channel [n] Audio ChannelRole *(すべての製品)*

旧: メイン/プレゼンテーション

新: メイン/プレゼンテーション/同時通訳

MediaChannels RemoteAccess [n] Channel [n] Video ChannelRole *(すべての製品)*

旧: メイン/プレゼンテーション

新: メイン/プレゼンテーション/同時通訳

Peripherals ConnectedDevice [n] タイプ *(すべての製品)*

値スペースに追加: TableExtender/VideoSwitcher

削除されたステータス

MicrosoftTeams ソフトウェア バージョン CompanyPortalApp *(Board Pro 55、Board Pro 75、Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Codec EQ、Codec Pro、Desk Pro、Room 70 G2、Room Bar、Room Bar Pro、Room Kit EQX)*

MicrosoftTeams ソフトウェア バージョンコード CompanyPortalApp *(Board Pro 55、Board Pro 75、Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Codec EQ、Codec Pro、Desk Pro、Room 70 G2、Room Bar、Room Bar Pro、Room Kit EQX)*

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

新機能

この章では、新機能と改善点の概要を提供し、新規、変更、削除されたデバイス構成、コマンド、ステータスを一覧表示します。
詳細については、 ソフトウェアのリリースノート (RoomOS 11) を参照することをおすすめします。

RoomOS 11.27 の新機能と改善

初回ログイン時にパスフレーズの変更が必要

EU 規制に準拠し、デバイスのセキュリティを強化するために、デバイス管理者アカウントにパスフレーズが必要になりました。

セットアップ プロセス中に、セットアップ ウィザードでパスフレーズを設定するように求められます。Web インターフェイスまたはその他の方法 (SSH など) を介してデバイスにアクセスする場合は、アクセスを許可する前にパスフレーズを設定する必要があります。一度設定すると、ログインに使用できるようになります。

この変更は、工場出荷時の状態にリセットされた状態のビデオ デバイス (新しいデバイスまたは手動でリセットされたデバイス) に影響します。

注: 自動化またはスクリプト ルーチンを使用してデバイスを構成する場合、SSH アクセスにはパスフレーズの更新が必要になります。これらのスクリプトは、セットアップ中にこの新しい要件を処理するように適応させる必要があります。

ディレクタが仮想レンズを使用

この機能は、AI 搭載の仮想レンズを使用してカメラの到達範囲を自動的に拡張し、長いテーブルの端に座っている人などのアクティブなスピーカーをより高品質で撮影できるようにします。設定やユーザの操作は必要ありません。

AirPlay FairPlay サポート

AirPlay 実装では FairPlay がサポートされるようになり、通話外のシナリオでも DRM で保護されたコンテンツを再生できるようになりました。保護されたコンテンツは、通話中の共有シナリオでは再生できません。

Netflix など、AirPlay をサポートしていないアプリケーションは動作しないことに注意してください。

スクリーンリーダーのサポート

スクリーン リーダーは、視覚障害のあるユーザの使いやすさを向上させるために設計されたアクセシビリティ機能です。有効にすると、特定のジェスチャを使用してデバイスのタッチ スクリーンを操作できるようになります。

スクリーン リーダーを有効にするには、3 本の指で画面をタップし、下にスワイプします。スクリーン リーダーは、UI 上で現在選択されている項目の読み上げを開始します。

スクリーン リーダーを無効にするには、同じジェスチャを繰り返します。つまり、3 本の指でタップして下にスワイプします。

共有トレイの Web ビュー

Web ビューを起動すると、共有トレイに表示されるようになり、ユーザは通話中や会議中に簡単に選択して共有できるようになりました。

また、インテグレーターが次のコマンドを使用してプログラムで Web ビューを共有できるように、API にサポートを追加しました。

`xCommand プレゼンテーションの開始 プレゼンテーションソース: WebView WebViewId: ID`

`WebViewId` は以下によって提供されます。

`xStatus ユーザインターフェース WebView`

マルチカメラセットアップのホワイトバランス調整 *(Room Kit EQ、Room Kit EQX、Codec Pro)*

複数のカメラを設定すると、異なるカメラ間でビデオの色に違いが見られる場合があります。新しいキャリブレーションにより、セットアップに適したホワイト バランス プロファイルを設定できます。

これは、クロスビューまたは拡張リーチが設定されているすべてのマルチカメラ ルームで利用できます。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

RoomOS 11.27 での xConfiguration の変更

新しい構成

Audio Output ARC [1] Delay Direct DelayMs *(Codec Pro、Room 70 G2、Room Panorama、Room 70 Panorama)*

Audio Output Ethernet [1..2] Gain *(Room Kit EQX)*

Audio Output Ethernet [1..4] Delay Direct DelayMs *(Codec Pro, Room 70 G2, Room Panorama, Room 70 Panorama)*

Audio Output Ethernet [1..4] Equalizer ID *(Codec Pro、Room 70 G2、Room Panorama、Room 70 Panorama)*

オーディオ出力イーサネット [1..4] イコライザーモード *(Codec Pro、Room 70 G2、Room Panorama、Room 70 Panorama)*

オーディオ出力イーサネット [1..4] レベル *(Codec Pro、Room 70 G2、Room Panorama、Room 70 Panorama)*

Audio Output Ethernet [1] Gain *(Codec EQ)*

Audio Output HDMI [1..3] Delay Direct DelayMs *(Codec Pro)*

Audio Output Line [1..6] Delay Direct DelayMs *(Codec Pro、Room 70 G2、Room Panorama、Room 70 Panorama)*

Audio Output USBInterface [1] Delay DelayMs *(Codec EQ、Codec Pro、Room 70 G2、Room Kit EQX、Room Panorama、Room 70 Panorama)*

Audio Output USBInterface [1] Delay Direct DelayMs *(Codec Pro、Room 70 G2、Room Panorama、Room 70 Panorama)*

Audio Output USBInterface [1] Delay Mode *(Codec EQ, Codec Pro, Room 70 G2, Room Kit EQX, Room Panorama, Room 70 Panorama)*

Cameras SpeakerTrack MultiCamera CalibrationMonitoring *(Codec EQ, Codec Pro, Room 70 G2, Room Kit EQX, Room Panorama, Room 70 Panorama)*

カメラの立体視モード *(Room Bar Pro)*

MicrosoftTeams ログレベル *(Board Pro 55、Board Pro 75、Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Codec EQ、Codec Pro、Desk Pro、Room 70 G2、Room Bar、Room Bar Pro、Room Kit EQX)*

MicrosoftTeams ログモード *(Board Pro 55、Board Pro 75、Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Codec EQ、Codec Pro、Desk Pro、Room 70 G2、Room Bar、Room Bar Pro、Room Kit EQX)*

MicrosoftTeams Zoom CrossLaunch *(Board Pro 55、Board Pro 75、Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Codec EQ、Codec Pro、Desk Pro、Room 70 G2、Room Bar、Room Bar Pro、Room Kit EQX)*

周辺機器プロファイル アナログマイク *(Codec EQ、Codec Plus、Room Bar Pro、Room Kit EQX、Room Bar、Board Pro 55、Board Pro 75、Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Room Kit)*

周辺機器 プロファイル マイク イーサネット *(Board Pro 55、Board Pro 75、Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Codec EQ、Codec Pro、Room 70 G2、Room Bar Pro、Room Kit EQX、Room Panorama、Room 70 Panorama、Room Bar)*

周辺機器プロファイルマイク USB インターフェース *(Codec EQ、Codec Plus、Codec Pro、Room 70 G2、Room Kit EQX、Room Panorama、Room 70 Panorama)*

周辺機器プロファイルマイク USB マイク *(Board Pro 55、Board Pro 75、Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Desk Mini、Desk Pro、Room 55、Room Bar、Room Bar Pro、Room Kit、Room Kit Mini、Cisco Desk)*

スタンバイレベルのネットワーク遅延 *(Room Bar)*

スタンバイレベルネットワークモード *(Room Bar)*

UserInterface Accessibility ScreenReader Default Mode *(すべての製品)*

UserInterface Accessibility ScreenReader Gesture *(すべての製品)*

Video Input Connector [4] InputSourceType *(Board Pro 55、Board Pro 75、Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Desk Pro、Room Bar、Room Bar Pro)*

Video Input Connector [4] Name *(Board Pro 55、Board Pro 75、Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Desk Pro、Room Bar、Room Bar Pro)*

Video Input Connector [4] PresentationSelection *(Desk Pro、Room Bar、Room Bar Pro、Board Pro 55、Board Pro 75、Board Pro G2 55、Board Pro G2 75)*

Video Input Connector [4] Quality *(Desk Pro、Room Bar、Room Bar Pro、Board Pro 55、Board Pro 75、Board Pro G2 55、Board Pro G2 75)*

Video Input Connector [4] Transform *(Board Pro 55、Board Pro 75、Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Desk Pro、Room Bar、Room Bar Pro)*

Video Input Connector [4] Visibility *(Board Pro 55、Board Pro 75、Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Desk Pro、Room Bar、Room Bar Pro)*

Video Input Connector [5] InputSourceType *(Board Pro 55、Board Pro 75、Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Desk Pro、Room Bar、Room Bar Pro、Codec EQ、Room Kit EQX)*

Video Input Connector [5] Name *(Board Pro 55、Board Pro 75、Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Desk Pro、Room Bar、Room Bar Pro、Codec EQ、Room Kit EQX)*

Video Input Connector [5] PresentationSelection *(Desk Pro、Room Bar、Room Bar Pro、Board Pro 55 、Board Pro 75、Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Codec EQ、Room Kit EQX)*

Video Input Connector [5] Quality *(Desk Pro、Room Bar、Room Bar Pro、Board Pro 55、Board Pro 75、Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Codec EQ、Room Kit EQX)*

Video Input Connector [5] Transform *(Board Pro 55、Board Pro 75、Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Codec EQ、Desk Pro、Room Bar、Room Bar Pro、Room Kit EQX)*

Video Input Connector [5] Visibility *(Board Pro 55、Board Pro 75、Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Desk Pro、Room Bar、Room Bar Pro、Codec EQ、Room Kit EQX)*

Video Input Connector [6] InputSourceType *(Codec EQ、Room Kit EQX)*

Video Input Connector [6] Name *(Codec EQ、Room Kit EQX)*

Video Input Connector [6] PresentationSelection *(Codec EQ、Room Kit EQX)*

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

Video Input Connector [6] Quality *(Codec EQ、Room Kit EQX)*

Video Input Connector [6] Transform *(Codec EQ、Room Kit EQX)*

Video Input Connector [6] Visibility *(Codec EQ、Room Kit EQX)*

Video Input Connector [7] InputSourceType *(Codec Pro、Room 70 G2、Room Panorama、Room 70 Panorama)*

Video Input Connector [7] Name *(Codec Pro、Room 70 G2、Room Panorama、Room 70 Panorama)*

Video Input Connector [7] PresentationSelection *(Codec Pro、Room 70 G2、Room Panorama、Room 70 Panorama)*

Video Input Connector [7] Quality *(Codec Pro、Room 70 G2、Room Panorama、Room 70 Panorama)*

Video Input Connector [7] Transform *(Codec Pro、Room 70 G2、Room Panorama、Room 70 Panorama)*

Video Input Connector [7] Visibility *(Codec Pro、Room 70 G2、Room Panorama、Room 70 Panorama)*

Video Output Connector [1..2] HDCPForce1_4 *(Room Bar、Room Kit)*

Video Output Connector [1..3] HDCPForce1_4 *(Codec EQ、Room Bar Pro、Room Kit EQX)*

ビデオ出力コネクタ [1] HDCPForce1_4 *(Board、Board Pro 55、Board Pro 75、Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Desk Mini、Desk Pro、Room 55、Room Kit Mini、Cisco Desk、Codec Plus、Codec Pro、Room 55 Dual、Room 70、Room 70 G2、Room Panorama、Room 70 Panorama)*

ビデオ出力コネクタ [2] HDCPForce1_4 *(Codec Pro、Room 70 G2、Room Panorama、Room 70 Panorama、Board Pro 55、Board Pro 75、Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Codec Plus、Desk Pro、Room 55、Room 55 Dual、Room 70)*

Video Output Connector [3] HDCPForce1_4 *(Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Codec Pro、Room 70 G2、Room Panorama、Room 70 Panorama)*

Video Output TouchInput Mode *(Codec EQ、Codec Pro、Room Bar、Room Bar Pro、Room Kit EQX、Room Kit Mini)*

Webex Meetings AIAssistantAutoSummarize Available *(すべての製品)*

Webex プライバシー AllowUsageDataLogging *(Board、Codec Plus、Desk Mini、Room 55、Room 55 Dual、Room 70、Room Kit、Room Kit Mini、Cisco Desk)*

Webex ProvisionalActivationService *(Desk Mini、Cisco Desk)*

変更される構成

オーディオイーサネット暗号化 *(Codec Pro、Room 70 G2、Room Panorama、Room 70 Panorama)*

旧: ユーザーロール : 管理者

新: ユーザーロール : 管理者、インテグレータ

オーディオ イーサネット SAPDiscovery アドレス *(Codec Pro、Room 70 G2、Room Panorama、Room 70 Panorama)*

旧: ユーザロール: 管理者

新: ユーザーロール : 管理者、インテグレータ

オーディオ イーサネット SAPDiscovery モード *(Codec Pro、Room 70 G2、Room Panorama、Room 70 Panorama)*

旧: ユーザロール: 管理者

新: ユーザロール: 管理者、インテグレーター

Audio Input USBC [1] VideoAssociation MuteOnInactiveVideo *(Board Pro 55、Board Pro 75、Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Codec EQ、Desk Mini、Desk Pro、Room Bar、Room Bar Pro、Room Kit EQX、Cisco Desk)*

旧: ユーザロール: 管理者

新: ユーザロール: 管理者、インテグレーター

オーディオ マイク ファンタム電源 *(Board Pro 55、Board Pro 75、Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Codec EQ、Codec Plus、Room 55、Room 55 Dual、Room 70、Room Bar Pro、Room Kit、Room Kit EQX)*

旧: ユーザロール: 管理者

新: ユーザーロール : 管理者、インテグレータ

Audio Panning Mode *(Board Pro 55、Board Pro 75、Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Desk Mini、Cisco Desk、Room 55、Room 55 Dual、Room 70、Room 70 G2、Room Bar、Room Bar Pro、Room Panorama、Room 70 Panorama、Board 55S、Board 70S、Board 85S、Desk Pro)*

旧: ユーザロール: 管理者

新: ユーザーロール: 管理者、インテグレータ

Audio USB VolumeControl Capture Mode *(すべての製品)*

旧: ユーザーロール: 管理者、ユーザー

新:ユーザーロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

Audio USB VolumeControl Capture Value *(すべての製品)*

旧: ユーザーロール: 管理者、ユーザー

新:ユーザーロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

Audio USB VolumeControl Playback Mode *(すべての製品)*

旧: ユーザーロール: 管理者、ユーザー

新:ユーザーロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

Audio USB VolumeControl Playback Value *(すべての製品)*

旧: ユーザーロール: 管理者、ユーザー

新:ユーザーロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

Video DefaultMainSource *(Codec Pro、Room 70 G2、Room Panorama、Room 70 Panorama)*

旧: 1/2/3/4/5/6/7

新: 1/10/2/3/4/5/6/7/8/9

ビデオのデフォルトメインソース *(Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Room Bar Pro)*

旧: 1/2/3/4/5

新: 1/2/3/4/5/6/7/8

ビデオのデフォルトメインソース (コーデック EQ、ルームキット EQX)

旧: 1/2/3/4/5/6

新: 1/2/3/4/5/6/7/8/9

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

Video Presentation DefaultSource *(Codec Pro、Room 70 G2、Room Panorama、Room 70 Panorama)*

旧: 1/2/3/4/5/6/7

新: 1/10/2/3/4/5/6/7/8/9

ビデオプレゼンテーション DefaultSource *(Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Room Bar Pro)*

旧: 1/2/3/4/5

新: 1/2/3/4/5/6/7/8

ビデオプレゼンテーションのデフォルトソース *(コーデック EQ、ルームキット EQX)*

旧: 1/2/3/4/5/6

新: 1/2/3/4/5/6/7/8/9

WebEngine の機能 GpuRasterization *(全製品)*

旧: デフォルト: Off

新: デフォルト: Auto

旧: Off/On

新: 自動/オフ/オン

削除された構成

アプリ ホワイトボード URL *(すべての製品)*

Audio Input Ethernet [1] Equalizer ID *(Room Bar)*

Audio Input Ethernet [1] Equalizer Mode *(Room Bar)*

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

RoomOS 11.27 での xCommand の変更

新しいコマンド

オーディオイコライザーリスト *(Board Pro 55、Board Pro 75、Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Room Bar Pro)*

オーディオイコライザーのアップデート *(Board Pro 55、Board Pro 75、Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Room Bar Pro)*

予約チェックアウト（全商品）

Cameras Stereoscopic Mute *(Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Room Bar Pro)*

Cameras Stereoscopic Unmute *(Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Room Bar Pro)*

UserInterface Accessibility ScreenReader Set *(すべての製品)*

Webex Registration Airgap Prepare *(すべての製品)*

変更されたコマンド

Audio Diagnostics Advanced Run *(すべての製品)*

旧: ユーザーロール: 管理者、ユーザー

新:ユーザーロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

Audio Diagnostics AecReverb Reset *(すべての製品)*

旧: ユーザーロール: 管理者、ユーザー

新:ユーザーロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

Audio Diagnostics AecReverb Run *(すべての製品)*

旧: ユーザーロール: 管理者、ユーザー

新:ユーザーロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

Audio Diagnostics MeasureDelay *(すべての製品)*

旧: ユーザーロール: 管理者、ユーザー

新:ユーザーロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

オーディオイコライザーリスト *(Codec EQ、Codec Pro、Room 70 G2、Room Kit EQX、Room Panorama、Room 70 Panorama)*

旧: ユーザロール: 管理者

新: ユーザロール: 管理者、インテグレーター

オーディオイコライザーのアップデート *(Codec Pro、Room 70 G2、Room Panorama、Room 70 Panorama、Codec EQ、Room Kit EQX)*

旧: ユーザロール: 管理者

新: ユーザーロール: 管理者、インテグレータ

オーディオ ローカル入力の追加 *(Codec Pro、Room 70 G2、Room Panorama、Room 70 Panorama、Codec EQ、Room Kit EQX)*

旧: ユーザロール: 管理者

新: ユーザーロール: 管理者、インテグレータ

オーディオ ローカル入力追加コネクタ *(Codec Pro、Room 70 G2、Room Panorama、Room 70 Panorama、Codec EQ、Room Kit EQX)*

旧: ユーザロール: 管理者

新: ユーザーロール: 管理者、インテグレータ

オーディオ LocalInput の削除 *(Codec Pro、Room 70 G2、Room Panorama、Room 70 Panorama、Codec EQ、Room Kit EQX)*

旧: ユーザロール: 管理者

新: ユーザーロール: 管理者、インテグレータ

オーディオ LocalInput RemoveConnector *(Codec Pro、Room 70 G2、Room Panorama、Room 70 Panorama、Codec EQ、Room Kit EQX)*

旧: ユーザロール: 管理者

新: ユーザーロール: 管理者、インテグレータ

オーディオ LocalInput アップデート *(Codec Pro、Room 70 G2、Room Panorama、Room 70 Panorama、Codec EQ、Room Kit EQX)*

旧: ユーザロール: 管理者

新: ユーザーロール: 管理者、インテグレータ

オーディオ ローカル出力の追加 *(Codec Pro、Room 70 G2、Room Panorama、Room 70 Panorama、Codec EQ、Room Kit EQX)*

旧: ユーザロール: 管理者

新: ユーザーロール: 管理者、インテグレータ

オーディオ ローカル出力追加コネクタ *(Codec Pro、Room 70 G2、Room Panorama、Room 70 Panorama、Codec EQ、Room Kit EQX)*

旧: ユーザロール: 管理者

新: ユーザーロール: 管理者、インテグレータ

オーディオ ローカル出力 接続入力 *(Codec Pro、Room 70 G2、Room Panorama、Room 70 Panorama、Codec EQ、Room Kit EQX)*

旧: ユーザロール: 管理者

新: ユーザーロール: 管理者、インテグレータ

オーディオ ローカル出力切断入力 *(Codec Pro、Room 70 G2、Room Panorama、Room 70 Panorama、Codec EQ、Room Kit EQX)*

旧: ユーザロール: 管理者

新: ユーザーロール: 管理者、インテグレータ

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

オーディオ ローカル出力の削除 *(Codec Pro、Room 70 G2、Room Panorama、Room 70 Panorama、Codec EQ、Room Kit EQX)*

旧: ユーザロール: 管理者

新: ユーザーロール: 管理者、インテグレータ

オーディオ ローカル出力の削除コネクタ *(Codec Pro、Room 70 G2、Room Panorama、Room 70 Panorama、Codec EQ、Room Kit EQX)*

新: ユーザーロール: 管理者

新: ユーザーロール: 管理者、インテグレータ

オーディオ ローカル出力のアップデート *(Codec Pro、Room 70 G2、Room Panorama、Room 70 Panorama、Codec EQ、Room Kit EQX)*

新: ユーザーロール: 管理者

新: ユーザーロール: 管理者、インテグレータ

Audio LocalOutput UpdateInputGain *(Codec Pro、Desk Pro、Room 70 G2、Room Panorama、Room 70 Panorama、Codec EQ、Room Kit EQX)*

旧: ユーザロール: 管理者

新: ユーザロール: 管理者、インテグレーター

Audio RemoteOutput ConnectInput *(Codec Pro、Room 70 G2、Room Panorama、Room 70 Panorama、Codec EQ、Room Kit EQX)*

旧: ユーザロール: 管理者

新: ユーザロール: 管理者、インテグレーター

オーディオリモート出力切断入力 *(Codec Pro、Room 70 G2、Room Panorama、Room 70 Panorama、Codec EQ、Room Kit EQX)*

旧: ユーザロール: 管理者

新: ユーザーロール: 管理者、インテグレータ

オーディオリモート出力更新入力ゲイン *(Codec Pro、Desk Pro、Room 70 G2、Room Panorama、Room 70 Panorama、Codec EQ、Room Kit EQX)*

旧: ユーザロール: 管理者

新: ユーザーロール: 管理者、インテグレータ

オーディオセットアップクリア *(Codec Pro、Room 70 G2、Room Panorama、Room 70 Panorama、Codec EQ、Room Kit EQX)*

旧: ユーザロール: 管理者

新: ユーザーロール: 管理者、インテグレータ

オーディオ設定のリセット *(Codec Pro、Room 70 G2、Room Panorama、Room 70 Panorama、Codec EQ、Room Kit EQX)*

旧: ユーザロール: 管理者

新: ユーザーロール: 管理者、インテグレータ

オーディオの音量を下げる (全製品)

旧: ユーザーロール: 管理者、ユーザー

新:ユーザーロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

Audio Volume Increase *(すべての製品)*

旧: ユーザーロール: 管理者、ユーザー

新:ユーザーロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

Audio Volume Mute *(すべての製品)*

旧: ユーザーロール: 管理者、ユーザー

新:ユーザーロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

Audio Volume Set *(すべての製品)*

旧: ユーザーロール: 管理者、ユーザー

新:ユーザーロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

オーディオボリュームをデフォルトに設定 (全製品)

旧: ユーザーロール: 管理者、ユーザー

新:ユーザーロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

Audio Volume ToggleMute *(すべての製品)*

旧: ユーザーロール: 管理者、ユーザー

新:ユーザーロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

オーディオ音量のミュート解除 (全製品)

旧: ユーザーロール: 管理者、ユーザー

新:ユーザーロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

Audio VuMeter Start *(すべての製品)*

旧: ユーザーロール: 管理者、ユーザー

新:ユーザーロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

オーディオ VuMeter ストップ (全製品)

旧: ユーザーロール: 管理者、ユーザー

新:ユーザーロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

Audio VuMeter StopAll *(すべての製品)*

旧: ユーザーロール: 管理者、ユーザー

新:ユーザーロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

MicrosoftTeams ソフトウェアアップグレード *(Board Pro 55、Board Pro 75、Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Codec EQ、Codec Pro、Desk Pro、Room 70 G2、Room Bar、Room Bar Pro、Room Kit EQX)*

新: 強制: False/True、デフォルト: False

ネットワーク Wi-Fi 設定 *(すべての製品)*

旧: タイプ: Open/Wpa2-eap-fast/Wpa2-eap-peap/Wpa2-eap-tls/Wpa2-eap-ttls/Wpa2-psk

新: タイプ: Enterprise-Fast/Enterprise-Peap/Enterprise-Tls/Enterprise-Ttls/None/Open/Personal/Wpa2-eap-fast/Wpa2-eap-peap/Wpa2-eap-tls/Wpa2-eap-ttls/Wpa2-psk

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

Peripherals Security Certificates Services Enrollment SCEP Request *(すべての製品)*
- 旧: ChallengePassword: 文字列 (0, 128)
- 新: ChallengePassword: 文字列 (0, 256)
- 旧: CommonName: 文字列 (0, 128)
- 新: CommonName: 文字列 (0, 64)
- 旧: CountryName: 文字列 (0, 128)
- 新: CountryName: String (0, 2)
- 旧: ID: String (1, 100)
- 新: ID: String (12, 17)
- 新: LocalityName: String (0, 64)
- 旧: OrganizationName: 文字列 (0, 128)
- 新: OrganizationName: String (0, 64)
- 新: OrganizationalUnit: StringArray (0, 64) [multiple 5]
- 旧: SanDns: StringArray (0, 128) [5 の倍数]
- 新: SanDns: StringArray (0, 64) [multiple 5]
- 旧: SanEmail: StringArray (0, 128) [5 の倍数]
- 新: SanEmail: StringArray (0, 64) [5 の倍数]
- 旧: SanIp: StringArray (0, 128) [5 の倍数]
- 新: SanIp: StringArray (0, 64) [5 の倍数]
- 旧: SanUri: StringArray (0, 128) [5 の倍数]
- 新: SanUri: StringArray (0, 64) [5 の倍数]
- 新: StateOrProvinceName: 文字列 (0, 64)
- 旧: URL: 文字列 (0、128)
- 新: URL: 文字列 (0, 256)

プレゼンテーション開始 *(Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Room Bar Pro)*
- 旧: PresentationSource: 1/2/3/4/5/AirPlay/DirectShare/Miracast/None/Remote/WebView [multiple 4]
- 新: プレゼンテーションソース: 1/2/3/4/5/6/7/8/AirPlay/DirectShare/Miracast/なし/リモート/WebView [4 個以上]

Presentation Stop *(Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Room Bar Pro)*
- プレゼンテーションソース: 値スペースに追加: 6/7/8

Security Certificates Services Enrollment SCEP Profiles Set *(すべての製品)*
- 旧: URL: 文字列 (0、128)
- 新: URL: 文字列 (0, 256)

Security Certificates Services Enrollment SCEP Request *(すべての製品)*
- 旧: ChallengePassword: 文字列 (0, 128)
- 新: ChallengePassword: 文字列 (0, 256)
- 旧: CommonName: 文字列 (0, 128)
- 新: CommonName: 文字列 (0, 64)
- 旧: CountryName: 文字列 (0, 128)
- 新: CountryName: 文字列 (0, 2)
- 旧: LocalityName: 文字列 (0, 128)
- 新: LocalityName: String (0, 64)
- 旧: OrganizationName: 文字列 (0, 128)
- 新: OrganizationName: String (0, 64)
- 旧: OrganizationalUnit: StringArray (0, 128) [5 の倍数]
- 新: OrganizationalUnit: StringArray (0, 64) [5 の倍数]
- 旧: SanDns: StringArray (0, 128) [5 の倍数]
- 新: SanDns: StringArray (0, 64) [multiple 5]
- 旧: SanEmail: StringArray (0, 128) [5 の倍数]
- 新: SanEmail: StringArray (0, 64) [5 の倍数]
- 旧: SanIp: StringArray (0, 128) [5 の倍数]
- 新: SanIp: StringArray (0, 64) [5 の倍数]
- 旧: SanUri: StringArray (0, 128) [5 の倍数]
- 新: SanUri: StringArray (0, 64) [multiple 5]
- 旧: StateOrProvinceName: 文字列 (0, 128)
- 新: StateOrProvinceName: 文字列 (0, 64)
- 旧: URL: 文字列 (0、128)
- 新: URL: 文字列 (0, 256)

Security Certificates Webex Show *(すべての製品)*
- 旧: フィルター: Cisco/非 Cisco/TLS-proxy
- 新: フィルター: AirGap/Cisco/Non-Cisco/TLS-proxy

Video CEC Input KeyClick *(Room Bar、Room Bar Pro)*
- 旧: ConnectorId: 整数 (1..5)
- 新: ConnectorId: 整数 (2..3)

Video CEC Input KeyClick *(Board Pro 55、Board Pro 75、Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Desk Pro)*
- 旧: ConnectorId: 整数 (2..5)
- 新: ConnectorId: 整数 (2..3)

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

Video Input SetMainVideoSource *(Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Room Bar Pro)*

旧: ConnectorId: IntegerArray (1..5) [4 の倍数]

新: ConnectorId: IntegerArray (1..8) [multiple 4]

旧: SourceId: 1/2/3/4/5/AirPlay/Miracast [multiple 4]

新: SourceId: 1/2/3/4/5/6/7/8/AirPlay/Miracast [multiple 4]

Video Input SetMainVideoSource *(Codec EQ、Room Kit EQX)*

旧: ConnectorId: IntegerArray (1..6) [multiple 4]

新: ConnectorId: IntegerArray (1..9) [multiple 4]

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

RoomOS 11.27 での xStatus の変更

新しいステータス

Audio Output Connectors USBInterface [n] DelayMs *(すべての製品)*

立体視キャリブレーション済みカメラ *(Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Room Bar Pro)*

カメラの立体視ステータス *(Board Pro G2 55、Board Pro G2 75、Room Bar Pro)*

MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Type *(すべての製品)*

Network [n] FQDN *(すべての製品)*

ユーザーインタフェースのアクセシビリティスクリーンリーダーモード *(すべての製品)*

ビデオレイアウト LocalStageUpdatesDisallowed *(すべての製品)*

Video Layout SelfOnStage *(すべての製品)*

ビデオレイアウト StageControlledByHost *(すべての製品)*

変更されたステータス

Diagnostics Message [n] Type *(すべての製品)*

値スペースに追加されました: AnalogMicrophonesCountCheck/CameraPlacementCalibration/DeepSleepSettingOverriddenByToggle/EthernetMicrophonesCountCheck/MicrosoftTeamsPairing/MicrosoftTeamsSignedInRemote/PeripheralSoftwareUnknownType/RoomSchedulerModeConfiguration/StereoscopicNotCalibrated/UsbMicrophonesCountCheck

Network [n] Wifi ScanResult [n] AuthType *(すべての製品)*

旧: 文字列

新: Enterprise/Open/Personal/Unsupported

ネットワーク [n] Wi-Fi タイプ (全製品)

旧: 文字列

新: Open/Wpa2-eap-fast/Wpa2-eap-peap/Wpa2-eap-tls/Wpa2-eap-ttls/Wpa2-psk

RemoteAccess Session [n] State *(すべての製品)*

旧: AccessRequested/Active/PreAccessRequested

新: AccessRequested/Active/Ended/PreAccessRequested/Rejected

ビデオ入力 MainVideoSource *(すべての製品)*

旧: 1/2/3/4/5/6/7/Composed

新: 1/10/2/3/4/5/6/7/8/9/Composed

削除されたステータス

MediaChannels VideoInputEthernet [n] Channel [n] Encryption *(すべての製品)*

MediaChannels VideoInputEthernet [n] Channel [n] EncryptionType *(すべての製品)*

MediaChannels VideoInputEthernet [n] Channel [n] Netstat Bytes *(すべての製品)*

MediaChannels VideoInputEthernet [n] Channel [n] Netstat ChannelRate *(すべての製品)*

MediaChannels VideoInputEthernet [n] Channel [n] Netstat Jitter *(すべての製品)*

MediaChannels VideoInputEthernet [n] Channel [n] Netstat LastIntervalLost *(すべての製品)*

MediaChannels VideoInputEthernet [n] Channel [n] Netstat LastIntervalReceived *(すべての製品)*

MediaChannels VideoInputEthernet [n] Channel [n] Netstat Loss *(すべての製品)*

MediaChannels VideoInputEthernet [n] Channel [n] Netstat MaxJitter *(すべての製品)*

MediaChannels VideoInputEthernet [n] Channel [n] Netstat Packets *(すべての製品)*

MediaChannels VideoInputEthernet [n] Channel [n] Video FrameRate *(すべての製品)*

MediaChannels VideoInputEthernet [n] Channel [n] Video Protocol *(すべての製品)*

MediaChannels VideoInputEthernet [n] Channel [n] Video ResolutionX *(すべての製品)*

MediaChannels VideoInputEthernet [n] Channel [n] Video ResolutionY *(すべての製品)*

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

新機能

この章では、新機能と改善点の概要を提供し、新規、変更、削除されたデバイス構成、コマンド、ステータスを一覧表示します。詳細については、ソフトウェアのリリースノート (RoomOS 11) を参照することをおすすめします。

RoomOS 11.24 の新機能と改善

Cisco Ceiling Microphone Pro のサポート

RoomOS 11.24.2 は、以下の機能と共に Cisco Ceiling Microphone Pro を完全にサポートしています。

- Cisco Room Bar
- Cisco Room Bar Pro
- Cisco Room Kit EQ
- Cisco Room Kit EQX
- Cisco Room Kit Pro
- Cisco Board Pro
- Cisco Board Pro G2

Cisco Room Bar BYOD のサポート

RoomOS 11.24.2 以降が Cisco Room Bar にインストールされ、Room Navigator が接続されていない場合、デバイスは Cisco Room Bar BYOD モードで起動します。

BYOD モードでは、Room Bar を USB-C または USB-A から USB-C 経由でコンピュータに接続し、音声入出力、インテリジェント フレーミング内蔵のビデオ、スクリーンに接続した際のローカル プレゼンテーション機能を提供する高度な Web カメラとして機能させることができます。

詳細については以下をご覧ください。

- 管理 (Administration)
- 使用

SIP での RFC5922 ドメイン証明書のサポート

xConfiguration SIP TransportSecurity CertificateVerificationMode 設定は、Auto、レガシー、RFC5922 の 3 つのモードのいずれかに設定できます。自動またはレガシー モードでは、検証は無効になります。

モード RFC5922 は、SIP リモートから受信した X.509 証明書の名前を検証する方法を指定します。SIP 通話の証明書の検証を強制するには、次の xConfiguration パラメーターも設定する必要があります。

```
xConfiguration SIP DefaultTransport: Tls
xConfiguration SIP TlsVerify: On
xConfiguration SIP ListenPort: Off
```

SIP ListenPort mode オフは、着信 SIP 通話を実質的にブロックします。

RFC5922 が有効になっている場合でも、次の条件では自動的に無効になります。

```
xConfiguration Provisioning WebexCalling Mode: On
xConfiguration SIP タイプ: Cisco
xConfiguration SIP Proxy 1 Address: "空でない"
```

ローカルな事前予約のサポート

アドホック ブッキングのローカル ブッキング UI で、事前に会議室を予約できるようになりました。

その他の更新:

- Microsoft Teams の [参加 (Join)] ボタンは、デフォルトでミーティング ID の代わりにビデオ ID を要求するようになりました。ミーティング ID は引き続き利用できますが、代替として推奨されています。
- デバイスの UI の共有トレイに、ケーブルで接続されているソースのプレビューが表示されるようになりました。これにより、正しいソースをすばやく特定できます。これは拡張/仮想ソース機能では機能しないことに注意してください。
- 通話中に AirPlay が接続されると、自動共有ポップアップが表示され、5 秒後に共有が開始されることが通知されて、通話中にコンテンツが共有されるまでカウントダウンが示されます。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

RoomOS 11.24 での xConfiguration の変更

新しい構成

アプリ ホワイトボード URL *(すべての製品)*

音声入力 イーサネット [1..8] チャンネル [1..8] ゲイン *(Board Pro G2、Codec EQ、Room Bar Pro、Room Kit EQX)*

音声入力 イーサネット [1..8] チャンネル [1..8] レベル *(Board Pro)*

音声入力 イーサネット [1..8] チャンネル [1..8] モード *(Board Pro、Board Pro G2、Codec EQ、Room Bar Pro、Room Kit EQX)*

音声入力イーサネット [1..8] チャンネル [1..8] パン *(Board Pro、Board Pro G2、Codec EQ、Room Bar Pro、Room Kit EQX)*

音声入力イーサネット [1..8] チャンネル [1..8] ゾーン *(Board Pro、Board Pro G2、Codec EQ、Room Bar Pro、Room Kit EQX)*

音声入力イーサネット [1..8] EchoControl モード *(Board Pro、Codec EQ、Room Kit EQX)*

音声入力イーサネット [1..8] EchoControl ノイズリダクション *(Board Pro G2、Room Bar Pro、Board Pro、Codec EQ、Room Kit EQX)*

音声入力イーサネット [1..8] イコライザー ID *(Board Pro G2、Room Bar Pro、Board Pro、Codec EQ、Room Kit EQX)*

音声入力イーサネット [1..8] イコライザー モード *(Board Pro G2、Room Bar Pro、Board Pro G2、Room Bar Pro、Board Pro、Codec EQ、Room Kit EQX)*

音声入力イーサネット [1..8] モード *(Board Pro G2、Room Bar Pro、Board Pro、Codec EQ、Room Kit EQX)*

Bookings AdhocBooking BookAhead Enabled *(すべての製品)*

Bookings DeclinableBookingType *(すべての製品)*

Cameras Camera ExcludedArea *(Desk Mini、Desk Pro、Room 55、Room Bar、Room Kit、Room Kit Mini、Cisco Desk)*

Cameras Camera Whitebalance Compensation Level *(Room Bar)*

Cameras Camera [1..7] ExcludedArea *(Codec EQ、Codec Plus、Codec Pro、Room 55 Dual、Room 70、Room 70 G2、Room Kit EQX、Room Panorama、Room 70 Panorama)*

Cameras Camera [1..7] PtzAutoFraming *(Codec EQ、Codec Plus、Codec Pro、Room 55 Dual、Room 70、Room 70 G2、Room Kit EQX、Room Panorama、Room 70 Panorama)*

Cameras Camera [1] ExcludedArea *(Board Pro、Board Pro G2、Room Bar Pro)*

Cameras Camera [1] Whitebalance Compensation Level *(Board Pro、Board Pro G2、Room Bar Pro)*

Cameras Camera [2] Standby Mode *(Board Pro、Board Pro G2、Room Bar Pro)*

Cameras Camera [2] VideoFormat *(Board Pro、Board Pro G2、Room Bar Pro)*

カメラ カメラ [3] スタンバイモード *(Board Pro、Board Pro G2、Room Bar Pro)*

Cameras Camera [3] VideoFormat *(Board Pro、Board Pro G2、Room Bar Pro)*

カメラ カメラ [4] スタンバイモード *(Board Pro、Board Pro G2、Room Bar Pro)*

Cameras Camera [4] VideoFormat *(Board Pro、Board Pro G2、Room Bar Pro)*

カメラ カメラ [5] スタンバイモード *(Board Pro、Board Pro G2、Room Bar Pro)*

Cameras Camera [5] VideoFormat *(Board Pro、Board Pro G2、Room Bar Pro)*

カメラ カメラ [6] スタンバイモード *(Board Pro、Board Pro G2、Room Bar Pro)*

Cameras Camera [6] VideoFormat *(Board Pro、Board Pro G2、Room Bar Pro)*

カメラ カメラ [7] スタンバイモード *(Board Pro、Board Pro G2、Room Bar Pro)*

Cameras Camera [7] VideoFormat *(Board Pro、Board Pro G2、Room Bar Pro)*

Cameras SpeakerTrack GroupAndSpeaker Mode *(Board Pro G2、Codec EQ、Codec Pro、Room 70 G2、Room Bar Pro、Room Kit EQX)*

ファイル サービス Webex ユーザ保存 *(すべての製品)*

Security Enrollment KeySize *(すべての製品)*

Standby WakeupOnPairing *(すべての製品)*

UserInterface Bookings AdhocBooking TimeSlotSize *(すべての製品)*

UserInterface Bookings AdhocBooking UseDefaultTitle *(すべての製品)*

UserInterface Bookings Visibility AllDayMeetings *(すべての製品)*

UserInterface Bookings Visibility NonJoinableMeetings *(すべての製品)*

UserInterface Bookings Visibility Personal FullDayCalendar *(すべての製品)*

UserInterface Bookings Visibility Personal NonJoinableMeetings *(すべての製品)*

UserInterface DecemberThemeBeta *(すべての製品)*

ユーザインターフェイス デバイスパーソナライズ QR コード通知 *(Desk Mini、Desk Pro、Cisco Desk)*

UserInterface DevicePersonalization QRCodeNotification *(Board、Board Pro、 Board Pro G2)*

UserInterface Features Share MTRAutoSelectSource *(すべての製品)*

ビデオ入力 AirPlay プレゼンテーション選択 *(Board 55S、Board 70S、Board 85S、Board Pro、Board Pro G2、Codec EQ、Codec Plus、Codec Pro、Desk Mini、Desk Pro、Room 55、Room 55 Dual、Room 70、Room 70 G2、Room Bar、Room Bar Pro、Room Kit、Room Kit EQX、Room Kit Mini、Room Panorama、Room 70 Panorama、Cisco Desk)*

Webex アップグレードチャネル *(すべての製品)*

変更される構成

Audio Microphones BeamMix Inputs *(Board Pro G2、Room Bar Pro、Board Pro)*

OLD: Auto/BeamsAndExtMics

新: Auto/BeamsAndExtMics/OnlyExtMics

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

Audio Ultrasound MaxVolume *(Codec EQ、Room Kit EQX)*
- 旧: 整数 (0..70)
- 新: 整数 (0..90)

カメラ SpeakerTrack DefaultBehavior *(Codec EQ、Codec Pro、Room 70 G2、Room Kit EQX、Room Panorama、Room 70 Panorama、Board Pro G2、Room Bar Pro)*
- 旧: Auto/BestOverview/Closeup/Current/Frames/Manual
- 新: Auto/BestOverview/Closeup/Current/Frames/GroupAndSpeaker/Manual

Conference Webex CallProtocolIPStack *(すべての製品)*
- 旧: PreferIpv4/PreferIpv6
- 新: Dual/PreferIpv4/PreferIpv6

MicrosoftTeams CVI CrossTenant *(すべての製品)*
- 旧: デフォルト: Disabled
- 新: デフォルト: 自動

ネットワークサービス Wi-Fi設定 FrequencyBand *(Board Pro G2、Codec EQ、Room Bar Pro、Room Kit EQX)*
- 旧: 2_4Ghz/5Ghz/Auto
- 新: 2_4Ghz/5Ghz/6Ghz/Auto

UserInterface RoomScheduler Mode *(すべての製品)*
- 旧: Auto/RoomInUseOnly
- 新: Auto/CalendarOnly/RoomInUseOnly

Video DefaultMainSource *(Codec Pro、Room 70 G2、Room Panorama、Room 70 Panorama)*
- 旧: 1/2/3/4/5/6
- 新: 1/2/3/4/5/6/7

Video DefaultMainSource *(Board Pro、Board Pro G2、Desk Pro、Room Bar、Room Bar Pro)*
- 旧: 1/2/3
- 新: 1/2/3/4/5

Video Input Miracast Transport *(すべての製品)*
- 旧: デフォルト: Direct
- 新: デフォルト: Auto

Video Presentation DefaultSource *(Codec Pro、Room 70 G2、Room Panorama、Room 70 Panorama)*
- 旧: 1/2/3/4/5/6
- 新: 1/2/3/4/5/6/7

Video Presentation DefaultSource *(Board Pro、Board Pro G2、Desk Pro、Room Bar、Room Bar Pro)*
- 旧: 1/2/3
- 新: 1/2/3/4/5

削除された構成

音声入力 イーサネット [1..3] チャンネル [1..8] ゲイン *(Board Pro G2、Codec EQ、Room Bar Pro、Room Kit EQX)*

Audio Input Ethernet [1..3] Channel [1..8] Level *(Board Pro)*

音声入力 イーサネット [1..3] チャンネル [1..8] モード *(Board Pro、Board Pro G2、Codec EQ、Room Bar Pro、Room Kit EQX)*

音声入力 イーサネット [1..3] チャンネル [1..8] パン *(Board Pro、Board Pro G2、Codec EQ、Room Bar Pro、Room Kit EQX)*

音声入力 イーサネット [1..3] チャンネル [1..8] ゾーン *(Board Pro、Board Pro G2、Codec EQ、Room Bar Pro、Room Kit EQX)*

音声入力 イーサネット [1..3] EchoControl モード *(Board Pro、Codec EQ、Room Kit EQX、Board Pro G2、Room Bar Pro)*

Audio Input Ethernet [1..3] EchoControl NoiseReduction *(Board Pro、Codec EQ、Room Kit EQX、Board Pro G2、Room Bar Pro)*

Audio Input Ethernet [1..3] Equalizer ID *(Board Pro、Codec EQ、Room Kit EQX、Board Pro G2、Room Bar Pro)*

Audio Input Ethernet [1..3] Equalizer Mode *(Board Pro、Codec EQ、Room Kit EQX、Board Pro G2、Room Bar Pro)*

Audio Input Ethernet [1..3] Mode *(Board Pro、Codec EQ、Room Kit EQX、Board Pro G2、Room Bar Pro)*

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

RoomOS 11.24 での xCommand の変更

新しいコマンド

MicrosoftTeams SignOut *(すべての製品)*

Peripherals Diagnostics Add *(すべての製品)*

Peripherals Diagnostics Clear *(すべての製品)*

Peripherals Security Certificates Services Activate *(すべての製品)*

Peripherals Security Certificates Services Enrollment SCEP Request *(すべての製品)*

Peripherals Security Certificates Services Show *(すべての製品)*

Provisioning RoomType Activate *(Board Pro G2)*

RemoteAccess EndSession *(すべての製品)*

セキュリティ証明書サービス登録プロファイルの削除 *(すべての製品)*

セキュリティ証明書サービス登録プロファイル一覧 *(すべての製品)*

Security Certificates Services Enrollment SCEP Profiles Set *(すべての製品)*

Security Certificates Services Enrollment SCEP Request *(すべての製品)*

変更されたコマンド

Audio LocalInput Ethernet Register *(Board Pro、Codec EQ、Codec Pro、Room 70 G2、Room Kit EQX、Room Panorama、Room 70 Panorama、Board Pro G2、 Room Bar Pro)*

旧: StreamName: 必須: 必須のパラメータ
新: StreamName: 必須: 任意のパラメータ

Bookings Book *(すべての製品)*

新: MeetingPlatform: 文字列 (0, 128)
新: MeetingPlatform: GoogleMeet/MicrosoftTeams/None/Other/Webex/Zoom

旧: Protocol: 文字列 *(0, 128)*
新: プロトコル: H323/IP/ISDN/None/SIP/Spark/WebRTC

Bookings Edit *(すべての製品)*

新: MeetingPlatform: 文字列 (0, 128)
新: MeetingPlatform: GoogleMeet/MicrosoftTeams/None/Other/Webex/Zoom
旧: Protocol: 文字列 (0, 128)
新: プロトコル: H323/IP/ISDN/None/SIP/Spark/WebRTC

予約の延長 *(すべての製品)*

旧: ID: 必須: 必須のパラメータ
新: ID: 必須: 任意のパラメータ
新: MeetingId: 文字列 (1、128)

Bookings Get *(すべての製品)*

古い: ID: 必須: 必須のパラメータです
新: ID: 必須: 任意のパラメータ
新: MeetingId: 文字列 (1, 128)

Bookings NotificationSnooze *(すべての製品)*

古い: ID: デフォルト:
新: ID: デフォルト: <指定なし>
旧: ID: 文字列 (0, 128)
新: ID: 文字列 (1、128)
新: MeetingId: 文字列 (1, 128)

MicrosoftTeams Join *(すべての製品)*

旧: URL: 文字列 (0, 255)
新: URL: 文字列 (0、2000)

ネットワーク Wi-Fi 設定 *(すべての製品)*

旧: AllowMissingCA: デフォルト: <指定なし>
新: AllowMissingCA: デフォルト: False

ネットワーク Wi-Fi スキャンの開始 *(すべての製品)*

旧: 継続時間: デフォルト: 10
新: 継続時間: デフォルト: 0
旧: 継続時間: 整数 (1..120)
新: 継続時間: 整数 (0..120)

プレゼンテーションの開始 *(Board、Desk Mini、Room Kit Mini、Room Kit)*

旧: PresentationSource: 1/2/AirPlay/Miracast/None/Remote/WebView [multiple 4]
新: PresentationSource: 1/2/AirPlay/DirectShare/Miracast/None/Remote/WebView [multiple 4]
新:WebViewId: 整数 (0..65534)

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

プレゼンテーションの開始 *(Codec Pro、Room 70 G2、Room 70 Panorama、Room Panorama)*

旧: ConnectorId: IntegerArray (1..6) [multiple 4]

新: ConnectorId: IntegerArray (1..10) [multiple 4]

旧: PresentationSource: 1/2/3/4/5/6/AirPlay/Miracast/None/Remote/WebView [multiple 4]

新: PresentationSource: 1/10/2/3/4/5/6/7/8/9/AirPlay/DirectShare/Miracast/None/Remote/WebView [multiple 4]

新: WebViewId: 整数 (0..65534)

Presentation Start *(Board Pro、Board Pro G2、Room Bar、Room Bar pro、Desk Pro)*

旧: ConnectorId: IntegerArray (1..3) [multiple 4]

新: ConnectorId: IntegerArray (1..10) [multiple 4]

旧: PresentationSource: 1/2/3/AirPlay/Miracast/None/Remote/WebView [multiple 4]

新: PresentationSource: 1/2/3/4/5/AirPlay/DirectShare/Miracast/None/Remote/WebView [multiple 4]

新:WebViewId: 整数 (0..65534)

Presentation Start *(Codec EQ、Room Kit EQX)*

旧: ConnectorId: IntegerArray (1..6) [multiple 4]

新: ConnectorId: IntegerArray (1..9) [multiple 4]

旧: PresentationSource: 1/2/3/4/5/6/AirPlay/Miracast/None/Remote/WebView [multiple 4]

新: PresentationSource: 1/2/3/4/5/6/7/8/9/AirPlay/DirectShare/Miracast/None/Remote/WebView [multiple 4]

新:WebViewId: 整数 (0..65534)

プレゼンテーションの開始 *(Codec Plus、Room 55、Room 55 Dual、Room 70 Dual、Webex Desk、Room 70 Single)*

旧: PresentationSource: 1/2/3/AirPlay/Miracast/None/Remote/WebView [multiple 4]

新: PresentationSource: 1/2/3/AirPlay/DirectShare/Miracast/None/Remote/WebView [multiple 4]

新: WebViewId: 整数 (0..65534)

Presentation Stop *(Board、Desk Mini、Room Kit Mini、Room Kit)*

旧: PresentationSource: 1/2/AirPlay/Miracast/None/Remote/WebView

新: PresentationSource: 1/2/AirPlay/DirectShare/Miracast/None/Remote/WebView

新:WebViewId: 整数 (0..65534)

Presentation Stop *(Codec Pro、Room 70 G2、Room 70 Panorama、Room Panorama)*

旧: PresentationSource: None/AirPlay/Miracast/Remote/1/2/3/4/5/6/WebView

新: PresentationSource: None/AirPlay/DirectShare/Miracast/Remote/WebView/1/2/3/4/576/7/8/9/10

新: WebViewId: 整数 (0..65534)

Presentation Stop *(Board Pro、Board Pro G2、Room Bar、Room Bar Pro、Desk Pro)*

旧: PresentationSource: 1/2/3/AirPlay/Miracast/None/Remote/WebView

新: PresentationSource: 1/2/3/4/5/AirPlay/DirectShare/Miracast/None/Remote/WebView

新: WebViewId: 整数 (0..65534)

Presentation Stop *(Codec EQ、Room Kit EQX)*

旧: PresentationSource: None/AirPlay/Miracast/Remote/1/2/3/4/WebView

新: PresentationSource: None/AirPlay/DirectShare/Miracast/Remote/WebView/1/2/3/4/5/6/7/8/9

新: WebViewId: 整数 (0..65534)

プレゼンテーションの停止 *(Codec Plus、Room 55、Room 55 Dual、Room 70 Dual、Webex Desk、Room 70 Single)*

旧: PresentationSource: 1/2/3/AirPlay/Miracast/None/Remote/WebView

新: PresentationSource: 1/2/3/AirPlay/DirectShare/Miracast/None/Remote/WebView

新: WebViewId: 整数 (0..65534)

ユーザ インターフェイス プレゼンテーション外部ソースの追加 *(Codec Pro、Room 70 G2、Room 70 Panorama、Room Panorama)*

旧: ConnectorId: 整数 (1..6)

新: ConnectorId: 整数 (1..7)

UserInterface Presentation ExternalSource Add *(Board Pro、Board Pro G2、Room Bar、Room Bar Pro、Desk Pro)*

旧: ConnectorId: 整数 (1..3)

新: ConnectorId: 整数 (1..5)

UserManagement User Passphrase Change *(すべての製品)*

新: SecurityAction: InvalidateAllUserSessions/None

UserManagement User Passphrase Set *(すべての製品)*

新: SecurityAction: InvalidateAllUserSessions/None

ビデオ CEC 入力キークリック *(Room Bar Pro、Room Bar)*

旧: ConnectorId: 整数 (1..3)

新: ConnectorId: 整数 (1..5)

ビデオ CEC 入力キークリック *(Board Pro、Board Pro G2、Desk Pro)*

旧: ConnectorId: 整数 (2..3)

新: ConnectorId: 整数 (2..5)

Video Input SetMainVideoSource *(Codec Pro、Room 70 G2、Room 70 Panorama、Room Panorama)*

旧: ConnectorId: IntegerArray (1..6) [multiple 4]

新: ConnectorId: IntegerArray (1..7) [multiple 4]

旧: SourceId: 1/2/3/4/5/6/AirPlay/Miracast [multiple 4]

新: SourceId: 1/10/2/3/4/5/6/7/8/9/AirPlay/Miracast [multiple 4]

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

Video Input SetMainVideoSource *(Board Pro G2、Room Bar Pro、Board Pro、Desk Pro、Room Bar)*
- 旧: ConnectorId: IntegerArray (1..3) [multiple 4]
- 新: ConnectorId: IntegerArray (1..5) [multiple 4]
- 旧: SourceId: 1/2/3/AirPlay/Miracast [multiple 4]
- 新: SourceId: 1/2/3/4/5/AirPlay/Miracast [multiple 4]

Video Input SetMainVideoSource *(Codec EQ、Room Kit EQX)*
- 旧: SourceId: 1/2/3/4/5/6/AirPlay/Miracast [multiple 4]
- 新: SourceId: 1/2/3/4/5/6/7/8/9/AirPlay/Miracast [multiple 4]

Video Layout StageParticipants Set ById *(すべての製品)*
- 新: ActiveSpeakerIndex: 整数 (0..8)
- 旧: ParticipantId: StringArray (1, 255) [multiple 4]
- 新: ParticipantId: StringArray (1, 255) [multiple 8]

Video Layout StageParticipants Set ByName *(すべての製品)*
- 新: ActiveSpeakerIndex: 整数 (0..8)
- 旧: ParticipantName: StringArray (1, 255) [multiple 4]
- 新: ParticipantName: StringArray (1, 255) [multiple 8]

Video Matrix Assign *(Codec Pro、Room 70 G2、Room Panorama、Room 70 Panorama)*
- 旧: SourceId: IntegerArray (1..6) [multiple 4]
- 新: SourceId: IntegerArray (1..7) [multiple 4]

Video Matrix Assign *(Room Bar Pro、Room Bar)*
- 旧: SourceId: IntegerArray (1..3) [multiple 4]
- 新: SourceId: IntegerArray (1..5) [multiple 4]

Video Matrix Unassign *(Codec Pro, Room 70 G2、Room Panorama、Room 70 Panorama)*
- 旧: SourceId: 整数 (1..6)
- 新: SourceId: 整数 (1..7)

Video Matrix の割り当て解除 *(Room Bar Pro、Room Bar)*
- 旧: SourceId: 整数 (1..3)
- 新: SourceId: 整数 (1..5)

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

RoomOS 11.24 での xStatus の変更

新しいステータス

MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] EncryptionType *(すべての製品)*

MediaChannels Miracast [n] Channel [n] Audio Channels *(すべての製品)*

MediaChannels Miracast [n] Channel [n] Audio Protocol *(すべての製品)*

MediaChannels Miracast [n] Channel [n] Encryption *(すべての製品)*

MediaChannels Miracast [n] Channel [n] EncryptionType *(すべての製品)*

MediaChannels Miracast [n] Channel [n] Netstat Bytes *(すべての製品)*

MediaChannels Miracast [n] Channel [n] Netstat ChannelRate *(すべての製品)*

MediaChannels Miracast [n] Channel [n] Netstat Jitter *(すべての製品)*

MediaChannels Miracast [n] Channel [n] Netstat LastIntervalLost *(すべての製品)*

MediaChannels Miracast [n] Channel [n] Netstat LastIntervalReceived *(すべての製品)*

MediaChannels Miracast [n] Channel [n] Netstat Loss *(すべての製品)*

MediaChannels Miracast [n] Channel [n] Netstat MaxJitter *(すべての製品)*

MediaChannels Miracast [n] チャネル [n] Netstat パケット *(すべての製品)*

MediaChannels Miracast [n] Channel [n] Video FrameRate *(すべての製品)*

MediaChannels Miracast [n] Channel [n] Video Protocol *(すべての製品)*

MediaChannels Miracast [n] Channel [n] Video ResolutionX *(すべての製品)*

MediaChannels Miracast [n] Channel [n] Video ResolutionY *(すべての製品)*

MediaChannels VideoInputEthernet [n] Channel [n] Encryption *(すべての製品)*

MediaChannels VideoInputEthernet [n] Channel [n] EncryptionType *(すべての製品)*

MediaChannels VideoInputEthernet [n] Channel [n] Netstat Bytes *(すべての製品)*

MediaChannels VideoInputEthernet [n] Channel [n] Netstat ChannelRate *(すべての製品)*

MediaChannels VideoInputEthernet [n] Channel [n] Netstat Jitter *(すべての製品)*

MediaChannels VideoInputEthernet [n] Channel [n] Netstat LastIntervalLost *(すべての製品)*

MediaChannels VideoInputEthernet [n] Channel [n] Netstat LastIntervalReceived *(すべての製品)*

MediaChannels VideoInputEthernet [n] Channel [n] Netstat Loss *(すべての製品)*

MediaChannels VideoInputEthernet [n] Channel [n] Netstat MaxJitter *(すべての製品)*

MediaChannels VideoInputEthernet [n] Channel [n] Netstat Packets *(すべての製品)*

MediaChannels VideoInputEthernet [n] Channel [n] Video FrameRate *(すべての製品)*

MediaChannels VideoInputEthernet [n] Channel [n] Video Protocol *(すべての製品)*

MediaChannels VideoInputEthernet [n] Channel [n] Video ResolutionX *(すべての製品)*

MediaChannels VideoInputEthernet [n] Channel [n] Video ResolutionY *(すべての製品)*

MicrosoftTeams Calling IncomingCall *(Board Pro、Board Pro G2、Codec EQ、Codec Pro、Room 70 G2、Room Bar、Room Bar Pro、Room Kit EQX、Desk Pro)*

ネットワーク [n] LLDP シャシー ID *(Board Pro、Board Pro G2、Codec EQ、Codec Pro、Desk Mini、Desk Pro、Room 70 G2、Room Bar、Room Bar Pro、Room Kit EQX、Room Panorama、Room 70 Panorama、Cisco Desk)*

Network [n] LLDP Chassis IDType *(Board Pro、Board Pro G2、Codec EQ、Codec Pro, Desk Mini、Desk Pro、Room 70 G2、Room Bar、Room Bar Pro、Room Kit EQX、Room Panorama、Room 70 Panorama、Cisco Desk)*

Network [n] LLDP Duplex *(Board Pro、Board Pro G2、Codec EQ、Codec Pro、Desk Mini、Desk Pro、Room 70 G2、Room Bar、Room Bar Pro、Room Kit EQX、Room Panorama、Room 70 Panorama、Cisco Desk)*

ネットワーク [n] LLDP ポート ID *(Board Pro、Board Pro G2、Codec EQ、Codec Pro、Desk Mini、Desk Pro、Room 70 G2、Room Bar、Room Bar Pro、Room Kit EQX、Room Panorama、Room 70 Panorama、Cisco Desk)*

Network [n] LLDP Port IDType *(Board Pro, Board Pro G2, Codec EQ, Codec Pro, Desk Mini, Desk Pro, Room 70 G2, Room Bar, Room Bar Pro, Room Kit EQX, Room Panorama, Room 70 Panorama, Cisco Desk)*

Network [n] LLDP PrimaryMgmtAddress *(Board Pro, Board Pro G2, Codec EQ, Codec Pro, Desk Mini, Desk Pro, Room 70 G2, Room Bar, Room Bar Pro, Room Kit EQX, Room Panorama, Room 70 Panorama, Cisco Desk)*

Network [n] LLDP SysDescr *(Board Pro、Board Pro G2、Codec EQ、Codec Pro、Desk Mini、Desk Pro、Room 70 G2、Room Bar、Room Bar Pro、Room Kit EQX、Room Panorama、Room 70 Panorama、Cisco Desk)*

ネットワーク [n] LLDP SysName *(Board Pro、Board Pro G2、Codec EQ、Codec Pro、Desk Mini、Desk Pro、Room 70 G2、Room Bar、Room Bar Pro、Room Kit EQX、Room Panorama、Room 70 Panorama、Cisco Desk)*

Network [n] LLDP VoiceVlanID *(Board Pro、Board Pro G2、Codec EQ、Codec Pro、Desk Mini、Desk Pro、Room 70 G2、Room Bar、Room Bar Pro、Room Kit EQX、Room Panorama、Room 70 Panorama、Cisco Desk)*

Provisioning RoomType *(Board Pro G2)*

RoomAnalytics 残響時間の測定状態 *(すべての製品)*

ユーザーインタフェースのアクセシビリティスクリーンリーダーモード *(すべての製品)*

Video Layout ActiveSpeakerOnStage *(すべての製品)*

Video Layout StageActiveSpeakerIndex *(すべての製品)*

Webex DevicePersonalization Personalized *(すべての製品)*

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

変更されたステータス

Diagnostics Message [n] Type *(すべての製品)*

値スペースに追加されました: AndroidOSVersion/CeilingMicPlacementNotCalibrated/HotdeskSignInNotConfigured/LinkLayerDiscoveryConfiguration/MacrosCommonJsDeprecation/MacrosErrorLoggedInConsole/MacrosJsError/NetworkAdminRemoteaccessConfigured/SoftwareReleaseRemark/StereoscopicInsufficientBandwidth/ThirdPartyAppDownloadFailed/WhiteboardAppServiceConnectivity

値スペースから削除されました: HologramCameras/InvalidExtensionEnabled/MacrosErrorLogged

Standby Level *(Board Pro、Codec EQ、Desk Mini、Room Bar、Room Kit EQX、Cisco Desk、Board Pro G2、Room Bar Pro)*

旧: DisplayOff/Networked/None/Standby

新: DeepSleep/DisplayOff/Networked/None

UserInterface WebView [n] タイプ *(すべての製品)*

旧: ECM/ECMSignIn/EmbeddedApp/Integration/Kiosk/None/PersistentWebApp/Signage/WebApp/WebRTCMeeting/WebWidget

新: ECM/ECMSignIn/EmbeddedApp/Integration/Kiosk/None/PersistentWebApp/Signage/WebApp/WebRTCMeeting/WebWidget/Whiteboard

ビデオ入力コネクタ [n] タイプ *(すべての製品)*

旧: 3G-SDI/Camera/HD-SDI/HDMI/USB/USBC-DP/Unknown/Unused

新: 3G-SDI/Camera/Ethernet/HD-SDI/HDMI/USB/USBC-DP/Unknown/Unused

ビデオ入力 MainVideoSource *(すべての製品)*

旧: 1/2/3/4/5/6/Composed

新: 1/2/3/4/5/6/7/Composed

削除されたステータス

UserInterface RemoteAccess Session [n] InitiatorName *(すべての製品)*

UserInterface RemoteAccess Session [n] InitiatorPermit *(すべての製品)*

UserInterface RemoteAccess Session [n] State *(すべての製品)*

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

第 2 章

API について

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

Cisco 利用規約

Cisco ソフトウェアおよびクラウドサービスの利用は、これらの 利用規約に従うものとします。お客様による Cisco API の使用は、 Cisco Webex 開発者利用規約の対象となります。

スケジュール済みミーティング参加体験に向けて許可されている商用利用

Cisco 利用規約に加えて、商用目的で使用する場合の使用例には個別の許可が必要です: スケジュールされたミーティングの参加体験を、ワンボタンで操作できる感覚で提供する。これには、この機能を提供するために外部ソースからのカレンダーデータでデバイスを更新する API の使用が含まれます。例えば「`xCommand Bookings Put`」、または「`bookingsputxml`」などの以前のプライベート API が含まれます。さらに、他の API を使用して同じ機能を実現する場合、商用利用の許可も必要になります。

スケジュールされたミーティングへの参加エクスペリエンスを提供する場合、許可されている商用利用規約に従うか、非商用目的で使用する必要があります。非商用利用とは、社内での事業運営のみを目的とした使用であり、直接的か間接的かを問わず、収入を生み出すサービスや製品の一部または促進するための API の使用を伴う活動ではないと定義されています。

スケジュール済みミーティングの参加体験を提供する目的で、非商用目的での使用の対象とならない使用については、Cisco からの個別の許可が必要です。

Cisco の独自の裁量により、あなたの使用が不正な商用目的である、または Webex 開発者サービス利用規約に違反すると判断した場合、Cisco は API を使用するためのライセンスを取り消す権利を留保します。API の意図された使用が許可されているかどうか、または許可の取得について質問がある場合は、devsupport@webex.com までお問い合わせください。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

API の基礎

この章には、デバイス API でサポートされるメカニズムの最上位ビューが含まれています。

ここでは、API へのアクセス方法、コマンド回線の使用方法、および API の異なる部分の使用方法について読むことができます。この章では、デバイスで利用可能なフィードバック機能の使用方法についても説明します。

API は 4 つの主要なグループで構成されています。

- コマンド
- 設定
- Status
- イベント

これらの 4 つのグループは階層的に編成されているため、関連する機能を見つけやすくなっています。すべてのコマンド、設定、ステータスの一覧については、以降の章で確認できます。

メモ: コマンドが返す値は、デバイスがサードパーティシステムと対話する方法に影響を与える可能性があります。これらはリリースごとに変更される可能性があり、文書化されていません。

API に接続する

デバイス API にアクセスするには、いくつかの方法があります。

- SSH
- HTTP/HTTPS
- WebSocket
- シリアル接続[1]

選択する方法に関係なく、API の構造は同じです。用途に最も適した接続方法を選択してください。すべてのメソッドがすべての製品で利用できるわけではないことに注意してください。

開始する前に、異なる方法に関するこのセクションをお読みください。一部の方法は、有効にする前に追加の設定変更が必要な場合があるためです。パスワード以外の構成は、ウェブインタフェースの [構成] メニューまたはコマンド回線インタフェースから設定できます。例はコマンド回線インタフェースのものです。

SSH

SSH は安全な TCP/IP 接続であり、デバイスではデフォルトで有効になっています。無効にできます。SSH 経由で API にアクセスするには、PuTTY などの SSH クライアントが必要です。

```
xConfiguration NetworkServices SSH Mode:
<Off,On>
```

HTTP/HTTPS

HTTP/HTTPS はコネクションレス型のプロトコルであるため、持続的な接続はありません。HTTP 経由で API と通信するにはいくつかの方法があります。

HTTP および HTTPS サービスを有効または無効にするには、デバイスで次の設定を構成します。

```
xConfiguration NetworkServices HTTP Mode:
<Off, HTTP+HTTPS, HTTPS>
```

接続中

ウェブブラウザでデバイスの IP アドレスまたはホスト名を入力することにより、API を検査することができます。これによりウェブインターフェイスが開きます。API ドキュメントはメニューセクション *[インテグレーション (Integration)] > [開発者 API (Developer API)]* で見つけることができます。HTTP POST および GET メソッドは、コマンドを実行し、デバイスからフィードバックを取得するために使用されます。これについては、このドキュメントの「HTTP を使用する、ページ 45」で説明しています。

WebSocket

WebSocket は、クライアントとデバイスの API 間の全二重通信チャネルを提供するプロトコルです。API コマンドは、WebSocket で送信される前に JSON-RPC オブジェクトに埋め込まれます。

WebSocket の使用を有効または無効にするには、以下の設定を構成します。WebSocket は HTTP と連携しているため、WebSocket を使用する前に HTTP または HTTPS を有効にする必要があります。

```
xConfiguration NetworkServices WebSocket:
<Off, FollowHTTPService>
xConfiguration NetworkServices HTTP Mode:
<Off, HTTP+HTTPS, HTTPS>
```

WebSocket 経由で JSON-RPC オブジェクトで API コマンドを伝達する方法の詳細については、 ►xAPI over WebSocket ガイドを参照してください。

[1] シリアル接続経由の API アクセスは Room 55 Dual または Room 70 では利用できません。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

RS-232 / シリアル接続

以下の目的で、デバイスへのシリアル接続をセットアップすることができます。

- *デバイスの API へのアクセス*

  API アクセスのシリアル接続は、端末のタイプによって USB-A または COM ポート (D-SUB 9 または 3 ピン ユーロブロック) 経由でセットアップします。[2]

- *メンテナンスとサービス*

  障害状態から回復するために、デバイスへのシリアル接続が必要な場合があります。詳細については、製品の管理者ガイドを参照してください。

シリアル通信は、IP アドレス、DNS、またはネットワークなしで使用できます。

シリアル通信はデフォルトで有効になっていますが、シリアルポートモードを Off に設定することで無効にすることができます。[3]

```
xConfiguration SerialPort Mode: <Off/On>
```

ボーレートおよびその他のシリアルポートパラメータ

表を参照して、各デバイスタイプのコネクタタイプとシリアルポートパラメータを見つけてください。

デバイスタイプによっては、幅広いボーレートに対応しています。[4] デバイスからのフィードバックが非常に多いため、できるだけ高いレートで接続を維持することをお勧めします。長いケーブルを使用する場合など、一部の状況では、ビットエラーを避けるために低いレートが使用される場合があります。

```
xConfiguration SerialPort BaudRate:
 <9600/19200/38400/57600/115200>
```

新しいボーレートは、デバイスの再起動後に有効になります。

ログインとパスワード

セキュリティ上の理由から、パスワードのプロンプトはデフォルトでOnになっていますが、必要に応じてOffにすることができます。

```
xConfiguration SerialPort ログイン要求:
<Off/On>
```

デバイスタイプ	コネクタの種類	ボーレート (bps)	その他のパラメータ
Room Bar Room Bar Pro Room Kit Mini Room Kit Room Kit EQX Room 55 Codec Plus Codec EQ Desk Pro Desk Desk Mini Board Pro Board Pro G2	USB-A + RS-232 アダプター	115200	データビット: 8 パリティ: なし ストップビット: 1 ハードウェアフロー制御: Off
Codec Pro Room 70 G2 Room Panorama Room 70 Panorama	COM (ユーロブロック、3 ピン) 推奨 USB-A + RS-232 アダプター	9600、19200、38400、57600、または 115200 (デフォルト)	
Board 55, 70 Board 55S, 70S, 85S Room 55 Dual, Room 70	使用不可		

API アクセスのためのシリアル接続

[2] シリアル接続経由の API アクセスは Room 55 Dual または Room 70 では利用できません。

[3] Webex Board 55 および 70 (第 1 世代の Board)ではシリアル通信が常に有効になっています。無効にすることはできません。

[4] デバイスの API へのアクセスに使用されるポートにのみ適用されます。メンテナンス専用ポート (micro USB) は常にデフォルトのボーレートを使用します。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

イーサネットポート

メインネットワークポート

メインネットワークポートであるネットワークポート 1 は、常に LAN 接続用に予約されています。これはすべてのビデオ会議端末に適用されます。

デバイスに応じて、ネットワーク ポート 1 は数字の 1、ネットワーク記号 (⁂)、またはその両方で表示されます。

他のネットワークポート

ほとんどのビデオ会議デバイスには複数のネットワークポートがあります。追加のポートは、カメラ、タッチ コントローラー、サードパーティのコントロール システムなどの周辺機器に使用できます。

これらのネットワーク ポートの 1 つに接続されている周辺機器は、ビデオ会議デバイスの内部ネットワークでローカル IP アドレスを取得します。メインのネットワークポート (LAN) と他のネットワークポートの間でパケットがデバイスを通過することはできません。

注: 内部ネットワークで許可される IP アドレスの範囲は、Cisco 周辺機器とサードパーティ (Cisco 以外) 周辺機器では異なります。

	許可されている IP アドレス
Cisco の周辺機器	• 169.254.1.41 から 169.254.1.200 (動的、DHCP)
Cisco 以外の周辺機器	• 169.254.1.30 (動的、DHCP) • 169.254.1.225 から 169.254.1.254 (静的)

ローカル ネットワークでは、SSH または HTTP (ポート 443) を使用してビデオ会議デバイスに到達するために 169.254.1.1 を使用できます。

Power over Ethernet *(PoE)*

これらの製品には、PoE を提供する 1 つ以上のイーサネットポートがあります。ポートには、タッチ コントローラー記号 ( ) または文字「PoE」が表示されます。

- 1 つのポート: Codec Plus、Room Bar、Room Kit Mini、Room 55、Room 55 Dual、Room 70、Board Pro、Board Pro G2
- 2 つのポート: Codec Pro、Room 70 G2、Room 70 Panorama、Room Panorama
- 4 つのポート: Codec EQ、Room Kit EQX

ユーザーの役割

ユーザアカウントは 1 つのユーザロール、または複数のユーザロールを保持します。デフォルトの admin ユーザーのようなフルアクセス権限を持つユーザーアカウントには、管理者、ユーザー、監査のロールが必要です。

以下がユーザーロールです。

管理者: このロールを持つユーザーは、新規ユーザーの作成、ほとんどの設定の変更、発信、連絡先リストの検索ができます。ユーザーは監査証明書をアップロードできず、セキュリティ監査設定を変更できません。

ユーザ: この役割を持つユーザーは、発信と連絡先リストの検索ができます。ユーザーは、着信音の音量の調整、日時の形式の設定など、いくつかの設定を変更することができます。

監査: この役割を持つユーザーは、セキュリティ監査設定の変更と監査証明書のアップロードを行うことができます。

ルーム管理: このロールを持つユーザーは、カスタマイズされた UI パネル (例えば室内コントロール)を作成することができます。ユーザーは、UI 拡張機能エディターおよび関連する開発ツールにアクセスできます。

インテグレータ: このロールを持つユーザーは、高度な AV シナリオをセットアップし、当社のデバイスをサードパーティの機器と統合するために必要な設定、コマンド、ステータスにアクセスできます。このようなユーザーは、カスタマイズされた UI パネルを作成することもできます。

パスフレーズ

デバイスには、全権限を持つ既定のユーザーアカウントが付属しています。**ユーザ名は *admin* で、デバイスの Web インターフェイスまたは端末 (xAPI) に初めてログインするときにパスフレーズを設定する必要があります。**

注意: **別の管理者用に新しいデバイスまたは工場出荷時設定にリセットされたデバイスをセットアップする場合は、デバイスへの継続的なアクセスを確保するために、最初に設定したパスフレーズをデバイス管理者に安全に伝えることが重要です。**

デバイス設定へのアクセスを制限するために、*admin* ユーザーのパスフレーズの設定は必須です。さらに、同様の資格情報を持つ他のユーザーのパスフレーズを設定する必要があります。

パスフレーズはデバイスのウェブインターフェイスで設定できます。ウェブブラウザを開き、アドレスバーにデバイスの IP アドレスを入力してログインします。右上隅にある自分のユーザー名をクリックし、ドロップダウンメニューの *[パスフレーズの変更 (Change passphrase)]* を選択します。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

API 出力

xPreferences は、RS-232 および SSH セッションの基本設定を指定するために使用されます。

出力モードは以下の通りです。

ターミナル: 回線ベースのコントロールシステムで使用する回線ベースの出力

XML: XML を認識するコントロールシステムで使用する XML 出力です。

JSON: JSON 形式は、ウェブベースのシステムと統合する場合に便利です。

デフォルトの出力モードは *ターミナル*です。これを変更するには、各セッションの設定を個別に定義する必要があります。このガイドに記載されている例はターミナルモードで表示されています。

出力モードを XML に設定するには、次のコマンドを発行します:

```
xPreferences outputmode xml
```

ターミナルモードに戻すには、次のコマンドを発行します:

```
xPreferences outputmode terminal
```

例: ターミナルモードのコマンド

```
xCommand Audio Volume Set Level: 50
```

例: XML モードのコマンド

```
<コマンド>
  <音声>
    <音量>
      <Set command="True">
        <レベル>50</レベル>
      </Set>
    </音量>
  </音声>
</コマンド>
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

コマンド回線を使用する

ヘルプ

RS-232 または SSH を使用してデバイスに接続した後、サポートされているすべての最上位コマンドのリストを取得するには、? または help を入力します。

終了

bye コマンドを入力してコマンド 回線 インターフェイスを閉じます。

例:

```
?
          - ユーザコマンド -

help            xcommand        xconfiguration  xevent          xfeedback
xgetxml         xpreferences    xstatus         bye             echo
log             systemtools
OK
```

API コマンド

xConfiguration

構成とは、デバイス名やネットワーク設定などのデバイス設定のことです。これらは再起動後も維持されます。構成、ページ 39 を参照してください。

xコマンド

コマンドは、番号のダイヤルや電話帳の検索などのアクションを実行するようにデバイスに指示します。
参照してください コマンド、ページ 39。

xStatus

ステータスには、接続されたコール、ゲートキーパー登録のステータス、接続された入力と出力ソースなど、デバイスの現在の状態が含まれます。
参照してください ステータス、ページ 39。

xフィードバック

Feedback コマンドを使って、設定とステータスの階層のどの部分を監視するかを指定します。フィードバック は、指定されている RS-232 または SSH セッションに対してのみ発行されます。複数のセッションでデバイスに接続している場合、各セッションに対して個別にフィードバックを定義する必要があります。フィードバックメカニズム、ページ 43 を参照してください。

xPreferences

xPreferences コマンドを使用して、RS-232 および SSH セッションの設定を行います。
API 出力、ページ 36 を参照してください。

Echo <on/off>

echo を On に設定すると、コマンド回線インタフェースにテキストを入力するときにキー入力が表示されます。

echo が Off に設定されている場合、コマンド回線インタフェースにテキストを入力する際にユーザ入力は表示されません。

xEvent

xEvent コマンドは、どのイベントがフィードバック可能なのかを返します。イベント、ページ 42 を参照してください。

xGetxml

xGetxml リクエストは、リクエストに添付されたロケーションパラメータに基づいて XML ドキュメントを返します。式に一致する要素 (またはドキュメント全体) が返されます。フィードバックメカニズム、ページ 43 を参照してください。

その他のコマンド

システムツール

systemtools コマンドは、管理コントロールと診断のためのコマンド回線ツールのセットです。これらのコマンドは、Cisco テクニカル サポートと共に高度なトラブルシューティングに使用できます。Systemtools は、プログラミング API の一部ではありません。

対数

log コマンドを使って詳細ログを有効にします。デバイスのデバッグにのみ使用されます。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

コマンド 回線 ショートカット

クライアントがサポートしている場合、時間を節約するショートカットがいくつかあります:

- タブ補完でコマンドと引数を完了できます。
- 上矢印および下矢印キーを使ってコマンド履歴を移動します。
- **<CTRL-a>**: 行の先頭に移動します。
- **<CTRL-e>**: 行末に移動します。
- **<CTRL-r>**: コマンド履歴を増分検索します。
- **<CTRL-w>**: 現在の行を消去します。

検索

// を使用して、ステータスまたは構成階層の任意の要素を検索できます (例 1)。

複数の // を組み合わせることもできます (例 2)。

注意: 検索ショートカットは API の調査には適していますが、アプリケーションでは使用しないでください。新しいファームウェア リリースにアップグレードするとき、コマンドのあいまいさを避けるために、常に完全なパスを使用することをお勧めします。

例 1:

OUT と HDMI で始まる語句を含むすべての構成を一覧表示します。

```
xConfiguration //out//hdmi
*c xConfiguration Audio Output HDMI 1 Level: 0
*c xConfiguration Audio Output HDMI 1 Mode: On
*c xConfiguration Audio Output HDMI 2 Level: 0
*c xConfiguration Audio Output HDMI 2 Mode: Off
** end
```

例 2:

入力と出力の両方について、接続されているすべてのソースの解像度の幅を取得します。

```
xStatus //vid//res//wid
*s Video Input Source 1 Resolution Width: 1920
*s Video Input Source 2 Resolution Width: 0
*s Video Input Source 3 Resolution Width: 0
*s ビデオ入力ソース 4 解像度 幅: 0
*s Video Output Connector 1 Resolution Width:
1920
*s ビデオ出力コネクタ 2 解像度 幅: 1280
*s ビデオ出力コネクタ 3 解像度 幅: 1280
** end
```

値のタイプと形式

デバイスは、次の値の種類をサポートしています。

- **整数値: <x.. y>**
  整数入力の有効範囲を指定します。x = 最小値、y = 最大値。
- **リテラル値: <X/Y/../Z>**
  指定された構成で可能な値を定義します。
- **文字列値: <S: x, y>**
  この設定の有効な入力は、最小 x 文字、最大 y 文字の文字列であることを指定します。文字列には、形式と長さをさらに指定するルールを含めることができます。

スペースを含む入力値は引用符で囲む必要があります

スペースを含む設定およびコマンドの値は引用符で囲む必要があります。スペースのない値には引用符は必要ありません。

```
正: xCommand dial number: "my number contains
spaces"
正: xCommand dial number: 12345
誤: xCommand dial number: my number contains
spaces
```

大文字と小文字の区別

すべてのコマンドで大文字と小文字は区別されません。以下のすべてのコマンドが機能します。

```
XCOMMAND DIAL NUMBER: foo@bar.org
xcommand dial number: foo@bar.org
xCommand Dial Number: foo@bar.org
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

コマンド

コマンドは、番号のダイヤルや電話帳の検索などのアクションを実行するようにデバイスに指示します。すべてのコマンドは、プレフィックス xCommand で始まり、その後にコマンドパスが続きます。

コマンド回線に `xCommand ?` と入力すると、すべての最上位コマンドが一覧表示されます。

コマンドとパラメータの完全な一覧を表示するには、コマンド回線に `xCommand ??` と入力します。

コマンド引数はキーと値のペアです。

xCommand を発行する場合、コマンドは 1 つの引数と 1 つの必須パラメータで構成されます。このドキュメントでは、すべての xCommand に対するコマンドの使用方法が、必須およびオプションのパラメータと共に記載されています。オプションのパラメータは大括弧で囲まれています。

例:

```
xCommand Dial Number: 123
```

xCommand はコマンドのプレフィックスです。実行されるコマンドは Dial です。

この例には 1 つの引数、Number: 123 が含まれています。Number がキーで 123 が値です。キーと値のペアは「:」で区切ります。

構成

構成は起動を越えて持続するデバイス設定です。コマンドと同様に、構成も階層構造になっています。

`xConfiguration ?` を入力すると、すべての最上位構成が一覧表示されます。

`xConfiguration ??` を入力すると、すべての構成とその値スペースが一覧表示されます。

`xConfiguration` を入力すると、すべての構成とその現在の値が一覧表示されます。xConfiguration を記述し、その後に構成パスの一部または複数の部分を続けることで、一部の構成のみを一覧表示します。

例: H323 エイリアス ID の設定

タイプ:

```
xConfiguration H323 プロファイル 1 H323 エイリアス ID: "changed@company.com"
```

例: H323 エイリアス ID を取得する

タイプ:

```
xConfiguration H323 プロファイル 1 H323 エイリアス ID
```

結果:

```
*c xConfiguration H323 Profile 1 H323Alias ID: "changed@company.com"
**end
```

ステータス

ステータスには、接続されたコール、ゲートキーパー登録のステータス、接続された入力と出力ソースなど、デバイスの現在の状態に関する情報が含まれます。

コマンド回線に `xStatus ?` と入力すると、すべての最上位ステータスが一覧表示されます。

「 `xStatus` 」と入力すると、すべてのステータスとその現在の値が一覧表示されます。

ステータスの一部のみを一覧表示するには、xstatus の後にステータスパスの関連部分 (アドレス式)を記述します。

```
xStatus <address expression>
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

複数行のコマンド

複数行のコマンドは、1 行のコマンドよりも大量の入力をサポートします。使用例には、UI 拡張機能の定義、ブランディング画像 (base64 エンコード)、マクロ、ウェルカムバナー、セキュリティ証明書の入力などがあります。

複数行のコマンド構文:

```
xCommand < コマンド path> <enter>
<payload> <enter>
.<enter>
```

他の xAPI コマンドと同様に、複数行のコマンドを入力します。しかし、コマンドはユーザーが入力としてコマンドペイロードを提供するのを待ってから実行します。ペイロードの形式はコマンドによって異なります。改行を含めることができます。

最大の長さは 8 MB です。これを超えると、ERROR が発生し、解析は行われません。

ピリオドと改行のみを含む行を入力すると、このコマンドが実行されます。

コマンドが正常に実行されたかどうかに応じて、返される結果は OK または ERROR です。

このガイドのコマンドの説明では、複数行のコマンドにはマークされています。

例: ウェルカムバナーテキストのセットアップ

コマンド:

```
xCommand SystemUnit WelcomeBanner Set
Hello!
This is the second line of text.
This is the third.
Thank you!
.
```

コマンドの結果:

```
OK
*r WelcomeBannerSetResult (status=OK):
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

同期 API 呼び出し

API は非同期に機能します。これは、コマンドが発行されたのと同じ順序でコマンド応答が到着する保証がないことを意味します。デバイスの変更により、デバイスは、ステータスの変更またはイベントの形式で、リクエストと応答の間にフィードバックを返すこともあります。

一部のアプリケーションでは、リクエストとレスポンスを一致させることが重要です。そのため、API は応答タグメカニズムをサポートしています。

このメカニズムは、xcommand、xconfiguration、xstatus のすべてのコマンドタイプで機能します。これの一般的な使用方法は、アプリケーションでコマンド キューを作成し、デバイスに送信されるすべてのコマンドに一意の ID を割り当てることです。その後、リスナはデバイスからのすべてのフィードバックを聞き、応答の ID をコマンド キュー内の対応する ID と照合します。これにより、元のリクエストを特定のレスポンスと照合できます。

例:

```
xcommand Video Layout Add | resultId="mytag _ 1"
OK
*r VideoLayoutAddResult (status=OK):
LayoutId: 1
** resultId: "mytag _ 1"
** end
```

XML モードでは、resultId が属性として最上位の XmlDoc タグに追加されます。

```
Xgetxml /Configuration/Video/Layout/Scaling | resultId="mytag _ 2"
<XmlDoc resultId="mytag _ 2">
<Configuration item="1">
  <Video item="1">
      <Layout item="1">
          <Scaling item="1" valueSpaceRef="...">Off</Scaling>
      </レイアウト>
  </Video>
</Configuration>
</XmlDoc>
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

イベント

Event はフィードバック可能なイベントに関する情報を返します。この概要では、API で利用できるイベントの例を紹介します。

サポートされているイベントの概要を取得するには:

- `xEvent`: 最上位イベントを一覧表示します
- `xEvent <top level category>`: そのカテゴリの使用可能イベントを一覧表示します
- `xEvent *`: デバイスで使用可能なすべてのイベントを一覧表示します

イベントの結果は、デバイスの状態によって異なります。

例 1: 発信コール表示

発信コール表示は、発信コールがダイヤルされる直前に報告されるイベントです。通話に割り当てられた CallId を返します。

```
*e OutgoingCallIndication CallId: x
** end
```

例 2: 通話の切断

通話の切断は、通話が切断されたときに報告されるイベントです。切断された通話の CallId と通話が切断された理由を返します。

```
*e CallDisconnect CallId: x CauseValue: 0
CauseString: "" CauseType: LocalDisconnect
OrigCallDirection: "outgoing"
** end
```

例 3: 通話の成功

通話の成功は、通話が正常に接続されたとき、つまりすべてのチャネルがアップおよび確立されたときに報告されるイベントです。

```
*e CallSuccessful CallId: 132 Protocol:
"h223" Direction: "outgoing" CallRate: 768
RemoteURI: "h223:integratorHQ@company.com"
EncryptionIn: "Off" EncryptionOut: "Off"
** end
```

例 4: FECC アクション要求

FECC アクション要求は、遠端が FECC コマンドを送信するときに報告されるイベントです。

```
*e FeccActionInd Id: 132 Req: 1 Pan: 1
PanRight: 1 Tilt: 0 TiltUp: 0 Zoom: 0 ZoomIn:
0 Focus: 0 FocusIn: 0 Timeout: 300 VideoSrc:
0 m: 0
** end
```

例 5: TString メッセージの受信

TString メッセージの受信は、遠端が TString メッセージを送信したときに報告されるイベントです。

```
*e TString CallId: 132 Message: "ee"
** end
```

例 6: SString メッセージの受信

SString メッセージの受信は、遠端が SString メッセージを送信したときに報告されるイベントです。

```
*e SString String: "ee" Id: 132
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

フィードバックメカニズム

アプリケーションとデバイス間の状態を同期して確実に維持できるソリューションを構築するために、デバイスの状態の変更を報告するように通知システムをセットアップできます。

API は次の通知をサポートします。

- 設定変更
- ステータス変更
- イベント通知

これらの通知は、デバイスに明示的に指示しない限り送信されません。フィードバック式を登録することでフィードバックを登録することができます。フィードバック式の登録方法は、使用する接続方法によって異なります。

HTTP を使用する場合、フィードバックを処理する方法は、このセクションで示されているものとは若干異なります。詳細については、HTTP 経由でのデバイスからのフィードバック、ページ 47を参照してください。

警告: デバイスは大量のフィードバックを出す可能性があります。特にコールが接続された場合と切断された場合です。必要なフィードバックのみを購読してください。

xFeedback register /Status を発行して、すべてのステータスフィードバックに登録しないでください。これにより、コントロールアプリケーションに処理できるデータが多すぎる可能性があり、その結果、動作が遅くなったり、予期しない動作が発生したりする場合があります。

フィードバック式

フィードバックを登録する際に使用される式は、XPath 言語のバリアントです。XPath 言語は、XML/JSON ドキュメントからノードを選択する方法を規定しています。ソフトウェアには、3 つの主要なフィードバックドキュメントが含まれています。

マニュアル	API コマンド	パス
Status	xStatus	/Status
設定	xConfiguration	/Configuration
イベント	xEvent	/Event

フィードバック登録の構文は次のとおりです。

```
xFeedback register <path>
```

xFeedback register /Status を発行して、すべてのステータスフィードバックに登録しないでください。

設定変更はそれほど頻繁には行われないため、全ての設定変更に `xFeedback register /Configuration` を使って登録することは安全です。

いくつかの例を通して、フィードバックの式を構築するためにこの情報をどのように使用できるかを見ることができます。式を確認する良い方法は、ブラウザに `http://<ip-address>/getxml?location=path` を指定するか、ターミナルから `xgetxml <path>` を実行し、出力がフィードバックが必要なノードと一致することを確認します。

例 1:
マイクのミュート状態

ターミナルクエリ

```
xStatus Audio Microphones Mute
*s Audio Microphones Mute: Off
** end
```

同等のフィードバック式

```
xFeedback register /Status/Audio/
Microphones/Mute
```

例 2:
すべてのビデオ入力コネクタの名前

ターミナルクエリ

```
xConfiguration Video Input Connector Name
*c xConfiguration Video Input Connector 1
 Name: "NameA"
*c xConfiguration Video Input Connector 2
 Name: "NameB"
*c xConfiguration Video Input Connector 3
 Name: "NameC"
*c xConfiguration Video Input Connector 4
 Name: "NameD"
*c xConfiguration Video Input Connector 5
 Name: "NameE"
** end
```

同等のフィードバック式

```
xFeedback register /Configuration/Video/
Input/Connector/Name
```

例 3:
ビデオ入力コネクタ 3 の名前

ターミナルクエリ

```
xConfiguration Video Input Connector 3
Name
*c xConfiguration Video Input Connector 3
 Name: "NameC"
** end
```

同等のフィードバック式

```
xFeedback register /Configuration/Video/
Input/Connector[@item="3"]/Name
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

端末接続

フィードバックの登録を管理する

フィードバック式を登録、一覧表示、登録解除するには、コマンド `xFeedback` と対応するサブコマンドを使用します。

登録された式は、現在アクティブな接続に対してのみ有効です。2 つのターミナルセッションを開き、一方のセッションでフィードバックを得るために登録すると、もう一方のセッションではフィードバックを受け取りません。これは、セッションから切断した場合、再接続後にすべての式を登録し直す必要があることも意味します。

最大 50 件の式を登録することができます。

フィードバック出力

フィードバック出力は、xConfiguration および xStatus コマンドを使用してデバイスを照会するときに取得するものとまったく同じです。例えば、コマンド回線で `xStatus Standby Active` と入力すると次のようになります:

```
*s Standby Active: On
** end
```

ステータスの変更に関するフィードバックを登録した場合、デバイスがスタンバイモードになったときに得るフィードバックは、上記とまったく同じになります。

```
*s Standby Active: On
** end
```

これは、デバイスに対してプログラミングしているときに、1 つのフォーマットのみを処理する必要があることを意味します。

例: フィードバックの登録を管理する

A: フィードバック式を登録する

```
タイプ:   xFeedback register /Status/Audio
結果:     ** end
          OK

タイプ:   xFeedback register /Event/CallDisconnect
結果:     ** end
          OK

タイプ:   xFeedback register /Configuration/Video/MainVideoSource
結果:     ** end
          OK
```

B: 現在登録されている式をリストアウトする

```
タイプ:   xFeedback list
結果:     /Configuration/Video/MainVideoSource
          /Event/CallDisconnect
          /Status/Audio
          ** end
          OK
```

C: フィードバック式を登録解除する

```
タイプ:   xFeedback deregister /Event/CallDisconnect
結果:     ** end
          OK

タイプ:   xFeedback deregister /Status/Audio
結果:     ** end
          OK
```

D: 新しいフィードバック式を一覧表示する

```
タイプ:   xFeedback list
結果:     /Configuration/Video/MainVideoSource
          ** end
          OK
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

HTTP を使用する

デバイスは、HTTP および HTTPS 経由でのコマンドと設定の送信をサポートしています。この方法で構成とステータスを取得することも可能です。このインターフェイスはコマンド回線と同じ API を露出しますが、XML 形式です。

HTTP XMLAPI 認証

ユーザーが XMLAPI にアクセスするには、「管理者」ロールを持つユーザーとして HTTP 基本アクセス認証を使用して認証する必要があります。未認証のリクエストは、基本アクセス認証チャレンジを含む 401 HTTP レスポンスを結果として出します。HTTP Basic アクセス認証の使用方法は、使用している HTTP ライブラリまたはツールによって異なります。

アプリケーションが API を通じて複数のコマンドを発行する場合、セッション認証を使用することを強くお勧めします（下記を参照）。標準の基本認証はリクエストごとに完全な再認証を行いますが、これはアプリケーションのパフォーマンスに影響を与える可能性があります。

HTTP XMLAPI セッション認証

API リクエストごとにユーザー名とパスワードの組み合わせを使用して認証すると、一部のユースケースで遅延が大きくなりすぎる場合があります。これを軽減するために、API はセッションベースの認証メカニズムをサポートしています。

セッションを開くには、`http://<ip-address>/xmlapi/session/begin` に基本アクセス認証で POST を発行します。応答は、後続の要求で使用できる SessionId-cookie を設定します。

API セッション認証を使用する場合、完了したらセッションを明示的に閉じることが重要であることに注意してください。これを行わないと、デバイスのセッションが不足する可能性があります。使用可能な同時セッションの数には限りがあり、使用されなくなってもすぐにはタイムアウトしないためです。詳細は `xConfiguration Security Session InactivityTimeout` を参照してください。

デバイスを再起動すると、すべてのセッションが無効になります。

URL チートシート

API over HTTP にアクセスする際に使う主な URL を次の表に示します。

Method	URL	Description
GET	http://<ip-address>/status.xml	完全なステータス文書
GET	http://<ip-address>/configuration.xml	完全な構成文書
GET	http://<ip-address>/command.xml	完全なコマンド文書
GET	http://<ip-address>/valuespace.xml	完全な値スペース文書
GET	http://<ip-address>/getxml?location=<path>	パスに基づいてドキュメントを取得する
POST	http://<ip-address>/putxml	HTTP 本文の設定と命令

例: HTTP XMLAPI セッションの開始

リクエスト:

```
POST /xmlapi/session/begin
HTTP/1.1
Authorization: Basic
<Base64 encoded
authentication string>
```

レスポンス:

```
HTTP/1.1 204 No Content
Server: nginx/1.8.0
Connection: keep-alive
Set-Cookie: SessionId=f081
02c8ce5aaf8fba23a7238cc2ef-
464b990e18bfbb7fb048820c0e2
8955c54; Path=/; HttpOnly
```

このセッションは、デバイスの同時セッション制限に対してカウントされます。

開いているセッションで、SessionId クッキーを次のリクエストに提供します。ツール/ライブラリがこれを自動的に行う場合があります。

例: HTTP XMLAPI セッションの使用

リクエスト:

```
GET /configuration.xml
HTTP/1.1
Cookie: SessionId=f08102c8ce
5aaf8fba23a7238cc2ef464b990e
18bfbb7fb048820c0e28955c54
```

レスポンス:

```
HTTP/1.1 200 OK
Server: nginx/1.8.0
Content-Type: text/xml;
charset=UTF-8
Content-Length: 43549
Connection: keep-alive
<?xml version="1.0"?>
<Configuration
product="Cisco Codec"
version="ce8.2.0"
apiVersion="4"> ...
</Configuration>
```

使用後にセッションを閉じるには、提供されたクッキーと共に `http://<ip-address>/xmlapi/session/end` に POST を発行します。

例: HTTP XMLAPI セッションの終了

リクエスト:

```
POST /xmlapi/session/end
HTTP/1.1
Cookie: SessionId=f08102c8ce
5aaf8fba23a7238cc2ef464b990e
18bfbb7fb048820c0e28955c54
```

レスポンス:

```
HTTP/1.1 204 No Content
Server: nginx/1.8.0
Connection: keep-alive
Set-Cookie: SessionId=;
Max-Age=0; Path=/; HttpOnly
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

状況と構成を取得する

例 1:
デバイス上のすべてのステータスエントリを取得する

```
http://<ip-address>/getxml?location=/Status
```

例 2:
デバイスのオーディオステータスのみを取得する

```
http://<ip-address>/getxml?location=/Status/
Audio
```

例 3:
デバイスのすべての構成を取得する

```
http://<ip-address>/getxml?location=/
Configuration
```

例 4:
デバイスのすべてのビデオ設定を取得する

```
http://<ip-address>/getxml?location=/
Configuration/Video
```

コマンドと設定を送信する

HTTP POST を使用する

設定とコマンドをデバイスに送信する場合、HTTP ヘッダーのコンテンツタイプが text/xml に設定されていることが重要です (例: `Content-Type: text/xml`)。POST の本文には XML コンテンツを含める必要があります。

複数行のコンテンツを入力して送信するには、<body> タグで囲みます。

例 1:
デバイス名の変更

要求

```
POST /putxml HTTP/1.1
Content-Type: text/xml

<Configuration>
  <SystemUnit>
    <Name>newName</Name>
  </SystemUnit>
</Configuration>
```

例 2:
カメラの位置の設定

要求

```
POST /putxml HTTP/1.1
Content-Type: text/xml

<コマンド>
  <カメラ>
    <PositionSet command="True">
      <CameraId>1</CameraId>
      <Pan>200</Pan>
      <Tilt>200</Tilt>
    </PositionSet>
  </Camera>
</コマンド>
```

応答

```
HTTP/1.1 200 OK
Content-Type: text/xml
コンテンツの長さ: 91

<?xml version="1.0"?>
<コマンド>
<CameraPositionSetResult item="1" status="OK"/>
</コマンド>
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

HTTP 経由でのデバイスからのフィードバック

API 状態の変更について、デバイスに http フィードバックメッセージ (Webhook とも呼ばれます)をポストさせることができます。例えば、ステータス、イベント、設定の更新などです。HTTP POST フィードバックメッセージは指定された ServerURL に送信されます。XML または JSON 形式のいずれかで投稿されるイベントを選択できます。最大 15 の異なるフィードバック式を登録することで、API の複数の部分の変更を登録できます。

フィードバックの登録

登録のためのコマンドは `xCommand HttpFeedback Register` です。このコマンドと引数の構文はこのセクションで説明されています。

HttpFeedback Register の構文:

```
xCommand HttpFeedback Register
    FeedbackSlot: <1..4>
    ServerUrl(r): <S: 1, 2048>
    Format: <XML/JSON>
    式: <S: 1, 255>
    式: <S: 1, 255>
    式: <S: 1, 255>
    式: <S: 1, 255>
    式: <S: 1, 255>
    式: <S: 1, 255>
    式: <S: 1, 255>
    式: <S: 1, 255>
    式: <S: 1, 255>
    式: <S: 1, 255>
    式: <S: 1, 255>
    式: <S: 1, 255>
    式: <S: 1, 255>
    式: <S: 1, 255>
    式: <S: 1, 255>
```

HttpFeedback 登録の引数:

フィードバックスロット: デバイスは HTTP フィードバックを要求するサーバーを最大 4 スロットまで登録できます。それらの一つに登録を設定します。

注: Cisco TelePresence Management Suite (TMS)が使用されている環境でのフィードバックスロット 3 の使用は避けてください。TMS はこのフィードバックスロットを使って式を登録するためです。

ServerUrl: デバイスが HTTP フィードバックメッセージを送信する先の HTTP サーバーの URL です。

形式: HTTP サーバーからのフィードバックの形式を XML または JSON に設定します。

式 1-15: XPath 式は、ステータス、設定、またはイベントドキュメントのどの部分を監視するかを指定します。1 から 15 個の XPath 式をもつことができます

フィードバックを希望する式を登録します。式の形式に関する詳細は、フィードバックメカニズム、ページ 43 を参照してください。

例: 構成の変更、切断イベント、通話状況の変更に関するフィードバックを登録する。

```
POST /putxml HTTP/1.1
Content-Type: text/xml

<コマンド>
  <HttpFeedback>
    <Register command="True">
      <FeedbackSlot>1</FeedbackSlot>
      <ServerUrl>http://127.0.0.1/
                myhttppostscripturl</ServerUrl>
      <Format>XML</Format>
      <Expression item="1">/Configuration</
                Expression>
      <Expression item="2">/Event/
                CallDisconnect</Expression>
     <Expression item="3">/Status/Call</
               Expression>
    </Register>
  </HttpFeedback>
</コマンド>
```

フィードバック出力

デバイスが変更について登録された HTTP サーバーに通知するとき、本体には、投票時と同じ XML が含まれます。ただし、1 つだけ小さな違いがあります。ルートノードには、通知が発信されたデバイスを指定する子を持つ `Identification` ノードが含まれます。これは、単一の HTTP サーバー URI で複数のデバイスを処理できることを意味します。

例: 音声の音量が変更された。

```
<Configuration xmlns="http://www.company.com/
XML/CUIL/2.0">
  <Identification>
    <SystemName>My Device Name</SystemName>
    <MACAddress>00:00:de:ad:be:ef</MACAddress>
    <IPAddress>192.168.1.100</IPAddress>
    <ProductType>Cisco Codec</ProductType>
    <ProductID>Cisco Codec Pro</ProductID>
    <SWVersion>RoomOS 10.3.1.3 d425380c40d</
SWVersion>
    <HWBoard>101401-5 [08]</HWBoard>
    <SerialNumber>PH0000000</SerialNumber>
  </Identification>
  <Audio item="1">
    <Volume item="1">60</Volume>
  </音声>
</Configuration>
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

ターミナルモードから XML への変換

コマンドを変換中

XML コマンドは、ターミナル コマンドと同じ構造を維持しますが、階層を記述するために、親子関係を使用します。この構造は以下の例で見ることができます。

例 1: 通話のセットアップ

ターミナル

```
xCommand ダイヤル番号: "12345" プロトコル: H323
```

XML

```
<コマンド>
  <Dial command="True">
    <Number>12345</Number>
    <Protocol>H323</Protocol>
  </Dial>
</コマンド>
```

例 2: 音量を指定する

ターミナル

```
xCommand Audio Volume Set Level: 50
```

XML

```
<コマンド>
  <Audio>
    <Volume>
      <Set command="True">
       <Level>50</Level>
      </Set>
    </Volume>
  </Audio>
</コマンド>
```

設定を変換する

xConfiguration から XML への変換はコマンドに似ていますが、配列のインデックスを指定するための特別な属性 item="NN" が追加されています。

例: ビデオ入力コネクタ 2 の入力ソースタイプを設定する

ターミナル

```
xConfiguration Video Input Connector 2
InputSourceType: camera
```

XML

```
<Configuration>
 <Video>
  <Input>
   <Connector item="2">
    <InputSourceType>camera</InputSourceType>
   </Connector>
  </Input>
 </Video>
</Configuration>
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

すべきこととしてはいけないこと

デバイスの API をプログラミングするときのベストプラクティスを次に示します。

完全なコマンドを使用する

プログラミング中は常に完全なコマンドを使用する必要があります。つまり、xconf vid の代わりに `xConfiguration Video` を常に使用してください。ショートカットは、コマンド回線の API での検索に使用できますが、プログラミングには使用できません。これは、API にコマンドが追加されると、あいまいなコードになる可能性があるためです。

不必要なフィードバックを登録しないでください

フィードバックの登録が多すぎると、コントロールアプリケーションが混雑する場合があります。フィードバックの量は現在のバージョンでは問題ないように見えるかもしれませんが、フィードバックの量は今後のリリースで増える可能性があります。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

第 3 章

xConfiguration コマンド

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration コマンドの説明

この章では、xConfiguration コマンドの完全なリストを見ることができます。

アプリ設定 62
xConfiguration Apps WallpaperBundles HalfwakeImage 62

音声設定 62
xConfiguration Audio ConnectorSetup 62
xConfiguration Audio DefaultVolume 63
xConfiguration Audio Ethernet Encryption 63
xConfiguration Audio Ethernet SAPDiscovery Address 63
xConfiguration Audio Ethernet SAPDiscovery Mode 64
xConfiguration Audio Input ARC [n] Mode 64
xConfiguration Audio Input Ethernet [n] Channel [1..8] Gain 65
xConfiguration Audio Input Ethernet[n] Channel[1..4] Level 65
xConfiguration Audio Input Ethernet [n] Channel [1..8] Level 66
xConfiguration Audio Input Ethernet[n] Channel[1..4] Mode 66
xConfiguration Audio Input Ethernet [n] Channel [1..8] Mode 67
xConfiguration Audio Input Ethernet[n] Channel[1..4] Pan 67
xConfiguration Audio Input Ethernet [n] Channel [1..8] Pan 67
xConfiguration オーディオ入力イーサネット [n] チャンネル [1..4] ゾーン 68
xConfiguration Audio Input Ethernet [n] Channel [1..8] Zone 68
xConfiguration Audio Input Ethernet [n] EchoControl Mode 69
xConfiguration Audio Input Ethernet [n] EchoControl NoiseReduction 69
xConfiguration Audio Input Ethernet [n] Equalizer ID 70
xConfiguration Audio Input Ethernet [n] Equalizer Mode 70
xConfiguration Audio Input Ethernet [n] Mode 70
xConfiguration 音声入力 HDMI [n] レベル 71
xConfiguration 音声入力 HDMI [n] ゲイン 71
xConfiguration Audio Input HDMI [n] Mode 71
xConfiguration Audio Input HDMI [n] VideoAssociation MuteOnInactiveVideo 72
xConfiguration 音声入力マイク [n] チャンネル 72
xConfiguration 音声入力マイク [n] EchoControl モード 73
xConfiguration Audio Input Microphone [n] EchoControl Dereverberation 73
xConfiguration Audio Input Microphone [n] EchoControl NoiseReduction 74
xConfiguration 音声入力 マイク [n] イコライザー ID 74
xConfiguration 音声入力 マイク [n] イコライザー モード 74
xConfiguration Audio Input Microphone [n] Level 75
xConfiguration Audio Input Microphone [n] Gain 75
xConfiguration 音声入力マイク [n] モード 76
xConfiguration Audio Input Microphone [n] MuteOverride 76
xConfiguration Audio Input Microphone [n] Pan 77
xConfiguration Audio Input Microphone [n] PhantomPower 77
xConfiguration Audio Input Microphone [n] VideoAssociation MuteOnInactiveVideo 77
xConfiguration Audio Input Microphone [n] VideoAssociation VideoInputSource 78
xConfiguration 音声入力マイク [n] ゾーン 78
xConfiguration Audio Input MicrophoneMode 79
xConfiguration Audio Microphones BeamMix Inputs 79
xConfiguration 音声入力 USBC [n] レベル 80
xConfiguration 音声入力 USBC [n] ゲイン 80
xConfiguration Audio Input USBC [n] Mode 80
xConfiguration Audio Input USBC [n] VideoAssociation MuteOnInactiveVideo 81
xConfiguration Audio Input USBInterface [n] EchoControl Mode 81
xConfiguration Audio Input USBInterface [n] Level 82
xConfiguration Audio Input USBInterface [n] Gain 82
xConfiguration 音声入力 USB インタフェース [n] モード 82
xConfiguration 音声入力 USB インタフェース [n] ゾーン 82
xConfiguration Audio Input USBMicrophone [n] EchoControl Mode 83
xConfiguration Audio Input USBMicrophone [n] Gain 83
xConfiguration 音声入力 USB マイク [n] レベル 83
xConfiguration Audio Input USBMicrophone [n] Zone 84
xConfiguration 音声入力 WebView [n] モード 84
xConfiguration Audio Microphones AGC 84

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Audio Microphones HdmiPassthrough MuteButton ... 84
xConfiguration Audio Microphones NoiseRemoval Mode ... 85
xConfiguration 音声マイクミュート有効 ... 85
xConfiguration Audio Microphones NearTalkerSector Mode ... 86
xConfiguration Audio Microphones PhantomPower ... 86
xConfiguration Audio Microphones UsbPassthrough MuteButton ... 86
xConfiguration Audio Microphones VoiceActivityDetector Mode ... 87
xConfiguration 音声出力 ARC [n] Delay DelayMs ... 87
xConfiguration Audio Output ARC [n] Delay Direct DelayMs ... 87
xConfiguration 音声出力 ARC [n] 遅延モード ... 87
X 構成 音声出力 ARC [n] モード ... 88
xConfiguration オーディオ出力 ARC [n] 超音波 ... 88
xConfiguration Audio Output ConnectorSetup ... 88
xConfiguration Audio Output Ethernet[n] Delay DelayMs ... 89
xConfiguration Audio Output Ethernet [n] Delay Direct DelayMs ... 89
xConfiguration Audio Output Ethernet[n] Delay Mode ... 90
xConfiguration Audio Output Ethernet [n] Equalizer ID ... 90
xConfiguration Audio Output Ethernet [n] Equalizer Mode ... 90
xConfiguration オーディオ出力イーサネット [n] ゲイン ... 90
xConfiguration オーディオ出力イーサネット [n] レベル ... 91
xConfiguration Audio Output Ethernet [n] Mode ... 91
xConfiguration Audio Output HDMI [n] Delay DelayMs ... 92
xConfiguration オーディオ出力 HDMI [n] 遅延 ダイレクト遅延 Ms ... 92
xConfiguration Audio Output HDMI [n] Delay Mode ... 92
xConfiguration Audio Output HDMI [n] Level ... 92
xConfiguration 音声出力 HDMI [n] ゲイン ... 93
xConfiguration 音声出力 HDMI [n] モード ... 93
xConfiguration オーディオ出力 HDMI [n] 超音波 ... 94
xConfiguration Audio Output InternalSpeaker Mode ... 94
xConfiguration Audio Output Line [n] Channel ... 95
xConfiguration Audio Output Line [n] Delay DelayMs ... 95
xConfiguration Audio Output Line [n] Delay Direct DelayMs ... 95
xConfiguration Audio Output Line [n] Delay Mode ... 96
xConfiguration Audio Output Line [n] Equalizer ID ... 96
xConfiguration 音声出力回線 [n] イコライザーモード ... 96
X 構成 音声出力回線 [n] レベル ... 97
xConfiguration Audio Output Line [n] Gain ... 97
xConfiguration 音声出力回線 [n] モード ... 97
xConfiguration Audio Output Line [n] OutputType ... 98
xConfiguration オーディオ出力ライン [n] 超音波 ... 98
xConfiguration Audio Output USBC [n] Mode ... 98
xConfiguration オーディオ出力 USBInterface [n] 遅延 DelayMs ... 99
xConfiguration Audio Output USBInterface [n] Delay Direct DelayMs ... 99
xConfiguration オーディオ出力 USB インターフェース [n] 遅延モード ... 99
xConfiguration Audio Output USBInterface [n] Mode ... 99
xConfiguration オーディオ出力 USB インターフェース [n] 超音波 ... 100
xConfiguration 音声パンモード ... 100
xConfiguration Audio Panning HeadsetAnalog BinauralProcessing ... 100
xConfiguration Audio Panning HeadsetAnalog Mode ... 100
xConfiguration Audio Panning HeadsetUSB BinauralProcessing ... 101
xConfiguration Audio Panning HeadsetUSB Mode ... 101
xConfiguration Audio Placement ... 101
xConfiguration Audio SoundsAndAlerts DTMFFeedback ... 101
xConfiguration Audio SoundsAndAlerts RingTone ... 102
xConfiguration Audio SoundsAndAlerts RingVolume ... 102
xConfiguration Audio Ultrasound 最大音量 ... 102
xConfiguration 音声 USB モード ... 103
xConfiguration 音声 USB ボリュームコントロール キャプチャモード ... 103
xConfiguration Audio USB VolumeControl Capture Value ... 104
xConfiguration Audio USB VolumeControl Playback Mode ... 104
xConfiguration Audio USB VolumeControl Playback Value ... 105

Bluetooth の設定 ... 105
xConfiguration Bluetooth 許可 ... 105
xConfiguration Bluetooth カスタムビーコンデータ ... 105
xConfiguration Bluetooth カスタムビーコンモード ... 106
xConfiguration Bluetooth Enabled ... 106
xConfiguration Bluetooth LEAdvertisementOutputLevel ... 106

Bookings configuration ... 107
xConfiguration Bookings AdhocBooking BookAhead Enabled ... 107
xConfiguration Bookings AdhocBooking BookingTimeout ... 107
xConfiguration Bookings AdhocBooking Enabled ... 107
xConfiguration Bookings AllowDecline ... 107

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Bookings CheckIn AutoCheckInDuration 108
xConfiguration Bookings CheckIn Enabled 108
xConfiguration Bookings CheckIn WindowDuration 109
xConfiguration Bookings DeclinableBookingType 109
xConfiguration 予約の最大期間 109
xConfiguration Bookings ProtocolPriority 109

BYOD の設定 110
xConfiguration BYOD HidForwarding Enabled 110
xConfiguration BYOD QRCodePairing 110
xConfiguration BYOD TouchForwarding Enabled 110
xConfiguration BYOD USBCXapi 111

CallHistory の構成 111
xConfiguration CallHistory モード 111
xConfiguration CallHistory Recents DisplayName 111

カメラ設定 112
xConfiguration Cameras Background Enabled 112
xConfiguration Cameras Background UserImagesAllowed 112
xConfiguration Cameras Camera [n] AssignedSerialNumber 112
xConfiguration Cameras Camera [n] Backlight DefaultMode 113
xConfiguration Cameras Camera [n] Brightness Algorithm 113
xConfiguration Cameras Camera [n] Brightness DefaultLevel 114
xConfiguration Cameras Camera [n] Brightness Mode 114
xConfiguration Cameras Camera [n] ExcludedArea 115
xConfiguration Cameras Camera [n] Flip 115
xConfiguration Cameras カメラ [n] フォーカス モード 116
xConfiguration Cameras Camera [n] ガンマレベル 116
xConfiguration Cameras Camera [n] Gamma Mode 117
xConfiguration Cameras Camera [n] IrCutFilter Mode 117
xConfiguration Cameras Camera [n] IrCutFilter Threshold 118
xConfiguration Cameras Camera [n] Mirror 118
xConfiguration Cameras Camera [n] PtzAutoFraming 119
xConfiguration Cameras Camera [n] Standby Mode 119
xConfiguration Cameras Camera [n] VideoFormat 120
xConfiguration Cameras Camera [n] ホワイトバランスの補正レベル 120
xConfiguration Cameras Camera [n] Whitebalance Mode 121
xConfiguration Cameras Camera [n] Whitebalance Level 121
xConfiguration Cameras Camera ColorSaturation Level 121
xConfiguration カメラ カメラ露出補正レベル 122
xConfiguration Cameras Camera Framerate 122
xConfiguration Cameras PowerLine Frequency 122
xConfiguration Cameras PresenterTrack CameraPosition Pan 122
xConfiguration Cameras PresenterTrack CameraPosition Tilt 123
xConfiguration Cameras PresenterTrack CameraPosition Zoom 123
xConfiguration Cameras PresenterTrack Connector 123
xConfiguration Cameras PresenterTrack Enabled 123
xConfiguration カメラ PresenterTrack PresenterDetectedStatus 124
xConfiguration Cameras PresenterTrack TriggerZone 124
xConfiguration Cameras SpeakerTrack DefaultBehavior 125
xConfiguration Cameras SpeakerTrack Frames Mode 125
xConfiguration Cameras SpeakerTrack Frames RowConfiguration 126
xConfiguration Cameras SpeakerTrack GroupAndSpeaker Mode 126
xConfiguration Cameras SpeakerTrack HeadDetectorRange 126
xConfiguration Cameras SpeakerTrack MeetingZone Area 127
xConfiguration カメラ SpeakerTrack ミーティングゾーン モード 127
xConfiguration カメラ スピーカートラック マルチカメラ キャリブレーションモニタリング 127
xConfiguration Cameras SpeakerTrack ZoomRange MaxZoomFactor 128
xConfiguration Cameras SpeakerTrack Mode 128
xConfiguration Cameras SpeakerTrack Closeup 129
xConfiguration Cameras SpeakerTrack TrackingMode 129
xConfiguration カメラ SpeakerTrack Connector 検出モード 129
xConfiguration Cameras SpeakerTrack ConnectorDetection CameraLeft 130
xConfiguration Cameras SpeakerTrack ConnectorDetection CameraRight 130
xConfiguration Cameras SpeakerTrack Whiteboard Mode 130
xConfiguration カメラの立体視モード 130

会議設定 131
xConfiguration Conference AutoAnswer Mode 131
xConfiguration Conference AutoAnswer Mute 131
xConfiguration Conference AutoAnswer Delay 131
xConfiguration 電話会議プロトコル IP スタック 131
xConfiguration Conference CapsetFilter 132
xConfiguration Conference DefaultCall Protocol 132

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Conference DefaultCall Rate ... 132
xConfiguration Conference DefaultCall Webex Rate ... 133
xConfiguration Conference Diagnostics DegradedQualityNotifications ... 133
xConfiguration Conference DoNotDisturb DefaultTimeout ... 133
xConfiguration Conference Diagnostics StreamStatusOverlay ... 134
xConfiguration Conference EmbeddedApp NotificationsOnly ... 134
xConfiguration 会議暗号化モード ... 134
xConfiguration Conference EndToEndEncryption Identity PreferredDomain ... 135
xConfiguration Conference FarEndControl Mode ... 135
xConfiguration Conference FarEndControl SignalCapability ... 135
xConfiguration Conference FarendMessage Mode ... 136
xConfiguration Conference HideNonVideo OnCall Mode ... 136
xConfiguration Conference JoinLeaveNotifications ... 136
xConfiguration Conference MaxReceiveCallRate ... 136
xConfiguration Conference MaxTransmitCallRate ... 137
xConfiguration Conference MaxMultisiteReceiveRate ... 137
xConfiguration Conference MaxMultisiteTransmitRate ... 138
xConfiguration Conference MicUnmuteOnDisconnect Mode ... 138
xConfiguration 会議マルチポイントモード ... 139
xConfiguration Conference MultiStream Mode ... 139
xConfiguration Conference IncomingMultisiteCall Mode ... 139
xConfiguration Conference PeopleFocus OnCall Mode ... 140
xConfiguration Conference Presentation OnPlacedOnHold ... 140
xConfiguration Conference Presentation RelayQuality ... 140
xConfiguration Conference Webex CallProtocolIPStack ... 141

施設サービスの構成 ... 141
xConfiguration FacilityService Service [n] CallType ... 141
xConfiguration FacilityService Service [n] Name ... 141
xConfiguration FacilityService Service [n] Number ... 142
xConfiguration FacilityService Service [n] Type ... 142

ファイル設定 ... 142
xConfiguration Files Services OneDrive TemporaryPersonalSignIn ... 142
xConfiguration Files Services Webex SaveToUser ... 142

GPIO の設定 ... 143
xConfiguration GPIO ピン [n] モード ... 143

H323 の設定 ... 143
xConfiguration H323 認証モード ... 143
xConfiguration H323 Authentication LoginName ... 143
xConfiguration H323 認証パスワード ... 144
xConfiguration H323 通話設定モード ... 144
xConfiguration H323 Encryption AES256Support ... 144
xConfiguration H323 暗号化キーサイズ ... 144
xConfiguration H323 ゲートキーパーアドレス ... 145
xConfiguration H323 H323Alias E164 ... 145
xConfiguration H323 H323Alias ID ... 145
xConfiguration H323 NAT モード ... 146
xConfiguration H323 NAT アドレス ... 146
xConfiguration H323 PortAllocation ... 147

HttpClient 設定 ... 147
xConfiguration HttpClient Mode ... 147
xConfiguration HttpClient AllowHTTP ... 147
xConfiguration HttpClient AllowInsecureHTTPS ... 148
xConfiguration HttpClient UseHttpProxy ... 148

HttpFeedback 設定 ... 148
xConfiguration HttpFeedback TlsVerify ... 148
xConfiguration HttpFeedback UseHttpProxy ... 149

ロギングの設定 ... 149
xConfiguration Logging CloudUpload Mode ... 149
xConfiguration Logging Debug Bluetooth ... 149
xConfiguration Logging Debug Wifi ... 150
xConfiguration Logging External Mode ... 150
xConfiguration Logging External Protocol ... 150
xConfiguration Logging External Server Address ... 150
xConfiguration Logging External Server Port ... 151
xConfiguration Logging External TlsVerify ... 151
xConfiguration Logging Internal Mode ... 151
xConfiguration ロギングモード ... 151

マクロ 設定 ... 152
xConfiguration Macros EvaluateTranspiled ... 152

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration マクロモード 152
xConfiguration Macros AutoStart 152
xConfiguration Macros Diagnostics JavascriptErrors 153
xConfiguration マクロ QuickJSEngine 153
xConfiguration Macros UnresponsiveTimeout 153

MicrosoftTeams の構成 154
xConfiguration MicrosoftTeams Diagnostics ShowUnsupportedConsoleNotification 154
xConfiguration MicrosoftTeams CVI CrossTenant 154
xConfiguration MicrosoftTeams ログレベル 154
xConfiguration MicrosoftTeams ログモード 155
xConfiguration MicrosoftTeams Zoom CrossLaunch 155

ネットワークの設定 155
xConfiguration ネットワーク [n] DNS DNSSEC モード 155
xConfiguration Network [n] DNS Domain Name 155
xConfiguration Network [n] DNS Server [m] Address 156
xConfiguration Network [n] Firewall Incoming H323 156
xConfiguration ネットワーク [n] ファイアウォール受信ペアリング 156
xConfiguration ネットワーク [n] ファイアウォール 着信 SIP 156
xConfiguration Network [n] FQDN 157
xConfiguration Network [n] IEEE8021X Mode 157
xConfiguration ネットワーク [n] IEEE8021X TlsVerify 157
xConfiguration Network [n] IEEE8021X UseClientCertificate 158
xConfiguration Network [n] IEEE8021X アイデンティティ 158
xConfiguration ネットワーク [n] IEEE8021X パスワード 158
xConfiguration Network [n] IEEE8021X AnonymousIdentity 158
xConfiguration Network [n] IEEE8021X Eap Md5 159
xConfiguration Network [n] IEEE8021X Eap Ttls 159
xConfiguration Network [n] IEEE8021X Eap Tls 159
xConfiguration Network [n] IEEE8021X Eap Peap 159
xConfiguration Network [n] IPStack 160
xConfiguration Network [n] IPv4 の割り当て 160
xConfiguration ネットワーク [n] IPv4 アドレス 160
xConfiguration ネットワーク [n] IPv4 ゲートウェイ 161
xConfiguration Network [n] IPv4 InterfaceIdentifier 161
xConfiguration ネットワーク [n] IPv4 サブネットマスク 161
xConfiguration Network [n] IPv6 Assignment 162
xConfiguration Network [n] IPv6 Address 162
xConfiguration Network [n] IPv6 ゲートウェイ 162
xConfiguration Network [n] IPv6 DHCPOptions 163
xConfiguration Network [n] IPv6 InterfaceIdentifier 163
xConfiguration Network [n] MTU 164
xConfiguration Network [n] QoS Mode 164
xConfiguration Network [n] QoS Diffserv Audio 164
X 構成 ネットワーク [n] QoS Diffserv ビデオ 165
xConfiguration Network [n] QoS Diffserv Data 165
xConfiguration Network [n] QoS Diffserv Signalling 166
xConfiguration Network [n] QoS Diffserv ICMPv6 166
xConfiguration ネットワーク [n] QoS Diffserv NTP 167
xConfiguration Network [n] RemoteAccess Allow 167
xConfiguration ネットワーク [n] 速度 168
xConfiguration ネットワーク [n] トラフィック制御モード 168
xConfiguration ネットワーク [n] VLAN 音声モード 169
xConfiguration Network [n] VLAN Voice VlanId 169

NetworkServices 構成 170
X 構成 ネットワークサービス CDP モード 170
xConfiguration ネットワークサービス共通プロキシ 170
xConfiguration NetworkServices DiscoveryProtocol SystemName 170
X 構成 ネットワークサービス H323 モード 170
X 構成 ネットワークサービス HTTP モード 171
xConfiguration NetworkServices HTTP プロキシ認証方法 171
xConfiguration NetworkServices HTTP プロキシ ログイン名 171
xConfiguration NetworkServices HTTP Proxy Mode 172
xConfiguration NetworkServices HTTP プロキシ PACUrl 172
xConfiguration NetworkServices HTTP プロキシ パスワード 172
xConfiguration NetworkServices HTTP プロキシ URL 173
xConfiguration ネットワークサービス HTTPS OCSP モード 173
xConfiguration ネットワークサービス HTTPS OCSP URL 173
xConfiguration NetworkServices HTTPS Server MinimumTLSVersion 173
xConfiguration NetworkServices HTTPS StrictTransportSecurity 174
xConfiguration NetworkServices HTTPS VerifyClientCertificate 174
X 構成 ネットワークサービス LLDP モード 174

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

X 構成 ネットワークサービス NTP モード ... 175
xConfiguration NetworkServices NTP サーバ [n] アドレス ... 175
xConfiguration NetworkServices NTP サーバ [n] キー ... 175
xConfiguration NetworkServices NTP サーバー [n] KeyId ... 175
xConfiguration NetworkServices NTP Server [n] KeyAlgorithm ... 176
xConfiguration NetworkServices PTP 優先順位 ... 176
X 構成 ネットワークサービス SIP モード ... 176
X 構成 ネットワークサービス SMTP モード ... 176
xConfiguration NetworkServices SMTP サーバ ... 177
xConfiguration NetworkServices SMTP ポート ... 177
xConfiguration NetworkServices SMTP ユーザ名 ... 177
xConfiguration NetworkServices SMTP パスワード ... 177
xConfiguration NetworkServices SMTP From ... 178
xConfiguration NetworkServices SMTP セキュリティ ... 178
xConfiguration NetworkServices SNMP CommunityName ... 178
X 構成 ネットワークサービス SNMP モード ... 179
xConfiguration NetworkServices SNMP SysNameSource ... 179
xConfiguration ネットワークサービス SNMP システム連絡先 ... 179
xConfiguration NetworkServices SNMP SystemLocation ... 179
xConfiguration NetworkServices SSH KeyExchangeAlgorithms AllowLegacy ... 180
X 構成 ネットワークサービス SSH モード ... 180
xConfiguration NetworkServices SSH HostKeyAlgorithm ... 180
xConfiguration NetworkServices UPnP モード ... 181
xConfiguration ネットワークサービス UPnP タイムアウト ... 181
xConfiguration NetworkServices Websocket ... 181
xConfiguration NetworkServices WelcomeText ... 181
xConfiguration NetworkServices Wifi Allowed ... 182
xConfiguration NetworkServices Wifi Settings FrequencyBand ... 182
xConfiguration ネットワークサービス Wi-Fi 有効 ... 183
xConfiguration NetworkServices XMLAPI モード ... 183

周辺機器の設定 ... 183
xConfiguration 周辺機器 ActivePen 有効 ... 183
xConfiguration 周辺機器 InputDevice モード ... 183
xConfiguration Peripherals Pairing CiscoTouchPanels EmcResilience ... 184
xConfiguration Peripherals Pairing CiscoTouchPanels HttpProxy ... 184
xConfiguration Peripherals Pairing CiscoTouchPanels RemotePairing ... 184
xConfiguration Peripherals Profile Cameras ... 185
xConfiguration Peripherals Profile Cameras ... 185
xConfiguration Peripherals Profile ControlSystems ... 185
xConfiguration 周辺機器プロファイル マイク アナログ ... 186
xConfiguration Peripherals Profile Microphones Ethernet ... 186
xConfiguration Peripherals Profile Microphones USBMicrophone ... 186
xConfiguration 周辺機器プロファイルマイク USB インターフェース ... 187
xConfiguration 周辺機器プロファイル ネットワークスイッチ ... 187
xConfiguration Peripherals Profile TouchPanels ... 187
xConfiguration Peripherals Security Certificates SyncToPeripherals Enabled ... 188

電話帳の設定 ... 188
xConfiguration 電話帳サーバ [n] ID ... 188
xConfiguration Phonebook Server [n] ページネーション ... 189
xConfiguration Phonebook Server [n] TlsVerify ... 189
xConfiguration 電話帳サーバ [n] タイプ ... 190
xConfiguration 電話帳サーバ [n] URL ... 190

プロビジョニングの構成 ... 190
xConfiguration Provisioning Connectivity ... 190
xConfiguration Provisioning CUCM CallManagementRecords CallDiagnostics ... 190
xConfiguration Provisioning ExternalManager Address ... 191
xConfiguration Provisioning ExternalManager AlternateAddress ... 191
xConfiguration Provisioning ExternalManager Protocol ... 191
xConfiguration Provisioning ExternalManager Path ... 191
xConfiguration Provisioning ExternalManager Domain ... 192
xConfiguration Provisioning Mode ... 192
xConfiguration Provisioning LoginName ... 193
xConfiguration プロビジョニングパスワード ... 193
xConfiguration Provisioning RoomType CameraLayout ... 193
xConfiguration Provisioning TlsVerify ... 194
xConfiguration Provisioning WebexEdge ... 194

Proximity の設定 ... 195
xConfiguration Proximity AlternatePort Enabled ... 195
xConfiguration 近接通信モード ... 195

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration 近接通信サービス通話制御 ... 196
xConfiguration Proximity Services ContentShare FromClients ... 196
xConfiguration Proximity Services ContentShare ToClients ... 196

RemoteAccess 設定 ... 197
xConfiguration RemoteAccess Mode ... 197
xConfiguration RemoteAccess ShowTapIndicator ... 197

RoomAnalytics 設定 ... 197
xConfiguration RoomAnalytics AmbientNoiseEstimation Interval ... 197
xConfiguration RoomAnalytics 周囲ノイズ推定モード ... 197
xConfiguration RoomAnalytics PeopleCountOutOfCall ... 198
xConfiguration RoomAnalytics PeoplePresenceDetector ... 198
xConfiguration RoomAnalytics PeoplePresence Input HeadDetector ... 199
xConfiguration RoomAnalytics PeoplePresence Input Ultrasound ... 199
xConfiguration RoomAnalytics 残響時間間隔 ... 199
xConfiguration RoomAnalytics 残響時間モード ... 200
xConfiguration RoomAnalytics RoomInUse InCall ... 200
xConfiguration RoomAnalytics RoomInUse LocalUsage ... 200
xConfiguration RoomAnalytics T3AlarmDetection モード ... 201
xConfiguration RoomAnalytics T3AlarmDetection タイムアウト ... 201

RoomCleanup の構成 ... 201
xConfiguration RoomCleanup AutoRun ContentType TemporaryAccounts ... 201
xConfiguration RoomCleanup AutoRun ContentType WebData ... 201
xConfiguration RoomCleanup AutoRun ContentType Whiteboards ... 202
xConfiguration RoomCleanup AutoRun HourOfDay ... 202

RoomScheduler 設定 ... 202
xConfiguration RoomScheduler BookingTimeout ... 202
xConfiguration RoomScheduler Enabled ... 203
xConfiguration UserInterface RoomScheduler OverlayOpacity ... 203
xConfiguration UserInterface RoomScheduler State Available Color ... 203
xConfiguration UserInterface RoomScheduler State Busy Color ... 203
xConfiguration UserInterface RoomScheduler State Pending Color ... 204

セキュリティ設定 ... 204
xConfiguration セキュリティ監査ログモード ... 204
xConfiguration Security Audit OnError Action ... 205
xConfiguration セキュリティ監査サーバアドレス ... 205
xConfiguration セキュリティ監査サーバポート ... 205
xConfiguration セキュリティ監査サーバーのポート割り当て ... 205
xConfiguration セキュリティ CSR キーサイズ ... 206
xConfiguration Security Enrollment KeySize ... 206
xConfiguration セキュリティ Fips モード ... 206
xConfiguration Security Session FailedLoginsLockoutTime ... 206
xConfiguration Security Session InactivityTimeout ... 207
xConfiguration Security Session MaxFailedLogins ... 207
xConfiguration Security Session MaxSessionsPerUser ... 207
xConfiguration Security Session MaxTotalSessions ... 207
xConfiguration Security Session ShowLastLogon ... 208
xConfiguration Security Xapi WebSocket ApiKey Allowed ... 208

センサー設定 ... 208
xConfiguration センサー レーダー モード ... 208
xConfiguration センサー超音波モード ... 208

シリアルポートの構成 ... 209
xConfiguration SerialPort Mode ... 209
xConfiguration SerialPort BaudRate ... 209
xConfiguration SerialPort LoginRequired ... 210
xConfiguration SerialPort アウトバウンドモード ... 210
xConfiguration SerialPort Outbound Port [n] BaudRate ... 211
xConfiguration SerialPort 送信ポート [n] 説明 ... 211
xConfiguration シリアルポート送信ポート [n] パリティ ... 211

SIP の設定 ... 212
xConfiguration SIP ANAT ... 212
xConfiguration SIP 認証ユーザ名 ... 212
xConfiguration SIP 認証パスワード ... 212
xConfiguration SIP DefaultTransport ... 212
xConfiguration SIP DisplayName ... 213
xConfiguration SIP Ice DefaultCandidate ... 213
xConfiguration SIP Ice モード ... 213
xConfiguration SIP 回線 ... 213
xConfiguration SIP ListenPort ... 214

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration SIP メールボックス ... 214
xConfiguration SIP MinimumTLSVersion ... 214
xConfiguration SIP 優先 IP シグナリング ... 214
xConfiguration SIP プロキシ [n] アドレス ... 215
xConfiguration SIP TlsVerify ... 215
xConfiguration SIP TransportSecurity CertificateVerificationMode ... 216
xConfiguration SIP Turn Server ... 216
xConfiguration SIP Turn UserName ... 216
xConfiguration SIP Turn Password ... 217
xConfiguration SIP タイプ ... 217
xConfiguration SIP URI ... 217

スタンバイ構成 ... 218
xConfiguration Standby BootAction ... 218
xConfiguration Standby BrightnessDelay ... 218
xConfiguration スタンバイコントロール ... 218
xConfiguration スタンバイ遅延 ... 218
xConfiguration スタンバイハーフウェイクスクリーンセーバー ... 219
xConfiguration Standby Level DeepSleep Delay ... 219
xConfiguration Standby Level DeepSleep Mode ... 219
xConfiguration Standby Level Networked Delay ... 220
xConfiguration Standby Level Networked Mode ... 220
xConfiguration Standby Halfwake Mode ... 220
xConfiguration スタンバイサイネージ音声 ... 220
xConfiguration スタンバイ サイネージ インタラクション モード ... 221
xConfiguration Standby Signage Mode ... 221
xConfiguration Standby Signage RefreshInterval ... 221
xConfiguration Standby Signage Url ... 221
xConfiguration Standby StandbyAction ... 222
xConfiguration Standby WakeupAction ... 222
xConfiguration Standby WakeupAtMeetingStart ... 222
xConfiguration Standby WakeupOnPairing ... 222
xConfiguration Standby WakeupOnMotionDetection ... 223

SystemUnit 設定 ... 223
xConfiguration SystemUnit Name ... 223
xConfiguration SystemUnit BroadcastName ... 223
xConfiguration SystemUnit CrashReporting Advanced ... 224
xConfiguration SystemUnit CrashReporting Mode ... 224
xConfiguration SystemUnit CrashReporting URL ... 224
xConfiguration SystemUnit CustomDeviceId ... 224
xConfiguration SystemUnit Extension MouseSupport ... 225
xConfiguration システムユニットハードウェア USBC [n] モード ... 225
xConfiguration SystemUnit SoftwareUpgrade Provider ... 225
xConfiguration SystemUnit ソフトウェアアップグレード TruncateCop ... 225
xConfiguration SystemUnit SoftwareUpgrade WebCache モード ... 226
xConfiguration SystemUnit SoftwareUpgrade WebCache Url ... 226

ThousandEyes の構成 ... 226
xConfiguration ThousandEyes の ConnectionString ... 226

時間設定 ... 227
xConfiguration Time DateFormat ... 227
xConfiguration Time TimeFormat ... 227
xConfiguration タイムゾーン ... 227
xConfiguration Time OfficeHours Enabled ... 229
xConfiguration Time OfficeHours OutsideOfficeHours Standby AutoWakeup ... 229
xConfiguration Time OfficeHours OutsideOfficeHours Standby Delay ... 229
xConfiguration Time OfficeHours WorkDay End ... 229
xConfiguration Time OfficeHours WorkDay Start ... 230
xConfiguration Time OfficeHours WorkWeek Monday ... 230
xConfiguration Time OfficeHours WorkWeek Tuesday ... 230
xConfiguration Time OfficeHours WorkWeek Wednesday ... 230
xConfiguration Time OfficeHours WorkWeek Thursday ... 231
xConfiguration Time OfficeHours WorkWeek Friday ... 231
xConfiguration Time OfficeHours WorkWeek Saturday ... 231
xConfiguration Time OfficeHours WorkWeek Sunday ... 231

ユーザーインターフェイス設定 ... 232
xConfiguration UserInterface Accessibility IncomingCallNotification ... 232
xConfiguration UserInterface Accessibility ScreenReader Default Mode ... 232
xConfiguration UserInterface Accessibility ScreenReader Gesture ... 232
xConfiguration ユーザインターフェースのアクセシビリティ スクリーンリーダーの速度 ... 232
xConfiguration UserInterface Assistant Mode ... 233
xConfiguration UserInterface Assistant ProactiveMeetingJoin ... 233
xConfiguration UserInterface Bookings AdhocBooking DefaultTitle ... 233

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration ユーザインタフェースブッキング 臨時ブッキング TimeSlotSize ... 233
xConfiguration UserInterface Bookings AdhocBooking UseDefaultTitle ... 234
xConfiguration UserInterface Bookings Visibility AllDayMeetings ... 234
xConfiguration UserInterface Bookings Visibility EarlyJoin ... 234
xConfiguration UserInterface Bookings Visibility NonJoinableMeetings ... 234
xConfiguration UserInterface Bookings Visibility JoinedParticipants Avatars ... 235
xConfiguration UserInterface Bookings Visibility MeetingReminder ... 235
xConfiguration UserInterface Bookings Visibility Organizer ... 235
xConfiguration UserInterface Bookings Visibility Personal FullDayCalendar ... 235
xConfiguration UserInterface Bookings Visibility Personal NonJoinableMeetings ... 236
xConfiguration UserInterface Bookings Visibility TentativeMeetings ... 236
xConfiguration UserInterface Bookings Visibility Title ... 236
xConfiguration UserInterface Branding AwakeBranding Colors ... 236
xConfiguration UserInterface CameraControl Presets Mode ... 237
xConfiguration UserInterface ContactInfo Type ... 237
xConfiguration UserInterface CustomMessage ... 237
xConfiguration UserInterface DecemberThemeBeta ... 238
xConfiguration ユーザ インタフェース 端末 カスタマイズ QR コード 通知 ... 238
xConfiguration UserInterface Features Share MTRAutoSelectSource ... 238
xConfiguration UserInterface InstantMeeting Invite ... 238
xConfiguration ユーザインターフェース WallpaperFillMode ... 239
xConfiguration UserInterface CustomWallpaperOverlay ... 239
xConfiguration UserInterface Diagnostics Notifications ... 239
xConfiguration UserInterface Features Calendar Start ... 239
xConfiguration UserInterface Features Call AudioMute ... 240
xConfiguration UserInterface Features Call CameraControls ... 240
xConfiguration ユーザインターフェイス機能 通話終了 ... 240
xConfiguration UserInterface Features Call HdmiPassthrough ... 240
xConfiguration UserInterface Features Call JoinGoogleMeet ... 241
xConfiguration UserInterface Features Call JoinMicrosoftTeamsCVI ... 241
xConfiguration UserInterface Features Call JoinMicrosoftTeamsDirectGuestJoin ... 242
xConfiguration UserInterface Features Call JoinZoom ... 242
xConfiguration UserInterface Features Call JoinWebex ... 242
xConfiguration ユーザインターフェイス機能 通話キーパッド ... 243
xConfiguration UserInterface Features Call LayoutControls ... 243
xConfiguration UserInterface Features Call MidCallControls ... 243
xConfiguration UserInterface Features Call MusicMode ... 243
xConfiguration UserInterface Features Call ParticipantList ... 244
xConfiguration UserInterface Features Call SelfviewControls ... 244
xConfiguration UserInterface Features Call Start ... 244
xConfiguration UserInterface Features Call VideoMute ... 244
xConfiguration UserInterface Features Call Webcam ... 245
xConfiguration UserInterface Features Files Start ... 245
xConfiguration UserInterface Features HideAll ... 245
xConfiguration UserInterface Features Share MTRShareExperience ... 245
xConfiguration UserInterface Features Share Start ... 246
xConfiguration UserInterface Features Whiteboard Start ... 246
xConfiguration UserInterface Help Tips ... 246
xConfiguration UserInterface HomeScreen Dashboard ... 246
xConfiguration ユーザインターフェース ホームスクリーン 周辺機器 WebApp AllowInsecureHttps ... 247
X 構成 ユーザインターフェイス ホーム画面 周辺機器 ウェブアプリの URL ... 247
xConfiguration UserInterface KeyTones Mode ... 247
xConfiguration UserInterface Kiosk Mode ... 247
xConfiguration UserInterface Kiosk URL ... 248
xConfiguration UserInterface Language ... 248
xConfiguration UserInterface LedControl Mode ... 248
xConfiguration UserInterface LedControl OutsideOfficeHours ... 248
xConfiguration UserInterface LiveAnnotation AvailabilityForPresenter ... 249
xConfiguration UserInterface LiveAnnotation Enabled ... 249
xConfiguration UserInterface LiveAnnotation EnabledOutOfCall ... 249
xConfiguration UserInterface MeetingJoin CVITenants ... 250
xConfiguration UserInterface MuteWarning ... 250
xConfiguration UserInterface NameAndSiteLabels Mode ... 250
xConfiguration UserInterface OSD EncryptionIndicator ... 250
xConfiguration UserInterface OSD HalfwakeMessage ... 251
xConfiguration UserInterface OSD Mode ... 251
xConfiguration UserInterface OSD Output ... 251
xConfiguration UserInterface Phonebook DefaultSearchFilter ... 252
xConfiguration UserInterface Phonebook Mode ... 252
xConfiguration UserInterface Proximity Notifications ... 252
xConfiguration UserInterface RoomScheduler AmbientTemperature Show ... 252
xConfiguration UserInterface RoomScheduler DevicePersonalization QRCodePairing ... 253
xConfiguration UserInterface RoomScheduler Mode ... 253
xConfiguration UserInterface RoomScheduler PeopleCount Current ... 253

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration UserInterface RoomStatusMenu Visibility ... 253
xConfiguration UserInterface ScreenLock Policy ... 254
xConfiguration UserInterface ScreenLock Workspace Allowed ... 254
xConfiguration ユーザインタフェースセキュリティモード ... 254
xConfiguration ユーザーインタフェース設定メニューモード ... 255
xConfiguration UserInterface SettingsMenu Visibility ... 255
xConfiguration UserInterface SoundEffects Mode ... 255
xConfiguration ユーザインタフェースのテーマ名 ... 255
xConfiguration ユーザインターフェイスの壁紙 ... 256
xConfiguration UserInterface WebcamOnlyMode ... 256
xConfiguration UserInterface Whiteboard ActivityIndicators ... 256
xConfiguration ユーザ インターフェース ホワイトボードの削除 ... 256
xConfiguration UserInterface Whiteboard ShareInCall ... 257

UserManagement 設定 ... 257
xConfiguration UserManagement LDAP Admin Filter ... 257
xConfiguration UserManagement LDAP Admin Group ... 257
xConfiguration ユーザ管理 LDAP 属性 ... 258
xConfiguration UserManagement LDAP BaseDN ... 258
xConfiguration ユーザ管理 LDAP バインド DN ... 258
xConfiguration UserManagement LDAP BindPassword ... 258
xConfiguration UserManagement LDAP Encryption ... 259
xConfiguration ユーザ管理 LDAP メンバー属性 ... 259
xConfiguration UserManagement LDAP MinimumTLSVersion ... 259
xConfiguration UserManagement LDAP Mode ... 260
xConfiguration UserManagement LDAP Server Address ... 260
xConfiguration UserManagement LDAP Server Port ... 260
xConfiguration UserManagement LDAP VerifyServerCertificate ... 261
xConfiguration UserManagement PasswordPolicy Complexity MinimumDigits ... 261
xConfiguration UserManagement PasswordPolicy Complexity MinimumLength ... 261
xConfiguration UserManagement PasswordPolicy Complexity MinimumLowercase ... 262
xConfiguration UserManagement PasswordPolicy Complexity MinimumSpecial ... 262
xConfiguration UserManagement PasswordPolicy Complexity MinimumUppercase ... 263
xConfiguration UserManagement PasswordPolicy MaxLifetime ... 263
xConfiguration UserManagement PasswordPolicy ReuseLimit ... 263

ビデオの設定 ... 264
xConfiguration Video ActiveSpeaker DefaultPIPPosition ... 264
xConfiguration Video DefaultLayoutFamily ローカル ... 264
xConfiguration Video DefaultLayoutFamily LocalContent ... 265
xConfiguration ビデオ DefaultLayoutFamily リモート ... 265
xConfiguration ビデオ DefaultMainSource ... 266
xConfiguration Video Input AirPlay Beacon ... 266
xConfiguration Video Input AirPlay DiscoveryInstructions NetworkName ... 267
xConfiguration Video Input AirPlay DiscoveryInstructions ShowNetworkInfo ... 267
xConfiguration ビデオ入力 AirPlay モード ... 268
xConfiguration ビデオ入力 AirPlay パスワード ... 268
xConfiguration Video Input AirPlay PresentationSelection ... 268
xConfiguration ビデオ入力 AirPlay セキュリティモード ... 269
xConfiguration Video Input CameraConfigMode ... 269
xConfiguration Video Input Connector [n] CameraControl CameraId ... 270
xConfiguration Video Input Connector [n] CameraControl Mode ... 270
xConfiguration ビデオ入力コネクタ [n] CEC モード ... 271
xConfiguration ビデオ入力コネクタ [n] HDCP モード ... 271
xConfiguration Video Input Connector [n] InputSourceType ... 272
xConfiguration ビデオ入力コネクタ [n] 最大解像度 ... 272
xConfiguration Video Input Connector [n] Name ... 273
xConfiguration ビデオ入力コネクタ [n] 最適定義プロファイル ... 273
xConfiguration Video Input Connector [n] OptimalDefinition Threshold60fps ... 274
xConfiguration Video Input Connector [n] PreferredResolution ... 274
xConfiguration Video Input Connector [n] PresentationSelection ... 275
xConfiguration ビデオ入力コネクタ [n] 品質 ... 276
xConfiguration Video Input Connector [n] RGBQuantizationRange ... 277
xConfiguration ビデオ入力コネクタ [n] 変換 ... 277
xConfiguration Video Input Connector [n] Visibility ... 278
xConfiguration Video Input Miracast Mode ... 278
xConfiguration Video Input Miracast MaxBitrate ... 279
xConfiguration Video Input Miracast Pin Length ... 279
xConfiguration Video Input Miracast PresentationSelection ... 279
xConfiguration ビデオ入力 Miracast 品質 ... 280
xConfiguration Video Input Miracast Transport ... 280
xConfiguration Video Monitors ... 281
xConfiguration ビデオ出力コネクタ [n] 明るさ ... 281
xConfiguration Video Output Connector [n] BrightnessMode ... 281
xConfiguration ビデオ出力コネクタ [n] CEC モード ... 282

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Video Output Connector[n] ContentType ... 282
xConfiguration ビデオ出力コネクタ [n] HDCPForce1_4 ... 283
xConfiguration ビデオ出力コネクタ [n] HDCPPolicy ... 283
xConfiguration Video Output Connector [n] Location HorizontalOffset ... 284
xConfiguration Video Output Connector [n] Location VerticalOffset ... 285
xConfiguration Video Output Connector [n] MonitorRole ... 286
xConfiguration Video Output Connector [n] Resolution ... 286
xConfiguration Video Output Connector [n] RGBQuantizationRange ... 287
xConfiguration ビデオ出力 HDMI パススルー可 ... 288
xConfiguration Video Output HDMI Passthrough HdmiUsbConverter Mode ... 288
xConfiguration Video Output HDMI Passthrough HdmiUsbConverter Name ... 289
xConfiguration Video Output HDMI Passthrough OutputConnector ... 289
xConfiguration Video Output HDMI Passthrough AutoDisconnect Enabled ... 290
xConfiguration Video Output HDMI Passthrough AutoDisconnect Delay ... 290
xConfiguration ビデオ出力 ミラーリングタイプ ... 290
xConfiguration Video Output Webcam USBMode ... 290
X 構成 ビデオ出力コネクタ [n] ホワイトバランスレベル ... 291
X 構成 ビデオプレゼンテーションのデフォルト PIP ポジション ... 291
xConfiguration Video Presentation DefaultSource ... 292
xConfiguration Video Presentation Priority ... 292
xConfiguration Video Selfview Default FullscreenMode ... 293
xConfiguration Video Selfview Default Mode ... 293
xConfiguration Video Selfview Default OnMonitorRole ... 294
xConfiguration Video Selfview Default PIPPosition ... 294
xConfiguration Video Selfview OnCall Mode ... 295
xConfiguration Video Selfview OnCall Duration ... 295

音声コントロールの構成 ... 295
xConfiguration VoiceControl ウェイクワード モード ... 295

Web エンジンの構成 ... 296
xConfiguration WebEngine Certificates RevocationChecks NetworkAccess ... 296
xConfiguration WebEngine Features AllowDeviceCertificate ... 296
xConfiguration WebEngine の機能 CanvasOopRasterization ... 296
xConfiguration WebEngine Features GpuRasterization ... 296
xConfiguration WebEngine Features LocalWebAppManagement ... 297
xConfiguration WebEngine Features Peripherals AudioOutput ... 297
xConfiguration WebEngine Features Peripherals WebGL ... 297
xConfiguration WebEngine Features WebGL ... 298
xConfiguration WebEngine Features SipUrlHandler ... 298
xConfiguration WebEngine Features Xapi Peripherals AllowedHosts Hosts ... 298
xConfiguration WebEngine FpsCounter ... 298
xConfiguration WebEngine MinimumTLSVersion ... 299
xConfiguration ウェブエンジンモード ... 299
xConfiguration WebEngine RemoteDebugging ... 299
xConfiguration WebEngine UseHttpProxy ... 299

Webex の設定 ... 300
xConfiguration Webex CloudProximity GuestShare ... 300
xConfiguration Webex CloudProximity 手動ペアリング ... 300
xConfiguration Webex CloudUpgrades モード ... 300
xConfiguration Webex DevicePersonalization 機能 ホワイトボード サインインが必要 ... 301
xConfiguration Webex DevicePersonalization TaskBasedSignIn ... 301
xConfiguration Webex Hotdesking DefaultBookingEndTime ... 301
xConfiguration Webex Meetings AIAssistantAutoSummarize が利用可能 ... 301
xConfiguration Webex Meetings HttpProxyForMedia Mode ... 302
xConfiguration Webex Meetings 参加プロトコル ... 302
xConfiguration Webex Meetings MeetingChat 通知モード ... 303
xConfiguration Webex Meetings ミーティングチャットプレビュー ... 303
xConfiguration Webex Privacy AllowUsageDataLogging ... 303
xConfiguration Webex Proximity Mode ... 304
xConfiguration Webex UpgradeChannel ... 304

WebRTC 設定 ... 304
xConfiguration WebRTC 終了通話タイムアウト ... 304
xConfiguration WebRTC インタラクションモード ... 305
xConfiguration WebRTC Provider MicrosoftTeams CompatibilityMode ... 305

ズームの設定 ... 305
xConfiguration Zoom DefaultDomain ... 305
xConfiguration Zoom DialStringOptions ... 305
xConfiguration Zoom EnhancedCallControls ... 306

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

アプリ設定

xConfiguration Apps WallpaperBundles HalfwakeImage

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

一部のシナリオでは、例えば、ユーザーインターフェイステーマ名が夜間に設定されている場合、ハーフウェイクモードで色付きの背景が表示されます。この設定でOffにして、常に黒の背景を使用することができます。

使用方法:

`xConfiguration Apps WallpaperBundles HalfwakeImage:` *`HalfwakeImage`*

値は次のとおりです。

`HalfwakeImage`:

Auto/Off

自動: 一部のシナリオでハーフウェイク モードで背景が色付けされます。

オフ: ハーフウェイクモードでは背景が黒になります。

デフォルト値:

Auto

音声設定

xConfiguration Audio ConnectorSetup

適用対象: RoomKitEQX CodecEQ

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

音声入力と出力を手動でセットアップするか、お使いのカメラの種類と接続されているスクリーンに基づいてビデオ デバイスに自動的に実行させるかを選択できます。

自動モードでは、音声入出力を手動で追加、更新、削除、または接続することはできません。そのため、次の API コマンド: xCommand Audio Setup *、xCommand Audio LocalInput *、xCommand Audio LocalOutput * には効果がありません。

手動モードから自動モードに切り替える場合: 既存の音声設定は消去され (xCommand 音声設定消去)、入力および出力グループは製品のデフォルト設定に従ってセットアップされます。音声出力 HDMI [n] モードおよび音声出力 ARC [1] モードの設定は、デフォルト値に設定されています。

自動モードから手動モードに切り替える場合: HDMI および ARC 出力コネクタはメイン出力グループに接続されます。音声出力 HDMI [n] モードおよび音声出力 ARC [1] モードの設定は変更されません。

AVIntegrator オプションが必要です。

使用方法:

`xConfiguration Audio ConnectorSetup:` *`ConnectorSetup`*

値は次のとおりです。

`ConnectorSetup`:

Auto/Manual

Auto: コーデックEQの場合、ビデオデバイスはカメラを通して、または HDMI 出力の 1 つに接続されたスクリーンを通して音声を再生します。ビデオ会議端末は、以下のリストで最初に利用可能なデバイスで音声を再生することを選択します。

1. カメラ コントロールがビデオ デバイスのカメラ コントロール コネクタの 1 つに接続され、HDMI がビデオ デバイスのカメラ入力 (HDMI 1 入力) に接続された Quad Camera。さらに、[音声出力 ARC [1] モード] および [ビデオ入力コネクタ [1] CEC モード] 設定をOnにする必要があります。カメラで音声を再生するには、HDMI 1 入力の音声リターン チャネル (ARC) が使用されます。
2. 音声出力 HDMI [1] モード設定がOnになっている場合、HDMI 1 出力に接続された画面。
3. 音声出力 HDMI [2] モード設定がOnになっている場合、HDMI 2 出力に接続された画面。
4. 音声出力 HDMI [3] モード設定がOnになっている場合、HDMI 3 出力に接続された画面。

クアッドカメラで音声が再生されると、ビデオデバイスは画面とカメラの間の遅延を確認して、カメラの音声を画面のビデオと同期できるようにします(リップ同期)。遅延を確認するために、ビデオデバイスは CEC (コンシューマー電子機器制御)を介して画面と通信します。上記のリストの最初の画面で、CEC をサポートし、Video Output Connector [n] CEC Mode が On に設定されているものが、遅延の評価に使用されます。

音声が画面を通して再生される場合、追加のリップシンクロの遅延は画面の責任です。ビデオデバイスによって遅延が発生することはありません。

Room Kit EQX の場合、Audio Output ARC [1] Mode および Audio Output InternalSpeaker Mode が On で、Audio Output Ethernet [2] Mode が On になっている場

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

合、ビデオデバイスはその統合スピーカーから音声を再生します。

Manual: Audio Console アプリケーションまたは API (xCommand Audio Local Input * および xCommand Audio LocalOutput *)を使用して、音声の入力と出力を手動でセットアップする必要があります。

Room Kit EQX では、コネクタが音声コンソールアプリケーションまたは API (xCommand Audio LocalOutput *)を使用して明示的に追加されている場合、接続された画面が音声出力に使用される場合があります。この場合、内蔵スピーカーシステムで再生される音声のステレオダウンミックスが画面で再生されます。超音波信号はスクリーンまたは回線出力では再生されず、統合型スピーカーシステムを通してのみ再生されます。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Audio DefaultVolume

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、ユーザー

スピーカーのデフォルトの音量を定義します。Desk シリーズを除くすべてのデバイスでは、デバイスの電源を入れるか再起動すると、音量はこのレベルに設定されます。Desk デバイスは、再起動後にも、ユーザーが設定した最後の音声レベルを記憶しています。

ユーザーインターフェイス上のコントロールまたは Audio Volume コマンドを使用して、通話中と通話外の両方の音量を変更できます。Audio Volume SetToDefault コマンドは、音量をデフォルト値にリセットします。

使用方法:

`xConfiguration Audio DefaultVolume:` *`DefaultVolume`*

値は次のとおりです。

`DefaultVolume`:

整数 (0..100)

範囲: 1 から 100 までの値を選択します。これは、-34.5 dBから15 dBまでのdB範囲に対応し、0.5 dBのステップで増減します。0 に設定すると、音声がOffになります。

デフォルト値:

50 *[RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk]*

70 *[Board BoardPro BoardProG2]*

xConfiguration Audio Ethernet Encryption

適用対象: CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

ビデオデバイスの内部ネットワークで暗号化されていない音声ストリームを許可するかどうかを決定します。

AES67 標準は暗号化されたメディア ストリームをサポートしないことに注意してください。そのため、AES67 音声を許可するには、この設定を Optional に設定する必要があります。

Codec EQ、Codec EQX、Room Bar Pro:AVIntegrator オプションが必要です。

使用方法:

`xConfiguration Audio Ethernet Encryption:` *`Encryption`*

値は次のとおりです。

`Encryption`:

Optional/Required

Optional: 暗号化されたメディア ストリームと暗号化されていないメディアストリームの両方を許可します。

Required: 暗号化されたメディアストリームのみを許可します。

デフォルト値:

Required

xConfiguration Audio Ethernet SAPDiscovery Address

適用対象: CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

ビデオデバイスがストリームアナウンスをリッスンし、自身のストリームをアナウンスするマルチキャストアドレスを設定します。周辺機器で必要な場合にのみ、この設定を変更してください。

Codec EQ、Codec EQX、Room Bar Pro:AVIntegrator オプションが必要です。

使用方法:

`xConfiguration Audio Ethernet SAPDiscovery Address:` *`"Address"`*

値は次のとおりです。

`Address`:

文字列 (0, 64)

ストリームアナウンスのための有効なマルチキャストアドレス。

デフォルト値:

239.255.255.255

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Audio Ethernet SAPDiscovery Mode

適用対象: CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ

ビデオデバイスは、SAP (ServiceAnnouncement Protocol) を使用した検出をサポートしています。そのため、有効にすると、ビデオ デバイスは、周辺機器によって通知されるストリームを検出し、自身のストリームを通知することができます。聴取され、アナウンスメントを送信する IP アドレスは、音声イーサネットの SAP 検出アドレス設定で決定されます。

Codec EQ、Room Bar Pro: AVIntegrator オプションが必要です。

使用方法:

`xConfiguration Audio Ethernet SAPDiscovery Mode:` *Mode*

値は次のとおりです。

Mode:

Off/On

Off: デバイスはストリームのアナウンスを聞いたり送信したりしません。

On: デバイスは、周辺機器によって通知されたストリームを検出し、自身のストリームを通知できます。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Audio Input ARC [n] Mode

適用対象: CodecPlus CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

各 HDMI 出力には、関連する音声リターンチャンネルがあります。ARC を使って、HDMI 出力に接続されている画面または TV の音声をビデオ会議端末に送信することができます。各 HDMI 出力コネクタ (n) について、音声送信を許可するかどうかを個別に決定することができます。

使用方法:

`xConfiguration Audio Input ARC [n] Mode:` *Mode*

値は次のとおりです。

n: ARC 入力を識別する一意の ID です。

Range: 1..2 *[CodecPlus]*

範囲: 1..3 *[CodecPro]*

範囲: Room 70 Dual G2 の場合は 3..3、Room 70 シングル G2 の場合は 2..3 *[Room70G2]*

範囲: 3..3 *[RoomPanorama/Room70Panorama]*

Mode:

Off/On

Off: HDMI 出力 n の ARC チャンネルを無効にします (音声はビデオデバイスに送信されません)。

On: HDMI 出力 n の ARC チャンネルを有効にします (音声はビデオデバイスに送信されます)。

デフォルト値:

On

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Audio Input Ethernet [n] Channel [1..8] Gain

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

イーサネット入力の指定チャンネルのゲインを設定します。例えば、マイクまたは音声インターフェイス。入力ごとに最大 8 チャンネルを許可し、ゲインは各チャンネルに対して個別に設定されます。

ゲインは、接続されている音声ソースの出力レベルに合うように調整する必要があります。ゲインは 1 dB 刻みで調整できます。ゲインの設定が高すぎる場合、音声信号がクリップされます。ゲインの設定が低すぎると、音声の S/N 比が低下します。しかし、これは通常、クリッピングよりも望ましい状態です。未処理の音声信号には通常、大きなレベル変動が含まれるため、十分な信号ヘッドルームを確保することが非常に重要であることに注意してください。

使用方法:

`xConfiguration` 音声入力イーサネット `[n]` チャンネル `[1..8]` ゲイン: *ゲイン*

値は次のとおりです。

n: 論理イーサネット入力を識別する一意の ID です。

範囲: 1..8 *[RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ BoardProG2]*

ゲイン:

整数 (0..70)

範囲: ゲインをデシベル (db) で選択します。

デフォルト値:

45

xConfiguration Audio Input Ethernet[n] Channel[1..4] Level

適用対象: RoomBar

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

マイクやオーディオ インターフェイスなどのイーサネット入力の指定されたチャネルのゲインを設定します。入力ごとに最大 4 チャンネルを許可し、ゲインは各チャンネルに対して個別に設定されます。

ゲインは、接続されている音声ソースの出力レベルに合うように調整する必要があります。ゲインは 1 dB 刻みで調整できます。ゲインの設定が高すぎる場合、音声信号がクリップされます。ゲインの設定が低すぎると、音声の S/N 比が低下します。しかし、これは通常、クリッピングよりも望ましい状態です。未処理の音声信号には通常、大きなレベル変動が含まれるため、十分な信号ヘッドルームを確保することが非常に重要であることに注意してください。

使用方法:

`xConfiguration` 音声入力 `Ethernet[n] Channel[1..4]` レベル: *レベル*

値は次のとおりです。

n: 論理イーサネット入力を識別する一意の ID です。

範囲: 1 *[RoomBar]*

Level:

整数 (0..70)

範囲: ゲインをデシベル (db) で選択します。

デフォルト値:

45

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Audio Input Ethernet [n] Channel [1..8] Level

適用対象: CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ

マイクや音声インタフェースなどのイーサネット入力の指定チャンネルのゲインを設定します。入力ごとに最大 8 チャンネルを許可し、ゲインは各チャンネルに対して個別に設定されます。

ゲインは、接続されている音声ソースの出力レベルに合うように調整する必要があります。ゲインは 1 dB 刻みで調整できます。ゲインの設定が高すぎる場合、音声信号がクリップされます。ゲインの設定が低すぎると、音声の S/N 比が低下します。しかし、これは通常、クリッピングよりも望ましい状態です。未処理の音声信号には通常、大きなレベル変動が含まれるため、十分な信号ヘッドルームを確保することが非常に重要であることに注意してください。

使用方法:

`xConfiguration 音声入力イーサネット [n] チャンネル [1..8] レベル: レベル`

値は次のとおりです。

n: 論理イーサネット入力を識別する一意の ID です。

範囲:1..8 *[CodecPro Room70G2 BoardPro]*

レンジ: 1..6 *[RoomPanorama/Room70Panorama]*

Level:

整数 (0..70)

範囲 : ゲインをデシベル (db) で選択します。

デフォルト値:

45

xConfiguration Audio Input Ethernet[n] Channel[1..4] Mode

適用対象: RoomBar

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ

イーサネット入力の指定チャンネルの音声を無効または有効にします。入力ごとに最大 4 チャンネルを許可し、モードはチャンネルごとに個別に設定します。

Audio Input Ethernet [n] Mode をOff に設定すると、個別のチャンネルモード設定の効果が上書きされます。

使用方法:

`xConfiguration Audio Input Ethernet[n] Channel[1..4] Mode: Mode`

値は次のとおりです。

n: 論理イーサネット入力を識別する一意の ID です。

範囲: 1 *[RoomBar]*

Mode:

Off/On

Off: このチャンネルからの音声を無効にします。

On: このチャンネルからの音声を有効にします。

デフォルト値:

オン

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Audio Input Ethernet [n] Channel [1..8] Mode

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

イーサネット入力の指定チャンネルの音声を無効または有効にします。入力ごとに最大 8 チャンネルを許可し、モードは各チャンネルに対して個別に設定します。

Audio Input Ethernet [n] Mode をOff に設定すると、個別のチャンネルモード設定の効果が上書きされます。

使用方法:

```
xConfiguration Audio Input Ethernet [n] Channel [1..8] Mode: Mode
```

値は次のとおりです。

n: 論理イーサネット入力を識別する一意の ID です。

範囲: 1..8 *[RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 BoardPro BoardProG2]*

レンジ: 1..6 *[RoomPanorama/Room70Panorama]*

Mode:

Off/On

Off: このチャンネルからの音声を無効にします。

On: このチャンネルからの音声を有効にします。

デフォルト値:

オン

xConfiguration Audio Input Ethernet[n] Channel[1..4] Pan

適用対象: RoomBar

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

この入力チャンネルがミックスされる先のミックスチャンネル (左または右) を設定します。シングルチャンネルミックスの場合、この設定は影響しません。

使用方法:

```
xConfiguration Audio Input Ethernet[n] Channel[1..4] Pan: Pan
```

値は次のとおりです。

n: 論理イーサネット入力を識別する一意の ID です。

範囲: 1 *[RoomBar]*

Pan:

左/モノラル/右

Left: 左のミックスチャンネルにパンします。

Right: 右のミックスチャンネルにパンする

Mono: 左右のチャンネルに均等にパンします。

デフォルト値:

Mono

xConfiguration Audio Input Ethernet [n] Channel [1..8] Pan

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

この入力チャンネルがミックスされる先のミックスチャンネル (左または右) を設定します。シングルチャンネルミックスの場合、この設定は影響しません。

使用方法:

```
xConfiguration Audio Input Ethernet [n] Channel [1..8] Pan: Pan
```

値は次のとおりです。

n: 論理イーサネット入力を識別する一意の ID です。

範囲: 1..8 *[RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 BoardPro BoardProG2]*

レンジ: 1..6 *[RoomPanorama/Room70Panorama]*

Pan:

左/モノラル/右

Left: 左のミックスチャンネルにパンします。

Right: 右のミックスチャンネルにパンする

Mono: 左右のチャンネルに均等にパンします。

デフォルト値:

Mono

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration オーディオ入力イーサネット [n] チャンネル [1..4] ゾーン

適用対象: RoomBar

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ

このコマンドは主にプレゼンタとオーディエンスの会議室のセットアップに使用されます。これは主に機能をセットアップするときに、Control Hub から使用されます。セットアップ中に、マイクがステージ (プレゼンタ)側に向くか、対象者側に向くかの情報を追加することをお勧めします。この情報により、ローカル、リモート、ハイブリッド プレゼンタ モード間でのより正確な自動切り替えが可能になります。

使用方法:

```
xConfiguration Audio Input Ethernet [n] Channel [1..4] Zone: Zone
```

値は次のとおりです。

n: 論理イーサネット入力を識別する一意の ID です。

範囲: 1 *[RoomBar]*

ゾーン:

整数 (1..3)

1: マイクの方向が使用されていない場合、この値を使用します。

2: マイクがステージ エリアに向くようにセットアップされている場合は、この値を使用します。

3. マイクが聴衆の方を向くようにセットアップされている場合は、この値を使用します。

デフォルト値:

1

xConfiguration Audio Input Ethernet [n] Channel [1..8] Zone

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

このコマンドは主にプレゼンタと対象者の会議室のセットアップに使用されます。これは主に機能をセットアップするときに、Control Hub から使用されます。セットアップ中に、マイクがステージ (プレゼンタ)側に向くか、対象者側に向くかの情報を追加することをお勧めします。この情報により、ローカル、リモート、ハイブリッド プレゼンタ モード間でのより正確な自動切り替えが可能になります。

使用方法:

```
xConfiguration Audio Input Ethernet [n] Channel [1..8] Zone: Zone
```

値は次のとおりです。

n: 論理イーサネット入力を識別する一意の ID です。

範囲: 1..8 *[RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 BoardPro BoardProG2]*

レンジ: 1..6 *[RoomPanorama/Room70Panorama]*

ゾーン:

整数 (1..3)

1: マイクの方向が使用されていない場合、この値を使用します。

2: マイクがステージ エリアに向くようにセットアップされている場合は、この値を使用します。

3. マイクが聴衆の方を向くようにセットアップされている場合は、この値を使用します。

デフォルト値:

1

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Audio Input Ethernet [n] EchoControl Mode

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

エコーキャンセラは、会議室の音声特性に合わせて継続的に調整し、音声環境で検出した変更を補償します。音声状態の変化が大きい場合、エコーキャンセラが再調整するのに 1、2 秒かかる場合があります。

使用方法:

`xConfiguration Audio Input Ethernet [n] EchoControl Mode: Mode`

値は次のとおりです。

n: 論理イーサネット入力を識別する一意の ID です。

範囲: 1..8 *[RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 BoardPro BoardProG2]*

レンジ: 1..6 *[RoomPanorama/Room70Panorama]*

範囲: 1 *[RoomBar]*

Mode:

Off/On

Off: エコーコントロールをOffにします。エコーキャンセリングが外部機器によって実行される場合に推奨されます。

On: エコーコントロールをOnにします。一般に、相手側が自分の音声を聞くことを防ぐ場合に推奨されます。選択すると、エコーキャンセリングは常に有効になります。

デフォルト値:

オン

xConfiguration Audio Input Ethernet [n] EchoControl NoiseReduction

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

ビデオデバイスにはノイズリダクション機能が内蔵されており、例えば、空調システムや冷却ファンなどの静止した背景ノイズを除去します。さらに、ハイパスフィルタ (Humfilter)は超低周波ノイズを除去します。ノイズ除去を使用するには、Audio Input Ethernet [n] EchoControl Mode が有効になっている必要があります。

使用方法:

`xConfiguration Audio Input Ethernet [n] EchoControl NoiseReduction: NoiseReduction`

値は次のとおりです。

n: 論理イーサネット入力を識別する一意の ID です。

範囲: 1..8 *[RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 BoardPro BoardProG2]*

レンジ: 1..6 *[RoomPanorama/Room70Panorama]*

範囲: 1 *[RoomBar]*

NoiseReduction:

Off/On

Off: ノイズ除去をOffにします。

On: ノイズ除去をOnにします。低周波ノイズがある場合に推奨。

デフォルト値:

オン

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Audio Input Ethernet [n] Equalizer ID

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

この入力に適用するイコライザープリセットを選択します。この入力に複数のチャンネルがある場合、処理はそれらすべてに等しく適用されます。

使用方法:

```
xConfiguration Audio Input Ethernet [n] Equalizer ID: ID
```

値は次のとおりです。

n: 論理イーサネット入力を識別する一意の ID です。

範囲: 1..8 *[RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 BoardPro BoardProG2]*

範囲: 1..6 *[RoomPanorama/Room70Panorama]*

範囲: 1 *[RoomBar]*

ID:

1/2/3/4/5/6/7/8

イコライザーのプリセット番号です。

デフォルト値:

1

xConfiguration Audio Input Ethernet [n] Equalizer Mode

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

この入力のイコライゼーション処理を有効または無効にします。

使用方法:

```
xConfiguration Audio Input Ethernet [n] Equalizer Mode: Mode
```

値は次のとおりです。

n: 論理イーサネット入力を識別する一意の ID です。

範囲: 1..8 *[RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 BoardPro BoardProG2]*

範囲: 1..6 *[RoomPanorama/Room70Panorama]*

範囲: 1 *[RoomBar]*

Mode:

Off/On

Off: イコライゼーション処理を適用しません。

On: イコライゼーション処理を適用します。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Audio Input Ethernet [n] Mode

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

このイーサネット入力からの音声を無効または有効にします。

この入力に複数のチャンネルがある場合は、Audio Input Ethernet [n] Channel [1..8] Mode 設定も参照してください。

使用方法:

```
xConfiguration Audio Input Ethernet [n] Mode: Mode
```

値は次のとおりです。

n: 論理イーサネット入力を識別する一意の ID です。

範囲: 1..8 *[RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 BoardPro BoardProG2]*

範囲: 1..6 *[RoomPanorama/Room70Panorama]*

範囲: 1 *[RoomBar]*

Mode:

Off/On

Off: この入力からのすべての音声を無効にします。

On: アクティブなチャンネルからの音声を有効にします。

デフォルト値:

オン

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration 音声入力 HDMI [n] レベル

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro Desk Board BoardPro

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

HDMI 入力コネクタのゲインを設定します。ゲインは 1 dB 刻みで調整できます。

使用方法:

`xConfiguration 音声入力 HDMI [n] レベル:` *レベル*

値は次のとおりです。

n: HDMI 入力を識別する一意の ID です。

範囲: 2..3 *[CodecPlus Room70/Room55D]*

範囲: 1..5 *[CodecPro]*

範囲: 1..1 *[RoomKit RoomKitMini RoomBar DeskPro Desk Board BoardPro BoardProG2]*

範囲: 1..2 *[Room55]*

範囲: 2..5 *[Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

Level:

整数 (-24..0)

範囲: ゲインをデシベル (db) で選択します。

デフォルト値:

-5

xConfiguration 音声入力 HDMI [n] ゲイン

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

HDMI 入力コネクタのゲインを設定します。ゲインは 1 dB 刻みで調整できます。

使用方法:

`xConfiguration 音声入力 HDMI [n] ゲイン:` *ゲイン*

値は次のとおりです。

n: HDMI 入力を識別する一意の ID です。

範囲: 1..3 *[RoomKitEQX CodecEQ]*

範囲: 1..1 *[RoomBarPro BoardProG2]*

ゲイン:

整数 (-24..0)

範囲: ゲインをデシベル (db) で選択します。

デフォルト値:

-5

xConfiguration Audio Input HDMI [n] Mode

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro Desk Board BoardPro BoardProG2

必要なユーザロール: ADMIN、INTEGRATOR

HDMI 入力コネクタの音声を有効にするかどうかを定義します。

使用方法:

`xConfiguration 音声入力 HDMI [n] モード:` *モード*

値は次のとおりです。

n: HDMI 入力を識別する一意の ID。

範囲: 2..3 *[CodecPlus Room70/Room55D]*

範囲: 1..3 *[RoomKitEQX CodecEQ]*

範囲: 1..5 *[CodecPro]*

範囲: 1..1 *[RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro DeskPro Desk Board BoardPro BoardProG2]*

範囲: 1..2 *[Room55]*

範囲: 2..5 *[Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

Mode:

Off/On

Off: HDMI 入力の音声を無効にします。

On: HDMI 入力で音声を有効にします。

デフォルト値:

オン

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Audio Input HDMI [n] VideoAssociation MuteOnInactiveVideo

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro Desk Board BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

この設定を使用して、同じソースからのビデオが相手側と共有されるかどうかにかかわらず、この HDMI コネクタに接続されているプレゼンテーションソースからの音声を相手側と共有するかどうかを決定します。

使用方法:

`xConfiguration Audio Input HDMI [n] VideoAssociation MuteOnInactiveVideo:` *`MuteOnInactiveVideo`*

値は次のとおりです。

n: HDMI 入力を識別する一意の ID です。

範囲: 2..3 *[CodecPlus Room70/Room55D]*

範囲: 1..3 *[RoomKitEQX CodecEQ]*

範囲: 1..5 *[CodecPro]*

範囲: 1..2 *[Room55]*

範囲: 2..5 *[Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

範囲: 1..1 *[RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro DeskPro Desk Board BoardPro BoardProG2]*

MuteOnInactiveVideo:

Off/On

Off: プレゼンテーションソースが接続されている場合、音声は常にローカルと相手の両方で再生されます。つまり、ローカルでビデオのみを共有している場合、またはビデオをまったく共有していない場合でも、音声は遠端に送信されます。

On: 音声は常に入力コネクタのビデオ共有に従います。ローカルでのみ共有している場合、音声はローカルでのみ再生されます。ビデオが相手と共有されている場合、音声も相手と共有されます。

デフォルト値:

On *[RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro CodecPlus Room55 Room70/Room55D DeskPro Desk Board BoardPro BoardProG2]*

HDMI 1: オフ HDMI 2、3]: オン *[RoomKitEQX CodecEQ]*

HDMI 1、2: オフ HDMI 3、4、5: オン *[CodecPro]*

HDMI 2: オフ HDMI 3、4、5: オン *[Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

xConfiguration 音声入力マイク [n] チャンネル

適用対象: CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

マルチチャンネルミックスを生成する際の入力信号のミックス方法を定義します。シングルチャンネルミックスの場合、この設定は影響しません。

この機能をサポートする他の製品については、音声入力マイク [n] パン設定を参照してください。

使用方法:

`xConfiguration 音声入力マイク [n] チャンネル:` *`チャンネル`*

値は次のとおりです。

n: マイク入力を識別する一意の ID。

範囲: 1..8

チャネル:

左/モノラル/右

左: ステレオミックスを生成するときに、左チャンネルにミックスされます。

モノラル: ステレオミックスを生成するときに、両方のチャンネルにミックスされます。

右: ステレオミックスを生成するときに、右チャンネルにミックスされます。

デフォルト値:

Mono

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration 音声入力マイク [n] EchoControl モード

適用対象: RoomKit RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

エコーキャンセラは、会議室の音声特性に合わせて継続的に調整し、音声環境で検出した変更を補償します。音声状態の変化が大きい場合、エコーキャンセラが再調整するのに 1、2 秒かかる場合があります。

使用方法:

`xConfiguration 音声入力マイク [n] EchoControl モード: *モード*`

値は次のとおりです。

n: マイク入力を識別する一意の ID。

範囲: 1..8 *[CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

範囲: 1..3 *[RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus Room70/Room55D]*

範囲: 2..3 *[RoomKit RoomBarPro Room55 BoardPro BoardProG2]*

範囲: 2..2 *[RoomBar]*

Mode:

Off/On

Off: エコーコントロールをOffにします。エコーキャンセリングが外部機器によって実行される場合に推奨されます。

On: エコーコントロールをOnにします。一般に、相手側が自分の音声を聞くことを防ぐ場合に推奨されます。選択すると、エコーキャンセリングは常に有効になります。

デフォルト値:

オン

xConfiguration Audio Input Microphone [n] EchoControl Dereverberation

適用対象 RoomKit RoomBar RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

ビデオ会議端末には、会議室の残響を軽減するための信号処理機能が内蔵されています。残響除去では、音声入力マイク [n] EchoControl モードが有効になっている必要があります。

使用方法:

`xConfiguration 音声入力マイク [n] EchoControl 残響除去: *残響除去*`

値は次のとおりです。

n: マイク入力を識別する一意の ID。

範囲: 1..8 *[CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

範囲: 1..3 *[RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus Room70/Room55D]*

範囲: 2..3 *[RoomKit Room55]*

範囲: 2..2 *[RoomBar]*

残響除去:

Off/On

Off: 残響除去をOffにします。

On: 残響除去をOnにします。

デフォルト値:

Off

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Audio Input Microphone [n] EchoControl NoiseReduction

適用対象: RoomKit RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

ビデオ会議端末にはノイズリダクション機能が内蔵されており、例えば、空調システムや冷却ファンなどの静止した背景ノイズを除去します。さらに、ハイパスフィルタ (Humfilter) は超低周波ノイズを除去します。ノイズ除去を使用するには音声入力マイク [n] EchoControl モードが有効になっている必要があります。

使用方法:

`xConfiguration Audio Input Microphone [n] EchoControl NoiseReduction: NoiseReduction`

値は次のとおりです。

n: マイク入力を識別する一意の ID。

範囲: 1..8 *[CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

範囲: 1..3 *[RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus Room70/Room55D]*

範囲: 2..3 *[RoomKit RoomBarPro Room55 BoardPro BoardProG2]*

範囲: 2..2 *[RoomBar]*

NoiseReduction:

Off/On

Off: ノイズ除去をOffにします。

On: ノイズ除去をOnにします。低周波ノイズがある場合に推奨。

デフォルト値:

オン

xConfiguration 音声入力 マイク [n] イコライザー ID

適用対象: RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

このマイクに適用するイコライザー プリセットを選択します。

使用方法:

`xConfiguration 音声入力マイク [n] イコライザー ID: ID`

値は次のとおりです。

n: マイク入力を識別する一意の ID。

範囲: 1..8 *[CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

範囲: 1..3 *[RoomKitEQX CodecEQ]*

ID:

1/2/3/4/5/6/7/8

イコライザーのプリセット番号です。

デフォルト値:

1

xConfiguration 音声入力 マイク [n] イコライザー モード

適用対象: RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

このマイク入力のイコライザー処理を有効または無効にします。

使用方法:

`xConfiguration Audio Input Microphone [n] Equalizer Mode: Mode`

値は次のとおりです。

n: マイク入力を識別する一意の ID。

範囲: 1..8 *[CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

範囲: 1..3 *[RoomKitEQX CodecEQ]*

Mode:

Off/On

Off: イコライゼーション処理を適用しません。

On: イコライゼーション処理を適用します。

デフォルト値:

Off

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Audio Input Microphone [n] Level

適用対象: RoomKit RoomBar CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

マイク入力コネクタのゲインを設定します。ゲインは、接続されている音声ソースの出力レベルに合うように調整する必要があります。ゲインは 1 dB 刻みで調整できます。

ゲインの設定が高すぎる場合、音声信号がクリップされます。ゲインの設定が低すぎると、音声の S/N 比が低下します。しかし、これは通常、クリッピングよりも望ましい状態です。

未処理の音声信号には通常、大きなレベル変動が含まれるため、十分な信号ヘッドルームを確保することが非常に重要であることに注意してください。

0 dBのゲインでの最大入力レベルは製品によります: -18 dBu (Room Bar、Room Kit、Codec Plus、Room 55、Room 70、Room 55 Dual)、24 dBu (Codec Pro、Room 70 G2)。

例: マイクの最大出力レベルが -44dBu で、かつ Codec Pro に接続されている場合、ゲインを 24dBu - (-44dBu) = 68dB に設定します。

使用方法:

`xConfiguration 音声入力マイク [n] レベル: Level`

値は次のとおりです。

n: マイク入力を識別する一意の ID。

範囲: 1..8 *[CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

範囲: 1..3 *[CodecPlus Room70/Room55D]*

範囲: 2..3 *[RoomKit Room55 BoardPro]*

範囲: 2..2 *[RoomBar]*

Level:

整数 (0..24) *[RoomKit RoomBar CodecPlus Room55 Room70/Room55D BoardPro]*

整数 (0..70) *[CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

範囲: ゲインをデシベル (db) で選択します。

デフォルト値:

14 *[RoomKit RoomBar CodecPlus Room55 Room70/Room55D BoardPro]*

58 *[CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

xConfiguration Audio Input Microphone [n] Gain

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

マイク入力コネクタのゲインを設定します。ゲインは、接続されている音声ソースの出力レベルに合うように調整する必要があります。ゲインは 1 dB 刻みで調整できます。

ゲインの設定が高すぎる場合、音声信号がクリップされます。ゲインの設定が低すぎると、音声の S/N 比が低下します。しかし、これは通常、クリッピングよりも望ましい状態です。

未処理の音声信号には通常、大きなレベル変動が含まれるため、十分な信号ヘッドルームを確保することが非常に重要であることに注意してください。

0 デシベルのゲインでの最大入力レベルは -18dBu です。

例: マイクの最大出力レベルが -40 dBu の場合、ゲインを -18 dBu - (-40 dBu) = 22 dB に設定します。

使用方法:

`xConfiguration Audio Input Microphone [n] Gain: Gain`

値は次のとおりです。

n: マイク入力を識別する一意の ID。

範囲: 1..3 *[RoomKitEQX CodecEQ]*

範囲: 2..3 *[RoomBarPro BoardProG2]*

ゲイン:

整数 (0..24)

範囲: ゲインをデシベル (db) で選択します。

デフォルト値:

20 *[RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ]*

14 *[BoardProG2]*

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration 音声入力マイク [n] モード

適用対象: RoomKit RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

マイク コネクタの音声を無効または有効にします。

Board Pro、Board Pro G2、Desk Mini、Desk、Desk Pro、Room Bar、Room Bar Pro、Room Kit、Room 55: マイク [1] はデバイスの内部マイクです。

使用方法:

`xConfiguration` 音声入力マイク `[n]` モード: *モード*

値は次のとおりです。

n: マイク入力を識別する一意の ID。

範囲: 1..8 *[CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

範囲: 1..3 *[RoomKit RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus Room55 Room70/Room55D BoardPro BoardProG2]*

範囲: 1..2 *[RoomBar]*

範囲: 1..1 *[DeskPro DeskMini Desk]*

Mode:

Off/On

Off: 音声入力マイクコネクタを無効にします。

On: 音声入力マイクコネクタを有効にします。

デフォルト値:

オン

xConfiguration Audio Input Microphone [n] MuteOverride

適用対象: CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

この設定は、Codec Pro のアナログ マイク入力専用です。

マイク入力を構成して、システムのメインのミュート状態 (つまり、通常のミュート ボタンで制御されるミュート状態) をオーバーライドします。

これにより、マイク入力をミュート解除し、アクティブなビデオ入力中にプレゼンテーション音声などを送信するための回線入力として使用することができます。

マイクが非アクティブなビデオ入力に関連付けられており、非アクティブなビデオ入力でミュートに設定されている場合、マイクはミュートされたままになることに注意してください。

例えば、アナログソースからの音声を提供する必要がある場合、一部のマイク入力を回線入力として転用する必要があります。

[ミュートオーバーライド] を使用しない場合、プレゼンテーションの再生中にプレゼンタがマイクをミュートすると、これらのプレゼンテーションソースからの音声は無音になります。

使用方法:

`xConfiguration Audio Input Microphone [n] MuteOverride:` *MuteOverride*

値は次のとおりです。

n: マイク入力を識別する一意の ID。

範囲: 1..8

ミュートのオーバーライド:

Off/On

Off: ミュート設定を上書きしません。

On: ミュート設定を上書きします。

デフォルト値:

Off

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Audio Input Microphone [n] Pan

適用対象: RoomKitEQX CodecEQ

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ

マルチチャンネルミックスを生成する際の入力信号のミックス方法を定義します。シングルチャンネルミックスの場合、この設定は影響しません。
この機能をサポートする他の製品については、音声入力マイク [n] チャンネル設定を参照してください。

使用方法:

```
xConfiguration Audio Input Microphone [n] Pan: Pan
```

値は次のとおりです。

n: マイク入力を識別する一意の ID。

範囲 : 1..3

Pan:

左/モノラル/右

左: ステレオミックスを生成するときに、左チャンネルにミックスされます。

モノラル: ステレオミックスを生成するときに、両方のチャンネルにミックスされます。

右: ステレオミックスを生成するときに、右チャンネルにミックスされます。

デフォルト値:

Mono

xConfiguration Audio Input Microphone [n] PhantomPower

適用対象: CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ

マイク入力でファンタム電源 (48 V +/- 1 V) を使用するかどうかを指定します。

使用方法:

```
xConfiguration Audio Input Microphone [n] PhantomPower: PhantomPower
```

値は次のとおりです。

n: マイク入力を識別する一意の ID。

範囲: 1..8

PhantomPower:

Off/On

Off: マイク入力のファンタム電源を無効にします。外部ミキサーなど、ファンタム電源を必要としない機器に接続する場合は、これを使用します。

On: マイク入力のファンタム電源を有効にします。Cisco テーブルマイクおよび Cisco シーリングマイクを含む、ファンタム電源を必要とするマイクに直接接続する場合、これを使用します。

デフォルト値:

オン

xConfiguration Audio Input Microphone [n] VideoAssociation MuteOnInactiveVideo

適用対象: RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ

マイクをビデオ入力コネクタに関連付けると、そのビデオ入力にビデオストリームまたはコンテンツがない場合にマイクが自動的にミュートになります。Audio Input Microphone [n] VideoAssociation VideoInputSource 設定を使用して、どのビデオ入力コネクタにマイクを関連付けるかを選択します。

使用方法:

```
xConfiguration Audio Input Microphone [n] VideoAssociation
MuteOnInactiveVideo: MuteOnInactiveVideo
```

値は次のとおりです。

n: マイク入力を識別する一意の ID。

範囲: 1..8 *[CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

範囲: 1..3 *[RoomKitEQX CodecEQ]*

MuteOnInactiveVideo:

Off/On

Off: マイクのミュート状態はビデオ入力の状態から独立しています。

On: 関連するビデオ入力にビデオストリームまたはコンテンツがない場合、マイクが自動的にミュートされます。

デフォルト値:

Off

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Audio Input Microphone [n] VideoAssociation VideoInputSource

適用対象: RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ

ビデオ入力コネクタを選択してマイクを関連付けます。

使用方法:

`xConfiguration Audio Input Microphone [n] VideoAssociation VideoInputSource: VideoInputSource`

値は次のとおりです。

n: マイク入力を識別する一意の ID。

範囲: 1..8 *[CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

範囲: 1..3 *[RoomKitEQX CodecEQ]*

ビデオ入力ソース:

1/2/3/4 [RoomKitEQX CodecEQ]

1/2/3/4/5/6 [CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]

マイクが関連付けられているビデオ入力コネクタです。

デフォルト値:

1

xConfiguration 音声入力マイク [n] ゾーン

適用対象: RoomKit RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ

このコマンドは主にプレゼンタとオーディエンスの会議室のセットアップに使用されます。これは主に機能をセットアップするときに、Control Hub から使用されます。セットアップ中に、マイクがステージ (プレゼンタ)側に向くか、対象者側に向くかの情報を追加することをお勧めします。この情報により、ローカル、リモート、ハイブリッド プレゼンタ モード間でのより正確な自動切り替えが可能になります。

使用方法:

`xConfiguration 音声入力マイク [n] ゾーン: ゾーン`

値は次のとおりです。

n: マイク入力を識別する一意の ID。

範囲: 1..8 *[CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

範囲: 1..3 *[RoomKit RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus Room55 Room70/Room55D BoardPro BoardProG2]*

範囲: 1..2 *[RoomBar]*

ゾーン:

整数 (1..3)

1: マイクの方向が使用されていない場合、この値を使用します。

2: マイクがステージ エリアに向くようにセットアップされている場合は、この値を使用します。

3. マイクが聴衆の方を向くようにセットアップされている場合は、この値を使用します。

デフォルト値:

1

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Audio Input MicrophoneMode

適用対象: DeskPro DeskMini Desk

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ

マイクモードが集中型の場合、マイクを組み合わせて音声感度をフォーカスできます。その結果、会議室のノイズが抑制され、デバイスの前に座っているユーザーの声も聞こえやすくなります。デバイスの前に座っていない人々の声が抑制されます。

マイク モードがワイドの場合、デバイスは他のデバイスと同様に動作します。あなたの隣に座っている人々の声が聞こえ、部屋からのノイズも多くなります。

自分だけが発言者の場合は、フォーカスモードを使用することをお勧めします。デバイスの前面に複数の発言者がある場合は、ワイド モードを使用します。

使用方法:

```
xConfiguration Audio Input MicrophoneMode: MicrophoneMode
```

値は次のとおりです。

マイクモード:

集中的な/ワイド

集中的な: 集中的な音声感度を設定し、デバイスの正面にないソースからの音声を抑制します。

広範囲モード: デフォルトのマイク動作で通常の音声感度です。

デフォルト値:

集中的な

xConfiguration Audio Microphones BeamMix Inputs

適用対象: RoomBarPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザロール: ADMIN、INTEGRATOR

デバイスの内部マイクアレイは、2つの主要な部分で構成されています: 近くの話者セクター (デバイスから約1.5mまでをカバー)と、デバイスから約4mまでをカバーする3つのビーム。デバイスは、外部アナログまたはデジタル マイクもサポートします。この設定は、ビームと外部マイク (アナログまたはデジタル (イーサネット))を同時に使用する可能性についてです。

通常、ビームと外部マイクを同時に許可しないこと、つまりこの設定を [自動] にしておくことをお勧めします。

ビームと外部マイクを同時に許可する場合、残響が増えることに注意してください。

使用方法:

```
xConfiguration Audio Microphones BeamMix Inputs: Inputs
```

値は次のとおりです。

入力:

Auto/BeamsAndExtMics/OnlyExtMics

自動: 1 つ以上の Cisco デジタル マイクが接続され、Cisco デジタル マイクのセットアップ ウィザードが完了すると、新しいスマート オーディオ ミキサーは内部ビームと Cisco デジタル マイクの両方を使用します。

その他のタイプの外部マイクの場合、内部ビームは無効になります。

BeamsAndExtMics: オーディオ ミキサーは、音声を拾うために常に内部ビームと外部マイクを使用します。Cisco デジタル マイクを使用する場合は、Cisco デジタル マイクの配置を考慮して、よりスマートなオーディオ ミキサーを提供する自動設定を使用することをお勧めします。

OnlyExtMics: 音声ピックアップには外部マイクのみを使用し、外部マイクが接続されていない場合は内部ビームにフォールバックします。

デフォルト値:

自動

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration 音声入力 USBC [n] レベル

適用対象: RoomBar DeskPro DeskMini Desk BoardPro

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

USB-C 入力コネクタのゲインを設定します。ゲインは 1 dB 刻みで調整できます。

使用方法:

`xConfiguration Audio Input USBC [n] Level:` *Level*

値は次のとおりです。

n: USB-C 入力を識別する一意の ID。

範囲: 1..1

Level:

整数 (-24..0)

利得をデシベル (db) で選択します。

デフォルト値:

-5

xConfiguration 音声入力 USBC [n] ゲイン

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

USB-C 入力コネクタのゲインを設定します。ゲインは 1 dB 刻みで調整できます。

使用方法:

`xConfiguration 音声入力 USBC [n] ゲイン:` *ゲイン*

値は次のとおりです。

n: USB-C 入力を識別する一意の ID。

範囲: 1..1

ゲイン:

整数 (-24..0)

ゲインをデシベル (db) で選択します。

デフォルト値:

-5

xConfiguration Audio Input USBC [n] Mode

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

USB-C 音声モードを設定します。

使用方法:

`xConfiguration Audio Input USBC [n] Mode:` *Mode*

値は次のとおりです。

n: USBC 入力を識別する一意の ID です。

範囲: 1..1

Mode:

Off/On

On: USB-C からの音声を許可します。

Off: USB-C からの音声を一切許可しません。

デフォルト値:

オン

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Audio Input USBC [n] VideoAssociation MuteOnInactiveVideo

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

この設定を使用して、同じソースからのビデオが相手側と共有されるかどうかにかかわらず、このUSB-C コネクタに接続されたプレゼンテーションソースからの音声を相手側と共有するかどうかを決定します。

使用方法:

```
xConfiguration Audio Input USBC [n] VideoAssociation MuteOnInactiveVideo: MuteOnInactiveVideo
```

値は次のとおりです。

n: USBC 入力を識別する一意の ID です。

範囲: 1..1

MuteOnInactiveVideo:

Off/On

Off: プレゼンテーションソースが接続されている場合、音声は常にローカルと相手の両方で再生されます。つまり、ローカルでビデオのみを共有している場合、またはビデオをまったく共有していない場合でも、音声は遠端に送信されます。

On: 音声は常に入力コネクタのビデオ共有に従います。ローカルでのみ共有している場合、音声はローカルでのみ再生されます。ビデオが相手と共有されている場合、音声も相手と共有されます。

デフォルト値:

オン

xConfiguration Audio Input USBInterface [n] EchoControl Mode

適用対象: RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

デバイスのエコー キャンセラは、会議室の音声特性に合わせて継続的に調整し、音声環境で検出した変更を補償します。音声状態の変化が大きい場合、エコーキャンセラが再調整するのに 1、2 秒かかる場合があります。

外部機器でエコーキャンセリングを実行する場合、指向性音声は Audio Panning Mode 設定を使用してOffにする必要があります。

使用方法:

```
xConfiguration Audio Input USBInterface [n] EchoControl Mode: Mode
```

値は次のとおりです。

n: USB インターフェイスを識別する一意の ID です。

範囲: 1..1

Mode:

Off/On

Off: デバイスのエコー キャンセリングをOffにします。エコーキャンセリングが外部機器によって実行される場合に推奨されます。

On: デバイスのエコー キャンセリングをOnにします。一般に、相手側が自分の音声を聞くことを防ぐ場合に推奨されます。選択すると、エコー キャンセリングは常にアクティブになります。

デフォルト値:

オン

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Audio Input USBInterface [n] Level

適用対象: CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

接続されている特定の USB デバイスの出力レベルに合うように、USB コネクタのゲインを設定します。USB デバイスの出力レベルは異なる場合があります。
ゲインは 1 dB 刻みで調整できます。

使用方法:

`xConfiguration 音声入力 USB インタフェース [n] レベル: Level`

値は次のとおりです。

n: USB インターフェイスを識別する一意の ID です。

範囲: 1..1

Level:

整数 (0..24)

ゲインをデシベル (db) で設定します。

デフォルト値:

5

xConfiguration Audio Input USBInterface [n] Gain

適用対象: RoomKitEQX CodecEQ

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

接続されている特定の USB デバイスの出力レベルに合うように、USB コネクタのゲインを設定します。USB デバイスの出力レベルは異なる場合があります。
ゲインは 1 dB 刻みで調整できます。

使用方法:

`xConfiguration Audio Input USBInterface [n] Gain: Gain`

値は次のとおりです。

n: USB インターフェイスを識別する一意の ID です。

範囲: 1..1

ゲイン:

整数 (0..24)

ゲインをデシベル (db) で設定します。

デフォルト値:

5

xConfiguration 音声入力 USB インタフェース [n] モード

適用対象: RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

USB コネクタの音声入力を無効または有効にします。

使用方法:

`xConfiguration 音声入力 USB インタフェース [n] モード: モード`

値は次のとおりです。

n: USB インターフェイスを識別する一意の ID です。

範囲: 1..1

Mode:

Off/On

Off: USB コネクタの音声入力を無効にします。

On: USB コネクタで音声入力を有効にします。

デフォルト値:

オン

xConfiguration 音声入力 USB インタフェース [n] ゾーン

適用対象: RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

このコマンドは主にプレゼンタとオーディエンスの会議室のセットアップに使用されます。これは主に機能をセットアップするときに、Control Hub から使用されます。セットアップ中に、マイクがステージ (プレゼンタ)側に向くか、対象者側に向くかの情報を追加することをお勧めします。この情報により、ローカル、リモート、ハイブリッド プレゼンタ モード間でのより正確な自動切り替えが可能になります。

使用方法:

`xConfiguration Audio Input USBInterface [n] Zone: Zone`

値は次のとおりです。

n: USB インターフェイスを識別する一意の ID です。

範囲: 1..1

ゾーン:

整数 (1..3)

1: マイクの方向が使用されていない場合、この値を使用します。

2: マイクがステージ エリアに向くようにセットアップされている場合は、この値を使用します。

3. マイクが聴衆の方を向くようにセットアップされている場合は、この値を使用します。

デフォルト値:

1

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Audio Input USBMicrophone [n] EchoControl Mode

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro Room55 DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

デバイスのエコー キャンセラは、会議室の音声特性に合わせて継続的に調整し、音声環境で検出した変更を補償します。音声状態の変化が大きい場合、エコーキャンセラが再調整するのに 1、2 秒かかる場合があります。

AEC 参照信号は常にデバイスから USB マイクに送信されます。エコー キャンセリングがデバイスまたは外部機器のどちらで実行されるかは関係ありません。

外部機器でエコーキャンセリングを実行する場合、指向性音声は Audio Panning Mode 設定を使用してOffにする必要があります。

使用方法:

`xConfiguration 音声入力 USB マイク [n] EchoControl モード:` *モード*

値は次のとおりです。

n: USB マイクを識別する一意の ID です。

範囲: 1..1

Mode:

Off/On

Off: デバイスのエコー抑制をOffにします。エコーキャンセリングが外部機器によって実行される場合に推奨されます。

On: デバイスのエコー キャンセリングをOnにします。一般に、相手側が自分の音声を聞くことを防ぐ場合に推奨されます。選択すると、エコー キャンセリングは常にアクティブになります。

デフォルト値:

オン

xConfiguration Audio Input USBMicrophone [n] Gain

適用対象: RoomBarPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

接続されている特定の USB マイクの出力レベルに合うように USB コネクタのゲインを設定します。USB マイクの出力レベルは変動する場合があります。

ゲインは 1 dB 刻みで調整できます。

使用方法:

`xConfiguration 音声入力 USB マイク [n] ゲイン:` *ゲイン*

値は次のとおりです。

n: USB マイクを識別する一意の ID です。

範囲: 1..1

ゲイン:

整数 (0..24)

ゲインをデシベル (db) で設定します。

デフォルト値:

5

xConfiguration 音声入力 USB マイク [n] レベル

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar Room55 DeskPro DeskMini Desk BoardPro

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

接続されている特定の USB マイクの出力レベルに合うように USB コネクタのゲインを設定します。USB マイクの出力レベルは変動する場合があります。

ゲインは 1 dB 刻みで調整できます。

使用方法:

`xConfiguration 音声入力 USB マイク [n] レベル:` *レベル*

値は次のとおりです。

n: USB マイクを識別する一意の ID です。

範囲: 1..1

Level:

整数 (0..24)

ゲインをデシベル (db) で設定します。

デフォルト値:

5

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Audio Input USBMicrophone [n] Zone

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro Room55 DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

このコマンドは主にプレゼンタとオーディエンスの会議室のセットアップに使用されます。これは主に機能をセットアップするときに、Control Hub から使用されます。セットアップ中に、マイクがステージ (プレゼンタ)側に向くか、対象者側に向くかの情報を追加することをお勧めします。この情報により、ローカル、リモート、ハイブリッド プレゼンタ モード間でのより正確な自動切り替えが可能になります。

使用方法:

`xConfiguration 音声入力 USB マイク [n] ゾーン: ゾーン`

値は次のとおりです。

n: USB マイクを識別する一意の ID です。

範囲: 1..1

ゾーン:

整数 (1..3)

1: マイクの方向が使用されていない場合、この値を使用します。

2: マイクがステージ エリアに向くようにセットアップされている場合は、この値を使用します。

3. マイクが聴衆の方を向くようにセットアップされている場合は、この値を使用します。

デフォルト値:

1

xConfiguration 音声入力 WebView [n] モード

適用対象: RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

埋め込みウェブブラウザ (WebView) からの音声再生を許可するかどうかを設定します。

使用方法:

`xConfiguration 音声入力 WebView [n] モード: モード`

値は次のとおりです。

n: WebView 入力を識別する一意の ID です。

範囲: 1..1

Mode:

Off/On

On: ウェブブラウザからの音声を許可します。

Off: ウェブブラウザからの音声の再生を許可しません。

デフォルト値:

オン

xConfiguration Audio Microphones AGC

適用対象: RoomKit RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

マイクの自動ゲイン コントロール (AGC) を有効または無効にします。

Codec EQ および AVIntegratorオプション付きの Room Kit EQX: 該当なし。

使用方法:

`xConfiguration Audio Microphones AGC: AGC`

値は次のとおりです。

AGC:

Off/On

Off: AGC を無効にします。外部ミキサーや DSP など、マイク信号に AGC がすでに適用されている機器に接続する場合は、これを使用します。

On: AGC を有効にします。

デフォルト値:

オン

xConfiguration Audio Microphones HdmiPassthrough MuteButton

適用対象: RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

ラップトップからの発信機能 ([ビデオ出力 HDMI パススルーの許可] が True に設定されている必要があります) を使用している場合、ミーティング アプリから音声をいつでもミュートできます。この設定を使用して、タッチコントローラおよび外部マイクからのミュートも許可するかどうかを構成します。ミーティング アプリは、ラップトップのマイクではなく、HDMI-USB コンバーター (キャプチャ デバイス) をマイクとして使用するようにセットアップする必要があります。

ミュートに関しては、タッチコントローラ/マイクはミーティング アプリと同期されないことに注意してください。そのため、会議室とミーティング アプリのミュート インジケーターは、常に実際のミュート状態を反映しているわけではありません。

Room 55 Dual および Room 70 Dual ではコンバーターに HDMI 出力がないため、この設定は利用できません。

使用方法:

`xConfiguration Audio Microphones HdmiPassthrough MuteButton: MuteButton`

値は次のとおりです。

ミュートボタン:

アクティブ/非アクティブ

Active: ユーザーはタッチコントローラのボタンまたはマイクを使用してミュートできます。

非アクティブ: ユーザーはタッチコントローラまたはマイクからミュートできません。物理的なボタンは無効になり、ユーザ インターフェイスにはミュート ボタンはありません。

デフォルト値:

アクティブ

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Audio Microphones NoiseRemoval Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

この設定を使用して、デバイスのノイズ除去機能を有効または無効にしたり、機能が有効になったときの既定の動作を定義します。有効な場合 ([有効] または [手動])、ユーザ インターフェイスにボタンが表示され、ユーザーがバックグラウンド ノイズの除去をOnまたはOffに切り替えることができます。また、API コマンドを使用してOnまたはOffを切り替えることもできます。

使用方法:

`xConfiguration` 音声マイク ノイズ除去モード: *モード*

値は次のとおりです。

Mode:

無効/有効/手動

無効: ノイズ除去機能がOffになり、ユーザ インターフェイスを介して、または API コマンドを送信することによってOnにすることはできません。

有効: ユーザインターフェイスのボタンを使用するか、API コマンドを送信することで、ノイズ除去をOnまたはOffにできます。ノイズ除去はデフォルトでOnになっています。Webex クラウドに登録されているパーソナル モード デバイスの場合、通話が終了したとき、またはデバイスを再起動したとき、ノイズ除去の状態は影響を受けません。ノイズ除去がOnの場合はOnのままになります。Offになっている場合はOffのままです。他のデバイスの場合、ノイズ除去の状態は、通話が終了するか、デバイスを再起動すると、デフォルトの状態 (On) に戻ります。

手動: ユーザ インターフェイスのボタンを使用するか、API コマンドを送信することで、ノイズ除去をOnまたはOffにできます。ノイズ除去はデフォルトでOffになっています。Webex クラウドに登録されているパーソナル モード デバイスの場合、通話が終了したとき、またはデバイスを再起動したとき、ノイズ除去の状態は影響を受けません。ノイズ除去がOnの場合はOnのままになります。Offになっている場合はOffのままです。他のデバイスの場合、ノイズ除去の状態は、通話が終了するか、デバイスを再起動すると、デフォルトの状態 (Off) に戻ります。

デフォルト値:

[有効 (Enabled)]

xConfiguration 音声マイクミュート有効

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

デバイスでマイクのミュート動作を定義します。

使用方法:

`xConfiguration Audio Microphones Mute Enabled:` *Enabled*

値は次のとおりです。

Enabled:

InCallOnly/True

True: 音声のミュートはいつでも利用できます。通常、マイクのミュート LED は通話の外では点灯しませんが、API コマンドを使用してミュートすることができます。

InCallOnly: 音声のミュートは、デバイスが通話中の場合にのみ利用できます。アイドル中は、マイクをミュートすることができません。これは、外付け電話サービス/音声システムがデバイス経由で接続されていて、デバイスが通話中でないときに利用したい場合に便利です。InCallOnly に設定すると、音声システムが誤ってミュートされるのを防ぎます。

デフォルト値:

True

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Audio Microphones NearTalkerSector Mode

適用対象: RoomBarPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

デバイスの内部マイクアレイは、2つの主要な部分で構成されています: 近くの話者セクター (デバイスから約1.5mまでをカバー)と、デバイスから約4mまでをカバーする3つのビーム。
この設定は、近くの話者セクターの有効化と使用に関するものです。

使用方法:

```
xConfiguration Audio Microphones NearTalkerSector Mode: Mode
```

値は次のとおりです。

Mode:

Off/On

Off: 発言者側のマイクが無効になります。そのため、このマイクからの音声は、会議室の最終的な音声ミックスを行う際には含まれません。

On: 近くの話者セクターのマイクは使用可能です。次の条件が満たされた場合、このマイクからピックアップされた音声は、会議室の最終的な音声ミックスを行う際に含まれることがあります: 近くの話者セクターで話している人が検出されます。

デフォルト値:

Off [RoomBarPro]

On [BoardPro BoardProG2]

xConfiguration Audio Microphones PhantomPower

適用対象: RoomKit RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus Room55 Room70/Room55D BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

マイク入力でファントムパワー (11 V +/- 1 V) を使用するかどうかを指定します。

使用方法:

```
xConfiguration Audio Microphones PhantomPower: PhantomPower
```

値は次のとおりです。

PhantomPower:

Off/On

Off: マイク入力のファンタム電源を無効にします。外部ミキサーなど、ファンタム電源を必要としない機器に接続する場合は、これを使用します。

On: マイク入力のファンタム電源を有効にします。Cisco テーブルマイクおよび Cisco シーリングマイクを含む、ファンタム電源を必要とするマイクに直接接続する場合、これを使用します。

デフォルト値:

オン

xConfiguration Audio Microphones UsbPassthrough MuteButton

適用対象: RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

ラップトップからの通話機能を使用する場合 (つまり、ラップトップ ミーティング アプリがデバイスのカメラ、マイク、スピーカーを使用している場合)、ユーザーは常にミーティング アプリから自分の音声をミュートできます。この設定を使用して、外部マイクおよびデバイス自体からのミュートも許可するかどうかを構成します。ラップトップのマイクの代わりにデバイスのマイクを使用するようにミーティング アプリをセットアップすることは、前提条件です。

ミュートに関しては、デバイスとマイクはミーティング アプリと同期されないことに注意してください。そのため、会議室とミーティング アプリのミュート インジケーターは、常に実際のミュート状態を反映しているわけではありません。

使用方法:

```
xConfiguration Audio Microphones UsbPassthrough MuteButton: MuteButton
```

値は次のとおりです。

ミュートボタン:

アクティブ/非アクティブ

アクティブ: ユーザーはデバイスのボタンとマイクを使用して音声をミュートできます。

非アクティブ: 人々はデバイスとマイクでミュートできません。物理的なボタンは無効になり、ユーザ インターフェイスにはミュート ボタンはありません。

デフォルト値:

アクティブ [RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ BoardPro BoardProG2]

非アクティブ [DeskPro DeskMini Desk]

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Audio Microphones VoiceActivityDetector Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

このデバイスは、拾った音声信号が音声なのか、あるいは単に周囲のノイズや他の音なのかを検出することができます。

音声が拾われたかどうかは、Audio Microphones VoiceActivityDetector Activity ステータスで報告されます。これは、例えばミーティングエリアで音声が検出された場合に報告するマクロを作成する場合などに役立ちます。

使用方法:

```
xConfiguration Audio Microphones VoiceActivityDetector Mode: Mode
```

値は次のとおりです。

Mode:

Off/On

Off: ピックアップされた音声信号が声かどうかを確認しません。

On: ピックアップした音声信号が声かどうかを確認し、対応するステータスで報告します。

デフォルト値:

Off

xConfiguration 音声出力 ARC [n] Delay DelayMs

適用対象: RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

リップ同期を取得するために、他の接続済みデバイス (例えば、テレビや外部スピーカーなど) の遅延を補償する追加の遅延を各 ARC 出力に設定することができます。ここで設定する遅延は、固定であるか、[音声出力 ARC [n] 遅延モード] 設定で定義されているように、外部モニタで測定または報告される遅延に関連するものです。

使用方法:

```
xConfiguration Audio Output ARC [n] Delay DelayMs: DelayMs
```

値は次のとおりです。

n: 音声 ARC 出力を識別する一意の ID です。

範囲: 1..1

DelayMs:

整数 (0..290)

ミリ秒単位の遅延。

デフォルト値:

0

xConfiguration Audio Output ARC [n] Delay Direct DelayMs

適用対象: CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

専用のダイレクト遅延をオーディオ出力に適用できます。これは、ダイレクト モードが有効になっている入力グループのすべての入力に影響します。この構成は、ローカル音響強化や音声リフトなどのシナリオに特に役立ちます。

使用方法:

```
xConfiguration Audio Output ARC [n] Delay Direct DelayMs: DelayMs
```

値は次のとおりです。

DelayMs:

整数 (0..290)

ミリ秒単位の遅延。

デフォルト値:

0

xConfiguration 音声出力 ARC [n] 遅延モード

適用対象: RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

Audio Output ARC [n] Delay DelayMs 設定で、音声 ARC 出力に追加の遅延を追加することができます。追加される遅延は、固定のミリ秒数、または外部モニタによって検出または報告された遅延に対するミリ秒数です。

使用方法:

```
xConfiguration Audio Output ARC [n] Delay Mode: Mode
```

値は次のとおりです。

n: 音声 ARC 出力を識別する一意の ID です。

範囲: 1..1

Mode:

Fixed/RelativeToHDMI

固定: 出力に追加される遅延 (DelayMs) は、固定のミリ秒数になります。

RelativeToHDMI: 出力に追加される追加の遅延 (DelayMs) は、外部モニタで検出された遅延または報告された遅延に相対的になります。実際の遅延は、検出遅延 + DelayMs です。Audio Output Connectors ARC [n] DelayMs ステータスは、実際の遅延をレポートします。

デフォルト値:

RelativeToHDMI *[RoomKitEQX CodecEQ CodecPro]*

固定 *[Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

X 構成 音声出力 ARC [n] モード

適用対象: RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ

HDMI [n] 入力コネクタで音声リターンチャネル (ARC) を有効にするかどうかを選択します。クアッド カメラで音声を再生する場合は、ARC 出力が有効になっている必要があります。

Room 70 G2 では、カメラは統合スピーカー システムの一部です。ARC 出力は有効にしておくことを推奨します。統合型スピーカー全体を無効にする場合は、[音声出力] [内部スピーカーモード] 設定を使用します。

使用方法:

`xConfiguration 音声出力 ARC [n] モード: モード`

値は次のとおりです。

n: 音声 ARC 出力を識別する一意の ID です。

範囲 : 1..1

Mode:

Off/On

Off: HDMI 入力の ARC 出力を無効にします。

On: HDMI 入力で ARC 出力を有効にします。

デフォルト値:

オン

xConfiguration オーディオ出力 ARC [n] 超音波

適用対象: CodecEQ CodecPro

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ

この構成により、このコネクタを通じて超音波を放射できるかどうかが決まります。

使用方法:

`xConfiguration Audio Output ARC [n] Ultrasound: Ultrasound`

値は次のとおりです。

超音波:

Auto/Off

自動: このコネクタを通じて超音波を放射できます。

オフ: このコネクタから超音波は放射されません。

デフォルト値:

自動

xConfiguration Audio Output ConnectorSetup

適用対象: CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ

音声入力と出力を手動でセットアップするか、お使いのカメラの種類と接続されているスクリーンに基づいてビデオデバイスに自動的に実行させるかを選択できます。

自動モードでは、音声入出力を手動で追加、更新、削除、または接続することはできません。そのため、次の API コマンド: xCommand Audio Setup *、xCommand Audio LocalInput *、xCommand Audio LocalOutput * には効果がありません。

手動モードから自動モードに切り替える場合: 既存の音声設定は消去され (xCommand 音声設定消去)、入力および出力グループは製品のデフォルト設定に従ってセットアップされます。音声出力 HDMI [n] モードおよび音声出力 ARC [1] モードの設定は、デフォルト値に設定されています。Codec Pro の場合、自動遅延測定が有効になっています。

自動モードから手動モードに切り替える場合: HDMI および ARC 出力コネクタはメイン出力グループに接続されます。音声出力 HDMI [n] モードおよび音声出力 ARC [1] モードの設定は変更されません。マイクのパススルーが Codec Pro または Room 70 G2 で有効になっている場合、マイクのパススルーが切断されます。Codec Pro の場合、遅延測定が停止されます。

使用方法:

`xConfiguration Audio Output ConnectorSetup: ConnectorSetup`

値は次のとおりです。

コネクタセットアップ:

自動/手動

Auto: Codec Pro の場合、ビデオ デバイスはカメラを通して、または HDMI 出力の 1 つに接続されたスクリーンを通して音声を再生します。ビデオ会議端末は、以下のリストで最初に利用可能なデバイスで音声を再生することを選択します。

1. カメラ コントロールがビデオ デバイスのカメラ コントロール コネクタの 1 つに接続され、HDMI がビデオ デバイスのカメラ入力 (HDMI 1 入力) に接続された Quad Camera。さらに、[音声出力 ARC [1] モード] および [ビデオ入力コネクタ [1] CEC モード] 設定をOnにする必要があります。カメラで音声を再生するには、HDMI 1 入力の音声リターン チャネル (ARC) が使用されます。
2. 音声出力 HDMI [1] モード設定がOnになっている場合、HDMI 1 出力に接続された画面。
3. 音声出力 HDMI [2] モード設定がOnになっている場合、HDMI 2 出力に接続された画面。
4. 音声出力 HDMI [3] モード設定がOnになっている場合、HDMI 3 出力に接続された画面。

クアッド カメラで音声が再生されると、ビデオ デバイスは画面とカメラの間の遅延を測定し、カメラの音声を画面のビデオと同期できるようにします (リップ同期)。遅延を測定するために、ビデオ デバイスは画面に信号を送信し、画面は音声リターン チャネルを使用して信号をビデオ デバイスに送り返します。CEC (コンシューマー電子機器制御) をサポートし、ビデオ出力コネクタ [n] の CEC モードがOnに設定されている上記のリストの最初の画面が遅延測定に使用されます。

音声が画面を通して再生される場合、追加のリップシンクロの遅延は画面の責任です。ビデオ デバイスによって遅延が発生することはありません。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

Room 70 G2 では、ビデオデバイスは、その統合スピーカー システムを通して音声を再生します。ただし、統合型画面で、Audio Output ARC [1] Mode および Audio Output InternalSpeaker Mode が On で、Audio Output HDMI [n] Mode が On になっている必要があります。統合型スピーカーシステムとスクリーンの関係は既知であるため、自動遅延測定は必要ありません。

Manual: Audio Console アプリケーションまたは API (xCommand Audio Local Input * および xCommand Audio LocalOutput *)を使用して、音声の入力と出力を手動でセットアップする必要があります。

Room 70 G2 では、コネクタが音声コンソール アプリケーションまたは API (xCommand Audio LocalOutput *) を使用して明示的に追加されている場合、音声出力に外部スクリーンが使用される場合があります。この場合、内蔵スピーカーで再生される音声のステレオダウンミックスが外部スクリーンで再生されます。超音波信号は外部スクリーンまたは回線出力では再生されず、統合型スピーカーシステムを通してのみ再生されます。

デフォルト値:

自動

xConfiguration Audio Output Ethernet[n] Delay DelayMs

適用対象: RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ

リップ同期を取得するために、他の接続済みデバイス (例えば、テレビや外部スピーカーなど) の遅延を補償する追加の遅延を各イーサネット出力に設定することができます。ここで設定する遅延は、固定であるか、Audio Output Ethenet [n] Delay Mode 設定で定義されているように、外部モニタで測定または報告される遅延に関連するものです。

使用方法:

`xConfiguration Audio Output Ethernet[n] Delay DelayMs:` *`DelayMs`*

値は次のとおりです。

`n`: イーサネット接続を識別する一意の ID です。

範囲: 1..4 *[CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

範囲: AVIntegrator オプションなし:1..2 AVIntegrator オプションあり:1..4 *[RoomKitEQX]*

範囲: AVIntegrator オプションなし:1..1 AVIntegrator オプションあり:1..4 *[CodecEQ]*

`DelayMs`:

整数 (0..290)

ミリ秒単位の遅延。

デフォルト値:

0

xConfiguration Audio Output Ethernet [n] Delay Direct DelayMs

適用対象: CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ

オーディオ出力に個別の直接遅延を追加できます。この遅延は、ダイレクト モードが有効になっているすべての入力グループに適用されます。この構成は、ローカル音響強化や音声リフトなどのシナリオに特に役立ちます。

使用方法:

`xConfiguration Audio Output Ethernet [n] Delay Direct DelayMs:` *`DelayMs`*

値は次のとおりです。

`DelayMs`:

整数 (0..290)

ミリ秒単位の遅延。

デフォルト値:

0

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Audio Output Ethernet[n] Delay Mode

適用対象: RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

音声イーサネット出力に特別な遅延を追加することができます、これは Audio Output Ethernet [n] Delay DelayMs 設定を使用します。追加される追加の遅延は、固定のミリ秒数、または HDMI 出力で検出された遅延 (通常は接続されたテレビによって導入される) に関連するミリ秒の数です。

使用方法:

`xConfiguration Audio Output Ethernet[n] Delay Mode: Mode`

値は次のとおりです。

n: イーサネット接続を識別する一意の ID です。

範囲: 1..4 *[CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

範囲: AVIntegrator オプションなし:1..2 AVIntegrator オプションあり:1..4 *[RoomKitEQX]*

範囲: AVIntegrator オプションなし:1..1 AVIntegrator オプションあり:1..4 *[CodecEQ]*

Mode:

Fixed/RelativeToHDMI

固定: 出力に追加される遅延 (DelayMs) は、固定のミリ秒数になります。

RelativeToHDMI: 出力に追加される追加の遅延 (DelayMs) は、HDMI 出力で検出された遅延を基準にします。実際の遅延は、検出遅延 + DelayMs です。Audio Output Connectors Ethernet [n] DelayMs ステータスは、実際の遅延をレポートします。

デフォルト値:

RelativeToHDMI

xConfiguration Audio Output Ethernet [n] Equalizer ID

適用対象: CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

この出力に適用するイコライザープリセットを選択します。

使用方法:

`xConfiguration Audio Output Ethernet [n] Equalizer ID: ID`

値は次のとおりです。

ID:

1/2/3/4/5/6/7/8

イコライザーのプリセット番号です。

デフォルト値:

1

xConfiguration Audio Output Ethernet [n] Equalizer Mode

適用対象: CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

この出力のイコライザー処理を有効または無効にします。

使用方法:

`xConfiguration Audio Output Ethernet [n] Equalizer Mode: Mode`

値は次のとおりです。

Mode:

Off/On

Off: イコライゼーション処理を適用しません。

On: イコライゼーション処理を適用します。

デフォルト値:

Off

xConfiguration オーディオ出力イーサネット [n] ゲイン

適用対象: RoomKitEQX CodecEQ

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

イーサネット出力のゲインを調整する

使用方法:

`xConfiguration Audio Output Ethernet [n] Gain: Gain`

値は次のとおりです。

ゲイン:

整数 (-30..0)

利得をデシベル (db) で選択します。

デフォルト値:

0

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration オーディオ出力イーサネット [n] レベル

適用対象: CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

イーサネット出力のゲイン設定を調整します。

使用方法:

`xConfiguration オーディオ出力イーサネット [n] レベル:` *レベル*

値は次のとおりです。

Level:

整数 (-30..0)

利得をデシベル (db) で選択します。

デフォルト値:

0

xConfiguration Audio Output Ethernet [n] Mode

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

イーサネット [1]: 基準信号。音響エコー キャンセリング (AEC) に必要で、コーデックからこの接続で接続されているすべてのデジタル マイク Cisco Table Microphone Pro / Cisco Microphone Arrayに送信されます。無効になっている場合、AEC は機能しません。

イーサネット [2]: この接続は、Room Kit EQX および Room Panorama により、コーデックから DNAM IV アンプへの音声出力に使用されます。

その他のイーサネット [n]:接続は、コーデックから、スピーカーなど、AES67 標準をサポートするサードパーティの音声周辺機器への音声出力に使用されます。

埋め込み型 Room Kit EQX および Room Panorama 音声システムの使用をお勧めします。これには、この設定をOnにする必要があります。Offに切り替えると、内部スピーカーは使用されないため、外部スピーカーをコーデックに接続する必要があります。

使用方法:

`xConfiguration Audio Output Ethernet [n] Mode:` *Mode*

値は次のとおりです。

n: イーサネット接続を識別する一意の ID です。

範囲: 1..4 *[CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

範囲: AVIntegrator オプションなし:1..2 AVIntegrator オプションあり:1..4 *[RoomKitEQX]*

範囲: AVIntegratorオプションを未使用時:1..1 AVIntegratorオプションを使用時:1..4 *[RoomBarPro CodecEQ]*

範囲: 1..1 *[BoardPro BoardProG2]*

Mode:

Off/On

Off: イーサネット接続が無効になっています。

On: イーサネット接続が有効になっています。

デフォルト値:

オン

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Audio Output HDMI [n] Delay DelayMs

適用対象: RoomKitEQX CodecEQ CodecPro

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

リップ同期を得るために、他の接続済みデバイス (例えば、テレビや外部スピーカーなど) の遅延を補償する追加の遅延を各 HDMI 出力に設定することができます。ここで設定する遅延は、固定であるか、[音声出力 HDMI [n] 遅延モード] 設定で定義されているように、外部モニタで測定または報告される遅延に関連するものです。

使用方法:

`xConfiguration 音声出力 HDMI [n] Delay DelayMs: DelayMs`

値は次のとおりです。

n: 音声回線出力を識別する一意の ID です。

範囲: 1..3

DelayMs:

整数 (0..290)

ミリ秒単位の遅延。

デフォルト値:

0

xConfiguration オーディオ出力 HDMI [n] 遅延 ダイレクト遅延 Ms

適用対象: CodecPro

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

オーディオ出力に個別のダイレクト遅延を追加できます。これは、ダイレクト モードが有効になっている入力グループのすべての入力に適用されます。この構成は、ローカル音響強化や音声リフトを伴うシナリオに特に役立ちます。

使用方法:

`xConfiguration オーディオ出力 HDMI [n] 遅延 ダイレクト DelayMs: DelayMs`

値は次のとおりです。

DelayMs:

整数 (0..290)

ミリ秒単位の遅延。

デフォルト値:

0

xConfiguration Audio Output HDMI [n] Delay Mode

適用対象: RoomKitEQX CodecEQ CodecPro

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

Audio Output HDMI [n] Delay DelayMs 設定で、音声 HDMI 出力に追加の遅延を追加することができます。追加される追加の遅延は、固定のミリ秒数、または HDMI 出力で検出された遅延 (通常は接続されたテレビによって導入される) に関連するミリ秒の数です。

使用方法:

`xConfiguration Audio Output HDMI [n] Delay Mode: Mode`

値は次のとおりです。

n: 音声回線出力を識別する一意の ID です。

範囲: 1..3

Mode:

Fixed/RelativeToHDMI

固定: 出力に追加される遅延 (DelayMs) は、固定のミリ秒数になります。

RelativeToHDMI: 出力に追加される追加の遅延 (DelayMs) は、HDMI 出力で検出された遅延を基準にします。実際の遅延は、検出遅延 + DelayMs です。Audio Output Connectors HDMI [n] DelayMs ステータスは、実際の遅延をレポートします。

デフォルト値:

混合

xConfiguration Audio Output HDMI [n] Level

適用対象: Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

HDMI 出力コネクタのゲインを設定します。ゲインは 1 dB 刻みで調整できます。

使用方法:

`xConfiguration Audio Output HDMI [n] Level: Level`

値は次のとおりです。

n: HDMI 出力を識別する一意の ID です。

範囲: 1..3 *[Room70G2]*

範囲: Room Panorama の場合: 3..3; Room 70 Panorama の場合: 1..3 *[RoomPanorama/ Room70Panorama]*

Level:

整数 (-24..0)

範囲: ゲインをデシベル (db) で選択します。

デフォルト値:

0

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration 音声出力 HDMI [n] ゲイン

適用対象: RoomKitEQX CodecEQ

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

HDMI 出力コネクタのゲインを設定します。ゲインは 1 dB 刻みで調整できます。

使用方法:

`xConfiguration Audio Output HDMI [n] Gain: Gain`

値は次のとおりです。

n: HDMI 出力を識別する一意の ID です。

範囲: 1..3

ゲイン:

整数 (-24..0)

範囲: ゲインをデシベル (db) で選択します。

デフォルト値:

0

xConfiguration 音声出力 HDMI [n] モード

適用対象: RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

この HDMI 出力コネクタの音声チャンネルを有効にするかどうかを定義します。

使用方法:

`xConfiguration Audio Output HDMI [n] Mode: Mode`

値は次のとおりです。

n: HDMI 出力を識別する一意の ID です。

範囲: 1..1 *[CodecPlus]*

範囲: 1..3 *[RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2]*

範囲: Room Panorama の場合: 3..3; Room 70 Panorama の場合: 1..3 *[RoomPanorama/Room70Panorama]*

Mode:

Off/On

Off: コネクタは音声出力に使用されません。

On: コネクタを音声出力に使用できます。Codec Pro および Room 70 G2 の場合、Audio Output ConnectorSetup 設定に依存し、Codec EQ および Room Kit EQX の場合、Audio ConnectorSetup 設定に依存します。

デフォルト値:

Room 70 Dual G2: HDMI 1、2: オン HDMI 3: オフ

Room 70 シングル G2: HDMI 1: オン HDMI 2、3: オフ *[Room70G2]*

Room 70 パノラマ: HDMI 1,2: オン HDMI 3: オフ

Room Panorama: Off *[RoomPanorama/Room70Panorama]*

オン *[CodecEQ CodecPlus CodecPro]*

オフ *[RoomKitEQX]*

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration オーディオ出力 HDMI [n] 超音波

適用対象: CodecEQ CodecPro

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

この構成により、このコネクタを通じて超音波を放射できるかどうかが決まります。

使用方法:

`xConfiguration Audio Output HDMI [n] Ultrasound:` *Ultrasound*

値は次のとおりです。

超音波:

Auto/Off

自動: このコネクタを通じて超音波を放射できます。
オフ: このコネクタから超音波は放射されません。

デフォルト値:

自動

xConfiguration Audio Output InternalSpeaker Mode

適用対象: RoomKit RoomBarPro RoomKitEQX CodecPlus Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

デバイスの内蔵スピーカーを使用するかどうかを定義します。

この設定を適用するには、Codec Plus が Quad Camera に接続されている必要があります。

Room Kit EQX、Room 70 G2、Room 70 Panorama、および Room Panorama の場合、統合型スピーカーでいずれかの音声を再生するには、統合型モニタの Audio Output HDMI [n] Mode 設定を On に設定する必要があります。また、[音声出力 ARC 1 モード] 設定が [On] になっている必要があります。

Codec Plus を除くすべての製品で、内蔵スピーカーの使用を制限して超音波のみを再生することができます。

使用方法:

`xConfiguration 音声出力 内部スピーカー モード:` *モード*

値は次のとおりです。

Mode:

オフ/オン *[CodecPlus]*

Off/On/UltrasoundOnly *[RoomKit RoomBarPro RoomKitEQX Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2]*

Off: デバイスの内蔵スピーカーを無効にします。
On: デバイスの内蔵スピーカーを有効にします。
UltrasoundOnly: デバイスの内蔵スピーカーを超音波のみに対して有効にします。

デフォルト値:

オン

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Audio Output Line [n] Channel

適用対象: CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ

音声回線出力をモノラル信号またはマルチチャンネル信号の一部のどちらにするかを定義します。

使用方法:

`xConfiguration Audio Output Line [n] Channel: Channel`

値は次のとおりです。

n: 音声回線出力を識別する一意の ID です。

範囲: 1..6

チャネル:

左/モノラル/右

左: 音声回線出力信号はステレオ信号の左チャンネルです。

Mono: 音声回線出力信号はモノラル信号です。

右: 音声回線出力信号はステレオ信号の右チャンネルです。

デフォルト値:

ライン 1、3、5: 左 ライン 2、4、6: 右 *[CodecPro Room70G2]*

会議室パノラマ: 1、3、5 行目:左 2、4、6 行目:右

会議室 70 のパノラマ: 回線 1、2:モノラル 回線 3、5:左 回線 4、6:右 *[RoomPanorama/Room70Panorama]*

xConfiguration Audio Output Line [n] Delay DelayMs

適用対象: RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ

リップシンクロを得るために、各音声回線の出力に追加の遅延を設定することで、他の接続済みデバイス (例えば、テレビや外部スピーカーなど) の遅延を補償することができます。ここで設定する遅延は、固定であるか、または Audio Output Line [n] Delay Mode 設定で定義されているように、HDMI 出力の遅延に関連するものです。

使用方法:

`xConfiguration Audio Output Line [n] Delay DelayMs: DelayMs`

値は次のとおりです。

n: 音声回線出力を識別する一意の ID です。

範囲：1..6 *[CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

範囲: 1..1 *[RoomKitEQX CodecEQ]*

DelayMs:

整数 (0..290)

ミリ秒単位の遅延。

デフォルト値:

0

xConfiguration Audio Output Line [n] Delay Direct DelayMs

適用対象: CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ

オーディオ出力に直接遅延を導入することができます。これは、ダイレクト モードが有効になっている入力グループのすべての入力に適用されます。この構成は、ローカル音響強化や音声リフトを伴うシナリオに特に役立ちます。

使用方法:

`xConfiguration オーディオ出力ライン [n] 遅延 ダイレクト DelayMs: DelayMs`

値は次のとおりです。

DelayMs:

整数 (0..290)

ミリ秒単位の遅延。

デフォルト値:

0

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Audio Output Line [n] Delay Mode

適用対象: RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

音声回線出力に特別な遅延を追加することができます。これは Audio Output Line [n] Delay DelayMs 設定を使用します。追加される追加の遅延は、固定のミリ秒数、または HDMI 出力で検出された遅延 (通常は接続されたテレビによって導入される) に関連するミリ秒の数です。

使用方法:

`xConfiguration 音声出力回線 [n] 遅延モード: モード`

値は次のとおりです。

n: 音声回線出力を識別する一意の ID です。

範囲: 1..6 *[CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

範囲: 1..1 *[RoomKitEQX CodecEQ]*

Mode:

Fixed/RelativeToHDMI

固定: 出力に追加される遅延 (DelayMs) は、固定のミリ秒数になります。

RelativeToHDMI: 出力に追加される追加の遅延 (DelayMs) は、HDMI 出力で検出された遅延を基準にします。実際の遅延は HDMI-delay + DelayMs です。Audio Output Connectors Line [n] DelayMs ステータスは、実際の遅延をレポートします。

デフォルト値:

Fixed *[Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

RelativeToHDMI *[RoomKitEQX CodecEQ CodecPro]*

xConfiguration Audio Output Line [n] Equalizer ID

適用対象: CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

この出力に適用するイコライザー プリセットを選択します。
Codec EQ、Room Kit EQX: AVIntegrator オプションが必要です。

使用方法:

`xConfiguration 音声出力回線 [n] イコライザー ID: ID`

値は次のとおりです。

n: 音声回線出力を識別する一意の ID です。

範囲: 1..6 *[CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

範囲: 1..1 *[RoomKitEQX CodecEQ]*

ID:

1/2/3/4/5/6/7/8

イコライザーのプリセット番号です。

デフォルト値:

1

xConfiguration 音声出力回線 [n] イコライザーモード

適用対象: CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

この出力のイコライザー処理を有効または無効にします。
Codec EQ、Room Kit EQX: AVIntegrator オプションが必要です。

使用方法:

`xConfiguration Audio Output Line [n] Equalizer Mode: Mode`

値は次のとおりです。

n: 音声回線出力を識別する一意の ID です。

範囲: 1..6 *[CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

範囲: 1..1 *[RoomKitEQX CodecEQ]*

Mode:

Off/On

Off: イコライゼーション処理を適用しません。

On: イコライゼーション処理を適用します。

デフォルト値:

Off

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

X 構成 音声出力回線 [n] レベル

適用対象: CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ

回線出力コネクタのゲインを設定します。ゲインは、接続されたデバイスの音声入力レベルに合うように調整する必要があります。ゲインは 1 dB 刻みで調整できます。

0 dB ゲインでの最大出力レベルは製品によって異なります: 8dbu (Room 70、Room 55 Dual)、18dBu (Codec Pro、Room 70 G2)。

例: Codec Pro に接続された音声デバイスの最大入力レベルが 10dBu である場合、ゲインを 10dBu - 18dbu = -8dB に設定します。

使用方法:

`xConfiguration 音声出力回線 [n] レベル: Level`

値は次のとおりです。

n: 音声回線出力を識別する一意の ID です。

範囲: 1..6 *[CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

範囲: 1..1 *[Room70/Room55D]*

Level:

整数 (-24..0)

範囲 : ゲインをデシベル (db) で選択します。

デフォルト値:

-4 [CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]

0 [Room70/Room55D]

xConfiguration Audio Output Line [n] Gain

適用対象: RoomKitEQX CodecEQ

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ

回線出力コネクタのゲインを設定します。ゲインは、接続されたデバイスの音声入力レベルに合うように調整する必要があります。ゲインは 1 dB 刻みで調整できます。

0 dB ゲインでの最大出力レベルは 8dBu です。

例: 接続された音声デバイスの最大入力レベルが 4dBu の場合、ゲインを 4dBu - 8dBu = -4dB に設定するべきです。

使用方法:

`xConfiguration Audio Output Line [n] Gain: Gain`

値は次のとおりです。

n: 音声回線出力を識別する一意の ID です。

範囲 : 1..1

ゲイン:

整数 (-24..0)

範囲: ゲインをデシベル (db) で選択します。

デフォルト値:

0

xConfiguration 音声出力回線 [n] モード

適用対象: RoomKit RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ

音声回線出力のモードを定義します。

使用方法:

`xConfiguration Audio Output Line [n] Mode: Mode`

値は次のとおりです。

n: 音声回線出力を識別する一意の ID です。

範囲: 1..6 *[CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

範囲: 1..1 *[RoomKit RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus Room55 Room70/Room55D BoardPro BoardProG2]*

Mode:

Off/On

Off: 音声回線出力を無効にします。

On: 音声回線出力を有効にします。

デフォルト値:

オン

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Audio Output Line [n] OutputType

適用対象: RoomKit RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus Room55 Room70/Room55D BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

出力タイプは、接続されたデバイスと一致するように設定する必要があります。
Codec EQ および AVIntegratorオプション付きの Room Kit EQX: 該当なし。

使用方法:

`xConfiguration Audio Output Line [n] OutputType:` *OutputType*

値は次のとおりです。

n: 音声回線出力を識別する一意の ID です。

範囲: 1..1

出力タイプ:

ライン出力/スピーカー/マイク/レコーダー *[RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus Room55 Room70/Room55D BoardPro BoardProG2]*

ライン出力/スピーカー/マイク/レコーダー/サブウーファー *[RoomKit]*

ラウドスピーカー: ラウドスピーカーが回線出力に接続されている場合、[ラウドスピーカー] を使用します。このモードでは、コネクタの出力レベルはマスター音量コントロールに従い、出力信号にはすべてのシステムサウンド (着信音、Webex Assistant など) が含まれます。

マイク: このモードでは、接続されたマイクに拾われた音声は回線出力に送信されます。システムサウンドと遠端ソースからのサウンドは含まれません。

レコーダー: レコーダーが回線出力に接続されている場合、[レコーダー] を使用します。このモードでは、出力レベルは固定され、システムサウンドは含まれません。ローカル プレゼンテーション ソース、ローカル マイク、および遠端ソースからの音声が含まれます。

サブウーハー: サブウーハーが回線出力に接続されている場合に [サブウーハー] を使用します。このモードでは、低音は回線出力に送られ、残りの音声は内部スピーカーで再生されます。

LineOut: 他のデバイスで LineOut を使用してください。このモードでは、出力レベルは固定され、システムサウンドは含まれません。ローカルのプレゼンテーション ソースと相手側のソースの音声が含まれます。

デフォルト値:

スピーカー *[RoomKit RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus Room55 BoardPro BoardProG2]*

LineOut *[Room70/Room55D]*

xConfiguration オーディオ出力ライン [n] 超音波

適用対象: CodecEQ CodecPro

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

この構成により、このコネクタを通じて超音波を放射できるかどうかが決まります。

使用方法:

`xConfiguration オーディオ出力ライン [n] 超音波:` ***超音波***

値は次のとおりです。

n: ビデオ入力コネクタを識別する一意の ID です。

範囲: 1..6 *[CodecPro]*

範囲: 1 *[CodecEQ]*

超音波:

Auto/Off

自動: このコネクタで超音波を放射できます。
オフ: このコネクタでは超音波は放射されません。

デフォルト値:

自動

xConfiguration Audio Output USBC [n] Mode

適用対象: RoomKitEQX CodecEQ

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

USB-C コネクタからの音声出力を有効または無効にします。

使用方法:

`xConfiguration Audio Output USBC [n] Mode:` *Mode*

値は次のとおりです。

n: USB-C コネクタを識別する一意の ID です。

範囲: 1..1

Mode:

Off/On

Off: USB-C コネクタからの音声出力を無効にします。
On: USB-C コネクタからの音声出力を有効にします。

デフォルト値:

オン

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration オーディオ出力 USBInterface [n] 遅延 DelayMs

適用対象: RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

リップ同期を実現するために、各 USB インターフェイス出力に追加の遅延を設定して、テレビや外部スピーカーなどの他の接続デバイスの遅延を補正することができます。

ここで設定する遅延は、オーディオ出力 USBInterface [n] 遅延モード設定で定義されているように、固定であるか、外部モニタで測定された遅延または外部モニタによって報告された遅延に相対的になります。

使用方法:

`xConfiguration オーディオ出力 USBInterface [n] 遅延 DelayMs:` *DelayMs*

値は次のとおりです。

DelayMs:

整数 (0..290)

ミリ秒単位の遅延。

デフォルト値:

0

xConfiguration Audio Output USBInterface [n] Delay Direct DelayMs

適用対象: CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

オーディオ出力に明確なダイレクト遅延を導入することができ、これはダイレクト モードが有効になっている入力グループのすべての入力に適用されます。この構成は、ローカル音響強化や音声リフトを伴うシナリオに特に役立ちます。

使用方法:

`xConfiguration オーディオ出力 USBInterface [n] 遅延 ダイレクト DelayMs:` *DelayMs*

値は次のとおりです。

DelayMs:

整数 (0..290)

ミリ秒単位の遅延。

デフォルト値:

0

xConfiguration オーディオ出力 USB インターフェース [n] 遅延モード

適用対象: RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

Audio Output USBInterface [n] Delay DelayMs 設定を使用して、オーディオ USB インターフェース出力に追加の遅延を追加できます。追加される追加の遅延は、固定のミリ秒数、または HDMI 出力で検出された遅延 (通常は接続されたテレビによって導入される) に関連するミリ秒の数です。

使用方法:

`xConfiguration オーディオ出力 USBInterface [n] 遅延モード:` *モード*

値は次のとおりです。

Mode:

Fixed/RelativeToHDMI

固定: 出力に追加される遅延 (DelayMs) は、固定のミリ秒数になります。

RelativeToHDMI: 出力に追加される追加の遅延 (DelayMs) は、HDMI 出力で検出された遅延を基準にします。実際の遅延は、検出遅延 + DelayMs です。オーディオ出力コネクタ USBInterface [n] DelayMs ステータスは実際の遅延を報告します。

デフォルト値:

RelativeToHDMI

xConfiguration Audio Output USBInterface [n] Mode

適用対象: RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

USB コネクタからの音声出力を無効または有効にします。

使用方法:

`xConfiguration Audio Output USBInterface [n] Mode:` *Mode*

値は次のとおりです。

n: USB インターフェイスを識別する一意の ID です。

範囲: 1..1

Mode:

Off/On

Off: USB コネクタからの音声出力を無効にします。

On: USB コネクタからの音声出力を有効にします。

デフォルト値:

オン

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration オーディオ出力 USB インターフェース [n] 超音波

適用対象: CodecEQ CodecPro

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

この構成により、このコネクタを通じて超音波を放射できるかどうかが決まります。

使用方法:

`xConfiguration オーディオ出力 USBInterface [n] 超音波:` ***超音波***

値は次のとおりです。

超音波:

Auto/Off

自動: このコネクタで超音波を放射できます。
オフ: このコネクタでは超音波は放射されません。

デフォルト値:

Off

xConfiguration 音声パンモード

適用対象: RoomBar RoomBarPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

話している人がビデオストリーム レイアウトのどこにいるかをデバイスが認識しているシナリオでは、デバイスはその場所に最も近いスピーカーで音声を再生できます。ヘッドセットを使用する場合にも、同様の効果が得られます。これは指向性音声と呼ばれます。例えば、話している人がレイアウトの左側に配置されると、音声は左側のスピーカーから聞こえます。

ヘッドセットは、 Audio Panning HeadsetAnalog (Desk Pro のみ)および音声パンニングヘッドセット USB (Board Pro、Board Pro G2、Desk シリーズデバイスのみ)設定でさらに対応します。

この設定は、第 1 世代の Board (S シリーズ以外) では利用できません。

使用方法:

`xConfiguration Audio Panning Mode:` *Mode*

値は次のとおりです。

Mode:

Auto/Off
Auto: 利用できる場合、指向性音声を使用します。
Off: スピーカーとヘッドセットからの指向性音声を無効にします。

デフォルト値:

自動

xConfiguration Audio Panning HeadsetAnalog BinauralProcessing

適用対象: DeskPro

必要なユーザーロール: 管理者

アナログヘッドセット音声のバイノーラル処理を無効または有効にします。これは、自然な音声の指向性を実現する音声処理技術です。

使用方法:

`xConfiguration Audio Panning HeadsetAnalog BinauralProcessing:` *BinauralProcessing*

値は次のとおりです。

バイノーラル処理:

False/True
False: バイノーラル処理は行わず、通常のパンを行い、左右の耳での単純な音量差だけを行う。
True: 音声にバイノーラル処理を実行します。

デフォルト値:

True

xConfiguration Audio Panning HeadsetAnalog Mode

適用対象: DeskPro

必要なユーザーロール: 管理者

音声パンを無効または有効にして、アナログ ヘッドセットに指向性音声を提供します。

指向性音声が Audio Panning Mode 設定で全体的にOffになっている場合、Audio Panning HeadsetAnalog Mode が Auto に設定されている場合でも、ヘッドセットの指向性音声は得られません。

使用方法:

`xConfiguration Audio Panning HeadsetAnalog Mode:` *Mode*

値は次のとおりです。

Mode:

Auto/Off
Auto: 利用できる場合、指向性音声を使用します。
Off: アナログ ヘッドセットの指向性音声を無効にします。

デフォルト値:

自動

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Audio Panning HeadsetUSB BinauralProcessing

適用対象: DeskPro DeskMini Desk

必要なユーザーロール: 管理者

USB ヘッドセットの音声のバイノーラル処理を無効または有効にします。これは、自然な音声の指向性を実現する音声処理技術です。

使用方法:

`xConfiguration Audio Panning HeadsetUSB BinauralProcessing:` *BinauralProcessing*

値は次のとおりです。

バイノーラル処理:

False/True

False: バイノーラル処理は行わず、通常のパンを行い、左右の耳での単純な音量差だけを行う。

True: 音声にバイノーラル処理を実行します。

デフォルト値:

False

xConfiguration Audio Panning HeadsetUSB Mode

適用対象: DeskPro DeskMini Desk

必要なユーザーロール: 管理者

USB ヘッドセットに指向性音声を提供する音声パンを無効または有効にします。

指向性音声が Audio Panning Mode 設定で全体的にOffになっている場合、Audio Panning HeadsetUSB Mode が Auto に設定されている場合でも、ヘッドセットの指向性音声は得られません。

使用方法:

`xConfiguration Audio Panning HeadsetUSB Mode:` *Mode*

値は次のとおりです。

Mode:

Auto/Off

Auto: 利用できる場合、指向性音声を使用します。

Off: USB ヘッドセットの指向性音声を無効にします。

デフォルト値:

自動

xConfiguration Audio Placement

適用対象: RoomBarPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者

デバイスのマウント設定を定義します。この設定に基づいてスピーカーシステムは音質を最適化するように設定されます。

使用方法:

`xConfiguration` 音声配置: *配置*

値は次のとおりです。

配置:

置き型/壁掛け式

独立型: デバイスはマウントされ、背面に空きスペースがあります。Board Pro および Board Pro G2 では、デバイスがフロア スタンドまたはホイールベース キットを使用してマウントされている必要があります。

壁付け: デバイスは壁の近くに取り付けられます。Board Pro および Board Pro G2 では、デバイスが壁付けキットを使用してマウントされます。

デフォルト値:

独立型

xConfiguration Audio SoundsAndAlerts DTMFFeedback

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

DTMF オーディオ フィードバックを有効または無効にする構成可能なオプションを導入します。以前は、WebUI または Phoenix インターフェイスのどちらを介して DTMF キーが押された場合でも、デバイスは常に音声フィードバックを再生していました。このアップデートにより、顧客は柔軟性の向上を求める要望に応えて、DTMF オーディオ フィードバックのオン/オフを選択できるようになりました。

使用方法:

`xConfiguration Audio SoundsAndAlerts DTMFFeedback:` *DTMFFeedback*

値は次のとおりです。

DTMF フィードバック:

Off/On

オン: DTMF オーディオフィードバックを有効にする

オフ: DTMF オーディオフィードバックを無効にします

デフォルト値:

オン

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Audio SoundsAndAlerts RingTone

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

着信通話に使用する着信音を定義します。

使用方法:

`xConfiguration Audio SoundsAndAlerts 着信音: "RingTone"`

値は次のとおりです。

呼び出し音:

文字列 (1, 100)

リストから着信音を選択します。

デフォルト値:

Sunrise BoardPro BoardProG2

xConfiguration Audio SoundsAndAlerts RingVolume

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

着信のリング音量を指定します。

使用方法:

`xConfiguration Audio SoundsAndAlerts RingVolume: RingVolume`

値は次のとおりです。

呼び出し音量:

整数 (0..100)

範囲: 値は 0 から 100 まで 5 のステップで進みます (-34.5 から 15 まで)。音量 0 = Off。

デフォルト値:

50

xConfiguration Audio Ultrasound 最大音量

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

この設定は、近接通信機能に適用されます。超音波ペアリングメッセージの最大音量を設定します。

Audio Ultrasound MaxVolumeとProximity Modeの設定は、超音波ペアリング メッセージにのみ影響します。プレゼンスおよびモーション検出での超音波の使用に関する情報については、RoomAnalytics PeoplePresenceDetector および Standby WakeupOnMotionDetection 設定を参照してください。

使用方法:

`xConfiguration Audio Ultrasound MaxVolume: MaxVolume`

値は次のとおりです。

MaxVolume:

整数 (0..70) *[RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro BoardProG2]*

整数 (0..90) *[RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro]*

指定された範囲の値を選択してください。0 に設定すると、超音波ペアリングメッセージは発信されません。

デフォルト値:

70

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration 音声 USB モード

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro Room55 DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

USB コネクタの音声チャンネルを有効または無効にします。

使用方法:

`xConfiguration Audio USB Mode: Mode`

値は次のとおりです。

Mode:

追加マイク/追加スピーカー/マイク/オフ/スピーカー/スピーカーとマイク *[RoomKitMini RoomBar]*

追加スピーカー/マイク/オフ/スピーカー/スピーカーとマイク *[RoomKit RoomBarPro Room55 DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2]*

Additional Microphone: ビデオデバイスの内蔵マイクと外部音声入力デバイス (USB マイク) の両方が使用されます。USB 音声出力チャンネルは無効になっています。

AdditionalSpeaker: ビデオデバイスの内蔵スピーカーと USB 音声出力デバイスの両方が使用されます。USB 音声入力チャンネルが無効になっています。

USB に接続されたスピーカーは、デバイスの内部スピーカーよりも遅延が大きい場合があります。両方のスピーカーを同時に使用すると、奇妙な音声アーティファクトが発生する場合があります。

AdditionalSpeaker の一般的な使用例は、アナログ音声出力のないビデオデバイスでの補聴器/傍聴支援デバイス (ALD)をサポートすることです。遅延の違いは、このようなセットアップで問題を引き起こす可能性が低くなります。

マイク: 外部 USB マイクのみが使用されます。他のマイクは無効になっています。USB 音声出力チャンネルも無効になります。

Off: USB 経由の音声は流れませんが、シグナリングは有効のままです。これにより、USB デバイスをミュートまたは音量コントローラーとして使用できます。

スピーカー: USB 音声出力チャンネルが接続されます (スピーカー)。他のスピーカーは無効になっています。USB 音声入力チャンネルも無効になります。

SpeakerAndMicrophone: USB 音声デバイスの入力 (マイク) と出力 (スピーカー) の両方のチャンネルが接続されます。他のマイクとスピーカーは無効になっています。

デフォルト値:

スピーカーアンドマイク

xConfiguration 音声 USB ボリュームコントロール キャプチャモード

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

この設定は、USB キャプチャ デバイス (USB マイクなど) がビデオ デバイスに接続されている場合に適用されます。

USB デバイスに内部トリミング設定がある場合、それをビデオデバイスに送信する前に、音声信号レベルをトリミングするように USB デバイスに要求できます。[音声 USB ボリュームコントロールのキャプチャ値] 設定を使用して、適用するゲイン/アッテネーションの量を設定します。

使用方法:

`xConfiguration Audio USB VolumeControl Capture Mode: Mode`

値は次のとおりです。

Mode:

アクティブ/バイパス

アクティブ: 音声信号を送信する前に、ビデオデバイスが USB デバイスに出力レベルのトリミングを要求することを許可します。

バイパス: USB デバイスをビデオ デバイスに送信する前に、そのデバイスからの音量出力を調整しません。

デフォルト値:

バイパス

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Audio USB VolumeControl Capture Value

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

この設定は、[音声 USB 音量コントロール キャプチャ モード] が [アクティブ] に設定されている場合に適用されます。

これは、USB キャプチャデバイスに要求するゲインで、音声信号をビデオデバイスに送信する前に適用します。

USB デバイスが提供する実際の範囲は、[音声 USB ボリューム コントロール キャプチャ最大] および [音声 USB ボリューム コントロール キャプチャ最小] ステータスで確認できます。要求された音量値がこの範囲外の場合、最も近い許容値が使用されます。音声 USB ボリュームコントロールのキャプチャ値ステータスは、適用された実際のゲインを常に返します。

USB デバイスはデフォルトとしてゲインを適用する場合があることに注意してください。音声 USB ボリュームコントロールのキャプチャ値ステータスは適用された実際のゲインを常に返すため、どのゲインをリクエストするか決める前にこのステータスを確認することをお勧めします。例: 現在のレベルに 6 デシベルの増加を要求し、USB デバイスによりすでに適用されているデフォルトのゲインが 42 デシベルである場合、[オーディオ USB ボリュームコントロール キャプチャ値] 設定を 48、つまり 42+6 デシベルに設定する必要があります。

使用方法:

`xConfiguration 音声 USB ボリューム コントロール キャプチャ値:` *値*

値は次のとおりです。

値:

整数 (-100..100)

リクエストするゲインを db で指定します。

デフォルト値:

0

xConfiguration Audio USB VolumeControl Playback Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

この設定は、USB 再生デバイス (USB スピーカーなど) がビデオ デバイスに接続されている場合に適用されます。

USB デバイスに内部トリミング設定がある場合、さらに処理を行う前に、ビデオ デバイスから受信する音声信号レベルをトリミングするよう USB デバイスに要求できます。[音声 USB ボリュームコントロール再生値] 設定を使用して、適用するゲイン/減衰の量を設定します。

使用方法:

`xConfiguration Audio USB VolumeControl Playback Mode:` *Mode*

値は次のとおりです。

Mode:

アクティブ/バイパス

アクティブ: ビデオデバイスが USB デバイスに入力レベルをトリミングするよう要求することを許可します。

バイパス: 処理を進める前に、USB デバイスに入力される音量を調整しません。

デフォルト値:

バイパス

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Audio USB VolumeControl Playback Value

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

この設定は、[音声 USB 音量制御再生モード] が [アクティブ] に設定されている場合に適用されます。

これは、ビデオデバイスから音声信号を受信した後、USBキャプチャデバイスが適用するゲインです。

USB デバイスが提供する実際の範囲は、Audio USB VolumeControl Playback Max および Audio USB VolumeControl Playback Min ステータスで確認できます。要求された音量値がこの範囲外の場合、最も近い許容値が使用されます。音声 USB ボリュームコントロールの再生値ステータスは、適用された実際のゲインを常に返します。

USB デバイスはデフォルトとしてゲインを適用する場合があることに注意してください。音声 USB ボリュームコントロールの再生値ステータスは常に適用された実際のゲインを返すため、どのゲインをリクエストするか決める前にこのステータスを確認することをお勧めします。例: 現在のレベルに 6 デシベルの増加を要求し、USB デバイスによってすでに適用されているデフォルトのゲインが 42 デシベルである場合、[オーディオ USB ボリューム コントロールの再生値] 設定を 48、つまり 42+6 デシベルに設定する必要があります。

使用方法:

`xConfiguration Audio USB VolumeControl Playback Value:` *Value*

値は次のとおりです。

値:

整数 (-100..100)

リクエストするゲインを db で指定します。

デフォルト値:

0

Bluetooth の設定

xConfiguration Bluetooth 許可

適用対象: RoomBar RoomBarPro DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

必要なユーザロール: ADMIN、TOUCHUSER

デバイスには Bluetooth® モジュールが内蔵されています。デフォルトでは、ユーザーはユーザ インターフェイスを使用してこの機能をOnまたはOffにすることができます。この設定により、管理者は Bluetooth 構成を無効にして、ユーザ インターフェイスからセットアップできないようにすることができます。

使用方法:

`xConfiguration Bluetooth 許可:` *許可*

値は次のとおりです。

許可:

False/True

False: Bluetooth は管理者によりOffに切り替えられており、ユーザーはユーザ インターフェイスからOnにできません。

True: Bluetooth は有効です。ユーザーはユーザ インターフェイスからOnまたはOffにすることができます。

デフォルト値:

True

xConfiguration Bluetooth カスタムビーコンデータ

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

必要なユーザロール: ADMIN、TOUCHUSER

BLE ビーコン データは、BLE アドバタイジング プロトコルを使用してブロードキャストされます。

使用方法:

`xConfiguration Bluetooth CustomBeacon データ:` *"データ"*

値は次のとおりです。

データ:

文字列 (0, 58)

データは 16 進文字列としてフォーマットされ、最初の 2 バイトはベンダー コードを表します。

デフォルト値:

「」

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Bluetooth カスタムビーコンモード

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

必要なユーザロール: ADMIN、TOUCHUSER

カスタムビーコンをブロードキャストするかどうかを定義します。

使用方法:

`xConfiguration Bluetooth CustomBeacon` モード: *モード*

値は次のとおりです。

Mode:

Auto/Off

自動 – 定義されたすべてのカスタムビーコンをブロードキャストします。オフ – すべてのカスタムビーコンのブロードキャストを停止します

デフォルト値:

Off

xConfiguration Bluetooth Enabled

適用対象: RoomBar RoomBarPro DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

必要なユーザロール: ADMIN、TOUCHUSER

Bluetooth® 接続が許可されている場合は (Bluetooth 許可設定を参照)、この設定で Bluetooth を有効または無効にすることができます。ビデオ デバイスは、HFP (ハンズフリー プロファイル) および A2DP (高度音声配信プロファイル) プロファイルをサポートしています。A2DP のみをサポートするヘッドセットは使用できません。

使用方法:

`xConfiguration Bluetooth Enabled:` *Enabled*

値は次のとおりです。

Enabled:

False/True

False: Bluetooth は無効で、Bluetooth デバイスはビデオデバイスとペアリングできません。

True: Bluetooth が有効で、ペアリングして Bluetooth ヘッドセットを使用できます。

デフォルト値:

False

xConfiguration Bluetooth LEAdvertisementOutputLevel

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

必要なユーザロール: ADMIN、TOUCHUSER

BLE アドバタイズメントの送信電力レベルを dbm 単位で調整します。

使用方法:

`xConfiguration Bluetooth LEAdvertisementOutputLevel:` *LEAdvertisementOutputLevel*

値は次のとおりです。

LEAdvertisementOutputLevel:

0/4/-4/-8 *[RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ]*

0/4/8/12/-12/-16/-4/-8 *[RoomBar CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2]*

BLE アドバタイズメントの送信電力レベル (dbm)。

デフォルト値:

0

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

Bookings configuration

xConfiguration Bookings AdhocBooking BookAhead Enabled

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

[Book Ahead] を使用すると、ユーザは共有スペースで将来の時刻をスケジュールすることができます。Book Ahead enabled の場合、ユーザーは、現在予約が入っている場合でも、コントローラー、ボード、またはスケジューラーを通じて、その日の後で会議室を予約できます。

使用方法:

`xConfiguration Bookings AdhocBooking BookAhead Enabled: Enabled`

値は次のとおりです。

Enabled:

False/True

False: 事前予約は利用できません。

True: 事前予約が可能です。

デフォルト値:

False

xConfiguration Bookings AdhocBooking BookingTimeout

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

アドホックのブッキングについては、バックエンドから確認されるまで一定時間待つ必要があります。この設定は、予約の確認を得るのに時間がかかるハイブリッド カレンダーの場合に便利です。アドホックを予約すると予約が表示されますが、バックエンド (Exchange、Google カレンダーなど) が時間内に確認しない場合は削除される可能性があります。この設定により、削除されるまでの待機時間が決定されます。

使用方法:

`xConfiguration Bookings AdhocBooking BookingTimeout: BookingTimeout`

値は次のとおりです。

Booking タイムアウト:

整数 (60..300)

バックエンドからの確認がない場合、アドホックブッキングを削除するまでの待機秒数。

デフォルト値:

60

xConfiguration Bookings AdhocBooking Enabled

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

臨時予約機能を使用すると、ミーティングルームのナビゲータから直接会議室を予約できます。会議室がまだ利用可能な場合は、進行中のミーティングを延長することもできます。Webex Assistant (音声による仮想アシスタント) を使用して、ミーティングを予約または延長することもできます。

アドホック予約は、デバイス上のカレンダーまたは Control Hub で選択されたカレンダー プロバイダーによって提供されます。

使用方法:

`xConfiguration Bookings AdhocBooking Enabled: Enabled`

値は次のとおりです。

Enabled:

False/True

False: アドホックのブッキング機能は利用できません。

True: アドホックのブッキング機能が利用できます

デフォルト値:

False

xConfiguration Bookings AllowDecline

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

ミーティングを拒否できるかどうか、および拒否できる場所を設定します。カレンダー リストのドロップダウンを使用して削除するか、[チェックアウト] ボタンから削除します。例: 室内のコントローラーから、または会議室の外の壁に貼られたスケジューラから、またはその能力がない場合。

使用方法:

`xConfiguration Bookings AllowDecline: AllowDecline`

値は次のとおりです。

AllowDecline:

すべて/内部だけ/なし

すべて: 会議室の内外の両方のナビゲータからのミーティングを拒否することができます。

InsideOnly: 会議室内のナビゲータからのミーティングを拒否することができます。

None: ナビゲータからミーティングを拒否することはできません (コントローラもスケジューラも)。

デフォルト値:

すべて (All)

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Bookings CheckIn AutoCheckInDuration

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

この設定は、チェックイン オプションが有効になっている場合にのみ適用されます (予約のチェックインの有効化設定を参照)。

有効にすると、終日予約などの期間が長い予約は、ユーザがチェックインに間に合わない場合に、自動的にチェックアウトされて削除される可能性が高くなります。

この設定を使用して、予約が自動的にチェックインされる期間のしきい値を指定し、チェックイン設定によって予約が削除されるのを防ぎます。

使用方法:

`xConfiguration` 予約チェックイン自動チェックイン期間: *自動チェックイン期間*

値は次のとおりです。

自動チェックイン期間:

整数 (8..24)

自動的にチェックインされるために必要な予約の最小時間 (時間単位) です。

デフォルト値:

8

xConfiguration Bookings CheckIn Enabled

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

かなりの割合のミーティングで誰も出席せず、ミーティングのリソースは予約中に浪費されています。チェックインのオプションを有効にすると、この問題を軽減することができます。ユーザーは、ミーティングルームに到着すると、自分の予約をチェックインできます。これにより予約が確認されます。予約のために誰も到着しない場合、会議室が解放され、他の人は利用可能な会議室を予約できるようになります。

チェックインのオプションは、共有の予約可能なデバイスおよびスタンドアロンの Room Navigator で利用できます。

使用方法:

`xConfiguration Bookings CheckIn Enabled:` *Enabled*

値は次のとおりです。

Enabled:

False/True

False: チェックインのオプションは利用できません。

True: チェックインのオプションは利用できます。

デフォルト値:

False

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Bookings CheckIn WindowDuration

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

この設定は、チェックインのオプションが有効になっている場合にのみ関連します ([ブッキングのチェックインが有効] 設定を参照してください)。

予約開始の数分前にタッチパネルにチェックインボタンが表示されます。この設定を使用して、ユーザーが予約を開始してからチェックインできる期間を指定します。この期間中に誰もチェックインしない場合、手動または自動で会議室は自動的に解放され、主催者はキャンセルを通知するメールを受け取ります。

会議室デバイスは、次の場合に自動的にチェックインします: 臨時の予約、通話への参加時、共有セッション開始時 (有線またはワイヤレス)、または人数が 1 人以上の場合。

使用方法:

`xConfiguration Bookings CheckIn WindowDuration: WindowDuration`

値は次のとおりです。

WindowDuration:

5/10/15/20/30/60

会議室の予約が解除される前の、チェックインオプションが利用可能になる時間 (分単位)

デフォルト値:

10

xConfiguration Bookings DeclinableBookingType

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

この設定により、デバイス上で拒否できる会議の種類をコントロールできます。オプションには、すべてのミーティングを拒否するか、または臨時のミーティングのみに拒否を制限することが含まれます。これは、AllowDecline 設定で使用されます。

この設定は、チェックイン機能には影響しません。

使用方法:

`xConfiguration Bookings DeclinableBookingType: DeclinableBookingType`

値は次のとおりです。

DeclinableBookingType:

AdhocOnly/All

すべて: すべてのタイプのミーティングを拒否できます。

臨時: 拒否できるのは臨時のミーティングのみです。

デフォルト値:

AdhocOnly

xConfiguration 予約の最大期間

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

臨時の会議室ブッキングとホットデスキングの最長継続時間を設定できます。例えば、2 (時間) に設定すると、ブッキングの最大継続時間として次の2時間だけが選択可能になります。

使用方法:

`xConfiguration Bookings MaxDuration: MaxDuration`

値は次のとおりです。

MaxDuration:

整数 (0..24)

最大予約継続時間 (時間単位)

デフォルト値:

0

xConfiguration Bookings ProtocolPriority

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

ビデオデバイスは、Webex クラウドで提供されるサービスである Cloud Video Interop (CVI) ゲートウェイ経由で SIP を使用して、または Microsoft Teams ミーティング ウェブ アプリ (WebRTC) を実行することで、Microsoft Teams ミーティングに参加できます。

Microsoft Teams ミーティングへの参加はカレンダー サービスに依存し、Onプレミス サービスに登録されており、Webex Edge for Devicesにリンクされているデバイス、および Webex クラウド サービスに登録されているデバイスで利用できます。

使用方法:

`xConfiguration Bookings ProtocolPriority: ProtocolPriority`

値は次のとおりです。

ProtocolPriority:

自動/WebRTC

Auto: ミーティングの招待に CVI アドレスがある場合、デバイスは SIP/CVI 経由で Microsoft Teams ミーティングに参加します。そうでない場合、WebRTC を使用します。

WebRTC: デバイスは Microsoft Teams ミーティングに常に WebRTC を使用します。

デフォルト値:

自動

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

BYOD の設定

xConfiguration BYOD HidForwarding Enabled

適用対象: DeskPro

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

ラップトップで外付けのマウスまたはキーボード (有線 USB または USB ドングル) を使用する場合、ラップトップに直接接続する代わりに、ビデオ デバイスの USB ポートに接続することができます。HID 転送を有効にするには、構成パラメータの Peripherals InputDevice Mode がオフに設定されていることを確認します。

使用方法:

`xConfiguration BYOD HidForwarding Enabled: Enabled`

値は次のとおりです。

Enabled:

False/True

False: 外付けのマウスまたはキーボードは、ラップトップに直接接続する必要があります。

True: お使いのラップトップ用の外付けマウスまたはキーボードをビデオデバイスに接続できます。

デフォルト値:

False

xConfiguration BYOD QRCodePairing

適用対象: DeskPro Board

必要なユーザーロール: 管理者

ユーザーが QR コードを使用して、Webex アプリで携帯電話とビデオデバイスをペアリングできるかどうかをコントロールします。有効にすると、ユーザーはデバイスの画面に表示された QR コードをスキャンし、ペアリング プロセスが完了するのを待ちます。

この設定は、ホット デスキングにセットアップされているデバイスにのみ適用されます。つまり、共有モードで、Webex クラウド サービスに登録されているか、デバイス用の Webex Edge にリンクされている必要があります。

使用方法:

`xConfiguration BYOD QRCodePairing: QRCodePairing`

値は次のとおりです。

QRCodePairing:

無効/有効

Enabled: デバイスの画面に QR コードがあり、ユーザーはそれをスキャンしてデバイスにログインできます。

Disabled: デバイスに QR コードはありません。ユーザーは別の方法 (USB-C) でログインする必要があります。

デフォルト値:

[有効 (Enabled)]

xConfiguration BYOD TouchForwarding Enabled

適用対象: DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

この設定を使用して、タッチ リダイレクト機能を有効または無効にします。タッチ リダイレクトを使用すると、ボードまたはビデオ デバイスのタッチ スクリーンからラップトップをコントロールできます。HDMI ケーブル (有線共有) と USB-C ケーブルを使用してラップトップをデバイスに接続する必要があります。デバイスからラップトップへUSB-C to USB-C ケーブルまたは USB-C to USB-A ケーブルを使用できます。

この機能は、第 1 世代のボード (Board 55 および 70) では利用できません。

使用方法:

`xConfiguration BYOD TouchForwarding Enabled: Enabled`

値は次のとおりです。

Enabled:

False/True

False: タッチ リダイレクトは無効です。

True: タッチリダイレクトが有効です。

デフォルト値:

True

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration BYOD USBCXapi

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者

この設定では、USB-C ケーブルでビデオデバイスに接続された場合に、ラップトップを自動的にビデオデバイスにペアリングするかどうかを決定します。

使用方法:

`xConfiguration BYOD USBCXapi: USBCXapi`

値は次のとおりです。

USBCXapi:

無効/有効

無効: デバイスは自動的にペアリングされません。

有効: USB-C ケーブルで接続されるとデバイスがペアリングされます。

デフォルト値:

[有効 (Enabled)]

CallHistory の構成

xConfiguration CallHistory モード

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

不在着信および応答のない通話 (通話履歴) など、発信または着信の通話に関する情報を保存するかどうかを指定します。これにより、ユーザ インターフェイスの [最近] リストに通話が表示されるかどうかが決まります。

使用方法:

`xConfiguration CallHistory Mode: Mode`

値は次のとおりです。

Mode:

Off/On

Off: 新しいエントリは通話履歴に追加されません。

On: 新規エントリは通話履歴リストに保存されます。

デフォルト値:

オン

xConfiguration CallHistory Recents DisplayName

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

[最近] リストでミーティングの議題を非表示にすることを選択できます。このリストは、UI の [通話] ボタンをタップするか、デバイス ウェブ インターフェイスの [通話] ページで利用できます。この設定は、ホットデスクが有効になっている共有モード デバイスやパーソナル モード デバイスではサポートされていません。

使用方法:

`xConfiguration CallHistory Recents DisplayName: DisplayName`

値は次のとおりです。

表示名:

自動/非表示

Auto: ミーティングの議題が [最近] リストに保持されます。

非表示: [最近] リストでミーティングの議題を表示しません。

デフォルト値:

自動

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

カメラ設定

xConfiguration Cameras Background Enabled

適用対象: DeskPro DeskMini Desk

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

カメラの背景機能を有効または無効にします。

カメラの背景機能を使用すると、実際の周囲の代わりに、仮想背景 (画像または効果) をカメラ ビューの背景として表示できます。Cameras Background Set コマンドを有効にするには、この設定を有効にする必要があります。

使用方法:

```
xConfiguration Cameras Background Enabled: Enabled
```

値は次のとおりです。

Enabled:

False/True

True: カメラの背景機能を有効にします。

False: カメラの背景機能を無効にします。

デフォルト値:

True

xConfiguration Cameras Background UserImagesAllowed

適用対象: DeskPro DeskMini Desk

必要なユーザーロール : 管理者

ユーザーがミーティングまたは通話中に仮想背景としてカスタム画像を使用する機能を有効または無効にします。

この機能を使用するには、[カメラのバックグラウンド有効] 設定も有効にする必要があります。

使用方法:

```
xConfiguration Cameras Background UserImagesAllowed: UserImagesAllowed
```

値は次のとおりです。

UserImagesAllowed:

False/True

True: 仮想背景としてのカスタム画像の使用を有効にします。

False: 仮想背景としてのカスタム画像の使用を無効にします。

デフォルト値:

False

xConfiguration Cameras Camera [n] AssignedSerialNumber

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ

カメラ ID はカメラ [n] の中の番号 n です。既定では、カメラ ID はカメラに自動的に割り当てられます。カメラからビデオ デバイスに EDID 情報が渡されない場合、カメラ ID は再起動後に持続しません。これは、ビデオ デバイスが再起動されたときに、カメラが新しいカメラ ID を取得する可能性があることを意味します。

ビデオ デバイスが複数のカメラから EDID 情報を受信しない構成に対応するには、Cameras Camera AssignedSerialNumber 設定を使用する必要があります。この設定では、カメラ ID をカメラのシリアル番号に関連付けることで、カメラ ID をカメラに手動で割り当てることができます。設定はビデオ デバイスが工場出荷時設定にリセットされるまで持続します。

ビデオ デバイスが EDID 情報を受信しない一般的な状況は、EDID 情報を渡さない HDMI リピーターを使用している場合です。

使用方法:

```
xConfiguration Cameras Camera [n] AssignedSerialNumber:
"AssignedSerialNumber"
```

値は次のとおりです。

n: カメラを識別する一意の ID です。

範囲 : 1..7 *[RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

範囲 : 2..7 *[BoardPro BoardProG2]*

AssignedSerialNumber:

文字列 (0, 20)

カメラのシリアル番号です。

デフォルト値:

「」

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Cameras Camera [n] Backlight DefaultMode

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

逆光補正をOnまたはOffにします。逆光補正は、室内の人々の背後に光が多い場合に便利です。補正が行われない場合、人物が遠端で非常に暗く見える場合があります。

この設定は、Bar Pro、Board Pro、および Board Pro G2 の統合型カメラには適用されません。[カメラ] [カメラの明るさアルゴリズム] が [平均] に設定されていない場合、クアッド カメラおよび Room 55 Dual、Room 70、Room 70 G2、Room 70 Panorama、Room Panorama の統合カメラには適用できません。これらのカメラは、会議室の照明条件に基づいて自動的に調整されます。

使用方法:

```
xConfiguration Cameras Camera [n] Backlight DefaultMode: DefaultMode
```

値は次のとおりです。

n: カメラを識別する一意の ID です。

範囲: 1..7 *[RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

範囲: 2..7 *[BoardPro BoardProG2]*

DefaultMode:

Off/On

Off: カメラの逆光補正をOffにします。

On: カメラの逆光補正をOnにします。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Cameras Camera [n] Brightness Algorithm

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

カメラの明るさアルゴリズムを指定します。

使用方法:

```
xConfiguration Cameras Camera [n] Brightness Algorithm: Algorithm
```

値は次のとおりです。

n: カメラを識別する一意の ID です。

範囲: 1..7 *[RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

範囲: 2..7 *[BoardPro BoardProG2]*

アルゴリズム:

自動/平均/顔最適化

Auto: カメラの明るさのアルゴリズムは、デバイスによって自動的に設定されます。

平均: 従来の明るさアルゴリズムが適用されます。明るさの計算に画像領域全体が使用されます。

FaceOptimized: 明るさは、人が検出された領域を重視して計算されます。これには自動逆光補正が含まれます。

デフォルト値:

自動

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Cameras Camera [n] Brightness DefaultLevel

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

明るさのレベルを設定します。カメラの [カメラの明るさモード] を [手動] にする必要があります。

使用方法:

`xConfiguration Cameras Camera [n] Brightness DefaultLevel: DefaultLevel`

値は次のとおりです。

n: カメラを識別する一意の ID です。

範囲: 1..1 *[RoomKit RoomKitMini RoomBar Room55 DeskPro DeskMini Desk]*

範囲: 1..7 *[RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro BoardProG2]*

DefaultLevel:

整数 (1..31)

明るさのレベルです。数字が大きいほど、画像は明るくなります。

デフォルト値:

20

xConfiguration Cameras Camera [n] Brightness Mode

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

明るさモードが [自動] に設定されている場合、明るさは現在の照明条件に基づいてデバイスによって設定され、継続的に調整されます。手動モードでは自動調整は行われません。明るさのレベルは [カメラ] [カメラの明るさ] [デフォルトレベル] 設定を使用して手動で設定します。

使用方法:

`xConfiguration Cameras Camera [n] Brightness Mode: Mode`

値は次のとおりです。

n: カメラを識別する一意の ID です。

範囲: 1..1 *[RoomKit RoomKitMini RoomBar Room55 DeskPro DeskMini Desk]*

範囲: 1..7 *[RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro BoardProG2]*

Mode:

自動/手動

Auto: カメラの明るさはデバイスにより自動的に調整されます。[カメラ] [カメラの明るさ] DefaultLevel 設定は効果がありません。

Manual: カメラの輝度レベルの手動コントロールを有効にします。明るさのレベルは、[カメラ] [カメラの明るさ] DefaultLevel 設定を使用して設定します。

デフォルト値:

自動

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Cameras Camera [n] ExcludedArea

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

この設定が有効になっている場合、Multi Camera Director は、カメラの視野の選択された領域に表示される顔を無視します。

セミコロンで区切られた多角形の形式です。各多角形はカンマで区切られた 3 つ以上の座標ペアで定義されます。

座標は球面座標で、単位は 100 分の 1 度です。たとえば、「0,0」はカメラからまっすぐ外に向かう光線を意味します。

「100,100」は、カメラから左に 1 度、上に 1 度向いた光線を意味します。電動カメラの場合、座標系は

は、カメラのニュートラル ポジションを基準にしており、カメラが移動しても変化しません。

マルチカメラのセットアップでは、除外ゾーンがカメラごとに定義されることに注意してください。

例:

"1000,500, 500,500, 500,-500, 1000,500; -2000,-1000, -2500,-1000, -2500,-1500, -2000,-1500"

これにより 2 つの除外ゾーンが定義されます。

- 1 つ目は (10°、5°) から (5°、-5°) までです。
- 2 つ目は (-20°、-10°) から (-25°、-15°) です

使用方法:

```
xConfiguration Cameras Camera [n] ExcludedArea: "ExcludedArea"
```

値は次のとおりです。

n: カメラを識別する一意の ID です。

範囲: 1..1 *[RoomKit RoomKitMini RoomBar Room55 DeskPro DeskMini Desk]*

範囲: 1..7 *[RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro BoardProG2]*

除外エリア:

文字列 (0, 255)

デフォルト値:

「」

xConfiguration Cameras Camera [n] Flip

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

反転モード (垂直反転) を使えば、画像を上下反転することができます。反転は、自分のビューと相手側に送信されるビデオの両方に適用されます。

この設定は、Quad Camera、PTZ-12 カメラ、または Board Pro、Board Pro G2、Room 55 Dual、Room 70、Room 70 G2、Room 70 Panorama、Room Panorama の統合型カメラではサポートされていません。

使用方法:

```
xConfiguration Cameras Camera [n] Flip: Flip
```

値は次のとおりです。

n: カメラを識別する一意の ID です。

範囲: 1..7 *[RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

範囲: 2..7 *[BoardPro BoardProG2]*

Flip:

Auto/Off/オン

Auto: カメラが上下逆さまに取り付けられていることを検出すると、画像が自動的に反転します。カメラが上下逆に取り付けられているかどうかを自動検出できない場合、画像は変更されません。たとえば、Sony PTZ 4K カメラは上下逆さまになっていることを自動検出できません。上下逆に取り付ける場合は、このパラメータを [On] に設定する必要があります。

Off: 画面に画像を通常の方法で表示します。

On: 画像を上下反転して表示します。この設定は、カメラが上下逆に取り付けられている場合に使用されますが、取り付けられた向きを自動的に検出することはできません。

デフォルト値:

自動

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Cameras カメラ [n] フォーカス モード

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ

カメラのフォーカス モードを定義します。

使用方法:

`xConfiguration Cameras Camera [n] Focus Mode: Mode`

値は次のとおりです。

n: カメラを識別する一意の ID です。

範囲 : 1..7 *[RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

範囲 : 2..7 *[BoardPro BoardProG2]*

Mode:

自動/自動制限/手動 [CodecPlus CodecPro]

Auto/Manual [RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama BoardPro BoardProG2]

Auto: オートフォーカスの動作は製品によって異なります。Bar Pro、Board Pro、Board Pro G2、Room 55 Dual、Room 70、Room 70 G2、Room 70 Panorama、Room Panorama の統合カメラ、およびクアッドカメラとコーデック (Codec EQ、Codec Plus、または Codec Pro) を使用する場合、通話が接続され、ビューが変更されると、カメラはシングル ショットの自動フォーカスを行います。

Precision 60 または PTZ 4K カメラを使用している場合、カメラは連続的な自動フォーカスを行います。通話が接続されると、パン、チルト、またはズームの後、そして通常、カメラがシーンの変化を識別すると、自動フォーカスが実行されます。

AutoLimited: このモードは、Codec Plus または Codec Pro で Precision 60 カメラを使用する場合にのみ適用されます。ほとんどの場合、このモードは自動フォーカスと同じように動作します。場合によっては、auto-limitedによりフォーカスハンチングが減少します。

問題のあるシーンには、コントラストのない、または低い大きな領域があります (例えば、ペイントされた壁の詳細がまったくない、部分的に空のホワイトボードなど)。オート フォーカスと比較して、このモードではバックグラウンド フォーカスの可能性がわずかに高くなります。

手動: 自動フォーカスをOffにして、カメラのフォーカスを手動で調整します。

デフォルト値:

自動

xConfiguration Cameras Camera [n] ガンマレベル

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ

[Gamma Level] を設定することで、どのγ補正テーブルを使用するかを選択することができます。この設定は、明るさの設定を変更しても満足のいく結果が得られないような、厳しい照明条件で役立ちます。カメラのカメラ [n] Gamma Mode を手動に設定する必要があります。

この設定は、Quad Camera または Bar Pro、Board Pro、Board Pro G2、Room 55 Dual、Room 70、Room 70 G2、Room 70 Panorama、Room Panorama の統合カメラには適用されません。これらのカメラは、会議室の照明条件に基づいて自動的に調整されます。また、この機能は PTZ 4K カメラまたは PTZ-12 カメラではサポートされていません。

使用方法:

`xConfiguration Cameras Camera [n] Gamma Level: Level`

値は次のとおりです。

n: カメラを識別する一意の ID です。

範囲 : 1..7 *[RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

範囲 : 2..7 *[BoardPro BoardProG2]*

Level:

整数 (0..14)

ガンマレベルを定義します。

デフォルト値:

0

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Cameras Camera [n] Gamma Mode

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

この設定により、ガンマ補正が有効になります。ガンマは、画像のピクセルとモニタの明るさの間の非線形関係を説明します。

この設定は、Quad Camera または Bar Pro、Board Pro、Board Pro G2、Room 55 Dual、Room 70、Room 70 G2、Room 70 Panorama、Room Panorama の統合カメラには適用されません。

これらのカメラは、会議室の照明条件に基づいて自動的に調整されます。また、この機能は PTZ 4K カメラまたは PTZ-12 カメラではサポートされていません。

使用方法:

```
xConfiguration Cameras Camera [n] Gamma Mode: Mode
```

値は次のとおりです。

n: カメラを識別する一意の ID です。

範囲: 1..7 *[RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

範囲: 2..7 *[BoardPro BoardProG2]*

Mode:

自動/手動

Auto: [自動] がデフォルトであり、推奨設定です。

Manual: 手動モードでは、ガンマレベル設定でガンマ値が変更されます。参照: カメラ カメラ [n] のガンマレベル。

デフォルト値:

自動

xConfiguration Cameras Camera [n] IrCutFilter Mode

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

この設定は PTZ 4K カメラにのみ適用され、他のカメラには影響しません。

[IR カット フィルター] (赤外線カット フィルター) は、可視光を通過させながら、近赤外線の波長をブロックします。通常の照明条件では、フィルターをOn (デイモード) にして、赤外線による望ましくない副作用を避ける必要があります。しかし、暗い中でカメラで画像をキャプチャしたい場合は、フィルターをOffにして (夜間モード)、赤外線を利用できるようにします。

使用方法:

```
xConfiguration Cameras Camera [n] IrCutFilter Mode: Mode
```

値は次のとおりです。

n: カメラを識別する一意の ID です。

範囲: 1..7 *[RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

範囲: 2..7 *[BoardPro BoardProG2]*

Mode:

自動/デイ/ナイト

Auto: デバイスは、明るさの変化に基づいて自動的にデイモードとナイトモードを切り替えます。2 つのモードをいつ切り替えるかを制御する方法については、IrCutFilter のしきい値設定を参照してください。

日: 赤外線カットフィルターがOnになっています。

夜間: 赤外線カットフィルターはOffになっています。

デフォルト値:

Day

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Cameras Camera [n] IrCutFilter Threshold

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

この設定は、カメラ [n] のIrCutFilterモードが自動に設定されている場合、つまり、カメラがデイナイトモード間で自動的に切り替えるように設定されている場合にのみ有効です。しきい値が高いほど、デイモードへの切り替えをトリガーするのにより多くの照明が必要になります。

使用方法:

```
xConfiguration Cameras Camera [n] IrCutFilter Threshold: Threshold
```

値は次のとおりです。

n: カメラを識別する一意の ID です。

範囲: 1..7 *[RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

範囲: 2..7 *[BoardPro BoardProG2]*

しきい値:

整数 (0..255)

数値が高いほど、デイモードに切り替えるのにより多くの周囲光が必要になります。

デフォルト値:

14

xConfiguration Cameras Camera [n] Mirror

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

ミラーモード (水平反転) を使用すると、画面上のイメージをミラーリングすることができます。ミラーリングは、自分のビューと相手側に送信されるビデオの両方に適用されます。スピーカー トラッキングがOnの場合、ミラーリングは自動的に無効になります。

この設定は Precision 60 カメラを使用している場合にのみ適用できます。ただし、[カメラn反転] 設定が [On] になっている場合、PTZ 4K カメラは自動的に画像をミラーリングします。

使用方法:

```
xConfiguration Cameras Camera [n] Mirror: Mirror
```

値は次のとおりです。

n: カメラを識別する一意の ID です。

範囲: 1..7 *[RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

範囲: 2..7 *[BoardPro BoardProG2]*

Mirror:

Auto/Off/オン

Auto: カメラが上下逆に取り付けられていることを検出すると、画像が自動的に反転されます。カメラが上下逆に取り付けられているかどうかを自動検出できない場合、画像は変更されません。

Off: 他の人があなたを見るのと同じ画像を表示します。

On: ミラーに映し出された自分と同じ画像を表示します。

デフォルト値:

自動

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Cameras Camera [n] PtzAutoFraming

適用対象: RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

Sony SRG-A40 および SRG-A12 の PTZ 自動フレーミング機能を有効にします。

使用方法:

`xConfiguration Cameras Camera [n] PtzAutoFraming: PtzAutoFraming`

値は次のとおりです。

n: カメラを識別する一意の ID です。

範囲: 1..7

PtzAutoFraming:

Off/On

オフ: 自動フレーミング機能を無効にします。

オン: AutoFraming 機能を有効にします。

デフォルト値:

オン

xConfiguration Cameras Camera [n] Standby Mode

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ

指定されたカメラ [n] のスタンバイモードを設定します。

使用方法:

`xConfiguration Cameras Camera [n] Standby Mode: Mode`

値は次のとおりです。

n: カメラを識別する一意の ID です。

範囲: 1..7

Mode:

無効/有効

無効: デバイスがスタンバイモードになったときに、電源Offのコマンドがカメラに送信されません。スタンバイが終了すると、カメラは前の状態を維持し、追加の動きなしで、すぐに使用できます。

有効: デバイスがスタンバイモードになると、電源Offがカメラに送信されます。スタンバイを終了する際に、電源Onが発行され、カメラに調整プロセスを実行させます。調整中、カメラは最大位置までパンし、その後中心に戻ります。これには約 12 秒かかります。

デフォルト値:

[有効 (Enabled)]

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Cameras Camera [n] VideoFormat

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

カメラの出力ビデオ解像度とフレームレートを設定します。

使用方法:

`xConfiguration Cameras Camera [n] VideoFormat: VideoFormat`

値は次のとおりです。

n: カメラを識別する一意の ID です。

範囲: 1..7

ビデオ形式:

1920_1080_30/1920_1080_60/3840_2160_30

1920_1080_30: カメラ出力は 1920x1080 解像度、30 フレーム/秒です。

1920_1080_60: カメラ出力は 1920x1080 解像度、60 フレーム/秒です。

3840_2160_30: カメラ出力は 3840x2160 解像度、30 フレーム/秒です (PTZ 4K カメラでのみ対応)。

デフォルト値:

1920_1080_60

xConfiguration Cameras Camera [n] ホワイトバランスの補正レベル

適用対象: RoomBarPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

指定されたカメラのホワイトバランス補正レベルを設定します。カメラ画像が常に寒すぎる (青みがかった色合い) または暖かすぎる (黄色がかった色合い) と感じる場合は、この設定を使用してデフォルトの自動ホワイトバランスをオフセットできます。ホワイトバランスは自動調整され続けます。

この設定を負の値にすると画像はより寒く見え、正の値にすると画像はより暖かく見えます。この設定を変更した後、変更を有効にするにはデバイスを再起動する必要があります。

使用方法:

`xConfiguration Cameras Camera [n] Whitebalance Compensation Level: Level`

値は次のとおりです。

n: カメラを識別する一意の ID です。

範囲: 1..1

Level:

整数 (-3..3)

カメラのホワイトバランス補正レベルです。

デフォルト値:

0

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Cameras Camera [n] Whitebalance Mode

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ

カメラのホワイト バランス モードを定義します。

この設定は、Bar Pro、Board Pro、および Board Pro G2 の統合型カメラには適用されません。このカメラは、会議室の照明条件に基づいて自動的に調整されます。

使用方法:

`xConfiguration Cameras カメラ [n] ホワイトバランス モード: モード`

値は次のとおりです。

n: カメラを識別する一意の ID です。

範囲 : 1..7 *[RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

範囲 : 2..7 *[BoardPro BoardProG2]*

Mode:

自動/手動

Auto: カメラはビューに応じてホワイトバランスを継続的に調整します。

手動: カメラのホワイトバランスの手動コントロールを有効にします。ホワイト バランス レベルは、[カメラのホワイトバランス レベル] [カメラ] 設定を使用して設定します。

デフォルト値:

自動

xConfiguration Cameras Camera [n] Whitebalance Level

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ

ホワイトバランスレベルを定義します。Cameras Camera [n] Whitebalance Mode を手動に設定する必要があります。

この設定は、Bar Pro、Board Pro、および Board Pro G2 の統合型カメラには適用されません。このカメラは、会議室の照明条件に基づいて自動的に調整されます。

また、ホワイトバランスモードが手動に設定されている場合、この設定は、Sony ワンプッシュモードを使用している PTZ-12 カメラには影響しません。

使用方法:

`xConfiguration Cameras Camera [n] ホワイトバランス レベル: レベル`

値は次のとおりです。

n: カメラを識別する一意の ID です。

範囲 : 1..7 *[RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

範囲 : 2..7 *[BoardPro BoardProG2]*

Level:

整数 (1..16)

ホワイトバランスのレベルです。

デフォルト値:

1

xConfiguration Cameras Camera ColorSaturation Level

適用対象: DeskPro DeskMini Desk

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ

カメラから送信されるビデオの彩度を変更することができます。数値が高いほど、色の彩度が高くなります。

使用方法:

`xConfiguration Cameras Camera ColorSaturation Level: Level`

値は次のとおりです。

Level:

整数 (-20..20)

範囲: 数値が大きいほど、色の彩度が高くなります。値が 0 の場合、ニュートラルな彩度レベルになります。最も負の値にすると、すべての色が削除され、グレースケールの画像になります。

デフォルト値:

0

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration カメラ カメラ露出補正レベル

適用対象: DeskPro DeskMini Desk

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

カメラ画像が常に暗すぎる (露出不足) または明るすぎる (露出オーバー) 場合は、この設定を使用して、ターゲットの明るさをOffセットできます。明るさ/露出は引き続き自動調整されます。この設定は、[カメラ] [カメラの明るさモード] が [自動] に設定されている場合にのみ効果があります。

使用方法:

`xConfiguration Cameras Camera 露出補償レベル: レベル`

値は次のとおりです。

Level:

整数 (-3..3)

正の数を指定するとキャプチャされた画像の明るさが増します。負の数を指定すると暗くなります。

デフォルト値:

0

xConfiguration Cameras Camera Framerate

適用対象: RoomKit RoomKitMini Room55

必要なユーザーロール: 管理者

デフォルトでは、カメラは毎秒 30 フレームを出力します。これにより、通常の帯域幅と照明条件で、クローズアップと概要の両方の画像で良好な品質を得ることができます。条件が良い場合は、カメラからの 60 フレーム/秒の出力が全体的な品質を向上させます。

使用方法:

`xConfiguration Cameras Camera Framerate: Framerate`

値は次のとおりです。

フレームレート:

30/60

30: カメラは毎秒 30 フレームを出力します。

60: カメラは毎秒 60 フレームを出力します。

デフォルト値:

30

xConfiguration Cameras PowerLine Frequency

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

カメラが電源周波数のちらつき防止をサポートしている場合、カメラは電源からのちらつきノイズを補正することができます。このカメラの構成は、電源回線周波数に基づいて設定する必要があります。カメラが電源回線周波数の自動検出をサポートしている場合、構成で [自動] オプションを選択できます。

Cisco カメラはフリッカー防止と電源回線周波数の自動検出の両方に対応します。[自動] がデフォルト値であるため、自動検出をサポートしていないカメラを使用している場合は、この設定を変更する必要があります。

使用方法:

`xConfiguration Cameras PowerLine Frequency: Frequency`

値は次のとおりです。

Frequency:

50Hz/60Hz/自動

50Hz: 電源周波数が 50Hz の場合はこの値を使用します。

60Hz: 電源周波数が 60Hz の場合はこの値を使用します。

Auto: カメラによる電源周波数の自動検出を許可します。

デフォルト値:

自動

xConfiguration Cameras PresenterTrack CameraPosition Pan

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

機能がアクティブになったときにプレゼンタ トラッキング カメラ (PTZ 4K または Precision 60 カメラ)が移動するパンの位置を定義します。

使用方法:

`xConfiguration Cameras PresenterTrack CameraPosition Pan: Pan`

値は次のとおりです。

Pan:

整数 (-65535..65535)

パンニングの位置です。

デフォルト値:

0

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Cameras PresenterTrack CameraPosition Tilt

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

機能がアクティブになったときにプレゼンタ トラッキング カメラ (PTZ 4K または Precision 60 カメラ)が移動するチルト位置を定義します。

使用方法:

`xConfiguration Cameras PresenterTrack CameraPosition` チルト: *チルト*

値は次のとおりです。

チルト:

整数 (-65535..65535)

チルトの位置です。

デフォルト値:

0

xConfiguration Cameras PresenterTrack CameraPosition Zoom

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

プレゼンタ トラッキング カメラ (PTZ 4K または Precision 60 カメラ) が有効になったときに移動するズーム位置を定義します。

使用方法:

`xConfiguration Cameras PresenterTrack CameraPosition` ズーム: *ズーム*

値は次のとおりです。

ズーム:

整数 (-65535..65535)

ズーム位置です。

デフォルト値:

0

xConfiguration Cameras PresenterTrack Connector

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

プレゼンタ トラッキングカメラ (PTZ 4K または Precision 60 カメラ)が接続されるビデオ入力コネクタを定義します。

使用方法:

`xConfiguration Cameras PresenterTrack Connector:` *Connector*

値は次のとおりです。

Connector:

整数 (1..10) *[RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2]*

整数 (1..3) *[CodecPlus Room70/Room55D]*

整数 (2..2) *[RoomBarPro]*

整数 (3..3) *[BoardPro BoardProG2]*

ビデオ入力コネクタです。

デフォルト値:

1 *[RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2]*

3 *[BoardPro BoardProG2]*

2 *[RoomBarPro]*

xConfiguration Cameras PresenterTrack Enabled

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

PresenterTrack 機能を使用するかどうかを定義します。この機能を利用するには、プレゼンタのトラッキング カメラとして PTZ 4K または Precision 60 カメラが必要です。

使用方法:

`xConfiguration Cameras PresenterTrack Enabled:` *Enabled*

値は次のとおりです。

Enabled:

False/True

False: PresenterTrack 機能が無効になっています。

True: PresenterTrack 機能が使用可能です。

デフォルト値:

False

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration カメラ PresenterTrack PresenterDetectedStatus

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

Briefing 会議室と教室シナリオ (会議室タイプ テンプレート) で、リモート プレゼンタ モードとローカル プレゼンタ モード間の自動切り替えを有効または無効にします。

自動切り替えでは、PresenterTrack トリガー ゾーンで人が検出されるとデバイスがローカル プレゼンタ モードに切り替わり、ローカルのプレゼンタがステージを離れるとリモート プレゼンタ モードに戻ります。

この設定が有効な場合、新しい人がトリガー ゾーンに入ると、カメラの PresenterTrack PresenterDetected ステータスが更新されます。

Precision 60 および PTZ 4K カメラのみがプレゼンタのトラッキングをサポートします。Briefing Room は Codec Plus、Room 70、および Room 55 Dual ではサポートされていません。

Briefing room と Classroom のどちらにも対応していないため、この設定は Board Pro および Board Pro G2 には適用されません。

使用方法:

```
xConfiguration Cameras PresenterTrack PresenterDetectedStatus:
PresenterDetectedStatus
```

値は次のとおりです。

PresenterDetectedStatus:

無効/有効

無効: モード間の自動切り替えは行われません。

有効: ローカルプレゼンタモードとリモートプレゼンタモード間の自動切り替え。

デフォルト値:

[有効 (Enabled)]

xConfiguration Cameras PresenterTrack TriggerZone

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

トリガー ゾーンを定義します。トリガー ゾーンは、プレゼンタのトラッキングを開始するために、人の頭を検出する必要がある領域に対応します。

"x1,y1,...xn,yn" の形式は x 座標と y 座標のペアの文字列です。x の範囲は (0,1920)、y の範囲は (0,1080) です。2 つの座標ペアは、長方形のトリガー ゾーンの左上角と右下角を定義します。3 つ以上の座標ペアが、多角形のトリガー ゾーンの頂点を定義します。

この機能を利用するには、プレゼンタのトラッキング カメラとして PTZ 4K または Precision 60 カメラが必要です。

使用方法:

```
xConfiguration Cameras PresenterTrack TriggerZone: "TriggerZone"
```

値は次のとおりです。

TriggerZone:

文字列 (0, 255)

トリガーゾーンの座標です。

デフォルト値:

「」

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Cameras SpeakerTrack DefaultBehavior

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デバイスの自動フレーミング機能は、カメラによって異なります。フレーミングの主な機能には、ベストオーバービュー (会議室にいるすべての参加者を映し出す最小のフレーム); クローズアップ (発言者または発言者の近くにいる参加者のグループにズームイン); フレームズ (会議室にいるすべての参加者のクローズアップ画像を合成したもの、余分な背景が削除された状態で表示されます)。

カメラのデフォルト フレーミング モードを選択します。呼び出し後にこのモードに戻ります。通話中と通話外の両方で、ユーザ インターフェイスから別のモードに変更することができます。

使用方法:

`xConfiguration Cameras SpeakerTrack DefaultBehavior: DefaultBehavior`

値は次のとおりです。

DefaultBehavior:

自動/ベストオーバービュー/クローズアップ/現在値/フレーム/グループとスピーカー/手動
[RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardProG2]

自動/ベストオーバービュー/クローズアップ/現在値/フレーム/手動 [RoomKit RoomBar CodecPlus Room55 Room70/Room55D Board BoardPro]

Auto/BestOverview/Current/Frames/Manual [RoomKitMini]

Auto/BestOverview/Current/Manual [DeskPro DeskMini Desk]

デフォルト値:

自動

xConfiguration Cameras SpeakerTrack Frames Mode

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitQX CodecQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama Board BoardPro BoardProG2

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

フレーム カメラ モードでは、カメラはズームし、個人または少人数のグループを表示します。これらの個人フレームとグループフレームは、さらに 1 つの出力ビデオストリームに合成されます。このストリームでは、余分な背景が削除され、人物がより近くに表示され、同じサイズで、同じ目の高さで表示されます。カメラは最大 4 つのフレームをサポートします。すべての画像処理は送信側で行われるため、受信側のデバイスがフレームをサポートしている必要はありません。

フレーム モードは発言者トラッキング機能に依存します。そのため、フレームが機能するには、カメラの SpeakerTrack Mode も Auto に設定されている必要があります。

使用方法:

`xConfiguration Cameras SpeakerTrack Frames Mode: Mode`

値は次のとおりです。

Mode:

Auto/Off

Auto: ユーザーは、デバイスのユーザ インターフェイス上のカメラ コントロールを使用して、フレームのOnとOffを切り替えることができます。

Off : フレームは利用できません。

デフォルト値:

自動

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Cameras SpeakerTrack Frames RowConfiguration

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama BoardProG2

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

部屋内の人数が 4 人を超えた場合の「フレーム」カメラ モードの動作を定義します。

使用方法:

`xConfiguration Cameras SpeakerTrack Frames RowConfiguration: RowConfiguration`

値は次のとおりです。

行構成:

マルチロウ/シングルロウ

SingleRow: グリッドレイアウトを作成し、水平方向にグリッド セルの 1 行を配置します。各グリッド セルにはグループまたは個々の参加者が含まれます。

MultiRow: 個別にフレーム化された人物を 2 行に配置します。2 行のグリッドレイアウトが指定されます。

どちらのモードでもグリッドを形成できない場合、システムはデフォルトでビュー内のすべての参加者を含む 16:9 フレーミングを使用します。

デフォルト値:

SingleRow

xConfiguration Cameras SpeakerTrack GroupAndSpeaker Mode

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 BoardProG2

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

グループおよびスピーカーのカメラ モードでは、リモートのミーティング参加者に会議室の 2 つのビューを同時に送信します。グループの概要と発言者のクローズアップです。グループおよび発言者モードを使用するには、会議室に少なくとも 3 人いる必要があります。

使用方法:

`xConfiguration Cameras SpeakerTrack GroupAndSpeaker Mode: Mode`

値は次のとおりです。

Mode:

Auto/Off

自動: グループモードと発言者モードが有効です。

オフ: グループモードと発言者モードが無効になります。

デフォルト値:

自動

xConfiguration Cameras SpeakerTrack HeadDetectorRange

適用対象: RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

頭部検出アルゴリズムが最適に動作する範囲には限界があります。良好な状態であれば、デフォルト値を維持することをお勧めします。室内の近くにいる人のトラッキングで問題が発生する場合は、頭検出器の範囲を [標準] に設定することを検討してください。この副作用として、遠くにいる人は、ビューの中心にいる場合でも検出されない場合があります。

Codec EQ、Codec Pro、および Codec Plus では、Quad Camera を使用している場合にのみ、この設定が適用されます。

使用方法:

`xConfiguration Cameras SpeakerTrack HeadDetectorRange: HeadDetectorRange`

値は次のとおりです。

頭検出範囲:

拡張/標準

拡張: 最長の範囲。これは、カメラの視野の中央に配置された長方形に適用されます。この長方形は Speakertrack 診断ビューで視覚化されます。

標準: 最短の範囲

デフォルト値:

拡張

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Cameras SpeakerTrack MeetingZone Area

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ミーティングゾーンを定義します。これは、カメラのSpeakerTrackミーティングゾーンモード設定が自動に設定されている場合に、ビデOffレームに含めるものを決定するときに発言者トラックとビデOffレーミングロジックが使用する領域です。

ミーティングゾーンは多角形であり、x,z 座標ペアの文字列で定義されます: "x1,z1, x2,z2, ..., xn, zn", 座標ペアは多角形の頂点を定義します。

会議室を上から見た場合、座標ペア (0,0) がカメラの位置を表します。(0,z) は、ビューの中心線に沿ったカメラからの z cm 点の位置を表します。(x,0) はカメラの側面 x cm の点を表します。カメラに面した会議室から見て、正の x 値はカメラの右側、負の x 値はカメラの左側を示します。負の Z 値は使用されません。それらはカメラの後ろになります。

ミーティング ゾーンを定義する最も簡単な方法は、タッチ ユーザ インターフェイスの [デバイス設定] で利用できるグラフィック ツールを使用することです。

使用方法:

```
xConfiguration Cameras SpeakerTrack MeetingZone Area: "Area"
```

値は次のとおりです。

エリア:

文字列 (0, 255)

ミーティング ゾーンを定義する座標ペアの文字列。

デフォルト値:

「」

xConfiguration カメラ SpeakerTrack ミーティングゾーン モード

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

会議エリア機能を使用すると、発言者トラックとビデオ フレーム ロジックがビデオ フレームに何を含めるかを決定するときに使用する領域を制限できます。この機能は、オープンOffィスや、壁がガラス張りの会議室などで便利です。定義された会議エリアの外にいる人々は、最も適切なビデオ フレームの選択に影響を与えません。

タッチ ユーザ インターフェイスを使用して、ミーティング ゾーンを簡単に定義できます。代わりに、[カメラ][スピーカー トラック][ミーティング ゾーン][エリア] 設定を使用することもできます。

Codec Plus、Codec Pro、Codec EQ の場合: デバイスには、話者トラッキングをサポートするカメラが必要です。

使用方法:

```
xConfiguration Cameras SpeakerTrack MeetingZone Mode: Mode
```

値は次のとおりです。

Mode:

Auto/Off

Auto: ミーティングゾーンが定義されている限り、それが使用されます。ミーティングゾーンが定義されていない場合、動作はOffと同じになります。

Off: ミーティングゾーンが定義されているかどうかに関わらず、ミーティングゾーン機能は使用されません。

デフォルト値:

Off

xConfiguration カメラ スピーカートラック マルチカメラ キャリブレーション モニタリング

適用対象: RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

適切に調整されていないカメラに対して診断メッセージを表示するかどうかを決定します。有効に設定すると、不適切に調整されたカメラは追跡に使用されません。

使用方法:

```
xConfiguration Cameras SpeakerTrack MultiCamera CalibrationMonitoring:
CalibrationMonitoring
```

値は次のとおりです。

キャリブレーションモニタリング:

無効/有効

デフォルト値:

[有効 (Enabled)]

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Cameras SpeakerTrack ZoomRange MaxZoomFactor

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitQX CodecQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ズーム範囲と最大ズームイン画像の画質との間には、トレードOffの関係があります。範囲が長いほど、品質が低下します。

この設定では、自動フレーミング機能の最大ズーム レベルを構成できます。この設定は、手動カメラ コントロールのズーム範囲には影響しません。

この設定は、自動フレーミング機能をサポートする Cisco カメラ (外部または内部) に適用されます (SpeakerTrack 60、PTZ 4K、および PTZ-12 では非対応です)。

使用方法:

`xConfiguration Cameras SpeakerTrack ZoomRange MaxZoomFactor:` *MaxZoomFactor*

値は次のとおりです。

最大ズーム倍率:

2x/3x/4x/5x/Auto *[RoomKitMini]*

3x/4x/5x/Auto *[RoomKit RoomBar RoomBarPro Room55 BoardPro BoardProG2]*

3x/4x/Auto *[RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

2x: 自動フレーミング機能の最大ズーム倍率は 2x です。

3x: 自動フレーミング機能の最大ズーム倍率は 3 倍です。

4x: 自動フレーミング機能の最大ズーム倍率は 4x です。

5x: 自動フレーミング機能の最大ズーム倍率は 5x です。

Auto: 推奨されるズーム範囲です。

デフォルト値:

自動

xConfiguration Cameras SpeakerTrack Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ

この設定は、スピーカー トラッキングまたはベスト オーバービューをサポートするカメラを使用している場合にのみ適用されます。

クアッド カメラ: 発言者トラッキングは自動カメラ フレーミングを使用して、ユーザーが会議室のどこにいるかに基づいて最適なカメラ ビューを選択します。クアッド カメラは、アクティブな発言者のクローズアップを見つけてキャプチャする音声トラッキング技術を使用します。

SpeakerTrack 60 カメラ: デュアル カメラ アセンブリは 2 つのカメラで構成され、アクティブな発言者を見つけてクローズアップする音声トラッキング技術を使用します。発言者の変更が検出されると、ビデオ デバイスが 2 つのカメラ間で自動的に切り替わり、常に最良のカメラ ビューが表示されます。さまざまなモードの切り替えについては、[カメラ][スピーカー トラック] [TrackingMode] 設定を参照してください。

内蔵 Speakertrack カメラ搭載のビデオデバイス (Room Kit、Room 55、Room 55 Dual、Room 70、Room 70 G2、Room 70 Panorama、Room Panorama、Board、Board Pro、および Board Pro G2): 話者トラッキングは自動カメラを使用し、人がいる場所に基づいて最適なカメラ ビューを選択するためのフレーミングを使用できます。カメラは、現在の話者を検出してそのクローズアップをキャプチャするオーディオ トラッキング技術を使用します。

ベストオーバービューをサポートするが、カメラが話者トラッキングをサポートしない (Desk シリーズ製品) ベストオーバービューは自動カメラ フレームを使用して、会議室のユーザーの位置に基づいて最適なカメラ ビューを選択します。

使用方法:

`xConfiguration Cameras SpeakerTrack Mode:` *Mode*

値は次のとおりです。

Mode:

Auto/Off

Auto: 発言者のトラッキング (Room Kit Mini または Desk シリーズ製品ではサポートされていません) および最適な全体観がOnになっています。デバイスが室内にいる人を検出し、最適なカメラ フレームを自動的に選択します。ユーザーはタッチコントローラのカメラ コントロール パネルでこの機能をすぐにOnまたはOffに切り替えることができますが、この機能は各通話の後にOnに戻されるため、デバイスは次のユーザーのために準備されます。

Off: 発言者のトラッキング (Room Kit Mini または Desk シリーズ製品ではサポートされていません) およびベストオーバービューがOffになっています。SpeakerTrack 60 カメラ アセンブリがある場合、2 つのカメラは個別のカメラとして動作します。

デフォルト値:

自動

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Cameras SpeakerTrack Closeup

適用対象: RoomKit RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama Board BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

クローズアップとグループ フレームの機能をOnまたはOffにします。

この設定は、カメラの SpeakerTrack モードが [自動] に設定されている場合にのみ適用されます。クローズアップ機能がOnになっている場合、デバイスは人が話していることを検出し、その人をカバーするのに最適なフレームを選択します。これはクローズアップと呼ばれるもので、会議室にいるすべての人が含まれているとは限りません。常に会議室の全員が映るようにしたい場合は、クローズアップ機能をOffにできます。

使用方法:

```
xConfiguration Cameras SpeakerTrack Closeup: Closeup
```

値は次のとおりです。

クローズアップ:

Auto/Off/オン

Auto: 動作はデバイス タイプによって異なります。Board 55/55S/70/70S/85S は、常に会議室にいる全員をカメラフレームに収めるように努めていますが、他のデバイスは、発言者のみ、または発言者とその近くにいる参加者のみにズームインします (グループフレーム)。

Off: デバイスは、会議室にいるすべての人をカメラのフレームに入れ続けます。

On: デバイスはアクティブな発言者またはグループ フレームにズームインします。

デフォルト値:

自動

xConfiguration Cameras SpeakerTrack TrackingMode

適用対象: RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

この設定は、SpeakerTrack 60 カメラを使用し、カメラのSpeakerTrackモードが自動に設定されている場合にのみ適用されます。

話者トラッキング アルゴリズムは 2 つのモードでの変更に反応し、一方は他方より早く反応します。このモードでは、いつカメラ ビューが新しい発言者に切り替わるかを指定します。

使用方法:

```
xConfiguration Cameras SpeakerTrack TrackingMode: TrackingMode
```

値は次のとおりです。

TrackingMode:

自動/保守的

Auto:これは通常のトラッキングモードです。

保守的: カメラ ビューは通常のトラッキング モードよりも遅れて新しい発言者に変更されます。

デフォルト値:

自動

xConfiguration カメラ SpeakerTrack Connector 検出モード

適用対象: RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

この設定は SpeakerTrack 60 カメラがビデオ デバイスに接続されている場合にのみ適用されます。

各カメラがどのビデオ入力に接続されているかを自動的に検出するか、または手動で構成するかを定義します。ビデオ デバイスがカメラからの EDID 情報を受信しない状況では、手動設定を選択する必要があります。通常、これは、EDID 情報を渡さない HDMI リピーターを使用する場合です。

使用方法:

```
xConfiguration Cameras SpeakerTrack ConnectorDetection Mode: Mode
```

値は次のとおりです。

Mode:

自動/手動

Auto: カメラが接続されているビデオ入力を自動的に検出します。

手動: カメラが接続されるビデオ入力を手動で定義します。Cameras SpeakerTrack ConnectorDetection CameraLeft および Cameras SpeakerTrack ConnectorDetection CameraRight 設定を使用します。

デフォルト値:

自動

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Cameras SpeakerTrack ConnectorDetection CameraLeft

適用対象: RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ

SpeakerTrack 60 の左カメラが接続されるビデオ入力の番号を定義します。
この設定は SpeakerTrack 60 カメラがビデオ デバイスに接続されている場合にのみ適用されます。また、カメラ SpeakerTrack のコネクタ検出モードを手動に設定する必要があります。
Codec EQ は SpeakerTrack 60 カメラをサポートしていません。

使用方法:

```
xConfiguration Cameras SpeakerTrack ConnectorDetection CameraLeft: CameraLeft
```

値は次のとおりです。

CameraLeft:

整数 (1..3) [CodecPlus]

整数 (1..5) [RoomKitEQX CodecEQ CodecPro]

有効なビデオ入力番号を設定してください。例えば、左カメラがビデオ入力 1 に接続されている場合、1 に設定します。

デフォルト値:

1

xConfiguration Cameras SpeakerTrack ConnectorDetection CameraRight

適用対象: RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ

SpeakerTrack 60 の右カメラが接続されるビデオ入力の番号を設定します。
この設定は SpeakerTrack 60 カメラがビデオ デバイスに接続されている場合にのみ適用されます。また、カメラ SpeakerTrack のコネクタ検出モードを手動に設定する必要があります。
Codec EQ は SpeakerTrack 60 カメラをサポートしていません。

使用方法:

```
xConfiguration Cameras SpeakerTrack ConnectorDetection CameraRight:
CameraRight
```

値は次のとおりです。

CameraRight:

整数 (1..3) *[CodecPlus]*

整数 (1..5) *[RoomKitEQX CodecEQ CodecPro]*

有効なビデオ入力番号を設定してください。例えば、右カメラがビデオ入力 2 に接続されている場合、2 に設定します。

デフォルト値:

2

xConfiguration Cameras SpeakerTrack Whiteboard Mode

適用対象: RoomKit RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/ Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ、USER

この設定はホワイトボードにスナップする機能に属しますが、このソフトウェアバージョンではサポートされていません。

使用方法:

```
xConfiguration Cameras SpeakerTrack Whiteboard Mode: Mode
```

値は次のとおりです。

Mode:

Off/On

デフォルト値:

Off

xConfiguration カメラの立体視モード

適用対象: RoomBarPro BoardProG2

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

互換性のあるハードウェアを持つ参加者が会議に参加したときに立体 3D ビデオを送信する場合はオンにします。

使用方法:

```
xConfiguration Cameras Stereoscopic Mode: Mode
```

値は次のとおりです。

Mode:

Off/On

デフォルト値:

Off

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

会議設定

xConfiguration Conference AutoAnswer Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

自動応答モードを定義します。通話に応答するまでの秒数を待つ場合は [電話会議の自動応答の遅延] 設定を使用し、通話が応答されるときにマイクをミュートする場合は [電話会議の自動応答のミュート] 設定を使用します。

使用方法:

`xConfiguration Conference AutoAnswer Mode:` *Mode*

値は次のとおりです。

Mode:

Off/On

Off: タッチ コントローラーの [応答] をタップすると、着信に手動で応答できます。

On: デバイスは自動的に着信に応答します。ただし、すでに通話中である場合を除きます。通話中の場合でも、着信に手動で応答したり拒否したりすることができます。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Conference AutoAnswer Mute

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

着信通話に自動的に応答する際にマイクをミュートにするかどうかを定義します。[自動応答モード] がOnになっている必要があります。

使用方法:

`xConfiguration Conference AutoAnswer Mute:` *Mute*

値は次のとおりです。

ミュート:

Off/On

Off: 着信はミュートされません。

On: 自動応答時に着信通話をミュートにします。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Conference AutoAnswer Delay

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

着信コールに対して、デバイスが自動的に応答するまでの待機時間 (秒) を定義します。[自動応答モード] がOnになっている必要があります。

使用方法:

`xConfiguration Conference AutoAnswer Delay:` *Delay*

値は次のとおりです。

遅延:

整数 (0..50)

自動応答の遅延時間 (秒)。

デフォルト値:

0

xConfiguration 電話会議プロトコル IP スタック

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

デバイスが通信プロトコル (SIP、H323) に対して IPv4、IPv6、またはデュアル IP スタックを有効にする必要があるかどうかを選択します。Webex については、電話会議の Webex CallProtocolIPStack 設定を参照してください。

使用方法:

`xConfiguration 会議通話プロトコル IP スタック:` *通話プロトコル IP スタック*

値は次のとおりです。

CallProtocolIPStack:

デュアル/IPv4/IPv6

Dual: 通話プロトコルで IPv4 と IPv6 の両方を有効にします。

IPv4: 通話プロトコルは IPv4 を使用します。

IPv6: 通話プロトコルは IPv6 を使用します。

デフォルト値:

デュアル

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Conference CapsetFilter

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

この設定では、H.323 および SIP コールのメディア ネゴシエーションでフィルタリングするメディア コーデックを指定できます。デバッグの目的でのみ使用し、Cisco の同意を得て使用してください。

使用方法:

```
xConfiguration Conference CapsetFilter: "CapsetFilter"
```

値は次のとおりです。

CapsetFilter:

文字列 (0, 200)

フィルター定義。

デフォルト値:

「」

xConfiguration Conference DefaultCall Protocol

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

デバイスから発信するときに使用される Default Call Protocol を定義します。

使用方法:

```
xConfiguration Conference DefaultCall Protocol: Protocol
```

値は次のとおりです。

プロトコル:

Auto/H323/Sip/Spark

Auto: 利用可能なプロトコルに基づいて、通話プロトコルの自動選択を有効にします。複数のプロトコルが利用できる場合の優先順位は以下の通りです。1) SIP; 2) H323。デバイスが登録できない場合、自動選択は H323 を選択します。

H323: すべての通話が H.323 通話としてセットアップされます。

Sip: すべての通話が SIP 通話としてセットアップされます。

Spark: すべての通話は Webex インフラストラクチャ経由でセットアップされます。

デフォルト値:

自動

xConfiguration Conference DefaultCall Rate

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

発信時に使用する既定の通信速度を定義します。Webex ミーティングの場合、このデフォルトは [電話会議のデフォルトのWebex通話レート] 設定によって上書きされる場合があります。

コール レートは常に、Conference MaxReceiveCallRate および Conference MaxTransmitCallRate の設定によって制限されます。該当する場合は、Conference MaxMultisite ReceiveRate、Conference MaxMultiSiteTransmitRate によっても制限されます。

使用方法:

```
xConfiguration Conference DefaultCall Rate: Rate
```

値は次のとおりです。

Rate:

整数 (64..10000) *[Board]*

整数 (64..20000) *[RoomPanorama/Room70Panorama]*

整数 (64..6000) *[RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2]*

デフォルトのコールレート (kbps) です。

デフォルト値:

6000 *[RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2]*

10000 *[Board]*

16000 *[RoomPanorama/Room70Panorama]*

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Conference DefaultCall Webex Rate

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

Webex ミーティングで使用される既定の通話レートを定義します。この設定は、Webex クラウド サービスからソフトウェアを取得するデバイスにのみ適用されます。

コール レートは常に、Conference MaxReceiveCallRate および Conference MaxTransmitCallRate の設定によって制限されます。0 に設定すると、Conference DefaultCall Rate が Webex 通話にも使用されます。

使用方法:

```
xConfiguration Conference DefaultCall Webex Rate: Rate
```

値は次のとおりです。

Rate:

整数 (0..10000) *[Board]*

整数 (0..20000) *[RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2]*

整数 (0..6000) *[RoomKit RoomKitMini CodecPlus Room55 Room70/Room55D]*

デフォルトのコールレート (kbps) です。0 に設定すると、既定のコール レートは会議のデフォルトコールレート設定で指定されます。

デフォルト値:

0 *[RoomKit RoomKitMini RoomBar CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2]*

20000 *[RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ]*

10000 *[Board]*

xConfiguration Conference Diagnostics DegradedQualityNotifications

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

ネットワークの問題や通話品質の低下に関する通話中の通知をユーザーに表示するかどうかを指定します。

使用方法:

```
xConfiguration Conference Diagnostics DegradedQualityNotifications:
DegradedQualityNotifications
```

値は次のとおりです。

DegradedQualityNotifications:

Off/On

Off: ネットワークの問題と通話品質の低下に関する通知は表示されません。

On: ネットワークの問題と通話品質の低下に関する通知が表示されます。

デフォルト値:

オン

xConfiguration Conference DoNotDisturb DefaultTimeout

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

この設定では、着信が拒否され、不在着信として登録されるまでの既定のDo Not Disturbセッションの継続時間を決定します。セッションは、ユーザインターフェイスを使用して早く終了することができます。

使用方法:

```
xConfiguration Conference DoNotDisturb DefaultTimeout: DefaultTimeout
```

値は次のとおりです。

DefaultTimeout:

整数 (1..1440)

分数 (最大 1440 分 = 24 時間)で、「邪魔しないで」セッションが自動的にタイムアウトします。

デフォルト値:

60

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Conference Diagnostics StreamStatusOverlay

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

ビットレートやフレームレートなどの各ビデオストリームに関する情報を画面に表示するかどうかを決定します。情報は各ビデOffレームの上部に透明レイヤーとして表示されます。これはデバッグを目的としたものであるため、通常は [Off] にします。表示される実際のデータは予告なしに変更される場合があります。

使用方法:

`xConfiguration Conference Diagnostics StreamStatusOverlay: StreamStatusOverlay`

値は次のとおりです。

StreamStatusOverlay:

Off/On

Off: ビデオストリームのみを表示します。オーバーレイ情報はありません。

On: 透明データレイヤーをビデオストリームの上部に表示します。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Conference EmbeddedApp NotificationsOnly

適用対象: DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

埋め込みアプリのサポートにより、Webex クライアントを使用しているミーティング参加者が開始したアプリをデバイスで表示し、操作できます。

管理者は、デバイスに実際のアプリを表示するか、アプリが共有されているという通知のみを表示するかを設定できます。後者の場合、ユーザーはミーティング クライアントを開いて、アプリを表示して操作する必要があります。

埋め込みアプリはデバイスのウェブ エンジンを使用しているため、[ウェブ エンジン モード] 設定が [On] になっている必要があります。

使用方法:

`xConfiguration Conference EmbeddedApp NotificationsOnly: NotificationsOnly`

値は次のとおりです。

NotificationsOnly:

False/True

False: ユーザーはデバイス上の埋め込みアプリを見て操作できる。

True: 埋め込みアプリが共有されると、ユーザーに通知が表示されます。デバイス上のアプリを見たり、操作したりすることはできません。ミーティングクライアントを使用する必要があります。

デフォルト値:

False

xConfiguration 会議暗号化モード

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

会議の暗号化モードを定義します。会議が開始されると、「暗号化On」または「暗号化Off」と表示された南京錠のアイコンが数秒間画面に表示されます。

メモ: デバイスに暗号化オプションキーがインストールされていない場合、暗号化モードは常にOffになります。

使用方法:

`xConfiguration Conference Encryption Mode: Mode`

値は次のとおりです。

Mode:

ベストエフォート/オフ/オン

Off: デバイスは暗号化を使用しません。

On: デバイスは暗号化された通話のみを許可します。

BestEffort: デバイスは可能な限り暗号化を使用します。

> ポイントツーポイント通話: 相手側のデバイスが暗号化 (AES-128) をサポートしている場合、通話は暗号化されます。そうでない場合、通話は暗号化されずに続行されます。

> MultiSite 通話: 暗号化された MultiSite 電話会議を使用するには、すべてのサイトが暗号化をサポートしている必要があります。そうでない場合、電話会議は暗号化されません。

デフォルト値:

ベストエフォート

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Conference EndToEndEncryption Identity PreferredDomain

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

これは、Webex クラウド サービスに登録されているか、デバイスの Webex Edge にリンクされているデバイスでのみ利用できます。

この構成は、管理者が Control Hub からデバイスの優先ドメインを設定したときに行われます。組織に複数のドメインがある場合にのみ必要です。

Webex CA からの証明書を要求すると、デバイスはこのドメインを使用します。ドメインはデバイスを識別します。

デバイスがアクティブで外部から発行された証明書を持っている場合、この構成は適用されません。

使用方法:

```
xConfiguration Conference EndToEndEncryption Identity PreferredDomain:
"PreferredDomain"
```

値は次のとおりです。

PreferredDomain:

文字列 (0, 255)

デフォルト値:

「」

xConfiguration Conference FarEndControl Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

リモート側 (遠端) がビデオソースを選択し、デバイスのカメラをコントロール (パン、チルト、ズーム) できるかどうかを決定します。ローカルでカメラを操作したり、ビデオソースを選択することは可能です。

使用方法:

```
xConfiguration Conference FarEndControl Mode: Mode
```

値は次のとおりです。

Mode:

Auto/Off/オン

Auto: スピーカー トラッキングが無効になっている場合に限り、相手はビデオ ソースを選択したり、カメラをコントロールしたりできます。パーソナル モードのデバイスでは、遠端コントロールは許可されていません。

Off: 相手側はビデオ ソースの選択やカメラの操作ができません。

On: 相手はビデオ ソースを選択し、すべてのデバイス (個人用と共有の両方) でカメラをコントロールできます。スピーカートラッキングは、デバイスが最初の FarEndControl Camera Move コマンドを受信したときに無効になり、通話が終了したときに再度有効になります。

デフォルト値:

自動

xConfiguration Conference FarEndControl SignalCapability

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

遠端制御 (H.224) 信号機能モードを定義します。

使用方法:

```
xConfiguration Conference FarEndControl SignalCapability: SignalCapability
```

値は次のとおりです。

信号機能:

Off/On

Off: 遠端制御信号機能を無効にします。

On: 遠端制御信号機能を有効にします。

デフォルト値:

オン

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Conference FarendMessage Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

コントロール システムまたはマクロで使用する、ポイントツーポイント コールの 2 つのデバイス間でのデータ送信を許可するかどうかを切り替えます。SIP 通話でのみ機能します。この設定により、xCommand Call FarEndMessage Send コマンドの使用が有効/無効になります。

使用方法:

`xConfiguration Conference FarendMessage Mode:` *Mode*

値は次のとおりです。

Mode:

Off/On

Off: 2 つのデバイス間でメッセージを送信することはできません。

On: ポイントツーポイント通話の 2 つのデバイス間でメッセージを送信できます。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Conference HideNonVideo OnCall Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

ミーティング中にビデオがOffになっている参加者をどのモードで表示するか指定します。

この機能は、Webex クラウド サービスに登録されている、または Webex の最適化されたエクスペリエンスが有効になっているデバイス用の Webex Edge にリンクされているデバイスでのみ利用できます。

使用方法:

`xConfiguration Conference HideNonVideo OnCall Mode:` *Mode*

値は次のとおりです。

Mode:

アクティブ/自動/非アクティブ/前へ

アクティブ: 前回の通話での使用に関係なく、ミーティング中にビデオがOffになっている参加者を非表示にします。

Auto: Auto は、共有デバイスの通話の開始で「アクティブ」に解決され、個人用デバイスの場合、「Previous」に解決されます。

アクティブ: 前回の通話での使用に関係なく、ミーティング中にビデオがOffになっている参加者を非表示にします。

前回: [前回] は、最後の呼び出しと同じ状態を設定します。

デフォルト値:

非アクティブ

xConfiguration Conference JoinLeaveNotifications

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

ミーティングに参加または退席するユーザーの通知をいつ表示するかを指定します。

使用方法:

`xConfiguration Conference JoinLeaveNotifications:` *JoinLeaveNotifications*

値は次のとおりです。

JoinLeaveNotifications:

常時/自動/なし

常時: すべての通知を常に表示します。

自動的に: 参加者である最初の 25 名についてのみ通知を表示します。

決して: 通知を表示しません。

デフォルト値:

自動

xConfiguration Conference MaxReceiveCallRate

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

通話の発信または受信時に使用する最大受信ビットレートを定義します。通常、これは個々のコールの最大受信ビット レートです。

Onプレミスで登録されているデバイスの場合、個々の通話の最大受信ビット レートは、Conference MaxReceiveCallRate および Conference MaxMultisiteReceiveRate 設定の最も低い値になります。MultiSite 会議では、Conference MaxMultisiteReceiveRate はすべての同時アクティブ コールの集計最大値です。

使用方法:

`xConfiguration Conference MaxReceiveCallRate:` *MaxReceiveCallRate*

値は次のとおりです。

MaxReceiveCallRate:

整数 (64..10000) *[Board]*

整数 (64..20000) *[RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2]*

整数 (64..6000) *[RoomKit RoomKitMini CodecPlus Room55 Room70/Room55D]*

最大受信コールレート (kbps)。

デフォルト値:

6000 *[RoomKit RoomKitMini RoomBar CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2]*

20000 *[RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ RoomPanorama/Room70Panorama]*

10000 *[Board]*

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Conference MaxTransmitCallRate

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

通話の発信または受信時に使用する最大送信ビットレートを定義します。通常、これは個々のコールの最大送信ビット レートです。

Onプレミスで登録されているデバイスの場合、個々の通話の最大転送ビットレートは、Conference MaxTransmitCallRate および Conference MaxMultisiteTransmitRate 設定の最も低い値になります。MultiSite 会議では、Conference MaxMultisiteTransmitRate はすべての同時アクティブ コールの集計最大値です。

使用方法:

`xConfiguration Conference MaxTransmitCallRate:` *MaxTransmitCallRate*

値は次のとおりです。

MaxTransmitCallRate:

整数 (64..20000) *[RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro BoardProG2]*

整数 (64..6000) *[RoomKit RoomKitMini CodecPlus Room55 Room70/Room55D]*

最大送信コールレート (kbps) です。

デフォルト値:

6000 *[RoomKit RoomKitMini RoomBar CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro BoardProG2]*

20000 *[RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ RoomPanorama/Room70Panorama]*

xConfiguration Conference MaxMultisiteReceiveRate

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

この構成は、デバイスの組み込み MultiSite 機能 (オプション) を使用して、マルチポイント ビデオ会議を主催する場合に適用されます。

許可される最大総受信ビット レートを定義します。ビット レートは、任意の時点でのすべてのアクティブ コール間で公平に分配されます。つまり、参加者が MultiSite 電話会議から退席または参加したとき、あるいは通話が保留 (中断) または再開されたときに、個々の通話は適切に上方修正または下方修正されます。

各通話の最大受信ビット レートは、Conference MaxReceiveCallRate 設定で定義されます。

使用方法:

`xConfiguration Conference MaxMultisiteReceiveRate:` *MaxMultisiteReceiveRate*

値は次のとおりです。

MaxMultisiteReceiveRate:

整数 (64..15000) *[RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2]*

整数 (64..6000) *[RoomKit RoomKitMini CodecPlus Room55 Room70/Room55D Board]*

MultiSite 電話会議での最大集約受信コールレート (kbps)。

デフォルト値:

6000 *[RoomKit RoomKitMini CodecPlus Room55 Room70/Room55D Board]*

15000 *[RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2]*

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Conference MaxMultisiteTransmitRate

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

この構成は、デバイスの組み込み MultiSite 機能 (オプション) を使用して、マルチポイント ビデオ会議を主催する場合に適用されます。

許可される最大の集約送信ビット レートを定義します。ビット レートは、任意の時点でのすべてのアクティブ コール間で公平に分配されます。つまり、参加者が MultiSite 電話会議から退席または参加したとき、あるいは通話が保留 (中断) または再開されたときに、個々の通話は適切に上方修正または下方修正されます。

各コールの最大送信ビット レートは、Conference MaxTransmitCallRate 設定で定義されます。

使用方法:

```
xConfiguration Conference MaxMultisiteTransmitRate: MaxMultisiteTransmitRate
```

値は次のとおりです。

MaxMultisiteTransmitRate:

整数 (64..15000) *[RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2]*

整数 (64..6000) *[RoomKit RoomKitMini CodecPlus Room55 Room70/Room55D Board]*

MultiSite 電話会議の最大集約送信コールレート (kbps)。

デフォルト値:

6000 *[RoomKit RoomKitMini CodecPlus Room55 Room70/Room55D Board]*

15000 *[RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2]*

xConfiguration Conference MicUnmuteOnDisconnect Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

すべての通話が切断されたときに、マイクを自動的にミュート解除するかどうかを定義します。ミーティングルームまたは他の共有リソースで、これは次のユーザーのためにデバイスを準備するために行われる場合があります。

使用方法:

```
xConfiguration Conference MicUnmuteOnDisconnect Mode: Mode
```

値は次のとおりです。

Mode:

Off/On

Off: 通話中にミュートされた場合、通話が切断された後もマイクはミュートされたままになります。

On: 通話が切断された後でマイクをミュート解除します。

デフォルト値:

オン

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration 会議マルチポイントモード

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

ポイントツーポイントのビデオコール 2 者だけが関与するコールを、より多くの参加者がいる多地点会議(アドホック会議)に拡張する方法を定義する。ローカル リソースのみに依存する組み込み MultiSite 機能、および集中型インフラストラクチャ (マルチポイント コントロール ユニット - MCU) に基づく異なるソリューションの両方が使用可能です。

MultiSite 機能はアップグレード オプションであり、MultiSite オプション キーがインストールされているデバイスでのみ利用できます。Cisco TelePresence Video Communication Server (VCS) に登録されている場合、そのデバイスは MultiSite を使って他のビデオ会議端末に発信できます。Cisco Unified Communications Manager (CUCM) に登録されている場合、デバイスは CUCM 会議ブリッジまたはデバイス自身の組み込みの MultiSite 機能のいずれかを使用できます。どのオプションを使用するかは、CUCM によりセットアップされます。

いずれの場合も、デバイスが参加者を電話会議に追加することを許可する MCU に発信する場合、複数参加者の会議は MCU 経由でセットアップできます (直接リモート追加)。

使用方法:

`xConfiguration 電話会議 マルチポイントモード: モード`

値は次のとおりです。

Mode:

Auto/CUCMMediaResourceGroupList/MultiSite/Off

Auto: マルチポイント方法が自動的に選択されます。MultiSite オプションキーがデバイスにインストールされており、別のデバイス (MCU ではない) と通信している場合、複数参加者の会議は組み込みの MultiSite 機能を使用してセットアップされます。参加者を追加できるのは、MultiSite の主催者だけです。これにより、カスケード型の会議が防止されます。デバイスに MultiSite オプション キーがない場合、ビデオで複数のデバイスに発信することはできません。別のビデオデバイス (MCU (マルチポイント制御ユニット) ではない) に発信する場合、一部のデバイスでは、音声のみの参加者を 1 人追加できます。

MultiSite オプションキーに関係なく、複数参加者の会議は、デバイスが参加者を電話会議に追加することを許可するMCUに発信する場合、MCU 経由でセットアップされる場合があります。

CUCMMediaResourceGroupList: 複数参加者の電話会議は、CUCM が設定した電話会議ブリッジによって主催されます。この設定は CUCM 環境の CUCM によってプロビジョニングされ、ユーザーが手動で設定するべきではありません。

MultiSite: MultiSite オプション キーがデバイスにインストールされている場合、複数参加者の電話会議は、組み込みの MultiSite 機能を使用してセットアップされます。デバイスに MultiSite オプション キーがない場合、ビデオで複数のデバイスに発信することはできません。一部のデバイスでは、音声のみの参加者を 1 名追加できます。

Off: ビデオで複数の端末に発信できません。デバイスが参加者を電話会議に追加することを許可する MCU に発信する場合、複数参加者の電話会議は MCU 経由でセットアップされる可能性があります (直接リモート追加)。別のビデオデバイス (MCU (マルチポイント制御ユニット) ではない) に発信する場合、一部のデバイスでは、音声のみの参加者を 1 人追加できます。

デフォルト値:

自動

xConfiguration Conference MultiStream Mode

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール: 管理者

サポートされているデバイスでは、Conference MultiStream Modeがマルチストリームを On/Offにするオプションを提供します。

使用方法:

`xConfiguration Conference MultiStream Mode: Mode`

値は次のとおりです。

Mode:

Auto/Off

Auto: 会議インフラストラクチャがこの機能をサポートしている場合、マルチストリームが使用されます。必要な最小バージョン: CMS 2.2、CUCM 11.5、VCS X8.7。

Off: マルチストリームは無効です。Webex クラウド サービスに登録されているデバイスには影響しません。これらは常にマルチストリームを使用するためです。デバイスがデバイス用の Webex Edge にリンクされており、Webex の最適化されたエクスペリエンスが有効になっている場合 (つまり、Webex 通話インフラストラクチャ経由でミーティングに参加する場合)、同じことが適用されます。

デフォルト値:

自動

xConfiguration Conference IncomingMultisiteCall Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

通話/電話会議に参加している場合に、着信を許可するかどうかを選択します。

使用方法:

`xConfiguration Conference IncomingMultisiteCall Mode: Mode`

値は次のとおりです。

Mode:

許可/拒否

許可: 他の人からの通話がある場合、通知されます。着信通話を受け入れるかどうかを選択できます。進行中の通話は、着信に応答する間、待機状態になる場合があります。あるいは、通話をマージすることもできます (マルチパーティビデオ会議のサポートが必要です)。

拒否: すでに通話中の場合、着信を拒否します。着信については通知されません。ただし、通話履歴リストでは不在着信として表示されます。

デフォルト値:

許可

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Conference PeopleFocus OnCall Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

ピープル フォーカスを有効にすると、あなたのローカルレイアウトは動的に変更されます。空の背景がトリミングされ、画面上の各参加者のスペースが最適化されます。この設定により、ミーティング参加時の人物フォーカスがOnかOffかを決定します。

この設定に関係なく、ユーザーはミーティング中に UI (レイアウト ボタン) から人物フォーカスのOnとOffを切り替えることができます。また、Conference PeopleFocus Activate および Conference PeopleFocus Deactivate コマンドを使用することもできます。

人物フォーカスは、Webex クラウドサービスに登録されているか、Webex の最適化されたエクスペリエンスが有効になっているデバイス用の Webex Edge にリンクされているデバイスでのみ利用できます。

使用方法:

```
xConfiguration Conference PeopleFocus OnCall Mode: Mode
```

値は次のとおりです。

Mode:

アクティブ/自動/非アクティブ/前回

Auto: 共有モードのデバイスではアクティブと同様、パーソナルモードのデバイスでは前回の状態と同様です。

アクティブ: ミーティングに参加するとき、人々にフォーカスするはOnです。

非アクティブ: ミーティングに参加するとき、人々にフォーカスするはOffです。

前へ: 新しいミーティングに参加するとき、ピープル フォーカスの初期状態 (OnまたはOff) は、前のミーティングから退出したときと同じです。

デフォルト値:

自動

xConfiguration Conference Presentation OnPlacedOnHold

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

リモートサイトがユーザーを保留状態にした後、プレゼンテーションの共有を継続するかどうかを定義します。

使用方法:

```
xConfiguration Conference Presentation OnPlacedOnHold: OnPlacedOnHold
```

値は次のとおりです。

OnPlacedOnHold:

アクションなし/停止

アクションなし: デバイスが保留状態になっても、プレゼンテーションの共有は停止しません。保留中の間、プレゼンテーションは共有されませんが、通話が再開されると自動的に共有が継続されます。

停止: リモートサイトがユーザーを保留状態にすると、デバイスはプレゼンテーションの共有を停止します。通話が再開されるとプレゼンテーションは続行されません。

デフォルト値:

アクションなし

xConfiguration Conference Presentation RelayQuality

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

この構成は、組み込みの MultiSite 機能 (オプション) を使用してマルチポイント ビデオ会議をホストするデバイスに適用されます。リモート ユーザーがプレゼンテーションを共有すると、デバイスがプレゼンテーションをコード変換し、マルチポイントビデオ会議の他の参加者に送信します。RelayQuality 設定では、プレゼンテーションソースに対して高フレームレートを優先するか、高解像度を優先するかを指定します。

使用方法:

```
xConfiguration Conference Presentation RelayQuality: RelayQuality
```

値は次のとおりです。

リレー品質:

モーション/シャープネス

モーション: 可能な最高のフレームレートを提供します。より高いフレーム レートが必要な場合に使用します。一般的には画像の動きが多い場合です。

Sharpness: 可能な最高の解像度を提供します。最高品質の詳細な画像やグラフィックスが必要な場合に使用します。

デフォルト値:

シャープネス:

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Conference Webex CallProtocolIPStack

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

この構成は、Webex クラウド サービスに登録されている、または Webex の最適化されたエクスペリエンスが有効になっているデバイスの Webex Edge にリンクされているデバイスに適用されます。

デバイスが通話プロトコル (Webex) に対して IPv4 または IPv6 スタックのどちらを有効にするかを選択します。SIP および H.323 については、Conference CallProtocolIPStack 設定を参照してください。

使用方法:

`xConfiguration Conference Webex CallProtocolIPStack: CallProtocolIPStack`

値は次のとおりです。

CallProtocolIPStack:

IPv4/IPv6/PreferIpv4/PreferIpv6

Dual : 通話プロトコルで IPv4 と IPv6 の両方を有効にします。

PreferIpv4: 呼び出しプロトコルは IPv4 を使用します。

PreferIpv6: 通話プロトコルは IPv6 を使用します。この値は顧客のネットワークの NAT64 および DNS64 を要求します。

デフォルト値:

PreferIpv4

施設サービスの構成

xConfiguration FacilityService Service [n] CallType

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro Desk Board

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ

施設サービスは RoomOS でサポートされなくなりました。クイック ダイヤル機能は、代わりに UI 拡張機能とマクロを使用して作成できます。

使用方法:

`xConfiguration FacilityService Service [n] CallType: CallType`

値は次のとおりです。

n: サービスを識別する一意の ID です。

範囲 : 1..5

CallType:

音声/ビデオ

デフォルト値:

ビデオ

xConfiguration FacilityService Service [n] Name

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro Desk Board

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ

施設サービスは RoomOS でサポートされなくなりました。クイック ダイヤル機能は、代わりに UI 拡張機能とマクロを使用して作成できます。

使用方法:

`xConfiguration FacilityService Service [n] Name: "Name"`

値は次のとおりです。

n: サービスを識別する一意の ID です。

範囲 : 1..5

名前:

文字列 (0, 1024)

デフォルト値:

サービス 1:「ライブサポート」その他のサービス:なし

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration FacilityService Service [n] Number

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro Desk Board

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

施設サービスは RoomOS でサポートされなくなりました。クイック ダイヤル機能は、代わりに UI 拡張機能とマクロを使用して作成できます。

使用方法:

```
xConfiguration FacilityService Service [n] Number: "Number"
```

値は次のとおりです。

n: サービスを識別する一意の ID です。

範囲: 1..5

番号:

文字列 (0, 1024)

デフォルト値:

「」

xConfiguration FacilityService Service [n] Type

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro Desk Board

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

施設サービスは RoomOS でサポートされなくなりました。クイック ダイヤル機能は、代わりに UI 拡張機能とマクロを使用して作成できます。

使用方法:

```
xConfiguration FacilityService Service [n] Type: Type
```

値は次のとおりです。

n: サービスを識別する一意の ID です。

範囲: 1..5

タイプ:

ケータリング/コンシェルジュ/緊急対応/ヘルプデスク/その他/セキュリティ/交通

デフォルト値:

ヘルプデスク

ファイル設定

xConfiguration Files Services OneDrive TemporaryPersonalSignIn

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

有効にすると、ユーザーは Microsoft OneDrive アカウントにログインして、デバイスから OneDrive ファイルにアクセスできます。また、ホワイトボードにアクセスして、編集し、OneDrive に保存することもできます。デバイスがスタンバイ状態になると、ユーザーは自動的にサインアウトされます。

Room 70 Panorama および Room Panorama のこのソフトウェアバージョンでは、この機能は利用できません。

使用方法:

```
xConfiguration Files Services OneDrive TemporaryPersonalSignIn:
TemporaryPersonalSignIn
```

値は次のとおりです。

TemporaryPersonalSignIn:

無効/有効

Disabled: ユーザーはデバイスから OneDrive ファイルとホワイトボードにアクセスできません。

Enabled: ユーザーはログインして各自の OneDrive ファイルにアクセスしたり、ホワイトボードを保存したりできます。

デフォルト値:

Disabled

xConfiguration Files Services Webex SaveToUser

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

ホワイトボード上の「作業内容の保存」ウィザード中に、ユーザのアカウントにホワイトボードを保存するオプションを有効または無効にすることができます。

使用方法:

```
xConfiguration Files Services Webex SaveToUser: SaveToUser
```

値は次のとおりです。

SaveToUser:

無効/有効

無効: このオプションは利用できません。

有効: ホワイトボードをユーザーのアカウントに保存するオプションが利用できます。

デフォルト値:

Disabled

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

GPIO の設定

xConfiguration GPIO ピン [n] モード

適用対象: CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

4 つの GPIO ピンは個別に構成されます。GPIO ピン [1..4] の状態で、実際に測定されたピンの状態 (低/高) を取得できます。

出力モードのピンのデフォルト状態は High (+12 V) です。

メモ: 出力モードに定義されたピンは、Low に強制的に設定できます。High に設定すると、回線をローにする外部デバイスに接続されていない場合にのみ、回線はハイになります。

使用方法:

`xConfiguration GPIO ピン [n] モード:` *モード*

値は次のとおりです。

n: GPIO ピン番号。

範囲: 1..4

Mode:

InputAcceptAllCalls/InputDisconnectAllCalls/InputMuteMicrophones/InputNoAction/OutputAllCallsEncrypted/OutputInCall/OutputManualState/OutputMicrophonesMuted/OutputPresentationOn/OutputStandbyActive

InputAcceptAllCalls: 着信時に PIN が High から Low に変化すると、通話が受け入れられます (Call Accept コマンドが自動的に発行されます)。

InputDisconnectAllCalls: 通話中に PIN が High から Low に遷移すると、通話が切断されます (Call Disconnect コマンドが自動的に発行されます)。

InputMuteMicrophones: 通話中にピンが High から Low に移行すると、マイクがミュートされます。通話中にピンが低から高に移行すると、マイクがミュート解除されます(Audio Mute および Audio Unmute のコマンドは自動的に発行されます)。

InputNoActiOn: ピン 状態はアクションをトリガーしません。ピンの状態は、[GPIO ピン [1..4] 状態] で読み取ることができます。

OutputAllCallsEncrypted: すべての通話が暗号化されるとPINがLowに設定され、一つ以上の通話が暗号化されていない場合、PINがHighに設定されます。

OutputInCall: 通話中は PIN を Low に設定し、通話中でないときは High に設定します。

OutputManualState: ピンの状態は、GPIO 手動状態設定 PinX コマンドによって、高または低に設定できます。これは、それぞれ +12 V または 0 V に設定されます。

OutputMicrophonesMuted: マイクがミュートされている場合、ピンは Low に設定され、ミュートされていない場合は High に設定されます。

OutputPresentationOn: このピンは、プレゼンテーションがアクティブなときにローに設定され、アクティブでないときにハイに設定されます。

OutputStandbyActive: このピンは、デバイスがスタンバイモードの場合、ローに設定され、デバイスが非スタンバイモードの場合、ハイに設定されます。

デフォルト値:

InputNoAction

H323 の設定

xConfiguration H323 認証モード

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

H.323 プロファイルの認証モードを定義します。

使用方法:

`xConfiguration H323 認証モード:` *モード*

値は次のとおりです。

Mode:

Off/On

Off: デバイスは H.323 ゲートキーパーに対して認証を試みませんが、通常の登録を試みます。

On: H.323 ゲートキーパーが認証を要求することを示している場合、デバイスはゲートキーパーに対して自身の認証を試みます。H323 認証ログイン名と H323 認証パスワード設定をデバイスとゲートキーパーの両方で定義する必要があります。

デフォルト値:

Off

xConfiguration H323 Authentication LoginName

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

デバイスは H323 認証ログイン名と H323 認証パスワードを認証のために H.323 ゲートキーパーに送信します。認証はデバイスから H.323 ゲートキーパーへの一方向認証です。つまり、デバイスはゲートキーパーに対して認証されます。H.323 ゲートキーパーが認証が不要と表示した場合でも、デバイスは登録を試みます。H.323 認証モードを有効にする必要があります。

使用方法:

`xConfiguration H323 Authentication LoginName:` *"LoginName"*

値は次のとおりです。

ログイン名:

文字列 (0, 50)

認証ログイン名です。

デフォルト値:

「」

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration H323 認証パスワード

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

デバイスは H323 認証ログイン名と H323 認証パスワードを認証のために H.323 ゲートキーパーに送信します。認証はデバイスから H.323 ゲートキーパーへの一方向認証です。つまり、デバイスはゲートキーパーに対して認証されます。H.323 ゲートキーパーが認証が不要と表示した場合でも、デバイスは登録を試みます。H.323 認証モードを有効にする必要があります。

使用方法:

`xConfiguration H323 認証パスワード: "Password"`

値は次のとおりです。

パスワード:

文字列 (0, 50)

認証パスワードです。

デフォルト値:

「」

xConfiguration H323 通話設定モード

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

H.323 通話を確立するときに、ゲートキーパーまたは直接通話のどちらを使用するかを定義します。

ダイレクト H.323 通話は、[H323 CallSetup モード] が [ゲートキーパー] に設定されている場合にも発信できます。

使用方法:

`xConfiguration H323 CallSetup Mode: Mode`

値は次のとおりです。

Mode:

ダイレクト/ゲートキーパー

直通: H.323 通話の発信は、IP アドレスに直接ダイヤルすることによってのみ可能です。

ゲートキーパー: デバイスはゲートキーパーを使用して H.323 通話を発信します。このオプションを選択する場合、H323 ゲートキーパーアドレスも設定する必要があります。

デフォルト値:

Gatekeeper

xConfiguration H323 Encryption AES256Support

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

デバイスは、メディア トランスポートに対して 128 ビット AES 暗号化キーを常にサポートしています。256 ビット キーをサポートするようにデバイスを構成することもできます。256 ビット鍵を使用する場合、Diffie-Hellman 鍵交換方法の最小鍵サイズは 2048 ビットでなければなりません (H323 Encryption KeySize 設定を参照してください)。

使用方法:

`xConfiguration H323 Encryption AES256Support: AES256Support`

値は次のとおりです。

AES256Support:

Off/On

Off: デバイスは 128 ビット AES 暗号化キーのみをサポートします。

On: デバイスは 128 ビットと 256 ビットの AES 暗号化キーをサポートします。

デフォルト値:

Off

xConfiguration H323 暗号化キーサイズ

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

Advanced Encryption Standard (AES) 暗号化キーを確立するときに使用される Diffie-Hellman キー交換方法の最小または最大のキーサイズを定義します。

使用方法:

`xConfiguration H323 暗号化キーサイズ: キーサイズ`

値は次のとおりです。

KeySize:

Max1024bit/Min1024bit/Min2048bit

Max1024bit: 最大サイズは 1024 bit です。

Min1024bit: 最小サイズは 1024 ビットです。

Min2048bit: 最小サイズは 2048 ビットです。

デフォルト値:

Min1024bit

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration H323 ゲートキーパーアドレス

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

ゲートキーパーの IP アドレスを定義します。H323 CallSetup Mode を [ゲートキーパー] に設定する必要があります。

使用方法:

`xConfiguration H323 ゲートキーパー アドレス: "Address"`

値は次のとおりです。

Address:

文字列 (0, 255)

有効な IPv4 アドレス、IPv6 アドレス、または DNS 名。

デフォルト値:

「」

xConfiguration H323 H323Alias E164

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

H.323 エイリアス E.164 は、H.323 ゲートキーパーに実装されている番号計画に従って、デバイスのアドレスを定義します。E.164 エイリアスは電話番号に相当し、アクセスコードと組み合わされることもあります。

使用方法:

`xConfiguration H323 H323Alias E164: "E164"`

値は次のとおりです。

E164:

文字列 (0, 30)

H.323 エイリアス E.164 アドレス。有効な文字は 0-9、*、# です。

デフォルト値:

「」

xConfiguration H323 H323Alias ID

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

H.323 エイリアス ID を定義します。これは、H.323 ゲートキーパー上のデバイスのアドレス指定に使用され、コールリストに表示されます。

使用方法:

`xConfiguration H323 H323Alias ID: "ID"`

値は次のとおりです。

ID:

文字列 (0, 49)

H.323 エイリアス ID です。例: "firstname.lastname@company.com", "My H.323 エイリアス ID"

デフォルト値:

「」

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration H323 NAT モード

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

H323 NAT モードは、デバイスがプライベートネットワーク上にあり、ゲートキーパーに登録されていない場合に使用します。その後、H323 NAT モードを使用して、パブリック ネットワーク上のデバイスに到達できます。

NAT は IPv6 ではサポートされていません。

メモ: ビデオデバイスがゲートキーパーに登録されている場合、[H323 NAT モード] および [H323 NAT アドレス] の設定は無視されます。H323 NAT モードを使用するのではなく、ファイアウォール トラバーサル機能を持つゲートキーパーを使用することを推奨します。

使用方法:

```
xConfiguration H323 NAT Mode: Mode
```

値は次のとおりです。

Mode:

Auto/Off/オン

Auto: 自動モードは、[H323 NAT アドレス] 設定で NAT アドレスを指定した場合にのみ機能します。

デバイスがゲートキーパーに登録されていない場合、デバイスのローカル アドレスがプライベートで、発信しているアドレス (リモート) がパブリックで、ローカル アドレスとリモート アドレスの両方が IPv4 の場合、NAT がOnになります。そうでない場合、NAT はOffになります。

これは、外部デバイス (プライベート ネットワーク外) だけでなく、プライベート ネットワーク上のデバイスにも発信できることを意味します。プライベートネットワークの通話の場合、H323 NAT アドレスは使用されません (存在している必要があります)。パブリックネットワークへの発信では、H323 NAT アドレスが使用されます。

Off: NAT がOffになり、H323 NAT アドレス設定は無視されます。この場合、ゲートキーパーを使用しない限り、プライベート ネットワーク外にあるデバイスへの発信をセットアップすることはできません。

On: NAT は常にOnになります。[H323 NAT アドレス] 設定で NAT アドレスを指定する必要があります。デバイスは、Q.931 および H.245 のプライベート IP アドレスの代わりに、常に H323 NAT アドレスをシグナリングします。H323 NAT アドレスが間違っているか、設定されていない場合、H.323 通話はセットアップできません。

デフォルト値:

Off

xConfiguration H323 NAT アドレス

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

NAT をサポートするルーターの外部/グローバル IP アドレスを定義します。このアドレスは、プライベートネットワーク外のデバイスへの通話を設定する際に公開されます。NAT アドレスが使用される場合、詳細については H323 NAT モード設定を参照してください。

ルーターでは、次のポートがビデオ デバイスの IP アドレスにルーティングされている必要があります。

* ポート 1720
* ポート 5555-6555
* ポート 2326-2487

使用方法:

```
xConfiguration H323 NAT Address: "Address"
```

値は次のとおりです。

Address:

文字列 (0, 64)

IPv4 アドレス。ほとんどの場合パブリック IP アドレスで、RFC 1918 を参照してくださいが、別のプライベート アドレスの場合もあります (例えば、より大きな会社のネットワーク)。

デフォルト値:

「」

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration H323 PortAllocation

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

この設定は、H.323 コールシグナリングに使用される H.245 ポート番号に影響します。

使用方法:

`xConfiguration H323` ポート割り当て: *ポート割り当て*

値は次のとおりです。

ポート割り当て:

動的/静的

動的: システムは、TCP 接続を開くときに使用するポートを割り当てます。これを行う理由は、後続のコールで同じポートを使用しないようにするためです。一部のファイアウォールはこれを攻撃の兆候と見なします。ダイナミックが選択されている場合、使用される H.323 ポートは 11000 から 20999 です。20999 に達すると、11000 から再び再開されます。ポートは、指定された範囲内でシステムによって自動的に選択されます。ファイアウォール管理者は、いつどのポートが使用されているかを推測してはなりません。上記の範囲内の割り当て方式は、通知なく変更される可能性があるためです。

静的: 静的に設定すると、ポートは静的な定義済み範囲 [5555-6555] 内に与えられます。

デフォルト値:

動的

HttpClient 設定

xConfiguration HttpClient Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

HTTP(S) リクエストとレスポンスを使った外部 HTTP(S) サーバーとの通信を許可または禁止します。

使用方法:

`xConfiguration HttpClient Mode:` *Mode*

値は次のとおりです。

Mode:

Off/On

Off: ビデオデバイスは外部 HTTP(S) サーバーと通信できません。

On: ビデオ会議デバイスは外部 HTTP(S) サーバーとの通信を許可されます。

デフォルト値:

Off

xConfiguration HttpClient AllowHTTP

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

[HttpClient モード] 設定は、外部 HTTP(S) サーバーとの通信を許可または禁止するために使用されます。モード設定では、HTTP と HTTPS は区別されません。HttpClient AllowHTTP 設定を使用して、HTTP の使用をさらに許可または禁止する必要があります。

使用方法:

`xConfiguration HttpClient AllowHTTP:` *AllowHTTP*

値は次のとおりです。

AllowHTTP:

False/True

False: ビデオ デバイスは HTTPS 経由でのみ通信できます。

True: ビデオ デバイスは HTTPS と HTTP の両方で通信できます。

デフォルト値:

True

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration HttpClient AllowInsecureHTTPS

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

サーバーの証明書を最初に確認することなく、HTTPS 経由でビデオ デバイスがサーバと通信することを許可するかどうかを選択できます。

デバイスで証明書の検証プロセスをスキップすることが許可されている場合でも、自動的には行われません。証明書の検証なしでサーバとデータを交換するには、各 xCommand HttpClient コマンドで AllowInsecureHTTPS パラメータを明確に設定する必要があります。

使用方法:

`xConfiguration HttpClient AllowInsecureHTTPS: AllowInsecureHTTPS`

値は次のとおりです。

AllowInsecureHTTPS:

False/True

False: デバイスは、HTTPS サーバーが有効な証明書を持っていることを常に確認します。証明書の検証が失敗した場合、サーバとの通信は行われません。

True: デバイスは、サーバと通信する前に、証明書の検証プロセスをスキップできます。

デフォルト値:

False

xConfiguration HttpClient UseHttpProxy

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

UseHttpProxy 設定がいくつかあり、サービスが HTTP プロキシ経由で通信するかどうかを指定します。HttpClient UseHttpProxy 設定は、HttpClient コマンドを使用するマクロおよび任意の HTTP(S) リクエストに適用されます。

この設定を有効にするには、NetworkServices HTTP プロキシ設定を使用して、HTTP、HTTPS、および WebSocket トラフィック用のプロキシ サーバーをセットアップする必要があります。

使用方法:

`xConfiguration HttpClient UseHttpProxy: UseHttpProxy`

値は次のとおりです。

UseHttpProxy:

Off/On

Off: サーバとの直接通信をセットアップします (プロキシを使用しない)。

On: プロキシ経由の通信をセットアップします。

デフォルト値:

オン

HttpFeedback 設定

xConfiguration HttpFeedback TlsVerify

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

この設定は、任意の HTTPS 通信のためにビデオ デバイスが HTTPS サーバーに接続する場合に適用されます (HttpClient の Post/Put/Patch/Get/Delete コマンドを参照してください)。電話帳、プロビジョニング、および外部ログサーバーについては、Phonebook Server 1 TlsVerify、Provisioning TlsVerify、およびLogging External TlsVerifyの設定を参照してください。

デバイスと HTTPS サーバ間の接続を確立する前に、デバイスはサーバーの証明書が信頼できる認証局 (CA) によって署名されているかどうかを確認します。CA 証明書はデバイスの CA リストに含まれ、ウェブ インターフェイスまたは API を使用して手動でアップロードされる必要があります。

通常、HTTPS 接続の最小 TLS (トランスポート層セキュリティ) バージョンは 1.1 です。このルールには 2 つの例外があります。1) 互換性の理由から、CUCM に登録されているデバイスの最小 TLS バージョンは 1.0 です。2) Webex クラウド サービスに登録されているデバイスは常にバージョン 1.2 を使用します。

メモ: CE9.8 以前のソフトウェア バージョンから CE9.9 (以降) にアップグレードされたデバイスの値はOffに設定されています。ただし、デバイスがアップグレード後に工場出荷時リセットされておらず、古い NetworkServices HTTPS VerifyServerCertificate 設定が明示的にOnに設定されていなかった。

使用方法:

`xConfiguration HttpFeedback TlsVerify: TlsVerify`

値は次のとおりです。

TlsVerify:

Off/On

Off: デバイスは HTTPS サーバーの証明書を確認しません。

On: デバイスは、HTTPS サーバーの証明書が信頼できるかどうかを確認します。そうでない場合、デバイスとサーバ間の接続は確立されません。

デフォルト値:

オン

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration HttpFeedback UseHttpProxy

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

UseHttpProxy 設定がいくつかあり、サービスが HTTP プロキシ経由で通信するかどうかを指定します。HttpFeedback UseHttpProxy 設定は、ビデオ デバイスから送信されるフィードバックに適用されます。

この設定を有効にするには、NetworkServices HTTP プロキシ設定を使用して、HTTP、HTTPS、および WebSocket トラフィック用のプロキシ サーバーをセットアップする必要があります。

使用方法:

`xConfiguration HttpFeedback UseHttpProxy: UseHttpProxy`

値は次のとおりです。

使用するHttpProxy:

Off/On

Off: サーバとの直接通信をセットアップします (プロキシを使用しない)。

On: プロキシ経由の通信をセットアップします。

デフォルト値:

オン

ロギングの設定

xConfiguration Logging CloudUpload Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

デバイスからのログを Webex クラウド サービスにアップロードできるかどうかを指定します。デバイス ログは、クラウドに送信される前に、個人を特定できる情報がフィルタリングされます。

有効にすると、ログのアップロードはデバイス自体または Control Hub から開始できます。デバイスのユーザー インターフェイスには [ログの送信] ボタンが表示され、Control Hub の [デバイス] ページには [ログの管理] セクションが表示されます。

デバイスは、Webex クラウド サービスに登録されているか、Onプレミス サービスに登録されており、デバイス用の Webex Edge にリンクされている必要があります。

使用方法:

`xConfiguration Logging CloudUpload Mode: Mode`

値は次のとおりです。

Mode:

Off/On

Off: デバイスからのログは Webex クラウドにアップロードできません。

On: デバイスからのログを Webex クラウドにアップロードできます。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Logging Debug Bluetooth

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

このオプションが有効な場合、ビデオ会議デバイスは Bluetooth 接続のセットアップとメンテナンスに関する詳細情報をログに記録します。これは、Bluetooth 接続の問題をトラブルシューティングする場合に役立ちます。

使用方法:

`xConfiguration ログデバッグ Bluetooth: Bluetooth`

値は次のとおりです。

Bluetooth:

Off/On

Off: 基本的な Bluetooth 情報のみをログに記録します。

On: Bluetooth 接続に関する大量の情報がログに記録されます。

デフォルト値:

オン

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Logging Debug Wifi

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

このオプションが有効な場合、デバイスはデバイスとアクセス ポイント間の Wi-Fi 接続のセットアップとメンテナンスに関する詳細情報をログに記録します。これは、Wi-Fi 接続の問題をトラブルシューティングする場合に役立ちます。

使用方法:

`xConfiguration Logging Debug Wifi: Wifi`

値は次のとおりです。

Wifi:

Off/On

Off: 基本的な Wi-Fi 情報のみをログに記録します。

On: Wi-Fi 接続に関する大量の情報がログ記録されます。

デフォルト値:

オン

xConfiguration Logging External Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

リモート syslog サーバーにデバイスログを保存するかどうかを指定します。[ログモード] 設定が [Off] に設定されている場合、この設定は影響しません。

[ログ外部サーバアドレス] 設定で、リモートサーバーのアドレスを入力する必要があります。[ロギング外部サーバ ポート] 設定で別段の指定がない限り、標準の syslog ポートが使用されます。

使用方法:

`xConfiguration Logging External Mode: Mode`

値は次のとおりです。

Mode:

Off/On

Off: デバイスのログはリモート syslog サーバーに保存されません。

On: デバイスログはリモート syslog サーバーに保存されます。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Logging External Protocol

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

リモートログサーバーに対して使用するプロトコルを指定します。TLS (トランスポート層セキュリティ) 上の syslog プロトコル、またはプレーンテキストの syslog プロトコルのいずれかを使用できます。Syslog プロトコルの詳細については、RFC 5424 を参照してください。

使用方法:

`xConfiguration Logging External Protocol: Protocol`

値は次のとおりです。

プロトコル:

Syslog/SyslogTLS

Syslog: プレーンテキスト形式の Syslog プロトコル。

SyslogTLS: TLS 上の Syslog プロトコル。

デフォルト値:

SyslogTLS

xConfiguration Logging External Server Address

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

リモート syslog サーバーのアドレスを指定します。

使用方法:

`xConfiguration Logging External Server Address: "Address"`

値は次のとおりです。

Address:

文字列 (0, 255)

有効な IPv4 アドレス、IPv6 アドレス、または DNS 名。

デフォルト値:

「」

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Logging External Server Port

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

リモート syslog サーバーがメッセージをリッスンするポートです。0 に設定すると、デバイスは標準の syslog ポートを使用します。標準の syslog ポートは、syslog が 514、TLS 経由の syslog が 6514 です。

使用方法:

`xConfiguration Logging External Server Port:` *Port*

値は次のとおりです。

ポート:

整数 (0..65535)

リモート syslog サーバーが使用しているポート番号。0 は、デバイスが標準の syslog ポートを使用することを意味します。

デフォルト値:

514

xConfiguration Logging External TlsVerify

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

この設定は、ビデオ デバイスがリモート syslog サーバーに接続するときに適用されます。これは、通常のロギング (ロギング エクスターナル モード設定を参照) と監査ロギング (セキュリティ監査ロギング モード設定を参照) の両方に適用されます。

デバイスと syslog サーバ間の接続を確立する前に、デバイスはサーバーの証明書が信頼できる認証局 (CA) によって署名されているかどうかを確認します。CA 証明書は、事前にインストールされているか、ウェブ インターフェイスまたは API を使用して手動でアップロードされたデバイスの CA リストに含まれている必要があります。

Syslog 接続の最小 TLS (トランスポート層セキュリティ) バージョンは 1.1 です。

使用方法:

`xConfiguration Logging External TlsVerify:` *TlsVerify*

値は次のとおりです。

TlsVerify:

Off/On

Off: デバイスは syslog サーバーの証明書を確認しません。

On: デバイスは、syslog サーバーの証明書が信頼できるかどうかを確認します。そうでない場合、デバイスとサーバ間の接続は確立されません。

デフォルト値:

オン

xConfiguration Logging Internal Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

システムログをデバイスに保存するかどうかを指定します (ローカルファイル)。これらは、デバイスからログ バンドルをダウンロードするときに取得するファイルです。[ログモード] 設定が [Off] に設定されている場合、この設定は影響しません。

使用方法:

`xConfiguration Logging Internal Mode:` *Mode*

値は次のとおりです。

Mode:

Off/On

Off: システムログはデバイスに保存されません。

On: システムログはデバイスに保存されます。

デフォルト値:

オン

xConfiguration ロギングモード

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

デバイスのログモードを定義します (syslog サービス)。無効にすると、syslog サービスは開始せず、ほとんどのシステムログと監査ログは生成されません。過去のログと通話ログへの影響はありません。

使用方法:

`xConfiguration ログ モード:` *モード*

値は次のとおりです。

Mode:

Off/On

Off: システムログサービスを無効にします。

On: システムログサービスを有効にします。

デフォルト値:

オン

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

マクロ 設定

xConfiguration Macros EvaluateTranspiled

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール：管理者

この設定は、Duktape をランタイムエンジンとして使用していた古いマクロランタイム環境をデコミッションするグレースフル非推奨戦略の一部です。このランタイム エンジンは、ECMA Script 2009 スタイルの JavaScript コード標準もサポートしており、Babel と呼ばれるトランスパイラー ライブラリを使用して内部で行われていました。

今後のランタイム エンジンは Quickjs であり、ECMA Script 2015/2020 コーディング標準のみをサポートします。QuickJS は、このソフトウェア リリースのデフォルトのランタイム エンジンです (必要に応じてマクロ QuickJS 設定を使用して、ランタイム エンジンを変更します)。しかし、Babel トランスパイラーはまだ使用されています。

QuickJSには、Babel トランスパイラーが無効になったときに完全に発揮される、速度と機能の両方に関する大きな利点があります。しかし、古いスタイルの JavaScript 構文と純粋な QuickJS 環境の間には、古いスタイルの JavaScript 構文の違いがいくつかあるため、Cisco は既存のマクロ展開が突然機能しなくなることを防ぐメカニズムを導入しました。

マクロの EvaluateTransfiled 設定は、マクロ エンジンが、javascript ライブラリをインポートするための古いスタイルの「require」形式を引き続きサポートするかどうかを制御します。const xapi = require("xapi").

古いマクロがこの構文を使用していたため、Cisco デバイスは Bable ライブラリを使用して後方互換性を提供することで、これを適切に許可していました。

よりモダンなライブラリのインポート構文をすでに使用しているマクロの場合。import xapi from "xapi" を使用するには、Macros EvaluateTranspiled を False に設定する必要があります。

「Macros EvaluateTranspiled を False に、Macros QuickJSEngine を On に設定し、マクロがデバイス上で意図したとおりに動作している」場合、マクロ ランタイム環境は、今後すべてのデバイスがあるべき状態になります。この動作は今後のリリースで強制します。

マクロの EvaluateTranspiled は一時的な設定であり、すべての顧客がライブラリのインポートに古い JavaScript スタイルを使用するマクロがなくなったことを Cisco が判断した時点で削除される一時的な設定であることに注意してください。

使用方法:

`xConfiguration Macros EvaluateTranspiled: EvaluateTranspiled`

値は次のとおりです。

EvaluateTranspiled:

False/True

True: バベルのトランスパイルが有効になっています。マクロランタイムエンジンは、古い形式の「require」を受け付けます。const xapi = require("xapi")

False: バベルのトランスパイルが無効になっています。古い形式の "require" を含むマクロは失敗します。例: const xapi = require("xapi") 例えば、import xapi from "xapi" のみが機能します。

デフォルト値:

True

xConfiguration マクロモード

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール：管理者

マクロを使用すると、ビデオデバイスの一部を自動化する JavaScript コード スニペットを記述して、ビヘイビアをカスタマイズすることができます。マクロの使用はデフォルトでは無効になっていますが、マクロ エディターを初めて開くとき、デバイスでマクロの使用を有効にするかどうかを確認するメッセージが表示されます。デバイスのマクロを手動で有効にするか、完全に無効にする場合は、この設定を使用します。マクロエディタ内でマクロの使用を無効にすることができます。ただし、端末がリセットされるたびにマクロが自動的に再度有効になるため、これによりマクロの実行が完全に無効になるわけではありません。

使用方法:

`xConfiguration マクロ モード: モード`

値は次のとおりです。

Mode:

Off/On

Off: この端末でのマクロの使用を完全に無効にします。

On: このデバイスでマクロの使用を有効にします。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Macros AutoStart

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール：管理者

すべてのマクロは、マクロ ランタイムと呼ばれる、ビデオ デバイス上の単一のプロセスで実行されます。デフォルトで実行されているはずですが、手動で停止および開始することもできます。デバイスを再起動すると、自動開始が有効になっている場合、ランタイムが自動的に再開します。

使用方法:

`xConfiguration Macros AutoStart: AutoStart`

値は次のとおりです。

AutoStart:

Off/On

Off: マクロランタイムは、装置の再起動後に自動的に開始されません。

On: マクロランタイムは、装置の再起動後に自動的に開始されます。

デフォルト値:

オン

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Macros Diagnostics JavascriptErrors

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

マクロまたはマクロに関連するエラーの診断メッセージを発行するかどうかを選択します。

使用方法:

`xConfiguration Macros Diagnostics JavascriptErrors: JavascriptErrors`

値は次のとおりです。

JavascriptErrors:

Off/On

Off: マクロ ログ エラーを診断として公開しません。

On: マクロログエラーを診断として表示します。

デフォルト値:

Off

xConfiguration マクロ QuickJSEngine

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

マクロコードの実行に使用する JavaScript エンジンタイプを変更します。この構成の変更はお勧めしません。

使用方法:

`xConfiguration マクロ QuickJSEngine: QuickJSEngine`

値は次のとおりです。

QuickJSEngine:

Off/On

On: Quickjs をマクロ javascript エンジンとして使用します。

Off: マクロの javascript エンジンとして Duktape を使用します。

デフォルト値:

オン

xConfiguration Macros UnresponsiveTimeout

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

マクロは継続的に監視され、応答しないコードを検出します。マクロが応答しない場合、通常はプログラミング エラーのサインですが、システム リソースが制限されていることが原因の場合もあります。値を増やすと、マクロは終了せずにより長く実行できます。値を減らすと、不良なマクロがシステム リソースを消費しなくなります。

使用方法:

`xConfiguration Macros UnresponsiveTimeout: UnresponsiveTimeout`

値は次のとおりです。

UnresponsiveTimeout:

整数 (0..65535)

無応答のマクロを終了するまでの秒数を設定します。値 0 は全体的にチェックを無効にします。

デフォルト値:

5

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

MicrosoftTeams の構成

xConfiguration MicrosoftTeams Diagnostics ShowUnsupportedConsoleNotification

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 DeskPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール : 管理者

ビデオデバイスが Microsoft Teams を実行するように構成されている場合、2 GB メモリの Room Navigator ーはサポートされません。この構成で 2 GB Room Navigator を使用している場合は、メイン画面と、デバイス UI とデバイス ウェブ インターフェイスの問題と診断ページの両方で、通知 (サポートされていないタッチ デバイス) を表示します。サポート対象外の Room Navigator を使用している場合は、Cisco サポートに連絡して交換してください。

使用方法:

`xConfiguration MicrosoftTeams Diagnostics ShowUnsupportedConsoleNotification: ShowUnsupportedConsoleNotification`

値は次のとおりです。

ShowUnsupportedConsoleNotification:

False/True

False: メイン画面で通知を非表示にします。設定に関係なく、問題と診断のページで通知を受け取ります。

True: メイン画面に通知を表示します。

デフォルト値:

True

xConfiguration MicrosoftTeams CVI CrossTenant

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 DeskPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール : 管理者

Microsoft Teams ミーティングのクロステナント参加機能を構成します。この機能により、Video Integration for Microsoft Teams (VIMT) を使用するデバイスは、Microsoft Teams ボタンを使用して、別の企業またはテナントが主催する Teams ミーティングに参加できます。この方法では、WebRTC 直接ゲスト参加を使用する代わりに、VIMT ミーティング エクスペリエンスを提供します。

使用方法:

`xConfiguration MicrosoftTeams CVI CrossTenant: CrossTenant`

値は次のとおりです。

CrossTenant:

自動/無効/有効

Auto: ミーティング招待状とデバイス構成に基づいて、クロステナント参加を自動的に有効にします。

無効: クロステナント参加機能を無効にします。

有効化: クロステナント参加機能を有効にします。

デフォルト値:

自動

xConfiguration MicrosoftTeams ログレベル

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 DeskPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール : 管理者

Microsoft Teams Rooms および関連コンポーネントからのログの詳細レベルを変更します。

使用方法:

`xConfiguration MicrosoftTeams ログレベル: レベル`

値は次のとおりです。

Level:

デバッグ/エラー/情報/詳細/警告

ログ記録のレベルを説明します。Verbose が最高レベルで、Error が最低レベルです。

デフォルト値:

情報

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration MicrosoftTeams ログモード

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 DeskPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール : 管理者

Microsoft Teams Rooms および関連コンポーネントからのログ記録を有効または無効にします。

使用方法:

`xConfiguration MicrosoftTeams Logging Mode: Mode`

値は次のとおりです。

Mode:

Off/On

デフォルト値:

オン

xConfiguration MicrosoftTeams Zoom CrossLaunch

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 DeskPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール : 管理者

Microsoft Teams Room から Zoom カレンダー会議に参加するときに、Zoom CRC 会議が RoomOS ネイティブ アプリ経由で直接起動されないように設定します。無効にすると、代わりに Microsoft Teams Room 内で Zoom WebRTC 会議が開始されます。

使用方法:

`xConfiguration MicrosoftTeams Zoom CrossLaunch: CrossLaunch`

値は次のとおりです。

CrossLaunch:

Auto/Disabled

Auto: Zoom の相互起動が有効です。

Disabled: Zoom の相互起動が無効です。

デフォルト値:

自動

ネットワークの設定

xConfiguration ネットワーク [n] DNS DNSSEC モード

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

ドメイン ネーム システム セキュリティ拡張機能 (DNSSEC) は、DNS の一連の拡張機能です。署名されたゾーンの DNS 応答を認証するために使用されます。未署名のゾーンは引き続き許可されます。

使用方法:

`xConfiguration Network [n] DNS DNSSEC Mode: Mode`

値は次のとおりです。

n: ネットワークを識別するためのインデックスです。

範囲 : 1..1

Mode:

Off/On

Off: ドメインネームシステムのセキュリティ拡張機能を無効にします。

On : ドメインネームシステムのセキュリティ拡張機能を有効化します。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Network [n] DNS Domain Name

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

DNS ドメイン名は、非修飾名に追加される既定のドメイン名サフィックスです。

例: DNS ドメイン名が「company.com」で、ルックアップする名前が「MyDevice」である場合、DNS ルックアップは「MyDevice.company.com」になります。

使用方法:

`xConfiguration Network [n] DNS ドメイン名: "Name"`

値は次のとおりです。

n: ネットワークを識別するためのインデックスです。

範囲 : 1..1

名前:

文字列 (0, 64)

DNS ドメイン名です。

デフォルト値:

「」

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Network [n] DNS Server [m] Address

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

DNS サーバーのネットワークアドレスを定義します。最大 3 つのアドレスを指定することができます。ネットワークアドレスが不明な場合は、管理者またはインターネットサービスプロバイダに連絡してください。

使用方法:

`xConfiguration Network [n] DNS Server [m] Address: "Address"`

値は次のとおりです。

n: ネットワークを識別するためのインデックスです。

範囲: 1..1

m: DNS サーバーを識別するためのインデックスです。最大で 3 つの DNS サーバーを指定できます。

範囲: 1..3

Address:

文字列 (0, 64)

有効な IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス。

デフォルト値:

「」

xConfiguration Network [n] Firewall Incoming H323

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

着信 H.323 コールに許可される IP アドレス (IPv4 および IPv6) を定義します。複数の IP アドレスはスペースで区切る必要があります。ネットワーク マスク (IP 範囲) は <ip address>/N で指定されます。ここで、N は IPv4 の場合は 1 ～ 32、IPv6 の場合は 1 ～ 128 です。/N は最初の N ビットが設定されているネットワーク マスクを示すものです。たとえば、192.168.0.0/24 は、アドレスの最初の 24 ビットである 192.168.0 で始まるすべてのアドレスと一致します。

使用方法:

`xConfiguration ネットワーク [n] ファイアウォール 着信 H323: "H323"`

値は次のとおりです。

H323:

文字列 (0, 255)

IP アドレス範囲

デフォルト値:

「」

xConfiguration ネットワーク [n] ファイアウォール受信ペアリング

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

デバイスへのリモート タッチ パネルのペアリングに許可される IP アドレス (IPv4 および IPv6) を定義します。複数の IP アドレスはスペースで区切る必要があります。ネットワーク マスク (IP 範囲) は <ip address>/N で指定されます。ここで、N は IPv4 の場合は 1 ～ 32、IPv6 の場合は 1 ～ 128 です。/N は最初の N ビットが設定されているネットワーク マスクを示すものです。たとえば、192.168.0.0/24 は、アドレスの最初の 24 ビットである 192.168.0 で始まるすべてのアドレスと一致します。

使用方法:

`xConfiguration ネットワーク [n] ファイアウォール 着信ペアリング: 「ペアリング」`

値は次のとおりです。

ペアリング:

文字列 (0, 255)

IP アドレス範囲

デフォルト値:

「」

xConfiguration ネットワーク [n] ファイアウォール 着信 SIP

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

直接の着信 SIP 通話に許可される IP アドレス (IPv4 および IPv6) を定義します。この設定は直接 SIP 通話にのみ適用され、Cisco Unified Communications Manager (CUCM) またはその他の SIP プロキシを経由してルーティングされる通話には影響しません。

複数の IP アドレスはスペースで区切る必要があります。ネットワーク マスク (IP 範囲) は <ip address>/N で指定されます。ここで、N は IPv4 の場合は 1 ～ 32、IPv6 の場合は 1 ～ 128 です。/N は最初の N ビットが設定されているネットワーク マスクを示すものです。たとえば、192.168.0.0/24 は、アドレスの最初の 24 ビットである 192.168.0 で始まるすべてのアドレスと一致します。

使用方法:

`xConfiguration ネットワーク [n] ファイアウォール 着信 SIP: "SIP"`

値は次のとおりです。

SIP:

文字列 (0, 255)

IP アドレス範囲

デフォルト値:

「」

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Network [n] FQDN

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

デバイスの完全修飾ドメイン名 (FQDN) は、デフォルトでは DNS (ドメインネームシステム) 検索ドメインとシステムユニット名から生成されます。この設定により、必要に応じて FQDN を明示的に指定できます。

使用方法:

`xConfiguration ネットワーク [n] FQDN: "FQDN"`

値は次のとおりです。

n: ネットワークを識別するためのインデックスです。

範囲: 1..1

完全修飾ドメイン名:

文字列 (0, 255)

完全修飾ドメイン名。

デフォルト値:

「」

xConfiguration Network [n] IEEE8021X Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

デバイスは、イーサネット ネットワークに認証済みネットワーク アクセスを提供するために使用されるポートベースのネットワーク アクセス コントロールを使用して、802.1X LAN ネットワークに接続できます。

使用方法:

`xConfiguration Network [n] IEEE8021X モード: モード`

値は次のとおりです。

n: ネットワークを識別するためのインデックスです。

範囲: 1..1

Mode:

Off/On

Off: 802.1X 認証が無効です。

On: 802.1X 認証は有効です。

デフォルト値:

Off

xConfiguration ネットワーク [n] IEEE8021X TlsVerify

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

TLS が使用される場合、802.1x 接続のサーバ側の証明書の検証がローカル CA リスト中の証明書と照合されます。CA リストがビデオ会議端末にアップロードされている必要があります。これはデバイスのウェブ インターフェイスから実行できます。

この設定は Network [1] IEEE8021X Eap Tls が 有効 (On) の場合にのみ有効です。

使用方法:

`xConfiguration Network [n] IEEE8021X TlsVerify: TlsVerify`

値は次のとおりです。

n: ネットワークを識別するためのインデックスです。

範囲: 1..1

TlsVerify:

Off/On

Off: Offに設定すると、ローカル CA リストに対してサーバ側の X.509 証明書を検証せずに TLS 接続が許可されます。CA リストがデバイスにアップロードされていない場合、これは通常選択する必要があります。

On: Onに設定すると、サーバ側の X.509 証明書はすべての TLS 接続に対してローカル CA リストに対して検証されます。有効な証明書を持つサーバーのみが許可されます。

デフォルト値:

Off

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Network [n] IEEE8021X UseClientCertificate

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

802.1x 接続で秘密鍵/証明書を使った認証。認証用の X.509 証明書がビデオ デバイスにアップロードされている必要があります。これはデバイスのウェブ インターフェイスから実行できます。

使用方法:

```
xConfiguration Network [n] IEEE8021X UseClientCertificate: UseClientCertificate
```

値は次のとおりです。

n: ネットワークを識別するためのインデックスです。

範囲: 1..1

UseClientCertificate:

Off/On

Off: Offに設定すると、クライアント側の認証は使用されません (サーバ側のみ)。

On: Onに設定すると、クライアント (ビデオ デバイス) はサーバとの相互認証 TLS ハンドシェイクを実行します。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Network [n] IEEE8021X アイデンティティ

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

802.1X 認証のユーザ名を定義します。

使用方法:

```
xConfiguration Network [n] IEEE8021X Identity: "Identity"
```

値は次のとおりです。

n: ネットワークを識別するためのインデックスです。

範囲: 1..1

Identity:

文字列 (0, 64)

802.1X 認証のユーザ名です。

デフォルト値:

「」

xConfiguration ネットワーク [n] IEEE8021X パスワード

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

802.1X 認証のパスワードを定義します。

使用方法:

```
xConfiguration Network [n] IEEE8021X Password: "Password"
```

値は次のとおりです。

n: ネットワークを識別するためのインデックスです。

範囲: 1..1

パスワード:

文字列 (0, 50)

802.1X 認証のパスワードです。

デフォルト値:

「」

xConfiguration Network [n] IEEE8021X AnonymousIdentity

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

802.1X 匿名 ID 文字列は、EAP-PEAP および EAP-TTLS のような異なるトンネル ID をサポートする EAP (拡張認証プロトコル) タイプで非暗号化 ID として使用されます。設定すると、匿名 ID は最初の (暗号化されていない) EAP Identity Request で使用されます。

使用方法:

```
xConfiguration Network [n] IEEE8021X AnonymousIdentity: "AnonymousIdentity"
```

値は次のとおりです。

n: ネットワークを識別するためのインデックスです。

範囲: 1..1

匿名アイデンティティ:

文字列 (0, 64)

802.1X 匿名 ID 文字列です。

デフォルト値:

「」

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Network [n] IEEE8021X Eap Md5

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

Md5 (メッセージ ダイジェスト アルゴリズム 5) モードを定義します。これは共有シークレットに依存するチャレンジ ハンドシェイク認証プロトコルです。Md5 は弱いセキュリティレベルです。

使用方法:

```
xConfiguration Network [n] IEEE8021X Eap Md5: Md5
```

値は次のとおりです。

n: ネットワークを識別するためのインデックスです。

範囲: 1..1

Md5:

Off/On

Off: EAP-MD5 プロトコルが無効です。

On: EAP-MD5 プロトコルが有効です。

デフォルト値:

オン

xConfiguration Network [n] IEEE8021X Eap Ttls

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

TTLS (Tunneled Transport Layer Security) モードを定義します。クライアント証明書を必要とせずに LAN クライアントを認証します。Funk Software および Certicom により開発されました。通常、Agere Systems、Proxim、および Avaya でサポートされています。

使用方法:

```
xConfiguration Network [n] IEEE8021X Eap Ttls: Ttls
```

値は次のとおりです。

n: ネットワークを識別するためのインデックスです。

範囲: 1..1

Ttls:

Off/On

Off: EAP-TTLS プロトコルが無効です。

On: EAP-TTLS プロトコルが有効です。

デフォルト値:

オン

xConfiguration Network [n] IEEE8021X Eap Tls

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

802.1x 接続での EAP-TLS (トランスポート層セキュリティ) の使用を有効または無効にします。RFC 5216 で定義されている EAP-TLS プロトコルは、最も安全な EAP 標準の 1 つと考えられています。LAN クライアントはクライアント証明書を使用して認証されます。

使用方法:

```
xConfiguration Network [n] IEEE8021X Eap Tls: Tls
```

値は次のとおりです。

n: ネットワークを識別するためのインデックスです。

範囲: 1..1

Tls:

Off/On

Off: EAP-TLS プロトコルが無効です。

On: EAP-TLS プロトコルが有効です。

デフォルト値:

オン

xConfiguration Network [n] IEEE8021X Eap Peap

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

Peap (保護された拡張認証プロトコル) モードを定義します。クライアント証明書を必要とせずに LAN クライアントを認証します。Microsoft、Cisco、および RSA Security により開発されました。

使用方法:

```
xConfiguration Network [n] IEEE8021X Eap Peap: Peap
```

値は次のとおりです。

n: ネットワークを識別するためのインデックスです。

範囲: 1..1

Peap:

Off/On

Off: EAP-PEAP プロトコルが無効です。

On: EAP-PEAP プロトコルが有効です。

デフォルト値:

オン

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Network [n] IPStack

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

デバイスがネットワーク インターフェイスで IPv4、IPv6、またはデュアル IP スタックを使用する必要があるかどうかを選択します。この設定の変更が有効になるまでに最大で 30 秒かかる場合があります。

使用方法:

```
xConfiguration Network [n] IPStack: IPStack
```

値は次のとおりです。

n: ネットワークを識別するためのインデックスです。

範囲 : 1..1

IP スタック:

デュアル/IPv4/IPv6

デュアル: デュアルに設定すると、ネットワーク インターフェースは両方の IP バージョンで同時に動作し、IPv4 と IPv6 アドレスを同時に持つことができます。

IPv4: IPv4 に設定すると、デバイスはネットワーク インターフェイスで IPv4 を使用します。

IPv6: IPv6 に設定すると、デバイスはネットワーク インターフェイスで IPv6 を使用します。

デフォルト値:

デュアル

xConfiguration Network [n] IPv4 の割り当て

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

デバイスが IPv4 アドレス、サブネット マスク、およびゲートウェイ アドレスを取得する方法を定義します。

DHCP 要求で使用されるクライアント識別子は、製品によって異なります : MAC アドレス (Touch 10)、「01」の後に MAC アドレス (Room Kit、Room Kit Mini、Room 55、Room 70、Room 70 G2、Room 70 Panorama、Room Panorama、Board、Codec Plus、Codec Pro)、そして RFC 4361 で指定されている DHCP 一意識別子 (DUID) (Room Navigator を含むその他の製品)。

使用方法:

```
xConfiguration Network [n] IPv4 Assignment: Assignment
```

値は次のとおりです。

n: ネットワークを識別するためのインデックスです。

範囲 : 1..1

割り当て:

DHCP/静的

静的: アドレスは、ネットワーク IPv4 アドレス、ネットワーク IPv4 ゲートウェイ、およびネットワーク IPv4 サブネットマスク設定 (静的アドレス) を使用して手動で構成する必要があります。

DHCP: デバイスアドレスは DHCP サーバーにより自動的に割り当てられます。

デフォルト値:

DHCP

xConfiguration ネットワーク [n] IPv4 アドレス

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

デバイスの静的 IPv4 ネットワーク アドレスを定義します。[ネットワーク IPv4 割り当て] が [静的] に設定されている場合にのみ適用できます。

使用方法:

```
xConfiguration Network [n] IPv4 アドレス: "Address"
```

値は次のとおりです。

n: ネットワークを識別するためのインデックスです。

範囲 : 1..1

Address:

文字列 (0, 64)

有効な IPv4 アドレス。

デフォルト値:

「」

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration ネットワーク [n] IPv4 ゲートウェイ

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

IPv4 ネットワーク ゲートウェイ アドレスを定義します。[ネットワーク IPv4 割り当て] が [静的] に設定されている場合にのみ適用できます。

使用方法:

```
xConfiguration Network [n] IPv4 Gateway: "Gateway"
```

値は次のとおりです。

n: ネットワークを識別するためのインデックスです。

範囲 : 1..1

ゲートウェイ:

文字列 (0, 64)

有効な IPv4 アドレス。

デフォルト値:

「」

xConfiguration Network [n] IPv4 InterfaceIdentifier

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

IPv4 DHCP に使用する識別子を選択します。

使用方法:

```
xConfiguration Network [n] IPv4 InterfaceIdentifier: InterfaceIdentifier
```

値は次のとおりです。

n: ネットワークを識別するためのインデックスです。

範囲 : 1..1

インターフェイス識別子:

自動/MAC/Opaque

MAC: デバイスは「01」を送信し、その後にデバイスの MAC アドレスが識別子として送信されます。

Opaque: デバイスは RFC4361 ベースの DHCP 一意識別子 (DUID) を使用します。DUID-LL、タイムスタンプのないリンクレイヤーアドレスに基づいています。

Auto: MAC または Opaque の識別子としての使用は製品によって異なります。MAC アドレス (Touch 10)、「01」の後に MAC アドレス (Room Kit、Room Kit Mini、Room 55、Room 70、Room 70 G2、Room 70 Panorama、Room Panorama、Board、Codec Plus、および Codec Pro)、RFC 4361で指定された DHCP 一意識別子 (DUID) (Room Navigator を含む他の製品) です。

デフォルト値:

自動

xConfiguration ネットワーク [n] IPv4 サブネットマスク

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

IPv4 ネットワーク サブネット マスクを定義します。[ネットワーク IPv4 割り当て] が [静的] に設定されている場合にのみ適用できます。

使用方法:

```
xConfiguration Network [n] IPv4 SubnetMask: "SubnetMask"
```

値は次のとおりです。

n: ネットワークを識別するためのインデックスです。

範囲 : 1..1

サブネットマスク:

文字列 (0, 64)

有効な IPv4 アドレス。

デフォルト値:

「」

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Network [n] IPv6 Assignment

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

デバイスが IPv6 アドレス、サブネット マスク、およびゲートウェイ アドレスを取得する方法を定義します。

DHCP 要求で使用されるクライアント識別子は、製品によって異なります : MAC アドレス (Touch 10)、「01」の後に MAC アドレス (Room Kit、Room Kit Mini、Room 55、Room 70、Room 70 G2、Room 70 Panorama、Room Panorama、Board、Codec Plus、Codec Pro)、そして RFC 4361 で指定されている DHCP 一意識別子 (DUID) (Room Navigator を含むその他の製品)。

使用方法:

`xConfiguration Network [n] IPv6` 割り当て: *割り当て*

値は次のとおりです。

n: ネットワークを識別するためのインデックスです。

範囲 : 1..1

割り当て:

自動設定/DHCPv6/静的

静的: デバイスとゲートウェイ IP アドレスは、[ネットワーク IPv6 アドレス] および [ネットワーク IPv6 ゲートウェイ] 設定を使用して、手動で構成する必要があります。NTP および DNS サーバアドレスなどのオプションは、手動で設定するか、または DHCPv6 サーバから取得する必要があります。ネットワーク IPv6 DHCPOptions 設定により、使用する方法が決まります。

DHCPv6: オプションを含むすべての IPv6 アドレスは DHCPv6 サーバから取得されます。詳細については、RFC 3315 を参照してください。ネットワーク IPv6 DHCPOptions 設定は無視されます。

Autoconf: IPv6 ネットワーク インターフェースの IPv6 ステートレス自動構成を有効にします。詳細については、RFC 4862 を参照してください。NTP および DNS サーバアドレスなどのオプションは、手動で設定するか、または DHCPv6 サーバから取得する必要があります。ネットワーク IPv6 DHCPOptions 設定により、使用する方法が決まります。

デフォルト値:

Autoconf

xConfiguration Network [n] IPv6 Address

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

デバイスの静的 IPv6 ネットワーク アドレスを定義します。[ネットワーク IPv6 割り当て] が [静的] に設定されている場合にのみ適用できます。

使用方法:

`xConfiguration Network [n] IPv6` アドレス: *"Address"*

値は次のとおりです。

n: ネットワークを識別するためのインデックスです。

範囲 : 1..1

Address:

文字列 (0, 64)

ネットワークマスクを含む有効な IPv6 アドレス。例: 2001:DB8::/48

デフォルト値:

「」

xConfiguration Network [n] IPv6 ゲートウェイ

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

IPv6 ネットワーク ゲートウェイ アドレスを定義します。この設定は、[ネットワーク IPv6 割り当て] が [静的] に設定されている場合にのみ適用できます。

使用方法:

`xConfiguration Network [n] IPv6 Gateway:` *"Gateway"*

値は次のとおりです。

n: ネットワークを識別するためのインデックスです。

範囲 : 1..1

ゲートウェイ:

文字列 (0, 64)

有効な IPv6 アドレス。

デフォルト値:

「」

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Network [n] IPv6 DHCPOptions

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

NTP および DNS サーバアドレスなどの DHCP オプションのセットを DHCPv6 サーバから取得します。

使用方法:

`xConfiguration Network [n] IPv6 DHCPOptions: DHCPOptions`

値は次のとおりです。

n: ネットワークを識別するためのインデックスです。

範囲 : 1..1

DHCP オプション:

Off/On

Off: DHCPv6 サーバからの DHCP オプションの取得を無効にします。

On: DHCPv6 サーバから選択した DHCP オプションセットの取得を有効にします。

デフォルト値:

オン

xConfiguration Network [n] IPv6 InterfaceIdentifier

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

デバイスの IPv6 インターフェイス識別子を定義します。MAC または不透明性のいずれかを選択したインターフェイス識別子により、IPv6 アドレスの一部を生成するために使用される方法が決定されます。これは、リンクローカル IPv6 アドレスとステートレス アドレス自動設定 (SLAAC) アドレスの両方に適用されます。

アドレスには、デバイスによって生成された 64 ビットのプレフィックスと 64 ビットのインターフェイス識別子が含まれます。MAC では、RFC-2373 で説明されているように、EUI-64 ベースのインターフェイス識別子が生成されます。

Opaque では、RFC-7217 で説明されているように、デバイスの初回起動時にランダムな 64 ビット インターフェイス識別子が生成され、これは永久に使用されるか、出荷時設定にリセットされるまで使用されます。

使用方法:

`xConfiguration Network [n] IPv6 InterfaceIdentifier: InterfaceIdentifier`

値は次のとおりです。

n: ネットワークを識別するためのインデックスです。

範囲 : 1..1

インターフェイス識別子:

MAC/Opaque

MAC: インタフェース識別子の方法として MAC を選択します。

オペーク: インターフェイス識別子の方法としてオペークを選択します。

デフォルト値:

MAC

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Network [n] MTU

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

イーサネット MTU (最大転送ユニット) サイズを定義します。MTU サイズは、ネットワーク インフラストラクチャによってサポートされている必要があります。最小サイズは、IPv4 では 576、IPv6 では 1280 です。

使用方法:

`xConfiguration ネットワーク [n] MTU: MTU`

値は次のとおりです。

n: ネットワークを識別するためのインデックスです。

範囲 : 1..1

MTU:

整数 (576..1500)

MTU (バイト) の値を設定します。

デフォルト値:

1500

xConfiguration Network [n] QoS Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

QoS (サービスの質) は、ネットワーク内の音声、ビデオ、その他のデータの優先順位を処理する方法です。QoS 設定がインフラストラクチャによってサポートされている必要があります。Diffserv (Differentiated Services) は、ネットワーク トラフィックを分類および管理するための、シンプルでスケーラブルな粗粒度のメカニズムを指定するネットワーク アーキテクチャです。IP ネットワーク上の QoS 優先順位を提供します。

使用方法:

`xConfiguration Network [n] QoS Mode: Mode`

値は次のとおりです。

n: ネットワークを識別するためのインデックスです。

範囲 : 1..1

Mode:

Diffserv/オフ

Off: QoS 方式は使用されません。

Diffserv: Network QoS Diffserv 音声、Network QoS Diffserv ビデオ、Network QoS Diffserv データ、Network QoS Diffserv シグナリング、Network QoS Diffserv ICMPv6 および Network QoS Diffserv NTP 設定は、パケットの優先順位付けに使用されます。

デフォルト値:

Diffserv

xConfiguration Network [n] QoS Diffserv Audio

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

この設定は、Network QoS Mode が Diffserv に設定されている場合にのみ有効になります。

IP ネットワークで音声パケットの優先順位を定義します。DiffServ RFC で推奨されているトラフィック クラスは、0から63までの10進数にマッピングされます。音声には EF を使用することを推奨します。EF は 10 進数の 46 と同等です。この設定は WebRTC ミーティングにも適用されます。

ここで設定した優先順位は、ローカルネットワーク管理者が制御するネットワークからパケットが送信される際に上書きされる場合があります。

使用方法:

`xConfiguration Network [n] QoS Diffserv Audio: Audio`

値は次のとおりです。

n: ネットワークを識別するためのインデックスです。

範囲 : 1..1

音声:

整数 (0..63)

IP ネットワークにおける音声パケットの優先順位を設定します。0 は「ベストエフォート」を意味します。

デフォルト値:

46

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

X 構成 ネットワーク [n] QoS Diffserv ビデオ

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

この設定は、Network QoS Mode が Diffserv に設定されている場合にのみ有効になります。

IP ネットワークでのビデオ パケットの優先順位を定義します。プレゼンテーション チャンネル (共有コンテンツ) のパケットもビデオ パケット カテゴリに含まれます。DiffServ RFC で推奨されているトラフィック クラスは、0から63までの10進数にマッピングされます。ビデオには AF41 を使用することを推奨します。AF41 は10進数の 34 と同等です。この設定は WebRTC ミーティングにも適用されます。

ここで設定した優先順位は、ローカルネットワーク管理者が制御するネットワークからパケットが送信される際に上書きされる場合があります。

使用方法:

`xConfiguration Network [n] QoS Diffserv Video:` *Video*

値は次のとおりです。

n: ネットワークを識別するためのインデックスです。

範囲 : 1..1

ビデオ:

整数 (0..63)

IP ネットワークでのビデオパケットの優先順位を設定します。0 は「ベストエフォート」を意味します。

デフォルト値:

34

xConfiguration Network [n] QoS Diffserv Data

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

この設定は、Network QoS Mode が Diffserv に設定されている場合にのみ有効になります。

データパケットの優先順位を IP ネットワークで定義します。DiffServ RFC で推奨されているトラフィック クラスは、0 ～ 63 の 10 進数値にマップされます。データには AF41 を使用することをお勧めします。AF41 は 10 進数値 34 に相当します。

ここで設定した優先順位は、ローカルネットワーク管理者が制御するネットワークからパケットが送信される際に上書きされる場合があります。

使用方法:

`xConfiguration Network [n] QoS Diffserv データ:` *データ*

値は次のとおりです。

n: ネットワークを識別するためのインデックスです。

範囲 : 1..1

データ:

整数 (0..63)

IP ネットワークにおけるデータパケットの優先順位を設定します。0 は「ベストエフォート」を意味します。

デフォルト値:

34

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Network [n] QoS Diffserv Signalling

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

この設定は、Network QoS Mode が Diffserv に設定されている場合にのみ有効になります。

リアルタイム操作にとって重要 (時間に敏感) であると見なされるシグナリング パケットが IP ネットワークで持つべき優先順位を定義します。DiffServ RFC で推奨されているトラフィック クラスは、0 ～ 63 の 10 進数値にマップされます。シグナリングには CS3 を使用することをお勧めします。CS3 は 10 進数値の 24 に相当します。

ここで設定した優先順位は、ローカルネットワーク管理者が制御するネットワークからパケットが送信される際に上書きされる場合があります。

使用方法:

`xConfiguration Network [n] QoS Diffserv シグナリング:` *シグナリング*

値は次のとおりです。

n: ネットワークを識別するためのインデックスです。

範囲 : 1..1

シグナリング:

整数 (0..63)

IP ネットワークにおけるシグナリングパケットの優先順位を設定します。0 は「ベストエフォート」を意味します。

デフォルト値:

24

xConfiguration Network [n] QoS Diffserv ICMPv6

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

この設定は、Network QoS Mode が Diffserv に設定されている場合にのみ有効になります。

IP ネットワークで ICMPv6 パケットの優先順位を定義します。DiffServ RFC で推奨されているトラフィック クラスは、063 の 10 進数でマッピングされます。ICMPv6 では 0 を使用することを推奨します。

ここで設定した優先順位は、ローカルネットワーク管理者が制御するネットワークからパケットが送信される際に上書きされる場合があります。

使用方法:

`xConfiguration Network [n] QoS Diffserv ICMPv6:` *ICMPv6*

値は次のとおりです。

n: ネットワークを識別するためのインデックスです。

範囲 : 1..1

ICMPv6:

整数 (0..63)

IP ネットワークでの ICMPv6 パケットの優先順位を設定します。0 は「ベストエフォート」を意味します。

デフォルト値:

0

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration ネットワーク [n] QoS Diffserv NTP

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

この設定は、Network QoS Mode が Diffserv に設定されている場合にのみ有効になります。

IP ネットワークで NTP パケットの優先順位を定義します。DiffServ RFC で推奨されているトラフィック クラスは、063 の 10 進数でマッピングされます。NTP では 0 を使用することを推奨します。

ここで設定した優先順位は、ローカルネットワーク管理者が制御するネットワークからパケットが送信される際に上書きされる場合があります。

使用方法:

```
xConfiguration Network [n] QoS Diffserv NTP: NTP
```

値は次のとおりです。

n: ネットワークを識別するためのインデックスです。

範囲: 1..1

NTP:

整数 (0..63)

IP ネットワークにおける NTP パケットの優先順位を設定します。0 は「ベストエフォート」を意味します。

デフォルト値:

0

xConfiguration Network [n] RemoteAccess Allow

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

SSH/HTTP/HTTPS からデバイスへのリモート アクセスを許可する IP アドレス (IPv4/IPv6) を定義します。複数の IP アドレスは、空白で区切られます。

ネットワークマスク (IP 範囲) は <ip address>/N で指定します。ここで、N は 1-32 (IPv4 の場合)、N は 1-128 (IPv6 の場合) です。/N は最初の N ビットが設定されているネットワーク マスクを示すものです。したがって、192.168.0.0/24 は、192.168.0 で始まるアドレスに一致します。これらはアドレスの最初の 24 ビットだからです。

使用方法:

```
xConfiguration Network [n] RemoteAccess Allow: "Allow"
```

値は次のとおりです。

n: ネットワークを識別するためのインデックスです。

範囲: 1..1

許可:

文字列 (0, 255)

有効な IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス。

デフォルト値:

「」

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration ネットワーク [n] 速度

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ

イーサネット リンク速度を定義します。デフォルト値はネットワークとネゴシエートして速度を自動的に設定しますので、変更しないことをお勧めします。オートネゴシエーションを使用しない場合は、選択した速度がネットワーク インフラストラクチャで最も近いスイッチでサポートされていることを確認してください。

使用方法:

`xConfiguration Network [n] Speed: Speed`

値は次のとおりです。

n: ネットワークを識別するためのインデックスです。

範囲 : 1..1

速度:

10 フル/10 ハーフ/100 フル/100 ハーフ/1000 フル/自動

Auto: リンク速度を自動ネゴシエートします。

10half: リンクを強制的に 10 Mbps 半二重にします。

10full: リンクを強制的に 10 Mbps 全二重にします。

100half: リンクを強制的に 100 Mbps 半二重にします。

100full: リンクを強制的に 100 Mbps 全二重にします。

1000full: リンクを 1 Gbps 全二重に強制します。

デフォルト値:

自動

xConfiguration ネットワーク [n] トラフィック制御モード

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

ネットワークトラフィック制御モードを定義して、ビデオパケットの伝送速度を制御する方法を決定します。

使用方法:

`xConfiguration ネットワーク [n] トラフィック制御モード: モード`

値は次のとおりです。

n: ネットワークを識別するためのインデックスです。

範囲 : 1..1

Mode:

Off/On

Off: リンク速度でビデオパケットを送信します。

On: ビデオパケットを最大20Mbpsで送信します。送信ネットワークトラフィックのバーストを滑らかにするために使用できます。

デフォルト値:

オン

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration ネットワーク [n] VLAN 音声モード

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

VLAN 音声モードを定義します。プロビジョニングのインフラストラクチャとして Cisco UCM Cisco Unified Communications Manager がある場合、VLAN 音声モードは自動的に設定されます。自動モードが適切に動作するには、NetworkServices CDP モードまたは NetworkServices LLDP モードのいずれかを有効にする必要があります。さらに、CDP 経由で受信した VLAN 値は、LLDP 経由で受信した VLAN 値よりも優先されます。

使用方法:

`xConfiguration Network [n] VLAN Voice Mode:` *`Mode`*

値は次のとおりです。

`n`: ネットワークを識別するためのインデックスです。

範囲 : 1..1

`Mode`:

Auto/Manual/Off

自動: Cisco Discovery Protocol (CDP) または Link Layer Discovery Protocol (LLDP) (使用可能な場合) が音声 VLAN に ID を割り当てます。CDP または LLDP が利用できない場合、VLAN は有効になりません。

Manual: VLAN ID はネットワーク VLAN 音声 VlanId 設定を使用して手動で設定されます。CDP または LLDP が使用可能な場合、手動で設定された値は CDP または LLDP によって割り当てられた値によって上書きされます。

Off: VLAN は有効ではありません。

デフォルト値:

自動

xConfiguration Network [n] VLAN Voice VlanId

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

VLAN 音声 ID を定義します。この設定は、ネットワーク VLAN 音声モードが手動に設定されている場合にのみ有効になります。

使用方法:

`xConfiguration Network [n] VLAN Voice VlanId:` *`VlanId`*

値は次のとおりです。

`n`: ネットワークを識別するためのインデックスです。

範囲 : 1..1

`VLAN ID`:

整数 (1..4094)

VLAN 音声 ID を設定します。

デフォルト値:

1

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

NetworkServices 構成

X 構成 ネットワークサービス CDP モード

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

CDP (Cisco Discovery Protocol) デーモンを有効または無効にします。CDP を有効にすると、デバイスは特定の統計とデバイス識別子を CDP 対応スイッチにレポートします。CDP と NetworkServices LLDP モードの両方が無効になっている場合、ネットワーク VLAN 音声モード: 自動設定は機能しません。

使用方法:

`xConfiguration NetworkServices CDP Mode: Mode`

値は次のとおりです。

Mode:

Off/On

Off: CDP デーモンが無効化されています。

On: CDP デーモンが有効になっています。

デフォルト値:

オン

xConfiguration ネットワークサービス共通プロキシ

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

RoomOS では新しいプロキシ サポート モジュールが段階的に導入されています。この設定を使用して、新しいモジュールを有効または無効にします。有効にすると、RoomOS からのすべての発信 HTTP/S トラフィックが新しいサポート モジュールを通過します。

新しいモジュールへの切り替えが完了すると、この設定は削除されます。

現在のソフトウェア リリースで有効にする主な目に見える影響は、ローカルにペアリングされた Room Navigator のウェブ エンジンがインターネットにアクセスできることです (デバイスで構成されている HTTP プロキシを使用)。また、NetworkServices HTTP プロキシ認証方法設定を有効にするための要件でもあります。

使用方法:

`xConfiguration NetworkServices CommonProxy: CommonProxy`

値は次のとおりです。

共通プロキシ:

無効/有効

デフォルト値:

Disabled

xConfiguration NetworkServices DiscoveryProtocol SystemName

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者

送信される CDP (Cisco Discovery Protocol) および LLDP (Link Layer Discovery Protocol) パケットに含まれるシステム名 TLV (タイプ、長さ、値) のソースを選択します。

システム名は、デバイスの MAC (メディア アクセス コントロール) アドレス (SEPMAC) または完全修飾ドメイン名 (FQDN) から派生します。

使用方法:

`xConfiguration NetworkServices DiscoveryProtocol SystemName: SystemName`

値は次のとおりです。

システム名:

自動/FQDN/SEPMAC

自動: CDP と LLDP の両方が有効になっている場合、システムはデフォルトで SEPMAC (デバイスの MAC アドレス) を識別子として使用します。LLDP モードのみが有効になっている場合、システムはデフォルトで完全修飾ドメイン名 (FQDN) を使用します。FQDN が利用できない場合は、SEPMAC がフォールバック識別子として機能します。

FQDN: CDP と LLDP の両方の送信システム名 TLV で FQDN を使用します。

SEPMAC: CDP と LLDP の両方の送信システム名 TLV で SEPMAC を使用します。

デフォルト値:

自動

X 構成 ネットワークサービス H323 モード

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

デバイスが H.323 通話の受発信を可能にするかどうかを定義します。

使用方法:

`xConfiguration NetworkServices H323 Mode: Mode`

値は次のとおりです。

Mode:

Off/On

Off: H.323 通話の受発信を無効にします。

On: H.323 通話の受発信を有効にします。

デフォルト値:

Off

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

X 構成 ネットワークサービス HTTP モード

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

HTTP または HTTPS (HTTP Secure) プロトコルを使用したデバイスへのアクセスを許可するかどうかを定義します。デバイスのウェブ インターフェイスは HTTP または HTTPS を使用することに注意してください。この設定がOffになっている場合、デバイスのウェブ インターフェイスを使用することはできません。

追加のセキュリティ (ウェブサーバから返されるリクエストおよびページの暗号化と復号化) のため、HTTPS のみを許可すること。

メモ: デバイスがアップグレード後に工場出荷時リセットされていない限り、以前のソフトウェア バージョンから CE9.4 (またはそれ以降) にアップグレードされたデバイスのデフォルト値は HTTP+HTTPS です。

使用方法:

`xConfiguration NetworkServices HTTP Mode: Mode`

値は次のとおりです。

Mode:

HTTP+HTTPS/HTTPS/オフ

Off: HTTP または HTTPS 経由のデバイスへのアクセスは許可されません。

HTTP+HTTPS: デバイスへのアクセスは HTTP と HTTPS の両方で許可されます。

HTTPS: デバイスへのアクセスは HTTPS 経由で許可されますが、HTTP 経由では許可されません。

デフォルト値:

HTTPS (CE9.4 で HTTP+HTTPS から HTTPS に変更)

xConfiguration NetworkServices HTTP プロキシ認証方法

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

デバイスが認証付き HTTP プロキシを使用するように構成されている場合、これを Basic に設定すると、デバイスは最初の HTTP CONNECT で発信プロキシ認証ヘッダーを送信し、各新しい接続の HTTP 認証チャレンジ/レスポンス ラウンド トリップを保存します。

この設定を有効にするには、NetworkServices CommonProxy 設定を Enabled にする必要があります。

使用方法:

`xConfiguration NetworkServices HTTP プロキシ認証方法: メソッド`

値は次のとおりです。

方法:

自動/基本

Auto: NetworkServices HTTP Proxy LoginName 設定で説明されているように、デバイスは認証スキームを自動的に選択します。

Basic: Basic HTTP 認証スキームのみが使用されます。発信 proxy-authentication ヘッダーは、プロキシからの個別の認証チャレンジなしで送信されます。

デフォルト値:

自動

xConfiguration NetworkServices HTTP プロキシ ログイン名

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

これは HTTP プロキシに対する認証のための資格情報のユーザ名部分です。次の HTTP 認証スキームをサポートします: MD5 アルゴリズムを使用したダイジェスト、および Basic HTTP 認証スキーム。

使用方法:

`xConfiguration NetworkServices HTTP Proxy LoginName: "LoginName"`

値は次のとおりです。

ログイン名:

文字列 (0, 80)

認証ログイン名です。

デフォルト値:

「」

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration NetworkServices HTTP Proxy Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

HTTP、HTTPS、および WebSocket トラフィック用にプロキシ サーバーを設定できます。HTTP プロキシは、手動でのセットアップ、自動構成 (PACUrl)、完全自動化 (WPAD)、またはOffにすることができます。

NetworkServices HTTP Proxy Mode がOffになっていない場合、HttpClient UseHttpProxy、HttpFeedback UseHttpProxy、および WebEngine UseHttpProxy 設定で、どのサービスがプロキシを使用するかをさらに指定することができます。

NetworkServices HTTP Proxy Mode がOffになっていない場合、Webex クラウドとの通信は常にプロキシ経由になります。

プロキシ モードに関係なく、デバイスはプロキシ経由で CUCM または MRA (Expressway 経由の CUCM) と通信することはありません。

NetworkServices CommonProxy が Enabled に設定されている場合、HTTP プロキシ認証はすべてのプロキシ モードでサポートされます。認証データは NetworkServices HTTP Proxy LoginName/Password 設定で構成されます。PAC ファイルは、特定のリクエストに対して任意の数の異なるプロキシを返すことができます。デバイスはこれらの資格情報を使用して、要求しているプロキシに対して認証を試みます。[NetworkServices CommonProxy] が [Disabled] に設定されている場合、HTTP プロキシ認証は手動プロキシ モードでのみサポートされます。

使用方法:

```
xConfiguration NetworkServices HTTP Proxy Mode: Mode
```

値は次のとおりです。

Mode:

手動/Off/PACUrl/WPAD

手動: [ネットワーク] [サービス] [HTTP プロキシ URL] 設定にプロキシ サーバーのアドレスを入力します。

Off: HTTP プロキシモードがOffになります。

PACUrl: HTTP プロキシは自動構成されます。PAC (プロキシ自動構成) スクリプトの URL を NetworkServices HTTP Proxy PACUrl 設定で入力する必要があります。

WPAD: WPAD (ウェブプロキシ自動検出) により、HTTP プロキシは完全に自動化され、自動構成されます。

デフォルト値:

Off

xConfiguration NetworkServices HTTP プロキシ PACUrl

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

PAC (プロキシ自動構成) スクリプトの URL を設定します。NetworkServices HTTP Proxy Mode が PACUrl に設定されている必要があります。

使用方法:

```
xConfiguration NetworkServices HTTP Proxy PACUrl: "PACUrl"
```

値は次のとおりです。

PACUrl:

文字列 (0, 255)

PAC (プロキシ自動構成) スクリプトの URL。

デフォルト値:

「」

xConfiguration NetworkServices HTTP プロキシ パスワード

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

これは HTTP プロキシに対する認証のための資格情報のパスワード部分です。次の HTTP 認証スキームをサポートします: MD5 アルゴリズムを使用したダイジェスト、および Basic HTTP 認証スキーム。

使用方法:

```
xConfiguration NetworkServices HTTP Proxy Password: "Password"
```

値は次のとおりです。

パスワード:

文字列 (0, 64)

認証パスワードです。

デフォルト値:

「」

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration NetworkServices HTTP プロキシ URL

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

HTTP プロキシサーバーの URL を設定します。NetworkServices HTTP Proxy Mode が手動に設定されている必要があります。

使用方法:

`xConfiguration NetworkServices HTTP Proxy URL: "Url"`

値は次のとおりです。

URL:

文字列 (0, 255)

HTTP プロキシサーバーの URL。

デフォルト値:

「」

xConfiguration ネットワークサービス HTTPS OCSP モード

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

クライアント証明書がウェブ ユーザ インターフェイスへのログイン資格情報として使用され、xConfiguration NetworkServices HTTPS VerifyClientCertificate が有効な場合、オンライン証明書状況プロトコル (OCSP) レスポンダー サービスを使用して、クライアント証明書の失効状況を確認できます。

[モード] が [オン] に設定されている場合、ウェブ UI はクライアント証明書の OCSP URL を調べ、ホストに連絡してクライアントの証明書の有効性ステータスを確認します。

使用方法:

`xConfiguration NetworkServices HTTPS OCSP モード: モード`

値は次のとおりです。

Mode:

Off/On

オフ/On: OCSP クライアント証明書の検証を有効/無効にします。

デフォルト値:

Off

xConfiguration ネットワークサービス HTTPS OCSP URL

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

クライアントの証明書の有効性を確認するために使用される OCSP サーバーの URL を指定します。

使用方法:

`xConfiguration NetworkServices HTTPS OCSP URL: "URL"`

値は次のとおりです。

URL:

文字列 (0, 255)

有効な URL。

デフォルト値:

「」

xConfiguration NetworkServices HTTPS Server MinimumTLSVersion

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

HTTPS で許可される最も低いバージョンの TLS (トランスポート層セキュリティ) プロトコルを設定します。

使用方法:

`xConfiguration NetworkServices HTTPS Server MinimumTLSVersion:MinimumTLSVersion`

値は次のとおりです。

最小 TLS バージョン:

TLSv1.1/TLSv1.2/TLSv1.3

TLSv1.1: TLS バージョン 1.1 以降のサポート。

TLSv1.2: TLS バージョン 1.2 以降のサポート。

TLSv1.3: TLS バージョン 1.3 以降のサポート。

デフォルト値:

TLSv1.2

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration NetworkServices HTTPS StrictTransportSecurity

適用対象: すべての製品

必要なユーザロール: ADMIN

HTTP Strict Transport Security ヘッダーを使用すると、ウェブサイトはブラウザに、HTTP を使用してサイトをロードするべきではなく、HTTP を使用してサイトにアクセスしようとするすべての試みを HTTPS リクエストに自動的に変換することを通知できます。

使用方法:

`xConfiguration NetworkServices HTTPS StrictTransportSecurity: StrictTransportSecurity`

値は次のとおりです。

StrictTransportSecurity:

Off/On

Off: HTTP のストリクト トランスポート セキュリティ機能が無効になります。

On: HTTP のストリクトトランスポートセキュリティ機能が有効です。

デフォルト値:

Off

xConfiguration NetworkServices HTTPS VerifyClientCertificate

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

ビデオデバイスが HTTPS クライアント (ウェブ ブラウザなど) に接続するとき、クライアントは、自身を識別するためにビデオデバイスに証明書を提示するよう要求することができます。

使用方法:

`xConfiguration NetworkServices HTTPS VerifyClientCertificate: VerifyClientCertificate`

値は次のとおりです。

VerifyClientCertificate:

Off/On

Off: クライアント証明書を確認しません。

On: クライアントは、信頼できる認証局 (CA) によって署名された証明書を提示する必要があります。これには、信頼できる CA のリストが事前にデバイスにアップロードされている必要があります。

デフォルト値:

Off

X 構成 ネットワークサービス LLDP モード

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール : 管理者

LLDP (Link Layer Discovery Protocol) デーモンを有効または無効にします。注意: LLDP と NetworkServices CDP モードの両方が有効になっている場合、CDP 経由で受信したネットワーク設定は LLDP 経由で受信したネットワーク設定よりも優先されます。

使用方法:

`xConfiguration NetworkServices LLDP Mode: Mode`

値は次のとおりです。

Mode:

オフ/オン/パッシブ

Off: LLDP デーモンが無効化されています。

オン: LLDP デーモンは、デバイスの統計情報と識別子を LLDP 対応スイッチに報告します。また、CDP モードが無効になっている場合は、ネットワーク VLAN 音声モードと連携して VLAN 設定も構成します。

パッシブ: LLDP デーモンは、デバイスの統計情報やデバイス識別子を報告せず、VLAN 設定も構成しません。LLDP 経由で受信した情報のみを収集します。

デフォルト値:

オン

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

X 構成 ネットワークサービス NTP モード

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

ネットワーク タイム プロトコル (NTP) は、デバイスの時刻と日付を基準タイム サーバーに同期させるために使用されます。タイム サーバーは時間の更新について定期的に照会されます。

使用方法:

`xConfiguration NetworkServices NTP Mode: Mode`

値は次のとおりです。

Mode:

Auto/Manual/Off

Auto: デバイスは時間の参照に NTP サーバーを使用します。既定では、サーバアドレスはネットワークの DHCP サーバから取得されます。DHCP サーバーが使用されない場合、または DHCP サーバーが NTP サーバアドレスを提供しない場合、ネットワークサービス NTP サーバ [n] アドレス設定で指定されている NTP サーバアドレスが使用されます。

手動: デバイスは、時間の参照に NetworkServices NTP Server [n] アドレス設定で指定されている NTP サーバーを使用します。

Off: デバイスは NTP サーバーを使用しません。NetworkServices NTP Server [n] アドレスの設定は無視されます。

デフォルト値:

自動

xConfiguration NetworkServices NTP サーバ [n] アドレス

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

NetworkServices NTP Mode が手動に設定されている場合、および NetworkServices NTP Mode が Auto に設定され、かつ DHCP サーバーがアドレスを提供しない場合に使用される NTP サーバーのアドレスです。

使用方法:

`xConfiguration NetworkServices NTP Server [n] Address: "Address"`

値は次のとおりです。

n: NTP サーバーの一意の ID です。

範囲: 1..3

Address:

文字列 (0, 255)

有効な IPv4 アドレス、IPv6 アドレス、または DNS 名。

デフォルト値:

"0.tandberg.pool.ntp.org"

xConfiguration NetworkServices NTP サーバ [n] キー

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

NTP 情報が信頼できるソースからのものであることを確認するために、ビデオ デバイスは NTP ソースが使用する ID/キー ペアを知っている必要があります。[NetworkServices NTP Server [n] Key] 設定を使用してキーを指定します。キーの先頭に「HEX:」を付けます。

使用方法:

`xConfiguration NetworkServices NTP Server [n] キー: "Key"`

値は次のとおりです。

n: NTP サーバーの一意の ID です。

範囲: 1..3

キー:

文字列 (0, 2045)

NTP ソースが使用する ID/キー ペアの一部であるキー。

デフォルト値:

「」

xConfiguration NetworkServices NTP サーバー [n] KeyId

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

NTP 情報が信頼できるソースからのものであることを確認するために、ビデオ デバイスは NTP ソースが使用する ID/キー ペアを知っている必要があります。ID に NetworkServices NTP Server [n] KeyId 設定を使用します。

使用方法:

`xConfiguration NetworkServices NTP Server [n] KeyId: "KeyId"`

値は次のとおりです。

n: NTP サーバーの一意の ID です。

範囲: 1..3

キー ID:

文字列 (0, 10)

NTP ソースが使用する ID/キー ペアの一部である ID。

デフォルト値:

「」

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration NetworkServices NTP Server [n] KeyAlgorithm

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

NTP サーバーが使用する認証ハッシュ関数、およびタイム メッセージを認証するためにビデオ デバイスが使用する必要がある認証ハッシュ関数を選択します。

使用方法:

```
xConfiguration NetworkServices NTP Server [n] KeyAlgorithm: KeyAlgorithm
```

値は次のとおりです。

n: NTP サーバーの一意の ID です。

範囲: 1..3

キーアルゴリズム:

なし/SHA1/SHA256

なし: NTP サーバーはハッシュ関数を使用しません。

SHA1: NTP サーバーは SHA-1 ハッシュ関数を使用します。

SHA256: NTP サーバーは SHA-256 ハッシュ関数 (SHA-2 ファミリーのハッシュ関数) を使用します。

デフォルト値:

「」

xConfiguration NetworkServices PTP 優先順位

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者

コーデック内部ネットワークでのコーデック PTP 優先順位を決定します。最高の PTP 優先順位を持つデバイスが、timeLeader として選択されます。値が小さいほど優先順位が高くなります。

使用方法:

```
xConfiguration NetworkServices PTP Priority: Priority
```

値は次のとおりです。

優先順位:

整数 (0..255)

タイムリーダーにしたいコーデックでこの値を調整します。これは、コーデックの内部ネットワーク上の他のデバイスとの関係においてです。

デフォルト値:

255

X 構成 ネットワークサービス SIP モード

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

デバイスが SIP 通話の受発信を可能にするかどうかを定義します。

使用方法:

```
xConfiguration NetworkServices SIP Mode: Mode
```

値は次のとおりです。

Mode:

Off/On

Off: SIP 通話の受発信を無効にします。

On: SIP 通話の受発信を有効にします。

デフォルト値:

オン

X 構成 ネットワークサービス SMTP モード

適用対象: RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者

SMTP (シンプルメール転送プロトコル) を使用して、デバイスからメールサーバーにメールを送信してリレーすることができます。これは、ユーザーが組織内外のユーザーにメールでホワイトボードやプレゼンテーションを送信することを許可する場合に必要です。

デバイスが暗号化通信にセットアップされている場合 (NetworkServices SMTP セキュリティ設定を参照)、デバイスは SMTP サーバーの証明書が検証された接続のみを許可します。証明書の確認を無視するオプションはありません。

SMTP はタッチスクリーン搭載のデバイス (内蔵または接続済み) でのみ利用できます。Room Kit Mini は Samsung Flip (Webex on Flip) と共に使用する必要があります。

使用方法:

```
xConfiguration NetworkServices SMTP Mode: Mode
```

値は次のとおりです。

Mode:

Off/On

Off: SMTP (およびメール) サポートを無効にします。

On: メール送信の SMTP サポートを有効にします。

デフォルト値:

Off

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration NetworkServices SMTP サーバ

適用対象: RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者

これは SMTP サーバーのアドレスです。

SMTP はタッチスクリーン搭載のデバイス (内蔵または接続済み) でのみ利用できます。Room Kit Mini は Samsung Flip (Webex on Flip) と共に使用する必要があります。

使用方法:

```
xConfiguration NetworkServices SMTP サーバ: "Server"
```

値は次のとおりです。

サーバ:

文字列 (0, 255)

有効な IPv4 アドレス、IPv6 アドレス、または DNS 名。

デフォルト値:

「」

xConfiguration NetworkServices SMTP ポート

適用対象: RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者

このポートは、デバイスから SMTP サーバへの送信メールに使用されます。

暗号化設定 (NetworkServices SMTP Security) および SMTP サーバーの要件に基づいてポート番号を設定します。既定値を使用しないでください。

SMTP はタッチスクリーン搭載のデバイス (内蔵または接続済み) でのみ利用できます。Room Kit Mini は Samsung Flip (Webex on Flip) と共に使用する必要があります。

使用方法:

```
xConfiguration NetworkServices SMTP Port: Port
```

値は次のとおりです。

ポート:

整数 (0..65535)

デバイスからのメールの送信に使用されるポート。

デフォルト値:

0

xConfiguration NetworkServices SMTP ユーザ名

適用対象: RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者

これは、SMTP サーバーでデバイスを認証するために使用される資格情報のユーザ名部分です。この設定は SMTP サーバーにより要求される場合があります。

SMTP はタッチスクリーン搭載のデバイス (内蔵または接続済み) でのみ利用できます。Room Kit Mini は Samsung Flip (Webex on Flip) と共に使用する必要があります。

使用方法:

```
xConfiguration NetworkServices SMTP Username: "Username"
```

値は次のとおりです。

ユーザ名:

文字列 (0, 80)

有効なユーザ名。

デフォルト値:

「」

xConfiguration NetworkServices SMTP パスワード

適用対象: RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者

これは、SMTP サーバーでデバイスを認証するために使用される資格情報のパスワード部分です。この設定は SMTP サーバーにより要求される場合があります。

SMTP はタッチスクリーン搭載のデバイス (内蔵または接続済み) でのみ利用できます。Room Kit Mini は Samsung Flip (Webex on Flip) と共に使用する必要があります。

使用方法:

```
xConfiguration NetworkServices SMTP Password: "Password"
```

値は次のとおりです。

パスワード:

文字列 (0, 64)

有効なパスワード。

デフォルト値:

「」

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration NetworkServices SMTP From

適用対象: RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者

このデバイスからメールメッセージを送信する場合、これはメッセージの送信元のメールボックスの名前です。

SMTP はタッチスクリーン搭載のデバイス (内蔵または接続済み) でのみ利用できます。Room Kit Mini は Samsung Flip (Webex on Flip) と共に使用する必要があります。

使用方法:

```
xConfiguration NetworkServices SMTP From: "From"
```

値は次のとおりです。

送信元:

文字列 (0, 255)

SMTP サーバーの要件を満たすメールアドレス。

デフォルト値:

「」

xConfiguration NetworkServices SMTP セキュリティ

適用対象: RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者

デバイスと SMTP サーバ間の通信をセキュリティ保護するかどうか、またその保護方法を選択します。

SMTP はタッチスクリーン搭載のデバイス (内蔵または接続済み) でのみ利用できます。Room Kit Mini は Samsung Flip (Webex on Flip) と共に使用する必要があります。

使用方法:

```
xConfiguration NetworkServices SMTP Security: Security
```

値は次のとおりです。

セキュリティ:

None/StartTls/Tls

なし: 暗号化せずに SMTP サーバーに接続します。

StartTls: 最初に暗号化なしで SMTP サーバーに接続し、それから STARTTLS コマンドを送信して暗号化接続 (TLS) にアップグレードします。

Tls: TLS (トランスポート層セキュリティ) 経由で SMTP サーバーに接続します。

デフォルト値:

StartTls

xConfiguration NetworkServices SNMP CommunityName

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

SNMP コミュニティの名前を定義します。SNMP コミュニティ名は、SNMP v2c 使用時に SNMP 要求の認証に使用されます。管理システムからの SNMP 要求に一致する (大文字と小文字を区別する) コミュニティ名が含まれていない場合、メッセージは破棄され、ビデオデバイスの SNMP エージェントは応答を送信しません。

Cisco TelePresence Management Suite (TMS) がある場合、同じ SNMP コミュニティが設定されていることを確認する必要があります。

SNMP v3 を使用している場合、この設定は影響しません。SNMP v3 のユーザおよび認証は、[ネットワーク SNMP USM ユーザ] コマンドを使用して管理されます。

使用方法:

```
xConfiguration NetworkServices SNMP CommunityName: "CommunityName"
```

値は次のとおりです。

CommunityName (コミュニティ名):

文字列 (0, 50)

SNMP コミュニティ名です。空の文字列は、SNMP v2c がサポートされていないことを意味します。

デフォルト値:

「」

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

X 構成 ネットワークサービス SNMP モード

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

SNMP (Simple Network Management Protocol) は、ネットワーク管理システムがネットワークデバイスを監視および管理するために使用します。ビデオ会議端末は SNMP v2c と v3 の両方をサポートします。どちらの場合も、デバイスは次のオブジェクト識別子 (OID) を公開するため、管理システムは基本パラメータの読み取りと書き込みができます。SNMPv2-MIB::sysDescr (読み取り)、SNMPv2-MIB::sysObjectID (読み取り)、DISMAN-EVENT-MIB::sysUpTimeInstance (読み取り)、SNMPv2-MIB::sysContact (読み取り/書き込み)、SNMPv2-MIB::sysName (読み取り/書き込み)、SNMPv2-MIB::sysLocation (読み取り/書き込み)、および SNMPv2-MIB::sysServices (読む) を参照してください。

NetworkServices SNMP CommunityName に空の文字列 ("") を設定することで、SNMP サポートを v3 のみに制限することができます。

使用方法:

`xConfiguration NetworkServices SNMP Mode: Mode`

値は次のとおりです。

Mode:

Off/ReadOnly/ReadWrite

Off: SNMP ネットワークサービスを無効にします。

読み取り専用: SNMP ネットワークサービスをクエリに対してのみ有効にします。

読み取り/書き込み: クエリとコマンドの両方に対して SNMP ネットワークサービスを有効にします。

デフォルト値:

Off

xConfiguration NetworkServices SNMP SysNameSource

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

SNMP SysName MIB OID 要求によって返される値のソースを指定します。

使用方法:

`xConfiguration NetworkServices SNMP SysNameSource: SysNameSource`

値は次のとおりです。

システム名ソース:

自動/FQDN/システムユニット名

デフォルト値:

自動

xConfiguration ネットワークサービス SNMP システム連絡先

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

SNMP サーバーが使用できる連絡先情報を定義します。

使用方法:

`xConfiguration NetworkServices SNMP SystemContact: "SystemContact"`

値は次のとおりです。

システム連絡先:

文字列 (0, 50)

ビデオ デバイスの連絡先情報を示す文字列です。

デフォルト値:

「」

xConfiguration NetworkServices SNMP SystemLocation

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

SNMP サーバーが使用できるロケーション情報を定義します。

使用方法:

`xConfiguration NetworkServices SNMP SystemLocation: "SystemLocation"`

値は次のとおりです。

システムの場所:

文字列 (0, 50)

ビデオ会議デバイスの場所を示す文字列です。

デフォルト値:

「」

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration NetworkServices SSH KeyExchangeAlgorithms AllowLegacy

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

レガシー SSH キー交換アルゴリズムを許可するかどうかを指定します。

使用方法:

`xConfiguration NetworkServices SSH KeyExchangeAlgorithms AllowLegacy: AllowLegacy`

値は次のとおりです。

AllowLegacy:

Off/On

Off: レガシーアルゴリズムは無効になります。

On: 旧式のアルゴリズムが許可されます。

デフォルト値:

オン

X 構成 ネットワークサービス SSH モード

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

SSH (または Secure Shell) プロトコルは、ビデオ デバイスとローカル コンピュータ間の安全な暗号化通信を提供できます。

使用方法:

`xConfiguration NetworkServices SSH Mode: Mode`

値は次のとおりです。

Mode:

Off/On

Off: SSH プロトコルが無効です。

On: SSH プロトコルが有効です。

デフォルト値:

オン

xConfiguration NetworkServices SSH HostKeyAlgorithm

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

SSH ホスト キーに使用される暗号アルゴリズムを選択します。選択肢は、2048 ビットのキーサイズを使用する RSA (リベスト-シャミア-アドルマン)、NIST 曲線 P-384 を使用する ECDSA (楕円曲線デジタル署名アルゴリズム)、および ed25519 署名スキーマを使用する EdDSA (Edwards-curve デジタル署名アルゴリズム) です。

使用方法:

`xConfiguration NetworkServices SSH HostKeyAlgorithm: HostKeyAlgorithm`

値は次のとおりです。

HostKeyAlgorithm:

ECDSA/RSA/ed25519

ECDSA: ECDSA アルゴリズム (nist-384p) を使用します。

RSA: RSA アルゴリズム (2048 ビット) を使用します。

ed25519: ed25519 アルゴリズムを使用します。

デフォルト値:

RSA

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration NetworkServices UPnP モード

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

UPnP (ユニバーサル プラグ アンド プレイ) を完全に無効にするか、ビデオデバイスがOnになったり再起動した後の短い時間だけUPnPを有効にする。

デフォルトの動作では、ビデオ デバイスの電源を入れるか再起動すると、UPnP が有効になります。UPnP は [NetworkServices UPnP タイムアウト] 設定で定義されたタイムアウト期間後に自動的に無効になります。

UPnP が有効な場合、デバイスはネットワーク上でプレゼンスをアドバタイズします。アドバタイズメントにより、タッチ コントローラーがビデオ デバイスを自動的に検出できるようになるため、タッチ コントローラーをペアリングするために、デバイスの IP アドレスを手動で入力する必要はありません。

使用方法:

`xConfiguration NetworkServices UPnP モード:` *モード*

値は次のとおりです。

Mode:

Off/On

Off: UPnP が無効です。ビデオ デバイスはプレゼンスをアドバタイズせず、デバイスにタッチ コントローラーをペアリングするために、デバイスの IP アドレスを手動で入力する必要があります。

On: UPnP が有効になっています。ビデオ デバイスは、タイムアウト期間が終了するまでプレゼンスをアドバタイズします。

デフォルト値:

オン

xConfiguration ネットワークサービス UPnP タイムアウト

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

デバイスの電源がオンになった後、または再起動された後に、UPnP が有効な状態を維持する秒数を定義します。この設定を有効にするには、NetworkServices UPnP Mode 設定を On にする必要があります。

使用方法:

`xConfiguration NetworkServices UPnP タイムアウト:` *タイムアウト*

値は次のとおりです。

タイムアウト:

整数 (0..3600)

範囲: 0 から 3600 秒の間の値を選択します。

デフォルト値:

600

xConfiguration NetworkServices Websocket

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

非セキュアおよびセキュア バージョン (ws および wss) の両方で、WebSocket プロトコルを介してデバイスの API と対話できます。WebSocket は HTTP に関連付けられているため、WebSocket を使用する前に、HTTP または HTTPS も有効にする必要があります (NetworkServices HTTP Mode 設定を参照してください)。

使用方法:

`xConfiguration NetworkServices Websocket:` *Websocket*

値は次のとおりです。

Websocket:

FollowHTTPService/Off

FollowHTTPService: HTTP または HTTPS が有効な場合、WebSocket プロトコルを介した通信が許可されます。

Off: WebSocket プロトコルによる通信は許可されません。

デフォルト値:

FollowHTTPService

xConfiguration NetworkServices WelcomeText

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

ユーザーが SSH 経由でデバイスにログインするときに表示する情報を選択します。

使用方法:

`xConfiguration NetworkServices WelcomeText:` *WelcomeText*

値は次のとおりです。

WelcomeText:

Off/On

Off時: ウェルカムテキスト: ログインに成功しました

On: ウェルカムテキスト: <system name>へようこそ、ソフトウェアバージョン、ソフトウェアのリリース日、ログインに成功しました。

デフォルト値:

オン

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration NetworkServices Wifi Allowed

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

Wi-Fi アダプターが内蔵されているデバイスは、イーサネットまたは Wi-Fi 経由でネットワークに接続できます。イーサネットと Wi-Fi の両方がデフォルトで許可されており、ユーザーはユーザ インターフェイスからどちらを使用するかを選択できます。この設定により、管理者は Wi-Fi 構成を無効にして、ユーザ インターフェイスからセットアップできないようにすることができます。

デバイスは次の標準をサポートします: IEEE 802.11a、IEEE 802.11b、IEEE 802.11g、IEEE 802.11n、および IEEE 802.11ac。Codec EQ および Room Bar Pro も 802.11ax に対応しています。

デバイスは、オープン ネットワークとセキュア ネットワークの両方をサポートします。SHA-128、SHA-256、または高速移行 (802.11r) キー管理を使用して、パーソナルまたはエンタープライズの WPA2 と WPA3 をサポートしています。

パーソナルでは、次のキー管理プロトコルがサポートされています: WPA2-PSK および WPA3-SAE、両方とも CCMP128 (AES) 暗号化を使用します。エンタープライズの場合、CCMP128 (AES) 暗号化を含む IEEE 802.1X (EAP) を使用できます。サポートしている EAP タイプは、EAP-TLS、EAP-TTLS、EAP-FAST、PEAP (EAP-MSCHAPv2 または EAP-GTC) です。

デバイス背面の定格ラベルにある PID (製品 ID) に NR (無線なし) の文字が含まれている場合、そのデバイスは Wi-Fi に対応していません。

使用方法:

```
xConfiguration NetworkServices Wifi Allowed: Allowed
```

値は次のとおりです。

許可:

False/True

False: Wi-Fi が使用できません。イーサネット経由でネットワークに接続する必要があります。

True: イーサネットと Wi-Fi の両方が許可されます。

デフォルト値:

True

xConfiguration NetworkServices Wifi Settings FrequencyBand

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

デバイスを Wi-Fi 経由でネットワークに接続するときに使用する周波数帯域を設定します。

使用方法:

```
xConfiguration NetworkServices Wifi Settings FrequencyBand: FrequencyBand
```

値は次のとおりです。

周波数帯域:

2_4Ghz/5Ghz/6Ghz/Auto *[RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ BoardProG2]*

2_4Ghz/5Ghz/Auto *[RoomKit RoomKitMini RoomBar CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro]*

2_4Ghz: 2.4 GHz 帯域を使用します。

5Ghz: 5 GHz 帯域を使用します。

6Hz: 6 GHz 帯域を使用します。

Auto: 最も強い信号を与える周波数帯域を使用します。または、アクセス ポイントが帯域制御でセットアップされている場合、アクセス ポイントの決定に従います。

デフォルト値:

自動

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration ネットワークサービス Wi-Fi 有効

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デバイスが Wi-Fi 経由でネットワークに接続することが許可されている場合は ([ネットワーク] サービス [WIFI 許可] 設定を参照)、この設定を使用して Wi-Fi を有効または無効にすることができます。

イーサネットと Wi-Fi を同時に使用することはできません。イーサネットケーブルが接続されている間に Wi-Fi の設定を試みる場合は、続行するためにイーサネットケーブルを抜く必要があります。Wi-Fi に接続している間にイーサネット ケーブルを接続すると、イーサネットが優先されます。イーサネット ケーブルを抜くと、デバイスは自動的に前回接続した Wi-Fi ネットワークに接続します (利用可能な場合)。

使用方法:

`xConfiguration NetworkServices Wi-Fi` 有効: *有効*

値は次のとおりです。

Enabled:

False/True

False: Wi-Fi が無効になっています。

True: Wi-Fi は有効になっています。

デフォルト値:

True

xConfiguration NetworkServices XMLAPI モード

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

デバイスの XML API を有効または無効にします。セキュリティ上の理由から、これは無効になっている場合があります。XML API を無効にすると、TMS などのリモート管理が制限され、デバイスに接続できなくなります。

使用方法:

`xConfiguration NetworkServices XMLAPI Mode:` *Mode*

値は次のとおりです。

Mode:

Off/On

Off: XML API が無効です。

On: XML API が有効です。

デフォルト値:

オン

周辺機器の設定

xConfiguration 周辺機器 ActivePen 有効

適用対象: BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者

アクティブペンの使用を有効または無効にします。

使用方法:

`xConfiguration 周辺機器 ActivePen 有効:` *有効*

値は次のとおりです。

Enabled:

False/True

True: アクティブペンが有効になっています。

False: アクティブペンは有効になっていません。ペンを使用しても影響はありません。

デフォルト値:

True

xConfiguration 周辺機器 InputDevice モード

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者

USB キーボードや USB ドングル付きワイヤレスリモートコントロールなど、サードパーティの入力デバイスの使用を許可するかどうかを定義します。入力デバイスは USB キーボードとして通知する必要があります。キークリックに対する応答として取られるアクションは、お客様ご自身で定義および実装する必要があります。

使用方法:

`xConfiguration Peripherals InputDevice Mode:` *Mode*

値は次のとおりです。

Mode:

Off/On

Off: サードパーティの USB 入力デバイスは使用できません。

On: サードパーティの USB 入力デバイスを使用して、ビデオデバイスの特定の機能をコントロールできます。

デフォルト値:

Off

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Peripherals Pairing CiscoTouchPanels EmcResilience

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitQX CodecQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama Board BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール : 管理者

Touch 10 タッチコントローラが、大量の電磁気ノイズが存在する環境で使用される場合、例えば誰もタッチコントローラをタップしていないのに誰かがタップしているように、誤った信号を受信する可能性があります。これを防ぐには、EMC レジリエンスモードを有効にします。これは Touch 10 にのみ適用され、Room Navigator には適用されません。

使用方法:

`xConfiguration Peripherals Pairing CiscoTouchPanels EmcResilience: EmcResilience`

値は次のとおりです。

Emc レジリエンス:

Off/On

Off: EMC レジリエンスは無効です。

On: EMC レジリエンスが有効になっています。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Peripherals Pairing CiscoTouchPanels HttpProxy

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitQX CodecQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama Board BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール : 管理者

これにより、ビデオデバイスに直接接続されている (つまり、ローカルでペアリングされている) Room Navigator は、外部 HTTP(S) サーバーにアクセスできます。このようなアクセスを禁止するには、この設定を [Off] に切り替えます。

使用方法:

`xConfiguration 周辺機器 ペアリング CiscoTouchPanels HttpProxy: HttpProxy`

値は次のとおりです。

HttpProxy:

Auto/Off

Auto: Room Navigator は外部 HTTP(S) サーバ上のコンテンツへのアクセスを許可されます。ビデオ デバイスは HTTP プロキシとして機能します。

Off: Room Navigator ーは外部 HTTP(S) サーバ上のコンテンツにアクセスできません。

デフォルト値:

自動

xConfiguration Peripherals Pairing CiscoTouchPanels RemotePairing

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

タッチ コントローラー (Room Navigator または Touch 10) をビデオ デバイスのユーザ インターフェイスとして使用するには、タッチ コントローラーがデバイスとペアリングされている必要があります。タッチ コントローラーがネットワーク (LAN) 経由でペアリングされる場合、これはリモート ペアリングと呼ばれます。リモートペアリングはデフォルトで許可されています。リモートペアリングを禁止するには、この設定を [Off] に切り替える必要があります。

Board 55/70 は Touch 10 のみをサポートし、Room Navigator はサポートしません。Board 55S/75S/85S、Codec Plus、Codec Pro、Room Kit、Room Kit Mini、Room 55、Room 55 Dual、Room 70、Room 70 G2、Room 70 Panorama、および Room Panorama は Room Navigator と Touch 10 の両方をサポートします。他の製品は Room Navigator のみに対応します。

使用方法:

`xConfiguration Peripherals Pairing CiscoTouchPanels RemotePairing: RemotePairing`

値は次のとおりです。

RemotePairing:

Off/On

Off: タッチ コントローラーのリモート ペアリングは許可されません。

On: タッチコントローラのリモートペアリングが許可されます。

デフォルト値:

オン

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Peripherals Profile Cameras

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

ビデオ デバイスに接続されることが予想される外部カメラの数を定義します。この情報は、デバイスの診断サービスによって使用されます。接続されているカメラの数がこの設定と一致しない場合、診断サービスは不整合として報告します。

使用方法:

`xConfiguration` 周辺機器プロファイル カメラ: *カメラ*

値は次のとおりです。

カメラ:

0 *[DeskPro DeskMini Desk Board]*

0/1/2/3/4/5/6/7/Minimum1/NotSet *[RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro BoardProG2]*

NotSet: カメラチェックは実行されません。

最小1: 少なくとも 1 つのカメラをデバイスに接続する必要があります。

0-7: デバイスに接続されることが予想されるカメラの数を選択します。

デフォルト値:

Minimum1 *[RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro BoardProG2]*

0 *[DeskPro DeskMini Desk]*

xConfiguration Peripherals Profile Cameras

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

デバイスに接続されることが予想される外部カメラの数を定義します。この情報は、デバイスの診断サービスによって使用されます。接続されているカメラの数がこの設定と一致しない場合、診断サービスは不整合として報告します。

使用方法:

`xConfiguration` 周辺機器プロファイル カメラ: *カメラ*

値は次のとおりです。

カメラ:

0 *[DeskPro DeskMini Desk Board]*

0/1/2/3/4/5/6/7/Minimum1/NotSet *[RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro BoardProG2]*

0: デバイスに接続することが予想されるカメラの数。

デフォルト値:

0

xConfiguration Peripherals Profile ControlSystems

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

サードパーティのコントロールシステム (例えば、Crestron または AMX) をビデオ会議端末に接続するかどうかを定義します。この情報はビデオ デバイスの診断サービスによって使用されます。接続されているコントロールシステムの数がこの設定と一致しない場合、診断サービスは不整合として報告します。サードパーティのコントロールシステムは、一つだけがサポートされていることに注意してください。

1 に設定すると、コントロール システムは xCommand Peripherals のハートビート コマンドを使用してビデオ デバイスにハート ビートを送信する必要があります。これに失敗すると、ビデオ デバイスはコントロール システムとの接続が失われたことを示す警告を表示します。

使用方法:

`xConfiguration Peripherals Profile ControlSystems:` *ControlSystems*

値は次のとおりです。

ControlSystems:

1/NotSet

1: 1 つのサードパーティのコントロールシステムをデバイスに接続する必要があります。

NotSet: サードパーティのコントロールシステムのチェックは実行されません。

デフォルト値:

未設定

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration 周辺機器プロファイル マイク アナログ

適用対象: RoomKit RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ

デバイスに接続されることが予想されるアナログ マイクの数を定義します。この情報は、デバイスの診断サービスによって使用されます。接続されているアナログ マイクの数がこの設定と一致しない場合、診断サービスはそれを不一致として報告します。

使用方法:

`xConfiguration` 周辺機器プロファイル マイク アナログ: *アナログ*

値は次のとおりです。

アナログ:

0/1/2/3/Minimum1/NotSet *[RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus]*

0/1/2/Minimum1/NotSet *[RoomKit BoardPro BoardProG2]*

0/1/NotSet *[RoomBar]*

デフォルト値:

未設定

xConfiguration Peripherals Profile Microphones Ethernet

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ

デバイスに接続されることが予想されるイーサネット マイクの数を定義します。この情報は、デバイスの診断サービスによって使用されます。接続されているイーサネット マイクの数がこの設定と一致しない場合、診断サービスはそれを不一致として報告します。

使用方法:

`xConfiguration` 周辺機器 プロファイル マイク イーサネット: *イーサネット*

値は次のとおりです。

イーサネット:

0/1/2/3/4/5/6/7/8/Minimum1/NotSet [RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 BoardPro BoardProG2]

0/1/2/3/4/5/6/Minimum1/NotSet *[RoomPanorama/Room70Panorama]*

0/1/NotSet *[RoomBar]*

デフォルト値:

未設定

xConfiguration Peripherals Profile Microphones USBMicrophone

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro Room55 DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ

デバイスに接続されることが予想される USB マイクの数を定義します。この情報は、デバイスの診断サービスによって使用されます。接続されている USB マイクの数がこの設定と一致しない場合、診断サービスはそれを不一致として報告します。

使用方法:

`xConfiguration Peripherals Profile Microphones USBMicrophone:` *USBMicrophone*

値は次のとおりです。

USBMicrophone:

0/1/NotSet

NotSet: USB マイク チェックは実行されません。

0-1: デバイスに接続されることが予想される USB マイクの数を選択します。

デフォルト値:

未設定

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration 周辺機器プロファイルマイク USB インターフェース

適用対象: RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

デバイスに接続されることが予想される USB インターフェイスの数を定義します。この情報は、デバイスの診断サービスによって使用されます。接続されている USB インターフェイスの数がこの設定と一致しない場合、診断サービスはそれを不一致として報告します。

使用方法:

`xConfiguration 周辺機器プロファイル マイク USB インターフェース: USB インターフェース`

値は次のとおりです。

USB インターフェース:

0/1/NotSet

NotSet: USB インターフェイスチェックは実行されません。

0-1: デバイスに接続されることが予想される USB インターフェイスの数を選択します。

デフォルト値:

未設定

xConfiguration 周辺機器プロファイル ネットワークスイッチ

適用対象: RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

デバイスに接続されることが予想されるネットワークスイッチの数を定義します。この情報は、デバイスの診断サービスによって使用されます。接続されているネットワークスイッチの数がこの設定と一致しない場合、診断サービスは不整合として報告します。

使用方法:

`xConfiguration Peripherals Profile NetworkSwitches: NetworkSwitches`

値は次のとおりです。

ネットワークスイッチ:

1/2/Minimum1/NotSet

NotSet: ネットワークスイッチが接続されていません。

最小1: 少なくとも 1 つのネットワークスイッチがデバイスに接続されている必要があります。

1-2: デバイスに接続されると予想されるネットワークスイッチの数を指定します。

デフォルト値:

Room Panorama: 2; Room 70 Panorama: NotSet

xConfiguration Peripherals Profile TouchPanels

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

デバイスに接続されることが予想される Cisco タッチ コントローラーの数を定義します。この情報は、デバイスの診断サービスによって使用されます。接続されているタッチ コントローラーの数がこの設定と一致しない場合、診断サービスは不整合として報告します。

使用方法:

`xConfiguration 周辺機器プロファイル TouchPanels: TouchPanels`

値は次のとおりです。

タッチ パネル:

0 *[DeskPro DeskMini Desk]*

0/1/2/3/4/5/Auto/Minimum1/NotSet *[RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro BoardProG2]*

Auto: タッチ スクリーンのないデバイスの場合は最小値 1 に解決され、タッチ スクリーンのあるデバイスの場合は 0 に解決されます。

NotSet: タッチ コントローラー チェックは実行されません。

Minimum1: 少なくとも 1 つの Cisco タッチコントローラがデバイスに接続されている必要があります。

0-5: デバイスに接続されると予想される Cisco タッチコントローラーの数を選択します。正式にサポートされているCiscoタッチコントローラの数は、Deskシリーズデバイスは0、Room PanoramaとRoom 70 Panoramaは2、その他の製品は1です。

デフォルト値:

Auto *[RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

0 *[DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2]*

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Peripherals Security Certificates SyncToPeripherals Enabled

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

デバイスにアップロードする CA 証明書が、デバイスに接続されている Room Navigator にも適用されるかどうかを選択します。これは、デバイスに直接ペアリングされている Navigator およびリモートでペアリングされている Navigator の両方に適用されます。

Room Navigator に、接続されているデバイスと同じ証明書を取得させたくない場合、この設定は False である必要があります。

この設定が True の場合、以前アップロードされた CA 証明書も接続された Room Navigator に同期されます。Room Navigator のウェブ エンジンで使用するには、デバイスを再起動する必要があります。

使用方法:

```
xConfiguration Peripherals Security Certificates SyncToPeripherals Enabled: Enabled
```

値は次のとおりです。

Enabled:

False/True

False: アップロードされた CA 証明書はデバイス自体にのみ適用され、接続された周辺機器には適用されません。

True: アップロードされた CA 証明書は、デバイス自体と接続されている周辺機器の両方に適用されます。

デフォルト値:

True

電話帳の設定

xConfiguration 電話帳サーバ [n] ID

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

外部電話帳の名前を定義します。

使用方法:

```
xConfiguration 電話帳サーバ [n] ID: "ID"
```

値は次のとおりです。

n: 電話帳サーバーを識別する一意の ID です。

範囲 : 1..1

ID:

文字列 (0, 64)

外部電話帳の名前です。

デフォルト値:

「」

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Phonebook Server [n] ページネーション

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

電話帳サーバーがページネーション (ページング) に対応しているかどうかを設定します。ページネーションとは、サーバーが連続した検索をサポートしていることを意味し、これらの検索はOffセットを基準に行うことができます。これにより、ユーザ インターフェイスは完全な検索結果を得るために必要なだけ連続して検索を実行できます。

ページネーションが無効の場合、デバイスは検索を 1 回行い、検索結果で最大 100 エントリを返します。それ以上の検索結果にスクロールすることはできません。

使用方法:

`xConfiguration Phonebook Server [n] ページネーション: ページネーション`

値は次のとおりです。

n: 電話帳サーバーを識別する一意の ID です。

範囲: 1..1

ページネーション:

無効/有効

無効: 電話帳サーバーはページネーションをサポートしていません。デバイスは単一検索を行い、検索結果の最大エントリ数は 100 です。

有効: 電話帳サーバーはページネーションをサポートしています。

デフォルト値:

[有効 (Enabled)]

xConfiguration Phonebook Server [n] TlsVerify

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

この設定は、ビデオ デバイスが HTTPS 経由で外部電話帳サーバーに接続する場合に適用されます。

デバイスと HTTPS サーバ間の接続を確立する前に、デバイスはサーバーの証明書が信頼できる認証局 (CA) によって署名されているかどうかを確認します。CA 証明書はデバイスの CA リストに含まれ、ウェブ インターフェイスまたは API を使用して手動でアップロードされる必要があります。

通常、HTTPS 接続の最小 TLS (トランスポート層セキュリティ) バージョンは 1.1 です。このルールには 2 つの例外があります。1) 互換性の理由から、CUCM に登録されているデバイスの最小 TLS バージョンは 1.0 です。2) Webex クラウド サービスに登録されているデバイスは常にバージョン 1.2 を使用します。

メモ: CE9.8 以前のソフトウェア バージョンから CE9.9 (以降) にアップグレードされたデバイスの値はOffに設定されています。ただし、デバイスがアップグレード後に工場出荷時リセットされておらず、古い NetworkServices HTTPS VerifyServerCertificate 設定が明示的にOnに設定されていなかった。

使用方法:

`xConfiguration 電話帳サーバ [n] TlsVerify: TlsVerify`

値は次のとおりです。

TlsVerify:

Off/On

Off: デバイスは HTTPS サーバーの証明書を確認しません。

On: デバイスは、HTTPS サーバーの証明書が信頼できるかどうかを確認します。そうでない場合、デバイスとサーバ間の接続は確立されません。

デフォルト値:

オン

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration 電話帳サーバ [n] タイプ

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

電話帳サーバーの種類を選択します。

使用方法:

```
xConfiguration Phonebook Server [n] Type: Type
```

値は次のとおりです。

n: 電話帳サーバーを識別する一意の ID です。

範囲 : 1..1

タイプ:

CUCM/Off/Spark/TMS/VCS

Off: 電話帳を使用しません。

CUCM: 電話帳は Cisco Unified Communications Manager にあります。

Spark: 電話帳は Webex クラウド サービスにあります。

TMS: 電話帳は Cisco TelePresence Management Suite サーバ上にあります。

VCS: 電話帳は Cisco TelePresence Video Communication Server にあります。

デフォルト値:

Off

xConfiguration 電話帳サーバ [n] URL

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

外部電話帳サーバーのアドレス (URL) を定義します。

使用方法:

```
xConfiguration Phonebook Server [n] URL: "URL"
```

値は次のとおりです。

n: 電話帳サーバーを識別する一意の ID です。

範囲 : 1..1

URL:

文字列 (0, 255)

電話帳サーバーの有効なアドレス (URL) です。

デフォルト値:

「」

プロビジョニングの構成

xConfiguration Provisioning Connectivity

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

この設定は、デバイスがプロビジョニング サーバから内部または外部の構成を要求する必要があるかどうかを検出する方法を制御します。

使用方法:

```
xConfiguration Provisioning Connectivity: Connectivity
```

値は次のとおりです。

接続性:

自動/外部/内部

内部: 内部設定を要求します。

外部: 外部設定を要求します。

Auto: NAPTR クエリーを使用して、内部構成と外部構成のどちらを要求するかを自動的に検出します。NAPTR 応答に「e」フラグがある場合、外部設定が要求されます。そうでない場合、内部構成が要求されます。

デフォルト値:

自動

xConfiguration Provisioning CUCM CallManagementRecords CallDiagnostics

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デバイスが CUCM の通話管理レコードに入力される通話統計を CUCM に送信できるようにします。通話統計は、通話の終了時に CUCM に送信されます。

使用方法:

```
xConfiguration Provisioning CUCM CallManagementRecords CallDiagnostics:
CallDiagnostics
```

値は次のとおりです。

CallDiagnostics:

無効/有効

有効: CUCM 通話管理レコードのサポートを有効にします。

無効: CUCM 通話管理レコードのサポートを無効にします。

デフォルト値:

[有効 (Enabled)]

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Provisioning ExternalManager Address

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

外部マネージャ/プロビジョニングシステムの IP アドレスまたは DNS 名を定義します。

外部マネージャのアドレス (およびパス) が構成されている場合、デバイスは起動時にこのアドレスにメッセージを送信します。外部マネージャ/プロビジョニングシステムはこのメッセージを受信すると、結果として設定/コマンドをユニットに返すことができます。

CUCM または TMS プロビジョニングを使用する場合、外部マネージャアドレスを自動的に提供するように DHCP サーバーをセットアップできます (TMS の場合は DHCP オプション 242、CUCM の場合は DHCP オプション 150)。[プロビジョニング外部マネージャアドレス] 設定で設定されたアドレスは、DHCP から提供されるアドレスを上書きします。

使用方法:

```
xConfiguration Provisioning ExternalManager Address: "Address"
```

値は次のとおりです。

Address:

文字列 (0, 64)

有効な IPv4 アドレス、IPv6 アドレス、または DNS 名。

デフォルト値:

「」

xConfiguration Provisioning ExternalManager AlternateAddress

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デバイスが Cisco Unified Communication Manager (CUCM) によってプロビジョニングされ、冗長性のために代替 CUCM が利用できる場合にのみ適用されます。代替 CUCM のアドレスを定義します。メイン CUCM が利用できない場合、デバイスは代替 CUCM によってプロビジョニングされます。メイン CUCM が再び利用可能になると、デバイスはこの CUCM によってプロビジョニングされます。

使用方法:

```
xConfiguration Provisioning ExternalManager AlternateAddress:
"AlternateAddress"
```

値は次のとおりです。

代替アドレス:

文字列 (0, 64)

有効な IPv4 アドレス、IPv6 アドレス、または DNS 名。

デフォルト値:

「」

xConfiguration Provisioning ExternalManager Protocol

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

外部マネージャ/プロビジョニングシステムにリクエストを送信する際に、HTTP (非セキュア通信) または HTTPS (セキュア通信) プロトコルのどちらを使用するかを定義します。

選択したプロトコルは NetworkServices HTTP Mode 設定で有効になっている必要があります。

使用方法:

```
xConfiguration Provisioning ExternalManager Protocol: Protocol
```

値は次のとおりです。

プロトコル:

HTTP/HTTPS

HTTPS: HTTPS 経由でリクエストを送信します。

HTTP: HTTP 経由でリクエストを送信します。

デフォルト値:

HTTP

xConfiguration Provisioning ExternalManager Path

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

外部マネージャ/プロビジョニングシステムへのパスを定義します。この設定は、複数の管理サービスが同じサーバ上にある場合、つまり、同じ外部マネージャアドレスを共有する場合に必要です。

使用方法:

```
xConfiguration Provisioning ExternalManager Path: "Path"
```

値は次のとおりです。

パス:

文字列 (0, 255)

外部 Manager またはプロビジョニングシステムへの有効なパス。

デフォルト値:

「」

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Provisioning ExternalManager Domain

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

VCS プロビジョニングサーバーの SIP ドメインを定義します。

使用方法:

`xConfiguration Provisioning ExternalManager Domain: "Domain"`

値は次のとおりです。

ドメイン:

文字列 (0, 64)

有効なドメイン名。

デフォルト値:

「」

xConfiguration Provisioning Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

プロビジョニング システム (外部 Manager) を使用してデバイスを設定することができます。これにより、ビデオ会議ネットワーク管理者は多くのデバイスを同時に管理することができます。この設定では、使用するプロビジョニングシステムのタイプを選択します。プロビジョニングはOffに切り替えることもできます。詳細については、プロビジョニング システム プロバイダ/担当者に問い合わせてください。

使用方法:

`xConfiguration プロビジョニング モード: モード`

値は次のとおりです。

Mode:

Auto/CUCM/Edge/Off/TMS/VCS/Webex

Off: デバイスはプロビジョニング システムによって構成されていません。

Auto: DHCP サーバーでのセットアップとして、プロビジョニングサーバーが自動的に選択されます。

CUCM: CUCM (Cisco Unified Communications Manager) からデバイスに設定をプッシュします。

Edge: CUCM (Cisco Unified Communications Manager) からデバイスに構成をプッシュします。デバイスは、Expressway インフラストラクチャ経由で CUCM に接続します。Expressway 経由で登録するには、暗号化オプションキーがデバイスにインストールされている必要があります。

Webex: Webex クラウド サービスからデバイスに構成をプッシュします。Webex クラウド サービスに登録するには、暗号化オプション キーがデバイスにインストールされている必要があります。

TMS: TMS (Cisco TelePresence Management System) からデバイスに設定をプッシュします。

VCS: VCS (Cisco TelePresence Video Communication Server) からデバイスに設定をプッシュします。

デフォルト値:

自動

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Provisioning LoginName

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

これはプロビジョニング サーバーでデバイスを認証するために使用される資格情報のユーザ名部分です。この設定は、プロビジョニングサーバーで必要な場合に使用する必要があります。

使用方法:

```
xConfiguration Provisioning LoginName: "LoginName"
```

値は次のとおりです。

ログイン名:

文字列 (0, 80)

有効なユーザ名。

デフォルト値:

「」

xConfiguration プロビジョニングパスワード

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

これはプロビジョニング サーバーでデバイスを認証するために使用される資格情報のパスワード部分です。この設定は、プロビジョニングサーバーで必要な場合に使用する必要があります。

使用方法:

```
xConfiguration プロビジョニング パスワード: "Password"
```

値は次のとおりです。

パスワード:

文字列 (0, 64)

有効なパスワード。

デフォルト値:

「」

xConfiguration Provisioning RoomType CameraLayout

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

非標準の部屋タイプでの合成カメラストリームのレイアウト

使用方法:

```
xConfiguration Provisioning RoomType CameraLayout: CameraLayout
```

値は次のとおりです。

カメラレイアウト:

Equal/PIP/Prominent

デフォルト値:

PIP

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Provisioning TlsVerify

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

この設定は、ビデオデバイスが HTTPS 経由でプロビジョニング サーバーに接続する場合に適用されます。

デバイスと HTTPS サーバ間の接続を確立する前に、デバイスはサーバーの証明書が信頼できる認証局 (CA) によって署名されているかどうかを確認します。CA 証明書はデバイスの CA リストに含まれ、ウェブ インターフェイスまたは API を使用して手動でアップロードされる必要があります。

通常、HTTPS 接続の最小 TLS (トランスポート層セキュリティ) バージョンは 1.1 です。このルールには 2 つの例外があります。1) 互換性の理由から、CUCM に登録されているデバイスの最小 TLS バージョンは 1.0 です。2) Webex クラウド サービスに登録されているデバイスは常にバージョン 1.2 を使用します。

メモ: CE9.8 以前のソフトウェア バージョンから CE9.9 (以降) にアップグレードされたデバイスの値はOffに設定されています。ただし、デバイスがアップグレード後に工場出荷時リセットされておらず、古い NetworkServices HTTPS VerifyServerCertificate 設定が明示的にOnに設定されていなかった。

デバイスが Expressway (MRA または Edge とも呼ばれる) 経由で Webex クラウド サービスまたは CUCM からプロビジョニングされている場合、この設定に関係なく、証明書の確認は常に実行されます。

使用方法:

`xConfiguration プロビジョニング TlsVerify: TlsVerify`

値は次のとおりです。

TlsVerify:

Off/On

Off: デバイスは HTTPS サーバーの証明書を確認しません。

On: デバイスは、HTTPS サーバーの証明書が信頼できるかどうかを確認します。そうでない場合、デバイスとサーバ間の接続は確立されません。

デフォルト値:

オン

xConfiguration Provisioning WebexEdge

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デバイスが、特定の Webex クラウド サービスへのアクセスを許可するデバイス用の Webex Edge にリンクされているかどうかを定義します。

この設定は、Onプレミス サービスに登録されているデバイスにのみ適用されます。

使用方法:

`xConfiguration Provisioning WebexEdge: WebexEdge`

値は次のとおりです。

WebexEdge:

Off/On

Off: デバイスはデバイス用の Webex Edge にリンクされていません。

On: デバイスはデバイス用の Webex Edge にリンクされています。

デフォルト値:

Off

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

Proximity の設定

xConfiguration Proximity AlternatePort Enabled

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

この設定は、NetworkServices HTTP Mode が HTTP+HTTPS または HTTPS に設定されている場合にのみ適用されます。

デフォルトでは、Proximity 接続は TCP ポート 443 を使用します。この設定を使用して、Proximity 接続をポート 65533 でも許可します。

使用方法:

`xConfiguration Proximity AlternatePort Enabled: Enabled`

値は次のとおりです。

Enabled:

False/True

False: 近接通信接続は常に TCP ポート 443 を使用します。

True: Proximity 接続は TCP ポート 443 または 65533 のいずれかを使用します。使用されるポートはクライアントにより異なります。

デフォルト値:

False

xConfiguration 近接通信モード

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

近接通信モード設定は、Webex クラウド サービスに登録されているデバイスには影響しません。クラウド登録済みデバイスが超音波ペアリング メッセージを送信しないようにするには、Audio Ultrasound MaxVolume を 0 に設定する必要があります。

Onプレミスで登録されているデバイスの場合、[近接モード] 設定によって、デバイスが超音波ペアリング メッセージを発信するかどうかが決定されます。デバイスが超音波ペアリング メッセージを発信すると、Cisco コラボレーション クライアントは、デバイスの近くにあることを検出できます。

クライアントを使用するには、少なくとも 1 つの Proximity サービスが有効になっている必要があります (Proximity サービス設定を参照)。通常、Cisco はすべての Proximity サービスを有効にすることを推奨します。

近接通信モードと音声超音波の最大音量設定は、超音波ペアリング メッセージにのみ影響します。すべての超音波放出を停止するには、RoomAnalytics PeoplePresenceDetector および Standby WakeupOnMotionDetection 設定もOffにする必要があります。

使用方法:

`xConfiguration Proximity Mode: Mode`

値は次のとおりです。

Mode:

Off/On

Off: Cisco コラボレーション クライアントはデバイスの近くにあることを検出できないため、Proximity サービスは使用できません。

On: Cisco コラボレーション クライアントは、デバイスが近くにあることを検出でき、有効になっている Proximity サービスを使用できます。

デフォルト値:

On *[RoomKit RoomKitMini RoomBar Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama Board BoardPro BoardProG2]*

Off *[RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro DeskPro DeskMini Desk]*

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration 近接通信サービス通話制御

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

Cisco コラボレーション クライアントで基本的なコール制御機能を有効または無効にします。この設定が有効な場合、Cisco コラボレーションクライアントを使用して通話をコントロールできます (例えば、ダイヤル、ミュート、音量調整、電話を切る)。このサービスはモバイル端末 (iOS および Android) に対応しています。この設定を有効にするには、近接通信モードがOnになっている必要があります。

使用方法:

`xConfiguration Proximity Services CallControl:` *`CallControl`*

値は次のとおりです。

`CallControl`:

無効/有効

Enabled: Cisco コラボレーションクライアントからの通話コントロールが有効になっています。

無効: Cisco コラボレーションクライアントからの通話コントロールは無効になっています。

デフォルト値:

Disabled

xConfiguration Proximity Services ContentShare FromClients

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

Cisco コラボレーションクライアントからのコンテンツ共有を有効または無効にします。この設定が有効な場合、Cisco コラボレーションクライアントからのコンテンツをワイヤレスでデバイス上で共有することができます。例えば、ラップトップ画面を共有することができます。このサービスはラップトップ (OS X および Windows) でサポートされています。この設定を有効にするには、近接通信モードがOnになっている必要があります。

使用方法:

`xConfiguration Proximity Services ContentShare FromClients:` *`FromClients`*

値は次のとおりです。

`FromClients`:

無効/有効

Enabled: Cisco コラボレーションクライアントからのコンテンツ共有が有効になっています。

Disabled: Cisco コラボレーションクライアントからのコンテンツ共有が無効になっています。

デフォルト値:

[有効 (Enabled)]

xConfiguration Proximity Services ContentShare ToClients

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

これはもう適用できません。

使用方法:

`xConfiguration Proximity Services ContentShare ToClients:` *`ToClients`*

値は次のとおりです。

送信先クライアント:

Disabled

デフォルト値:

Disabled

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

RemoteAccess 設定

xConfiguration RemoteAccess Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

Control Hub およびウェブ UI からデバイスへのリモート アクセスを許可します。

使用方法:

`xConfiguration RemoteAccess Mode: Mode`

値は次のとおりです。

Mode:

Off/On

オフ: 個々のデバイスでリモート アクセスを無効にします。

オン: 個々のデバイスでリモート アクセスを有効にします。

デフォルト値:

Off

xConfiguration RemoteAccess ShowTapIndicator

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

リモート アクセスモードで画面上でマウス タップを表示するように設定します。

使用方法:

`xConfiguration RemoteAccess ShowTapIndicator: ShowTapIndicator`

値は次のとおりです。

表示タップインジケータ:

False/True

True: リモート アクセス モード時に画面上でのマウス タップを表示します。

False: リモート アクセス モードで画面上でのマウス タップを表示しません。

デフォルト値:

True

RoomAnalytics 設定

xConfiguration RoomAnalytics AmbientNoiseEstimation Interval

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

有効な場合に、周囲ノイズの推定が実行される間隔を設定します。xConfiguration RoomAnalytics AmbientNoiseEstimation Mode を使用して、周囲ノイズの推定を有効または無効にすることができます。

使用方法:

`xConfiguration RoomAnalytics AmbientNoiseEstimation Interval: Interval`

値は次のとおりです。

間隔:

整数 (10..60)

周囲のノイズの推定を実行する間隔を秒単位で設定します。

デフォルト値:

10

xConfiguration RoomAnalytics 周囲ノイズ推定モード

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

デバイスは、室内の静止した周囲ノイズ レベル (背景ノイズ レベル) を推定できます。結果は RoomAnalytics 周囲ノイズ レベル DBA ステータスで報告されます。新しい周囲ノイズレベルが検出されると、ステータスが更新されます。

使用方法:

`xConfiguration RoomAnalytics AmbientNoiseEstimation Mode: Mode`

値は次のとおりです。

Mode:

Off/On

On: デバイスは、定常的な周囲のノイズ レベルを定期的に推定します。

Off: デバイスは、静止した周囲のノイズ レベルを推定しません。

デフォルト値:

Off

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration RoomAnalytics PeopleCountOutOfCall

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

カメラと頭部検出を使用することで、デバイスは会議室にいる人々の数を見つける機能を備えています。この設定により、[人数] カウントが有効になるシナリオが決まります。

Desk、Desk Mini、Room Bar、Room Bar Pro で利用できるネットワーク スタンバイ (第 2 低電力/スタンバイ段階) では、人数カウントがアクティブになることはありません。これらのデバイスは、人数が 0 になるまでネットワークスタンバイ状態になりません。

Codec EQ、Codec Plus、Codec Pro: デバイスにクアッド カメラが接続されている場合にのみ適用されます。

使用方法:

`xConfiguration RoomAnalytics PeopleCountOutOfCall:` *PeopleCountOutOfCall*

値は次のとおりです。

PeopleCountOutOfCall:

Off/On

Off: デバイスは通話中または自己映像がOnの場合にのみユーザーをカウントします。

On: 自己映像がOffの場合でも、デバイスは通話中以外の人数もカウントします。ホットデスキングにセットアップされていない共有モード デバイスの場合、デバイスがディスプレイ Off モードのとき (最初の低電力/スタンバイ段階)、人数のカウントもアクティブになります。

デフォルト値:

Off

xConfiguration RoomAnalytics PeoplePresenceDetector

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

デバイスには、ユーザーが会議室に存在するかどうかを確認し、RoomAnalytics PeoplePresence ステータスで結果を報告する機能があります。デバイスは、会議室に誰がいたかではなく、会議室に人々がいるかどうかのみの記録を保持します。RoomAnalytics PeoplePresence 超音波入力および RoomAnalytics PeoplePresence 頭部検出器入力 設定を使用して、超音波、頭部検出、またはその両方に基づく人の存在検出を行うかどうかを指定します。

この設定とスタンバイの WakeupOnMotionDetection モードの設定がOffになっている場合、在席確認用の超音波信号は発信されません。音声超音波の最大音量と近接モードの設定は、在席状態検出に影響を与えません。

使用方法:

`xConfiguration RoomAnalytics PeoplePresenceDetector:` *PeoplePresenceDetector*

値は次のとおりです。

PeoplePresenceDetector:

Off/On

Off: 会議室にいる人の存在は、デバイスのステータスで報告されません。

On: RoomAnalytics PeoplePresence Input Ultrasound 設定と RoomAnalytics PeoplePresence Input HeadDetector 設定の少なくとも 1 つがOnになっている場合、会議室の人々の存在はデバイスのステータスでレポートされます。

デフォルト値:

オン

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration RoomAnalytics PeoplePresence Input HeadDetector

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

この設定を使用して、デバイスの RoomAnalytics PeoplePresence 状態で報告されるユーザーのプレゼンスの入力ソースとしてヘッド検出を使用するかどうかを決定します。

人のプレゼンス検出が通常Offになっている場合、この設定は影響しません (RoomAnalytics PeoplePresenceDetector: Off)。

使用方法:

```
xConfiguration RoomAnalytics PeoplePresence Input HeadDetector: HeadDetector
```

値は次のとおりです。

HeadDetector:

Off/On

Off: 人の存在を検出するための入力ソースとして頭検出を使用しません。

On: 人の存在を検出するための入力ソースとして頭検出を使用します。

デフォルト値:

オン

xConfiguration RoomAnalytics PeoplePresence Input Ultrasound

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

この設定を使用して、デバイスの RoomAnalytics PeoplePresence 状態で報告されるユーザーのプレゼンスの入力ソースとして超音波を使用するかどうかを決定します。

人のプレゼンス検出が通常Offになっている場合、この設定は影響しません (RoomAnalytics PeoplePresenceDetector: Off)。

使用方法:

```
xConfiguration RoomAnalytics PeoplePresence Input Ultrasound: Ultrasound
```

値は次のとおりです。

超音波:

Off/On

Off: 人の存在を検出するための入力として超音波を使用しません。

On: 人の存在を検出するための入力として超音波を使用します。

デフォルト値:

Off

xConfiguration RoomAnalytics 残響時間間隔

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

RT60 が測定され、RoomAnalytics ステータスに報告される頻度を定義します。間隔の単位は秒です。間隔を設定するには、RoomAnalytics の残響時間モード構成を有効にする必要があります。

使用方法:

```
xConfiguration RoomAnalytics ReverberationTime Interval: Interval
```

値は次のとおりです。

間隔:

整数 (60..3600)

秒単位での間隔。

デフォルト値:

1800

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration RoomAnalytics 残響時間モード

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

残響時間は、音が室内で「消えていく」またはディケイする速さの基準です。
これは、部屋の音響品質の認知と大きく関連しています。
Cisco デバイスは、アコースティック エコー キャンセラから直接、残響時間、RT60 を測定することができます。
室内にノイズやインパルス信号を放出する必要がある従来の残響時間の測定とは対照的に、Cisco のデバイスは「サイレント測定」として、RT60 を測定します。
サイレント測定の動作のため、RT60 値は指標であり、ISO 3382-2 標準に従って厳密に正確ではありません。
測定では、125Hz から 4kHz までの各オクターブバンドに対して、RT60 値を測定します。

使用方法:

```
xConfiguration RoomAnalytics ReverberationTime Mode: Mode
```

値は次のとおりです。

Mode:

Off/On

On: サイレント RT60 測定を有効にします。

Off: サイレント RT60 測定を無効にします。

デフォルト値:

Off

xConfiguration RoomAnalytics RoomInUse InCall

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

この設定は、壁に取り付けられたナビゲーター (スケジューラ モード) で LED を赤にする目的で会議室を「使用中」としてマークし、さらに RoomAnalytics RoomInUse ステータスで報告するかどうかを判断するのに役立ちます。
RoomAnlytics RoomInUse LocalUsage 設定も参照してください。

使用方法:

```
xConfiguration RoomAnalytics RoomInUse InCall: InCall
```

値は次のとおりです。

着信:

無効/有効

Disabled: デバイスが通話中であるという理由だけで、会議室は「使用中」としてマークされません。

Enabled: 通話があると会議室は「使用中」となります。

デフォルト値:

[有効 (Enabled)]

xConfiguration RoomAnalytics RoomInUse LocalUsage

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

この設定は、壁に取り付けられたナビゲーター (スケジューラモード) で LED を赤にする目的で会議室を「使用中」としてマークし、さらに RoomAnalytics RoomInUse ステータスで報告するかどうかを判断するのに役立ちます。
RoomAnlytics RoomInUse InCall 設定も参照してください。

使用方法:

```
xConfiguration RoomAnalytics RoomInUse LocalUsage: LocalUsage
```

値は次のとおりです。

LocalUsage:

無効/有効

無効: 誰かがホワイトボード アプリを使用しているか、デバイス上でローカルにコンテンツを共有しているという理由だけで、会議室は「使用中」としてマークされません。

有効: 誰かがホワイトボード アプリを使用しているか、コンテンツをローカルで共有している場合、会議室は「使用中」としてマークされます。

デフォルト値:

[有効 (Enabled)]

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration RoomAnalytics T3AlarmDetection モード

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

T3 警報検出機能を使用すると、デバイスが T3 型火災報知器の音声信号を認識できるようになります (T3 は米国の業界標準の警報パターンです)。アラームが検出されると、RoomAnalytics の T3AlarmDetected ステータスが False から True に変わります。

重要: デバイスがアラームを検出することは保証されません。例えば、マイクのレベルが低いと検出は阻止されます。したがって、警告に対する認識を高めるためにこの機能に依存しないでください。この機能は、他の安全およびセキュリティ対策およびドキュメントに代わるものではありません。

使用方法:

```
xConfiguration RoomAnalytics T3AlarmDetection Mode: Mode
```

値は次のとおりです。

Mode:

Off/On

Off: T3 アラーム検出は無効です。

On: T3 アラーム検出は有効です。

デフォルト値:

Off

xConfiguration RoomAnalytics T3AlarmDetection タイムアウト

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

T3 アラーム検出が有効な場合、システムがアラームを検出すると、RoomAnalytics の T3AlarmDetected ステータスが False から True に切り替わります。タイムアウトとして定義された秒数の間にアラームが検出されなかった場合、ステータスは False に戻ります。

使用方法:

```
xConfiguration RoomAnalytics T3AlarmDetection Timeout: Timeout
```

値は次のとおりです。

タイムアウト:

整数 (5..60)

秒単位のタイムアウト期間。

デフォルト値:

10

RoomCleanup の構成

xConfiguration RoomCleanup AutoRun ContentType TemporaryAccounts

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

デバイスにログインしている可能性のある一時アカウントを削除します (たとえば、エンタープライズ コンテンツ管理 (ECM) サービスを通じてアクセスされる OneDrive アカウント)。

使用方法:

```
xConfiguration RoomCleanup AutoRun ContentType TemporaryAccounts:
TemporaryAccounts
```

値は次のとおりです。

一時アカウント:

日単位/Off

日単位: 一時アカウントを日単位で消去することを有効にします。

Off: 一時アカウントの日単位の消去を無効にします。

デフォルト値:

毎日

xConfiguration RoomCleanup AutoRun ContentType WebData

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

ウェブデータの日単位の会議室クリーンアップを有効または無効にします。時刻を設定するには、RoomCleanup AutoRun HourOfDay を使用します。

使用方法:

```
xConfiguration RoomCleanup AutoRun ContentType WebData: WebData
```

値は次のとおりです。

ウェブデータ:

日単位/Off

日単位: ウェブデータの日単位の消去を有効にします。

Off: ウェブデータの日単位のクリアを無効にします。

デフォルト値:

毎日

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration RoomCleanup AutoRun ContentType Whiteboards

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

ホワイトボードの日単位の会議室クリーンアップを有効または無効にします。時刻を設定するには、RoomCleanup AutoRun HourOfDay を使用します。

使用方法:

```
xConfiguration RoomCleanup AutoRun ContentType Whiteboards: Whiteboards
```

値は次のとおりです。

ホワイトボード:

日単位/Off

毎日: ホワイトボードを毎日消去できます。

Off: ホワイトボードの日単位のクリアを無効にします。

デフォルト値:

毎日

xConfiguration RoomCleanup AutoRun HourOfDay

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

毎日、会議室のクリーンアップを実行する時間を設定します。

使用方法:

```
xConfiguration RoomCleanup AutoRun HourOfDay: HourOfDay
```

値は次のとおりです。

HourOfDay:

整数 (0..23)

会議室のクリーンアップが行われる一日の時間です。

デフォルト値:

0

RoomScheduler 設定

xConfiguration RoomScheduler BookingTimeout

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

この設定はまもなく廃止されます。代わりに、[アドホックブッキング] の Booking タイムアウト設定の使用を開始することをお勧めします。

スケジューラは、ユーザーが会議室またはデバイスを予約するとすぐにフィードバックを提供します。ただし、カレンダーサービスによる予約の確認には時間がかかる場合があります。確認を得るまでに時間がかかり、ここで設定した値を超えた場合、予約は消去され、デバイスまたは会議室は空いていると表示されます。

これは、Webex クラウド サービスに登録されているデバイス、または Webex Edge にリンクされているデバイスに適用されます。

使用方法:

```
xConfiguration RoomScheduler BookingTimeout: BookingTimeout
```

値は次のとおりです。

BookingTimeout:

整数 (60..300)

確認を待つ秒数。

デフォルト値:

60

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration RoomScheduler Enabled

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

この設定はまもなく廃止されます。代わりに、[アドホックブッキングが有効] 設定の使用を開始することをお勧めします。

会議室のスケジュール機能を使用すると、会議室のタッチ コントローラーから直接会議室を予約できます。会議室がまだ利用可能な場合は、進行中のミーティングを延長することもできます。Webex Assistant (音声による仮想アシスタント) を使用して、ミーティングを予約または延長することもできます。

会議室のスケジュール機能を使用するには、デバイスが Webex クラウド サービスに登録されているか、デバイスの Webex Edge にリンクされている必要があります。さらに、会議室には予約可能なカレンダーサービスがセットアップされている必要があります。会議室のスケジュール機能は、パーソナル モードのデバイスではサポートされていません。

使用方法:

```
xConfiguration RoomScheduler Enabled: 有効
```

値は次のとおりです。

Enabled:

False/True

False: 会議室のスケジュール機能は利用できません。

True: 上記の前提条件が満たされている場合、会議室のスケジュール機能を使用できます。

デフォルト値:

False

xConfiguration UserInterface RoomScheduler OverlayOpacity

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

[Room Navigator ー] の上部パネルの不透明度を設定することができます。これにより、より多くの背景を表示したり、隠したりすることができます。

使用方法:

```
xConfiguration UserInterface RoomScheduler OverlayOpacity: OverlayOpacity
```

値は次のとおりです。

OverlayOpacity:

整数 (0..100)

0から100までの数字を設定して不透明度を設定します。

デフォルト値:

50

xConfiguration UserInterface RoomScheduler State Available Color

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

この設定は、ルーム ナビゲータが会議室予約デバイスとしてセットアップされている場合に適用されます (スケジューラ モードとも呼ばれます)。LED ストライプの色とルーム ナビゲータのルーム ステータス アイコンを変更することができます。選択した色が LED ストリップと会議室ステータスアイコンの両方に適用されます。この設定により、会議室が利用可能な場合にどの色を使用するかを決定します。

[ユーザインターフェイスの RoomScheduler 状態のビジー状態の色] および [ユーザインターフェイスの RoomScheduler 状態のペンディング状態の色] 設定を使用して、それぞれ会議室が占有されている場合、または占有されていないが予約されている場合に使用する色を選択します。

使用方法:

```
xConfiguration UserInterface RoomScheduler State Available Color: Color
```

値は次のとおりです。

色:

水色/青/水色/フクシア/金/緑/ライム/マジェンタ/Off/オレンジ/ラン/パープル/レッド/スカーレット/ターコイズ/バイオレット/イエロー

リストから色を選択します。

デフォルト値:

緑

xConfiguration UserInterface RoomScheduler State Busy Color

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

この設定は、ルーム ナビゲータが会議室予約デバイスとしてセットアップされている場合に適用されます (スケジューラ モードとも呼ばれます)。LED ストライプの色とルーム ナビゲータのルーム ステータス アイコンを変更することができます。選択した色が LED ストリップと会議室ステータスアイコンの両方に適用されます。この設定により、会議室が占有されている場合にどの色を使用するかを決定します。

UserInterface RoomScheduler State Available Color および UserInterface RoomScheduler State Pending Color 設定を使用して、それぞれ会議室が使用可能な場合、または占有されていないが予約されている場合に使用する色を選択します。

使用方法:

```
xConfiguration UserInterface RoomScheduler State Busy Color: Color
```

値は次のとおりです。

色:

水色/青/水色/フクシア/金/緑/ライム/マジェンタ/Off/オレンジ/ラン/パープル/レッド/スカーレット/ターコイズ/バイオレット/イエロー

リストから色を選択します。

デフォルト値:

赤

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration UserInterface RoomScheduler State Pending Color

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

この設定は、ルーム ナビゲータが会議室予約デバイスとしてセットアップされている場合に適用されます (スケジューラ モードとも呼ばれます)。LED ストライプの色とルーム ナビゲータのルーム ステータス アイコンを変更することができます。選択した色が LED ストリップと会議室ステータスアイコンの両方に適用されます。この設定により、会議室が予約されていない場合に使用される色を決定します。

UserInterface RoomScheduler State Available Color および UserInterface RoomScheduler State Busy Color 設定を使用して、それぞれ会議室が使用可能または占有されている場合に使用する色を選択します。

使用方法:

```
xConfiguration UserInterface RoomScheduler State Pending Color: Color
```

値は次のとおりです。

色:

水色/青/水色/フクシア/金/緑/ライム/マジェンタ/Off/オレンジ/ラン/パープル/レッド/スカーレット/ターコイズ/バイオレット/イエロー

リストから色を選択します。

デフォルト値:

イエロー

セキュリティ設定

xConfiguration セキュリティ監査ログモード

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : AUDIT

監査ログを記録または転送する場所を定義します。監査ログは syslog サーバーに送信されます。[ログモード] 設定が [Off] に設定されている場合、この設定は影響しません。

外部または外部セキュアモードを使用している場合、[セキュリティ監査サーバアドレス] 設定で監査サーバーのアドレスを入力する必要があります。

使用方法:

```
xConfiguration Security Audit Logging Mode: Mode
```

値は次のとおりです。

Mode:

外部/外部保護/内部/Off

外部: デバイスは監査ログを外部 syslog サーバーに送信します。Syslog サーバーは UDP をサポートしている必要があります。

外部セキュア: デバイスは、監査 CA リスト中の証明書によって検証される外部 syslog サーバーに、暗号化された監査ログを送信します。監査 CA リスト ファイルは、ウェブ インターフェイスを使用してデバイスにアップロードする必要があります。CA リスト中の証明書の Common_name パラメータは syslog サーバーの IP アドレスまたは DNS 名と一致しなければなりません。そしてセキュアな TCP サーバーはセキュアな (TLS) TCP Syslog メッセージをリッスンするようにセットアップする必要があります。

内部: デバイスは監査ログを内部ログに記録し、ログが一杯になるとローテーションします。

Off: 監査ログは実行されません。

デフォルト値:

内線

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Security Audit OnError Action

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : AUDIT

syslog サーバへの接続が失われた場合の動作を定義します。この設定は、Security Audit Logging Mode が ExternalSecure に設定されている場合にのみ関連します。

使用方法:

`xConfiguration Security Audit OnError Action: Action`

値は次のとおりです。

アクション:

停止/無視

停止: 停止状態が検出された場合、デバイスは再起動され、監査者だけが停止状態が解消されるまでユニットを操作することができます。停止状態から抜け出すと、監査ログが syslog サーバーに再スプールされます。停止条件は、ネットワーク遮断 (物理リンクなし)、syslog サーバーが動作していない (または syslog サーバへの不正なアドレスまたはポート)、TLS 認証失敗 (使用中の場合)、ローカルバックアップ (再スプール) ログが満杯です。

無視: デバイスは通常の動作を継続し、一杯になると内部ログをローテーションします。接続が回復すると、監査ログを再度 syslog サーバーに送信します。

デフォルト値:

無視

xConfiguration セキュリティ監査サーバアドレス

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : AUDIT

監査ログが送信される syslog サーバーの IP アドレスまたは DNS 名を設定します。この設定は、[セキュリティ監査ログモード] が [外部] または [外部セキュア] に設定されている場合にのみ関連します。

使用方法:

`xConfiguration セキュリティ監査サーバアドレス: "Address"`

値は次のとおりです。

Address:

文字列 (0, 255)

有効な IPv4 アドレス、IPv6 アドレス、または DNS 名。

デフォルト値:

""

xConfiguration セキュリティ監査サーバポート

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : AUDIT

監査ログは syslog サーバーに送信されます。デバイスが監査ログを送信する syslog サーバーのポートを定義します。この設定は、セキュリティ監査サーバーのポート割り当てが手動に設定されている場合にのみ関連します。

使用方法:

`xConfiguration Security Audit Server Port: Port`

値は次のとおりです。

ポート:

整数 (0..65535)

監査サーバポートを設定します。

デフォルト値:

514

xConfiguration セキュリティ監査サーバーのポート割り当て

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : AUDIT

監査ログは syslog サーバーに送信されます。外部 syslog サーバーのポート番号の割り当て方法を定義することができます。この設定は、[セキュリティ監査ログモード] が [外部] または [外部セキュア] に設定されている場合にのみ関連します。セキュリティ監査サーバーのポート状況でどのポート番号が使用されているか確認できます。[セットアップ (Setup)] > [ステータス (Status)] に移動します。ウェブインターフェイス上の状況、または、コマンド回線インターフェイスを使用している場合は、コマンド xStatus Security Audit Server Port を実行します。

使用方法:

`xConfiguration Security Audit Server PortAssignment: PortAssignment`

値は次のとおりです。

ポート割り当て:

自動/手動

Auto: セキュリティ監査ログモードが外部に設定されている場合、UDP ポート番号 514 を使用します。セキュリティ監査ログモードが [外部セキュア] に設定されている場合、TCP ポート番号 6514 を使用します。

手動: [セキュリティ監査サーバポート] 設定で定義されたポート値を使用します。

デフォルト値:

自動

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration セキュリティ CSR キーサイズ

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

この設定では、証明書署名要求 (CSR) のキー サイズを指定できます。

使用方法:

`xConfiguration セキュリティ CSR キーサイズ:` *キーサイズ*

値は次のとおりです。

KeySize:

2048/3072/4096

CSR の鍵サイズ

デフォルト値:

2048

xConfiguration Security Enrollment KeySize

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

xCommand セキュリティ証明書サービス登録 SCEP 要求によって生成される CSR の証明書 KeySize を定義します。

使用方法:

`xConfiguration セキュリティ登録 KeySize:` *KeySize*

値は次のとおりです。

KeySize:

2048/3072/4096

ビット単位のキーの長さ。

デフォルト値:

2048

xConfiguration セキュリティ Fips モード

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

必要に応じて、デバイスを FIPS モード (連邦情報処理標準 (FIPS) パブリケーション 140-3、暗号モジュールのセキュリティ要件) で設定できます。FIPS モードでは、ダイジェスト アクセス認証は FIPS では許可されていません。MD5 暗号ハッシュを使用しているため、デバイスと HTTP プロキシの間でサポートされていません。

HTTPS のみを許可し、FIPS モードでは SNMP または IEEE8021X をOnにしないでください (デフォルト値を保持してください)。

この設定の変更を完全に有効にするには、デバイスを再起動する必要があります。

使用方法:

`xConfiguration セキュリティ Fips モード:` *モード*

値は次のとおりです。

Mode:

Off/On

Off: デバイスは FIPS モードではありません。

On: デバイスは FIPS モードです。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Security Session FailedLoginsLockoutTime

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

ウェブまたは SSH セッションへのログインに失敗した後、デバイスがユーザーをロックアウトする時間を定義します。

この設定の変更を有効にするには、デバイスを再起動します。

使用方法:

`xConfiguration Security Session FailedLoginsLockoutTime:` *FailedLoginsLockoutTime*

値は次のとおりです。

FailedLoginsLockoutTime:

整数 (0..10000)

ロックアウト時間 (分) を設定します。

デフォルト値:

60

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Security Session InactivityTimeout

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

ウェブまたは SSH セッションから自動的にログアウトする前に、デバイスがユーザーの非アクティブ状態を受け入れる時間を定義します。
この設定の変更を有効にするには、デバイスを再起動します。

使用方法:

`xConfiguration Security Session InactivityTimeout:` *InactivityTimeout*

値は次のとおりです。

非アクティブ タイムアウト:

整数 (0..10000)

非アクティブ タイムアウト (分) を設定します。0 を指定すると、1 時間のタイムアウトになります。最大タイムアウト時間は 12 時間です。

デフォルト値:

0

xConfiguration Security Session MaxFailedLogins

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

ウェブまたは SSH セッションで、ユーザあたりの最大失敗ログイン試行回数を定義します。ユーザーが最大試行回数を超えた場合、ユーザーはロックアウトされます。0 は失敗したログインに制限がないことを意味します。
この設定の変更を有効にするには、デバイスを再起動します。

使用方法:

`xConfiguration Security Session MaxFailedLogins:` *MaxFailedLogins*

値は次のとおりです。

MaxFailedLogins:

整数 (0..10)

ユーザあたりの最大失敗ログイン試行回数を設定します。

デフォルト値:

0

xConfiguration Security Session MaxSessionsPerUser

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

ユーザあたりの同時セッションの最大数は 20 セッションです。

使用方法:

`xConfiguration Security Session MaxSessionsPerUser:` *MaxSessionsPerUser*

値は次のとおりです。

MaxSessionsPerUser:

整数 (1..20)

ユーザあたりの同時セッションの最大数を設定します。

デフォルト値:

20

xConfiguration Security Session MaxTotalSessions

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

同時セッションの最大合計数を設定します。

使用方法:

`xConfiguration セキュリティセッション MaxTotalSessions:` *MaxTotalSessions*

値は次のとおりです。

MaxTotalSessions:

整数 (1..30)

同時セッションの最大数。

デフォルト値:

30

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Security Session ShowLastLogon

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

SSH を使用してデバイスにログインすると、ログインに成功した最後のセッションの UserId、日時が表示されます。

使用方法:

`xConfiguration Security Session ShowLastLogon:` *`ShowLastLogon`*

値は次のとおりです。

`ShowLastLogon`:

Off/On

On: 最後のセッションに関する情報を表示します。

Off: 最後のセッションに関する情報を表示しません。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Security Xapi WebSocket ApiKey Allowed

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

リモートでペアリングされた Room Navigator から、ウェブ ソケット経由で API へのアクセスを有効または無効にします。API アクセスを必要とする一般的な使用例は、永続的なウェブ アプリです。例えば、 Room Navigator 一の LED の色を制御するカスタム予約アプリです。API アクセスが無効になっている場合、デバイスの API との通信を必要としないアプリは、 Room Navigator 一で実行できます。

メモ: 永続的なウェブ アプリは、ネットワーク経由でデバイスとペアリングされている Room Navigator でのみ利用できます。

使用方法:

`xConfiguration セキュリティ Xapi WebSocket ApiKey 許可:` *`許可`*

値は次のとおりです。

`許可`:

False/True

TrueRoom Navigator はウェブソケット経由でデバイスの API と対話できます。ただし、デバイスが WebSockets で一般的に API との対話を許可するようにセットアップされている必要があります (NetworkServices HTTP モード: HTTPS または HTTP+HTTPS および NetworkServices Websocket:FollowHTTPService)。また、アプリをホストするサーバーのドメインは、WebEngine機能 Xapi周辺機器 AllowedHostsホスト設定にリストされている必要があります。

False: Room Navigator は、ウェブ ソケット経由でデバイスの API と対話することはできません。

デフォルト値:

False

センサー設定

xConfiguration センサー レーダー モード

適用対象: BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者

このデバイスは、レーダ信号を送信し、近くの障害物からの反射を受信する可能性があります。デバイスはこれらの信号を使用して、室内に人や動きがあるかどうかを検出できます。レーダを使用する場合、レーダはデバイスから 5 メートル以上離れた場所にいる人を検出しません。

使用方法:

`xConfiguration Sensors Radar Mode:` *`Mode`*

値は次のとおりです。

`Mode`:

Auto/Off

Auto: デバイスは、ディスプレイ Off モードおよびネットワーク スタンバイ時に、レーダー信号を使用して動きを検出します。

Off: レーダー センサーがOffになり、デバイスはレーダー信号を送信しません。

デフォルト値:

自動

xConfiguration センサー超音波モード

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

このデバイスは超音波信号を使用して、人や動きを検出することができます。この設定は、動体検知の超音波の使用にのみ影響します。近接通信ペアリングの超音波の放出には影響しません。

使用方法:

`xConfiguration センサー超音波モード:` *`モード`*

値は次のとおりです。

`Mode`:

Auto/Off

Auto: デバイスは超音波信号を使用して動きを検出します。

Off: モーション検知に超音波を使用しません。

デフォルト値:

自動

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

シリアルポートの構成

xConfiguration SerialPort Mode

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

シリアルポートを有効/無効にします。デバイスに複数のシリアルポートがある場合、この設定はすべてに適用されます。
この設定は、第 1 世代のボード (Board 55 および Board 70) では利用できません。

使用方法:

`xConfiguration SerialPort Mode:` *モード*

値は次のとおりです。

Mode:

Off/On

Off: シリアル通信が無効になっています。

On: シリアル通信が有効になっています。

デフォルト値:

オン

xConfiguration SerialPort BaudRate

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

シリアルポートのボーレート (データ転送速度) を設定します。新しいボーレートは、デバイスの再起動後に有効になります。
シリアルポートの他の接続パラメータは以下の通りです。データビット: 8; パリティ: なし。ストップビット: 1;フロー制御: なし。
この設定は、専用メンテナンス ポート (micro USB) には影響しません。メンテナンスポートは常にデフォルトのボーレートを使用します。
この設定は、第 1 世代のボード (Board 55 および Board 70) では利用できません。

使用方法:

`xConfiguration SerialPort BaudRate:` *BaudRate*

値は次のとおりです。

ボーレート:

115200 *[RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus Room55 Room70/Room55D DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro BoardProG2]*

9600/19200/38400/57600/115200 *[CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

リストからボー レートを選択します (ビット/秒)。

デフォルト値:

115200

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration SerialPort LoginRequired

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者

シリアルポートへの接続時にログインを要求するかどうかを定義します。デバイスに複数のシリアルポートがある場合、この設定はすべてに適用されます。

この設定は、第 1 世代のボード (Board 55 および Board 70) では利用できません。

使用方法:

```
xConfiguration SerialPort LoginRequired: LoginRequired
```

値は次のとおりです。

ログインが必要:

Off/On

Off: ユーザーはログインしなくてもシリアルポート経由でデバイスにアクセスできます。

On: シリアルポート経由でデバイスに接続する際にログインが必要になります。

デフォルト値:

オン

xConfiguration SerialPort アウトバウンドモード

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

お使いのデバイスをセットアップして、シリアル接続経由でサードパーティの周辺機器 (例えば、ディスプレイ、ビデオスイッチ、プロジェクタなど) を操作することができます。これをアウトバウンドのシリアル制御と呼びます。送信シリアル コントロールは Room Panorama でサポートされていますが、Room 70 Panorama ではサポートされていません。

USB-to-Serial ドングルを使用して、周辺機器をデバイスの USB-A ポートに接続する必要があります。Codec Pro および Room Panorama のビルトインシリアルポート、または他のデバイスのマイクロ USB メンテナンスポートを送信コントロールに使用することはできません。これらのポートは受信コントロール用に予約されています。

デバイスと周辺機器間の通信はコネクションレス型です。つまり、デバイス間に永続的なシリアル ポート接続を確立しません。接続は、SerialPort PeripheralControl Send コマンドが発行されると最初に確立され、コマンドが終了すると切断されます。

これらのシリアル接続パラメータは構成できません。データ ビット (8)、ストップ ビット (1)、フロー制御 (なし) です。ボーレートとパリティは、それぞれ SerialPort 送信ポート [1] のボーレートと SerialPort 送信ポート [1] のパリティ設定で指定します。

使用方法:

```
xConfiguration SerialPort Outbound Mode: Mode
```

値は次のとおりです。

Mode:

Off/On

Off: シリアルポートのアウトバウンドコントロールは有効ではありません。

On: シリアルポートのアウトバウンドコントロールは有効です。アウトバウンドシリアル接続は 1 つのみ許可します。

デフォルト値:

Off

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration SerialPort Outbound Port [n] BaudRate

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

シリアルポートの発信ボーレート (データ転送速度) を設定します。発信シリアルコントロールの詳細については、シリアルポートのアウトバウンドモード設定を参照してください。送信のシリアル コントロールは、Room 70 パノラマではサポートされていません。

この設定は通常の (受信) シリアルポート/メンテナンスポートには影響しません。

使用方法:

`xConfiguration SerialPort Outbound Port [n] BaudRate:` *BaudRate*

値は次のとおりです。

ボーレート:

9600/19200/38400/57600/115200

リストからボーレートを選択します (ビット/秒)。

デフォルト値:

115200

xConfiguration SerialPort 送信ポート [n] 説明

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

この設定を使用して、発信シリアルポートの接続先を説明するテキストを追加します。発信シリアルコントロールの詳細については、シリアルポートのアウトバウンドモード設定を参照してください。送信のシリアル コントロールは、Room 70 パノラマではサポートされていません。

使用方法:

`xConfiguration SerialPort 送信ポート [n] 説明: 「`*説明*`」`

値は次のとおりです。

説明:

文字列 (0, 512)

「Projector」など、ポートの接続先を示すテキスト。

デフォルト値:

「」

xConfiguration シリアルポート送信ポート [n] パリティ

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

シリアルポートのアウトバウンドデータ伝送にパリティビットを追加するかどうかを選択します。発信シリアルコントロールの詳細については、シリアルポートのアウトバウンドモード設定を参照してください。送信のシリアル コントロールは、Room 70 パノラマではサポートされていません。

この設定は通常の (受信) シリアルポート/メンテナンスポートには影響しません。

使用方法:

`xConfiguration SerialPort 送信ポート [n] パリティ:` *パリティ*

値は次のとおりです。

パリティ:

偶数/なし/奇数

偶数: 偶数パリティを追加します。

奇数: 奇数パリティを追加します。

なし: パリティ ビットを追加しません。

デフォルト値:

None

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

SIP の設定

xConfiguration SIP ANAT

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

ANAT (代替ネットワーク アドレス タイプ) は、RFC 4091 で指定されているように、複数のアドレスおよびアドレス タイプのメディア ネゴシエーションを有効にします。

使用方法:

`xConfiguration SIP ANAT: ANAT`

値は次のとおりです。

分析:

Off/On

Off: ANAT を無効にします。

On: ANAT を有効にします。

デフォルト値:

Off

xConfiguration SIP 認証ユーザ名

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

これは SIP プロキシに対する認証に使用される資格情報のユーザ名部分です。

使用方法:

`xConfiguration SIP Authentication UserName: "UserName"`

値は次のとおりです。

ユーザ名:

文字列 (0, 128)

有効なユーザ名。

デフォルト値:

「」

xConfiguration SIP 認証パスワード

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

これは SIP プロキシに対する認証に使用される資格情報のパスワード部分です。
このパスワードは Webex クラウドに送信されず、クラウドからプロビジョニングできません。

使用方法:

`xConfiguration SIP 認証パスワード: "Password"`

値は次のとおりです。

パスワード:

文字列 (0, 128)

有効なパスワード。

デフォルト値:

「」

xConfiguration SIP DefaultTransport

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

LAN 経由で使用されるトランスポートプロトコルを選択します。

使用方法:

`xConfiguration SIP DefaultTransport: DefaultTransport`

値は次のとおりです。

DefaultTransport:

Auto/TCP/Tls/UDP

TCP: デバイスは既定の転送方法として常に TCP を使用します。

UDP: デバイスは既定の転送方法として常に UDP を使用します。トランスポート プロトコルが UDP に設定されている場合、SIP ListenPort を有効にする必要があります (オンに設定)。

Tls: デバイスは、既定のトランスポート方法として常に TLS を使用します。TLS 接続の場合、SIP CA リストをデバイスにアップロードできます。そのような CA リストがデバイスで利用できない場合、匿名の Diffie Hellman が使用されます。

Auto: デバイスは、TLS、TCP、UDP の順にトランスポート プロトコルを使用して接続を試みます。

デフォルト値:

自動

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration SIP DisplayName

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

構成すると、着信通話は SIP URI の代わりに表示名を報告します。

使用方法:

```
xConfiguration SIP DisplayName: "DisplayName"
```

値は次のとおりです。

表示名:

文字列 (0, 550)

名前はSIP URI の代わりに表示されます。

デフォルト値:

「」

xConfiguration SIP Ice DefaultCandidate

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

ICE プロトコルは、どのメディア ルートを使用するかについて結論に達するまで、少し時間が必要です (呼び出しの最初の 5 秒まで)。この期間中に、デバイスのメディアは、この設定で定義されているとおり、既定の候補に送信されます。

使用方法:

```
xConfiguration SIP Ice DefaultCandidate: DefaultCandidate
```

値は次のとおりです。

DefaultCandidate:

ホスト/リレー/Rflx

主催者: デバイスのプライベート IP アドレスにメディアを送信します。

Rflx: TURN サーバから見えるデバイスのパブリック IP アドレスにメディアを送信します。

リレー: TURN サーバーに割り当てられた IP アドレスとポートにメディアを送信します。

デフォルト値:

ホスト

xConfiguration SIP Ice モード

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

ICE (Interactive Connectivity Establishment、RFC 5245) は、デバイスが最適化されたメディア パスを検出するために使用できる NAT トラバーサル ソリューションです。このようにして、音声とビデオの最短ルートは常にデバイス間で確保されます。メディアパスのセットアップ時に、最初に STUN (NAT 用セッショントラバーサルユーティリティ) メッセージが交換されます。

STUN もまた、SIP Ice Mode に関係なく、NAT バインディングを更新するキープアライブ メカニズムとして使用されることに注意してください。

使用方法:

```
xConfiguration SIP Ice Mode: Mode
```

値は次のとおりです。

Mode:

Auto/Off/オン

Auto: TURN サーバーが提供されている場合、ICE が有効になります。提供されていない場合、ICE は無効になります。

Off: ICE が無効です。

On: ICE が有効です。

デフォルト値:

自動

xConfiguration SIP 回線

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

Cisco Unified Communications Manager (CUCM) に登録されている場合、デバイスはシェアードラインの一部である可能性があります。これは、複数のデバイスが同じディレクトリ番号を共有することを意味します。同じ番号を共有するさまざまなデバイスは、RFC 4235 で定義されているように、回線上の他の出現からステータスを受け取ります。

シェアードラインはデバイスではなく、CUCM によりセットアップされることに注意してください。このため、この設定を手動で変更しないでください。CUCM は必要に応じてこの情報をデバイスにプッシュします。

使用方法:

```
xConfiguration SIP Line: Line
```

値は次のとおりです。

ライン:

プライベート/共有

共有: デバイスは共有回線の一部であるため、そのディレクトリ番号を他のデバイスと共有しています。

プライベート: このデバイスは共有回線の一部ではありません。

デフォルト値:

プライベート (Private)

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration SIP ListenPort

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

SIP TCP/UDP ポートでの着信接続のリッスンをOnまたはOffにします。Offにすると、デバイスは SIP プロキシ (CUCM または VCS) 経由でのみ到達可能になります。セキュリティ対策として、デバイスが SIP プロキシに登録されている場合、SIP リッスンポートはOffにする必要があります。

使用方法:

`xConfiguration SIP ListenPort:` *ListenPort*

値は次のとおりです。

リッスンポート:

Auto/Off/オン

Auto: デバイスが SIP プロキシに登録されている場合、SIP TCP/UDP ポートでの着信接続のリッスンは自動的にOffになります。それ以外の場合はOnになります。

Off: SIP TCP/UDP ポートでの着信接続のリッスンがOffになります。

On: SIP TCP/UDP ポートでの着信接続のリッスンがOnになります。

デフォルト値:

Off

xConfiguration SIP メールボックス

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

Cisco Unified Communications Manager (CUCM) に登録すると、プライベートボイスメールボックスのオプションが提供される場合があります。

使用方法:

`xConfiguration SIP メールボックス:「`*メールボックス*`」`

値は次のとおりです。

メールボックス:

文字列 (0, 255)

有効な番号またはアドレスです。ボイス メールボックスがない場合は、文字列は空欄にしてください。

デフォルト値:

「」

xConfiguration SIP MinimumTLSVersion

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

SIP で許可される最も低いバージョンの TLS (Transport Layer Security) プロトコルを設定します。

使用方法:

`xConfiguration SIP MinimumTLSVersion:` *MinimumTLSVersion*

値は次のとおりです。

MinimumTLSVersion:

TLSv1.0/TLSv1.1/TLSv1.2/TLSv1.3

TLSv1.0: TLS バージョン 1.0 以降に対応します。

TLSv1.1: TLS バージョン 1.1 以降に対応します。

TLSv1.2: TLS バージョン 1.2 以降に対応します。

TLSv1.3: TLS バージョン 1.3 以降に対応します。

デフォルト値:

TLSv1.2

xConfiguration SIP 優先 IP シグナリング

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

シグナリング (音声、ビデオ、データ) の優先 IP バージョンを定義します。[ネットワーク IP スタック] と [電話会議プロトコル IP スタック] の両方が [デュアル] に設定されており、ネットワークに優先 IP バージョンを選択するメカニズムがない場合にのみ適用できます。また、DNS での A/AAAA ルックアップの優先順位を決定するため、優先 IP バージョンが登録に使用されます。

使用方法:

`xConfiguration SIP PreferredIPSignaling:` *PreferredIPSignaling*

値は次のとおりです。

優先 IP シグナリング:

IPv4/IPv6

IPv4: シグナリングの優先 IP バージョンは IPv4 です。

IPv6: シグナリングの優先 IP バージョンは IPv6 です。

デフォルト値:

IPv4

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration SIP プロキシ [n] アドレス

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

[プロキシ アドレス] は発信プロキシ用に手動で設定されたアドレスです。完全修飾ドメイン名または IP アドレスを使用することができます。TCP および UDP の既定のポートは 5060 ですが、別のポートを提供することもできます。

使用方法:

`xConfiguration SIP Proxy [n] アドレス: "Address"`

値は次のとおりです。

n: プロキシを識別するインデックス (最大で 4 つのプロキシを定義できます)。

範囲: 1..4

Address:

文字列 (0, 255)

有効な IPv4 アドレス、IPv6 アドレス、または DNS 名。

デフォルト値:

「」

xConfiguration SIP TlsVerify

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

SIP TLS 経由で接続を確立する前に、デバイスはピアの証明書が信頼できる認証局 (CA) によって署名されているかどうかを確認します。CA は、ウェブ インターフェイスまたは API を使用してデバイスに手動でアップロードされる CA リストに含まれる必要があります。プリインストールされた証明書のリストは、SIP TLS 接続の証明書の検証には使用されません。

注: CE9.8 以前のソフトウェア バージョンから CE9.9 (以降) にアップグレードされたデバイスの値はOffに設定されています。ただし、デバイスがアップグレード後に工場出荷時リセットされておらず、設定が明示的にOnに設定されていなかった場合が対象です。

SIP の [MinimumTLSVersion] 設定を使用して、許可する TLS バージョンを指定します。

使用方法:

`xConfiguration SIP TlsVerify: TlsVerify`

値は次のとおりです。

TlsVerify:

Off/On

Off: デバイスはピアの証明書を確認しません。SIP TLS 接続はとにかく確立されます。

On: デバイスは、ピアの証明書が信頼できるかどうかを確認します。そうでない場合、SIP TLS 接続は確立されていません。

デフォルト値:

オン

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration SIP TransportSecurity CertificateVerificationMode

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

この構成は、プロキシなしで TLS 経由で接続するときに、リモート SIP サーバからの X.509 証明書を検証するために使用される方法を決定します。

これは、以下のように設定されていることを前提としています。

SIP DefaultTransport: TIs

SIP TIsVerify: オン

SIP ListenPort: オン

Provisioning WebexCalling Mode: オフ

SIP Proxy N アドレス: ""

SIP タイプ: 標準

検証プロセスは、デバイスからの発信通話に影響を与えます。すべての着信は自動的に拒否されます。関連するルート CA 証明書をデバイスにアップロードする必要があります。CA 証明書をアップロードするには、次のコマンドを参照してください:

xCommand Security Certificates CA Add

この xConfiguration が変更された場合は、デバイスを再起動することをお勧めします。

セキュリティ対策として、以下の設定もお勧めします。

xConfiguration Conference Encryption Mode: オン

メディアが確実に暗号化されるようにします。

使用方法:

```
xConfiguration SIP TransportSecurity CertificateVerificationMode:
CertificateVerificationMode
```

値は次のとおりです。

CertificateVerificationMode:

自動/レガシー/RFC5922

自動: [自動] に設定すると、デバイスは証明書の検証にレガシーまたは RFC5922 のいずれかの方法を使用します。指定されたソフトウェアバージョンは、常にいずれかの方法のみを使用します。使用される方法は、ソフトウェアのバージョンによって異なる場合があります。

レガシー: レガシーに設定すると、デバイスは古い検証方法を使用します。これは、RFC5922 標準を適用せずに、DNS SRV レコードを含む名前のリストを、受信した証明書内のものと比較します。

RFC5922: RFC5922 に設定すると、デバイスは、ダイヤルされた URI のホスト名 (例: webex.com または zoomcrc.com) を、RFC5922 のルールに従って、X.509 証明書のサブジェクトの別名 (SAN) または共通名 (CN) と比較します。RFC5922 は、受け取った証明書から SIP ドメインのアイデンティティを抽出する方法、およびそのアイデンティティを SIP ドメイン認証に使用する方法のガイドラインを提供します。

デフォルト値:

自動

xConfiguration SIP Turn Server

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

TURN (Traversal Using Relay NAT) サーバーのアドレスを定義します。これは、メディア リレーのフォールバックとして使用され、デバイス自体のパブリック IP アドレスを検出するためにも使用されます。

使用方法:

```
xConfiguration SIP Turn Server: "Server"
```

値は次のとおりです。

サーバ:

文字列 (0, 255)

推奨される形式は DNS SRV レコードです (例: _turn._udp.<domain>)。あるいは有効な IPv4 または IPv6 アドレスを使用することもできます。

デフォルト値:

「」

xConfiguration SIP Turn UserName

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

TURN サーバーへのアクセスに必要なユーザ名を定義します。

使用方法:

```
xConfiguration SIP Turn UserName: "UserName"
```

値は次のとおりです。

ユーザ名:

文字列 (0, 128)

有効なユーザ名。

デフォルト値:

「」

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration SIP Turn Password

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

TURN サーバへのアクセスに必要なパスワードを指定します。

使用方法:

`xConfiguration SIP Turn Password: "Password"`

値は次のとおりです。

パスワード:

文字列 (0, 128)

有効なパスワード。

デフォルト値:

「」

xConfiguration SIP タイプ

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

ベンダーまたはプロバイダーの SIP 内線と特別な動作を有効にします。

使用方法:

`xConfiguration SIP タイプ: タイプ`

値は次のとおりです。

タイプ:

Cisco/Standard

標準:標準 SIP プロキシ (Cisco TelePresence VCS でテスト済み) に登録する場合にこれを使用します。

Cisco: Cisco Unified Communication Manager に登録する際にこれを使用します。

デフォルト値:

標準

xConfiguration SIP URI

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

SIP URI (Uniform Resource Identifier) は、デバイスを識別するために使用されるアドレスです。URI は登録され、SIP サービスによって使用され、着信通話をデバイスにルーティングします。SIP URI 構文は RFC 3261 で定義されています。

使用方法:

`xConfiguration SIP URI: 「URI」`

値は次のとおりです。

URI:

文字列 (0, 255)

SIP URI 構文に準拠したアドレス (URI)。

デフォルト値:

「」

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

スタンバイ構成

xConfiguration Standby BootAction

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ、USER

ビデオ会議デバイスの再起動後のカメラの位置を定義します。

使用方法:

`xConfiguration Standby BootAction:` *BootAction*

値は次のとおりです。

BootAction:

デフォルトカメラ位置/なし/カメラ位置の復元

なし: アクションはありません。

RestoreCameraPosition: ビデオ デバイスを再起動すると、カメラは再起動前の位置に戻ります。

DefaultCameraPosition:ビデオ デバイスが再起動すると、カメラが工場出荷時のデフォルト位置に移動します。

デフォルト値:

DefaultCameraPosition *[RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskMini Desk BoardPro BoardProG2]*

RestoreCameraPosition *[DeskPro Board]*

xConfiguration Standby BrightnessDelay

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ

この設定は、Microsoft Teams のルームがセットアップされているデバイスにのみ適用されます。

デバイスがホーム画面を表示し、非アクティブになるまでの時間と、その後画面の明るさが低下するまでの時間を設定します。このタイマーが切れる前に、デバイスがハーフウェイク、ディスプレイ Off、またはより深いスタンバイ状態になった場合、この設定は効果がありません。

使用方法:

`xConfiguration Standby BrightnessDelay:` *BrightnessDelay*

値は次のとおりです。

BrightnessDelay:

整数 (1..60)

ライトを暗くするまでの分数。

デフォルト値:

30

xConfiguration スタンバイコントロール

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ

デバイスを自動的にスタンバイモードにするかどうかを定義します。とにかく、UI から、または Standby Activate コマンドを使用して、いつでも手動でデバイスをスタンバイモードに設定できます。

使用方法:

`xConfiguration スタンバイ コントロール:` *コントロール*

値は次のとおりです。

コントロール:

Off/On *[RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro BoardProG2]*

On *[RoomPanorama/Room70Panorama]*

Off: デバイスは自動的にスタンバイモードになりません。

On: スタンバイの遅延時間がタイムアウトすると、デバイスはスタンバイモードになります。

デフォルト値:

オン

xConfiguration スタンバイ遅延

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ

デバイスがスタンバイモードになるまでのアイドル モードの時間 (分) を定義します。

スタンバイ コントロールを有効にする必要があります。

使用方法:

`xConfiguration Standby Delay:` *Delay*

値は次のとおりです。

遅延:

整数 (1..480)

スタンバイの遅延 (分) を設定します。

デフォルト値:

10 *[RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk]*

4 *[Board BoardPro BoardProG2]*

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration スタンバイハーフウェイクスクリーンセーバー

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

この設定は、Microsoft Teams のルームがセットアップされているデバイスにのみ適用されます。
デバイスが半覚醒モードのときに画面に表示するものを選択します。

使用方法:

`xConfiguration スタンバイハーフウェイクスクリーンセーバー: スクリーンセーバー`

値は次のとおりです。

スクリーンセーバー:

Clock/Halfwake

時計: 時計を表示します。

ハーフウェイク: デフォルトのハーフウェイク画像を表示します。

デフォルト値:

Halfwake

xConfiguration Standby Level DeepSleep Delay

適用対象: BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

ディープ スリープに移行する前に、デバイスが以前のスタンバイ状態を維持する必要がある時間を指定します。
デフォルトでは、以前のスタンバイ状態はネットワーク スタンバイになります。ネットワーク スタンバイが無効になっている場合、デバイスはデフォルトでディスプレイ オフ状態になります。

使用方法:

`xConfiguration Standby Level DeepSleep Delay: Delay`

値は次のとおりです。

遅延:

整数 (1..1440)

ディープ スリープ スタンバイ レベルへの移行の遅延 (分単位で指定)。

デフォルト値:

14

xConfiguration Standby Level DeepSleep Mode

適用対象: BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

ディープスリープスタンバイモードを設定します。

ディープスリープは、デバイスがほとんどの機能をシャットダウンし、ネットワークから切断して電力を節約する超低電力モードです。有効にすると、デバイスは、Standby Level DeepSleep Delay 設定で定義されたとおり、指定された時間、ネットワークスタンバイを維持した後、ディープスリープ状態に移行します。

ネットワーク スタンバイが無効になっている場合、デバイスがディスプレイ オフ状態になったときに遅延タイマーが開始されます。

デフォルト設定である Standby WakeupOnMotionDetection 機能が有効な場合、動きが検出されても、デバイスはディープスリープモードになりません。

さらに、デバイスは毎晩 1 回起動してソフトウェアの更新を確認します。営業時間が有効になっている場合、デバイスは設定された営業時間の開始時刻の 20 ～ 40 分前にランダムに起動します。

使用方法:

`xConfiguration Standby Level DeepSleep Mode: Mode`

値は次のとおりです。

Mode:

オフ/オン/営業時間外

オフ: デバイスは自動的にディープスリープに移行しません。

OutsideOfficeHours: 営業時間が終了すると、デバイスは設定された遅延後にディープスリープ状態に移行します。

デバイスが必要な期間アイドル状態になっている場合は、直ちにディープ スリープ状態に移行します。

xConfiguration Time OfficeHours を使用して営業時間を指定できます。

オン: オフィス時間の設定に関係なく、デバイスは他のスタンバイ レベルと同様に、設定された遅延後にディープ スリープに移行します。

デフォルト値:

Off

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Standby Level Networked Delay

適用対象: RoomBar RoomBarPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

ネットワーク スタンバイ状態になる前に、デバイスがOff ディスプレイ スタンバイモードになっている必要がある時間を定義します。

遅延が 0 に設定されている場合、デバイスはハーフウェイク モードから数秒間のディスプレイ Off モードの後、ネットワーク スタンバイモードになります。

使用方法:

```
xConfiguration Standby Level Networked Delay: Delay
```

値は次のとおりです。

遅延:

整数 (0..1440)

ネットワークスタンバイレベルの遅延時間 (分)。

デフォルト値:

2

xConfiguration Standby Level Networked Mode

適用対象: RoomBar RoomBarPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

ディスプレイ Offからネットワーク スタンバイモードへの自動移行を無効または有効にします。

ネットワークスタンバイモードは、より深いレベルのスタンバイモードであり、通常のディスプレイOff スタンバイモードよりも消費電力を削減します。

デバイスは、スタンバイ レベルのネットワーク遅延設定で定義されているとおり、Offディスプレイ スタンバイモードの状態が x 分間続いた後、ネットワーク スタンバイ状態になります。

スタンバイモードが自動的に開始されるように、Standby Control 設定がOnにセットされている必要があります。ただし、[スタンバイ アクティベート] コマンドを使用して手動でトリガーすることもできます。

使用方法:

```
xConfiguration Standby Level Networked Mode: Mode
```

値は次のとおりです。

Mode:

Off/On

On: スタンバイ レベルのネットワーク遅延時間がタイムアウトすると、デバイスはネットワークスタンバイモードに入ります。

Off: デバイスはネットワーク スタンバイモードになりません。

デフォルト値:

オン

xConfiguration Standby Halfwake Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

デバイスがスタンバイ状態になる前に自動的にハーフウェイク モードに入るか、ハーフウェイク モードをスキップして直接スタンバイ状態にするかを決定します。ハーフウェイク モードでは、暗い画面にテキストが表示されたり、ウェブページやデジタルサイネージを含むブランディング情報が表示されるように構成されたりする場合があります。

スタンバイ コントロール設定で有効になっている場合、スタンバイのハーフウェイク モード設定に関係なく、デバイスは非アクティブ状態が x 分間続くとスタンバイ状態になります。x はスタンバイ遅延設定で定義されます。

使用方法:

```
xConfiguration Standby Halfwake Mode: Mode
```

値は次のとおりです。

Mode:

自動/手動

Auto:デバイスは、非アクティブ状態が 2 分間続くと、ハーフウェイク モードに切り替わります。アクティビティを検出するか、スタンバイモードになるまで、半覚醒モードのままになります。

Manual: 自動ハーフウェイクモードが無効になります。xCommand StandbyHalfwake を使用して手動でのみトリガーできます。

デフォルト値:

自動

xConfiguration スタンバイサイネージ音声

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

既定では、ウェブページに音声がある場合でも、デジタルサイネージモードではデバイスは音声を再生しません。この設定を使用して、デフォルトの動作を上書きすることができます。

使用方法:

```
xConfiguration スタンバイ サイネージ音声: 音声
```

値は次のとおりです。

音声:

Off/On

Off: デバイスはウェブページの音声を再生しません。

On: ウェブページに音声がある場合、デバイスは音声を再生します。音量はデバイスの音量設定に従います。

デフォルト値:

Off

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration スタンバイ サイネージ インタラクション モード

適用対象: RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

ユーザーがデジタル サイネージ ウェブページで操作することを許可するかどうかを決定します。

インタラクティブ モードでは、デバイスにタッチ スクリーン (内蔵または接続済み) が必要です。Room Kit Mini は Samsung Flip (Webex on Flip) で使用する必要があります。

使用方法:

`xConfiguration Standby Signage InteractionMode: InteractionMode`

値は次のとおりです。

対話モード:

インタラクティブ/非インタラクティブ

インタラクティブ: ユーザーはウェブページと対話できます。

非インタラクティブ: ユーザーはウェブページを操作できません。

デフォルト値:

非インタラクティブ

xConfiguration Standby Signage Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

URL (ウェブページ) からのコンテンツは、従来のハーフウェイクの背景画像と情報を置き換えることができます。

この機能をデジタルサイネージと呼びます。デバイスにインタラクティブ画面がある場合、ユーザーはウェブページと対話できます。たとえば、リンクをクリックしたり、フォームにテキストを入力したりできます。

デジタル サイネージの使用は、デバイスが通常の方法でスタンバイ状態になることを妨げるものではありません。そのため、[スタンバイの遅延] 設定では、デバイスがスタンバイ状態になる前にデジタル サイネージが表示される時間を決定します。

使用方法:

`xConfiguration Standby Signage Mode: Mode`

値は次のとおりです。

Mode:

Off/On

Off: デジタル サイネージはデバイスで有効になっていません。

On: デジタル サイネージが有効になり、デバイスのハーフウェイク モードが置き換えられます。ただし、WebEngine Mode設定もOnにする必要があります。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Standby Signage RefreshInterval

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

一定の間隔 (秒) でウェブページを更新します。

これは、ウェブページを更新できない場合に便利です。

インタラクティブモードでの更新間隔の設定はお勧めしません。

使用方法:

`xConfiguration Standby Signage RefreshInterval: RefreshInterval`

値は次のとおりです。

RefreshInterval:

整数 (0..1440)

各ウェブページの更新間隔の秒数。値 0 はウェブページが更新を強制されないことを意味します。

デフォルト値:

0

xConfiguration Standby Signage Url

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

画面 (デジタル サイネージ) に表示するウェブページの URL を設定します。

URL の長さが 0 の場合、デバイスは通常のハーフウェイクモードを保持します。

URL が失敗した場合、デバイスは通常のハーフウェイクモードを維持し、診断メッセージが発行されます。

使用方法:

`xConfiguration Standby Signage Url: "Url"`

値は次のとおりです。

URL:

文字列 (0, 2048)

ウェブページの URL です。

デフォルト値:

「」

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Standby StandbyAction

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

スタンバイモードに入るときのカメラの位置を定義します。

使用方法:

`xConfiguration Standby StandbyAction: StandbyAction`

値は次のとおりです。

StandbyAction:

None/PrivacyPosition

なし: アクションはありません。

PrivacyPositiOn: ビデオデバイスがスタンバイ状態になると、PrivacyPositionのため、カメラが横向きの位置に回転します。

デフォルト値:

PrivacyPosition

xConfiguration Standby WakeupAction

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

スタンバイ モードを終了するときのカメラの位置を定義します。

使用方法:

`xConfiguration Standby WakeupAction: WakeupAction`

値は次のとおりです。

WakeupAction:

デフォルトカメラ位置/なし/カメラ位置の復元

なし: アクションはありません。

RestoreCameraPositiOn: ビデオデバイスがスタンバイを離れると、カメラはスタンバイに入る前の位置に戻ります。

DefaultCameraPosition: ビデオ デバイスがスタンバイを離れると、カメラが工場出荷時のデフォルト位置に移動します。

デフォルト値:

カメラ位置の復元

xConfiguration Standby WakeupAtMeetingStart

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

ミーティングの開始がスケジュールされたときに、デバイスを自動的に復帰させるかどうかを選択します。誰もミーティングに参加しない、またはデバイスと対話しない場合、ハーフウェイクモードになり、スケジュールされた開始の数分後にスタンバイします。

使用方法:

`xConfiguration Standby WakeupAtMeetingStart: WakeupAtMeetingStart`

値は次のとおりです。

WakeupAtMeetingStart:

Auto/Off

Auto: スケジュールされたミーティングの開始前に、デバイスが起動します。

Off: ミーティングの開始がスケジュールされている場合でも、デバイスはスタンバイ状態のままになります。

デフォルト値:

自動

xConfiguration Standby WakeupOnPairing

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

Webex アプリとペアリングされたときに、デバイスを自動的にスリープ解除するかどうかを選択します。

使用方法:

`xConfiguration Standby WakeupOnPairing: WakeupOnPairing`

値は次のとおりです。

WakeupOnPairing:

Off/On

オン: このデバイスは、Webex アプリとペアリングされると起動します。

オフ: このデバイスは、Webex アプリとペアリングされていても、スタンバイ状態のままです。

デフォルト値:

オン

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Standby WakeupOnMotionDetection

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ

動体検知でウェイク アップが有効になっている場合、人が入室することを検出すると、デバイスは自動的にウェイクして、ハーフウェイクモードに入ります。

この機能により、ユーザーが会議室に入室したときにデバイスがそれを検出できます。モーションが検知されると、ミーティングがモーション検知時にスケジュールされていない限り、システムはスタンバイからハーフウェイクに移行します。その場合、システムはスタンバイからウェイク状態に移行します。この機能では主に超音波を使用して検出を行いますが、Board Pro および Board Pro G2 などの特定の製品では、スタンバイモードのときにレーダーも使用します。

音声超音波の最大音量と近接モードの設定は、モーション検知に影響を与えません。

使用方法:

```
xConfiguration Standby WakeupOnMotionDetection: WakeupOnMotionDetection
```

値は次のとおりです。

WakeupOnMotionDetection:

Off/On

Off: モーションを検出しても、デバイスはスタンバイから復帰しません。

On: 人が入室したときなど、動きを検出すると、デバイスは自動的にスタンバイからハーフウェイクに切り替わります。モーションが検出されたときにミーティングがスケジュールされている場合、システムは完全に覚醒します。

デフォルト値:

On [RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro Room55 Room 70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardPro BoardProG2]

Off [RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro]

SystemUnit 設定

xConfiguration SystemUnit Name

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

デバイス名を定義します。デバイスが SNMP エージェントとして機能している場合、デバイス名は DHCP リクエストでホスト名として送信されます。

使用方法:

```
xConfiguration SystemUnit Name: "Name"
```

値は次のとおりです。

名前:

文字列 (0, 50)

デバイス名を定義します。

デフォルト値:

「」

xConfiguration SystemUnit BroadcastName

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

ブロードキャスト名は、ラップトップや携帯電話などの他のデバイスの Airplay、Miracast、Bluetooth などのサービスのスキャン リストに表示される名前です。この設定で特定のブロードキャスト名を指定することができます。ここでブロードキャスト名を明確に設定しない場合、スキャン リストには、デバイスが Webex クラウド サービスに登録されている場合は Webex DisplayName、Onプレミス サービスに登録されている場合は SystemUnit 名が含まれます。どちらの名前も設定されていない場合、製品タイプ (id) が表示されます。

ブロードキャスト名には PII (個人を特定できる情報) を含めないことをお勧めします。

使用方法:

```
xConfiguration SystemUnit BroadcastName: "BroadcastName"
```

値は次のとおりです。

ブロードキャスト名:

文字列 (0, 256)

他のデバイスのスキャン リストに表示されるブロードキャスト名。

デフォルト値:

「」

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration SystemUnit CrashReporting Advanced

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

デバイスがクラッシュした場合、デバイスは分析のために Cisco 自動クラッシュ レポート ツール (ACR) にログを自動的に送信できます。詳細については、システムユニットクラッシュレポートモード設定を参照してください。

使用方法:

`xConfiguration SystemUnit CrashReporting Advanced: Advanced`

値は次のとおりです。

高度な:

Off/On

Off: ACR ツールは標準のログ分析を実行します。

On: ACR ツールは高度なログ分析を実行します。

デフォルト値:

オン

xConfiguration SystemUnit CrashReporting Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

デバイスがクラッシュした場合、デバイスは分析のために Cisco 自動クラッシュ レポート ツール (ACR) にログを自動的に送信できます。

Webex クラウド サービスに登録されている、またはデバイスの Webex Edge にリンクされているデバイスでは、すべてのデバイスで自動クラッシュ レポートを利用できます。ログを Webex クラウドに送信する前に、PII 情報は削除または匿名化されます。

CUCM などのOnプレミス サービスに登録されているデバイスの場合、自動クラッシュ レポートは Cisco 内部デバイスのみが対象です。クラッシュレポートはシステムユニットのクラッシュレポート URL設定で指定された URL に送信されます。

使用方法:

`xConfiguration SystemUnit CrashReporting Mode: Mode`

値は次のとおりです。

Mode:

Off/On

Off: ログは ACR ツールに送信されません。

On: ログは自動的に ACR ツールに送信されます。

デフォルト値:

オン

xConfiguration SystemUnit CrashReporting URL

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

デバイスがクラッシュした場合、デバイスは分析のために Cisco 自動クラッシュ レポート ツール (ACR) にログを自動的に送信できます。詳細については、システムユニットクラッシュレポートモード設定を参照してください。

使用方法:

`xConfiguration SystemUnit CrashReporting URL: "URL"`

値は次のとおりです。

URL:

文字列 (0, 255)

Cisco 自動クラッシュレポートツール (ACR) への URL。

デフォルト値:

"acr.cisco.com"

xConfiguration SystemUnit CustomDeviceId

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

SystemUnit CustomDeviceId は、ユニットに関するカスタム情報を保存する場所を提供します。これは、たとえば、プロビジョニング設定でデバイスを追跡するのに役立ちます。

使用方法:

`xConfiguration SystemUnit CustomDeviceId: "CustomDeviceId"`

値は次のとおりです。

CustomDeviceId:

文字列 (0, 255)

デフォルト値:

「」

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration SystemUnit Extension MouseSupport

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 DeskPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者

たとえば、Microsoft ログイン画面が表示されているときにOnボードする Microsoft クラウドを選択するなど、Microsoft Teams UI との対話が必要になる場合があります。このような場合、デバイスの USB-A ポートにマウスを接続できます。このマウスは Microsoft Teams UI と対話する場合にのみ使用できます。通常の RoomOS UI では使用できません。

別のキーボードを USB 接続することには対応していません。

使用方法:

`xConfiguration SystemUnit Extension MouseSupport:` *MouseSupport*

値は次のとおりです。

マウスサポート:

無効/有効

無効: デバイスはマウスをサポートしていません。

有効: USB マウスを使用して Microsoft Teams UI と対話できます。

デフォルト値:

[有効 (Enabled)]

xConfiguration システムユニットハードウェア USBC [n] モード

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ DeskMini Desk

必要なユーザーロール: 管理者

新しい USB 3.0 バージョンにも対応している場合でも、USB-C ポートで USB2.0 プロトコルのみを使用するようにデバイスに指示する場合は、この設定を使用します。

一部のラップトップでは、私たちのデバイスをウェブカメラとして使用する際に必要になる場合があります。

この設定を有効にするには、デバイスを再起動する必要があります。

使用方法:

`xConfiguration システムユニット ハードウェア USBC [n] モード:` *モード*

値は次のとおりです。

Mode:

USB2/USB3

USB2: USB ネゴシエーションには USB 2.0 のみを提供します。

USB3: 標準 USB ネゴシエーションを提供します。つまり、利用可能な場合は USB3.0 を使用し、利用できない場合は USB 2.0 を使用します。

デフォルト値:

USB3

xConfiguration SystemUnit SoftwareUpgrade Provider

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 DeskPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者

Cisco バックエンド サービス (Webex や Cisco Unified CM など) に登録されている Microsoft Teams ルーム用の Cisco デバイスでは、どのサービスから自動ソフトウェア アップグレードを入手するかを決定できます。

RoomOS ソフトウェアはこの設定に従いますが、Microsoft Teams アプリケーションは Teams 管理センターからいつでもアップグレードできることに注意してください。

使用方法:

`xConfiguration SystemUnit SoftwareUpgrade Provider:` *Provider*

値は次のとおりです。

プロバイダー:

Cisco/Microsoft

Microsoft: Microsoft からソフトウェアアップグレードを入手してください。

Cisco: Cisco サービスからソフトウェアアップグレードを入手してください。

デフォルト値:

Cisco

xConfiguration SystemUnit ソフトウェアアップグレード TruncateCop

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

.cop ファイルを使用したアップグレード方法が変更されました。この構成オプションを使用すると、問題が発生した場合に以前のアップグレード動作に戻すことができます。このオプションは将来のリリースで削除される予定ですのでご了承ください。

使用方法:

`xConfiguration SystemUnit SoftwareUpgrade TruncateCop:` *TruncateCop*

値は次のとおりです。

TruncateCop:

False/True

デフォルト値:

True

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration SystemUnit SoftwareUpgrade WebCache モード

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

通常、デバイスは Webex クラウドからソフトウェアを直接ダウンロードします。トランスポートを最適化するために、ウェブ キャッシュ (HTTP キャッシュ) のセットアップを選択できます。

この設定は、Webex クラウド サービスに登録されている、またはデバイスの Webex Edge にリンクされているデバイスに適用されます。

使用方法:

`xConfiguration SystemUnit SoftwareUpgrade WebCache モード: モード`

値は次のとおりです。

Mode:

手動/オフ

Manual: デバイスはウェブ キャッシュ (HTTP キャッシュ) を通じてソフトウェア アップグレードをダウンロードします。ウェブキャッシュの URL は [システムユニットのソフトウェアのアップグレード] の [ウェブキャッシュの URL] 設定で指定されています。キャッシュが機能していない場合、デバイスは標準ネットワーク接続の使用に切り替えます。

Off: デバイスはウェブ キャッシュを使用せずに、Webex クラウドからソフトウェアを直接ダウンロードします。

デフォルト値:

Off

xConfiguration SystemUnit SoftwareUpgrade WebCache Url

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

Webex クラウドからのソフトウェアのダウンロードに使用できるウェブ キャッシュの URL を設定します。SystemUnit SoftwareUpgrade WebCache Mode がマニュアルに設定されている場合にのみ使用されます。

この設定は、Webex クラウド サービスに登録されている、またはデバイスの Webex Edge にリンクされているデバイスに適用されます。

使用方法:

`xConfiguration SystemUnit SoftwareUpgrade WebCache Url: "Url"`

値は次のとおりです。

URL:

文字列 (0, 255)

ウェブキャッシュの URL です。

デフォルト値:

「」

ThousandEyes の構成

xConfiguration ThousandEyes の ConnectionString

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

この設定は、Webex クラウド サービスに登録されている、またはデバイスの Webex Edge にリンクされているデバイスに適用されます。

ThousandEyes エージェントは RoomOS ソフトウェアの一部ですが、Control Hub から有効にする必要があります。エージェントは接続文字列パラメータを必要とします。これは、エージェントが属するアカウントグループを正確に識別するトークンとして機能します。組織の ThousandEyes 管理者から接続文字列を取得する必要があります。

デバイスで実行されている ThousandEyes エージェントが ThousandEyes クラウド サービスに登録できるように、この文字列が必要です。

使用方法:

`xConfiguration ThousandEyes ConnectionString: "ConnectionString"`

値は次のとおりです。

ConnectionString:

文字列 (0, 512)

アカウントグループの接続文字列です。

デフォルト値:

「」

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

時間設定

xConfiguration Time DateFormat

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

日付形式を定義します。

使用方法:

`xConfiguration Time DateFormat:` *DateFormat*

値は次のとおりです。

日付形式:

DD_MM_YY/MM_DD_YY/YY_MM_DD

DD_MM_YY: 日付は 2010 年 1 月 30 日、表示: 10.01.30

MM_DD_YY: 2010 年 1 月 30 日の日付は、01.30.10 と表示されます

YY_MM_DD: 2010 年 1 月 30 日の日付は、10.01.30 と表示されます

デフォルト値:

DD_MM_YY

xConfiguration Time TimeFormat

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

時間形式を定義します。

使用方法:

`xConfiguration Time TimeFormat:` *TimeFormat*

値は次のとおりです。

時間形式:

12 時間/24 時間

24 時間: 時間形式を 24 時間に設定します。

12 時間: 時間形式を 12 時間 (AM/PM) に設定します。

デフォルト値:

24 時間

xConfiguration タイムゾーン

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ、USER

デバイスの地理的な場所のタイムゾーンを定義します。値のスペースの情報は、IANA タイムゾーン データベースとも呼ばれる tz データベースからのものです。

使用方法:

`xConfiguration タイムゾーン:` *ゾーン*

値は次のとおりです。

ゾーン:

アフリカ/アビジャン/アフリカ/アクラ/アフリカ/アディスアベバ/アフリカ/アルジェ/アフリカ/アスマラ/アフリカ/アスメラ/アフリカ/バマコ/アフリカ/バンギ/アフリカ/バンジュル/アフリカ/ビサウ/アフリカ/ブランタイア/アフリカ/ブラザビル/アフリカ/ブジュンブラ/アフリカ/カイロ/アフリカ/カサブランカ/アフリカ/セウタ/アフリカ/コナクリ/アフリカ/ダカル/アフリカ/ダルエスサラーム/アフリカ/ジブチ/アフリカ/ドアラ/アフリカ/エルアイウン/アフリカ/フリータウン/アフリカ/ガボローネ/アフリカ/ハラレ/アフリカ/ヨハネスブルグ/アフリカ/ジュバ/アフリカ/カンパラ/アフリカ/ハルツーム/アフリカ/キガル/アフリカ/キンシャサ/アフリカ/ラゴス/アフリカ/リブレビル/アフリカ/ロメ/アフリカ/ルアンダ/アフリカ/ルブンバシ/アフリカ/ルサカ/アフリカ/マラボ/アフリカ/マプト/アフリカ/マセル/アフリカ/ムババーネ/アフリカ/モガディシュ/アフリカ/モンロビア/アフリカ/ナイロビ/アフリカ/ンジャメナ/アフリカ/ニアメ/アフリカ/ヌアクショット/アフリカ/ワガドゥグー/アフリカ/ポルトノボ/アフリカ/サントメ/アフリカ/トンブクトゥ/アフリカ/トリポリ/アフリカ/チュニス/アフリカ/ウィントフック/アメリカ/アダック/アメリカ/アンカレッジ/アメリカ/アンギラ/アメリカ/アンティグア/アメリカ/アラグアイナ/アメリカ/アルゼンチン/ブエノスアイレス/アメリカ/アルゼンチン/カタマルカ/アメリカ/アルゼンチン/コモドリバダビア/アメリカ/アルゼンチン/コルドバ/アメリカ/アルゼンチン/フフイ/アメリカ/アルゼンチン/ラ・リオハ/アメリカ/アルゼンチン/メンドーザ/アメリカ/アルゼンチン/リオ・ガレゴス/アメリカ/アルゼンチン/サルタ/アメリカ/アルゼンチン/サンファン/アメリカ/アルゼンチン/サンルイス/アメリカ/アルゼンチン/トゥクマン/アメリカ/アルゼンチン/ウシュアイア/アメリカ/アルバ/アメリカ/アスンシオン/アメリカ/アティコカン/アメリカ/アトカ/アメリカ/バイーア/アメリカ/バイーア・デ・バンデラス/アメリカ/バルバドス/アメリカ/ベレン/アメリカ/ベリズ/アメリカ/ブランサブロン/アメリカ/ボア・ヴィスタ/アメリカ/ボゴタ/アメリカ/ボイジー/アメリカ/ブエノスアイレス/アメリカ/カンポ・グランデ/アメリカ/カンクン/アメリカ/カラカス/アメリカ/カタマルカ/アメリカ/カイエンヌ/アメリカ/ケイマン/アメリカ/シカゴ/アメリカ/チワワ/アメリカ/シウダッドフアレス/アメリカ/コーラルハーバー/アメリカ/コルドバ/アメリカ/コスタリカ/アメリカ/コジャイケ/アメリカ/クレストン/アメリカ/クイアバ/アメリカ/キュラソー/アメリカ/デンマークシャウン/アメリカ/ドーソン/アメリカ/ドーソン・クリーク/アメリカ/デンバー/アメリカ/デトロイト/アメリカ/ドミニカ/アメリカ/エドモントン/アメリカ/エイルネペ/アメリカ/エルサルバドル/アメリカ/エンセナーダ/アメリカ/フォート・ネルソン/アメリカ/フォート・ウェイン/アメリカ/フォルタレザ/アメリカ/グレース・ベイ/アメリカ/ゴットホープ/アメリカ/グース・ベイ/アメリカ/グランド・ターク/アメリカ/グレナダ/アメリカ/グアドループ/アメリカ/グアテマラ/アメリカ/グアヤキル/アメリカ/ガイアナ/アメリカ/ハリファックス/アメリカ/ハバナ/アメリカ/エルモシージョ/アメリカ/インディアナ/インディアナポリス/アメリカ/インディアナ/ノックス/アメリカ/インディアナ/マレンゴ/アメリカ/インディアナ/ピーターズバーグ/アメリカ/インディアナ/テル・シティ/アメリカ/インディアナ/ビベイ/アメリカ/インディアナ/ヴァンセンヌ/アメリカ/インディアナ/ウィナマック/アメリカ/インディアナポリス/アメリカ/イヌヴィク/アメリカ/イカルイト/アメリカ/ジャマイカ/アメリカ/フフイ/アメリカ/ジュノー/アメリカ/ケンタッキー/ルイビル/アメリカ/ケンタッキー/モンティチェロ/アメリカ/ノックス・インディアナ/アメリカ/クラレンダイク/アメリカ/ラパス/アメリカ/リマ/アメリカ/ロサンゼルス/

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

アメリカ/ルイビル/アメリカ/ローワー・プリンシズ/アメリカ/マセイオ/アメリカ/マナグア/アメリカ/マナウス/アメリカ/マリゴ/アメリカ/マルティニーク/アメリカ/マタモロス/アメリカ/マサトラン/アメリカ/メンドーザ/アメリカ/メノミニー/アメリカ/メリダ/アメリカ/メタカトラ/アメリカ/メキシコシティ/アメリカ/ミクロン島/アメリカ/モンクトン/アメリカ/モンテレイ/アメリカ/モンテビデオ/アメリカ/モントリオール/アメリカ/モントセラト/アメリカ/ナッソー/アメリカ/ニューヨーク/アメリカ/ニピゴン川/アメリカ/ノーム/アメリカ/ノローニャ/アメリカ/ノースダコタ/ビューラー/アメリカ/ノースダコタ/センター/アメリカ/ノースダコタ/ニューサレム/アメリカ/ヌーク/アメリカ/オヒナガ/アメリカ/パナマ/アメリカ/パンナータング/アメリカ/パラマリボ/アメリカ/フェニックス/アメリカ/ポルトープランス/アメリカ/ポートオブスペイン/アメリカ/ポルトアクレ/アメリカ/ポルトヴェリェ/アメリカ/プエルトリコ/アメリカ/プンタ・アレーナス/アメリカ/レイニーリバー/アメリカ/ランキンインレット/アメリカ/レシフェ/アメリカ/レジーナ/アメリカ/レゾリュート/アメリカ/リオブランコ/アメリカ/ロザリオ/アメリカ/サンタイザベル/アメリカ/サンタレン/アメリカ/サンティアゴ/アメリカ/サントドミンゴ/アメリカ/サンパウロ/アメリカ/スコアビスント/アメリカ/シップロック山/アメリカ/シトカ/アメリカ/セントバルテルミー島/アメリカ/セントジョンズ/アメリカ/セントキッツ/アメリカ/セントルシア/アメリカ/セントトーマス/アメリカ/セントビンセント/アメリカ/スイフトカレント/アメリカ/テグシガルパ/アメリカ/チューレ/アメリカ/サンダーベイ/アメリカ/ティファナ/アメリカ/トロント/アメリカ/トルトラ/アメリカ/バンクーバー/アメリカ/ヴァージン/アメリカ/ホワイトホース/アメリカ/ウィニペグ/アメリカ/ヤクタット/アメリカ/イエローナイフ/南極/ケーシー/南極/デイビス/南極/デュモン・デュルビル/南極/マッコーリー/南極/モーソン/南極/マクマード/南極/パーマー/南極/ロセラ基地/南極/南極点/南極/昭和基地/南極/トロール/南極/ボストーク/南極/ロングイェールビーン/アジア/アデン/アジア/アルマトイ/アジア/アンマン/アジア/アナディリ/アジア/アクタウ/アジア/アクトベ/アジア/アシュガバード/アジア/アシハバード/アジア/アティラウ/アジア/バグダッド/アジア/バーレーン/アジア/バクー/アジア/バンコク/アジア/バルナウル/アジア/ベイルート/アジア/ビシュケク/アジア/ブルネイ/アジア/カルカッタ/アジア/チタ/アジア/チョイバルサン/アジア/重慶/アジア/コロンボ/アジア/ダッカ/アジア/ダマスカス/アジア/ダカ/アジア/ディリ/アジア/ドバイ/アジア/ドゥシャンベ/アジア/ファマグスタ/アジア/ガザ/アジア/ハルビン/アジア/ヘブロン/アジア/ホーチミン/アジア/ホンコン/アジア/ホブト/アジア/イルクーツク/アジア/イスタンブール/アジア/ジャカルタ/アジア/ジャヤプラ/アジア/エルサレム/アジア/カブール/アジア/カムチャッカ/アジア/カラチ/アジア/カシュガル/アジア/カトマンズ/アジア/カトマンズ/アジア/ハンドゥイガ/アジア/コルカタ/アジア/クラスノヤルスク/アジア/クアラルンプール/アジア/クチン/アジア/クウェート/アジア/マカオ/アジア/マカオ/アジア/マガダン/アジア/マッカサル/アジア/マニラ/アジア/マスカット/アジア/ニコシア/アジア/ヴォクズネツク/アジア/ノヴォシビルスク/アジア/オムスク/アジア/オラル/アジア/プノンペン/アジア/ポンティアナク/アジア/平壌/アジア/カタール/アジア/コスタナイ/アジア/クジルオルダ/アジア/ラングーン/アジア/リヤド/アジア/サイゴン/アジア/サハリン/アジア/サマルカンド/アジア/ソウル/アジア/上海/アジア/シンガポール/アジア/スレドネコリムスク/アジア/台北/アジア/タシケント/アジア/トビリシ/アジア/テヘラン/アジア/テルアビブ/アジア/ティンプー/アジア/ティンプー/アジア/東京/アジア/トムスク/アジア/ウジュンパンダン/アジア/ウランバートル/アジア/ウランバートール/アジア/ウルムチ/アジア/ウスチネラ/アジア/ビエンチャン/アジア/ウラジオストック/アジア/ヤクーツク/アジア/ヤンゴン/アジア/エカテリンブルク/アジア/エレバン/大西洋/アゾレス/大西洋/バミューダ/大西洋/カナリア/大西洋/ケープベルデ/大西洋/フェロー諸島/大西洋/フェロー諸島/大西洋/ヤンマイエン島/大西洋/マディラ島/大西洋/レイキャビク/大西洋/サウスジョージア島/大西洋/セントヘレナ島/大西洋/スタンリー/オーストラリア/ACT/オーストラリア/アデレード/オーストラリア/ブリスベン/オーストラリア/ブロークンヒル/オーストラリア/キャンベラ/オーストラリア/カリー/オーストラリア/ダーウィン/オーストラリア/ユークラ/オーストラリア/ホバート/オーストラリア/LHI/オーストラリア/リンデマン/オーストラリア/ロードハウ/オーストラリア/メルボルン/オーストラリア/NSW/オーストラリア/北部/オーストラリア/パース/オーストラリア/クイーンズランド州/オーストラリア/南部/オーストラリア/シドニー/オーストラリア/タスマニア/オーストラリア/ヴィクトリア/オーストラリア/西/オーストラリア/ヤンコウィナ/ブラジル/アクレ/ブラジル/デノローニャ/ブラジル/東/ブラジル/西/CET/CST6CDT/カナダ/大西洋/カナダ/中部/カナダ/東部/カナダ/山岳部/カナダ/ニューファンドラン/カナダ/太平洋沿岸部/カナダ/サスカチュワン/カナダ/ユーコン/チリ/大陸部/チリ/イースター島/キューバ/EET/EST/EST5EDT/エジプト/アイルランド/Etc/GMT/Etc/GMT+0/Etc/GMT+1/Etc/GMT+10/Etc/GMT+11/Etc/GMT+12/Etc/GMT+2/Etc/GMT+3/Etc/GMT+4/Etc/GMT+5/Etc/GMT+6/Etc/GMT+7/Etc/GMT+8/Etc/GMT+9/Etc/GMT-0/Etc/GMT-1/Etc/GMT-10/Etc/GMT-11/Etc/GMT-12/Etc/GMT-13/Etc/GMT-14/Etc/GMT-2/Etc/GMT-3/Etc/GMT-4/Etc/GMT-5/Etc/GMT-6/Etc/GMT-7/Etc/GMT-8/Etc/GMT-9/Etc/GMT0/Etc/グリニッジ/Etc/UCT/Etc/UTC/Etc/ユニバーサル/Etc/ズールー/ヨーロッパ/アムステルダム/ヨーロッパ/アンドラ/ヨーロッパ/アストラハン/ヨーロッパ/アテネ/ヨーロッパ/ベルファースト/ヨーロッパ/ベオグラード/ヨーロッパ/ベルリン/ヨーロッパ/ブラティスラヴァ/ヨーロッパ/ブリュッセル/ヨーロッパ/ブカレスト/ヨーロッパ/ブダペスト/ヨーロッパ/ビュージンゲン/ヨーロッパ/キシニョフ/ヨーロッパ/コペンハーゲン/ヨーロッパ/ダブリン/ヨーロッパ/ジブラルタル/ヨーロッパ/ガーンジー/ヨーロッパ/ヘルシンキ/ヨーロッパ/マン島/ヨーロッパ/イスタンブール/ヨーロッパ/ジャージー/ヨーロッパ/カリーニングラード/ヨーロッパ/キエフ/ヨーロッパ/キロフ/ヨーロッパ/キーウ/ヨーロッパ/リスボン/ヨーロッパ/リュブリャナ/ヨーロッパ/ロンドン/ヨーロッパ/ルクセンブルク/ヨーロッパ/マドリード/ヨーロッパ/マルタ/ヨーロッパ/マリエハムン/ヨーロッパ/ミンスク/ヨーロッパ/モナコ/ヨーロッパ/モスクワ/ヨーロッパ/ニコシア/ヨーロッパ/オスロ/ヨーロッパ/パリ/ヨーロッパ/ポドゴリツァ/ヨーロッパ/プラハ/ヨーロッパ/リガ/ヨーロッパ/ローマ/ヨーロッパ/サマラ/ヨーロッパ/サンマリノ/ヨーロッパ/サラエボ/ヨーロッパ/サラトフ/ヨーロッパ/シンフェロポリ/ヨーロッパ/スコピエ/ヨーロッパ/ソフィア/ヨーロッパ/ストックホルム/ヨーロッパ/タリン/ヨーロッパ/ティラナ/ヨーロッパ/ティラスポリ/ヨーロッパ/ウリヤノフスク/ヨーロッパ/ウジゴロド/ヨーロッパ/ファドゥーツ/ヨーロッパ/バチカン/ヨーロッパ/ウィーン/ヨーロッパ/ヴィリニュス/ヨーロッパ/ボルゴグラード/ヨーロッパ/ワルシャワ/ヨーロッパ/ザグレブ/ヨーロッパ/ザポリージャ/ヨーロッパ/チューリッヒ/GB/GB/アイルランド/GMT/GMT+0/GMT-0/GMT0/グリニッジ/HST/香港/アイスランド/インド洋/アンタナナリボ/インド洋/チャゴス諸島/インド洋/クリスマス島/インド洋/ココス/インド洋/コモロ/インド洋/ケルゲレン諸島/インド洋/マヘー島/インド洋/モルディブ/インド洋/モーリシャス/インド洋/マヨット島/インド洋/レユニオン島/イラン/イスラエル/ジャマイカ/日本/クアジャリン/リビア/MET/MST/MST7MDT/メキシコ/バハノルテ/メキシコ/バハスル/メキシコ/中部/NZ/NZ-CHAT/ナヴァホ/PRC/PST8PDT/太平洋/アピア/太平洋/オークランド/太平洋/ブーゲンビル/太平洋/チャタム/太平洋/チューク/太平洋/イースター/太平洋/エファテ/太平洋/エンダベリー/太平洋/ファカオフォ/太平洋/フィジー/太平洋/フナフティ/太平洋/ガラパゴス/太平洋/ガンビア/太平洋/ガダルカナル/太平洋/グアム/太平洋/ホノルル/太平洋/ジョンストン/太平洋/カントン島/太平洋/キリティマティ島/太平洋/コスラエ島/太平洋/クアジャリン/太平洋/マジュロ/太平洋/マルケサス諸島/太平洋/ミッドウェー諸島/太平洋/ナウル/太平洋/ニウエ島/太平洋/ノーフォーク島/太平洋/ヌメア/太平洋/パゴパゴ/太平洋/パラオ/太平洋/ピトケルン島/太平洋/ポンペイ/太平洋/ポナペ島/太平洋/ポートモレスビー/太平洋/ラロトンガ島/太平洋/サイパン/太平洋/サモア/太平洋/タヒチ島/太平洋/タラワ島/太平洋/トンガタプ/太平洋/トラック諸島/太平洋/ウェーク島/太平洋/ワリーエフトゥーナ諸島/太平洋/ヤップ/ポーランド/ポルトガル/ROC/ROK/シンガポール/トルコ/UCT/米国/アラスカ/米国/アリューシャン/米国/アリゾナ/米国/中部/米国/東インディアナ/米国/東部/米国/ハワイ/米国/インディアナ/スターク/米国/ミシガン/米国/山岳部/米国/太平洋沿岸部/米国/サモア/UTC/ユニバーサル/W-SU/WET/ズールー

リストからタイムゾーンを選択します。

デフォルト値:

Etc/UTC

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Time OfficeHours Enabled

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

デバイスにOffィス アワーを設定すると、通常のOffィス アワー以外は、サイネージなどの常時Onの機能をOffにすることができます。これにより、画面が常にアクティブになることがなくなり、画面の寿命が長くなります。ほとんどの画面は、週 7 日間の終日使用は認定されていません。

使用方法:

```
xConfiguration Time OfficeHours Enabled: 有効
```

値は次のとおりです。

Enabled:

False/True

False: デバイスは、オフィスアワーをサポートするようにセットアップされていません。このため、他の OfficeHours 設定は効果がありません。

True: デバイスはOffィス アワーをサポートしています。他の OfficeHours 設定では、いつ勤務時間か、および勤務時間外のデバイス スタンバイ動作を設定します。

デフォルト値:

True

xConfiguration Time OfficeHours OutsideOfficeHours Standby AutoWakeup

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

Offィス時間外に室内でモーションを検出したときにデバイスがどのように応答するかを設定します。この設定に関係なく、誰かが使用を開始すると、デバイスは常にウェイクアップします。

使用方法:

```
xConfiguration Time OfficeHours OutsideOfficeHours Standby AutoWakeup:
AutoWakeup
```

値は次のとおりです。

自動ウェイクアップ:

無効/有効

無効: モーションを検出しても、デバイスはスタンバイ状態を維持します。

有効: モーションを検出すると、デバイスは通常どおり復帰します。

デフォルト値:

Disabled

xConfiguration Time OfficeHours OutsideOfficeHours Standby Delay

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

営業時間外、ディスプレイOffモードに入るまでのデバイスがアイドルモードでいる時間を指定します。

使用方法:

```
xConfiguration Time OfficeHours OutsideOfficeHours Standby Delay: Delay
```

値は次のとおりです。

遅延:

整数 (1..30)

デバイスがアイドル モードのままになる時間 (分) は、ディスプレイ Off モードに入る前です。

デフォルト値:

5

xConfiguration Time OfficeHours WorkDay End

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

通常のオフィスアワーが終了する時刻を設定します。

使用方法:

```
xConfiguration Time OfficeHours WorkDay End: "End"
```

値は次のとおりです。

End:

文字列 (5, 5)

"hh:mm" 形式の時刻で、hh は 00 から 23 までの 2 桁の時間 (am/pm はサポートされていません)、mm は 00 から 59 までの 2 桁の分を表します。

デフォルト値:

「19:00」

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Time OfficeHours WorkDay Start

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

通常のOffィス アワーを開始する時刻を設定します。

使用方法:

`xConfiguration Time OfficeHours WorkDay Start: "Start"`

値は次のとおりです。

Start:

文字列 (5, 5)

"hh:mm" 形式の時刻で、hh は 00 から 23 までの 2 桁の時間 (am/pm はサポートされていません)、mm は 00 から 59 までの 2 桁の分を表します。

デフォルト値:

「07:00」

xConfiguration Time OfficeHours WorkWeek Monday

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール:管理者

月曜日を稼働週とするかどうかを設定します。

使用方法:

`xConfiguration Time OfficeHours WorkWeek Monday: Monday`

値は次のとおりです。

月曜日:

False/True

False: 月曜日は稼働週に含まれません。

True: 月曜日が稼働週に含まれます。

デフォルト値:

True

xConfiguration Time OfficeHours WorkWeek Tuesday

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール:管理者

火曜日を稼働週にするかどうかを設定します。

使用方法:

`xConfiguration Time OfficeHours WorkWeek Tuesday: Tuesday`

値は次のとおりです。

火曜日:

False/True

False: 火曜日は稼働週に含まれません。

True: 火曜日が稼働週に含まれます。

デフォルト値:

True

xConfiguration Time OfficeHours WorkWeek Wednesday

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール:管理者

水曜日を稼働週とするかどうかを設定します。

使用方法:

`xConfiguration Time OfficeHours WorkWeek Wednesday: Wednesday`

値は次のとおりです。

水曜日:

False/True

False: 水曜日は稼働週に含まれません。

True: 水曜日が稼働週に含まれます。

デフォルト値:

True

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Time OfficeHours WorkWeek Thursday

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

木曜日を営業週とするかどうかを設定します。

使用方法:

`xConfiguration Time OfficeHours WorkWeek Thursday: Thursday`

値は次のとおりです。

Thursday:

False/True

False: 木曜日は稼働週に含まれません。

True: 木曜日が稼働週に含まれます。

デフォルト値:

True

xConfiguration Time OfficeHours WorkWeek Friday

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

金曜日を営業週とするかどうかを設定します。

使用方法:

`xConfiguration Time OfficeHours WorkWeek Friday: Friday`

値は次のとおりです。

金曜日:

False/True

False: 金曜日は稼働週に含まれません。

True: 金曜日が稼働週に含まれます。

デフォルト値:

True

xConfiguration Time OfficeHours WorkWeek Saturday

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

土曜日を稼働週とするかどうかを設定します。

使用方法:

`xConfiguration Time OfficeHours WorkWeek Saturday: Saturday`

値は次のとおりです。

土曜日:

False/True

False: 土曜日は稼働週に含まれません。

True: 土曜日を稼働週に含めます。

デフォルト値:

False

xConfiguration Time OfficeHours WorkWeek Sunday

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

日曜日を営業週とするかどうかを設定します。

使用方法:

`xConfiguration Time OfficeHours WorkWeek Sunday: Sunday`

値は次のとおりです。

日曜日:

False/True

False: 日曜日は稼働週に含まれません。

True: 日曜日が稼働週に含まれます。

デフォルト値:

False

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

ユーザーインターフェイス設定

xConfiguration UserInterface Accessibility IncomingCallNotification

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

視覚的に増幅された着信通知を有効にできます。画面とタッチ コントローラーが約 1 秒間隔 (1.75Hz) で赤/白に点滅し、聴覚障害者の方でも着信に気づきやすくなります。デバイスがすでに通話中の場合、進行中の通話を邪魔しないように、画面は点滅しません。代わりに、画面とタッチ パネルに通常の通知が表示されます。

使用方法:

```
xConfiguration UserInterface Accessibility IncomingCallNotification: IncomingCallNotification
```

値は次のとおりです。

着信通話通知:

AmplifiedVisuals/Default

AmplifiedVisuals: デバイスが通話を受信したときに、画面とタッチ パネル上で増幅されたビジュアルを有効にします。

デフォルト: 画面とタッチ パネル上の通知のデフォルトのビヘイビアを有効にします。

デフォルト値:

デフォルト

xConfiguration UserInterface Accessibility ScreenReader Default Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

デバイスがスタンバイ/ハーフウェイク状態になったときのスクリーン リーダー モードを構成します。

使用方法:

```
xConfiguration UserInterface Accessibility ScreenReader Default Mode: Mode
```

値は次のとおりです。

Mode:

現在/オフ/オン

現在: 「現在」に設定すると、デバイスがハーフウェイク/スタンバイ状態になっても何も起こりません。

オフ: デバイスがスタンバイ/ハーフウェイク状態になったときに、スクリーン リーダーをオフにします。

オン: デバイスがスタンバイ/ハーフウェイク状態になったときに、スクリーン リーダーをオンにします。

デフォルト値:

Off

xConfiguration UserInterface Accessibility ScreenReader Gesture

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

タッチ スクリーン デバイスで「スクリーン リーダーの切り替え」ジェスチャを有効または無効にすることができます。

使用方法:

```
xConfiguration UserInterface Accessibility ScreenReader Gesture: Gesture
```

値は次のとおりです。

ジェスチャー:

Off/On

オン: ジェスチャーでスクリーン リーダーを切り替えることができるようになります。有効にすると、「3 本の指で下にスワイプ」ジェスチャによってスクリーン リーダーがすぐに有効になり、「スクリーン リーダーが有効です」というメッセージが音声で通知されます。

オフ: ジェスチャーが無効になり、スクリーン リーダーが切り替わりません。

デフォルト値:

オン

xConfiguration ユーザインターフェースのアクセシビリティ スクリーンリーダーの速度

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

この設定は、スクリーン リーダーが有効になっているときに聞こえる音声の速度を制御します。デフォルト設定は 100 です。値を大きくすると音声速度が速くなり、小さくすると音声速度が遅くなります。

使用方法:

```
xConfiguration ユーザインターフェース アクセシビリティ スクリーンリーダー 速度: 速度
```

値は次のとおりです。

速度:

整数 (1..300)

音声出力の速度。

デフォルト値:

100

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration UserInterface Assistant Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

Webex Assistant では、音声コマンドを使用してデバイスをコントロールすることができます。Webex Assistant はクラウド サービスであるため、デバイスは Webex クラウド サービスに登録されているか、またはOnプレミス サービスに登録されており、デバイス用の Webex Edge にリンクされている必要があります。

この設定を使用して、デバイスの Webex Assistant を有効または無効にします。

使用方法:

```
xConfiguration UserInterface Assistant Mode: Mode
```

値は次のとおりです。

Mode:

Off/On

Off: Webex Assistant はOffになっています。

On: インフラストラクチャでサポートされている場合、Webex Assistant を使用できます。

デフォルト値:

オン

xConfiguration UserInterface Assistant ProactiveMeetingJoin

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

プロアクティブな参加は Webex Assistant が提供する機能です。「Proactive Join」が有効になっていて、OBTP ミーティングの開始直前に誰かが会議室にいるのを発見すると、デバイスは、まもなく開始されるミーティングに参加するかどうかを尋ねます。

この設定を使用して、デバイスのProactive Join機能を有効または無効にします。

使用方法:

```
xConfiguration UserInterface Assistant ProactiveMeetingJoin:
ProactiveMeetingJoin
```

値は次のとおりです。

ProactiveMeetingJoin:

False/True

False: Proactive JoinがOffになっています。

True: Webex Assistant がアクティブな場合、プロアクティブな参加機能を使用できます。

デフォルト値:

True

xConfiguration UserInterface Bookings AdhocBooking DefaultTitle

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

アドホックブッキングのミーティングのタイトルです。このタイトルは、ミーティングルームの外にある Room Navigator に表示されます。

使用方法:

```
xConfiguration UserInterface Bookings AdhocBooking DefaultTitle:
"DefaultTitle"
```

値は次のとおりです。

DefaultTitle:

文字列 (0, 32)

アドホックブッキングのデフォルトのタイトルです。

デフォルト値:

「アドホックミーティング」

xConfiguration ユーザインタフェースブッキング 臨時ブッキング TimeSlotSize

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

スケジュールブッキングのタイムスロットサイズを設定できます。タイムスロットサイズにより、ユーザが予約の開始または終了時間を選択できる既定の間隔 (15、30、60 分) が決まります。

使用方法:

```
xConfiguration UserInterface Bookings AdhocBooking TimeSlotSize: TimeSlotSize
```

値は次のとおりです。

TimeSlotSize:

15/30/60

予約の開始または終了時刻を選択するための既定の時間間隔 (分単位) を指定します。

デフォルト値:

30

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration UserInterface Bookings AdhocBooking UseDefaultTitle

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

臨時のミーティングをスケジュールする際に、デフォルトのミーティング タイトルを設定します。デフォルトのミーティングのタイトルは「臨時ミーティング」です。

使用方法:

```
xConfiguration UserInterface Bookings AdhocBooking UseDefaultTitle:
UseDefaultTitle
```

値は次のとおりです。

UseDefaultTitle:

False/True

True: 既定のタイトルを使用します。

False: デフォルトのタイトルを使用しません。

デフォルト値:

False

xConfiguration UserInterface Bookings Visibility AllDayMeetings

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ、USER

終日開催のミーティングを表示または非表示にします。

使用方法:

```
xConfiguration UserInterface Bookings Visibility AllDayMeetings:
AllDayMeetings
```

値は次のとおりです。

AllDayMeetings:

自動/非表示

自動: [終日] に設定されたミーティングを表示します。

非表示: 終日に設定されたミーティングを表示しません。

デフォルト値:

自動

xConfiguration UserInterface Bookings Visibility EarlyJoin

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

デバイスの [カレンダー] にある [参加] ボタンは、その日にスケジュールされているミーティングで使用できます。まだスケジュール時刻になっていない場合でも、このボタンは使用できます。早期参加が有効になっていない場合、スケジュールされた時刻の 5 分前に[参加 (Join)]ボタンが表示されます。これはミーティングのリマインダポップアップには反映されません。カレンダーのリストビューにのみ反映されます。

使用方法:

```
xConfiguration UserInterface Bookings Visibility EarlyJoin: EarlyJoin
```

値は次のとおりです。

早期参加:

自動/非表示

Auto: 早期参加が有効になっています。

非表示: 早期参加は有効ではなく、スケジュールされたミーティング時刻の 5 分前に [参加] ボタンが表示されます。

デフォルト値:

非表示

xConfiguration UserInterface Bookings Visibility NonJoinableMeetings

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ、USER

ワークスペースでミーティング参加情報なしのミーティングまたはその他のイベントを表示または非表示にします。

使用方法:

```
xConfiguration UserInterface Bookings Visibility NonJoinableMeetings:
NonJoinableMeetings
```

値は次のとおりです。

参加できないミーティング:

自動/非表示

自動: 参加できないミーティングまたはイベントを表示します。

非表示: 参加できないミーティングまたはイベントを非表示にします。

デフォルト値:

自動

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration UserInterface Bookings Visibility JoinedParticipants Avatars

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

ミーティングに参加している参加者のアバターをユーザインターフェイスに表示するかどうかを指定します。

使用方法:

```
xConfiguration UserInterface Bookings Visibility JoinedParticipants Avatars: Avatars
```

値は次のとおりです。

アバター:

自動/非表示

Auto: 参加者のアバターが表示されます。

非表示: 参加者のアバターは表示されません。

デフォルト値:

自動

xConfiguration UserInterface Bookings Visibility MeetingReminder

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

ミーティング開始前に、会議のリマインダーを画面に表示します。

使用方法:

```
xConfiguration UserInterface Bookings Visibility MeetingReminder: MeetingReminder
```

値は次のとおりです。

MeetingReminder:

すべて/コントローラのみ

すべて: リマインダは、デバイスの画面とタッチ コントローラーの両方に表示されます。

ControllerOnly: リマインダはタッチ コントローラーにのみ表示されます。

デフォルト値:

コントローラのみ

xConfiguration UserInterface Bookings Visibility Organizer

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

デバイスの画面にミーティングの開催者を表示します。

使用方法:

```
xConfiguration UserInterface Bookings Visibility Organizer: Organizer
```

値は次のとおりです。

開催者:

自動/非表示

Auto: ミーティングの開催者の名前がデバイスの画面に表示されます。

非表示: ミーティングの開催者名は非表示になります。

デフォルト値:

自動

xConfiguration UserInterface Bookings Visibility Personal FullDayCalendar

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

パーソナル モード デバイスで、現在アクティブなミーティングのみとは反対に、終日のミーティングを表示または非表示にします。

使用方法:

```
xConfiguration UserInterface Bookings Visibility Personal FullDayCalendar: FullDayCalendar
```

値は次のとおりです。

FullDayCalendar:

Off/On

オン: パーソナル モードのデバイスで終日カレンダーを表示します。

オフ: 現在アクティブなミーティングのみを表示します。

デフォルト値:

オン

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration UserInterface Bookings Visibility Personal NonJoinableMeetings

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

パーソナル モードのデバイスでミーティング参加情報なしのミーティングやその他のイベントを表示または非表示にします。

使用方法:

```
xConfiguration UserInterface Bookings Visibility Personal NonJoinableMeetings: NonJoinableMeetings
```

値は次のとおりです。

参加できないミーティング:

自動/非表示

自動: 参加できないミーティングを表示します。

非表示: 参加できないミーティングを非表示にします。

デフォルト値:

非表示

xConfiguration UserInterface Bookings Visibility TentativeMeetings

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

通常、開催予定のミーティングのリストが画面とタッチコントローラに表示されます。一覧に仮のミーティングを含めるかどうかを設定します。

使用方法:

```
xConfiguration UserInterface Bookings Visibility TentativeMeetings: TentativeMeetings
```

値は次のとおりです。

TentativeMeetings:

自動/非表示

Auto: 仮のミーティングは一覧に含まれます。

非表示: 仮ミーティングはリストに表示されません。

デフォルト値:

自動

xConfiguration UserInterface Bookings Visibility Title

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

ミーティングの詳細をプライベートに設定します。「スケジュール済みミーティング」がミーティングのタイトルとして表示されます。

使用方法:

```
xConfiguration UserInterface Bookings Visibility Title: Title
```

値は次のとおりです。

件名:

自動/非表示

Auto: ミーティングのタイトルが公開され、ユーザ インターフェイスに表示されます。

非表示: ミーティングのタイトルが非表示になり、「スケジュール済みミーティング」がユーザ インターフェイスに表示されます。

デフォルト値:

自動

xConfiguration UserInterface Branding AwakeBranding Colors

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

デバイスがブランディングのカスタマイズでセットアップされている場合、この設定は、デバイスが起動しているときに表示されるロゴの色に影響します。ロゴをフルカラーで表示するか、ロゴの不透明度を下げて背景や画面の他の要素に自然になじませるかを選択できます。

使用方法:

```
xConfiguration UserInterface Branding AwakeBranding Colors: Colors
```

値は次のとおりです。

色:

自動/ネイティブ

Auto: ロゴの不透明度が下げられます。

ネイティブ: ロゴはフルカラーになります。

デフォルト値:

自動

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration UserInterface CameraControl Presets Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

ユーザーによるカメラ プリセットの追加、変更、削除を許可するかどうかを選択します。許可されている場合は、ユーザ インターフェイスの [手動カメラ コントロール] パネルからプリセットを編集できます。

使用方法:

```
xConfiguration UserInterface CameraControl Presets Mode: Mode
```

値は次のとおりです。

Mode:

自動/ロック

Auto: ユーザーはカメラ プリセットを追加、変更、削除できます。

ロック済み: カメラのプリセットがロックされています。ユーザーはプリセットを使用できますが、追加、削除、変更はできません。

デフォルト値:

自動

xConfiguration UserInterface ContactInfo Type

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

ユーザインターフェイスに表示する連絡先情報のタイプを選択します。

使用方法:

```
xConfiguration UserInterface ContactInfo Type: Type
```

値は次のとおりです。

タイプ:

Auto/DisplayName/E164Alias/H323Id/IPv4/IPv6/None/SipUri/SystemName/WebexDisplayName

Auto:このビデオ デバイスに到達するために別のデバイスがダイヤルする必要があるアドレスを表示します。アドレスは、デフォルトの通話プロトコルとデバイス登録によって異なります。

なし: 連絡先情報を表示しません。

IPv4: デバイスの IPv4 アドレスを表示します。

IPv6: デバイスの IPv6 アドレスを表示します。

H323Id: デバイスの H.323 ID を表示します (H323Alias IDのH323設定を参照してください)。

E164Alias: デバイスの H.323 E164 エイリアスを連絡先情報として表示します (H323 H323Alias E164 設定を参照してください)。

SipUri: デバイスの SIP URI を表示します (SIP URI 設定を参照してください)。

SystemName: デバイスの名前を表示します ([システム名] 設定を参照してください)。

DisplayName: デバイスの表示名を表示します (SIP DisplayName 設定を参照してください)。

WebexDisplayName: Cisco Webex クラウド サービス内で表示されるユーザまたはデバイスの名前です。

デフォルト値:

自動

xConfiguration UserInterface CustomMessage

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

カスタム メッセージは、アウェイク モード中に画面の左下側に表示することができます。

使用方法:

```
xConfiguration UserInterface CustomMessage: "CustomMessage"
```

値は次のとおりです。

CustomMessage:

文字列 (0, 512)

カスタムメッセージを追加します。カスタムメッセージを削除するには、空の文字列を追加します。

デフォルト値:

「」

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration UserInterface DecemberThemeBeta

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

12 月中のみ、冬/季節のテーマを有効にします。

使用方法:

`xConfiguration UserInterface DecemberThemeBeta:` *DecemberThemeBeta*

値は次のとおりです。

DecemberThemeBeta:

Off/On

オン: テーマを有効にします。

オフ: テーマを無効にします。

デフォルト値:

Off

xConfiguration ユーザ インタフェース 端末 カスタマイズ QR コード 通知

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

これは、ホット デスキングでセットアップされたデバイスの右上隅に表示される通知です。これにより、ユーザは QR コード経由でデバイスにログインできます。

使用方法:

`xConfiguration UserInterface DevicePersonalization QRCodeNotification:` *QRCodeNotification*

値は次のとおりです。

QR コード通知:

Off/On

オフ: 通知はオフです。

オン: 通知はオンです。

デフォルト値:

オン

xConfiguration UserInterface Features Share MTRAutoSelectSource

適用対象: すべての製品

必要なユーザロール: ADMIN、INTEGRATOR、TOUCHUSER

ユーザが Microsoft Teams 会議室 (MTR) 通話の自動ソース選択をオフにできるようにします。

使用方法:

`xConfiguration ユーザインタフェース機能 MTRAutoSelectSource:`*MTRAutoSelectSource*

値は次のとおりです。

MTRAutoSelectSource:

Off/On

オン: Microsoft Teams 会議室 (MTR) 通話の自動ソース選択をオンにします。

オフ: Microsoft Teams 会議室 (MTR) 通話の自動ソース選択をオフにします。

デフォルト値:

オン

xConfiguration UserInterface InstantMeeting Invite

適用対象: すべての製品

必要なユーザロール: ADMIN、INTEGRATOR、TOUCHUSER

インスタント ミーティングの開始時に、参加者の追加 (ユーザーを招待) の機能がデバイスにどのように表示されるかを決定します。

使用方法:

`xConfiguration UserInterface InstantMeeting Invite:` *Invite*

値は次のとおりです。

招待:

手動追加/昇格

プロモート: 追加/招待の機能は、ミーティングを開始すると自動的に画面に表示されます。

手動追加: 追加/招待機能は、画面に自動的には表示されません。UI の通常の [追加] ボタンを使用する必要があります。

デフォルト値:

プロモート

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration ユーザインターフェース WallpaperFillMode

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

画面と壁紙のアスペクト比が異なる場合に、壁紙をどうするかを決定します。

使用方法:

`xConfiguration ユーザインターフェース WallpaperFillMode: WallpaperFillMode`

値は次のとおりです。

壁紙塗りつぶしモード:

Crop/Fit/Stretch

クロップ: 画面全体に表示されるように壁紙を拡大します。壁紙のアスペクト比は変更されないまま保持されるため、必要に応じて画像の上/下または左側/右側が切り取られます。

合わせる: 画像が画面に収まるように、壁紙を拡大または縮小します。壁紙のアスペクト比は変更されず、画面全体に黒い帯が上部/下部 (レターボックス) または側面 (ピラーボックス) に追加されます。

引き伸ばし: 画面全体に表示されるまで壁紙を引き伸ばします。必要に応じて壁紙のアスペクト比を変更します。

デフォルト値:

Crop

xConfiguration UserInterface CustomWallpaperOverlay

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

カスタム壁紙を使用する場合、背景画像をソフトにし、UI 要素によりフォーカスするために、透明な黒のオーバーレイを適用することを選択できます。

使用方法:

`xConfiguration UserInterface CustomWallpaperOverlay: CustomWallpaperOverlay`

値は次のとおりです。

カスタム壁紙オーバーレイ:

Off/On

Off: 透明な黒のオーバーレイを適用しません。

On: 透明な黒のオーバーレイを適用します。

デフォルト値:

オン

xConfiguration UserInterface Diagnostics Notifications

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

ユーザ インターフェイス上の診断通知を非表示または表示します。

使用方法:

`xConfiguration UserInterface Diagnostics Notifications: Notifications`

値は次のとおりです。

通知:

自動/非表示

Auto: 診断通知はユーザ インターフェイスに表示されます。

非表示: 診断通知はユーザ インターフェイスに表示されません。

デフォルト値:

自動

xConfiguration UserInterface Features Calendar Start

適用対象: すべての製品

必要なユーザロール: ADMIN、INTEGRATOR、TOUCHUSER

ユーザ インターフェイスにカレンダー ウィジェットを表示するかどうかを選択します。

使用方法:

`xConfiguration UserInterface Features Calendar Start: Start`

値は次のとおりです。

Start:

自動/非表示

Auto: ユーザ インターフェイス上にカレンダー ウィジェットを表示します。

非表示: ユーザ インターフェイス上にカレンダー ウィジェットを表示しません。

デフォルト値:

自動

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration UserInterface Features Call AudioMute

適用対象: すべての製品

必要なユーザロール: ADMIN、INTEGRATOR、TOUCHUSER

ユーザ インターフェイス上の既定の [ミュート/ミュート解除] ボタンの表示/非表示を選択します。

使用方法:

`xConfiguration UserInterface Features Call AudioMute: AudioMute`

値は次のとおりです。

音声ミュート:

自動/非表示

Auto: ユーザ インターフェイス上に [ミュート/ミュート解除] ボタンを表示します。

非表示: ユーザ インターフェイスに [ミュート/ミュート解除] ボタンは表示されません。

デフォルト値:

自動

xConfiguration UserInterface Features Call CameraControls

適用対象: すべての製品

必要なユーザロール: ADMIN、INTEGRATOR、TOUCHUSER

ユーザ インターフェイス (コントロール パネル) からカメラ コントロールを表示または非表示にします。この設定は、通話中と通話外の両方に適用されます。

使用方法:

`xConfiguration UserInterface Features Call CameraControls: CameraControls`

値は次のとおりです。

CameraControls:

自動/非表示

Auto: ユーザ インターフェイス上にカメラ コントロールを表示します。

非表示: ユーザ インターフェイスからカメラ コントロールを削除します。

デフォルト値:

自動

xConfiguration ユーザインターフェイス機能 通話終了

適用対象: すべての製品

必要なユーザロール: ADMIN、INTEGRATOR、TOUCHUSER

ユーザ インターフェイスから既定の [通話の終了] ボタンを削除するかどうかを選択します。この設定はボタンのみを削除し、機能自体はそのまま削除しません。

使用方法:

`xConfiguration UserInterface Features Call End: End`

値は次のとおりです。

End:

自動/非表示

Auto: ユーザ インターフェイス上にボタンを表示します。

非表示: ユーザ インターフェイスからボタンを削除します。

デフォルト値:

自動

xConfiguration UserInterface Features Call HdmiPassthrough

適用対象: RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザロール: ADMIN、INTEGRATOR、TOUCHUSER

タッチ コントローラーに [ラップトップから発信] ボタンを表示するかどうかを選択します。

HDMI パススルーおよびラップトップからの発信機能の詳細については、[ビデオ出力 HDMI パススルー可] 設定を参照してください。Room 55 Dual および Room 70 Dual では、ラップトップからの発信はサポートされていません。

使用方法:

`xConfiguration UserInterface Features Call HdmiPassthrough: HdmiPassthrough`

値は次のとおりです。

HdmiPassthrough:

自動/非表示

Auto: タッチ コントローラーにボタンを表示します。

非表示: タッチ コントローラーにボタンを表示しません。

デフォルト値:

自動

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration UserInterface Features Call JoinGoogleMeet

適用対象: すべての製品

必要なユーザロール: ADMIN、INTEGRATOR、TOUCHUSER

ユーザ インターフェイス上の Google Meet ボタンを表示または非表示にします。

このボタンにより、ユーザーは Google 招待によって生成されたミーティング コードを使用して Google Meet ミーティングにダイヤルインできます。

これは、Webex クラウド サービスに登録されているか、デバイスの Webex Edge にリンクされているデバイスでのみ利用できます。

使用方法:

`xConfiguration UserInterface Features Call JoinGoogleMeet: JoinGoogleMeet`

値は次のとおりです。

JoinGoogleMeet:

自動/非表示

Auto: ユーザ インターフェイス上にボタンを表示します。

非表示: ユーザ インターフェイスにボタンを表示しません。

デフォルト値:

自動

xConfiguration UserInterface Features Call JoinMicrosoftTeamsCVI

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

ユーザ インターフェイスの [Microsoft Teams] ボタンの CVI (Microsoft Cloud Video Interop) 機能を表示するか非表示にするかを構成します。

有効にすると、ユーザーは Microsoft Teams ボタンを使用して、ミーティング招待からビデオ会議 ID とパスコードを入力することにより、CVI 経由で Teams ミーティングに参加できます。無効になっている場合、Microsoft Teams ボタンは引き続き表示されますが、ビデオ ID の CVI 固有の入力画面は非表示になります。

この機能は、Webex クラウド サービスに登録されている、またはデバイス用の Webex Edge を通じて接続されているデバイスでのみ利用できます。

使用方法:

`xConfiguration UserInterface Features Call JoinMicrosoftTeamsCVI: JoinMicrosoftTeamsCVI`

値は次のとおりです。

JoinMicrosoftTeamsCVI:

自動/非表示

Auto: ユーザーがビデオ ID を入力できる Microsoft Teams ボタン上に CVI 機能を表示します。

非表示: [Microsoft Teams] ボタンに CVI 機能を表示しません。

デフォルト値:

非表示

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration UserInterface Features Call JoinMicrosoftTeamsDirectGuestJoin

適用対象: すべての製品

必要なユーザロール: ADMIN、INTEGRATOR、TOUCHUSER

ユーザ インターフェイスの [Microsoft Teams] ボタンのダイレクト ゲスト参加機能を表示するか非表示にするかを構成します。

有効にすると、ユーザーは Microsoft Teams ボタンを使用して、招待からミーティング ID を入力することで、直接ゲスト参加経由で Teams ミーティングに参加できます。無効になっている場合、Microsoft Teams ボタンは引き続き表示されますが、ミーティング ID を入力するための入力画面は非表示になります。

この機能は、Webex クラウド サービスに登録されている、またはデバイス用の Webex Edge を通じて接続されているデバイスでのみ利用できます。

使用方法:

```
xConfiguration UserInterface Features Call JoinMicrosoftTeamsDirectGuestJoin: JoinMicrosoftTeamsDirectGuestJoin
```

値は次のとおりです。

JoinMicrosoftTeamsDirectGuestJoin:

自動/非表示

Auto: ユーザーがミーティング ID を入力できるゲストダイレクト参加機能を表示します。

Microsoft Teams ボタンのダイレクト ゲスト参加機能を非表示にし、ユーザーがミーティング ID を入力できないようにします。

デフォルト値:

自動

xConfiguration UserInterface Features Call JoinZoom

適用対象: すべての製品

必要なユーザロール: ADMIN、INTEGRATOR、TOUCHUSER

ユーザ インターフェイス上の [ズーム] ボタンを表示または非表示にします。

このボタンを使用すると、ユーザーは ズーム招待によって生成されたミーティング コードを使用して、ズーム ミーティングにダイヤルインできます。

使用方法:

```
xConfiguration UserInterface Features Call JoinZoom: JoinZoom
```

値は次のとおりです。

JoinZoom:

自動/非表示

Auto: ユーザ インターフェイス上にボタンを表示します。

非表示: ユーザ インターフェイスからボタンを削除します。

デフォルト値:

非表示

xConfiguration UserInterface Features Call JoinWebex

適用対象: すべての製品

必要なユーザロール: ADMIN、INTEGRATOR、TOUCHUSER

ユーザ インターフェイス上の既定の Webex ボタンを表示または非表示にします。

このボタンにより、ユーザーは Webex ミーティング番号を使用して Webex ミーティングにダイヤルインすることができます。ドメインは必要ありません。ただし、これを機能させるには、インフラストラクチャをセットアップして、通話が *@webex.com にルーティングされるようにする必要があります。

使用方法:

```
xConfiguration UserInterface Features Call JoinWebex: JoinWebex
```

値は次のとおりです。

JoinWebex:

自動/非表示

Auto: ユーザ インターフェイス上にボタンを表示します。

非表示: ユーザ インターフェイスからボタンを削除します。

デフォルト値:

自動

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration ユーザインターフェイス機能 通話キーパッド

適用対象: すべての製品

必要なユーザロール: ADMIN、INTEGRATOR、TOUCHUSER

デフォルトの通話中キーパッド ボタンをユーザ インターフェイスから削除するかどうかを選択します。このボタンをクリックすると、DTMF 入力などに使用できるキーパッドが開きます。

使用方法:

```
xConfiguration UserInterface Features Call Keypad: Keypad
```

値は次のとおりです。

キーパッド:

自動/非表示

Auto: ユーザ インターフェイス上にボタンを表示します。

非表示: ユーザ インターフェイスからボタンを削除します。

デフォルト値:

自動

xConfiguration UserInterface Features Call LayoutControls

適用対象: すべての製品

必要なユーザロール: ADMIN、INTEGRATOR、TOUCHUSER

[レイアウト] ボタンを表示するかどうかを選択します。通話中、ユーザインターフェース上でデフォルトで利用可能です。

使用方法:

```
xConfiguration UserInterface Features Call LayoutControls: LayoutControls
```

値は次のとおりです。

レイアウト コントロール:

自動/非表示

Auto: ユーザ インターフェイス上にボタンを表示します。

非表示: ユーザ インターフェイスにボタンを表示しません。

デフォルト値:

自動

xConfiguration UserInterface Features Call MidCallControls

適用対象: すべての製品

必要なユーザロール: ADMIN、INTEGRATOR、TOUCHUSER

ほとんどの通話中オプションのボタンをユーザ インターフェイスから表示または非表示にするを選択してください。例えば、[保留]、[転送]、[再開] などがあります。

この設定はボタンのみを非表示にし、機能自体は削除しません。

使用方法:

```
xConfiguration UserInterface Features Call MidCallControls: MidCallControls
```

値は次のとおりです。

通話コントロール:

自動/非表示

Auto: ユーザ インターフェイス上にボタンを表示します。

非表示: ユーザ インターフェイスから削除ボタンを削除します。

デフォルト値:

自動

xConfiguration UserInterface Features Call MusicMode

適用対象: すべての製品

必要なユーザロール: ADMIN、INTEGRATOR、TOUCHUSER

ユーザ インターフェイス上のミュージック モードのトグル ボタンの表示または非表示を選択します。

使用方法:

```
xConfiguration UserInterface Features Call MusicMode: MusicMode
```

値は次のとおりです。

MusicMode:

自動/非表示

Auto: 進行中の通話でこの機能がサポートされている場合、ユーザ インターフェイス上に音楽モードのトグル ボタンが表示されます。

非表示: ミュージック モードのトグル ボタンはユーザ インターフェイスに表示されません。

デフォルト値:

非表示

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration UserInterface Features Call ParticipantList

適用対象: すべての製品

必要なユーザロール: ADMIN、INTEGRATOR、TOUCHUSER

[参加者 (Participants)] ボタンを表示するかどうかを選択します。通話中、ユーザインターフェース上でデフォルトで利用可能です。

使用方法:

```
xConfiguration UserInterface Features Call ParticipantList: ParticipantList
```

値は次のとおりです。

参加者リスト:

自動/非表示

Auto: *ユーザ インターフェイス上にボタンを表示します。*

非表示: ユーザ インターフェイスにボタンを表示しません。

デフォルト値:

自動

xConfiguration UserInterface Features Call SelfviewControls

適用対象: すべての製品

必要なユーザロール: ADMIN、INTEGRATOR、TOUCHUSER

ユーザ インターフェイス上にセルフビュー コントロールを表示するかどうかを選択します。

使用方法:

```
xConfiguration UserInterface Features Call SelfviewControls: SelfviewControls
```

値は次のとおりです。

SelfviewControls:

自動/非表示

Auto: *ユーザ インターフェイス上にセルフビュー コントロールを表示します。*

非表示: ユーザ インターフェイス上にセルフビュー コントロールを表示しません。

デフォルト値:

自動

xConfiguration UserInterface Features Call Start

適用対象: すべての製品

必要なユーザロール: ADMIN、INTEGRATOR、TOUCHUSER

ユーザ インターフェイス上のデフォルトの [発信] ボタン (ディレクトリ、お気に入り、最近の発信のリストを含む) およびデフォルトの通話中の参加者の追加ボタンの表示または非表示を選択します。この設定はボタンのみを非表示にし、機能自体は削除しません。

使用方法:

```
xConfiguration UserInterface Features Call Start: Start
```

値は次のとおりです。

Start:

自動/非表示

Auto: *ユーザ インターフェイス上にボタンを表示します。*

非表示: ユーザ インターフェイスから削除ボタンを削除します。

デフォルト値:

自動

xConfiguration UserInterface Features Call VideoMute

適用対象: すべての製品

必要なユーザロール: ADMIN、INTEGRATOR、TOUCHUSER

ユーザ インターフェイス上の既定の [ビデオをオフにする] ボタンの表示/非表示を選択します。

使用方法:

```
xConfiguration UserInterface Features Call VideoMute: VideoMute
```

値は次のとおりです。

VideoMute:

自動/非表示

Auto: *進行中の通話でこの機能がサポートされている場合、ユーザ インターフェイス上に [ビデオをOffにする] ボタンが表示されます。*

非表示: ユーザ インターフェイス上に [ビデオをOffにする] ボタンは表示されません。

デフォルト値:

自動

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration UserInterface Features Call Webcam

適用対象: RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ BoardPro BoardProG2

必要なユーザロール: ADMIN、INTEGRATOR、TOUCHUSER

タッチ コントローラーに [ラップトップから発信] ボタンを表示するかどうかを選択します。

使用方法:

```
xConfiguration UserInterface Features Call Webcam: Webcam
```

値は次のとおりです。

ウェブカメラ:

自動/非表示

Auto: タッチ コントローラーにボタンを表示します。

非表示: タッチ コントローラーにボタンを表示しません。

デフォルト値:

自動

xConfiguration UserInterface Features Files Start

適用対象: RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro BoardProG2

必要なユーザロール: ADMIN、INTEGRATOR、TOUCHUSER

ユーザ インターフェイスから既定の [ファイル] ボタンを削除するかどうかを選択します。[ファイル] ボタンは、内蔵または接続されたタッチスクリーンがあるデバイスでのみ利用できます。Room Kit Mini は Samsung Flip (Webex on Flip) で使用する必要があります。この設定はボタンのみを削除し、機能自体はそのまま削除しません。

この設定は、Webex クラウド サービスに登録されている、またはデバイス用の Webex Edge にリンクされているデバイスにのみ適用されます。

使用方法:

```
xConfiguration UserInterface Features Files Start: Start
```

値は次のとおりです。

Start:

自動/非表示

Auto: ユーザ インターフェイス上にボタンを表示します。
ユーザ インターフェイスからボタンを削除します。

デフォルト値:

自動

xConfiguration UserInterface Features HideAll

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: ADMIN、INTEGRATOR、TOUCHUSER

ユーザ インターフェイス上のすべてのボタンを非表示にする場合に選択します。
この設定はボタンのみを非表示にし、機能自体は削除しません。

使用方法:

```
xConfiguration UserInterface Features HideAll: HideAll
```

値は次のとおりです。

すべて非表示:

False/True

False: ユーザ インターフェイス上にすべての既定のボタンを表示します。

True: ユーザインターフェイスからすべての既定のボタンを削除します。

デフォルト値:

False

xConfiguration UserInterface Features Share MTRShareExperience

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: ADMIN、INTEGRATOR、TOUCHUSER

この構成により、Microsoft Teams 会議室 (MTR) と RoomOS の間で、MTR モードのデバイスでの共有エクスペリエンスを切り替えることができます。

使用方法:

```
xConfiguration UserInterface Features Share MTRShareExperience:
MTRShareExperience
```

値は次のとおりです。

MTR 共有エクスペリエンス:

Microsoft/RoomOS

Microsoft: 共有は MTR アプリケーションにより完全に管理されます。プレビューは、標準の動作とインターフェイスに従って、Microsoft Teams Rooms アプリ内で開始および表示されます。

RoomOS: 共有体験は Webex RoomOS によって管理されます。プレビューは Webex によって開始され、画面にオーバーレイされます。RoomOS は、マルチソース共有、マルチスクリーン構成、4K 解像度などの強化された機能を提供します。

デフォルト値:

RoomOS

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration UserInterface Features Share Start

適用対象: すべての製品

必要なユーザロール: ADMIN、INTEGRATOR、TOUCHUSER

通話中と通話外の両方で、コンテンツを共有およびプレビューするための既定の UI 要素をユーザ インターフェイスから削除するかどうかを選択します。この設定はボタンと UI 要素のみを削除し、機能自体は削除しません。Cisco Proximity または Cisco Webex アプリを使用してコンテンツを共有することは可能です。

使用方法:

```
xConfiguration UserInterface Features Share Start: Start
```

値は次のとおりです。

Start:

自動/非表示

Auto: ユーザ インターフェイス上にボタンと UI 要素を表示します。

非表示: ユーザ インターフェイスからボタンと UI 要素を削除します。

デフォルト値:

自動

xConfiguration UserInterface Features Whiteboard Start

適用対象: RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro BoardProG2

必要なユーザロール: ADMIN、INTEGRATOR、TOUCHUSER

ユーザ インターフェイスから既定のホワイトボード ボタンを削除するかどうかを選択します。[ホワイトボード] ボタンは、タッチ スクリーン内蔵または接続済みのデバイスでのみ利用できます。Room Kit Mini は Samsung Flip (Webex on Flip) で使用する必要があります。この設定はボタンのみを削除し、機能自体はそのまま削除しません。

この設定は、Webex クラウド サービスに登録されている、またはデバイス用の Webex Edge にリンクされているデバイスにのみ適用されます。

使用方法:

```
xConfiguration UserInterface Features Whiteboard Start: Start
```

値は次のとおりです。

Start:

自動/非表示

Auto: ユーザ インターフェイス上にボタンを表示します。

非表示: ユーザ インターフェイスからボタンを削除します。

デフォルト値:

自動

xConfiguration UserInterface Help Tips

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

ヘルプのヒントは、ユーザ インターフェイスからアクセスできます。有効にすると、ホーム画面にヒントボタンが表示されます。

使用方法:

```
xConfiguration UserInterface Help Tips: Tips
```

値は次のとおりです。

ヒント:

自動/非表示

Auto: ヘルプのヒントボタンを表示します。

非表示: [ヘルプ ヒント] ボタンを非表示にします。

デフォルト値:

自動

xConfiguration UserInterface HomeScreen Dashboard

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

ホーム画面から時計やミーティング リストなどの要素を削除するかどうかを選択します。

使用方法:

```
xConfiguration UserInterface HomeScreen Dashboard: Dashboard
```

値は次のとおりです。

Dashboard:

Off/On *[RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

On *[DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro BoardProG2]*

Off: ホーム画面の要素を削除します。

On: ホーム画面のすべての要素を保持します。

デフォルト値:

オン

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration ユーザインターフェース ホームスクリーン 周辺機器 WebApp AllowInsecureHttps

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

この構成で AllowInsecureHttps 設定が有効 (True に設定) になっており、WebEngine AllowInsecureHttps Add コマンドを使用してホストが明示的に許可リストに追加されている場合にのみ、自己署名証明書を提示する Web ページが表示されます。

使用方法:

```
xConfiguration UserInterface HomeScreen Peripherals WebApp
AllowInsecureHttps: AllowInsecureHttps
```

値は次のとおりです。

安全でない HTTPS を許可:

False/True

デフォルト値:

False

X 構成 ユーザインターフェイス ホーム画面 周辺機器 ウェブアプリの URL

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

Room Navigator で実行するウェブ アプリケーション (永続的なウェブ アプリ) の URL を設定します。アプリケーションは画面全体に表示され、ユーザーが閉じることはできません。

アプリがデバイスの API と対話する場合、[Security Xapi WebSocket ApiKey Allowed: True] を設定し、アプリをホストしているサーバーのドメイン名を [WebEngine Features Xapi Peripherals AllowedHosts Hosts] 設定の許可リストに追加します。

メモ: 永続的なウェブ アプリは、ネットワーク経由でデバイスとペアリングされている Room Navigator でのみ利用できます。

使用方法:

```
xConfiguration UserInterface HomeScreen Peripherals WebApp URL: "URL"
```

値は次のとおりです。

URL:

文字列 (0, 2048)

ウェブアプリケーションの URL です。

デフォルト値:

「」

xConfiguration UserInterface KeyTones Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

テキストまたは数字を入力するときに、キーボードクリックサウンド効果 (キートーン) を鳴らすようにデバイスを構成できます。

使用方法:

```
xConfiguration UserInterface KeyTones Mode: Mode
```

値は次のとおりです。

Mode:

Off/On

Off: キートーンの効果音はありません。

On: キートーンの効果音がOnになります。

デフォルト値:

Off *[DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro BoardProG2]*

On *[RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitQX CodecQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

xConfiguration UserInterface Kiosk Mode

適用対象: DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

キオスクモードでは、デバイスのホーム画面を、自分で主催および管理する自分のカスタム ウェブ アプリケーションに置き換えることができます。カスタムウェブアプリケーションの URL は、[ユーザーインターフェイスキオスク URL] 設定に追加する必要があります。たとえば、キオスクモードは、訪問者登録のためにデバイスをセットアップするレセプションエリアで使用され、施設の概要を提供したり、専門家サービスへの直通通話を許可したりできます。

キオスクモードがデバイスのウェブエンジンを使用しているため、キオスクモードを使用するには [ウェブエンジンモード] 設定が [On] になっている必要があります。発信を許可するには、WebEngine Features SipUrlHandler 設定も On にする必要があります。

使用方法:

```
xConfiguration ユーザインタフェース キオスクモード: モード
```

値は次のとおりです。

Mode:

Off/On

Off: デバイスは標準モードで動作します。

On: デバイスはキオスク モードでセットアップされます。

デフォルト値:

Off

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration UserInterface Kiosk URL

適用対象: DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

デバイスがキオスク モードでセットアップされているときに表示されるカスタム ウェブ アプリケーションの URL。ユーザーインターフェイスのキオスクモード設定も参照してください。

使用方法:

`xConfiguration UserInterface Kiosk URL: "URL"`

値は次のとおりです。

URL:

文字列 (0, 2048)

キオスクモードのウェブアプリケーションの URL です。

デフォルト値:

「」

xConfiguration UserInterface Language

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ユーザインターフェイスで使用される言語を選択します。言語がサポートされていない場合、既定の言語 (英語) が使用されます。

使用方法:

`xConfiguration ユーザインタフェース言語: 言語`

値は次のとおりです。

言語:

Arabic/Catalan/ChineseSimplified/ChineseTraditional/Czech/Danish/Dutch/English/EnglishUK/Finnish/French/FrenchCanadian/German/Hebrew/Hungarian/Italian/Japanese/Korean/Norwegian/Polish/Portuguese/PortugueseBrazilian/Russian/Spanish/SpanishLatin/Swedish/Turkish/Ukrainian

リストから言語を選択します。

デフォルト値:

英語

xConfiguration UserInterface LedControl Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

Room Navigator の壁掛けバージョンには LED ライトが付いています。コントロール方法を設定することができます。

使用方法:

`xConfiguration UserInterface LedControl Mode: Mode`

値は次のとおりです。

Mode:

Auto/Manual/Off

Auto: ビデオ デバイスは、通常、会議室の予約状況に基づいて、自動的に LED ライトを制御します (例えば、緑: 会議室は利用可能、赤: 会議室は使用中)。UserInterface LedControl Color Set Color コマンドは効果がありません。

Manual: LED ライトの制御と色の設定には、UserInterface LedControl Color Set Color コマンドを使用します。

Off: LED ライトが完全にOffになります。

デフォルト値:

自動

xConfiguration UserInterface LedControl OutsideOfficeHours

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

Offィス時間外にディスプレイがスタンバイ モードになったときの LED ストリップの動作を制御します。既定では、ディスプレイがOffになっている場合でも、LED ストリップはアクティブになっており、在室状況を表示します。

使用方法:

`xConfiguration UserInterface LedControl OutsideOfficeHours: OutsideOfficeHours`

値は次のとおりです。

OutsideOfficeHours:

Off/On

Off: Offィス時間外にディスプレイがスタンバイモードになると、LED ストリップは無効になります。

On: ディスプレイがOffの場合でも、LED ストリップはアクティブで、占有状況を示します。

デフォルト値:

オン

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration UserInterface LiveAnnotation AvailabilityForPresenter

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

プレゼンタが、コンテンツ共有フローを中断することなく、ミーティングの画面共有に注釈することを許可します。この機能は、タッチスクリーンがある場合にのみ適用されます。他のユーザーが共有しているホワイトボードの共同注釈は、Webex (統合型)ミーティング、Webex クラウドサービスに登録されている、またはデバイスが Webex Edge にリンクされているデバイスでのみ利用できます。

使用方法:

`xConfiguration UserInterface LiveAnnotation AvailabilityForPresenter: AvailabilityForPresenter`

値は次のとおりです。

AvailabilityForPresenter:

Always/MultiPlayerSupportedByCall

常時: プレゼンタは常にライブ注釈を利用できます。

MultiPlayerSupportedByCall: ライブ注釈は、複数参加者 (または双方向) 注釈をサポートする通話でのみ有効です。これにより、プレゼンタは、自分の共有コンテンツか他のユーザーの共有コンテンツかに関係なく、共有コンテンツに共同で注釈を付けることができます。これは、1 対 1 の通話には適用されません。

デフォルト値:

常に

xConfiguration UserInterface LiveAnnotation Enabled

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

ライブ注釈機能を使用すると、ユーザーは、コンテンツ共有のフローを中断することなく、通話中または通話外でも画面共有に対して注釈を付けることができます。この機能は、タッチスクリーンがある場合にのみ適用されます。他のユーザーが共有しているホワイトボードの共同注釈は、Webex (統合型)ミーティング、Webex クラウドサービスに登録されている、またはデバイスが Webex Edge にリンクされているデバイスでのみ利用できます。

この設定を使用して、コンテンツへのライブ注釈を許可するかどうかを決定します。

使用方法:

`xConfiguration UserInterface LiveAnnotation Enabled: Enabled`

値は次のとおりです。

Enabled:

False/True

False: ライブ注釈を作成できません。フローティング ツールバーの注釈ボタンには、[コンテンツをポイントして注釈を付ける] オプションがありません。[スクリーンショットに注釈を付ける] オプションは、この設定による影響を受けません。

True: ライブ注釈を作成できます。フローティング ツールバーの注釈ボタンをタップして開始し、それから [コンテンツをポイントして注釈する] オプションを選択します。

デフォルト値:

True

xConfiguration UserInterface LiveAnnotation EnabledOutOfCall

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

この設定を使用して、通話以外のコンテンツでライブ注釈を許可するかどうかを決定します。この機能は、タッチスクリーンがある場合にのみ適用されます。他のユーザーが共有しているホワイトボードの共同注釈は、Webex (統合型)ミーティング、Webex クラウドサービスに登録されている、またはデバイスが Webex Edge にリンクされているデバイスでのみ利用できます。

使用方法:

`xConfiguration UserInterface LiveAnnotation EnabledOutOfCall: EnabledOutOfCall`

値は次のとおりです。

EnabledOutOfCall:

False/True

False: 通話中以外でライブ注釈を作成することはできません。

True: 通話中にライブ注釈を付けることができる。

デフォルト値:

True

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration UserInterface MeetingJoin CVITenants

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

デバイスが CVI (Cloud Video Interop) を使用するようにセットアップされている場合、Microsoft Teams ミーティングに使用されるデフォルトのホスト名/テナント キーを設定します。ミーティングを主催する組織を識別するこのホスト名がビデオ会議 ID と組み合わされて、ミーティングの完全な SIP URI が生成されます。

次の例では、ビデオ会議 ID は 123456 です。UserInterface MeetingJoin CVITenants が「tenant@m.webex.com」に設定されている場合、URI は 123456.tenant@m.webex.com になります。UserInterface MeetingJoin CVITenants が「vc.example.com」に設定されている場合、URI は 123456@vc.example.com になります。

使用方法:

`xConfiguration UserInterface MeetingJoin CVITenants: "CVITenants"`

値は次のとおりです。

CVITenants:

文字列 (0, 255)

有効なホスト名/テナント キー。

デフォルト値:

「」

xConfiguration UserInterface MuteWarning

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

マイクがミュートされている間に話し始めた場合に、画面に警告を表示するかどうかを選択します。

使用方法:

`xConfiguration UserInterface MuteWarning: MuteWarning`

値は次のとおりです。

ミュート警告:

無効/有効

無効: ミュートの警告を表示しません。

Enabled: ミュートの警告を表示します。

デフォルト値:

[有効 (Enabled)]

xConfiguration UserInterface NameAndSiteLabels Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

ミーティングでリモート参加者のすべての名前とサイトラベルを非表示にするようにデバイスを設定できます。

使用方法:

`xConfiguration UserInterface NameAndSiteLabels Mode: Mode`

値は次のとおりです。

Mode:

自動/非表示

Auto: 名前とサイトのラベルを表示します。

非表示: 名前とサイトのラベルを非表示にします。

デフォルト値:

自動

xConfiguration UserInterface OSD EncryptionIndicator

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

ミーティングの開始時に、画面に「暗号化された通話」/「暗号化されていない通話」通知を表示するかどうかを定義します。この設定に関係なく、画面 (右上角) をタップするか、コントローラ (上部) をタッチすると、[セキュリティ] (青い盾) でいつでも暗号化に関する情報を確認できます。

この設定は Webex および WebRTC 通話には適用されません。

使用方法:

`xConfiguration ユーザインターフェース OSD EncryptionIndicator: EncryptionIndicator`

値は次のとおりです。

暗号化インジケータ:

常時オフ/常時オン/自動

Auto: 通話が暗号化されている場合、「暗号化された通話」通知が 5 秒間表示されます。通話が暗号化されていない場合、「通話は暗号化されていません」という通知が 5 秒間表示されます。

常時On: 通話が暗号化されている場合、「通話は暗号化されました」という通知が 5 秒間表示されます。通話が暗号化されていない場合、「通話は暗号化されていません」という通知が 5 秒間表示されます。

AlwaysOff: 「通話が暗号化されています」/「通話が暗号化されていません」の通知は画面に一切表示されません。

デフォルト値:

自動

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration UserInterface OSD HalfwakeMessage

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

デバイスがハーフウェイク状態の場合、カスタム メッセージをメイン画面の中央に表示できます。カスタムメッセージにより、デバイスの使用を開始するための手順が記載されている既定のメッセージが置き換えられます。カスタムメッセージを追加せずに、既定のメッセージを削除することもできます。

使用方法:

`xConfiguration UserInterface OSD HalfwakeMessage: "HalfwakeMessage"`

値は次のとおりです。

ハーフウェイクメッセージ:

文字列 (0, 128)

カスタムメッセージです。空の文字列: 既定のメッセージを復元します。スペースのみ: メッセージは一切表示されません。

デフォルト値:

「」

xConfiguration UserInterface OSD Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

クリーンなビデオ ストリームを出力するデバイスを設定できます。これはブロードキャストモードと呼ばれます。 このモードでは、インジケータ、通知、および制御が削除されます。このモードは主に、視聴者にビデオを渡すだけのブロードキャストおよび録画サービスに適しています。

使用方法:

`xConfiguration ユーザインタフェース OSD モード: モード`

値は次のとおりです。

Mode:

自動/障害物なし

Auto: インジケータ、通知、コントロールがビデオ ストリームに含まれます (通常モード)。

表示物なし: インジケータ、通知、コントロールは、ビデオストリームから削除されます (ブロードキャスト モード)。名前ラベルは削除されません。

デフォルト値:

自動

xConfiguration UserInterface OSD Output

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

画面上の情報およびインジケータの表示に使用するモニタを指定します。これがOnスクリーンディスプレイ(OSD)です。

使用方法:

`xConfiguration UserInterface OSD Output: Output`

値は次のとおりです。

出力:

1 *[Room55 DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro BoardProG2]*

1/2/3/自動 *[RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

1/2/自動 *[RoomKit RoomBar CodecPlus Room70/Room55D]*

自動 *[RoomKitMini]*

Auto: 内蔵画面を備えたデバイスの場合、画面上の情報とインジケーターが内蔵画面に送信されます。デバイスに 2 つの内蔵画面がある場合、左側の画面が使用されます。

内蔵画面がないデバイスの場合、デバイスはスクリーンがビデオ出力に接続されると検出し、接続された最初のスクリーンに画面上の情報とインジケータを送信します。マルチスクリーン設定があり、デバイスの電源を入れる前にすべてのスクリーンが接続されている場合、画面上の情報とインジケータは、出力コネクタ 1 (HDMI 1) から始まる最小の番号のビデオ出力に送信されます。

1..n: デバイスは画面上の情報とインジケータを指定された出力先に送信します。N を選択して、画面上の情報とインジケータをデバイスの出力コネクタ n に送信します。

統合型スクリーンを持つデバイスでは、最も小さい番号が統合型スクリーンを示します。

デフォルト値:

1 *[Room55 DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro BoardProG2]*

Auto *[RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration UserInterface Phonebook DefaultSearchFilter

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

ディレクトリで名前を検索する場合、すべてを検索したり、フィルターをかけてユーザまたは会議室のみを含めたりできます。これは、Webex クラウド サービスに登録されているか、デバイスの Webex Edge にリンクされているデバイスでのみ利用できます。

使用方法:

```
xConfiguration UserInterface Phonebook DefaultSearchFilter:
DefaultSearchFilter
```

値は次のとおりです。

DefaultSearchFilter:

すべて/ユーザ/会議室

すべて: 検索結果には人々と会議室の両方が含まれます。

人々: 検索結果には人々のみが含まれます。

会議室: 検索結果には会議室のみが含まれます。

デフォルト値:

すべて (All)

xConfiguration UserInterface Phonebook Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

この設定では、ユーザーがデバイスのユーザ インターフェイスからディレクトリおよびお気に入りリスト中の連絡先を追加または変更できるかどうかを決定します。

使用方法:

```
xConfiguration UserInterface Phonebook Mode: Mode
```

値は次のとおりです。

Mode:

ReadOnly/ReadWrite

読み取り専用: 発信前に、連絡先をお気に入りリストに追加したり、お気に入りリストの連絡先を編集したり、ディレクトリまたはお気に入りリストの連絡先を編集することはできません。

読み書き: 発信前に、連絡先を [お気に入り] リストに追加したり、[お気に入り] リストの連絡先を編集したり、ディレクトリまたはお気に入りリストの連絡先を編集したりすることができます。

デフォルト値:

ReadWrite

xConfiguration UserInterface Proximity Notifications

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

ユーザ インターフェイス上の近接通信通知の表示を構成します。

使用方法:

```
xConfiguration UserInterface Proximity Notifications: Notifications
```

値は次のとおりです。

通知:

Auto/Off/オン

Auto: 近接通信通知をいつ表示するかをシステムに自動的に決定させます。

Off: 近接性の通知はユーザーインターフェースに表示されません。

On: プロキシミティ通知はユーザーインターフェースに表示されません。

デフォルト値:

自動

xConfiguration UserInterface RoomScheduler AmbientTemperature Show

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

この設定は、ルーム ナビゲータが会議室予約デバイスとしてセットアップされている場合に適用されます (スケジューラ モードとも呼ばれます)。Room Navigator は、接続されているデバイスから利用可能な場合、室内の温度を表示する場合があります。この設定を使用して、表示するかどうかを決定します。

使用方法:

```
xConfiguration UserInterface RoomScheduler AmbientTemperature Show: Show
```

値は次のとおりです。

表示:

Auto/Hidden/ShowCelsius/ShowFahrenheit

Auto: 温度を摂氏と華氏の両方で表示します。

非表示: 温度を表示しません。

ShowCelcius: 摂氏を表示する

ShowFahrenheit: 華氏を表示する

デフォルト値:

自動

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration UserInterface RoomScheduler DevicePersonalization QRCodePairing

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

室内でペアリングされたデバイスでホットデスキングが有効な場合、会議室の予約ナビゲータは、室外からログインするために使用できる QR コードを表示できます。この機能により、ホット デスキング シナリオでのユーザーのサインインが容易になります。

使用方法:

```
xConfiguration UserInterface RoomScheduler DevicePersonalization
QRCodePairing: QRCodePairing
```

値は次のとおりです。

QRCodePairing:

Off/On

Off: 会議室予約ナビゲータでの QR コード表示を無効にします。

On: 会議室の予約ナビゲータで QR コードの表示を有効にし、ユーザーが会議室の外からログインできるようにします。

デフォルト値:

オン

xConfiguration UserInterface RoomScheduler Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

この設定は、ルーム ナビゲータが会議室予約デバイスとしてセットアップされている場合に適用されます (スケジューラ モードとも呼ばれます)。Room Navigator の動作モードを設定し、デバイスが会議室のスケジュール情報を表示および管理する方法を決定します。

使用方法:

```
xConfiguration ユーザインタフェース RoomScheduler モード: モード
```

値は次のとおりです。

Mode:

自動/CalendarOnly/RoomInUseOnly

Auto: 必要に応じてカレンダー イベントと会議室の使用状況の両方を表示します。

CalendarOnly: カレンダーベースのスケジュール情報のみを表示し、会議室の使用状況は統合しません。

RoomInUseOnly: カレンダーイベントを表示せずに、会議室の使用状況のみを表示します。

デフォルト値:

自動

xConfiguration UserInterface RoomScheduler PeopleCount Current

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

この設定は、ルーム ナビゲータが会議室予約デバイスとしてセットアップされている場合に適用されます (スケジューラ モードとも呼ばれます)。 Room Navigator は、接続されているデバイスで情報を利用できる場合、現在会議室にいる人々の数を表示する場合があります。この設定を使用して、この情報を表示するかどうかを決定します。

使用方法:

```
xConfiguration UserInterface RoomScheduler PeopleCount Current: Current
```

値は次のとおりです。

現在:

自動/非表示

Auto: 人数を表示します。

非表示: 人数を表示しません。

デフォルト値:

自動

xConfiguration UserInterface RoomStatusMenu Visibility

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

この設定により、ユーザ インターフェイスの左上メニューを表示または非表示にできます。

使用方法:

```
xConfiguration UserInterface RoomStatusMenu Visibility: Visibility
```

値は次のとおりです。

表示設定:

自動/非表示

Auto: 左上のメニューが表示されます。

非表示: 左上のメニューが非表示です。

デフォルト値:

自動

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration UserInterface ScreenLock Policy

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

デバイスに PIN ロックの設定を強制するかどうかを選択します。ロックモードでは、緊急通話と重要な通知の受信 (詳細は表示されない) のみが利用できます。

この設定は、パーソナル モードの Board、Desk、Room シリーズ デバイスと共有モードの Desk シリーズ デバイスに適用されます。デバイスは Webex クラウド サービスに登録されているか、デバイス用の Webex Edge にリンクされている必要があります。

使用方法:

```
xConfiguration UserInterface ScreenLock Policy: Policy
```

値は次のとおりです。

ポリシー:

強制/任意

強制: デバイスを使用する前に、PIN ロックを設定する必要があります。共有モードのデバイスでは、これは UserInterface ScreenLock Workspace Allowed 設定が True の場合にのみ適用されます。

オプション: ユーザーは、パーソナル デバイスに PIN ロックを設定するかどうかを決定できます。共有モードのデバイスでは、[ユーザ インターフェイスの画面ロック] [ワークスペースの許可] 設定が True の場合にのみ、PIN ロックを設定できます。

デフォルト値:

任意

xConfiguration UserInterface ScreenLock Workspace Allowed

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

ユーザーがデバイスに PIN ロックを追加できるかどうかを選択します。パーソナル モードのデバイスでは常に PIN ロックを追加できるため、この設定は共有モードのデバイスにのみ適用されます。

デバイスの PIN ロックの設定を開始する方法については、UserInterface ScreenLock AdminInitiateRecovery コマンドを参照してください。

使用方法:

```
xConfiguration UserInterface ScreenLock Workspace Allowed: Allowed
```

値は次のとおりです。

許可:

False/True

False: ユーザーは PIN ロックを追加できません。

True: ユーザーは PIN ロックを追加できます。

デフォルト値:

False

xConfiguration ユーザインタフェースセキュリティモード

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

この設定により、ユーザ インターフェイスの左上のドロップダウン メニューから連絡先情報を非表示にすることができます。ただし、これにより、コントロール パネル (右からスワイプするか、ユーザ インターフェイスの右上角にあるアイコンをタップ) から開くことができる [デバイス設定] パネルの詳細が非表示になることはありません。

デバイス設定を保護し、ユーザ インターフェイスから情報を非表示にする方法の詳細については、UserInterface SettingsMenu ModeおよびUserInterface SettingsMenu Visibilityを参照してください。

使用方法:

```
xConfiguration UserInterface Security Mode: Mode
```

値は次のとおりです。

Mode:

ふつう/強い

標準: ドロップダウンメニューに連絡先情報が表示されます。

強力: ドロップダウン メニューに連絡先情報が表示されません。

デフォルト値:

標準

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration ユーザーインタフェース設定メニューモード

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

コントロール パネル (右からスワイプするか、ユーザー インターフェイスの右上角にあるアイコンをタップ) から開くことができる [デバイス設定] パネルは、デバイスの管理者パスワードで保護できます。パスワードで保護されていない場合、誰でもこれらの設定にアクセスでき、デバイスを工場出荷時状態にリセットできます。パスワードで保護されている場合、認証が必要なすべての設定に南京錠のアイコンが表示されます。

ユーザー インターフェイスからコントロール パネル (デバイス設定パネルを含む) を削除する場合は、[ユーザー インターフェイスの設定] メニューの [可視性] を参照してください。

使用方法:

`xConfiguration UserInterface SettingsMenu Mode: Mode`

値は次のとおりです。

Mode:

ロック/ロック解除

ロック済み: [デバイス設定] にアクセスするには、管理者のユーザー名とパスフレーズでサインインする必要があります。

ロック解除済み: すべてのユーザーがデバイス設定にアクセスできます。

デフォルト値:

ロック解除済み

xConfiguration UserInterface SettingsMenu Visibility

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

この設定により、ユーザー インターフェイスからコントロール パネル (デバイス設定パネルを含む) を削除することができます。

パスワードでデバイス設定を保護する場合は、ユーザインターフェイス設定メニューモードを参照してください。

使用方法:

`xConfiguration UserInterface SettingsMenu Visibility: Visibility`

値は次のとおりです。

Visibility:

自動/非表示

Auto: コントロール パネルは、右からスワイプするか、ユーザ インターフェイスの右上角にあるアイコンをタップすると開きます。

非表示: コントロール パネルがユーザー インターフェイスから削除されます。

デフォルト値:

自動

xConfiguration UserInterface SoundEffects Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

例えば、Proximityを通じてラップトップやモバイルが接続されたときに、効果音が鳴るようにデバイスを設定できます。

テキスト入力時のキーボードクリック音は、この設定の影響を受けません (ユーザーインターフェイスのキートーンモードの設定を参照してください)。

使用方法:

`xConfiguration UserInterface SoundEffects Mode: Mode`

値は次のとおりです。

Mode:

Off/On

Off: 効果音がありません。

On: 効果音がOnになっています。

デフォルト値:

オン

xConfiguration ユーザインタフェースのテーマ名

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ユーザ インターフェイスのテーマを変更します。

この構成は将来変更されるか、置き換えられる可能性があることに注意してください。

使用方法:

`xConfiguration UserInterface Theme Name: Name`

値は次のとおりです。

名前:

アークティックナイト/オート/カーボンブラック/チリプラム/クリスタルミスト/イブニングフィヨルド/ファーストライト/フォギームーア/ライト/メドウストーン/ナイト/ペブルショール/ポピーブリーズ/サンドショール/スモークローズ

Auto: デフォルト設定を使用し、システムに最適な設定を判断させます。

ライト:「ライト」背景テーマを使用します。

夜間:「夜間」の背景テーマを使用します。

デフォルト値:

自動

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration ユーザインターフェイスの壁紙

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

アイドル時のビデオ画面の背景画像 (壁紙) を選択します。
ウェブ インターフェイスを使用して、デバイスにカスタムの壁紙をアップロードすることができます。
次のファイル形式がサポートされています: JPEG、PNG。
ファイルサイズの上限は 8M バイトです。

使用方法:

`xConfiguration ユーザインターフェースの壁紙: 壁紙`

値は次のとおりです。

壁紙:

自動/カスタム/なし

Auto: デフォルトの壁紙を使用します。
なし: 画面の背景画像はありません。
カスタム: 画面の背景画像としてカスタム壁紙を使用します。
デバイスにカスタム壁紙がアップロードされていない場合、設定はデフォルト値に戻ります。

デフォルト値:

自動

xConfiguration UserInterface WebcamOnlyMode

適用対象: RoomKitMini

必要なユーザーロール: 管理者

このソフトウェアバージョンには適用できません。

使用方法:

`xConfiguration UserInterface WebcamOnlyMode: WebcamOnlyMode`

値は次のとおりです。

WebcamOnlyMode:

Auto/Off

デフォルト値:

自動

xConfiguration UserInterface Whiteboard ActivityIndicators

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

アクティビティインジケータを使用すると、コール中にだれが描画し、注釈を付けているかを確認できます。
参加者のアバターまたはデバイスのイニシャルがホワイトボードを操作しているときに表示されるため、描画や注釈をしている人を追跡することができます。
クラウド登録済みデバイスにのみ適用されます。

使用方法:

`xConfiguration UserInterface Whiteboard ActivityIndicators: ActivityIndicators`

値は次のとおりです。

アクティビティ インジケータ:

Off/On

On: アクティビティインジケータを有効にします。
Off: アクティビティインジケータを無効にします。

デフォルト値:

オン

xConfiguration ユーザ インターフェース ホワイトボードの削除

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

ホワイトボード アプリとファイル アプリの両方で、ユーザ インターフェイスからホワイトボードを削除するオプションを非表示にするかどうかを選択します。これはホワイトボード自体の削除を無効にするものではなく、UI からボタンを削除するだけです。xAPI (Files Delete コマンド) は引き続き使用できます。

使用方法:

`xConfiguration UserInterface Whiteboard Deletion: Deletion`

値は次のとおりです。

削除:

自動/非表示

Auto: ユーザインターフェイス上に削除ボタンを表示します。
非表示: ユーザ インターフェイスから削除ボタンを削除します。

デフォルト値:

自動

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration UserInterface Whiteboard ShareInCall

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ

ユーザ インターフェイス (通話アプリおよびホワイトボード アプリ) からの通話で、既存のホワイトボードを共有するオプションを非表示にするかどうかを選択します。これは、別のデバイスからの通話でホワイトボードが共有されるのを防ぎませんし、API からの通話でホワイトボードの共有を無効にしません。

使用方法:

`xConfiguration UserInterface Whiteboard ShareInCall: ShareInCall`

値は次のとおりです。

ShareInCall:

自動/非表示

Auto: UI に [共有] ボタン (通話中の共有オプション) を表示します。

Hidden: UI から [共有 (Share)] ボタン (通話中の共有オプション)を削除します。そのため、UI から通話中にホワイトボードを共有するオプションを削除します。

デフォルト値:

自動

UserManagement 設定

xConfiguration UserManagement LDAP Admin Filter

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

LDAP フィルターは、どのユーザーに管理者権限を与えるかを決定するために使用されます。

LDAP 管理者グループまたは LDAP 管理者フィルターのいずれかを常に設定する必要があります。LDAP 管理フィルターが優先されるため、ユーザ管理 LDAP 管理フィルターが設定されている場合、ユーザ管理 LDAP 管理グループ設定は無視されます。

使用方法:

`xConfiguration UserManagement LDAP Admin フィルタ: 「フィルタ」`

値は次のとおりです。

フィルタ:

文字列 (0, 1024)

この文字列の構文については LDAP 仕様を参照してください。例: "(|(memberof=CN=admin group, OU=company groups, DC=company, DC=com) (sAMAccountName=username))"

デフォルト値:

「」

xConfiguration UserManagement LDAP Admin Group

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

このグループのメンバーには管理者アクセスが与えられます。この設定は、(メンバー:1.2.840.113556.1.4.1941:=<グループ名>) の短縮形です。

LDAP 管理者グループまたは LDAP 管理者フィルタのいずれかを常に設定する必要があります。LDAP 管理フィルターが優先されるため、ユーザ管理 LDAP 管理フィルターが設定されている場合、ユーザ管理 LDAP 管理グループ設定は無視されます。

使用方法:

`xConfiguration UserManagement LDAP Admin Group: "Group"`

値は次のとおりです。

グループ:

文字列 (0, 255)

グループの識別名。例: "CN=管理者グループ、OU=会社グループ、DC=会社、DC=com"

デフォルト値:

「」

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration ユーザ管理 LDAP 属性

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

指定されたユーザ名にマッピングするために使用される属性。設定されていない場合、sAMAccountName が使用されます。

使用方法:

```
xConfiguration UserManagement LDAP Attribute: "Attribute"
```

値は次のとおりです。

属性:

文字列 (0, 255)

属性名です。

デフォルト値:

「」

xConfiguration UserManagement LDAP BaseDN

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

検索を開始するエントリーの識別名 (ベース) です。

使用方法:

```
xConfiguration UserManagement LDAP BaseDN: "BaseDN"
```

値は次のとおりです。

ベース DN:

文字列 (0, 255)

ベースを区別する名前です。例: "DC=company, DC=com"

デフォルト値:

「」

xConfiguration ユーザ管理 LDAP バインド DN

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

これらの資格情報を使用して LDAP サーバーにログインすることでユーザーの完全 DN (識別名) を検索し、その DN をグループ検索に使用します。ルックアップは、ユーザーのログイン名と「属性」構成アイテムの値の照合に基づいて行われます。ユーザ管理 LDAP メンバー属性設定を参照してください。

使用方法:

```
xConfiguration UserManagement LDAP BindDN: "BindDN"
```

値は次のとおりです。

BindDN:

文字列 (0, 255)

ユーザーの完全 DN (識別名) 。

デフォルト値:

「」

xConfiguration UserManagement LDAP BindPassword

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

UserManagement LDAP BindDN 設定で定義されたユーザーに関連付けられたパスワード。このパスワードは Webex クラウドに送信されず、クラウドからプロビジョニングできません。

使用方法:

```
xConfiguration UserManagement LDAP BindPassword: "BindPassword"
```

値は次のとおりです。

バインドパスワード:

文字列 (0, 255)

ユーザーのパスワードです。

デフォルト値:

「」

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration UserManagement LDAP Encryption

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

デバイスと LDAP サーバ間の通信をセキュリティ保護する方法を定義します。UserManagement LDAP Server Port 設定を使用してポート番号を上書きすることができます。

使用方法:

```
xConfiguration UserManagement LDAP Encryption: Encryption
```

値は次のとおりです。

暗号化:

LDAPS/なし/STARTTLS

LDAPS: TLS (トランスポートレイヤーセキュリティ) 上のポート 636 で LDAP サーバーに接続します。

なし: LDAP サーバーに暗号化なしでポート 389 に接続します。

STARTTLS: LDAP サーバーにポート 389 で接続し、STARTTLS コマンドを送信して暗号化接続 (TLS) にアップグレードします。

デフォルト値:

LDAPS

xConfiguration ユーザ管理 LDAP メンバー属性

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

ユーザーのグループメンバーシップを確認するには、このグループ属性を使用します。設定されていない場合は、memberUid を使用します。

使用方法:

```
xConfiguration UserManagement LDAP MemberAttribute: "MemberAttribute"
```

値は次のとおりです。

メンバーの属性:

文字列 (0, 255)

メンバーの属性名です。

デフォルト値:

「」

xConfiguration UserManagement LDAP MinimumTLSVersion

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

LDAP で許可される最も低いバージョンの TLS (Transport Layer Security) プロトコルを設定します。

使用方法:

```
xConfiguration UserManagement LDAP MinimumTLSVersion: MinimumTLSVersion
```

値は次のとおりです。

MinimumTLSVersion:

TLSv1.0/TLSv1.1/TLSv1.2/TLSv1.3

TLSv1.0: TLS バージョン 1.0 以降に対応します。

TLSv1.1: TLS バージョン 1.1 以降に対応します。

TLSv1.2: TLS バージョン 1.2 以降に対応します。

TLSv1.3: TLS バージョン 1.3 以降に対応します。

デフォルト値:

TLSv1.2

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration UserManagement LDAP Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

デバイスは、ユーザ名とパスワードを保存および検証するための中央の場所として LDAP (Lightweight Directory Access Protocol) サーバーの使用をサポートしています。この設定を使用して、LDAP 認証を使用するかどうかを構成します。当社の実装は、Microsoft Active Directory (AD) サービスに対してテストされています。

LDAP モードをOnに切り替える場合、他の UserManagement LDAP 設定がセットアップに合うように構成されていることを確認してください。以下に例を示します。

例 1:

- ユーザ管理 LDAP モード: On
- ユーザ管理 LDAP アドレス: "192.0.2.20"
- UserManagement LDAP BaseDN: "DC=company, DC=com"
- UserManagement LDAP Admin Group: "CN=admin group, OU=company groups, DC=company, DC=com"

例 2:

- ユーザ管理 LDAP モード: On
- ユーザ管理 LDAP アドレス: "192.0.2.20"
- UserManagement LDAP BaseDN: "DC=company, DC=com"
- UserManagement LDAP Admin Filter: "(|(memberof=CN=admin group, OU=company groups, DC=company, DC=com)(sAMAccountName=username))"

使用方法:

```
xConfiguration UserManagement LDAP Mode: Mode
```

値は次のとおりです。

Mode:

Off/On

Off: LDAP 認証は許可されません。

On: LDAP 認証が許可されます。

デフォルト値:

Off

xConfiguration UserManagement LDAP Server Address

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

LDAP サーバーの IP アドレスまたはホスト名を設定します。

使用方法:

```
xConfiguration UserManagement LDAP Server Address: "Address"
```

値は次のとおりです。

Address:

文字列 (0, 255)

有効な IPv4 アドレス、IPv6 アドレス、またはホスト名。

デフォルト値:

「」

xConfiguration UserManagement LDAP Server Port

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

LDAP サーバーに接続するポートを設定します。0 に設定すると、選択したプロトコルのデフォルトが使用されます (ユーザ管理 LDAP 暗号化設定を参照してください)。

使用方法:

```
xConfiguration UserManagement LDAP Server Port: Port
```

値は次のとおりです。

ポート:

整数 (0..65535)

LDAP サーバーのポート番号です。

デフォルト値:

0

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration UserManagement LDAP VerifyServerCertificate

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

デバイスが LDAP サーバーに接続するとき、サーバーは証明書を提示することによってデバイスに自身を識別します。この設定を使用して、デバイスがサーバ証明書を確認するかどうかを決定します。

使用方法:

```
xConfiguration UserManagement LDAP VerifyServerCertificate:
VerifyServerCertificate
```

値は次のとおりです。

VerifyServerCertificate:

Off/On

Off: デバイスは LDAP サーバーの証明書を確認しません。

On: デバイスは、LDAP サーバーの証明書が信頼できる認証局 (CA) によって署名されていることを確認する必要があります。CA は、事前にデバイスにアップロードされている信頼できる CA のリストにある必要があります。デバイスのウェブ インターフェイスを使用して、信頼できる CA のリストを管理します (詳細については、管理者ガイドを参照してください)。

デフォルト値:

オン

xConfiguration UserManagement PasswordPolicy Complexity MinimumDigits

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

ローカル ユーザーとしてデバイスにログインするとき、パスワードは UserManagement PasswordPolicy 設定によって設定されたルールに従う必要があります。これらの設定は、CE9.10 以前のソフトウェア バージョンで使用可能であった「systemtools securitysetting」コマンドに代わるものです。

新しいパスワードのルールは既存のパスワードには適用されませんが、次回のパスワード変更から有効になります。

この設定では、パスワードに必要な数字の最小文字数 (0..9) を指定します。

使用方法:

```
xConfiguration UserManagement PasswordPolicy Complexity MinimumDigits:
MinimumDigits
```

値は次のとおりです。

最小桁数:

整数 (0..4)

数字の最小文字数。0 は制限なしを意味します。

デフォルト値:

0

xConfiguration UserManagement PasswordPolicy Complexity MinimumLength

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

ローカル ユーザーとしてデバイスにログインするとき、パスワードは UserManagement PasswordPolicy 設定によって設定されたルールに従う必要があります。これらの設定は、CE9.10 以前のソフトウェア バージョンで使用可能であった「systemtools securitysetting」コマンドに代わるものです。

新しいパスワードのルールは既存のパスワードには適用されませんが、次回のパスワード変更から有効になります。

この設定では、パスワードの最小文字数を指定します。

使用方法:

```
xConfiguration UserManagement PasswordPolicy Complexity MinimumLength:
MinimumLength
```

値は次のとおりです。

最小の長さ:

整数 (0..256)

最小文字数です。0 は制限なしを意味します。

デフォルト値:

8

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration UserManagement PasswordPolicy Complexity MinimumLowercase

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

ローカル ユーザーとしてデバイスにログインするとき、パスワードは UserManagement PasswordPolicy 設定によって設定されたルールに従う必要があります。これらの設定は、CE9.10 以前のソフトウェア バージョンで使用可能であった「systemtools securitysetting」コマンドに代わるものです。

新しいパスワードのルールは既存のパスワードには適用されませんが、次回のパスワード変更から有効になります。

この設定では、パスワードに含まれる小文字の最小数を指定します。

使用方法:

```
xConfiguration UserManagement PasswordPolicy Complexity MinimumLowercase:
MinimumLowercase
```

値は次のとおりです。

最小小文字:

整数 (0..4)

最小限の小文字の数。0 は制限なしを意味します。

デフォルト値:

0

xConfiguration UserManagement PasswordPolicy Complexity MinimumSpecial

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

ローカル ユーザーとしてデバイスにログインするとき、パスワードは UserManagement PasswordPolicy 設定によって設定されたルールに従う必要があります。これらの設定は、CE9.10 以前のソフトウェア バージョンで使用可能であった「systemtools securitysetting」コマンドに代わるものです。

新しいパスワードのルールは既存のパスワードには適用されませんが、次回のパスワード変更から有効になります。

この設定では、パスワードに使用する最小特殊文字数を指定します。

使用方法:

```
xConfiguration UserManagement PasswordPolicy Complexity MinimumSpecial:
MinimumSpecial
```

値は次のとおりです。

最小特殊:

整数 (0..4)

最小特殊文字数。0 は制限なしを意味します。

デフォルト値:

0

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration UserManagement PasswordPolicy Complexity MinimumUppercase

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

ローカル ユーザーとしてデバイスにログインするとき、パスワードは UserManagement PasswordPolicy 設定によって設定されたルールに従う必要があります。これらの設定は、CE9.10 以前のソフトウェア バージョンで使用可能であった「systemtools securitysetting」コマンドに代わるものです。

新しいパスワードのルールは既存のパスワードには適用されませんが、次回のパスワード変更から有効になります。

この設定では、パスワードに含まれる大文字の最小数を指定します。

使用方法:

```
xConfiguration UserManagement PasswordPolicy Complexity MinimumUppercase: MinimumUppercase
```

値は次のとおりです。

最小大文字:

整数 (0..4)

最小限の大文字の数。0 は制限なしを意味します。

デフォルト値:

0

xConfiguration UserManagement PasswordPolicy MaxLifetime

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

ローカル ユーザーとしてデバイスにログインするとき、パスワードは UserManagement PasswordPolicy 設定によって設定されたルールに従う必要があります。これらの設定は、CE9.10 以前のソフトウェア バージョンで使用可能であった「systemtools securitysetting」コマンドに代わるものです。

新しいパスワードのルールは既存のパスワードには適用されませんが、次回のパスワード変更から有効になります。

この設定では、パスワードが無効になるまでの最大日数を指定します。

使用方法:

```
xConfiguration UserManagement PasswordPolicy MaxLifetime: MaxLifetime
```

値は次のとおりです。

MaxLifetime:

整数 (0..7300)

日数の最小値です。0 は制限なしを意味します。

デフォルト値:

0

xConfiguration UserManagement PasswordPolicy ReuseLimit

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

ローカル ユーザーとしてデバイスにログインするとき、パスワードは UserManagement PasswordPolicy 設定によって設定されたルールに従う必要があります。これらの設定は、CE9.10 以前のソフトウェア バージョンで使用可能であった「systemtools securitysetting」コマンドに代わるものです。

新しいパスワードのルールは既存のパスワードには適用されませんが、次回のパスワード変更から有効になります。

この設定では再使用の制限 (n) を指定します。これはユーザーが過去 n 回まで使用したパスワードに変更することができないことを意味します。

使用方法:

```
xConfiguration UserManagement PasswordPolicy ReuseLimit: ReuseLimit
```

値は次のとおりです。

ReuseLimit:

整数 (0..24)

パスワードに必要な最小数。0 は制限なしを意味します。

デフォルト値:

12

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

ビデオの設定

xConfiguration Video ActiveSpeaker DefaultPIPPosition

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ

アクティブな発言者のピクチャーインピクチャー (PiP) の画面上の位置を定義します。この設定は、アクティブな発言者が PiP であるビデオレイアウトを使用する場合にのみ適用されます (ビデオデフォルトレイアウトファミリーローカル設定を参照してください)。この設定は、次回の呼び出しから有効になります。通話中に変更しても、現在の通話には影響しません。

使用方法:

`xConfiguration Video ActiveSpeaker DefaultPIPPosition:` *`DefaultPIPPosition`*

値は次のとおりです。

デフォルトの PIP 位置:

CenterLeft/CenterRight/Current/LowerLeft/LowerRight/UpperCenter/UpperLeft/UpperRight

現在: 通話を終了するときに、発言者 PiP の位置は変更されずに保持されます。

左上: アクティブな発言者 PiP は画面の左上角に表示されます。

上部中央: 発言者 PiP が上部中央に表示されます。

UpperRight:アクティブな発言者 PiP は画面の右上角に表示されます。

CenterLeft:発言者 PiP は中央左に表示されます。

CentreRight:発言者 PiP が中央右に表示されます。

LowerLeft:アクティブな発言者 PiP は画面の左下角に表示されます。

LowerRight:アクティブな発言者 PiP は画面の右下角に表示されます。

デフォルト値:

現在

xConfiguration Video DefaultLayoutFamily ローカル

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

ローカルで使用するビデオレイアウトファミリーを選択します。

使用方法:

`xConfiguration Video DefaultLayoutFamily Local:` *`Local`*

値は次のとおりです。

Local:

自動/等幅線/オーバーレイ/プロミネント/プロミネント L/シングル

Auto: デバイスが提供するレイアウト データベースで指定されているデフォルトのレイアウトファミリが、ローカル レイアウトとして使用されます。

Equal: グリッドレイアウトファミリーがローカルレイアウトとして使用されます。参加者はグリッド内に同じサイズのビデオで表示されます。共有コンテンツがある場合は、グリッドの横に表示されます。

オーバーレイ: このソフトウェア リリースでは適用されません。

Prominent_L: Prominent レイアウトファミリがローカルレイアウトとして使用されます。アクティブな発言者は画面の左上部分に表示され、他の参加者は画面下部と右の横に表示されます。

単一: フォーカス レイアウト ファミリーがローカル レイアウトとして使用されます。アクティブな発言者、または存在する場合はプレゼンテーションがフルスクリーンで表示されます。他の参加者は表示されません。アクティブな発言者間のトランジションは音声による自動切り替えです。

デフォルト値:

自動

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Video DefaultLayoutFamily LocalContent

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

コンテンツ共有開始時にローカルでデフォルトで切り替えるビデオレイアウトファミリーを選択します。この構成は、シングル スクリーン エンドポイントにのみ適用され、デュアル スクリーン エンドポイントには影響しません。

使用方法:

`xConfiguration Video DefaultLayoutFamily LocalContent:` *LocalContent*

値は次のとおりです。

ローカルコンテンツ:

Auto/Equal/Overlay/Prominent/Prominent_L/Single

Auto: デバイスが提供するレイアウト データベースで指定されているデフォルトのレイアウトファミリが、ローカル レイアウトとして使用されます。

Equal: グリッドレイアウトファミリーがローカルレイアウトとして使用されます。参加者はグリッド内に同じサイズのビデオで表示されます。グリッドの横に共有コンテンツが表示されます。

オーバーレイ: このソフトウェア リリースでは適用されません。

Prominent_L: Prominent レイアウトファミリがローカルレイアウトとして使用されます。コンテンツは画面の上部左側に表示され、参加者は画面下部と右側の横に表示されます。

単一: フォーカス レイアウト ファミリーがローカル レイアウトとして使用されます。共有コンテンツがフルスクリーンで表示されます。参加者は表示されません。

デフォルト値:

自動

xConfiguration ビデオ DefaultLayoutFamily リモート

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

リモート参加者 (遠端) に送信されるストリームで使用されるビデオレイアウトファミリーを選択します。この設定は、デバイスの組み込み MultiSite 機能 (オプション) を使用してマルチポイント ビデオ会議を主催する場合にのみ適用されます。

使用方法:

`xConfiguration ビデオ DefaultLayoutFamily リモート:` *リモート*

値は次のとおりです。

リモート:

Auto/Equal/Overlay/Prominent/Single

Auto: デバイスが提供するレイアウト データベースで指定されているデフォルトのレイアウトファミリが、ローカル レイアウトとして使用されます。

Equal: グリッドレイアウトファミリーがローカルレイアウトとして使用されます。参加者はグリッド内に同じサイズのビデオで表示されます。共有コンテンツがある場合は、グリッドの横に表示されます。

オーバーレイ: このソフトウェア リリースでは適用されません。

Prominent:[プロミネント] レイアウトファミリがローカルレイアウトとして使用されます。アクティブな発言者は画面の左上部分に表示され、他の参加者は画面下部と右の横に表示されます。

単一: フォーカス レイアウト ファミリーがローカル レイアウトとして使用されます。アクティブな発言者、または存在する場合はプレゼンテーションがフルスクリーンで表示されます。他の参加者は表示されません。アクティブな発言者間のトランジションは音声による自動切り替えです。

デフォルト値:

自動

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration ビデオ DefaultMainSource

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

通話のメイン ビデオのデフォルトの入力ソースを定義します。ビデオ会議端末の電源を入れるか再起動すると、メインのビデオがこのソースで再生されます。ビデオ入力 SetMainVideoSource コマンドを使用して、デバイスの実行中に別のソースに変更します。

使用方法:

```
xConfiguration Video DefaultMainSource: DefaultMainSource
```

値は次のとおりです。

DefaultMainSource:

1/2 *[RoomKit RoomKitMini Board]*

1/2/3 *[CodecPlus Room55 Room70/Room55D DeskMini]*

1/2/3/4 *[Desk]*

1/2/3/4/5 *[RoomBar DeskPro BoardPro]*

1/2/3/4/5/6 *[RoomBarPro BoardProG2]*

1/2/3/4/5/6/7/8/9 *[RoomKitEQX CodecEQ]*

1/2/3/4/5/6/7/8/9/10/11 *[CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

メインビデオの既定の入力です。

デフォルト値:

1

xConfiguration Video Input AirPlay Beacon

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者

検出ビーコンサポートをOnにします。検出標識により、ビデオ デバイスと iPhone、iPad、または Mac が同じブロードキャスト ドメイン (VLAN またはサブネット) 上にあることが保証されていない環境での AirPlay の展開が容易になります。これは、エンタープライズ ネットワークがセットアップで典型的なケースです。

ビーコン検出には Bluetooth® が必要です。Desk シリーズ、Board Pro、Board Pro G2、Room Bar、Room Bar Pro では、専用の [Bluetooth 許可] および [Bluetooth 有効] 設定で Bluetooth を有効にする必要があります。専用の Bluetooth 設定がないデバイスでは、検出標識をOnにすると、Bluetooth が自動的に有効になります。

これらのデバイスは AirPlay をサポートしていないため、この設定は、Board (非 S シリーズ) の第一世代にはありません。

使用方法:

```
xConfiguration Video Input AirPlay Beacon: Beacon
```

値は次のとおりです。

Beacon:

Auto/Off

Auto: AirPlay 標識が有効になり、デバイスが検出可能になります。通常、エンタープライズ ネットワークのセットアップで使用されます。

Off: AirPlay 標識が無効になり、デバイスは標識サービスを通じて検出できなくなります。通常、ホーム ネットワークのセットアップで使用されます。

デフォルト値:

自動

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Video Input AirPlay DiscoveryInstructions NetworkName

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール : 管理者

Apple デバイスが接続する必要があるネットワークの名前を挿入します。設定されていない場合、ビデオ入力 AirPlay DiscoveryInstructions ShowNetworkInfo 設定により、ネットワーク自体で定義された名前が表示されます。

これらのデバイスは AirPlay をサポートしていないため、この設定は、Board (非 S シリーズ) の第一世代にはありません。

使用方法:

```
xConfiguration Video Input AirPlay DiscoveryInstructions NetworkName:
"NetworkName"
```

値は次のとおりです。

ネットワーク名:

文字列 (0, 32)

ネットワークの名前です。

デフォルト値:

""

xConfiguration Video Input AirPlay DiscoveryInstructions ShowNetworkInfo

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール : 管理者

Apple デバイスが接続する必要があるネットワークの名前をビデオデバイスの AirPlay 情報画面 (カーテン) に表示するかどうかを決定します。ネットワーク名は、ネットワーク自体で定義されるか、または [ビデオ入力 AirPlay 検出手順] [ネットワーク名] 設定で明示的に設定されます。後者が優先されます。

これらのデバイスは AirPlay をサポートしていないため、この設定は、Board (非 S シリーズ) の第一世代にはありません。

使用方法:

```
xConfiguration Video Input AirPlay DiscoveryInstructions ShowNetworkInfo:
ShowNetworkInfo
```

値は次のとおりです。

ShowNetworkInfo:

False/True

False: AirPlay 情報画面でネットワーク名を表示しない。

True: AirPlay 情報画面にネットワーク名を表示します。

デフォルト値:

False

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration ビデオ入力 AirPlay モード

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者

第一世代の Board (S シリーズ以外) を除くすべてのデバイスは、AirPlay をサポートしています。AirPlay により、ユーザーは iPhone、iPad、または Mac にワイヤレス接続して、画面共有、コラボレーション、音声やビデオ コンテンツの再生を行うことができます。

この設定を使ってデバイスの AirPlay を有効にします。

いったんアクティベートされると、パーソナルモードのデバイスを使用している場合、ユーザーはデバイスの [設定] メニューから AirPlay を無効にしたり、再度有効にしたりできます。これは共有デバイスでは利用できません。

使用方法:

```
xConfiguration Video Input AirPlay Mode: Mode
```

値は次のとおりです。

Mode:

Off/On

On: デバイスで AirPlay が有効になっています。

Off: デバイス上で AirPlay が非アクティブになります。

デフォルト値:

Off

xConfiguration ビデオ入力 AirPlay パスワード

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者

ビデオ入力 AirPlay セキュリティ設定がパスワードに設定されている場合に、AirPlay ペアリングに使用するパスワードを定義します。

これらのデバイスは AirPlay をサポートしていないため、この設定は、Board (非 S シリーズ) の第一世代にはありません。

使用方法:

```
xConfiguration Video Input AirPlay Password: "Password"
```

値は次のとおりです。

パスワード:

文字列 (0, 63)

AirPlay ペアリングパスワードです。

デフォルト値:

""

xConfiguration Video Input AirPlay PresentationSelection

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者

AirPlay で表示されるコンテンツを自動的に共有するかどうかを定義します。

使用方法:

```
xConfiguration Video Input AirPlay PresentationSelection:
PresentationSelection
```

値は次のとおりです。

PresentationSelection:

AutoShare/OnConnect

PresentationSelection の設定が AutoShare に設定されている場合、コンテンツが自動的に共有される前に、5 秒間のカウントダウン付きのポップアップが表示されます。カウントダウンが 0 になるまでは、自動共有を無効にすることができます。

PresentationSelection 設定が OnConnect の場合、ポップアップは、共有をタップするか、ポップアップを閉じない限り、画面上に表示されたままになります。

デフォルト値:

自動共有

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration ビデオ入力 AirPlay セキュリティモード

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者

iPhone、iPad、または Mac をデバイスにペアリングするときに使用する認証のタイプを定義します (AirPlay ペアリング)。

これらのデバイスは AirPlay をサポートしていないため、この設定は、Board (非 S シリーズ) の第一世代にはありません。

使用方法:

`xConfiguration Video Input AirPlay SecurityMode: SecurityMode`

値は次のとおりです。

SecurityMode:

Password/PinAlways/PinFirstTime

パスワード: デバイスは AirPlay ペアリングのパスワードを要求します。[ビデオ入力用 AirPlay パスワード] 設定でパスワードを定義する必要があります。パスワードを定義しない場合、デバイスは既定に戻り、PIN を要求します。

PinAlways: デバイスは AirPlay ペアリングのたびに PIN を要求します (切断後 30 秒以内に再接続する場合を除く)。

PinFirstTime: デバイスは、最初の AirPlay ペアリングで PIN を要求します。初回以降は、正常にペアリングされたデバイスが記憶されます。

デフォルト値:

共有モード デバイス: 常にピン パーソナル モード デバイス: 最初の時間ピン

xConfiguration Video Input CameraConfigMode

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

この設定は、デバイスに 2 番目または 3 番目のカメラとして Precision 60、PTZ-12、または PTZ 4K カメラを接続する場合にのみ適用されます。

追加のカメラをデバイスに接続する場合、それに応じていくつかの設定を変更する必要があります。これは一度に 1 つずつ手動で実行するか、カメラの接続をデバイスが検出したときに自動的に実行できます。

自動モードではこれらの設定が適用されます (n はカメラが接続されるコネクタです)。

ビデオ入力コネクタ [n] CameraControl CameraId: n

ビデオ入力コネクタ [n] CameraControl モード: On

ビデオ入力コネクタ [n] InputSourceType: カメラ

ビデオ入力コネクタ [n] PresentationSelection: 手動

ビデオ入力コネクタ [n] 品質: モーション

Cameras Camera [n] AssignedSerialNumber 設定が適用されている場合、CameraConfigモードが Auto に設定されている場合でも、上記の設定はプッシュされません。通常、EDID 情報が利用できない場合にこの問題が発生し、カメラが接続されたことをデバイスで検出できなくなります。この場合、デバイスは警告を表示します。

また、カメラ Camera n DetectedConnector ステータスが入力コネクタ番号 (n) と対応しない場合は、自動モードを使用しないでください。例: カメラ 2 が HDMI [2] に接続され、カメラ Camera 2 DetectedConnector ステータスが 2 を返す場合にのみ、自動モードを使用します。これらの番号が一致しない場合、代わりに Cameras Camera [n] AssignedSerialNumber 設定を使用する必要があります。

使用方法:

`xConfiguration Video Input CameraConfigMode: CameraConfigMode`

値は次のとおりです。

CameraConfigMode:

自動/手動

Auto: カメラが接続されたことをデバイスが検出すると、上記の設定が自動的にプッシュされます。

手動: カメラの接続時に、設定を 1 つずつ手動で構成する必要があります。

デフォルト値:

手動

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Video Input Connector [n] CameraControl CameraId

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

カメラ ID は、このビデオ入力に接続されているカメラの一意の識別子です。
複数のカメラを持つデバイスの場合、現在割り当てられている ID は [カメラ] [カメラのステータス] で確認できます。

使用方法:

```
xConfiguration Video Input Connector [n] CameraControl CameraId: CameraId
```

値は次のとおりです。

n: ビデオ入力コネクタを識別する一意の ID です。

範囲: 1..2 *[RoomKit RoomKitMini DeskMini Board]*

範囲: 1..3 *[RoomBar RoomBarPro CodecPlus Room55 Room70/Room55D DeskPro Desk BoardPro BoardProG2]*

範囲: 1..4 *[RoomKitEQX CodecEQ]*

範囲: 1..6 *[CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

CameraId:

1 *[RoomKit RoomKitMini RoomBar Room55 DeskPro DeskMini Desk Board]*

1/2/3/4/5/6/7/8/9/10/11/12 *[RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro BoardProG2]*

複数のカメラを持つデバイスでは、カメラの ID を設定します。1 台のカメラを装備するデバイスの場合、値は固定され、変更することはできません。

デフォルト値:

Connector n: n *[RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

コネクタ 1: 1 コネクタ 2: 3 コネクタ 3: 2 *[BoardPro BoardProG2]*

1 *[RoomKit RoomKitMini RoomBar Room55 DeskPro DeskMini Desk Board]*

xConfiguration Video Input Connector [n] CameraControl Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

このビデオ入力コネクタのカメラを制御可能にするかどうかを定義します。一部のコネクタは制御できません(利用できる値はOffだけです)。

使用方法:

```
xConfiguration Video Input Connector [n] CameraControl Mode: Mode
```

値は次のとおりです。

n: ビデオ入力コネクタを識別する一意の ID です。

範囲: 1..2 *[RoomKit RoomKitMini DeskMini Board]*

範囲: 1..3 *[RoomBar RoomBarPro CodecPlus Room55 Room70/Room55D DeskPro Desk BoardPro BoardProG2]*

範囲: 1..4 *[RoomKitEQX CodecEQ]*

範囲: 1..6 *[CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

Mode:

オフ *[RoomKit RoomKitMini RoomBar Room55 DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro BoardProG2]*

オフ/オン

Off: カメラコントロールを無効にします。

On: カメラコントロールを有効にします。

デフォルト値:

On *[CodecPlus Room70/Room55D]*

コネクタ 1、2、3、4、5: オン コネクタ 6: オフ *[CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

コネクタ 1: オン その他のコネクタ: オフ *[RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ Room55 DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro BoardProG2]*

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration ビデオ入力コネクタ [n] CEC モード

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ

ビデオ入力 (HDMI) がConsumer Electronics Control (CEC)に対応していること。この設定が有効な場合、接続されたデバイスに関する情報 (例えば、デバイスの種類やデバイス名) は、接続されたデバイスも CEC をサポートしている場合に限り、ビデオ デバイスのステータス (Video Input Connector[n] ConnectedDevice CEC [n]) で利用できます。

クアッド カメラがある場合、そのコネクタの CEC をOffにしないでください。カメラのスピーカーから音声が聞こえなくなります。ビデオ会議デバイスからカメラに音声を送信するためのチャネルである HDMI ARC (Audio Return Channel) には CEC が必要です。

使用方法:

`xConfiguration ビデオ入力コネクタ [n] CEC モード: モード`

値は次のとおりです。

n: ビデオ入力コネクタを識別する一意の ID です。

範囲 : 1..3 *[CodecPlus Room70/Room55D]*

範囲 : 1..4 *[RoomKitEQX CodecEQ]*

範囲 : 1..5 *[CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

範囲: 2..2 *[RoomKit RoomKitMini DeskMini Board]*

範囲 : 2..3 *[RoomBar RoomBarPro Room55 DeskPro Desk BoardPro BoardProG2]*

Mode:

Off/On

オン *[Room70/Room55D]*

Off: CEC は無効になっています。

On: CEC が有効になっています。

デフォルト値:

オン

xConfiguration ビデオ入力コネクタ [n] HDCP モード

適用対象: RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ

ビデオ デバイスの HDMI 入力の 1 つは、HDCP で保護されたコンテンツ (高帯域幅デジタル コンテンツ保護、バージョン 1.4) をサポートするように構成できます。これにより、顧客は、DVD プレーヤー、Google ChromeCast、AppleTV、または HDTV デコーダーなどのデバイスを接続することで、ビデオ デバイスの画面を再利用することができます。通話中は、このタイプのコンテンツを共有できません。

入力コネクタが HDCP をサポートするようにセットアップされている場合、以下の制限が適用されます。通話中は、この入力からコンテンツを共有することはできません。ただし、HDCP で保護されたコンテンツおよび保護されていないコンテンツの両方をローカルで共有することができます。このソースのウェブスナップショットを取得することはできません。

HDCP で保護されたコンテンツをデバイスの画面に表示できるようにするには、ビデオ出力コネクタ [n] HDCPPolicy 構成が正しく設定され、画面自体が HDCP をサポートしていることも確認してください。

使用方法:

`xConfiguration Video Input Connector [n] HDCP Mode: Mode`

値は次のとおりです。

n: ビデオ入力コネクタを識別する一意の ID です。

範囲 : 1..3 *[CodecPlus Room70/Room55D]*

範囲 : 1..4 *[RoomKitEQX CodecEQ]*

範囲 : 1..5 *[CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

範囲 : 2..3 *[Room55 BoardPro BoardProG2]*

Mode:

Off

オフ/オン

Off: ビデオ入力は HDCP で保護されたコンテンツに対応していません。保護されていないコンテンツのみをサポートします。

On: ビデオ入力は HDCP で保護されたコンテンツと保護されていないコンテンツの両方に対応します。

デフォルト値:

Off

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Video Input Connector [n] InputSourceType

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

どのタイプの入力ソースをビデオ入力に接続するかを選択します。
デバイスに統合型カメラがある場合、コネクタ 1 は統合型カメラを指します。

使用方法:

`xConfiguration Video Input Connector [n] InputSourceType: InputSourceType`

値は次のとおりです。

n: ビデオ入力コネクタを識別する一意の ID です。

範囲: 1..2 *[RoomKit RoomKitMini DeskMini Board]*

範囲: 1..3 *[RoomBar RoomBarPro CodecPlus Room55 Room70/Room55D DeskPro Desk BoardPro BoardProG2]*

範囲: 1..4 *[RoomKitEQX CodecEQ]*

範囲: 1..6 *[CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

InputSourceType:

PC/カメラ/ドキュメントカメラ/メディアプレーヤー/その他/ホワイトボード

カメラ *[RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro Room55 DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro BoardProG2]*

PC: コンピュータがビデオ入力に接続されている場合にこれを使用します。
カメラ: カメラがビデオ入力に接続されている場合にこれを使用します。
document_camera: ドキュメントカメラがビデオ入力に接続されている場合にこれを使用します。
mediaplayer: メディアプレーヤーがビデオ入力に接続されている場合にこれを使用します。
whiteboard: ホワイトボードカメラがビデオ入力に接続されている場合にこれを使用します。
その他: その他のオプションが一致しない場合にこれを使用します。

デフォルト値:

Connector 1、2、6 : camera Connector 3、4、5 : PC *[CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

コネクタ 1: カメラ その他のコネクタ: PC *[RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus Room55 Room70/Room55D DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro BoardProG2]*

xConfiguration ビデオ入力コネクタ [n] 最大解像度

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

ビデオ入力の優先最大解像度を設定します。この入力で共有されるすべてのコンテンツの解像度とフレームレート、またはそれ以下になります。最大解像度を設定することで、不必要なアップスケールを避け、意図した通りの解像度を達成することができます。
たとえば、4K をサポートするビデオ入力では、優先解像度を制限して、自動的に 4K にアップスケーリングされないようにすることができます。

使用方法:

`xConfiguration Video Input Connector [n] MaxResolution: MaxResolution`

値は次のとおりです。

n: ビデオ入力コネクタを識別する一意の ID です。

範囲: 2..2 *[RoomKit RoomKitMini RoomBar DeskMini]*

範囲: 2..3 *[RoomBarPro Room55 DeskPro Desk Board BoardPro BoardProG2]*

範囲: 1..3 *[CodecPlus Room70/Room55D]*

範囲: 1..4 *[RoomKitEQX CodecEQ]*

範囲: 1..5 *[CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

最大解像度:

1920_1080_60 *[CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskMini Desk]*

1920_1080_60/3840_2160_30 *[RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama Board BoardPro]*

1920_1080_60/3840_2160_30/3840_2160_60 *[DeskPro BoardPro BoardProG2]*

解像度 (幅、高さ) およびフレームレート (w_h_f)

デフォルト値:

コネクタ 1、2: 1920_1080_60 その他のコネクタ: 3840_2160_30 *[CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

コネクタ 1: 1920_1080_60 その他のコネクタ: 3840_2160_30 *[CodecPlus Room70/Room55D]*

1920_1080_60 *[DeskMini Desk]*

3840_2160_30 *[RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ Room55 Board]*

3840_2160_60 *[DeskPro BoardProG2]*

コネクタ 2: 3840_2160_60 コネクタ 3: 3840_2160_30 *[BoardPro]*

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Video Input Connector [n] Name

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

ビデオ入力コネクタの名前を定義します。

使用方法:

`xConfiguration` ビデオ入力コネクタ `[n]` 名前: 「*名前*」

値は次のとおりです。

n: ビデオ入力コネクタを識別する一意の ID です。

範囲: 1..2 *[RoomKit RoomKitMini DeskMini Board]*

範囲: 1..3 *[RoomBar RoomBarPro CodecPlus Room55 Room70/Room55D DeskPro Desk BoardPro BoardProG2]*

範囲: 1..4 *[RoomKitEQX CodecEQ]*

範囲: 1..6 *[CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

名前:

文字列 (0, 50)

ビデオ入力コネクタの名前です。

デフォルト値:

コネクタ 1:「カメラ 1」コネクタ 2:「カメラ 2」コネクタ 3:「PC 1 (HDMI)」コネクタ 4:「PC 2 (HDMI)」コネクタ 5:「PC 3 (HDMI)」コネクタ 6:「カメラ 3 (SDI)」 [CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]

コネクタ 1:「カメラ」コネクタ 2:「PC (USB-C)」コネクタ 3:「PC (HDMI)」 [RoomBar BoardPro BoardProG2]

コネクタ 1:「カメラ」コネクタ 2:「PC (HDMI)」コネクタ 3:「PC (USB-C)」 [RoomBarPro]

コネクタ 1:「カメラ」コネクタ 2:「PC 1 (HDMI)」コネクタ 3:「PC 2 (HDMI)」 [CodecPlus Room70/Room55D]

コネクタ 1:「カメラ」コネクタ 2:「PC 1 (HDMI)」コネクタ 3:「PC 2 (HDMI)」コネクタ 4:「PC (USB-C)」 [RoomKitEQX CodecEQ]

コネクタ 1:「カメラ」コネクタ 2:「PC 1 (HDMI)」コネクタ 3:「PC 2 (HDMI)」 [Room55]

コネクタ 1:「カメラ」コネクタ 2:「PC」 [RoomKit RoomKitMini Board]

コネクタ 1:「カメラ」コネクタ 2:「PC (USB-C)」[DeskMini]

コネクタ 1: "Camera" コネクタ 2: "PC (USB-C)" コネクタ 3: "PC (HDMI)" [DeskPro Desk]

xConfiguration ビデオ入力コネクタ [n] 最適定義プロファイル

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

対応する Video Input Connector [n] Quality 設定が鮮明度に設定されている場合、この設定は有効になりません。

最適な解像度プロファイルは、ビデオ会議室の照明条件とカメラの品質を反映します。照明条件とカメラの品質が良いほど、プロファイルは高くなります。通常、Normal または Medium のプロファイルをお勧めします。ただし、照明条件が非常に良好な場合、High プロファイルを設定して特定のコールレートの解像度を上げることができます。解像度は、発信側と着信側の両方のデバイスでサポートされている必要があります。

ビデオ入力コネクタ [n] の OptimalDefinition Threshold60fps 設定を使用して、60 fps が許容される最低解像度を設定します。このしきい値を下回る場合、30 fps が最大フレームレートになります。

使用方法:

`xConfiguration` ビデオ入力コネクタ `[n]` 最適定義プロファイル: *プロファイル*

値は次のとおりです。

n: ビデオ入力コネクタを識別する一意の ID です。

範囲: 1..2 *[RoomKit RoomKitMini DeskMini Board]*

範囲: 1..3 *[RoomBar RoomBarPro CodecPlus Room55 Room70/Room55D DeskPro Desk BoardPro BoardProG2]*

範囲: 1..4 *[RoomKitEQX CodecEQ]*

範囲: 1..6 *[CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

プロファイル:

高/中/普通

標準: 一般的から照明が不十分な環境でこのプロファイルを使用します。解像度はやや保守的に設定されます。

中: 良好で安定した照明条件と高品質のビデオ入力が必要です。一部のコール レートでは、これにより解像度が高くなります。

高: 全体的に良好なエクスペリエンスを実現するには、ほぼ最適なビデオ会議照明条件と高品質のビデオ入力が必要です。かなり高い解像度が使用されます。

デフォルト値:

Medium [RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitQX CodecQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskMini Desk Board BoardPro BoardProG2]

Connector 1: Medium Connector 2, 3: High [DeskPro]

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Video Input Connector [n] OptimalDefinition Threshold60fps

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

各ビデオ入力に対して、この設定は 60 fps で伝送できる最低解像度をデバイスに通知します。この値より低いすべての解像度では、送信される最大フレームレートは 30 fps になります。この解像度以上で、利用可能な帯域幅が十分であれば60fpsが可能です。

使用方法:

`xConfiguration Video Input Connector [n] OptimalDefinition Threshold60fps: Threshold60fps`

値は次のとおりです。

n: ビデオ入力コネクタを識別する一意の ID です。

範囲: 1..2 *[RoomKit RoomKitMini DeskMini Board]*

範囲: 1..3 *[RoomBar RoomBarPro CodecPlus Room55 Room70/Room55D DeskPro Desk BoardPro BoardProG2]*

範囲: 1..4 *[RoomKitEQX CodecEQ]*

範囲: 1..6 *[CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

Threshold60fps:

512_288/768_432/1024_576/1280_720/1920_1080/Never

512_288: しきい値を 512x288 に設定します。

768_432: しきい値を 768x432 に設定します。

1024_576: しきい値を 1024x576 に設定します。

1280_720: しきい値を 1280x720 に設定します。

1920_1080: しきい値を 1920x1080 に設定します。

決して: 60fps で転送するためのしきい値を設定しません。

デフォルト値:

1920_1080 *[RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro BoardProG2]*

なし *[RoomKit Room55]*

xConfiguration Video Input Connector [n] PreferredResolution

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

ビデオ デバイスが接続された入力ソース (例えばラップトップ) に通知する優先画面解像度とリフレッシュ レートを定義します。ソース側の解像度の選択ロジックは、ソースデバイス (例えば、ラップトップのディスプレイ構成ソフトウェア) によって手動で上書きされない限り、この解像度とリフレッシュレートを自動的に選択します。

1920_1080_60 より大きい形式では、より多くのデータを使用するため、少なくとも HDMI 1.4b データ レートに認定されたプレゼンテーション ケーブル (またはアダプター) が必要になることに注意してください。

使用方法:

`xConfiguration Video Input Connector [n] PreferredResolution: PreferredResolution`

値は次のとおりです。

n: ビデオ入力コネクタを識別する一意の ID です。

範囲: 1..3 *[CodecPlus Room70/Room55D]*

範囲: 1..4 *[RoomKitEQX CodecEQ]*

範囲: 1..5 *[CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

範囲: 2..2 *[RoomKit RoomKitMini DeskMini Board]*

範囲: 2..3 *[RoomBar RoomBarPro Room55 DeskPro Desk BoardPro BoardProG2]*

PreferredResolution:

1920_1080_60 *[CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskMini Desk]*

1920_1080_60/2560_1080_60/2560_1440_60/2880_1200_60/3440_1440_30/3840_1600_30/3840_1620_30/3840_2160_30 *[RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

1920_1080_60/2560_1440_60/3840_2160_30 *[RoomKit RoomKitMini CodecPlus Room55 Room70/Room55D Board BoardPro]*

1920_1080_60/2560_1440_60/3840_2160_30/3840_2160_60 *[DeskPro BoardPro BoardProG2]*

1920_1080_60: 解像度は 1920 x 1080、リフレッシュレートは 60Hz です。

2560_1080_60: 解像度は 2560 x 1080、リフレッシュレートは 60Hz です。

2560_1440_60: 解像度は 2560 x 1440、リフレッシュレートは 60Hz です。

2880_1200_60: 解像度は 2880 x 1200、リフレッシュレートは 60Hz です。

3440_1440_30: 解像度は 3440 x 1440、リフレッシュレートは 30Hz です。

3840_1600_30: 解像度は 3840 x 1600、リフレッシュレートは 30Hz です。

3840_1620_30: 解像度は 3840 x 1620、リフレッシュレートは 30Hz です。

3840_2160_30: 解像度は 3840 x 2160、リフレッシュレートは 30Hz です。

3840_2160_60: 解像度は 3840 x 2160、リフレッシュレートは 60Hz です。

デフォルト値:

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

1920_1080_60 [CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskMini Desk]
コネクタ 2: 3840_2160_60 コネクタ 3: 3840_2160_30 [BoardPro]
コネクタ 1: 1920_1080_60 その他のコネクタ: 3840_2160_30 [RoomKitEQX CodecEQ]
3840_2160_30 [RoomBar RoomBarPro]
3840_2160_60 [DeskPro BoardProG2]
1920_1080_60 [RoomKit RoomKitMini CodecPlus Room55 Room70/Room55D Board]

xConfiguration Video Input Connector [n] PresentationSelection

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ

プレゼンテーションソースをビデオ入力に接続したときのビデオ会議端末の動作を定義します。デバイスがスタンバイモードの場合、プレゼンテーション ソースに接続するとスリープ解除されます。相手とプレゼンテーションを共有するには追加のアクション (ユーザーインターフェイスの [共有] を選択) が必要です。ただし、この設定が [自動共有] に設定されている場合を除きます。

複数のカメラを備えたデバイスの場合:任意の入力ソースをプレゼンテーション ソースとして使用できます。通常、メイン カメラをプレゼンテーション ソースとして使用することはありません。

統合型カメラ付きデバイスの場合: 統合型カメラをプレゼンテーション ソースとして使用することはできません。

使用方法:

```
xConfiguration Video Input Connector [n] PresentationSelection:
PresentationSelection
```

値は次のとおりです。

n: ビデオ入力コネクタを識別する一意の ID です。

範囲 : 1..3 *[CodecPlus Room70/Room55D]*

範囲 : 1..4 *[RoomKitEQX CodecEQ]*

範囲: 1..6 *[CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

範囲: 2..2 *[RoomKit RoomKitMini DeskMini Board]*

範囲 : 2..3 *[RoomBar RoomBarPro Room55 DeskPro Desk BoardPro BoardProG2]*

PresentationSelection:

AutoShare/Desktop/Manual/OnConnect

自動共有: 通話中、ケーブルに接続したとき、または他の方法でソースがアクティベートされたときに、ビデオ入力のコンテンツがローカル画面だけでなく自動的に相手側にも表示されます (例えば、接続されたコンピュータが復帰したときスリープモードから)。ユーザ インターフェイスで [共有] を選択する必要はありません。通話の発信または応答時にプレゼンテーションソースがすでに接続されている場合は、ユーザーインターフェイス上で [共有] を手動で選択する必要があります。

デスクトップ: ケーブルに接続されているとき、または別の方法でソースがアクティベートされたとき (接続されたコンピュータがスリープモードから復帰するときなど)、ビデオ入力のコンテンツが画面に表示されます。これはアイドル時と通話中の両方に適用されます。また、ビデオ入力のコンテンツは、通話を終了するときにアクティブな入力であった場合に限り、通話を終了しても画面に残ります。

手動: ビデオ入力のコンテンツは、ユーザー インターフェイスから [共有] を選択するまで、画面に表示されません。

OnConnect: ケーブルを接続したとき、またはソースが他の方法でアクティベートされたとき (接続されたコンピュータがスリープモードから復帰したときなど)、ビデオ入力のコンテンツが画面に表示されます。それ以外の場合の動作は手動モードと同じです。

デフォルト値:

コネクタ 1、2、6: 手動 コネクタ 3、4、5: オンコネクト [CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

コネクタ 1: 手動 その他のコネクタ: オンコネクト *[CodecPlus Room70/Room55D]*
コネクタ 1、2: 手動 その他のコネクタ: オンコネクト *[RoomKitEQX CodecEQ]*
Desktop *[DeskPro DeskMini Desk]*
OnConnect *[RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro Room55 BoardPro BoardProG2]*
自動共有 *[Board]*

xConfiguration ビデオ入力コネクタ [n] 品質

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ

ビデオをエンコードして送信する場合、高解像度と高フレームレートの間のトレードOffがあります。ビデオソースによっては、高解像度よりも高フレームレートの伝送の方が重要な場合があります。高フレームレートを優先するか、高解像度を優先するかを指定します。

デバイスで Quad Camera、SpeakerTrack 60 カメラ、または Precision 60 カメラが検出された場合、この設定は自動的に [Motion] に設定されます。ユーザーがこの設定を手動で変更した場合、再起動後またはカメラの再接続後に [モーション] に戻ります。

使用方法:

`xConfiguration Video Input Connector [n]` 品質: *品質*

値は次のとおりです。

n: ビデオ入力コネクタを識別する一意の ID です。

範囲 : 1..3 *[CodecPlus Room70/Room55D]*
範囲 : 1..4 *[RoomKitEQX CodecEQ]*
範囲: 1..6 *[CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*
範囲: 2..2 *[RoomKit RoomKitMini DeskMini Board]*
範囲 : 2..3 *[RoomBar RoomBarPro Room55 DeskPro Desk BoardPro BoardProG2]*

品質:

オート/モーション/シャープネス

Auto: 開始点として自動が鮮明度に設定されます、ビデオストリームはそれに従ってエンコードされます。デバイスは受信ビデオ ストリームを継続的に分析し、モーションが検出されると、モーションのエンコードに自動的に変更します。

モーション: 可能な最高のフレームレートを提供します。より高いフレームレートが必要な場合、一般的には画像に動きがある場合に使用します。

Sharpness: 可能な最高の解像度を提供します。最高品質の詳細な画像やグラフィックスが必要な場合に使用します。

デフォルト値:

コネクタ 1、2、6: モーション コネクタ 3、4、5: 自動 *[CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*
コネクタ 1: Motion その他のコネクタ : Auto *[CodecPlus Room70/Room55D]*
コネクタ 1、2: Motion その他のコネクタ : Auto *[RoomKitEQX CodecEQ]*
Auto *[RoomKit RoomKitMini RoomBar Room55 DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro BoardProG2]*
コネクタ 2: Motion その他のコネクタ : Auto *[RoomBarPro]*

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Video Input Connector [n] RGBQuantizationRange

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

ビデオ入力に接続されたデバイスは、CTA-861 で定義されている、RGB ビデオ量子化範囲のルールに従う必要があります。残念ながら、一部のデバイスは標準に準拠していないため、この構成を使用して設定を上書きし、任意のソースで完全な画像を取得できます。

使用方法:

`xConfiguration Video Input Connector [n] RGBQuantizationRange: RGBQuantizationRange`

値は次のとおりです。

n: ビデオ入力コネクタを識別する一意の ID です。

範囲: 1..3 *[CodecPlus Room70/Room55D]*

範囲: 1..4 *[RoomKitEQX CodecEQ]*

範囲: 1..5 *[CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

範囲: 2..2 *[RoomKit RoomKitMini DeskMini Board]*

範囲: 2..3 *[RoomBar RoomBarPro Room55 DeskPro Desk BoardPro BoardProG2]*

RGBQuantizationRange:

Auto/Full/Limited

Auto: CTA-861-F に準拠して、ビデオ形式に基づいて自動的に RGB 量子化範囲が選択されます。CE ビデオ形式は制限された量子化範囲レベルを使用します。IT ビデオ形式は完全な量子化範囲レベルを使用します。

フル: クOnタイズの範囲全体です。R、G、B の量子化範囲には、すべてのコード値 (0 - 255) が含まれます。これは CTA-861-F で定義されています。

制限付き: クOnタイズ範囲です。極端な (16 - 235) の一部のコード値を除外した R、G、B の量子化範囲。これは CTA-861-F で定義されています。

デフォルト値:

自動

xConfiguration ビデオ入力コネクタ [n] 変換

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

選択した変換をビデオ入力に適用します。このオプションを選択すると、共有メニューのボタンが「180 度回転」と「なし」を切り替えます。

使用方法:

`xConfiguration ビデオ入力コネクタ [n] 変換: 変換`

値は次のとおりです。

n: ビデオ入力コネクタを識別する一意の ID です。

範囲: 4..5 *[RoomBar RoomBarPro DeskPro BoardPro BoardProG2]*

範囲: 5..6 *[RoomKitEQX CodecEQ]*

範囲: 7 *[CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

Transform:

FlipHorizontal/FlipVertical/None/Rotate180 *[RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini BoardPro BoardProG2]*

なし *[デスク]*

なし: 変換なし。

FlipHorizontal: 水平方向に反転します。

FlipVertical: 垂直に反転します。

Rotate180: 画像を 180 度回転します。

デフォルト値:

None

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Video Input Connector [n] Visibility

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

ユーザ インターフェイスのメニューとボタンでのビデオ入力コネクタの表示/非表示を定義します。

統合型カメラ付きデバイスの場合: コネクタ 1 はデバイスの統合型カメラであり、プレゼンテーション ソースとしては利用できません。

使用方法:

```
xConfiguration Video Input Connector [n] Visibility: Visibility
```

値は次のとおりです。

n: ビデオ入力コネクタを識別する一意の ID です。

範囲: 1..2 *[RoomKit RoomKitMini DeskMini Board]*

範囲: 1..3 *[RoomBar RoomBarPro CodecPlus Room55 Room70/Room55D DeskPro Desk BoardPro BoardProG2]*

範囲: 1..4 *[RoomKitEQX CodecEQ]*

範囲: 1..6 *[CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

Visibility:

Always/IfSignal/Never

決して *[RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro Room55 DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro BoardProG2]*

常時: ビデオ入力コネクタのメニュー選択は、常にユーザインターフェイス上に表示されます。

信号がある場合: ビデオ入力コネクタのメニュー選択は、何かがビデオ入力に接続されている場合にのみ表示されます。

なし: 入力ソースはプレゼンテーションソースとして使用されることはなく、ユーザーインターフェイスに表示されません。

デフォルト値:

コネクタ 1: Never その他のコネクタ: IfSignal *[RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro BoardProG2]*

コネクタ 1: Never コネクタ 2: Never その他のコネクタ: IfSignal *[RoomPanorama/ Room70Panorama]*

コネクタ 1: なし その他のコネクタ: 常に *[RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro CodecPlus Room55 Room70/Room55D]*

xConfiguration Video Input Miracast Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

Miracast を使用すると、ミーティング参加者はクライアントを必要とせずに、ラップトップ (Windows または Android) からビデオ デバイスにコンテンツをワイヤレスで共有できます。Miracastは、Wi-Fi Directを使用して送信デバイス (通常はミーティング参加者のラップトップ) からビデオデバイスへの直接ネットワーク接続を確立するか、または既存のネットワークインフラストラクチャを使用してシグナリング (MS-MICEおよびRTSP) とメディアの両方にアクセスします。[ビデオ入力の [Miracast トランスポート] 設定で使用する方法を選択します。

どちらの方法も 2.4 GHz 帯域のみをサポートし、接続を確立する際にはシグナリング (RTSP) に TCP ポート 7236 を使用します。さらに、接続がインフラストラクチャを経由する場合、MS-MICE プロトコルは TCP ポート 7250 を使用します。MS-MICE プロトコルの詳細については、Microsoft のドキュメントを参照してください。

Miracast がOnになると、ビデオデバイスは、近くのデバイスがピックアップできる (範囲は約100メートル) ビーコンを発信します。近くにあるデバイスのスキャン リストに表示されるブロードキャスト名は、構成によって異なります。PII (個人を特定できる情報) が含まれないようにするために、SystemUnit BroadcastName 設定でブロードキャスト名を明確に設定することができます。それ以外の場合、スキャン リストには、デバイスが Webex クラウド サービスに登録されている場合は Webex DisplayName、Onプレミス サービスに登録されている場合は SystemUnit Name が含まれます。どちらの名前も設定されていない場合、製品タイプ (id) が表示されます。接続がインフラストラクチャ経由の場合、標識にはビデオ デバイスの IP アドレスとホスト名も含まれます。

Miracast は Wi-Fi を使用しているため、無線以外のデバイスではサポートされていません。また、これらの製品で Wi-Fi アンテナがオプションの場合は、接続することを忘れないでください。さらに、デバイスはケーブルでネットワークに接続されている必要があります (そして有線ネットワーク インターフェイスに IP アドレスを持つ必要があります)。

使用方法:

```
xConfiguration Video Input Miracast Mode: Mode
```

値は次のとおりです。

Mode:

手動/Off/On

On: Miracast がアクティブになり、ユーザーは無効化できません。

Off: Miracast は非アクティブ化されており、ユーザーはアクティブ化できません。

手動: Miracast はデフォルトで無効になっていますが、ユーザーはデバイスのユーザ インターフェイスの設定パネルから自分でトグルすることができます。

デフォルト値:

Off

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Video Input Miracast MaxBitrate

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

送信デバイス (ラップトップなど) とローカル ビデオ デバイスの間の、Miracast コンテンツの最大ビットレートを設定します。この設定は、ミーティングでのローカル デバイスと遠端デバイス間の伝送には適用されません。

使用方法:

`xConfiguration ビデオ入力 Miracast MaxBitrate: MaxBitrate`

値は次のとおりです。

MaxBitrate:

整数 (5000..15000)

kbps 単位のビットレート。

デフォルト値:

15000

xConfiguration Video Input Miracast Pin Length

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

Miracast PIN コードの桁数を設定します。ミーティング参加者は、ビデオ デバイスへの必要な Wi-Fi Direct ネットワーク接続を確立するときに、ラップトップ (送信デバイス) でこのコードを入力する必要があります。ミーティング参加者は 30 秒以内に PIN コードを入力する必要があります。

使用方法:

`xConfiguration Video Input Miracast Pin Length: Length`

値は次のとおりです。

長さ:

4/8

PIN コードの桁数です。

デフォルト値:

4

xConfiguration Video Input Miracast PresentationSelection

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

Miracast 接続が確立されると、プレゼンテーションがローカル画面に自動的に表示されます。デバイスがスタンバイ モードの場合は、起動します。

この設定では、相手とのプレゼンテーションの共有に追加のユーザアクションが必要かどうかを決定します。

使用方法:

`xConfiguration Video Input Miracast PresentationSelection: PresentationSelection`

値は次のとおりです。

PresentationSelection:

AutoShare/OnConnect

自動共有: プレゼンテーションが相手と自動的に共有されるまで 5 秒のカウントダウンがあります。カウントダウン中、ユーザーは UI から共有を停止できます。

OnConnect: プレゼンテーションが自動的に相手側と共有されることはありません。ユーザーは UI 上のポップアップから共有 (または閉じる) を選択する必要があります。

デフォルト値:

自動共有

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration ビデオ入力 Miracast 品質

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

ビデオをエンコードして送信する場合、高解像度と高フレームレートの間のトレードOffがあります。コンテンツによっては、高解像度よりも高フレームレートの伝送の方が重要な場合や、その逆の場合があります。高フレームレートを優先するか、高解像度を優先するかを指定します。

この設定はローカルで共有されているコンテンツには影響しません。遠端に送信する信号にのみ影響します。

使用方法:

`xConfiguration ビデオ入力 Miracast 品質: 品質`

値は次のとおりです。

品質:

オート/モーション/シャープネス

Auto: 開始点として自動が鮮明度に設定されます、ビデオストリームはそれに従ってエンコードされます。デバイスは受信ビデオ ストリームを継続的に分析し、モーションが検出されると、モーションのエンコードに自動的に変更します。

モーション: 可能な最高のフレームレートを提供します。より高いフレームレートが必要な場合、一般的には画像に動きがある場合に使用します。

Sharpness: 可能な最高の解像度を提供します。最高品質の詳細な画像やグラフィックスが必要な場合に使用します。

デフォルト値:

自動

xConfiguration Video Input Miracast Transport

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

Miracast 共有の場合、送信デバイス (ラップトップなど) とビデオ デバイスの間のメディア トランスポートが、Wi-Fi Direct またはインフラストラクチャ接続のどちらを経由するかを選択します。

Windows 10 v1809 以降を実行している送信デバイスのみが、インフラストラクチャ経由の転送をサポートしています。Android デバイスはそれをサポートしていません。送信側のデバイスとビデオ デバイスは、同じネットワーク上にあるか、または TCP シグナリングおよび UDP メディア トラフィックが間でルーティングできるネットワーク上にある必要があります。送信側のデバイスを暗号化されていない Wi-Fi ネットワーク上に置くことはできません。

インフラストラクチャ経由で接続する場合、中間者攻撃を防ぐために、ネットワーク インフラストラクチャが IPv4 ARP / IPv6 NDP スプーフィング防止を提供することを推奨します。

使用方法:

`xConfiguration Video Input Miracast Transport: Transport`

値は次のとおりです。

交通機関:

Auto/Direct/Infrastructure

Auto: 可能な場合はインフラストラクチャを使用し、それ以外の場合は Wi-Fi Direct を使用します。

直接: Wi-Fi Direct を使用して、ラップトップからデバイスへの直接ネットワーク接続でメディアを共有します。

インフラストラクチャ: 会社の既存のネットワークインフラストラクチャでメディアを共有します。RTSP および MS-MICE (Miracast over Infrastructure Connection Establishment protocol) を使用します。

デフォルト値:

自動

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Video Monitors

適用対象: RoomKit RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ

モニタの役割は、ビデオ出力コネクタ [n] MonitorRole 設定を使用して各画面に割り当てられます。モニタの役割は、この出力に接続されている画面に表示されるレイアウト (通話参加者とプレゼンテーション) を決定します。同じモニタの役割を持つ画面は、同じレイアウトになります。モニタの役割が異なる画面のレイアウトは異なります。

ビデオモニタ設定で設定されているモニタレイアウトモードは、あなたの会議室のセットアップで必要な異なるレイアウトの数を反映するべきです。一部の画面はプレゼンテーション用に予約できます。

使用方法:

`xConfiguration Video Monitors:` *Monitors*

値は次のとおりです。

Monitors:

Auto/Dual/DualPresentationOnly/Single [RoomKit RoomBar CodecPlus Room55 Room70/Room55D DeskPro DeskMini Desk BoardPro]

自動/デュアル/デュアルプレゼンテーションのみ/シングル/トリプル/トリプルプレゼンテーションのみ [RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 BoardProG2]

Auto/TriplePresentationOnly [RoomPanorama/Room70Panorama]

Auto: デバイスに接続されている画面の数が自動的に検出され、モニタの役割に応じて画面上のレイアウトが配信されます。

シングル: レイアウトはデバイスの画面に表示されます。デバイスに複数の画面がある場合、すべての画面で同じレイアウトが表示されます。

ダブル: レイアウトは、1 番目と 2 番目のモニタの役割の画面に分配されます。レイアウトにプレゼンテーションが含まれる場合、通話のすべての参加者は 1 番目のモニタの役割の画面に表示されます、プレゼンテーションは 2 番目の役割の画面に表示されます。

ダブルプレゼンテーションのみ: 通話のすべての参加者が、まずモニタの役割の画面に表示されます。プレゼンテーションがレイアウトの一部である場合、プレゼンテーションは 2 番目のモニタの役割で画面に表示されます。

Triple:レイアウトは、1 番目、2 番目、3 番目のモニタの役割の画面に分配されます。モニタの役割が 2 番目の画面が最初に使用され、次に 1番目、最後に 3 番目が使用されます。レイアウトにプレゼンテーションが含まれる場合、通話のすべての参加者は 1 番目と 2 番目のモニタの役割の画面に表示されます、プレゼンテーションは 3 番目の役割の画面に表示されます。

TriplePresentationOnly: 通話のすべての参加者に、モニタの役割が First と Second の画面が分配されます。モニタの役割が Second の画面が最初に使用され、次に First が使用されます。レイアウトにプレゼンテーションが含まれる場合、プレゼンテーションはモニタの役割が Third の画面に表示されます。

デフォルト値:

自動

xConfiguration ビデオ出力コネクタ [n] 明るさ

適用対象: Room55 DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デバイスの統合画面の明るさのレベルを定義します。

使用方法:

`xConfiguration Video Output Connector [n] Brightness:` *Brightness*

値は次のとおりです。

n: ビデオ出力コネクタを識別する一意の ID です。

範囲 : 1..1

輝度:

整数 (0..100)

範囲 : 値は 0 と 100 の間でなければなりません。

デフォルト値:

80

xConfiguration Video Output Connector [n] BrightnessMode

適用対象: DeskPro

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

画面の明るさのレベルを自動または手動でコントロールできるように設定します。コネクタ [1] はデバイスの統合画面です。

使用方法:

`xConfiguration Video Output Connector [n] BrightnessMode:` *BrightnessMode*

値は次のとおりです。

n: ビデオ出力コネクタを識別する一意の ID です。

範囲 : 1..1

輝度モード:

自動/手動

Auto: 画面の輝度レベルをデバイスが自動的に設定します。

手動: 画面の輝度レベルをユーザーが手動で設定できます。

デフォルト値:

自動

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration ビデオ出力コネクタ [n] CEC モード

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ

このビデオ出力 (HDMI) はコンシューマー向け電子機器操作コントロール (CEC) に対応しています。

この設定が [On] の場合、ビデオデバイスは CEC を使用して、デバイス自体がスタンバイ状態になったときに画面をスタンバイ状態にします。同様に、デバイス自体がスタンバイから復帰すると、デバイスは画面を起動します。

画面上のアクティブなビデオ入力は、ユーザーによって変更される場合があります。通話が開始されると、デバイスはアクティブなビデオ入力が画面上で別の入力に切り替えられたかどうかを検出します。デバイスは入力を元に戻し、その結果、デバイスはアクティブなビデオ入力ソースになります。デバイスがスタンバイ状態になったときに、デバイスがアクティブな入力ソースではない場合、画面はスタンバイに設定されません。

出力に接続されているスクリーンは CEC と互換性があり、CEC がスクリーンで有効になっていることが前提条件です。

CEC には、製造元によって異なるマーケティング名が使用されていることに注意してください。例えば、Anynet+ (Samsung)、Aquos Link (シャープ)、ブラビア同期 (Sony)、HDMI-CEC (日立)、クロリンク (パイオニア)、CE-Link および レグザリンク (東芝)、RIHD (オンキヨー)、HDAVI Control、EZ-Sync、VIERA Link (パナソニック)、イージーリンク (Philips)、および NetCommand for HDMI (三菱) があります。

使用方法:

`xConfiguration ビデオ出力コネクタ [n] CEC モード:` *`モード`*

値は次のとおりです。

`n`: ビデオ出力コネクタを識別する一意の ID です。

範囲: 1..1 *[RoomKitMini]*

範囲 : 1..2 *[RoomKit RoomBar CodecPlus]*

範囲 : 1..3 *[RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

範囲 : 2..2 *[Room55 DeskPro BoardPro]*

範囲: 2..3 *[BoardProG2]*

範囲 : 2..2 Room 70 シングル用; Room 70 Dual には適用できません *[Room70/Room55D]*

`Mode`:

Off/On *[RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro BoardPro BoardProG2]*

On *[RoomPanorama/Room70Panorama]*

Off: CEC は無効になっています。

On: CEC が有効になっています。

デフォルト値:

対応 *[RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 DeskPro BoardPro BoardProG2]*

Off *[Room70/Room55D Room70G2]*

会議室のパノラマ: 対応 Room 70 パノラマ: コネクタ 1: 非対応、コネクタ 2: 非対応、コネクタ 3: 対応 *[RoomPanorama/Room70Panorama]*

xConfiguration Video Output Connector[n] ContentType

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ

ビデオストリームのコンテンツタイプ情報を送信するかどうかを決定します。

ほとんどの場合、コンテンツ タイプ情報は送信しないことが最適です。しかし、遅延が予想以上に高い場合は、コンテンツ タイプを [ゲーム (低遅延ビデオ)] に設定してみてください。ただし、ほとんどのディスプレイでは、送信されるコンテンツ タイプ情報をチェックしないことに注意してください。

使用方法:

`xConfiguration Video Output Connector[n] ContentType:` *`ContentType`*

値は次のとおりです。

`n`: ビデオ出力コネクタを識別する一意の ID です。

範囲: 1..2 *[RoomKit RoomBar CodecPlus]*

範囲 : ルーム 70 シングル : 1..1 ルーム 55 デュアル、ルーム 70 デュアル : 1..2 *[ルーム 70/ルーム 55D]*

範囲 : 1..3 *[RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

範囲 : 1..1 *[RoomKitMini]*

範囲 : 2..2 *[Room55 DeskPro BoardPro]*

範囲: 2..3 *[BoardProG2]*

`コンテンツタイプ`:

デフォルト/ゲーム

既定: どのコンテンツ タイプ情報も送信しません。

ゲーム: コンテンツタイプ「ゲーム」をビデオストリームで送信します。

デフォルト値:

デフォルト

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration ビデオ出力コネクタ [n] HDCPForce1_4

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

デバイスが新しい HDCP 2.2 バージョンもサポートしている場合でも、出力で HDCP 1.4 プロトコルのみを使用するように指示する場合は、この設定を使用します。

信号チェーン内の機器が HDCP 2.2 のサポートを通知するが、完全にはサポートしていない場合に、これが必要になることがあります。

使用方法:

`xConfiguration ビデオ出力コネクタ [n] HDCPForce1 _ 4: HDCPForce1 _ 4`

値は次のとおりです。

n: ビデオ出力コネクタを識別する一意の ID です。

範囲: 1..2 *[RoomKit RoomBar CodecPlus Room55 Room70/Room55D DeskPro BoardPro]*

範囲: 1..3 *[RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardProG2]*

範囲: 1..1 *[RoomKitMini DeskMini Desk Board]*

HDCPForce1 _ 4:

Off/On *[RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

オン *[RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro BoardProG2]*

オフ: 標準の HDCP ネゴシエーションを提供します。つまり、使用可能な場合は HDCP 2.2 を使用し、そうでない場合は HDCP 1.4 を使用します。

オン: HDCP ネゴシエーションに HDCP 1.4 のみを提供します。

デフォルト値:

オン

xConfiguration ビデオ出力コネクタ [n] HDCPPolicy

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

一部のビデオデバイスの HDMI 出力は、HDCP で保護されたコンテンツの送信を許可するように設定できます。HDCP で保護されたコンテンツを画面に表示するには、画面自体も HDCP に対応している必要があります。

使用方法:

`xConfiguration Video Output Connector [n] HDCPPolicy: HDCPPolicy`

値は次のとおりです。

n: ビデオ出力コネクタを識別する一意の ID です。

範囲: 1..2 *[RoomKit RoomBar CodecPlus Room55 Room70/Room55D DeskPro BoardPro]*

範囲: 1..3 *[RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardProG2]*

範囲: 1..1 *[RoomKitMini DeskMini Desk Board]*

HDCPPolicy:

Off *[RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama Board BoardProG2]*

Off/On *[RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

オン *[Room55 DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2]*

Off: HDCP は出力リンクで無効です。そのため、ビデオ出力では保護されていないコンテンツのみが許可されます。

On: ビデオ出力は、HDCP (HDCP 1.4 または HDCP 2.2) 保護されたコンテンツと保護されていないコンテンツの両方を許可します。

デフォルト値:

Off *[RoomKit RoomKitMini Board]*

On *[RoomBar RoomBarPro RoomKit qx CodecEQ Room55 DeskPro DeskMini Desk BoardPro]*

コネクタ 1、2: オン コネクタ 3: オフ *[CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

コネクタ 1: オン コネクタ 2: オフ *[CodecPlus Room70/Room55D]*

On *[BoardProG2]*

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Video Output Connector [n] Location HorizontalOffset

適用先 : RoomKit RoomBar RoomBarPro RoomKitQX CodecQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/ Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ

[HorizontalOffset] および [VerticalOffset] 設定は、各ビデオ出力に関連付けられます。これらの設定は、これらの出力に接続されているディスプレイの相対位置を示すために使用されます。

HorizontalOffset = "0" および VerticalOffset = "0" は、ディスプレイが水平方向および垂直方向の両方の中央に配置されることを示します。負の水平Offセットはモニタが中央より左に配置されることを示し、正の水平Offセットはモニタが中央より右に配置されることを示します。負の垂直Offセットはモニタが中心より下にあることを示し、正の垂直Offセットはモニタが中心より上にあることを示します。Offセットの大きさは、他のディスプレイと比較して、ディスプレイが中心からどれだけ離れているかを示します。

例: 2 つの画面が並んでいます。左の画面はコネクタ 1、右の画面はコネクタ 2 です。次の設定が適用されます。

Video Output Connector 1 Location: HorizontalOffset = "0", VerticalOffset = "0"

Video Output Connector 2 Location: HorizontalOffset = "1", VerticalOffset = "0"

例:上下に 2 つの画面があるとします。上の画面はコネクタ 1、下の画面はコネクタ 2 です。次の設定が適用されます。

Video Output Connector 1 Location: HorizontalOffset = "0", VerticalOffset = "0"

Video Output Connector 2 Location: HorizontalOffset = "0", VerticalOffset = "-1"

Board Pro、Board Pro G2、Desk Pro、および Room 55 の場合、統合画面コネクタ 1 は、HorizontalOffset = "0" および VerticalOffset = "0" (暗黙的、構成不可) になります。

使用方法:

```
xConfiguration Video Output Connector [n] Location HorizontalOffset:
"HorizontalOffset"
```

値は次のとおりです。

n: ビデオ出力コネクタを識別する一意の ID です。

範囲 : 1..2 *[RoomKit RoomBar CodecPlus Room70/Room55D]*

範囲 : 1..3 *[RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

範囲 : 2..2 *[Room55 DeskPro BoardPro]*

範囲: 2..3 *[BoardProG2]*

水平Offセット:

文字列 (1, 12)

文字列は、-100.0 から 100.0 まで (これらの数値を含む) の 10 進数を表します。C++ <string> ライブラリの std::stof 関数に準拠する入力文字列を受け付けます。これは、10 進数表記または E 記法を使用できることを意味します。例えば、"12", "12.0", "1.2e1", "1.2E1", "-0.12", "-12e-2" です。先頭の空白文字は切り捨てられ、小数点は "." です。

デフォルト値:

コネクタ 1:「-1」コネクタ 2:「0」コネクタ 3:「1」 [RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2]

コネクタ 1:「0」コネクタ 2:「1」コネクタ 3:「0.5」 [RoomPanorama/Room70Panorama]

コネクタ 1:「0」コネクタ 2:「1」 [RoomKit RoomBar CodecPlus Room70/Room55D]

コネクタ 2:「1」 [Room55 DeskPro]

コネクタ 2:「0」 [BoardPro]

コネクタ 2:「-1」 コネクタ 3: "0" [BoardProG2]

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Video Output Connector [n] Location VerticalOffset

適用先 : RoomKit RoomBar RoomBarPro RoomKitQX CodecQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/ Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ

[HorizontalOffset] および [VerticalOffset] 設定は、各ビデオ出力に関連付けられます。これらの設定は、これらの出力に接続されているディスプレイの相対位置を示すために使用されます。

HorizontalOffset = "0" および VerticalOffset = "0" は、ディスプレイが水平方向および垂直方向の両方の中央に配置されることを示します。負の水平Offセットはモニタが中央より左に配置されることを示し、正の水平Offセットはモニタが中央より右に配置されることを示します。負の垂直Offセットはモニタが中心より下にあることを示し、正の垂直Offセットはモニタが中心より上にあることを示します。Offセットの大きさは、他のディスプレイと比較して、ディスプレイが中心からどれだけ離れているかを示します。

Board Pro、Board Pro G2、Desk Pro、および Room 55 の場合、統合画面コネクタ 1 は、HorizontalOffset = "0" および VerticalOffset = "0" (暗黙的、構成不可) になります。

例: 2 つの画面が並んでいます。左の画面はコネクタ 1、右の画面はコネクタ 2 です。次の設定が適用されます。

Video Output Connector 1 Location: HorizontalOffset = "0", VerticalOffset = "0"

Video Output Connector 2 Location: HorizontalOffset = "1", VerticalOffset = "0"

例:上下に 2 つの画面があるとします。上の画面はコネクタ 1、下の画面はコネクタ 2 です。次の設定が適用されます。

Video Output Connector 1 Location: HorizontalOffset = "0", VerticalOffset = "0"

Video Output Connector 2 Location: HorizontalOffset = "0", VerticalOffset = "-1"

使用方法:

```
xConfiguration Video Output Connector [n] Location VerticalOffset:
"VerticalOffset"
```

値は次のとおりです。

n: ビデオ出力コネクタを識別する一意の ID です。

範囲 : 1..2 *[RoomKit RoomBar CodecPlus Room70/Room55D]*

範囲 : 1..3 *[RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

範囲 : 2..2 *[Room55 DeskPro BoardPro]*

範囲: 2..3 *[BoardProG2]*

垂直Offセット:

文字列 (1, 12)

文字列は、-100.0 から 100.0 まで (これらの数値を含む) の 10 進数を表します。C++ <string> ライブラリの std::stof 関数に準拠する入力文字列を受け付けます。これは、10 進数表記または E 記法を使用できることを意味します。例えば、"12", "12.0", "1.2e1", "1.2E1", "-0.12", "-12e-2" です。先頭の空白文字は切り捨てられ、小数点は "." になります。

デフォルト値:

コネクタ n: "0" *[RoomKit RoomBar RoomBarPro CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/ Room55D Room70G2 DeskPro BoardPro BoardPro BoardProG2]*

コネクタ 1、2: 「0」 コネクタ 3: 「-1」 *[RoomKitEQX RoomPanorama/Room70Panorama]*

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Video Output Connector [n] MonitorRole

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

モニタの役割は、このビデオ出力に接続された画面にどのビデオストリームが表示されるかを示します。すべての出力に対する Video Monitors 設定と MonitorRole 設定は、各画面に表示されるレイアウト (ビデオ ストリーム) を定義します。

使用方法:

`xConfiguration ビデオ出力コネクタ [n] MonitorRole:` *MonitorRole*

値は次のとおりです。

n: ビデオ出力コネクタを識別する一意の ID です。

範囲: 1..2 *[RoomKit RoomBar CodecPlus Room70/Room55D]*

範囲: 1..3 *[RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

範囲: 2..2 *[Room55 DeskPro BoardPro]*

範囲: 2..3 *[BoardProG2]*

範囲: 1..1 *[RoomKitMini]*

モニタ役割:

自動/第 1/プレゼンテーションのみ/レコーダー/第 2/第 3 [RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardProG2]

Auto/First/PresentationOnly/Second [RoomKit RoomKitMini RoomBar CodecPlus Room55 Room70/Room55D DeskPro BoardPro]

Auto/First/Second [DeskPro BoardPro]

Auto/First/Second/Third [BoardProG2]

Auto: スクリーンが接続されるとデバイスが検出され、ビデオモニタ設定に応じたモニタの役割 (第一、第二、第三) が自動的に割り当てられます。

第一/第二/第三: マルチスクリーン設定でのスクリーンの役割を定義します。単一画面のセットアップでは、第一、第二、第三の違いはありません。

PresentationOnly: アクティブな場合にプレゼンテーションビデオストリームを表示し、それ以外は表示しません。このモニタの役割を持つ画面/出力は、ビデオモニタ設定では無視されます。

レコーダー: ローカルメインビデオ (セルフビュー) を含むすべての参加者を表示します。アクティブな場合、プレゼンテーションも表示します。このモニタの役割を持つ画面/出力は、ビデオモニタ設定では無視されます。

デフォルト値:

自動 [RoomKit RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro BoardPro BoardProG2]

Dual : コネクタ 1、2 : Auto、Single : コネクタ 1 : Auto コネクタ 2 : PresentationOnly [Room70/Room55D]

xConfiguration Video Output Connector [n] Resolution

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

出力で使用される解像度とリフレッシュレートを設定します。指定された解像度とリフレッシュ レートが接続されたスクリーン/ディスプレイでサポートされていない場合、またはこの構成が [自動] に設定されている場合、出力解像度とリフレッシュ レートは画面の優先形式になります (EDID でレポートされ、ビデオ出力コネクタに渡されます) [n] 接続されたデバイスの優先形式のステータス。

ビデオ出力コネクタ [n] の幅、高さ、リフレッシュレートのステータスで送信される実際の解像度とフレームレートを常に確認できます。

接続されたスクリーンがサポートしていない解像度を選択すると、出力形式はスクリーンの優先形式になります (EDID で報告され、ビデオ出力コネクタ [n] 接続されたデバイスの優先形式のステータスで渡されます。

デバイスに統合画面がある場合、コネクタ [1] はこの画面を参照します。

1920_1200_60 を超える形式で外部スクリーンに接続するには、高品質ディスプレイケーブルを使用する必要があります。

一部の UHD テレビ/ディスプレイは、デフォルト設定として 3840_2160_30 (30Hz) のみをサポートし、3840_2160_60 (60Hz) をサポートしません。このような場合、対応する TV/ディスプレイの設定を再構成して、デバイスが接続されている HDMI 入力で 3840_2160_60 を許可する必要があります。

自動モードでは、Codec Pro Connector 3 は、3840x2160p30 に設定されていない限り、ディスプレイの優先解像度を使用します。3840x2160p30 に設定されている場合、自動的に 1920x1080p60 に切り替わります。

使用方法:

`xConfiguration ビデオ出力コネクタ [n] 解像度:` *解像度*

値は次のとおりです。

n: ビデオ出力コネクタを識別する一意の ID です。

範囲: 1..1 *[RoomKitMini DeskMini Desk Board]*

範囲: 1..2 *[RoomKit RoomBar CodecPlus Room55 Room70/Room55D DeskPro BoardPro]*

範囲: 1..3 *[RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardProG2]*

Resolution:

1920_1080_50/1920_1080_60/1920_1200_50/1920_1200_60/2560_1080_60/2560_1440_60/2880_1200_60/3440_1440_60/3840_1600_60/3840_1620_60/3840_2160_30/3840_2160_60/Auto [RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro BoardPro BoardProG2]

1920_1080_50/1920_1080_60/1920_1200_50/1920_1200_60/2560_1440_60/3840_2160_30/自動 [CodecPro Room70G2]

1920_1080_60 [DeskMini Desk]

3840_2160_30 [ルームパノラマ/ルーム 70 パノラマ]

3840_2160_60 [Room55 DeskPro Board BoardPro BoardProG2]

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

Auto: デバイスは、接続されたモニタとのネゴシエーションに基づいて、自動的に最適な解像度を設定しようとします。
1920_1080_50: 解像度は 1920 x 1080、リフレッシュレートは 50Hz です。
1920_1080_60: 解像度は 1920 x 1080、リフレッシュレートは 60Hz です。
1920_1200_50: 解像度は 1920 x 1200、リフレッシュレートは 50Hz です。
1920_1200_60: 解像度は 1920 x 1200、リフレッシュレートは 60Hz です。
2560_1080_60: 解像度は 2560 x 1080、リフレッシュレートは 60Hz です。
2560_1440_60: 解像度は 2560 x 1440、リフレッシュレートは 60Hz です。
2880_1200_60: 解像度は 2880 x 1200、リフレッシュレートは 60Hz です。
3440_1440_60: 解像度は 3440 x 1440、リフレッシュレートは 60Hz です。
3840_1600_60: 解像度は 3840 x 1600、リフレッシュレートは 60Hz です。
3840_1620_60: 解像度は 3840 x 1620、リフレッシュレートは 60Hz です。
3840_2160_30: 解像度は 3840 x 2160、リフレッシュレートは 30Hz です。
3840_2160_60: 解像度は 3840 x 2160、リフレッシュレートは 60Hz です。

デフォルト値:

3840_2160_60 *[Board]*
1920_1080_60 *[DeskMini Desk]*
コネクタ 1: 3840_2160_60 その他のコネクタ: Auto *[Room55 DeskPro BoardPro BoardProG2]*
Auto *[RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2]*
コネクタ 1、2: Auto;コネクタ 3: 3840_2160_30 *[RoomPanorama/Room70Panorama]*

xConfiguration Video Output Connector [n] RGBQuantizationRange

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ

接続された HDMI ディスプレイは、CTA-861 で定義されている、RGB ビデオの量子化範囲のルールに従う必要があります。残念ながら、一部のディスプレイは標準に準拠していないため、この構成を使用して設定を上書きし、どのディスプレイでも完全な画像を得ることができます。

使用方法:

```
xConfiguration Video Output Connector [n] RGBQuantizationRange:
RGBQuantizationRange
```

値は次のとおりです。

n: ビデオ出力コネクタを識別する一意の ID です。

範囲: 1..1 *[RoomKitMini]*
範囲: 1..2 *[RoomKit RoomBar CodecPlus Room70/Room55D]*
範囲 : 1..3 *[RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*
範囲 : 2..2 *[Room55 DeskPro BoardPro]*
範囲: 2..3 *[BoardProG2]*

RGBQuantizationRange:

自動/フル/制限

Auto: ディスプレイ信号が EDID で「選択可能な RGB 量子化範囲」をサポートしている場合、AVI InfoFrame はフルレンジの信号を RGB 量子化範囲ビット (Q0、Q1) で送信します。それ以外の場合は、制限範囲は AVI InfoFrame で CE ビデオ形式の場合および フルレンジの IT ビデオ形式で通知されます。

フル: クOnタイズの範囲全体です。R、G、B の量子化範囲には、すべてのコード値 (0 - 255) が含まれます。これは CTA-861-H で定義されています。

制限付き: クOnタイズ範囲です。極端な (16 - 235) の一部のコード値を除外した R、G、B の量子化範囲。これは CTA-861-H で定義されています。

デフォルト値:

フル

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration ビデオ出力 HDMI パススルー可

適用対象: RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザーロール: 管理者

デバイスの HDMI 出力の 1 つに接続されている HDMI-USB コンバーター (キャプチャ デバイス) の USB ソケットにラップトップを接続すると、ラップトップのミーティング アプリから発信するときに、デバイスのカメラとマイクを使用できます。デバイスの画面とスピーカーを利用するために、ラップトップと HDMI 入力の間のプレゼンテーション ケーブル (HDMI) も必要です。この機能は、ラップトップからの発信、ウェブカメラ モード、または HDMI パススルーと呼ばれています。

HDMIからUSBへのコンバーターが接続されている HDMI 出力は、[ビデオ出力 HDMI パススルー出力コネクタ] 設定で設定されています。また、[ビデオ モニタ] および [ビデオ出力コネクタ [n] モニタロール] の設定が正しいことを確認することもできます。

Room 55 Dual および Room 70 Dual はコンバーターで利用できる HDMI 出力がないため、ラップトップからの発信はサポートされていません。

使用方法:

`xConfiguration ビデオ出力 HDMI パススルー許可:` *許可*

値は次のとおりです。

許可:

False/True

False: この機能を無効にします。ラップトップ ミーティング アプリからの発信はサポートされていません。

True: この機能を有効にします。ラップトップ ミーティング アプリからの発信がサポートされており、ユーザ インターフェイスに [ラップトップから発信] ボタンがあります。

デフォルト値:

False

xConfiguration Video Output HDMI Passthrough HdmiUsbConverter Mode

適用対象: RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

ラップトップからの発信 (HDMI パススルー) 機能を使用する場合、ユーザーは (ラップトップで) HDMI-USB コンバータ (取り込みデバイス) をマイクおよびカメラとして使用することを選択する必要があります。この設定では、選択するデバイスのリストに表示される名前をカスタマイズできます。

ラップトップからの通話の詳細については、[ビデオ出力 HDMI パススルー許可] 設定を参照してください。Room 55 Dual および Room 70 Dual はコンバーターで利用できる HDMI 出力がないため、ラップトップからの発信はサポートされていません。

使用方法:

`xConfiguration Video Output HDMI Passthrough HdmiUsbConverter Mode:` *Mode*

値は次のとおりです。

Mode:

Auto/Custom/General

Auto: HDMI-USB コンバータがビデオデバイスに通知する名前を表示します。空の場合、HDMI-USB コンバータの汎用名が表示されます。アドバタイズされた名前は [ビデオ出力コネクタ [n] 接続デバイス名] ステータスで見つけることができます。n は HDMI-USB コンバーターを接続した HDMI 出力コネクタです。

全般: HDMI-USB コンバーターの名前として汎用名を表示します。

カスタム: Video Output Hdmi Passthrough HdmiUsbConverter Name 設定で、HDMI-USB コンバータの名前として定義されている名前を表示します。

デフォルト値:

全般

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Video Output HDMI Passthrough HdmiUsbConverter Name

適用対象: RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ

[Video Output Hdmi Passthrough HdmiUsbConverter モード] が [カスタム] に設定されている場合、ここで HDMI-USB コンバーター (キャプチャ デバイス) の名前を設定する必要があります。これは、ラップトップからカメラとマイクを選択するときに、選択するデバイスのリストに表示される名前です。

Room 55 Dual および Room 70 Dual ではコンバーターに HDMI 出力がないため、この設定は利用できません。

使用方法:

```
xConfiguration Video Output HDMI Passthrough HdmiUsbConverter Name: "Name"
```

値は次のとおりです。

名前:

文字列 (0, 25)

HDMI-USB コンバータの名前です。

デフォルト値:

「」

xConfiguration Video Output HDMI Passthrough OutputConnector

適用対象: RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ

HDMI-USB コンバータ (キャプチャデバイス) を接続した HDMI 出力コネクタを設定します。既定では、デバイスは最も高い番号の HDMI 出力を使用するようにセットアップされています。

この設定は、[ラップトップからの発信] が有効な場合、つまり [ビデオ出力 HDMI パススルーの許可] が True に設定されている場合にのみ適用されます。

Room 55 Dual および Room 70 Dual ではコンバーターに HDMI 出力がないため、この設定は利用できません。

使用方法:

```
xConfiguration Video Output HDMI Passthrough OutputConnector: OutputConnector
```

値は次のとおりです。

出力コネクタ:

整数 (1..1) *[Room55]*

整数 (1..2) *[RoomKit CodecPlus]*

整数 (1..3) *[CodecPro]*

整数 (2..2) *[Room70/Room55D]*

整数 (2..3) *[Room70G2]*

整数 (3..3) *[Room70G2]*

範囲 : 選択したビデオ出力コネクタの一意の識別子です。

デフォルト値:

3 *[CodecPro Room70G2]*

2 *[RoomKit CodecPlus Room70/Room55D]*

1 *[Room55]*

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Video Output HDMI Passthrough AutoDisconnect Enabled

適用対象: RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

ユーザーがタッチコントローラから切断するのを忘れた場合など、指定された遅延の後に、デバイスが HDMI パススルーを自動的に切断するかどうかを決定します。遅延は [ビデオ出力 HDMI パススルー 自動切断遅延] で設定します。

HDMI パススルーおよびラップトップからの発信機能の詳細については、[ビデオ出力 HDMI パススルー可] 設定を参照してください。Room 55 Dual および Room 70 Dual では、ラップトップからの発信はサポートされていません。

使用方法:

```
xConfiguration Video Output HDMI Passthrough AutoDisconnect Enabled: Enabled
```

値は次のとおりです。

Enabled:

False/True

False: HDMI パススルーは自動的に切断されません。ユーザーは常にタッチ コントローラーから切断する必要があります。

True: ビデオ出力 HDMI パススルー自動切断遅延時間がタイムアウトすると、HDMI パススルーが切断されます。

デフォルト値:

True

xConfiguration Video Output HDMI Passthrough AutoDisconnect Delay

適用対象: RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

デバイスが自動的に切断されるまでの時間 (分) を HDMI パススルー モードで設定します。この設定は、[ビデオ出力 HDMI パススルー自動切断の有効化] が True に設定されている場合にのみ効果があります。

HDMI パススルーおよびラップトップからの発信機能の詳細については、[ビデオ出力 HDMI パススルー可] 設定を参照してください。Room 55 Dual および Room 70 Dual では、ラップトップからの発信はサポートされていません。

使用方法:

```
xConfiguration Video Output HDMI Passthrough AutoDisconnect Delay: Delay
```

値は次のとおりです。

遅延:

整数 (1..1440)

分単位で測定された遅延。

デフォルト値:

120

xConfiguration ビデオ出力 ミラーリングタイプ

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

この設定は、デバイスが通話中でないときに、ローカル コンテンツが表示される画面を決定します。

使用方法:

```
xConfiguration Video Output MirroringType: MirroringType
```

値は次のとおりです。

ミラーリングの種類:

LastOnly/Mirror/Multiscreen

LastOnly: ローカルコンテンツは、利用可能な最後の画面でのみ表示されます。他の画面に複製されることはありません。利用可能な画面とは、ホーム画面または何も表示されていない画面です。

ミラーリング: ローカルコンテンツは利用可能なすべてのスクリーンにミラーリングされます。新しいソースを接続すると、すべての画面で以前のソースが置き換えられます。

マルチスクリーン: ローカルコンテンツは利用可能なすべてのスクリーンに分散されます。接続した最初のソースが、利用可能なすべてのスクリーンにミラーリングされます。次に接続するソースは、前のソース (ある場合) の画面をそのままにし、新たな画面に表示されます。

デフォルト値:

Multiscreen *[RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecExQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskMini Desk Board BoardPro BoardProG2]*

LastOnly *[DeskPro]*

xConfiguration Video Output Webcam USBMode

適用対象: RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

ビデオに接続したとき、またはビデオのストリーミングを開始したときに、USB モード (および邪魔しないモード) に入るかどうかを指定します。

使用方法:

```
xConfiguration Video Output Webcam USBMode: USBMode
```

値は次のとおりです。

USB モード:

OnConnect/OnStreaming

OnConnect: ビデオに接続すると USB モードになります。

OnStreaming: ビデオのストリーミングを開始すると USB モードに切り替わります。

デフォルト値:

OnStreaming

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

X 構成 ビデオ出力コネクタ [n] ホワイトバランスレベル

適用対象: Room55 DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

統合型スクリーンの色温度 (ホワイトバランス) は、4000 K (温色) から 9000 K (冷色) で調整することができます。

使用方法:

`xConfiguration` ビデオ出力コネクタ `[n]` ホワイトバランスレベル: *レベル*

値は次のとおりです。

n: ビデオ出力コネクタを識別する一意の ID です。

範囲 : 1..1

Level:

整数 (4000..9000)

ケルビンで表した色温度です。

デフォルト値:

6500

X 構成 ビデオプレゼンテーションのデフォルト PIP ポジション

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ

プレゼンテーションのピクチャーインピクチャー (PiP) の画面上の位置を定義します。この設定は、例えばユーザーインターフェイスを使用して、プレゼンテーションが明示的に PiP に最小化された場合にのみ有効になります。設定は次回の呼び出しから有効になります。通話中に変更しても、現在の通話には影響しません。

使用方法:

`xConfiguration` ビデオプレゼンテーション `DefaultPIPPosition`: *DefaultPIPPosition*

値は次のとおりです。

デフォルトの PIP 位置:

CenterLeft/CenterRight/Current/LowerLeft/LowerRight/UpperCenter/UpperLeft/UpperRight

現在: 通話を終了するときに、プレゼンテーション PiP の位置は変更されません。

UpperLeft: プレゼンテーション PiP は画面の左上隅に表示されます。

UpperCenter: プレゼンテーション PiP は上部中央の位置に表示されます。

UpperRight: プレゼンテーション PiP が画面の右上隅に表示されます。

CenterLeft: プレゼンテーション PiP が中央左の位置に表示されます。

CenterRight: プレゼンテーション PiP が中央右の位置に表示されます。

LowerLeft: プレゼンテーション PiP は画面の左下隅に表示されます。

LowerRight: プレゼンテーション PiP は画面の右下隅に表示されます。

デフォルト値:

現在

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Video Presentation DefaultSource

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

既定のプレゼンテーションソースとして使用するビデオ入力ソースを定義します。この設定は API およびサードパーティのユーザ インターフェイスで使用される場合があります。Cisco が提供するユーザ インターフェイスを使用する場合には関係ありません。

使用方法:

```
xConfiguration Video Presentation DefaultSource: DefaultSource
```

値は次のとおりです。

DefaultSource:

1/2 *[RoomKit RoomKitMini Board]*

1/2/3 *[CodecPlus Room55 Room70/Room55D DeskMini]*

1/2/3/4 *[デスク]*

1/2/3/4/5 *[RoomBar DeskPro BoardPro]*

1/2/3/4/5/6 *[RoomBarPro BoardProG2]*

1/2/3/4/5/6/7/8/9 *[RoomKitEQX CodecEQ]*

1/2/3/4/5/6/7/8/9/10/11 *[CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

デフォルトのプレゼンテーション ソースとして使用するビデオ入力ソース。

デフォルト値:

2 *[RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus Room55 Room70/Room55D DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro BoardProG2]*

3 *[CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

xConfiguration Video Presentation Priority

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール：管理者

プレゼンテーションチャネルとメインビデオチャネル間の帯域幅の配分方法を指定します。この設定は SIP および H.323 通話にのみ適用されます。

使用方法:

```
xConfiguration Video Presentation Priority: Priority
```

値は次のとおりです。

優先順位:

Equal *[RoomPanorama/Room70Panorama]*

同等/高/低 *[RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro BoardProG2]*

等しい: 利用可能な帯域幅は、プレゼンテーション チャネルとメイン ビデオ チャネルの間で均等に共有されます。

高: メイン ビデオ チャネルを犠牲にして、利用可能な帯域幅のより大きな部分をプレゼンテーション チャネルに割り当てます。

低: メイン ビデオ チャネルにより大きな帯域幅が割り当てられますが、プレゼンテーション チャネルの犠牲に。

デフォルト値:

等しい

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Video Selfview Default FullscreenMode

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

メイン ビデオ ソース (セルフビュー) を通話後にフルスクリーンで表示するか、または小さいピクチャーインピクチャー (PiP) として表示するかを定義します。この設定はセルフビューがOnになっている場合にのみ有効です ([ビデオのセルフビュー デフォルト モード] 設定を参照)。

Desk および Desk Pro の場合、ユーザ インターフェイスを使用してフルスクリーンのセルフビューをOffにすると、次にユーザ インターフェイスを使用してOnにしたときに、PiP として戻ります。

使用方法:

```
xConfiguration Video Selfview Default FullscreenMode: FullscreenMode
```

値は次のとおりです。

フルスクリーンモード:

現在/オフ/オン

Off: セルフビューは PiP として表示されます。

カレント: 通話を終了するときに、セルフ ビューの画像のサイズは変更されません。つまり、通話中は PiP であった場合、通話後も PiP のままとなります。通話中はフルスクリーン表示でも、通話後はフルスクリーンのままです。

On: セルフビュー画像がフルスクリーンで表示されます。

デフォルト値:

現在

xConfiguration Video Selfview Default Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

メイン ビデオ ソース (セルフビュー) を通話中以外の画面に表示するかどうかを指定します。通話のセットアップ時および通話中にOnまたはOffになるかどうかは、[ビデオの自分のビュー] 通話モードによって指定されます。

セルフビューウィンドウの位置とサイズは、それぞれ Video Selfview Default PIPPosition と Video Selfview Default FullscreenMode によって決定されます。

使用方法:

```
xConfiguration Video Selfview Default Mode: Mode
```

値は次のとおりです。

Mode:

自動/現在/Off/On

Auto: セルフビューは通話以外では常にOffです。

現在: セルフビューは現状のままです。つまり、通話中にOnになっている場合は、通話後もOn のままです。通話中にOffだった場合、通話後もOffのままです。

Off: セルフビューは通話外では常にOffです。

On: セルフビューは通話外で常にOnです。

デフォルト値:

自動

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Video Selfview Default OnMonitorRole

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

通話後にメイン ビデオ ソース (セルフビュー) を表示する画面/出力を定義します。この値は、[ビデオ出力コネクタ [n] MonitorRole] 設定で異なる出力に設定されたモニタの役割を反映します。

この設定は、自分の映像がフルスクリーンで表示されている場合と、ピクチャーインピクチャー (PiP) で表示されている場合の両方に適用されます。

使用方法:

```
xConfiguration Video Selfview Default OnMonitorRole: OnMonitorRole
```

値は次のとおりです。

OnMonitorRole:

現行/最初/第二 *[RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro CodecPlus Room55 Room70/Room55D DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro BoardProG2]*

Current/First/Second/Third *[RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama]*

現在: 通話を退席するとき、セルフビュー画像は通話中と同じように出力されます。

First: セルフビュー画像は、First のモニタロールを持つ出力に表示されます。

Second: セルフビュー画像は、Second のモニタロールを持つ出力に表示されます。

Third: セルフビュー画像は、Third のモニタロールを持つ出力に表示されます。

デフォルト値:

現在

xConfiguration Video Selfview Default PIPPosition

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

通話後のセルフビュー ピクチャーインピクチャー (PiP) の画面上の位置を定義します。この設定は、自分の映像がOnになっており ([ビデオの自分の映像のデフォルト モード] 設定を参照)、フルスクリーン表示がOffになっている ([ビデオの自分の映像のデフォルト フルスクリーンモード] 設定を参照) 場合にのみ有効です。

使用方法:

```
xConfiguration Video Selfview Default PIPPosition: PIPPosition
```

値は次のとおりです。

PIP の位置:

CenterLeft/CenterRight/Current/LowerLeft/LowerRight/UpperCenter/UpperLeft/ UpperRight

現在: 通話を終了するとき、セルフ表示 PiP の位置は変更されないまま保持されます。

左上: セルフ ビュー PiP は画面の左上角に表示されます。

中央上: セルフ ビュー PiP が中央上部に表示されます。

右上: セルフビュー PiP は画面の右上角に表示されます。

CenterLeftセルフビュー PiP が中央左の位置に表示されます。

CentreRight: セルフビュー PiP が中央右の位置に表示されます。

ローワーレフト: セルフビュー PiP は画面の左下隅に表示されます。

LowerRight: セルフビュー PiP が画面の右下隅に表示されます。

デフォルト値:

Current *[RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2]*

下右 *[RoomPanorama/Room70Panorama]*

現行 *[ボード]*

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Video Selfview OnCall Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ

通話のセットアップ時および通話中にセルフビューを表示するかどうかを指定します。この設定では既定の動作を指定します。ユーザーは、通話中に UI からいつでもセルフビューをOnまたはOffにできます。次の呼び出しでは、この設定で指定した動作が再び適用されます。

使用方法:

```
xConfiguration Video Selfview OnCall Mode: Mode
```

値は次のとおりです。

Mode:

自動/現在/Off/On

Auto: セルフビューは通話セットアップ中にOnになり、ビデオ セルフビュー 通話中の持続時間設定で指定された期間Onのままになります。ビデオ セルフビュー デフォルトモード設定が [On] の場合、セルフビューは通話中Onのままになります。

現在: 通話を設定する前のセルフビューを保持します。

Off: 通話のセットアップ中にセルフビューは表示されず、通話中はOffのままです。これは、通話を開始する前にセルフビューがOnであっても適用されます。

On: 通話のセットアップ中にセルフビューが表示され、通話中はOnのままになります。

デフォルト値:

自動

xConfiguration Video Selfview OnCall Duration

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ

この設定は、[ビデオのセルフビュー通話時モード] 設定が [自動] の場合にのみ有効です。この場合、ここで設定した秒数が、セルフビューが表示されてから自動的にOffになるまでの時間を決定します。

使用方法:

```
xConfiguration Video Selfview OnCall Duration: Duration
```

値は次のとおりです。

Duration:

整数 (1..60)

範囲 : 自分の映像がOnである時間を選択します。有効な範囲は 1 から 60 秒です。

デフォルト値:

5

音声コントロールの構成

xConfiguration VoiceControl ウェイクワード モード

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ

この設定を使用して、Webex Assistant によって使用されるウェイクワード (例えば、「OK Webex」) を有効または無効にします。Webex Assistant を使用すると、デバイスをハンズフリーで使用できます。また、ウェイクワードを使用すると、通話の発信やプレゼンテーションの開始などのタスクを開始できます。

[Webex Assistant] をOnに切り替えるには、[ユーザ インターフェイス アシスタント モード] 設定を使用します。

使用方法:

```
xConfiguration VoiceControl Wakeword Mode: Mode
```

値は次のとおりです。

Mode:

Off/On

Off: ウェイクワードの使用を無効にします。

On: ウェイクワードの使用を有効にします。

デフォルト値:

オン

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

Web エンジンの構成

xConfiguration WebEngine Certificates RevocationChecks NetworkAccess

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

デフォルトでは、ウェブ エンジンは失効確認中にネットワークを使用しないため、Stapled OCSP 応答と組み込みの CRL リストのみを確認します。
この設定を有効にすると、ウェブエンジンはネットワークに接続し、Stapled OCSP 応答がない場合に OCSP および CRL レスポンダに問い合わせることを許可されます。

使用方法:

`xConfiguration WebEngine Certificates RevocationChecks NetworkAccess: NetworkAccess`

値は次のとおりです。

ネットワークアクセス:

許可/拒否

Allow. ウェブエンジンは失効確認中はネットワークを使用しません。

Deny: ウェブ エンジンがネットワークに接続し、OCSP および CRL レスポンダーに要求することを許可しません。

デフォルト値:

許可

xConfiguration WebEngine Features AllowDeviceCertificate

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

ビデオ デバイスと Room Navigator ウェブビューがビデオ デバイスの自己署名証明書を信頼できるかどうかを決定します。

使用方法:

`xConfiguration WebEngine Features AllowDeviceCertificate: AllowDeviceCertificate`

値は次のとおりです。

AllowDeviceCertificate:

False/True

False: ビデオ デバイスの自己署名証明書を信頼しないでください。

True: ビデオ会議端末の自己署名証明書を信頼する

デフォルト値:

False

xConfiguration WebEngine の機能 CanvasOopRasterization

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

この構成により、プロセス外キャンバス ラスタライズを有効または無効にすることができ、HTML キャンバスを利用する Web アプリケーションのパフォーマンスを向上させることができます。

使用方法:

`xConfiguration WebEngine の機能 CanvasOopRasterization: CanvasOopRasterization`

値は次のとおりです。

CanvasOop ラスタライゼーション:

Off/On

オン: プロセス外キャンバス ラスタライズを有効にします。

オフ: プロセス外キャンバス ラスタライズを無効にします。

デフォルト値:

Off

xConfiguration WebEngine Features GpuRasterization

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

ウェブビューが GPU にウェブページのラスタライズをOffロードすることを許可するかどうかを決定します。

使用方法:

`xConfiguration WebEngine Features GpuRasterization: GpuRasterization`

値は次のとおりです。

Gpu ラスタライゼーション:

Auto/Off/オン

Off: ウェブページのラスタライズが CPU 上で行われます。

On: ウェブビューは、ラスタライゼーションを GPU にオフロードする場合があります。

デフォルト値:

Off

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration WebEngine Features LocalWebAppManagement

適用対象: RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者

デバイスのユーザ インターフェイスの [設定] メニューにインストールされているウェブ アプリのリストを表示するかどうか、およびユーザーがこのメニューからウェブ アプリを管理 (追加、編集、または削除) できるかどうかを決定します。

デバイスで直接、デバイスのローカル ウェブ インターフェイスから、または API を使用してセットアップされたウェブ アプリのみ、[設定] メニューから管理できます (ローカル管理)。Control Hub からセットアップされたウェブアプリ 外部管理はリストに表示されますが、ユーザーが管理することはできません。

ウェブ アプリはタッチ スクリーン搭載のデバイス (内蔵または接続済み) でのみ利用できます。Room Kit Mini は Samsung Flip (Webex on Flip) で使用する必要があります。

使用方法:

```
xConfiguration WebEngine Features LocalWebAppManagement:
LocalWebAppManagement
```

値は次のとおりです。

LocalWebAppManagement:

許可/非許可/Off

Allowed: ユーザーは、デバイスのユーザ インターフェイスの [設定] メニューから、ローカルに管理されたウェブアプリを追加、編集、削除できます。

不可: インストールされているウェブアプリの一覧が [設定] メニューに表示されますが、ユーザーが管理することはできません。

Off: [設定] メニューにウェブ アプリの一覧表示または管理のエントリがありません。

デフォルト値:

Off

xConfiguration WebEngine Features Peripherals AudioOutput

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

ウェブブラウザ(ウェブエンジン)からの音声再生を Room Navigator で許可するかどうかを設定します。例えば、ウェブアプリで音声ファイルを再生することを許可する場合などです。

使用方法:

```
xConfiguration ウェブエンジンの機能 周辺機器 音声出力: 音声出力
```

値は次のとおりです。

音声出力:

Off/On

Off: Room Navigator ウェブブラウザからの音声の再生を許可しません。

On: Room Navigator ウェブブラウザからの音声の再生を許可します。

デフォルト値:

Off

xConfiguration WebEngine Features Peripherals WebGL

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

Room Navigator ーのウェブブラウザー (ウェブエンジン) で WebGL™ を有効にするかどうかを設定します。WebGL は低レベルの3Dグラフィックス用のウェブ標準です。

使用方法:

```
xConfiguration WebEngine Features Peripherals WebGL: WebGL
```

値は次のとおりです。

WebGL:

Off/On

On: WebGL が Room Navigator ウェブブラウザで有効です。

Off: WebGL が Room Navigator ウェブブラウザで無効です。

デフォルト値:

Off

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration WebEngine Features WebGL

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

WebGL™ は、低レベル 3D グラフィックのウェブ標準です。RoomOS での WebGL サポートは試験的な機能であり、今後変更される可能性があります。

使用方法:

```
xConfiguration WebEngine Features WebGL: WebGL
```

値は次のとおりです。

WebGL:

Off/On

On: WebGL が有効です。

Off: WebGL が無効です。

デフォルト値:

Off

xConfiguration WebEngine Features SipUrlHandler

適用対象: RoomKitMini DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者

この構成により、ウェブ表示ベースの機能 (ウェブ アプリやデジタル サイネージなど) から直接 SIP 通話を開始できます。ユーザーが SIP:yourSipUrl のラベルが付いたボタンを選択して通話を開始すると、通話はデバイスから発信されます。

使用方法:

```
xConfiguration WebEngine Features SipUrlHandler: SipUrlHandler
```

値は次のとおりです。

SipUrlHandler:

Off/On

Off: ウェブ表示からの SIP 通話の開始が無効になります。

On: ウェブ表示からの SIP 通話の開始が有効になります。

デフォルト値:

Off

xConfiguration WebEngine Features Xapi Peripherals AllowedHosts Hosts

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

永続的ウェブ アプリをホストするサーバーのドメイン名がここにリストされている場合、アプリはデバイスで API コマンドを実行できます。そうでない場合、 Room Navigator ーで実行できるのは、デバイスとの通信を必要としないアプリのみです。

UserInterface HomeScreen Peripherals WebApp URL 設定で指定された URL が確認され、デバイスで API コマンドの実行が許可される前に、許可された hosts のこのリストと照合されます。

メモ: 永続的なウェブ アプリは、ネットワーク経由でデバイスとペアリングされている Room Navigator でのみ利用できます。

使用方法:

```
xConfiguration WebEngine Features Xapi Peripherals AllowedHosts Hosts:
"Hosts"
```

値は次のとおりです。

Hosts:

文字列 (0, 1024)

1 つまたは複数のドメイン名を指定します。複数の場合は、カンマで区切ります。"*" をワイルドカードとして使用できます。例えば、「*.cisco.com」と入力すると、cisco.comで終わる任意のホストが許可されます。任意のドメインを許可するには "*" を指定します。

デフォルト値:

「」

xConfiguration WebEngine FpsCounter

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

このリリースには適用されません。

使用方法:

```
xConfiguration WebEngine FpsCounter: FpsCounter
```

値は次のとおりです。

Fps カウンター:

Off/On

デフォルト値:

Off

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration WebEngine MinimumTLSVersion

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

Web エンジンで許可される最も低いバージョンの TLS (トランスポート レイヤー セキュリティ) プロトコルを設定します。

使用方法:

`xConfiguration WebEngine MinimumTLSVersion: MinimumTLSVersion`

値は次のとおりです。

MinimumTLSVersion:

TLSv1.0/TLSv1.1/TLSv1.2/TLSv1.3

TLSv1.0: TLS バージョン 1.0 以降のサポート。

TLSv1.1: TLS バージョン 1.1 以降のサポート。

TLSv1.2: TLS バージョン 1.2 以降のサポート。

TLSv1.3: TLS バージョン 1.3 以降のサポート。

デフォルト値:

TLSv1.2

xConfiguration ウェブエンジンモード

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

ウェブ エンジンは、デジタル サイネージやウェブ アプリなど、デバイスのウェブ ビューを使用する機能の前提条件です。

使用方法:

`xConfiguration WebEngine Mode: Mode`

値は次のとおりです。

Mode:

Off/On

Off: ウェブエンジンは無効です。

On: ウェブエンジンが有効になります。

デフォルト値:

Off

xConfiguration WebEngine RemoteDebugging

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

ウェブページで問題が発生した場合は、リモートデバッグをOnにすることをお勧めします。リモートデバッグを使用すると、Chrome 開発者コンソールにアクセスして、ウェブページの潜在的な問題を特定できます。有効にすると、画面の下部にバナーが表示され、モニタされる可能性があることをユーザーに警告します。ヘッダには、開発者コンソールを開くためにローカルの Chrome ブラウザに入力可能な URL も表示されます。

リモートデバッグは、使用後にOffにしてください。

使用方法:

`xConfiguration WebEngine RemoteDebugging: RemoteDebugging`

値は次のとおりです。

リモートデバッグ:

Off/On

Off: リモートデバッグがOffになります。

On: リモートデバッグがOnになっています。

デフォルト値:

Off

xConfiguration WebEngine UseHttpProxy

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

UseHttpProxy 設定がいくつかあり、サービスが HTTP プロキシ経由で通信するかどうかを指定します。WebEngine UseHttpProxy 設定は、デジタル サイネージ、API 駆動型ウェブ ビュー、ウェブ アプリなど、すべてのウェブ ビュー ベースの機能に適用されます。

この設定を有効にするには、NetworkServices HTTP プロキシ設定を使用して、HTTP、HTTPS、および WebSocket トラフィック用のプロキシ サーバーをセットアップする必要があります。

使用方法:

`xConfiguration WebEngine UseHttpProxy: UseHttpProxy`

値は次のとおりです。

UseHttpProxy:

Off/On

Off: サーバとの直接通信をセットアップします (プロキシを使用しない)。

On: プロキシ経由の通信をセットアップします。

デフォルト値:

オン

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

Webex の設定

xConfiguration Webex CloudProximity GuestShare

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

この設定により、ゲスト共有 (devices.webex.com 経由) 機能をOffにすることができます。

使用方法:

`xConfiguration Webex CloudProximity GuestShare:` *GuestShare*

値は次のとおりです。

ゲスト共有:

Auto/Off

Auto: ゲスト共有を許可するかどうかをシステムが自動的に決定することを許可します。これは現在デフォルトで有効になっています。

Off: ゲスト共有機能をOffにします。

デフォルト値:

自動

xConfiguration Webex CloudProximity 手動ペアリング

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

この設定により、手動ペアリング機能をOffにできます。手動ペアリングでは、まずペアリングするクライアントでデバイス名またはゲスト ペアリング コードを入力する必要があります。次に、デバイスと同じ会議室にいることを確認するために、デバイスの画面に表示される PIN コードでペアリングを確認する必要があります。

この設定は、Webex クラウド サービスに登録されている、または Webex の最適化されたエクスペリエンスが有効になっているデバイス用の Webex Edge にリンクされているデバイスに適用されます。

使用方法:

`xConfiguration Webex CloudProximity 手動ペアリング:` *手動ペアリング*

値は次のとおりです。

手動ペアリング:

無効/有効

Disabled: 手動ペアリングの使用が無効になっています。ゲスト共有 (Webex CloudProximity GuestShare 設定を参照) も無効になります。

有効: 手動ペアリングが有効になっています。

デフォルト値:

[有効 (Enabled)]

xConfiguration Webex CloudUpgrades モード

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

Onプレミス サービスに登録されており、デバイス用の Webex Edge にリンクされているデバイスでは、ソフトウェアをOnプレミスのプロビジョニング サービスから、または Webex クラウド サービスからアップグレードするかどうかを選択できます (クラウド管理ソフトウェア アップグレード)。

クラウド管理型ソフトウェア アップグレードでは、新しい RoomOS ソフトウェア バージョンが利用可能になると、デバイスが自動的にアップグレードされます。これは、クラウドに登録されたデバイスがアップグレードされるのと同時に行われます。デバイスを手動でアップグレードする必要なく、最新の更新とバグ修正をより迅速に入手できます。

使用方法:

`xConfiguration Webex CloudUpgrades モード:` *モード*

値は次のとおりです。

Mode:

Off/On

Off: デバイス ソフトウェアはクラウドからアップグレードされません。CUCM などのOnプレミスプロビジョニングサービスを使用するか、手動アップグレードに依存する必要があります。

On: 新しいソフトウェア バージョンがクラウドで利用可能になると、デバイス ソフトウェアが自動的にアップグレードされます。

デフォルト値:

Off

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Webex DevicePersonalization 機能 ホワイトボード サインインが必要

適用対象: DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者

追加のプライバシーとセキュリティ対策として、ホワイトボードの使用にログインを必要とする設定が可能です。

ユーザーがログインしていない場合、ホワイトボード アプリを開くと、ユーザーは QR コードを使用してログインするようにプロンプトが表示されます。

また、ホワイトボード機能を終了するときにも、サインアウトするように促されます。

使用方法:

```
xConfiguration Webex DevicePersonalization Features Whiteboard
SignInRequired: SignInRequired
```

値は次のとおりです。

サインインが必要です:

False/True

False: ユーザーはログインせずにホワイトボード機能を使用できます。

True: ユーザーがホワイトボード機能を使用するにはログインが必要です。

デフォルト値:

False

xConfiguration Webex DevicePersonalization TaskBasedSignIn

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

ホットデスク サインインによるユーザー パーソナライゼーションでは、デバイスまたは会議室カレンダーの予約を予約システムとして使用し、ユーザーがサインアウトしたタイミングを管理します。

デバイスまたは部屋のカレンダーを通じてログインを管理せずに、個人用ホワイトボードなどの個人データを必要とするタスクの個人サインインに対してこの設定を有効にします。

使用方法:

```
xConfiguration Webex DevicePersonalization TaskBasedSignIn: TaskBasedSignIn
```

値は次のとおりです。

TaskBasedSignIn:

Off/On

オン: ホットデスク ログインを通じてパーソナライズを有効にします。

オフ: ホットデスク ログインによるパーソナライズを無効にします。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Webex Hotdesking DefaultBookingEndTime

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者

この設定は、ホット デスキング機能がセットアップされたデバイスにのみ適用されます。つまり、デバイスは共有モードであり、Webex クラウド サービスに登録されているか、デバイス用の Webex Edge にリンクされている必要があります。

会社や組織によって通常の勤務時間は異なるため、既定では、ブッキングが期限切れになる時刻を構成することができます。これはデフォルトの時間であるため、ユーザーはデバイスを予約するときに別の終了時間を指定できます。

使用方法:

```
xConfiguration Webex Hotdesking DefaultBookingEndTime: DefaultBookingEndTime
```

値は次のとおりです。

DefaultBookingEndTime:

整数 (0..24)

24時間制による既定の予約終了時刻です。例: 0 は 00:00 / 午前0時 - 真夜中; 12 は 12:00 / 正午 - 正午; そして 17 は 17:00 / 5:00 p.m.

デフォルト値:

17

xConfiguration Webex Meetings AIAssistantAutoSummarize が利用可能

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

この設定は、会議全体で AI と会議概要が有効になっていることを前提に、Webex 会議に参加するときに自動 AI アシスタント概要ポップアップの表示を制御します。

この機能は Webex Meetings 専用であり、OnPrem 環境向けの Webex 最適化が必要であることに注意してください。

使用方法:

```
xConfiguration Webex Meetings AIAssistantAutoSummarize 利用可能: 利用可能
```

値は次のとおりです。

利用可能:

Off/On

オン: AI アシスタントの概要ポップアップを有効にします。

オフ: AI アシスタントの概要ポップアップを無効にします。

デフォルト値:

オン

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Webex Meetings HttpProxyForMedia Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

この設定は、Webex クラウド サービスに登録されている、または Webex の最適化されたエクスペリエンスが有効になっているデバイスに適用されます。

HTTPS および WebSocket トラフィックにプロキシ サーバーを使用するようにデバイスをセットアップできます。[NetworkServices] [HTTP プロキシ] 設定を参照してください。[ネットワーク][サービス][HTTP プロキシ モード] がOffになっていない場合、このプロキシをメディア トラフィックにも使用するかどうかを選択できます。

プロキシを使用すると、メディア品質が低下する場合があります。可能な限り良好なメディア品質を維持するために、プロキシは、環境で展開されたデバイスによって使用されるビットレートをサポートする必要があり、デバイスからメディア サーバへの合計往復時間をできる限り低くする必要があります。

使用方法:

`xConfiguration Webex Meetings HttpProxyForMedia` モード: *モード*

値は次のとおりです。

Mode:

Auto/Off

Auto: サーバーが利用可能で正しくセットアップされ、NetworkServices HTTP Proxy Mode が Off に設定されていない場合に限り、メディアトラフィックにプロキシサーバーを使用します。

Off: メディア トラフィックにプロキシを使用しません。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Webex Meetings 参加プロトコル

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

Onプレミス サービスに登録され、デバイス用 Webex Edge にリンクされているデバイスは、Webex ミーティングに発信するために Webex クラウド サービスを使用できます。Webex 経由で発信すると、高度なミュート、共同主催者、主催者の転送、顔認証など、Webex Meetings のネイティブな通話中機能のフルセットを利用できます。

Webex Meetings 通話ルーティングが使用されるのは以下のような場合です。[Webex に参加 (Join Webex)] ボタンを使用する場合、Webex Assistant を使用してパーソナル ミーティング ルーム (PMR) に参加する場合、通話ボタンまたはダイヤル API コマンドを URI で使用する場合、@webex.com、@*.webex.com、@meet.ciscospark.com のいずれかのドメイン。その他の呼び出しは既定のプロトコルを使用します。

また、ネイティブの Webex Meetings 通話ルーティングでは、デバイスでクラウド管理ソフトウェア アップグレードが有効になっており、Control Hub からの構成が有効になっていて、さらに [電話会議マルチポイント モード] が [自動] に設定されている必要があります。

使用方法:

`xConfiguration Webex Meetings JoinProtocol:` *JoinProtocol*

値は次のとおりです。

参加プロトコル:

SIP/Webex

SIP: 通話プロトコルは SIP です。

Webex: 上記の要件が満たされている場合、通話プロトコルは Webex になります。それ以外の場合は SIP です。

デフォルト値:

SIP

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Webex Meetings MeetingChat 通知モード

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

既定でのチャット通知の表示方法を指定します。UI または Conference MeetingChatNotification Default コマンドを使用して、ミーティング中およびミーティング間の両方でモードを変更できます。

共有デバイスは、ミーティング終了後にここで設定したデフォルトの動作に戻ります。パーソナルデバイスは現在のモードを記憶し、UI から、またはコマンドを使用して変更されるまで保持します。

チャット通知の詳細については、Webex Meetings の MeetingChatPreview 設定を参照してください。

使用方法:

`xConfiguration Webex Meetings MeetingChatNotifications モード: モード`

値は次のとおりです。

Mode:

無効/フォーカス/プレビュー

無効: デバイスの画面にチャットの通知は表示されません。

フォーカス: デバイスの画面で、ミーティング中のメッセージがあることが通知されます。通知は最初のメッセージが送信されたときにのみ表示されます。このモードは、ミーティングから邪魔を取り除くことで、大規模なミーティングに適しています。

プレビュー: 新しいメッセージが送信されるたびに、デバイスの画面に通知のプレビューが表示されます。これは、ミーティングチャットを追いたい場合に適しています。

デフォルト値:

プレビュー

xConfiguration Webex Meetings ミーティングチャットプレビュー

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

ミーティング中にデバイスの画面の通知にミーティングメッセージ (チャット) のポップアップを許可するかどうかを設定します。これにより、デバイス ユーザーはチャットで何が起こっているのかを確認できます。

個々のミーティングチャット通知は画面に 8 秒間表示されます。ほぼ同じタイミングで送信されたメッセージのキューがある場合は、メッセージがいくつも重なって表示されるのを防ぐためにメッセージは少し短く 5 秒間だけ表示されます。チャット通知のテキストは最大 3 行まで表示されます。

チャット通知は、Webex クラウド サービスに登録されているか、Webex の最適化されたエクスペリエンスが有効になっているデバイス用の Webex Edge にリンクされているデバイスでのみ利用できます。

使用方法:

`xConfiguration Webex Meetings MeetingChatPreview: MeetingChatPreview`

値は次のとおりです。

ミーティングチャットプレビュー:

False/True

デバイスでは、Meeting チャット通知は利用できません。

True: ミーティングのチャット通知はデバイスで利用できます。UI から、または Conference MeetingChatNotification コマンドを使用して、デバイスの画面に表示するかどうかを決定できます。

デフォルト値:

False

xConfiguration Webex Privacy AllowUsageDataLogging

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者

有効にすると、ログとメトリックを匿名で Cisco に送信できます。

使用方法:

`xConfiguration Webex Privacy AllowUsageDataLogging: AllowUsageDataLogging`

値は次のとおりです。

AllowUsageDataLogging:

False/True

False: 使用状況データのログが無効になっています。ログまたはメトリックスは送信されません。

True: 使用状況データのログが有効になっています。ログとメトリクスは匿名で送信できます。

デフォルト値:

False

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Webex Proximity Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

超音波ペアリングを有効または無効にします。この近接モード設定は、Webex クラウド サービスに登録されているデバイスにのみ影響します。

使用方法:

`xConfiguration Webex 近接モード: モード`

値は次のとおりです。

Mode:

Off/On

デフォルト値:

オン

xConfiguration Webex UpgradeChannel

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

デバイスがダウンロードおよびインストールするソフトウェア チャネルを決定します。たとえば、"Preview" は新しいリリースへの早期アクセスを提供し、"Stable" はより信頼性の高いソフトウェアを提供します。

使用方法:

`xConfiguration Webex UpgradeChannel: "UpgradeChannel"`

値は次のとおりです。

アップグレードチャネル:

文字列 (1, 255)

ダウンロードおよびインストールされるソフトウェアチャネルです。

デフォルト値:

ステーブル

WebRTC 設定

xConfiguration WebRTC 終了通話タイムアウト

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者

WebRTC ミーティングで [通話を終了] を押してからウェブビューを閉じるまでの時間を延長することができます。

通常の運用では、この設定を変更する必要はありませんが、トラブルシューティングに役立つ場合があります。

WebRTC は、Onプレミス サービスに登録されており、デバイス用の Webex Edge にリンクされているデバイス、および Webex クラウド サービスに登録されているデバイスでのみ利用できます。

使用方法:

`xConfiguration WebRTC EndCallTimeout: EndCallTimeout`

値は次のとおりです。

終了通話タイムアウト:

整数 (0..600)

秒単位での期間。

デフォルト値:

2

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration WebRTC インタラクションモード

適用対象: RoomKitMini DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール : 管理者

WebRTC ミーティング中、デバイスの通話コントロールまたは WebRTC アプリの組み込みのコントロールを使用できます。

WebRTC は、Onプレミス サービスに登録されており、デバイス用の Webex Edge にリンクされているデバイス、および Webex クラウド サービスに登録されているデバイスでのみ利用できます。

使用方法:

`xConfiguration WebRTC インタラクションモード:` *インタラクションモード*

値は次のとおりです。

対話モード:

インタラクティブ/非インタラクティブ

インタラクティブ:WebRTC アプリの組み込みのコントロールをデバイスのタッチ スクリーンから直接使用できます。これにより、組み込みの WebRTC 機能にアクセスできるようになります。

非インタラクティブ: WebRTC アプリのビルトイン コントロールは利用できません。デバイスの通常の通話コントロールしか使用できません。

デフォルト値:

非インタラクティブ

xConfiguration WebRTC Provider MicrosoftTeams CompatibilityMode

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro Board

必要なユーザーロール : 管理者

WebRTC を使用した Microsoft Teams 通話の断続的なトラブルシューティングに一時的に適用できるオプション。Cisco TAC はこの設定をいつするべきかアドバイスできます。それ以外の場合は、Offにしておくことをお勧めします。

使用方法:

`xConfiguration WebRTC Provider MicrosoftTeams CompatibilityMode:` *CompatibilityMode*

値は次のとおりです。

互換モード:

Off/On

Off: 互換モードがOffになります。

On: 互換モードがOnになっています。

デフォルト値:

Off

ズームの設定

xConfiguration Zoom DefaultDomain

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

ここで入力するドメインは Zoom Join コマンドで使用されます。そのため、デバイス UI の [Zoom] ボタンをタップするときにも使用されます。Zoom Join コマンドが予約 (BookingID) から参加情報を取得する場合、ここで入力されたドメインは無視されます。

使用方法:

`xConfiguration Zoom DefaultDomain: "`*DefaultDomain*`"`

値は次のとおりです。

DefaultDomain:

文字列 (1, 256)

ズーム通話に使用するドメイン。

デフォルト値:

zoomcrc.com

xConfiguration Zoom DialStringOptions

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

ここで入力するダイヤル文字列オプションは、Zoom Join コマンドで使用されます。そのため、デバイス UI の [Zoom] ボタンをタップするときにも使用されます。その他にも、デュアルスクリーンやその他のビジュアル機能のオプションが利用可能です。ズームのダイヤル文字列オプションの詳細については、https://support.zoom.us/hc/en-us/articles/202405539-SIP-H-323-Room-Connector-Dial-Strings を参照してください。

[ズームの参加] コマンドが予約 (BookingID) から参加情報を取得する場合、取得した uri の形式が <meetingid>@<domain> 以外の場合、ここで入力したダイヤル文字列オプションは無視されます。

使用方法:

`xConfiguration Zoom DialStringOptions: "`*DialStringOptions*`"`

値は次のとおりです。

DialStringOptions:

文字列 (0, 200)

Zoom ダイヤル文字列のオプションです。

デフォルト値:

「」

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xConfiguration Zoom EnhancedCallControls

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

Cisco のカスタム ズーム ユーザ インターフェイス。これにより、どのようにダイヤルインするかに関係なく、Zoom 通話に参加するたびに一貫したエクスペリエンスが得られます。

使用方法:

`xConfiguration Zoom EnhancedCallControls:` *`EnhancedCallControls`*

値は次のとおりです。

`EnhancedCallControls`:

無効/有効

無効: Cisco のカスタム ユーザ インターフェイスは無効になっています。

Enabled: Cisco のカスタム ユーザー インターフェイスが有効になり、一貫性が保証されます。

デフォルト値:

[有効 (Enabled)]

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

第 4 章

xCommand コマンド

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand コマンドの説明

この章では、パラメータ付きのすべての xCommand タイプのコマンドの一覧が記載されています。

AirPlay commands ... 316
xCommand AirPlay KeyEvent Back ... 316
xCommand AirPlay KeyEvent Click ... 316
xCommand AirPlay キーイベント (下) ... 316
xCommand AirPlay KeyEvent FastForward ... 316
xCommand AirPlay KeyEvent FastReverse ... 316
xCommand AirPlay KeyEvent Left ... 316
xCommand AirPlay KeyEvent Play ... 317
xCommand AirPlay KeyEvent Right ... 317
xCommand AirPlay KeyEvent Up ... 317
xCommand AirPlay ResetPairedDevices ... 317

音声コマンド ... 318
xCommand Audio Diagnostics Advanced Run ... 318
xCommand Audio Diagnostics AecReverb Reset ... 319
xCommand Audio Diagnostics AecReverb Run ... 319
xCommand Audio Diagnostics MeasureDelay ... 319
xCommand Audio Equalizer List ... 320
xCommand 音声イコライザーの更新 ... 320
xCommand Audio LocalInput Add ... 321
xCommand Audio LocalInput AddConnector ... 322
xCommand Audio LocalInput Remove ... 323
xCommand Audio LocalInput RemoveConnector ... 323
xCommand Audio LocalInput Update ... 324
xCommand Audio LocalInput Ethernet Deregister ... 324
xCommand Audio LocalInput Ethernet PacketStatisticsReset ... 325
xCommand Audio LocalInput Ethernet Register ... 325
xCommand Audio LocalOutput Add ... 325
xCommand Audio LocalOutput AddConnector ... 326
xCommand Audio LocalOutput ConnectInput ... 327
xCommand Audio LocalOutput DisconnectInput ... 327
xCommand Audio LocalOutput Ethernet Deregister ... 328
xCommand Audio LocalOutput Ethernet Register ... 328
xCommand Audio LocalOutput Remove ... 329
xCommand Audio LocalOutput RemoveConnector ... 329
xCommand Audio LocalOutput Update ... 330
xCommand Audio LocalOutput UpdateInputGain ... 330
xCommand Audio Microphones MusicMode Start ... 331
xCommand Audio Microphones MusicMode Stop ... 331
xCommand Audio Microphones Mute ... 331
xCommand Audio Microphones NoiseRemoval Activate ... 331
xCommand Audio Microphones NoiseRemoval Deactivate ... 331
xCommand Audio Microphones Passthrough Start ... 332
xCommand Audio Microphones Passthrough Stop ... 332
xCommand Audio Microphones ToggleMute ... 332
xCommand Audio Microphones Unmute ... 333
xCommand Audio RemoteOutput ConnectInput ... 333
xCommand Audio RemoteOutput DisconnectInput ... 333
xCommand Audio RemoteOutput UpdateInputGain ... 334
xCommand 音声選択 ... 334
xCommand 音声設定の消去 ... 334
xCommand Audio Setup Reset ... 334
xCommand Audio Sound Play ... 335
xCommand Audio Sound Stop ... 335
xCommand Audio SpeakerCheck ... 335
xCommand Audio SoundsAndAlerts Ringtone List ... 335
xCommand Audio SoundsAndAlerts Ringtone Play ... 336
xCommand Audio SoundsAndAlerts Ringtone Stop ... 336
xCommand Audio Volume Decrease ... 336

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Audio Volume Increase ... 337
xCommand Audio Volume Mute ... 337
xCommand Audio Volume Set ... 337
xCommand Audio Volume SetToDefault ... 338
xCommand Audio Volume ToggleMute ... 338
xCommand Audio Volume Unmute ... 338
xCommand Audio VuMeter Start ... 338
xCommand Audio VuMeter Stop ... 339
xCommand Audio VuMeter StopAll ... 339

Bluetooth コマンド ... 340
xCommand Bluetooth Streaming Next ... 340
xCommand Bluetooth Streaming Pause ... 340
xCommand Bluetooth ストリーミング再生 ... 340
xCommand Bluetooth Streaming Previous ... 340

ブッキングコマンド ... 341
xCommand Bookings Book ... 341
xCommand 予約チェックイン ... 341
xCommand Bookings CheckOut ... 342
xCommand Bookings Clear ... 342
xCommand Bookings Delete ... 342
xCommand Bookings Edit ... 343
xCommand Bookings Extend ... 343
xCommand Bookings Get ... 344
xCommand Bookings List ... 344
xCommand Bookings NotificationSnooze ... 345
xCommand Bookings Respond ... 345
xCommand Bookings Put ... 346

発信コマンド ... 347
xCommand Call Accept ... 347
xCommand Call Disconnect ... 347
xCommand Call DTMFSend ... 347
xCommand Call FarEndControl Camera Move ... 348
xCommand Call FarEndControl Camera Stop ... 348
xCommand Call FarEndControl RequestCapabilities ... 349
xCommand Call FarEndControl RoomPreset Activate ... 349
xCommand Call FarEndControl RoomPreset Store ... 350
xCommand Call FarEndControl Source Select ... 350
xCommand Call FarEndMessage Send ... 351
xCommand Call Forward ... 351
xCommand Call Hold ... 351
xCommand Call Ignore ... 351
xCommand Call Join ... 352
xCommand Call Reject ... 352
xCommand Call Resume ... 352
xCommand Call UnattendedTransfer ... 352

CallHistory コマンド ... 353
xCommand CallHistory AcknowledgeAllMissedCalls ... 353
xCommand CallHistory AcknowledgeMissedCall ... 353
xCommand CallHistory DeleteAll ... 353
xCommand CallHistory DeleteEntry ... 353
xCommand CallHistory Get ... 354
xCommand CallHistory Recents ... 354

カメラ コマンド ... 355
xCommand Camera Boot ... 355
xCommand Camera FactoryReset ... 355
xCommand Camera InstallationTilt Ramp ... 355
xCommand Camera PositionReset ... 355
xCommand Camera PositionSet ... 356
xCommand Camera Preset Activate ... 356
xCommand Camera Preset ActivateDefaultPosition ... 357
xCommand カメラプリセットの編集 ... 357
xCommand Camera Preset List ... 358
xCommand Camera Preset Remove ... 358
xCommand Camera Preset Show ... 358
xCommand Camera Preset Store ... 359
xCommand Camera Ramp ... 359
xCommand Cameras Stereoscopic Mute ... 360
xCommand Cameras Stereoscopic Unmute ... 360
xCommand Camera TriggerAutofocus ... 360
xCommand Camera TriggerWhitebalance ... 360

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

Cameras コマンド 361
xCommand Cameras AutoFocus Diagnostics Start 361
xCommand Cameras AutoFocus Diagnostics Stop 361
xCommand Cameras Background Clear 361
xCommand Cameras Background Delete 361
xCommand Cameras Background Fetch 361
xCommand Cameras Background ForegroundParameters Reset 362
xCommand Cameras Background ForegroundParameters Set 362
xCommand Cameras Background Get 363
xCommand カメラ背景リスト 363
xCommand Cameras Background Set 363
xCommand カメラのバックグラウンドアップロード 364
xCommand Cameras PresenterTrack ClearPosition 364
xCommand カメラ プレゼンタ トラック セット 364
xCommand Cameras PresenterTrack StorePosition 365
xCommand Cameras SpeakerTrack Activate 365
xCommand Cameras SpeakerTrack Closeup Activate 365
xCommand Cameras SpeakerTrack Closeup Deactivate 365
xCommand Cameras SpeakerTrack Deactivate 365
xCommand Cameras SpeakerTrack Calibration Diagnostics Start 365
xCommand Cameras SpeakerTrack Calibration Diagnostics Stop 366
xCommand Cameras SpeakerTrack BackgroundMode Activate 366
xCommand Cameras SpeakerTrack BackgroundMode Deactivate 366
xCommand Cameras SpeakerTrack Diagnostics Start 366
xCommand カメラ SpeakerTrack 診断停止 366
xCommand カメラ SpeakerTrack フレーム アクティブ化 366
xCommand Cameras SpeakerTrack Frames Deactivate 367
xCommand Cameras SpeakerTrack Set 367
xCommand Cameras SpeakerTrack ViewLimits Activate 367
xCommand Cameras SpeakerTrack ViewLimits Deactivate 367
xCommand Cameras SpeakerTrack ViewLimits StorePosition 367
xCommand Cameras SpeakerTrack Whiteboard ActivatePosition 368
xCommand カメラ SpeakerTrack ホワイトボード AlignPosition 368
xCommand Cameras SpeakerTrack Whiteboard SetDistance 368
xCommand Cameras SpeakerTrack Whiteboard StorePosition 368

電話会議コマンド 369
xCommand Conference AdmitAll 369
xCommand Conference Call AuthenticationResponse 369
xCommand Conference DoNotDisturb Activate 370
xCommand Conference DoNotDisturb Deactivate 370
xCommand Conference EndMeeting 370
xCommand Conference Hand Lower 370
xCommand Conference Hand Raise 371
xCommand Conference HardMute 371
xCommand 電話会議のロック 371
xCommand Conference LowerAllHands 371
xCommand Conference MeetingAssistant Start 372
xCommand Conference MeetingAssistant Stop 372
xCommand Conference MuteAll 372
xCommand Conference MuteOnEntry 373
xCommand 電話会議参加者の追加 373
xCommand Conference Participant Admit 374
xCommand Conference Participant Disconnect 374
xCommand Conference Participant LowerHand 374
xCommand Conference Participant MoveToLobby 375
xCommand Conference Participant Mute 375
xCommand Conference ParticipantList Search 376
xCommand Conference PeopleFocus Activate 376
xCommand Conference PeopleFocus Deactivate 376
xCommand Conference Reaction Disable 376
xCommand Conference Reaction Enable 377
xCommand Conference Reaction Send 377
xCommand Conference Recording Pause 377
xCommand Conference Recording Resume 377
xCommand Conference Recording Start 378
xCommand Conference Recording Stop 378
xCommand Conference SendEmailInvitation 378
xCommand Conference SkinTone 378
xCommand Conference Participant TransferRole 379
xCommand Conference SimultaneousInterpretation SelectLanguage 379
xCommand Conference SimultaneousInterpretation SetMixer 380
xCommand Conference SpeakerLock Release 380

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Conference SpeakerLock Set 380
xCommand Conference TransferHostAndLeave 380

診断コマンド 381
xCommand Diagnostics Run 381

ダイヤルコマンド 381
xCommand Dial 381

GPIO コマンド 382
xCommand GPIO ManualState Set 382

HttpClient コマンド 383
xCommand HttpClient Allow Hostname Add 383
xCommand HttpClient Allow Hostname Clear 383
xCommand HttpClient Allow Hostname List 383
xCommand HttpClient Allow Hostname Remove 383
xCommand HttpClient Delete 384
xCommand HttpClient Get 385
xCommand HttpClient Patch 386
xCommand HttpClient POST 387
xCommand HttpClient Put 388

HttpFeedback コマンド 389
xCommand HttpFeedback Deregister 389
xCommand HttpFeedback Enable 389
xCommand HttpFeedback Register 389

ロギング コマンド 390
xCommand Logging AddEvent 390
xCommand Logging ExtendedLogging Start 390
xCommand Logging ExtendedLogging Stop 391
xCommand Logging SendLogs 391

Macros コマンド 391
xCommand Macros Log Clear 391
xCommand Macros Log Get 391
xCommand Macros Macro Activate 391
xCommand Macros Macro Deactivate 392
xCommand Macros Macro Get 392
xCommand Macros Macro Remove 392
xCommand Macros Macro RemoveAll 392
xCommand Macros Macro Rename 393
xCommand Macros Macro Roles Set 393
xCommand Macros Macro Save 393
xCommand Macros Runtime Restart 393
xCommand Macros Runtime Start 393
xCommand Macros Runtime Status 394
xCommand Macros Runtime Stop 394

メッセージコマンド 394
xCommand Message Send 394

MicrosoftTeams コマンド 395
xCommand MicrosoftTeams Install 395
xCommand MicrosoftTeams Join 395
xCommand MicrosoftTeams List 396
xCommand MicrosoftTeams Reset 396
xCommand MicrosoftTeams SignOut 396
xCommand MicrosoftTeams ソフトウェアのアップグレード 396

Network コマンド 397
xCommand Network SMTP VerifyConfig 397
xCommand ネットワーク SNMP USM ユーザ追加 397
xCommand Network SNMP USM User Delete 398
xCommand Network SNMP USM User List 398
xCommand ネットワーク Wi-Fi 設定 398
xCommand ネットワーク Wi-Fi 接続 399
xCommand Network Wifi Delete 399
xCommand ネットワーク Wi-Fi リスト 399
xCommand Network Wifi Scan Start 399
xCommand Network Wifi Scan Stop 400

Peripherals コマンド 400
xCommand Peripherals Connect 400
xCommand Peripherals DeviceManagement Disable 401

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Peripherals DeviceManagement Enable ... 401
xCommand Peripherals HeartBeat ... 401
xCommand Peripherals List ... 401
xCommand Peripherals Pairing PinPairing Start ... 402
xCommand Peripherals Pairing PinPairing Stop ... 402
xCommand Peripherals Pairing Unpair ... 402
xCommand Peripherals Purge ... 402
xCommand Peripherals Security Certificates Services Activate ... 403
xCommand 周辺機器 セキュリティ 証明書 サービス 削除 ... 403
xCommand Peripherals Security Certificates Services Enrollment SCEP Request ... 403
xCommand Peripherals Security Certificates Services Enrollment SCEP Renewal Request ... 404
xCommand Peripherals Security Certificates Services Show ... 405
xCommand Peripherals TouchPanel Configure ... 405
xCommand 周辺機器 ユーザ管理 ユーザ 追加 ... 406
xCommand Peripherals UserManagement User Delete ... 406
xCommand Peripherals UserManagement User Get ... 407
xCommand Peripherals UserManagement User List ... 407
xCommand 周辺機器 ユーザー管理 ユーザー 変更 ... 408
xCommand Peripherals UserManagement User Passphrase Set ... 408
xCommand Peripherals UserManagement User Unblock ... 409

電話帳のコマンド ... 409
xCommand Phonebook Contact Add ... 409
xCommand Phonebook Contact Delete ... 410
xCommand Phonebook Contact Modify ... 410
xCommand Phonebook ContactMethod Add ... 411
xCommand Phonebook ContactMethod Delete ... 411
xCommand Phonebook ContactMethod Modify ... 412
xCommand Phonebook Folder Add ... 412
xCommand Phonebook Folder Delete ... 412
xCommand Phonebook Folder Modify ... 413
xCommand Phonebook Search ... 413

Presentation コマンド ... 415
xCommand Presentation Start ... 415
xCommand Presentation Stop ... 416

プロビジョニングコマンド ... 416
xCommand Provisioning CompleteUpgrade ... 416
xCommand Provisioning PostponeUpgrade ... 416
xCommand Provisioning CUCM ExtensionMobility Login ... 417
xCommand Provisioning CUCM ExtensionMobility Logout ... 417
xCommand Provisioning RoomType Activate ... 417
xCommand Provisioning Service Fetch ... 418

Proximity コマンド ... 419
xCommand Proximity Services Activate ... 419
xCommand Proximity Services Deactivate ... 419

RemoteAccess コマンド ... 419
xCommand RemoteAccess EndSession ... 419

RoomCleanup コマンド ... 420
xCommand RoomCleanup Cancel ... 420
xCommand RoomCleanup Run ... 420

RoomPreset コマンド ... 420
xCommand RoomPreset Activate ... 420
xCommand RoomPreset Clear ... 420
xCommand RoomPreset Store ... 421

セキュリティコマンド ... 421
xCommand Security Certificates CA Add ... 421
xCommand Security Certificates CA Delete ... 421
xCommand Security Certificates CA Show ... 421
xCommand Security Certificates CSR Create ... 422
xCommand セキュリティ証明書 CSR リンク ... 422
xCommand セキュリティ証明書 CUCM CTL の削除 ... 422
xCommand セキュリティ証明書 CUCM CTL 表示 ... 422
xCommand セキュリティ証明書 CUCM ITL 表示 ... 423
xCommand セキュリティ証明書 CUCM MIC 表示 ... 423
xCommand Security Certificates Services Activate ... 423
xCommand Security Certificates Services Add ... 423
xCommand Security Certificates Services Deactivate ... 424
xCommand Security Certificates Services Delete ... 424

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Security Certificates Services Enrollment Profiles Delete ... 424
xCommand Security Certificates Services Enrollment Profiles List ... 424
xCommand Security Certificates Services Enrollment SCEP Profiles Set ... 424
xCommand Security Certificates Services Enrollment SCEP Request ... 425
X コマンド セキュリティ証明書サービス登録 SCEP 更新リクエスト ... 425
xCommand Security Certificates Services Show ... 426
xCommand Security Certificates ThirdParty Disable ... 426
xCommand Security Certificates ThirdParty Enable ... 426
xCommand Security Certificates ThirdParty List ... 426
xCommand Security Certificates ThirdParty Show ... 427
xCommand セキュリティ証明書 Webex 表示 ... 427
xCommand セキュリティ証明書 WebexIdentity 表示 ... 428
xCommand セキュリティ暗号リスト ... 428
xCommand Security ClientSecret Populate ... 428
xCommand Security Persistency ... 429
xCommand Security Session Get ... 429
xCommand セキュリティセッションリスト ... 429
xCommand Security Session Terminate ... 429

SerialPort コマンド ... 430
xCommand SerialPort PeripheralControl Send ... 430

待機コマンド ... 431
xCommand スタンバイ アクティベート ... 431
xCommand Standby Deactivate ... 431
xCommand Standby Halfwake ... 431
xCommand Standby ResetHalfwakeTimer ... 431
xCommand Standby ResetTimer ... 431

SystemUnit コマンド ... 432
xCommand SystemUnit Boot ... 432
xCommand SystemUnit DeveloperPreview Activate ... 432
xCommand SystemUnit DeveloperPreview Deactivate ... 432
xCommand SystemUnit FactoryReset ... 432
xCommand SystemUnit FirstTimeWizard Stop ... 433
xCommand SystemUnit Notifications RemoveAll ... 433
xCommand SystemUnit OptionKey Add ... 433
xCommand SystemUnit OptionKey List ... 433
xCommand SystemUnit OptionKey Remove ... 433
xCommand SystemUnit OptionKey RemoveAll ... 434
xCommand システム ユニット 製品 プラットフォーム セット ... 434
xCommand SystemUnit SignInBanner Clear ... 434
xCommand SystemUnit SignInBanner Get ... 434
xCommand SystemUnit SignInBanner Set ... 434
xCommand SystemUnit SoftReset ... 435
xCommand SystemUnit SoftwareUpgrade ... 435
xCommand SystemUnit WelcomeBanner Clear ... 435
xCommand SystemUnit WelcomeBanner Get ... 435
xCommand SystemUnit WelcomeBanner Set ... 435

時間コマンド ... 436
xCommand Time DateTime Get ... 436
xCommand Time DateTime Set ... 436

ユーザインタフェースコマンド ... 436
xCommand UserInterface Accessibility ScreenReader Set ... 436
xCommand ユーザインターフェイス ブランディング クリア ... 436
xCommand UserInterface Branding Delete ... 437
xCommand ユーザインタフェース ブランディング フェッチ ... 437
X コマンド ユーザインターフェイス ブランディング 取得 ... 438
xCommand ユーザインタフェースのブランディングが更新されました ... 439
xCommand UserInterface Branding Upload ... 439
xCommand ユーザインターフェイス拡張機能の消去 ... 440
xCommand ユーザインターフェイス拡張機能のエクスポート ... 440
xCommand UserInterface Extensions Icon Delete ... 440
xCommand UserInterface Extensions Icon DeleteAll ... 440
xCommand UserInterface Extensions Icon Download ... 441
xCommand UserInterface Extensions Icon Fetch ... 441
xCommand ユーザインターフェイス拡張機能アイコン 取得 ... 441
xCommand UserInterface Extensions Icon List ... 441
xCommand UserInterface Extensions Icon Upload ... 441
xCommand UserInterface Extensions List ... 442
xCommand UserInterface Extensions Panel Clicked ... 442
xCommand UserInterface Extensions Panel Close ... 442
xCommand UserInterface Extensions Panel Open ... 442
xCommand UserInterface Extensions Panel Remove ... 443

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand UserInterface Extensions Panel Save 443
xCommand UserInterface Extensions Panel Update 443
xCommand UserInterface Extensions Set 444
xCommand UserInterface Extensions WebApp Save 444
xCommand UserInterface Extensions WebWidget Remove 445
xCommand UserInterface Extensions WebWidget Save 445
xCommand UserInterface Extensions Widget Action 445
xCommand UserInterface Extensions Widget SetValue 446
xCommand UserInterface Extensions Widget UnsetValue 446
xCommand ユーザインターフェイス LedControl カラーセット 446
xCommand UserInterface Message Alert Clear 446
xCommand UserInterface Message Alert Display 447
xCommand UserInterface Message Prompt Clear 447
xCommand UserInterface Message Prompt Display 448
xCommand UserInterface Message Prompt Response 448
xCommand UserInterface Message Rating Clear 449
xCommand UserInterface Message Rating Display 449
xCommand UserInterface Message Rating Response 450
xCommand ユーザインタフェースメッセージ Text Input クリア 450
xCommand UserInterface Message TextInput Display 451
xCommand UserInterface Message TextInput Response 452
xCommand UserInterface Message TextLine Clear 452
xCommand UserInterface Message TextLine Display 452
xCommand UserInterface Presentation ExternalSource Add 453
xCommand UserInterface Presentation ExternalSource List 453
xCommand UserInterface Presentation ExternalSource Remove 453
xCommand UserInterface Presentation ExternalSource RemoveAll 453
xCommand UserInterface Presentation ExternalSource Select 453
xCommand UserInterface Presentation ExternalSource State Set 454
xCommand UserInterface ScreenLock AdminInitiateRecovery 454
xCommand UserInterface Translation Override Clear 454
xCommand UserInterface Translation Override Get 454
xCommand ユーザインタフェースの翻訳上書き設定 455
xCommand UserInterface WallpaperBundle Clear 455
xCommand UserInterface WallpaperBundle List 455
xCommand UserInterface WallpaperBundle Set 455
xCommand UserInterface WebView Clear 456
xCommand UserInterface WebView Display 456

UserManagement コマンド 457
xCommand UserManagement RemoteSupportUser Create 457
xCommand UserManagement RemoteSupportUser Delete 457
xCommand UserManagement RemoteSupportUser DisablePermanently 457
xCommand ユーザ管理 RemoteSupportUser GetState 457
xCommand UserManagement User Add 458
xCommand UserManagement User Delete 458
xCommand UserManagement User Get 458
xCommand UserManagement ユーザリスト 459
xCommand UserManagement User Modify 459
xCommand UserManagement User Passphrase Change 460
xCommand UserManagement User Passphrase Set 460
xCommand UserManagement User Unblock 461

UserPresence コマンド 461
xCommand UserPresence CustomStatus Clear 461
xCommand UserPresence CustomStatus GetRecentsList 461
xCommand UserPresence CustomStatus Set 462

ビデオコマンド 462
xCommand Video ActiveSpeakerPIP Set 462
xCommand Video CEC Input KeyClick 463
xCommand Video CEC Output KeyClick 463
xCommand Video CEC Output SendActiveSourceRequest 464
xCommand Video CEC Output SendInactiveSourceRequest 464
xCommand Video Graphics Clear 464
xCommand Video Graphics Text Display 465
xCommand Video Input MainVideo Mute 465
xCommand Video Input MainVideo Unmute 465
xCommand Video Input Miracast Activate 465
xCommand Video Input Miracast Deactivate 465
xCommand Video Input Miracast PinAttemptsReset 465
xCommand ビデオ入力 SetMainVideoSource 466
xCommand Video Layout HideNonVideo Activate 466
xCommand Video Layout HideNonVideo Deactivate 466
xCommand Video Layout LayoutFamily Set 467

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Video Layout SetLayout ... 467
xCommand Video Layout StageParticipants Reset ... 467
xCommand Video Layout StageParticipants Set ById ... 468
xCommand Video Layout StageParticipants Set ByName ... 468
xCommand ビデオ マトリックスの割り当て ... 469
xCommand Video Matrix Reset ... 469
xCommand ビデオマトリックス切り替え ... 469
xCommand ビデオ マトリックス割り当て解除 ... 470
xCommand Video Output HDMI Passthrough Start ... 470
xCommand ビデオ出力 HDMI パススルーの停止 ... 470
xCommand Video Output Monitor Backlight Set ... 471
xCommand Video Output Monitor Color Select ... 471
xCommand ビデオ出力モニタのリセット ... 471
xCommand Video PresentationPIP Set ... 471
xCommand Video PresentationView Set ... 471
xCommand Video Selfview Set ... 472

Web エンジン コマンド ... 472
xCommand WebEngine AllowInsecureHttps Add ... 472
xCommand WebEngine AllowInsecureHttps List ... 472
xCommand WebEngine AllowInsecureHttps Remove ... 473
xCommand WebEngine AllowInsecureHttps RemoveAll ... 473
xCommand WebEngine DeleteStorage ... 473
xCommand ウェブエンジン ログ セット ... 474
xCommand WebEngine MediaAccess Add ... 474
xCommand WebEngine MediaAccess List ... 474
xCommand WebEngine MediaAccess Remove ... 475
xCommand WebEngine MediaAccess RemoveAll ... 475
xCommand WebEngine Tracing Start ... 475
xCommand WebEngine Tracing Stop ... 475

Webex コマンド ... 476
xCommand Webex Join ... 476
xCommand Webex Meetings InstantMeeting Start ... 476
X コマンド Webex 登録エアギャップの準備 ... 476
xCommand Webex 登録のキャンセル ... 476
xCommand Webex Registration ConvertToCloud ... 477
xCommand Webex Registration Logout ... 477
xCommand Webex Registration Start ... 477
xCommand Webex ソフトウェアのアップグレード ... 478
xCommand Webex ソフトウェアの検証 ... 478

WebRTC コマンド ... 478
xCommand WebRTC Join ... 478
xCommand WebRTC Provider Current Diagnostics Send ... 479
xCommand WebRTC Provider GoogleMeet MeetingNumber Validate ... 479

ホワイトボードのコマンド ... 479
xCommand ホワイトボードメールのキャンセル ... 479
xCommand ホワイトボードメール送信 ... 480

ズームコマンド ... 480
xCommand Zoom Join ... 480

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

AirPlay commands

xCommand AirPlay KeyEvent Back

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、ユーザー

AirPlay が有効な場合、AirPlay KeyEvent コマンドを使用して、音声やビデオの再生を制御したり、ビデオデバイスで AirPlay メニュー (AirPlay リモートコントロール) を操作したりできます。AirPlay を有効にする方法については、ビデオ入力 AirPlay モード設定を参照してください。

戻るにはこのコマンドを使用します。

使用方法:

```
xCommand AirPlay KeyEvent Back
```

xCommand AirPlay KeyEvent Click

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

AirPlay が有効な場合、AirPlay KeyEvent コマンドを使用して、音声やビデオの再生を制御したり、ビデオデバイスで AirPlay メニュー (AirPlay リモートコントロール) を操作したりできます。AirPlay を有効にする方法については、ビデオ入力 AirPlay モード設定を参照してください。

このコマンドを使用して、ハイライトされた項目を選択します。

使用方法:

```
xCommand AirPlay KeyEvent Click
```

xCommand AirPlay キーイベント (下)

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

AirPlay が有効な場合、AirPlay KeyEvent コマンドを使用して、音声やビデオの再生を制御したり、ビデオデバイスで AirPlay メニュー (AirPlay リモートコントロール) を操作したりできます。AirPlay を有効にする方法については、ビデオ入力 AirPlay モード設定を参照してください。

下に移動するにはこのコマンドを使用します。

使用方法:

```
xCommand AirPlay KeyEvent Down
```

xCommand AirPlay KeyEvent FastForward

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

AirPlay が有効な場合、AirPlay KeyEvent コマンドを使用して、音声やビデオの再生を制御したり、ビデオデバイスで AirPlay メニュー (AirPlay リモートコントロール) を操作したりできます。AirPlay を有効にする方法については、ビデオ入力 AirPlay モード設定を参照してください。

音声とビデオの再生を早送りするには、このコマンドを使用します。

使用方法:

```
xCommand AirPlay KeyEvent FastForward
```

xCommand AirPlay KeyEvent FastReverse

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、ユーザー

AirPlay が有効な場合、AirPlay KeyEvent コマンドを使用して、音声やビデオの再生を制御したり、ビデオデバイスで AirPlay メニュー (AirPlay リモートコントロール) を操作したりできます。AirPlay を有効にする方法については、ビデオ入力 AirPlay モード設定を参照してください。

音声とビデオを早送りで逆再生するには、このコマンドを使用します。

使用方法:

```
xCommand AirPlay KeyEvent FastReverse
```

xCommand AirPlay KeyEvent Left

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

AirPlay が有効な場合、AirPlay KeyEvent コマンドを使用して、音声やビデオの再生を制御したり、ビデオデバイスで AirPlay メニュー (AirPlay リモートコントロール) を操作したりできます。AirPlay を有効にする方法については、ビデオ入力 AirPlay モード設定を参照してください。

左に移動するには、このコマンドを使用します。

使用方法:

```
xCommand AirPlay KeyEvent Left
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand AirPlay KeyEvent Play

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

AirPlay が有効な場合、AirPlay KeyEvent コマンドを使用して、音声やビデオの再生を制御したり、ビデオデバイスで AirPlay メニュー (AirPlay リモートコントロール) を操作したりできます。AirPlay を有効にする方法については、ビデオ入力 AirPlay モード設定を参照してください。

音声およびビデオの再生を開始または一時停止するには、このコマンドを使用します。

使用方法:

```
xCommand AirPlay KeyEvent Play
```

xCommand AirPlay KeyEvent Right

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

AirPlay が有効な場合、AirPlay KeyEvent コマンドを使用して、音声やビデオの再生を制御したり、ビデオデバイスで AirPlay メニュー (AirPlay リモートコントロール) を操作したりできます。AirPlay を有効にする方法については、ビデオ入力 AirPlay モード設定を参照してください。

右に移動するにはこのコマンドを使用します。

使用方法:

```
xCommand AirPlay KeyEvent Right
```

xCommand AirPlay KeyEvent Up

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

AirPlay が有効な場合、AirPlay KeyEvent コマンドを使用して、音声やビデオの再生を制御したり、ビデオデバイスで AirPlay メニュー (AirPlay リモートコントロール) を操作したりできます。AirPlay を有効にする方法については、ビデオ入力 AirPlay モード設定を参照してください。

上に移動するにはこのコマンドを使用します。

使用方法:

```
xCommand AirPlay KeyEvent Up
```

xCommand AirPlay ResetPairedDevices

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

AirPlay を有効にすると、Apple デバイスをビデオデバイスとペアリングして、画面の共有、コラボレーション、および音声やビデオコンテンツの再生を行うことができます。AirPlay を有効にする方法については、ビデオ入力 AirPlay モード設定を参照してください。

パーソナルモードデバイスのデフォルトの動作である、最初の AirPlay ペアリングでのみ PIN を要求 (ビデオ入力 AirPlay セキュリティモードを最初の時間ピンに設定) するようにビデオデバイスが設定されている場合、このコマンドを使用して、全員に PIN による新たなペアリングを強制することができます。

使用方法:

```
xCommand AirPlay ResetPairedDevices
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

音声コマンド

xCommand Audio LocalInput、xCommand Audio LocalOutput、xCommand Audio RemoteOutput のコマンドは、高度な音声セットアップの鍵であり、音声コンソールアプリケーションにより使用されます。コマンドとアプリケーションは次の製品で利用できます: Codec EQ (AVIntegrator オプションキー付き)、Codec Pro、Room 70 G2、Room 70 Panorama、Room Panorama。

Audio Console は、音声チェーンのセットアップと構成を行うためのグラフィックインターフェイスを提供します。音声チェーンは、物理的または論理的な入力コネクタが 1 つ以上の入力グループに割り当てられ、それらの入力グループが 1 つ以上の出力グループに接続され、その出力グループに物理的または論理的な出力コネクタが割り当てられることで構成されます。上記のコマンドは、接続ゲイン、イコライゼーション、ミキシング モードなどの音声設定を定義します。

発信すると、リモート入力信号 (遠端からの) が自動的にすべてのローカル出力グループに追加されます。同様に、すべてのローカル入力は自動的にリモート出力グループ (遠隔端) に追加されます。この動作はローカル出力グループに対して変更可能です。

xCommand は再起動すると持続しません。そのため、マクロフレームワークを使用して、音声設定を永続化する必要があります。Audio Console を使用して音声をセットアップする場合、マクロが自動的に生成され、有効になります。

マクロと Audio Console の詳細については、デバイスの管理者ガイドとカスタマイズガイドを参照してください。

xCommand Audio Diagnostics Advanced Run

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ、USER

このコマンドは、すべての音声出力コネクタにノイズ信号を順次送信し、出力とマイクの間の室内インパルス応答 (RIR) を測定します。RIR が検出された場合、検出されたマイク (入力) の数、検出された出力コネクタの数、および検出された出力と入力間の遅延がレポートされます。

例:

```
xCommand Audio Diagnostics Advanced Run Volume: 50 MeasurementLength: 1
Result returned ->
OK
*r AdvancedRunResult (status=OK):
*r AdvancedRunResult HdmiSpeakersDelay: "100 ms"
*r AdvancedRunResult NumHdmiSpeakersDetected: 2
*r AdvancedRunResult NumMicsDetected: 1
** end
```

使用方法:

```
xCommand Audio Diagnostics Advanced Run [Channel: Channel]
[MeasurementLength: MeasurementLength] [Output: Output] [Volume: Volume]
```

値は次のとおりです。

チャネル:

整数 (0..13)

選択した出力のチャンネル番号 (左から右へ)。

デフォルト値: 0

測定長さ:

整数 (1..10)

測定の長さを秒単位で示します。ノイズの多い環境では、測定継続時間が長いほど、信頼性が高く堅牢な結果が得られます。

デフォルト値: 3

出力:

HDMI/ライン/内部/ヘッドセット/すべて

テスト信号の送信先となる出力です。

すべて: すべての出力の RIR を測定します。

HDMI: HDMI 出力に接続されたデバイスの室内インパルス応答 (RIR) を測定します。

ヘッドセット: ヘッドセットの RIR を測定します (ヘッドセットを持つビデオ デバイスでのみ利用可能)。

内部: 内蔵スピーカーの RIR を測定します (内蔵スピーカーを持つビデオ デバイスでのみ利用できます)。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

回線: 回線出力に接続されたデバイスの RIR を測定します (回線出力を持つビデオデバイスでのみ利用可能)。

既定値: すべて

音量:

整数 (0..50)

テスト信号の音量です。ノイズの多い環境では、音量が大きいほど信頼性の高い堅牢な結果が得られます。

デフォルト値: 20

xCommand Audio Diagnostics AecReverb Reset

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

音響エコー キャンセリングをリセットします。このコマンドは、会議室の音響処理を変更する場合に役立ちます。これまでの適応はすべて消去され、残響時間の新しい測定が行われます。通話中はこの操作はできません。

使用方法:

```
xCommand 音声診断 AecReverb リセット
```

xCommand Audio Diagnostics AecReverb Run

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

このコマンドは音響エコーキャンセラを使用して、室内の推定残響時間を推定します。これは、デバイスの通常の操作を中断することなく、透過的に行われます。

使用方法:

```
xCommand Audio Diagnostics AecReverb Run [PlayMusic: PlayMusic]
```

値は次のとおりです。

PlayMusic:

On/Off

On の場合、エコーキャンセラが適応するための適切な信号を提供するために、音楽が再生されます。場合によっては、これにより残響時間の推定がより正確になる場合があります。

既定値: Off

xCommand Audio Diagnostics MeasureDelay

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

このコマンドは、ビデオデバイスに接続されているデバイスの音声の遅延/レイテンシを測定します。一般的な使用例は、HDMI コネクタ経由でビデオデバイスに接続された TV の遅延を測定することです。テレビの遅延が大きすぎる場合、ビデオコールのリアルタイム体験は大幅に低下します。遅延が 50 ms を超える場合、遅延が短い TV 設定を探すことをお勧めします。遅延を減らすことができる一般的な TV 設定は、[ゲームモード (Gaming Mode)] および [PC モード (PC Mode)] です。

このコマンドは出力と入力 (マイク) の間の遅延を測定します。つまり、外部の音響エコーキャンセラまたは音声ミキサーを使用している場合、このコマンドはこれらのデバイスの遅延も測定します。

使用方法:

```
xCommand Audio Diagnostics MeasureDelay [MeasurementLength:
MeasurementLength] [Output: Output] [Volume: Volume]
```

値は次のとおりです。

測定長さ:

整数 (1..10)

測定の長さを秒単位で示します。ノイズの多い環境では、測定継続時間が長いほど、信頼性が高く堅牢な結果が得られます。

デフォルト値: 3

出力:

HDMI/ライン/内部/ヘッドセット/すべて

すべて: すべての出力の最大遅延を測定します。

HDMI: HDMI 出力に接続されたデバイスの遅延を測定します。

ヘッドセット: ヘッドセットの遅延を測定します (ヘッドセットを持つビデオ デバイスでのみ利用可能)。

内部: 内部スピーカーの遅延を測定します (内部スピーカーを持つビデオデバイスでのみ利用可能)。

回線: 回線出力に接続されたデバイスの遅延を測定します (回線出力を持つビデオデバイスでのみ利用可能)。

既定値: すべて

音量:

整数 (0..50)

テスト信号の音量です。ノイズの多い環境では、音量が大きいほど信頼性の高い堅牢な結果が得られます。

デフォルト値: 20

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Audio Equalizer List

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

このコマンドは、現在のイコライザーのパラメータを一覧表示します。EqualizerId が指定されていない場合、コマンドは 8 つのイコライザーすべてを一覧表示します。

使用方法:

```
xCommand Audio Equalizer List [EqualizerId: EqualizerId]
```

値は次のとおりです。

イコライザー ID:

整数 (1..8)

各 EqualizerId には、フィルタータイプ、周波数、ゲイン、Q 値のパラメータを持つ 6 つの 2 次フィルターセクションがあります。

xCommand 音声イコライザーの更新

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

8 つの音声イコライザーがあります。それぞれに 6 つの調整可能なフィルターセクションがあります。各セクションは 2 次フィルターであり、選択したイコライザーを通過する信号を変更するように構成できます。このコマンドは、選択された EqualizerId とセクションのイコライザーパラメータを設定します。

Codec EQ: AVIntegrator オプションが必要です。

使用方法:

```
xCommand Audio Equalizer Update [Enabled: Enabled] EqualizerId: EqualizerId
FilterType: FilterType Frequency: "Frequency" Gain: "Gain" Q: "Q" Section:
Section
```

値は次のとおりです。

Enabled:

False/True

True: セクションに設定された変更が信号に適用されます。

False: シグナルに変更は適用されません。

イコライザー ID:

整数 (1..8)

変更した設定が適用される一意のイコライザーです。

フィルタタイプ:

highpass/highshelf/lowpass/lowshelf/none/peaking

曲線の形状です。

ハイパス: 与えられた周波数以下の信号を弱めます。

highshelf: 指定された周波数以上の信号を増幅または減衰します。

lowpass: 与えられた周波数以上の信号を弱めます。

lowshelf: 与えられた周波数以下の信号を増幅または減衰します。

なし: 信号の直接パススルー ([有効化: False] と同じ)。

peaking: 指定された周波数の信号を増幅または減衰します。

Frequency:

文字列 (0, 32)

フィルタが調整される周波数 (Hz) です。20～20,000 の範囲の数字です。

ゲイン:

文字列 (0, 32)

フィルタタイプに応じて、全体の曲線または選択された曲線部分に適用されるデシベル [db] のゲイン。-100～20 の数値です。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

Q:

文字列 (0, 32)

フィルタの「シャープさ」を示します。値が小さいほど、曲線が滑らかになります。0.1～50 の数値です。

Section:

整数 (1..6)

各音声イコライザーには 6 つの調整可能なフィルターセクションがあります。各セクションは 2 次フィルターであり、選択したイコライザーを通過する信号を変更するように構成できます。

xCommand Audio LocalInput Add

適用対象: RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ

仮想ローカル入力を作成し、その識別子を生成します (InputId)。ローカル入力は入力コネクタのセットと関連付けられ、以下を指定することができます: ローカル入力の名前、関連付けられた入力コネクタからの信号の混合方法、自動ゲインコントロール (AGC) とミュートの使用、モノラルまたはステレオ信号を作成し、入力処理をバイパスするためにダイレクト モードを使用するかどうかを指定します。

ローカル入力モジュールの最大数は 8 です。制限を超えると、エラーメッセージが表示されます。

このコマンドは Audio Console で使用されます。Audio Console を使用しない場合、再起動後も音声チェーンの定義を永続させるために、マクロを作成する必要があることに注意してください。

Codec EQ: AVIntegrator オプションが必要です。

使用方法:

```
xCommand Audio LocalInput Add [AGC: AGC] [Channels: Channels] [Direct: Direct]
[InputId: InputId] [MixerMode: MixerMode] [Mute: Mute] [Name: "Name"]
```

値は次のとおりです。

AGC:

On/Off

On: ゲインを連続的に調整して、一定のサウンドレベルを維持します (デフォルト)。

Off: 自動ゲインコントロールを行いません。

チャネル:

整数 (1..2)

1: 入力信号をモノラル信号にミックスします(既定)。

2: 入力信号をステレオ信号にミックスします。

直通:

On/Off

On: 各入力コネクタの設定を無視して、アコースティック エコー キャンセリングやノイズ除去などの入力処理をバイパスします。入力処理をバイパスすることで、ローカル音響補強を実行するときに便利な音声入力の遅延が減少します。

Off: 各コネクタの構成に従って、すべての通常の入力処理が実行されます (デフォルト)。

InputId:

整数 (0..65534)

ローカル入力の一意の識別子です。InputID を指定しない場合、デバイスは自動的に一つを作成します。後の段階でローカル入力を参照する必要がある場合に備えて、自分で InputId を指定することをお勧めします。

ミキサーモード:

Auto/Fixed/GainShared

Auto: 1 つの入力信号が支配的である場合、他のコネクタの信号は、それぞれ 20 デシベルで減衰されます。

固定: 入力信号はすべて同じ重みをもつため、等しいゲインで混合されます (デフォルト)。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

GainShared: 1 つまたはいくつかの入力信号が支配的である場合、残りの入力信号は、ミックスされた信号の総ゲインが常に同じままであるように、数 dB で減衰されます。

Auto および GainShared はマイク入力用です。回線および HDMI 入力には Fixed を推奨します。

ミュート:

On/Off

On: 入力信号のミックスをミュートします (デフォルト)。

Off: ミュートしません。

名前:

文字列 (0, 255)

ローカル入力を説明する名前を選択します。名前を指定しない場合、文字列は空になります。

xCommand Audio LocalInput AddConnector

適用対象: RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ

入力 ID で指定されたローカル入力に入力コネクタを接続します。コネクタを一意に識別するために、コネクタのタイプと番号 (ConnectorType、ConnectorId) の両方を指定する必要があります。コネクタは 1 つのローカル入力にのみ接続できます。

xStatus 音声入力ローカル入力を実行して、すべてのローカル入力の概要を取得します。

このコマンドは Audio Console で使用されます。Audio Console を使用しない場合、再起動後も音声チェーンの定義を永続させるために、マクロを作成する必要があることに注意してください。

Codec EQ: AVIntegrator オプションが必要です。

使用方法:

```
xCommand Audio LocalInput AddConnector ConnectorId: ConnectorId
ConnectorType: ConnectorType InputId: InputId
```

値は次のとおりです。

コネクタ ID:

整数 (1..8)

コネクタを選択します。コネクタの番号は、コーデック コネクタ パネルに印刷されています。

ConnectorType:

AirPlay/HDMI/ マイク/ARC/WebView/イーサネット/USB インターフェース [CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]

AirPlay/HDMI/ マイク/WebView/イーサネット/USB インターフェース/USBC [RoomKitEQX CodecEQ]

音声を受信する物理的なコネクタ、デバイス、またはセッションのタイプを選択します。

ARC: 対応する HDMI 出力の ARC (音声リターンチャンネル) です。

AirPlay: アクティブな AirPlay セッション。

Ethernet: コーデックの内部ネットワーク上の音声デバイス (Cisco Table Microphone Pro/ Cisco Microphone Array)。

HDMI: HDMI 入力です。

マイク: アナログマイク入力です。

USBC: USB-C (入力)。

USB インタフェース: USB コネクタに接続されるマイクまたは音声インタフェース。

WebView: 埋め込みウェブブラウザです。

InputId:

整数 (0..65534)

ローカル入力の一意の識別子です。これは、ローカル入力が xCommand Audio LocalInput Add コマンドで作成されたときに生成されました。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Audio LocalInput Remove

適用対象: RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

入力 ID で指定されたローカル入力を削除します。

xStatus 音声入力ローカル入力を実行して、すべてのローカル入力の概要を取得します。

このコマンドは Audio Console で使用されます。Audio Console を使用しない場合、再起動後も音声チェーンの定義を永続させるために、マクロを作成する必要があることに注意してください。

Codec EQ: AVIntegrator オプションが必要です。

使用方法:

`xCommand Audio LocalInput Remove InputId:` *`InputId`*

値は次のとおりです。

`InputId`:

整数 (0..65534)

ローカル入力の一意の識別子です。これは、ローカル入力が xCommand Audio LocalInput Add コマンドで作成されたときに生成されました。

xCommand Audio LocalInput RemoveConnector

適用対象: RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

入力 ID で指定されたローカル入力から入力コネクタを切り離します。コネクタを一意に識別するために、コネクタのタイプと番号 (ConnectorType、ConnectorId) の両方を指定する必要があります。

xStatus 音声入力ローカル入力を実行して、すべてのローカル入力の概要を取得します。

このコマンドは Audio Console で使用されます。Audio Console を使用しない場合、再起動後も音声チェーンの定義を永続させるために、マクロを作成する必要があることに注意してください。

Codec EQ: AVIntegrator オプションが必要です。

使用方法:

`xCommand オーディオ LocalInput RemoveConnector コネクタ ID:` *`コネクタ ID`* `コネクタ タイプ:` *`コネクタ タイプ`* `入力 ID:` *`入力 ID`*

値は次のとおりです。

`コネクタ ID`:

整数 (1..8)

コネクタを選択します。コネクタの番号は、コーデック コネクタ パネルに印刷されています。

`ConnectorType`:

AirPlay/HDMI/マイク/ARC/WebView/イーサネット/USB インターフェース [CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]

AirPlay/HDMI/マイク/WebView/イーサネット/USB インターフェース/USBC [RoomKitEQX CodecEQ]

音声を受信する物理的なコネクタ、デバイス、セッションのタイプを選択します。

ARC: 対応する HDMI 出力の ARC (音声リターンチャンネル) です。

AirPlay: アクティブな AirPlay セッション。

Ethernet: コーデックの内部ネットワーク上の音声デバイス (Cisco Table Microphone Pro/Cisco Microphone Array)。

HDMI: HDMI 入力です。

マイク: アナログマイク入力です。

USBC: USB-C (入力)。

USB インタフェース: USB コネクタに接続されるマイクまたは音声インタフェース。

WebView: 埋め込みウェブブラウザです。

`InputId`:

整数 (0..65534)

ローカル入力の一意の識別子です。これは、ローカル入力が xCommand Audio LocalInput Add コマンドで作成されたときに生成されました。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Audio LocalInput Update

適用対象: RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ

入力 ID で指定されたローカル入力の設定を更新します。

xStatus 音声入力ローカル入力を実行して、すべてのローカル入力の概要を取得します。

このコマンドは Audio Console で使用されます。Audio Console を使用しない場合、再起動後も音声チェーンの定義を永続させるために、マクロを作成する必要があることに注意してください。

Codec EQ: AVIntegrator オプションが必要です。

使用方法:

```
xCommand オーディオ ローカル入力更新 [AGC: AGC] [チャンネル: チャンネル] [ダイレクト: ダイレクト] 入力 ID: 入力 ID [ミキサーモード: ミキサーモード] [ミュート: ミュート] [名前: "名前"]
```

値は次のとおりです。

AGC:

On/Off

On: 一定のサウンドレベルを維持するために、ゲインを連続的に調整します。

Off: 自動ゲインコントロールを行いません。

チャネル:

整数 (1..2)

1: 入力信号をモノラル信号にミックスします。

2: 入力信号をステレオ信号にミックスします。

直通:

On/Off

On: 接続されている各入力コネクタの設定に関係なく、アコースティックエコーキャンセリングやノイズ除去などの入力処理をバイパスします。入力処理をバイパスすることで、ローカル音響補強を実行するときに便利な音声入力の遅延が減少します。

Off: 各コネクタの構成に従って、すべての通常の入力処理が実行されます。

InputId:

整数 (0..65534)

ローカル入力の一意の識別子です。これは、ローカル入力が xCommand Audio LocalInput Add コマンドで作成されたときに生成されました。

ミキサーモード:

Auto/Fixed/GainShared

Auto: 1 つの入力信号が支配的である場合、他のコネクタの信号は、それぞれ 20 デシベルで減衰されます。

Fixed: 入力信号はすべて同じ重みをもつため、等しいゲインで混合されます。

GainShared: 1 つまたはいくつかの入力信号が支配的である場合、残りの入力信号は、ミックスされた信号の総ゲインが常に同じままであるように、数 dB で減衰されます。

Auto および GainShared はマイク用です。回線および HDMI 入力には Fixed を推奨します。

ミュート:

On/Off

On: 入力信号のミックスをミュートします。

Off: ミュートしません。

名前:

文字列 (0, 255)

ローカル入力を説明する名前を選択します。

xCommand Audio LocalInput Ethernet Deregister

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ

このコマンドを使用して、論理イーサネット音声入力コネクタから音声ストリームを登録解除します。ConnectorId または StreamName のいずれかを含める必要があります。両方が提供される場合、同じ入力コネクタを参照する必要があります。

現在登録されているストリームを確認するには、Audio Input Connectors Ethernet [n] StreamName ステータスを使用します。

使用方法:

```
xCommand Audio LocalInput Ethernet Deregister [ConnectorId: ConnectorId] [ResetConfig: ResetConfig] [StreamName: "StreamName"]
```

値は次のとおりです。

コネクタ ID:

整数(1..8) *[RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 BoardPro BoardProG2]*

整数 (1..6) *[RoomPanorama/Room70Panorama]*

整数 (1..1) *[RoomBar]*

論理イーサネットコネクタの一意の識別子。

ResetConfig:

False/True

False: この入力の現在のすべての設定を保持します。

True: この入力に関連するすべての設定をリセットします。

デフォルト値: False

StreamName:

文字列 (0, 40)

音声ストリームの一意の名前です。この名前は、Audio Input Connectors Ethernet [n] StreamName ステータスによって報告されます。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Audio LocalInput Ethernet PacketStatisticsReset

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

このコマンドは、Audio Input Connectors Ethernet [n] PacketsReceived ステータスおよび Audio Input Connectors Ethernet [n] PacketsLost ステータスによって返されるカウンターをリセットします。

使用方法:

```
xCommand Audio LocalInput Ethernet PacketStatisticsReset
```

xCommand Audio LocalInput Ethernet Register

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

このコマンドを使用して音声ストリームを論理イーサネット音声入力コネクタに登録します。
現在登録されているストリームを確認するには、Audio Input Connectors Ethernet [n] StreamName ステータスを使用します。

使用方法:

```
xCommand Audio LocalInput Ethernet Register [ConnectorId: ConnectorId]
[StreamName: "StreamName"]
```

値は次のとおりです。

コネクタ ID:

整数 (1..8) *[RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 BoardPro BoardProG2]*

整数 (1..6) *[RoomPanorama/Room70Panorama]*

整数 (1..1) *[RoomBar]*

論理イーサネットコネクタの識別子。指定がない場合、利用可能な最初の番号が使用されます。

ストリーム名:

文字列 (0, 40)

音声ストリームの一意の名前です。AES67 ストリームの場合、この名前は Audio Input Ethernet DiscoveredStream ステータスによって報告されます。

xCommand Audio LocalOutput Add

適用対象: RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

バーチャルローカル出力を作成し、識別子を生成します (OutputId)。ローカル出力はローカル入力とリモート入力信号の混合です。xCommand Audio LocalOutput ConnectInput コマンドを使用して、含めるローカル入力を指定します。デフォルトでは、リモート入力信号 (遠端から) は、通話時に自動的にこのローカル出力に追加されます。デフォルトの動作をオーバーライドする場合は、AutoconnectRemote パラメータを使用します。ローカル出力は、すべて同じ信号を受信する出力コネクタのセットと関連付けられます。

ローカル出力モジュールの最大数は 6 です。制限を超えると、エラーメッセージが表示されます。

このコマンドは Audio Console で使用されます。Audio Console を使用しない場合、再起動後も音声チェーンの定義を永続させるために、マクロを作成する必要があることに注意してください。

Codec EQ: AVIntegrator オプションが必要です。

使用方法:

```
xCommand Audio LocalOutput Add [AutoconnectRemote: AutoconnectRemote]
[Channels: Channels] [Loudspeaker: Loudspeaker] [Name: "Name"] [OutputId:
OutputId] [VolumeControlled: VolumeControlled]
```

値は次のとおりです。

AutoconnectRemote:

On/Off

On: 通話中、リモート入力信号は自動的にローカル出力に追加されます。

Off: リモート入力信号はローカル出力に追加されません。

既定値: On

チャネル:

整数 (1..2)

1: ローカルおよびリモートの入力信号をモノラル信号にミックスします。

2: ローカルおよびリモートの入力信号をミックスしてステレオ信号にします。

デフォルト値: 1

スピーカー:

On/Off

On: 少なくとも 1 つの関連コネクタがスピーカーに接続されている場合、On を選択します。これは、エコー キャンセラにこの信号を基準信号として使用するよう指示するため、重要です。

Off: ラウドスピーカーが関連するコネクタに接続されていない場合は Off を選択します。ローカル出力の 1 つだけにラウドスピーカーを接続する必要があることに注意してください。

既定値: Off

名前:

文字列 (0, 255)

ローカル出力を説明する名前を選んでください。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

出力 ID:

整数 (0..65534)

ローカル出力の一意の識別子です。OutputId を指定しない場合、デバイスは自動的に一つを作成します。後の段階で出力モジュールを参照する必要がある場合に備えて、自分で OutputId を指定することをお勧めします。

デフォルト値: 0

VolumeControlled:

On/Off

On: 音量は、ユーザーインターフェイスの音量コントロール、または xCommand Audio Volume コマンドで設定されたレベルに従って変化します。ラウドスピーカーがOnの場合、ここでの指定に関係なく、ボリュームコントロールは強制的にOnになります。

Off: 音量は、ユーザ インターフェイスの音量コントロールや、xCommand の [音声の音量] コマンドの影響を受けません。

既定値: Off

xCommand Audio LocalOutput AddConnector

適用対象: RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ

出力 ID で指定されたローカル出力に出力コネクタを接続します。コネクタを一意に識別するために、コネクタのタイプと番号 (ConnectorType、ConnectorId) の両方を指定する必要があります。コネクタは 1 つのローカル出力にのみ接続できます。

xStatus 音声出力 LocalOutput を実行して、すべてのローカル出力の概要を取得します。

このコマンドは Audio Console で使用されます。Audio Console を使用しない場合、再起動後も音声チェーンの定義を永続させるために、マクロを作成する必要があることに注意してください。

Codec EQ: AVIntegrator オプションが必要です。

使用方法:

```
xCommand Audio LocalOutput AddConnector ConnectorId: ConnectorId
ConnectorType: ConnectorType OutputId: OutputId
```

値は次のとおりです。

コネクタ ID:

整数 (1..8)

コネクタを選択します。コネクタの番号は、コーデック コネクタ パネルに印刷されています。

ConnectorType:

ARC/Ethernet/HDMI/Line/USBInterface/WebView [CodecPro]

ARC/Ethernet/HDMI/Line/InternalSpeaker/USBInterface/WebView [Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]

ARC/Ethernet/HDMI/Line/USBC/USBInterface/WebView [CodecEQ]

ARC/イーサネット/HDMI/ライン/内蔵スピーカー/USBC/USB インターフェース/WebView [RoomKitEQX]

音声を配信する物理的なコネクタ、デバイス、またはセッションのタイプを選択します。

ARC: 対応する HDMI 入力の ARC (音声リターンチャンネル) です。

イーサネット: コーデックの内部ネットワーク上の音声デバイス。イーサネット [1] は、デジタルマイク (Cisco Table Microphone Pro/Cisco Microphone Array) への AEC 基準信号用です。Room Kit EQX および Room Panorama の場合、イーサネット [2] は、音声を DNAM IV アンプに接続します。

HDMI: HDMI 出力です。

InternalSpeaker: デバイスの内部スピーカー。

Line: アナログ音声回線出力。

USBC: USB-C (出力)。

USBInterface: USB コネクタに接続された音声インタフェース。

WebView: 埋め込みウェブブラウザです。WebRTC セッションでは、WebView [1] がメインの音声で、WebView [2] がプレゼンテーションの音声です。

出力 ID:

整数 (0..65534)

ローカル出力の一意の識別子です。これは、ローカル出力が xCommand Audio LocalOutput Add コマンドで作成されたときに生成されたものです。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Audio LocalOutput ConnectInput

適用対象: RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

ID をパラメータとして指定することで、ローカルまたはリモートの入力をローカルの出力に接続します。ローカル入力は任意の数のローカル出力に接続できます。同様に、任意の数のローカル入力を各ローカル出力に接続することができます。通話が発信されると、リモート入力信号 (遠端から) がすべてのローカル出力に自動的に追加され、通話が終了すると自動的に切断されることに注意してください。

xStatus Audio Output LocalOutput を実行してすべてのローカル出力の概要を取得し、xStatus Audio Input LocalInput を実行してすべてのローカル入力の概要を取得し、xStatus Audio Input RemoteInput を実行してリモート入力の詳細を確認します。

このコマンドは Audio Console で使用されます。Audio Console を使用しない場合、再起動後も音声チェーンの定義を永続させるために、マクロを作成する必要があることに注意してください。

Codec EQ: AVIntegrator オプションが必要です。

使用方法:

```
xCommand Audio LocalOutput ConnectInput [InputGain: InputGain] InputId:
InputId OutputId: OutputId
```

値は次のとおりです。

入力ゲイン:

整数 (-54..15)

入力信号のゲインを設定します。ゲインは負の値になることもあります (減衰)。-54 dB の値は Offと同等です。

デフォルト値: 0

InputId:

整数 (0..65534)

ローカルまたはリモートの入力の一意の識別子です。ローカル入力の ID は、ローカル入力が xCommand Audio Local Input Add コマンドで作成されたときに生成されます。リモート入力の ID は、発信時に自動的に生成されます。

出力 ID:

整数 (0..65534)

ローカル出力の一意の識別子です。これは、ローカル出力が xCommand Audio LocalOutput Add コマンドで作成されたときに生成されたものです。

xCommand Audio LocalOutput DisconnectInput

適用対象: RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

ローカルまたはリモート入力をローカル出力から切断します。コールが終了すると、リモート入力信号 (遠端から) は自動的に切断されることに注意してください。

xStatus Audio Output LocalOutput を実行してすべてのローカル出力の概要を取得し、xStatus Audio Input LocalInput を実行してすべてのローカル入力の概要を取得し、xStatus Audio Input RemoteInput を実行してリモート入力の詳細を確認します。

このコマンドは Audio Console で使用されます。Audio Console を使用しない場合、再起動後も音声チェーンの定義を永続させるために、マクロを作成する必要があることに注意してください。

Codec EQ: AVIntegrator オプションが必要です。

使用方法:

```
xCommand Audio LocalOutput DisconnectInput InputId: InputId OutputId: OutputId
```

値は次のとおりです。

InputId:

整数 (0..65534)

ローカルまたはリモートの入力の一意の識別子です。ローカル入力の ID は、ローカル入力が xCommand Audio Local Input Add コマンドで作成されたときに生成されます。リモート入力の ID は、発信時に自動的に生成されます。

出力 ID:

整数 (0..65534)

ローカル出力の一意の識別子です。これは、ローカル出力が xCommand Audio LocalOutput Add コマンドで作成されたときに生成されたものです。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Audio LocalOutput Ethernet Deregister

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

論理イーサネット音声出力コネクタからの発信音声ストリームの登録を解除するには、このコマンドを使用します。

現在アクティブなストリームとそのパラメータを確認するには、音声出力コネクタ イーサネット ステータスを確認します。

使用方法:

```
xCommand Audio LocalOutput Ethernet Deregister ConnectorId: ConnectorId
```

値は次のとおりです。

コネクタ ID:

整数 (2..4) *[RoomBarPro CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro BoardProG2]*

整数 (3..4) *[RoomKitEQX RoomPanorama/Room70Panorama]*

論理イーサネット出力コネクタの識別子です。イーサネット 1 は予約されたコネクタであることに注意してください。Room Kit EQX および Room Panorama (つまり、Cisco DNAM IV アンプを備えたデバイス) の場合、イーサネット 2 も予約されています。

xCommand Audio LocalOutput Ethernet Register

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

発信音声ストリームを設定し、論理イーサネット音声出力コネクタに登録するには、このコマンドを使用します。これは、ビデオ デバイスからの AES67 音声の送信に必要です。

登録されると、サービス広告プロトコル (SAP) を使用して、Audio Ethernet SAPDiscovery Address で設定されたアドレスに 30 秒ごとにストリーミングが通知されます。

現在アクティブなストリームとそのパラメータを確認するには、音声出力コネクタ イーサネット ステータスを確認します。

使用方法:

```
xCommand Audio LocalOutput Ethernet Register Channels: Channels [ConnectorId: ConnectorId] MediaIP: "MediaIP" StreamName: "StreamName"
```

値は次のとおりです。

チャネル:

整数 (1..2)

ストリームで送信するチャンネル数です。

コネクタ ID:

整数 (2..4) *[RoomBarPro CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro BoardProG2]*

整数 (3..4) *[RoomKitEQX RoomPanorama/Room70Panorama]*

論理イーサネット出力コネクタの識別子です。指定がない場合、利用可能な最初の番号が使用されます。イーサネット 1 は予約されたコネクタであることに注意してください。Room Kit EQX および Room Panorama (つまり、Cisco DNAM IV アンプを備えたデバイス) の場合、イーサネット 2 も予約されています。

MediaIP:

文字列 (0, 16)

これは音声伝送に使用する IP アドレスです。有効なマルチキャストアドレスでなければなりません。一部のデバイスには、有効と見なされるマルチキャスト アドレスの指定された範囲があることに注意してください。

ストリーム名:

文字列 (0, 64)

音声ストリームの一意の名前です。この名前は、ネットワーク上の他の AES67 デバイスに表示されます。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Audio LocalOutput Remove

適用対象: RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

出力 ID で指定されたローカル出力を削除します。

xStatus 音声出力 LocalOutput を実行して、すべてのローカル出力の概要を取得します。

このコマンドは Audio Console で使用されます。Audio Console を使用しない場合、再起動後も音声チェーンの定義を永続させるために、マクロを作成する必要があることに注意してください。

Codec EQ: AVIntegrator オプションが必要です。

使用方法:

`xCommand Audio LocalOutput Remove OutputId:` *`OutputId`*

値は次のとおりです。

`出力 ID`:

整数 (0..65534)

ローカル出力の一意の識別子です。これは、ローカル出力が xCommand Audio LocalOutput Add コマンドで作成されたときに生成されたものです。

xCommand Audio LocalOutput RemoveConnector

適用対象: RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

出力 ID で指定されたローカル出力から出力コネクタを切り離します。コネクタを一意に識別するために、コネクタのタイプと番号 (ConnectorType、ConnectorId) の両方を指定する必要があります。

xStatus 音声出力 LocalOutput を実行して、すべてのローカル出力の概要を取得します。

このコマンドは Audio Console で使用されます。Audio Console を使用しない場合、再起動後も音声チェーンの定義を永続させるために、マクロを作成する必要があることに注意してください。

Codec EQ: AVIntegrator オプションが必要です。

使用方法:

`xCommand オーディオ ローカル出力 RemoveConnector コネクタ ID:` *`コネクタ ID`* `コネクタ タイプ:` *`コネクタタイプ`* `出力 ID:` *`出力ID`*

値は次のとおりです。

`コネクタ ID`:

整数 (1..8)

コネクタを選択します。コネクタの番号は、コーデック コネクタ パネルに印刷されています。

`ConnectorType`:

ARC/Ethernet/HDMI/Line/USBInterface/WebView [CodecPro]

ARC/Ethernet/HDMI/Line/InternalSpeaker/USBInterface/WebView [Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]

ARC/Ethernet/HDMI/Line/USBC/USBInterface/WebView [CodecEQ]

ARC/イーサネット/HDMI/ライン/内蔵スピーカー/USBC/USB インターフェース/WebView [RoomKitEQX]

音声が配信される物理的なコネクタ、デバイス、またはセッションのタイプを選択します。

ARC: 対応する HDMI 入力の ARC (音声リターンチャンネル) です。

イーサネット: コーデックの内部ネットワーク上の音声デバイス。イーサネット [1] は、デジタルマイク (Cisco Table Microphone Pro/Cisco Microphone Array) への AEC 基準信号用です。Room Kit EQX および Room Panorama の場合、イーサネット [2] は、音声を DNAM IV アンプに接続します。

HDMI: HDMI 出力です。

InternalSpeaker: デバイスの内部スピーカー。

Line: アナログ音声回線出力。

USBC: USB-C (出力)。

USBInterface: USB コネクタに接続された音声インタフェース。

WebView: 埋め込みウェブブラウザです。WebRTC セッションでは、WebView [1] がメインの音声で、WebView [2] がプレゼンテーションの音声です。

`出力 ID`:

整数 (0..65534)

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Audio LocalOutput Update

適用対象: RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

出力 ID で指定されたローカル出力の設定を更新します。

xStatus 音声出力 LocalOutput を実行して、すべてのローカル出力の概要を取得します。

このコマンドは Audio Console で使用されます。Audio Console を使用しない場合、再起動後も音声チェーンの定義を永続させるために、マクロを作成する必要があることに注意してください。

Codec EQ: AVIntegrator オプションが必要です。

使用方法:

```
xCommand オーディオ ローカル出力更新 [AutoconnectRemote: AutoconnectRemote]
[Channels: Channels] [Loudspeaker: Loudspeaker] [Name: "Name"] OutputId:
OutputId [VolumeControlled: VolumeControlled]
```

値は次のとおりです。

AutoconnectRemote:

On/Off

On: 通話中、リモート入力信号は自動的にローカル出力に追加されます。

Off: リモート入力信号はローカル出力に追加されません。

チャネル:

整数 (1..2)

1: ローカルおよびリモートの入力信号をモノラル信号にミックスします。

2: ローカルおよびリモートの入力信号をミックスしてステレオ信号にします。

スピーカー:

On/Off

On: 少なくとも 1 つの関連コネクタがスピーカーに接続されている場合、On を選択します。これは、エコー キャンセラにこの信号を基準信号として使用するよう指示するため、重要です。

Off: ラウドスピーカーが関連するコネクタに接続されていない場合は Off を選択します。ローカル出力の 1 つだけにラウドスピーカーを接続する必要があることに注意してください。

名前:

文字列 (0, 255)

ローカル出力を説明する名前を選んでください。

出力 ID:

整数 (0..65534)

ローカル出力の一意の識別子です。これは、ローカル出力が xCommand Audio LocalOutput Add コマンドで作成されたときに生成されたものです。

VolumeControlled:

On/Off

On: 音量は、ユーザ インターフェイスの音量コントロール、または xCommand の [音声の音量] コマンドで設定されたレベルに従って変化します。ラウドスピーカーがOnの場合、ここでの指定に関係なく、ボリュームコントロールは強制的にOnになります。

Off: 音量は、ユーザ インターフェイスの音量コントロールや、xCommand の [音声の音量] コマンドの影響を受けません。

xCommand Audio LocalOutput UpdateInputGain

適用対象: RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

ローカル出力に接続されているローカルまたはリモート入力のゲインを更新します。通話が発信されると、リモート入力信号 (遠端から) がすべてのローカル出力に自動的に追加され、通話が終了すると自動的に切断されることに注意してください。

xStatus Audio Output LocalOutput を実行してすべてのローカル出力の概要を取得し、xStatus Audio Input LocalInput を実行してすべてのローカル入力の概要を取得し、xStatus Audio Input RemoteInput を実行してリモート入力の詳細を確認します。

このコマンドは Audio Console で使用されます。Audio Console を使用しない場合、再起動後も音声チェーンの定義を永続させるために、マクロを作成する必要があることに注意してください。

Codec EQ: AVIntegrator オプションが必要です。

使用方法:

```
xCommand Audio LocalOutput UpdateInputGain [InputGain: InputGain] InputId:
InputId OutputId: OutputId
```

値は次のとおりです。

入力ゲイン:

整数 (-54..15)

入力信号のゲインを設定します。ゲインは負の値になることもあります (減衰)。-54 dB の値は Offと同等です。

デフォルト値: 0

InputId:

整数 (0..65534)

ローカルまたはリモートの入力の一意の識別子です。ローカル入力の ID は、ローカル入力が xCommand Audio Local Input Add コマンドで作成されたときに生成されます。リモート入力の ID は、発信時に自動的に生成されます。

出力 ID:

整数 (0..65534)

ローカル出力の一意の識別子です。これは、ローカル出力が xCommand Audio LocalOutput Add コマンドで作成されたときに生成されたものです。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Audio Microphones MusicMode Start

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

現在の通話でミュージックモードの使用を開始します。ミュージックモードを使用すると、音楽のダイナミックレンジが通過できます。ミュージックモードが使用されている場合、音量レベルの変動はそのまま送信され、ノイズフィルタリングは最小限に抑えられます。通話が終了すると、ミュージックモードは自動的にOffになります。

使用方法:

```
xCommand Audio Microphones MusicMode Start
```

xCommand Audio Microphones MusicMode Stop

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

現在の通話でのミュージックモードの使用を停止します。

使用方法:

```
xCommand Audio Microphones MusicMode Stop
```

xCommand Audio Microphones Mute

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

すべてのマイクをミュートします。

使用方法:

```
xCommand Audio Microphones Mute
```

xCommand Audio Microphones NoiseRemoval Activate

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

デバイスのノイズ除去機能を有効にします。この機能を有効にするには、まず xConfiguration Audio Microphones NoiseRemoval Mode を「Enable」に設定する必要があります。

使用方法:

```
xCommand Audio Microphones NoiseRemoval Activate [BackgroundTalkers:
BackgroundTalkers]
```

値は次のとおりです。

バックグラウンドトーカー:

Keep/Suppress

ノイズ除去が有効な場合のバックグラウンド音声の処理を制御します。

保持: バックグラウンドの音声は音声ストリーム中に保持されます。

抑制: 主要な発言者の聞き取りやすさを高めるために、背景の音声が最小化されます。

既定値: 保持

xCommand Audio Microphones NoiseRemoval Deactivate

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

デバイスのノイズ除去を無効にします。

使用方法:

```
xCommand Audio Microphones NoiseRemoval Deactivate
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Audio Microphones Passthrough Start

適用対象: RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

ConnectorId/ConnectorType パラメータで指定されているコネクタに、デバイスのマイクから音声の送信を開始します。

ラップトップからのコール機能を使用する場合、このコマンドを明示的に発行する必要はありません。音声とビデオの両方のストリーミングを制御するには、Video Output HDMI Passthrough Start/Stop コマンドを使用する必要があります。

このコマンドは Room 55 Dual および Room 70 Dual には適用されません。

使用方法:

```
xCommand Audio Microphones Passthrough Start ConnectorId: ConnectorId
ConnectorType: ConnectorType
```

値は次のとおりです。

コネクタ ID:

整数 (2..2) *[Room70/Room55D]*

整数 (1..3) *[CodecPro]*

整数 (3..3) *[Room70G2]*

整数 (2..3) *[Room70G2]*

整数 (1..2) *[RoomKit CodecPlus]*

整数 (1..1) *[Room55]*

マイク信号を送信するコネクタの識別子 (ID) です。コネクタ [n] の ID は n です。

ConnectorType:

HDMI

マイク信号を送信するコネクタのタイプです。

xCommand Audio Microphones Passthrough Stop

適用対象: RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

ConnectorId/ConnectorType パラメータで指定されているコネクタへの、デバイスのマイクからの音声の送信を停止します。コネクタが指定されていない場合、音声はすべての利用可能なコネクタで停止されます。

ラップトップからのコール機能を使用する場合、このコマンドを明示的に発行する必要はありません。音声とビデオの両方のストリーミングを制御するには、Video Output HDMI Passthrough Start/Stop コマンドを使用する必要があります。

このコマンドは Room 55 Dual および Room 70 Dual には適用されません。

使用方法:

```
xCommand Audio Microphones Passthrough Stop [ConnectorId: ConnectorId]
[ConnectorType: ConnectorType]
```

値は次のとおりです。

コネクタ ID:

整数 (1..3) *[CodecPro]*

整数 (3..3) *[Room70G2]*

整数 (2..3) *[Room70G2]*

整数 (1..2) *[RoomKit CodecPlus]*

整数 (1..1) *[Room55]*

整数 (2..2) *[Room70/Room55D]*

マイク信号の送信を停止するコネクタの識別子 (ID) です。コネクタ [n] の ID は n です。

ConnectorType:

HDMI

マイク信号の送信を停止するコネクタのタイプです。

既定値: HDMI

xCommand Audio Microphones ToggleMute

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

マイクのミュートとミュート解除を切り替えます。

使用方法:

```
xCommand Audio Microphones ToggleMute
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Audio Microphones Unmute

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

すべてのマイクをミュート解除する。

使用方法:

```
xCommand Audio Microphones Unmute
```

xCommand Audio RemoteOutput ConnectInput

適用対象: RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

ID をパラメータとして指定することで、入力をリモート出力に接続します。入力は任意の数のリモート出力ゲートに接続でき、任意の数の入力は 1 つのリモート出力ゲートに接続できます。発信すると、すべてのローカル入力がすべてのリモート出力ゲートに自動的に追加され、通話が終了すると自動的に切断されることに注意してください。

xStatus 音声入力ローカル入力を実行して、すべてのローカル入力の概要を取得します。

このコマンドは Audio Console による内部使用を想定しています。通話中のみ有効です。

Codec EQ: AVIntegrator オプションが必要です。

使用方法:

```
xCommand Audio RemoteOutput ConnectInput [InputGain: InputGain] InputId:
InputId OutputId: OutputId
```

値は次のとおりです。

入力ゲイン:

整数 (-54..15)

入力信号のゲインを設定します。ゲインは負の値になることもあります (減衰)。-54 dB の値は Offと同等です。

デフォルト値: 0

InputId:

整数 (0..65534)

入力の一意の識別子。これは、xCommand Audio Local Input Add コマンドで入力が作成されたとき、または通話がセットアップされたとき (リモート入力) に生成されました。

出力 ID:

整数 (0..65534)

リモート出力の一意の識別子です。これは発信時に自動的に生成されたものです。

xCommand Audio RemoteOutput DisconnectInput

適用対象: RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

ID をパラメータとして指定することで、リモート出力から入力を切断します。通話が終了すると、リモート出力は自動的に削除されることに注意してください。

xStatus Audio Output RemoteOutput を実行してリモート出力の概要を取得し、xStatus Audio Input LocalInput を実行してすべてのローカル入力の概要を取得します。

このコマンドは Audio Console による内部使用を想定しています。通話中のみ有効です。

Codec EQ: AVIntegrator オプションが必要です。

使用方法:

```
xCommand Audio RemoteOutput DisconnectInput InputId: InputId OutputId:
OutputId
```

値は次のとおりです。

InputId:

整数 (0..65534)

入力の一意の識別子。これは、xCommand Audio Local Input Add コマンドで入力が作成されたとき、または通話がセットアップされたとき (リモート入力) に生成されました。

出力 ID:

整数 (0..65534)

リモート出力の一意の識別子です。これは発信時に自動的に生成されたものです。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Audio RemoteOutput UpdateInputGain

適用対象: RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ

リモート出力に接続されている入力のゲインを更新します。通話が終了すると、リモート出力は自動的に削除されることに注意してください。

xStatus Audio Output RemoteOutput を実行してリモート出力の概要を取得し、xStatus Audio Input LocalInput を実行してすべてのローカル入力の概要を取得します。

このコマンドは Audio Console による内部使用を想定しています。通話中のみ有効です。

Codec EQ: AVIntegrator オプションが必要です。

使用方法:

```
xCommand Audio RemoteOutput UpdateInputGain [InputGain: InputGain] InputId:
InputId OutputId: OutputId
```

値は次のとおりです。

入力ゲイン:

整数 (-54..15)

入力信号のゲインを設定します。ゲインは負の値になることもあります (減衰)。-54 dB の値は Offと同等です。

デフォルト値: 0

InputId:

整数 (0..65534)

入力の一意の識別子。これは、xCommand Audio Local Input Add コマンドで入力が作成されたとき、または通話がセットアップされたとき (リモート入力) に生成されました。

出力 ID:

整数 (0..65534)

リモート出力の一意の識別子です。これは発信時に自動的に生成されたものです。

xCommand 音声選択

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro Room55 DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

使用する音声デバイスのタイプを選択します (内蔵スピーカーとマイク、ヘッドセット、またはハンドセット)。

使用方法:

```
xCommand Audio Select Device: Device
```

値は次のとおりです。

デバイス:

内蔵/ヘッドセット Bluetooth/ヘッドセット USB/ハンドセット USB *[RoomBar RoomBarPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2]*

Internal/HeadsetUSB/HandsetUSB *[RoomKit RoomKitMini Room55]*

内蔵/ヘッドセット Bluetooth/ヘッドセット USB/ヘッドセットアナログ/ハンドセット USB *[DeskPro]*

内蔵スピーカーとマイク (内部)、Bluetooth® ヘッドセット (Room Bar、Room Bar Pro、Desk Series、Board Pro、および Board Pro G2 のみ)、アナログヘッドセット (Desk Pro のみ)、USB ヘッドセット、または USB ハンドセットを使用するかどうかを選択します。

xCommand 音声設定の消去

適用対象: RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ

すべてのローカル入力とローカル出力を削除します。

Codec EQ: AVIntegrator オプションが必要です。

使用方法:

```
xCommand Audio Setup Clear
```

xCommand Audio Setup Reset

適用対象: RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ

このコマンドは、ビデオ デバイスの音声設定をリセットします (音声コンソール アプリケーションまたは API コマンドを使用して設定)。すべてのローカル入力とローカル出力を削除し、コネクタとグループをデフォルト値に戻し、再起動後と同じように音声設定を再構築します。

Codec EQ: AVIntegrator オプションが必要です。

使用方法:

```
xCommand Audio Setup Reset
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Audio Sound Play

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

指定されたオーディオサウンドを再生します。

使用方法:

```
xCommand Audio Sound Play [Loop: Loop] Sound: Sound
```

値は次のとおりです。

ループ:

Off/On

音声の再生をループさせるかどうかを指定します。既定では、音声はループします。このパラメータの設定に関係なく、Audio Sound Stop コマンドが発行されるまで、一部のサウンド (ビジー、コールウェイティング、ダイヤル、呼び出し中、SpecialInfo) が再生され続けます。

既定値: Off

サウンド:

アラート/アナウンス/バインディング/バンプ/話中/通話切断/通話開始/通話待機中/ダイヤル/キー入力/キー入力削除/キートーン/ナビゲーション/ナビゲーションバック/通知/OK/ペアリング/プレゼンテーション接続/呼び出し中/サインイン/特別情報/リスニング開始/電話通話/ビデオ コール/音量調整/ウェイクアップ/録音開始/Webex アシスタントキャプチャリングメモ

再生する着信音を選択します。

xCommand Audio Sound Stop

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

音声の再生を停止します。

使用方法:

```
xCommand Audio Sound Stop
```

xCommand Audio SpeakerCheck

適用対象: RoomKitEQX Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

すべての内蔵スピーカーが正しく接続されていることを確認するためのテストを実行します。テストトーンが各スピーカーから左から順に発せられます。スピーカーが正しい順序で再生されない場合、正しい順序を得るために、スピーカーケーブルを再接続してください。すべてのスピーカーはテスト シーケンスの一部であり、テスト シーケンスが正しく再生されることを確認するには、デバイスと同じ会議室にいる必要があります。

デバイスは接続されたマイクを使用してテスト信号をリッスンし、テストの結果が API で返されます。

使用方法:

```
xCommand Audio SpeakerCheck [測定長さ: 測定長さ] [音量: 音量]
```

値は次のとおりです。

測定長さ:

整数 (1..5)

各スピーカーのテスト信号の継続時間 (秒)。

デフォルト値: 1

音量:

整数 (1..30)

信号レベルをテストします。

デフォルト値: 1

xCommand Audio SoundsAndAlerts Ringtone List

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

利用可能なすべての着信音を一覧表示します。xConfiguration Audio SoundsAndAlerts RingTone 設定を使用して、着信音を選択します。

使用方法:

```
xCommand Audio SoundsAndAlerts Ringtone List
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Audio SoundsAndAlerts Ringtone Play

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

いずれかの着信音を再生します。xCommand Audio SoundsAndAlerts Ringtone List コマンドを使用して、利用可能な着信音のリストを取得します。

使用方法:

```
xCommand Audio SoundsAndAlerts Ringtone Play [Loop: Loop] RingTone:
"RingTone"
```

値は次のとおりです。

ループ:

Off/On

選択した着信音をループで繰り返します。音声をOffにするには、Audio SoundsAndAlerts Ringtone Stop xCommand を使用します。

既定値: Off

呼び出し音:

文字列 (1, 100)

着信音の名前です。

xCommand Audio SoundsAndAlerts Ringtone Stop

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

選択した着信音の再生を停止します。着信音の再生を再び開始するには、Audio SoundsAndAlerts Ringtone Play xCommand を使用します。

使用方法:

```
xCommand Audio SoundsAndAlerts Ringtone Stop
```

xCommand Audio Volume Decrease

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

ビデオデバイスの音量を下げます。既定では、音量は 5 段階で小さくなります (各段階は 0.5db です)。デフォルトの動作を上書きする場合は、[ステップ] パラメータを使用します。

Desk シリーズ、Board Pro、Board Pro G2、Room Bar、Room Bar Pro、Room Kit、Room Kit Mini、および Room 55 には、内蔵スピーカー、ヘッドセット、ハンドセットなどの複数のオーディオユニットがあります。このコマンドは一度に 1 つのユニットにしか作用しません。オプションの Device パラメータを使用して、どのオーディオデバイスをアドレス指定するかを指定することができます。ユニットを指定しない場合、最後に選択されたユニットが選択されます (xStatus Audio SelectedDevice を参照)。xCommand の音声選択も参照してください。

使用方法:

```
xCommand Audio Volume Decrease [Steps: Steps] [Device: Device]
```

値は次のとおりです。

手順:

整数 (1..10)

音量を下げるステップ数を選択します。各段階は 0.5dB です。

デフォルト値: 5

デバイス: *[RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro Room55 DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2]*

内蔵/ヘッドセット Bluetooth/ヘッドセット USB/ハンドセット USB [RoomBar RoomBarPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2]

Internal/HeadsetUSB/HandsetUSB [RoomKit RoomKitMini Room55]

内蔵/ヘッドセット Bluetooth/ヘッドセット USB/ヘッドセットアナログ/ハンドセット USB [DeskPro]

内蔵スピーカー、Bluetooth ヘッドセット (Desk Series、Board Pro、Board Pro G2、Room Bar、Room Bar Pro のみ)、アナログヘッドセット (Desk Pro のみ)、USB ヘッドセット、または USB ハンドセットから音量を下げるかを選択します。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Audio Volume Increase

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

ビデオデバイスの音量を上げます。デフォルトでは、音量は 5 段階ずつ大きくなります (各段階は 0.5dB です)。デフォルトの動作を上書きする場合は、[ステップ] パラメータを使用します。

Desk Series、Board Pro、Board Pro G2、Room Bar、Room Bar Pro、Room Kit、Room Kit Mini、および Room 55 には、内蔵スピーカー、ヘッドセット、ハンドセットなどの複数のオーディオユニットがあります。このコマンドは一度に 1 つのユニットにしか作用しません。オプションの Device パラメータを使用して、どのオーディオデバイスをアドレス指定するかを指定することができます。ユニットを指定しない場合、最後に選択されたユニットが選択されます (xStatus Audio SelectedDevice を参照)。xCommand の音声選択も参照してください。

使用方法:

```
xCommand Audio Volume Increase [Steps: Steps] [Device: Device]
```

値は次のとおりです。

手順:

整数 (1..10)

音量を上げるための段階数を選択します。各段階は 0.5dB です。

デフォルト値: 5

デバイス: *[RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro Room55 DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2]*

内蔵/ヘッドセット Bluetooth/ヘッドセット USB/ハンドセット USB [RoomBar RoomBarPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2]

Internal/HeadsetUSB/HandsetUSB [RoomKit RoomKitMini Room55]

内蔵/ヘッドセット Bluetooth/ヘッドセット USB/ヘッドセットアナログ/ハンドセット USB [DeskPro]

内蔵スピーカー、Bluetooth ヘッドセット (Desk Series、Board Pro、Board Pro G2、Room Bar、Room Bar Pro のみ)、アナログヘッドセット (Desk Pro のみ)、USB ヘッドセット、または USB ハンドセットから音量を上げるかを選択します。

xCommand Audio Volume Mute

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

ビデオ デバイスの音量をミュートにします。

Desk Series、Board Pro、Board Pro G2、Room Bar、Room Bar Pro、Room Kit、Room Kit Mini、および Room 55 には、内蔵スピーカー、ヘッドセット、ハンドセットなどの複数のオーディオユニットがあります。このコマンドは選択した audio ユニットにのみ影響します。詳細については、xStatus Audio SelectedDevice および xCommand Audio Select コマンドを参照してください。

使用方法:

```
xCommand Audio Volume Mute
```

xCommand Audio Volume Set

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

ビデオ会議端末の音量を指定の音量に設定します。

Desk Series、Board Pro、Board Pro G2、Room Bar、Room Bar Pro、Room Kit、Room Kit Mini、および Room 55 には、内蔵スピーカー、ヘッドセット、ハンドセットなどの複数のオーディオユニットがあります。このコマンドは一度に 1 つのユニットにしか作用しません。オプションの Device パラメータを使用して、アドレス指定するユニットを指定できます。ユニットを指定しない場合、最後に選択されたユニットが選択されます (xStatus Audio SelectedDevice を参照)。xCommand の音声選択も参照してください。

使用方法:

```
xCommand Audio Volume Set Level: Level [Device: Device]
```

値は次のとおりです。

Level:

整数 (0..100)

ゲインレベルを選択します。70 は 0 デシベルゲインに等しく、100 は 15 デシベルゲインに等しくなります。

デバイス: *[RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro Room55 DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2]*

内蔵/ヘッドセット Bluetooth/ヘッドセット USB/ハンドセット USB [RoomBar RoomBarPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2]

Internal/HeadsetUSB/HandsetUSB [RoomKit RoomKitMini Room55]

内蔵/ヘッドセット Bluetooth/ヘッドセット USB/ヘッドセットアナログ/ハンドセット USB [DeskPro]

内蔵スピーカー、Bluetooth ヘッドセット (Desk Series、Board Pro、Board Pro G2、Room Bar、Room Bar Pro のみ)、アナログヘッドセット (Desk Pro のみ)、USB ヘッドセット、または USB ハンドセットから音量を設定するかを選択します。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Audio Volume SetToDefault

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

音量を xConfiguration Audio DefaultVolume 設定で定義されているデフォルトレベルに設定します。

Desk Series、Board Pro、Board Pro G2、Room Bar、Room Bar Pro、Room Kit、Room Kit Mini、および Room 55 には、内蔵スピーカー、ヘッドセット、ハンドセットなどの複数のオーディオユニットがあります。このコマンドは一度に 1 つのユニットにしか作用しません。オプションの Device パラメータを使用して、どのオーディオデバイスをアドレス指定するかを指定することができます。ユニットを指定しない場合、最後に選択されたユニットが選択されます (xStatus Audio SelectedDevice を参照)。xCommand の音声選択も参照してください。

使用方法:

```
xCommand Audio Volume SetToDefault [Device: Device]
```

値は次のとおりです。

デバイス: *[RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro Room55 DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2]*

内蔵/ヘッドセット Bluetooth/ヘッドセット USB/ハンドセット USB *[RoomBar RoomBarPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2]*

Internal/HeadsetUSB/HandsetUSB *[RoomKit RoomKitMini Room55]*

内蔵/ヘッドセット Bluetooth/ヘッドセット USB/ヘッドセットアナログ/ハンドセット USB *[DeskPro]*

内蔵スピーカー、Bluetooth ヘッドセット (Desk Series、Board Pro、Board Pro G2、Room Bar、Room Bar Pro のみ)、アナログヘッドセット (Desk Pro のみ)、USB ヘッドセット、または USB ハンドセットから音量を設定するかを選択します。

xCommand Audio Volume ToggleMute

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

スピーカーのミュートとミュート解除を切り替えます。

使用方法:

```
xCommand Audio Volume ToggleMute
```

xCommand Audio Volume Unmute

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

ミュート後、デバイスの音量を再度Onにします。

使用方法:

```
xCommand Audio Volume Unmute
```

xCommand Audio VuMeter Start

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

VU メーターを開始して、指定されたコネクタの音声信号レベルを測定します。コネクタとビヘイビアを一意に識別するために、コネクタのタイプと番号 (ConnectorType、ConnectorId) の両方を指定する必要があります。VU メーターは 20 kHz 未満の周波数の入力レベルを測定します。

測定された信号レベルは、デバイスのローカル ウェブ インターフェイス ([設定] > [音声とビデオ]) で監視するか、xFeedback および xEvents コマンドを使用できます。

使用方法:

```
xCommand Audio VuMeter Start ConnectorId: ConnectorId ConnectorType:
ConnectorType [IncludePairingQuality: IncludePairingQuality] [IntervalMs:
IntervalMs] [Source: Source]
```

値は次のとおりです。

コネクタ ID:

整数 (1..1) *[RoomKitMini DeskPro DeskMini Desk]*

整数 (1..8) *[RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro BoardProG2]*

整数 (1..5) *[Board]*

整数 (1..2) *[RoomBar]*

整数 (1..3) *[RoomKit CodecPlus Room55 Room70/Room55D]*

コネクタ番号を指定します。通常、コネクタ番号はマイク入力を識別する一意の ID です。利用可能なコネクタ番号はデバイスによって異なります。

アナログ マイク入力の場合、これは音声入力マイク [n] 構成で使用されるものと同じ識別子 [n] です。

デジタルイーサネットマイクの場合、マイクがデバイスに登録されるときにコネクタ番号が 1 から順番に割り当てられ、マイクがデバイスとペアリングされた順序に従います。Room Panorama および Room 70 Panorama は最大 6 台までサポートします。AVIntegrator オプションなしの Coded EQ、Room Kit EQX、Room Bar Pro は最大 3 つまでサポートします。AVIntegrator オプションありの Coded EQ、Room Kit EQX、Room Bar Pro は最大 8 台までサポートします。Board Pro および Board Pro G2 は最大 3 個のデジタルイーサネットマイクをサポートします。Codec Pro および Room 70 G2 は、最大 8 個のデジタルイーサネットマイク (Cisco Table Microphone Pro/Cisco Microphone Array) をサポートします。

デバイスに内蔵マイクまたはマイク アレイがある場合、そのコネクタ番号は 1 です。

これらのルールにはいくつかの例外があります。特別な ConnectorType/ConnectorId の組み合わせの詳細については、ConnectorType の説明を参照してください。

ConnectorType:

Microphone/USBMicrophone *[RoomKit RoomKitMini CodecPlus Room55 Room70/Room55D DeskPro DeskMini Desk]*

マイク/イーサネット/USB マイク *[RoomBar RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

マイクアレイ/マイク/USB マイク/イーサネット *[RoomBarPro BoardPro BoardProG2]*

MicArray/Microphone *[Board]*

コネクタタイプを選択します。利用できるコネクタの種類はデバイスによって異なります。

一般に、外部アナログマイクおよびデバイスの内蔵マイクまたはマイクアレイには Microphone を使用し、USB マイクには USBMicrophone を使用し、デジタルイーサネットマイクには Ethernet を使用します。

Board、Board Pro、Board Pro G2 の場合、内蔵マイクアレイは 12 個のマイクエレメントで構成されます。これらの要素からの信号が組み合わされてビームが生成されます。ConnectorType が MicArray に設定されている場合、ConnectorID は 1 に設定する必要があります。この場合、マイク配列の個々の要素に対して 1 つずつ、合計 12 個の信号レベルが返されます。ConnectorType が Microphone に設定されている場合、Board は Board Pro および Board Pro G2 と同じようには動作しません。Board Pro および Board Pro G2 の場合、ConnectorId 1 はビーム選択後に内蔵マイクアレイの信号レベルを返し、ConnectorId 2 および 3 は 2 つの外部アナログマイク入力を参照します。外部アナログマイク入力がない Board の場合、ConnectorId 1 to 5 は、信号レベルを返す 5 つの個別のビームを識別します。

IncludePairingQuality:

On/Off

デバイスはペアリング品質を測定できます (値 0 から 100)。同じ部屋に他の超音波源がない場合、この値は高くなりますが、同じ部屋に他の超音波源がある場合、値は低くなります。デバイスのローカル ウェブ インターフェイスを使用して信号レベルを監視する場合、[ペアリングレートを表示 (Show Pairing Rate)] をオンにしてペアリング品質を確認する必要があります。

既定値: Off

IntervalMs:

整数 (10..1000)

VuMeter 値の更新間隔をミリ秒で指定します。値は 10 ms ステップで指定できます。

デフォルト値: 100

ソース:

AEC 前/AEC 後

VU メーターが、音響エコーキャンセリング処理 (AEC) の前または後に音声信号レベルを測定するかどうかを決定します。AEC の前に測定された場合、信号にはデバイスのスピーカーによって再生される音と会議室でローカルに生成される音の両方が含まれます。AEC 後に測定する場合、室内でローカルに生成された音のみが含まれます。

ローカルプレゼンテーションの音声トラックとリモート参加者の声はデバイスのスピーカーから出力される音の例であり、ローカル参加者の声は会議室でローカルに生成される音の例です。

デフォルト値: BeforeAEC

xCommand Audio VuMeter Stop

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

指定されたコネクタの VU メーターを停止します。コネクタを一意に識別するために、コネクタのタイプと番号 (ConnectorType、ConnectorId) の両方を指定する必要があります。

使用方法:

```
xCommand Audio VuMeter Stop ConnectorId: ConnectorId ConnectorType:
ConnectorType
```

値は次のとおりです。

コネクタ ID:

整数 (1..1) *[RoomKitMini DeskPro DeskMini Desk]*

整数 (1..8) *[RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro BoardProG2]*

整数 (1..5) *[Board]*

整数 (1..2) *[RoomBar]*

整数 (1..3) *[RoomKit CodecPlus Room55 Room70/Room55D]*

コネクタ番号を指定します。通常、コネクタ番号はマイク入力を識別する一意の ID です。利用できるコネクタ番号はデバイスによって異なります。詳細については、Audio VuMeter Start コマンドを参照してください。

ConnectorType:

Microphone/USBMicrophone *[RoomKit RoomKitMini CodecPlus Room55 Room70/Room55D DeskPro DeskMini Desk]*

マイク/イーサネット/USB マイク *[RoomBar RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

マイクアレイ/マイク/USB マイク/イーサネット *[RoomBarPro BoardPro BoardProG2]*

MicArray/Microphone *[Board]*

コネクタタイプを選択します。利用できるコネクタの種類はデバイスによって異なります。詳細については、Audio VuMeter Start コマンドを参照してください。

xCommand Audio VuMeter StopAll

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

すべての VU メーターを停止します。

使用方法:

```
xCommand Audio VuMeter StopAll
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

Bluetooth コマンド

xCommand Bluetooth Streaming Next

適用対象: RoomBar RoomBarPro DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ、USER

[Bluetooth ストリーミング] コマンドを使って、Bluetooth 経由でビデオ会議端末に接続されているデバイス (携帯電話やラップトップなど) からの音声ストリーミングを制御することができます。このコマンドを使用して、接続されたデバイスの次の音声トラックにスキップすることができます。

前提条件:ビデオ デバイスで Bluetooth をOnにし、初めてのペアリングでは、他のデバイスも検出できるようにします。これは、ビデオ デバイスのユーザ インターフェースの [設定] パネルから行います。次に、接続されたデバイスの Bluetooth 設定パネルからビデオ デバイスへの接続を開始します。

使用方法:

```
xCommand Bluetooth Streaming Next
```

xCommand Bluetooth Streaming Pause

適用対象: RoomBar RoomBarPro DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ、USER

Bluetooth Streaming コマンドを使って、Bluetooth 経由でビデオデバイスに接続されているデバイス (携帯電話やラップトップなど) からの音声ストリーミングを制御することができます。接続されたデバイスの音声再生を一時停止するには、このコマンドを使用します。

前提条件:ビデオ デバイスで Bluetooth をOnにし、初めてのペアリングでは、他のデバイスも検出できるようにします。これは、ビデオ デバイスのユーザ インターフェースの [設定] パネルから行います。次に、接続されたデバイスの Bluetooth 設定パネルからビデオ デバイスへの接続を開始します。

使用方法:

```
xCommand Bluetooth Streaming Pause
```

xCommand Bluetooth ストリーミング再生

適用対象: RoomBar RoomBarPro DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ、USER

[Bluetooth ストリーミング] コマンドを使って、Bluetooth 経由でビデオ会議端末に接続されているデバイス (携帯電話やラップトップなど) からの音声ストリーミングを制御することができます。このコマンドを使用して、接続されたデバイスで一時停止した後に再生を再開します。

前提条件:ビデオ デバイスで Bluetooth をOnにし、初めてのペアリングでは、他のデバイスも検出できるようにします。これは、ビデオ デバイスのユーザ インターフェースの [設定] パネルから行います。次に、接続されたデバイスの Bluetooth 設定パネルからビデオ デバイスへの接続を開始します。

使用方法:

```
xCommand Bluetooth ストリーミング再生
```

xCommand Bluetooth Streaming Previous

適用対象: RoomBar RoomBarPro DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ、USER

[Bluetooth ストリーミング] コマンドを使って、Bluetooth 経由でビデオ会議端末に接続されているデバイス (携帯電話やラップトップなど) からの音声ストリーミングを制御することができます。このコマンドを使用して、接続されたデバイスの現在の音声トラックの先頭に移動します。また、2 回目にコマンドを発行すると前のトラックに移動します。

前提条件:ビデオ デバイスで Bluetooth をOnにし、初めてのペアリングでは、他のデバイスも検出できるようにします。これは、ビデオ デバイスのユーザ インターフェースの [設定] パネルから行います。次に、接続されたデバイスの Bluetooth 設定パネルからビデオ デバイスへの接続を開始します。

使用方法:

```
xCommand Bluetooth Streaming Previous
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

ブッキングコマンド

xCommand Bookings Book

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

指定された期間でミーティングルームを予約します。開始時刻と継続時間を指定しない場合、会議室は現在から 30 分間予約されます。

このコマンドは、会議室のスケジュール機能をサポートするデバイスでのみ利用できます。AdhocBooking Enabled 設定を参照してください。

使用方法:

```
xCommand Bookings Book [BookingRequestUUID: "BookingRequestUUID"]
[Duration: Duration] [MeetingPlatform: MeetingPlatform] [Number: "Number"]
[OrganizerEmail: "OrganizerEmail"] [OrganizerId: "OrganizerId"] [OrganizerName:
"OrganizerName"] [Protocol: Protocol] [StartTime: "StartTime"] [Title: "Title"]
```

値は次のとおりです。

BookingRequestUUID:

文字列 (1, 128)

予約リクエストの一意の識別子です。このパラメータが省略された場合、ブッキングリクエスト識別子が自動的に割り当てられます。

Duration:

整数 (1..1440)

ミーティングの所要時間 (分単位) です。

デフォルト値: 30

ミーティングプラットフォーム:

MicrosoftTeams/GoogleMeet/Zoom/Webex/その他/なし

追加された場合、任意のミーティングのためのミーティング プラットフォームです。

番号:

文字列 (0, 128)

ミーティングのアドレスまたは番号です。

OrganizerEmail:

文字列 (0, 128)

開催者のメールアドレスです。

開催者 ID:

文字列 (0, 128)

開催者の一意の ID です。

開催者名:

文字列 (0, 128)

開催者の名前です。

プロトコル:

SIP/H323/ISDN/IP/Spark/WebRTC/なし

追加された場合、任意のミーティングの発信プロトコル。

開始時刻:

文字列 (0, 128)

ミーティングの開始時刻は次の UTC 形式です: YYYY-MM-DDThh:mm:ssZ。
例: 2021-01-24T01:29:00Z。

件名:

文字列 (0, 128)

カレンダー予約のタイトルまたは件名フィールド。また、今日のブッキングリストの画面にも表示されます。

xCommand 予約チェックイン

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

Id または MeetingId パラメータのいずれかで識別される予約をチェックインします。このコマンドは、チェックイン機能が有効になっているデバイスでのみ使用できます。

使用方法:

```
xCommand 予約チェックイン [Id: "Id"] [MeetingId: "MeetingId"] [TrackingData:
"TrackingData"]
```

値は次のとおりです。

ID:

文字列 (1, 128)

一意のミーティング識別子です。Bookings Put コマンドまたはハイブリッドカレンダーのいずれかでスケジュールされたミーティングを削除できます。識別子は Bookings List コマンドにより返されます。ハイブリッド カレンダーの場合、この ID は再起動後も保持されない可能性があります。

ミーティング ID:

文字列 (1, 128)

ハイブリッド カレンダー サービス バックエンドによって割り当てられた一意の会議 ID。ミーティング ID は Bookings List コマンドにより返されます。これは、Bookings Book コマンドを発行するときに提供されるブッキングリクエスト識別子 (BookingRequestUUID) とは異なることに注意してください。

トラッキングデータ:

文字列 (0, 128)

チェックインアクションの起源について説明します。

デフォルト値: BookingsCheckIn_API

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Bookings CheckOut

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

Id または MeetingId パラメータのいずれかによって識別される予約を確認します。これにより、カレンダーから予約が削除されます。このコマンドは、チェックイン機能が有効になっているデバイスでのみ使用できます。

使用方法:

```
xCommand Bookings CheckOut [Id: "Id"] [MeetingId: "MeetingId"] [TrackingData: "TrackingData"]
```

値は次のとおりです。

ID:

文字列 (1, 128)

一意のミーティング識別子です。Bookings Put コマンドまたはハイブリッドカレンダーのいずれかでスケジュールされたミーティングを削除できます。識別子は Bookings List コマンドにより返されます。ハイブリッド カレンダーの場合、この ID は再起動後も保持されない可能性があります。

ミーティング ID:

文字列 (1, 128)

一意のミーティング識別子です。これは、ハイブリッド カレンダー サービス バックエンドによってミーティングに割り当てられます。ミーティング ID は Bookings List コマンドにより返されます。これは、Bookings Book コマンドを発行するときに提供されるブッキングリクエスト識別子 (BookingRequestUUID) とは異なることに注意してください。

トラッキングデータ:

文字列 (0, 128)

チェックアウトアクションの起源について説明します。

デフォルト値: BookingsCheckOut_API

xCommand Bookings Clear

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

現在保存されているブッキングのリストを消去します。

使用方法:

```
xCommand Bookings Clear
```

xCommand Bookings Delete

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

Id または MeetingId パラメータのいずれかで識別されるミーティングを削除します。その後、その会議室は新規の予約に利用できるようになります。

このコマンドは、会議室のスケジュール機能をサポートするデバイスでのみ利用できます。RoomScheduler AdhocBooking 設定を参照してください。

使用方法:

```
xCommand Bookings Delete [Id: "Id"] [MeetingId: "MeetingId"]
```

値は次のとおりです。

ID:

文字列 (1, 128)

一意のミーティング識別子です。Bookings Put コマンドまたはハイブリッドカレンダーのいずれかでスケジュールされたミーティングを削除できます。識別子は Bookings List コマンドにより返されます。ハイブリッド カレンダーの場合、この ID は再起動すると持続しない場合があります。

ミーティング ID:

文字列 (1, 128)

一意のミーティング識別子です。これは、ハイブリッド カレンダー サービス バックエンドによってミーティングに割り当てられます。ミーティング ID は Bookings List コマンドにより返されます。これは、Bookings Book コマンドを発行するときに提供されるブッキングリクエスト識別子 (BookingRequestUUID) とは異なることに注意してください。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Bookings Edit

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

MeetingId パラメータで識別されるミーティングのパラメータを編集します。このコマンドは、会議室のスケジュール機能に対応しているデバイスでのみ利用できます。「アドホックブッキングが有効」設定を参照してください。

使用方法:

```
xCommand Bookings Edit [Duration: Duration] [Id: "Id"] [MeetingId:
"MeetingId"] [MeetingPlatform: "MeetingPlatform"] [Number: "Number"]
[OrganizerEmail: "OrganizerEmail"] [OrganizerId: "OrganizerId"] [OrganizerName:
"OrganizerName"] [Protocol: "Protocol"] [StartTime: "StartTime"] [Title:
"Title"]
```

値は次のとおりです。

Duration:

整数 (1..1440)

ミーティングの継続時間 (分)。

ID:

文字列 (1, 128)

内部識別子です。

ミーティング ID:

文字列 (1, 128)

一意のミーティング識別子です。これは、カレンダー サービス バックエンドによってミーティングに割り当てられます。ミーティング ID は Bookings List コマンドにより返されます。これは、Bookings Book コマンドを発行するときに提供されるブッキングリクエスト識別子 (BookingRequestUUID) とは異なることに注意してください。

ミーティングプラットフォーム:

MicrosoftTeams/GoogleMeet/Zoom/Webex/その他/なし

追加された場合、任意のミーティングのためのミーティング プラットフォームです。

番号:

文字列 (0, 128)

ミーティングのアドレスまたは番号です。

OrganizerEmail:

文字列 (0, 128)

開催者のメールアドレスです。

開催者 ID:

文字列 (0, 128)

開催者の一意の ID です。

開催者名:

文字列 (0, 128)

開催者の名前です。

プロトコル:

SIP/H323/ISDN/IP/Spark/WebRTC/なし

追加された場合、任意のミーティングの発信プロトコル。

開始時刻:

文字列 (0, 128)

UTC 形式でのミーティングの開始時刻:YYYY-MM-DDThh:mm:ssZ。

件名:

文字列 (0, 128)

カレンダー予約のタイトルまたは件名フィールド。画面の本日の予約リストに表示されます。

xCommand Bookings Extend

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

特定のミーティング ID で識別されるミーティングの継続時間を延長します。

使用方法:

```
xCommand Bookings Extend Duration: Duration [Id: "Id"] [MeetingId:
"MeetingId"]
```

値は次のとおりです。

Duration:

整数 (1..1440)

ミーティングの継続時間 (分)。

ID:

文字列 (1, 128)

一意の識別子。これは、カレンダー サービス バックエンドによってミーティングに割り当てられます。ミーティング ID は Bookings List コマンドにより返されます。これは、Bookings Book コマンドを発行するときに提供されるブッキングリクエスト識別子 (BookingRequestUUID) とは異なることに注意してください。

ミーティング ID:

文字列 (1, 128)

一意のミーティング識別子です。これは、カレンダー サービス バックエンドによってミーティングに割り当てられます。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Bookings Get

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

特定の ID のブッキング情報を取得します。

使用方法:

```
xCommand Bookings Get [Id: "Id"] [MeetingId: "MeetingId"]
```

値は次のとおりです。

ID:

文字列 (1, 128)

一意のミーティング識別子です。これは、カレンダー サービス バックエンドによってミーティングに割り当てられます。ミーティング ID は Bookings List コマンドにより返されます。これは、Bookings Book コマンドを発行するときに提供されるブッキングリクエスト識別子 (BookingRequestUUID) とは異なることに注意してください。

ミーティング ID:

文字列 (1, 128)

一意のミーティング識別子です。これは、カレンダー サービス バックエンドによってミーティングに割り当てられます。

xCommand Bookings List

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デバイスに保存されているブッキングを一覧表示します。管理システムからブッキング詳細のリストを受信します。すべてのパラメータは任意であり、検索結果を制限するために使用できます。

パラメータが設定されていない場合、過去、現在、および将来のブッキングがすべて一覧表示されます。昨日以前の予約を表示しないようにするには、DayOffset = 0 を使用します。

使用方法:

```
xCommand 予約リスト [AccountType: AccountType] [DayOffset: DayOffset]
[Days: Days] [Limit: Limit] [Offset: Offset] [ScheduleType: ScheduleType]
```

値は次のとおりです。

アカウントの種類:

共有/個人/共有と個人

指定されたアカウントのタイプのみを表示します。これは主に共有 (会議室) または個人アカウントを持つホットデスクデバイスで役立ちます。

DayOffset:

整数 (0..365)

検索を開始する日 (今日: 0、明日: 1、...)。

デフォルト値: 0

Days:

整数 (1..365)

ブッキングを取得するための過去の日数。

制限:

整数 (1..65534)

表示する予約の最大数。

Offセット:

整数 (0..65534)

この検索のための予約のオフセット数。

デフォルト値: 0

スケジュールタイプ:

現在/今後

進行中のミーティングまたは開催予定のミーティングを表示します。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Bookings NotificationSnooze

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

このデバイスに保存されているブッキングの通知をスヌーズに設定します。

使用方法:

```
xCommand Bookings NotificationSnooze [Id: "Id"] [MeetingId: "MeetingId"]
[SecondsToSnooze:SecondsToSnooze]
```

値は次のとおりです。

ID:

文字列 (1, 128)

通知のスヌーズ設定の ID です。

ミーティング ID:

文字列 (1, 128)

一意のミーティング識別子です。これは、カレンダー サービス バックエンドによってミーティングに割り当てられます。

スヌーズまでの秒数:

整数 (1..3600)

スヌーズの継続時間 (秒)。

デフォルト値: 300

xCommand Bookings Respond

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ミーティングの招待を承諾または拒否する。コメントを追加することもできます。

このコマンドは、Webex クラウド サービスに登録されているか、Onプレミス サービスに登録されており、デバイス用の Webex Edge にリンクされているデバイスに適用されます。

使用方法:

```
xCommand Bookings 応答 [コメント: "コメント"] 会議 ID: "会議 ID" タイプ: タイプ
```

値は次のとおりです。

コメント:

文字列 (1, 2048)

会議室に与えたミーティング招待状への応答にコメントを追加します。

ミーティング ID:

文字列 (1, 128)

ミーティングの一意の識別子。

タイプ:

承諾/拒否

承諾: ルームに与えられたミーティング招待状を承諾します。

Decline: ルームに与えられたミーティング招待状を却下します。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Bookings Put

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール：管理者

この API には特別な利用規約があります。API ガイドの「API について – 利用規約」のセクションを参照してください。

保存されているブッキングのリストを置換します。これは複数行のコマンドで、ペイロードとして保存されたブッキングの詳細を含みます。

ミーティング情報は JSON 形式で提供されます。

次に例を示します。

```
{
 "予約": [
  {
   "Id": "1",
   "Number": "number@example.com",
   "開催者": {
    "Name": "John Smith"
   },
   "プロトコル": "WebRTC",
   "MeetingPlatform": "MicrosoftTeams",
   "Time": {
    "Duration": 60,
    "EndTimeBuffer": 50,
    "StartTime": "2024-06-04T08:40:42.300000000Z"
   },
   "Title": "Booking Title"
  }
 ]
}
```

JSON 構造は以下のフィールドをサポートします。

```
{
{ "Id", "id" },
{ "MeetingId", "MyMeeting" },
{ "Agenda", "MyAgenda" },
{ "Title", "MyBookingTitle" },
{ "プライバシー","プライベート/パブリック" },
{ "プロトコル", "SIP/H323/ISDN/IP/Spark/WebRTC/なし" },
{ "MeetingPlatform", "GoogleMeet/MicrosoftTeams/Zoom/Webex/その他/なし" },
{ "MetaInfo", "...." },
{ "Time", {
   { "StartTime", "2020-06-10T09:31:42Z"},
   { "Duration", 60 },
   { "StartTimeBuffer", 300 },
   { "EndTimeBuffer", 0 },
}},
{ "開催者", {
   { "名前","John Smith" },
   { "Email","johnsmith@example.com" },
   { "Id","" },
}},
{ "Number", "number@example.com" },
{ "CallType", "音声/ビデオ" },
{ "暗号化", "On/Off" }
}
```

必須のフィールドは、Id、タイトル、番号、プロトコル、主催者/名前、タイム/開始時間、タイム/継続時間です。

StartTime: UTC/Zulu 時間のミーティングの開始時刻。

Duration: ミーティングの所要時間 (分)。

StartTimeBuffer: ユーザーがミーティングに参加できる、ミーティング開始時刻の前の秒数。

EndTimeBuffer: ミーティングが継続できる、スケジュールされた時間 (StartTime + Duration) より長い秒数。

番号: ダイヤルされる番号です。

MeetingPlatform: ミーティングを主催するサービスです。これは、ユーザーインターフェイスで視覚的な表示 (Microsoft Teams アイコンなど) をするために使用されます。プロトコルが WebRTC の場合、Microsoft Teams および Google Meet のみをサポートします。他のプロトコルについては、利用可能なすべてのミーティング プラットフォーム オプションをサポートします。

使用方法:

```
xCommand Bookings Put
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

発信コマンド

xCommand Call Accept

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

着信に応答します。CallId が指定されていない場合、すべての着信通話が受け入れられます。

使用方法:

```
xCommand Call Accept [CallId: CallId]
```

値は次のとおりです。

CallId:

整数 (0..65534)

CallId は、アクティブな通話を識別するために使用される一意の番号です。xCommand Dial コマンドが実行されると、CallId が返されます。通話中に、xStatus Call を実行して、CallId を確認できます。

デフォルト値: 0

xCommand Call Disconnect

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ、USER

通話を切断します。CallId が指定されていない場合、現在アクティブな通話は切断されます。

使用方法:

```
xCommand Call Disconnect [CallId: CallId]
```

値は次のとおりです。

CallId:

整数 (0..65534)

CallId は、アクティブな通話を識別するために使用される一意の番号です。xCommand Dial コマンドが実行されると、CallId が返されます。通話中に、xStatus Call コマンドを実行して、CallId を確認できます。

デフォルト値: 0

xCommand Call DTMFSend

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

DTMF トーンを相手に送信します。

使用方法:

```
xCommand Call DTMFSend [CallId: CallId] DTMFString: "DTMFString"
[Feedback:Feedback]
```

値は次のとおりです。

CallId:

整数 (0..65534)

CallId は、アクティブな通話を識別するために使用される一意の番号です。xCommand Dial コマンドが実行されると、CallId が返されます。通話中に、xStatus Call コマンドを実行して、CallId を確認できます。

デフォルト値: -1

DTMFString:

文字列 (0, 32)

DTMF 文字列を入力します。

フィードバック:

Audible/Silent

通話中にキーが入力されたときにフィードバックとして提供される音を消音するか、聞こえるようにします

(パスワードを入力するときに聴こえるような音)。

デフォルト値: Audible

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Call FarEndControl Camera Move

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

相手側カメラ (リモート カメラ) を移動します。

このコマンドは、通話に参加しているデバイスから発行でき、同じ通話内の別のデバイスのカメラを制御するために使用できます。

Speakertrack は相手側のカメラで無効にする必要があります。

Move コマンドが発行されると、相手側のカメラは停止コマンド (xCommand FarEndControl Camera Stop を参照) が発行されるまで、指定された方向に動き続けます。

Onプレミスと CMS の場合、このコマンドはアクティブな発言者のカメラにアクセスします。

クラウドの場合、このコマンドは指定された参加者のカメラにアクセスします。

追加の制約として、クラウドベースのパーソナル モード デバイスのカメラをコントロールすることはできません。これはプライバシー上の理由からです (ホームオフィスなど)。

使用方法:

```
xCommand Call FarEndControl Camera Move [CallId: CallId] [ParticipantId:
"ParticipantId"] Value: Value
```

値は次のとおりです。

CallId:

整数 (0..65534)

CallId は、アクティブな通話を識別するために使用される一意の番号です。通話に参加しているデバイスの 1 つから xStatus Call を実行することで、通話中に callId を取得できます。

デフォルト値: -1

参加者 ID:

文字列 (0, 255)

(クラウドのみ) ParticipantId は、通話の参加者に対応するために使用される一意の番号です。

Onプレミスまたは CMS では常にアクティブな発言者のカメラをコントロールしているため、ParticipantId は無視されます。

通話に 2 人の参加者しかいない場合、ParticipantId は暗黙的に示されていますので、必要ありません。

通話の参加者の ParticipantIds を確認するには、xCommand の電話会議参加者リスト検索を実行します。

参加者のリストをスキャンし、「ParticipantId」サブフィールドを使用します。

通話中に、xCommand Call FarEndControl RequestCapabilities を実行して、遠端カメラコントロールがサポートされているかどうかを確認できます。

値:

左/右/上/下/ズームイン/ズームアウト

カメラの移動方法のアクションを選択します。

xCommand Call FarEndControl Camera Stop

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

xCommand FarEndControl Camera Move が発行された後に、相手側のカメラを停止します。

このコマンドは、通話に参加しているデバイスから発行でき、同じ通話内の別のデバイスのカメラを制御するために使用できます。

Speakertrack は相手側のカメラで無効にする必要があります。

Onプレミスと CMS の場合、このコマンドはアクティブな発言者のカメラにアクセスします。

クラウドの場合、このコマンドは指定された参加者のカメラにアクセスします。

追加の制約として、クラウドベースのパーソナル モード デバイスのカメラをコントロールすることはできません。これはプライバシー上の理由からです (ホームオフィスなど)。

使用方法:

```
xCommand Call FarEndControl Camera Stop [CallId: CallId] [ParticipantId:
"ParticipantId"]
```

値は次のとおりです。

CallId:

整数 (0..65534)

CallId は、アクティブな通話を識別するために使用される一意の番号です。通話に参加しているデバイスの 1 つから xStatus Call を実行することで、通話中に callId を取得できます。

デフォルト値: -1

参加者 ID:

文字列 (0, 255)

(クラウドのみ) ParticipantId は、通話の参加者に対応するために使用される一意の番号です。

Onプレミスまたは CMS では常にアクティブな発言者のカメラをコントロールしているため、ParticipantId は無視されます。

通話に 2 人の参加者しかいない場合、ParticipantId は暗黙的に示されていますので、必要ありません。

通話の参加者の ParticipantIds を確認するには、xCommand の電話会議参加者リスト検索を実行します。

参加者のリストをスキャンし、「ParticipantId」サブフィールドを使用します。

通話中に、xCommand Call FarEndControl RequestCapabilities を実行して、Far End Camera Control がサポートされているかどうかを確認できます。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Call FarEndControl RequestCapabilities

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

要求を送信して、相手側カメラのリモート コントロール機能を確認します。

このコマンドは、通話に参加しているデバイスから発行でき、同じ通話内の別のデバイスのカメラを制御するために使用できます。

Onプレミスと CMS の場合、このコマンドはアクティブな発言者のカメラにアクセスします。

クラウドの場合、このコマンドは指定された参加者のカメラにアクセスします。

追加の制約として、クラウドベースのパーソナル モード デバイスのカメラをコントロールすることはできません。これはプライバシー上の理由からです (ホーム Offィスなど)。

使用方法:

```
xCommand Call FarEndControl RequestCapabilities [CallId: CallId]
[ParticipantId: "ParticipantId"]
```

値は次のとおりです。

CallId:

整数 (0..65534)

CallId は、アクティブな通話を識別するために使用される一意の番号です。通話に参加しているデバイスの 1 つから xStatus Call を実行することで、通話中に callId を取得できます。

デフォルト値: -1

参加者 ID:

文字列 (0, 255)

(クラウドのみ) ParticipantId は、通話の参加者に対応するために使用される一意の番号です。

Onプレミスまたは CMS では常にアクティブな発言者のカメラをコントロールしているため、ParticipantId は無視されます。

通話に 2 人の参加者しかいない場合、ParticipantId は暗黙的に示されていますので、必要ありません。

通話の参加者の ParticipantIds を確認するには、xCommand の電話会議参加者リスト検索を実行します。

参加者のリストをスキャンし、「ParticipantId」サブフィールドを使用します。

通話中に、xCommand CallFarEndControl RequestCapabilities を実行して、遠端カメラコントロールがサポートされているかどうかを確認できます。

xCommand Call FarEndControl RoomPreset Activate

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

通話中に、このコマンドを使用して、相手側のデバイスでプリセットをアクティブにします。プリセットには、相手側デバイスのカメラ位置と入力ビデオ スイッチャー設定が含まれます。

プリセットは、相手側のデバイスでローカルに xCommand Preset Store コマンドを使用するか、リモートデバイスから xCommand FarEndControl Preset Store コマンドを使用して、事前に相手側のデバイスに保存しておく必要があります。

注: 遠端デバイスの xConfiguration Conference FarEndControl Mode 設定は、FarEndControl コマンドが機能するためにOnに切り替える必要があります。

使用方法:

```
xCommand Call FarEndControl RoomPreset Activate [CallId: CallId]
[ParticipantId: "ParticipantId"] PresetId: PresetId
```

値は次のとおりです。

CallId:

整数 (0..65534)

CallId は、マルチポイント コールの場合にのみ、遠端デバイスを識別するために必要です。xCommand Dial コマンドを発行すると、CallId が返されます。通話中に、xStatus Call コマンドを実行して、CallId を確認できます。

デフォルト値: -1

参加者 ID:

文字列 (0, 255)

(クラウドのみ) ParticipantId は、通話の参加者に対応するために使用される一意の番号です。

Onプレミスまたは CMS では常にアクティブな発言者のカメラをコントロールしているため、ParticipantId は無視されます。

通話に 2 人の参加者しかいない場合、ParticipantId は暗黙的に示されていますので、必要ありません。

通話の参加者の ParticipantIds を確認するには、xCommand の電話会議参加者リスト検索を実行します。

参加者のリストをスキャンし、「ParticipantId」サブフィールドを使用します。

通話中に、xCommand CallFarEndControl RequestCapabilities を実行して、遠端カメラコントロールがサポートされているかどうかを確認できます。

プリセット ID:

整数 (1..15)

遠端デバイスに保存されているプリセットの ID です。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Call FarEndControl RoomPreset Store

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

通話中にこのコマンドを使用すると、プリセットを相手側のデバイスに保存できます。プリセットには、相手側デバイスのカメラ位置と入力ビデオ スイッチャー設定が含まれます。注: 遠端デバイスの xConfiguration Conference FarEndControl Mode 設定は、FarEndControl コマンドが機能するためにOnに切り替える必要があります。

使用方法:

```
xCommand Call FarEndControl RoomPreset Store [CallId: CallId] [ParticipantId:
"ParticipantId"] PresetId: PresetId
```

値は次のとおりです。

CallId:

整数 (0..65534)

CallId は、マルチポイント コールの場合にのみ、遠端デバイスを識別するために必要です。xCommand Dial コマンドを発行すると、CallId が返されます。通話中に、xStatus Call コマンドを実行して、CallId を確認できます。

デフォルト値: -1

参加者 ID:

文字列 (0, 255)

(クラウドのみ) ParticipantId は、通話の参加者に対応するために使用される一意の番号です。

Onプレミスまたは CMS では常にアクティブな発言者のカメラをコントロールしているため、ParticipantId は無視されます。

通話に 2 人の参加者しかいない場合、ParticipantId は暗黙的に示されていますので、必要ありません。

通話の参加者の ParticipantIds を確認するには、xCommand の電話会議参加者リスト検索を実行します。

参加者のリストをスキャンし、「ParticipantId」サブフィールドを使用します。

通話中に、xCommand CallFarEndControl RequestCapabilities を実行して、遠端カメラコントロールがサポートされているかどうかを確認できます。

プリセット ID:

整数 (1..15)

遠端デバイスに保存されているプリセットの ID です。

xCommand Call FarEndControl Source Select

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

相手側デバイスのメイン ソースとして使用するビデオ入力ソースを選択します。

このコマンドは、通話に参加しているデバイスから発行でき、同じ通話内の別のデバイスのソースを選択するために使用できます。

Onプレミスおよび CMS の場合、このコマンドによりアクティブな発言者のソースが選択されます。

クラウドの場合、このコマンドにより指定した参加者のソースが選択されます。

追加の制約として、クラウドベースのパーソナルモードデバイスのソースをコントロールすることはできません。これはプライバシー上の理由からです (ホームオフィスなど)。

使用方法:

```
xCommand Call FarEndControl Source Select [CallId: CallId] [ParticipantId:
"ParticipantId"] SourceId: SourceId
```

値は次のとおりです。

CallId:

整数 (0..65534)

CallId は、マルチポイント コールの場合にのみ、遠端デバイスを識別するために必要です。xCommand Dial コマンドを発行すると、CallId が返されます。通話に参加しているデバイスの 1 つから xStatus Call を実行することで、通話中に callId を取得できます。

デフォルト値: -1

参加者 ID:

文字列 (0, 255)

(クラウドのみ) ParticipantId は、通話の参加者に対応するために使用される一意の番号です。

Onプレミスまたは CMS では常に発言者のデバイスをコントロールしているため、ParticipantId は無視されます。

通話に 2 人の参加者しかいない場合、ParticipantId は暗黙的に示されていますので、必要ありません。

通話の参加者の ParticipantIds を確認するには、xCommand の電話会議参加者リスト検索を実行します。

参加者のリストをスキャンし、「ParticipantId」サブフィールドを使用します。

通話中に、xCommand CallFarEndControl RequestCapabilities を実行して、遠端カメラコントロールがサポートされているかどうかを確認できます。

ソース ID:

整数 (0..15)

相手側のビデオ入力ソースを選択します。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Call FarEndMessage Send

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ポイントツーポイント通話で 2 つのコーデック間でデータを送信し、コントロールシステムまたはマクロで使用します。SIP 通話でのみ機能します。Conference FarEndMessage モードが On に設定されている必要があります。

使用方法:

```
xCommand Call FarEndMessage 送信 [CallId: CallId] テキスト: "テキスト" タイプ: "タイプ"
```

値は次のとおりです。

CallId:

整数 (0..65534)

CallId は、アクティブな通話を識別するために使用される一意の番号です。xCommand Dial コマンドが実行されると、CallId が返されます。通話中に、xStatus Call コマンドを実行して、CallId を確認できます。

テキスト:

文字列 (1, 1450)

遠端に送信するメッセージを入力します。

タイプ:

文字列 (0, 255)

遠端に送信するメッセージタイプを入力します。

xCommand Call Forward

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

着信を転送する番号または URI を指定します。表示名はローカルでの転送先の参照名です。すべてのコールを転送するようにデバイスを構成すると、ローカル参照と一緒にメッセージが画面に表示されます。

使用方法:

```
xCommand Call Forward DisplayName: "DisplayName" Number: "Number"
```

値は次のとおりです。

表示名:

文字列 (0, 255)

転送先へのローカル参照。

番号:

文字列 (0, 255)

着信を転送する先のディレクトリ番号または URI。

xCommand Call Hold

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

通話を保留にします。

使用方法:

```
xCommand Call Hold [CallId: CallId] [Reason: Reason]
```

値は次のとおりです。

CallId:

整数 (0..65534)

CallId は、アクティブな通話を識別するために使用される一意の番号です。xCommand Dial コマンドが実行されると、CallId が返されます。通話中に、xStatus Call コマンドを実行して、CallId を確認できます。

デフォルト値: 0

理由:

電話会議/転送/その他

Cisco 社内専用。

既定値: その他

xCommand Call Ignore

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

着信通話の着信音をOffにします。通話には応答できます。

使用方法:

```
xCommand Call Ignore CallId: CallId
```

値は次のとおりです。

CallId:

整数 (0..65534)

CallId は、アクティブな通話を識別するために使用される一意の番号です。xCommand Dial コマンドが実行されると、CallId が返されます。通話中に、xStatus Call コマンドを実行して、CallId を確認できます。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Call Join

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

Cisco 社内専用。

使用方法:

```
xCommand Call Join [CallId: CallId]
```

値は次のとおりです。

CallId:

IntegerArray (0..65534 [10])

同じコマンドで 1 から 10 個の CallId パラメータを持つことができます。

xCommand Call Reject

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

着信コールを拒否します。コール ID が指定されていない場合、すべての着信が拒否されます。

使用方法:

```
xCommand Call Reject [CallId: CallId]
```

値は次のとおりです。

CallId:

整数 (0..65534)

CallId は、アクティブな通話を識別するために使用される一意の番号です。xCommand Dial コマンドが実行されると、CallId が返されます。通話中に、xStatus Call コマンドを実行して、CallId を確認できます。

デフォルト値: 0

xCommand Call Resume

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

保留中の通話を再開します。

使用方法:

```
xCommand Call Resume [CallId: CallId]
```

値は次のとおりです。

CallId:

整数 (0..65534)

CallId は、アクティブな通話を識別するために使用される一意の番号です。xCommand Dial コマンドが実行されると、CallId が返されます。通話中に、xStatus Call コマンドを実行して、CallId を確認できます。

デフォルト値: 0

xCommand Call UnattendedTransfer

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

進行中の通話を別の参加者に転送します。SIP 通話のみに完全に対応します。

使用方法:

```
xCommand Call UnattendedTransfer CallId: CallId Number: "Number"
```

値は次のとおりです。

CallId:

整数 (0..65534)

CallId は、アクティブな通話を識別するために使用される一意の番号です。xCommand Dial コマンドが実行されると、CallId が返されます。通話中に、xStatus Call コマンドを実行して、CallId を確認できます。

番号:

文字列 (0, 255)

コールが転送された番号。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

CallHistory コマンド

xCommand CallHistory AcknowledgeAllMissedCalls

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

すべての不在着信に対して、タッチコントローラの不在着信インジケータをOffにします。

使用方法:

```
xCommand CallHistory AcknowledgeAllMissedCalls
```

xCommand CallHistory AcknowledgeMissedCall

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

指定された通話でタッチコントローラーの不在着信インジケータをOffにします。

使用方法:

```
xCommand CallHistory 不在着信確認 [連続重複確認: 連続重複確認] CallHistoryId: CallHistoryId
```

値は次のとおりです。

AcknowledgeConsecutiveDuplicates:

False/True

重複情報を含む周囲の通話をすべて含めたり、除外したりできます。

デフォルト値: False

CallHistoryId:

整数 (1..2147483647)

問題の通話の CallHistoryId。xCommand CallHistory Get を実行して ID 番号を取得します。

xCommand CallHistory DeleteAll

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

以前の通話に関するすべての情報を削除します。

使用方法:

```
xCommand CallHistory DeleteAll [Filter: Filter]
```

値は次のとおりです。

フィルタ:

All/Missed/Placed/Received

削除する通話をフィルタリングできます。

既定値: すべて

xCommand CallHistory DeleteEntry

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

指定された通話に関するすべての情報を削除します。

使用方法:

```
xCommand CallHistory DeleteEntry CallHistoryId: CallHistoryId
[DeleteConsecutiveDuplicates: DeleteConsecutiveDuplicates]
```

値は次のとおりです。

CallHistoryId:

整数 (1..2147483647)

問題の通話の CallHistoryId。xCommand CallHistory Get を実行して ID 番号を取得します。

DeleteConsecutiveDuplicates:

False/True

重複する情報を含む周辺通話を削除するかどうか選択できます。

デフォルト値: False

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand CallHistory Get

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デバイスで行われた以前の通話に関するすべての情報を取得します。

使用方法:

`xCommand CallHistory Get [CallHistoryId: CallHistoryId] [DetailLevel: DetailLevel] [Filter: Filter] [Limit: Limit] [Offset: Offset] [SearchString: "SearchString"]`

値は次のとおりです。

CallHistoryId:

整数 (1..2147483647)

問題の通話の CallHistoryId。

DetailLevel:

Basic/Full

これらの通話に関する情報の詳細レベルを設定します。

デフォルト値: Basic

フィルタ:

すべて/不在着信/他所で応答/転送/発信/無応答/受信/拒否/未確認不在着信/Pmr

取得する通話をフィルタリングできます。Pmr はパーソナル会議室を指します。

既定値: すべて

制限:

整数 (0..65534)

出力される通話の量を定義します。

デフォルト値: 65534

*Off*セット:

整数 (0..65534)

開始する通話を設定します。

デフォルト値: 0

検索文字列:

文字列 (0, 255)

指定した表示名またはコールバック番号に適用するコマンドを設定できます。

xCommand CallHistory Recents

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デバイスで行われた以前の通話に関する集約情報を取得します。

使用方法:

`xCommand CallHistory 最近 [詳細レベル: 詳細レベル] [フィルター: フィルター] [制限: 制限] [オフセット: オフセット] [順序: 順序] [検索文字列: "検索文字列"]`

値は次のとおりです。

DetailLevel:

Basic/Full

これらの通話に関する情報の詳細レベルを設定します。

デフォルト値: Basic

フィルタ:

すべて/不在着信/他所で応答/転送/発信/無応答/受信/拒否/未確認不在着信/Pmr

取得する通話をフィルタリングできます。Pmr はパーソナル会議室を指します。

既定値: すべて

制限:

整数 (0..65534)

出力される通話の量を定義します。

デフォルト値: 65534

*Off*セット:

整数 (0..65534)

開始する通話を設定します。

デフォルト値: 0

Order:

OccurrenceTime/OccurrenceFrequency

前回の通話を表示する順序を定義します。

デフォルト値: OccurrenceTime

検索文字列:

文字列 (0, 255)

指定した表示名またはコールバック番号に適用するコマンドを設定できます。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

カメラ コマンド

xCommand Camera Boot

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

この API はブート コマンドを実行し、現在は Helios カメラでのみサポートされています。その他のすべてのカメラ モデルの場合、API は「FunctionNotAvailable」応答を返します。

使用方法:

```
xCommand Camera Boot CameraId: CameraId
```

値は次のとおりです。

CameraId:

整数 (1..10)

Camera Id

xCommand Camera FactoryReset

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

この API はカメラを工場出荷時の状態にリセットします。現在は Helios カメラでのみサポートされています。その他のすべてのカメラ モデルの場合、API は「FunctionNotAvailable」応答を返します。

使用方法:

```
xCommand Camera FactoryReset CameraId: CameraId Confirm: Confirm
```

値は次のとおりです。

CameraId:

整数 (1..10)

カメラ ID

確認:

可

工場出荷時設定へのリセットを確認する

xCommand Camera InstallationTilt Ramp

適用対象: RoomBarPro

必要なユーザーロール : 管理者

指定された方向にカメラモジュールを物理的に移動します。カメラのモーターは、方向を変更するかまたは移動を停止する新しいコマンドが発行されるまで、指定された方向に低速でカメラモジュールを移動します。カメラの移動は、範囲の最後に到達すると常に停止します。

このコマンドの主な目的は、デバイスが最初にインストールされた後で、物理的なカメラのチルトを再調整できるようにすることです。通常のカメラビューのパン、チルト、ズーム (デジタル) には、Camera Ramp コマンドを使用します。

使用方法:

```
xCommand Camera InstallationTilt Ramp Tilt: Tilt
```

値は次のとおりです。

チルト:

ダウン/ストップ/アップ

カメラチルトモーターを開始または停止して、カメラモジュールを上下に動かします。

Down: カメラモジュールを下向きにチルト開始します。

Up: カメラモジュールを上向きにチルト開始します。

停止: カメラモジュールのチルトを停止します。

xCommand Camera PositionReset

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ、USER

カメラの位置をデフォルトの位置にリセットします。

使用方法:

```
xCommand Camera PositionReset [Axis: Axis] CameraId: CameraId
```

値は次のとおりです。

軸:

すべて/フォーカス/パンチルト/ズーム

リセットする機能を選択します。指定しない場合、すべてがリセットされます。

既定値: すべて

CameraId:

整数 (1..12)

リセットするカメラの ID です。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Camera PositionSet

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ、USER

カメラの位置を設定します。異なるパラメータ (パン、チルト、ズーム、ロール) の値の範囲は、カメラのタイプによって異なります。カメラでサポートされている範囲内ではない値を入力すると、最も近い許容値が適用されます。また、パン、チルト、ズーム、ロールの値の組み合わせが不可能な場合、カメラが自動的に値を有効な組み合わせに調整します。

Cameras Camera [n] Position Pan/Tilt/Zoom/Roll ステータスを参照して、適用される実際の値を確認してください。

使用方法:

```
xCommand Camera PositionSet [CameraId: CameraId] [Focus: Focus] [Lens: Lens]
[Pan: Pan] [Tilt: Tilt] [Zoom: Zoom] [Roll: Roll]
```

値は次のとおりです。

CameraId:

整数 (1..1) *[RoomKit RoomKitMini RoomBar Room55 DeskPro DeskMini Desk Board]*

整数 (1..12) *[RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro BoardProG2]*

リセットするカメラ プリセットの ID です。

フォーカス:

整数 (0..65535)

カメラを近くまたは遠くにフォーカスします。

レンズ:

ワイド *[RoomKit RoomKitMini RoomBar Room55 DeskPro DeskMini Desk Board]*

ワイド/センター/左/右 *[RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

ワイド/センター/テレ *[RoomBarPro BoardProG2]*

ワイド/センター *[BoardPro]*

一部のカメラには複数のレンズがあります。このパラメータにより、位置を設定するレンズを選択します。

Pan:

整数 (-17000..17000)

カメラを左右に動かします。単位は 1/100 度で、つまり、100 は 1 度に対応します。正の値を指定するとカメラは左に移動し、負の値を指定するとカメラは右に移動します。左と右は、カメラの背面から部屋を見たときを指します。これは、部屋からカメラのレンズを見た場合の反対側です。

チルト:

整数 (-9000..9000)

カメラを上下に移動します。単位は 1/100 度で、つまり、100 は 1 度に対応します。正の値を指定するとカメラがチルトアップし、負の値を指定するとカメラがチルトダウンします。

ズーム:

整数 (0..12000)

ズームインまたはズームアウトします。単位は HFOV (水平視野) で 1/100 度で、100 は 1 度に相当します。値が小さいほどズームが最大になり、値が大きいほどズームが最小になります (最大視野)。

ロール: *[CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

整数 (-300..300)

カメラ ビューを回転します。数値が正の場合、観察画像は反時計回りに、負の場合は時計回りに回転します。単位は 1/100 度で、つまり、100 は 1 度に対応します。

xCommand Camera Preset Activate

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

保存されているカメラプリセットの 1 つを有効にします。このコマンドは話者トラッキングには影響しません。話者トラッキングがOnの場合、プリセットの位置から継続します。

xCommand Camera Preset コマンドは個々のカメラに適用されることに注意してください。

使用方法:

```
xCommand Camera Preset Activate PresetId: PresetId
```

値は次のとおりです。

プリセット ID:

整数 (1..35)

アクティベートするカメラ プリセットの ID です。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Camera Preset ActivateDefaultPosition

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

カメラを既定の位置に設定します(定義されている場合)。デフォルトの位置は xCommand Camera Preset Store または xCommand Camera Preset Edit で定義されます。カメラごとに定義できる既定の位置は 1 つだけです。このコマンドは話者トラッキングには影響しません。話者トラッキングがOnの場合、プリセットの位置から継続します。

使用方法:

`xCommand Camera Preset ActivateDefaultPosition [CameraId: CameraId]`

値は次のとおりです。

CameraId:

整数 (1..1) *[RoomKit RoomKitMini RoomBar Room55 DeskPro DeskMini Desk Board]*

整数 (1..12) *[RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro BoardProG2]*

アクティベートするカメラ プリセットの ID です。CameraId が指定されていない場合、すべてのカメラはそれぞれのデフォルトの位置に設定されます (定義されている場合)。

xCommand カメラプリセットの編集

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

保存されたカメラプリセットを編集します。カメラ プリセットの名前と xCommand Camera Preset List コマンドで返されるリスト内の位置を変更することができます。このプリセットを関連するカメラのデフォルトの位置にするかどうかも変更できます。

xCommand Camera Preset コマンドは個々のカメラに適用されることに注意してください。

使用方法:

`xCommand カメラプリセット編集 [DefaultPosition: DefaultPosition] [ListPosition: ListPosition] [Name: "Name"] PresetId: PresetId`

値は次のとおりです。

DefaultPosition:

False/True

ListPosition:

整数 (1..35)

xCommand の [カメラ プリセット リスト] コマンドによって返されるリスト内の位置です。

名前:

文字列 (0, 255)

カメラ プリセットの名前です。これは、xCommand の [カメラ プリセット リスト] コマンドによって返されるリストで使用されます。

プリセット ID:

整数 (1..35)

編集するカメラ プリセットの ID です。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Camera Preset List

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

利用可能なカメラプリセットに関する情報を一覧表示します。
xCommand Camera Preset コマンドは個々のカメラに適用されることに注意してください。

使用方法:

```
xCommand Camera Preset List [CameraId: CameraId] [DefaultPosition: DefaultPosition]
```

値は次のとおりです。

CameraId:

整数 (1..1) *[RoomKit RoomKitMini RoomBar Room55 DeskPro DeskMini Desk Board]*

整数 (1..12) *[RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro BoardProG2]*

指定したカメラのプリセットのみを一覧表示します。

DefaultPosition:

False/True

デフォルトの位置のみ、またはデフォルト以外の位置のみを一覧表示します。

xCommand Camera Preset Remove

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

カメラプリセットを削除します。
xCommand Camera Preset コマンドは個々のカメラに適用されることに注意してください。

使用方法:

```
xCommand Camera Preset Remove PresetId: PresetId
```

値は次のとおりです。

プリセット ID:

整数 (1..35)

削除するカメラ プリセットの ID です。

xCommand Camera Preset Show

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

要求された PresetId のプリセット詳細を表示します。

使用方法:

```
xCommand Camera Preset Show PresetId: PresetId
```

値は次のとおりです。

プリセット ID:

整数 (1..35)

表示したいカメラプリセットの ID です。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Camera Preset Store

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

選択したカメラの現在の位置 (パンとチルト)、ズーム、フォーカスを保存します。カメラは CameraId パラメータで識別されます。

xCommand Camera Preset コマンドは個々のカメラに適用されることに注意してください。xCommand Camera Preset コマンドは、カメラ位置の完全なセットで作業するのではなく、カメラごとに個別に複数のカメラ位置を処理する場合に役立ちます。個別のカメラ プリセットは、相手側コントロールでは利用できません。

使用方法:

```
xCommand Camera Preset Store CameraId: CameraId [DefaultPosition: DefaultPosition] [ListPosition: ListPosition] [Name: "Name"] [PresetId: PresetId] [TakeSnapshot: TakeSnapshot]
```

値は次のとおりです。

CameraId:

整数 (1..1) *[RoomKit RoomKitMini RoomBar Room55 DeskPro DeskMini Desk Board]*

整数 (1..12) *[RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro BoardProG2]*

プリセット位置を保存するカメラを選択します。

DefaultPosition:

False/True

ListPosition:

整数 (1..35)

xCommand Camera Preset List コマンドによって返されるリスト内の新しいカメラ プリセットの位置です。

名前:

文字列 (0, 255)

新しいカメラ プリセットの名前です。これは、xCommand の [カメラ プリセット リスト] コマンドによって返されるリストで使用されます。

プリセット ID:

整数 (1..35)

このカメラ プリセットの ID です。明示的に設定されていない場合、コーデックが自動的にプリセット ID を割り当てます。

TakeSnapshot:

False/True

プレビューのスナップショットを許可または禁止します。

xCommand Camera Ramp

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ、USER

指定された方向にカメラを移動します。カメラは、停止コマンドが発行されるまで、指定された速度で移動します。デイジー チェーンでは、アドレス指定するカメラの CameraId を知っている必要があります。パンとチルトは同時に操作できますが、他の組み合わせはできないことに注意してください。後者の場合、最初に指定された操作だけが実行されます。たとえば、ズームとパンの両方を同時に実行しようとすると、ズームのみが実行されます。

メモ: カメラを停止するには、停止コマンドを実行する必要があります。

使用方法:

```
xCommand Camera Ramp [CameraId: CameraId] [Focus: Focus] [Pan: Pan] [PanSpeed: PanSpeed] [Tilt: Tilt] [TiltSpeed: TiltSpeed] [Zoom: Zoom] [ZoomSpeed: ZoomSpeed]
```

値は次のとおりです。

CameraId:

整数 (1..1) *[RoomKit RoomKitMini RoomBar Room55 DeskPro DeskMini Desk Board]*

整数 (1..12) *[RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro BoardProG2]*

カメラを選択します。

フォーカス:

Far/Near/Stop

カメラを Far または Near にフォーカスし、その後に Stop します。

Pan:

左/右/停止

カメラを左または右に移動させ、その後で停止させます。

PanSpeed:

整数 (1..24)

パン速度を設定します。

チルト:

ダウン/ストップ/アップ

カメラを上下に動かし、その後で停止します。

傾斜速度:

整数 (1..24)

チルト速度を設定します。

ズーム:

In/Out/Stop

カメラをズームインまたはズームアウトして、[停止] を選択します。

ズーム速度:

整数 (1..15)

ズーム速度を設定します。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Cameras Stereoscopic Mute

適用対象: RoomBarPro BoardProG2

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ、USER

立体 3D ビデオストリームをミュートします。これにより、通話中は 3D の送信が停止されます。

使用方法:

```
xCommand カメラ ステレオスコピック ミュート
```

xCommand Cameras Stereoscopic Unmute

適用対象: RoomBarPro BoardProG2

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ、USER

立体 3D ビデオストリームをミュート解除します。会議に互換性のあるハードウェアを持つ参加者がいる場合、3D の送信が開始されます。

使用方法:

```
xCommand Cameras Stereoscopic Unmute
```

xCommand Camera TriggerAutofocus

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

オートフォーカス機能をトリガーします。オートフォーカス機能を持つカメラに適用されます。

使用方法:

```
xCommand Camera TriggerAutofocus CameraId: CameraId
```

値は次のとおりです。

CameraId:

整数 (1..12)

自動フォーカスするカメラを選択します。

xCommand Camera TriggerWhitebalance

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

サポートされている Sony IP カメラでホワイトバランスのワンプッシュをトリガーします。

参照としてカメラの前に白い紙を持ち、フレームを満たすようにします。ホワイトバランスは環境光に合わせて調整されます。

このコマンドはホワイトバランスモードが手動に設定されている場合にのみ適用されます。

使用方法:

```
xCommand Camera TriggerWhitebalance CameraId: CameraId
```

値は次のとおりです。

CameraId:

整数 (1..12)

ホワイト バランスをトリガーするカメラを選択します。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

Cameras コマンド

xCommand Cameras AutoFocus Diagnostics Start

適用対象: CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

オートフォーカスの診断を開始します。

使用方法:

```
xCommand Cameras AutoFocus Diagnostics Start CameraId: CameraId
```

値は次のとおりです。

CameraId:

整数 (1..12)
診断するカメラを選択します。

xCommand Cameras AutoFocus Diagnostics Stop

適用対象: CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

オートフォーカスの診断を停止します。

使用方法:

```
xCommand Cameras AutoFocus Diagnostics Stop CameraId: CameraId
```

値は次のとおりです。

CameraId:

整数 (1..12)
診断するカメラを選択します。

xCommand Cameras Background Clear

適用対象: DeskPro DeskMini Desk

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

ユーザーがインストールしたすべての背景画像を削除します。

使用方法:

```
xCommand Cameras Background Clear
```

xCommand Cameras Background Delete

適用対象: DeskPro DeskMini Desk

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

ユーザーが指定したカメラの背景画像を削除します。

使用方法:

```
xCommand Cameras Background Delete Image: Image
```

値は次のとおりです。

画像:

ユーザ 1/ユーザ 2/ユーザ 3
User1、User2、および User3 は、アップロードされたイメージをインストールできるスロットです。

xCommand Cameras Background Fetch

適用対象: DeskPro DeskMini Desk

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

指定された URL から画像をアップロードし、選択された user1-3 スロットにインストールされます。

使用方法:

```
xCommand Cameras Background Fetch [Checksum: "Checksum"] [ChecksumType:
ChecksumType] Image: Image Url: "Url"
```

値は次のとおりです。

チェックサム:

文字列 (0, 128)
画像ファイルのチェックサムです。

チェックサムタイプ:

SHA512
指定されたチェックサムのタイプです。

既定値: SHA512

画像:

ユーザ 1/ユーザ 2/ユーザ 3
ユーザ 1、ユーザ 2、およびユーザ 3 は、アップロードされたイメージをインストールできるスロットです。

URL:

文字列 (8, 2048)
画像の URL です。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Cameras Background ForegroundParameters Reset

適用対象: DeskPro DeskMini Desk

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

イマーシブ共有モードで使用されます。前景画像のサイズ、位置、不透明度を、フルサイズ、中央揃え、不透明に設定します。

このコマンドは、HDMI または USB-C 入力を自分自身の表示画像の仮想背景として使用している場合にのみ関連します。

使用方法:

```
xCommand Cameras Background ForegroundParameters Reset
```

xCommand Cameras Background ForegroundParameters Set

適用対象: DeskPro DeskMini Desk

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

イマーシブ共有モードで使用されます。前景の画像のサイズ、位置、不透明度を設定します。

共有された画像の構図を設定して、前面または背面のいずれかでフル カメラのビデオを表示することもできます。

このコマンドは、HDMI または USB-C 入力を自分自身の表示画像の仮想背景として使用している場合にのみ関連します。

使用方法:

```
xCommand Cameras Background ForegroundParameters Set [Composition: Composition] [Opacity: Opacity] [Scale: Scale] [X: X] [Y: Y]
```

値は次のとおりです。

Composition:

ブレンド/CameraPip/VideoPip

ブレンド: PC 入力の前面にカメラ入力の前景部分をレンダリングします。これは、背景が透明なフローティングパーソンが、プレゼンテーションビデオの上に配置された典型的なビューです。PC 入力はフルスクリーンでレンダリングされ、X、Y、スケールパラメータはカメラ入力の位置をコントロールします。

CameraPip: カメラ入力を PC 入力の前面にピクチャーインピクチャーとしてレンダリングします。これにより、プレゼンテーション ビデオ上に配置された長方形として、背景を含むカメラ画像全体が表示されます。PC 入力はフルスクリーンでレンダリングされ、X、Y、スケールパラメータはカメラ入力の位置をコントロールします。

VideoPip: PC 入力をカメラ入力の前面にピクチャーインピクチャーとしてレンダリングします。これにより、背景を含むフルカメラビュー上に配置された長方形にプレゼンテーションビデオが表示されます。カメラ入力はフルスクリーンでレンダリングされ、X、Y、スケールパラメータは PC 入力の位置をコントロールします。

Opacity:

整数 (0..100)

前景の画像の不透明度です。100 は画像が不透明であることを意味し、値が低いほど画像を通して背景がより多く見えるようになり、0 は背景のみが見えることを意味します。

スケール:

整数 (1..100)

背景に対する前景画像のサイズをパーセント単位で示します。100 はフルサイズ、1 は最小サイズのセルフビュー画像。

X:

整数 (0..10000)

前面画像の中心の水平位置です。0 は左端、5000 は中央、10000 は右端です。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

Y:

整数 (0..10000)

前面画像の中心の (垂直方向の) 位置です。0 が上端、5000 が中央、10000 が下端となります。

xCommand Cameras Background Get

適用対象: DeskPro DeskMini Desk

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ、USER

指定されたスロット位置にあるユーザーがアップロードした画像の画像データを取得します。
対象となるユーザーはユーザーインターフェース (例えば、settings.webex.com) で、これにより、ユーザーの画像のサムネイルまたは大きなバージョンを表示することが可能になります。

使用方法:

```
xCommand Cameras Background Get Image: Image [Size: Size]
```

値は次のとおりです。

画像:

ユーザ 1/ユーザ 2/ユーザ 3

User1、User2、および User3 は、アップロードされたイメージをインストールできるスロットです。

サイズ:

Large/Thumbnail

表示する画像のサイズです。

デフォルト値: Large

xCommand カメラ背景リスト

適用対象: DeskPro DeskMini Desk

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ、USER

各ユーザー背景画像スロット User1、User2、User3 のインストール済み/未インストールを表示します。

使用方法:

```
xCommand Cameras Background List
```

xCommand Cameras Background Set

適用対象: DeskPro DeskMini Desk

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ、USER

カメラの背景設定を指定します。このコマンドを有効にするには、Cameras Background Enabled 構成を True にする必要があります。

使用方法:

```
xCommand Cameras Background Set [Image: Image] [Mode: Mode]
```

値は次のとおりです。

画像:

画像 1/画像 2/画像 3/画像 4/画像 5/画像 6/ユーザ 1/ユーザ 2/ユーザ 3

背景として使用する画像です。画像を表示するには、[モード] パラメータが [画像] に設定されている必要があります。

Image1、Image2、Image3、Image4、Image5、Image6: プリインストールされているイメージ。

User1、User2、および User3: ユーザーがアップロードした画像。

Mode:

無効/ぼかし/ぼかしモノクロ/被写界深度/モノクロ/USBC/画像 *[DeskMini]*

Disabled/Blur/BlurMonochrome/DepthOfField/Monochrome/Hdmi/UsbC/Image *[DeskPro Desk]*

背景画像のモードです。オプションには以下が含まれます。

無効: カメラ ビューの背景をマスクする画像や効果はありません。

Blur: 背景がぼかされます。

BlurMonochrome: ぼかしとモノクロ (色なしのぼかし) の組み合わせ。

DepthOfField: ぼかしの 1 つで、ぼかしが少ない。

Hdmi: HDMI 入力がライブ背景を提供しています。

単色: 画像をグレースケールで表示します。

Image: 画像が背景を提供します。

UsbC: USB-C はライブバックグラウンドを提供します。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand カメラのバックグラウンドアップロード

適用対象: DeskPro DeskMini Desk

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

画像データをアップロードし、選択した User1-3 のスロットに画像をインストールします。

アップロードされるコンテンツは、Base64 エンコード形式の画像データです。Base64 エンコード後の最大サイズは 8 MB です。

これは複数行のコマンドです。

Use:

xCommand Cameras バックグラウンドアップロード<enter>

Encoded image text <enter>

. <enter>

使用方法:

```
xCommand Cameras Background Upload Image: Image
```

値は次のとおりです。

画像:

ユーザ 1/ユーザ 2/ユーザ 3

User1、User2、および User3 は、アップロードされたイメージをインストールできるスロットです。

xCommand Cameras PresenterTrack ClearPosition

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

ステージのオーバービュー画像用に保存されたプレゼンタトラッキングカメラの位置を消去します。PresenterTrack 機能は、カメラの位置がクリアされた後も機能しますが、カメラはアクティベーション時に定義済みの位置を表示しません。

このコマンドは、プレゼンタのトラッキングのために PTZ 4K または Precision 60 カメラでデバイスを使用する場合にのみ適用されます。

使用方法:

```
xCommand Cameras PresenterTrack ClearPosition
```

xCommand カメラ プレゼンタ トラック セット

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

プレゼンタトラッキングモードを設定します。

このコマンドは、プレゼンタのトラッキングのために PTZ 4K または Precision 60 カメラでデバイスを使用する場合にのみ適用されます。PresenterTrack 機能が有効になっている場合にのみ、このコマンドは有効になります。詳細は Cameras PresenterTrack Enabled 設定を参照してください。

使用方法:

```
xCommand Cameras PresenterTrack Set Mode: Mode
```

値は次のとおりです。

Mode:

Off/フォロー/診断/バックグラウンド/セットアップ/持続

Off: プレゼンタのトラッキングをOffにします。

Follow: プレゼンタのトラッキングをOnにします。これは、ユーザ インターフェイスからこの機能を有効にした場合の既定のモードです。カメラが別のプリセットに移動したとき、別のカメラが選択されたとき、またはスタンバイがアクティブになったとき、プレゼンタのトラッキングは自動的にOffになります。

診断: プレゼンタのトラッキングのトラブルシューティングを行うため、またはデバイス画面で何が起こっているのかを正確に確認するために、診断モードをOnにします。診断モードでは、画面にいくつかのアクティビティが表示されます。画面に概要画像が表示され、以下にリストされている長方形/正方形が表示されます。

* 赤: トリガー ゾーン。
* 薄い青: プレゼンタのトリミングされた画像です。頭がトラッキングされている場合にのみ表示されます。
* 緑: 頭部が検出され、トラッキングされていることを示します。
* 緑色の点滅 (塗りつぶし): 頭部の正確な検出を示します。追跡対象の人物が有効なヘッド リードを取得できない場合、四角は赤になります。
* 赤色の点滅 (塗りつぶし): 頭部の誤検出を示します。数秒後にトラッキングが停止します。
* 青: ヘッドが検出されましたが、ヘッドはトラッキングされていません。

Background: この設定はコーデックの内部スクリプトによって使用されます。画像のトリミングなしでプレゼンタのトラッキングをOnにします。

セットアップ: この設定は、PresenterTrack 機能をセットアップするときに、デバイス画面にトリガー ゾーンを表示するために、コーデックのウェブ インターフェイスによって使用されます。

Persistent: この設定はコーデックの内部スクリプトによって使用されます。永続モードでのプレゼンタのトラッキングをOnにします。カメラが別のプリセットに移動すると、永続モードは自動的にOffになります。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Cameras PresenterTrack StorePosition

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ、USER

ステージの概要画像用に、プレゼンタのトラッキングカメラの現在の位置を保存します。この機能を有効にすると、プレゼンタのトラッキング カメラはこの位置に移動します。

このコマンドは、プレゼンタのトラッキングのために PTZ 4K または Precision 60 カメラでデバイスを使用する場合にのみ適用されます。

使用方法:

```
xCommand Cameras PresenterTrack StorePosition
```

xCommand Cameras SpeakerTrack Activate

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

[スピーカー トラック] または [ベスト オーバービュー] モードを有効にします。xConfiguration Cameras SpeakerTrack Mode が Auto (デフォルト) に設定されている必要があります。このコマンドは、スピーカー トラッキングをサポートするカメラ付きのデバイスにのみ適用されます。SpeakerTrack は Board および Room シリーズ (Room Kit Mini を除く) でサポートされており、スピーカー トラッキングをサポートするカメラを搭載したデバイスにのみ適用されます。

ベストオーバービューモードは、Room Kit Mini および Desk シリーズでサポートされています。

使用方法:

```
xCommand Cameras SpeakerTrack Activate
```

xCommand Cameras SpeakerTrack Closeup Activate

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama Board BoardPro BoardProG2

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

話者トラッキングの使用時にクローズアップを有効にします。xConfiguration Cameras SpeakerTrack Mode が Auto (デフォルト) に設定されている必要があります。

このコマンドは、スピーカー トラッキングをサポートするカメラ付きのデバイスにのみ適用されます。

使用方法:

```
xCommand Cameras SpeakerTrack Closeup Activate
```

xCommand Cameras SpeakerTrack Closeup Deactivate

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama Board BoardPro BoardProG2

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

スピーカー トラッキング使用時にクローズアップを無効にします。

このコマンドは、スピーカー トラッキングをサポートするカメラ付きのデバイスにのみ適用されます。

使用方法:

```
xCommand Cameras SpeakerTrack Closeup Deactivate
```

xCommand Cameras SpeakerTrack Deactivate

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

SpeakerTrack または Best Overview モードを無効にします。

使用方法:

```
xCommand Cameras SpeakerTrack Deactivate
```

xCommand Cameras SpeakerTrack Calibration Diagnostics Start

適用対象: RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ、USER

ビデオに視覚的な診断オーバーレイを追加します。これは、マルチカメラのセットアップやトラブルシューティングに役立つツールです。他のカメラやマイク (複数カメラ設定の場合) の推定位置などの情報が表示されます。

オーバーレイがメイン カメラのビデオに追加されます。複数カメラ設定で他のカメラでこれを使用したい場合は、メインのビデオソースを一時的に変更する必要があります (ビデオ入力 SetMainVideoSource コマンドを参照)。

オーバーレイは、セルフビューと、遠端に送信されるメイン ビデオの両方に表示されます。Offにするには、Cameras SpeakerTrack Calibration Diagnostics Stop コマンドを使用します。

使用方法:

```
xCommand Cameras SpeakerTrack Calibration Diagnostics Start
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Cameras SpeakerTrack Calibration Diagnostics Stop

適用対象: RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

ビデオからビジュアル診断オーバーレイを削除します。このツールの詳細については、Cameras SpeakerTrack Calibration Diagnostics Start コマンドを参照してください。

使用方法:

```
xCommand Cameras SpeakerTrack Calibration Diagnostics Stop
```

xCommand Cameras SpeakerTrack BackgroundMode Activate

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

発言者トラック/ベスト オーバービュー アルゴリズムをバックグラウンドで開始します。つまり、自分自身や相手側に送信されたビューやビデオを変更する必要はありません。

使用方法:

```
xCommand Cameras SpeakerTrack BackgroundMode Activate [Framing: Framing]
```

値は次のとおりです。

フレーミング:

オン/オフ *[RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2]*

オフ *[Board]*

既定値: On

xCommand Cameras SpeakerTrack BackgroundMode Deactivate

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

バックグラウンドでの発言者トラック/ベスト オーバービュー アルゴリズムの実行を停止し、通常の発言者トラック/ベスト オーバービュー モードに戻ります。

使用方法:

```
xCommand Cameras SpeakerTrack BackgroundMode Deactivate
```

xCommand Cameras SpeakerTrack Diagnostics Start

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

カメラのトラッキングの診断を開始することで、検出されたスピーカー、グループ、フレームを確認できます。

使用方法:

```
xCommand Cameras SpeakerTrack Diagnostics Start [Tracking: Tracking]
```

値は次のとおりです。

トラッキング:

On/Off

On: 両方のカメラの診断を同時に表示します。このモードでは、トラッキングは、SpeakerTrack の標準動作と同じく、会議室で話している人によって決定されます。

Off: 一度に 1 つのカメラの診断を表示します。診断は 15 秒間隔で 1 つのカメラから別のカメラに切り替わり、カメラ関連の診断はアクティブなカメラに対して表示されます。両方のカメラが広角位置に固定されます。一度に 1 台のカメラからのトラッキング診断を表示したい場合は、トラッキングの使用をOffにします。

既定値: On

xCommand カメラ SpeakerTrack 診断停止

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

カメラのトラッキングの診断を停止します。

使用方法:

```
xCommand Cameras SpeakerTrack Diagnostics Stop
```

xCommand カメラ SpeakerTrack フレーム アクティブ化

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama Board BoardPro BoardProG2

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

フレームモードを有効にします。xConfiguration Cameras SpeakerTrack Frames Mode および xConfiguration Cameras SpeakerTrack Mode が Auto (デフォルト) に設定されている必要があります。このコマンドは、スピーカー トラッキングをサポートするカメラ付きのデバイスにのみ適用されます。

使用方法:

```
xCommand Cameras SpeakerTrack Frames Activate
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Cameras SpeakerTrack Frames Deactivate

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama Board BoardPro BoardProG2

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

フレームモードを無効にします。

使用方法:

```
xCommand Cameras SpeakerTrack Frames Deactivate
```

xCommand Cameras SpeakerTrack Set

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ、USER

このコマンドを使用すると、利用可能なさまざまなカメラ モードを選択できます。

使用方法:

```
xCommand Cameras SpeakerTrack Set Behavior: Behavior
```

値は次のとおりです。

動作:

Manual/BestOverview/Frames *[RoomKitMini]*

Manual/BestOverview *[DeskPro DeskMini Desk]*

マニュアル/ベストオーバービュー/クローズアップ/フレーム/グループとスピーカー *[RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 BoardProG2]*

マニュアル/ベストオーバービュー/クローズアップ/フレーム *[RoomKit RoomBar CodecPlus Room55 Room70/Room55D RoomPanorama/Room70Panorama Board BoardPro]*

手動: カメラは手動で制御されます。パン、チルト、ズームの値は、通話を終了するときに変更されません。

ベストオーバービュー: カメラが自動的に調整され、常にフレームの中央に表示されます。デフォルトのフレーミング モードは [ベスト オーバービュー] です。

クローズアップ: カメラは話している人を追います。

現在: コールを離れるとき、フレーミング モードは変更されません。

フレーム: カメラがズームし、人物を個別に、または小さなグループで表示します。

GroupAndSpeaker: リモート参加者には、グループの概要とアクティブなスピーカーのクローズアップの 2 つのビューが同時に表示されます。

xCommand Cameras SpeakerTrack ViewLimits Activate

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama Board BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ

話者トラッキングの制限された最大カメラビューの使用を開始します (Cameras SpeakerTrack ViewLimits StorePosition コマンドを参照してください)。手動カメラコントロールでは、カメラの全範囲が常に利用できます。

使用方法:

```
xCommand Cameras SpeakerTrack ViewLimits Activate
```

xCommand Cameras SpeakerTrack ViewLimits Deactivate

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama Board BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ

話者トラッキングの制限された最大カメラビューの使用を停止します (Cameras SpeakerTrack ViewLimits StorePosition コマンドを参照してください)。代わりに、完全にズームアウトされたカメラ ビューが使用されます。

使用方法:

```
xCommand Cameras SpeakerTrack ViewLimits Deactivate
```

xCommand Cameras SpeakerTrack ViewLimits StorePosition

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama Board BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ

スピーカートラッキングの最大ビュー (会議室の概要) として現在のカメラビューを保存します。このようにして、デフォルトの最大ビューを制限して、会議室の一部を除外できます。制限を設定しない場合、話者トラッキングの最大のビューは完全にズームアウトされたカメラ ビューになります。

使用方法:

```
xCommand Cameras SpeakerTrack ViewLimits StorePosition
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Cameras SpeakerTrack Whiteboard ActivatePosition

適用対象: RoomKit RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

このコマンドはホワイトボードにスナップする機能に属しますが、このソフトウェアバージョンではサポートされていません。

使用方法:

```
xCommand Cameras SpeakerTrack Whiteboard ActivatePosition CameraId: CameraId
[WhiteboardId: WhiteboardId]
```

値は次のとおりです。

CameraId:

整数 (1..1) *[RoomKit RoomBar Room55]*

整数 (1..12) *[RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

ホワイトボード ID:

整数 (1..8)

デフォルト値: 1

xCommand カメラ SpeakerTrack ホワイトボード AlignPosition

適用対象: CodecPlus CodecPro

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

このコマンドはホワイトボードにスナップする機能に属しますが、このソフトウェアバージョンではサポートされていません。

使用方法:

```
xCommand Cameras SpeakerTrack Whiteboard AlignPosition CameraId: CameraId
Distance: Distance
```

値は次のとおりです。

CameraId:

整数 (1..12)

距離:

整数 (300..1500)

xCommand Cameras SpeakerTrack Whiteboard SetDistance

適用対象: RoomKit RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

このコマンドはホワイトボードにスナップする機能に属しますが、このソフトウェアバージョンではサポートされていません。

使用方法:

```
xCommand Cameras SpeakerTrack Whiteboard SetDistance Distance: Distance
[WhiteboardId: WhiteboardId]
```

値は次のとおりです。

距離:

整数 (0..65534)

ホワイトボード ID:

整数 (1..8)

デフォルト値: 1

xCommand Cameras SpeakerTrack Whiteboard StorePosition

適用対象: RoomKit RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

このコマンドはホワイトボードにスナップする機能に属しますが、このソフトウェアバージョンではサポートされていません。

使用方法:

```
xCommand Cameras SpeakerTrack Whiteboard StorePosition CameraId: CameraId
[WhiteboardId: WhiteboardId]
```

値は次のとおりです。

CameraId:

整数 (1..1) *[RoomKit RoomBar Room55]*

整数 (1..12) *[RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

ホワイトボード ID:

整数 (1..8)

デフォルト値: 1

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

電話会議コマンド

xCommand Conference AdmitAll

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

バーチャルロビーで待機しているすべての参加者を通話またはミーティングに入れます。Webex ミーティングの主催者と共同主催者が利用できます。デバイスは、Webex クラウド サービスに登録されているか、デバイス用の Webex Edge にリンクされている必要があります。

承認待ちの参加者は、会議参加者リスト検索コマンド (*r ParticipantListSearchResult Participant [n] Status = "waiting") の結果で「待機中」の状態になります。

使用方法:

```
xCommand Conference AdmitAll [CallId: CallId]
```

値は次のとおりです。

CallId:

整数 (0..65534)

CallId は、アクティブな通話を識別するために使用される一意の番号です。CallId は、ダイヤルまたは Webex 参加コマンドが実行されると返されます。通話中に、xStatus Call を実行して、CallId を確認できます。

xCommand Conference Call AuthenticationResponse

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ、USER

このコマンドは Webex 登録済みデバイスでのみ利用できます。このコマンドは、Conference Call[n] AuthenticationRequest ステータスに基づいて、認証リクエストに応答します。

使用方法:

```
xCommand Conference Call AuthenticationResponse [CallId: CallId]
ParticipantRole: ParticipantRole [Pin: "Pin"]
```

値は次のとおりです。

CallId:

整数 (0..65534)

通話の一意の識別子です。通話中に、xStatus Call コマンドを実行して、CallId を確認できます。

デフォルト値: 0

参加者ロール:

ホスト/パネリスト/ゲスト

Guest: ゲストとして参加します。ゲストに特別な権限はありません。この Webex ウェビナー出席者も使用します。

Host: 主催者として参加します。主催者にはミーティングを管理するための権限があります。

Panelist: パネリストとして参加します。Webex Webinars では、パネリストはプレゼンテーションに参加できます。

Pin:

文字列 (0, 32)

PIN コード。PIN の最後に '#' を付けて入力する必要があります。主催者、パネリスト、またはゲストとして参加する場合、または Conference Call[n] AuthenticationRequest ステータスがその役割に PIN コードが必要であることを示している場合、PIN コードを提供する必要があります。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Conference DoNotDisturb Activate

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ、USER

このコマンドは、着信拒否モードをOnにします。タイムアウトパラメータを使用すると、いつOffに戻すかを制御できます。着信拒否モードがOnになっている場合、すべての着信が拒否され、不在着信として登録されます。発信側はビジー信号を受信します。

使用方法:

```
xCommand Conference DoNotDisturb Activate [Timeout: Timeout]
```

値は次のとおりです。

タイムアウト:

整数 (1..20160)

着信拒否がOffになるまでの時間を分単位で設定します。設定されていない場合、電話会議の着信拒否タイムアウト設定に従って、着信拒否がタイムアウトになります。

xCommand Conference DoNotDisturb Deactivate

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ、USER

着信拒否モードをOffにします。着信拒否モードがOffになっていると、着信は通常通りにつながります。

使用方法:

```
xCommand Conference DoNotDisturb Deactivate
```

xCommand Conference EndMeeting

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

すべての参加者に対し、ミーティングを終了します。

このコマンドは Webex ミーティングの主催者と共同主催者が利用できます。デバイスは、Webex クラウド サービスに登録されているか、デバイス用の Webex Edge にリンクされている必要があります。

使用方法:

```
xCommand Conference EndMeeting [CallId: CallId]
```

値は次のとおりです。

CallId:

整数 (0..65534)

CallId は、アクティブな通話を識別するために使用される一意の番号です。CallId は、ダイヤルまたは Webex 参加コマンドが実行されると返されます。通話中に、xStatus Call を実行して、CallId を確認できます。

xCommand Conference Hand Lower

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

手を下げます。挙手機能を使用して、質問やコメントがあることを主催者に知らせます。挙手は 2 名を超えるミーティングで利用できます。Webex Spaces から開始されたミーティングでは利用できません。

使用方法:

```
xCommand Conference Hand Lower [CallId: CallId]
```

値は次のとおりです。

CallId:

整数 (0..65534)

通話の一意の識別子です。通話中に、xStatus Call コマンドを実行して、CallId を確認できます。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Conference Hand Raise

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

手を挙げます。挙手機能を使用して、質問やコメントがあることを主催者に知らせます。挙手は 2 名を超えるミーティングで利用できます。Webex Spaces から開始されたミーティングでは利用できません。

使用方法:

`xCommand 会議ハンドレイズ [CallId: CallId]`

値は次のとおりです。

CallId:

整数 (0..65534)

通話の一意の識別子です。通話中に、xStatus Call コマンドを実行して、CallId を確認できます。

xCommand Conference HardMute

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

通話またはミーティングの参加者をミュートし、自分でミュート解除できないようにします。

このコマンドは Webex ミーティングの主催者と共同主催者が利用できます。デバイスは、Webex クラウド サービスに登録されているか、デバイス用の Webex Edge にリンクされている必要があります。

使用方法:

`xCommand Conference HardMute [CallId: CallId] HardMute: HardMute`

値は次のとおりです。

CallId:

整数 (0..65534)

CallId は、アクティブな通話を識別するために使用される一意の番号です。CallId は、ダイヤルまたは Webex 参加コマンドが実行されると返されます。通話中に、xStatus Call を実行して、CallId を確認できます。

ハードミュート:

On/Off

Off: 参加者は自分でミュートを解除できます。

On: 参加者は自分でミュートを解除できません。

xCommand 電話会議のロック

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

招待されていない参加者の参加を防ぐことで、Webex ミーティングをロックします。

このコマンドは Webex ミーティングの主催者と共同主催者が利用できます。デバイスは、Webex クラウド サービスに登録されているか、デバイス用の Webex Edge にリンクされている必要があります。

使用方法:

`xCommand Conference Lock CallId: CallId Lock: Lock`

値は次のとおりです。

CallId:

整数 (0..65534)

CallId は、アクティブな通話を識別するために使用される一意の番号です。CallId は、ダイヤルまたは Webex 参加コマンドが実行されると返されます。通話中に、xStatus Call を実行して、CallId を確認できます。

ロック:

On/Off

Off: ミーティングはロックされておらず、全員がミーティングに参加できます。

On: ミーティングがロックされ、ゲストは入室できるまでロビーで待機する必要があります。

xCommand Conference LowerAllHands

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

会議参加者全員の手を下げます。

使用方法:

`xCommand Conference LowerAllHands [CallId: CallId]`

値は次のとおりです。

CallId:

整数 (0..65534)

通話の一意の識別子です。通話中に、xStatus Call コマンドを実行して、CallId を確認できます。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Conference MeetingAssistant Start

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

このバージョンには適用できません。

使用方法:

`xCommand 会議 ミーティングアシスタント 開始 [CallId: CallId]`

値は次のとおりです。

CallId:

整数 (0..65534)

xCommand Conference MeetingAssistant Stop

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

このバージョンには適用できません。

使用方法:

`xCommand Conference MeetingAssistant Stop [CallId: CallId]`

値は次のとおりです。

CallId:

整数 (0..65534)

xCommand Conference MuteAll

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

発言者および現在共有している参加者を除くすべての参加者をミュートにします。

このコマンドは Webex ミーティングの主催者と共同主催者が利用できます。デバイスは、Webex クラウド サービスに登録されているか、デバイス用の Webex Edge にリンクされている必要があります。

使用方法:

`xCommand Conference MuteAll AudioMute: AudioMute [CallId: CallId]`

値は次のとおりです。

音声ミュート:

On/Off

Off: サーバ側でミュート解除が行われますが、ローカルのミュート状態は変更されません。参加者は、xCommand Conference HardMute HardMute: On が発行されていない限り、ローカルで自分をミュート/ミュート解除できます。

On: スピーカーと現在共有している参加者を除くすべての参加者は、サーバ側でミュートにされています。参加者は、xCommand Conference HardMute HardMute: On が発行されていない限り、自分自身をローカルでミュート解除することを妨げられていません。

CallId:

整数 (0..65534)

CallId は、アクティブな通話を識別するために使用される一意の番号です。CallId は、ダイヤルまたは Webex 参加コマンドが実行されると返されます。通話中に、xStatus Call を実行して、CallId を確認できます。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Conference MuteOnEntry

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

参加者がミーティングに参加するときに、すべての参加者をミュートにするかどうかを指定します。自分自身を後でミュート解除したりミュートしたりできます。

このコマンドは Webex ミーティングの主催者と共同主催者が利用できます。デバイスは、Webex クラウド サービスに登録されているか、デバイス用の Webex Edge にリンクされている必要があります。

使用方法:

```
xCommand Conference MuteOnEntry [CallId: CallId] MuteOnEntry: MuteOnEntry
```

値は次のとおりです。

CallId:

整数 (0..65534)

CallId は、アクティブな通話を識別するために使用される一意の番号です。CallId は、ダイヤルまたは Webex 参加コマンドが実行されると返されます。通話中に、xStatus Call を実行して、CallId を確認できます。

MuteOnEntry:

On/Off

Off: ミーティングに参加している参加者はミュートにはなりません。

On: ミーティングに参加している参加者はミュートになります。

xCommand 電話会議参加者の追加

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

通話またはミーティングに参加者を追加します。Conference Call [n] Capabilities ParticipantAdd ステータスが Available の場合にのみ、参加者を追加できます。

このコマンドは、Webex クラウド サービスに登録されているか、デバイスの Webex Edge にリンクされているデバイスでのみ完全にサポートされています。パーソナル モードのデバイスでは利用できません。SIP 通話でこのコマンドを使用することはお勧めできません。

使用方法:

```
xCommand Conference Participant Add [CallId: CallId] [DisplayName:
"DisplayName"] Number: "Number"
```

値は次のとおりです。

CallId:

整数 (2..65534)

通話の一意の識別子です。通話中に、xStatus Call コマンドを実行して、CallId を確認できます。

表示名:

文字列 (0, 255)

通話に追加される参加者の表示名です。

番号:

文字列 (0, 255)

通話に追加される参加者の番号またはビデオアドレスです。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Conference Participant Admit

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

通話またはミーティングに参加を待っている参加者を許可または入室させます。このコマンドは Webex 登録済みデバイスでのみ利用できます。

承認待ちの参加者は、会議参加者リスト検索コマンド (*r ParticipantListSearchResult Participant [n] Status = "waiting") の結果で「待機中」の状態になります。

使用方法:

```
xCommand Conference Participant Admit CallId: CallId ParticipantId:
"ParticipantId"
```

値は次のとおりです。

CallId:

整数 (0..65534)

通話の一意の識別子です。通話中に、xStatus Call コマンドを実行して、CallId を確認できます。

参加者 ID:

文字列 (0, 255)

通話の参加者を表す一意識別子です。通話の参加者の ParticipantId を確認するには、xCommand Conference ParticipantList Search を実行できます。

xCommand Conference Participant Disconnect

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

参加者を通話またはミーティングから切断します。ミーティングの Conference Call[n] Capabilities ParticipantDisconnect ステータスが Available の場合にのみ、参加者との接続を切断できます。

使用方法:

```
xCommand Conference Participant Disconnect CallId: CallId ParticipantId:
"ParticipantId"
```

値は次のとおりです。

CallId:

整数 (0..65534)

通話の一意の識別子です。通話中に、xStatus Call コマンドを実行して、CallId を確認できます。

参加者 ID:

文字列 (0, 255)

通話の参加者を表す一意識別子です。通話の参加者の ParticipantId を確認するには、xCommand Conference ParticipantList Search を実行できます。

xCommand Conference Participant LowerHand

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

会議参加者の手を下げます。

使用方法:

```
xCommand Conference Participant LowerHand CallId: CallId ParticipantId:
"ParticipantId"
```

値は次のとおりです。

CallId:

整数 (0..65534)

通話の一意の識別子です。通話中に、xStatus Call コマンドを実行して、CallId を確認できます。

参加者 ID:

文字列 (0, 255)

通話の参加者を表す一意識別子です。通話の参加者の ParticipantId を確認するには、xCommand Conference ParticipantList Search を実行できます。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Conference Participant MoveToLobby

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ミーティング参加者をロビーに移動します。ロビーで待機している参加者は、共有コンテンツを見たり聞いたりすることはできません。また、ミーティングの参加者と対話することもできません。プレゼンタの役割を持つ参加者以外の任意の参加者が、現在共有していない場合でも、ロビーに移動することができます。

このコマンドは、Webex クラウド サービスに登録されているか、Webex Edge にリンクされているデバイスでのみ利用できます。

使用方法:

```
xCommand Conference Participant MoveToLobby CallId: CallId ParticipantId:
"ParticipantId"
```

値は次のとおりです。

CallId:

整数 (0..65534)

通話の一意の識別子です。通話中に、xStatus Call コマンドを実行して、CallId を確認できます。

参加者 ID:

文字列 (0, 255)

通話の参加者を表す一意識別子です。通話の参加者の ParticipantId を確認するには、xCommand Conference ParticipantList Search を実行できます。

xCommand Conference Participant Mute

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

通話またはミーティングの参加者を消音します。参加者を消音にできるのは、Conference Call[n] Capabilities ParticipantMute ステータスが Available の場合のみです。

使用方法:

```
xCommand Conference Participant Mute AudioMute: AudioMute CallId: CallId
ParticipantId: "ParticipantId"
```

値は次のとおりです。

音声ミュート:

On/Off

参加者の希望のミュート状態を示します。

CallId:

整数 (0..65534)

通話の一意の識別子です。通話中に、xStatus Call コマンドを実行して、CallId を確認できます。

参加者 ID:

文字列 (0, 255)

通話の参加者を表す一意識別子です。通話の参加者の ParticipantId を確認するには、xCommand Conference ParticipantList Search を実行できます。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Conference ParticipantList Search

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

通話の参加者の詳細を返します。結果は、追加のパラメータを指定することでフィルタリングできます。

使用方法:

```
xCommand Conference ParticipantList Search [CallId: CallId] [Limit: Limit] [Offset: Offset] [PartialRosterId: PartialRosterId] [SearchString: "SearchString"]
```

値は次のとおりです。

CallId:

整数 (0..65534)

通話の一意の識別子です。通話中に、xStatus Call を実行して、CallId を確認できます。

デフォルト値: 0

制限:

整数 (0..65534)

結果の参加者数を制限します。たとえば、制限が 10 に設定されている場合、合計検索結果の数が多い場合でも、結果セットには 10 エントリのみが含まれます。

デフォルト値: 1000

Offセット:

整数 (0..65534)

インデックス X から開始するレコードのリストを返します。ここで、X はOffセットです。

たとえば、Offセットが 1 の場合、リストは参加者 2 から開始されます。

デフォルト値: 0

PartialRosterId:

整数 (0..65534)

システム内部使用目的。

デフォルト値: 0

検索文字列:

文字列 (0, 255)

指定された URI または DisplayName を持つ参加者だけに結果を絞り込みます。検索で通話のすべての参加者が返されるようにする場合は、このパラメータを空のままにします。

xCommand Conference PeopleFocus Activate

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

人物フォーカスをアクティブにします。人物フォーカスがアクティブになると、空の背景をトリミングし、画面上の各参加者のスペースを最大化することで、ローカルレイアウトが動的に変更されます。

人物フォーカスは、Webex クラウドサービスに登録されているか、Webex の最適化されたエクスペリエンスが有効になっているデバイス用の Webex Edge にリンクされているデバイスでのみ利用できます。

使用方法:

```
xCommand Conference PeopleFocus Activate
```

xCommand Conference PeopleFocus Deactivate

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

人物フォーカスを非アクティブにします。

人物フォーカスは、Webex クラウドサービスに登録されているか、Webex の最適化されたエクスペリエンスが有効になっているデバイス用の Webex Edge にリンクされているデバイスでのみ利用できます。

使用方法:

```
xCommand Conference PeopleFocus Deactivate
```

xCommand Conference Reaction Disable

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

Webex ミーティング中に参加者が絵文字で反応できないようにします。

このコマンドは Webex ミーティングの主催者と共同主催者が利用できます。デバイスは、Webex クラウド サービスに登録されているか、デバイス用の Webex Edge にリンクされている必要があります。

使用方法:

```
xCommand Conference Reaction Disable [CallId: CallId]
```

値は次のとおりです。

CallId:

整数 (0..65534)

CallId は、アクティブな通話を識別するために使用される一意の番号です。CallId は、ダイヤルまたは Webex 参加コマンドが実行されると返されます。通話中に、xStatus Call を実行して、CallId を確認できます。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Conference Reaction Enable

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

Webex ミーティング中に参加者が絵文字でリアクションできるようになります。

このコマンドは Webex ミーティングの主催者と共同主催者が利用できます。デバイスは、Webex クラウド サービスに登録されているか、デバイス用の Webex Edge にリンクされている必要があります。

使用方法:

```
xCommand Conference Reaction Enable [CallId: CallId]
```

値は次のとおりです。

CallId:

整数 (0..65534)

CallId は、アクティブな通話を識別するために使用される一意の番号です。CallId は、ダイヤルまたは Webex 参加コマンドが実行されると返されます。通話中に、xStatus Call を実行して、CallId を確認できます。

xCommand Conference Reaction Send

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

Webex ミーティング中にリアクション (絵文字) を送信します。

デバイスは、Webex クラウド サービスに登録されているか、デバイス用の Webex Edge にリンクされている必要があります。

使用方法:

```
xCommand Conference Reaction Send [CallId: CallId] ReactionType: ReactionType
```

値は次のとおりです。

CallId:

整数 (0..65534)

CallId は、アクティブな通話を識別するために使用される一意の番号です。CallId は、ダイヤルまたは Webex 参加コマンドが実行されると返されます。通話中に、xStatus Call を実行して、CallId を確認できます。

ReactionType:

Smile/Sad/Wow/Haha/Celebrate/Clap/ThumbUp/ThumbDown/Fire/Prayer/Heart/SpeedUp/SlowDown

送信する絵文字の種類を選択します。

xCommand Conference Recording Pause

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ミーティングの録画を一時停止するかどうかを定義します。ミーティングの録画時に、録画を一時停止したい場合は、この設定を使用できます。Conference Recording Resume コマンドを使用して、録画を再開できます。

使用方法:

```
xCommand Conference Recording Pause [CallId: CallId]
```

値は次のとおりです。

CallId:

整数 (0..65534)

リモート参加者の CallId を特定します。

xCommand Conference Recording Resume

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ミーティングの録画を再開するかどうかを設定します。ミーティングの録画時に、以前に一時停止した録画を再開したい場合は、この設定を使用できます。

使用方法:

```
xCommand Conference Recording Resume [CallId: CallId]
```

値は次のとおりです。

CallId:

整数 (0..65534)

リモート参加者の CallId を特定します。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Conference Recording Start

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ミーティングを録画するかどうかを設定します。ミーティングへの参加後、録画を開始する場合はこの設定を使用できます。録画コマンドは、インフラストラクチャ (Cisco ミーティングサーバ) が録画をサポートしている場合にのみ利用できます。

使用方法:

```
xCommand Conference Recording Start [CallId: CallId]
```

値は次のとおりです。

CallId:

整数 (0..65534)

リモート参加者の CallId を特定します。

xCommand Conference Recording Stop

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ミーティングの録画を停止するかどうかを設定します。ミーティングの録音時に、この設定を使用して録音を停止できます。

使用方法:

```
xCommand Conference Recording Stop [CallId: CallId]
```

値は次のとおりです。

CallId:

整数 (0..65534)

リモート参加者の CallId を特定します。

xCommand Conference SendEmailInvitation

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ、USER

ミーティングプラットフォーム (バックエンド) に要求を送信し、アドレスパラメータで指定されたアドレスにミーティング招待状をメールで転送します。ミーティングプラットフォームがコンテンツを決定し、メールを送信します。デバイスではありません。

このコマンドへの正常な応答は、バックエンドがデバイスからのリクエストを受信し、理解したことを意味します。デバイスは、電子メールが正常に送信または受信されたかどうかのフィードバックを受け取りません。

このコマンドは、Webex クラウド サービスに登録されている、または Webex の最適化されたエクスペリエンスが有効になっているデバイスの Webex Edge にリンクされているデバイスにのみ適用されます。

使用方法:

```
xCommand Conference SendEmailInvitation [Address: Address] [CallId: CallId]
```

値は次のとおりです。

Address:

文字列配列 (1, 128 [10])

受信者のメールアドレスです。最大 10 個のアドレスパラメータ、それぞれ 1 つのメールアドレスを追加できます。

CallId:

整数 (0..65534)

通話の一意の識別子です。通話中に、xStatus Call を実行して、CallId を確認できます。

xCommand Conference SkinTone

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

今後送信される絵文字に使用されるスキントーンを選択します。親指を立て、拍手などのハンドジェスチャを使用するリアクションには、スキントーンが使用できます。パーソナル モードのデバイスでは、次の通話までスキン トーンが維持されます。共有モード デバイスの場合、通話が終了するとリセットされます。

デバイスは、Webex クラウド サービスに登録されているか、デバイス用の Webex Edge にリンクされている必要があります。

使用方法:

```
xCommand Conference SkinTone SkinTone: SkinTone
```

値は次のとおりです。

スキントーン:

整数 (0..65534)

1 はニュートラル (黄)、2 は最も明るい肌色、6 は最も暗い肌色です。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Conference Participant TransferRole

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ミーティング参加者には、主催者、共同主催者、ゲスト、プレゼンタ、
パネリストなど、ミーティングでのロールが割り当てられます。自分が主催者または共同主催者である場合、通話またはミーティングの他の参加者のロールを
転送できます。
このコマンドは、Webex クラウドサービスに登録されている、または
エクスペリエンスの最適化が有効になっているデバイス用 Webex Edge にリンクされているデバイスでのみサポートされています。

使用方法:

```
xCommand Conference Participant TransferRole CallId: CallId ParticipantId:
"ParticipantId" ParticipantRole: ParticipantRole State: State
```

値は次のとおりです。

CallId:

整数 (0..65534)

通話の一意の識別子です。通話中に、xStatus Call コマンドを実行して、
CallId を確認できます。

参加者 ID:

文字列 (0, 255)

通話の参加者を表す一意識別子です。通話中に参加者の ParticipantIds を確認するには、
xCommand Conference ParticipantList Search を実行できます。

参加者ロール:

ホスト/パネリスト/ゲスト/共同ホスト/プレゼンター

ParticipantId パラメータで識別される参加者に割り当てたい新しいロール、
または参加者から取り消したいロール。State パラメータを参照してください。

状態:

False/True

True: 指定された参加者ロールを選択した参加者に割り当てます。False: 選択された参加者から与えられた参加者ロールを取り消します。

xCommand Conference SimultaneousInterpretation SelectLanguage

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

同時通訳により、Webex ミーティングの参加者は、好みの言語でミーティングを聞くことができます。使用可能な言語は、ミーティングの主催者が指定し、ミーティングのセットアップ時に選択されます。言語名と言語コードは、Webex ミーティング バックエンドからミーティング参加者にミーティング関連情報を転送するために使用されるデータ オブジェクト (DTO) に渡されます。

使用方法:

```
xCommand Conference SimultaneousInterpretation SelectLanguage [CallId:
CallId] [LanguageCode: LanguageCode] [StreamId: StreamId]
```

値は次のとおりです。

CallId:

整数 (0..65534)

通話の一意の識別子です。通話中に、xStatus Call コマンドを実行して、CallId を確認できます。

言語コード:

整数 (0..65534)

デバイスで再生する言語のコードを選択します。使用可能な言語名と言語コードは、Conference Call[n] SimultaneousInterpretation Languages[n] LanguageCode と Language Name のステータスで確認できます。

ストリーム ID:

整数 (1..1) *[RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus Room55 Room70/Room55D DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro BoardProG2]*

整数 (1..4) *[CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Conference SimultaneousInterpretation SetMixer

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

同時通訳を使用している場合に、元の言語とは別の言語を再生する場合、元の言語をミックスして、元のプレゼンタの声をバックグラウンドで聞くことができます。

使用方法:

```
xCommand Conference SimultaneousInterpretation SetMixer [CallId: CallId]
Level: Level
```

値は次のとおりです。

CallId:

整数 (0..65534)

通話の一意の識別子です。通話中に、xStatus Call コマンドを実行して、CallId を確認できます。

Level:

整数 (0..100)

ミックスに追加する通訳者言語の量 (%) を選択します。0 は選択した言語のみが聞こえることを意味し、100 は選択した通訳者の言語のみが聞こえることを意味し、80 は組み合わせの中に 80% の通訳者の言語と 20% の元の言語があることを意味します。

xCommand Conference SpeakerLock Release

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

xCommand Conference SpeakerLock Set でロックされたスピーカーセットを解除します。デフォルトの音声切り替えが再度Onにされました。

使用方法:

```
xCommand Conference SpeakerLock Release
```

xCommand Conference SpeakerLock Set

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

スピーカーの 1 つを主要なスピーカーの位置に手動でロックします。これにより、デフォルトの音声切り替えが上書きされます。

使用方法:

```
xCommand Conference SpeakerLock Set [CallId: CallId] Target: Target
```

値は次のとおりです。

CallId:

整数 (0..65534)

リモート参加者の CallId を特定します。ターゲットが「リモート」に設定されている場合にのみ関連します。

デフォルト値: 0

ターゲット:

ローカル/リモート

ローカルまたはリモートの参加者を識別します。

xCommand Conference TransferHostAndLeave

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

自分が主催しているミーティングから退席するが、他の参加者がミーティングを継続することを許可する。新しい主催者が自動的に割り当てられる

使用方法:

```
xCommand Conference TransferHostAndLeave [CallId: CallId]
```

値は次のとおりです。

CallId:

整数 (0..65534)

通話の一意の識別子です。通話中に、xStatus Call コマンドを実行して、CallId を確認できます。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

診断コマンド

xCommand Diagnostics Run

適用対象: すべての製品

必要なユーザロール: ADMIN、TOUCHUSER

デバイスは、定期的に、1 分間に数回、自己診断コマンドを実行します。Diagnaostics Start コマンドを発行することで、手動で自己診断の再実行をすぐに開始させることができます。

使用方法:

```
xCommand Diagnostics Run [ResultSet: ResultSet]
```

値は次のとおりです。

結果セット:

警告/すべて/なし

診断結果をフィルタリングして、アラート、すべて、またはなしにすることができます。設定されていない場合、結果にはすべての結果が表示されます。

既定値: 警告

ダイヤルコマンド

xCommand Dial

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ、USER

デバイスからダイヤルアウトします。他の一部のコマンドに必要な CallId および ConferenceId に関する情報を返します。

使用方法:

```
xCommand Dial [Appearance: 外観] [BookingId: "BookingId"] [CallRate: 通話レート]
[CallType: 通話タイプ] [DisplayName: "表示名"] Number: "番号" [Protocol: プロトコル]
[TrackingData: "追跡データ"]
```

値は次のとおりです。

Appearance:

整数 (1..999999999)

Cisco 内部使用のみ。

BookingId:

文字列 (0, 255)

外部の予約システム (例えば、TMS または CTS-MAN) が、発信したコールをミーティングの予約システムの内部識別子と照合するために、独自の参照に使用できる任意の識別子。GUID など、任意の文字列を使用できます。ブッキング ID は、通話の通話ログ、通話イベントなどで提供されます。

CallRate:

整数 (64..6000) *[RoomKit RoomKitMini CodecPlus Room55 Room70/Room55D]*

整数 (64..20000) *[RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2]*

整数 (64..10000) *[Board]*

コールレート (kbps) を設定します。コールレートが含まれていない場合、Conference DefaultCall Rate または Conference DefaultCall Webex Rate 設定で定義されたレートが使用されます。コールレートは常に、Conference MaxReceiveCallRate、Conference MaxTransmitCallRate、Conference MaxMultisiteReceiveRate、Conference MaxMultiSiteTransmitRate の設定のうち、このコールまたは電話会議に適用される値によって制限されます。

CallType:

自動/オーディオ/ビデオ

通話タイプ (音声またはビデオ) を選択します。Auto を選択すると、デバイスはコールタイプを自動的に決定します。

表示名:

文字列 (0, 255)

リモート参加者の表示名です。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

番号:

文字列 (0, 255)

番号またはビデオアドレスを入力します。

プロトコル:

H323/Sip/Spark

リストから通話プロトコルを選択します。

Spark は Webex インフラストラクチャ経由の通話に使用されます。

トラッキングデータ:

文字列 (0, 255)

通話履歴に保存されるタグまたはラベル。

GPIO コマンド

xCommand GPIO ManualState Set

適用対象: CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

OutputManualState モードに設定された GPIO ピンの状態を設定します (xConfiguration GPIO Pin [1..4] Mode を参照)。

使用方法:

```
xCommand GPIO ManualState Set [Pin1: Pin1] [Pin2: Pin2] [Pin3: Pin3] [Pin4: Pin4]
```

値は次のとおりです。

PIN1:

高/低

PIN2:

高/低

PIN3:

高/低

Pin4:

高/低

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

HttpClient コマンド

xCommand HttpClient Allow Hostname Add

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

許可されたサーバー (ホスト) のリストに HTTP(S) サーバーを追加します。

HttpClient Allow Hostname コマンドを使えば、最大 10 名の許可されたホストのリストをセットアップし、管理することができます。リストが空でない限り、リスト内のサーバーにのみHTTP (S) 要求を送信できます。リストに対するチェックは、セキュアではない (HTTP) およびセキュア (HTTPS) のデータ転送を使用する場合の両方で実行されます。

使用方法:

```
xCommand HttpClient Allow Hostname Add Expression: "Expression"
```

値は次のとおりです。

式:

文字列 (2, 200)
HTTP(S) サーバーのホスト名または IP アドレスに一致する規則的な式。

xCommand HttpClient Allow Hostname Clear

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

許可されたサーバー (ホスト) のリストからすべての HTTP(S) サーバーを削除し、リストを空にします。

使用方法:

```
xCommand HttpClient Allow Hostname Clear
```

xCommand HttpClient Allow Hostname List

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

許可された HTTP(S) サーバー (ホスト) のリストを返します。

HttpClient Allow Hostname コマンドを使えば、最大 10 名の許可されたホストのリストをセットアップし、管理することができます。リストが空でない限り、リスト内のサーバーにのみHTTP (S) 要求を送信できます。リストに対するチェックは、セキュアではない (HTTP) およびセキュア (HTTPS) のデータ転送を使用する場合の両方で実行されます。

使用方法:

```
xCommand HttpClient Allow Hostname List
```

xCommand HttpClient Allow Hostname Remove

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

許可されたサーバー (ホスト) のリストから HTTP(S) サーバーを削除します。HttpClient Allow Hostname List コマンドを使ってリスト中の各エントリの識別子を確認します。

使用方法:

```
xCommand HttpClient Allow Hostname Remove Id: Id
```

値は次のとおりです。

ID:

整数 (0..9)
リストから削除したい HTTP(S) サーバーの識別子。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand HttpClient Delete

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

Url パラメータで指定されたサーバーに HTTP(S) Delete 要求を送信します。AllowInsecureHTTPS パラメータを使用して、HTTPS 経由でデータを送信する前にサーバーの証明書を検証するかどうかを指定できます。xConfiguration HttpClient AllowInsecureHTTPS が On に設定されていない限り、このパラメータは効果がありません。このコマンドは、サーバから返されたデータ (HTTP ヘッダーと本文) と共に HTTP ステータス コードを返します。

クラウド API を使用している場合、これは利用できません。

使用方法:

```
xCommand HttpClient Delete [AllowInsecureHTTPS: AllowInsecureHTTPS] [Header:
Header] [ResponseSizeLimit: ResponseSizeLimit] [ResultBody: ResultBody]
[Timeout: Timeout] Url: "Url"
```

値は次のとおりです。

AllowInsecureHTTPS:

False/True

True に設定すると、デバイスは証明書の検証プロセスをスキップし、サーバーにデータを送信します。False に設定すると、サーバ証明書が確認され、証明書の検証が失敗した場合、データはサーバーに送信されません。

デフォルト値: False

ヘッダー:

文字列配列 (0, 3072 [20])

HTTP ヘッダー フィールド。1 つのコマンドに最大で 15 個のヘッダーパラメータを追加でき、それぞれが 1 つの HTTP ヘッダーフィールドを保持します。

応答サイズの制限:

整数 (1..1048576)

このリクエストに対するレスポンスの最大ペイロードサイズ (バイト) です。レスポンスのペイロードがこの最大サイズより大きい場合、コマンドはエラー ステータスを返し、最大ファイルサイズを超過していることを示すメッセージを返します。ただし、このエラーはサーバー側への影響はなく、サーバーは要求を受信し、適切に処理します。

デフォルト値: 1048576

結果のボディ:

なし/プレーンテキスト/Base64

なし: HTTP 応答の本文 (ある場合) はコマンドの結果に含まれません。

PlainText: HTTP 応答の本文はプレーンテキストとしてコマンドの結果に含まれます。応答に印字不可能な文字が含まれている場合、コマンドはステータスエラーを返し、印刷できないデータが検出された、というメッセージを返します。

Base64: HTTP 応答の本文は、コマンドの結果に含まれる前に Base64 エンコードされます。

既定値: なし

タイムアウト:

整数 (1..30)

秒単位のタイムアウト期間。この期間中にリクエストが完了しなかった場合、API はエラーを返します。

デフォルト値: 30

URL:

文字列 (8, 2048)

リクエストが送信される URL: <Protocol> + <Host name or IP address of an HTTP(S) server> + <Path>。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand HttpClient Get

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

Url パラメータで指定されたサーバーに HTTP(S) Get 要求を送信します。AllowInsecureHTTPS パラメータを使用して、HTTPS 経由でデータを送信する前にサーバーの証明書を検証するかどうかを指定できます。xConfiguration HttpClient AllowInsecureHTTPS が On に設定されていない限り、このパラメータは効果がありません。このコマンドは、サーバから返されたデータ (HTTP ヘッダーと本文) と共に HTTP ステータス コードを返します。

クラウド API を使用している場合、これは利用できません。

使用方法:

```
xCommand HttpClient Get [AllowInsecureHTTPS: AllowInsecureHTTPS] [Header:
Header] [ResponseSizeLimit: ResponseSizeLimit] [ResultBody: ResultBody]
[Timeout: Timeout] Url: "Url"
```

値は次のとおりです。

AllowInsecureHTTPS:

False/True

True に設定すると、デバイスは証明書の検証プロセスをスキップし、サーバーにデータを送信します。False に設定すると、サーバ証明書が確認され、証明書の検証が失敗した場合、データはサーバーに送信されません。

デフォルト値: False

ヘッダー:

文字列配列 (0, 3072 [20])

HTTP ヘッダー フィールド。1 つのコマンドに最大で 15 個のヘッダーパラメータを追加でき、それぞれが 1 つの HTTP ヘッダーフィールドを保持します。

応答サイズの制限:

整数 (1..1048576)

このリクエストに対するレスポンスの最大ペイロードサイズ (バイト) です。レスポンスのペイロードがこの最大サイズより大きい場合、コマンドはエラー ステータスを返し、最大ファイルサイズを超過していることを示すメッセージを返します。ただし、このエラーはサーバー側への影響はなく、サーバーは要求を受信し、適切に処理します。

デフォルト値: 1048576

結果のボディ:

なし/プレーンテキスト/Base64

なし: HTTP 応答の本文 (ある場合) はコマンドの結果に含まれません。

PlainText: HTTP 応答の本文はプレーンテキストとしてコマンドの結果に含まれます。応答に印字不可能な文字が含まれている場合、コマンドはステータスエラーを返し、印刷できないデータが検出された、というメッセージを返します。

Base64: HTTP 応答の本文は、コマンドの結果に含まれる前に Base64 エンコードされます。

デフォルト値: プレーンテキスト

タイムアウト:

整数 (1..30)

秒単位のタイムアウト期間。この期間中にリクエストが完了しなかった場合、API はエラーを返します。

デフォルト値: 30

URL:

文字列 (8, 2048)

リクエストが送信される URL: <Protocol> + <Host name or IP address of an HTTP(S) server> + <Path>。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand HttpClient Patch

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

Url パラメータで指定されたサーバーに HTTP(S) Patch 要求を送信します。これは複数行のコマンドのため、ペイロード (データ) はパラメータの後に続きます。AllowInsecureHTTPS パラメータを使用して、HTTPS 経由でデータを送信する前にサーバーの証明書を検証するかどうかを指定できます。xConfiguration HttpClient AllowInsecureHTTPS が On に設定されていない限り、このパラメータは効果がありません。このコマンドは、サーバから返されたデータ (HTTP ヘッダーと本文) と共に HTTP ステータス コードを返します。

クラウド API を使用している場合、これは利用できません。

使用方法:

```
xCommand HttpClient パッチ [AllowInsecureHTTPS: AllowInsecureHTTPS] [Header:
Header] [ResponseSizeLimit: ResponseSizeLimit] [ResultBody: ResultBody]
[Timeout: Timeout] Url: "Url"
```

値は次のとおりです。

AllowInsecureHTTPS:

False/True

True に設定すると、デバイスは証明書の検証プロセスをスキップし、サーバーにデータを送信します。False に設定すると、サーバ証明書が確認され、証明書の検証が失敗した場合、データはサーバーに送信されません。

デフォルト値: False

ヘッダー:

文字列配列 (0, 3072 [20])

HTTP ヘッダー フィールド。1 つのコマンドに最大で 15 個のヘッダーパラメータを追加でき、それぞれが 1 つの HTTP ヘッダーフィールドを保持します。

応答サイズの制限:

整数 (1..1048576)

このリクエストに対するレスポンスの最大ペイロードサイズ (バイト) です。レスポンスのペイロードがこの最大サイズより大きい場合、コマンドはエラー ステータスを返し、最大ファイルサイズを超過していることを示すメッセージを返します。ただし、このエラーはサーバー側への影響はなく、サーバーは要求を受信し、適切に処理します。

デフォルト値: 1048576

結果のボディ:

なし/プレーンテキスト/Base64

なし: HTTP 応答の本文 (ある場合) はコマンドの結果に含まれません。

PlainText: HTTP 応答の本文はプレーンテキストとしてコマンドの結果に含まれます。応答に印字不可能な文字が含まれている場合、コマンドはステータスエラーを返し、印刷できないデータが検出された、というメッセージを返します。

Base64: HTTP 応答の本文は、コマンドの結果に含まれる前に Base64 エンコードされます。

既定値: なし

タイムアウト:

整数 (1..30)

秒単位のタイムアウト期間。この期間中にリクエストが完了しなかった場合、API はエラーを返します。

デフォルト値: 30

URL:

文字列 (8, 2048)

リクエストが送信される URL: <Protocol> + <Host name or IP address of an HTTP(S) server> + <Path>。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand HttpClient POST

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

Url パラメータで指定されたサーバーに HTTP(S) Post 要求を送信します。

AllowInsecureHTTPS パラメータを使用して、HTTPS 経由でデータを送信する前にサーバーの証明書を検証するかどうかを指定できます。xConfiguration HttpClient AllowInsecureHTTPS が On に設定されていない限り、このパラメータは効果がありません。

これは複数行のコマンドのため、ペイロード (データ) はパラメータの後に続きます。

クラウド API を使用している場合、これは利用できません。

使用方法:

```
xCommand HttpClient Post [AllowInsecureHTTPS: AllowInsecureHTTPS] [Header:
Header] [ResponseSizeLimit: ResponseSizeLimit] [ResultBody: ResultBody]
[Timeout: Timeout] Url: "Url"
```

値は次のとおりです。

AllowInsecureHTTPS:

False/True

True に設定すると、デバイスは証明書の検証プロセスをスキップし、サーバーにデータを送信します。False に設定すると、サーバ証明書が確認され、証明書の検証が失敗した場合、データはサーバーに送信されません。

デフォルト値: False

ヘッダー:

文字列配列 (0, 3072 [20])

HTTP ヘッダー フィールド。1 つのコマンドに最大で 15 個のヘッダーパラメータを追加でき、それぞれが 1 つの HTTP ヘッダーフィールドを保持します。

応答サイズの制限:

整数 (1..1048576)

このリクエストに対するレスポンスの最大ペイロードサイズ (バイト) です。レスポンスのペイロードがこの最大サイズより大きい場合、コマンドはエラー ステータスを返し、最大ファイルサイズを超過していることを示すメッセージを返します。ただし、このエラーはサーバー側への影響はなく、サーバーは要求を受信し、適切に処理します。

デフォルト値: 1048576

結果のボディ:

なし/プレーンテキスト/Base64

なし: HTTP 応答の本文 (ある場合) はコマンドの結果に含まれません。

PlainText: HTTP 応答の本文はプレーンテキストとしてコマンドの結果に含まれます。応答に印字不可能な文字が含まれている場合、コマンドはステータスエラーを返し、印刷できないデータが検出された、というメッセージを返します。

Base64: HTTP 応答の本文は、コマンドの結果に含まれる前に Base64 エンコードされます。

既定値: なし

タイムアウト:

整数 (1..30)

秒単位のタイムアウト期間。この期間中にリクエストが完了しなかった場合、API はエラーを返します。

デフォルト値: 30

URL:

文字列 (8, 2048)

リクエストが送信される URL: <Protocol> + <Host name or IP address of an HTTP(S) server> + <Path>。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand HttpClient Put

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

Url パラメータで指定されたサーバーに HTTP(S) Put 要求を送信します。

AllowInsecureHTTPS パラメータを使用して、HTTPS 経由でデータを送信する前にサーバーの証明書を検証するかどうかを指定できます。xConfiguration HttpClient AllowInsecureHTTPS が On に設定されていない限り、このパラメータは効果がありません。

これは複数行のコマンドのため、ペイロード (データ) はパラメータの後に続きます。

クラウド API を使用している場合、これは利用できません。

使用方法:

```
xCommand HttpClient Put [AllowInsecureHTTPS: AllowInsecureHTTPS] [Header:
Header] [ResponseSizeLimit: ResponseSizeLimit] [ResultBody: ResultBody]
[Timeout: Timeout] Url: "Url"
```

値は次のとおりです。

AllowInsecureHTTPS:

False/True

True に設定すると、デバイスは証明書の検証プロセスをスキップし、サーバーにデータを送信します。False に設定すると、サーバ証明書が確認され、証明書の検証が失敗した場合、データはサーバーに送信されません。

デフォルト値: False

ヘッダー:

文字列配列 (0, 3072 [20])

HTTP ヘッダー フィールド。1 つのコマンドに最大で 15 個のヘッダーパラメータを追加でき、それぞれが 1 つの HTTP ヘッダーフィールドを保持します。

応答サイズの制限:

整数 (1..1048576)

このリクエストに対するレスポンスの最大ペイロードサイズ (バイト) です。レスポンスのペイロードがこの最大サイズより大きい場合、コマンドはエラー ステータスを返し、最大ファイルサイズを超過していることを示すメッセージを返します。ただし、このエラーはサーバー側への影響はなく、サーバーは要求を受信し、適切に処理します。

デフォルト値: 1048576

結果のボディ:

なし/プレーンテキスト/Base64

なし: HTTP 応答の本文 (ある場合) はコマンドの結果に含まれません。

PlainText: HTTP 応答の本文はプレーンテキストとしてコマンドの結果に含まれます。応答に印字不可能な文字が含まれている場合、コマンドはステータスエラーを返し、印刷できないデータが検出された、というメッセージを返します。

Base64: HTTP 応答の本文は、コマンドの結果に含まれる前に Base64 エンコードされます。

既定値: なし

タイムアウト:

整数 (1..30)

秒単位のタイムアウト期間。この期間中にリクエストが完了しなかった場合、API はエラーを返します。

デフォルト値: 30

URL:

文字列 (8, 2048)

リクエストが送信される URL: <Protocol> + <Host name or IP address of an HTTP(S) server> + <Path>。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

HttpFeedback コマンド

xCommand HttpFeedback Deregister

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール : 管理者

HTTP(S) 経由で HTTP フィードバックを登録解除します。

使用方法:

```
xCommand HttpFeedback Deregister FeedbackSlot: FeedbackSlot
```

値は次のとおりです。

フィードバックスロット:

整数 (1..4)

xCommand HttpFeedback Register コマンドを使用して、登録されたフィードバックスロットの登録を解除します。

xCommand HttpFeedback Enable

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール : 管理者

以前に登録したフィードバックスロットが失敗して非アクティブになった後に、再度有効にします。

使用方法:

```
xCommand HttpFeedback Enable FeedbackSlot: FeedbackSlot
```

値は次のとおりです。

フィードバックスロット:

整数 (1..4)

有効にするフィードバックスロットを指定します。

xCommand HttpFeedback Register

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール : 管理者

デバイスを HTTP(S) サーバーに登録して、HTTP(S) 経由で特定の URL に XML フィードバックを返します。

使用方法:

```
xCommand HttpFeedback Register [式: 式] FeedbackSlot: FeedbackSlot [形式: 形式]
ServerUrl: "ServerUrl"
```

値は次のとおりです。

式:

文字列配列 (1, 255 [50])

XPath 式は、ステータス、設定、またはイベント XML ドキュメントのどの部分を監視するかを指定します。同じコマンドで 0 から 15 個の XPath 式を使用することができます。

フィードバックスロット:

整数 (1..4)

コーデックは HTTP フィードバックを要求するサーバーの 4 スロットまでを登録できます。それらの一つに登録を設定します。

注: Cisco TelePresence Management Suite (TMS) が使用されている環境でのフィードバックスロット 3 の使用は避けてください。TMS はこのフィードバックスロットを使って式を登録するためです。

形式:

XML/JSON

HTTP サーバからのフィードバックの形式を XML または JSON に設定します。

既定値: XML

サーバ URL:

文字列 (1, 2048)

コーデックが HTTP フィードバック メッセージを送信する先の HTTP サーバーの URL です。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

ロギング コマンド

xCommand Logging AddEvent

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デバイスのログファイルにカスタムメッセージを追加します。

使用方法:

```
xCommand Logging AddEvent Text: "Text" Type: Type
```

値は次のとおりです。

テキスト:

文字列 (0, 256)

ログファイルに追加されるテキストです。

タイプ:

情報/警告/エラー

メッセージのタイプ (エラー、情報、または警告)。

xCommand Logging ExtendedLogging Start

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

指定した期間、継続的な拡張ログの実行を開始します。

使用方法:

```
xCommand Logging ExtendedLogging Start [Duration: Duration] [PacketDump:
PacketDump] [PacketDumpRotateSize: PacketDumpRotateSize] [RenderingDump:
RenderingDump]
```

値は次のとおりです。

継続時間:

整数 (1..600)

拡張ロギングを実行する時間の長さ (秒)を指定します。

パケットダンプ:

Full/FullRotate/Limited/None

パケットデータのログを有効または無効にします。これらは別の .pcap ファイルに保存されます。

フル: すべてのデータを 3 分間ログします。

FullRotate: 1 時間のすべてのデータをログ記録しますが、PacketDumpRotateSize で指定されたサイズ制限があります。

制限付き: 制限されたデータセットをログに記録します。これには、メディアファイルが送信される RTP ポート範囲からのデータは含まれません。

なし: パケットデータをログしません。

既定値: なし

PacketDumpRotateSize:

標準/大

パケットダンプログファイルのローテーションサイズを指定します。ファイルがこのサイズに達すると、ファイルは閉じられ、新しいファイルでログが継続されます。最新の 2 個のログ ファイルより古いファイルは削除されます。PacketDumpRotateSize は FullRotate と一緒にのみ指定することができ、デフォルトで Normal になります。

大: 大きなファイルサイズ (150 MB) を有効にします。

標準: 標準のファイルサイズ (12 MB) を有効にします。

レンダリングのダンプ:

Limited/None

制限付きレンダリング ダンプを有効または無効にします。レンダリングダンプには、画面にレンダリングを引き起こす変更が含まれます。

出力は osd.log に書き込まれ、UI のどの要素がレンダリングの原因となったかを示す形式になっています。1 秒単位で書き込まれます。

Limited: レンダリングのダンプ出力を有効にします。

なし: レンダリングダンプログは更新されません。

既定値: なし

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Logging ExtendedLogging Stop

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

拡張ロギング プロセスの実行を停止します。

使用方法:

```
xCommand Logging ExtendedLogging Stop [RemovePacketDump: RemovePacketDump]
[RemoveRenderingDump: RemoveRenderingDump]
```

値は次のとおりです。

RemovePacketDump:

False/True

パケットダンプログファイルを削除するか保持するかを入力します。

True: パケットダンプログファイルを自動的に削除します。

False: パケットダンプログファイルを削除しません。

デフォルト値: False

RemoveRenderingDump:

False/True

レンダリング ダンプ ログ ファイルを削除するか保持するかを入力します。

True: レンダリング ダンプ ログ ファイルを自動的に削除します。

False: レンダリング ダンプ ログ ファイルを削除しません。

デフォルト値: False

xCommand Logging SendLogs

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ログを Webex クラウドに送信します。これらのログは、デバイスの問題を診断し、修正するのに役立ちます。

このコマンドはログ ID を返します。管理者または TAC エンジニアは、この ID を使用してログを識別し、ダウンロードできます。

コマンドが機能するには、デバイスが Webex クラウド サービスに登録されているか、またはOnプレミス サービスに登録されており、デバイス用の Webex Edge にリンクされている必要があります。

さらに、デバイス用 Webex Edge にリンクされているデバイスでは、xConfiguration Logging CloudUpload Mode を On に設定する必要があります。

使用方法:

```
xCommand Logging SendLogs
```

Macros コマンド

xCommand Macros Log Clear

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール : 管理者

マクロ ログを消去します。

使用方法:

```
xCommand Macros Log Clear
```

xCommand Macros Log Get

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール : 管理者

実行中のすべてのマクロとランタイム自体のログを表示します。

使用方法:

```
xCommand Macros Log Get [Offset: Offset]
```

値は次のとおりです。

Offセット:

整数 (0..65534)

指定されたOffセットと同等またはそれ以上のOffセットを持つ行を表示します。

デフォルト値: 0

xCommand Macros Macro Activate

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール : 管理者

このデバイスで作成されたマクロを有効にします。

使用方法:

```
xCommand Macros Macro Activate Name: "Name"
```

値は次のとおりです。

名前:

文字列 (0, 250)

アクティブにするマクロの名前を指定します。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Macros Macro Deactivate

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール : 管理者

この端末で実行中のマクロを無効にします。

使用方法:

```
xCommand Macros Macro Deactivate Name: "Name"
```

値は次のとおりです。

名前:

文字列 (0, 250)
無効にするマクロの名前です。

xCommand Macros Macro Get

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール : 管理者

このデバイスで作成されたマクロの詳細を表示します。

使用方法:

```
xCommand Macros Macro Get [Content: Content] [Name: "Name"]
```

値は次のとおりです。

コンテンツ:

False/True
指定したマクロのコンテンツを表示するかどうかを指定します。

デフォルト値: False

名前:

文字列 (0, 250)
マクロの名前です。

xCommand Macros Macro Remove

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール : 管理者

このデバイスで作成されたマクロを削除します。

使用方法:

```
xCommand Macros Macro Remove Name: "Name"
```

値は次のとおりです。

名前:

文字列 (0, 250)
削除されるマクロの名前です。

xCommand Macros Macro RemoveAll

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール : 管理者

このデバイスで作成されたすべてのマクロを削除します。

使用方法:

```
xCommand Macros Macro RemoveAll
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Macros Macro Rename

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者

このデバイスで作成されたマクロの名前を変更します。

使用方法:

```
xCommand Macros Macro Rename Name: "Name" NewName: "NewName" [Overwrite: Overwrite]
```

値は次のとおりです。

名前:

文字列 (0, 250)

名前が変更されるマクロの名前です。

新しい名前:

文字列 (0, 250)

マクロの新しい名前です。

上書き:

False/True

既存のコンテンツを上書きするかどうかを指定します。

デフォルト値: False

xCommand Macros Macro Roles Set

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者

マクロの役割を設定します。

使用方法:

```
xCommand Macros Macro Roles Set Name: "Name" [Role: Role]
```

値は次のとおりです。

名前:

文字列 (0, 250)

設定されているマクロの名前です。

役割:

Admin/Audit/User/Integrator/RoomControl

このマクロに設定されている役割です。

xCommand Macros Macro Save

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者

マクロの詳細を保存します。これは複数行のコマンドです。

使用方法:

```
xCommand Macros Macro Save Name: "Name" [Overwrite: Overwrite] [Transpile: Transpile]
```

値は次のとおりです。

名前:

文字列 (0, 250)

保存するマクロの名前です。

上書き:

False/True

既存のコンテンツを上書きするかどうかを指定します。

デフォルト値: True

トランスパイル:

False/True

現在の JavaScript 言語機能を EcmaScript 5.0/5.1 に変換します。

デフォルト値: True

xCommand Macros Runtime Restart

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者

このデバイスにセットアップされたすべてのマクロを再起動します。

使用方法:

```
xCommand Macros Runtime Restart
```

xCommand Macros Runtime Start

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者

このデバイスでセットアップされたすべてのマクロを開始します。

使用方法:

```
xCommand Macros Runtime Start
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Macros Runtime Status

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール : 管理者

このデバイス上のマクロ ランタイムの現在の状況を示します。

使用方法:

```
xCommand Macros Runtime Status
```

xCommand Macros Runtime Stop

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール : 管理者

このデバイスでセットアップされたすべてのマクロを停止します。

使用方法:

```
xCommand Macros Runtime Stop
```

メッセージコマンド

xCommand Message Send

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ

待機中のクライアントにテキストを送信するメッセージ送信イベントをトリガーします。

使用方法:

```
xCommand Message Send Text: "Text"
```

値は次のとおりです。

テキスト:

文字列 (0, 8192)

メッセージに含まれるテキストです。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

MicrosoftTeams コマンド

xCommand MicrosoftTeams Install

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 DeskPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者

デバイスに Microsoft Teams オプションをインストールします。必要に応じて、デバイスはまず新しいソフトウェアをダウンロードします。その後、インストールが開始されます (約 5 分間)。

使用方法:

```
xCommand MicrosoftTeams Install Name: "Name"
```

値は次のとおりです。

名前:

文字列 (0, 32)

MicrosoftTeams List コマンドによって返される適用可能なオプションの 1 つです。例えば、"MicrosoftTeamsRooms"。デバイスには他のオプションがある場合があります。

xCommand MicrosoftTeams Join

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 DeskPro BoardPro BoardProG2

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

ユーザーが URL またはミーティング ID/パスコードを使って Microsoft Teams ミーティングに参加することを許可します。有効なパラメータの組み合わせ: MeetingNumber と passcode、URL、URL と BookingID。

使用方法:

```
xCommand MicrosoftTeams Join [BookingId: "BookingId"] [MeetingNumber:
"MeetingNumber"] [Passcode: "Passcode"] [Title: "Title"] [TrackingData:
"TrackingData"] [Url: "Url"]
```

値は次のとおりです。

BookingId:

文字列 (0, 255)

ブッキング ID は URL と共に提供され、xCommand ブッキングリストの結果のブッキングから取得されます。ブッキング ID は、スヌーズと無視の機能が正しく動作するために必要です。さらに、セッションのプロトコルが WebRTC に設定されている必要があります。

ミーティング番号:

文字列 (0, 255)

ミーティングの ミーティング ID。

パスコード:

文字列 (0, 255)

ミーティングのパスコードです。

件名:

文字列 (0, 255)

ミーティングに表示されるタイトルです。

TrackingData:

文字列 (0, 255)

通話履歴に保存されるタグまたはラベル。

既定値: MsTeamsJoin_command

URL:

文字列 (0, 2000)

ミーティングのウェブ URL。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand MicrosoftTeams List

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 DeskPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者

デバイスに適用可能な Microsoft Teams インストールオプションを一覧表示します。

使用方法:

`xCommand MicrosoftTeams リスト [表示: 表示]`

値は次のとおりです。

表示:

すべて/使用可能/インストール済み

すべて: 現在デバイスにインストールされているかどうかにかかわらず、適用可能なすべてのオプションを表示します。

利用可能: 利用できるが、現在デバイスにインストールされていないオプションのみを表示します。

インストール済み: デバイスにインストール済みのオプションのみを表示します。

既定値: すべて

xCommand MicrosoftTeams Reset

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 DeskPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者

Microsoft Teams アプリケーションを、インストールされている Cisco ファームウェアにバンドルされているものにリセットします。

使用方法:

`xCommand MicrosoftTeams Reset Confirm: Confirm [IncludePeripherals: IncludePeripherals]`

値は次のとおりです。

確認:

可

このパラメータを [はい] に設定してリセットを確定する必要があります。

IncludePeripherals:

False/True

False: デバイス自体の Microsoft Teams アプリケーションのみリセットされます。

True: デバイス自体と接続されている Room Navigator 一の両方で、Microsoft Teams アプリケーションをリセットします。

デフォルト値: True

xCommand MicrosoftTeams SignOut

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 DeskPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者

コーデック、タッチ パネル、またはすべてのデバイスで Microsoft Teams からログアウトします。パラメータが指定されていない場合、ユーザーはすべてのデバイスで Microsoft Teams からサインオフします。

使用方法:

`xCommand MicrosoftTeams サインアウト [デバイス: デバイス]`

値は次のとおりです。

デバイス:

すべて/コーデック/タッチパネル

All: すべてのデバイスからログアウトします。

Codec: コーデックからログアウトします。

TouchPanel: Room Navigator からログアウトします。

既定値: すべて

xCommand MicrosoftTeams ソフトウェアのアップグレード

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 DeskPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者

デバイスで現在実行されている RoomOS ソフトウェアバージョンに、Microsoft Teams インストールオプションをインストールできるかどうかを確認します。まだインストールされていない場合は、必要なサポートを含むバージョンをダウンロードしてインストールしてください。新しいソフトウェアイメージが選択される場所は、デバイスの登録、サービス契約などによって異なります。

使用方法:

`xCommand MicrosoftTeams ソフトウェアアップグレード [Force: Force]`

値は次のとおりです。

強制:

False/True

デフォルト値: False

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

Network コマンド

xCommand Network SMTP VerifyConfig

適用対象: RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro BoardProG2

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

SMTP サーバーがインスタンスで設定されているかどうかを確認します。

使用方法:

```
xCommand Network SMTP VerifyConfig
```

xCommand ネットワーク SNMP USM ユーザ追加

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

SNMP v3、ユーザベースのセキュリティモデル USM を使ったビデオ会議端末との通信にネットワーク管理システムが使用するユーザーを作成します (ユーザ名とパスワード)。すべての USM ユーザーは同等のアクセス権限を持っています (読み取り、読み取り/書き込み、またはなし)。NetworkServices SNMP Mode 設定を参照してください。

認証とプライバシーは常にOnです。つまり、デバイスは authPriv セキュリティ レベルのみをサポートし、プライバシー プロトコルは常に AES (高度暗号化標準) です。

このコマンドは SNMP v2c には影響しません。SNMP v2c の認証は NetworkServices SNMP CommunityName 設定で構成されます。

使用方法:

```
xCommand Network SNMP USM ユーザ追加 AuthenticationPassword:
"AuthenticationPassword" AuthenticationProtocol: AuthenticationProtocol Name:
"Name" [PrivacyPassword: "PrivacyPassword"]
```

値は次のとおりです。

認証パスワード:

文字列 (8, 255)

この USM ユーザーの認証パスワード。ネットワーク管理システムを認証する際に使用されます。認証パスワードは、ローカライズされたハッシュ値としてデバイスに保存されます (AuthenticationProtocol パラメータを参照してください)。

認証プロトコル:

SHA-224/SHA-256/SHA-384/SHA-512

デバイスに認証パスワードを保存する前に適用される認証ハッシュ関数。デバイスは、リストされているハッシュ関数 (SHA-2 ファミリー) のみをサポートします。MD および SHA-1 のいずれにも対応していません。

名前:

文字列 (0, 32)

USM ユーザーの名前。

プライバシーパスワード:

文字列 (8, 255)

この USM ユーザーのプライバシーパスワードです。データ暗号化に使用されます。プライバシー パスワードは、ローカライズされたハッシュ値 (AES-128) としてデバイスに保存されます。

プライバシーパスワードがこのパラメータで明示的に設定されていない場合、認証パスワードと同じになります (認証プロトコルパラメータで指定されているハッシュ関数を使用)。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Network SNMP USM User Delete

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

デバイスから USM ユーザーを削除します。

使用方法:

```
xCommand Network SNMP USM User Delete Name: "Name"
```

値は次のとおりです。

名前:

文字列 (0, 32)

削除するユーザーの名前です。

xCommand Network SNMP USM User List

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

デバイスに保存されているすべての USM ユーザーのリストを返します。

使用方法:

```
xCommand Network SNMP USM User List
```

xCommand ネットワーク Wi-Fi 設定

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

特定の Wi-Fi ネットワークに接続するようにデバイスを設定します。自動接続は、デバイスで Wi-Fi が有効になっている場合にのみ利用できます。Wi-Fi に接続する前に、イーサネットケーブルを抜く必要があります。

デバイスは、SHA-128、SHA-256、または高速移行 (802.11r) キー管理を使用して、パーソナルまたはエンタープライズに対して、WPA2 のみ、WPA3 のみ、および WPA2/WPA3 移行モードのアクセス ポイントをサポートします。

使用方法:

```
xCommand Network Wifi Configure [AllowMissingCA: AllowMissingCA]
[AnonymousIdentity: "AnonymousIdentity"] [Connect: Connect] [Identity:
"Identity"] [Password: "Password"] SSID: "SSID" Type: Type
```

値は次のとおりです。

AllowMissingCA:

False/True

Certificate Authentication (CA) がない Wi-Fi 接続を許可するためのポリシー。

False: 許可されていません。

True: 許可されている

デフォルト値: False

AnonymousIdentity:

文字列 (0, 255)

該当する場合、匿名アイデンティティ。

接続:

自動 *[RoomKit RoomKitMini CodecPlus Room55 Room70/Room55D Board]*

自動/後 *[RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2]*

設定を保存した後の動作。

自動: Wi-Fi ネットワークにすぐに接続します。

後で: 後で Wi-Fi ネットワークに接続します。

既定値: 自動

Identity:

文字列 (0, 255)

該当する場合、Wi-Fi 接続のユーザ名。

パスワード:

文字列 (0, 255)

該当する場合、Wi-Fi 接続のパスワード。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

SSID:

文字列 (0, 255)

Wi-Fi 接続の SSID。

タイプ:

Open/Wpa2-psk/Wpa2-eap-fast/Wpa2-eap-peap/Wpa2-eap-tls/Wpa2-eap-ttls/None/Personal/Enterprise-Fast/Enterprise-Peap/Enterprise-Tls/Enterprise-Ttls

Wi-Fi 接続の暗号化タイプと認証方法。次のタイプをサポートしています。

なし: オープンネットワーク (セキュリティ保護なし)

パーソナル: WPA2 (PSK) または WPA3 (SAE) パーソナル、CCMP128 (AES) 暗号付き。

Enterprise-Fast: セキュアトンネリングによるフレキシブル認証 (EAP-FAST) 付きの WPA2 または WPA3 エンタープライズ。

Enterprise-Peap: EAP-MSCHAPv2 または EAP-GTC 付きの WPA2 または WPA3 エンタープライズ、PEAP (Protected EAP) 付き。

Enterprise-Tls: EAP トランスポート層セキュリティ (EAP-TLS) を使用した WPA2 または WPA3 エンタープライズ。

Enterprise-Ttls: EAP トンネル トランスポート層セキュリティ (EAP-TTLS) を使用した WPA2 または WPA3 エンタープライズ。次のタイプは非推奨ですが、下位互換性のために引き続き利用できます。

Open、Wpa2-psk、Wpa2-eap-fast、Wpa2-eap-peap、Wpa2-eap-tls、Wpa2-eap-ttls。

xCommand ネットワーク Wi-Fi 接続

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

指定された Wi-Fi ネットワーク プロファイルに接続します。

使用方法:

```
xCommand Network Wifi Connect ProfileID: "ProfileID"
```

値は次のとおりです。

プロフィール ID:

文字列 (0, 255)

接続する ProfileID。

xCommand Network Wifi Delete

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

指定した Wi-Fi ネットワーク接続をデバイスから削除します。

使用方法:

```
xCommand Network Wifi Delete [ProfileID: "ProfileID"] [SSID: "SSID"]
```

値は次のとおりです。

ProfileID:

文字列 (0, 255)

保存されたプロファイルの ProfileID。

SSID:

文字列 (0, 255)

Wi-Fi 接続の SSID。

xCommand ネットワーク Wi-Fi リスト

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

構成されているすべての Wi-Fi プロファイルの詳細を一覧表示します。

使用方法:

```
xCommand ネットワーク Wi-Fi リスト
```

xCommand Network Wifi Scan Start

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

利用可能な Wi-Fi ネットワークをスキャンします。

使用方法:

```
xCommand Network Wifi Scan Start [Duration: Duration]
```

値は次のとおりです。

Duration:

整数 (0..120)

Wi-Fi スキャンの期間 (秒)。

デフォルト値: 0

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Network Wifi Scan Stop

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

進行中の Wi-Fi スキャンを停止します。

使用方法:

```
xCommand Network Wifi Scan Stop
```

Peripherals コマンド

xCommand Peripherals Connect

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

コントロールシステムやタッチコントローラなどの周辺機器をビデオデバイスに登録します。登録された周辺機器は、ウェブインタフェース上の [設定 (Configuration)] > [周辺機器 (Peripherals)] に表示されます。

周辺機器がデバイスに初めて接続するとき、または周辺機器のソフトウェア バージョンが変更されたときに、このコマンドを使用する必要があります。接続されている周辺機器のリストは、Peripherals ConnectedDevice [n] Status ステータスで確認できます。

使用方法:

```
xCommand Peripherals Connect [DRAM:DRAM] [HardwareInfo: "HardwareInfo"]
ID: "ID" [Name: "Name"] [NetworkAddress: "NetworkAddress"] [SerialNumber:
"SerialNumber"] [SoftwareInfo: "SoftwareInfo"] タイプ: タイプ
```

値は次のとおりです。

DRAM:

整数 (1..256)

周辺機器のメモリ (DRAM) サイズを GBで示します。

ハードウェア情報:

文字列 (0, 100)

周辺機器のハードウェア番号です。

ID:

文字列 (1, 100)

周辺機器の一意の ID で、通常は MAC アドレスです。

名前:

文字列 (0, 100)

周辺機器の名前を定義します。

ネットワークアドレス:

文字列 (0, 100)

周辺機器のネットワークアドレスです。

シリアル番号:

文字列 (0, 100)

周辺機器のシリアル番号です。

ソフトウェア情報:

文字列 (0, 100)

周辺機器が実行しているソフトウェアのバージョンです。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

タイプ:

AudioAmplifier/AudioMicrophone/Byod/Camera/ControlSystem/Other/TableExtender/TouchPanel/RoomScheduler/PersistentWebApp/VideoSwitcher

周辺機器のタイプを定義します。

Room Navigator はさまざまなモードにすることができます。ビデオ会議端末の標準ユーザインターフェイスとして使用する場合は、TouchPanel を選択します。会議室予約用デバイスとして使用する場合は RoomScheduler を選択します。永続的なウェブアプリを実行している場合は、[PersistentWebApp] を選択します。

xCommand Peripherals DeviceManagement Disable

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

ペアリングされた Room Navigator の管理を無効にします。作成されたユーザーアカウントは削除され、Navigator ウェブインターフェイスへのアクセス権がなく、また、SSH 経由で Navigator に接続できません。

使用方法:

```
xCommand Peripherals DeviceManagement Disable ID: "ID"
```

値は次のとおりです。

ID:

文字列 (1, 100)

デバイスに接続されている Room Navigator の一意の ID で、通常は MAC アドレスです。Peripherals ConnectedDevice [n] ID ステータスを参照してください。

xCommand Peripherals DeviceManagement Enable

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

ペアリングされた Room Navigator の管理を有効にします。管理が有効になると、ナビゲータでユーザアカウントを作成および管理することができます。その後、Navigator のウェブインターフェイス (HTTPS) または SSH にアクセスし、追加の管理を行うことができます。

これは、ローカル証明書を設定したり、画面の明るさを変更したり、Navigator の他の設定を変更する場合に役立ちます。

使用方法:

```
xCommand Peripherals DeviceManagement Enable ID: "ID"
```

値は次のとおりです。

ID:

文字列 (1, 100)

デバイスに接続されている Room Navigator の一意の ID で、通常は MAC アドレスです。Peripherals ConnectedDevice [n] ID ステータスを参照してください。

xCommand Peripherals HeartBeat

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

周辺機器がビデオ デバイスに登録されている場合、デバイスにハートビートを送信して、周辺機器がまだ接続されていることを知らせるように、周辺機器を設定できます。これにより、周辺機器は xStatus Peripherals ConnectedDevice リストに維持されます。

周辺機器がハートビートを送信するように設定されていない場合、その周辺機器はしばらくするとリストから消えます。

メモ: カメラには適用されません。

使用方法:

```
xCommand Peripherals HeartBeat ID: "ID" [Timeout: Timeout]
```

値は次のとおりです。

ID:

文字列 (1, 100)

周辺機器の一意の ID で、通常は MAC アドレスです。

タイムアウト:

整数 (1..65535)

周辺機器がハートビートを送信する時間の長さを秒単位で設定します。

デフォルト値: 60

xCommand Peripherals List

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール

現在および過去に接続されたすべての周辺機器を一覧表示します。

使用方法:

```
xCommand Peripherals List [Connected: Connected] [Type: Type]
```

値は次のとおりです。

接続済み:

False/True

現在接続されている周辺機器に検索を限定します。

タイプ:

All/AudioAmplifier/AudioMicrophone/ControlSystem/Other/TouchPanel

デバイス タイプで検索を制限します。

既定値: すべて

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Peripherals Pairing PinPairing Start

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

ネットワーク経由でタッチ コントローラーをビデオ デバイスに接続する場合、PIN またはパスフレーズを使用してペアリングできます。PIN によるペアリングを開始するには、次のコマンドを発行します。

使用方法:

```
xCommand Peripherals Pairing PinPairing Start [Duration: Duration]
[PinVisibleOnScreen: PinVisibleOnScreen] [Retries: Retries]
```

値は次のとおりです。

Duration:

整数 (1..2880)
ペアリングプロセスがアクティブである期間 (分)。

デフォルト値: 60

PinVisibleOnScreen:

False/True
ビデオ デバイスに接続されているメイン画面に PIN を表示するかどうか。これが false の場合、管理者はタッチ コントローラー画面にいる人に PIN を提供する必要があります。

デフォルト値: False

再試行回数:

整数 (1..10)
新しい PIN を生成するまでに許容される無効な試行の回数。

デフォルト値: 3

xCommand Peripherals Pairing PinPairing Stop

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

PIN ペアリングを停止します。

使用方法:

```
xCommand Peripherals Pairing PinPairing Stop
```

xCommand Peripherals Pairing Unpair

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

このソフトウェアバージョンには適用できません。

使用方法:

```
xCommand Peripherals Pairing Unpair MacAddress: "MacAddress"
```

値は次のとおりです。

MacAddress:

文字列 (1, 100)
周辺機器の MAC アドレス。

xCommand Peripherals Purge

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

このソフトウェアバージョンには適用できません。

使用方法:

```
xCommand Peripherals Purge ID: "ID"
```

値は次のとおりです。

ID:

文字列 (1, 100)
周辺機器の MAC アドレス。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Peripherals Security Certificates Services Activate

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

周辺機器で証明書を有効にします。

使用方法:

```
xCommand Peripherals Security Certificates Services Activate Fingerprint: "Fingerprint" ID: "ID" Purpose: Purpose
```

値は次のとおりです。

指紋:

文字列 (0, 1024)
有効になっている証明書の一意の識別子 (ID) です。xCommand Security Certificates Services Show を実行することで指紋 ID を取得できます。

ID:

文字列 (1, 100)
周辺機器の一意の識別子 (ID) です。xCommand Peripherals List を実行することで、周辺機器 ID を取得できます。

目的:

802.1X
この証明書の目的。
802.1X: 802.1X セキュリティ認証を適用します。

xCommand 周辺機器 セキュリティ 証明書 サービス 削除

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

リモート周辺機器からセキュリティ証明書を削除します。

使用方法:

```
xCommand 周辺機器 セキュリティ 証明書 サービス 削除 指紋: "指紋" ID: "ID"
```

値は次のとおりです。

指紋:

文字列 (0, 128)
削除される証明書の一意の識別子です。

ID:

文字列 (1, 100)
周辺機器の一意の識別子 (ID) です。

xCommand Peripherals Security Certificates Services Enrollment SCEP Request

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

指定された SCEP サーバ URL を使用して CSR を送信するように周辺機器に指示します。

使用方法:

```
xCommand 周辺機器 セキュリティ 証明書 サービス 登録 SCEP 要求 [ChallengePassword: "ChallengePassword"] CommonName: "CommonName" [CountryName: "CountryName"] Fingerprint: "Fingerprint" ID: "ID" [LocalityName: "LocalityName"] [OrganizationName: "OrganizationName"] [OrganizationalUnit: OrganizationalUnit] [SanDns: SanDns] [SanEmail: SanEmail] [SanIp: SanIp] [SanUri: SanUri] [StateOrProvinceName: "StateOrProvinceName"] URL: "URL"
```

値は次のとおりです。

ChallengePassword:

文字列 (0, 256)
SCEP サーバーから署名するためにアクセスするための OTP または共有秘密。

CommonName:

文字列 (0, 64)
CSR SubjectName に "/CN=" を追加します。

国名:

文字列 (0, 2)
CSR サブジェクト名に "/C=" を追加します。

指紋:

文字列 (0, 128)
SCEP 要求 CSR に署名するための CA 証明書の指紋。

ID:

文字列 (12, 17)
周辺機器の一意の識別子 (ID) です。xCommand Peripherals List を実行することで、周辺機器 ID を取得できます。

地域名:

文字列 (0, 64)

組織名:

文字列 (0, 64)
CSR サブジェクト名に "/O=" を追加します。

組織単位:

文字列配列 (0, 64 [5])

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

SanDns:

文字列配列 (0, 64 [5])
CSR サブジェクト代替名に最大 5 つの DNS パラメータを追加します。

SanEmail:

文字列配列 (0, 64 [5])
CSR サブジェクト代替名に最大 5 つのメールパラメータを追加します。

SanIp:

文字列配列 (0, 64 [5])
CSR サブジェクト代替名に最大 5 IP パラメータを追加します。

SanUri:

文字列配列 (0, 64 [5])
CSR サブジェクト代替名に最大 5 つの URI パラメーターを追加します。

StateOrProvinceName:

文字列 (0, 64)

URL:

文字列 (0, 256)
SCEP サーバの URL アドレス。

xCommand Peripherals Security Certificates Services Enrollment SCEP Renewal Request

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

指定された SCEP サーバ URL を使用して証明書を更新するように周辺機器に指示します。

使用方法:

```
xCommand 周辺機器 セキュリティ証明書 サービス登録 SCEP 更新リクエスト CAFingerprint: "CAFingerprint" CertFingerprint: "CertFingerprint" ID: "ID" URL: "URL"
```

値は次のとおりです。

CA 指紋:

文字列 (0, 128)

証明書指紋:

文字列 (0, 128)

ID:

文字列 (12, 17)
周辺機器の一意の識別子 (ID) です。xCommand Peripherals List を実行することで、周辺機器 ID を取得できます。

URL:

文字列 (0, 256)
SCEP サーバの URL アドレス。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Peripherals Security Certificates Services Show

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

周辺機器の証明書を表示します。

使用方法:

```
xCommand Peripherals Security Certificates Services Show [Filter: Filter]
[FingerprintAlgorithm: FingerprintAlgorithm] [Format: Format] ID: "ID"
```

値は次のとおりです。

フィルタ:

802.1X

802.1X: 802.1X セキュリティ認証を適用します。

指紋アルゴリズム:

SHA-1/SHA-256

証明書の指紋を生成するときに使用するハッシュ関数を指定します。

SHA-1: SHA-1 ハッシュ関数を使用します。

SHA-256: SHA-256 ハッシュ関数 (SHA-2 ハッシュ関数ファミリー) が使用されます。

デフォルト値 : SHA_1

形式:

PEM/テキスト

表示される証明書の形式、PEM (Privacy Enhanced Mail) またはプレーンテキストを指定します。

既定値: テキスト

ID:

文字列 (1, 100)

周辺機器の一意の識別子 (ID) です。xCommand Peripherals List を実行することで、周辺機器 ID を取得できます。

xCommand Peripherals TouchPanel Configure

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ

Room Navigator は、ビデオデバイスの標準ユーザーインターフェイスとして (コントローラ)、会議室予約デバイスとして (会議室スケジューラ)、または永続的なウェブアプリを表示する、さまざまなモードで動作できます。[Room Navigator] 画面に表示される情報、ボタン、コントロールはモードによって異なります。

[Room Navigator] がデバイスと同じ会議室にあるか、会議室の外にあるかについての情報を追加することもできます。ロケーションに関する情報は、温度や空気品質など、ユニットからセンサー データを収集および処理する場合に役立ちます。

Controller + InsideRoom、RoomScheduler + OutsideRoom、PersistentWebApp + OutsideRoom が最も一般的な組み合わせです。

ほとんどの場合、 Room Navigator ーのモードと場所は、デバイスを初めてセットアップするときに、スタートアップ ウィザードで入力されます。このコマンドは、最初のセットアップ後にこれらのパラメータを変更する場合に使用されます。

使用方法:

```
xCommand Peripherals TouchPanel Configure ID: "ID" [Location: Location] [Mode:
Mode]
```

値は次のとおりです。

ID:

文字列 (1, 100)

デバイスに接続されている Room Navigator ー の一意の ID で、通常は MAC アドレスです。Peripherals ConnectedDevice [n] ID ステータスを参照してください。

場所:

室内/室外

InsideRoom: Room Navigator は、ビデオデバイスと同じ会議室にあります。

OutsideRoom: Room Navigator は会議室の外にあります。

Mode:

Controller/RoomScheduler/PersistentWebApp

Controller: Room Navigatorは、ビデオデバイスの標準ユーザーインターフェイスです。

PersistentWebApp: サードパーティのウェブアプリケーション (永続的なウェブアプリ) が Room Navigator で実行されています (Room Navigator がネットワーク経由でデバイスに接続されている場合にのみ利用できます)。

RoomScheduler: Room Navigator は会議室の予約に使用されます。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand 周辺機器 ユーザ管理 ユーザ 追加

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

ID パラメータで識別された周辺機器 (Room Navigator) に新しいユーザーを追加します。

使用方法:

```
xCommand Peripherals UserManagement User Add [Active: Active]
[ClientCertificateDN: "ClientCertificateDN"] ID: "ID" Passphrase: "Passphrase"
[PassphraseChangeRequired: PassphraseChangeRequired] Role: Role [ShellLogin:
ShellLogin] Username: "Username" [YourPassphrase: "YourPassphrase"]
```

値は次のとおりです。

アクティブ:

False/True

これがアクティブユーザかどうかを指定します。

ClientCertificateDN:

文字列 (0, 255)

ユーザ名とパスワードの代わりにクライアント証明書を使ってログインするユーザーを識別します。

ID:

文字列 (1, 100)

デバイスに接続されている Room Navigator の一意の ID で、通常は MAC アドレスです。Peripherals ConnectedDevice [n] ID ステータスを参照してください。

Passphrase:

文字列 (0, 255)

ユーザーのパスフレーズ。

パスフレーズ変更が必要:

False/True

ユーザーが次回のサインイン時にパスフレーズを変更する必要があるかどうかを指定します。

役割:

Admin/Audit/User/Integrator/RoomControl

ユーザーのロールを設定します。複数のロール パラメータを追加することで、ユーザーに複数のロールを割り当てることができます。

Shell ログイン:

False/True

ユーザーがシェルログインを持つ必要があるかどうかを指定します。

ユーザ名:

文字列 (0, 127)

ユーザーのユーザ名です。

YourPassphrase:

文字列 (0, 255)

このコマンドを実行するときにログインしているユーザーのパスフレーズ。管理者権限を持つユーザーを作成するときは、常に自分のパスワードで操作を確認する必要があります。

xCommand Peripherals UserManagement User Delete

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

ID パラメータで識別された周辺機器 (Room Navigator) からユーザーを削除します。

使用方法:

```
xCommand Peripherals UserManagement User Delete ID: "ID" Username: "Username"
[YourPassphrase: "YourPassphrase"]
```

値は次のとおりです。

ID:

文字列 (1, 100)

デバイスに接続されている Room Navigator の一意の ID で、通常は MAC アドレスです。Peripherals ConnectedDevice [n] ID ステータスを参照してください。

ユーザ名:

文字列 (0, 127)

削除されるユーザーのユーザ名です。

YourPassphrase:

文字列 (0, 255)

このコマンドを実行するときにログインしているユーザーのパスフレーズ。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Peripherals UserManagement User Get

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

ID パラメータで識別された周辺機器 (Room Navigator) のユーザーの詳細を表示します。ユーザーを識別するために、Username または ClientCertificateDN のいずれかを指定する必要があります。

使用方法:

```
xCommand Peripherals UserManagement User Get [ClientCertificateDN:
"ClientCertificateDN"] ID: "ID" [Username: "Username"]
```

値は次のとおりです。

ClientCertificateDN:

文字列 (0, 255)

ユーザ名とパスワードの代わりにクライアント証明書を使ってログインするユーザーを識別します。

ID:

文字列 (1, 100)

デバイスに接続されている Room Navigator の一意の ID で、通常は MAC アドレスです。Peripherals ConnectedDevice [n] ID ステータスを参照してください。

ユーザ名:

文字列 (0, 127)

ユーザー名を指定して特定のユーザーの詳細を表示します。

xCommand Peripherals UserManagement User List

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

ID パラメータで識別された周辺機器 (Room Navigator) のユーザーを一覧表示します。

使用方法:

```
xCommand Peripherals UserManagement User List ID: "ID" [Limit: Limit] [Offset:
Offset]
```

値は次のとおりです。

ID:

文字列 (1, 100)

デバイスに接続されている Room Navigator の一意の ID で、通常は MAC アドレスです。Peripherals ConnectedDevice [n] ID ステータスを参照してください。

制限:

整数 (0..65536)

表示されるユーザー数をこの数に制限します。0 は制限なし、つまりすべてのユーザーが表示されることを意味します。

デフォルト値: 0

Offセット:

整数 (0..65536)

インデックス X から始まるユーザーのリストを表示します。ここで、X はOffセットです。つまり、最初の X-1 ユーザーは表示されません。

デフォルト値: 0

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand 周辺機器 ユーザー管理 ユーザー 変更

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

特定のユーザーの詳細を変更します。

使用方法:

```
xCommand Peripherals UserManagement User Modify [Active: Active]
[AddRole: AddRole] [ClientCertificateDN: "ClientCertificateDN"] ID:
"ID" [PassphraseChangeRequired: PassphraseChangeRequired] [RemoveRole:
RemoveRole] [ShellLogin: ShellLogin] Username: "Username" [YourPassphrase:
"YourPassphrase"]
```

値は次のとおりです。

アクティブ:

False/True

これがアクティブユーザかどうかを指定します。

AddRole:

Admin/Audit/User/Integrator/RoomControl

指定したユーザーに新しいロールを追加します。

ClientCertificateDN:

文字列 (0, 255)

ユーザ名とパスワードの代わりにクライアント証明書を使ってログインするユーザーを識別します。

ID:

文字列 (1, 100)

デバイスに接続されている Room Navigator の一意の ID で、通常は MAC アドレスです。Peripherals ConnectedDevice [n] ID ステータスを参照してください。

パスフレーズ変更が必要:

False/True

ユーザーが次回のサインイン時にパスフレーズを変更する必要があるかどうかを指定します。

RemoveRole:

Admin/Audit/User/Integrator/RoomControl

指定されたユーザからロールを削除します。

Shell ログイン:

False/True

ユーザーがシェルログインを持つ必要があるかどうかを指定します。

ユーザ名:

文字列 (0, 127)

ユーザーのユーザ名です。

YourPassphrase:

文字列 (0, 255)

このコマンドを実行するときにログインしているユーザーのパスフレーズ。

xCommand Peripherals UserManagement User Passphrase Set

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

指定されたユーザーのパスフレーズを設定します。ユーザーのパスフレーズを設定するには、管理者としてログインしている必要があります。

使用方法:

```
xCommand Peripherals UserManagement User Passphrase Set ID: "ID"
NewPassphrase: "NewPassphrase" Username: "Username" [YourPassphrase:
"YourPassphrase"]
```

値は次のとおりです。

ID:

文字列 (1, 100)

デバイスに接続されている Room Navigator の一意の ID で、通常は MAC アドレスです。Peripherals ConnectedDevice [n] ID ステータスを参照してください。

NewPassphrase:

文字列 (0, 255)

変更する新しいパスフレーズ。

ユーザ名:

文字列 (0, 127)

新しいパスフレーズを設定するユーザーのユーザ名です。

YourPassphrase:

文字列 (0, 255)

このコマンドの実行時にログインしているユーザーのパスフレーズ。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Peripherals UserManagement User Unblock

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

ログインに何回も失敗したためにブロックされたユーザーのブロックを解除します。

使用方法:

```
xCommand Peripherals UserManagement User Unblock ID: "ID" Username: "Username" [YourPassphrase: "YourPassphrase"]
```

値は次のとおりです。

ID:

文字列 (1, 100)

デバイスに接続されている Room Navigator の一意の ID で、通常は MAC アドレスです。Peripherals ConnectedDevice [n] ID ステータスを参照してください。

ユーザ名:

文字列 (0, 127)

ブロックを解除するユーザーのユーザ名です。

YourPassphrase:

文字列 (0, 255)

このコマンドを実行するときにログインしているユーザーのパスフレーズ。

電話帳のコマンド

xCommand Phonebook Contact Add

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ローカル電話帳に新しい連絡先を追加します。このコマンドは ContactId を返します。これは連絡先を識別する一意の文字列です。通常、形式は「localContactId-n」です。

xCommand Phonebook ContactMethod Add コマンドを使用して、複数の連絡方法 (それぞれ異なる Number、CallRate、CallType、Device、Protocol を持つ) を連絡先に追加できます。最初の連絡方法のみがタッチ コントローラーの [お気に入り] リストに表示されます。他の UI ではすべての連絡方法を使用できます。

使用方法:

```
xCommand 電話帳連絡先追加 [CallRate: CallRate] [CallType: CallType] [Device: Device] [FolderId: "FolderId"] [ImageURL: "ImageURL"] Name: "名前" [Number: "番号"] [Protocol: プロトコル] [Tag: タグ] [Title: "タイトル"]
```

値は次のとおりです。

CallRate:

整数 (0..6000)

この連絡先に発信するときの通話レート (kbps) を設定します。

CallType:

自動/オーディオ/ビデオ

通話タイプ (音声またはビデオ) を選択します。Auto を選択すると、デバイスはコールタイプを自動的に決定します。

既定値: 自動

デバイス:

モバイル/その他/電話/ビデオ/職場

現在の連絡方法を表す値を選択します。これにより、同じ人物に複数の連絡方法がある場合に、正しいエントリを簡単に見つけることができます。

FolderId:

文字列 (0, 255)

連絡先を保存するフォルダの一意の識別子です。識別子は xCommand Phonebook Search コマンドによって返されます。また、xCommand Phonebook Folder Add コマンドがフォルダを作成するために発行されたときにも返されます。

イメージ URL:

文字列 (0, 255)

現在使用されていません。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

名前:

文字列 (0, 255)

連絡先の名前です。

番号:

文字列 (0, 255)

連絡先の番号またはビデオアドレス。

プロトコル:

自動/H323/SIP/Spark

リストから通話プロトコルを選択します。

Spark は Webex インフラストラクチャを使用しているデバイスです。

タグ:

タグなし/お気に入り

連絡先に [お気に入り] のタグを付けるか、すでにタグ付けされている連絡先のタグを解除します。

件名:

文字列 (0, 255)

連絡先の肩書き。

xCommand Phonebook Contact Delete

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ローカル電話帳から既存の連絡先を削除します。

使用方法:

```
xCommand Phonebook Contact Delete ContactId: "ContactId"
```

値は次のとおりです。

ContactId:

文字列 (0, 255)

連絡先の一意の識別子です。識別子は xCommand Phonebook Search コマンドによって返されます。また、xCommand Phonebook Contact Add コマンドが連絡先を作成するために発行されたときにも返されます。

xCommand Phonebook Contact Modify

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ローカル電話帳の既存の連絡先の詳細を変更します。このコマンドを使用して変更できるパラメータは、Name、FolderId、ImageURL、および Title です。Number、Protocol、CallRate、CallType、および Deviceのパラメータを変更するには、xCommand Phonebook ContactMethod Modify コマンドを使用する必要があります。

使用方法:

```
xCommand Phonebook Contact Modify ContactId: "ContactId" [FolderId:
"FolderId"] [ImageURL: "ImageURL"] [Name: "Name"] [Tag: Tag] [Title: "Title"]
```

値は次のとおりです。

ContactId:

文字列 (0, 255)

変更する連絡先の一意の識別子です。識別子は xCommand Phonebook Search コマンドによって返されます。また、xCommand Phonebook Contact Add コマンドが連絡先を作成するために発行されたときにも返されます。

FolderId:

文字列 (0, 255)

フォルダの一意の識別子です。識別子は xCommand Phonebook Search コマンドによって返されます。また、xCommand Phonebook Folder Add コマンドが発行されたときにも返されます。

イメージ URL:

文字列 (0, 255)

現在使用されていません。

名前:

文字列 (0, 255)

連絡先の名前です。

タグ:

タグなし/お気に入り

連絡先に [お気に入り] のタグを付けるか、すでにタグ付けされている連絡先のタグを解除します。

件名:

文字列 (0, 255)

連絡先のタイトルです。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Phonebook ContactMethod Add

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ローカル電話帳にある既存の連絡先の連絡先情報を追加します。このコマンドは ContactMethodId を返します。これは連絡方法を識別する一意の文字列です。通常、形式は「n」です。

複数の連絡方法を連絡先に追加することができます。最初の連絡方法のみが、デバイスのユーザ インターフェイスの [お気に入り] リストに表示されることに注意してください。xCommand Phonebook Contact Add コマンドを発行して連絡先を作成するときに、最初の連絡方法が作成されている可能性があります。すべての連絡方法が API およびウェブ インターフェイスで利用できます。

使用方法:

```
xCommand Phonebook ContactMethod Add [CallRate: CallRate] [CallType:
CallType] ContactId: "ContactId" [Device: Device] Number: "Number" [Protocol:
Protocol]
```

値は次のとおりです。

CallRate:

整数 (0..6000)

この連絡先に発信するときの通話レート (kbps) を設定します。

CallType:

自動/オーディオ/ビデオ

通話タイプ (音声またはビデオ) を選択します。Auto を選択すると、デバイスはコールタイプを自動的に決定します。

既定値: 自動

ContactId:

文字列 (0, 255)

連絡方法を追加する連絡先の一意の識別子。識別子は xCommand Phonebook Search コマンドによって返されます。また、xCommand Phonebook Contact Add コマンドが連絡先を作成するために発行されたときにも返されます。

デバイス:

モバイル/その他/電話/ビデオ/職場

現在の連絡方法を表す値を選択します。これにより、同じ人物に複数の連絡方法がある場合に、正しいエントリを簡単に見つけることができます。

番号:

文字列 (0, 255)

連絡先の番号またはビデオアドレス。

プロトコル:

自動/H323/SIP/Spark

リストから通話プロトコルを選択します。

Spark は Webex インフラストラクチャを使用しているデバイスです。

xCommand Phonebook ContactMethod Delete

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ローカル電話帳の既存の連絡先から連絡方法を削除します。

使用方法:

```
xCommand Phonebook ContactMethod Delete ContactId: "ContactId"
ContactMethodId: "ContactMethodId"
```

値は次のとおりです。

ContactId:

文字列 (0, 255)

変更する連絡先の一意の識別子です。識別子は xCommand Phonebook Search コマンドによって返されます。また、xCommand Phonebook Contact Add コマンドが連絡先を作成するために発行されたときにも返されます。

ContactMethodId:

文字列 (0, 255)

削除する連絡方法の一意の識別子です。識別子は xCommand Phonebook Search コマンドによって返されます。また、連絡方法を作成するために xCommand Phonebook ContactMethod Add コマンドが発行された場合にも返されます。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Phonebook ContactMethod Modify

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ローカル電話帳中の既存の連絡先の連絡方法の詳細を変更します。

使用方法:

```
xCommand Phonebook ContactMethod Modify [CallRate: CallRate] [CallType: CallType] ContactId: "ContactId" ContactMethodId: "ContactMethodId" [Device: Device] [Number: "Number"] [Protocol: Protocol]
```

値は次のとおりです。

CallRate:

整数 (0..6000)

この連絡先に発信するときの通話レート (kbps) を設定します。

CallType:

自動/オーディオ/ビデオ

通話タイプ (音声またはビデオ) を選択します。Auto を選択すると、デバイスはコールタイプを自動的に決定します。

ContactId:

文字列 (0, 255)

連絡先の一意の識別子です。識別子は xCommand Phonebook Search コマンドによって返されます。また、xCommand Phonebook Contact Add コマンドが連絡先を作成するために発行されたときにも返されます。

ContactMethodId:

文字列 (0, 255)

変更する連絡方法の一意の識別子です。識別子は xCommand Phonebook Search コマンドによって返されます。また、連絡方法を作成するために xCommand Phonebook ContactMethod Add または xCommand Phonebook Contact Add コマンドが発行された場合にも返されます。

デバイス:

モバイル/その他/電話/ビデオ/職場

現在の連絡方法を表す値を選択します。これにより、同じ人物に複数の連絡方法がある場合に、正しいエントリを簡単に見つけることができます。

番号:

文字列 (0, 255)

連絡先の番号またはビデオアドレス。

プロトコル:

自動/H323/SIP/Spark

リストから通話プロトコルを選択します。

Spark は Webex インフラストラクチャを使用しているデバイスです。

xCommand Phonebook Folder Add

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

電話帳のエントリーはフォルダに保存できます。ローカル電話帳にフォルダを追加するには、このコマンドを使用します。このコマンドは FolderId を返します。これはフォルダを識別する一意の文字列です。通常、形式は「localGroupId-n」です。

使用方法:

```
xCommand Phonebook Folder Add Name: "Name" [ParentFolderId: "ParentFolderId"]
```

値は次のとおりです。

名前:

文字列 (0, 255)

フォルダの名前。

親フォルダ ID:

文字列 (0, 255)

親フォルダの一意の識別子です。識別子は xCommand Phonebook Search コマンドによって返されます。また、xCommand Phonebook Folder Add コマンドが親フォルダを作成するために発行されたときにも返されます。

xCommand Phonebook Folder Delete

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ローカル電話帳から既存のフォルダを削除します。

使用方法:

```
xCommand Phonebook Folder Delete FolderId: "FolderId"
```

値は次のとおりです。

FolderId:

文字列 (0, 255)

フォルダの一意の識別子です。識別子は xCommand Phonebook Search コマンドによって返されます。また、xCommand Phonebook Folder Add コマンドがフォルダを作成するために発行されたときにも返されます。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Phonebook Folder Modify

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

既存の電話帳フォルダを変更します。

使用方法:

```
xCommand Phonebook Folder Modify FolderId: "FolderId" [Name: "Name"]
[ParentFolderId: "ParentFolderId"]
```

値は次のとおりです。

FolderId:

文字列 (0, 255)

フォルダの一意の識別子です。識別子は xCommand Phonebook Search コマンドによって返されます。また、xCommand Phonebook Folder Add コマンドがフォルダを作成するために発行されたときにも返されます。

名前:

文字列 (0, 255)

連絡先の名前です。

親フォルダ ID:

文字列 (0, 255)

親フォルダの一意の識別子です。識別子は xCommand Phonebook Search コマンドによって返されます。また、xCommand Phonebook Folder Add コマンドが親フォルダを作成するために発行されたときにも返されます。

xCommand Phonebook Search

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

検索コマンドにより、ローカル電話帳と会社電話帳の両方を検索することができます。検索は ResultSet を返します。

ローカル電話帳の検索結果には、常にフォルダと連絡先の総数 TotalRows が含まれます。会社の電話帳を検索する場合、フォルダと連絡先の総数が含まれない場合があります。含まれているかどうかは、バックエンドの企業電話帳サービス (例えば、Webex、CUCM、VCS、または TMS) とそのバージョンによって異なります。

使用方法:

```
xCommand 電話帳検索 [ContactMethodLimit: ContactMethodLimit] [ContactType:
ContactType] [FolderId: "FolderId"] [Limit: Limit] [Offset: Offset]
[PhonebookId: "PhonebookId"] [PhonebookType: PhonebookType] [Recursive:
Recursive] [SearchField: SearchField] [SearchFilter: SearchFilter]
[SearchString: "SearchString"] [Tag: Tag]
```

値は次のとおりです。

ContactMethod 制限:

整数 (0..10)

結果セット中のレコード数をこの数に制限します。例えば、制限が 2 に設定されている場合、たとえ合計ヒット数が多い場合でも、ResultSet には 2 つのエントリしか含まれません。

デフォルト値: 0

連絡先の種類:

任意/フォルダ/連絡先

すべての連絡先タイプを検索します。または検索をフォルダや個々の連絡先に限定します。

既定値: 任意

FolderId:

文字列 (0, 255)

指定したフォルダのみを検索します。FolderId (文字列) は、フォルダを含む検索結果の ResultSet にリストされます。

制限:

整数 (0..65534)

結果セット中のレコード数をこの数に制限します。デバイスが Webex クラウドサービスに登録されているか、デバイス用の Webex Edge にリンクされている場合、企業の電話帳 (PhonebookType: 企業) の最大数は 100 です。それ以外の場合、最大制限は 1000 です。Webex の場合、制限は結果の各タイプ (例えば、「人」または「会議室」) に適用されることに注意してください。つまり、制限を 20 に設定した場合、結果セットには最大で 20 人に加えて 20 の会議室が含まれます。SearchFilter パラメータも参照してください。

デフォルト値: 50

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

Offセット:

整数 (0..65534)

検索でこのOffセットから始まるレコードを取得します。デフォルト値は 0 です。ページングをサポートするために、リミットと共にオフセットが使用されます。

デフォルト値: 0

電話帳 ID:

文字列 (0, 255)

検索対象の電話帳サーバーの識別子です。xConfiguration 電話帳サーバ ID 設定を参照してください。

電話帳タイプ:

Corporate/Local

ローカル電話帳または会社電話帳のどちらを検索するかを指定します。

既定値: ローカル

再帰:

False/True

このパラメータはローカル電話帳を検索する場合にのみ効果があります。この設定により、ローカル電話帳の検索を指定された FolderId に限定するか、またはそのサブフォルダを再帰的に検索するかを決定します。指定しない場合、検索は再帰的に行われます。

パラメータを指定せずにコマンドを実行すると、ローカル電話帳中のすべてのフォルダ、連絡先、連絡方法が返されます。

デフォルト値: True

検索フィールド:

名前/番号

現在使用されていません。

検索フィルタ:

すべて/部屋/人/Pmr

表示する結果のタイプを選択して、検索結果をフィルタリングします。このパラメータは、Webex クラウド サービスに登録されているか、デバイス用の Webex Edge にリンクされているデバイスでのみ利用できます。

すべて: すべてのディレクトリを検索します。

People: 結果をフィルタリングして、人々のみを含めます。

Pmr: 結果をフィルタリングして、パーソナル会議室のみを含めます。

会議室: 結果をフィルタリングして会議室/デバイスのみを含めます。

既定値: すべて

検索文字列:

文字列 (0, 255)

この文字列を含むエントリを検索します (エントリは文字列で始まる必要はありません)。FolderId が指定されていない場合、すべてのフォルダ/電話帳ディレクトリが検索されます。

タグ:

タグなし/お気に入り

検索対象を、お気に入りのタグが付けられている連絡先、またはタグが付いていない連絡先に限定します。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

Presentation コマンド

xCommand Presentation Start

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

選択したプレゼンテーションソースからメディアストリームを開きます。

同じコマンドに複数の ConnectorId または PresentationSource パラメータを追加することで、複数のプレゼンテーション ソースを単一のプレゼンテーション ビデオ ストリームに組み合わせることができます (異なる入力ソースの最大数はビデオ デバイスのタイプによって異なります)。コマンド内でソースを配置した順序により、画面に表示されるソースの順序が決定されます。同じコマンドで識別子の種類を混在させることはできません。ConnectorId または PresentationSource のいずれかを使用します。

使用方法:

```
xCommand Presentation Start [ConnectorId: ConnectorId] [Instance: Instance]
[Layout: Layout] [PresentationSource: PresentationSource] [SendingMode:
SendingMode] [WebViewId: WebViewId]
```

値は次のとおりです。

コネクタ ID:

IntegerArray (1..2 [4]) [RoomKit RoomKitMini Board]

整数配列 (1..3 [4]) *[CodecPlus Room55 Room70/Room55D DeskMini]*

整数配列 (1..10 [4]) *[RoomBar RoomBarPro CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro BoardPro BoardProG2]*

IntegerArray (1..9 [4]) *[RoomKitEQX CodecEQ]*

IntegerArray (1..4 [4]) *[Desk]*

プレゼンテーションに使用するビデオ入力ソースを選択します。connectorId により識別されます。

インスタンス:

New/1/2/3/4/5/6

複数のプレゼンテーションをインスタンスとして同時に実行することができます。インスタンス番号は自動的に設定されるか、ユーザーが指定することができます。この番号を使用して、特定のプレゼンテーションを停止することができます。

レイアウト:

Equal/Prominent

ストリームが複数の入力ソースで構成される場合、プレゼンテーションのレイアウトを選択します。

Equal : プレゼンテーションは同じサイズの画像で表示されます。画面には最大で 4 つの画像を表示できます。

Prominent : 最初のプレゼンテーションが大きな画像で表示され、次のプレゼンテーションソースが小さな画像で下に表示されます。

デフォルト値: Equal

プレゼンテーションソース:

なし/AirPlay/Miracast/Remote/WebView/1/2 *[RoomKit RoomKitMini Board]*

なし/AirPlay/Miracast/Remote/WebView/1/2/3 *[CodecPlus Room55 Room70/Room55D DeskMini]*

なし/AirPlay/Miracast/Remote/WebView/1/2/3/4/5 *[RoomBar DeskPro BoardPro]*

None/AirPlay/Miracast/Remote/WebView/1/2/3/4/5/6 *[RoomBarPro BoardProG2]*

なし/AirPlay/Miracast/Remote/WebView/1/2/3/4/5/6/7/8/9 *[RoomKitEQX CodecEQ]*

なし/AirPlay/Miracast/リモート/WebView/1/2/3/4 *[デスク]*

なし/AirPlay/Miracast/Remote/WebView/1/2/3/4/5/6/7/8/9/10/11 *[CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

プレゼンテーションで使用するビデオソースを選択します。

n: プレゼンテーションで使用されるビデオ入力ソースで、ソース番号で識別されます。

Miracast: Miracast を使用したワイヤレス共有。

Airplay: AirPlay を使ったワイヤレス共有。

DirectShare: 今後に備えて。

None: 同じコマンド内に複数の PresentationSource パラメータが存在し、そのうち少なくとも 1 つが None 以外の値を持つ場合にのみ、None を使用できます。[なし] を選択すると、作成されたストリームに黒いフレームが挿入されます。

リモート: デバイスとペアリングされている Webex アプリからのワイヤレス共有。

ウェブビュー: ウェブビューのコンテンツをプレゼンテーション用のビデオソースとして使用できます。

送信モード:

LocalRemote/LocalOnly

プレゼンテーションをローカルまたはリモートのどちらで表示するかを選択します。

LocalRemote: プレゼンテーションがローカルとリモートの両方で表示されます。

LocalOnly: プレゼンテーションはローカルで表示されます。

デフォルト値: LocalRemote

WebViewId:

整数 (0..65534)

ウェブ表示の一意の ID です。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Presentation Stop

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

プレゼンテーションソースからのメディアストリームを停止します。

使用方法:

```
xCommand Presentation Stop [Instance: Instance] [PresentationSource: PresentationSource] [WebViewId: WebViewId]
```

値は次のとおりです。

インスタンス:

1/2/3/4/5/6

複数のプレゼンテーションを実行している場合、どのプレゼンテーションインスタンスを停止するかを指定します。インスタンス番号は、プレゼンテーションの開始時に決定されます。

プレゼンテーションソース:

なし/AirPlay/Miracast/Remote/WebView/1/2 *[RoomKit RoomKitMini Board]*

なし/AirPlay/Miracast/Remote/WebView/1/2/3 *[CodecPlus Room55 Room70/Room55D DeskMini]*

なし/AirPlay/Miracast/Remote/WebView/1/2/3/4/5 *[RoomBar DeskPro BoardPro]*

なし/AirPlay/Miracast/リモート/WebView/1/2/3/4/5/6 *[RoomBarPro BoardProG2]*

なし/AirPlay/Miracast/リモート/WebView/1/2/3/4/5/6/7/8/9 *[RoomKitEQX CodecEQ]*

None/AirPlay/Miracast/Remote/WebView/1/2/3/4 *[Desk]*

なし/AirPlay/Miracast/Remote/WebView/1/2/3/4/5/6/7/8/9/10/11 *[CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

停止するプレゼンテーション ストリームを選択します。詳細については、[プレゼンテーションの開始] コマンドを参照してください。

n: ソース番号で識別されるプレゼンテーション入力ソースです。

DirectShare: 将来的に使用。

Miracast: Miracast を使用して共有されるストリーム。

Airplay: AirPlay を使って共有されるストリーム。

なし: 作成されたストリームに挿入される黒いフレーム。

リモート: デバイスとペアリングされている Webex アプリから共有されるストリーム。

ウェブビュー: ウェブビューのコンテンツをプレゼンテーション用のビデオソースとして使用できます。

WebViewId:

整数 (0..65534)

Web View の一意の ID です。

プロビジョニングコマンド

xCommand Provisioning CompleteUpgrade

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

それが設定される前にインストールしたい場合、ソフトウェアアップグレードのインストールを開始します。

使用方法:

```
xCommand Provisioning CompleteUpgrade
```

xCommand Provisioning PostponeUpgrade

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ソフトウェアアップグレードのインストールを延期します。

使用方法:

```
xCommand Provisioning PostponeUpgrade [Reason: "Reason"] SecondsToPostpone: SecondsToPostpone
```

値は次のとおりです。

理由:

文字列 (0, 255)

アップグレードが延期された理由に関する情報を提供します。

延期までの秒数:

整数 (0..65534)

アップグレードを延期する期間を設定します。値の単位は秒です。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Provisioning CUCM ExtensionMobility Login

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

エクステンション モビリティ サービスのサインイン コマンド。ユーザー名 (UserId) と PIN コード (Pin) を使用して、Extension Mobility サービスにサインインします。ユーザ名と PIN コードは CUCM でセットアップされます。CUCM はユーザーの複数のプロファイルもサポートします。

複数のプロファイルを持つユーザーが、ユーザ名と PIN コードのみでログイン コマンドを送信する場合、CUCM は使用可能なプロファイルのリストをデバイスに送信します。次に、デバイスは対応する ExtensionMobilityProfileSelection Profile イベントを作成し、ユーザー名と PIN コードに加えて、Profile パラメータを含む新しいログインコマンドを送信できるようにします。

使用方法:

```
xCommand Provisioning CUCM ExtensionMobility ログイン Pin: "Pin" [プロファイル: "Profile"] ユーザ ID: "UserId"
```

値は次のとおりです。

Pin:

文字列 (1, 255)

CUCM でセットアップされたユーザーの有効な PIN コード。

プロファイル:

文字列 (1, 255)

CUCM でセットアップされた、ユーザーの有効なプロファイル。このパラメータは、ユーザーが複数のプロファイルを持っている場合にのみ適用されます。

ユーザ ID:

文字列 (1, 255)

CUCM でセットアップされた有効なユーザ名。

xCommand Provisioning CUCM ExtensionMobility Logout

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

このコマンドを実行すると、Extension Mobility プロファイルからログアウトします。

使用方法:

```
xCommand Provisioning CUCM ExtensionMobility Logout
```

xCommand Provisioning RoomType Activate

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 BoardProG2

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ

会議室タイプのテンプレートを有効にする ウェブインターフェイスから会議室タイプのテンプレートを選択できます。

使用方法:

```
xCommand Provisioning RoomType Activate Name: Name
```

値は次のとおりです。

名前:

ブリーフィング/教室/スタンダード/発表者と聴衆 *[RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 BoardProG2]*

教室/標準/プレゼンターと聴衆 *[CodecPlus Room70/Room55D]*

ブリーフィング: ブリーフィング ルーム テンプレートを有効にします。

クラスルーム: クラスルーム テンプレートを有効にします。

PresenterAndAudience: プレゼンタとオーディエンスのテンプレートを有効にします。

標準: 会議室テンプレートをOffにします。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Provisioning Service Fetch

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

デバイスのカスタム要素を詳述するカスタマイズ テンプレートを追加または更新します。カスタム要素の例: ブランディング画像、マクロ、お気に入り、サインインバナー、室内コントロールパネルです。

使用方法:

```
xCommand Provisioning Service Fetch [Checksum: "Checksum"] [ChecksumType: ChecksumType] [Mode: Mode] [Origin: Origin] URL: "URL"
```

値は次のとおりです。

チェックサム:

文字列 (0, 128)

チェックサムは、ダウンロードされたカスタマイズ テンプレートの整合性を確認するために使用されます。HTTP を使用する場合、チェックサムを追加することが必須です。HTTPS を使用する場合、未署名の証明書、またはデバイスの CA リストにない自己署名証明書 (信頼されていない) を提示するサーバからテンプレートをダウンロードする場合にのみ、チェックサムを追加することが必須です。

チェックサムタイプ:

SHA512

チェックサムの計算に使用されるアルゴリズム。

デフォルト値: SHA512

Mode:

追加/置換

モードが [追加] に設定されている場合、アップロードされたファイルにリストされているすべてのアイテムが既存のカスタマイズテンプレートに追加されます。モードが [置換] に設定されている場合、アップロードされた新しいカスタマイズテンプレートが、以前にアップロードされたテンプレートと比較されます。新しいファイルに存在しないアイテムは削除されます。どちらの場合も、同じ名前を持つアイテムは上書きされます。

既定値: 追加

発信元:

その他/プロビジョニング

カスタマイズテンプレートをプロビジョニングまたは他の目的のどちらに使用するかを指定します。値が Provisioning の場合、テンプレートの構成 (xConfiguration) は無視され、プロビジョニングシステム (CUCM または TMS) は通常のように構成を設定できます。CUCM は常に、このパラメータが Provisioning に設定されているかのように動作します。

一部の構成は 1 つのデバイスに固有である場合があり、これらの構成を複数のデバイスにプロビジョニングすると、到達できないデバイスになる可能性があることに注意してください。

既定値: その他

URL:

文字列 (0, 2048)

カスタマイズテンプレートの URL です。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

Proximity コマンド

xCommand Proximity Services Activate

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

xCommand Proximity Services Deactivate で非アクティブ化した Proximity サービスを再アクティブ化します。

使用方法:

```
xCommand Proximity Services Activate
```

xCommand Proximity Services Deactivate

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

このコマンドは、デバイスのすべてのプロキシミティサービスを非アクティブ化します。プロキシミティサービスを再有効化するには、xCommand Proximity Services Activate コマンドを使用します。

使用方法:

```
xCommand Proximity Services Deactivate
```

RemoteAccess コマンド

xCommand RemoteAccess EndSession

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

アクティブなリモートアクセスセッションを終了します。リモート アクセスは、Cisco デバイスをリモートでコントロールし、Control Hub またはウェブ インターフェイス経由でトラブルシューティングやサポートを行う場合に使用されます。

使用方法:

```
xCommand RemoteAccess EndSession
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

RoomCleanup コマンド

xCommand RoomCleanup Cancel

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

日単位の会議室クリーンアップのスケジュールをキャンセルします。

使用方法:

```
xCommand RoomCleanup Cancel
```

xCommand RoomCleanup Run

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

必要に応じて、指定されたタイプのデータのクリーンアップを実行します。

使用方法:

```
xCommand RoomCleanup Run [ContentType: ContentType] [Delay: Delay]
```

値は次のとおりです。

ContentType:

ホワイトボード/Web データ/一時アカウント

削除するデータのタイプです。

TemporaryAccounts: デバイスにログインしている可能性のある一時アカウントを削除してください (例えば、エンタープライズ コンテンツ管理 (ECM) サービスを通じてアクセスされる OneDrive アカウント)。

ホワイトボード: デバイスのすべてのホワイトボードを削除します。

WebData: デバイス上のすべてのウェブ閲覧データを削除します。

遅延:

整数 (0..60)

クリーンアップが開始されるまでの遅延時間 (秒) です。

デフォルト値: 0

RoomPreset コマンド

xCommand RoomPreset Activate

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ローカルに保存されているプリセットの 1 つを有効にします。

すべてのビデオ入力ソースに関する情報、すべてのカメラのパン、チルト、ズーム、フォーカスの値は、同じプリセットに含まれていることに注意してください。対照的に、xCommand Camera Preset コマンドは個々のカメラにのみ適用されます。

使用方法:

```
xCommand RoomPreset Activate PresetId: PresetId
```

値は次のとおりです。

プリセット ID:

整数 (1..15)

有効にするプリセットの ID です。

xCommand RoomPreset Clear

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

プリセットを削除する。

すべてのビデオ入力ソースに関する情報、すべてのカメラのパン、チルト、ズーム、フォーカスの値は、同じプリセットに含まれていることに注意してください。対照的に、xCommand Camera Preset コマンドは個々のカメラにのみ適用されます。

使用方法:

```
xCommand RoomPreset Clear PresetId: PresetId
```

値は次のとおりです。

プリセット ID:

整数 (1..15)

削除するプリセットの ID です。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand RoomPreset Store

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

すべてのビデオ入力ソースのコネクタ選択と、すべてのカメラの現在の位置 (パンとチルト)、ズーム、フォーカスの値を保存します。

すべてのビデオ入力ソースに関する情報、すべてのカメラのパン、チルト、ズーム、フォーカスの値は、同じプリセットに含まれていることに注意してください。デバイスは 15 個のビデオ入力プリセットを保持することができます。これらのプリセットは、遠端制御で使用できます。つまり、FarEndControl Preset Activate コマンドの PresetId パラメータで参照されます。これに対し、Camera Preset コマンドは個々のカメラにのみ適用されます。これらのプリセットは、相手側コントロールでは利用できません。

使用方法:

```
xCommand RoomPreset Store [Description: "Description"] PresetId: PresetId
Type: Type
```

値は次のとおりです。

説明:

文字列 (0, 255)

カメラプリセットの説明を入力します。

プリセット ID:

整数 (1..15)

このプリセットの ID です。

タイプ:

すべて/カメラ

適用なし プリセットがカメラの位置にのみ影響するようにする場合は、[カメラ] を選択することをお勧めします。

セキュリティコマンド

xCommand Security Certificates CA Add

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

CA セキュリティ証明書をこのデバイスにアップロードします。これは複数行のコマンドです。

使用方法:

```
xCommand Security Certificates CA Add
```

xCommand Security Certificates CA Delete

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

このデバイスから CA セキュリティ証明書を削除します。

使用方法:

```
xCommand Security Certificates CA Delete Fingerprint: "Fingerprint"
```

値は次のとおりです。

指紋:

文字列 (0, 128)

削除される証明書の一意の識別子です。xCommand Security Certificates CA Show を実行することで指紋 ID を取得できます。

xCommand Security Certificates CA Show

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

このデバイスの CA セキュリティ証明書の詳細を表示します。

使用方法:

```
xCommand Security Certificates CA Show [Format: Format]
```

値は次のとおりです。

形式:

PEM/テキスト

表示される証明書の形式、PEM (Privacy Enhanced Mail) またはプレーンテキストを指定します。

既定値: テキスト

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Security Certificates CSR Create

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

PKCS#10 CSR (証明書署名要求) を作成し、リンクされるまで待機しているプライベートキーを保存します。コマンド パラメータによって CSR のサブジェクト名が決定されます。出力は PEM エンコード形式です。一度にアクティブにできる CSR/秘密キー ペアは 1 つだけなので、後続の呼び出しによって現在のペアが上書きされます。

使用方法:

```
xCommand セキュリティ証明書 CSR 作成 CommonName: "CommonName" [CountryName:
"CountryName"] [LocalityName: "LocalityName"] [OrganizationName:
"OrganizationName"] [OrganizationalUnit: OrganizationalUnit] [SanDns: SanDns]
[SanEmail: SanEmail] [SanIp: SanIp] [SanUri: SanUri] [StateOrProvinceName:
"StateOrProvinceName"]
```

値は次のとおりです。

CommonName:
文字列 (0, 64)
CSR サブジェクト名に "/CN=" を追加します。

国名:
文字列 (0, 2)
CSR サブジェクト名に "/C=" を追加します。

地域名:
文字列 (0, 64)
CSR サブジェクト名に "/L=" を追加します。

組織名:
文字列 (0, 64)
CSR サブジェクト名に "/O=" を追加します。

組織単位:
文字列配列 (0, 64 [5])
最大 5 個の "/OU=" パラメータを CSR サブジェクト名に追加します。

SanDns:
文字列配列 (0, 64 [5])
CSR サブジェクト代替名に最大 5 つの DNS パラメータを追加します。

SanEmail:
文字列配列 (0, 64 [5])
CSR サブジェクト代替名に最大 5 つのメールパラメータを追加します。

SanIp:
文字列配列 (0, 64 [5])
CSR サブジェクト代替名に最大 5 IP パラメータを追加します。

SanUri:
文字列配列 (0, 64 [5])
CSR サブジェクト代替名に最大 5 つの URI パラメーターを追加します。

StateOrProvinceName:
文字列 (0, 64)
CSR サブジェクト名に "/ST=" を追加します。

xCommand セキュリティ証明書 CSR リンク

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

このコマンドは、入力から PEM エンコード X.509 証明書を読み取り、それ自体の行で「.」によって終了します。提供された証明書を、対応する [セキュリティ証明書 CSR 作成] コマンドで以前に作成された秘密鍵にリンクします。

使用方法:

```
xCommand セキュリティ証明書 CSR リンク
```

xCommand セキュリティ証明書 CUCM CTL の削除

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

このデバイスから 証明書信頼リスト (CTL) と ID 信頼リスト (ITL) を削除します。このコマンドは CUCM に登録されているデバイスにのみ適用されます。

使用方法:

```
xCommand セキュリティ証明書 CUCM CTL の削除
```

xCommand セキュリティ証明書 CUCM CTL 表示

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

このデバイスの証明書信頼リスト (CTL) の詳細を表示します。CTL は CUCM に登録されているデバイスに使用され、デバイスが信頼する CUCM クラスター内のサービスの証明書のリストが含まれています。

使用方法:

```
xCommand セキュリティ証明書 CUCM CTL 表示
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand セキュリティ証明書 CUCM ITL 表示

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

このデバイスの Identity Trust List (ITL) の詳細を表示します。ITL は、CUCM に登録されているデバイスに使用され、デバイスが信頼する CUCM クラスタ内のサービスの証明書のリストが含まれています。

使用方法:

```
xCommand Security Certificates CUCM ITL Show
```

xCommand セキュリティ証明書 CUCM MIC 表示

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

このデバイスの製造元インストール証明書 (MIC) の詳細を表示します。MIC は Cisco マニュファクチャリング CA によって署名され、生産中にデバイスにインストールされます。この証明書は変更できません。

使用方法:

```
xCommand Security Certificates CUCM MIC Show [Format: Format]
```

値は次のとおりです。

形式:

PEM/テキスト
証明書の形式を PEM (Privacy Enhanced Mail) またはプレーンテキストから指定します。

デフォルト値: PEM

xCommand Security Certificates Services Activate

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

このデバイスでセキュリティ証明書を有効にします。

使用方法:

```
xCommand Security Certificates Services Activate Fingerprint: "Fingerprint"
Purpose: Purpose
```

値は次のとおりです。

指紋:

文字列 (0, 1024)
有効になっている証明書の一意の識別子 (ID) です。xCommand Security Certificates Services Show を実行することで指紋 ID を取得できます。

目的:

802.1X/HTTPS/監査/SIP/ペアリング/WebexIdentity/HttpClient/HttpProxy
この証明書の目的。
802.1X: 802.1X セキュリティ認証を適用します。
Audit: 外部監査ログを行います。
HTTPS: HTTPS セキュリティ認証を適用します。
HttpClient: xCommand の HttpClient コマンドを使用する際に、相互 TLS 認証を使用するためのもの。
HttpProxy: このソフトウェアバージョンでは使用されていません。
Pairing: ビデオデバイスに直接接続されていないタッチデバイスのペアリングするためのもの。
SIP: SIP セキュリティ認証を適用するためのもの。
WebexIdentity: Webex クラウドのエンドツーエンド暗号化シナリオでデバイスを識別するためのもの。WebexIdentity の特定の証明書をアクティベートします。この目的のために、コマンドは識別用の指紋が暗号化され、JWE ブロブにシリアル化されることを要求します。

xCommand Security Certificates Services Add

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

セキュリティ証明書をこのデバイスにアップロードします。これは複数行のコマンドです。

使用方法:

```
xCommand Security Certificates Services Add [PrivateKeyPassword:
"PrivateKeyPassword"]
```

値は次のとおりです。

秘密鍵パスワード:

文字列 (0, 128)
パスワードのプライベートキーの詳細を保存します。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Security Certificates Services Deactivate

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

このデバイスのセキュリティ証明書を無効にします。

使用方法:

```
xCommand Security Certificates Services Deactivate Fingerprint: "Fingerprint"
Purpose: Purpose
```

値は次のとおりです。

指紋:

文字列 (0, 1024)
無効化する証明書の一意の識別子です。xCommand Security Certificates Services Show を実行することで指紋 ID を取得できます。

目的:

802.1X/HTTPS/監査/SIP/ペアリング/WebexIdentity/HttpClient/HttpProxy
この証明書の目的。
802.1X: 802.1X セキュリティ認証を適用します。
Audit: 外部監査ログを行います。
HTTPS: HTTPS セキュリティ認証を適用します。
HttpClient: xCommand の HttpClient コマンドを使用する際に、相互 TLS 認証を使用するためのもの。
HttpProxy: このソフトウェアバージョンでは使用されていません。
Pairing: ビデオデバイスに直接接続されていないタッチデバイスのペアリングするためのもの。
SIP: SIP セキュリティ認証を適用するためのもの。
WebexIdentity: Webex クラウドのエンドツーエンド暗号化シナリオでデバイスを識別するためのもの。WebexIdentity の特定の証明書を無効化します。
この目的のために、コマンドは識別用の指紋が暗号化され、JWE ブロブにシリアル化されることを要求します。

xCommand Security Certificates Services Delete

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

このデバイスからセキュリティ証明書を削除します。

使用方法:

```
xCommand Security Certificates Services Delete Fingerprint: "Fingerprint"
```

値は次のとおりです。

指紋:

文字列 (0, 128)
削除される証明書の一意の識別子です。xCommand Security Certificates Services Show を実行することで指紋 ID を取得できます。

xCommand Security Certificates Services Enrollment Profiles Delete

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

登録プロファイルを削除して証明書を更新しないようにします。

使用方法:

```
xCommand Security Certificates Services Enrollment Profiles Delete
Fingerprint: "Fingerprint"
```

値は次のとおりです。

指紋:

文字列 (0, 128)
削除される証明書の一意の識別子です。xCommand Security Certificates Services Show を実行することで指紋 ID を取得できます。

xCommand Security Certificates Services Enrollment Profiles List

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

証明書の更新のための登録プロファイルを一覧表示します。

使用方法:

```
xCommand Security Certificates Services Enrollment Profiles List
```

xCommand Security Certificates Services Enrollment SCEP Profiles Set

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

SCEP を使用して証明書を更新するためのプロファイルを作成します。

使用方法:

```
xCommand Security Certificates Services Enrollment SCEP Profiles Set
Fingerprint: "Fingerprint" URL: "URL"
```

値は次のとおりです。

指紋:

文字列 (0, 128)
更新される証明書の署名者を確認するために使用される CA 指紋。

URL:

文字列 (0, 256)
更新リクエストが送信される SCEP サーバ URL。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Security Certificates Services Enrollment SCEP Request

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

指定された SCEP サーバーに署名のために CSR を送信します。CSR SubjectName パラメータは、C、ST、L、O、OUs、CN の順に構成されます。

使用方法:

```
xCommand Security Certificates Services Enrollment SCEP Request
[ChallengePassword: "ChallengePassword"] CommonName: "CommonName"
[CountryName: "CountryName"] Fingerprint: "Fingerprint" [LocalityName:
"LocalityName"] [OrganizationName: "OrganizationName"] [OrganizationalUnit:
OrganizationalUnit] [SanDns: SanDns] [SanEmail: SanEmail] [SanIp: SanIp]
[SanUri: SanUri] [StateOrProvinceName: "StateOrProvinceName"] URL: "URL"
```

値は次のとおりです。

ChallengePassword:
文字列 (0, 256)
SCEP サーバーから署名するためにアクセスするための OTP または共有秘密。

CommonName:
文字列 (0, 64)
CSR サブジェクト名に "/CN=" を追加します。

国名:
文字列 (0, 2)
CSR サブジェクト名に "/C=" を追加します。

指紋:
文字列 (0, 128)
SCEP 要求 CSR に署名するための CA 証明書の指紋。

地域名:
文字列 (0, 64)
CSR サブジェクト名に "/L=" を追加します。

組織名:
文字列 (0, 64)
CSR サブジェクト名に "/O=" を追加します。

組織単位:
文字列配列 (0, 64 [5])
最大 5 個の "/OU=" パラメータを CSR サブジェクト名に追加します。

SanDns:
文字列配列 (0, 64 [5])
CSR サブジェクト代替名に最大 5 つの Dns パラメータを追加します。

SanEmail:
文字列配列 (0, 64 [5])
CSR サブジェクト代替名に最大 5 つのメールパラメータを追加します。

SanIp:
文字列配列 (0, 64 [5])
CSR サブジェクト代替名に最大 5 IP パラメータを追加します。

SanUri:
文字列配列 (0, 64 [5])
CSR サブジェクト代替名に最大 5 つの URI パラメーターを追加します。

StateOrProvinceName:
文字列 (0, 64)
CSR サブジェクト名に "/ST=" を追加します。

URL:
文字列 (0, 256)
SCEP サーバの URL アドレス。

X コマンド セキュリティ証明書サービス登録 SCEP 更新リクエスト

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

指定された SCEP サーバで証明書を更新します。

使用方法:

```
xCommand セキュリティ証明書サービス登録 SCEP 更新リクエスト CAFingerprint:
"CAFingerprint" CertFingerprint: "CertFingerprint" URL: "URL"
```

値は次のとおりです。

CA 指紋:
文字列 (0, 128)

証明書指紋:
文字列 (0, 128)

URL:
文字列 (0, 256)
SCEP サーバの URL アドレス。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Security Certificates Services Show

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

このデバイスのセキュリティ証明書の詳細を表示します。

使用方法:

```
xCommand Security Certificates Services Show [Filter: Filter]
[FingerprintAlgorithm: FingerprintAlgorithm] [Format: Format]
```

値は次のとおりです。

フィルタ:

802.1X/HTTPS/監査/SIP/ペアリング/WebexIdentity/HttpClient/HttpProxy

選択したサービスに従って結果をフィルタリングします。

802.1X: 802.1X セキュリティ認証を適用します。

Audit: 外部監査ログを行います。

HTTPS: HTTPS セキュリティ認証を適用します。

HttpClient: xCommand の HttpClient コマンドを使用する際に、相互 TLS 認証を使用するためのもの。

HttpProxy: このソフトウェアバージョンでは使用されていません。

Pairing: ビデオデバイスに直接接続されていないタッチデバイスのペアリングするためのもの。

SIP: SIP セキュリティ認証を適用するためのもの。

WebexIdentity: Webex クラウドのエンドツーエンド暗号化シナリオでデバイスを識別するためのもの。

指紋アルゴリズム:

SHA-1/SHA-256

証明書の指紋を生成するときに使用するハッシュ関数を指定します。

SHA-1: SHA-1 ハッシュ関数を使用します。

SHA-256: SHA-256 ハッシュ関数 (SHA-2 ハッシュ関数ファミリー) が使用されます。

デフォルト値 : SHA_1

形式:

PEM/テキスト

表示される証明書の形式、PEM (Privacy Enhanced Mail) またはプレーンテキストを指定します。

既定値: テキスト

xCommand Security Certificates ThirdParty Disable

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

SMTP および HttpClient で使用されるバンドル証明書を無効にします。
このルート証明書で署名された証明書を提供するサーバーは、証明書を無効にすると拒否されます。

使用方法:

```
xCommand Security Certificates ThirdParty Disable Fingerprint: "Fingerprint"
```

値は次のとおりです。

指紋:

文字列 (0, 128)

無効にする証明書の一意の識別子です。xCommand Security Certificates Services Show を実行することで指紋 ID を取得できます。

xCommand Security Certificates ThirdParty Enable

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

SMTP および HttpClient で使用されるバンドル証明書を有効にします。

使用方法:

```
xCommand Security Certificates ThirdParty Enable Fingerprint: "Fingerprint"
```

値は次のとおりです。

指紋:

文字列 (0, 128)

有効になっている証明書の一意の識別子です。xCommand Security Certificates Services Show を実行することで指紋 ID を取得できます。

xCommand Security Certificates ThirdParty List

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

バンドルされているすべての証明書とその状態を一覧表示します。

使用方法:

```
xCommand Security Certificates ThirdParty List
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Security Certificates ThirdParty Show

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

単一のサードパーティ証明書を表示します。

使用方法:

```
xCommand Security Certificates ThirdParty Show Fingerprint: "Fingerprint"
[Format: Format]
```

値は次のとおりです。

指紋:

文字列 (0, 128)

表示する証明書の一意の識別子です。xCommand Security Certificates Services Show を実行することで指紋 ID を取得できます。

形式:

PEM/テキスト

表示される証明書の形式、PEM (Privacy Enhanced Mail) またはプレーンテキストを指定します。

既定値: テキスト

xCommand セキュリティ証明書 Webex 表示

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

このコマンドは Webex クラウド サービスに登録されているデバイスにのみ適用されます。

Webex クラウドで使用されるサーバとサービスの証明書を検証する、信頼できる CA 証明書のリストを表示します。

使用方法:

```
xCommand Security Certificates Webex Show [Filter: Filter] [Format: Format]
```

値は次のとおりです。

フィルタ:

Cisco/非 Cisco/TLS プロキシ/AirGap

Cisco: サーバおよび Cisco が提供するサービスとの通信時に使用される CA 証明書のリストを表示します。

Non-Cisco: サーバーおよび Cisco 以外が提供するサービスとの通信時に使用される CA 証明書の一覧を表示します。

TLS プロキシ: 発信トラフィックの TLS 検査プロキシを使用するときに必要な追加の CA 証明書のリストを表示します。

AirGap: デバイスが AirGapped 環境に展開されるときに必要な追加の CA 証明書のリストを表示します。

形式:

PEM/テキスト

表示される証明書の形式、PEM (Privacy Enhanced Mail) またはプレーンテキストを指定します。

既定値: テキスト

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand セキュリティ証明書 WebexIdentity 表示

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

このコマンドは、Webex クラウド サービスに登録されているデバイスにのみ適用されます。
Webex アイデンティティのルート認証局 (CA) リストを表示します。

使用方法:

```
xCommand Security Certificates WebexIdentity Show [Filter: Filter] [Format: Format]
```

値は次のとおりです。

フィルタ:

内部/外部

内部: 内部認証局の一覧を表示します。

外部: 外部認証局の一覧を表示します。

形式:

PEM/テキスト

表示される証明書の形式、PEM (Privacy Enhanced Mail) またはプレーンテキストを指定します。

既定値: テキスト

xCommand セキュリティ暗号リスト

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

さまざまなサービス (ドメイン) でサポートされている暗号を一覧表示します。結果:
名前: このドメインの名前。
* Syslog-TLS: TLS 経由のロギングに使用されます。
* HTTPS サーバー: デバイス自身のウェブ サーバーによって使用されます。
* HTTPS クライアント: デバイスからのすべての https クライアント トラフィックに使用されます。
* ペアリング: タッチ デバイスおよびマイク/アンプの周辺機器のペアリングに使用します。
* SIP TLS: 直接 IP SIP 接続、トランスポートが TLS の場合、CUCM または VCS または他の SIP プロキシへの SIP 接続に使用します。
Cipherlist: TLS ライブラリに送信される実際の暗号リスト文字列。
Ciphers: TLS 標準名ごとの暗号のスペースで区切られたリスト。

使用方法:

```
xCommand セキュリティ暗号リスト
```

xCommand Security ClientSecret Populate

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

このコマンドは Webex クラウド サービスに登録されているデバイスにのみ適用されます。
base64url エンコードされたプレーン テキスト値を受け入れ、初めてデバイスにクライアント シークレットをシードします。
その後にシークレットを更新するには、古いシークレットで暗号化された新しいシークレットを含む JWE ブロブを指定する必要があります。
これは複数行のコマンドです。

使用方法:

```
xCommand Security ClientSecret Populate Secret: "Secret"
```

値は次のとおりです。

シークレット:

文字列 (0, 1024)

1 回目: base64url エンコードされたプレーンテキスト値を指定します。

その後: 古いシークレットで暗号化された新しいシークレットを含む JWE ブロブを提供します。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Security Persistency

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

次の機能で永続的または非永続的モードを設定します。非永続モードでは、指定された機能によって収集された情報は、デバイスの再起動後は保持されません。永続モードがデフォルトです。このコマンドはデバイスを再起動します。

使用方法:

```
xCommand セキュリティ 永続性 CallHistory: CallHistory 構成: 構成 ConfirmAndReboot: ConfirmAndReboot DHCP: DHCP InternalLogging: InternalLogging LocalPhonebook: LocalPhonebook
```

値は次のとおりです。

CallHistory:

非永続/永続

非永続モードでは、デバイスの再起動時に通話履歴が削除されます。

構成:

非永続/永続

非永続モードでは、デバイスの再起動時に、すべての構成がデフォルトに設定されます。

ConfirmAndReboot:

可

デバイスを再起動します。

DHCP:

非永続/永続

非永続モードでは、デバイスの再起動時にすべての IP 関連情報が削除されます。

内部ロギング:

非永続/永続

非永続モードでは、デバイスの再起動時にイベントログが削除されます。

ローカル電話帳:

非永続/永続

非永続モードでは、デバイスの再起動時にローカル電話帳が削除されます。

xCommand Security Session Get

適用対象: すべての製品

必要なユーザロール: ADMIN、AUDIT、INTEGRATOR、PAIREDUSER、ROOMCONTROL、TOUCHUSER、USER

現在のセッションの詳細を表示します。

使用方法:

```
xCommand Security Session Get
```

xCommand セキュリティセッションリスト

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

アクティブなセッションを一覧表示します。

使用方法:

```
xCommand Security Session List
```

xCommand Security Session Terminate

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

セッションを終了します。

使用方法:

```
xCommand Security Session Terminate SessionId: "SessionId"
```

値は次のとおりです。

セッション ID:

文字列 (0, 32)

セッション ID の番号。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

SerialPort コマンド

xCommand SerialPort PeripheralControl Send

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ

シリアル接続経由で、デバイスに接続されているサードパーティの周辺機器にデータを送信します。これをアウトバウンドシリアル制御と呼びます。この機能の詳細については、SerialPort Outbound Mode 設定を参照してください。

使用方法:

```
xCommand SerialPort PeripheralControl Send [PortId: PortId]
[ResponseTerminator: "ResponseTerminator"] [ResponseTimeout: ResponseTimeout]
Text: "Text"
```

値は次のとおりです。

ポート ID:

1

データを送信するポートです。

デフォルト値: 1

ResponseTerminator:

文字列 (0, 128)

周辺機器から受信した残りの応答が無視されることを示す文字または文字列はレスポンスターミネータと呼ばれます。

レスポンスターミネータが指定されている場合、Send コマンドが発行された後に周辺機器のシリアルポートから受信した応答はバッファされます。このコマンドは、ResponseTerminator の文字または文字列が最初に出現するまでを返します。

ResponseTerminator が指定されていない場合、完全な応答が返されるか、ResponseTimeout の期間が満了したときに応答が切り捨てられます。

ResponseTimeout がコマンドに含まれていない場合、ResponseTerminator パラメータは無視されます。

応答タイムアウト:

整数 (50..5000)

周辺機器からの応答を待つ最大ミリ秒数。

Response タイムアウトが指定されている場合、デバイスは、Response タイムアウト期間中、または ResponseTerminator パラメータで指定された文字列の最初のオカレンスを受信するまで、周辺機器からの応答を待機します。

Response タイムアウトが指定されていない場合、デバイスはテキストペイロードの送信が完了した直後にコマンドセッションを終了します。周辺機器からの応答はすべて破棄されます。

テキスト:

文字列 (0, 128)

周辺機器に送信するテキストです。

文字を追加することができます。「\」記号を使用して特殊文字を、「\x{ASCIIHEXCODE}」を使用して 16 進数の文字を追加できます。

例: 「Power:on\r」または「Power:on\x0D」(キャリッジリターンで終了するコマンド)、「Power:on\n」または「Power:on\x0A」(新しい行で終わるコマンド) を指定します。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

待機コマンド

xCommand スタンバイ アクティベート

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

デバイスをスタンバイモードに設定します。スタンバイモードにすると、ビデオ出力がOffになり、カメラがスリープモードになります。

使用方法:

```
xCommand スタンバイ  アクティベート
```

xCommand Standby Deactivate

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

デバイスのスタンバイモードを終了します。

使用方法:

```
xCommand Standby Deactivate
```

xCommand Standby Halfwake

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

デバイスを「ハーフウェイク」状態に設定します。この状態は、ユーザーがリモートを取るか、タッチデバイスをタップして開始するように UI から通知します。

使用方法:

```
xCommand Standby Halfwake
```

xCommand Standby ResetHalfwakeTimer

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

一時的なハーフウェイクタイマー遅延を設定します。タイマーのリセット時にデバイスがハーフウェイクモードの場合、デバイスはハーフウェイクモードから出ます。アイドル状態が指定の遅延時間続くと、デバイスはハーフウェイク モードになります。

使用方法:

```
xCommand Standby ResetHalfwakeTimer [Delay: Delay]
```

値は次のとおりです。

遅延:

整数 (1..480)

遅延を分単位で設定します。

xCommand Standby ResetTimer

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

スタンバイ遅延タイマーをリセットするか、一時的なスタンバイ遅延を設定します。タイマーが設定されているときにデバイスがスタンバイモードの場合、デバイスはカウントダウンを開始する前にスタンバイモードを終了します。

Delay を指定しない場合、スタンバイ遅延タイマーがリセットされ、Standby Delay 設定 (xConfiguration Standby Delay) で指定された時間が経過した後、デバイスはスタンバイ状態になります。Delay を指定する場合、アイドル状態が指定時間続くと、デバイスはスタンバイ状態になります。次回、スタンバイの遅延は再び Standby Delay 設定で構成されます。

使用方法:

```
xCommand Standby ResetTimer [Delay: Delay]
```

値は次のとおりです。

遅延:

整数 (1..480)

遅延を分単位で設定します。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

SystemUnit コマンド

xCommand SystemUnit Boot

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

デバイスをリブートします。

使用方法:

```
xCommand SystemUnit Boot [Action: Action] [Force: Force]
```

値は次のとおりです。

アクション:

再起動/シャットダウン

デフォルトでは、デバイスは再起動します。[シャットダウン] を選択すると、デバイスは再起動しなくなります。

既定値: 再起動

強制:

False/True

デフォルトでは、デバイスが使用されているかどうかに関係なく、デバイスはすぐに再起動します。[False] を選択すると、デバイスは使用されていない場合 (アイドル、スタンバイ、ハーフウェイク モード) にのみ再起動されます。

デフォルト値: True

xCommand SystemUnit DeveloperPreview Activate

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

開発者プレビュー モードを有効にします。開発者プレビュー モードがアクティベートされ、DeveloperPreview オプション キーがインストールされている場合、public-api-preview xAPI ノードにアクセスできます。

使用方法:

```
xCommand SystemUnit DeveloperPreview Activate
```

xCommand SystemUnit DeveloperPreview Deactivate

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

開発者プレビュー モードを無効にする。

使用方法:

```
xCommand SystemUnit DeveloperPreview Deactivate
```

xCommand SystemUnit FactoryReset

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

コーデックを工場出荷時のデフォルト設定にリセットします。通話ログが削除され、すべてのデバイスパラメータがデフォルト値にリセットされます。コーデックにアップロードされたすべてのファイルが削除されます。オプション キーは影響を受けません。デバイスを工場出荷時設定にリセットするとき、どの設定とファイルを保持するかを選択するために、パラメータ Keep を使用します。

デフォルトでは、工場出荷時設定へのリセット後にデバイスが再起動しますが、別の TrailingAction を選択することで、他の動作を強制することができます。

使用方法:

```
xCommand SystemUnit FactoryReset Confirm: Confirm [Keep: Keep]
[TrailingAction: TrailingAction]
```

値は次のとおりです。

Confirm:

可

選択を確認するために含めます。

保存:

ローカルセットアップ/ネットワーク/Webex/プロビジョニング/シリアルポート/証明書/HTTP/リモートサポートユーザ

デバイスを工場出荷時の状態にリセットするときに保持する構成とファイルを選択します。

証明書:

クライアントおよび CA 証明書。

HTTP:

xConfiguration NetworkServices HTTP モード
xConfiguration NetworkServices HTTPS Server MinimumTLSVersion
xConfiguration NetworkServices HTTPS StrictTransportSecurity
xConfiguration NetworkServices HTTPS VerifyClientCertificate
xConfiguration NetworkServices HTTPS VerifyServerCertificate

LocalSetup:

xConfiguration Audio DefaultVolume
xConfiguration Audio SoundsAndAlerts RingVolume
xConfiguration Time Zone
xConfiguration UserInterface Language
xConfiguration Video Output Connector OverscanLevel
xCommand Camera Preset Store

Network:

xConfiguration Network 1 *
xConfiguration NetworkServices Wifi Allowed
xConfiguration NetworkServices Wifi Enabled

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

プロビジョニング:
xConfiguration Provisioning Mode
RemoteSupportUser:
リモートサポートユーザ (ある場合)
SerialPort:
xConfiguration SerialPort Mode
xConfiguration SerialPort BaudRate
xConfiguration SerialPort LoginRequired
Webex:
xConfiguration Spark ServiceOverrides GdsBaseUrl
xConfiguration Spark ServiceOverrides U2CBaseUrl

トレーリングアクション:

NoAction/Restart/Shutdown/WaitForUpgrade
Shutdown または NoAction を選択して、デフォルトの動作 (再起動) を上書きします。
WaitForUpgrade: デバイスはソフトウェアのアップグレードが完了するまで最大 20 分間待機し、再起動してリセットを完了します。

デフォルト値: Restart

xCommand SystemUnit FirstTimeWizard Stop

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ、USER

デバイスを初めて起動したときに表示されるウィザードを停止し、それなしでデバイスをセットアップできるようにします。デバイスが工場出荷時のデフォルト設定にリセットされている場合にのみ、ウィザードが再度表示されます。

使用方法:

```
xCommand SystemUnit FirstTimeWizard Stop
```

xCommand SystemUnit Notifications RemoveAll

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

xStatus SystemUnit 通知 Text/Type で報告されるシステム通知のリストを消去します。

使用方法:

```
xCommand SystemUnit Notifications RemoveAll
```

xCommand SystemUnit OptionKey Add

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

追加機能をサポートするオプション キーを追加します。

使用方法:

```
xCommand SystemUnit OptionKey Add Key: "Key"
```

値は次のとおりです。

キー:

文字列 (16, 24)
Onにするオプションのために受け取ったキー。

xCommand SystemUnit OptionKey List

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

すべてのオプションキーを一覧表示する。

使用方法:

```
xCommand SystemUnit OptionKey List
```

xCommand SystemUnit OptionKey Remove

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

指定されたオプションキーを削除します。

使用方法:

```
xCommand SystemUnit OptionKey Remove Type: Type
```

値は次のとおりです。

タイプ:

暗号化/マルチサイト/リモートモニタリング/開発者プレビュー [RoomKit RoomKitMini RoomBar CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk Board]

AVIntegrator/暗号化/マルチサイト/リモートモニタリング/開発者プレビュー [RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ BoardPro BoardProG2]

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand SystemUnit OptionKey RemoveAll

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

すべてのオプションキーを削除します。

使用方法:

```
xCommand SystemUnit OptionKey RemoveAll Confirm: Confirm
```

値は次のとおりです。

Confirm:

可

xCommand システム ユニット 製品 プラットフォーム セット

適用対象: RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール: 管理者

デバイスの製品プラットフォームを選択します。このコマンドは通常、デバイスが修理に出された後、製品プラットフォームが実際の製品と一致しない場合に使用されます。慎重に使用してください。

このコマンドを使用して Room Panorama または Room 70 Panorama の製品プラットフォームを変更すると、Panorama 固有の機能が無効になります。有効な Panorama サービス契約がある場合には、Cisco に連絡してサービスを受領してください。

使用方法:

```
xCommand SystemUnit ProductPlatform Set Platform: Platform
```

値は次のとおりです。

プラットフォーム:

CODECPRO/ROOM70S/ROOM70D [CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]

ROOMKITEQ/ROOMKITEQX [RoomKitEQX CodecEQ]

CODECPlus/ROOM55D/ROOM70S/ROOM70D [CodecPlus Room70/Room55D]

ROOMKITEQ: プラットフォームは Codec EQ に設定されています。

ROOMKITEQX: このソフトウェアバージョンでは利用できません。使用しないでください。

CODECPRO: プラットフォームは Codec Pro に設定されています。

CODECPLUS: プラットフォームは Codec Plus に設定されています。

ROOM55D:作業台は Room 55 Dual に設定されています。

ROOM70S: Codec Plus および Room 70 では、プラットフォームは Room 70 Single に設定されます。Codec Pro および Room 70 G2 の場合、プラットフォームは Room 70 Single G2 に設定されます。

ROOM70D: Codec Plus および Room 70 では、プラットフォームは Room 70 Dual に設定されます。Codec Pro および Room 70 G2 の場合、プラットフォームは Room 70 Dual G2 に設定されます。

xCommand SystemUnit SignInBanner Clear

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

xCommand SystemUnit SignInBanner Set でログインバナーセットを消去します。

使用方法:

```
xCommand SystemUnit SignInBanner Clear
```

xCommand SystemUnit SignInBanner Get

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

xCommand SystemUnit SignInBanner Set で設定されたカスタムメッセージを取得します。

使用方法:

```
xCommand SystemUnit SignInBanner Get
```

xCommand SystemUnit SignInBanner Set

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

サインインバナーをセットアップします。サインインバナーは、デバイスのウェブインターフェイスまたはコマンド ライン インターフェイスにサインインする前にユーザーに表示されるメッセージです。これは複数行のコマンドです。

Use:

xCommand SystemUnit SignInBanner Set <enter>

バナーテキスト<enter>

. <enter>

使用方法:

```
xCommand SystemUnit SignInBanner Set
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand SystemUnit SoftReset

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ほとんどのパラメータをデフォルト値にリセットします。これには、カメラの位置、言語、音量など、会議室のセットアップに関連するパラメータは含まれていません。

使用方法:

```
xCommand SystemUnit SoftReset Confirm: Confirm
```

値は次のとおりです。

Confirm:

可

xCommand SystemUnit SoftwareUpgrade

適用対象: すべての製品

必要なユーザロール: ADMIN、TOUCHUSER

指定の URL からソフトウェアを取得してソフトウェアのアップグレードを開始します。

使用方法:

```
xCommand SystemUnit SoftwareUpgrade [強制: 強制] URL: "URL"
```

値は次のとおりです。

Forced:

False/True

ユーザーに更新を承認または延期する機会を与えずに、デバイスにソフトウェア アップグレードをすぐに受け入れるように強制できます。

デフォルト値: True

URL:

文字列 (0, 1024)

ソフトウェアパッケージの場所の URL です。

xCommand SystemUnit WelcomeBanner Clear

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

xCommand SystemUnit WelcomeBanner Set で設定したウェルカムバナーを消去します。

使用方法:

```
xCommand SystemUnit WelcomeBanner Clear
```

xCommand SystemUnit WelcomeBanner Get

適用対象: すべての製品

必要なユーザロール: ADMIN、AUDIT、INTEGRATOR、PAIREDUSER、ROOMCONTROL、TOUCHUSER、USER

xCommand SystemUnit WelcomeBanner Set でカスタム メッセージ セットを取得します。

使用方法:

```
xCommand SystemUnit WelcomeBanner Get
```

xCommand SystemUnit WelcomeBanner Set

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

デバイスのウェブ インターフェイスまたはコマンド 回線 インターフェイスにログインした後にユーザーに表示されるウェルカム バナーをセットアップします。

バナーには、ユーザーが開始するために必要な情報や、設定を変更する際に知っておくべき事項などの情報を含めることができます。これは複数行のコマンドです。

Use:

xCommand SystemUnit WelcomeBanner Set <enter>

Banner text <enter>

. <enter>

使用方法:

```
xCommand SystemUnit WelcomeBanner Set
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

時間コマンド

xCommand Time DateTime Get

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デバイスから日時を読み取ります。

使用方法:

```
xCommand Time DateTime Get
```

xCommand Time DateTime Set

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

NTP (Network Time Protocol) で利用できない場合、デバイスの日付と時刻を設定します。

使用方法:

```
xCommand Time DateTime Set [Day: Day] [Hour: Hour] [Minute: Minute] [Month:
Month] [Second: Second] [Year: Year]
```

値は次のとおりです。

Day:
整数 (1..31)

時間:
整数 (0..23)

分:
整数 (0..59)

月:
整数 (1..12)

Second:
整数 (0..59)

年:
整数 (2015..2100)

ユーザインタフェースコマンド

xCommand UserInterface Accessibility ScreenReader Set

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

スクリーンリーダーを有効または無効にします。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Accessibility ScreenReader Set Mode: Mode
```

値は次のとおりです。

Mode:
On/Off
オン: スクリーンリーダーを有効にします。
オフ: スクリーンリーダーを無効にします。

xCommand ユーザインターフェイス ブランディング クリア

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ

カスタム壁紙、ブランド背景画像、ロゴファイルをデバイスから削除します。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Branding Clear
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand UserInterface Branding Delete

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ、USER

Type パラメータで指定されている画像ファイルをデバイスから削除します。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Branding Delete Type: Type
```

値は次のとおりです。

タイプ:

背景/ブランディング/スケジューラブランディング/スケジューラ背景/ハーフウェイク背景/ハーフウェイクブランディング/ワークスペースアバター

Background: デバイスがアクティブになっているときに表示される背景画像 (壁紙) を削除します。

ブランディング: デバイスがアクティブなときに表示されるロゴを削除します。

ハーフウェイクバックグラウンド: デバイスがハーフウェイク状態のときに表示される背景画像 (壁紙) を削除します。

ハーフウェイクブランディング: デバイスがハーフウェイク状態のときに表示されるロゴを削除します。

スケジューラバックグラウンド: スケジューラモード時に表示される Room Navigator の背景画像 (壁紙) を削除します。

SchedulerBranding: スケジューラモード中の Room Navigator 上に表示されるロゴを削除します.

WorkspaceAvatar: スケジューラモードの Room Navigator の会議室状況アイコンに表示されるアバターを削除します。

xCommand ユーザインタフェース ブランディング フェッチ

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ、USER

URL から画像ファイルを取得し、そのファイルをデバイスに保存します。最初に URL を入力してください。サポートされている画像形式は、BMP、GIF、JPEG、および PNG です。画像サイズの上限は 16 メガピクセル、ファイルサイズの上限は 8MB です。

Type パラメータで画像の種類を指定します。背景画像の場合は、自動的に適用されます。

このコマンドは HTTP 要求を発行するため、HTTP 要求カウントに含まれます。同時要求の最大数には制限があります。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Branding Fetch [Checksum: "Checksum"] [ChecksumType:
ChecksumType] [CustomId: "CustomId"] Type: Type URL: "URL"
```

値は次のとおりです。

チェックサム:

文字列 (0, 128)

取得する画像ファイルのチェックサムを指定します。チェックサムは、ダウンロードされた画像ファイルの整合性を保証するために使用されます。HTTP を使用する場合、チェックサムを追加することが必須です。HTTPS を使用する場合、未署名の証明書、またはデバイスの CA リストにない自己署名証明書 (信頼されていない) を提示するサーバからテンプレートをダウンロードする場合にのみ、チェックサムを追加することが必須です。

チェックサムタイプ:

SHA512

チェックサムの計算に使用されるアルゴリズムを指定します。

既定値: SHA512

CustomId:

文字列 (0, 128)

この画像のカスタム識別子を指定します。xStatus UserInterface Branding CustomId を使用することで、使用される画像の CustomId を取得できます。

タイプ:

背景/ブランディング/スケジューラブランディング/スケジューラ背景/ハーフウェイク背景/ハーフウェイクブランディング/ワークスペースアバター

この画像の使用タイプを指定します。

背景: デバイスがアクティブなときに表示される背景画像 (壁紙) を取得します。

ブランディング: デバイスがアクティブなときに表示されるロゴを取得します。

HalfwakeBackground: デバイスがハーフウェイク状態のときに表示できる背景画像 (壁紙) を取得します。

HalfwakeBranding: デバイスがハーフウェイク状態のときに表示できるロゴを取得します。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

SchedulerBackground: スケジューラモードの Room Navigator で表示される背景画像 (壁紙) を取得します。
SchedulerBranding: スケジューラモードの Room Navigator に表示できるロゴを取得します。
WorkspaceAvatar: スケジューラモード時の Room Navigator 上で会議室状況アイコンで表示されるアバターを取得します。

URL:

文字列 (5, 250)
画像ファイルの URL を指定します。URL は最初のパラメータでなければなりません。

X コマンド ユーザインターフェイス ブランディング 取得

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ、USER

このコマンドは、Type パラメータで指定された画像ファイルがデバイスに保存されている場合に、その画像ファイルを返します。ファイルは Base64 エンコードされています。最初にアップロードされたファイルの形式に関係なく、形式は背景画像が JPG、ロゴが PNG になります。

背景画像は 3 つのサイズで保存されます。1 つはメインスクリーン、1 つはタッチコントローラーまたはスケジューラ、もう 1 つはウェブインターフェイスのイラスト用です。[サイズ] パラメータを使用して、取得するサイズを選択します。ロゴには 1 つのサイズしかありません。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Branding Get [Size: Size] Type: Type
```

値は次のとおりです。

サイズ:

大/小/サムネイル
大: メイン画面に表示される画像のサイズです。
小: タッチ コントローラーに表示される画像のサイズです。
サムネイル: ウェブインタフェースのイラストで使用される画像のサイズです。

既定値: 大

タイプ:

背景/ブランディング/スケジューラブランディング/スケジューラ背景/ハーフウェイク背景/ハーフウェイクブランディング/ワークスペースアバター
背景: デバイスがアクティブな場合に表示される背景画像 (壁紙) を返します。
ブランディング: デバイスがアクティブなときに表示されるロゴを返します。
HalfwakeBackground: デバイスがハーフウェイク状態のときに表示される背景画像 (壁紙) を返します。
HalfwakeBranding: デバイスがハーフウェイク状態のときに表示されるロゴを返します。
SchedulerBackground: スケジューラモードの Room Navigator に表示される背景画像 (壁紙) を返します。
SchedulerBranding: スケジューラモード中の Room Navigator 上に表示されるロゴを返します。
WorkspaceAvatar: スケジューラモード時の Room Navigator 上で会議室状況アイコンで表示されるアバターを返します。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand ユーザインタフェースのブランディングが更新されました

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ、USER

このコマンドにより、新しい画像ファイルがデバイスにアップロードされ、使用の準備ができたことを通知するイベントが作成されます。Type パラメータは、画像の種類を識別します。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Branding Updated Type: Type
```

値は次のとおりです。

タイプ:

背景/ブランディング/スケジューラブランディング/スケジューラ背景/ハーフウェイク背景/ハーフウェイクブランディング/ワークスペースアバター

背景: デバイスがアクティブな場合に使用できる新しい背景画像 (壁紙) が使用できるようになりました。

ブランディング: デバイスがアクティブなときに表示できる新しいロゴが使用できるようになりました。

HalfwakeBackground: ハーフウェイク状態のデバイスが使用できるようになったときに表示できる新しい背景画像 (壁紙)。

HalfwakeBranding: ハーフウェイク状態のデバイスが使用できるようになったときに表示できる新しいロゴ。

SchedulerBackground: スケジューラモードの Room Navigator が使用できるようになったときに表示できる新しい背景画像 (壁紙)。

SchedulerBranding: スケジューラモードの Room Navigator が使用できるようになったときに表示できる新しいロゴ。

WorkspaceAvatar: スケジューラモードの Room Navigator が使用できるようになったときに表示できる新しいアバター (会議室状況アイコン)。

xCommand UserInterface Branding Upload

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ、USER

画像ファイルをデバイスにアップロードします。サポートしている画像形式は、BMP、GIF、JPEG、および PNG で、最大画像サイズは 16 メガピクセルです。ファイルは Base64 でエンコードされている必要があり、ファイルサイズは最大 8 MB です。

Type パラメータは、画像の用途を指定します。背景画像の場合は、自動的に適用されます。

これは複数行のコマンドです。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Branding Upload [CustomId: "CustomId"] Type: Type
```

値は次のとおりです。

CustomId:

文字列 (0, 256)

この画像のカスタム識別子を指定します。xStatus UserInterface Branding CustomId を使用することで、使用される画像の CustomId を取得できます。

タイプ:

背景/ブランディング/スケジューラブランディング/スケジューラ背景/ハーフウェイク背景/ハーフウェイクブランディング/ワークスペースアバター

バックグラウンド: デバイスがアクティブなときに使用できるバックグラウンド画像をアップロードします。

ブランディング: デバイスがアクティブなときに表示されるロゴをアップロードします。

ハーフウェイクバックグラウンド: デバイスがハーフウェイク状態のときに表示される背景画像 (壁紙) をアップロードします。

ハーフウェイクブランディング: デバイスがハーフウェイク状態のときに表示されるロゴをアップロードします。

SchedulerBackground: スケジューラモードで Room Navigator の背景画像 (壁紙) をアップロードします。

SchedulerBranding: スケジューラモードの Room Navigator のロゴをアップロードします。

WorkspaceAvatar: スケジューラモードの Room Navigator で表示されるアバター (会議室状況アイコン用) をアップロードします。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand ユーザインターフェイス拡張機能の消去

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール

デバイスからユーザーインターフェイス拡張機能 (ウェブアプリ、ウェブウィジェット、カスタムボタン、カスタムパネル) を削除します。ActivityType を指定しない場合、すべての拡張機能が削除されます。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Extensions Clear [ActivityType: ActivityType]
```

値は次のとおりです。

アクティビティの種類:

Custom/WebApp/WebWidget *[DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro BoardProG2]*

Custom/WebWidget *[RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

Custom: カスタムボタンおよびカスタムパネルは削除されます。ウェブアプリとウェブウィジェットへの影響はありません。

WebApp: ウェブアプリが削除されます。ウェブウィジェット、カスタムボタン、カスタムパネルには影響はありません。

WebWidget: ウェブ ウィジェットが削除されました。ウェブアプリ、カスタムボタン、カスタムパネルへの影響はありません。

xCommand ユーザインターフェイス拡張機能のエクスポート

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール

このコマンドの XML 結果として UserInterface Extensions をエクスポートします。

これにより、ローカルウェブインタフェースからの抽出と同じ結果になりますが、プログラムで使用することもできます。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Extensions Export [EmbedData: EmbedData]
```

値は次のとおりです。

埋め込みデータ:

On/Off

Off: XML 出力に base64 でエンコードされたアイコンを埋め込まないでください。

On: base64 でエンコードされたアイコンを出力に埋め込みます。

xCommand UserInterface Extensions Icon Delete

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

デバイスの UI 拡張機能アイコン リストからアイコンを削除します。削除するアイコンの ID を指定します。

xCommand UserInterface Extensions Icon List を使用して、アイコンの id を持つすべてのアイコンのリストを取得できます。

探しているアイコンがどれかわからない場合は、xcommand UserInterface アイコン Get を使用して、base64 エンコード値を取得できます。

そして、インターネットツールを使って、base64 を画像にデコードします。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Extensions Icon Delete Id: "Id"
```

値は次のとおりです。

ID:

文字列 (0, 128)

削除するアイコンの ID です。

xCommand UserInterface Extensions Icon DeleteAll

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

すべてまたは一部の UI 拡張機能アイコンを削除します。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Extensions Icon DeleteAll [Filter: Filter]
```

値は次のとおりです。

フィルタ:

すべて/未使用

すべて: すべての UI 拡張機能アイコンを削除します。

未使用: UI 拡張機能で使用されていないアイコンのみを削除します。

既定値: すべて

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand UserInterface Extensions Icon Download

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

指定された URL からアイコンをダウンロードし、デバイス上の UI 拡張機能アイコンとして保存します。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Extensions Icon Download Url: "Url"
```

値は次のとおりです。

URL:

文字列 (0, 2048)

アイコンの URL です。

xCommand UserInterface Extensions Icon Fetch

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

ウェブサイトで代表的なアイコンを検索し、これをウェブ アプリや他の UI 拡張機能で使用するデバイスにダウンロードします。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Extensions Icon Fetch Url: "Url"
```

値は次のとおりです。

URL:

文字列 (0, 2048)

適切なアイコンを探し、ダウンロードを試みるウェブサイトの URL です。

xCommand ユーザインターフェイス拡張機能アイコン 取得

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

指定された ID の UI 拡張機能アイコンの base64 エンコード式を取得します。
画像を見たい場合は、インターネット ツールを使用して base64 を画像にデコードできます。
xCommand UserInterface Extensions Icon List を使用して、すべてのアイコン ID の一覧表示を取得できます。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Extensions Icon Get Id: "Id"
```

値は次のとおりです。

ID:

文字列 (0, 128)

アイコンに対応する一意の識別子です。

xCommand UserInterface Extensions Icon List

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

デバイス上のすべての UI 拡張機能アイコンの一意の識別子のリストを取得します。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Extensions Icon List
```

xCommand UserInterface Extensions Icon Upload

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

デバイスの UI 拡張機能で使用するアイコン画像をアップロードします。
これは複数行のコマンドです。画像の base64 エンコード バージョンを提供します。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Extensions Icon Upload [Id: "Id"]
```

値は次のとおりです。

ID:

文字列 (0, 128)

アイコンに対応するカスタムの一意の識別子です。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand UserInterface Extensions List

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

デバイス上に存在するユーザ インターフェイス拡張機能 (ウェブ アプリ、カスタム ボタン、カスタムパネル) を一覧表示します。ActivityType を指定しない場合、すべての拡張機能が一覧表示されます。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Extensions List [ActivityType: ActivityType]
```

値は次のとおりです。

アクティビティの種類:

Custom/WebApp/WebWidget *[DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro BoardProG2]*

Custom/WebWidget *[RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

カスタム: カスタムボタンとカスタムパネルが一覧表示されます。ウェブ アプリとウェブウィジェットは含まれていません。

WebApp: ウェブアプリが一覧表示されます。ウェブウィジェット、カスタムボタン、カスタムパネルは含まれません。

WebWidget: ウェブウィジェットが一覧表示されます。ウェブアプリ、カスタムボタン、カスタムパネルは含まれません。

xCommand UserInterface Extensions Panel Clicked

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

ユーザーがカスタムボタン (カスタムパネル、アクションボタン、ウェブアプリの場合) をクリックしたときにイベントを作成します。

使用方法:

```
xCommand ユーザインターフェース拡張パネルがクリックされました [Origin: Origin] PanelId: "PanelId" [PeripheralId: "PeripheralId"]
```

値は次のとおりです。

発信元:

OSD/RoomScheduler/Controller

パネル ID:

文字列 (0, 255)

カスタムパネル、アクションボタン、またはウェブアプリの一意の識別子です。

周辺機器 ID:

文字列 (0, 128)

xCommand UserInterface Extensions Panel Close

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

開いているカスタムパネルまたはウェブアプリを閉じます。

使用方法:

```
xCommand ユーザインターフェース拡張パネルを閉じる [PeripheralId: "PeripheralId"] [Target: Target]
```

値は次のとおりです。

周辺機器 ID:

文字列 (0, 128)

ターゲット:

OSD/RoomScheduler/Controller

xCommand UserInterface Extensions Panel Open

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

指定された PanelId を持つカスタム パネルまたはウェブ アプリを開きます。パネルに複数のページがある場合、PageId パラメータを含めることで、どのページを開くかを指定できます。

使用方法:

```
xCommand ユーザインターフェース拡張パネルを開く [PageId: "PageId"] PanelId: "PanelId" [PeripheralId: "PeripheralId"] [Target: Target]
```

値は次のとおりです。

ページ ID:

文字列 (0, 255)

カスタムパネル上のページの一意の識別子です。

パネル ID:

文字列 (0, 255)

カスタム パネルまたはウェブ アプリの一意の識別子です。

周辺機器 ID:

文字列 (0, 128)

ターゲット:

OSD/RoomScheduler/Controller

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand UserInterface Extensions Panel Remove

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール

このデバイスのユーザー インターフェイスからカスタム パネル、アクション ボタン、またはウェブ アプリを削除します。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Extensions Panel Remove PanelId: "PanelId"
```

値は次のとおりです。

パネル ID:

文字列 (0, 255)

カスタムパネル、アクションボタン、またはウェブアプリの一意の識別子です。

xCommand UserInterface Extensions Panel Save

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMControl

カスタム パネル、アクション ボタン、またはウェブ アプリを現在の構成に追加します。同じパネル ID のカスタムパネル、アクションボタン、またはウェブアプリがすでに存在する場合は上書きされます。これは複数行のコマンドです。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Extensions Panel Save PanelId: "PanelId"
```

値は次のとおりです。

パネル ID:

文字列 (1, 255)

カスタムパネル、アクションボタン、またはウェブアプリの一意の識別子です。

xCommand UserInterface Extensions Panel Update

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

指定された PanelId を持つカスタム パネル、アクションボタン、またはウェブアプリを更新します。変更が成功するとすぐにデバイスに表示されます。

使用方法:

```
xCommand ユーザインターフェース拡張パネルの更新 [色: "色"] [アイコン: アイコン] [アイコン ID: "アイコン ID"] [場所: 場所] [モード: モード] [名前: "名前"] パネル ID: "パネル ID" [可視性: 可視性]
```

値は次のとおりです。

色:

文字列 (0, 255)

ボタンの色を 16 進数で指定します (例、#4287f5)。

アイコン:

Briefing/Camera/Concierge/Disc/Handset/Help/Helpdesk/Home/Hvac/Info/Input/Language/Laptop/Lightbulb/Media/Microphone/Power/Proximity/Record/Spark/Tv/Webex/General/Custom

ボタン上のアイコン。リストからプレインストールされたアイコンの 1 つを使用するか、Custom を選択してデバイスにアップロードされているカスタムアイコンを使用します。

IconId:

文字列 (0, 255)

アップロードされたカスタムアイコンの一意の識別子。

場所:

HomeScreen/CallControls/HomeScreenAndCallControls/ControlPanel/RoomScheduler/Hidden

ホーム画面にボタン (カスタムパネル、アクションボタン、またはウェブアプリ用) を表示するか、通話コントロールに配置するか、その両方に配置するか、またはどこにも配置しないかを決定します。

このソフトウェアバージョンの Room 70 Panorama および Room Panorama では、このパラメータは利用できません。

CallControls: ボタンは通話コントロールのみにあります。これは、通話中にのみ利用できることを意味します。

非表示: ボタンは常に非表示ですが、API コマンドを使用してパネルまたはウェブ アプリを開くことができます。

ホーム画面: ボタンはホーム画面にのみ表示されます。

HomeScreenAndCallControls: ボタンは Home 画面と通話コントロールの両方にあります。

Mode:

フルスクリーン/モーダル

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

名前:

文字列 (0, 255)

カスタムパネル、アクションボタン、またはウェブアプリの新しい名前です。

パネル ID:

文字列 (0, 255)

カスタムパネル、アクションボタン、またはウェブアプリの一意の識別子です。

Visibility:

自動/非表示

ユーザーインターフェイスにボタン (カスタムパネル、アクションボタン、またはウェブアプリ用) を表示するかどうかを選択します。

Auto: ボタンはユーザーインターフェイスに表示されます。

Hidden: ボタンはユーザーインターフェイスに表示されません。

xCommand UserInterface Extensions Set

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール

デバイスのユーザーインターフェイス拡張機能 (ウィジェット) で選択した設定スキームを設定します。UserInterface Extensions ステータスツリーを更新します。これは複数行のコマンドです。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Extensions Set ConfigId: "ConfigId"
```

値は次のとおりです。

ConfigId:

文字列 (0, 40)

構成の一意の識別子です。

xCommand UserInterface Extensions WebApp Save

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール

ウェブページ (ウェブ アプリ) を開くボタンをデバイスに追加します。同じパネル ID のカスタムパネル、アクションボタン、またはウェブアプリがすでに存在する場合は上書きされます。

デバイスが形式をサポートしている場合、ボタンのアイコンはウェブ アプリの URL から自動的に取得されます。そうでない場合は、汎用ウェブ アプリ アイコンが使用されます。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Extensions WebApp 保存 [場所: 場所] [モード: モード] 名前: "名前" [パネル ID: "パネル ID"] URL: "URL"
```

値は次のとおりです。

場所:

HomeScreen/CallControls/HomeScreenAndCallControls/ControlPanel/RoomScheduler/Hidden

ウェブ アプリのボタンをホーム画面、通話コントロールのどちらに配置するか、両方の場所に配置するか、またはどこにも配置しないかを指定します。

CallControls: ボタンは通話コントロールのみにあります。これは、通話中にのみ利用できることを意味します。

非表示: ボタンは常に非表示ですが、API コマンドを使用してウェブ アプリを開くことができます。

ホーム画面: ボタンはホーム画面にのみ表示されます。

HomeScreenAndCallControls: ボタンは Home 画面と通話コントロールの両方にあります。

Mode:

フルスクリーン/モーダル

名前:

文字列 (0, 40)

ユーザ インターフェイスに表示されるウェブ アプリの名前です。

パネル ID:

文字列 (0, 255)

ウェブ アプリの一意の識別子です。

URL:

文字列 (0, 2048)

ウェブ アプリの URL です。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand UserInterface Extensions WebWidget Remove

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール

PanelId で指定されたウェブ ウィジェットを削除します。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Extensions WebWidget Remove PanelId: "PanelId"
```

値は次のとおりです。

パネル ID:

文字列 (0, 255)

ウェブウィジェットの一意の識別子です。

xCommand UserInterface Extensions WebWidget Save

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール

ウェブ ウィジェットを追加すると、デバイスのホーム画面に表示されます。ウェブウィジェットはインタラクティブではありませんが、ウェブページのコンテンツを表示するためのビューを提供します。一度に 1 つのウィジェットしか使用できません。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Extensions WebWidget Save [Name: "Name"] [PanelId:
"PanelId"] [RefreshInterval: RefreshInterval] [URL: "URL"]
```

値は次のとおりです。

名前:

文字列 (0, 40)

ユーザ インターフェイスに表示されるウェブ ウィジェットの名前です。

パネル ID:

文字列 (0, 255)

ウェブウィジェットの一意の識別子です。

RefreshInterval:

整数 (0..86400)

ウェブページを更新する頻度 (秒)。

URL:

文字列 (0, 2048)

ウェブウィジェットの URL。

xCommand UserInterface Extensions Widget Action

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

指定されたウィジェットのアクションを設定します。UserInterface Extensions ステータスツリーを更新します。

使用方法:

```
xCommand ユーザインターフェース拡張ウィジェットアクション [Origin: Origin] [PeripheralId:
"PeripheralId"] [Type: "Type"] [Value: "Value"] WidgetId: "WidgetId"
```

値は次のとおりです。

発信元:

OSD/RoomScheduler/Controller

周辺機器 ID:

文字列 (0, 128)

タイプ:

文字列 (0, 255)

設定されているウィジェットのタイプです。

値:

文字列 (0, 255)

ウィジェットの値です。値の範囲はウィジェットのタイプによって異なります。

ウィジェット ID:

文字列 (0, 255)

ウィジェットの一意の識別子です。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand UserInterface Extensions Widget SetValue

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール

指定されたウィジェットの値を設定します。UserInterface Extensions ステータスツリーを更新します。値が範囲外の場合、エラーを返します。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Extensions Widget SetValue Value: "Value" WidgetId: "WidgetId"
```

値は次のとおりです。

値:

文字列 (0, 255)

ウィジェットの値です。値の範囲はウィジェットのタイプによって異なります。

ウィジェット ID:

文字列 (0, 255)

ウィジェットの一意の識別子です。

xCommand UserInterface Extensions Widget UnsetValue

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール

指定されたウィジェットの値を空にします。ユーザインターフェイス拡張機能の状況ツリーを更新し、ユーザインターフェイスにこのウィジェットが選択されていないことを通知します。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Extensions Widget UnsetValue WidgetId: "WidgetId"
```

値は次のとおりです。

ウィジェット ID:

文字列 (0, 255)

ウィジェットの一意の識別子です。

xCommand ユーザインターフェイス LedControl カラーセット

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ

Room Navigator の壁掛けバージョンには LED ライトが付いています。色を指定し、LED ライトの On/Offを切り替えるには、このコマンドを使用します。

このコマンドを有効にするには、UserInterface LedControl Mode 設定が手動になっている必要があります。

使用方法:

```
xCommand UserInterface LedControl Color Set Color: Color
```

値は次のとおりです。

色:

緑/黄/赤/紫/青/オレンジ/オーキッド/アクアマリン/フクシア/バイオレット/マゼンタ/スカーレット/ゴールド/ライム/ターコイズ/シアン/オフ

Off: LED ライトをOffにします。

他の値: 指定された色で LED ライトをOnにします。

xCommand UserInterface Message Alert Clear

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

[ユーザインターフェイスのメッセージ警告表示] コマンドを使用して表示されたメッセージを削除します。これは、Duration パラメータが設定されていない場合に必要です。

使用方法:

```
xCommand ユーザインターフェース メッセージ アラート クリア [PeripheralId: "PeripheralId"] [Target: Target]
```

値は次のとおりです。

周辺機器 ID:

文字列 (0, 128)

ターゲット:

OSD/RoomScheduler/Controller

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand UserInterface Message Alert Display

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール

画面にメッセージを表示します。オプションで、メッセージを指定した期間表示させ続けることができます。Duration が設定されていない場合、UserInterface Message Alert Clear コマンドをコマンドの後に入力する必要があります。

使用方法:

`xCommand ユーザインターフェースメッセージアラート表示 [期間: 期間] [周辺機器 ID: "周辺機器ID"] [ターゲット: ターゲット] テキスト: "テキスト" [タイトル: "タイトル"]`

値は次のとおりです。

Duration:

整数 (0..3600)

メッセージが画面に表示される時間 (秒) です。0 に設定すると、ユーザインタフェースメッセージアラート消去コマンドが送信されるまで、メッセージが表示されます。

デフォルト値: 0

周辺機器 ID:

文字列 (0, 128)

ターゲット:

OSD/RoomScheduler/Controller

テキスト:

文字列 (0, 255)

表示するメッセージです。<p>および
 HTML タグは通常通り改行します。その他のタグはプレーンテキストとして表示されます。

件名:

文字列 (0, 255)

メッセージのタイトルを入力します。

xCommand UserInterface Message Prompt Clear

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

UserInterface Message Prompt Display コマンドを使って表示されていたウィンドウを削除します。これは、[継続時間] パラメータが設定されていない場合に必要です。

xFeedback コマンドを使用して、ユーザからのフィードバックを監視します。xFeedback コマンドの詳細については、このガイドの API の紹介のセクションを参照してください。

使用方法:

`xCommand ユーザインターフェース メッセージ プロンプト クリア [FeedbackId: "FeedbackId"] [PeripheralId: "PeripheralId"] [Target: Target]`

値は次のとおりです。

フィードバック ID:

文字列 (0, 255)

FeedbackId は UserInterface Message Prompt Display コマンドにより与えられる FeedbackId と一致します。

周辺機器 ID:

文字列 (0, 128)

ターゲット:

OSD/RoomScheduler/Controller

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand UserInterface Message Prompt Display

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール

タイトル、テキスト、およびユーザーからの応答のための最大 5 つのオプションを含む小さなウィンドウを画面に表示します。メッセージは、ユーザーが応答するまで、またはデバイスが UserInterface Message Prompt Clear コマンドを受信するまで、画面に表示されます。

xFeedback コマンドを使用して、ユーザからのフィードバックを監視します。xFeedback コマンドの詳細については、このガイドの API の紹介のセクションを参照してください。

使用方法:

```
xCommand ユーザインターフェースメッセージプロンプト表示 [期間: 期間] [フィードバック ID: "フィードバック ID"] [オプション 1: "オプション 1"] [オプション 2: "オプション 2"] [オプション 3: "オプション 3"] [オプション 4: "オプション 4"] [オプション 5: "オプション 5"] [周辺機器 ID: "周辺機器 ID"] [ターゲット: ターゲット] テキスト: "テキスト" [タイトル: "タイトル"]
```

値は次のとおりです。

Duration:

整数 (0..3600)

メッセージウィンドウが画面に表示される時間 (秒) です。0 (ゼロ) に設定すると、メッセージウィンドウは、UserInterface Message Prompt Clear コマンドが送信されるまで表示されます。

デフォルト値: 0

フィードバック ID:

文字列 (0, 255)

フィードバックを識別するには、FeedbackId を入力します。

オプション 1:

文字列 (0, 255)

フィードバックオプション 1 に表示されるテキストです。

オプション 2:

文字列 (0, 255)

フィードバックオプション 2 に表示されるテキストです。

オプション 3:

文字列 (0, 255)

フィードバックオプション 3 に表示されるテキストです。

オプション 4:

文字列 (0, 255)

フィードバックオプション 4 に表示されるテキストです。

Option.5:

文字列 (0, 255)

フィードバックオプション 5 に表示されるテキストです。

周辺機器 ID:

文字列 (0, 128)

ターゲット:

OSD/RoomScheduler/Controller

テキスト:

文字列 (0, 255)

表示されるテキスト行を入力します。<p>および
 HTML タグは通常通り改行します。その他のタグはプレーンテキストとして表示されます。

件名:

文字列 (0, 255)

メッセージのタイトルを入力します。

xCommand UserInterface Message Prompt Response

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

ユーザインタフェースメッセージプロンプト表示コマンドに応答します。このコマンドは、ユーザーがユーザインターフェイスのオプションを選択したときに実行されます。

xFeedback コマンドを使用して、ユーザからのフィードバックを監視します。xFeedback コマンドの詳細については、このガイドの API の紹介のセクションを参照してください。

使用方法:

```
xCommand ユーザインターフェース メッセージ プロンプト 応答 [FeedbackId: "FeedbackId"] OptionId: OptionId [Origin: Origin] [PeripheralId: "PeripheralId"]
```

値は次のとおりです。

フィードバック ID:

文字列 (0, 255)

FeedbackId は UserInterface Message Prompt Display コマンドにより与えられる FeedbackId と一致します。

OptionId:

整数 (1..5)

OptionId は、UserInterface Message Prompt Display コマンドで可能な応答として与えられる OptionId に対応します。

発信元:

OSD/RoomScheduler/Controller

周辺機器 ID:

文字列 (0, 128)

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand UserInterface Message Rating Clear

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

UserInterface Message Rating Display コマンドを使って表示されていたメッセージを削除します。これは、Duration パラメータが設定されていない場合に必要です。

使用方法:

`xCommand ユーザインターフェース メッセージ評価 クリア [FeedbackId: "FeedbackId"] [PeripheralId: "PeripheralId"] [Target: Target]`

値は次のとおりです。

フィードバック ID:

文字列 (0, 255)

FeedbackId は UserInterface Message Rating Display コマンドにより与えられる FeedbackId と一致します。FeedbackId が指定されていない場合、すべての [ユーザ インターフェイス メッセージ レーティング] ウィンドウが閉じられます。

周辺機器 ID:

文字列 (0, 128)

ターゲット:

OSD/RoomScheduler/Controller

xCommand UserInterface Message Rating Display

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール

タイトルとテキストを含む小さなウィンドウを画面上に表示します。ユーザーが選択するための評価スターが提供されます。メッセージは、ユーザーが応答するか、ユーザ インターフェイス メッセージ レーティング クリア コマンドをデバイスが受信するまで、画面に表示されます。

xFeedback コマンドを使用して、ユーザからのフィードバックを監視します。xFeedback コマンドの詳細については、このガイドの API の紹介のセクションを参照してください。

使用方法:

`xCommand ユーザインターフェース メッセージ評価表示 [期間: 期間] [フィードバック ID: "フィードバック ID"] [周辺機器 ID: "周辺機器 ID"] [送信レシートテキスト: "送信レシートテキスト"] [送信レシートタイトル: "送信レシートタイトル"] [ターゲット: ターゲット] テキスト: "テキスト" [タイトル: "タイトル"]`

値は次のとおりです。

Duration:

整数 (0..3600)

メッセージウィンドウが画面に表示される時間 (秒) です。空の場合、または 0 に設定されている場合、メッセージウィンドウは、[メッセージレーティングの消去] コマンドが送信されるまで表示されます。

デフォルト値: 0

フィードバック ID:

文字列 (0, 255)

フィードバックを識別するには、FeedbackId を入力します。

周辺機器 ID:

文字列 (0, 128)

SubmitReceiptText:

文字列 (0, 128)

ユーザーが評価を行った後にメッセージの本文として表示されるテキスト (「ありがとうございました」など)。このテキストは、Text パラメータで指定された元のテキストを置換し、メッセージが消える前に 1 秒間表示されます。

SubmitReceiptTitle:

文字列 (0, 40)

ユーザーが評価を行った後にメッセージのタイトルとして表示されるテキスト (例えば、「ありがとうございました」)。このテキストは、Title パラメータで指定された元のタイトルを置換します。Title パラメータが指定されていない場合、これは無視されます。

ターゲット:

OSD/RoomScheduler/Controller

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

テキスト:

文字列 (0, 128)

表示されるテキスト行を入力します。<p>および
 HTML タグは通常通り改行します。その他のタグはプレーンテキストとして表示されます。

件名:

文字列 (0, 40)

評価表示ウィンドウでタイトルとして表示されるテキストです。Text パラメータで指定されたテキストより上、そして大きなフォントでこのテキストが表示されます。タイトルにテキストが指定されていない場合は、タイトルが省略され、評価の表示ウィンドウが小さく表示されます。

xCommand UserInterface Message Rating Response

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

ユーザインターフェイスメッセージ評価表示コマンドに応答します。このコマンドは、ユーザーがユーザインターフェイスのオプションを選択したときに実行されます。

xFeedback コマンドを使用して、ユーザからのフィードバックを監視します。xFeedback コマンドの詳細については、このガイドの API の紹介のセクションを参照してください。

使用方法:

```
xCommand ユーザインターフェース メッセージ評価応答 [FeedbackId: "FeedbackId"] [Origin: Origin] [PeripheralId: "PeripheralId"] [Rating: Rating]
```

値は次のとおりです。

フィードバック ID:

文字列 (0, 255)

FeedbackId は UserInterface Message Rating Display コマンドにより与えられる FeedbackId と一致します。

発信元:

OSD/RoomScheduler/Controller

周辺機器 ID:

文字列 (0, 128)

評価:

整数 (0..5)

Rating は、UserInterface Message Rating Display ウィンドウで可能な応答として与えられるレーティングに対応します。1 は左端です。

デフォルト値: 0

xCommand ユーザインタフェースメッセージ Text Input クリア

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

UserInterface Message TextInput Display コマンドで表示されたテキスト入力メッセージを削除します。これは、[継続時間] パラメータが設定されていない場合に必要です。

xFeedback コマンドを使用して、ユーザからのフィードバックを監視します。xFeedback コマンドの詳細については、このガイドの API の紹介のセクションを参照してください。

使用方法:

```
xCommand ユーザインターフェース メッセージ テキスト入力 クリア [FeedbackId: "FeedbackId"] [PeripheralId: "PeripheralId"] [Target: Target]
```

値は次のとおりです。

フィードバック ID:

文字列 (0, 255)

FeedbackId は UserInterface Message TextInput Display コマンドにより与えられる FeedbackId と一致します。

周辺機器 ID:

文字列 (0, 128)

ターゲット:

OSD/RoomScheduler/Controller

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand UserInterface Message TextInput Display

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール

ユーザーが応答するための入力ダイアログボックスを表示します。これは、タッチベースのユーザ インターフェイスを備えたデバイスでのみサポートされています。メッセージは、ユーザーが応答するまで、またはデバイスが UserInterface Message TextInput Clear コマンドを受信するまで、画面に表示されます。

xFeedback コマンドを使用して、ユーザからのフィードバックを監視します。xFeedback コマンドの詳細については、このガイドの API の紹介のセクションを参照してください。

使用方法:

`xCommand ユーザインターフェース メッセージ テキスト入力表示 [期間: 期間] [フィードバック ID: "フィードバック ID"] [入力テキスト: "入力テキスト"] [入力タイプ: 入力タイプ] [キーボード状態: キーボード状態] [周辺機器 ID: "周辺機器 ID"] [プレースホルダ: "プレースホルダ"] [送信テキスト: "送信テキスト"] [ターゲット: ターゲット] テキスト: "テキスト" [タイトル: "タイトル"]`

値は次のとおりです。

Duration:

整数 (0..3600)

メッセージが画面に表示される時間 (秒) です。0 (ゼロ) に設定すると、メッセージウィンドウは、UserInterface Message TextInput Clear コマンドが送信されるまで表示されます。

デフォルト値: 0

フィードバック ID:

文字列 (0, 255)

フィードバックを識別するには、FeedbackId を入力します。

InputText:

文字列 (0, 255)

ダイアログボックスが開いた時に、テキスト入力フィールドにあらかじめ入力されているテキストです。応答を送信する前に、このテキストを編集することも、削除して自由なテキストを入力することもできます。

このパラメータが含まれていない場合、ダイアログボックスが開いたときに、プレースホルダパラメータのコンテンツがテキスト入力フィールドに表示されます。

入力タイプ:

SingleLine/Numeric/Password/PIN

表示されるテキスト入力ダイアログボックスのタイプです。これはまた、表示されるキーボードレイアウトを決定します。

デフォルト値: SingleLine

キーボードの状態:

Open/Closed

テキスト入力メッセージが表示されたときに、デバイスのキーボードを開くかどうかを指定します。

デフォルト値: Open

周辺機器 ID:

文字列 (0, 128)

プレースホルダ:

文字列 (0, 255)

入力を開始するまでテキスト入力フィールドに表示されるプレースホルダーテキストです。InputText パラメータが含まれている場合、Placeholder パラメータの効果はありません。

送信テキスト:

文字列 (0, 32)

[送信] ボタン上に表示されるテキストです。

デフォルト値: OK

ターゲット:

OSD/RoomScheduler/Controller

テキスト:

文字列 (0, 128)

ユーザーに表示するメッセージです。<p>および
 HTML タグは通常通り改行します。その他のタグはプレーンテキストとして表示されます。

件名:

文字列 (0, 40)

入力ダイアログボックスのタイトルです。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand UserInterface Message TextInput Response

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

ユーザインタフェースメッセージテキスト入力表示コマンドに応答してください。このコマンドは、ユーザーがユーザインターフェイスのテキスト入力フィールドに入力した回答を送信したときに実行されます。

xFeedback コマンドを使用して、ユーザからのフィードバックを監視します。xFeedback コマンドの詳細については、このガイドの API の紹介のセクションを参照してください。

使用方法:

`xCommand ユーザインターフェース メッセージ TextInput 応答 [FeedbackId: "FeedbackId"] [Origin: Origin] [PeripheralId: "PeripheralId"] テキスト: "Text"`

値は次のとおりです。

フィードバック ID:

文字列 (0, 255)

フィードバックを識別するには、FeedbackId を入力します。

発信元:

OSD/RoomScheduler/Controller

周辺機器 ID:

文字列 (0, 128)

テキスト:

文字列 (0, 255)

ユーザーに表示するメッセージです。

xCommand UserInterface Message TextLine Clear

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

UserInterface Message TextLine Display コマンドで表示されたテキストラインを削除します。これは、Duration パラメータが設定されていない場合に必要です。

使用方法:

`xCommand ユーザインターフェース メッセージ テキスト行 クリア [PeripheralId: "PeripheralId"] [Target: Target]`

値は次のとおりです。

周辺機器 ID:

文字列 (0, 128)

ターゲット:

OSD/RoomScheduler/Controller

xCommand UserInterface Message TextLine Display

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール

画面にテキスト行を表示します。オプションで、テキスト行を指定した場所に、指定した時間配置することができます。Duration が設定されていない場合、UserInterface Message TextLine Clear コマンドをコマンドの後に入力する必要があります。

使用方法:

`xCommand ユーザインターフェースメッセージ テキスト行表示 [期間: 期間] [周辺機器 ID: "周辺機器 ID"] [ターゲット: ターゲット] テキスト: "テキスト" [X: X] [Y: Y]`

値は次のとおりです。

Duration:

整数 (0..3600)

テキスト行が画面に表示される時間の長さ (秒) です。0 (ゼロ) に設定すると、テキスト行は、ユーザインタフェースメッセージテキスト行消去コマンドが送信されるまで表示されます。

デフォルト値: 0

周辺機器 ID:

文字列 (0, 128)

ターゲット:

OSD/RoomScheduler/Controller

テキスト:

文字列 (0, 140)

表示されるテキスト行です。<p>および
 HTML タグは通常通り改行します。その他のタグはプレーンテキストとして表示されます。

X:

整数 (1..10000)

画面上の X 座標 (水平) を入力します。X=0 は左上角にあります。

デフォルト値: 0

Y:

整数 (1..10000)

画面上の Y 座標 (垂直) を入力します。Y=0 は左上角にあります。

デフォルト値: 0

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand UserInterface Presentation ExternalSource Add

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール

外部スイッチ経由でデバイスに接続されている入力ソースを確立し、セットアップします。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Presentation ExternalSource Add ConnectorId:
ConnectorId Name: "Name" SourceIdentifier: "SourceIdentifier" Type: Type
```

値は次のとおりです。

コネクタ ID:

整数 (1..2) [RoomKit RoomKitMini Board]
整数 (1..6) [RoomBarPro BoardProG2]
整数 (1..3) [CodecPlus Room55 Room70/Room55D DeskMini]
整数 (1..4) [Desk]
整数 (1..7) [CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]
整数 (1..5) [RoomBar DeskPro BoardPro]
整数 (1..9) [RoomKitEQX CodecEQ]

外部スイッチが接続されているデバイスコネクタの ID。

名前:

文字列 (0, 40)

入力ソースの名前です。この名前はユーザインターフェイス上に表示されます。

SourceIdentifier:

文字列 (0, 40)

入力ソースを識別する一意の文字列。識別子は、この特定の入力ソースをアドレス指定するときに、他のコマンドおよびイベントによって使用されます。

タイプ:

カメラ/PC/メディアプレーヤー/ドキュメントカメラ/その他/ホワイトボード/デスクトップ

入力ソースのタイプです。タイプによって、ユーザ インターフェイスに表示されるアイコンが決まります。

xCommand UserInterface Presentation ExternalSource List

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール

外部入力ソースの現在のリストを返します。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Presentation ExternalSource List
```

xCommand UserInterface Presentation ExternalSource Remove

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール

外部入力ソースのリストから入力ソース (SourceIdentifier で指定) を削除します。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Presentation ExternalSource Remove SourceIdentifier:
"SourceIdentifier"
```

値は次のとおりです。

SourceIdentifier:

文字列 (0, 40)

この入力ソースを識別する一意の文字列です。これは、ソースが UserInterface Presentation ExternalSource Add コマンドで作成されたときに定義されたものです。

xCommand UserInterface Presentation ExternalSource RemoveAll

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール

外部入力ソースのリストからすべての入力ソースを削除します。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Presentation ExternalSource RemoveAll
```

xCommand UserInterface Presentation ExternalSource Select

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

入力ソース (SourceIdentifier で指定) が対応可能の状態の場合に、入力ソースの表示を開始します (UserInterface Presentation ExternalSource State Set コマンドを参照)。入力ソースは、ユーザーインターフェイスの共有操作で「発表中」として表示されます。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Presentation ExternalSource Select SourceIdentifier:
"SourceIdentifier"
```

値は次のとおりです。

ソース識別子:

文字列 (0, 40)

この入力ソースを識別する一意の文字列です。これは、ソースが UserInterface Presentation ExternalSource Add コマンドで作成されたときに定義されたものです。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand UserInterface Presentation ExternalSource State Set

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール

入力ソース (SourceIdentifier で指定) の状態を設定または変更します。

使用方法:

```
xCommand ユーザインターフェース プレゼンテーション 外部ソース 状態設定 [ErrorReason: "ErrorReason"] SourceIdentifier: "SourceIdentifier" 状態: State
```

値は次のとおりです。

エラー理由:

文字列 (0, 80)

State パラメータが Error に設定されている場合、この文字列はユーザーインターフェイスの共有メニューに表示されます。

SourceIdentifier:

文字列 (0, 40)

この入力ソースを識別する一意の文字列です。これは、ソースが UserInterface Presentation ExternalSource Add コマンドで作成されたときに定義されたものです。

状態:

Hidden/Ready/NotReady/Error

準備完了: 誰かが選択すると入力ソースが表示されます (ユーザインタフェース上でタップするか、UserInterface プレゼンテーション外部ソース選択コマンドが発行されたとき)。

NotReady: 入力ソースの準備ができていないため、選択することができません。

Error: 入力ソースの状態がエラー状態です。ErrorReason パラメータを使用すると、失敗の理由をユーザーに通知できます。

非表示: 入力ソースはユーザインターフェイス共有メニューに表示されません。

xCommand UserInterface ScreenLock AdminInitiateRecovery

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

このコマンドは、Webex クラウド サービスに登録されている、またはデバイスの Webex Edge にリンクされている共有モード デバイスにのみ適用されます。また、UserInterface ScreenLock Workspace Allowed 設定が True になっている必要があります。

このコマンドは、6 桁のワンタイム PIN を返し、デバイス自体でプロンプトをトリガーします。このコマンドは通常、管理者によって Control Hub から実行され、管理者はデバイスのユーザーにこのワンタイム PIN を提供する必要があります。

デバイスのユーザーがデバイスのプロンプトに従い、デバイスの実際の PIN ロックを設定するには、ワンタイム PIN が必要です。

使用方法:

```
xCommand UserInterface ScreenLock AdminInitiateRecovery [Lifespan: Lifespan]
```

値は次のとおりです。

有効期間:

整数 (2..10080)

生成されたワンタイム PIN が有効な時間 (分) です。

デフォルト値: 2

xCommand UserInterface Translation Override Clear

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

すべての翻訳の上書きをクリアします。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Translation Override Clear
```

xCommand UserInterface Translation Override Get

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

翻訳オーバーライド情報を JSON 形式で返します。
翻訳オーバーライドが設定されていない場合、エラーが返されます。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Translation Override Get
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand ユーザインタフェースの翻訳上書き設定

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

ユーザインターフェイス上のテキストの翻訳オーバーライドを設定します。
例えば、タイトルを「ホワイトボード」から「ホワイトボードコレクション」に変更するなど、好きなように変更できます。
これは JSON 形式で設定されたオーバーライドを必要とする複数行のコマンドです。
次に例を示します。

```
{
  "version": 1、
  "translations": [
  {
    "sourceText": "Whiteboard",
    "translated": "WB",
    "language": "英語"
  }
 ]
}
```

sourceText: 置換される英語バージョンのテキストです。
translated: 指定する言語の代わりに使用するテキスト。
言語: 翻訳の言語。

使用方法:

```
xCommand ユーザインターフェイス翻訳オーバーライド  セット
```

xCommand UserInterface WallpaperBundle Clear

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

壁紙バンドルの表示を停止し、デフォルトの背景に戻ります。

使用方法:

```
xCommand UserInterface WallpaperBundle Clear
```

xCommand UserInterface WallpaperBundle List

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

使用方法:

```
xCommand UserInterface WallpaperBundle List
```

xCommand UserInterface WallpaperBundle Set

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

プリインストールされた壁紙バンドルから 1 つを選択します。壁紙のバンドルは、システムが覚醒状態の時に表示されます。

壁紙のバンドルには、いくつかのセットアップタイプの壁紙が含まれる場合があります。一部のバンドルは、複数の画面にまたがる画像を提供することで、マルチスクリーン設定用に準備されています。一部のバンドルにはタッチコントローラ用の壁紙が含まれています。画面設定と一致する設定タイプを提供するバンドルを選択する必要があります。UserInterface WallpaperBundle List コマンドを実行して、バンドルのリストを確認できます。

標準色のデバイス、つまり、ファブリックがライトグレーであることを意味します、ライトとナイトの壁紙バンドルのみがサポートされます。

ベージュ、ブルー、カーボン、フォレストグリーンの壁紙バンドルは、限定版の Desk および Desk mini でのみ利用できます。

山とキャニOnの壁紙バンドルは Room Panorama セットアップでのみ利用できます。

壁紙バンドルを使用する場合、ユーザーインターフェイスの壁紙設定を自動に設定する必要があります。

使用方法:

```
xCommand UserInterface WallpaperBundle Set Name: "Name"
```

値は次のとおりです。

名前:
文字列 (0, 255)
壁紙バンドルの名前です。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand UserInterface WebView Clear

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

ウェブビューを閉じます。

使用方法:

```
xCommand UserInterface WebView Clear [Target: Target]
```

値は次のとおりです。

ターゲット:

OSD/Controller/PersistentWebApp/RoomScheduler

コントローラ: Cisco 内部使用のみ。

OSD: 端末の画面に表示されているウェブビューを閉じます。

PersistentWebApp: Cisco 内部使用のみ。

xCommand UserInterface WebView Display

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

ウェブビューを開き、URL で指定されたウェブページを表示します。

使用方法:

```
xCommand UserInterface WebView Display [AllowInsecureHttps:
AllowInsecureHttps] [Header: Header] [Mode: Mode] [Options: "Options"]
[Target: Target] [Title: "Title"] Url: "Url"
```

値は次のとおりです。

安全でない HTTPS を許可:

False/True

このコマンドで AllowInsecureHttps が True に設定されていて、さらに主催者が許可リスト (WebEngine AllowInsecureHttps Add コマンドを参照) に追加されている場合にのみ、自己署名証明書付きのウェブページがロードされます。

ヘッダー:

文字列配列 (0, 8192 [15])

HTTP ヘッダー フィールド。1 つのコマンドに最大 15 個のヘッダーパラメータを追加でき、それぞれが 1 つの HTTP ヘッダーフィールドを保持します。

Mode:

フルスクリーン/モーダル

フルスクリーン表示: ウェブページを画面いっぱいに表示します。

モーダル: ウィンドウ内にウェブページを表示します。

オプション:

文字列 (0, 255)

このパラメータは、UI 拡張機能エディタによる内部使用を想定しています。

ターゲット:

OSD/Controller/PersistentWebApp/RoomScheduler

コントローラー: 接続されているルームナビゲータの Web ページを開きます。

OSD: 端末の画面に表示されているウェブビューを閉じます。

PersistentWebApp: Cisco 内部使用のみ。

件名:

文字列 (0, 255)

ウェブページのタイトルです。

URL:

文字列 (0, 2000)

ウェブページの URL です。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

UserManagement コマンド

xCommand UserManagement RemoteSupportUser Create

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

Technical Assistance Center (TAC) がトラブルシューティングのためにデバイスにアクセスするために使用できるリモート サポート ユーザ パスフレーズを作成します。

使用方法:

```
xCommand UserManagement RemoteSupportUser Create [ExpiryDays: ExpiryDays]
```

値は次のとおりです。

有効期限日:

整数 (1..31)

パスフレーズの有効期間を定義します。デフォルトは 7 日間です。

xCommand UserManagement RemoteSupportUser Delete

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

xCommand UserManagement RemoteSupportUser Create コマンドで作成したリモートサポートユーザーを削除します。

使用方法:

```
xCommand UserManagement RemoteSupportUser Delete
```

xCommand UserManagement RemoteSupportUser DisablePermanently

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

新しいリモートサポートユーザーの作成を無効にします。リモートサポートユーザーを再び有効にするには、デバイスを出荷時設定にリセットする必要があります。

使用方法:

```
xCommand UserManagement RemoteSupportUser DisablePermanently Confirm: Confirm
```

値は次のとおりです。

確認:

可

xCommand ユーザ管理 RemoteSupportUser GetState

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

生成されたリモートサポートユーザーの状態を取得します (存在する場合)。

使用方法:

```
xCommand UserManagement RemoteSupportUser GetState
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand UserManagement User Add

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

このデバイスに新しいユーザーを追加します。

使用方法:

```
xCommand UserManagement User Add [Active: Active] [ClientCertificateDN:
"ClientCertificateDN"] Passphrase: "Passphrase" [PassphraseChangeRequired:
PassphraseChangeRequired] Role: Role [ShellLogin: ShellLogin] Username:
"Username" [YourPassphrase: "YourPassphrase"]
```

値は次のとおりです。

アクティブ:

False/True

これがアクティブユーザかどうかを指定します。

ClientCertificateDN:

文字列 (0, 255)

ユーザ名とパスワードの代わりにクライアント証明書を使ってログインするユーザーを識別します。

Passphrase:

文字列 (0, 255)

ユーザーのパスフレーズ。

パスフレーズ変更が必要:

False/True

ユーザーが次回のサインイン時にパスフレーズを変更する必要があるかどうかを指定します。

役割:

Admin/Audit/User/Integrator/RoomControl

ユーザーのロールを設定します。複数のロール パラメータを追加することで、ユーザーに複数のロールを割り当てることができます。

Shell ログイン:

False/True

ユーザーがシェルログインを持つ必要があるかどうかを指定します。

ユーザ名:

文字列 (0, 127)

ユーザーのユーザ名です。

YourPassphrase:

文字列 (0, 255)

このコマンドを実行するときにログインしているユーザーのパスフレーズ。管理者権限を持つユーザーを作成するときは、常に自分のパスワードで操作を確認する必要があります。

xCommand UserManagement User Delete

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

このデバイスからユーザーを削除します。

使用方法:

```
xCommand UserManagement User Delete Username: "Username" [YourPassphrase:
"YourPassphrase"]
```

値は次のとおりです。

ユーザ名:

文字列 (0, 127)

削除されるユーザーのユーザ名です。

YourPassphrase:

文字列 (0, 255)

このコマンドを実行するときにログインしているユーザーのパスフレーズ。

xCommand UserManagement User Get

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

このデバイスのユーザーの詳細を表示します。ユーザーを識別するために、[ユーザ名] または [ClientCertificateDN] のいずれかを指定する必要があります。

使用方法:

```
xCommand UserManagement User Get [ClientCertificateDN: "ClientCertificateDN"]
[Username: "Username"]
```

値は次のとおりです。

ClientCertificateDN:

文字列 (0, 255)

ユーザ名とパスワードの代わりにクライアント証明書を使ってログインするユーザーを識別します。

ユーザ名:

文字列 (0, 127)

ユーザ名を指定して特定のユーザーの詳細を表示します。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand UserManagement ユーザリスト

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

このデバイス上のユーザーのリストを表示します。

使用方法:

```
xCommand UserManagement User List [Limit: Limit] [Offset: Offset]
```

値は次のとおりです。

制限:

整数 (0..65536)

表示されるユーザ数をこの数に制限します。0 は制限なし、つまりすべてのユーザーが表示されることを意味します。

デフォルト値: 0

Offセット:

整数 (0..65536)

インデックス X から始まるユーザーのリストを表示します。ここで、X はOffセットです。つまり、最初の X-1 ユーザーは表示されません。

デフォルト値: 0

xCommand UserManagement User Modify

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

特定のユーザーの詳細を変更します。

使用方法:

```
xCommand UserManagement User Modify [Active: Active] [AddRole: AddRole]
[ClientCertificateDN: "ClientCertificateDN"] [PassphraseChangeRequired:
PassphraseChangeRequired] [RemoveRole: RemoveRole] [ShellLogin: ShellLogin]
Username: "Username" [YourPassphrase: "YourPassphrase"]
```

値は次のとおりです。

アクティブ:

False/True

これがアクティブユーザかどうかを指定します。

AddRole:

Admin/Audit/User/Integrator/RoomControl

指定したユーザーに新しいロールを追加します。

ClientCertificateDN:

文字列 (0, 255)

クライアント証明書を使ってユーザー名とパスワードの代わりにログインするユーザーを識別します。

パスフレーズ変更が必要:

False/True

ユーザーが次回のサインイン時にパスフレーズを変更する必要があるかどうかを指定します。

RemoveRole:

Admin/Audit/User/Integrator/RoomControl

指定されたユーザからロールを削除します。

Shell ログイン:

False/True

ユーザーがシェルログインを持つ必要があるかどうかを指定します。

ユーザ名:

文字列 (0, 127)

ユーザーのユーザ名です。

YourPassphrase:

文字列 (0, 255)

このコマンドを実行するときにログインしているユーザーのパスフレーズ。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand UserManagement User Passphrase Change

適用対象: すべての製品

必要なユーザロール: ADMIN、AUDIT、INTEGRATOR、PAIREDUSER、ROOMCONTROL、TOUCHUSER、USER

ログインしているユーザーのパスフレーズを変更します。管理者としてログインしている場合、これにより管理者パスフレーズが変更されます。

使用方法:

```
xCommand UserManagement User Passphrase Change NewPassphrase: "NewPassphrase"
OldPassphrase: "OldPassphrase" [SecurityAction: SecurityAction]
```

値は次のとおりです。

NewPassphrase:

文字列 (0, 255)

変更する新しいパスフレーズ。

OldPassphrase:

文字列 (0, 255)

変更する前のパスフレーズ (旧) です。

セキュリティアクション:

None/InvalidateAllUserSessions

InvalidateAllUserSessions: このアクションにより、パスフレーズの変更が成功した時点ですべてのアクティブなユーザセッションが無効になります。

なし: パスフレーズの変更後に追加のアクションは実行されません。

xCommand UserManagement User Passphrase Set

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

指定されたユーザーのパスフレーズを設定します。ユーザーのパスフレーズを設定するには、管理者としてログインしている必要があります。

使用方法:

```
xCommand UserManagement User Passphrase Set NewPassphrase: "NewPassphrase"
[SecurityAction: SecurityAction] Username: "Username" [YourPassphrase:
"YourPassphrase"]
```

値は次のとおりです。

NewPassphrase:

文字列 (0, 255)

変更する新しいパスフレーズ。

セキュリティアクション:

None/InvalidateAllUserSessions

InvalidateAllUserSessions: このアクションにより、パスフレーズの変更が成功した時点ですべてのアクティブなユーザセッションが無効になります。

なし: パスフレーズの変更後に追加のアクションは実行されません。

ユーザ名:

文字列 (0, 127)

新しいパスフレーズを設定するユーザーのユーザ名です。

YourPassphrase:

文字列 (0, 255)

このコマンドを実行するときにログインしているユーザーのパスフレーズ。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand UserManagement User Unblock

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

ログインに何回も失敗したためにブロックされたユーザーのブロックを解除します。

使用方法:

```
xCommand UserManagement User Unblock Username: "Username" [YourPassphrase:
"YourPassphrase"]
```

値は次のとおりです。

ユーザ名:

文字列 (0, 127)

ブロックを解除するユーザーのユーザ名です。

YourPassphrase:

文字列 (0, 255)

このコマンドを実行するときにログインしているユーザーのパスフレーズ。

UserPresence コマンド

xCommand UserPresence CustomStatus Clear

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

このコマンドは、Webex クラウドサービスに登録されているパーソナルデバイス、またはデバイス用の Webex Edge にリンクされているデバイスにのみ適用されます。

このユーザーの現在のカスタム プレゼンス ステータス メッセージをクリアします。カスタム プレゼンス ステータス メッセージはユーザーに適用されるため、現在のメッセージは、このユーザーに登録されているすべてのデバイスと Webex アプリで消去されます。

使用方法:

```
xCommand UserPresence CustomStatus Clear
```

xCommand UserPresence CustomStatus GetRecentsList

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

このコマンドは、Webex クラウド サービスに登録されているか、デバイスの Webex Edge にリンクされているパーソナル デバイスにのみ適用されます。

このユーザーに追加された、最新の 5 件のカスタム プレゼンス ステータス メッセージを表示します。カスタム プレゼンス ステータス メッセージはユーザーに対して設定されるため、これには、UserPresence CustomStatus Set コマンドで追加されたメッセージ、デバイス UI から追加されたメッセージ、または同じ人に登録された Webex アプリから追加されたメッセージが含まれます。

使用方法:

```
xCommand UserPresence CustomStatus GetRecentsList
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand UserPresence CustomStatus Set

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ、USER

Webex クラウド サービスに登録されている、またはデバイス用 Webex Edge にリンクされている個人用デバイスで、カスタム プレゼンス ステータス メッセージを追加できます。たとえば、「ランチに外出」、「すぐに戻る」などです。このステータスメッセージはユーザーに対して設定されます (つまり、デバイスが登録されている人)、したがって、この人に属する Webex アプリにも表示されます。

Timeout パラメータを追加しない場合、メッセージは 60 分間表示されます。

使用方法:

```
xCommand UserPresence CustomStatus Set Status: "Status" [Timeout: Timeout]
```

値は次のとおりです。

Status:

文字列 (0, 1024)

現在のプレゼンス状況を自由に記述します。

タイムアウト:

整数 (1..10080)

カスタムのプレゼンス ステータス メッセージが画面に表示される分の長さです。

ビデオコマンド

xCommand Video ActiveSpeakerPIP Set

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

アクティブスピーカーの PiP (ピクチャーインピクチャー) の位置を設定します。

使用方法:

```
xCommand Video ActiveSpeakerPIP Set Position: Position
```

値は次のとおりです。

Position:

左中央/右中央/左下/右下/中央上/左上/右上/ドック左下/ドック中央左

定義済みの位置の 1 つを選択します。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Video CEC Input KeyClick

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

入力デバイスからのリモートコントロールキークリックイベントを模倣します。

使用方法:

```
xCommand Video CEC Input KeyClick ConnectorId: ConnectorId [Key: Key]
[LogicalAddress: LogicalAddress] [NamedKey: NamedKey]
```

値は次のとおりです。

コネクタ ID:

整数 (1..5) *[CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

整数 (2..2) *[RoomKit RoomKitMini DeskMini Board]*

整数 (2..3) *[RoomBar RoomBarPro Room55 DeskPro Desk BoardPro BoardProG2]*

整数 (1..3) *[CodecPlus Room70/Room55D]*

整数 (1..4) *[RoomKitEQX CodecEQ]*

コネクタの一意の識別子。

キー:

整数 (0..255)

CEC は、リモートコントロールで押されたかのように、デバイスの論理アドレスに送信されるキーのキー コードを指定します。

論理アドレス:

整数 (0..15)

接続されたデバイスの論理アドレス。

NamedKey:

上/下/右/左/OK/戻る/停止/再生

デバイスの論理アドレスに送信され、リモートコントロールで押されたかのようなキーの名前。

xCommand Video CEC Output KeyClick

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

このデバイスからのリモート コントロール キー クリック イベントを模倣します。

使用方法:

```
xCommand Video CEC Output KeyClick ConnectorId: ConnectorId [Key: Key]
LogicalAddress: LogicalAddress [NamedKey: NamedKey]
```

値は次のとおりです。

コネクタ ID:

整数 (1..3)

コネクタの一意の識別子。

キー:

整数 (0..255)

CEC は、リモートコントロールで押されたかのように、デバイスの論理アドレスに送信されるキーのキー コードを指定します。

論理アドレス:

整数 (0..15)

接続されたデバイスの論理アドレス。

NamedKey:

上/下/右/左/OK/戻る/停止/再生

デバイスの論理アドレスに送信され、リモートコントロールで押されたかのようなキーの名前。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Video CEC Output SendActiveSourceRequest

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

指定された出力コネクタに接続されたスクリーンデバイスのアクティブソースになるためのビデオデバイスからの要求です。

使用方法:

`xCommand Video CEC 出力 SendActiveSourceRequest [ConnectorId: ConnectorId]`

値は次のとおりです。

コネクタ ID:

整数 (1..3)

コネクタの一意の識別子。

xCommand Video CEC Output SendInactiveSourceRequest

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

指定された出力コネクタに接続されているスクリーンのアクティブなソースを停止するためのビデオデバイスからのリクエストです。要求にどのように応答するかは、画面が決定します。アクティブなソースに自身を設定することも、他のソースをアクティブにすることも、何も行わないこともできます。

使用方法:

`xCommand Video CEC 出力 SendInactiveSourceRequest [ConnectorId: ConnectorId]`

値は次のとおりです。

コネクタ ID:

整数 (1..3) *[RoomKit RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2]*

整数 (1..1) *[RoomKitMini]*

コネクタの一意の識別子。

xCommand Video Graphics Clear

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

[ビデオグラフィックステキスト表示] コマンドを使ってメインビデオストリーム、プレゼンテーションストリーム、またはローカル出力に追加されたテキスト文字列を削除する。これらすべての場所からテキスト文字列を削除したくない場合は、複数のターゲット パラメータを使用して、サブセットを選択できます。

使用方法:

`xCommand ビデオ グラフィックス クリア [ターゲット: ターゲット]`

値は次のとおりです。

ターゲット:

LocalOutput/MainSource/PresentationSource

テキスト文字列を削除する場所を指定します。ローカル出力、メインビデオストリーム、またはプレゼンテーションストリームから選択します。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Video Graphics Text Display

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ、USER

メインビデオストリーム、プレゼンテーションストリーム、およびローカル出力に追加される文字列を作成します。これらすべての場所にテキスト文字列を追加しない場合は、複数のターゲット パラメータを使用して、サブセットを選択できます。

使用方法:

```
xCommand Video Graphics Text Display [Date: Date] [Duration: Duration]
[Target: Target] [Text: "Text"] [Time: Time]
```

値は次のとおりです。

日付:

On/Off

テキスト文字列に日付を含めるかどうかを選択します。

Duration:

整数 (0..3600)

テキスト文字列が表示される時間 (秒) です。

ターゲット:

LocalOutput/MainSource/PresentationSource

テキスト文字列を追加する場所を選択します。ローカル出力、メインビデオストリーム、またはプレゼンテーションストリームの中から選択します。

テキスト:

文字列 (0, 1024)

テキスト文字列に含めるカスタムテキストです。

時間:

On/Off

テキスト文字列に時刻を含めるかどうかを選択します。

xCommand Video Input MainVideo Mute

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ、USER

デバイスからのビデオの送信を停止します。セルフビューもOffになります。このコマンドはプレゼンテーションチャネルには影響しません。

使用方法:

```
xCommand Video Input MainVideo Mute
```

xCommand Video Input MainVideo Unmute

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ、USER

もし以前に Video Input MainVideo Mute コマンド (または利用可能な場合はユーザーインターフェイスの [ビデオをOffにする (Turn off video)] ボタン) を使用してOffにした場合、デバイスからのビデオ送信を開始します。セルフビューも利用できます。

使用方法:

```
xCommand Video Input MainVideo Unmute
```

xCommand Video Input Miracast Activate

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ、USER

デバイスで、Miracast を有効にします。Miracast は Wi-Fi Direct を使用してラップトップから Cisco デバイスへの直接ネットワーク接続を確立し、コンテンツをワイヤレスで共有できるようにします。これは、通話中でも通話外でも機能します。アクティブな共有中に通話を発信または受信すると、Miracast セッションが切断されます。有効になると、アクティベーションが成功したことを示す Miracast アイコンがホーム画面の右上に表示されます。

使用方法:

```
xCommand Video Input Miracast Activate
```

xCommand Video Input Miracast Deactivate

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ、USER

デバイスで、Miracast を無効にします。

使用方法:

```
xCommand Video Input Miracast Deactivate
```

xCommand Video Input Miracast PinAttemptsReset

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ、USER

制限の 10 回に達した場合、Miracast 検証 PIN の試行回数をゼロにリセットします。

使用方法:

```
xCommand Video Input Miracast PinAttemptsReset
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand ビデオ入力 SetMainVideoSource

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ、USER

どの入力ソースをメインビデオソースにするかを設定します。入力ソースは、接続されている物理コネクタ ConnectorId または論理ソース識別子 SourceId のいずれかで識別できます。AirPlay または Miracast 経由のコンテンツ入力もビデオソースとして利用できます。

同じコマンドに複数の ConnectorId または SourceId を追加することで、複数の入力ソースを単一のメイン ビデオ ストリームに組み合わせることができます (異なる入力ソースの最大数はビデオデバイスのタイプによって異なります)。同じコマンドで識別子の種類を混在させることはできません。ConnectorId または SourceId のいずれかを使用します。

使用方法:

```
xCommand Video Input SetMainVideoSource [ConnectorId: ConnectorId] [Layout: Layout] [PIPPosition: PIPPosition] [PIPSize: PIPSize] [SourceId: SourceId]
```

値は次のとおりです。

コネクタ ID:

IntegerArray (1..3 [4]) *[CodecPlus Room55 Room70/Room55D DeskMini]*

IntegerArray (1..6 [4]) *[RoomBarPro BoardProG2]*

IntegerArray (1..5 [4]) *[RoomBar DeskPro BoardPro]*

IntegerArray (1..2 [4]) *[RoomKit RoomKitMini]*

IntegerArray (1..9 [4]) *[RoomKitEQX CodecEQ]*

整数配列 (1..4 [4]) *[デスク]*

整数配列 (1..7 [4]) *[CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

コネクタの識別子 (ID) です。コネクタ [n] の ID は n です。ID を見つけるために xStatus Video Input Connector の API コマンドを実行します。

レイアウト:

Equal/PIP/Prominent

メインビデオソースが複数の入力ソースで構成されている場合に、メインビデオソースのレイアウトを設定します。

Equal: 入力ソースは同じサイズの画像で表示されます。画面には最大で 4 つの画像を表示できます。

PIP: 入力ソースの 1 つをピクチャーインピクチャーとして表示します (2 つの入力ソースを合成する場合にのみ利用できます)。

Prominent: 最初の入力ソースが大きな画像で表示され、次の入力ソースが小さな画像で下に表示されます。

PIP の位置:

LowerLeft/LowerRight/UpperLeft/UpperRight

メインビデオソースが複数の入力ソースで構成されている場合、メインビデオソースの PIP の位置を選択します。

PIP サイズ:

自動/大

メインビデオソースが複数の入力ソースで構成されている場合、メインビデオソースの PIP サイズを選択します。

ソース ID:

1/2/3/AirPlay/Miracast *[CodecPlus Room55 Room70/Room55D DeskMini]*

1/2/3/4/5/6/7/8/AirPlay/Miracast *[RoomBarPro BoardProG2]*

1/2/3/4/5/AirPlay/Miracast *[RoomBar DeskPro BoardPro]*

1/2/AirPlay/Miracast *[RoomKit RoomKitMini]*

1/2/3/4/5/6/7/8/9/AirPlay/Miracast *[RoomKitEQX CodecEQ]*

1/2/3/4/AirPlay/Miracast *[Desk]*

1/2/3/4/5/6/7/8/9/10/11/AirPlay/Miracast *[CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

入力ソースの識別子 (ID) です。入力ソース [n] の ID は n です。ID を見つけるために、次の API コマンド xStatus Video Input Source を実行します。

xCommand Video Layout HideNonVideo Activate

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ミーティング中にビデオなしで参加者を非表示にします。

この機能は、Webex クラウド サービスに登録されている、または Webex の最適化されたエクスペリエンスが有効になっているデバイス用の Webex Edge にリンクされているデバイスでのみ利用できます

使用方法:

```
xCommand Video Layout HideNonVideo Activate
```

xCommand Video Layout HideNonVideo Deactivate

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ミーティング中にビデオなしで参加者を表示します。

使用方法:

```
xCommand Video Layout HideNonVideo Deactivate
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Video Layout LayoutFamily Set

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ローカルで使用するビデオレイアウトファミリーを選択します。この設定は、デバイスの組み込み MultiSite 機能 (オプション) を使用してマルチポイント ビデオ会議を主催する場合にのみ適用されます。

使用方法:

```
xCommand Video Layout LayoutFamily Set [CustomLayoutName: "CustomLayoutName"]
[LayoutFamily: LayoutFamily] [Target: Target]
```

値は次のとおりです。

カスタムレイアウト名:

文字列 (0, 128)

カスタムレイアウトを使用するには、このパラメータとレイアウト名を指定します。

レイアウト ファミリ:

auto/custom/equal/overlay/prominent/prominent_l/single

レイアウトファミリを選択します。

Auto: デバイスが提供するレイアウト データベースで指定されているデフォルトのレイアウトファミリが、ローカル レイアウトとして使用されます。

カスタム: カスタムで保存したレイアウトの名前です。

Equal: グリッドレイアウトファミリーがローカルレイアウトとして使用されます。参加者はグリッド内に同じサイズのビデオで表示されます。共有コンテンツがある場合は、グリッドの横に表示されます。

オーバーレイ: このソフトウェア リリースでは適用されません。

Prominent: Stack レイアウトファミリがローカルレイアウトとして使用されます。発言者や共有コンテンツは大きな画像で表示され、他の参加者は上部に小さな画像で表示されます。アクティブな発言者間のトランジションは音声による自動切り替えです。

Prominent_L: Prominent レイアウトファミリがローカルレイアウトとして使用されます。アクティブな発言者は画面の左上部分に表示され、他の参加者は画面下部と右の横に表示されます。

単一: フォーカス レイアウト ファミリーがローカル レイアウトとして使用されます。アクティブな発言者、または存在する場合はプレゼンテーションがフルスクリーンで表示されます。他の参加者は表示されません。アクティブな発言者間のトランジションは音声による自動切り替えです。

ターゲット:

ローカル/リモート

ターゲットをローカル レイアウト (現在のデバイスのユーザーに表示) またはリモート レイアウト (遠端の参加者に表示) のどちらかを選択します。

xCommand Video Layout SetLayout

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ローカルで使用するビデオレイアウトファミリーを選択します。Video Layout CurrentLayouts AvailableLayouts[n] LayoutName status によって返されるリストから値を選択する必要があります。

使用方法:

```
xCommand ビデオ レイアウト セット レイアウト レイアウト名: "レイアウト名"
```

値は次のとおりです。

レイアウト名:

文字列 (0, 128)

レイアウトファミリの名前です。

xCommand Video Layout StageParticipants Reset

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

このコマンドを使用すると、デフォルトのレイアウトの動作に戻ります。つまり、参加者はステージに移動しません。

ステージへの移動機能の詳細については、Video Layout StageParticipants Set ById コマンドを参照してください。

使用方法:

```
xCommand Video Layout StageParticipants Reset
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Video Layout StageParticipants Set ById

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

(注: この機能は、RoomOS 11.17 および 11.18 では提供されていません。)

Webex ミーティングの最中に、参加者をステージに移動することができます。つまり、画面のレイアウトではフレームとして常に表示されます。ユーザーが選択した (または自動的に選択された) レイアウトで利用可能なフレームの中で最も大きいフレーム内に配置されます。ローカルデバイス上でのみ参加者を移動することに注意してください。他の参加者の画面には影響しません。

最大 4 人の参加者をステージ上に移動できます。1 人の参加者が識別できない場合、操作全体が失敗し、状態の変更は表示されません。ミーティングにまだ参加していない参加者がステージに移動した場合、ミーティングに参加した時点で変更が適用されます。

ParticipantId を識別子として使用してステージに配置する参加者を識別する場合、このコマンドを使用します。参加者名を使用する場合は、代わりに Video Layout StageParticipants Set ByName コマンドを使用します。

通話の参加者の ParticipantId を確認するには、xCommand Conference ParticipantList Search を実行できます。参加者のリストをスキャンし、「ParticipantId」サブフィールドを使用します。

使用方法:

`xCommand ビデオレイアウト StageParticipants Set ById [ActiveSpeakerIndex: ActiveSpeakerIndex] [CallId: CallId] ParticipantId: ParticipantId`

値は次のとおりです。

ActiveSpeakerIndex:

整数 (0..8)

ステージ上のアクティブスピーカーフレームのインデックスを設定します。

CallId:

整数 (0..65534)

- CallId は、マルチポイントコールの際に、遠端デバイスを識別するために使用される場合があります。xCommand Dial コマンドを発行すると、CallId が返されます。通話に参加しているデバイスの 1 つから xStatus Call を実行することで、通話中に callId を取得できます。

参加者 ID:

文字列配列 (1, 255 [8])

1 つのコマンドで最大 4 つの participantId パラメータを追加できます。そのため、最大 4 人の参加者をステージに移動できます。

xCommand Video Layout StageParticipants Set ByName

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

Webex ミーティングの最中に、参加者をステージに移動することができます。この機能の詳細については、Video Layout StageParticipants Set ById コマンドを参照してください。

Webex の (??) 表示名を識別子として使用してステージに載せる参加者を識別するには、このコマンドを使用します。名前の一部を入力すると、デバイスは部分文字列一致に基づいて参加者の名前解決を試みます。

1 人の参加者が解決できない場合、操作全体が失敗し、観察可能な状態の変化はありません。

使用方法:

`xCommand ビデオレイアウト StageParticipants を名前で設定 [ActiveSpeakerIndex: ActiveSpeakerIndex] [CallId: CallId] ParticipantName: ParticipantName`

値は次のとおりです。

ActiveSpeakerIndex:

整数 (0..8)

ステージ上のアクティブな発言者フレームのインデックスを設定します。

CallId:

整数 (0..65534)

CallId は、マルチポイントコールの際に、遠端デバイスを識別するために使用される場合があります。xCommand Dial コマンドを発行すると、CallId が返されます。通話に参加しているデバイスの 1 つから xStatus Call を実行することで、通話中に callId を取得できます。

参加者名:

文字列配列 (1, 255 [8])

最大 4 つの participantId パラメータを追加できます。そのため、最大 4 人の参加者をステージに移動できます。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand ビデオ マトリックスの割り当て

適用対象: RoomKit RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/ Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

ビデオ マトリックス コマンドは、xCommand ビデオ レイアウト コマンドのスマート オーバーレイであり、単純なビデオ合成を容易にします。

使用方法:

```
xCommand Video Matrix Assign [Layout: Layout] [Mode: Mode] Output: Output
[RemoteMain: RemoteMain] [SourceId: SourceId]
```

値は次のとおりです。

レイアウト:

Equal/Prominent

ビデオ構成に使用するレイアウトを選択します。

等しい: すべてのソースが出力時に同じサイズの画像で表示されます。

目立つ: 最初のソースが大きな画像として表示され、次のソースが小さい画像として下に表示されます。

Mode:

追加/置換

そのフルスクリーン出力上で既存のソースを置き換えるか、追加するかを選択します。Add を使用すると、レイアウトエンジンが自動的に複数のソースを再構成します。Replace がデフォルト値です。

出力:

整数(1..3) *[RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardProG2]*

整数 (1..2) *[RoomKit RoomBar CodecPlus Room70/Room55D BoardPro]*

このレイアウトに使用する出力を選択します。

RemoteMain:

IntegerArray (1..4 [4])

リモートサイトをレイアウトに追加します。

ソース ID:

整数配列 (1..7 [4]) *[CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

整数配列 (1..5 [4]) *[RoomBar BoardPro]*

IntegerArray (1..2 [4]) *[RoomKit]*

IntegerArray (1..9 [4]) *[RoomKitEQX CodecEQ]*

整数配列 (1..3 [4]) *[CodecPlus Room70/Room55D]*

整数配列 (1..6 [4]) *[RoomBarPro BoardProG2]*

入力ソースの識別子 (ID) です。入力ソース [n] の ID は n です。ID を見つけるために、次の API コマンド xStatus Video Input Source を実行します。1 つのコマンドで最大 4 つの SourceId を使用できます。

xCommand Video Matrix Reset

適用対象: RoomKit RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/ Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

出力のコンテンツをデフォルトのレイアウトにリセットします。

xCommand Video Matrix コマンドは xCommand Video Layout コマンドのスマートなオーバーレイで、簡単なビデオ合成を容易にします。

使用方法:

```
xCommand Video Matrix Reset [Output: Output]
```

値は次のとおりです。

出力:

整数(1..3) *[RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardProG2]*

整数 (1..2) *[RoomKit RoomBar CodecPlus Room70/Room55D BoardPro]*

リセットしたい出力を選択します。

xCommand ビデオマトリックス切り替え

適用対象: RoomKit RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/ Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

2 つの出力間で xCommand Video Matrix Assign で定義されたコンテンツを切り替えます。

xCommand Video Matrix コマンドは xCommand Video Layout コマンドのスマートなオーバーレイで、簡単なビデオ合成を容易にします。

使用方法:

```
xCommand Video Matrix Swap OutputA: OutputA OutputB: OutputB
```

値は次のとおりです。

OutputA:

整数 (1..3) *[RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardProG2]*

整数 (1..2) *[RoomKit RoomBar CodecPlus Room70/Room55D BoardPro]*

スワップ元の出力です。

出力 B:

整数 (1..3) *[RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardProG2]*

整数 (1..2) *[RoomKit RoomBar CodecPlus Room70/Room55D BoardPro]*

切り替える先の出力です。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand ビデオ マトリックス割り当て解除

適用対象: RoomKit RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

出力からソースを削除します。xCommand Video Matrix Assign、と同様に、レイアウトエンジンは残りのソースを自動的に再構成します。

xCommand Video Matrix コマンドは xCommand Video Layout コマンドのスマートなオーバーレイで、簡単なビデオ合成を容易にします。

使用方法:

```
xCommand Video Matrix Unassign Output: Output [RemoteMain: RemoteMain]
[SourceId: SourceId]
```

値は次のとおりです。

出力:

整数 (1..3) *[RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardProG2]*

整数 (1..2) *[RoomKit RoomBar CodecPlus Room70/Room55D BoardPro]*

ソースを取り除く出力を選択します。

RemoteMain:

整数 (1..4)

レイアウトからリモートサイトを削除します。

ソース ID:

整数 (1..7) *[CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

整数 (1..5) *[RoomBar BoardPro]*

整数 (1..2) *[RoomKit]*

整数 (1..9) *[RoomKitEQX CodecEQ]*

整数 (1..3) *[CodecPlus Room70/Room55D]*

整数 (1..6) *[RoomBarPro BoardProG2]*

入力ソースの識別子 (ID) です。入力ソース [n] の ID は n です。ID を見つけるために、次の API コマンド xStatus Video Input Source を実行します。

xCommand Video Output HDMI Passthrough Start

適用対象: RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デバイスのカメラとマイクからのビデオと音声を、HDMI-USB コンバータを介してラップトップに送信を開始します。

このコマンドは、[ラップトップからの発信] が有効な場合、つまり [ビデオ出力 HDMI パススルーの許可] が True に設定されている場合にのみ適用されます。

このコマンドは Room 55 Dual および Room 70 Dual には適用されません。

使用方法:

```
xCommand Video Output HDMI Passthrough Start
```

xCommand ビデオ出力 HDMI パススルーの停止

適用対象: RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

HDMI-USB コンバーターを経由して、デバイスのカメラとマイクからラップトップへのビデオと音声の送信を停止します。

このコマンドは、[ラップトップからの発信] が有効な場合、つまり [ビデオ出力 HDMI パススルーの許可] が True に設定されている場合にのみ適用されます。

このコマンドは Room 55 Dual および Room 70 Dual には適用されません。

使用方法:

```
xCommand ビデオ出力 HDMI パススルー停止
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Video Output Monitor Backlight Set

適用対象: Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro Board

必要なユーザーロール: 管理者

デバイスの統合画面のバックライトを調整します。これは Room Panorama には適用されません。

使用方法:

`xCommand Video Output Monitor Backlight Set Position: Position Value: Value`

値は次のとおりです。

位置: *[Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

左/右
左側または右側の統合画面のどちらにコマンドを適用するかを選択します。このパラメータは、2 つの統合画面を持つデバイス (デュアル スクリーン デバイス) にのみ存在します。

値:

整数 (0..100)
バックライトのレベルを選択します。

xCommand Video Output Monitor Color Select

適用対象: Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール: 管理者

モニタの色温度を調整します。これは Room Panorama には適用されません。

使用方法:

`xCommand Video Output Monitor Color Select Position: Position Value: Value`

値は次のとおりです。

位置: *[Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama]*

左/右
左側または右側の統合画面のどちらにコマンドを適用するかを選択します。
このパラメータは、2 つの統合画面を持つデバイス (デュアル スクリーン デバイス) にのみ存在します。

値:

4900K/5500K/6500K/7200K/9300K/10500K/12000K

xCommand ビデオ出力モニタのリセット

適用対象: Room70/Room55D Room70G2 Board

必要なユーザーロール: 管理者

モニタ設定をリセットする。

使用方法:

`xCommand Video Output Monitor Reset Position: Position`

値は次のとおりです。

位置: *[Room70/Room55D Room70G2]*

左/右
左側または右側の統合画面のどちらにコマンドを適用するかを選択します。このパラメータは、2 つの統合画面を持つデバイス (デュアルスクリーンデバイス) にのみ存在します。

xCommand Video PresentationPIP Set

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

プレゼンテーション PiP (ピクチャーインピクチャー) の位置を設定します。

使用方法:

`xCommand Video PresentationPIP Set Position: Position`

値は次のとおりです。

Position:

左中央/右中央/左下/右下/中央上/左上/右上/ドック左下/ドック中央左
定義済みの位置の 1 つを選択します。

xCommand Video PresentationView Set

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

プレゼンテーション表示モードを設定する

使用方法:

`xCommand Video PresentationView Set View: View`

値は次のとおりです。

表示:

デフォルト/最大化/最小化
コーデックのデフォルト設定でプレゼンテーションを表示する場合は、[デフォルト] を選択します。プレゼンテーションをフルスクリーンで表示する場合は、[最大化] を選択します。画面上の小さな画像でプレゼンテーションを表示する場合は、[最小化] を選択します。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Video Selfview Set

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ、USER

自分の表示のOn/Offを設定し、そのサイズと位置を指定します。このパラメータが指定されていない場合、現在の値が使用されます。

使用方法:

```
xCommand Video Selfview Set [FullscreenMode: FullscreenMode] [Mode: Mode]
[OnMonitorRole: OnMonitorRole] [PIPPosition: PIPPosition]
```

値は次のとおりです。

フルスクリーンモード:

On/Off
自分の映像を全画面で表示するか、ピクチャーインピクチャーで表示するかを選択します。

Mode:

On/Off
セルフビューがOnまたはOffに設定されています。

OnMonitorRole:

First/Second/Third
この役割のモニタ上にセルフビューを表示します。

PIP の位置:

CenterLeft/CenterRight/LowerLeft/LowerRight/UpperCenter/UpperLeft/UpperRight
自分のビュー画像を配置する位置を選択します。

Web エンジン コマンド

xCommand WebEngine AllowInsecureHttps Add

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール : 管理者

デフォルトでは、ウェブ エンジンは自己署名 HTTPS 証明書を持つ主催者からロードされたウェブコンテンツを許可しません。

ただし、特定の主催者に対しては、何らかの理由でこれを許可する場合もあります。これは、新しい Web ベースサービスの開発およびテスト段階であり、適切な証明書のないテストサーバーで統合がテストされている、またはサービスへの安全ではない HTTPS 接続が許容されると考えられている社内で導入されたアプライアンスサービスでテストされている場合があります。

このコマンドを使用して、これらの特定のサービスの完全修飾 DNS 名または IP アドレスを「AllowInsecureHttps」リストに追加すると、自己署名 HTTPS 証明書を使用する場合でも、コーデックがこれらのサイトをデバイスで使用することを許可できます。

主催者が非セキュア HTTP アクセス許可の許可リストに載っている場合でも、自己署名証明書でウェブページをロードできるように、UserInterface WebView Display コマンドで AllowInsecureHttps パラメータを True に設定する必要があります。

Cisco は、すべての実稼働展開で署名付き証明書を使用することを推奨します。

使用方法:

```
xCommand WebEngine AllowInsecureHttps Add Hostname: "Hostname"
```

値は次のとおりです。

ホスト名:

文字列 (0, 200)
ウェブサイトの URL またはホスト名。

xCommand WebEngine AllowInsecureHttps List

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール : 管理者

安全ではない HTTPS アクセス許可リスト上のすべてのウェブサイトを一覧表示します。詳細については、WebEngine AllowInsecureHttps Add コマンドを参照してください。

使用方法:

```
xCommand WebEngine AllowInsecureHttps List
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand WebEngine AllowInsecureHttps Remove

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者

安全ではない HTTPS アクセスホワイトリストからウェブサイトを削除します。詳細については、WebEngine AllowInsecureHttps Add コマンドを参照してください。

使用方法:

```
xCommand WebEngine AllowInsecureHttps Remove Id: Id
```

値は次のとおりです。

ID:

整数 (0..65534)

リスト中のエントリの一意の識別子です。ウェブエンジンの AllowInsecureHttps Access List コマンドを使って識別子を見つけます。これらの識別子は、要素がリストに追加またはリストから削除されると再定義されます。

xCommand WebEngine AllowInsecureHttps RemoveAll

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者

安全ではない HTTPS アクセス許可リストをクリアします。

使用方法:

```
xCommand WebEngine AllowInsecureHttps RemoveAll
```

xCommand WebEngine DeleteStorage

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

デジタル サイネージやウェブ アプリなどのウェブ表示タイプのセッション データを削除します。

使用方法:

```
xCommand WebEngine DeleteStorage [Type: Type]
```

値は次のとおりです。

タイプ:

All/Signage/WebApps/PersistentWebApp/ECM/EmbeddedApp/Kiosk/Integration/WebWidget/WebRTC/Whiteboard

All: すべてのウェブビュータイプのセッションデータを削除します。

ECM: ECM (エンタープライズ コンテンツ管理) システムに関連するセッション データを削除します。

EmbeddedApp: 埋め込みアプリケーションに関連するセッションデータを削除します。

インテグレーション: インテグレーション アプリケーションにリンクされたセッション データを削除します。

キオスク: キオスクモードに固有のセッションデータを削除します。

PersistentWebApp: 永続ウェブ アプリに関連するセッション データを削除します。

サイネージ: デジタル サイネージに関連するセッション データを削除します。

WebApps: デジタルサイネージと永続的なウェブアプリを除く、すべてのウェブビューに関連するセッションデータを削除します。

WebRTC: WebRTC セッションのセッションデータを削除します。

WebWidget: ウェブウィジェットに関連付けられたセッションデータを削除します。

Whiteboard: ホワイトボード機能に関するセッションデータを削除します。

既定値: すべて

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand ウェブエンジン ログ セット

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ウェブ エンジン ログ ファイルに追加するメッセージのタイプを設定します。設定したレベルによって、ログに記録される問題の重大度が決まります。設定されたレベル以上 (より深刻) のメッセージがウェブ エンジン ログに記録されます。そのため、最も低いレベル (詳細) を選択すると、最も多くの情報がログに追加されます。最高レベルの (致命的) を選択すると、ソフトウェアクラッシュなどの最も重大なエラーのみが追加されます。Verbose ログレベルは Verbosity パラメータを使用してさらに絞り込むことができます。これらすべてのログ レベルは Chromium で定義されています。

使用方法:

```
xCommand WebEngine Logging Set Level: Level [Verbosity: Verbosity]
```

値は次のとおりです。

Level:

情報/警告/エラー/致命的/詳細

ログレベルです。最低レベル (ほとんどのログ記録) は Verbose、次に Info、Warning、Error、そして最高レベルは Fatal (最低ログ記録) です。

詳細:

整数 (-20..-1)

Verbose のための詳細なログレベル。-1 を指定すると最小のロギング、-20 を指定すると最大のロギングが得られます。

デフォルト値: -1

xCommand WebEngine MediaAccess Add

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール : 管理者

デフォルトのプロンプトダイアログをバイパスして、デバイスのカメラまたはマイクへの永続的なアクセスを許可するウェブサイトのリストをセットアップできます。これは、ユーザーが発信するたびにダイアログでカメラとマイクへのアクセスを許可する必要がないため、キオスクやウェブアプリなどのカスタムセットアップで便利です。

このコマンドを使用して、永久アクセスリストにウェブサイトを追加します。

使用方法:

```
xCommand WebEngine MediaAccess Add Device: Device Hostname: "Hostname"
```

値は次のとおりです。

デバイス:

カメラ/マイク

カメラとマイクのどちらへのアクセスを許可するかを選択します。マイクとカメラの両方へのアクセスを許可する場合は、このパラメータを 2 回追加します。1 回はカメラに、もう 1 回はマイクに追加します。

ホスト名:

文字列 (0, 1024)

ウェブサイトの URL またはホスト名。

xCommand WebEngine MediaAccess List

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール : 管理者

永久アクセス リストにあるすべてのウェブサイト、つまりデバイスのカメラ、マイク、またはその両方に永久的にアクセスできるすべてのウェブサイトを一覧表示します。詳細については、WebEngine MediaAccess Add コマンドを参照してください。

使用方法:

```
xCommand WebEngine MediaAccess List
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand WebEngine MediaAccess Remove

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者

永久アクセスリストからウェブサイトを削除します。つまり、今後ユーザーはダイアログを使ってこのサイトへのカメラとマイクへのアクセスを許可する必要があります。詳細については、WebEngine MediaAccess Add コマンドを参照してください。

使用方法:

```
xCommand WebEngine MediaAccess Remove Id: Id
```

値は次のとおりです。

ID:

整数 (0..65534)

リスト中のエントリの一意の識別子です。Web エンジンの [MediaAccess リスト] コマンドを使用して識別子を見つけます。これらの識別子は、要素がリストに追加またはリストから削除されると再定義されます。

xCommand WebEngine MediaAccess RemoveAll

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者

永久アクセス リストを空にします。つまり、すべてのウェブサイトからデバイスのカメラとマイクへの永久アクセスを削除します。

使用方法:

```
xCommand WebEngine MediaAccess RemoveAll
```

xCommand WebEngine Tracing Start

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

高度なデバッグで使用する Chromium トレースを開始します。Chromium のドキュメンテーションをご覧ください。これにより大量のデータが生成されるため、トレースの継続時間に注意してください。理想的には、Duration パラメータまたは WebEngine Tracing Stop コマンドを使用して、トレースを数秒に制限し、問題を正確にキャプチャします。結果として得られるトレース データは、/run/webengine_traces に保存されます (デバイスへのリモートアクセスが必要です)。

使用方法:

```
xCommand WebEngine Tracing Start [CustomCategories: "CustomCategories"]
[Duration: Duration] Mode: Mode [Systrace: Systrace]
```

値は次のとおりです。

カスタムカテゴリ:

文字列 (0, 2048)

Mode パラメータが Custom に設定されている場合にのみ使用されます。トレースに含めるクロミウムカテゴリを手動で指定することができます。Chromium トレーシングカテゴリのカンマ区切りのリストを受け入れます。

Duration:

整数 (1..1800)

秒単位でのトレース記録の継続時間。

デフォルト値: 15

Mode:

WebDeveloper/InputLatency/Rendering/JavascriptAndRendering/FrameViewer/Custom

トレースで使用する定義済みのカテゴリを設定します。各カテゴリは異なるデータをキャプチャします。Custom が選択されている場合、CustomCategories パラメータを参照してください。

システムトレース:

On/Off

On: トレースファイルに Android Systrace 形式を使用します (推奨)。

Off: トレースファイルにレガシー形式を使用します。

既定値: On

xCommand WebEngine Tracing Stop

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

進行中のトレースを途中で停止します。アクティブなトレースがない場合は、何も行われません。

使用方法:

```
xCommand WebEngine Tracing Stop
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

Webex コマンド

xCommand Webex Join

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

ミーティング番号で指定された Webex ミーティングに参加します。

ミーティングで最初に付与されるロール、ミーティングの名前、通話履歴で通話を識別するためのタグなどのオプション情報を追加します。PIN コードでロックされるミーティングに参加する場合、PIN パラメータにコードを追加できます。

使用方法:

```
xCommand Webex Join [DisplayName: "DisplayName"] Number: "Number"
[ParticipantRole: ParticipantRole] [Pin: "Pin"] [TrackingData: "TrackingData"]
```

値は次のとおりです。

表示名:

文字列 (0, 255)

ミーティングの名前。

番号:

文字列 (0, 255)

ミーティング番号、ミーティングリンク、ビデオアドレス、またはパーソナル会議室 ID。

参加者ロール:

ホスト/パネリスト/ゲスト

ミーティング参加時の役割を指定します。ミーティングの主催者は、ミーティング中にあなたの役割を変更することができます。

Pin:

文字列 (0, 32)

ミーティングの PIN コードです。異なる参加者の役割には異なる PIN コードが存在する場合があります。含まれている場合、ミーティングに直接参加します。PINコードが含まれていない、または間違ったコードを入力した場合、ユーザ インターフェイスに PIN コードのプロンプトが表示されます。

トラッキングデータ:

文字列 (0, 255)

通話履歴に保存されるタグまたはラベル。

xCommand Webex Meetings InstantMeeting Start

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

共有デバイス上でインスタント Webex ミーティングを開始します。参加者がミーティングに参加するためにスキャンできる QR コードが画面に表示され、ユーザーを招待するための UI が表示されます。

このコマンドは、Webex クラウド サービスに登録されている、または Webex の最適化されたエクスペリエンスが有効になっているデバイスの Webex Edge にリンクされているデバイスにのみ適用されます。共有デバイスにのみ適用されます。

使用方法:

```
xCommand Webex Meetings InstantMeeting Start
```

X コマンド Webex 登録エアギャップの準備

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者

登録前に、デバイスをエアギャップ Webex 展開に接続できるように設定してください。

使用方法:

```
xCommand Webex 登録エアギャップ準備確認: ドメインの確認:「ドメイン」
```

値は次のとおりです。

確認:

可

このコマンドを実行すると、デバイスの動作が根本的に変更されるため、実行するかどうかを確認してください。

ドメイン:

文字列 (0, 128)

このコマンドの実行後にすべての Webex サービスが接続を試行するドメイン。これは、エアギャップ Webex インスタンスのベースドメインになります。

xCommand Webex 登録のキャンセル

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者

Webex へのデバイス登録をキャンセルします。

このコマンドは、xCommand Webex Registration Start を使用して登録が開始された後の短期間にのみ機能します。

使用方法:

```
xCommand Webex 登録のキャンセル
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Webex Registration ConvertToCloud

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者

Webex クラウドサービスで管理されるようにデバイスを変換します。

これは、デバイス用の Webex Edge にリンクされたシステムでのみ利用できます。通話とディレクトリのためのOnプレミス サービスへの現在のすべての接続は、クラウド データ ソースに置き換えられます。

Onプレミスに戻すには、デバイスを出荷時設定にリセットする必要があります。

使用方法:

```
xCommand Webex Registration ConvertToCloud Confirm: Confirm
```

値は次のとおりです。

確認:

可

Yes と入力します。大文字と小文字は区別されません。コマンドを実行することを確認するためです。それ以外の文字を入力するとリクエストがキャンセルされます。

xCommand Webex Registration Logout

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者

パーソナライズされたシステム、通常はホットデスク共有システムまたはパーソナライズされた Webex Edge デバイスからユーザーをログアウトします。

使用方法:

```
xCommand Webex Registration Logout
```

xCommand Webex Registration Start

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者

デバイスのアクティベーションコードを入力して、デバイスを Webex クラウドサービスに登録するか、それをデバイス用のWebex Edgeにリンクします。また、既存のローカルユーザとマクロを保持するか、無効にするかを選択します。

AccountLinkMode パラメータを追加しない限り、登録が成功したか失敗したかを示す確認を受け取ります。

使用方法:

```
xCommand Webex Registration Start [AccountLinkMode: AccountLinkMode]
ActivationCode: "ActivationCode" [RegistrationType: RegistrationType]
SecurityAction: SecurityAction
```

値は次のとおりです。

アカウントリンクモード:

同期/非同期

このパラメータを追加すると、コマンドはすぐに戻り、アカウントのリンクが完了するまで待機しません。これは、共有モードのデバイスをパーソナル モードに移動する場合に便利です。そうしないと、アカウントのリンクが完了する前に、コマンドがタイムアウトになり、「failed」が返される場合があります。

このパラメータは、Webex クラウドに登録されている、またはデバイス用の Webex Edge にリンクされているデバイスにのみ適用されます。

デフォルト値: 同期

ActivationCode:

文字列 (0, 128)

デバイスのアクティベーション コードです。

登録タイプ:

Manual/Hotdesk/Personalization

登録タイプはアクティベーションコードの取得方法を記録します。このパラメータは主に Control Hub で使用され、より正確な構成検証とエラー レスポンスを可能にします。

Hotdesk: Control Hub はデバイスで一時的なパーソナル Webex アカウントを提供します。これは、Webex クラウドに登録されている、またはデバイス用の Webex Edge にリンクされているデバイスにのみ適用されます。

手動: 管理者またはユーザーは、デバイスのセットアップ時にアクティベーション コードを手動で入力します。つまり、設定アシスタントを使用します。

パーソナライゼーション: Control Hub は、デバイス用 Webex Edge にリンクされているデバイスで、永久的なパーソナル Webex アカウントを提供します。

セキュリティアクション:

Harden/NoAction

強化: デバイスを登録するときに、すべての既存のローカル ユーザとマクロを無効にします。

NoAction: デバイスをそのまま登録します。ローカル ユーザとマクロへの変更はありません。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand Webex ソフトウェアのアップグレード

適用対象: すべての製品

必要なユーザロール: ADMIN、TOUCHUSER

クラウドが指示するソフトウェア バージョンにデバイスをアップグレードします。

使用方法:

```
xCommand Webex ソフトウェアのアップグレード
```

xCommand Webex ソフトウェアの検証

適用対象: すべての製品

必要なユーザロール: ADMIN、TOUCHUSER

このコマンドを実行して、RoomOS または Microsoft Teams Room (MTR) にオンボードするための適切なソフトウェア バージョンがあることを確認します。

使用方法:

```
xCommand Webex ソフトウェアの検証 [ExperienceMode: ExperienceMode]
[ValidationType: ValidationType]
```

値は次のとおりです。

エクスペリエンスモード:

RoomOS/Microsoft_Teams

RoomOS: RoomOS にオンボードするためのソフトウェア バージョンが正しいことを確認します。

MicrosoftTeams: MTR にオンボードするためのソフトウェア バージョンが適切であることを確認してください。

デフォルト値: RoomOS

検証タイプ:

PreOnboard/FillMissingSoftware

PreOnboard: RoomOS にオンボードするための適切なソフトウェアバージョンがインストールされていることを確認します。

FillMissingSoftware: MTR にオンボードするための適切なソフトウェアバージョンがインストールされていることを確認します。

既定値: PreOnboard

WebRTC コマンド

xCommand WebRTC Join

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ、USER

WebRTC ミーティング (Microsoft Teams または Google Meet など) に参加します。

WebRTC は、Onプレミスサービスに登録されており、デバイス用の Webex Edge にリンクされているデバイスでのみ利用できます。

そして Webex クラウドサービスに登録されているデバイスに対して利用できます。

使用方法:

```
xCommand WebRTC Join [BookingId: "BookingId"] [MeetingNumber:
"MeetingNumber"] [Passcode: "Passcode"] [Title: "Title"] [TrackingData:
"TrackingData"] [Type: Type] [Url: "Url"]
```

値は次のとおりです。

BookingId:

文字列 (0, 255)

BookingId は、デバイス上でスヌーズと無視が正しく機能するために必要です。

これは、外部の予約システム (たとえば、TMS または CTS-MAN) が自身の参照に使用することで、発信を予約システムのミーティングの内部識別子と照合するために使用できる識別子です。GUID など、任意の文字列を使用できます。ブッキング ID は、通話の通話ログ、通話イベントなどで提供されます。

ミーティング番号:

文字列 (0, 255)

Google Meet 専用として、ミーティングコードを指定してミーティングに参加できます。

パスコード:

文字列 (0, 255)

このソフトウェアバージョンには適用できません。

件名:

文字列 (0, 255)

ミーティングに表示されるタイトル。

TrackingData:

文字列 (0, 255)

通話履歴に保存されるタグまたはラベル。

既定値: WebrtcJoin_command

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

タイプ:

MSTeams/GoogleMeet

GoogleMeet: このミーティングは Google Meet ミーティングです。

MSTeams: このミーティングは Microsoft Teams ミーティングです。

デフォルト値: MSTeams

URL:

文字列 (0, 2000)

ミーティングに参加するための URL。この URL を入力することで、Google Meet と Microsoft Teams の両方のミーティングに参加できます。

xCommand WebRTC Provider Current Diagnostics Send

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ、USER

WebRTC ミーティングアプリ (Microsoft Teams など) からミーティングプロバイダー (Microsoft など) に診断を送信します。

これらの診断は Cisco にはアクセスできません。

WebRTC は、Onプレミス サービスに登録されており、デバイス用の Webex Edge にリンクされているデバイス、および Webex クラウド サービスに登録されているデバイスでのみ利用できます。

使用方法:

```
xCommand WebRTC Provider Current Diagnostics Send
```

xCommand WebRTC Provider GoogleMeet MeetingNumber Validate

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者

Google Meet ミーティングに提供されたミーティング番号を検証します。

WebRTC は、Onプレミス サービスに登録されており、デバイス用の Webex Edge にリンクされているデバイスでのみ利用できます。

そして Webex クラウドサービスに登録されているデバイスに対して利用できます。Google Meet は現在 Desk では利用できません。

使用方法:

```
xCommand WebRTC Provider GoogleMeet MeetingNumber Validate MeetingNumber:
"MeetingNumber"
```

値は次のとおりです。

ミーティング番号:

文字列 (0, 255)

Google Meet ミーティング招待状によって生成されたミーティング コードです。

ホワイトボードのコマンド

xCommand ホワイトボードメールのキャンセル

適用対象: RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ

進行中のメール送信操作をキャンセルします。

使用方法:

```
xCommand Whiteboard Email Cancel
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xCommand ホワイトボードメール送信

適用対象: RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

ローカルに設定された SMTP サーバーを使用して、ホワイトボードを PDF 添付ファイルとしてメールアドレスのリストに送信します。

コマンドに少なくとも 1 つの BoardUrl/AttachmentFilenames のペアを含める必要があります。いくつかのペアを追加することで、1 つのメールに複数のホワイトボードを添付することができます。

SMTP サーバーを使用するためにデバイスをセットアップする方法を見つけるには、NetworkServices SMTP 設定を参照してください。

使用方法:

```
xCommand Whiteboard Email Send [AttachmentFilenames: AttachmentFilenames]
[BoardUrls: BoardUrls] Body: "Body" [Recipients: Recipients] Subject: "Subject"
```

値は次のとおりです。

添付ファイル名:

文字列配列 (0, 254 [255])

メールに添付するホワイトボードのファイル名です。ファイル名は ".pdf" で終わる必要があります。

複数のホワイトボードを添付する場合、同じコマンドで各ファイルに 1 つずつ、複数の添付ファイル名パラメータを追加する必要があります。

AttachmentFilenames と BoardUrls の数は同じである必要があり、各ファイル名は同じ順序で URL に対応します。

BoardUrls:

文字列配列 (0, 254 [255])

PDF ファイルとしてメールに添付されるホワイトボード。ホワイトボードは URL で識別されます。URLは Conference Presentation Whiteboard BoardUrl ステータスで確認できます。

複数のホワイトボードを添付する場合、同じコマンドで複数の BoardUrls パラメータを各ホワイトボードに 1 つずつ追加する必要があります。

本文:

文字列 (0, 65536)

送信するメールの本文です。

受信者:

文字列配列 (0, 254 [50])

メールの送信先となるメールアドレスのリスト。

受信者を少なくとも 1 人追加する必要があります。同じコマンドで複数の受信者を追加できます。その場合は、各受信者に対して 1 つの受信者パラメータを追加します。

件名:

文字列 (0, 128)

送信するメールの件名です。

ズームコマンド

xCommand Zoom Join

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

このコマンドは、コマンドのパラメータ中の情報と、ズーム DefaultDomain および ズーム DialStringOptions 設定に基づいて、ズーム ダイヤル文字列を構築します。参加する ズームミーティングは、ズームが提供する MeetingID または BookingID で識別されます。これらのパラメータの 1 つを含めることが必須です。

BookingID を使用している場合、デバイスはブッキングから参加情報を取得します。参加情報にパスコードが含まれる場合、MeetingPasscode パラメータでパスコードが指定されていない場合に限り、それがダイヤル文字列に追加されます。ドメインは常に参加情報に含まれるため、[ズームの DefaultDomain] 設定は無視されます。参加情報から取得した URI が <meetingid>@<domain> 以外の形式の場合、ズーム DialStringOptions 設定は無視されます。

MeetingID を使用する場合、ドメインとダイヤル文字列のオプションは、常に Zoom DefaultDomain および Zoom DialStringOptions 設定から取得されます。

ズームのダイヤル文字列の形式についての詳細は、"https://support.zoom.us/hc/en-us/articles/202405539-SIP-H-323-Room-Connector-Dial-Strings"を参照してください。

使用方法:

```
xCommand Zoom Join [BookingID: "BookingID"] [DialCode: "DialCode"] [Domain:
"Domain"] [HostKey: "HostKey"] [MeetingID: "MeetingID"] [MeetingPasscode:
"MeetingPasscode"] [TrackingData: "TrackingData"]
```

値は次のとおりです。

BookingID:

文字列 (0, 255)

予約を表す一意識別子です。Bookings List コマンドによって返される ID です。

ダイヤルコード:

文字列 (0, 255)

指定する場合は、認証ホストの末尾に次のように追加されます。<meetingID.<passcode>.<options>.<hostkey>..<dialcode>@zoomcrc.com

DialCode が提供されない場合、末尾の .<dialcode> が uri から省略されます。

ドメイン:

文字列 (0, 255)

提供される場合、構成されたドメインの代わりに使用されます。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

主催者キー:

文字列 (0, 255)

ミーティングに主催者として参加するために必要なキー。

ミーティング ID:

文字列 (0, 255)

ズームミーティングのミーティング番号。通常、カレンダーの招待またはミーティング リンクで提供されます。

ミーティングパスコード:

文字列 (0, 255)

ミーティングのパスコード。通常、カレンダーの招待またはミーティング リンクで提供されます。

トラッキングデータ:

文字列 (0, 255)

通話履歴に保存されるタグまたはラベル。

既定値: ZoomJoin_command

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

第 5 章

xStatus コマンド

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus コマンドの説明

この章では、すべての xStatus コマンドと応答を確認できます。ステータスタイプのコマンドは、システムとシステムプロセスに関する情報を返します。すべての情報または一部のみを照会することができます。

Audio ステータス 494
xStatus Audio Devices Bluetooth ActiveProfile 494
xStatus Audio Devices HandsetUSB ConnectionStatus 494
xStatus Audio Devices HandsetUSB Cradle 494
xStatus 音声端末 ヘッドセットアナログ接続状況 494
xStatus Audio Devices HeadsetUSB ConnectionStatus 494
xStatus 音声デバイス ヘッドセット USB 説明 495
xStatus Audio Devices HeadsetUSB Manufacturer 495
xStatus 音声入力コネクタ イーサネット [n] ミュート 495
xStatus Audio Input Connectors Ethernet [n] PacketsLost Total 495
xStatus Audio Input Connectors Ethernet [n] PacketsReceived Total 495
xStatus Audio Input Connectors Ethernet [n] StreamName 496
xStatus Audio Input Ethernet DiscoveredStream [n] Channels 496
xStatus Audio Input Ethernet DiscoveredStream [n] MediaIP 496
xStatus Audio Input Ethernet DiscoveredStream [n] Name 496
xStatus Audio Input Ethernet DiscoveredStream [n] OriginIP 497
xStatus Audio Input Ethernet DiscoveredStream [n] Status 497
xStatus 音声出力コネクタ イーサネット [n] チャンネル 497
xStatus Audio Output Connectors Ethernet [n] DelayMs 497
xStatus Audio Output Connectors Ethernet [n] MediaIP 497
xStatus 音声出力コネクタ イーサネット [n] ストリーム名 498
xStatus 音声入力コネクタ HDMI [n] ミュート 498
xStatus Audio Input Connectors Line [n] Mute 498
xStatus Audio Input Connectors Microphone [n] ConnectionStatus 498
xStatus Audio Input Connectors Microphone [n] EcReferenceDelay 498
xStatus 音声入力コネクタ マイク [n] ミュート 499
xStatus Audio Input Connectors USBC [n] Mute 499
xStatus Audio Output Connectors USBInterface [n] DelayMs 499
xStatus Audio Input LocalInput [n] AGC 499
xStatus 音声入力ローカル入力 [n] チャンネル 499
xStatus Audio Input LocalInput [n] Connector [n] 500
xStatus Audio Input LocalInput [n] Direct 500
xStatus Audio Input LocalInput [n] MixerMode 500
xStatus Audio Input LocalInput [n] Mute 500
xStatus Audio Input LocalInput [n] Name 501
xStatus Audio Input RemoteInput [n] CallId 501
xStatus オーディオ入力 RemoteInput [n] ロール 501
xStatus Audio Microphones MusicMode 501
xStatus Audio Microphones Mute 501
xStatus 音声マイクのノイズの除去 502
xStatus Audio Microphones VoiceActivityDetector Activity 502
xStatus Audio Output Connectors ARC [n] DelayMs 502
xStatus 音声出力コネクタ ARC [n] モード 502
xStatus 音声出力コネクタ HDMI [n] DelayMs 502
xStatus Audio Output Connectors HDMI [n] MicPassthrough 503
xStatus 音声出力コネクタ HDMI [n] モード 503
xStatus Audio Output Connectors InternalSpeaker [n] DelayMs 503
xStatus 音声出力コネクタ 内部スピーカー [n] モード 503
xStatus Audio Output Connectors Line [n] ConnectionStatus 503
xStatus 音声出力コネクタ 回線 [n] DelayMs 504
xStatus Audio Output LocalOutput [n] AutoconnectRemote 504
xStatus Audio Output LocalOutput [n] Channels 504
xStatus Audio Output LocalOutput [n] Connector [n] 504
xStatus 音声出力 LocalOutput [n] 入力 [n] ゲイン 505
xStatus Audio Output LocalOutput [n] Loudspeaker 505
xStatus Audio Output LocalOutput [n] Name 505
xStatus 音声出力ローカル出力 [n] ボリュームコントロール 505
xStatus Audio Output MeasuredHdmiArcDelay 506
xStatus Audio Output MeasuredHdmiDelay 506
xStatus Audio Output ReportedHdmiCecDelay 506

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus 音声出力 リモート出力 [n] CallId 506
xStatus Audio Output RemoteOutput [n] Input [n] Gain 507
xStatus Audio Output RemoteOutput [n] Role 507
xStatus Audio SelectedDevice 507
xStatus 音声超音波の音量 507
xStatus Audio USB ConnectionStatus Capture 508
xStatus Audio USB ConnectionStatus Playback 508
xStatus 音声 USB 製品 508
xStatus Audio USB SerialNumber 508
xStatus Audio USB TerminalType Capture 508
xStatus Audio USB TerminalType Playback 509
xStatus Audio USB VolumeControl Capture Max 509
xStatus Audio USB VolumeControl Capture Min 509
xStatus Audio USB VolumeControl Capture Value 509
xStatus Audio USB VolumeControl Playback Max 509
xStatus Audio USB VolumeControl Playback Min 510
xStatus Audio USB VolumeControl Playback Value 510
xStatus 音声の音量 510
xStatus Audio VolumeHandsetUsb 510
xStatus Audio VolumeHeadsetAnalog 510
xStatus Audio VolumeHeadsetBluetooth 511
xStatus Audio VolumeHeadsetUsb 511
xStatus Audio VolumeInternal 511
xStatus 音声音量ミュート 511

Bookings ステータス 512
xStatus Bookings Availability Status 512
xStatus Bookings Availability TimeStamp 512
xStatus 現在の予約 ID 512

コールステータス 513
xStatus 通話 [n] AnswerState 513
xStatus Call [n] AttendedTransferFrom 513
xStatus Call [n] CallbackNumber 513
xStatus Call [n] CallType 513
xStatus Call [n] DeviceType 514
xStatus Call [n] Direction 514
xStatus Call [n] DisplayName 514
xStatus Call [n] Duration 514
xStatus Call [n] 暗号化タイプ 514
xStatus Call [n] FacilityServiceId 515
xStatus Call [n] HoldReason 515
xStatus Call [n] Ice 515
xStatus Call [n] PlacedOnHold 515
xStatus Call [n] プロトコル 516
xStatus Call [n] ReceiveCallRate 516
xStatus Call [n] RemoteNumber 516
xStatus Call [n] Status 516
xStatus Call [n]TransmitCallRate 516

Cameras ステータス 517
xStatus Cameras Background Image 517
xStatus Cameras Background Mode 517
xStatus Cameras Camera [n] Capabilities Options 517
xStatus カメラ カメラ [n] 接続済み 517
xStatus Cameras Camera [n] DetectedConnector 517
xStatus カメラ カメラ [n] 反転 518
xStatus カメラ カメラ [n] フレームレート 518
xStatus Cameras Camera [n] HardwareID 518
xStatus Cameras Camera [n] Lenses [n] Lens 518
xStatus Cameras Camera [n] LightingConditions 518
xStatus Cameras Camera [n] MacAddress 519
xStatus Cameras Camera [n] Manufacturer 519
xStatus Cameras Camera [n] Model 519
xStatus Cameras Camera [n] Position Focus 519
xStatus Cameras Camera [n] Position Lens 519
xStatus Cameras Camera [n] Position Pan 519
xStatus Cameras Camera [n] Position Roll 520
xStatus Cameras Camera [n] Position Tilt 520
xStatus Cameras Camera [n] Position Zoom 520
xStatus Cameras Camera [n] SerialNumber 520
xStatus Cameras Camera [n] SoftwareID 520
xStatus Cameras PresenterTrack Availability 521
xStatus Cameras PresenterTrack PresenterDetected 521
xStatus Cameras PresenterTrack Status 521

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus カメラ SpeakerTrack ActiveConnector ... 521
xStatus Cameras SpeakerTrack Availability ... 522
xStatus Cameras SpeakerTrack BackgroundMode ... 522
xStatus Cameras SpeakerTrack Behavior Active ... 522
xStatus Cameras SpeakerTrack Closeup Status ... 522
xStatus Cameras SpeakerTrack Frames Availability ... 523
xStatus Cameras SpeakerTrack Frames Status ... 523
xStatus Cameras SpeakerTrack State ... 523
xStatus Cameras SpeakerTrack Status ... 523
xStatus Cameras SpeakerTrack ViewLimits Pan ... 524
xStatus Cameras SpeakerTrack ViewLimits Status ... 524
xStatus Cameras SpeakerTrack ViewLimits Tilt ... 524
xStatus Cameras SpeakerTrack ViewLimits Zoom ... 524
xStatus Cameras Stereoscopic Calibrated ... 525
xStatus カメラの立体視ステータス ... 525

機能の状況 ... 525
xStatus Capabilities Conference MaxActiveCalls ... 525
xStatus Capabilities Conference MaxAudioCalls ... 525
xStatus Capabilities Conference MaxCalls ... 525
xStatus Capabilities Conference MaxVideoCalls ... 526

会議ステータス ... 526
xStatus Conference ActiveSpeaker CallId ... 526
xStatus Conference Call [n] AuthenticationRequest ... 527
xStatus Conference Call [n] BookingId ... 527
xStatus Conference Call [n] Capabilities AdmitFromLobby ... 527
xStatus Conference Call [n] Capabilities DisableReactions ... 528
xStatus Conference Call [n] Capabilities DTMF ... 528
xStatus Conference Call [n] Capabilities EnableReactions ... 528
xStatus Conference Call [n] Capabilities EndMeeting ... 528
xStatus Conference Call [n] Capabilities EmergencyCallCapability ... 529
xStatus Conference Call [n] Capabilities HardMute ... 529
xStatus Conference Call [n] Capabilities FarendMessage Mode ... 529
xStatus Conference Call [n] Capabilities FECC Mode ... 529
xStatus Conference Call [n] Capabilities FECC NumberOfPresets ... 529
xStatus Conference Call [n] Capabilities FECC NumberOfSources ... 529
xStatus Conference Call [n] Capabilities FECC Source [n] Name ... 530
xStatus Conference Call [n] Capabilities FECC Source [n] Options ... 530
xStatus Conference Call [n] Capabilities FECC Source [n] SourceId ... 530
xStatus Conference Call [n] Capabilities Hold ... 530
xStatus Conference Call [n] Capabilities IsModerator ... 530
xStatus Conference Call [n] Capabilities IxChannel Status ... 530
xStatus Conference Call [n] Capabilities LockControl ... 531
xStatus Conference Call [n] Capabilities LowerAllHands ... 531
xStatus Conference Call [n] Capabilities LowerParticipantsHand ... 531
xStatus Conference Call [n] Capabilities MeetingAssistant Start ... 531
xStatus Conference Call [n] Capabilities MeetingAssistant Stop ... 531
xStatus Conference Call [n] Capabilities MoveToLobby ... 532
xStatus Conference Call [n] Capabilities MuteAll ... 532
xStatus Conference Call [n] Capabilities MuteOnEntry ... 532
xStatus Conference Call [n] Capabilities ParticipantAdd ... 532
xStatus Conference Call [n] Capabilities ParticipantDisconnect ... 533
xStatus Conference Call [n] Capabilities ParticipantList ... 533
xStatus Conference Call [n] Capabilities ParticipantMute ... 533
xStatus Conference Call [n] Capabilities ParticipantRequestUnmute ... 533
xStatus Conference Call [n] Capabilities Presentation ... 533
xStatus Conference Call [n] Capabilities RaiseHand ... 534
xStatus Conference Call [n] Capabilities Reactions ... 534
xStatus Conference Call [n] Capabilities Recording Pause ... 534
xStatus Conference Call [n] Capabilities Recording Resume ... 534
xStatus Conference Call [n] Capabilities Recording Start ... 534
xStatus Conference Call [n] Capabilities Recording Stop ... 534
xStatus Conference Call [n] Capabilities SelfMute ... 534
xStatus Conference Call [n] Capabilities TransferHostAndLeave ... 535
xStatus Conference Call [n] Capabilities UnmuteAll ... 535
xStatus Conference Call [n] EventCenter Mode ... 535
xStatus Conference Call [n] HardMuted ... 535
xStatus Conference Call [n] Locked ... 535
xStatus Conference Call [n] Manufacturer ... 535
xStatus Conference Call [n] MeetingAssistantEnabled ... 536
xStatus Conference Call [n] MeetingPlatform ... 536
xStatus Conference Call [n] Meeting ... 536
xStatus Conference Call [n] MicrophonesMuted ... 536

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus 電話会議 [n] ProximityCall 536
xStatus Conference Call [n] RaiseHand 537
xStatus 電話会議 [n] の録画 537
xStatus 電話会議 [n] 同時通訳 言語 [n] 言語コード 537
xStatus 電話会議 [n] 同時通訳 言語 [n] 言語名 538
xStatus Conference Call [n] SimultaneousInterpretation MixerLevel 538
xStatus Conference Call [n] SimultaneousInterpretation SelectedLanguage 538
xStatus 電話会議 [n] SessionType 539
xStatus Conference Call [n] Sip SessionId 539
xStatus Conference Call [n] SoftwareID 539
xStatus Conference Call [n] Streamed 539
xStatus Conference Call [n] Transcoded 539
xStatus Conference Call [n] Webex MeetingInviteLink 540
xStatus Conference DoNotDisturb 540
xStatus Conference EndToEndEncryption Availability 540
xStatus Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain Certificate [n] Fingerprint 540
xStatus Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain Certificate [n] NotAfter 541
xStatus 会議 EndToEndEncryptionExternalIdentity CertificateChain Certificate [n] NotBefore 541
xStatus Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain Certificate [n] PrimaryName 541
xStatus Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain Certificate [n] PublicKeyAlgorithm 541
xStatus Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain Certificate [n] SerialNumber 542
xStatus Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain Certificate [n] SignatureAlgorithm 542
xStatus Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain Certificate [n] Subject [n] Name 542
xStatus Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain Certificate [n] Validity 542
xStatus Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity Identity 543
xStatus Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity Status 543
xStatus Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity Verification 543
xStatus Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain Certificate [n] Fingerprint 543
xStatus Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain Certificate [n] NotAfter 544
xStatus Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain Certificate [n] NotBefore 544
xStatus Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain Certificate [n] PrimaryName 544
xStatus Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain Certificate [n] PublicKeyAlgorithm 544
xStatus Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain Certificate [n] SerialNumber 545
xStatus Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain Certificate [n] SignatureAlgorithm 545
xStatus Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain Certificate [n] Subject [n] Name 545
xStatus Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain Certificate [n] Validity 545
xStatus Conference EndToEndEncryption InternalIdentity Identity 546
xStatus Conference EndToEndEncryption InternalIdentity Status 546
xStatus Conference EndToEndEncryption InternalIdentity Verification 546
xStatus Conference HideNonVideo Active 546
xStatus Conference HideNonVideo Available 547
xStatus 電話会議 [n] モード 547
xStatus Conference Multipoint Mode 547
xStatus Conference PeopleFocus Active 547
xStatus Conference PeopleFocus Available 548
xStatus 会議プレゼンテーション通話 ID 548
xStatus Conference Presentation LocalInstance [n] DirectShare 548
xStatus Conference Presentation LocalInstance [n] SendingMode 548
xStatus 電話会議プレゼンテーションローカルインスタンス [n] ソース 549
xStatus 電話会議プレゼンテーションモード 549
xStatus Conference Presentation Whiteboard BoardUrl 549
xStatus 会議プレゼンテーションホワイトボードモード 549
xStatus Conference SelectedCallProtocol 549
xStatus 会議発言者ロック通話 ID 550
xStatus 会議発言者ロックモード 550

Diagnostics ステータス 550
xStatus 診断メッセージ [n] の説明 550
xStatus 診断メッセージ [n] レベル 550
xStatus Diagnostics Message [n] References 551
xStatus 診断メッセージ [n] タイプ 551

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

GPIO ステータス 553
xStatus GPIO Pin [n] State 553

H323 ステータス 553
xStatus H323 ゲートキーパーアドレス 553
xStatus H323 ゲートキーパーポート 553
xStatus H323 Gatekeeper Reason 553
xStatus H323 Gatekeeper Status 554
xStatus H323 Mode Reason 554
xStatus H323 モードステータス 554

HttpFeedback status 555
xStatus HttpFeedback [n] 式 [n] 555
xStatus HttpFeedback [n] 形式 555
xStatus HttpFeedback [n] Status 555
xStatus HttpFeedback [n] URL 555

ロギング ステータス 556
xStatus Logging ExtendedLogging Mode 556
xStatus Logging ExtendedLogging PacketDump 556
xStatus Logging ExtendedLogging RenderingDump 556

メディアチャネルの状況 557
xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Audio ChannelRole 557
xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Audio Channels 557
xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Audio Mute 557
xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Audio Protocol 557
xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Direction 558
xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Encryption 558
xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Netstat Bytes 558
xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Netstat ChannelRate 558
xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Netstat EndToEndDelay 558
xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Netstat Jitter 559
xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Netstat LastIntervalLost 559
xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Netstat LastIntervalReceived 559
xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Netstat Loss 559
xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Netstat MaxJitter 559
xStatus MediaChannels 呼び出し [n] チャネル [n] Netstat パケット 559
xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Netstat RoundTripTime 560
xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] ParticipantId 560
xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Type 560
xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Video ChannelRole 560
xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Video ConcealmentType 561
xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Video FrameRate 561
xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Video intraFrames 561
xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Video Protocol 561
xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Video ResolutionX 562
xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Video ResolutionY 562
xStatus MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Audio Channels 562
xStatus メディアチャネル DirectShare [n] チャネル [n] 音声プロトコル 563
xStatus Media Channels DirectShare [n] チャネル [n] 暗号化 563
xStatus MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] EncryptionType 563
xStatus MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Netstat Bytes 563
xStatus MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Netstat ChannelRate 564
xStatus MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Netstat Jitter 564
xStatus MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Netstat LastIntervalLost 564
xStatus MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Netstat LastIntervalReceived 564
xStatus MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Netstat Loss 565
xStatus MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Netstat MaxJitter 565
xStatus MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Netstat Packets 565
xStatus MediaChannels DirectShare [n] チャネル [n] タイプ 565
xStatus MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Video FrameRate 565
xStatus メディアチャネル DirectShare [n] チャネル [n] ビデオ プロトコル 566
xStatus MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Video ResolutionX 566
xStatus MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Video ResolutionY 566
xStatus MediaChannels Miracast [n] Channel [n] Audio Channels 566
xStatus MediaChannels Miracast [n] Channel [n] Audio Protocol 567
xStatus Media Channels Miracast [n] チャネル [n] 暗号化 567
xStatus MediaChannels Miracast [n] Channel [n] EncryptionType 567
xStatus MediaChannels Miracast [n] Channel [n] Netstat Bytes 567
xStatus MediaChannels Miracast [n] Channel [n] Netstat ChannelRate 568
xStatus MediaChannels Miracast [n] Channel [n] Netstat Jitter 568
xStatus MediaChannels Miracast [n] Channel [n] Netstat LastIntervalLost 568
xStatus MediaChannels Miracast [n] Channel [n] Netstat LastIntervalReceived 568
xStatus MediaChannels Miracast [n] Channel [n] Netstat Loss 568

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus MediaChannels Miracast [n] Channel [n] Netstat MaxJitter ... 568
xStatus MediaChannels Miracast [n] Channel [n] Netstat Packets ... 569
xStatus MediaChannels Miracast [n] Channel [n] Video FrameRate ... 569
xStatus MediaChannels Miracast [n] Channel [n] Video Protocol ... 569
xStatus MediaChannels Miracast [n] Channel [n] Video ResolutionX ... 569
xStatus MediaChannels Miracast [n] Channel [n] Video ResolutionY ... 569

MicrosoftTeams の状況 ... 570
xStatus MicrosoftTeams Calling InCall ... 570
xStatus MicrosoftTeams CVI CrossTenant ... 570
xStatus MicrosoftTeams HardwareAccelerator Decoder [n] CroppedHeight ... 570
xStatus MicrosoftTeams ハードウェアアクセラレータ デコーダー [n] のトリミング幅 ... 570
xStatus MicrosoftTeams ハードウェアアクセラレータ デコーダー [n] Fps ... 571
xStatus MicrosoftTeams HardwareAccelerator Decoder [n] FrameCount ... 571
xStatus MicrosoftTeams HardwareAccelerator Decoder [n] Height ... 571
xStatus MicrosoftTeams HardwareAccelerator Decoder [n] OutputMode ... 571
xStatus MicrosoftTeams HardwareAccelerator Decoder [n] SamplePeriodUs ... 572
xStatus MicrosoftTeams HardwareAccelerator Decoder [n] Width ... 572
xStatus MicrosoftTeams HardwareAccelerator Encoder [n] Fps ... 572
xStatus MicrosoftTeams ハードウェアアクセラレータ エンコーダー [n] FrameCount ... 572
xStatus MicrosoftTeams ハードウェアアクセラレータ エンコーダー [n] の高さ ... 573
xStatus MicrosoftTeams HardwareAccelerator Encoder [n] InputMode ... 573
xStatus MicrosoftTeams HardwareAccelerator Encoder [n] SamplePeriodUs ... 573
xStatus MicrosoftTeams ハードウェアアクセラレータ エンコーダー [n] の幅 ... 573
xStatus MicrosoftTeams ペアリング アクティブ ... 574
xStatus MicrosoftTeams ソフトウェアバージョン Android ... 574
xStatus MicrosoftTeams Software Version Authenticator ... 574
xStatus MicrosoftTeams Software Version MicrosoftIntune ... 574
xStatus MicrosoftTeams Software Version OEMAgent ... 574
xStatus MicrosoftTeams Software Version TeamsAdminAgent ... 575
xStatus MicrosoftTeams Software Version TeamsApp ... 575
xStatus MicrosoftTeams Software VersionCode Authenticator ... 575
xStatus MicrosoftTeams Software VersionCode MicrosoftIntune ... 575
xStatus MicrosoftTeams Software VersionCode OEMAgent ... 575
xStatus MicrosoftTeams ソフトウェアバージョンコード TeamsAdminAgent ... 575
xStatus MicrosoftTeams Software VersionCode TeamsApp ... 576
xStatus MicrosoftTeams ユーザーがサインイン済み ... 576

ネットワーク ステータス ... 576
xStatus Network [n] ActiveInterface ... 576
xStatus ネットワーク [n] CDP アドレス ... 576
xStatus Network [n] CDP 機能 ... 577
xStatus Network [n] CDP DeviceId ... 577
xStatus Network [n] CDP Duplex ... 577
xStatus Network [n] CDP Platform ... 577
xStatus Network [n] CDP PortID ... 577
xStatus Network [n] CDP PrimaryMgmtAddress ... 577
xStatus ネットワーク [n] CDP SysName ... 578
xStatus ネットワーク [n] CDP SysObjectID ... 578
xStatus ネットワーク [n] CDP バージョン ... 578
xStatus ネットワーク [n] CDP VoIPApplianceVlanID ... 578
xStatus Network [n] CDP VTPMgmtDomain ... 578
xStatus Network [n] DNS ドメイン名 ... 578
xStatus ネットワーク [n] DNS サーバ [n] アドレス ... 579
xStatus ネットワーク [n] イーサネット MacAddress ... 579
xStatus Network [n] イーサネット速度 ... 579
X ステータス ネットワーク [n] FQDN ... 579
xStatus Network [n] IEEE8021X Reason ... 579
xStatus Network [n] IEEE8021X Status ... 579
xStatus ネットワーク [n] IPv4 アドレス ... 580
xStatus Network [n] IPv4 ゲートウェイ ... 580
xStatus Network [n] IPv4 SubnetMask ... 580
xStatus Network [n] IPv6 Address ... 580
xStatus Network [n] IPv6 ゲートウェイ ... 580
xStatus Network [n] IPv6 LinkLocalAddress ... 580
X 状況 ネットワーク [n] LLDP シャシー ID ... 581
xStatus Network [n] LLDP Chassis IDType ... 581
xStatus Network [n] LLDP Duplex ... 581
xStatus ネットワーク [n] LLDP ポート ID ... 581
xStatus ネットワーク [n] LLDP ポート IDType ... 581
xStatus Network [n] LLDP PrimaryMgmtAddress ... 581
xStatus ネットワーク [n] LLDP SysDescr ... 582
xStatus ネットワーク [n] LLDP SysName ... 582
xStatus ネットワーク [n] LLDP 音声 VLAN ID ... 582
xStatus ネットワーク [n] VLAN 音声 VLAN ID ... 582

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Network [n] Wifi ProfileID ... 582
xStatus ネットワーク [n] Wi-Fi BSSID ... 582
xStatus ネットワーク [n] Wi-Fi チャンネル ... 583
xStatus ネットワーク [n] Wi-Fi CLMVersion ... 583
xStatus ネットワーク [n] Wi-Fi 接続 ... 583
xStatus Network [n] Wifi Frequency ... 583
xStatus Network [n] Wifi FWVersion ... 583
xStatus Network [n] Wifi InterfaceEnabled ... 583
xStatus Network [n] Wifi InterfaceReason ... 584
xStatus ネットワーク [n] Wifi KeyMgmt ... 584
xStatus Network [n] Wifi MacAddress ... 584
xStatus ネットワーク [n] Wi-Fi のノイズ ... 584
xStatus Network [n] Wifi Phase2Method ... 584
xStatus Network [n] Wifi RawSSID ... 584
xStatus Network [n] Wifi Reason ... 585
xStatus ネットワーク [n] Wi-Fi 地域 ... 585
xStatus ネットワーク [n] Wi-Fi RSSI ... 585
xStatus ネットワーク [n] Wifi ScanResult [n] AuthType ... 585
xStatus Network [n] Wifi ScanResult [n] RawSSID ... 585
xStatus Network [n] Wifi ScanResult [n] SignalLevel ... 585
xStatus ネットワーク [n] Wi-Fi スキャン結果 [n] SSID ... 586
xStatus ネットワーク [n] Wi-Fi SNR ... 586
xStatus ネットワーク [n] Wi-Fi 速度 ... 586
xStatus Network [n] Wifi SSID ... 586
xStatus Network [n] Wifi Status ... 586
xStatus Network [n] Wifi SWVersion ... 587
xStatus ネットワーク [n] Wi-Fi ツールバージョン ... 587
xStatus ネットワーク [n] Wi-Fi タイプ ... 587

NetworkServices status ... 587
xStatus NetworkServices NTP CurrentAddress ... 587
xStatus NetworkServices NTP サーバ [n] アドレス ... 587
xStatus NetworkServices NTP Status ... 588
xStatus NetworkServices UPnP Status ... 588

周辺機器の状況 ... 588
xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] DRAM ... 588
xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] HardwareInfo ... 588
xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] ID ... 588
xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] の場所 ... 589
xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] Model ... 589
xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] Name ... 589
xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] NetworkAddress ... 589
xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] の役割 ... 589
xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] RoomAnalytics AirQuality Index ... 590
xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] RoomAnalytics AmbientTemperature ... 590
xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] RoomAnalytics RelativeHumidity ... 590
xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] Security Certificates LastSynced ... 590
xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] SerialNumber ... 591
xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] SoftwareInfo ... 591
xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] Status ... 591
xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] Type ... 591
xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] UpgradeFailureReason ... 591
xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] UpgradeStatus ... 592
xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] UpgradeURL ... 592
xStatus Peripherals PinPairing PinVisibleOnScreen ... 592
xStatus Peripherals PinPairing RetriesRemaining ... 592
xStatus Peripherals PinPairing TimeRemaining ... 592
xStatus 周辺機器 スタイラス [n] プレゼンス ... 592

プロビジョニングステータス ... 593
xStatus プロビジョニング CUCM カスタマイズ チェックサム ... 593
xStatus Provisioning CUCM ExtensionMobility Enabled ... 593
xStatus Provisioning CUCM ExtensionMobility LastLoggedInUserId ... 593
xStatus Provisioning CUCM ExtensionMobility LoggedIn ... 593
xStatus プロビジョニングの理由 ... 593
xStatus Provisioning RoomType ... 594
xStatus プロビジョニングサーバ ... 594
xStatus Provisioning Software Current CompletedAt ... 594
xStatus プロビジョニングソフトウェアの現在の URL ... 594
xStatus Provisioning Software Current VersionId ... 594
xStatus Provisioning Software UpgradeStatus LastChange ... 595
xStatus Provisioning Software UpgradeStatus Message ... 595
xStatus Provisioning Software UpgradeStatus Phase ... 595

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Provisioning Software UpgradeStatus SessionId ... 595
xStatus Provisioning Software UpgradeStatus Status ... 595
xStatus プロビジョニングソフトウェアのアップグレード状況 ... 595
xStatus Provisioning Software UpgradeStatus URL ... 596
xStatus Provisioning Software UpgradeStatus VersionId ... 596
xStatus プロビジョニング状況 ... 596
xStatus Provisioning WebexCalling Reason ... 596
xStatus Provisioning WebexCalling Status ... 596

近接通信の状況 ... 597
xStatus 近接通信サービスの可用性 ... 597

RemoteAccess ステータス ... 597
xStatus RemoteAccess Availability Reason ... 597

RoomAnalytics のステータス ... 598
xStatus RoomAnalytics 周囲雑音レベル A ... 598
xStatus RoomAnalytics AmbientTemperature ... 598
xStatus RoomAnalytics Engagement CloseProximity ... 598
xStatus RoomAnalytics PeopleCount Capacity ... 598
xStatus RoomAnalytics PeopleCount 現在 ... 599
xStatus RoomAnalytics PeoplePresence ... 599
xStatus RoomAnalytics の相対湿度 ... 599
xStatus RoomAnalytics ReverberationTime LastRun ... 600
xStatus RoomAnalytics ReverberationTime MeasurementState ... 600
xStatus RoomAnalytics ReverberationTime Middle RT60 ... 600
xStatus RoomAnalytics ReverberationTime Octaves [n] CenterFrequency ... 600
xStatus RoomAnalytics ReverberationTime Octaves [n] RT60 ... 601
xStatus RoomAnalytics RoomInUse ... 601
xStatus RoomAnalytics 音声レベル A ... 601
xStatus RoomAnalytics T3Alarm Detected ... 601
xStatus RoomAnalytics UltrasoundPresence ... 602

RoomPreset ステータス ... 602
xStatus RoomPreset [n] Defined ... 602
xStatus RoomPreset [n] Description ... 602
xStatus RoomPreset [n] Type ... 602

セキュリティ状況 ... 603
xStatus Security Persistency CallHistory ... 603
xStatus セキュリティ永続性の設定 ... 603
xStatus Security Persistency DHCP ... 603
xStatus Security Persistency InternalLogging ... 603
xStatus Security Persistency LocalPhonebook ... 603

Sensors ステータス ... 604
xStatus センサー レーダーモード ... 604

SIP ステータス ... 604
xStatus SIP AlternateURI エイリアス [n] URI ... 604
xStatus SIP AlternateURI プライマリ URI ... 604
xStatus SIP 認証 ... 604
xStatus SIP CallForward DisplayName ... 605
xStatus SIP コール転送モード ... 605
xStatus SIP CallForward URI ... 605
xStatus SIP Mailbox MessagesWaiting ... 605
xStatus SIP メールボックス URI ... 605
xStatus SIP プロキシ [n] アドレス ... 605
xStatus SIP Proxy [n] Status ... 606
xStatus SIP Registration [n] Authentication ... 606
xStatus SIP 登録 [n] の理由 ... 606
xStatus SIP 登録 [n] 状況 ... 606
xStatus SIP 登録 [n] URI ... 606
xStatus SIP セキュア ... 607
xStatus SIP 確認済み ... 607

スタンバイ ステータス ... 607
xStatus スタンバイレベル ... 607
xStatus スタンバイ状態 ... 607

SystemUnit ステータス ... 608
xStatus システムユニット ブロードキャスト名 ... 608
xStatus SystemUnit 拡張機能 Microsoft 対応 ... 608
xStatus SystemUnit 開発者プレビューモード ... 608
xStatus SystemUnit ハードウェア DRAM ... 608

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus SystemUnit Hardware HasWifi ... 608
xStatus SystemUnit ハードウェアのメインボードのリビジョン ... 609
xStatus SystemUnit Hardware Module CompatibilityLevel ... 609
xStatus SystemUnit Hardware Module DeviceId ... 609
xStatus SystemUnit Hardware Module SerialNumber ... 609
xStatus SystemUnit Hardware Monitoring Fan [n] Status ... 609
xStatus SystemUnit Hardware Monitoring Temperature Status ... 609
xStatus SystemUnit Hardware UDI ... 610
xStatus SystemUnit ハードウェア USBC [n] 接続済み ... 610
xStatus SystemUnit LastShutdownReason ... 610
xStatus SystemUnit LastShutdownTime ... 610
xStatus SystemUnit 通知 通知 [n] テキスト ... 610
xStatus SystemUnit Notifications Notification [n] Type ... 611
xStatus システムユニット製品 ID ... 611
xStatus SystemUnit ProductPlatform ... 612
xStatus SystemUnit ProductType ... 612
xStatus システムユニットソフトウェアの表示名 ... 612
xStatus SystemUnit Software Name ... 612
xStatus SystemUnit Software OptionKeys AVIntegrator ... 613
xStatus SystemUnit Software OptionKeys DeveloperPreview ... 613
xStatus SystemUnit Software OptionKeys Encryption ... 613
xStatus SystemUnit Software OptionKeys MultiSite ... 613
xStatus SystemUnit Software OptionKeys RemoteMonitoring ... 613
xStatus SystemUnit Software ReleaseDate ... 613
xStatus SystemUnit Software Version ... 614
xStatus SystemUnit State CameraLid ... 614
xStatus SystemUnit State NumberOfActiveCalls ... 614
xStatus SystemUnit State NumberOfInProgressCalls ... 614
xStatus SystemUnit State NumberOfSuspendedCalls ... 614
xStatus SystemUnit State Subsystem Application ... 615
xStatus SystemUnit State System ... 615
xStatus システムユニットの稼働時間 ... 615

サウザンドアイズの状況 ... 616
xStatus サウザンドアイズの状況 ... 616
xStatus ThousandEyes Version ... 616

Time status ... 616
xStatus Time SystemTime ... 616

ユーザインターフェースの状況 ... 617
xStatus UserInterface Accessibility ScreenReader Mode ... 617
xStatus UserInterface Branding CustomId Background ... 617
xStatus UserInterface Branding CustomId Branding ... 617
xStatus ユーザインタフェース ブランディング CustomId ハーフウェイクバックグラウンド ... 617
xStatus UserInterface Branding CustomId HalfwakeBranding ... 618
xStatus UserInterface ContactInfo ContactMethod [n] Number ... 618
xStatus UserInterface ContactInfo Name ... 618
xStatus UserInterface Extensions Widget [n] Value ... 618
xStatus UserInterface Extensions Widget [n] WidgetId ... 619
xStatus ユーザインターフェイス機能 カレンダー 開始 ... 619
xStatus UserInterface Features Call AudioMute ... 619
xStatus UserInterface Features Call Breakouts ... 619
xStatus UserInterface Features Call CameraControls ... 620
xStatus ユーザインターフェイス機能 通話終了 ... 620
xStatus UserInterface Features Call HdmiPassthrough ... 620
xStatus UserInterface Features Call JoinGoogleMeet ... 620
xStatus UserInterface Features Call JoinWebex ... 621
xStatus UserInterface Features Call JoinZoom ... 621
xStatus ユーザインターフェイス機能 呼び出し キーパッド ... 621
xStatus UserInterface Features Call LayoutControls ... 621
xStatus UserInterface Features Call MidCallControls ... 622
xStatus UserInterface Features Call MusicMode ... 622
xStatus ユーザインターフェイス機能 通話参加者リスト ... 622
xStatus UserInterface Features Call SelfviewControls ... 622
xStatus UserInterface Features Call Start ... 623
xStatus UserInterface Features Call VideoMute ... 623
xStatus UserInterface Features Call Webcam ... 623
xStatus UserInterface Features Files Start ... 623
xStatus ユーザインタフェース機能 共有 開始 ... 624
xStatus ユーザインタフェース機能 ホワイトボード 開始 ... 624
xStatus UserInterface LedControl Color ... 624
xStatus ユーザインタフェース OSD 出力 ... 624
xStatus ユーザインタフェースの画面ロック状況 ... 625

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus UserInterface SettingsMenu Visibility ... 625
xStatus UserInterface Translation Override Checksum ... 625
xStatus UserInterface WebView [n] ErrorDescription ... 625
xStatus UserInterface WebView [n] ErrorType ... 626
xStatus UserInterface WebView [n] HttpResponseStatusCode ... 626
xStatus UserInterface WebView [n] Status ... 626
xStatus ユーザインターフェース WebView [n] タイプ ... 627
xStatus UserInterface WebView [n] URL ... 627

UserPresence ステータス ... 627
xStatus Webex Services UserPresence CustomStatus ... 627
xStatus Webex Services UserPresence Status ... 627

ビデオのステータス ... 628
xStatus ビデオ アクティブスピーカー PIP 位置 ... 628
xStatus Video HdmiOutput ... 628
xStatus ビデオ入力 AirPlay アクティビティ ... 628
xStatus ビデオ入力 AirPlay 状況 ... 629
xStatus Video Input Connector [n] Connected ... 629
xStatus Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] DeviceType ... 629
xStatus Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] LogicalAddress ... 629
xStatus Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] Name ... 629
xStatus Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] PowerStatus ... 630
xStatus Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] VendorId ... 630
xStatus ビデオ入力コネクタ [n]SignalState ... 630
xStatus Video Input Connector [n] SourceId ... 630
xStatus ビデオ入力コネクタ [n] タイプ ... 631
xStatus ビデオ入力 DirectShare [n] ピアアドレス ... 631
xStatus ビデオ入力 DirectShare [n] Peer PeripheralID ... 631
xStatus ビデオ入力 DirectShare [n] タイプ ... 631
xStatus Video Input MainVideoMute ... 631
xStatus Video Input MainVideoSource ... 632
xStatus Video Input Miracast Channel ... 632
xStatus Video Input Miracast PinAttemptsLeft ... 632
xStatus Video Input Miracast Status ... 632
xStatus Video Input Miracast Transport ... 633
xStatus ビデオ入力ソース [n] の空き状況 ... 633
xStatus ビデオ入力ソース [n] ConnectorId ... 633
xStatus Video Input Source [n] FormatStatus ... 633
xStatus Video Input Source [n] MediaChannelId ... 634
xStatus Video Input Source [n] Resolution Height ... 634
xStatus Video Input Source [n] Resolution RefreshRate ... 634
xStatus ビデオ入力ソース [n] 解像度 幅 ... 634
xStatus Video Layout ActiveSpeakerOnStage ... 634
xStatus Video Layout CurrentLayouts ActiveLayout ... 634
xStatus Video Layout CurrentLayouts AvailableLayouts [n] LayoutName ... 635
xStatus Video Layout CurrentLayouts DefaultLayout ... 635
xStatus Video Layout LayoutFamily Local ... 635
xStatus Video Layout LayoutFamily Remote ... 635
xStatus Video Layout LocalStageUpdatesDisallowed ... 635
xStatus Video Layout SelfOnStage ... 636
xStatus Video Layout StageActiveSpeakerIndex ... 636
xStatus Video Layout StageControlledByHost ... 636
xStatus ビデオレイアウト ステージ参加者 [n] コール ID ... 636
xStatus Video Layout StageParticipant [n] ParticipantId ... 636
xStatus ビデオモニタ ... 637
xStatus Video Output Connector [n] Connected ... 637
xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] DeviceType ... 637
xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] LogicalAddress ... 637
xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] Name ... 637
xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] PowerStatus ... 638
xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] VendorId ... 638
xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice Name ... 638
xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice PreferredFormat ... 638
xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice ScreenSize ... 638
xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice SupportedFormat Res_1920_1080_50 ... 639
xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice SupportedFormat Res_1920_1080_60 ... 639
xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice SupportedFormat Res_1920_1200_50 ... 639
xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice SupportedFormat Res_1920_1200_60 ... 639
xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice SupportedFormat Res_2560_1080_60 ... 640
xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice SupportedFormat Res_2560_1440_60 ... 640
xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice SupportedFormat Res_2880_1200_60 ... 640
xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice SupportedFormat Res_3440_1440_60 ... 640
xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice SupportedFormat Res_3840_1600_60 ... 641
xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice SupportedFormat Res_3840_1620_60 ... 641

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice SupportedFormat Res_3840_2160_30 641
xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice SupportedFormat Res_3840_2160_60 ... 641
xStatus Video Output Connector [n] Connected 642
xStatus Video Output Connector [n] HDCP State 642
xStatus ビデオ出力コネクタ [n] HDCP バージョン 642
xStatus ビデオ出力コネクタ [n] モニタロール 642
xStatus ビデオ出力コネクタ [n] 解像度 高さ 643
xStatus Video Output Connector [n] Resolution RefreshRate 643
xStatus Video Output Connector [n] Resolution Width 643
xStatus ビデオ出力コネクタ [n] タイプ 643
xStatus ビデオ出力 HDMI パススルーステータス 643
xStatus Video Output Monitor [n] Backlight 644
xStatus Video Output Monitor [n] Calibrated 644
xStatus Video Output Monitor [n] ColorTemperature Selected 644
xStatus Video Output Monitor [n] Configured 644
xStatus ビデオ出力モニタ [n] ファームウェアバージョン 644
xStatus Video Output Monitor [n] IpAddress 644
xStatus ビデオ出力モニタ [n] 製造元 645
xStatus ビデオ出力 モニタ [n] 製造元 ID 645
xStatus ビデオ出力モニタ [n] MDC ID 645
xStatus Video Output Monitor [n] MDC Port 645
xStatus Video Output Monitor [n] ModelName 645
xStatus Video Output Monitor [n] Position 645
xStatus ビデオ出力モニタ [n] シリアル番号 646
xStatus ビデオ出力モニタ [n] 温度 646
xStatus ビデオ出力ウェブカメラモード 646
xStatus Video Output Webcam Status 646
xStatus Video Presentation PIPPosition 647
xStatus Video Selfview FullscreenMode 647
xStatus Video Selfview Mode 647
xStatus Video Selfview OnMonitorRole 647
xStatus Video Selfview PIPPosition 647

WebEngine ステータス 648
xStatus WebEngine Features Signage 648
xStatus ウェブエンジンの機能 648
xStatus WebEngine Features WebRTC 648
xStatus WebEngine LogLevel 648
xStatus WebEngine LogLevelVerbosity 648
xStatus WebEngine Tracing CustomCategories 649
xStatus ウェブエンジンのトレース継続時間 649
xStatus WebEngine Tracing Mode 649
xStatus WebEngine Tracing Systrace 649

Webex 状況 650
xStatus Webex エアギャップ ステータス 650
xStatus Webex DeveloperId 650
xStatus Webex DevicePersonalization Hotdesking SessionStatus 650
xStatus Webex DevicePersonalization Personalized 650
xStatus Webex ドメイン 650
xStatus Webex Meetings InstantMeeting の空き状況 651
xStatus Webex Meetings 参加プロトコル 651
xStatus Webex Services 暫定ステータス 651
xStatus Webex サービス Proximity GuestToken 651
xStatus Webex Status 651

WebRTC ステータス 652
xStatus WebRTC Provider GoogleMeet Availability 652
xStatus WebRTC Provider MicrosoftTeams Availability 652

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

Audio ステータス

xStatus Audio Devices Bluetooth ActiveProfile

適用対象: RoomBar RoomBarPro DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ、USER

現在使用中の Bluetooth® ヘッドセットのプロファイルを表示します。

返される結果の値スペース:

なし/HFP/A2DP

HFP (ハンズフリープロファイル)、A2DP (高度音声配信プロファイル)、または None、使用されているプロファイルがありません。

例:

```
xStatus 音声デバイス Bluetooth ActiveProfile
*s 音声デバイス Bluetooth ActiveProfile: なし
** end
```

xStatus Audio Devices HandsetUSB ConnectionStatus

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro Room55 DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ、USER

USB ハンドセットが接続されているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

接続済み/未接続

例:

```
xStatus Audio Devices HandsetUSB ConnectionStatus
*s 接続済み
** end
```

xStatus Audio Devices HandsetUSB Cradle

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro Room55 DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ、USER

USB ハンドセットが受話器を置いた状態か受話器を取った状態かを表示します。

返される結果の値スペース:

OnHook/OffHook

例:

```
xStatus Audio Devices HandsetUSB Cradle
*s OnHook
** end
```

xStatus 音声端末 ヘッドセットアナログ接続状況

適用対象: DeskPro

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ、USER

アナログ ヘッドセットが接続されているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

接続済み/未接続

例:

```
xStatus Audio Devices HeadsetAnalog Connection Status
*s 接続済み
** end
```

xStatus Audio Devices HeadsetUSB ConnectionStatus

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro Room55 DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ、USER

USB ヘッドセットが接続されているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

接続済み/未接続

例:

```
xStatus Audio Devices HeadsetUSB ConnectionStatus
*s 接続済み
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus 音声デバイス ヘッドセット USB 説明

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro Room55 DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

接続されている USB ヘッドセットの説明を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Audio Devices HeadsetUSB Description
*s HeadsetUSB Description: "USB ヘッドセットの説明。"
** end
```

xStatus Audio Devices HeadsetUSB Manufacturer

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro Room55 DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

USB ヘッドセットの製造元が表示されます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Audio Devices HeadsetUSB Manufacturer
*s HeadsetUSB Manufacturer: "CompanyName"
** end
```

xStatus 音声入力コネクタ イーサネット [n] ミュート

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

イーサネット コネクタの音声チャネルがミュートになっているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus Audio Input Connectors Ethernet 1 Mute
*s Audio Input Connectors Ethernet 1 Mute: Off
** end
```

xStatus Audio Input Connectors Ethernet [n] PacketsLost Total

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

このイーサネット コネクタで失われたパケットの合計数を返します。

このカウンターをリセットするには、Audio LocalInput Ethernet PacketStatisticsReset コマンドを使用します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Audio Input Connectors Ethernet 1 PacketsLost Total
*s Audio Input Connectors Ethernet 1 PacketsLost Total: 345
** end
```

xStatus Audio Input Connectors Ethernet [n] PacketsReceived Total

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

このイーサネット コネクタで受信されたパケットの合計数を返します。

このカウンターをリセットするには、Audio LocalInput Ethernet PacketStatisticsReset コマンドを使用します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Audio Input Connectors Ethernet 1 PacketsReceived Total
*s Audio Input Connectors Ethernet 1 PacketsReceived Total: 30450
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Audio Input Connectors Ethernet [n] StreamName

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

この論理イーサネット入力コネクタに関連付けられたストリームの名前を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Audio Input Connectors Ethernet 1 StreamName
*s Audio Input Connectors Ethernet 1 StreamName: "MyEthernetStream"
** end
```

xStatus Audio Input Ethernet DiscoveredStream [n] Channels

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

検出されたすべての入力ストリーム (Audio Ethernet SAPDiscovery 設定を参照) が列挙され (インデックス n)、DiscoveredStream [n] として表示されます。
この検出されたストリームで送信されたチャネルの数を返します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Audio Input Ethernet DiscoveredStream 1 Channels
*s Audio Input Ethernet DiscoveredStream 1 Channels: 2
** end
```

xStatus Audio Input Ethernet DiscoveredStream [n] MediaIP

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

検出されたすべての入力ストリーム (Audio Ethernet SAPDiscovery 設定を参照) が列挙され (インデックス n)、DiscoveredStream [n] として表示されます。
この検出されたストリームで音声伝送に使用される IP アドレスを返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Audio Input Ethernet DiscoveredStream 1 MediaIP
*s Audio Input Ethernet DiscoveredStream 1 MediaIP: "239.xxx.xxx.xxx"
** end
```

xStatus Audio Input Ethernet DiscoveredStream [n] Name

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

検出されたすべての入力ストリーム (Audio Ethernet SAPDiscovery 設定を参照) が列挙され (インデックス n)、DiscoveredStream [n] として表示されます。
この検出されたストリームの名前を返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Audio Input Ethernet DiscoveredStream 1 Name
*s Audio Input Ethernet DiscoveredStream 1 Name: "YourEthernetStream"
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Audio Input Ethernet DiscoveredStream [n] OriginIP

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

検出されたすべての入力ストリーム (Audio Ethernet SAPDiscovery 設定を参照) が列挙され (インデックス n)、DiscoveredStream [n] として表示されます。
発見されたストリームを提供する周辺機器の IP アドレスを返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Audio Input Ethernet DiscoveredStream 1 OriginIP
*s Audio Input Ethernet DiscoveredStream 1 OriginIP: "169.254.1.xxx"
** end
```

xStatus Audio Input Ethernet DiscoveredStream [n] Status

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

検出されたすべての入力ストリーム (Audio Ethernet SAPDiscovery 設定を参照) が列挙され (インデックス n)、DiscoveredStream [n] として表示されます。
検出されたストリームからエラー メッセージまたはステータスを返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Audio Input Ethernet DiscoveredStream 1 Status
*s Audio Input Ethernet DiscoveredStream 1 Status: "Valid offer"
** end
```

xStatus 音声出力コネクタ イーサネット [n] チャンネル

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

この論理イーサネット出力コネクタに関連付けられたストリームで送信されるチャネルの数を返します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Audio Output Connectors Ethernet 3 Channels
*s Audio Output Connectors Ethernet 3 Channels: 2
** end
```

xStatus Audio Output Connectors Ethernet [n] DelayMs

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

イーサネットコネクタに適用される音声遅延を表示します。

返される結果の値スペース:

整数

ミリ秒単位の遅延。

例:

```
xStatus Audio Output Connectors Ethernet 1 DelayMs
*s Audio Output Connectors Ethernet 3 DelayMs: 60
** end
```

xStatus Audio Output Connectors Ethernet [n] MediaIP

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

この論理イーサネット出力コネクタに関連付けられたストリームでの音声伝送に使用される IP アドレスを返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus 音声出力コネクタ イーサネット 3 MediaIP
*s 音声出力コネクタ イーサネット 3 MediaIP: "239.xxx.xxx.xxx"
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus 音声出力コネクタ イーサネット [n] ストリーム名

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ

この論理イーサネット出力コネクタに関連付けられたストリームの名前を返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Audio Output Connectors Ethernet 3 StreamName
*s Audio Output Connectors Ethernet 3 StreamName: "MyEthernetStream"
** end
```

xStatus 音声入力コネクタ HDMI [n] ミュート

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ、USER

HDMI 入力コネクタの音声チャンネルがミュートになっているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus Audio Input Connectors HDMI 1 Mute
*s Audio Input Connectors HDMI 1 Mute: Off
** end
```

xStatus Audio Input Connectors Line [n] Mute

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ、USER

回線入力コネクタの音声がミュートされているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus Audio Input Connectors Line 1 Mute
*s Audio Input Connectors Line 1 Mute: Off
** end
```

xStatus Audio Input Connectors Microphone [n] ConnectionStatus

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus Room55 Room70/Room55D BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ、USER

マイクがマイク入力コネクタで検出されるかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

接続済み/未接続/不明

接続済み: マイクは接続されています。
NotConnected: 何も接続されていません。
Unknown: ビデオデバイスはマイクが接続されているかどうかを検出できません。

例:

```
xStatus Audio Input Connectors Microphone ConnectionStatus
*s 音声入力コネクタ マイク 1 接続状態: 未接続
*s Audio Input Connectors Microphone 2 ConnectionStatus: Connected
** end
```

xStatus Audio Input Connectors Microphone [n] EcReferenceDelay

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama Board

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ、USER

各スピーカーからマイクへのパスで検出された遅延を返します。結果はミリ秒単位です。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Audio Input Connectors Microphone 1 EcReferenceDelay
*s Audio Input Connectors Microphone 1 EcReferenceDelay: 120
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus 音声入力コネクタ マイク [n] ミュート

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

マイク入力コネクタの音声がミュートされているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus Audio Input Connectors Microphone 1 Mute
*s Audio Input Connectors Microphone 1 Mute: Off
** end
```

xStatus Audio Input Connectors USBC [n] Mute

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

USB-C 入力コネクタの音声チャンネルがミュートになっているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus Audio Input Connectors USBC 1 Mute
*s Audio Input Connectors USBC 1 Mute: Off
** end
```

xStatus Audio Output Connectors USBInterface [n] DelayMs

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

USB インターフェイス コネクタに適用されたオーディオ遅延を表示します。

返される結果の値スペース:

整数

ミリ秒単位の遅延。

例:

```
xStatus Audio Output Connectors USBInterface 1 DelayMs
** end
```

xStatus Audio Input LocalInput [n] AGC

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama DeskPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

ローカル入力が AGC (自動ゲインコントロール) モードであることを示します。入力のアイデンティティ [n] を見つけるために、コマンド xStatus 音声入力ローカル入力を実行できます。

Board Pro、Board Pro G2、Bar Pro、Codec EQ: AVIntegrator オプションが必要です。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Audio Input LocalInput 1 AGC
*s Audio Input LocalInput 1 AGC: "On"
** end
```

xStatus 音声入力ローカル入力 [n] チャンネル

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama DeskPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

ローカル入力チャンネルがモノラル信号 (1) またはステレオ信号 (2) にミックスされるかどうかを示します。入力のアイデンティティ [n] を見つけるために、コマンド xStatus 音声入力ローカル入力を実行できます。

Board Pro、Board Pro G2、Bar Pro、Codec EQ: AVIntegrator オプションが必要です。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Audio Input LocalInput 1 Channels
*s Audio Input LocalInput 1 Channels: 1
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Audio Input LocalInput [n] Connector [n]

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama DeskPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

ローカル入力に接続されているコネクタを一覧表示します。入力のアイデンティティ [n] を見つけるために、コマンド xStatus 音声入力ローカル入力を実行できます。

Board Pro、Board Pro G2、Bar Pro、Codec EQ: AVIntegrator オプションが必要です。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus 音声入力ローカル入力 1 コネクタ
*s Audio Input LocalInput 1 Connector: "Microphone.1"
** end
```

xStatus Audio Input LocalInput [n] Direct

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama DeskPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

アコースティック エコー キャンセリングやノイズ除去などの入力処理がこのローカル入力でバイパスされるかどうかを示します。入力処理をバイパスすることで、ローカル音響補強を実行するときに便利な音声入力の遅延が減少します。入力のアイデンティティ [n] を見つけるために、コマンド xStatus 音声入力ローカル入力を実行できます。

Board Pro、Board Pro G2、Bar Pro、Codec EQ: AVIntegrator オプションが必要です。

返される結果の値スペース:

文字列

Off: 各コネクタの構成に従って、すべての通常の入力処理が実行されます。

On: 接続されている各入力コネクタの設定に関係なく、アコースティックエコーキャンセリングやノイズ除去などの入力処理をバイパスします。

例:

```
xStatus Audio Input LocalInput 1 Direct
*s Audio Input LocalInput 1 Direct: "Off"
** end
```

xStatus Audio Input LocalInput [n] MixerMode

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama DeskPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

ローカル入力コネクタがどのようにミックスされているかを示します。入力のアイデンティティ [n] を見つけるために、コマンド xStatus 音声入力ローカル入力を実行できます。

Board Pro、Board Pro G2、Bar Pro、Codec EQ: AVIntegrator オプションが必要です。

返される結果の値スペース:

文字列

Auto: 最も強い発言者を持つマイクがアクティブになり、その他のマイクは大幅に減衰されます。

固定: 入力コネクタの信号は、等しいゲインでミックスされます。

GainShared: マイクには、ミックスされる前に、最も強い発言者を基準にして正規化されたゲインファクターが与えられます。

例:

```
xStatus 音声入力 ローカル入力 1 ミキサーモード
*s Audio Input LocalInput 1 MixerMode: "Auto"
** end
```

xStatus Audio Input LocalInput [n] Mute

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama DeskPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

ローカル入力のミュートモードを表示します。ローカル入力は複数の入力コネクタの組み合わせです。コマンド xStatus 音声入力ローカル入力を実行して、入力のアイデンティティ [n] を見つけることができます。

Board Pro、Board Pro G2、Bar Pro、Codec EQ: AVIntegrator オプションが必要です。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Audio Input LocalInput 1 Mute
*s Audio Input LocalInput 1 Mute: "Off"
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Audio Input LocalInput [n] Name

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama DeskPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

ローカル入力の名前を表示します。ローカル入力は複数の入力コネクタの組み合わせです。入力のアイデンティティ [n] を見つけるために、コマンド xStatus 音声入力ローカル入力を実行できます。

Bar Pro、Codec EQ: AVIntegrator オプションが必要です。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Audio Input LocalInput 1 Name
*s 音声入力ローカル入力 1 名前: "マイク"
** end
```

xStatus Audio Input RemoteInput [n] CallId

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

リモート音声入力の CallId を表示します。入力のアイデンティティ [n] を見つけるために、コマンド xStatus Audio Input RemoteInput を実行できます。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Audio Input RemoteInput 8 CallId
*s Audio Input RemoteInput 8 CallId: 28
** end
```

xStatus オーディオ入力 RemoteInput [n] ロール

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

返される結果の値スペース:

メイン/プレゼンテーション/同時通訳

このリモート入力で受信されるオーディオ ストリームの種類を説明します。マルチストリームオーディオの通話シナリオにのみ適用されます。

例:

```
xStatus Audio Input RemoteInput // Role
*s オーディオ入力 リモート入力 11 役割: メイン
*s Audio Input RemoteInput 12 Role: Presentation
** end
```

xStatus Audio Microphones MusicMode

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

ミュージックモードがOnかOffかを表示します。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus Audio Microphones MusicMode
*s Audio Microphones MusicMode: Off
** end
```

xStatus Audio Microphones Mute

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

マイクがミュートされているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus Audio Microphones Mute
*s Audio Microphones Mute: Off
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus 音声マイクのノイズの除去

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

返される結果の値スペース:

On/Off

バックグラウンドノイズ除去機能が有効になっているか (On)、そうでないか (Off) をレポートします。詳細については、音声マイクのノイズ除去モードの設定を参照してください。

例:

```
xStatus Audio Microphones NoiseRemoval
*s 音声マイクのノイズ除去: On
** end
```

xStatus Audio Microphones VoiceActivityDetector Activity

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

このステータスは、Audio Microphones VoiceActivityDetector Mode 設定で音声アクティビティの検出がOnになっている場合にのみ返されます。その後、ステータスは、拾った音声信号が音声なのか、それともバックグラウンドノイズやその他の音声なのかをレポートします。

返される結果の値スペース:

True/False

False: 音声は現在検出されていません。

True: 音声が現在検出されています。

例:

```
xStatus Audio Microphones VoiceActivityDetector Activity
*s Audio Microphones VoiceActivityDetector Activity: True
** end
```

xStatus Audio Output Connectors ARC [n] DelayMs

適用対象: RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

ARC 出力の遅延を表示します。

返される結果の値スペース:

整数

ミリ秒単位の遅延。

例:

```
xStatus Audio Output Connectors ARC 1 DelayMs
*s Audio Output Connectors ARC 1 DelayMs: 60
** end
```

xStatus 音声出力コネクタ ARC [n] モード

適用対象: RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

ARC 出力コネクタの音声チャンネルが有効か無効かを示します。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus Audio Output Connectors ARC 1 Mode
*s Audio Output Connectors ARC 1 Mode: Off
** end
```

xStatus 音声出力コネクタ HDMI [n] DelayMs

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

HDMI 出力の遅延を表示します。

返される結果の値スペース:

整数

ミリ秒単位の遅延。

例:

```
xStatus Audio Output Connectors HDMI 1 DelayMs
*s Audio Output Connectors HDMI 1 DelayMs: 60
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Audio Output Connectors HDMI [n] MicPassthrough

適用対象: RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ

HDMI [n] 出力でマイクからの音声をストリーミングするためにデバイスがセットアップされているかどうかを報告します。ステータスは、ビデオ出力 HDMI パススルーの開始/停止コマンドと、音声マイクのパススルー開始/停止コマンドの両方で変化します。

ラップトップからの発信機能はこのステータスに影響します。HDMI-USB コンバーターが接続されている出力でマイクのパススルーがOnまたはOffになるためです。詳細については、「ビデオ出力 HDMI パススルー許可」の設定を参照してください。

このステータスは Room 55 Dual および Room 70 Dual には適用されません。

返される結果の値スペース:

オン/オフ/手動

On: デバイスは HDMI 出力での音声のストリーミング用にセットアップされています。

Off: デバイスは HDMI 出力での音声のストリーミング用にセットアップされていません。

Manual: Audio Output ConnectorSetup 構成は Manual です。これは、音声チェーンが Audio Console アプリケーションまたは API コマンドを使用して手動でセットアップされることを意味します。

例:

```
xStatus 音声出力コネクタ HDMI 2 マイクパススルー
*s 音声出力コネクタ HDMI 3 マイクパススルー: On
** end
```

xStatus 音声出力コネクタ HDMI [n] モード

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ、USER

HDMI 出力コネクタの音声チャネルが有効か無効か、またはコネクタが接続されたビデオディスプレイの音声遅延を測定するために使用されているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

On/Off/DelayMeasurement

On: HDMI 出力コネクタの音声チャンネルは有効です。

Off: HDMI 出力コネクタの音声チャンネルは無効です。

DelayMeasurement: コネクタは、接続されたビデオディスプレイの音声遅延を測定するために使用されています。

例:

```
xStatus Audio Output Connectors HDMI 1 Mode
*s Audio Output Connectors HDMI 1 Mode: On
** end
```

xStatus Audio Output Connectors InternalSpeaker [n] DelayMs

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro CodecPlus CodecPro

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ、USER

内蔵スピーカーの遅延を表示します。

返される結果の値スペース:

整数

ミリ秒単位の遅延。

例:

```
xStatus Audio Output Connectors InternalSpeaker 1 DelayMs
*s Audio Output Connectors InternalSpeaker 1 DelayMs: 0
** end
```

xStatus 音声出力コネクタ 内部スピーカー [n] モード

適用対象: RoomKitMini RoomBar RoomBarPro CodecPlus CodecPro

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ、USER

デバイスの統合型スピーカーが有効になっているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus Audio Output Connectors InternalSpeaker 1 Mode
*s Audio Output Connectors InternalSpeaker 1 Mode: On
** end
```

xStatus Audio Output Connectors Line [n] ConnectionStatus

適用対象: RoomKit RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus Room55 Room70/Room55D Board BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ、USER

音声出力回線が接続されているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

接続済み/未接続/不明

接続済み: デバイスは接続済みです。

NotConnected: 何も接続されていません。

不明: 何かが接続されているかどうか、デバイスは検出できません。

例:

```
xStatus Audio Output Connectors Line 1 ConnectionStatus
*s Audio Output Connectors Line 1 ConnectionStatus: Connected
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus 音声出力コネクタ 回線 [n] DelayMs

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

遅延をミリ秒単位で表示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Audio Output Connectors Line 1 DelayMs
*s Audio Output Connectors Line 1 DelayMs: 60
** end
```

xStatus Audio Output LocalOutput [n] AutoconnectRemote

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama DeskPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

リモート入力信号 (遠端から) が自動的にこのローカル出力に追加されるかどうかを示します。これは、[音声ローカル出力接続入力] コマンドを使用して、いつでも手動で追加できます。

Board Pro、Board Pro G2、Bar Pro、Codec EQ: AVIntegrator オプションが必要です。

返される結果の値スペース:

文字列

On: 通話中、リモート入力信号はすべてのローカル出力に自動的に追加されます。

Off: リモート入力信号はローカル出力に自動的に追加されません。

例:

```
xStatus Audio Output LocalOutput 4 AutoconnectRemote
*s Audio Output LocalOutput 4 AutoconnectRemote: "On"
** end
```

xStatus Audio Output LocalOutput [n] Channels

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama DeskPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

ローカル出力チャンネルがモノラル信号 (1) またはステレオ信号 (2) にミックスされるかどうかを示します。出力のアイデンティティ [n] を見つけるために、コマンド xStatus Audio Output LocalOutput を実行できます。

Board Pro、Board Pro G2、Bar Pro、Codec EQ: AVIntegrator オプションが必要です。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Audio Output LocalOutput 4 Channels
*s Audio Output LocalOutput 4 Channels: "1"
** end
```

xStatus Audio Output LocalOutput [n] Connector [n]

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama DeskPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

ローカル出力に接続されているコネクタを一覧表示します。xStatus 音声出力ローカル出力コマンドを実行して、出力のアイデンティティ [n] を見つけることができます。

Board Pro、Board Pro G2、Bar Pro、Codec EQ: AVIntegrator オプションが必要です。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus 音声出力 ローカル出力 4 コネクタ
*s Audio Output LocalOutput 4 Connector: "Line.1"
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus 音声出力 LocalOutput [n] 入力 [n] ゲイン

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama DeskPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

入力がローカル出力に接続されている場合、入力のゲイン (dB) を表示します。入出力のアイデンティティ [n] を見つけるために、コマンド xStatus Audio Output LocalOutput を実行できます。

Board Pro、Board Pro G2、Bar Pro、Codec EQ: AVIntegrator オプションが必要です。

返される結果の値スペース:

整数

範囲は -54 dBから15 dBです。-54 デシベルは Off です。

例:

```
xStatus 音声出力 ローカル出力 4 入力 2 ゲイン
*s Audio Output LocalOutput 4 Input 2 Gain: 0
** end
```

xStatus Audio Output LocalOutput [n] Loudspeaker

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama DeskPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

ローカル出力に Loudspeaker モードを表示します。ローカル出力に接続されている 1 つまたは複数の出力コネクタがラウドスピーカーに接続されている場合、この信号はエコーキャンセラへの参照信号であり、Loudspeaker は On に設定されている必要があります。xStatus 音声出力ローカル出力コマンドを実行して、出力のアイデンティティ [n] を見つけることができます。

Board Pro、Board Pro G2、Bar Pro、Codec EQ: AVIntegrator オプションが必要です。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Audio Output LocalOutput 4 Loudspeaker
*s Audio Output LocalOutput 4 Loudspeaker: "Off"
** end
```

xStatus Audio Output LocalOutput [n] Name

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama DeskPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

ローカル出力の名前を表示します。出力のアイデンティティ [n] を見つけるために、コマンド xStatus Audio Output LocalOutput を実行できます。

Board Pro、Board Pro G2、Bar Pro、Codec EQ: AVIntegrator オプションが必要です。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Audio Output LocalOutput 4 Name
*s Audio Output LocalOutput 4 Name: "MyLocalOutput1"
** end
```

xStatus 音声出力ローカル出力 [n] ボリュームコントロール

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama DeskPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

この出力の音量がどこからコントロールされているかを表示します。

Board Pro、Board Pro G2、Bar Pro、Codec EQ: AVIntegrator オプションが必要です。

返される結果の値スペース:

文字列

Off: この出力の音量はグローバル音声コントロールにより制御されます。

On: この出力の音量は、xCommand Audio Volume Set で定義されたレベルになります。

例:

```
xStatus Audio Output LocalOutput 5 VolumeControlled
*s 音声出力ローカル出力 5 音量コントロール: "On"
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Audio Output MeasuredHdmiArcDelay

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

HDMI コネクタに接続されたデバイスの測定された音声遅延を示します。この遅延は HDMI 音声リターン チャネルを通じて測定され、音声とビデオ間の良好なリップシンクロを確保します。

返される結果の値スペース:

整数

ミリ秒単位で測定された音声遅延。

例:

```
xStatus Audio Output MeasuredHdmiArcDelay
*s Audio Output MeasuredHdmiArcDelay: 85
** end
```

xStatus Audio Output MeasuredHdmiDelay

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

HDMI コネクタに接続されたデバイスの測定された音声遅延を示します。この遅延は、HDMI 出力からマイクの 1 つまでが測定されます。

返される結果の値スペース:

整数

ミリ秒単位で測定された音声遅延。

例:

```
xStatus Audio Output MeasuredHdmiDelay
*s Audio Output MeasuredHdmiDelay: 134
** end
```

xStatus Audio Output ReportedHdmiCecDelay

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

HDMI コネクタに接続されたデバイスの報告されたビデオ遅延を示します。この遅延は、コンシューマー エレクトニクス コントロール (CEC) プロトコルを通じて報告され、音声とビデオ間の良好なリップシンクロを確保します。

返される結果の値スペース:

整数

ミリ秒単位で測定された音声遅延。

例:

```
xStatus Audio Output ReportedHdmiCecDelay
*s Audio Output ReportedHdmiCecDelay: 39
** end
```

xStatus 音声出力 リモート出力 [n] CallId

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama DeskPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

リモート音声出力の CallId を表示します。出力のアイデンティティ [n] を見つけるために、コマンド xStatus Audio Output RemoteOutput を実行できます。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus 音声出力 RemoteOutput 9 CallId
*s 音声出力 RemoteOutput 9 CallId: 28
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Audio Output RemoteOutput [n] Input [n] Gain

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama DeskPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

入力がリモート出力に接続されている場合、入力のゲイン (dB) を表示します。範囲は -54 dBから 15 dBです。-54 デシベルは Off です。

入出力のアイデンティティ [n] を見つけるために、コマンド xStatus Audio Output RemoteOutput を実行できます。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Audio Output RemoteOutput 9 Input 1 Gain
*s Audio Output RemoteOutput 9 Input 1 Gain: 0
** end
```

xStatus Audio Output RemoteOutput [n] Role

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama DeskPro BoardPro BoardProG2

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

返される結果の値スペース:

メイン/プレゼンテーション/同時通訳

このリモート出力からのオーディオが送信されるオーディオ ストリームを指定します。マルチストリームオーディオの通話シナリオにのみ適用されます。

例:

```
xStatus Audio Output RemoteOutput 1 Role
*s オーディオ出力 リモート出力 16 役割: メイン
*s オーディオ出力 リモート出力 17 役割: プレゼンテーション
** end
```

xStatus Audio SelectedDevice

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro Room55 DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

選択されている音声デバイスを表示します。Bluetooth ヘッドセットは Desk シリーズ、Board Pro、Board Pro G2、Room Bar、Room Bar Pro でのみサポートされています。アナログ ヘッドセットは Desk Pro でのみサポートされています。

返される結果の値スペース:

Internal/HeadsetUSB/HeadsetAnalog/HeadsetBluetooth/HandsetUSB

例:

```
xStatus Audio SelectedDevice
*s Audio SelectedDevice: Internal
** end
```

xStatus 音声超音波の音量

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

超音波の音量を表示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Audio Ultrasound Volume
*s Audio Ultrasound Volume: 70
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Audio USB ConnectionStatus Capture

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

USB キャプチャデバイス (マイクなど) が USB コネクタに物理的に接続されているかどうか、および音声チャネルが有効になっているかどうかをレポートします。USB コネクタで音声チャンネルを有効にする方法については、音声 USB モード設定を参照してください。

返される結果の値スペース:

接続済み/未接続

Connected: USB キャプチャデバイスが接続され、音声入力チャンネルが有効になっています。

NotConnected: USB キャプチャデバイスが接続されていないか、または音声入力チャンネルが無効になっています。

例:

```
xStatus Audio USB ConnectionStatus Capture
*s Audio USB ConnectionStatus Capture: Connected
** end
```

xStatus Audio USB ConnectionStatus Playback

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

USB 再生デバイス (スピーカーなど) が物理的に USB コネクタに接続されているかどうか、および音声チャンネルが有効になっているかどうかをレポートします。USB コネクタで音声チャンネルを有効にする方法については、音声 USB モード設定を参照してください。

返される結果の値スペース:

接続済み/未接続

Connected: USB キャプチャデバイスが接続され、音声出力チャンネルが有効になっています。

NotConnected: USB キャプチャデバイスが接続されていないか、または音声出力チャンネルが無効になっています。

例:

```
xStatus Audio USB ConnectionStatus Playback
*s Audio USB ConnectionStatus Playback: Connected
** end
```

xStatus 音声 USB 製品

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

音声デバイスの製品モデルと製造元を、USB デバイスのデバイス記述子で報告されたとおりに返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Audio USB Product
*s Audio USB Product: "MyModel、MyManufacturer"
** end
```

xStatus Audio USB SerialNumber

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

USB 音声デバイスのシリアル番号を USB デバイスの Device Descriptor で返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Audio USB SerialNumber
*s Audio USB SerialNumber: "1234567890ABC"
** end
```

xStatus Audio USB TerminalType Capture

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

USB 音声キャプチャデバイスのターミナルタイプを返します。「端末タイプの USB デバイスクラス定義」標準を参照してください。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Audio USB TerminalType Capture
*s Audio USB TerminalType Capture: "Echo-canceling speakerphone"
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Audio USB TerminalType Playback

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

USB 音声再生デバイスのターミナルタイプを返します。「端末タイプの USB デバイスクラス定義」標準を参照してください。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Audio USB TerminalType Playback
*s Audio USB TerminalType Playback: "Echo-canceling speakerphone"
** end
```

xStatus Audio USB VolumeControl Capture Max

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

接続された USB キャプチャデバイス (マイクなど) がビデオデバイスに音声信号を送信する前に適用できる最大ゲイン (単位: db)。

このステータスは、USB デバイスが音量コントロールをサポートしている場合にのみ利用できます。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Audio USB VolumeControl Capture Max
*s Audio USB VolumeControl Capture Max: 15
** end
```

xStatus Audio USB VolumeControl Capture Min

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

接続された USB キャプチャデバイス (例えばマイク) が音声信号をビデオデバイスに送信する前に適用できる最小ゲイン (単位: db)。

このステータスは、USB デバイスが音量コントロールをサポートしている場合にのみ利用できます。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Audio USB VolumeControl Capture Min
*s Audio USB VolumeControl Capture Min: -15
** end
```

xStatus Audio USB VolumeControl Capture Value

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

実際のゲイン (dB単位) は、接続されたUSBキャプチャデバイス (例: マイク) が音声信号に適用し、それをビデオデバイスに送信する前のものです。

このステータスは、USB デバイスが音量コントロールをサポートしている場合にのみ利用できます。

この値の変更方法については、Audio USB VolumeControl Capture Value 設定を参照してください。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Audio USB VolumeControl Capture Value
*s Audio USB VolumeControl Capture Value: 6
** end
```

xStatus Audio USB VolumeControl Playback Max

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

接続された USB 再生デバイス (例えばラウドスピーカー) がビデオデバイスから音声信号を受信した後に適用できる最大ゲイン (単位: db)。

このステータスは、USB デバイスが音量コントロールをサポートしている場合にのみ利用できます。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Audio USB VolumeControl Playback Max
*s Audio USB VolumeControl Playback Max: 15
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Audio USB VolumeControl Playback Min

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

接続された USB 再生デバイス (スピーカーなど) がビデオ デバイスから音声信号を受信した後に適用できる最小ゲイン (単位: db)。
このステータスは、USB デバイスが音量コントロールをサポートしている場合にのみ利用できます。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Audio USB VolumeControl Playback Min
*s Audio USB VolumeControl Playback Min: -15
** end
```

xStatus Audio USB VolumeControl Playback Value

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

接続された USB 再生デバイス (ラウドスピーカーなど) が再生する前に音声信号に適用する実際のゲイン (単位: db)。
このステータスは、USB デバイスが音量コントロールをサポートしている場合にのみ利用できます。
音声 USB ボリュームコントロール再生値の設定を参照して、この値の変更方法を確認してください。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Audio USB VolumeControl Playback Value
*s Audio USB VolumeControl Playback Volume: 6
** end
```

xStatus 音声の音量

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

スピーカー出力の音量レベル (デシベル) を表示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Audio Volume
*s Audio Volume: 70
** end
```

xStatus Audio VolumeHandsetUsb

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro Room55 DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

USB ハンドセットの音量レベルを表示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Audio VolumeHandsetUsb
*s 6
** end
```

xStatus Audio VolumeHeadsetAnalog

適用対象: DeskPro

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

アナログヘッドセットの音量レベルを表示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Audio VolumeHeadsetAnalog
*s 6
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Audio VolumeHeadsetBluetooth

適用対象: RoomBar RoomBarPro DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ、USER

Bluetooth ヘッドセットの音量レベルを表示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Audio VolumeHeadsetBluetooth
*s Audio VolumeHeadsetBluetooth: 50
** end
```

xStatus Audio VolumeHeadsetUsb

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro Room55 DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ、USER

USB ヘッドセットの音量レベルを表示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Audio VolumeHeadsetUsb
*s 6
** end
```

xStatus Audio VolumeInternal

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro Room55 DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ、USER

内部音量レベルを表示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Audio VolumeInternal
*s 6
** end
```

xStatus 音声音量ミュート

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ、USER

デバイスの音量がミュートに設定されているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus Audio VolumeMute
*s Audio VolumeMute: Off
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

Bookings ステータス

xStatus Bookings Availability Status

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

会議室がいつ、どのくらいの期間予約されたかを示します。

返される結果の値スペース:

Free/FreeUntil/BookedUntil

Free: 当面の間、会議室は予約されておらず、予約可能性タイムスタンプの状態は空 (" ") です。

FreeUntil: 現在、会議室は空室ですが、後ほど予約があります。予約の開始は、予約可能性タイムスタンプの状況で確認できます。

BookedUntil: 会議室は現在予約されており、現在の予約の終了日は、予約可能性タイムスタンプの状況です。

例:

```
xStatus Bookings Availability Status
*s Bookings Availability Status: Free
** end
```

xStatus Bookings Availability TimeStamp

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ルームの現在の予約空き状況により設定されたタイムスタンプまたは空の文字列です。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Bookings Availability TimeStamp
*s Bookings Availability TimeStamp: ""
** end
```

xStatus 現在の予約 ID

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

進行中のブッキングイベントの ID (もしあれば) です。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Bookings Current Id
*s Bookings Current Id: "123"
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

コールステータス

xStatus 通話 [n] AnswerState

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

通話が応答されたか、無視されたか、デバイスにより自動的に応答されたかを示します。

返される結果の値スペース:

回答済み/自動回答/無視/未回答

例:

```
xStatus 通話応答状態
*s Call 5 AnswerState: Answered
** end
```

xStatus Call [n] AttendedTransferFrom

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

現在の通話の転送元の通話の CallId を示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Call 1 AttendedTransferFrom
*s Call 1 AttendedTransferFrom: 1234
** end
```

xStatus Call [n] CallbackNumber

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

コールバックのコールプロトコルを含む、着信または発信コールのリモート (遠端) 番号または URI を表示します。通話中に xStatus Call コマンドを実行して、通話 ID を確認することができます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Call 27 CallbackNumber
*s Call 27 CallbackNumber: "h323:firstname.lastname@company.com"
** end
```

xStatus Call [n] CallType

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

着信または発信の通話タイプを表示します。通話中に xStatus Call コマンドを実行して、通話 ID を確認することができます。

返される結果の値スペース:

Audio/AudioCanEscalate/ForwardAllCall/Unknown/Video

例:

```
xStatus Call 27 CallType
*s Call 27 CallType: Video
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Call [n] DeviceType

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

通話が接続される場所を示します。

返される結果の値スペース:

エンドポイント/MCU

Endpoint: 別のデバイスへのポイントツーポイント通話です。

MCU: 通話はネットワーク内のマルチポイント電話会議ユニット (MCU) 宛てであるか、デバイスでホストされている MultiSite 通話です。

例:

```
xStatus Call DeviceType
*s Call 4 DeviceType: Endpoint
** end
```

xStatus Call [n] Direction

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

通話開始の方向を示します。通話中に xStatus Call コマンドを実行して、通話 ID を確認することができます。

返される結果の値スペース:

着信/発信

例:

```
xStatus Call 27 Direction
*s コール 27 の方向: 発信
** end
```

xStatus Call [n] DisplayName

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

通話の着信または発信におけるリモート (遠端) 参加者の名前を表示します。通話中に xStatus Call コマンドを実行して、通話 ID を確認することができます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Call 27 DisplayName
*s Call 27 DisplayName: "firstname.lastname@company.com"
** end
```

xStatus Call [n] Duration

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

コールの継続時間を示します (秒単位)。xStatus Call コマンドを実行して、コール ID を見つけることができます。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Call 27 Duration
*s Call 27 Duration: 2354
** end
```

xStatus Call [n] 暗号化タイプ

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

通話の暗号化タイプを表示します。通話中に xStatus Call コマンドを実行して、通話 ID を確認することができます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Call 27 暗号化タイプ
*s Call 27 Encryption Type: "None"
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Call [n] FacilityServiceId

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro Desk Board

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ、USER

施設のサービスに発信するときは、施設のサービス ID が表示されます。それ以外の場合は、値 0 が返されます。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Call FacilityServiceId
*s Call 3 FacilityServiceId: 1
** end
```

xStatus Call [n] HoldReason

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

現在の発信通話が保留になっている理由を示します。

返される結果の値スペース:

電話会議/転送/なし

Conference: 通話が電話会議に統合される間、保留中。
Transfer: 通話が転送される間、保留中。
None: その他すべての場合。

例:

```
xStatus コール 2 の保留理由
*s コール 2 の保留理由: なし
** end
```

xStatus Call [n] Ice

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ICE は、ICE ネゴシエーションを通じて直接ネットワーク パスが見つかった場合に、通話の両側がメディア (ビデオと音声) を直接送信できるようにする機能です。このステータスはネゴシエーションの結果を反映します。

返される結果の値スペース:

無効/成功/失敗

無効: ICE が無効になっています。
Passed: ダイレクトネットワークパスが見つかり、使用されています。
Failed: 直接のネットワークパスが見つかりません。メディアは中間コンポーネントを経由する可能性が高いです。

例:

```
xStatus Call 2 Ice
*s Call 2 Ice: Passed
** end
```

xStatus Call [n] PlacedOnHold

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

通話の保留に置かれた状態を示します。xStatus Call コマンドを実行して、コール ID を見つけることができます。

返される結果の値スペース:

True/False

例:

```
xStatus Call 27 PlacedOnHold
*s Call 27 PlacedOnHold: False
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Call [n] プロトコル

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

着信または発信の通話プロトコルを表示します。通話中に xStatus Call コマンドを実行して、通話 ID を確認することができます。

返される結果の値スペース:

不明/H323/SIP/Spark/WebRTC

例:

```
xStatus Call 27 プロトコル
*s Call 27 Protocol: "SIP"
** end
```

xStatus Call [n] ReceiveCallRate

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ、USER

コールの受信帯域幅をキロビット/秒 (kbps) で表示します。xStatus Call コマンドを実行して、コール ID を見つけることができます。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Call 27 ReceiveCallRate
*s Call 27 ReceiveCallRate: 4000
** end
```

xStatus Call [n] RemoteNumber

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

着信または発信通話のリモート (遠端) 番号または URI を表示します。通話中に xStatus Call コマンドを実行して、通話 ID を確認することができます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Call 27 RemoteNumber
*s Call 27 RemoteNumber: "5585232"
** end
```

xStatus Call [n] Status

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

通話の状況を表示します。通話中に xStatus Call コマンドを実行して、通話 ID を確認することができます。

返される結果の値スペース:

接続済み/接続中/ダイヤル中/切断中/アーリーメディア/アイドル/保留中/保存済み/リモート保存済み/呼び出し中

例:

```
xStatus Call 27 Status
*s Call 27 Status: Connected
** end
```

xStatus Call [n]TransmitCallRate

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ、USER

コールの送信帯域幅をキロビット/秒 (kbps) で表示します。xStatus Call コマンドを実行して、コール ID を見つけることができます。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Call 27 TransmitCallRate
*s Call 27 TransmitCallRate: 768
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

Cameras ステータス

xStatus Cameras Background Image

適用対象: DeskPro DeskMini Desk

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

3 つの事前インストールされた画像のセットのうち、背景画像として選択されているものが表示されます。

返される結果の値スペース:

画像 1/画像 2/画像 3/画像 4/画像 5/画像 6/ユーザ 1/ユーザ 2/ユーザ 3

Image1 - Image6: プリインストールされたイメージ用のスロット。
User1～User3: アップロードされた画像をインストールできるスロット。

例:

```
xStatus Cameras Background Image
*s Cameras Background Image: Image3
** end
```

xStatus Cameras Background Mode

適用対象: DeskPro DeskMini Desk

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

カメラ ビューの背景をマスクする画像または効果が選択されているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

Disabled/Blur/BlurMonochrome/DepthOfField/Monochrome/Hdmi/UsbC/Image

無効: 背景画像や効果は表示されません。
Blur: 背景がぼかされます。
BlurMonochrome: ぼかしと単色 (色なしのぼかし) の組み合わせです。
DepthOfField: ぼかしの 1 つで、ぼかしが少ない。
Hdmi: HDMI 入力がライブ背景を提供しています。
単色: 画像をグレースケールで表示します。
Image: 画像が背景を提供します。
UsbC: USB-C はライブバックグラウンドを提供します。

例:

```
xStatus カメラバックグラウンドモード
*s Cameras Background Mode: Image
** end
```

xStatus Cameras Camera [n] Capabilities Options

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

カメラの機能を表示します (ptzf = パン、チルト、ズーム、フォーカス)。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 Capabilities Options
*s Camera 1 Capabilities Options: "ptzf"
** end
```

xStatus カメラ カメラ [n] 接続済み

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

カメラが接続されているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

True/False

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 Connected
*s Camera 1 Connected: True
** end
```

xStatus Cameras Camera [n] DetectedConnector

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

カメラが接続されていることを検出した HDMI コネクタ番号を表示します。HDMI コネクタ番号が検出されない場合は 0 が表示されます。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 DetectedConnector
*s Cameras Camera 1 DetectedConnector: 1
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus カメラ カメラ [n] 反転

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

画像が上下反転しているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 Flip
*s Camera 1 Flip: "Off"
** end
```

xStatus カメラ カメラ [n] フレームレート

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro Room55 DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

カメラのフレームレートを表示します。

返される結果の値スペース:

整数

1 秒あたりのフレーム数です。

例:

```
xStatus Cameras Camera Framerate
*s Cameras Camera 1 Framerate: 30
** end
```

xStatus Cameras Camera [n] HardwareID

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

カメラのハードウェア ID を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 HardwareID
*s Camera 1 HardwareID: "50000000"
** end
```

xStatus Cameras Camera [n] Lenses [n] Lens

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

カメラ レンズのタイプを返します。カメラには複数のレンズがあり、カメラによって異なる種類のレンズがあります。

返される結果の値スペース:

デフォルト/ワイド/センター/左/右/望遠

レンズの種類です。

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 Lenses 1 Lens
*s Cameras Camera 1 Lenses 1 Lens: Wide
** end
```

xStatus Cameras Camera [n] LightingConditions

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

カメラが会議室の照明をどのように認識しているかを示します。

返される結果の値スペース:

不明/良好/暗い/逆光

不明: カメラの電源がOffになっているか、またはこの機能に対応していません。
良好: 照明は良好なレベルです。
Dark: 照明が低すぎます。
Backlight: 画像にはバックライトが強く出ています。

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 LightingConditions
*s カメラ 1 照明条件: 良好
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Cameras Camera [n] MacAddress

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

カメラの MAC (メディア アクセス コントロール) アドレスを表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 MacAddress
*s Camera 1 MacAddress: ""
** end
```

xStatus Cameras Camera [n] Manufacturer

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

カメラの製造元を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 Manufacturer
*s カメラ 1 製造元: "Cisco"
** end
```

xStatus Cameras Camera [n] Model

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

カメラのモデルを表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 Model
*s カメラ 1 モデル:「クアッド カメラ」
** end
```

xStatus Cameras Camera [n] Position Focus

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

カメラの現在のフォーカス位置を表示します。値の範囲はカメラのタイプによって異なります。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 Position Focus
*s Camera 1 Position Focus: 4597
** end
```

xStatus Cameras Camera [n] Position Lens

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

現在使用されているカメラのレンズを示します。値の範囲はカメラのタイプによって異なります。

返される結果の値スペース:

デフォルト/ワイド/センター/左/右/望遠

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 Position Lens
*s Cameras Camera 1 Position Lens: Center
** end
```

xStatus Cameras Camera [n] Position Pan

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

カメラの現在のパン (左右に移動) 位置を表示します。値の範囲はカメラのタイプによって異なります。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 Position Pan
*s Camera 1 Position Pan: 412
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Cameras Camera [n] Position Roll

適用対象: RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

カメラ ビューの現在の回転 (ロール) を表示します。値が正の場合は観察画像が反時計回りに、負の場合は時計回りに回転します。単位は 1/100 度で、300 は 3 度に対応します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 Position Roll
*s Camera 1 Position Roll: 20
** end
```

xStatus Cameras Camera [n] Position Tilt

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

カメラの現在のチルト (上下に移動) 位置を表示します。値の範囲はカメラのタイプによって異なります。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 Position Tilt
*s Camera 1 Position Tilt: 106
** end
```

xStatus Cameras Camera [n] Position Zoom

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

カメラの現在のズームインおよびズームアウト位置を表示します。値の範囲はカメラのタイプによって異なります。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 Position Zoom
*s Camera 1 Position Zoom: 828
** end
```

xStatus Cameras Camera [n] SerialNumber

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

カメラのシリアル番号を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 SerialNumber
*s カメラ 1 のシリアル番号: "B1AB26B00010"
** end
```

xStatus Cameras Camera [n] SoftwareID

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama Board BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

カメラのソフトウェアの識別情報を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 SoftwareID
*s Camera 1 SoftwareID: "ce11.1.2.4.b7224552262"
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Cameras PresenterTrack Availability

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 BoardPro BoardProG2

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

プレゼンタのトラッキングが使用可能かどうかを示します。

返される結果の値スペース:

Off/対応不可/対応可能

Off: プレゼンタのトラッキングが無効です。

Unavailable: プレゼンタートラッキングが正しく設定されていないか、カメラが切断されているか、または MultiSite または Multistream 通話が進行中です。

Available: プレゼンタトラッキングが利用できます。

例:

```
xStatus Cameras PresenterTrack Availability
*s Cameras PresenterTrack Availability: Available
** end
```

xStatus Cameras PresenterTrack PresenterDetected

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 BoardPro BoardProG2

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

プレゼンタトラッキングが現在使用中かどうかを示します。

返される結果の値スペース:

True/False

例:

```
xStatus Cameras PresenterTrack PresenterDetected
*s Cameras PresenterTrack PresenterDetected: False
** end
```

xStatus Cameras PresenterTrack Status

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 BoardPro BoardProG2

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

プレゼンタトラッキングの現在の状況を返します。

返される結果の値スペース:

Off/Follow/Diagnostic/Background/Setup/Persistent

Off: 実行されていません。

フォロー: トラッキングは進行中で、正常に機能しています

診断: 診断モード中。このモードはトラブルシューティングに使用されます。

バックグラウンド: PresenterTrack カメラがメイン カメラとして選択されていない場合、アルゴリズムが実行されています。これは Briefing 会議室のセットアップで使用され、異なるカメラ間の自動切り替えを有効にします。

セットアップ: SpeakerTrack カメラを設定するためのウェブ ウィザードがアクティブになっています。

Persistent: カメラがアクティブで、メインカメラとして選択されています。

例:

```
xStatus Cameras PresenterTrack Status
*s Cameras PresenterTrack Status: Off
** end
```

xStatus カメラ SpeakerTrack ActiveConnector

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

スピーカー トラッキングをサポートするカメラが接続されているコネクタの番号を示します。それが SpeakerTrack 60 カメラである場合、現在 SpeakerTrack アルゴリズムによって選択されているのはカメラのコネクタ番号です。

このステータスは Room Kit Mini、Desk シリーズ、Board シリーズのデバイスには適用されません。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Cameras SpeakerTrack ActiveConnector
*s Cameras SpeakerTrack ActiveConnector: 1
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Cameras SpeakerTrack Availability

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

製品は話者トラッキングベスト オーバービューを含む場合もあれば、ベスト オーバービュー機能のみに対応する場合もあります。この状況は、その機能が利用可能かどうかを示します。

返される結果の値スペース:

Off/Unavailable/Available

Off: 発言者トラッキング/ベストオーバービューは、コマンド xConfiguration Cameras SpeakerTrack Mode: Off になります

利用不可: 話者トラッキング/ベストオーバービュー用ハードウェアが見つかりません。

利用可能: 話者トラッキング/ベストオーバービュー用のハードウェアが見つかり、ユーザインターフェイスからこの機能をOnまたはOffにできます。

例:

```
xStatus Cameras SpeakerTrack Availability
*s Cameras SpeakerTrack Availability: Available
** end
```

xStatus Cameras SpeakerTrack BackgroundMode

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

発言者トラック/最適な概観のアルゴリズムが現在バックグラウンドで実行されているかどうかをレポートします。

返される結果の値スペース:

アクティブ/非アクティブ

Active: スピーカートラックはバックグラウンドで実行されます。

Inactive: スピーカートラックはバックグラウンドで実行されません。

例:

```
xStatus Cameras SpeakerTrack BackgroundMode
*s Cameras SpeakerTrack BackgroundMode: Inactive
** end
```

xStatus Cameras SpeakerTrack Behavior Active

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

現在アクティブなスピーカー トラックの動作を示します。

返される結果の値スペース:

ベストオーバービュー/クローズアップ/組み合わせ/デスクトップ/フレーム/グループとスピーカー/マニュアル

例:

```
xStatus Cameras SpeakerTrack Behavior Active
** end
```

xStatus Cameras SpeakerTrack Closeup Status

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

スピーカー トラック機能のクローズアップ機能の現在のステータスを示します。

返される結果の値スペース:

アクティブ/非アクティブ

アクティブ: スピーカー トラックのクローズアップ機能がアクティブになっています。

Inactive: スピーカートラックのクローズアップ機能は使用されていません。

例:

```
xStatus Cameras SpeakerTrack Closeup Status
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Cameras SpeakerTrack Frames Availability

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

フレーム カメラ フレーミング モードがデバイスで利用可能かどうかを報告します。

返される結果の値スペース:

Off/対応不可/対応可能

利用可能: カメラはフレームに対応しており、この機能は無効になっていません。

Unavailable: このカメラはフレームに対応していません。

Off: カメラはフレームをサポートしていますが、この機能は無効になっています (Cameras SpeakerTrack Frames Mode が Off に設定されています)。

例:

```
xStatus Cameras SpeakerTrack Frames Availability
*s Cameras SpeakerTrack Frames Availability: Available
** end
```

xStatus Cameras SpeakerTrack Frames Status

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

現在選択されているカメラのフレーム モードがフレームかどうかをレポートします。

返される結果の値スペース:

アクティブ/非アクティブ

アクティブ: フレームが使用中です。

非アクティブ: フレームは使用されていません。

例:

```
xStatus Cameras SpeakerTrack Frames Status
*s Cameras SpeakerTrack Frames Status: Inactive
** end
```

xStatus Cameras SpeakerTrack State

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

カメラの話者トラッキング機能の状態を示します。スピーカー トラッキングは自動カメラ フレーミングを使用し、室内の人数に基づいて最適なカメラ表示を選択します。カメラは、現在の話者を検出してそのクローズアップをキャプチャするオーディオ トラッキング技術を使用します。

返される結果の値スペース:

Off/BestOverview/Closeup/Whiteboard/Frames

BestOverview: カメラが自動的に調整されるため、ユーザーがワークスペースを動き回る場合でも、常にビデオ内に完全に収まるように表示されます。

Closeup: カメラが現在の発言者をトラッキングしてズームインしています。クローズアップには多くの場合、会議室にいるすべての人が含まれていません。

Frames: カメラがズームして、個人または少人数のグループで人を表示します。これらの個人フレームとグループフレームは、さらに 1 つの出力ビデオストリームに合成されます。このストリームでは、余分な背景が削除され、人物がより近くに表示され、同じサイズで、同じ目の高さで表示されます。

Off: 発言者トラッキングは無効です。

Whiteboard: カメラは、個々の発言者にフォーカスするのではなく、ホワイトボードをキャプチャすることにフォーカスします。

例:

```
xStatus Cameras SpeakerTrack State
*s Cameras SpeakerTrack State: BestOverview
** end
```

xStatus Cameras SpeakerTrack Status

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

製品は話者トラッキングベスト オーバービューを含む場合もあれば、ベスト オーバービュー機能のみに対応する場合もあります。このステータスは、その機能がアクティブかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

アクティブ/非アクティブ

アクティブ: 話者トラッキング/ベストオーバービューがアクティブです。

Inactive: スピーカートラッキング/ベストオーバービューが非アクティブです。

例:

```
xStatus Cameras SpeakerTrack Status
*s Cameras SpeakerTrack Status: Active
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Cameras SpeakerTrack ViewLimits Pan

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama Board BoardPro BoardProG2

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

Cameras SpeakerTrack ViewLimits StorePosition コマンドで設定されたカメラ ビューの制限された最大値に対するパン値を返します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Cameras SpeakerTrack ViewLimits Pan
*s Cameras SpeakerTrack ViewLimits Pan: -88
** end
```

xStatus Cameras SpeakerTrack ViewLimits Status

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama Board BoardPro BoardProG2

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

制限された最大カメラビューが話者トラッキングに使用されているかどうかを示します (Cameras SpeakerTrack ViewLimits StorePosition コマンドを参照してください)。

返される結果の値スペース:

アクティブ/非アクティブ

Active: 制限された最大ビューが使用されています。

Inactive: 制限された最大ビューは使用されていないため、完全にズームアウトされたカメラビューになります。

例:

```
xStatus Cameras SpeakerTrack ViewLimits Status
*s Cameras SpeakerTrack ViewLimits Status: Active
** end
```

xStatus Cameras SpeakerTrack ViewLimits Tilt

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama Board BoardPro BoardProG2

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

Cameras SpeakerTrack ViewLimits StorePosition コマンドで設定されたカメラビューの制限された最大値に対するチルト値を返します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Cameras SpeakerTrack ViewLimits Tilt
*s Cameras SpeakerTrack ViewLimits Tilt: -425
** end
```

xStatus Cameras SpeakerTrack ViewLimits Zoom

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama Board BoardPro BoardProG2

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

Cameras SpeakerTrack ViewLimits StorePosition コマンドで設定された制限された最大カメラビューのズーム値を返します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Cameras SpeakerTrack ViewLimits Zoom
*s Cameras SpeakerTrack ViewLimits Zoom: 5121
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Cameras Stereoscopic Calibrated

適用対象: RoomBarPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

返される結果の値スペース:

True/False

カメラが立体 3D 用に調整されているかどうか。

例:

```
xStatus Cameras Stereoscopic Calibrated
*s Cameras Stereoscopic Calibrated: True
** end
```

xStatus カメラの立体視ステータス

適用対象: RoomBarPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

現在の立体 3D ストリームのステータス。

返される結果の値スペース:

オフ/送信中/ミュート

例:

```
xStatus カメラ立体視ステータス
*s カメラ立体視ステータス:送信中
** end
```

機能の状況

xStatus Capabilities Conference MaxActiveCalls

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

同時アクティブ コールの最大数を表示します。保留/転送に設定されている通話は、アクティブとしてカウントされません。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Capabilities Conference MaxNumberOfActiveCalls
*s Capabilities Conference MaxNumberOfActiveCalls: 3
** end
```

xStatus Capabilities Conference MaxAudioCalls

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

サポートされている同時音声コールの最大数を示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Capabilities Conference MaxAudioCalls
*s Capabilities Conference MaxAudioCalls: 3
** end
```

xStatus Capabilities Conference MaxCalls

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

最大同時通話数を表示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Capabilities Conference MaxCalls
*s Capabilities Conference MaxCalls: 3
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Capabilities Conference MaxVideoCalls

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

サポートされている同時ビデオ コールの最大数を表示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Capabilities Conference MaxVideoCalls
*s Capabilities Conference MaxVideoCalls: 3
** end
```

会議ステータス

xStatus Conference ActiveSpeaker CallId

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

現在アクティブな発言者の CallId を表示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Conference ActiveSpeaker CallId
*s Conference ActiveSpeaker CallId: 3
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Conference Call [n] AuthenticationRequest

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ、USER

このステータスは Webex 登録済みデバイスにのみ関連します。このステータスが「なし」以外の値である場合、デバイスはユーザからの認証応答を待っています。Conference Call AuthenticationResponse コマンドを使用して応答を提供します。

返される結果の値スペース:

なし/ホストピンまたはゲスト/ホストピンまたはゲストピン/任意のホストピンまたはゲストピン/パネリストピン/パネリストピンまたは出席者ピン/パネリストピンまたは出席者/ゲストピン

AnyHostPinOrGuestPin: 参加者は主催者かゲストかを問われません。ロールは必要ありません。主催者 PIN またはゲスト PIN のいずれかを提供する必要があります。

GuestPin: 参加者はゲスト PIN を入力する必要があります。

なし: デバイスは認証応答を待機していません (認証要求なし)。

HostPinOrGuest: 参加者は、主催者として参加するかゲストとして参加するかを尋ねられます。主催者 PIN を提供するか、PIN なしでゲストとして参加する必要があります。

HostPinOrGuestPin: 参加者は、主催者またはゲストのどちらとして参加するか尋ねられます。対応する主催者 PIN またはゲスト PIN を提供する必要があります。

パネリスト PIN: 参加者はパネリストとして Webex ウェビナーに参加するために、パネリスト PIN を入力する必要があります。このウェビナーでは出席者として参加できません。

PanelistPinOrAttendee: 参加者は、Webex ウェビナーにパネリストとして参加するか、出席者として参加するかを尋ねられます。対応するパネリスト PIN を提供するか、PIN なしで出席者として参加する必要があります。

PanelistPinOrAttendeePin: 参加者は、Webex ウェビナーにパネリストとして参加するか、出席者として参加するかを尋ねられます。対応するパネリスト PIN または出席者 PIN を提供する必要があります。

例:

```
xStatus Conference Call 2 AuthenticationRequest
*s Conference Call 2 AuthenticationRequest: None
** end
```

xStatus Conference Call [n] BookingId

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

コンファレンスコールの予約 ID を表示します (割り当てられている場合)。ブッキング ID は、通話または電話会議を簡単に識別するために使用できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference Call 2 BookingId
*s Conference Call 2 BookingId: "MyConference"
** end
```

xStatus Conference Call [n] Capabilities AdmitFromLobby

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

この状況は Webex ミーティングと Webex 最適化通話にのみ適用されます。

現在ミーティングロビーで待機している参加者を許可できるかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

利用可能/利用不可

利用可能: 現在ミーティングロビーで待機している参加者を入室させることができます。

Unavailable: 現在ミーティングロビーで待機している参加者を入室させることができません。

例:

```
xStatus Conference Call 1 Capabilities AdmitFromLobby
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Conference Call [n] Capabilities DisableReactions

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

この状況は Webex ミーティングと Webex 最適化通話にのみ適用されます。
ミーティング内でリアクションを無効にできるかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

Available/Unavailable

Available: ミーティング中にリアクションを無効にできます。
利用できません: ミーティング中にリアクションを無効にすることはできません。

例:

```
xStatus Conference Call 1 Capabilities DisableReactions
** end
```

xStatus Conference Call [n] Capabilities DTMF

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

この状況は Webex ミーティングと Webex 最適化通話にのみ適用されます。ミーティング内で DTMF トーンを送信できるかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

True/False

利用可能: ミーティング中に DTMF トーンを送信できます。
利用できません: ミーティング中に DTMF トーンを送信することはできません。

例:

```
xStatus Conference Call 1 Capabilities DTMF
*s Conference Call 1 Capabilities DTMF: Unavailable
** end>
```

xStatus Conference Call [n] Capabilities EnableReactions

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

この状況は Webex ミーティングと Webex 最適化通話にのみ適用されます。
ミーティング内でリアクションを有効にできるかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

Available/Unavailable

利用可能: ミーティング内でリアクションを有効にできます。
Unavailable: ミーティング内でリアクションを有効にすることはできません。

例:

```
xStatus Conference Call 1 Capabilities EnableReactions
** end
```

xStatus Conference Call [n] Capabilities EndMeeting

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

この状況は Webex ミーティングと Webex 最適化通話にのみ適用されます。
ミーティング全体を終了できるかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

Available/Unavailable

利用可能: ミーティング全体を終了することができます。
利用不可: ミーティング全体を終了することはできません。

例:

```
xStatus 電話会議 1 の機能 EndMeeting
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Conference Call [n] Capabilities EmergencyCallCapability

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

EmergencyCallCapability が有効かどうかを示します。有効になっている場合、緊急通話中は、参加者を追加したり、通話を終了するためのボタンが非表示になります。

返される結果の値スペース:

True/False

例:

```
xStatus Conference Call 1 Capabilities EmergencyCallCapability
*s Conference Call 1 Capabilities EmergencyCallCapability: False
** end
```

xStatus Conference Call [n] Capabilities HardMute

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

この状況は Webex ミーティングと Webex 最適化通話にのみ適用されます。
ミーティング内で「完全ミュート」を有効にできるかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

有効/無効/該当なし

利用可能: ミーティング内で「ハードミュート」を有効にできます。
利用できません: ミーティング内で「ハードミュート」を有効にすることはできません。
適用なし: このミーティングには適用されません (Onプレミス SIP 通話など)。

例:

```
xStatus Conference Call 1 Capabilities HardMute
** end
```

xStatus Conference Call [n] Capabilities FarendMessage Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

このリリースには適用されません。

返される結果の値スペース:

On/Off

xStatus Conference Call [n] Capabilities FECC Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

自分が遠端サイトの入力ソースをコントロールする権限を持っているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

On/Off

On: 遠端の入力ソースコントロールが許可されます。
Off: 遠端の入力ソースコントロールは許可されません。

例:

```
xStatus Conference Call 2 Capabilities FECC Mode
*s Conference Call 2 Capabilities FECC Mode: On
** end
```

xStatus Conference Call [n] Capabilities FECC NumberOfPresets

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

遠端サイトの入力ソースで利用できるプリセットの数を表示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Conference Call 2 Capabilities FECC NumberOfPresets
*s Conference Call 2 Capabilities FECC NumberOfPresets: 15
** end
```

xStatus Conference Call [n] Capabilities FECC NumberOfSources

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

遠端サイトで接続できる入力ソースの数を表示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Conference Call 2 Capabilities FECC NumberOfSources
*s Conference Call 2 Capabilities FECC NumberOfSources: 5
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Conference Call [n] Capabilities FECC Source [n] Name

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

遠端サイトで接続できる入力ソースの名前を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference Call 2 Capabilities FECC Source 1 Name
*s Conference Call 2 Capabilities FECC Source 1 Name: "Main camera"
** end
```

xStatus Conference Call [n] Capabilities FECC Source [n] Options

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

遠隔地で接続できる入力ソースで利用できるオプションを表示します (カメラの場合: p=パン、t=チルト、z=ズーム、f=フォーカス)。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference Call 2 Capabilities FECC Source 1 Options
*s Conference Call 2 Capabilities FECC Source 1 Options: "ptzf"
** end
```

xStatus Conference Call [n] Capabilities FECC Source [n] SourceId

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

遠端サイトで接続できる入力ソースの ID を表示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Conference Call 2 Capabilities FECC Source 1 SourceId
*s Conference Call 2 Capabilities FECC Source 1 SourceId: 6
** end
```

xStatus Conference Call [n] Capabilities Hold

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

遠端サイトを保留状態にできるかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

True/False

例:

```
xStatus Conference Call 2 Capabilities Hold
*s Conference Call 2 Capabilities Hold: True
** end
```

xStatus Conference Call [n] Capabilities IsModerator

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

この状況は Webex ミーティングと Webex 最適化通話にのみ適用されます。
ミーティング内でモデレーターの役割を持っているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

True/False

True: ミーティング内でモデレーターのロールを持っているかどうかを示します。
False: ミーティング内でモデレーターのロールを持っていません。

例:

```
xStatus Conference Call 1 Capabilities IsModerator
** end
```

xStatus Conference Call [n] Capabilities IxChannel Status

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

このリリースには適用されません。

返される結果の値スペース:

アクティブ/失敗/オフ

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Conference Call [n] Capabilities LockControl

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

この状況は Webex ミーティングと Webex 最適化通話にのみ適用されます。
ミーティングをロックできるかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

利用不可/ロック/ロック解除

Lock: ミーティングをロックすることができます。
Unlock: ミーティングをロックすることはできません。
Unavailable: この機能はこのミーティングには適用されません。

例:

```
xStatus Conference Call 1 Capabilities LockControl
** end
```

xStatus Conference Call [n] Capabilities LowerAllHands

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

この状況は Webex ミーティングと Webex 最適化通話にのみ適用されます。
ミーティング中にすべての参加者の手を下げることができるかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

有効/無効/該当なし

有効: ミーティング内ですべての参加者の手を下げることができます。
Disabled: ミーティング内ですべての参加者の手を下げることができません。
NotApplicable: この機能はこのミーティングには適用されません。

例:

```
xStatus Conference Call 1 Capabilities LowerAllHands
** end
```

xStatus Conference Call [n] Capabilities LowerParticipantsHand

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

この状況は Webex ミーティングと Webex 最適化通話にのみ適用されます。
ミーティング中に任意の参加者の手を下げることができるかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

Available/Unavailable

有効: ミーティング中に任意の参加者の手を下げることができます。
Disabled: ミーティング中に任意の参加者の手を下げることができません。

例:

```
xStatus Conference Call 1 Capabilities LowerParticipantsHand
** end
```

xStatus Conference Call [n] Capabilities MeetingAssistant Start

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

このバージョンでは適用できません。

返される結果の値スペース:

利用可能/利用不可

xStatus Conference Call [n] Capabilities MeetingAssistant Stop

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

このバージョンでは適用できません。

返される結果の値スペース:

利用可能/利用不可

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Conference Call [n] Capabilities MoveToLobby

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ミーティング参加者をロビーに移動できるかどうかを示します。詳細については、Conference Participant MoveToLobby コマンドを参照してください。

返される結果の値スペース:

利用可能/利用不可

Available: ミーティング参加者をロビーに移動できるかどうかを示します。

利用不可: ミーティング参加者をロビーに移動することはできません。

例:

```
xStatus Conference Call 2 Capabilities MoveToLobby
*s 電話会議 2 の機能 MoveToLobby: は利用できません
** end
```

xStatus Conference Call [n] Capabilities MuteAll

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

この状況は Webex ミーティングと Webex 最適化通話にのみ適用されます。
ミーティングですべての参加者をミュートできるかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

有効/無効/該当なし

有効化: ミーティング内のすべての参加者をミュートできます。

無効: ミーティングですべての参加者をミュートすることはできません。

NotApplicable: この機能はこのミーティングには適用されません (Onプレミス SIP 通話など)。

例:

```
xStatus Conference Call 1 Capabilities MuteAll
** end
```

xStatus Conference Call [n] Capabilities MuteOnEntry

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

この状況は Webex ミーティングと Webex 最適化通話にのみ適用されます。
ミーティングへの参加時にすべての参加者をミュートできるかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

有効/無効/該当なし

有効: ミーティングへの参加時にすべての参加者をミュートできます。

無効: ミーティングへの参加時にすべての参加者をミュートすることはできません。

NotApplicable: この機能はこのミーティングには適用されません (Onプレミス SIP 通話など)。

例:

```
xStatus Conference Call 1 Capabilities MuteOnEntry
** end
```

xStatus Conference Call [n] Capabilities ParticipantAdd

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

この通話に参加者を追加できるかどうかを示します。詳細については、Conference Participant Add コマンドを参照してください。

返される結果の値スペース:

利用可能/利用不可

Available: この通話に参加者を追加できます。

利用不可: このコールに参加者を追加することはできません。

例:

```
xStatus Conference Call 2 Capabilities ParticipantAdd
*s Conference Call 2 Capabilities ParticipantAdd: Available
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Conference Call [n] Capabilities ParticipantDisconnect

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

この通話の参加者を切断できるかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

利用可能/利用不可

例:

```
xStatus Conference Call 2 Capabilities ParticipantDisconnect
*s Conference Call 2 Capabilities ParticipantDisconnect: Available
** end
```

xStatus Conference Call [n] Capabilities ParticipantList

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

この通話で参加者リストを表示できるかどうか、またはリストが同期中かどうかを示します。

返される結果の値スペース:

利用可能/同期中/利用できません

例:

```
xStatus Conference Call 2 Capabilities ParticipantList
*s Conference Call 2 Capabilities ParticipantList: Available
** end
```

xStatus Conference Call [n] Capabilities ParticipantMute

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

別のデバイス (ミーティング参加者) のサーバーのミュート状態を変更できるかどうかを示します。デバイスがサーバ上でミュートになると、それ自体が自動的にミュートになります。デバイスがサーバー上でミュート解除されると、「音声のミュートを解除してください」という通知を受け取ります。プライバシー上の理由から、デバイスはローカルでミュート解除されるまで、常にミュートされたままになります。

返される結果の値スペース:

利用可能/利用不可

利用可能: サーバ上で別のデバイスのミュート状態を変更することができます。
Unavailable: サーバー上の別のデバイスのミュート状態を変更することはできません。

例:

```
xStatus 電話会議 2 の機能 参加者 ミュート
*s Conference Call 2 Capabilities ParticipantMute: Available
** end
```

xStatus Conference Call [n] Capabilities ParticipantRequestUnmute

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

この状況は Webex ミーティングと Webex 最適化通話にのみ適用されます。
各参加者が自分でミュート解除を要求できるかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

有効/無効/該当なし

有効: ミーティングの各参加者は、各自でミュート解除をリクエストできます。
Disabled: ミーティングの各参加者が自分でミュート解除することはできません。
NotApplicable: この機能はこのミーティングには適用されません。

例:

```
xStatus Conference Call 1 Capabilities ParticipantRequestUnmute
** end
```

xStatus Conference Call [n] Capabilities Presentation

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

会議の他の参加者のプレゼンテーション機能の一覧を表示します。

返される結果の値スペース:

True/False

例:

```
xStatus Conference Call 2 Capabilities Presentation
*s Conference Call 2 Capabilities Presentation: True
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Conference Call [n] Capabilities RaiseHand

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

この状況は Webex ミーティングと Webex 最適化通話にのみ適用されます。
ミーティング中に挙手できるかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

利用可能/利用不可

利用可能: ミーティング中に挙手できます。
利用できません: ミーティング中に挙手することはできません。

例:

```
xStatus Conference Call 1 Capabilities RaiseHand
** end
```

xStatus Conference Call [n] Capabilities Reactions

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

この状況は Webex ミーティングと Webex 最適化通話にのみ適用されます。
ミーティング中にリアクションを送信できるかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

利用可能/利用不可

利用可能: ミーティング中にリアクションを送信できます。
Unavailable: ミーティング内でリアクションを送信することはできません。

例:

```
xStatus 電話会議 1 機能 リアクション
** end
```

xStatus Conference Call [n] Capabilities Recording Pause

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

返される結果の値スペース:

利用可能/利用不可

xStatus Conference Call [n] Capabilities Recording Resume

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

返される結果の値スペース:

利用可能/利用不可

xStatus Conference Call [n] Capabilities Recording Start

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

この通話で録音を開始できるかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

利用可能/利用不可

例:

```
xStatus Conference Call 2 Capabilities Recording Start
*s Conference Call 2 Capabilities Recording Start: Unavailable
** end
```

xStatus Conference Call [n] Capabilities Recording Stop

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

返される結果の値スペース:

利用可能/利用不可

xStatus Conference Call [n] Capabilities SelfMute

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

サーバ上で自分のミュート状態を変更できるかどうかを示します。このステータスは CMS が主催するミーティングにのみ関連します。

返される結果の値スペース:

利用可能/利用不可

利用可能: サーバ上で自分のミュート状態を変更できます。
利用できません: サーバ上で自分のミュート状態を変更することはできません。

例:

```
xStatus Conference Call 2 Capabilities SelfMute
*s Conference Call 2 Capabilities SelfMute: Unavailable
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Conference Call [n] Capabilities TransferHostAndLeave

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

返される結果の値スペース:

利用可能/利用不可

例:

```
xStatus Conference Call 1 Capabilities TransferHostAndLeave
** end
```

xStatus Conference Call [n] Capabilities UnmuteAll

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

この状況は Webex ミーティングと Webex 最適化通話にのみ適用されます。
ミーティング内ですべての参加者をミュート解除できるかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

有効/無効/該当なし

Available: ミーティング内ですべての参加者をミュート解除できます。そして以前に適用したハードミュートを削除します。実際にはミュート解除されません。

Unavailable: ミーティングですべての参加者をミュート解除することはできません。

NotApplicable: この機能はこのミーティングには適用されません (Onプレミス SIP 通話など)。

例:

```
xStatus 電話会議 1 の機能 すべてミュート解除
** end
```

xStatus Conference Call [n] EventCenter Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

この通話で練習セッションモードが使用されているかどうかを示します。このステータスは、クラウド登録済みデバイスでのみ利用できます。

返される結果の値スペース:

Normal/PracticeSession

例:

```
xStatus Conference Call 2 EventCenter Mode
*s Conference Call 2 EventCenter Mode: Normal
** end
```

xStatus Conference Call [n] HardMuted

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

この状況は Webex ミーティングと Webex 最適化通話にのみ適用されます。
ミーティング中にハードミュートになっているかどうかを表示します。

返される結果の値スペース:

True/False

True: あなたはミーティング内で完全にミュートされています。

False: ミーティング中に完全にミュートされていません。

例:

```
xStatus Conference Call 1 HardMuted
** end
```

xStatus Conference Call [n] Locked

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

返される結果の値スペース:

On/Off

xStatus Conference Call [n] Manufacturer

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

相手側のデバイスの製造元を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference Call 2 Manufacturer
*s Conference Call 2 Manufacturer: "Cisco"
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Conference Call [n] MeetingAssistantEnabled

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

このバージョンには適用できません。

返される結果の値スペース:

True/False

xStatus Conference Call [n] MeetingPlatform

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

このステータスは Bookings コマンドで指定された MeetingPlatform、つまりミーティングを主催するサービスを返します。

返される結果の値スペース:

不明/GoogleMeet/MSTeams/Webex/Zoom

例:

```
xStatus Conference Call 2 MeetingPlatform
*s Conference Call 2 MeetingPlatform: Webex
** end
```

xStatus Conference Call [n] Meeting

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デバイスが Webex ミーティングに参加しているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

True/False

False: デバイスは Webex ミーティングに参加していません。
True: デバイスは Webex ミーティング中です。

例:

```
xStatus Conference Call Meeting
*s Conference Call 8 Meeting: True
** end
```

xStatus Conference Call [n] MicrophonesMuted

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

電話会議の他の参加者の音声ミュートステータスを一覧表示します。

返される結果の値スペース:

True/False

例:

```
xStatus Conference Call 2 MicrophonesMuted
*s Conference Call 2 MicrophonesMuted: True
** end
```

xStatus 電話会議 [n] ProximityCall

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

Proximity アプリや Webex アプリなど、デバイスがペアリングされた通話で使用されているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

True/False

False: デバイスは、アプリの 1 つを使用したペアリング通話中ではありません。
True: デバイスは、アプリの 1 つを使用したペアリング通話中です。

例:

```
xStatus Conference Call 8 ProximityCall
*s Conference Call 8 ProximityCall: True
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Conference Call [n] RaiseHand

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

この状況は Webex ミーティングと Webex 最適化通話にのみ適用されます。
挙手したかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

非アクティブ/上昇/下降

Raised: 現在、挙手しています。
Lowered: 現在、手を下げています。
Inactive: このステータスはこのミーティングに適用されません。

例:

```
xStatus Conference Call 1 RaiseHand
** end
```

xStatus 電話会議 [n] の録画

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

通話が録音されているかどうかを表示します。

返される結果の値スペース:

None/Recording/Paused

None: 録音は利用できません。
Recording: 録音は進行中です。
Paused: 録音は一時停止中です。

例:

```
xStatus Conference Call 2 Recording
*s Conference Call 2 Recording: None
** end
```

xStatus 電話会議 [n] 同時通訳 言語 [n] 言語コード

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

同時通訳により、Webex ミーティングの参加者は、好みの言語でミーティングを聞くことができます。
このレポートは、利用可能な言語の言語コードを報告します。
詳細については、Conference SimultaneousInterpretation Select Language コマンドを参照してください。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Conference Call 1 SimultaneousInterpretation Languages LanguageCode
*s Conference Call 1 SimultaneousInterpretation Languages 1 LanguageCode: 24
*s Conference Call 1 SimultaneousInterpretation Languages 2 LanguageCode: 20
*s Conference Call 1 SimultaneousInterpretation Languages 3 LanguageCode: 28
*s Conference Call 1 SimultaneousInterpretation Languages 4 LanguageCode: 89
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus 電話会議 [n] 同時通訳 言語 [n] 言語名

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

同時通訳により、Webex ミーティングの参加者は、好みの言語でミーティングを聞くことができます。

このステータスは、利用可能な言語の名前を表示します。

詳細については、Conference SimultaneousInterpretation Select Language コマンドを参照してください。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus 電話会議 1 同時通訳 言語 1 言語名
*s Conference Call 1 SimultaneousInterpretation Languages 1 LanguageName:
"fr"
*s Conference Call 1 SimultaneousInterpretation Languages 2 LanguageName:
"en"
*s Conference Call 1 SimultaneousInterpretation Languages 3 LanguageName:
"de"
*s Conference Call 1 SimultaneousInterpretation Languages 4 LanguageName:
"es"
** end
```

xStatus Conference Call [n] SimultaneousInterpretation MixerLevel

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

主催者が Webex ミーティングで同時通訳を有効にしている場合、通訳者の音声が元のプレゼンタの音声にミックスされます。ユーザーは 2 つの音声フィード間のバランスを必要に応じて調整できます。

このステータスは 0 から 100 の間の数字を返します。例: 100 は通訳者の声だけを聞くことを意味し、0 は元のプレゼンタの声だけが聞こえることを意味します。80 は、80% が通訳者、20% が元のプレゼンタのミックスであることを意味します。つまり、元のプレゼンタがバックグラウンドで聞こえるようになります。

同時通訳は、デバイス用 Webex Edge にリンクされていないOnプレミスサービスに登録されているデバイスではサポートされていません。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Conference Call 8 SimultaneousInterpretation MixerLevel
*s Cameras Call 8 SimultaneousInterpretation MixerLevel: 80
** end
```

xStatus Conference Call [n] SimultaneousInterpretation SelectedLanguage

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

主催者が Webex ミーティングの同時通訳を有効にしている場合、ユーザーはデバイスのユーザ インターフェイスから優先言語を選択できます。このステータスは、固有の言語 ID で識別される選択された言語を返します。

同時通訳は、Webex Edge for Devices にリンクされていないOnプレミス サービスに登録されているデバイスではサポートされていません。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Conference Call 8 SimultaneousInterpretation SelectedLanguage
*s Cameras Call 8 SimultaneousInterpretation SelectedLanguage: 24
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus 電話会議 [n] SessionType

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

現在のセッションに関する情報を提供します。

返される結果の値スペース:

通話/共有/インスタントミーティング

通話: デバイスは標準通話中です。

InstantMeeting: デバイスはインスタントミーティング中です。

共有: デバイスが通話中でないときに、誰かが Webex アプリからデバイスにワイヤレスでコンテンツを共有しています。

例:

```
xStatus Conference Call SessionType
*s Conference Call 10 SessionType: Call
** end
```

xStatus Conference Call [n] Sip SessionId

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

SIP セッション識別子を示します。これは、ミーティングの特定のコールセグメントを識別するために使用される CUCM 識別子です。

返される結果の値スペース:

文字列

SIP セッション ID です。

例:

```
xStatus Conference Call 2 Sip SessionId
*s Conference Call 2 Sip SessionId: "8833d0863ac15b0083ce5aa417eb6609;remote=b3
a9603e7aef6f2e6a818c815307c4f1"
** end
```

xStatus Conference Call [n] SoftwareID

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

遠隔地のデバイスで実行されているソフトウェアの ID を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference Call 2 SoftwareID
*s Conference Call 2 SoftwareID: "CE8"
** end
```

xStatus Conference Call [n] Streamed

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

会議がライブ配信されているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

True/False

例:

```
xStatus Conference Call 2 Streamed
*s Conference Call 2 Streamed: False
** end
```

xStatus Conference Call [n] Transcoded

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

通話がトランスコードされているかどうかを示します。通話がトランスコードされている場合、True とレポートされます。

返される結果の値スペース:

True/False

例:

```
xStatus Conference Call 2 Transcoded
*s Conference Call 2 Transcoded: False
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Conference Call [n] Webex MeetingInviteLink

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

現在の Webex ミーティングでサポートされている場合、このステータスにより招待リンクが返されます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference Call 2 Webex MeetingInviteLink
*s Conference Call 2 Webex MeetingInviteLink: "https://cisco.webex.com/..."
** end
```

xStatus Conference DoNotDisturb

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ、USER

DoNotDisturb モードがOnになっているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

アクティブ/非アクティブ

例:

```
xStatus Conference DoNotDisturb
*s Conference DoNotDisturb: Inactive
** end
```

xStatus Conference EndToEndEncryption Availability

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デバイスがエンドツーエンド暗号化 (E2EE) ミーティングに参加できるかどうかを示します。

クラウド API はコールし、ペアリングされたアプリがそのデバイスを使用して参加できるかどうかを認識できるようにします。

これは、Webex クラウド サービスに登録されているか、デバイスの Webex Edge にリンクされているデバイスでのみ利用できます。

返される結果の値スペース:

利用可能/利用不可

利用可能: デバイスは E2EE ミーティングに参加できます。

利用不可: デバイスは E2EE ミーティングに参加できません。

例:

```
xStatus Conference EndToEndEncryption Availability
*s Conference EndToEndEncryption Availability: Available
** end
```

xStatus Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain Certificate [n] Fingerprint

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

証明書の指紋を表示します。これは、Webex クラウド サービスに登録されているか、デバイスの Webex Edge にリンクされているデバイスでのみ利用できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 Fingerprint
*s Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 Fingerprint: "562c3c33d96eafd8ab2d08d278ad45783e3234ea"
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain Certificate [n] NotAfter

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

証明書の有効期限が切れるまでの日付を示します。
これは、Webex クラウド サービスに登録されているか、デバイスの Webex Edge にリンクされているデバイスでのみ利用できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 NotAfter
*s Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 NotAfter: "2021-06-13T05:53:08.000000000+0000"
** end
```

xStatus 会議 EndToEndEncryptionExternalIdentity CertificateChain Certificate [n] NotBefore

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

証明書が有効になる日付を表示します。
これは、Webex クラウド サービスに登録されているか、デバイスの Webex Edge にリンクされているデバイスでのみ利用できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 NotBefore
*s Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 NotBefore: "2021-03-15T05:53:08.000000000+0000"
** end
```

xStatus Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain Certificate [n] PrimaryName

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

証明書を表示および識別するために使用される名前を示します。これは、証明書のタイプに応じて、取得元が異なる場合があります。
これは、Webex クラウド サービスに登録されているか、デバイスの Webex Edge にリンクされているデバイスでのみ利用できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 PrimaryName
*s Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 PrimaryName: "example.com"
** end
```

xStatus Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain Certificate [n] PublicKeyAlgorithm

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

証明書の公開鍵アルゴリズムを表示します。
これは、Webex クラウド サービスに登録されているか、デバイスの Webex Edge にリンクされているデバイスでのみ利用できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 PublicKeyAlgorithm
*s Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 PublicKeyAlgorithm: "ECDSA P256 SHA-256"
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain Certificate [n] SerialNumber

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

証明書のシリアル番号を表示します。
これは、Webex クラウド サービスに登録されているか、デバイスの Webex Edge にリンクされているデバイスでのみ利用できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 SerialNumber
*s Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 SerialNumber: "033CAF1B5B63CE4A72DD653949CF089FF589"
** end
```

xStatus Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain Certificate [n] SignatureAlgorithm

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

証明書の署名アルゴリズムを表示します。
これは、Webex クラウド サービスに登録されているか、デバイスの Webex Edge にリンクされているデバイスでのみ利用できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 SignatureAlgorithm
*s Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 SignatureAlgorithm: "RSA SHA-256"
** end
```

xStatus Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain Certificate [n] Subject [n] Name

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

証明書の件名 (メールアドレス、ドメイン名など) の一覧を表示します。
これは、Webex クラウド サービスに登録されているか、デバイスの Webex Edge にリンクされているデバイスでのみ利用できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 Subject 1 Name
*s Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 Subject 1 Name: "example.com"
** end
```

xStatus Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain Certificate [n] Validity

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

証明書の有効性状況を表示します (有効、解析エラー、不明な発行者、無効な署名、期限切れ、不明なエラーなど)。
これは、Webex クラウド サービスに登録されているか、デバイスの Webex Edge にリンクされているデバイスでのみ利用できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 Validity
*s Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 Validity: "Valid"
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity Identity

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

外部で発行された証明書の共通名から読み取られたデバイスの ID を示します。
これは、Webex クラウド サービスに登録されているか、デバイスの Webex Edge にリンクされているデバイスでのみ利用できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity Identity
*s Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity Identity: "example.com"
** end
```

xStatus Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity Status

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デバイスの ID のステータスを表示します (有効、エラー、不明なエラーなど)。
これは、Webex クラウド サービスに登録されているか、デバイスの Webex Edge にリンクされているデバイスでのみ利用できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity Status
*s Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity Status: "Valid"
** end
```

xStatus Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity Verification

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デバイスが外部から発行された有効な証明書を持っているかどうかを示します (例えば、外部またはなし)。
これは、Webex クラウド サービスに登録されているか、デバイスの Webex Edge にリンクされているデバイスでのみ利用できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity Verification
*s Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity Verification: "External"
** end
```

xStatus Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain Certificate [n] Fingerprint

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

証明書の指紋を表示します。
これは、Webex クラウド サービスに登録されているか、デバイスの Webex Edge にリンクされているデバイスでのみ利用できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 Fingerprint
*s Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 Fingerprint: "cdc421244e596a929812db6ddab3a139eb148ac7"
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain Certificate [n] NotAfter

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

証明書の有効期限が切れるまでの日付を示します。
これは、Webex クラウド サービスに登録されているか、デバイスの Webex Edge にリンクされているデバイスでのみ利用できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 NotAfter
*s Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 NotAfter: "2021-10-21T06:24:17.000000000+0000"
** end
```

xStatus Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain Certificate [n] NotBefore

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

証明書が有効になる日付を表示します。
これは、Webex クラウド サービスに登録されているか、デバイスの Webex Edge にリンクされているデバイスでのみ利用できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 NotBefore
*s Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 NotBefore: "2021-10-14T06:23:17.000000000+0000"
** end
```

xStatus Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain Certificate [n] PrimaryName

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

証明書を表示および識別するために使用される名前を示します。これは、証明書のタイプに応じて、取得元が異なる場合があります。
これは、Webex クラウド サービスに登録されているか、デバイスの Webex Edge にリンクされているデバイスでのみ利用できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 PrimaryName
*s Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 PrimaryName: "cisco.com"
** end
```

xStatus Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain Certificate [n] PublicKeyAlgorithm

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

証明書の公開鍵アルゴリズムを表示します。
これは、Webex クラウド サービスに登録されているか、デバイスの Webex Edge にリンクされているデバイスでのみ利用できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 PublicKeyAlgorithm
*s Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 PublicKeyAlgorithm: "ECDSA P256 SHA-256"
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain Certificate [n] SerialNumber

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

証明書のシリアル番号を表示します。
これは、Webex クラウド サービスに登録されているか、デバイスの Webex Edge にリンクされているデバイスでのみ利用できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 SerialNumber
*s Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 SerialNumber: "018EC98BFBD03162E3"
** end
```

xStatus Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain Certificate [n] SignatureAlgorithm

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

証明書の公開鍵アルゴリズムを表示します。
これは、Webex クラウド サービスに登録されているか、デバイスの Webex Edge にリンクされているデバイスでのみ利用できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 SignatureAlgorithm
*s Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 SignatureAlgorithm: "ECDSA P256 SHA-256"
** end
```

xStatus Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain Certificate [n] Subject [n] Name

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

証明書の件名 (メールアドレス、ドメイン名など) の一覧を表示します。
これは、Webex クラウド サービスに登録されているか、デバイスの Webex Edge にリンクされているデバイスでのみ利用できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 Subject 1 Name
*s Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 Subject 1 Name: "machine: 3a616c16-bb51-4b25-9113-c521b821d566"
** end
```

xStatus Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain Certificate [n] Validity

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

証明書の有効性状況を表示します (有効、解析エラー、不明な発行者、無効な署名、期限切れ、不明なエラーなど)。
これは、Webex クラウド サービスに登録されているか、デバイスの Webex Edge にリンクされているデバイスでのみ利用できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 Validity
*s Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain
Certificate 1 Validity: "Valid"
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Conference EndToEndEncryption InternalIdentity Identity

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

Webex が発行した証明書の共通名から読み取られたデバイスの識別子を示します。
組織にドメインがある場合、ドメイン名が含まれます。それ以外の場合は空です。
デバイスが複数のドメインを持つ組織内にある場合、これは PreferredDomain の値です。
これは、Webex クラウド サービスに登録されているか、デバイスの Webex Edge にリンクされているデバイスでのみ利用できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference EndToEndEncryption InternalIdentity Identity
*s Conference EndToEndEncryption InternalIdentity Identity: "cisco.com"
** end
```

xStatus Conference EndToEndEncryption InternalIdentity Status

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デバイスの ID のステータスを表示します (有効、エラー、不明なエラーなど)。
これは、Webex クラウド サービスに登録されているか、デバイスの Webex Edge にリンクされているデバイスでのみ利用できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference EndToEndEncryption InternalIdentity Status
*s Conference EndToEndEncryption InternalIdentity Status: "Valid"
** end
```

xStatus Conference EndToEndEncryption InternalIdentity Verification

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デバイスが Webex CA によって発行された有効な証明書を持っているかどうかを示します (例えば、Webex verified または Webex unverified)。
これは、Webex クラウド サービスに登録されているか、デバイスの Webex Edge にリンクされているデバイスでのみ利用できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference EndToEndEncryption InternalIdentity Verification
*s Conference EndToEndEncryption InternalIdentity Verification:
"WebexVerified"
** end
```

xStatus Conference HideNonVideo Active

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ミーティング中にビデオがOffの参加者を非表示にするが有効かどうかを表示します。

返される結果の値スペース:

True/False

False: ビデオではない参加者を非表示にする機能は現在有効になっていません。
True: ビデオではない参加者を非表示にする機能は現在有効になっています。

例:

```
xStatus Conference HideNonVideo Active
*s Conference HideNonVideo Active: False
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Conference HideNonVideo Available

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ミーティング中にビデオがOffになっている参加者を非表示にするかどうかを表示します。

返される結果の値スペース:

True/False

False: ビデオ以外の参加者の非表示機能は利用できません。

True: ビデオ以外の参加者の非表示機能は利用できます。

例:

```
xStatus Conference HideNonVideo Available
*s Conference HideNonVideo Available: True
** end
```

xStatus 電話会議 [n] モード

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デバイスが CUCM のプライベート回線または共有回線のどちらとして設定されているかを示します。

返される結果の値スペース:

プライベート/共有

例:

```
xStatus Conference Line Mode
*s Conference Line 1 Mode: Private
** end
```

xStatus Conference Multipoint Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

マルチポイント ステータスは、新しい参加者を通話または電話会議に追加する方法を定義します。これは、プロビジョニング モードおよび電話会議マルチポイント モードの設定、現在の通話に使用されているプロトコル (SIP または Webex)、および MultiSite オプション キーに依存します。

返される結果の値スペース:

CUCMMediaResourceGroupList/MultiSite/Spark/Off

Off: デバイスが参加者を電話会議に追加することを許可する MCU に発信する場合、複数参加者の会議は MCU 経由でセットアップできます (直接リモート追加)。別のビデオデバイスに発信するときに、一部のデバイスでは、音声のみの参加者を 1 人追加できます。

MultiSite: Conference Multipoint Mode が MultiSite に設定されている場合、複数参加者の会議は常に組み込みの MultiSite 機能を使用してセットアップされます。Conference Multipoint Mode が Auto に設定されている場合、組み込みの MultiSite 機能は、他のビデオデバイスに発信する場合にのみ、複数の参加者の会議に使用されます。デバイスが参加者を電話会議に追加することを許可する MCU に発信する場合、複数参加者の会議は MCU 経由でセットアップされます (直接リモート追加)。

CUCMMediaResourceGroupList: 複数参加者の会議は、CUCM で設定された会議ブリッジによって主催されます (アドホック会議)。

Spark: 複数参加者の会議は、Webex クラウドサービスを通じてセットアップされます。

例:

```
xStatus Conference Multipoint Mode
*s Conference Multipoint Mode: "CUCMMediaResourceGroupList"
** end
```

xStatus Conference PeopleFocus Active

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

人物フォーカスが現在デバイス上でアクティブかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

True/False

False: 人物フォーカスは現在アクティブです。

True: 人物フォーカスは現在非アクティブです。

例:

```
xStatus Conference PeopleFocus Active
*s Conference PeopleFocus Active: True
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Conference PeopleFocus Available

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

人物フォーカスがデバイスで利用可能かどうかを示します。つまり、UI から、または Conference PeopleFocus Activate および Conference PeopleFocus Deactivate コマンドを使用して、人物フォーカスをアクティブ化または非アクティブ化できるかどうかです。

返される結果の値スペース:

True/False

False: 人物フォーカスはこのデバイスでは利用できません。

True: 人物フォーカスはこのデバイスで利用できます。

例:

```
xStatus Conference PeopleFocus Available
*s Conference PeopleFocus Available: True
** end
```

xStatus 会議プレゼンテーション通話 ID

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

プレゼンテーションを送信するデバイスの識別子を示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Conference Presentation CallId
*s Conference Presentation CallId: 0
** end
```

xStatus Conference Presentation LocalInstance [n] DirectShare

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

DirectShare では、ソフトウェア クライアントがローカル Wi-Fi 経由でビデオ デバイスにプレゼンテーションを送信します。

このステータスは、直接共有の識別子、directshareid を示します。アクティブな直接共有の数は現在 1 に制限されているため、直接共有が進行中の場合は 1 が返されます。

LocalInstance Directshare が設定されている場合、詳細情報 (例えば、Peer Address、Peer PeripheralID、Type) は xStatus Video Input DirectShare [directshareid] で確認できます。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Conference Presentation LocalInstance 1 DirectShare
*s Conference Presentation LocalInstance 1 DirectShare: 1
** end
```

xStatus Conference Presentation LocalInstance [n] SendingMode

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

プレゼンテーションソースがローカルまたはリモートの参加者と共有されているかどうかを示します。すべて独自のインスタンスを持つ複数のローカル プレゼンテーションが存在する場合があります。

返される結果の値スペース:

LocalOnly/LocalRemote/Off

例:

```
xStatus Conference Presentation LocalInstance 1 SendingMode
*s Conference Presentation LocalInstance 1 SendingMode: LocalOnly
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus 電話会議プレゼンテーションローカルインスタンス [n] ソース

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

現在のプレゼンテーションのソース識別子 sourceid を表示します。すべて独自のインスタンスを持つ複数のローカル プレゼンテーションが存在する場合があります。

sourceid を使用して、xStatus Video Input Source [sourceid] で詳細情報 (例えば、ConnectorId、FormatType など) を確認できます。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Conference Presentation LocalInstance 1 Source
*s Conference Presentation LocalInstance 1 Source: 1
** end
```

xStatus 電話会議プレゼンテーションモード

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

セカンダリビデオストリームの状況を示します。

返される結果の値スペース:

オフ/受信中/送信中

例:

```
xStatus Conference Presentation Mode
*s Conference Presentation Mode: Off
** end
```

xStatus Conference Presentation Whiteboard BoardUrl

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

通話中に共有されたホワイトボードの URL を返します。

返される結果の値スペース:

文字列

有効な URL です。

例:

```
xStatus Conference Presentation Whiteboard BoardUrl
*s Conference Presentation Whiteboard BoardUrl: "https://xxxxxx"
** end
```

xStatus 会議プレゼンテーションホワイトボードモード

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

通話でホワイトボードが現在共有されているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

On/Off

Off: ホワイトボードは共有されていません。
On: ホワイトボードが共有されています。

例:

```
xStatus Conference Presentation Whiteboard Mode
*s Conference Presentation Whiteboard Mode: On
** end
```

xStatus Conference SelectedCallProtocol

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デフォルトとして使用される通話プロトコルを示します。

返される結果の値スペース:

H323/SIP/Spark/Auto

例:

```
xStatus Conference SelectedCallProtocol
*s Conference SelectedCallProtocol: SIP
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus 会議発言者ロック通話 ID

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

電話会議で発言者としてロックされている参加者の CallId を示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Conference SpeakerLock CallId
*s Conference SpeakerLock CallId: 0
** end
```

xStatus 会議発言者ロックモード

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

スピーカーのロックが有効かどうかを示します。

返される結果の値スペース:

自動/手動

例:

```
xStatus Conference SpeakerLock Mode
*s Conference SpeakerLock Mode: Off
** end
```

Diagnostics ステータス

xStatus 診断メッセージ [n] の説明

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

現在の診断アラートの説明を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus 診断メッセージの説明
*s DiagnosticsResult Message 1 の説明:「IP 構成が不完全です」
** end
```

xStatus 診断メッセージ [n] レベル

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

診断メッセージの重要度を示します。

返される結果の値スペース:

重大/エラー/警告/情報

エラー: デバイスにエラーがあります。デバイスは引き続き使用できますが、いくつかの制限があります。
警告: 問題が検出されました。正確な問題を示すより具体的なレポートが続きます。
重大: 警告レベルは重大です。デバイスは使用できません。

例:

```
xStatus Diagnostics Message 4 Level
*s Diagnostics Message 4 Level: Warning
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Diagnostics Message [n] References

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

診断アラートに関する追加情報です (ある場合)。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Diagnostics Message 10 References
*s 診断メッセージ 10 参照:「delay=190」
** end
```

xStatus 診断メッセージ [n] タイプ

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デバイスの最新の診断結果に関する情報を表示します。

返される結果の値スペース:

AirPlayBeacon/AirPlayProvisioning/AirPlayProvisioningCertificates/CAPFOperationState/CTLinstallation/CUCMVendorConfigurationFile/CallProtocolDualStackConfig/CallProtocolIPStackPlatformCompatibility/CallProtocolVcsProvisioningCompatibility/CameraId/CameraPairing/CameraPlacementCalibration/CameraSerial/CameraSoftwareVersion/CameraStatus/CameraDetected/CertificateExpiry/CertificateRenewedRebootRequired/ConfigurationFile/DefaultCallProtocolRegistered/DuplicateAddressDetection/EthernetDuplexMatches/FanStatus/PresenterTrack/H323GatekeeperStatus/H323EncrAes256AndDHSize/HasValidReleaseKey/IpCameraStatus/IPv4Assignment/IPv6Assignment/IPv6Mtu/ITLinstallation/InvalidSIPTransportConfig/LinkLayerDiscoveryConfiguration/LockedDeviceCompanionMode/LockedDeviceHotdeskWorkspaceMode/LockDown/RoomControl/MediaBlockingDetected/MacrosProvisioningStatus/MacrosRuntimeResponsiveness/MacrosRuntimeActive/MacrosRuntimeStopped/MacrosRuntimeHasHadCrash/MacrosErrorLoggedInConsole/MacrosJsError/MacrosCommonJsDeprecation/MacrosDuktapeIsDeprecated/MacrosTranspilationIsDeprecated/MicrosoftTeamsRunningLocal/MicrosoftTeamsRunningRemote/NavigatorDeviceLocationConfiguration/NetLinkStatus/NetSpeedAutoNegotiated/NTPStatus/OSDVideoOutput/OutputConnectorLocations/PeripheralSoftwareUnknownType/PeripheralTypeTouch10NoLongerSupported/PeripheralSoftwareVersion/PIILoggingMode/ProvisioningDeveloperOptions/ProvisioningModeAndStatus/ProvisioningStatus/SoftwareReleaseRemark/SIPCertificateVerificationMode/SIPEncryption/SIPProfileRegistration/SIPProfileType/SelectedVideoInputSourceConnected/SipIceAndAnatConflict/SIPListenPortAndRegistration/StandbyCtrlOfficeHoursConfiguration/StereoscopicInsufficientBandwidth/StereoscopicNotCalibrated/TCPMediaFallback/TemperatureCheck/TLSVerifyRequiredCerts/TouchPanelConnection/USBCameraConnection/ControlSystemConnection/MediaPortRangeNegative/MediaPortRangeTooSmall/MediaPortRangeOdd/MediaPortRangeValueSpace/MediaPortRangeOverlap/VideoPortRangeNegative/VideoPortRangeTooSmall/VideoPortRangeOdd/VideoPortRangeValueSpace/UltrasoundConfigSettings/UltrasoundSpeakerAvailability/ValidPasswords/VideoFromInternalCamera/VideoInputStability/VideoInputSignalQuality/WebexEdgeAccountPlusProvModeWebex/WebexAccountPlusWebexEdgeEnabled/WebexEdgeAccountPendingCloudRegistration/ProvModeWebexAndWebexEdgeEnabled/WebexConnectivity/WebexAccountLinking/WebexOffline/WebexAudioProximityConnectivity/WebexUsbcProximityConnectivity/WebexQRCodeProximityConnectivity/WebexLyraConnectivity/WhiteboardAppServiceConnectivity/WebexNotificationConnectivity/WebexActivationRequired/WebexShouldUpgradeCeSoftware/WebexMustUpgradeCeSoftware/SpeakerTrackFrontPanelMountedCorrectly/SpeakerTrackMicrophoneConnection/SpeakerTrackVideoInputs/SpeakerTrackEthernetConnection/ANATOnVCS/RoomSchedulingConfiguration/ECReferenceDelay/AudioPairingNoise/AudioPairingRate/AudioPairingSNR/

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

*AudioPairingInterference/AudioPairingTokenDecode/AudioInternalSpeakerDisabled/
CeilingMicPlacementNotCalibrated/HasActiveCallProtocol/
SipOrH323ButNotBothEnabled/PresentationSourceSelection/SoftwareUpgrade/
SoftwareUpgradeKeepsFailing/PlatformSanity/ContactInfoMismatch/
MicrophoneMuteOverride/FirstTimeWizardNotCompleted/CaptivePortalDetected/
MonitorDelay/WifiCARequired/WifiRadioQuality/MicrophonesConnected/
MicrosoftTeamsSignedInLocal/MicrosoftTeamsSignedInRemote/
MicrosoftTeamsPairing/HdmiCecModeNoSound/MicrophoneOverloaded/
EthernetMicrophonesProfileCheck/AnalogMicrophonesProfileCheck/
UsbMicrophonesProfileCheck/DigitalMicrophonesAmountCheck/HTTPFeedbackFailed/
HTTPSModeSecurity/PersistentWebAppTerminatedUnexpectedly/
PersistentWebAppTerminatedByOutOfMemory/
PersistentWebAppFailedToLoad/SignageTerminatedUnexpectedly/
SignageTerminatedByOutOfMemory/SignageFailedToLoad/
WebWidgetTerminatedUnexpectedly/WebWidgetTerminatedByOutOfMemory/
WebWidgetFailedToLoad/EmbeddedWebViewTerminatedUnexpectedly/
EmbeddedWebViewTerminatedByOutOfMemory/EmbeddedWebViewFailedToLoad/
KioskWebViewTerminatedByOutOfMemory/KioskWebViewStatus/
KioskWebViewPageLoadStatus/KioskURLConfiguration/
KioskWebEngineModeConfiguration/KioskSettingsMenuLockConfiguration/
CompanionModeIncompatibilityLocal/CompanionModeIncompatibilityMSTeams/
CompanionModeIncompatibilityRemote/AmplifierDetection/
CurrentNetworkQuality/AmplifierFanStatus/LowBattery/StylusBattery/
PeripheralSoftwareUpgrade/MissingDisplay/MissingThirdDisplay/PanoramaView/
PanoramaCameraHdmi/WebRTCCalling/CUCMAndCloudConfigurability/
CUCMRemoteExtensionMobility/DeveloperPreview/MonitorFirmwareVersion/
NetworkAdminRemoteaccessConfigured/NetworkSwitch/CloudConfigurationWriteback/
CloudConfigurationBulkWriteback/WirelessConnectionStatus/
MicrophonePower/DigitalMicrophoneStatus/CallProtocolInvalidCloudProv/
NetworkConnectivity/InternalXapiUsage/InternalXapiAccessDenied/USBMicType/
USBInterfaceType/USBAudioDeviceError/MiracastWiFiCoexistenceStatus/
MiracastWpsPinLocked/BluetoothHardware/CloudAwareConfigInvalid/
WirelessCharging/USBCameraMode/SoftwareUpgradeAvailability/
SoftwareUpgradeCompatibility/SoftwareUpgradeProvider/HotdeskConfiguration/
PersistentWebAppURLConfiguration/PersistentWebAppWebEngineModeConfiguration/
PersistentWebAppAllowedHostConfiguration/RoomSchedulerModeConfiguration/
XapiApiKeyWebsocketHttpsDisabled/HotdeskKioskExclusivity/
HotdeskCcompanionModeExclusivity/HotdeskSignInNotConfigured/
HotdeskNonJoinableMeetingConfiguration/HttpProxyStatus/
CallHistoryConfiguration/CapsetFilterConfiguration/PoEStatus/
ThousandEyesStatus/WebRTCWebViewTerminatedUnexpectedly/
WebRTCWebViewTerminatedByOutOfMemory/InstantMeetingConfiguration/
TouchDeviceRunningMTRMemoryStatus/CheckInConfigurationPersonalProvisioning/
CheckInHotdeskExclusivity/SmtpServiceConfiguration/WebexProvisionalAccountStatus/
ThirdPartyAppDownloadFailed/WebexCallingProvisioning/AndroidOSVersion/
DeepSleepSettingOverriddenByToggle/CviCrossTenantStatus*

例：

```
xStatus Diagnostics Message Type
*s Diagnostics Message 1 Type: CamerasDetected
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

GPIO ステータス

xStatus GPIO Pin [n] State

適用対象: CodecPro Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ、USER

4 つの GPIO ピンのそれぞれの現在の状態を表示します。

返される結果の値スペース:

High/Low

High: +12V、デフォルト状態。
Low: 0V、有効時。

例:

```
xStatus GPIO ピン 1 の状態
*s GPIO Pin 1 State: High
** end
```

H323 ステータス

xStatus H323 ゲートキーパーアドレス

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デバイスが登録されているゲートキーパーの IP アドレスを表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus H323 ゲートキーパーアドレス
*s H323 ゲートキーパーアドレス: "192.0.1.20"
** end
```

xStatus H323 ゲートキーパーポート

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ゲートキーパーで ゲートキーパーに接続する際に使用されるポートを表示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus H323 Gatekeeper Port
*s H323 Gatekeeper Port: 1719
** end
```

xStatus H323 Gatekeeper Reason

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

Shows the reason for rejected registration.

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus H323 Gatekeeper Reason
*s H323 Gatekeeper Reason: ""
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus H323 Gatekeeper Status

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ゲートキーパーの登録状況を表示します。

返される結果の値スペース:

認証済み/認証中/検出済み/検出中/非アクティブ/登録済み/登録中/拒否/必須

例:

```
xStatus H323 Gatekeeper Status
*s H323 ゲートキーパー ステータス: 登録済み
** end
```

xStatus H323 Mode Reason

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

H.323 設定と xStatus H323 Mode Status の間で競合があるかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

文字列

"": H.323 が On に設定され、H.323 Mode 設定と他のデバイス設定との間に競合がない場合。
「SIP が有効」: H.323 モードがOnに設定され、SIP がこの 2 つを同時にサポートしていないデバイスで有効になっている場合。
「利用できません」: デバイスが H.323 をサポートしていない場合。

例:

```
xStatus H323 Mode Reason
*s H323 Mode Reason: ""
** end
```

xStatus H323 モードステータス

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

H.323 登録の状況を表示します。

返される結果の値スペース:

有効/無効

有効: 登録が有効になっています。
Disabled: SIP が有効になっているため、登録は無効になっています。

例:

```
xStatus H323 モードステータス
*s H323 モードステータス:「無効」
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

HttpFeedback status

xStatus HttpFeedback [n] 式 [n]

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

HTTP サーバーからのフィードバックを表示します。最大 4 スロットのサーバーが HTTP フィードバックを要求し、各 URL に対して最大 15 式を指定できます。詳細については、xCommand の HttpFeedback コマンドを参照してください。

返される結果の値スペース:

文字列

xStatus HttpFeedback [n] 形式

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

HTTP サーバーからの HTTP フィードバックの形式を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus HttpFeedback 1 Format
*s HttpFeedback 1 Format: XML
** end
```

xStatus HttpFeedback [n] Status

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

HTTP サーバーに送信されたフィードバックのステータスを示します。

返される結果の値スペース:

OK/失敗

OK: フィードバックが正常に送信されたことを示します。
失敗: フィードバックが正常に送信されなかったことを示します。

例:

```
xStatus HttpFeedback 1 Status
*s HttpFeedback 1 Status: OK
** end
```

xStatus HttpFeedback [n] URL

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

HTTP サーバーの URL (Uniform Resource Locator) を表示します。URL で指定された最大 3 つの HTTP サーバーが存在できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus HttpFeedback 1 URL
*s HttpFeedback 1 URL: "http://tms.company.com/tms/public/feedback/code.aspx"
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

ロギング ステータス

xStatus Logging ExtendedLogging Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

診断の拡張ログがOnかOffかを示します。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus Logging ExtendedLogging Mode
*s Logging ExtendedLogging Mode: Off
** end
```

xStatus Logging ExtendedLogging PacketDump

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

拡張ログの実行時にパケットデータが含まれるかどうかをレポートします。詳細およびパケットダンプについては、Logging ExtendedLogging Start and Stop コマンドを参照してください。

返される結果の値スペース:

On/Off

Off: 拡張ログ中、パケットデータはキャプチャされません。

On: 拡張ログ中にパケットデータがキャプチャされ、個別の .pcap ファイルに保存されます。

例:

```
xStatus Logging ExtendedLogging PacketDump
*s Logging ExtendedLogging PacketDump: Off
** end
```

xStatus Logging ExtendedLogging RenderingDump

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

拡張ログの実行時に、制限付きレンダリングのダンプが含まれているかどうかをレポートします。レンダリングダンプの詳細については、Logging ExtendedLogging Start and Stop コマンドを参照してください。

返される結果の値スペース:

On/Off

Off: 拡張ログ中に限定的なレンダリングダンプがキャプチャされません。

On: 拡張ログ中に、制限付きのレンダリングダンプが osd.log ファイルに書き込まれます。

例:

```
xStatus Logging ExtendedLogging RenderingDump
*s Logging ExtendedLogging RenderingDump: Off
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

メディアチャネルの状況

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Audio ChannelRole

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

着信または発信音声チャンネルの役割を表示します。

返される結果の値スペース:

メイン/プレゼンテーション/同時通訳

Main: メインビデオの音声は着信または発信音声チャンネルを通じて送信されます。

Presentation: プレゼンテーションの音声は着信または発信音声チャンネルを通じて送信されます。

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 Audio ChannelRole
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 Audio ChannelRole: Main
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Audio Channels

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

着信または発信音声チャンネルの数を表示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 Audio Channels
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 Audio Channels: 1
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Audio Mute

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

着信音声の音声ミュートのステータス。

返される結果の値スペース:

True/False

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 Audio Mute
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 Audio Mute: False
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Audio Protocol

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

着信または発信音声の音声アルゴリズムを表示します。

返される結果の値スペース:

AACLC/AACLD/AMR/CiscoPCM16/LPCM16/L16-768/ComfortNoise/G711A/G711Mu/G722/G7221/G7221C/G723_1/G728/G729/G729A/G729AB/オフ/Opus/Raw

AACLD: AAC-LD は、MPEG-4 低遅延音声コーダーの音声圧縮形式です。

G711A: G.711 A-law アルゴリズムは、音声圧縮の ITU-T 標準です。

G711Mu: G.711 Mu-law アルゴリズムは、音声圧縮の ITU-T 標準です。

G722: G.722 アルゴリズムは、音声圧縮の ITU-T 標準です。

G7221: G.722.1 アルゴリズムは、音声圧縮の ITU-T 標準です。

G7221C: G.722.1 附属書 C アルゴリズムは、音声圧縮の ITU-T 標準です。

G723_1: G.723.1 アルゴリズムは、音声圧縮の ITU-T 標準です。

G728: G.728 アルゴリズムは、音声圧縮の ITU-T 標準です。

G729: G.729 アルゴリズムは、音声圧縮の ITU-T 標準です。

G729A: G.729 附属書 A アルゴリズムは、音声圧縮の ITU-T 標準です。

G729AB: G.729 附属書 A および B アルゴリズムは、音声圧縮の ITU-T 標準です。

Off: 音声なし。

Opus: Opus は、著作権使用料がかからない音声圧縮の IETF 標準です。

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 Audio Protocol
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 Audio Protocol: AACLD
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Direction

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

通話の方向を示します。

返される結果の値スペース:

Incoming/Outgoing

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 Direction
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 Direction: Incoming
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Encryption

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

着信または発信通話の音声またはビデオの暗号化の状態を示します。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 Encryption
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 Encryption: On
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Netstat Bytes

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

着信または発信チャンネルの音声、ビデオ、またはデータのバイト数を示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 Netstat Bytes
*s MediaChannels コール 27 チャネル 327 Netstat バイト: 496640
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Netstat ChannelRate

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

着信または発信チャンネルの音声、ビデオ、またはデータの帯域幅を表示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 Netstat ChannelRate
*s MediaChannels コール 27 チャネル 327 Netstat ChannelRate: 128000
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Netstat EndToEndDelay

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

受信チャネルの最後の期間における音声、ビデオ、またはデータのエンドツーエンド遅延 (ミリ秒単位) を返します。エンドツーエンドの遅延は、遠端がメディアを送信してから、ローカルのデバイスで受信および表示されるまでにかかる時間です。

返される結果の値スペース:

整数

ミリ秒単位でのエンドツーエンドの遅延。

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 Netstat EndToEndDelay
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 Netstat EndToEndDelay: 0
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Netstat Jitter

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

RFC 3550 で指定されているように、着信または発信チャンネルの現時点での音声、ビデオ、またはデータのジッターを示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus MediaChannels コール 27 チャネル 327 Netstat ジッター
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 Netstat Jitter: 2
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Netstat LastIntervalLost

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

最後の時間内に着信または発信チャンネル上で失われた音声、ビデオ、またはデータのパケット数を示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus MediaChannels コール 27 チャネル 327 Netstat LastIntervalLost
*s MediaChannels コール 27 チャネル 327 Netstat LastIntervalLost: 0
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Netstat LastIntervalReceived

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

直近の間隔で着信または発信チャンネル上で受信した音声、ビデオ、またはデータのパケット数を示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 Netstat LastIntervalReceived
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 Netstat LastIntervalReceived: 289
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Netstat Loss

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

着信または発信チャンネル上の音声、ビデオ、またはデータの実際のパケット損失数を示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 Netstat Loss
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 Netstat Loss: 0
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Netstat MaxJitter

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

最後の間隔 (約 5 秒) 中に測定された音声、ビデオ、またはデータの最大ジッターを示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 Netstat MaxJitter
*s MediaChannels コール 27 チャネル 327 Netstat MaxJitter: 2
** end
```

xStatus MediaChannels 呼び出し [n] チャネル [n] Netstat パケット

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

着信または発信チャンネルで送受信された音声、ビデオ、またはデータのパケット数を示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus MediaChannels コール 27 チャネル 327 Netstat パケット
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 Netstat Packets: 1551
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Netstat RoundTripTime

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

最後の間隔中の発信 (場合によっては着信) チャネルの往復時間 (ミリ秒単位) を返します。往復時間は、最初のメディアホップでの双方向ネットワーク遅延です。例えば、ローカルデバイスから遠端デバイスへの往復、またはローカル デバイスから Webex クラウドへの往復などです。これはネットワーク設定により異なります。

返される結果の値スペース:

整数

ミリ秒単位での往復時間。

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 328 Netstat RoundTripTime
*s MediaChannels Call 27 Channel 328 Netstat RoundTripTime: 31
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] ParticipantId

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

入力音声またはビデオチャンネルのアクティブコントロール参加者の ID を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 ParticipantId
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 ParticipantId: ""
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Type

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

着信または発信チャネルのメディア タイプを表示します。

返される結果の値スペース:

音声/ビデオ/データ

音声: 着信または発信チャネルのメディアタイプは音声です。
ビデオ: 着信または発信チャネルのメディアタイプはビデオです。
データ: 着信または発信チャネルのメディアタイプはデータです。

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 Type
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 Type: Audio
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Video ChannelRole

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

着信または発信ビデオチャンネルの役割を示します。

返される結果の値スペース:

メイン/プレゼンテーション/同時通訳

Main: メインビデオは着信または発信のビデオチャンネル上にあります。
Presentation: プレゼンテーションは着信または発信のビデオチャンネル上にあります。

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 Video ChannelRole
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 Video ChannelRole: Main
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Video ConcealmentType

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ビデオ ストリーム中の視覚的エラーを隠すために使用される技術を記述します。

返される結果の値スペース:

不明/モーション/フリーズ/シャープネス

フリーズ: ビデオストリームで使用される隠蔽技術が、最後の有効な画像でフレームをフリーズすることを示します。

Motion: 隠蔽技術は、モーションを導入してビデオストリーム中の視覚的エラーを非表示にします。

鮮明度: 隠蔽技術は、ビデオストリームの鮮明度を高めて視覚的なエラーを補うことに焦点を合わせたものです。

不明: ビデオストリームで使用されている隠蔽技術は不明であるか、指定されていません。

例:

```
xStatus MediaChannels Call 10 Channel 531 Video ConcealmentType
*s MediaChannels Call 10 Channel 531 Video ConcealmentType: Motion
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Video FrameRate

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

着信または発信ビデオチャンネルのフレームレートを表示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 Video FrameRate
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 Video FrameRate: 30
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Video intraFrames

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

このステータスは、指定されたビデオチャンネルのイントラフレーム数を示す整数値を返します。この情報は、ビデオストリームの構成と特性を理解するのに役立ちます。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus MediaChannels Call 10 Channel 531 Video intraFrames
*s MediaChannels Call 10 Channel 531 Video intraFrames: 4
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Video Protocol

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

着信または発信ビデオチャンネルのビデオアルゴリズムを表示します。

返される結果の値スペース:

H261/H263/H263p/H263pp/H264/HEVC/AV1/JPEG/MP4V/Off/Raw/RDP

H261: H.261 アルゴリズムは、ビデオ圧縮の ITU-T 標準です。

H263: H.263 アルゴリズムは、ビデオ圧縮の ITU-T 標準です。

H263p: H.263p (H.263+) アルゴリズムは、ビデオ圧縮の ITU-T 標準です。

H263pp: H.263pp (H.263++) アルゴリズムは、ビデオ圧縮の ITU-T 標準です。

H264: H.264 アルゴリズム (MPEG-4 AVC) は、ビデオ圧縮の ITU-T および ISO/IEC 標準です。

HEVC: HEVC (H.265) アルゴリズム (MPEG-H パート 2) は、ビデオ圧縮の ITU-T および ISO/IEC 標準です。

JPEG: JPEG アルゴリズムは、ビデオ圧縮の ISO/IEC 標準です。

MP4V: MP4V 形式はビデオ圧縮用の ISO/IEC ファイル形式です。

Off: ビデオなし。

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 Video Protocol
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 Video Protocol: H264
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Video ResolutionX

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

入力または出力されるビデオの幅 (X 方向の解像度) を示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 Video ResolutionX
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 Video ResolutionX: 1920
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Video ResolutionY

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

着信または発信ビデオの高さ (Y 方向の解像度) を示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 Video ResolutionY
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 Video ResolutionY: 1080
** end
```

xStatus MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Audio Channels

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

問題のチャンネルで受信した音声チャンネル (なし、モノラル、ステレオ) の数を示します。

返される結果の値スペース:

整数

0: なし
1: モノラル
2: ステレオ

例:

```
xStatus MediaChannels DirectShare 27 Channel 327 Audio Channels
*s MediaChannels DirectShare 27 Channel 327 Audio Channels: 1
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus メディアチャネル DirectShare [n] チャネル [n] 音声プロトコル

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

アクティブな着信共有セッションで使用される音声コーデックを表示します。

返される結果の値スペース:

AACLC/AACLD/AMR/CiscoPCM16/LPCM16/L16-768/ComfortNoise/G711A/G711Mu/G722/G7221/G7221C/G723_1/G728/G729/G729A/G729AB/オフ/Opus/Raw

サポートされている音声標準は通話でサポートされているものと本質的に同じですが、クライアントは通常 Opus (または AAC) のみを使用します。

AACLD: AAC-LD は、MPEG-4 低遅延音声コーダーの音声圧縮形式です。

G711A: G.711 A-law アルゴリズムは、音声圧縮の ITU-T 標準です。

G711Mu: G.711 Mu-law アルゴリズムは、音声圧縮の ITU-T 標準です。

G722: G.722 アルゴリズムは、音声圧縮の ITU-T 標準です。

G7221: G.722.1 アルゴリズムは、音声圧縮の ITU-T 標準です。

G7221C: G.722.1 附属書 C アルゴリズムは、音声圧縮の ITU-T 標準です。

G723_1: G.723.1 アルゴリズムは、音声圧縮の ITU-T 標準です。

G728: G.728 アルゴリズムは、音声圧縮の ITU-T 標準です。

G729: G.729 アルゴリズムは、音声圧縮の ITU-T 標準です。

G729A: G.729 附属書 A アルゴリズムは、音声圧縮の ITU-T 標準です。

G729AB: G.729 附属書 A および B アルゴリズムは、音声圧縮の ITU-T 標準です。

Off: 音声なし。

Opus: Opus は、著作権使用料がかからない音声圧縮の IETF 標準です。

例:

```
xStatus MediaChannels DirectShare 27 Channel 327 Audio Protocol
*s MediaChannels DirectShare 27 Channel 327 Audio Protocol: AACLD
** end
```

xStatus Media Channels DirectShare [n] チャネル [n] 暗号化

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

該当する着信音声/ビデオチャンネルの暗号化の状況を示します。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus MediaChannels DirectShare 27 Channel 327 Encryption
*s MediaChannels DirectShare 27 Channel 327 Encryption: On
** end
```

xStatus MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] EncryptionType

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

直接共有チャネルの暗号化タイプ。

返される結果の値スペース:

なし/AES-128/AES-256/AES-128-GCM/AES-256-GCM

例:

```
xStatus MediaChannels DirectShare 1 Channel 1 EncryptionType
** end
```

xStatus MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Netstat Bytes

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

問題のチャネルで受信した累積バイト数を示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus MediaChannels DirectShare 27 チャネル 327 Netstat バイト
*s MediaChannels DirectShare 27 Channel 327 Netstat Bytes: 496640
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Netstat ChannelRate

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

問題のチャネルの現在の受信音声/ビデオ帯域幅を表示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus MediaChannels DirectShare 27 Channel 327 Netstat ChannelRate
*s MediaChannels DirectShare 27 チャンネル 327 Netstat チャンネルレート: 128000
** end
```

xStatus MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Netstat Jitter

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

RFC 3550 で指定されているように、着信チャネルで受信した音声/ビデオについて現在測定されているジッターを示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus MediaChannels DirectShare 27 Channel 327 Netstat Jitter
*s MediaChannels DirectShare 27 Channel 327 Netstat Jitter: 2
** end
```

xStatus MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Netstat LastIntervalLost

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

問題の着信チャネルで最後の間隔で失われた音声/ビデオ パケットの数を示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus MediaChannels DirectShare 27 チャネル 327 Netstat LastIntervalLost
*s MediaChannels DirectShare 27 チャネル 327 Netstat LastIntervalLost: 0
** end
```

xStatus MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Netstat LastIntervalReceived

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

問題のチャネルで、直近の間隔で受信した音声/ビデオパケットの数を示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus MediaChannels DirectShare 27 チャネル 327 Netstat LastIntervalReceived
*s MediaChannels DirectShare 27 チャネル 327 Netstat LastIntervalReceived: 289
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Netstat Loss

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

当該チャンネルで失われた音声/ビデオのパケット数を表示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus MediaChannels DirectShare 27 Channel 327 Netstat Loss
*s MediaChannels DirectShare 27 Channel 327 Netstat Loss: 0
** end
```

xStatus MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Netstat MaxJitter

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

最後の時間間隔 (約 5 秒) に問題のチャネルで測定された最大ジッターを示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus MediaChannels DirectShare 27 Channel 327 Netstat MaxJitter
*s MediaChannels DirectShare 27 Channel 327 Netstat MaxJitter: 2
** end
```

xStatus MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Netstat Packets

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

問題のチャネルで受信したパケットの合計数を表示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus MediaChannels DirectShare 27 Channel 327 Netstat Packets
*s MediaChannels DirectShare 27 Channel 327 Netstat Packets: 1551
** end
```

xStatus MediaChannels DirectShare [n] チャネル [n] タイプ

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

PC とコーデック間で直接共有されるプレゼンテーションのメディア統計

返される結果の値スペース:

音声/ビデオ/データ

例:

```
xStatus MediaChannels DirectShare 1 チャネル 1 タイプ
 ** end
```

xStatus MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Video FrameRate

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

当該チャンネルの受信フレームレートを表示します。メモ: ビデオチャンネルにのみ適用できます。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus MediaChannels DirectShare 27 Channel 327 Video FrameRate
*s MediaChannels DirectShare 27 Channel 327 Video FrameRate: 30
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus メディアチャネル DirectShare [n] チャネル [n] ビデオ プロトコル

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

当該チャンネルで使用されたビデオコーデックを表示します。

返される結果の値スペース:

H261/H263/H263p/H263pp/H264/HEVC/AV1/JPEG/MP4V/Off/Raw/RDP

サポートされているビデオ標準は、通話でサポートされているものと本質的に同じですが、クライアントは通常 H264 のみを使用します。

H261: H.261 アルゴリズムは、ビデオ圧縮の ITU-T 標準です。

H263: H.263 アルゴリズムは、ビデオ圧縮の ITU-T 標準です。

H263p: H.263p (H.263+) アルゴリズムは、ビデオ圧縮の ITU-T 標準です。

H263pp: H.263pp (H.263++) アルゴリズムは、ビデオ圧縮の ITU-T 標準です。

H264: H.264 アルゴリズム (MPEG-4 AVC) は、ビデオ圧縮の ITU-T および ISO/IEC 標準です。

HEVC: HEVC (H.265) アルゴリズム (MPEG-H パート 2) は、ビデオ圧縮の ITU-T および ISO/IEC 標準です。

JPEG: JPEG アルゴリズムは、ビデオ圧縮の ISO/IEC 標準です。

MP4V: MP4V 形式はビデオ圧縮用の ISO/IEC ファイル形式です。

Off: ビデオなし。

例:

```
xStatus MediaChannels DirectShare 27 Channel 327 Video Protocol
*s MediaChannels DirectShare 27 Channel 327 Video Protocol: H264
** end
```

xStatus MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Video ResolutionX

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

受信したビデオストリームの幅 (x 方向の解像度) を示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus MediaChannels DirectShare 27 Channel 327 Video ResolutionX
*s メディア チャンネル DirectShare 27 Channel 327 ビデオ解像度 X: 1920
** end
```

xStatus MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Video ResolutionY

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

受信したビデオストリームの高さ (Y 方向の解像度) を示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus MediaChannels DirectShare 27 Channel 327 Video ResolutionY
*s MediaChannels DirectShare 27 Channel 327 Video ResolutionY: 1080
** end
```

xStatus MediaChannels Miracast [n] Channel [n] Audio Channels

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

Miracast で共有する際の音声チャンネルの数を示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus MediaChannels Miracast 1 Channel 1 Audio Channels
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus MediaChannels Miracast [n] Channel [n] Audio Protocol

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

Miracast で共有する際の音声圧縮の標準を示します。MPEG-2 トランスポート ストリームに音声が存在しない場合、オフが表示されます。

返される結果の値スペース:

AACLC/AACLD/AMR/CiscoPCM16/LPCM16/L16-768/ComfortNoise/G711A/G711Mu/G722/G7221/G7221C/G723_1/G728/G729/G729A/G729AB/オフ/Opus/Raw

AACLC: AAC-LC は、AAC 形式内の特定のプロファイルであり、計算の複雑さを軽減し、幅広い互換性を実現するために最適化されています。
AACLD: AAC-LD は、MPEG-4 低遅延音声コーダーの音声圧縮形式です。
AMR: Adaptive Multi-Rate Codec です。
CiscoPCM16
ComfortNoise: ラジオや無線通信で使用される、送信中の人工的な無音部分を埋めるための合成のバックグラウンド ノイズ。
G711A: G.711 A-law アルゴリズムは、音声圧縮の ITU-T 標準です。
G711Mu: G.711 Mu-law アルゴリズムは、音声圧縮の ITU-T 標準です。
G722: G.722 アルゴリズムは、音声圧縮の ITU-T 標準です。
G7221: G.722.1 アルゴリズムは、音声圧縮の ITU-T 標準です。
G7221C: G.722.1 附属書 C アルゴリズムは、音声圧縮の ITU-T 標準です。
G723_1: G.723.1 アルゴリズムは、音声圧縮の ITU-T 標準です。
G728: G.728 アルゴリズムは、音声圧縮の ITU-T 標準です。
G729: G.729 アルゴリズムは、音声圧縮の ITU-T 標準です。
G729A: G.729 附属書 A アルゴリズムは、音声圧縮の ITU-T 標準です。
G729AB: G.729 附属書 A および B アルゴリズムは、音声圧縮の ITU-T 標準です。
L16-768
LPCM16
Off: 音声なし。
Opus: Opus は、著作権使用料がかからない音声圧縮の IETF 標準です。
生

例:

```
xStatus MediaChannels Miracast 1 Channel 1 Audio Protocol
** end
```

xStatus Media Channels Miracast [n] チャネル [n] 暗号化

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

特定のチャネルを、Miracast で共有するときに、暗号化の状態を表示します。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus MediaChannels Miracast 1 Channel 1 Encryption
** end
```

xStatus MediaChannels Miracast [n] Channel [n] EncryptionType

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

Miracast で共有するときに、特定のチャネルの暗号化の種類を示します。

返される結果の値スペース:

なし/AES-128/AES-256/AES-128-GCM/AES-256-GCM
常になし。

例:

```
xStatus MediaChannels Miracast 1 Channel 1 EncryptionType
** end
```

xStatus MediaChannels Miracast [n] Channel [n] Netstat Bytes

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

特定のチャネルが、Miracast と共有するときに受信したバイト数。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus MediaChannels Miracast 1 Channel 1 Netstat Bytes
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus MediaChannels Miracast [n] Channel [n] Netstat ChannelRate

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

特定のチャネルの圧縮ストリームのビットレートを、Miracast で共有する際のビットレート数を表示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus MediaChannels Miracast 1 Channel 1 Netstat ChannelRate
** end
```

xStatus MediaChannels Miracast [n] Channel [n] Netstat Jitter

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

Miracast で共有するときに、特定のチャネルの RTP パケット ジッターを表示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus MediaChannels Miracast 1 Channel 1 Netstat Jitter
** end
```

xStatus MediaChannels Miracast [n] Channel [n] Netstat LastIntervalLost

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

特定のチャネルを、Miracast で共有するときに、最後の時間間隔で失われた RTP パケット数を表示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus MediaChannels Miracast 1 Channel 1 Netstat LastIntervalLost
** end
```

xStatus MediaChannels Miracast [n] Channel [n] Netstat LastIntervalReceived

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

Miracast で共有するときに、特定のチャネルの最後の時間間隔に受信した RTP パケット数を示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus MediaChannels Miracast 1 Channel 1 Netstat LastIntervalReceived
** end
```

xStatus MediaChannels Miracast [n] Channel [n] Netstat Loss

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

特定のチャネルで失われた RTP パケット数を、Miracast で共有するときに表示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus MediaChannels Miracast 1 Channel 1 Netstat Loss
** end
```

xStatus MediaChannels Miracast [n] Channel [n] Netstat MaxJitter

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

Miracast で共有する場合、特定のチャネルの最大 RTP パケット ジッターを表示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus MediaChannels Miracast 1 Channel 1 Netstat MaxJitter
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus MediaChannels Miracast [n] Channel [n] Netstat Packets

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

Miracast で共有するときに、特定のチャネルで受信した RTP パケット数を示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus MediaChannels Miracast 1 Channel 1 Netstat Packets
** end
```

xStatus MediaChannels Miracast [n] Channel [n] Video FrameRate

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

特定のチャネルのデコードされた Miracast ビデオ ストリームのフレームレートを Hz 単位で示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus MediaChannels Miracast 1 Channel 1 Video FrameRate
** end
```

xStatus MediaChannels Miracast [n] Channel [n] Video Protocol

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

Miracast ビデオ圧縮標準が使用中であることを表示します。現在は H264 のみに対応しています。

返される結果の値スペース:

H261/H263/H263p/H263pp/H264/HEVC/AV1/JPEG/MP4V/Off/Raw/RDP

例:

```
xStatus MediaChannels Miracast 1 Channel 1 Video Protocol
** end
```

xStatus MediaChannels Miracast [n] Channel [n] Video ResolutionX

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デコードされた Miracast ビデオ ストリームの幅を示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus MediaChannels Miracast 1 Channel 1 Video ResolutionX
** end
```

xStatus MediaChannels Miracast [n] Channel [n] Video ResolutionY

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デコードされた Miracast ビデオ ストリームの高さを示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus MediaChannels Miracast 1 Channel 1 Video ResolutionY
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

MicrosoftTeams の状況

xStatus MicrosoftTeams Calling InCall

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 DeskPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

Microsoft Teams アプリが通話中かどうかを表示します。

返される結果の値スペース:

True/False

False: 通話していません。
True: 通話中です。

例:

```
xStatus MicrosoftTeams Calling InCall
*s MicrosoftTeams Calling InCall: False
** end
```

xStatus MicrosoftTeams CVI CrossTenant

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 DeskPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

クロステナント機能が有効か無効かを示します。

返される結果の値スペース:

有効/無効

Disabled: クロステナント機能が無効です。
Enabled: クロステナント機能が有効です。

例:

```
xStatus MicrosoftTeams CVI CrossTenant
** end
```

xStatus MicrosoftTeams HardwareAccelerator Decoder [n] CroppedHeight

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 DeskPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

Microsoft Teams が使用するデコーダーによって生成されたフレームのトリミングされた高さ。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus MicrosoftTeams HardwareAccelerator Decoder 1 CroppedHeight
* MicrosoftTeams ハードウェア アクセラレータ デコーダー 5 トリミング済み高さ: 1080
** end
```

xStatus MicrosoftTeams ハードウェアアクセラレータ デコーダー [n] のトリミング幅

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 DeskPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

Microsoft Teams が使用するデコーダーによって生成されたフレームのトリミングされた幅。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus MicrosoftTeams HardwareAccelerator Decoder 1 CroppedWidth
*s MicrosoftTeams HardwareAccelerator Decoder 5 CroppedWidth: 1920
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus MicrosoftTeams ハードウェアアクセラレータ デコーダー [n] Fps

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 DeskPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

Microsoft Teams が使用するデコーダーからの 1 秒あたりのフレーム数。サンプル期間にわたって測定され、MicrosoftTeams HardwareAccelerator Decoder [n] SamplePeriodUs ステータスで返されます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus MicrosoftTeams HardwareAccelerator Decoder 4 Fps
*s MicrosoftTeams HardwareAccelerator Decoder 4 Fps: "30.06"
** end
```

xStatus MicrosoftTeams HardwareAccelerator Decoder [n] FrameCount

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 DeskPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

Microsoft Teamsが使用するデコーダーが生成したフレームの数。サンプル期間にわたって測定され、MicrosoftTeams HardwareAccelerator Decoder [n] SamplePeriodUs ステータスで返されます。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus MicrosoftTeams ハードウェアアクセラレータ デコーダー 4 FrameCount
*s MicrosoftTeams HardwareAccelerator Decoder 4 FrameCount: 60
** end
```

xStatus MicrosoftTeams HardwareAccelerator Decoder [n] Height

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 DeskPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

Microsoft Teams が使用するデコーダーからのフレームデータの高さ。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus MicrosoftTeams HardwareAccelerator Decoder 4 Height
*s MicrosoftTeams HardwareAccelerator Decoder 4 Height: 1088
** end
```

xStatus MicrosoftTeams HardwareAccelerator Decoder [n] OutputMode

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 DeskPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

Microsoft Teams が使用するデコーダーのモード: ByteBuffered または Surface モード。

返される結果の値スペース:

ByteBuffer/Surface/Unknown

例:

```
xStatus MicrosoftTeams HardwareAccelerator Decoder 4 OutputMode
*s MicrosoftTeams HardwareAccelerator Decoder 4 OutputMode: ByteBuffer
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus MicrosoftTeams HardwareAccelerator Decoder [n] SamplePeriodUs

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 DeskPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

MicrosoftTeams HardwareAccelerator Decoder [n] Bitrate、InputBytesProcessed、Frame Count、および Fps ステータスによって返されるデータのサンプル期間。

返される結果の値スペース:

整数

ピリオドの継続時間 (マイクロ秒)。

例:

```
xStatus MicrosoftTeams HardwareAccelerator Decoder 4 SamplePeriodUs
*s MicrosoftTeams HardwareAccelerator Decoder 4 SamplePeriodUs: 1995871
** end
```

xStatus MicrosoftTeams HardwareAccelerator Decoder [n] Width

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 DeskPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

Microsoft Teams が使用するデコーダーからのフレーム データの幅。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus MicrosoftTeams HardwareAccelerator Decoder 4 Width
*s MicrosoftTeams HardwareAccelerator Decoder 4 Width: 1920
** end
```

xStatus MicrosoftTeams HardwareAccelerator Encoder [n] Fps

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 DeskPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

Microsoft Teams が使用するエンコーダーに送信される 1 秒あたりのフレーム数。サンプル期間にわたって測定され、MicrosoftTeams HardwareAccelerator Encoder [n] SamplePeriodUs ステータスで返されます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus MicrosoftTeams ハードウェアアクセラレータ エンコーダ 9 Fps
*s MicrosoftTeams HardwareAccelerator Encoder 9 Fps: "29.56"
** end
```

xStatus MicrosoftTeams ハードウェアアクセラレータ エンコーダー [n] FrameCount

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 DeskPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

Microsoft Teams が使用するエンコーダーによって処理されるフレーム数。サンプル期間にわたって測定され、MicrosoftTeams HardwareAccelerator Encoder [n] SamplePeriodUs ステータスで返されます。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus MicrosoftTeams HardwareAccelerator Encoder 9 FrameCount
*s MicrosoftTeams ハードウェアアクセラレータ エンコーダー 9 FrameCount: 59
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus MicrosoftTeams ハードウェアアクセラレータ エンコーダー [n] の高さ

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 DeskPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

Microsoft Teams が使用するエンコーダーへのフレームデータの高さ。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus MicrosoftTeams HardwareAccelerator Encoder 9 Height
*s MicrosoftTeams HardwareAccelerator Encoder 9 Height: 1080
** end
```

xStatus MicrosoftTeams HardwareAccelerator Encoder [n] InputMode

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 DeskPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

Microsoft Teams が使用するエンコーダーのモード: ByteBuffered または Surface モード。

返される結果の値スペース:

ByteBuffer/Surface/Unknown

例:

```
xStatus MicrosoftTeams HardwareAccelerator Encoder 9 InputMode
*s MicrosoftTeams HardwareAccelerator Encoder 9 InputMode: Surface
** end
```

xStatus MicrosoftTeams HardwareAccelerator Encoder [n] SamplePeriodUs

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 DeskPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

MicrosoftTeams HardwareAccelerator Encoder [n] Bitrate、BytesProduced、FrameCount、および Fps ステータスによって返されるデータのサンプル期間。

返される結果の値スペース:

整数

ピリオドの継続時間 (マイクロ秒)。

例:

```
xStatus MicrosoftTeams HardwareAccelerator Encoder 9 SamplePeriodUs
*s MicrosoftTeams HardwareAccelerator Encoder 9 SamplePeriodUs: 1995897
** end
```

xStatus MicrosoftTeams ハードウェアアクセラレータ エンコーダー [n] の幅

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 DeskPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

Microsoft Teams が使用するエンコーダーへのフレームデータの幅。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus MicrosoftTeams HardwareAccelerator Encoder 9 Width
*s MicrosoftTeams HardwareAccelerator Encoder 9 Width: 1920
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus MicrosoftTeams ペアリング アクティブ

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 DeskPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

Room Navigator がビデオデバイスと Microsoft Teams でペアリングされているかどうかを報告します。

Microsoft Teams では、Room Navigator は「コンソール」と呼ばれ、ビデオデバイスは「FrontOfRoom デバイス」と呼ばれます。

ペアリングは、ユーザーが同じユーザ名で Console と FrontOfRoom デバイスの両方にログインしている場合にのみ機能します。その後、コンソールはペアリングするための FrontOfRoom デバイスを検索します。MicrosoftTeams User SignedIn ステータスも参照してください。

返される結果の値スペース:

True/False

False: Room Navigator がデバイスとペアリングされています。
True: Room Navigator はデバイスとペアリングされていません。

例:

```
xStatus MicrosoftTeams Pairing Active
*s MicrosoftTeams Pairing Active: True
** end
```

xStatus MicrosoftTeams ソフトウェアバージョン Android

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 DeskPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デバイスで実行されている Android のバージョンを表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus MicrosoftTeams Software Version Android
*s MicrosoftTeams Software Version Android: "11-2021-10-01"
** end
```

xStatus MicrosoftTeams Software Version Authenticator

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 DeskPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

Microsoft Authenticator アプリケーションのバージョンを表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus MicrosoftTeams Software Version Authenticator
*s MicrosoftTeams Software Version Authenticator: "6.2404.2229"
** end
```

xStatus MicrosoftTeams Software Version MicrosoftIntune

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 DeskPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

Microsoft Intune アプリケーションのバージョンを表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus MicrosoftTeams Software Version MicrosoftIntune
*s MicrosoftTeams Software Version MicrosoftIntune: "24.03.6"
** end
```

xStatus MicrosoftTeams Software Version OEMAgent

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 DeskPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

OEM エージェント (Oracle Enterprise Manager) のバージョンを表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus MicrosoftTeams Software Version OEMAgent
*s MicrosoftTeams Software Version OEMAgent: "2411.07.00"
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus MicrosoftTeams Software Version TeamsAdminAgent

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 DeskPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

Microsoft Teams 管理エージェントのバージョンを表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus MicrosoftTeams Software Version TeamsAdminAgent
*s MicrosoftTeams Software Version TeamsAdminAgent: "1.0.0.202305022347.
product"
** end
```

xStatus MicrosoftTeams Software Version TeamsApp

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 DeskPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

Microsoft Teams アプリケーションのバージョンを表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus MicrosoftTeams Software Version TeamsApp
*s MicrosoftTeams Software Version TeamsApp: "1449/1.0.96.2023062301"
** end
```

xStatus MicrosoftTeams Software VersionCode Authenticator

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 DeskPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

Microsoft Authenticator アプリケーションのバージョンコードを表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus MicrosoftTeams Software VersionCode Authenticator
*s MicrosoftTeams Software VersionCode Authenticator: "202422293"
** end
```

xStatus MicrosoftTeams Software VersionCode MicrosoftIntune

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 DeskPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

Microsoft Intune アプリケーションのバージョンコードを表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus MicrosoftTeams Software VersionCode MicrosoftIntune
*s MicrosoftTeams Software VersionCode MicrosoftIntune: "240306260"
** end
```

xStatus MicrosoftTeams Software VersionCode OEMAgent

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 DeskPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

返される結果の値スペース:

文字列

OEM (Oracle Enterprise Manager) エージェントのバージョンコードを表示します。

例:

```
xStatus MicrosoftTeams Software VersionCode OEMAgent
*s MicrosoftTeams Software VersionCode OEMAgent: "24110700"
** end
```

xStatus MicrosoftTeams ソフトウェアバージョンコード TeamsAdminAgent

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 DeskPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

返される結果の値スペース:

文字列

Microsoft Teams 管理エージェントのバージョン コードを表示します。

例:

```
xStatus MicrosoftTeams Software VersionCode TeamsAdminAgent
*s MicrosoftTeams ソフトウェアバージョンコード TeamsAdminAgent: "463"
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus MicrosoftTeams Software VersionCode TeamsApp

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 DeskPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

Microsoft Teams アプリケーションのバージョン コードを表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus MicrosoftTeams Software VersionCode TeamsApp
*s MicrosoftTeams Software VersionCode TeamsApp: "2023174010"
** end
```

xStatus MicrosoftTeams ユーザーがサインイン済み

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 DeskPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ユーザーがデバイスで Microsoft Teams アプリケーションにサインインしているかどうかを報告します。

返される結果の値スペース:

True/False

False: 誰もアプリケーションにサインインしていません。
True: ユーザーはアプリケーションにサインインしています。

例:

```
xStatus MicrosoftTeams User SignedIn
*s MicrosoftTeams User SignedIn: True
** end
```

ネットワーク ステータス

xStatus Network [n] ActiveInterface

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デバイスが現在接続しているネットワーク インターフェイスのタイプを返します。

返される結果の値スペース:

LAN/WLAN

LAN: デバイスは有線イーサネットネットワークに接続されています。
WLAN: デバイスは Wi-Fi ネットワークに接続されています。

例:

```
xStatus Network 1 ActiveInterface
*s ネットワーク 1 アクティブ インタフェース: LAN
** end
```

xStatus ネットワーク [n] CDP アドレス

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

受信デバイスと送信デバイスの両方の最初のネットワーク アドレスを返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network CDP アドレス
*s ネットワーク 1 CDP アドレス: "192.0.1.20"
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Network [n] CDP 機能

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デバイスタイプの形式でスイッチの機能性能を説明します。詳細については、CDP プロトコルのドキュメントを参照してください。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network CDP 機能
*s ネットワーク 1 CDP 機能: "0x0029"
** end
```

xStatus Network [n] CDP DeviceId

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

文字列の形式でスイッチの名前を識別します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network CDP DeviceId
*s ネットワーク 1 CDP DeviceId: "123456.company.com"
** end
```

xStatus Network [n] CDP Duplex

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

CDP ブロードキャスト インターフェイスのステータス (デュプレックス設定) を示します。隣接するネットワーク要素間の接続の問題を診断するために、ネットワーク オペレータによって使用されます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network CDP Duplex
*s ネットワーク 1 CDP 二重:「フル」
** end
```

xStatus Network [n] CDP Platform

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デバイスに接続されているスイッチのハードウェア プラットフォーム名を返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network CDP Platform
*s Network 1 CDP Platform: "cisco WS-C3750X-48P"
** end
```

xStatus Network [n] CDP PortID

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デバイスが接続されているポートのスイッチが使用する ID を返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network CDP PortID
*s Network 1 CDP PortID: "GigabitEthernet1/0/23"
** end
```

xStatus Network [n] CDP PrimaryMgmtAddress

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デバイスが接続されているスイッチの構成と監視に使用される管理アドレスを返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network CDP PrimaryMgmtAddress
*s Network 1 CDP PrimaryMgmtAddress: "10.1.1.2"
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus ネットワーク [n] CDP SysName

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デバイスが接続されているスイッチで構成されている SysName を返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network CDP SysName
*s ネットワーク 1 CDP SysName: ""
** end
```

xStatus ネットワーク [n] CDP SysObjectID

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デバイスが接続されているスイッチで構成されている SysObjectID を返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network CDP SysObjectID
*s ネットワーク 1 CDP SysObjectID: ""
** end
```

xStatus ネットワーク [n] CDP バージョン

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

スイッチが実行しているソフトウェア リリース バージョンに関する情報を返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network 1 CDP バージョン
*s Network 1 CDP Version: "Cisco IOS Software, C3560CX Software (C3560CX-
UNIVERSALK9-M), Version 15.2(3)E, RELEASE SOFTWARE (fc4)*Technical Support:
http://www.cisco.com/techsupport*Copyright (c) 1986-2014 by Cisco Systems,
Inc.*Compiled Sun 07-Dec-14 13:15 by prod _ rel _ team"
** end
```

xStatus ネットワーク [n] CDP VoIPApplianceVlanID

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デバイスからスイッチへの VoIP トラフィックに使用される VLAN を識別します。詳細については、IEEE 802.1Q プロトコルのドキュメントを参照してください。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network CDP VoIPApplianceVlanID
*s ネットワーク 1 CDP VoIPApplianceVlanID: "300"
** end
```

xStatus Network [n] CDP VTPMgmtDomain

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

スイッチの設定済み VTP 管理ドメイン名文字列を返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network CDP VTPMgmtDomain
*s Network 1 CDP VTPMgmtDomain: "anyplace"
** end
```

xStatus Network [n] DNS ドメイン名

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ドメイン名を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network 1 DNS Domain Name
*s ネットワーク 1 DNS ドメイン名: "www.example.com www.example.int"
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus ネットワーク [n] DNS サーバ [n] アドレス

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

DNS サーバーの IP アドレスを表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus ネットワーク 1 DNS サーバ 1. アドレス
*s ネットワーク 1 DNS サーバ 1 アドレス: "192.0.2.60"
** end
```

xStatus ネットワーク [n] イーサネット MacAddress

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

イーサネットインタフェースの MAC (Media Access Control) アドレスを表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network 1 Ethernet MacAddress
*s Network 1 Ethernet MacAddress: "00:50:60:02:FD:C7"
** end
```

xStatus Network [n] イーサネット速度

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ

イーサネット速度を Mbps で示します。速度はフルデュプレックスまたはハーフデュプレックスにすることができます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network 1 Ethernet Speed
*s Network 1 Ethernet Speed: "100full"
** end
```

X ステータス ネットワーク [n] FQDN

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デバイスの完全修飾ドメイン名

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus ネットワーク 1 FQDN
** end
```

xStatus Network [n] IEEE8021X Reason

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ネットワークインタフェース [n] での 802.1X 認証のステータス理由を提供します。

返される結果の値スペース:

文字列

現在の認証状況の理由を示します。

例:

```
xStatus Network 1 IEEE8021X Reason
** end
```

xStatus Network [n] IEEE8021X Status

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ネットワークインタフェース [n] の 802.1X の現在の認証ステータスを示します。

返される結果の値スペース:

関連付け中/接続済み/認証失敗/失敗/オフ/その他

認証状態を表します。

例:

```
xStatus ネットワーク 1 IEEE8021X ステータス
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus ネットワーク [n] IPv4 アドレス

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

このデバイスを一意に識別する IPv4 アドレスを表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus ネットワーク 1 IPv4 アドレス
*s ネットワーク 1 IPv4 アドレス: "192.0.2.149"
** end
```

xStatus Network [n] IPv4 ゲートウェイ

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

IPv4 ゲートウェイのアドレスを表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network 1 IPv4 Gateway
*s Network 1 IPv4 Gateway: "192.0.2.10"
** end
```

xStatus Network [n] IPv4 SubnetMask

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

IPv4 アドレスが属するサブネットを決定するサブネットマスクを表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network 1 IPv4 SubnetMask
*s Network 1 IPv4 SubnetMask: "255.255.255.0"
** end
```

xStatus Network [n] IPv6 Address

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

このデバイスを一意に識別する IPv6 アドレスを表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus ネットワーク 1 IPv6 アドレス
*s ネットワーク 1 IPv6 アドレス: ""
** end
```

xStatus Network [n] IPv6 ゲートウェイ

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

IPv6 ゲートウェイのアドレスを表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus ネットワーク 1 IPv6 ゲートウェイ
*s ネットワーク 1 IPv6 ゲートウェイ: ""
** end
```

xStatus Network [n] IPv6 LinkLocalAddress

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

プライマリユーザインターフェイスに表示される IPv6 リンクローカルアドレスを示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network 1 IPv6 LinkLocalAddress
*s Network 1 IPv6 LinkLocalAddress: "2001:DB8:0000:0000:0000:0000:0000:0001"
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

X 状況 ネットワーク [n] LLDP シャシー ID

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デバイスが接続されているスイッチの識別子を返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus ネットワーク 1 LLDP シャシー ID
** end
```

xStatus Network [n] LLDP Chassis IDType

適用先: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

シャシー ID で使用される識別子のタイプを返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network 1 LLDP Chassis IDType
** end
```

xStatus Network [n] LLDP Duplex

適用先: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

LLDP ブロードキャスト インターフェイスのステータス (デュプレックス設定) を示します。隣接するネットワーク要素間の接続の問題を診断するために、ネットワーク オペレータによって使用されます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network 1 LLDP Duplex
** end
```

xStatus ネットワーク [n] LLDP ポート ID

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

このステータスは、デバイスが接続されているネットワークスイッチのポート ID (Port ID) を返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus ネットワーク 1 LLDP ポート ID
** end
```

xStatus ネットワーク [n] LLDP ポート IDType

適用先: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ポート IDType で使用される識別子のタイプを返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus ネットワーク 1 LLDP ポート IDType
** end
```

xStatus Network [n] LLDP PrimaryMgmtAddress

適用先: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デバイスが接続されているスイッチの構成と監視に使用される管理アドレスを返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network 1 LLDP PrimaryMgmtAddress
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus ネットワーク [n] LLDP SysDescr

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

スイッチが実行しているソフトウェア リリース バージョンに関する情報を返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network 1 LLDP SysDescr
** end
```

xStatus ネットワーク [n] LLDP SysName

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デバイスが接続されているスイッチで構成されているシステム名を返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network 1 LLDP SysName
** end
```

xStatus ネットワーク [n] LLDP 音声 VLAN ID

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デバイスからスイッチへの VoIP トラフィックに使用される VLAN を識別します。詳細については、IEEE 802.1Q プロトコルのドキュメントを参照してください。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network 1 LLDP VoiceVlanID
** end
```

xStatus ネットワーク [n] VLAN 音声 VLAN ID

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

フィードバックは VLAN 音声 ID を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

Off: VLAN 音声モードは有効ではありません。
1..4094: VLAN 音声 ID

例:

```
xStatus ネットワーク 1 VLAN 音声 VlanId
*s Network 1 VLAN Voice VlanId: "Off"
** end
```

xStatus Network [n] Wifi ProfileID

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

現在の接続の ProfileID を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus ネットワーク 1 Wifi プロファイル ID
*s Network 1 Wifi ProfileID: "Aurora"
** end
```

xStatus ネットワーク [n] Wi-Fi BSSID

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

Wi-Fi 接続に使用される基本サービス セット識別子 (BSSID) を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus ネットワーク 1 Wifi BSSID
*s ネットワーク 1 Wifi BSSID: "xx:xx:xx:xx:xx:xx"
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus ネットワーク [n] Wi-Fi チャンネル

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

Wi-Fi 接続で使用されるチャンネルを表示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Network 1 Wifi Channel
*s Network 1 Wifi Channel: 13
** end
```

xStatus ネットワーク [n] Wi-Fi CLMVersion

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デバイス上の CLM ブロブのバージョンを表示します。CLM ブロブは、異なる国のチャネル全体の最大無線電力出力レベルに関する情報を保持するファイルです。国が異なれば、規制上の制約も異なります。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network 1 Wifi CLMVersion
*s Network 1 Wifi CLMVersion: "XXXXXXXX"
** end
```

xStatus ネットワーク [n] Wi-Fi 接続

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

返される結果の値スペース:

True/False

デバイスが現在 Wi-Fi に接続されているかどうかを示します。

例:

```
xStatus Network 1 Wifi Connectivity
*s Network 1 Wifi Connectivity: False
** end
```

xStatus Network [n] Wifi Frequency

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

Wi-Fi チャンネルの周波数を表示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Network 1 Wifi frequency
*s Network 1 Wifi Frequency: nnnn
** end
```

xStatus Network [n] Wifi FWVersion

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デバイスの Wi-Fi チップのファームウェア バージョンを表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network 1 Wifi FWVersion
*s Network 1 Wifi FWVersion: "XXXXXXXX"
** end
```

xStatus Network [n] Wifi InterfaceEnabled

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

Wi-Fi が有効になっているか (On)、否か (Off) を示します。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus Network Wifi InterfaceEnabled
*s Network 1 Wifi InterfaceEnabled: Off
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Network [n] Wifi InterfaceReason

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

Wi-Fi インターフェイスが有効または無効である理由を説明します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network Wifi InterfaceReason
*s Network 1 Wifi InterfaceReason: "wlan=Down、config=true"
** end
```

xStatus ネットワーク [n] Wifi KeyMgmt

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ステータスは、Wi-Fi ネットワークの接続済みセキュリティ アルゴリズムを表す省略文字列を返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network 1 Wifi KeyMgmt
*s Network 1 Wifi KeyMgmt: " WPA2/IEEE 802.1X/EAP"
** end
```

xStatus Network [n] Wifi MacAddress

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

Wi-Fi 接続に使用される MacAddress を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network 1 Wifi MacAddress
*s Network 1 Wifi MacAddress: "xx:xx:xx:xx:xx:xx"
** end
```

xStatus ネットワーク [n] Wi-Fi のノイズ

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

Wi-Fi 接続のノイズ レベル (dBm) を示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Network 1 Wi-Fi ノイズ
*s ネットワーク 1 Wi-Fi ノイズ: -92
** end
```

xStatus Network [n] Wifi Phase2Method

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

該当する場合、Wi-Fi 接続に使用されるフェーズ 2 メソッドが表示されます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network 1 Wifi Phase2Method
*s Network 1 Wifi Phase2Method: ""
** end
```

xStatus Network [n] Wifi RawSSID

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

Wi-Fi 接続の生の SSID を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network 1 Wifi RawSSID
*s Network 1 Wifi RawSSID: "Aurora"
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Network [n] Wifi Reason

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

該当する場合、Wi-Fi 接続に定義された理由を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus ネットワーク 1 Wi-Fi 理由
*s ネットワーク 1 Wi-Fi 理由: ""
** end
```

xStatus ネットワーク [n] Wi-Fi 地域

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

Wi-Fi 接続の地域を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

地域コードです。デバイスがアクセス ポイントから地域コードを受信しない場合、値は「00」になります。

例:

```
xStatus Network 1 Wi-Fi 地域
*s ネットワーク 1 Wi-Fi 地域:「米国」
** end
```

xStatus ネットワーク [n] Wi-Fi RSSI

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

Wi-Fi 接続で使用される受信信号強度インジケータ (RSSI) を示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Network 1 Wifi RSSI
*s ネットワーク 1 Wifi RSSI:-62
** end
```

xStatus ネットワーク [n] Wifi ScanResult [n] AuthType

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ネットワークスキャンで見つかったすべての Wi-Fi ネットワークの認証タイプを返します。
この結果を得るためには、スキャン (Network Wifi Scan Start) を実行する必要があります。

返される結果の値スペース:

オープン/パーソナル/エンタープライズ/サポートなし

例:

```
xStatus ネットワーク 1 Wifi ScanResult 2 AuthType
*s ネットワーク 1 Wifi ScanResult 2 AuthType: "Personal"
** end
```

xStatus Network [n] Wifi ScanResult [n] RawSSID

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

スキャン結果で見つかったすべての RawSSID 値を返します。
スキャン (ネットワーク Wi-Fi スキャンの開始) を実行して結果を取得してください。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network 1 Wifi ScanResult 1 RawSSID
*s Network 1 Wifi ScanResult 1 RawSSID: "Aurora"
** end
```

xStatus Network [n] Wifi ScanResult [n] SignalLevel

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

スキャン結果で見つかったすべての SignalLevel 値を返します。
この結果を得るためには、スキャン (Network Wifi Scan Start) を実行する必要があります。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Network 1 Wifi ScanResult 1 SignalLevel
*s Network 1 Wifi ScanResult 1 SignalLevel: -61
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus ネットワーク [n] Wi-Fi スキャン結果 [n] SSID

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

スキャン結果から見つかったすべての SSID 値を返します。
この結果を得るためには、スキャン (Network Wifi Scan Start) を実行する必要があります。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus ネットワーク 1 Wifi ScanResult 1 SSID
*s ネットワーク 1 Wi-Fi ScanResult 1 SSID: "Aurora"
** end
```

xStatus ネットワーク [n] Wi-Fi SNR

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

Wi-Fi 接続の信号対雑音比 (デシベル) を示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus ネットワーク 1 Wifi SNR
*s ネットワーク 1 Wifi SNR: 32
** end
```

xStatus ネットワーク [n] Wi-Fi 速度

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

Wi-Fi 接続の送信速度 (アップリンク) を表示します。

返される結果の値スペース:

整数

Mbps 単位の速度。

例:

```
xStatus Network 1 Wifi Speed
*s Network 1 Wifi Speed: 39
** end
```

xStatus Network [n] Wifi SSID

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

Wi-Fi 接続のサーバ セット識別子 (SSID) を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network 1 Wifi SSID
*s ネットワーク 1 Wi-Fi SSID: "Aurora"
** end
```

xStatus Network [n] Wifi Status

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

Wi-Fi ネットワーク接続のステータスを表示します。

返される結果の値スペース:

接続中/関連付け中/関連付け済み/接続済み/切断済み/認証失敗/失敗/ネットワークが見つかりません/その他

Wi-Fi ネットワーク接続のステータスを表示します。
関連付け済み: デバイスは Wi-Fi ネットワークに関連付けられています。
関連付け中: デバイスは Wi-Fi ネットワークとの関連付けを試行しています。
AuthFailed: Wi-Fi ネットワーク接続時に認証に失敗しました。
接続済み: デバイスは Wi-Fi ネットワークに接続されています。
接続中: デバイスは Wi-Fi ネットワークに接続しようとしています。
切断: デバイスは Wi-Fi ネットワークに接続されていません。
失敗: 認証の失敗以外の理由で、デバイスは Wi-Fi ネットワークに接続できませんでした。
NetworkNotFound: 指定されたネットワーク名 (SSID) がどのスキャンでも見つかりませんでした。または、ネットワーク名が見つかりましたが、選択したセキュリティスキーム (オープン、パーソナル、エンタープライズなど) ではありません。
その他: その他のシナリオ。

例:

```
xStatus Network 1 Wifi Status
*s Network 1 Wifi Status: Connected
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Network [n] Wifi SWVersion

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

Wi-Fi ドライバーのソフトウェアバージョンを表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network 1 Wifi SWVersion
*s Network 1 Wifi SWVersion: "XXXXXXXX"
** end
```

xStatus ネットワーク [n] Wi-Fi ツールバージョン

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

Wi-Fi チップのコマンド回線インターフェースツールのバージョンを表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network 1 Wifi ToolsVersion
*s Network 1 Wifi ToolsVersion: "XXXXXXXX"
** end
```

xStatus ネットワーク [n] Wi-Fi タイプ

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

Wi-Fi ネットワーク接続の暗号化タイプを表示します。

返される結果の値スペース:

オープン/Wpa2-psk/Wpa2-eap-fast/Wpa2-eap-peap/Wpa2-eap-tls/Wpa2-eap-ttls

例:

```
xStatus ネットワーク 1 Wi-Fi タイプ
*s Network 1 Wifi Type: "Wpa2-psk"
** end
```

NetworkServices status

xStatus NetworkServices NTP CurrentAddress

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

現在使用中の NTP サーバーのアドレスを返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus NetworkServices NTP CurrentAddress
*s NetworkServices NTP CurrentAddress: "123.254.15.121"
** end
```

xStatus NetworkServices NTP サーバ [n] アドレス

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デバイスが使用している NTP サーバーのアドレスを返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus NetworkServices NTP アドレス
*s NetworkServices NTP アドレス: "12.104.193.12 64.104.222.16 144.254.15.121"
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus NetworkServices NTP Status

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

NTP サーバと同期しているデバイスのステータスを返します。

返される結果の値スペース:

Discarded/Synced/NotSynced/Unknown/Off

破棄済み: NTP 結果は破棄されました。
同期済み: デバイスは NTP サーバと同期しています。
NotSynced: デバイスは NTP サーバと同期されていません。
不明: 同期の状態が不明です。
Off: NTP サーバーとの同期がありません。

例:

```
xStatus NetworkServices NTP ステータス
*s NetworkServices NTP 状況: 同期済み
** end
```

xStatus NetworkServices UPnP Status

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

UPnP サービスがネットワーク上でデバイスの存在をアドバタイズしているかどうかをレポートします。アドバタイズメントは、タッチ コントローラーがデバイスを自動的に検出することを許可するため、タッチ コントローラーをペアリングするために、デバイスの IP アドレスを手動で入力する必要はありません。

返される結果の値スペース:

実行中/停止

Running: デバイスのプレゼンスはネットワーク上で公開されています。
Stopped: デバイスのプレゼンスはネットワーク上で公開されません。

例:

```
xStatus NetworkServices UPnP Status
*s NetworkServices UPnP Status: Running
** end
```

周辺機器の状況

xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] DRAM

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

周辺機器のメモリサイズを表示します。Touch 10 およびカメラには適用されません。

返される結果の値スペース:

整数

メモリサイズは GB です。

例:

```
xStatus Peripherals ConnectedDevice 1003 DRAM
*s Peripherals ConnectedDevice 1003 DRAM: 2
** end
```

xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] HardwareInfo

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

接続されているデバイスのハードウェア情報を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Peripherals ConnectedDevice 1007 HardwareInfo
*s Peripherals ConnectedDevice 1007 HardwareInfo: "1122330-0"
** end
```

xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] ID

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

接続されたデバイスの MAC アドレスを表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Peripherals ConnectedDevice 1007 ID
*s Peripherals ConnectedDevice 1007 ID: "00:10:20:20:be:21"
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] の場所

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

Room Navigator を添付することをサポートするデバイスの場合、これはその場所を示します。Room Navigator は会議室内に配置することがよくありますが、会議室の予約を容易にするために会議室の外に配置することもできます。

返される結果の値スペース:

未設定/室内/室外

InsideRoom: Room Navigator は、ビデオデバイスと同じ会議室にあります。
OutsideRoom: Room Navigator は会議室の外にあります。
NotSet: Room Navigator の位置に関する情報は提供されません。

例:

```
xStatus Peripherals ConnectedDevice 1007 Location
*s Peripherals ConnectedDevice 1007 Location: InsideRoom
** end
```

xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] Model

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

このステータスは、接続された Room Navigator がテーブルスタンド型か、または壁面取り付け型かを示します。

返される結果の値スペース:

TableStand/WallMount

例:

```
xStatus Peripherals ConnectedDevice 1007 Model
*s Peripherals ConnectedDevice 1007 Model: WallMount
** end
```

xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] Name

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

接続されている端末の製品名を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Peripherals ConnectedDevice 1007 Name"
*s Peripherals ConnectedDevice 1007 Name: "Cisco Room Navigator"
** end
```

xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] NetworkAddress

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

接続されているデバイスのネットワークアドレスを表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Peripherals ConnectedDevice 1007 NetworkAddress
*s Peripherals ConnectedDevice 1004 NetworkAddress: "192.0.1.20"
** end
```

xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] の役割

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

このステータスは、接続された Room Navigator がコントローラー (標準ユーザ インターフェイス)、スケジューラ (会議室予約デバイス) としてセットアップされているか、または永続的なウェブ アプリを実行しているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

NotSet/Controller/Scheduler/PersistentWebApp

例:

```
xStatus Peripherals ConnectedDevice 1007 Role
*s Peripherals ConnectedDevice 1007 Role: Controller
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] RoomAnalytics AirQuality Index

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

指定されたデバイス ID で Room Navigator により報告される空気質指数を表示します。値は、ドイツ連邦環境局 (UBA) の定義によるものです。

返される結果の値スペース:

文字列

0–1.9: 清潔な衛生的な空気。
2.0–2.9: 良好な空気の質。換気を推奨します。
3.0–3.9: 快適性に関する顕著な懸念事項。12 か月以上の露出はお勧めできません。換気が必要です。
4.0–4.9: 快適性に関する大きな問題。1 か月以上の露出はお勧めできません。可能な場合は換気してください。換気を高める。
5.0 以上: 認められない条件。

例:

```
xStatus Peripherals ConnectedDevice 1007 RoomAnalytics AirQuality Index
*s Peripherals ConnectedDevice 1007 RoomAnalytics AirQuality Index: "1.3"
** end
```

xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] RoomAnalytics AmbientTemperature

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

指定されたデバイス ID の Room Navigator ーによって報告された周囲温度を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Peripherals ConnectedDevice 1007 RoomAnalytics AmbientTemperature
*s Peripherals ConnectedDevice 1007 RoomAnalytics AmbientTemperature: "20.7"
** end
```

xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] RoomAnalytics RelativeHumidity

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

指定されたデバイス ID で Room Navigator ーによって報告される相対湿度を示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Peripherals ConnectedDevice 1007 RoomAnalytics RelativeHumidity
*s Peripherals ConnectedDevice 1007 RoomAnalytics RelativeHumidity: 26
** end
```

xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] Security Certificates LastSynced

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

前回のデバイスと接続された Room Navigator の間で証明書が同期された日時を返します。「Peripherals Security Certificates SyncToPeripherals Enabled」設定を参照してください。

返される文字列の形式は YYYY-MM-DDThh:mm:ss です。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Peripherals ConnectedDevice 1 Security Certificates LastSynced
*s Peripherals ConnectedDevice 1003 Security Certificates LastSynced:
"2023-11-08T01:00:04"
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] SerialNumber

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

タッチ コントローラーなど、接続されている周辺機器のシリアル番号を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Peripherals ConnectedDevice 1001 SerialNumber
*s Peripherals ConnectedDevice 1001 SerialNumber: "ABC123…"
** end
```

xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] SoftwareInfo

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

接続されたデバイスで実行されているソフトウェア バージョンの情報を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Peripherals ConnectedDevice 1007 SoftwareInfo
*s Peripherals ConnectedDevice 1007 SoftwareInfo: "TI7.2.0"
** end
```

xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] Status

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

現在ビデオ会議端末に接続されている周辺機器を表示します。

返される結果の値スペース:

接続済み/応答タイムアウト/ペアリング解除/接続切れ

例:

```
xStatus Peripherals ConnectedDevice 1001 Status
*s Peripherals ConnectedDevice 1001 Status: Connected
** end
```

xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] Type

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

ビデオ会議端末に接続されている周辺機器のタイプを示します。

注: Precision 60 および Quad カメラは、Camera という値を返します。SpeakerTrack 60 カメラは SpeakerTracker の値を返します。Cisco ヘッドセットが認識された場合のみ、ヘッドセットの値が返されます。

返される結果の値スペース:

オーディオアンプ/オーディオマイク/Byod/カメラ/ControlSystem/InputDevice/Other/SpeakerTracker/TableExtender/TouchPanel/Headset/RoomScheduler/PersistentWebApp/VideoSwitcher

周辺機器のタイプです。Precision 60 および Quad カメラは Camera の値を返します。SpeakerTrack 60 カメラは SpeakerTracker の値を返します。認識された Cisco ヘッドセットのみがヘッドセットの値を返します。

例:

```
xStatus Peripherals ConnectedDevice 1001 Type
*s Peripherals ConnectedDevice 1001 Type: TouchPanel
** end
```

xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] UpgradeFailureReason

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

接続されたデバイスがアップグレード中に故障したことを示し、理由を提供します。

返される結果の値スペース:

文字列

アップグレード失敗の理由を説明します。

例:

```
xStatus Peripherals ConnectedDevice 1001 UpgradeFailureReason
*s Peripherals ConnectedDevice 1001 UpgradeFailureReason: "[c:404] 'HTTP 404'"
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] UpgradeStatus

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

現在接続されている周辺機器の前回のソフトウェアアップグレードの状況を表示します。

返される結果の値スペース:

Downloading/Failed/Installing/InstallationReady/None/Succeeded/Rebooting/Retrying/Aborted/Paused

例:

```
xStatus Peripherals ConnectedDevice 1001 UpgradeStatus
*s Peripherals ConnectedDevice 1001 UpgradeStatus: Retrying
** end
```

xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] UpgradeURL

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

接続されたデバイスのアップグレード URL を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

完全な URL を指定します。

例:

```
xStatus Peripherals ConnectedDevice 1001 UpgradeURL
*s Peripherals ConnectedDevice 1001 UpgradeURL: ""
** end
```

xStatus Peripherals PinPairing PinVisibleOnScreen

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

ペアリングが進行中の場合、PIN が画面に表示されるかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

True/False

True: PIN が画面に表示されます。False: PIN は画面上に表示されていません。

例:

```
xStatus Peripherals PinPairing PinVisibleOnScreen
*s Peripherals PinPairing PinVisibleOnScreen: True
** end
```

xStatus Peripherals PinPairing RetriesRemaining

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

周辺機器のペアリング PIN ペアリングの開始で指定されているように、ユーザーは無効な PIN が入力された場合に再試行することが許可される場合があります。この状況は、残りの再試行の数を示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Peripherals PinPairing RetriesRemaining
*s Peripherals PinPairing RetriesRemaining: 2
** end
```

xStatus Peripherals PinPairing TimeRemaining

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

周辺機器のペアリング PIN ペアリングの開始で指定されているように、PIN ペアリングプロセスは特定の期間アクティブになります。これは、ペアリングプロセスがアクティブである残り時間を分単位で示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Peripherals PinPairing TimeRemaining
*s Peripherals PinPairing TimeRemaining: 278
** end
```

xStatus 周辺機器 スタイラス [n] プレゼンス

適用対象: BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

スタイラスの有無を示します。

返される結果の値スペース:

出席/欠席

Present: スタイラスが存在しています。
NotPresent: スタイラスが検出されません

例:

```
xStatus Peripherals Stylus 1 Presence
*s Peripherals Stylus 1 Presence: NotPresent
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

プロビジョニングステータス

xStatus プロビジョニング CUCM カスタマイズ チェックサム

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

カスタマイズ テンプレート (バックアップ ファイル) を使用して、複数のデバイスにカスタム要素をプロビジョニングできます。このステータスは、デバイスにアップロードされた最後のカスタマイズ テンプレートのチェックサムを報告します。xCommand Provisioning Service Fetch コマンドも参照してください。

返される結果の値スペース:

文字列

カスタマイズテンプレートのチェックサムです。

例:

```
xStatus Provisioning CUCM Customization Checksum
*s Provisioning CUCM Customization Checksum: "633e163e2694b89ce37103b244
8c36a..."
** end
```

xStatus Provisioning CUCM ExtensionMobility Enabled

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

CUCM 登録済みデバイスでエクステンション モビリティが有効になっているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

True/False

例:

```
xStatus Provisioning CUCM ExtensionMobility Enabled
*s Provisioning CUCM ExtensionMobility Enabled: False
** end
```

xStatus Provisioning CUCM ExtensionMobility LastLoggedInUserId

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デバイスに最後にログインしたユーザ ID を返します。CUCM エクステンション モビリティが有効で、CUCM がデバイスの最後にログインしたユーザーを記憶するように設定されている場合にのみ使用されます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Provisioning CUCM ExtensionMobility LastLoggedInUserId
*s Provisioning CUCM ExtensionMobility LastLoggedInUserId: "User 1"
** end
```

xStatus Provisioning CUCM ExtensionMobility LoggedIn

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

誰かが Extension Mobility にログインしているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

True/False

例:

```
xStatus Provisioning CUCM ExtensionMobility LoggedIn
*s Provisioning CUCM ExtensionMobility LoggedIn: False
** end
```

xStatus プロビジョニングの理由

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

このステータスは、デバイスのプロビジョニング ステータスの背後にある理由についての情報を提供します。文字列値は、プロビジョニング ステータスが現在の状態に設定される原因となった特定の条件、エラー、またはイベントに関するインサイトを提供します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus プロビジョニングの理由
*s Provisioning Reason: ""
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Provisioning RoomType

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama BoardProG2

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

このデバイスに設定されたルームタイプの設定を指定します。

返される結果の値スペース:

ブリーフィング/教室/標準/プレゼンターと聴衆

Briefing: *このデバイスはブリーフィングルームのセットアップを使用しています。*
クラスルーム: このデバイスはクラスルームセットアップを使用しています。
PresenterAndAudience: *このデバイスはプレゼンタとオーディエンスの設定を使用しています。*
標準: このデバイスはデフォルトの会議室設定を使用しています。

例:

```
xStatus Provisioning RoomType
*s Provisioning RoomType: PresenterAndAudience
** end
```

xStatus プロビジョニングサーバ

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

このステータスは、プロビジョニング プロセスを処理するサーバーに関する情報を提供します。文字列値は、デバイスに関連付けられているプロビジョニング サーバーを識別します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Provisioning Server
*s プロビジョニングサーバ: "192.0.2.0"
** end
```

xStatus Provisioning Software Current CompletedAt

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

現在のソフトウェアアップグレードが完了した日時を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Provisioning Software Current CompletedAt
*s Provisioning Software Current CompletedAt: "2011-06-07T07:20:03Z"
** end
```

xStatus プロビジョニングソフトウェアの現在の URL

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

現行のソフトウェアのアップロード元の URL を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Provisioning Software Current URL
*s Provisioning Software Current URL: "http://.../s52020ce8_0_0.pkg"
** end
```

xStatus Provisioning Software Current VersionId

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

現在のソフトウェアのバージョン ID を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Provisioning Software Current VersionId
*s Provisioning Software Current VersionId: "s52020ce8_0_0.pkg"
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Provisioning Software UpgradeStatus LastChange

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

最新のソフトウェアアップグレードの日時を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Provisioning Software UpgradeStatus LastChange
*s Provisioning Software UpgradeStatus LastChange: "2011-06-07T07:20:03Z"
** end
```

xStatus Provisioning Software UpgradeStatus Message

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ソフトウェアアップグレードに関するシステムメッセージを表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Provisioning Software UpgradeStatus Message
*s Provisioning Software UpgradeStatus Message: ""
** end
```

xStatus Provisioning Software UpgradeStatus Phase

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ソフトウェアアップグレードのフェーズを表示します。

返される結果の値スペース:

AboutToInstallUpgrade/DownloadDone/DownloadPaused/DownloadPending/ Downloading/Installing/InstallingPeripherals/None/Postponed/UpgradingPeripherals

例:

```
xStatus Provisioning Software UpgradeStatus Phase
*s Provisioning Software UpgradeStatus Phase: None
** end
```

xStatus Provisioning Software UpgradeStatus SessionId

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ソフトウェアアップグレードのセッション ID を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Provisioning Software UpgradeStatus SessionId
*s Provisioning Software UpgradeStatus SessionId: ""
** end
```

xStatus Provisioning Software UpgradeStatus Status

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ソフトウェアアップグレードの状況を表示します。

返される結果の値スペース:

失敗/進行中/インストール失敗/なし/成功

例:

```
xStatus Provisioning Software UpgradeStatus Status
*s Provisioning Software UpgradeStatus Status: None
** end
```

xStatus プロビジョニングソフトウェアのアップグレード状況

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ソフトウェアのアップグレードが必要な緊急度を示します。

返される結果の値スペース:

Low/Medium/Critical

ソフトウェアアップグレードの緊急度を指定します。

例:

```
xStatus Provisioning Software UpgradeStatus Urgency
*s Provisioning Software UpgradeStatus Urgency: Low
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Provisioning Software UpgradeStatus URL

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

新しいソフトウェアが現在アップロードおよびインストールされている URL を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Provisioning Software UpgradeStatus URL
*s Provisioning Software UpgradeStatus URL: "http://.../s52020ce8 _ 0 _ 0.pkg"
** end
```

xStatus Provisioning Software UpgradeStatus VersionId

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

現在アップロードおよびインストールされているソフトウェアのバージョン ID を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Provisioning Software UpgradeStatus VersionId
*s Provisioning Software UpgradeStatus VersionId: "s52010ce8 _ 0 _ 0.pkg"
** end
```

xStatus プロビジョニング状況

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

プロビジョニングの状況を表示します。

返される結果の値スペース:

認証失敗/構成エラー/失敗/アイドル/構成が必要/プロビジョニング/プロビジョニング済み

失敗: プロビジョニングに失敗しました。
AuthenticationFailed: 認証に失敗しました。
プロビジョニング済み: デバイスはプロビジョニングされています。
Idle: プロビジョニングはアクティブではありません。
NeedConfig: デバイスを設定する必要があります。
ConfigError: 構成中にエラーが発生しました。

例:

```
xStatus Provisioning Status
*s Provisioning Status: Provisioned
** end
```

xStatus Provisioning WebexCalling Reason

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

Webex Calling のプロビジョニングが失敗した詳細な理由テキストを提供します。この状況は、アクティベーション URL や構成 URL の欠落や誤りなど、正常なプロビジョニングを妨げている問題についての洞察を提供します

返される結果の値スペース:

文字列

プロビジョニング失敗の具体的な理由を記述します。

例:

```
xStatus Provisioning WebexCalling Reason
** end
```

xStatus Provisioning WebexCalling Status

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

このソフトウェア リリースには適用されません。

返される結果の値スペース:

認証失敗/構成エラー/失敗/アイドル/構成が必要/プロビジョニング/プロビジョニング済み

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

近接通信の状況

xStatus 近接通信サービスの可用性

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

近接通信サービスがデバイスで利用可能かどうかを示します。

返される結果の値スペース:

Available/Deactivated/Disabled

Available: Proximity モードは xConfiguration Proximity Mode のコマンドで有効になっており、1 つ以上の Proximity Services は xConfiguration Proximity Services コマンドで有効になっています。

Deactivated: Proximity サービスが xCommand Proximity Services Deactivate コマンドで非アクティブ化されています。

Disabled: Proximity モードは xConfiguration Proximity Mode で無効にされたか、またはどのサービスも xConfiguration Proximity Services コマンドでは有効にされていません。

例:

```
xStatus Proximity Services Availability
*s Proximity Services Availability: Disabled
** end
```

RemoteAccess ステータス

xStatus RemoteAccess Availability Reason

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

返される結果の値スペース:

Available/Disallowed/Configured/InCall/InCallMtr/PersonalMode/CompanionMode/ScreenShare/BYODLimited

例:

```
xStatus RemoteAccess Availability Reason
*s RemoteAccess 可用性理由: 設定済み
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

RoomAnalytics のステータス

xStatus RoomAnalytics 周囲雑音レベル A

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ、USER

会議室の静止環境ノイズ レベルを推定するようにデバイスをセットアップできます (RoomAnalytics AmbientNoise 推定モード設定を参照してください)。結果はこのステータスで報告されます。

値は A 重み付きデシベル値 (dBA) です。この値は相対的な値でしかなく、絶対的な SPL (音圧レベル) の値ではありません。特に、デバイスが感度を把握していないサードパーティ製マイクには向きません。

返される結果の値スペース:

整数

静止した周囲のノイズ レベル (dBA 単位)。

例:

```
xStatus RoomAnalytics AmbientNoise Level A
*s RoomAnalytics AmbientNoise Level A: 30
** end
```

xStatus RoomAnalytics AmbientTemperature

適用対象: DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デバイスの周囲温度を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus RoomAnalytics AmbientTemperature
*s RoomAnalytics AmbientTemperature: "20.7"
** end
```

xStatus RoomAnalytics Engagement CloseProximity

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro Room55 DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro BoardProG2

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ、USER

デバイスは、近くに人の存在を検出できます。

このステータスは、カメラが稼働しているかどうかによります。これを使用するには、設定 "RoomAnalytics PeopleCountOutOfCall" をOnにすることをお勧めします。

これにより、カメラが定期的にOnになり、CloseProximity が更新されます。

有効になっていない場合、ステータスは会話中または自己表示がOnの場合にのみ更新されます。

返される結果の値スペース:

True/False

False: カメラが起動していない場合、または True の条件が満たされない場合、ステータスは False になります。

True: 少なくとも 1 人がこれらの条件を満たす場合、ステータスは True になります。

- カメラとの距離が 1 メートル未満
- カメラに向かって顔が向いています
- 比較的静かに立っている

ユーザーがカメラから 1.5 メートル以上離れるか、カメラ ビューから離れると、ステータスが True から False に戻ります。

例:

```
xStatus RoomAnalytics エンゲージメント
*s RoomAnalytics Engagement CloseProximity: False
** end
```

xStatus RoomAnalytics PeopleCount Capacity

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ、USER

デバイスを使用していると予想される最大ユーザ数を示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus RoomAnalytics PeopleCount Capacity
*s RoomAnalytics PeopleCount Capacity: 1
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus RoomAnalytics PeopleCount 現在

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ、USER

会議室の人数を表示します。デバイスは顔認識を使用して正しい番号を見つけます。室内に頭部として検出できるオブジェクトや画像がある場合、それらはカウントされる可能性があります。信頼できる平均値を得るには、通話の継続時間が少なくとも 2 分必要です。デバイスは、会議室にいた人の記録を保持しません。検出された平均人数のみを記録します。

デバイスがスタンバイ状態の場合、またはこの機能がOffになっている場合は、-1 が返されます。

Codec Plus では、Quad Camera を使用している場合にこのステータスが適用されます。Codec Pro では、Quad Camera または SpeakerTrack 60 カメラがある場合にこの状況が適用されます。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus RoomAnalytics PeopleCount Current
*s RoomAnalytics PeopleCount Current: 2
** end
```

xStatus RoomAnalytics PeoplePresence

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ、USER

このステータスは、デバイスが会議室の人々を検出しているかどうかをレポートします。RoomAnalytics PeoplePresence 入力超音波および RoomAnalytics PeoplePresence 入力ヘッド検出器の設定に応じて、結果は超音波、ヘッド検出、またはその両方に基づきます。

最も正確なプレゼンス状態を取得するには、RoomAnalytics PeopleCountOutOfCall が On に設定されていることを確認してください。デバイスには誰が入室していたかは記録されません。出席者の有無のみです。誰かが部屋に入るとすぐにステータスが更新されます。部屋が空になると、ステータスが変更されるまで最大 2 分かかる場合があります。

返される結果の値スペース:

はい/いいえ/不明

No: デバイスは部屋で人を検出していません。

Yes: デバイスは部屋で人を検出します。

Unknown: デバイスは、人の存在状況を判断できません。通常、RoomAnalytics の PeoplePresenceDetector 設定がOffの場合にこれが当てはまります。

例:

```
xStatus RoomAnalytics PeoplePresence
*s RoomAnalytics PeoplePresence: Yes
** end
```

xStatus RoomAnalytics の相対湿度

適用対象: DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デバイスの相対湿度を表示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus RoomAnalytics RelativeHumidity
*s RoomAnalytics RelativeHumidity: 26
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus RoomAnalytics ReverberationTime LastRun

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

最新の残響分析が測定された日時を返します。ReverberationTime 分析を有効にするには、RoomAnalytics の [ReverberationTime モード] 設定を [On] に設定します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus RoomAnalytics ReverberationTime LastRun
*s RoomAnalytics ReverberationTime LastRun: "2021-04-27T14:26:19Z"
** end
```

xStatus RoomAnalytics ReverberationTime MeasurementState

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

このステータスは、会議室の残響時間の測定の現在の状態を示します。

返される結果の値スペース:

空/測定中/測定済み

空: 利用できる測定データはありません。
測定済み: 残響時間は正常に測定され、データが利用可能です。
測定中: 残響時間の測定が進行中です。

例:

```
xStatus RoomAnalytics ReverberationTime MeasurementState
** end
```

xStatus RoomAnalytics ReverberationTime Middle RT60

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

500Hz と 1000Hz の値の平均である、中間の RT60 を返します。これはミリ秒単位で報告されます。ReverberationTime 分析を有効にするには、RoomAnalytics の [ReverberationTime モード] 設定を [On] に設定します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus RoomAnalytics ReverberationTime Middle RT60
*s RoomAnalytics ReverberationTime Middle RT60: 200
** end
```

xStatus RoomAnalytics ReverberationTime Octaves [n] CenterFrequency

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

125Hz から 4000Hz までの各オクターブバンドの中心周波数を返します。
残響時間分析を有効にするには、RoomAnalytics の [残響時間モード] 設定を [On] に設定します。

返される結果の値スペース:

整数

中心周波数を Hz 単位で指定します。

例:

```
xStatus RoomAnalytics ReverberationTime Octaves CenterFrequency
*s RoomAnalytics ReverberationTime Octaves 1 CenterFrequency: 125
*s RoomAnalytics ReverberationTime Octaves 2 CenterFrequency: 250
*s RoomAnalytics ReverberationTime Octaves 3 CenterFrequency: 500
*s RoomAnalytics ReverberationTime Octaves 4 CenterFrequency: 1000
*s RoomAnalytics ReverberationTime Octaves 5 CenterFrequency: 2000
*s RoomAnalytics ReverberationTime Octaves 6 CenterFrequency: 4000
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus RoomAnalytics ReverberationTime Octaves [n] RT60

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

125Hz から 4000Hz までの各オクターブバンドの RT60 値を返します。

残響時間分析を有効にするには、RoomAnalytics の [残響時間モード] 設定を [On] に設定します。

返される結果の値スペース:

整数

ミリ秒単位の RT60 値。

例:

```
xStatus RoomAnalytics ReverberationTime Octaves RT60
*s RoomAnalytics ReverberationTime Octaves 1 RT60: 310
*s RoomAnalytics ReverberationTime Octaves 2 RT60: 270
*s RoomAnalytics ReverberationTime Octaves 3 RT60: 180
*s RoomAnalytics ReverberationTime Octaves 4 RT60: 210
*s RoomAnalytics ReverberationTime Octaves 5 RT60: 200
*s RoomAnalytics ReverberationTime Octaves 6 RT60: 190
** end
```

xStatus RoomAnalytics RoomInUse

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

会議室が使用中かどうかを示します。デバイスは、ユーザーのプレゼンス情報 (デバイスのセットアップ方法に応じて、人数または超音波に基づく)、通話状態 (あらゆるタイプの通話)、および共有状態 (ケーブル経由など任意の共有方法、Airplay、Miracast、リモート共有など) に基づくレポートを作成します。

返される結果の値スペース:

True/False

False: 会議室は使用されていません。

True: 会議室は使用中です。

例:

```
xStatus RoomAnalytics RoomInUse
*s RoomAnalytics RoomInUse: True
** end
```

xStatus RoomAnalytics 音声レベル A

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

RoomAnalytics の AmbientNoiseEstimation Mode 設定が On の場合、デバイスは周囲のノイズだけでなく、会議室の音量も測定します。結果は 10 秒ごとにこのステータスで報告されます。

値はデシベル (dBA) で表した A 加重平均サウンド レベルです。この値は相対的な値でしかなく、絶対的な SPL (音圧レベル) の値ではありません。特に、デバイスが感度を把握していないサードパーティ製マイクには向きません。

返される結果の値スペース:

整数

平均サウンド レベル (dBA)。

例:

```
xStatus RoomAnalytics サウンド レベル A
*s RoomAnalytics サウンド レベル A: 33
** end
```

xStatus RoomAnalytics T3Alarm Detected

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

T3 アラーム検出が有効な場合 (RoomAnalytics T3AlarmDetection Mode が On に設定されている場合)、システムがアラームを検出すると、このステータスが False から True に切り替わります。RoomAnalytics T3AlarmDetection Timeout 設定で定義された秒数の間にアラームが検出されなかった場合、ステータスは False に戻ります。

返される結果の値スペース:

True/False

False: T3 アラームは検出されていません。

True: T3 アラームが検出されました。

例:

```
xStatus RoomAnalytics T3Alarm
*s RoomAnalytics T3Alarm Detected: True
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus RoomAnalytics UltrasoundPresence

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ、USER

このステータスは、デバイスが超音波に基づいて部屋の中の人々を検出するかどうかを報告します。結果は、RoomAnalytics の PeoplePresence 入力超音波設定がOnかOffかには関係ありません。

返される結果の値スペース:

はい/いいえ/不明

No: デバイスは部屋で人を検出していません。

Yes: デバイスは部屋で人を検出します。

Unknown: デバイスは、人の存在状況を判断できません。通常、これは起動中、デバイスが実際のプレゼンスを判断する準備ができる前に発生します。

例:

```
xStatus RoomAnalytics UltrasoundPresence
*s RoomAnalytics UltrasoundPresence: Yes
** end
```

RoomPreset ステータス

xStatus RoomPreset [n] Defined

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

カメラ プリセットがこの位置に保存されているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

True/False

例:

```
xStatus RoomPreset 1 Defined
*s RoomPreset 1 の定義: True
** end
```

xStatus RoomPreset [n] Description

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

特定のプリセットに設定されている名前を一覧表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus RoomPreset 1 Description
*s RoomPreset 1 Description: "ズームイン"
** end
```

xStatus RoomPreset [n] Type

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

カメラ プリセットのタイプを表示します。

返される結果の値スペース:

All/Camera

例:

```
xStatus RoomPreset 1 Type
*s RoomPreset 1 Type: All
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

セキュリティ状況

xStatus Security Persistency CallHistory

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

通話履歴ログが永続的または非永続的モードのどちらに設定されているかを示します。永続が既定のモードです。

返される結果の値スペース:

非永続/永続

例:

```
xStatus Security Persistency CallHistory
*s Security Persistency CallHistory: Persistent
** end
```

xStatus セキュリティ永続性の設定

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

すべてのデバイスの構成が永続的または非永続的モードのどちらに設定されているかを示します。Persistent がデフォルトのモードです。

返される結果の値スペース:

非永続/永続

例:

```
xStatus Security Persistency Configurations
*s Security Persistency Configurations: Persistent
** end
```

xStatus Security Persistency DHCP

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

DHCP ロギングが永続的または非永続的モードのどちらに設定されているかを示します。Persistent がデフォルトのモードです。

返される結果の値スペース:

非永続/永続

例:

```
xStatus Security Persistency DHCP
*s Security Persistency DHCP: Persistent
** end
```

xStatus Security Persistency InternalLogging

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

内部ログが永続的または非永続的モードのどちらに設定されているかを示します。永続が既定のモードです。

返される結果の値スペース:

非永続/永続

例:

```
xStatus Security Persistency InternalLogging
*s Security Persistency InternalLogging: Persistent
** end
```

xStatus Security Persistency LocalPhonebook

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ローカル電話帳が永続的または非永続的モードのどちらに設定されているかを示します。永続が既定のモードです。

返される結果の値スペース:

非永続/永続

例:

```
xStatus Security Persistency LocalPhonebook
*s Security Persistency LocalPhonebook: Persistent
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

Sensors ステータス

xStatus センサー レーダーモード

適用対象: BoardPro BoardProG2

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デバイスがレーダ信号を送信しているかどうかを報告します。詳細については、「センサー レーダー モード」設定を参照してください。

返される結果の値スペース:

Off/Motion

Off: デバイスはレーダー信号を送信しません。

Motion: デバイスは、デバイスの近くでの動きを検出するためのレーダ信号を送信します。

例:

```
xStatus センサー レーダー モード
*s Sensors Radar Mode: Motion
** end
```

SIP ステータス

xStatus SIP AlternateURI エイリアス [n] URI

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SIP AlternateURI エイリアス
*s SIP AlternateURI エイリアス URI: ""
** end
```

xStatus SIP AlternateURI プライマリ URI

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SIP AlternateURI プライマリ
*s SIP AlternateURI プライマリ URI: ""
** end
```

xStatus SIP 認証

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

SIP プロキシサーバへの登録時に使用される認証メカニズムを示します。

返される結果の値スペース:

ダイジェスト/Off

ダイジェスト: RFC 2069 で指定されているダイジェスト アクセス認証方法を使用します。

Off: 認証メカニズムは使用されません。

例:

```
xStatus SIP 認証
*s SIP 認証: Off
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus SIP CallForward DisplayName

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

転送された通話のユーザーインターフェイスに表示される URI を返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SIP CallForward DisplayName
*s SIP CallForward DisplayName: ""
** end
```

xStatus SIP コール転送モード

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

SIP のコール転送モードがOnまたはOffのどちらに設定されているかを示します。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus SIP CallForward Mode
*s SIP CallForward Mode: Off
** end
```

xStatus SIP CallForward URI

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

着信の転送モードがOnのときに、着信の転送先アドレスを示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SIP CallForward URI
*s SIP CallForward URI: ""
** end
```

xStatus SIP Mailbox MessagesWaiting

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

メールボックスにある新しいメッセージの数を示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus SIP Mailbox MessagesWaiting
*s SIP Mailbox MessagesWaiting: 0
** end
```

xStatus SIP メールボックス URI

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

SIP メールボックスの URI を返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SIP メールボックス URI
*s SIP メールボックス URI:「12345678」
** end
```

xStatus SIP プロキシ [n] アドレス

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デバイスが通信する SIP プロキシのアドレスを示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SIP プロキシ 1 アドレス
*s SIP プロキシ 1 アドレス: "192.0.2.50"
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus SIP Proxy [n] Status

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デバイスと SIP プロキシ サーバ間の通信のステータスを表示します。

返される結果の値スペース:

Active/AuthenticationFailed/DNSFailed/Off/Timeout/UnableTCP/UnableTLS/Unknown

アクティブ: デバイスと SIP プロキシ間の通信はアクティブです。
DNSFailed: DNS サーバーとの通信の確立に失敗しました。
Off: デバイスと SIP プロキシ間の通信はありません。
タイムアウト: SIP プロキシとの通信の確立の試行がタイムアウトになりました。
UnableTCP: デバイスはトランスポート方法として TCP を使用できません。
UnableTLS: デバイスはトランスポート方法として TLS を使用できません。
不明: 通信の状況は不明です。
認証失敗: ユーザ名またはパスワードが間違っています。

例:

```
xStatus SIP プロキシ 1 のステータス
*s SIP プロキシ 1 の状態: アクティブ
** end
```

xStatus SIP Registration [n] Authentication

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

SIP プロキシサーバへの登録時に使用される認証メカニズムを示します。

返される結果の値スペース:

ダイジェスト/Off

ダイジェスト: RFC 2069 で指定されているダイジェスト アクセス認証方法を使用します。
Off: 認証メカニズムは使用されません。

例:

```
xStatus SIP Registration 1 Authentication
*s SIP Registration 1 Authentication: Off
** end
```

xStatus SIP 登録 [n] の理由

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

SIP 登録が失敗した理由を説明するメッセージを表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SIP 登録 1 の理由
*s SIP Registration 1 Reason: "404 Not Found"
** end
```

xStatus SIP 登録 [n] 状況

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

SIP プロキシサーバへの登録状況を表示します。

返される結果の値スペース:

登録解除/失敗/無効/登録済み/登録中

登録解除: デバイスは SIP プロキシから登録解除の処理中です。
失敗: デバイスは SIP プロキシへの登録に失敗しました。
非アクティブ: デバイスはどの SIP プロキシにも登録されていません。
登録済み: デバイスは SIP プロキシに登録されています。
登録中: デバイスは SIP プロキシへの登録の処理中です。

例:

```
xStatus SIP Registration 1 Status
*s SIP Registration 1 Status: Registered
** end
```

xStatus SIP 登録 [n] URI

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

SIP プロキシサーバへの登録に使用される URI を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SIP Registration 1 URI
*s SIP Registration 1 URI: "firstname.lastname@company.com"
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus SIP セキュア

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

SIP プロキシサーバーのシグナリングの暗号化ステータスを表示します。

返される結果の値スペース:

True/False

例:

```
xStatus SIP Secure
*s SIP Secure: True
** end
```

xStatus SIP 確認済み

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デバイスが登録しようとするサーバーの SSL 証明書が、デバイスの信頼できる CA リストに含まれているかどうかを示します。サーバーは通常、Cisco VCS または CUCM です。

返される結果の値スペース:

True/False

True: サーバーの SIP 証明書がデバイスの信頼できる CA リストに対してチェックされ、有効であることがわかります。さらに、サーバーの完全修飾ドメイン名が有効な証明書と一致します。

False: SIP 証明書の検証に失敗したか、ドメイン名が一致しなかったため、TLS 接続はセットアップされませんでした。TLS が使用されていない場合 (xConfiguration SIP DefaultTransport が TLS に設定されていない場合)、または証明書検証がOffになっている場合 (SIP TlsVerify: Off) でも、ステータスは False を返します。この設定は製品のウェブインターフェースからアクセスできます。

例:

```
xStatus SIP 確認済み
*s SIP Verified: False
** end
```

スタンバイ ステータス

xStatus スタンバイレベル

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

スタンバイモードにはいくつかのレベルがあり、それぞれが異なる電力消費プロファイルを提供します。このステータスは、デバイスのスタンバイモードの現在のレベルを報告します。

返される結果の値スペース:

なし/DeepSleep/Networked/DisplayOff

なし: デバイスはスタンバイモードではありません。

DisplayOff: デバイスはスタンバイの第 1 段階であり、ディスプレイOffモードです。

Networked: デバイスはスタンバイの第 2 ステージであるネットワークスタンバイにあります。デバイスはまだ
ネットワークを通じてアクセス可能です。

DeepSleep:

例:

```
xStatus スタンバイレベル
*s Standby Level: DisplayOff
** end
```

xStatus スタンバイ状態

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

デバイスがスタンバイモードかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

Standby/EnteringStandby/Halfwake/Off

スタンバイ: デバイスはスタンバイ状態です。

EnteringStandby: デバイスはスタンバイ状態に入っています。

ハーフウェイク: デバイスはハーフウェイク状態です。

例:

```
xStatus スタンバイ状態
*s Standby State: Off
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

SystemUnit ステータス

xStatus システムユニット ブロードキャスト名

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ビデオデバイスの名前を返します。この名前は、Miracast や Bluetooth などのサービスをスキャンする送信デバイスのリストに表示されます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SystemUnit ブロードキャスト名
*s SystemUnit BroadcastName: "Board Room Codec Pro"
** end
```

xStatus SystemUnit 拡張機能 Microsoft 対応

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 DeskPro BoardPro BoardProG2

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

Microsoft 拡張機能がサポートされているかどうかを表示します。

返される結果の値スペース:

True/False

False: Microsoft 拡張機能はサポートされていません。
True: Microsoft 拡張機能はサポートされています。

例:

```
xStatus SystemUnit Extensions Microsoft Supported
*s SystemUnit Extensions Microsoft Supported: True
** end
```

xStatus SystemUnit 開発者プレビューモード

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

開発者プレビュー モードがOnかOffかを示します。これは SystemUnit DeveloperPreview Activate および SystemUnit DeveloperPreview Activate コマンドで制御します。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatusSystemUnit DeveloperPreview Mode
*s SystemUnit DeveloperPreview Mode: Off
** end
```

xStatus SystemUnit ハードウェア DRAM

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

端末のメモリサイズを表示します (GB 単位)。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus SystemUnit Hardware DRAM
*s SystemUnit Hardware DRAM: 8
** end
```

xStatus SystemUnit Hardware HasWifi

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デバイスがワイヤレス インターネット (Wi-Fi) 機能を持っているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

True/False

例:

```
xStatus SystemUnit Hardware HasWiFi
*s SystemUnit Hardware HasWiFi: True
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus SystemUnit ハードウェアのメインボードのリビジョン

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デバイスのメインボードのリビジョンを表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SystemUnit Hardware MainBoard Revision
*s ハードウェアのメインボードのリビジョン: "D"
** end
```

xStatus SystemUnit Hardware Module CompatibilityLevel

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デバイスには異なる互換性レベルがあります。お使いの製品に必要な互換性レベルと最小ソフトウェアバージョンについては、リリースノートを確認してください。

返される結果の値スペース:

文字列

デバイスの互換性レベルを表示します。

例:

```
xStatus SystemUnit ハードウェアモジュール互換性レベル
*s SystemUnit Hardware Module CompatibilityLevel: 1
** end
```

xStatus SystemUnit Hardware Module DeviceId

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

物理デバイスを一意に識別する識別子を示します。工場出荷時設定にリセットしても変わりません。これは主に Webex サービスによって使用されます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SystemUnit Hardware Module DeviceId
*s SystemUnit ハードウェアモジュール DeviceId: "01234567-89ab-cdef-0123-456789abcdef"
** end
```

xStatus SystemUnit Hardware Module SerialNumber

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ、USER

デバイスのハードウェア モジュールのシリアル番号を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SystemUnit Hardware MainBoard SerialNumber
*s SystemUnit Hardware MainBoard SerialNumber: "FOC99999999"
** end
```

xStatus SystemUnit Hardware Monitoring Fan [n] Status

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ、USER

フィードバックは指定されたファンの速度 (rpm) を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SystemUnit Hardware Monitoring Fan 1 Status
*s SystemUnit Hardware Monitoring Fan 1 Status: "locked on 1096 rpm"
** end
```

xStatus SystemUnit Hardware Monitoring Temperature Status

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ、USER

現在の温度警告レベルを表示します。動作時の温度は通常より高いため、「High」は温度傾向に注意を喚起することを意味します。「Critical」レベルでは、デバイスはプロセスとプロセッサをシャットダウンして、デバイスの損傷を防ぎます。動作時の温度が高くならないように、デバイスが換気された環境で動作していることを確認してください。

返される結果の値スペース:

Unknown/Normal/High/Critical

例:

```
xStatus SystemUnit Hardware Monitoring Temperature Status
*s SystemUnit ハードウェア温度監視状況: 正常
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus SystemUnit Hardware UDI

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

一意のデバイス識別子 (UDI) を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SystemUnit ハードウェア UDI
*s SystemUnit ハードウェア UDI: " XXXXXXXXXXXX XXX XXXXXXXXXXX"
** end
```

xStatus SystemUnit ハードウェア USBC [n] 接続済み

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

指定した USB-C ポートの接続状況を表示します。

返される結果の値スペース:

True/False

例:

```
xStatus SystemUnit Hardware USBC 1 Connected
*s SystemUnit Hardware USBC 1 Connected: False
** end
```

xStatus SystemUnit LastShutdownReason

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デバイスが最後にシャットダウンされた理由を返します。

返される結果の値スペース:

FirstBoot/不明/再起動/シャットダウン/アップグレード/セキュリティパーシスタンスの変更/工場リセット/クラウドへの変換/スタンバイ

例:

```
xStatus SystemUnit LastShutdownReason
*s SystemUnit LastShutdownReason: Upgrade
** end
```

xStatus SystemUnit LastShutdownTime

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デバイスが最後にシャットダウンされた日時を返します。返される文字列の形式は YYYY-MM-DDThh:mm:ssZ です。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SystemUnit LastShutdownTime
*s SystemUnit LastShutdownTime: "2023-11-09T23:36:01Z"
** end
```

xStatus SystemUnit 通知 通知 [n] テキスト

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

重要なシステム通知に関連するテキストを一覧表示します。ソフトウェアのアップグレードによりデバイスが再起動された場合や、工場出荷時設定へのリセットが実行された場合などに、通知が発行されます。

SystemUnit Notifications RemoveAll コマンドを発行することで、すべての通知をリストから削除できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SystemUnit Notifications Notification 1 Text
*s SystemUnit Notifications Notification 1 Text: "OK"
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus SystemUnit Notifications Notification [n] Type

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

システム通知タイプを一覧表示します。通知が発行されるのは、ソフトウェアのアップグレードのためにデバイスが再起動されたとき、または工場出荷時設定へのリセットが実行されたときなどです。

SystemUnit Notifications RemoveAll コマンドを発行することで、すべての通知をリストから削除できます。

返される結果の値スペース:

Other/RebootRequired/SoftwareUpgradeFailed/SoftwareUpgradeOK

SoftwareUpgradeOK: この値はソフトウェアのアップグレードが成功した後に返されます。

SoftwareUpgradeFailed: この値はソフトウェアアップグレードの試みが失敗した後に返されます。

RebootRequired: 再起動が必要な場合にこの値が返されます。

その他: この値はその他の通知に対して返されます。

例:

```
xStatus SystemUnit Notifications Notification 1 Type
*s SystemUnit Notifications Notification 1 Type: SoftwareUpgradeOK
** end
```

xStatus システムユニット製品 ID

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ、USER

製品の特性を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

"Cisco Webex Board 55": Cisco Webex Board 55
"Cisco Webex Board 55S": Cisco Board 55S (second generation / S series)
"Cisco Webex Board 70": Cisco Board 70
"Cisco Webex Board 70S": Cisco Board 70S (second generation / S series)
"Cisco Webex Board 85S": Cisco Board 85S
"Cisco Webex Board Pro 55": Cisco Board Pro 55
"Cisco Webex Board Pro 75": Cisco Board Pro 75
"Cisco Board Pro 55 G2": Cisco Board Pro 55 G2
"Cisco Board Pro 75 G2": Cisco Board Pro 75 G2
"Cisco Webex Codec Plus": Cisco Codec Plus
"Cisco Webex Codec Pro": Cisco Codec Pro
"Cisco Webex Desk": Cisco Desk
"Cisco Webex Desk Mini": Cisco Desk Mini
"Cisco Webex Desk Pro": Cisco Desk Pro
"Cisco Webex Room Bar": Cisco Room Bar
"Cisco Room Bar Pro": Cisco Room Bar Pro
"Cisco Webex Room Kit": Cisco Room Kit
"Cisco Room Kit EQ": Cisco Codec EQ
"Cisco Room Kit EQX": Cisco Room Kit EQX
"Cisco Webex Room Kit Mini": Cisco Room Kit Mini
"Cisco Webex Room 55": Cisco Room 55
"Cisco Webex Room 55 Dual": Cisco Room 55 Dual (Codec Plus ベース)
"Cisco Webex Room 70 Dual": Cisco Room 70 Dual (Codec Plus ベース)
"Cisco Webex Room 70 Dual G2": Cisco Room 70 Dual G2 (Codec Pro ベース)
"Cisco Webex Room 70 Single": Cisco Room 70 Single (Codec Plus ベース)
"Cisco Webex Room 70 Single G2": Cisco Room 70 Single G2 (Codec Pro ベース)
"Cisco Webex Room 70 Panorama": Cisco Room 70 Panorama
"Cisco Webex Room Panorama": Cisco Room Panorama
"Cisco Webex Room USB": Cisco Room USB

例:

```
xStatus SystemUnit ProductId
*s SystemUnit ProductId: "Cisco Room Kit EQ"
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus SystemUnit ProductPlatform

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

製品プラットフォームを表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

"Board 55": Cisco Webex Board 55
"Board 55S": Cisco Board 55S (第 2 世代/S シリーズ)
"Board 70": Cisco Board 70
"Board 70S": Cisco Board 70S(第 2 世代/S シリーズ)
"Board 85S": Cisco Board 85S
"Board Pro 55": Cisco Board Pro 55
"Board Pro 75": Cisco Board Pro 75
"Board Pro 55 G2": Cisco Board Pro 55 G2
"Board Pro 75 G2": Cisco Board Pro 75 G2
"Codec Plus": Cisco Codec Plus
"Codec Pro": Cisco Codec Pro
"Desk": Cisco Desk
"Desk Mini": Cisco Desk Mini
"Desk Pro": Cisco Desk Pro
"Room Bar": Cisco Room Bar
"Room Bar Pro": Cisco Room Bar Pro
"Room Kit": Cisco Room Kit
"Room Kit EQ": Cisco Codec EQ
"Room Kit EQX": Cisco Room Kit EQX
"Room Kit Mini": Cisco Room Kit Mini
"Room 55": Cisco Room 55
"Room 55D": Cisco Room 55 Dual (based on Codec Plus)
"Room 70D": Cisco Room 70 Dual (based on Codec Plus)
"Room 70D G2": Cisco Room 70 Dual G2 (Codec Pro ベース)
"Room 70S": Cisco Room 70 Single (based on Codec Plus)
"Room 70S G2": Cisco Room 70 Single G2 (Codec Pro ベース)
"Room 70 Panorama": Cisco Room 70 Panorama
"Room Panorama": Cisco Room Panorama
"Room USB": Cisco Room USB

例:

```
xStatus SystemUnit ProductPlatform
*s SystemUnit ProductPlatform: "Room Kit EQ"
** end
```

xStatus SystemUnit ProductType

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

製品の種類を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SystemUnit ProductType
*s SystemUnit ProductType: "Cisco Codec"
** end
```

xStatus システムユニットソフトウェアの表示名

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

UI に表示されるとおり、デバイスにインストールされているソフトウェアの名前を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SystemUnit Software DisplayName
*s SystemUnit Software DisplayName: "RoomOS 11.4.0.23 9a8e928889e"
** end
```

xStatus SystemUnit Software Name

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

デバイスにインストールされているソフトウェアの名前を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SystemUnit Software Name
*s SystemUnit Software Name: "s53300"
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus SystemUnit Software OptionKeys AVIntegrator

適用対象: RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ、USER

AVIntegrator オプションキーがデバイスにインストールされているかどうかを示します。デバイスによっては、このオプションキーにより、より多くのイーサネットマイクをデバイスに接続し、音声コンソールアプリケーションと完全なインテグレータ音声 API を使用できるようになります。

返される結果の値スペース:

True/False

例:

```
xStatus SystemUnit Software OptionKeys AVIntegrator
*s SystemUnit Software OptionKeys AVIntegrator: True
** end
```

xStatus SystemUnit Software OptionKeys DeveloperPreview

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ、USER

返される結果の値スペース:

True/False

DeveloperPreview オプション キーがデバイスにインストールされているかどうかを示します。このオプションキーにより、未公開の API コマンドにアクセスできるようになるため、早い段階で機能をテストすることができます。このようなコマンドの構文と意味は、コマンドが公開されて誰でも利用できるようになる前に変更される可能性があります。

例:

```
xStatus SystemUnit Software OptionKeys DeveloperPreview
*s SystemUnit Software OptionKeys DeveloperPreview: True
** end
```

xStatus SystemUnit Software OptionKeys Encryption

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ、USER

暗号化オプションキーがデバイスにインストールされているかどうかを示します。このオプションキーにより、暗号化機能が有効になります。

返される結果の値スペース:

True/False

例:

```
xStatus SystemUnit Software OptionKeys Encryption
*s SystemUnit Software OptionKeys Encryption: True
** end
```

xStatus SystemUnit Software OptionKeys MultiSite

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ、USER

MultiSite オプション キーがデバイスにインストールされているかどうかを示します。このオプションキーにより、デバイスに埋め込まれたマルチポイント スイッチを使用して電話会議を主催できます。

返される結果の値スペース:

False/True/NotApplicable

例:

```
xStatus SystemUnit ソフトウェア OptionKeys MultiSite
*s SystemUnit Software OptionKeys MultiSite: True
** end
```

xStatus SystemUnit Software OptionKeys RemoteMonitoring

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ、USER

リモート監視オプションキーがデバイスにインストールされているかどうかを示します。このオプション キーをインストールすると、ローカルおよびリモートの入力ソースのスナップショットがデバイスのウェブ インターフェイス (通話ページ) に表示され、ビデオとコンテンツがウェブ インターフェイス (問題と診断ページ) からキャプチャされたユーザ インターフェイスのスクリーンショットに含まれます。

返される結果の値スペース:

True/False

例:

```
xStatus SystemUnit Software OptionKeys RemoteMonitoring
*s SystemUnit Software OptionKeys RemoteMonitoring: True
** end
```

xStatus SystemUnit Software ReleaseDate

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ、USER

デバイスにインストールされているソフトウェアのリリース日を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SystemUnit Software ReleaseDate
*s SystemUnit Software ReleaseDate: "2023-02-04"
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus SystemUnit Software Version

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デバイスにインストールされているソフトウェアのバージョンを表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SystemUnit Software Version
*s SystemUnit Software Version: "ce11.1.2.4.b7224552262"
** end
```

xStatus SystemUnit State CameraLid

適用対象: DeskPro DeskMini Desk

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

カメラカバーの位置を表示します (Closed または Open)。

返される結果の値スペース:

Closed/Open

Closed: カメラのカバーは閉じています。
Open: カメラのカバーが開いています。

例:

```
xStatus SystemUnit State CameraLid
*s SystemUnit State CameraLid: Closed
** end
```

xStatus SystemUnit State NumberOfActiveCalls

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

アクティブな通話数を表示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus SystemUnit State NumberOfActiveCalls
*s SystemUnit State NumberOfActiveCalls: 0
** end
```

xStatus SystemUnit State NumberOfInProgressCalls

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

進行中の通話の数を示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus SystemUnit State NumberOfInProgressCalls
*s SystemUnit State NumberOfInProgressCalls: 0
** end
```

xStatus SystemUnit State NumberOfSuspendedCalls

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

中断された通話の数を示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus SystemUnit State NumberOfSuspendedCalls
*s SystemUnit State NumberOfSuspendedCalls: 0
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus SystemUnit State Subsystem Application

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

このステータスは、システム装置のサブシステム内の特定のアプリケーションの状態に関する情報を提供します。これにより、システム装置の機能とパフォーマンスの効果的な監視と管理が容易になります。このステータスは、サブシステム内の特定のアプリケーションのステータスを示す値を返します。

返される結果の値スペース:

初期化済み/初期化中

初期化済み: サブシステム内のアプリケーションは初期化プロセスを完了し、準備完了状態です。

初期化中: サブシステム内のアプリケーションは現在初期化中です。

例:

```
xStatus SystemUnit State Subsystem アプリケーション
*s SystemUnit State Subsystem Application: Initialized
** end
```

xStatus SystemUnit State System

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

このステータスは、システム装置内のシステムの状態に関する情報を提供します。ステータスは、システムユニット内のシステムの状態を示す値を返します。

返される結果の値スペース:

InCall/Initialized/Initializing/Multisite/Sleeping

InCall: この値は、システムユニットが現在アクティブな通話中であることを示します。

初期化済み: システムユニットは初期化プロセスを完了し、準備完了状態です。

Initializing: システムユニットは初期化処理中です。システムユニットは完全に機能する前に、起動処理中です。

Multisite: システムユニットは MultiSite モードで動作しています。

Sleeping: システムユニットはスリープモードです。

例:

```
xStatus SystemUnit State System
*s SystemUnit State System: InCall
** end
```

xStatus システムユニットの稼働時間

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ、USER

デバイスが最後に再起動されてからの秒数を示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus SystemUnit Uptime
*s SystemUnit Uptime: 597095
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

サウザンドアイズの状況

xStatus サウザンドアイズの状況

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デバイス上の ThousandEyes エージェントのステータスを返します。「Enabled」が返された場合、エージェントは実行中であり、ThousandEyes クラウド サービスに登録されています。他の状態は ThousandEyes 管理サポートからのサポートを必要とするエラー シナリオです。

このステータスは、Webex クラウド サービスに登録されている、またはデバイスの Webex Edge にリンクされているデバイスにのみ適用されます。

返される結果の値スペース:

未登録/有効/無効/タイムアウト/エラー/未実装

例:

```
xStatus ThousandEyes Status
*s ThousandEyes Status: Enabled
** end
```

xStatus ThousandEyes Version

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デバイスの ThousandEyes エージェントのバージョンを返します。

このステータスは、Webex クラウド サービスに登録されている、またはデバイスの Webex Edge にリンクされているデバイスにのみ適用されます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus ThousandEyes Version
*s ThousandEyes バージョン: "1.181.0"
** end
```

Time status

xStatus Time SystemTime

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ、USER

デバイスに設定されている日時を返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Time SystemTime
*s Time SystemTime: "2023-03-23T10:52:04+0100"
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

ユーザインターフェースの状況

xStatus UserInterface Accessibility ScreenReader Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

スクリーン リーダーがオフかオンかを示します。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus UserInterface Accessibility ScreenReader Mode
** end
```

xStatus UserInterface Branding CustomId Background

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ、USER

該当する場合、背景に使用される画像の customid を返します。ビデオ システムがスリープ解除状態のとき、背景画像はメイン画面とタッチ コントローラーの両方の背景として表示されます。

返される結果の値スペース:

文字列

起動状態で使用される背景画像の識別子です。

例:

```
xStatus UserInterface Branding CustomId Background
*s UserInterface Branding CustomId Background: "building _ front"
** end
```

xStatus UserInterface Branding CustomId Branding

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ、USER

該当する場合、ブランディングロゴの customid を返します。ブランディングロゴは、覚醒状態時にメイン画面とタッチパネルの両方の右下隅の明るい背景に表示されます。

返される結果の値スペース:

文字列

アウェイク状態で使用されるロゴの識別子です。

例:

```
xStatus ユーザインタフェース ブランディング CustomId ブランディング
*s UserInterface Branding CustomId Branding: "dark _ brand _ logo"
** end
```

xStatus ユーザインタフェース ブランディング CustomId ハーフウェイクバックグラウンド

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ、USER

該当する場合、ハーフウェイクの背景に使用される画像の customid を返します。ビデオシステムがハーフウェイク状態のとき、The ハーフウェイクの背景画像はメイン画面とタッチコントローラの両方の背景として表示されます。

返される結果の値スペース:

文字列

ハーフウェイクの背景画像の識別子です。

例:

```
xStatus UserInterface Branding CustomId HalfwakeBackground
*s UserInterface Branding CustomId HalfwakeBackground: "reception"
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus UserInterface Branding CustomId HalfwakeBranding

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ、USER

該当する場合、ハーフウェイク ロゴに使用される画像の customid を返します。ハーフウェイクロゴは、ハーフウェイク状態中のメイン画面とタッチコントローラの両方の右下隅の暗い背景に表示されます。

返される結果の値スペース:

文字列

ハーフウェイク ロゴの識別子です。

例:

```
xStatus UserInterface Branding CustomId HalfwakeBranding
*s UserInterface Branding CustomId HalfwakeBranding: "light _ brand _ logo"
** end
```

xStatus UserInterface ContactInfo ContactMethod [n] Number

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デバイスのアクティブな連絡先情報を返します。このアドレスはこのデバイスに到達するために使用されます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus UserInterface ContactInfo ContactMethod Number
*s UserInterface ContactInfo ContactMethod 1 Number: "12345678"
** end
```

xStatus UserInterface ContactInfo Name

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デバイスのアクティブな連絡先名を返します。結果は、デバイスが登録されているプロトコルによって異なります。自動的に設定された連絡先名は、コマンド xConfiguration UserInterface ContactInfo Type で上書きされた可能性があります。これにより、連絡先の不一致に関する診断警告が表示されます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus UserInterface ContactInfo Name
*s UserInterface ContactInfo Name: "MySystem"
** end
```

xStatus UserInterface Extensions Widget [n] Value

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

ウィジェットの値を返します。ウィジェットは、ユーザーインターフェイスに追加されるルーム内のコントロールなどのカスタムパネルで使用されます。値の範囲はウィジェット タイプによって異なります。UserInterface Extensions Widget SetValue コマンドで値が設定されるまで、値は空の文字列です。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
UserInterface Extensions Value
*s UserInterface Extensions Widget 1 Value: "on"
*s UserInterface Extensions Widget 2 Value: "255"
*s UserInterface Extensions Widget 3 Value: "Blinds"
*s UserInterface Extensions Widget 4 Value: "inactive"
*s UserInterface Extensions Widget 5 Value: "2"
*s UserInterface Extensions Widget 6 Value: "Projector is ready"
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus UserInterface Extensions Widget [n] WidgetId

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、会議室コントロール、ユーザー

ウィジェットの一意の識別子を返します。ウィジェットは、ユーザーインターフェイスに追加されるルーム内のコントロールなどのカスタムパネルで使用されます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
 UserInterface Extensions WidgetId
 *s UserInterface Extensions Widget 1 WidgetId: "togglebutton"
 *s UserInterface Extensions Widget 2 WidgetId: "slider"
 *s ユーザ インターフェイス拡張機能 Widget 3 WidgetId: "spinner"
 *s ユーザ インターフェイス拡張機能 Widget 4 WidgetId: "button"
 *s ユーザ インターフェイス拡張機能 Widget 5 WidgetId: "groupbutton"
 *s ユーザ インターフェイス拡張機能 Widget 6 WidgetId: "textfield"
 ** end
```

xStatus ユーザインターフェイス機能 カレンダー 開始

適用対象: すべての製品

必要なユーザロール: ADMIN、INTEGRATOR、TOUCHUSER

カレンダーウィジェットを現在ユーザーインターフェイスに表示するかどうかを選択します。

返される結果の値スペース:

表示/非表示

非表示: カレンダー ウィジェットはユーザ インターフェイスに表示されません。
表示: カレンダーウィジェットはユーザインターフェイス上に表示されます。

例:

```
 xStatus UserInterface Features Calendar Start
 *s UserInterface Features Calendar Start: Hidden
 ** end
```

xStatus UserInterface Features Call AudioMute

適用対象: すべての製品

必要なユーザロール: ADMIN、INTEGRATOR、TOUCHUSER

このステータスは、ユーザーインターフェイス上に [ミュート/ミュート解除 (Mute/Unmute)] ボタンが表示されているかどうかをレポートします。

返される結果の値スペース:

表示/非表示

表示: ボタンはユーザインターフェイス上に表示されます。
Hidden: ボタンはユーザーインターフェイスに表示しません。

例:

```
 xStatus UserInterface Features Call AudioMute
 *s UserInterface Features Call AudioMute: Visible
 ** end
```

xStatus UserInterface Features Call Breakouts

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

Webex ミーティングにはブレイクアウトセッションが含まれます。ブレイクアウトセッションでは、ミーティングの参加者が一時的に小グループに分かれて議論します。このステータスは、ブレイクアウトセッションにデバイスから参加することが許可されているかどうかをレポートします。

この機能は、Webex クラウド サービスに登録されている、またはデバイス用の Webex Edge にリンクされているデバイスでのみ利用できます。

返される結果の値スペース:

有効/無効

無効: デバイスからブレイクアウトセッションに参加できません。
Enabled: デバイスからブレイクアウトセッションに参加できます。

例:

```
 xStatus UserInterface Features Call Breakouts
 *s UserInterface Features Call Breakouts: Enabled
 ** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus UserInterface Features Call CameraControls

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

このステータスは、ユーザ インターフェイス上にカメラのコントロールが表示されているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

表示/非表示

表示: ユーザ インターフェイス上にカメラ コントロールが表示されます。
Hidden: カメラコントロールはユーザーインターフェイスに表示されません。

例:

```
xStatus UserInterface Features Call CameraControls
*s UserInterface Features Call CameraControls: Visible
** end
```

xStatus ユーザインターフェイス機能 通話終了

適用対象: すべての製品

必要なユーザロール: ADMIN、INTEGRATOR、TOUCHUSER

このステータスは、デフォルトの [通話を終了する (End call)] ボタンがユーザーインターフェイスに表示されているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

表示/非表示

Visible: ボタンはユーザーインターフェイスに表示されています。
Hidden: ボタンはユーザーインターフェイスから削除されています。

例:

```
xStatus UserInterface Features Call End
*s UserInterface Features Call End: Visible
** end
```

xStatus UserInterface Features Call HdmiPassthrough

適用対象: RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザロール: ADMIN、INTEGRATOR、TOUCHUSER

このステータスは、[ラップトップから発信] ボタンがタッチ コントローラーに表示されているかどうかをレポートします。

HDMI パススルーおよびラップトップからの発信機能の詳細については、[ビデオ出力 HDMI パススルー可] 設定を参照してください。Room 55 Dual および Room 70 Dual では、ラップトップからの発信はサポートされていません。

返される結果の値スペース:

表示/非表示

表示: ボタンはタッチ コントローラーに表示されます。
非表示: ボタンはタッチ コントローラーに表示されません。

例:

```
xStatus UserInterface Features Call HdmiPassthrough
*s UserInterface Features Call HdmiPassthrough: Visible
** end
```

xStatus UserInterface Features Call JoinGoogleMeet

適用対象: すべての製品

必要なユーザロール: ADMIN、INTEGRATOR、TOUCHUSER

このステータスは、ユーザーインターフェイス上に表示される [Google Meet] ボタンの有無をレポートします。

返される結果の値スペース:

表示/非表示

表示: ボタンはユーザインターフェイス上に表示されます。
Hidden: ボタンはユーザーインターフェイスに表示しません。

例:

```
xStatus UserInterface Features Call JoinGoogleMeet
*s UserInterface Features Call JoinGoogleMeet: Visible
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus UserInterface Features Call JoinWebex

適用対象: すべての製品

必要なユーザロール: ADMIN、INTEGRATOR、TOUCHUSER

この状況は、ユーザインターフェイス上に「Webex」ボタンが表示されているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

表示/非表示

Visible: ボタンはユーザーインターフェイスに表示されています。
Hidden: ボタンはユーザーインターフェイスから削除されています。

例:

```
xStatus UserInterface Features Call JoinWebex
*s UserInterface Features Call JoinWebex: Visible
** end
```

xStatus UserInterface Features Call JoinZoom

適用対象: すべての製品

必要なユーザロール: ADMIN、INTEGRATOR、TOUCHUSER

このステータスは、[ズーム] ボタン (ズーム ミーティングに参加するため) がユーザ インターフェイスに表示されているかどうかをレポートします。

返される結果の値スペース:

表示/非表示

表示: ボタンはユーザインターフェイス上に表示されます。
Hidden: ボタンはユーザーインターフェイスに表示しません。

例:

```
xStatus UserInterface Features Call JoinZoom
*s UserInterface Features Call JoinZoom: Visible
** end
```

xStatus ユーザインターフェイス機能 呼び出し キーパッド

適用対象: すべての製品

必要なユーザロール: ADMIN、INTEGRATOR、TOUCHUSER

この状況は、デフォルトのキーパッドボタンがユーザインターフェイスに表示されているかどうかをレポートします。

返される結果の値スペース:

表示/非表示

Visible: ボタンはユーザーインターフェイスに表示されています。
Hidden: ボタンはユーザーインターフェイスから削除されています。

例:

```
xStatus UserInterface Features Call Keypad
*s UserInterface Features Call Keypad: Visible
** end
```

xStatus UserInterface Features Call LayoutControls

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

このステータスは、通話時のユーザーインターフェイス上に [レイアウト (Layout)] ボタンがあるかどうかを報告します。

返される結果の値スペース:

表示/非表示

Hidden: ボタンはユーザーインターフェイスにありません。
表示: ボタンはユーザインターフェイス上にあります。

例:

```
xStatus UserInterface Features Call LayoutControls
*s UserInterface Features Call LayoutControls: Visible
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus UserInterface Features Call MidCallControls

適用対象: すべての製品

必要なユーザロール: ADMIN、INTEGRATOR、TOUCHUSER

このステータスは、デフォルトの [ホールド (Hold)]、[転送 (Transfer)]、[再開 (Resume)] の通話ボタンがユーザーインターフェイスに表示されているかどうかをレポートします。

返される結果の値スペース:

表示/非表示

表示: ボタンはユーザインターフェイスにあります。

Hidden: ボタンはユーザーインターフェイスから削除されています。

例:

```
xStatus UserInterface Features MidCallControls
*s UserInterface Features MidCallControls: Visible
** end
```

xStatus UserInterface Features Call MusicMode

適用対象: すべての製品

必要なユーザロール: ADMIN、INTEGRATOR、TOUCHUSER

このステータスは、ユーザ インターフェイス上に [ミュージック モード] ボタンが表示されているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

表示/非表示

表示: ボタンはユーザインターフェイス上に表示されます。

Hidden: ボタンはユーザーインターフェイスに表示されていません。

例:

```
xStatus UserInterface Features Call MusicMode
*s UserInterface Features Call MusicMode: Visible
** end
```

xStatus ユーザインターフェイス機能 通話参加者リスト

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

このステータスは、通話時のユーザーインターフェイス上に [参加者 (Participants)] ボタンがあるかどうかを報告します。

返される結果の値スペース:

表示/非表示

非表示: ボタンはユーザ インターフェイス上にありません。

表示: ボタンはユーザインターフェイス上にあります。

例:

```
xStatus UserInterface Features Call ParticipantList
*s ユーザ インターフェース機能 通話参加者リスト: 表示
** end
```

xStatus UserInterface Features Call SelfviewControls

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

このステータスは、セルフビューコントロールがユーザーインターフェイス上にあるかどうかをレポートします。

返される結果の値スペース:

表示/非表示

Hidden: 自分の映像のコントロールはユーザーインターフェイスにありません。

表示: 自分の映像のコントロールはユーザ インターフェイス上にあります。

例:

```
xStatus UserInterface Features Call SelfviewControls
*s UserInterface Features Call SelfviewControls: Visible
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus UserInterface Features Call Start

適用対象: すべての製品

必要なユーザロール: ADMIN、INTEGRATOR、TOUCHUSER

このステータスは、デフォルトの Call button および Add participant button がユーザーインターフェイス上に表示されるかどうかをレポートします。

返される結果の値スペース:

表示/非表示

Visible: ボタンはユーザーインターフェイスに表示されています。
非表示: ボタンがユーザ インターフェイスから削除されます。

例:

```
xStatus UserInterface Features Call Start
*s UserInterface Features Call Start: Visible
** end
```

xStatus UserInterface Features Call VideoMute

適用対象: すべての製品

必要なユーザロール: ADMIN、INTEGRATOR、TOUCHUSER

このステータスは、ユーザーインターフェイス上に表示される [ビデオをミュート (Video Mute)] ボタンの有無をレポートします。

返される結果の値スペース:

表示/非表示

表示: ボタンはユーザインターフェイス上に表示されます。
非表示: ボタンはユーザ インターフェイスに表示されません。

例:

```
xStatus UserInterface Features Call VideoMute
*s UserInterface Features Call VideoMute: Visible
** end
```

xStatus UserInterface Features Call Webcam

適用対象: RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ BoardPro BoardProG2

必要なユーザロール: ADMIN、INTEGRATOR、TOUCHUSER

このステータスは、[ラップトップから発信] ボタンがタッチ コントローラーに表示されているかどうかをレポートします。

返される結果の値スペース:

表示/非表示

Visible: ボタンはタッチコントローラに表示されています。
非表示: ボタンはタッチ コントローラーに表示されません。

例:

```
xStatus UserInterface Features Call Webcam
*s UserInterface Features Call Webcam: Visible
** end
```

xStatus UserInterface Features Files Start

適用対象: RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro BoardProG2

必要なユーザロール: ADMIN、INTEGRATOR、TOUCHUSER

この状況は、デフォルトの [ファイル] ボタンがユーザインターフェイスから削除されているかどうかをレポートします。

返される結果の値スペース:

表示/非表示

Visible: ボタンはユーザーインターフェイスに表示されています。
非表示: ボタンがユーザ インターフェイスから削除されます。

例:

```
xStatus UserInterface Features Files Start
*s UserInterface Features Files Start: Visible
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus ユーザインタフェース機能 共有 開始

適用対象: すべての製品

必要なユーザロール: ADMIN、INTEGRATOR、TOUCHUSER

このステータスは、通話中と通話外の両方で、コンテンツを共有およびプレビューするための既定のボタンおよびその他の UI 要素がユーザーインターフェイスから削除されているかどうかをレポートします。

返される結果の値スペース:

表示/非表示

Visible: ボタンはユーザーインターフェイスに表示されています。

Hidden: ボタンはユーザーインターフェイスから削除されています。

例:

```
xStatus UserInterface Features Share Start
*s UserInterface Features Share Start: Visible
** end
```

xStatus ユーザインタフェース機能 ホワイトボード 開始

適用対象: RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro BoardProG2

必要なユーザロール: ADMIN、INTEGRATOR、TOUCHUSER

このステータスは、既定の [ホワイトボード (Whiteboard)] ボタンがユーザーインターフェイスから削除されているかどうかをレポートします。

返される結果の値スペース:

表示/非表示

Visible: ボタンはユーザーインターフェイスに表示されています。

Hidden: ボタンはユーザーインターフェイスから削除されています。

例:

```
xStatus UserInterface Features Whiteboard Start
*s UserInterface Features Whiteboard Start: Visible
** end
```

xStatus UserInterface LedControl Color

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ、USER

Room Navigator の壁掛けバージョンには LED ライトが付いています。このステータスは LED ライトの状態を返します。

返される結果の値スペース:

緑/黄/赤/紫/青/オレンジ/オーキッド/アクアマリン/フクシア/バイオレット/マゼンタ/スカーレット/ゴールド/ライム/ターコイズ/シアン/オフ

Off: LED ライトはOffです。

Other: LED ライトはOnで、指定された色をしています。

例:

```
xStatus UserInterface LedControl Color
*s UserInterface LedControl Color: Green
** end
```

xStatus ユーザインタフェース OSD 出力

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ、USER

Onスクリーン情報とインジケータ (OSD) が表示されるモニタを示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus ユーザインタフェース OSD 出力
*s ユーザインタフェース OSD 出力: 1
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus ユーザインタフェースの画面ロック状況

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デバイスに PIN ロックが設定されているかどうかを報告します。

返される結果の値スペース:

ロック/ロック解除/無効/利用不可

無効: PIN ロックはデバイスにセットアップされませんが、ユーザーがセットアップすることを選択した場合、機能は利用できます。

ロック済み: PIN ロックがデバイスにセットアップされており、現在ロックされています。

ロック解除済み: PIN ロックがデバイスにセットアップされていますが、デバイスは現在ロック解除されています。

利用不可: この端末では PIN ロック機能が利用できません。

例:

```
xStatus UserInterface ScreenLock Status
*s UserInterface ScreenLock Status: Locked
** end
```

xStatus UserInterface SettingsMenu Visibility

適用対象: すべての製品

必要なユーザロール: ADMIN、INTEGRATOR、TOUCHUSER

このステータスは、デバイス設定パネルを含むコントロール パネルがユーザ インターフェイスの一部であるかどうかをレポートします。

返される結果の値スペース:

表示/非表示

Visible: コントロールパネルはユーザーインターフェイスに含まれます (右からスワイプ、またはユーザーインターフェイスの右上角にあるアイコンをタップします)。

非表示: コントロールパネルは表示されません。

例:

```
xStatus UserInterface SettingsMenu Visibility
*s UserInterface SettingsMenu Visibility: Visible
** end
```

xStatus UserInterface Translation Override Checksum

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ、USER

xcommand Translation Override Set で設定した翻訳のチェックサムを返します。
オーバーライドがない場合、チェックサムは空です。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus UserInterface Translation Override Checksum
*s UserInterface Translation Override Checksum:
"7be246418d4b675313eccdc267b28b7057d08f3e4fc1d172155c9f30b3b4da9b"
** end
```

xStatus UserInterface WebView [n] ErrorDescription

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ、USER

Chromium から報告されるエラー文字列です。通常は内部列挙値の文字列表現です。例:「net::ERR_NAME_NOT_RESOLVED」および「net::ERR_CERT_AUTHORITY_INVALID」。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xstatus UserInterface WebView ErrorDescription
*s UserInterface WebView 1 ErrorDescription: ""
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus UserInterface WebView [n] ErrorType

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

ウェブページの読み込み中にエラーが発生した場合に、エラーの種類を示します。

返される結果の値スペース:

NoError/OutOfMemory/RenderProcessCrashed/CertificateError/ConnectionError/HttpError/DnsError/OtherError

エラーなし: 読み込み OK
OutOfMemory: ウェブページが使用したメモリが多すぎます。
renderProcessCrashed: ウェブページがクラッシュしました。
CertificateError: SSL 証明書は検証されませんでした。
ConnectionError: ウェブサーバーに接続できませんでした。
HttpError: ウェブサーバーの HTTP エラーです。
DnsError: ホスト名のルックアップ中にエラーが発生しました。

例:

```
xstatus UserInterface WebView ErrorType
*s UserInterface WebView 1 ErrorType: NoError
** end
```

xStatus UserInterface WebView [n] HttpResponseStatusCode

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

これはウェブサーバーから報告されるステータスコードです。例: ウェブページが正しくロードされた場合に 200、ドキュメントが見つからない場合に 404 になります。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xstatus UserInterface WebView HttpResponseStatusCode
*s UserInterface WebView 1 HttpResponseStatusCode: 200
** end
```

xStatus UserInterface WebView [n] Status

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

ウェブビューが現在表示されているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

Visible/Error/NotVisible

Visible: ウェブビューが表示されています。
非表示: ウェブビューは表示されていません。
エラー: ウェブビューの表示中にエラーが発生しました。

例:

```
xStatus UserInterface WebView
*s UserInterface WebView 8 Status: Visible
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus ユーザインターフェース WebView [n] タイプ

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ、USER

現在表示されているウェブビューの種類を示します。

返される結果の値スペース:

WebApp/統合/サイネージ/ECM/ECMSignIn/キオスク/WebRTCMeeting/埋め込みアプリ/永続 Web アプリ/WebWidget/ホワイトボード/なし

ECM: ウェブビューはファイルブラウザから起動され、エンタープライズコンテンツ管理 (ECM) サービスでホストされているファイルを表示します。

ECMSignIn: ウェブビューは、ECM サービスでユーザーを認証する (OAuth2) ためにシステムによって起動されます。

Integration: ウェブビューは UserInterface WebView Display API コマンドによって起動されます。

Kiosk: ウェブビューはキオスクアプリケーションに使用されます。

None: ウェブビューは表示されていません。

PersistentWebApp:ウェブビューは、永続ウェブアプリに使用されます。

看板: ウェブ表示はデジタル サイネージ アプリケーションで使用されます。

WebApp: ウェブビューはウェブアプリに使用されます。

WebRTCMeeting:ウェブビューは WebRTC ミーティングに使用されます (例: Google Meet や Microsoft Teams)。

WebWidget: ウェブビューはウェブウィジェットに使用されます。

ホワイトボード: ウェブ表示はホワイトボードに使用されます。

例:

```
xStatus UserInterface WebView
*s UserInterface WebView 8 Type: Integration
** end
```

xStatus UserInterface WebView [n] URL

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ、USER

現在表示されているウェブビューの URL を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus UserInterface WebView
*s UserInterface WebView 8 URL: "http://www.yr.no/"
** end
```

UserPresence ステータス

xStatus Webex Services UserPresence CustomStatus

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

このユーザーの現在のカスタムステータスを表示します。UserPresence CustomStatus Set コマンドを参照してください。

このステータスは、Webex クラウド サービスに登録されている、またはデバイス向け Webex Edge にリンクされているパーソナル デバイスにのみ適用されます。ユーザ プレゼンスはユーザ (デバイスが登録されている人) に関連付けられているため、同じステータスがデバイスとこの人に属する Webex アプリに表示されます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Webex Services UserPresence CustomStatus
*s Webex Services UserPresence CustomStatus: "Out for lunch"
** end
```

xStatus Webex Services UserPresence Status

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ユーザーの現在の利用可能状況を示します (例えば、ユーザーがアクティブか、ミーティング中、プレゼンテーションを共有中など)。

このステータスは、Webex クラウド サービスに登録されている、またはデバイス向け Webex Edge にリンクされているパーソナル デバイスにのみ適用されます。ユーザ プレゼンスはユーザ (デバイスが登録されている人) に関連付けられているため、同じステータスがデバイスとこの人に属する Webex アプリに表示されます。

返される結果の値スペース:

Active/Away/Busy/Call/DoNotDisturb/Meeting/OutOfOffice/Presenting/QuietHours/Schedule/Unknown

例:

```
xStatus Webex Services UserPresence Status
*s Webex Services UserPresence Status: Meeting
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

ビデオのステータス

xStatus ビデオ アクティブスピーカー PIP 位置

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ、USER

画面上のアクティブな発言者の画像の位置を示します。

返される結果の値スペース:

左中央/右中央/左下/右下/中央上/左上/右上/ドック左下/ドック中央左

例:

```
xStatus Video ActiveSpeaker PIPPosition
*s Video ActiveSpeaker PIPPosition: UpperCenter
** end
```

xStatus Video HdmiOutput

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デバイスの HDMI 出力の動作状態を示し、現在有効か無効かを示します。

返される結果の値スペース:

有効/無効

無効: HDMI 出力は非アクティブです。
Enabled: HDMI 出力がアクティブになり、追加のスクリーンを接続できます。

例:

```
xStatus Video HdmiOutput
** end
```

xStatus ビデオ入力 AirPlay アクティビティ

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro BoardProG2

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

AirPlay アクティビティ、つまり、ビデオデバイスでどのような種類の AirPlay コンテンツが表示/再生されているかを報告します。

第一世代の Board (S シリーズ以外) では AirPlay に対応していないため、このステータスは表示されません。

返される結果の値スペース:

アイドル/PinInPip/カーテン/設定/画面/オーディオ/ビデオ

Audio: デバイスは音声を再生しています。
Curtain: デバイスは AirPlay ホームページを表示しています。
アイドル: AirPlay は現在使用されていません。
PinInPip: AirPlay コードは、小さい PiP (ピクチャーインピクチャー) で表示されます。
画面: Apple デバイスがビデオデバイスで画面を共有しています (スクリーンミラーリング)。
設定: デバイスには、AirPlay ホームページから移動できるページ ([カーテン] サブメニュー) が表示されています。
ビデオ: デバイスはビデオを再生しています。

例:

```
xStatus ビデオ入力 AirPlay アクティビティ
*s Video Input AirPlay Activity: Curtain
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus ビデオ入力 AirPlay 状況

適用対象: RoomKit RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk Board BoardPro BoardProG2

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

AirPlay サービスの状況を報告します。

第一世代の Board (S シリーズ以外) では AirPlay に対応していないため、このステータスは表示されません。

返される結果の値スペース:

オフ/停止/起動中/アクティブ/無効/エラー

アクティブ: AirPlay が使用されています (ビデオ入力 AirPlay モードがOnであり、UI の AirPlay メニューで AirPlay がOffになっていません)。

Disabled: AirPlay は UI の AirPlay メニューで無効になっています。

エラー: AirPlay の開始でエラーが発生しました。

Off: AirPlay がOffになります (ビデオ入力 AirPlay モードがOff)。

開始中: AirPlay を開始しています。

停止中: AirPlay は現在停止しています。無効になっていたり、Offになっているわけではありません。使用されていないだけです。

例:

```
xStatus Video Input AirPlay Status
*s Video Input AirPlay Status: Active
** end
```

xStatus Video Input Connector [n] Connected

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

指定コネクタの接続状況を示します。すべての接続を検出できるわけではありません。

返される結果の値スペース:

False/True/Unknown

例:

```
xStatus Video Input Connector 1 Connected
*s Video Input Connector 1 Connected: True
** end
```

xStatus Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] DeviceType

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

接続されている入力デバイスのタイプを表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Video Input Connector 2 ConnectedDevice CEC 5 DeviceType
*s Video Input Connector 2 ConnectedDevice CEC 5 DeviceType: "Playback"
** end
```

xStatus Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] LogicalAddress

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

接続されている入力デバイスの CEC 論理アドレスを表示します。アドレスは 0 に固定されています。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Video Input Connector 1 ConnectedDevice CEC 1 LogicalAddress
*s Video Input Connector 1 ConnectedDevice CEC 1 LogicalAddress: 0
** end
```

xStatus Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] Name

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

接続されている入力デバイスの名前を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Video Input Connector 2 ConnectedDevice CEC 5 Name
*s Video Input Connector 2 ConnectedDevice CEC 5 Name: "Device-2"
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] PowerStatus

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

HDMI 入力に接続された CEC 対応デバイスの状態を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Video Input Connector 2 ConnectedDevice CEC 5 PowerStatus
*s Video Input Connector 2 ConnectedDevice CEC 5 PowerStatus: "Standby"
** end
```

xStatus Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] VendorId

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

接続された入力デバイスのベンダー ID を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Video Input Connector 2 ConnectedDevice CEC 5 VendorId
*s Video Input Connector 2 ConnectedDevice CEC 5 VendorId: "20576"
** end
```

xStatus ビデオ入力コネクタ [n]SignalState

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

デバイスが指定された入力で入力信号を検出したかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

OK/Unstable/NotFound/DetectingFormat/Unknown/Unsupported

NotFound: デバイスは入力信号を検出できません。通常、これはケーブルが接続されていない、または接続されたソースがビデオを出力しない場合に発生します。

DetectingFormat: デバイスは入力信号を検出し、その形式を検出中です。

OK: デバイスは有効なビデオ入力信号を検出しました。信号形式のサポートは、Video Input Source [n] FormatStatus ステータスで報告されます。

Unstable: デバイスが不安定な信号を検出しました。これは通常、ケーブルに接続した後、ハードウェアがビデオ形式を検出する間の数秒間、このような状況が発生します。この値は、デバイスが信号形式を判断できない場合、または信号形式が一貫していない場合にも返されます。

例:

```
xStatus ビデオ入力コネクタ 1 の信号状態
*s ビデオ入力コネクタ 1 の信号状態: OK
** end
```

xStatus Video Input Connector [n] SourceId

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

コネクタが関連付けられている入力ソースの識別子を表示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Video Input Connector 1 SourceId
*s Video Input Connector 1 SourceId: 1
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus ビデオ入力コネクタ [n] タイプ

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

コネクタ タイプを示します。

返される結果の値スペース:

カメラ/3G-SDI/HD-SDI/USBC-DP/HDMI/USB/イーサネット/未使用/不明

例:

```
xStatus ビデオ入力コネクタ 1 タイプ
*s Video Input Connector 1 Type: HDMI
** end
```

xStatus ビデオ入力 DirectShare [n] ピアアドレス

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

接続された直接共有ピアの IP アドレスを表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Video Input DirectShare 27 Peer Address
*s Video Input DirectShare 27 Peer Address: xxx.xxx.xx.xx
** end
```

xStatus ビデオ入力 DirectShare [n] Peer PeripheralID

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

問題の直接共有ピアの一意の識別子を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Video Input DirectShare 27 Peer PeripheralID
*s Video Input DirectShare 27 Peer PeripheralID: byod-5
** end
```

xStatus ビデオ入力 DirectShare [n] タイプ

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

直接共有ピアのタイプを表示します。

返される結果の値スペース:

プロキシミティ

近接通信: 近接通信接続による共有。

例:

```
xStatus ビデオ入力 DirectShare 27 タイプ
*s ビデオ入力 DirectShare 27 タイプ: 近接通信
** end
```

xStatus Video Input MainVideoMute

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

Video Input MainVideo Mute コマンドを使用して、メインビデオの送信が停止されたかどうかを示します (または利用可能な場合、ユーザーインタフェース上の [ビデオをOffにする (Turn video off)] ボタン)。

返される結果の値スペース:

On/Off

On: ビデオが停止されています。
Off: ビデオは停止していません。

例:

```
xStatus Video Input MainVideoMute
*s Video Input MainVideoMute: Off
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Video Input MainVideoSource

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

メインソースとして現在使用されているローカルビデオ入力を返します。メインソースが複数のローカル入力で構成されている場合、値 Composed が返されます。既定のメイン ビデオ ソースは、xConfiguration Video DefaultMainSource コマンドで設定します。xCommand Video Input SetMainVideoSource を使用して変更することができます。

返される結果の値スペース:

1/2/3/4/5/6/7/8/9/10/11/12/Composed

例:

```
xStatus ビデオ入力 MainVideoSource
*s ビデオ入力 MainVideoSource: 1
** end
```

xStatus Video Input Miracast Channel

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

送信側デバイス (通常、ミーティング参加者のラップトップ) とビデオ デバイス間の直接接続に、Miracast が使用している Wi-Fi チャネルを報告します。

ステータスは、Miracast が有効になっていない場合、「-1」を返します。詳細については、「ビデオ入力の「Miracast モード」設定」を参照してください。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Video Input Miracast Channel
*s Video Input Miracast Channel: 1
** end
```

xStatus Video Input Miracast PinAttemptsLeft

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ユーザーは、Miracast 共有を開始するときに、ラップトップで PIN コードを入力する必要があります。このステータスは、Miracast の PIN 認証が特定の期間にブロックされるまでの残りの試行回数を示します。有効な PIN コードが入力されると、カウンターがリセットされます。連続して失敗する試行が多いほど、ブロック期間は長くなります。

ブロックされている場合、デバイス画面のポップアップから、または [設定] メニューから、PIN 認証を再有効化できます。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Video Input Miracast PinAttemptsLeft
*s Video Input Miracast PinAttemptsLeft: 7
** end
```

xStatus Video Input Miracast Status

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

送信側デバイス (通常はミーティング参加者のラップトップ) とビデオ デバイスの間で、Miracast の Wi-Fi 直接接続が確立されているかどうか、または確立できるかどうかをレポートします。詳細については、Video Input Miracast Mode 設定を参照してください。

返される結果の値スペース:

開始済み/停止済み

Started: Miracast が有効になっており、2 つのデバイス間で Wi-Fi の直接接続が確立されているか、確立できます。デバイスは、Miracast ビーコンを発信します。

停止済み: Miracast が無効になっているため、2 つのデバイス間の直接 Wi-Fi 接続は不可能です。デバイスが、Miracast ビーコンを発信しません。

例:

```
xStatus Video Input Miracast Status
*s Video Input Miracast Status: Started
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Video Input Miracast Transport

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ、USER

現在の Miracast 共有のトランスポート方法を返します。

返される結果の値スペース:

なし/直接/インフラストラクチャ

Direct: コンテンツは Wi-Fi Direct を使用して共有されています。

Infrastructure: コンテンツは会社のネットワークインフラストラクチャ (MS-MICE プロトコルを使用) を使って共有されています。

なし: 現在コンテンツは共有されていません。

例:

```
xStatus Video Input Miracast Transport
*s Video Input Miracast Transport: Direct
** end
```

xStatus ビデオ入力ソース [n] の空き状況

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

指定されたビデオ入力ソース [n] の現在の利用可能状況を示します。このステータスは、入力ソースが使用中かアイドル状態かを判断するのに役立ちます。

返される結果の値スペース:

アイドル/ビジー

使用中: ビデオ入力ソースは使用中です。

アイドル: ビデオ入力ソースは使用されていません。

例:

```
xStatus ビデオ入力ソース 1 の空き状況
** end
```

xStatus ビデオ入力ソース [n] ConnectorId

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ、USER

入力ソースに関連付けられているコネクタの識別子を表示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Video Input Source 1 ConnectorId
*s Video Input Source 1 ConnectorId: 1
** end
```

xStatus Video Input Source [n] FormatStatus

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ、USER

ビデオ形式の状況と指定されたビデオ入力信号のサポートを表示します。「Ok」のみが有効でサポートされているビデオ入力形式を示し、その他のすべての状態はエラーを示します。

返される結果の値スペース:

見つかりません/範囲外/エラー/インターレース/OK/不明

Ok: ビデオ入力形式はサポートされています。解像度とフレームレートは、Video Input Source [n] Resolution ステータスで報告されます。

OutOfRange: ビデオ入力形式の解像度および/またはフレームレートが、指定された入力に対してデバイスがサポートする値を超えています。すべてのビデオ入力コネクタがこのタイプのエラーを報告するわけではありません。

Interlaced: ビデオ入力形式がインターレースで、これはサポートされていません。デバイスはプログレッシブ形式のみをサポートしています。すべてのビデオ入力コネクタがこのタイプのエラーを報告するわけではありません。

NotFound: 指定された入力にビデオ形式がありません。見つからない理由については、ビデオ入力コネクタ [n] の SignalState ステータスを参照してください。

エラー: ビデオ入力形式にエラーがあります。これは、ビデオ入力信号が不安定な場合 (SignalState: Unstable)、またはビデオ入力信号形式が決定できない (そして他のエラー状態は適用できません) 場合に発生します。

例:

```
xStatus Video Input Source 1 FormatStatus
*s ビデオ入力ソース 1 の形式状況: OK
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Video Input Source [n] MediaChannelId

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

Cisco 内部使用のみ。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Video Input Source MediaChannelId
*s Video Input Source 1 MediaChannelId: 2
*s Video Input Source 2 MediaChannelId: 3
** end
```

xStatus Video Input Source [n] Resolution Height

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ、USER

ビデオ入力ソースの解像度の高さをピクセル単位で示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Video Input Source 1 Resolution Height
*s Video Input Source 1 Resolution Height: 1080
** end
```

xStatus Video Input Source [n] Resolution RefreshRate

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ、USER

ビデオ入力ソースのリフレッシュレートの解像度 (Hz) を表示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Video Input Source 1 Resolution RefreshRate
*s Video Input Source 1 Resolution RefreshRate: 50
** end
```

xStatus ビデオ入力ソース [n] 解像度 幅

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ、USER

ビデオ入力ソースの解像度の幅をピクセル単位で示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Video Input Source 1 Resolution Width
*s Video Input Source 1 Resolution Width: 1920
** end
```

xStatus Video Layout ActiveSpeakerOnStage

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

この状況は、発言者がステージにいるかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

True/False

例:

```
xStatus ビデオレイアウト ActiveSpeakerOnStage
** end
```

xStatus Video Layout CurrentLayouts ActiveLayout

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ローカル画面で使用されているレイアウトファミリーの名前を返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Video Layout CurrentLayouts ActiveLayout
*s Video Layout CurrentLayouts ActiveLayout: "Prominent"
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Video Layout CurrentLayouts AvailableLayouts [n] LayoutName

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ローカル画面で現在利用可能なすべてのレイアウトファミリーの名前を一覧表示します。参加者数と共有コンテンツの有無が変更されると、ステータスが動的に更新されます。レイアウトファミリがリストに含まれている場合、[ビデオレイアウトの設定][レイアウト] コマンドを使用してそれに変更することができます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Video Layout CurrentLayouts AvailableLayouts LayoutName
*s Video Layout CurrentLayouts AvailableLayouts 1 LayoutName: "Prominent"
*s Video Layout CurrentLayouts AvailableLayouts 2 LayoutName: "Grid"
*s Video Layout CurrentLayouts AvailableLayouts 3 LayoutName: "Focus"
*s Video Layout CurrentLayouts AvailableLayouts 4 LayoutName: "Overlay"
** end
```

xStatus Video Layout CurrentLayouts DefaultLayout

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

トランスコードされないミーティングのデフォルトとしてローカル画面で使用されるレイアウトファミリーを返します。デフォルトのレイアウト ファミリーは Video DefaultLayoutFamily Local 構成で設定されます。この設定が Auto に設定されている場合、ステータスには解釈される実際のレイアウトファミリが表示されます。これは、ルームセットアップの異なるレイアウトの画面の数、およびプレゼンテーション用に画面が予約されているかどうかによって決まります (Video Monitors 設定を参照してください)。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Video Layout CurrentLayouts DefaultLayout
*s Video Layout CurrentLayouts DefaultLayout: "Prominent"
** end
```

xStatus Video Layout LayoutFamily Local

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ローカル画面レイアウトファミリーを表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Video Layout LayoutFamily Local
*s Video Layout LayoutFamily Local: "equal"
** end
```

xStatus Video Layout LayoutFamily Remote

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

リモート画面レイアウトファミリーを表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Video Layout LayoutFamily Remote
*s Video Layout LayoutFamily Remote: "equal"
** end
```

xStatus Video Layout LocalStageUpdatesDisallowed

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

同期ステージがアクティブな場合、このステータスは true になります。これは、ステージ ビューをローカルで更新できず、ホストのステージに合わせることを示します。

返される結果の値スペース:

True/False

例:

```
xStatus Video Layout LocalStageUpdatesDisallowed
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Video Layout SelfOnStage

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

このステータスは、ローカル ユーザにステージの一部であることを通知します。

返される結果の値スペース:

True/False

例:

```
xStatus Video Layout SelfOnStage
** end
```

xStatus Video Layout StageActiveSpeakerIndex

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ステージ レイアウトのアクティブな発言者インデックスを表します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Video Layout StageActiveSpeakerIndex
** end
```

xStatus Video Layout StageControlledByHost

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

このステータスは、ステージがホストによって制御されていることを示します。

返される結果の値スペース:

True/False

例:

```
xStatus Video Layout StageControlledByHost
** end
```

xStatus ビデオレイアウト ステージ参加者 [n] コール ID

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ステージに追加された特定の参加者 [n] に関連付けられたコール ID を識別します。

返される結果の値スペース:

整数

参加者の通話の一意の識別子 (通話 ID) を表します。

例:

```
xStatus ビデオレイアウト ステージ 参加者 1 のコール ID
** end
```

xStatus Video Layout StageParticipant [n] ParticipantId

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ステージに追加された特定の参加者 [n] に関連付けられた参加者 ID を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

参加者の一意の識別子 (参加者 ID) を表す文字列値です。

例:

```
xStatus Video Layout StageParticipant 1 ParticipantId
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus ビデオモニタ

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

モニタのレイアウトモードを返します。

返される結果の値スペース:

デュアル/デュアルプレゼンテーションのみ/シングル/トリプル/トリプルプレゼンテーションのみ

シングル: すべてのモニタで同じレイアウトが表示されます。

Dual: レイアウトが 2 台のモニタに分布されます。

DualPresentationOnly: 通話のすべての参加者が最初のモニタに表示され、プレゼンテーション (ある場合) が 2 番目のモニタに表示されます。

Triple: レイアウトが 3 台のモニタに分布されます。

TriplePresentationOnly: 通話のすべての参加者が第 1 と第 2 のモニタに表示され、プレゼンテーション (ある場合) が第 3 のモニタに表示されます。

例:

```
xStatus Video Monitors
*s Video Monitors: Single
** end
```

xStatus Video Output Connector [n] Connected

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

デバイス (ディスプレイなど) が出力コネクタに接続されているかどうかを示します。ディスプレイがスタンバイモードになると、ビデオ デバイスはディスプレイを検出できない場合があります。ディスプレイが物理的に接続されている場合でも、コネクタ ステータスは False/Unknown を返します。

返される結果の値スペース:

False/True/Unknown

True: デバイスはビデオ出力コネクタに接続されています。

False: ビデオ出力コネクタに何も接続されていません。

例:

```
xStatus ビデオ出力コネクタ 1 接続済み
*s Video Output Connector 1 Connected: True
** end
```

xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] DeviceType

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

ビデオデバイスが検出した、HDMI 出力に接続された CEC 対応デバイスのタイプを示します。

この情報は、HDMI 出力に接続されたデバイスの CEC 機能がOnに設定され、ビデオデバイスの xConfiguration Video Output Connector [n] CEC モードがOnに設定されている場合にのみ利用できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 ConnectedDevice CEC DeviceType
*s Video Output Connector 1 ConnectedDevice CEC DeviceType: TV
** end
```

xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] LogicalAddress

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

デバイスの CEC 論理アドレスを表示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 ConnectedDevice CEC 1 LogicalAddress
*s Video Output Connector 1 ConnectedDevice CEC 1 LogicalAddress: 4
** end
```

xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] Name

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

接続されたデバイスの名前を返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 ConnectedDevice CEC Name
*s Video Output Connector 1 ConnectedDevice CEC 1 Name: "LG SIGNAGE TV"
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] PowerStatus

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

HDMI 出力に接続された CEC 対応デバイスの状態を示します。

この情報は、HDMI 出力に接続されたデバイスの CEC 機能がOnに設定され、ビデオデバイスの xConfiguration Video Output Connector CEC モードがOnに設定されている場合にのみ利用できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 ConnectedDevice CEC PowerStatus
*s Video Output Connector 1 ConnectedDevice CEC PowerStatus: Ok
** end
```

xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] VendorId

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

接続されたデバイスのベンダー ID を返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 ConnectedDevice CEC VendorId
*s Video Output Connector 1 ConnectedDevice CEC 1 VendorId: "57489"
** end
```

xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice Name

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

モニタの EDID での定義に従って、HDMI ポートに接続されたモニタの名前を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 ConnectedDevice Name
*s Video Output Connector 1 ConnectedDevice Name: "G2420HDBL"
** end
```

xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice PreferredFormat

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

モニタの EDID での定義に従って、HDMI ポートに接続されたモニタの優先入力形式を表示します。これは、ビデオ会議端末が送信する形式とは限りません。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 ConnectedDevice PreferredFormat
*s Video Output Connector 1 ConnectedDevice PreferredFormat: "1920x1080@60Hz"
** end
```

xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice ScreenSize

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

接続されているデバイスの画面サイズをインチで示します。この情報が利用できない場合、既定値として 0 が設定されます。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 ConnectedDevice ScreenSize
*s Video Output Connector 1 ConnectedDevice ScreenSize: 55
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice SupportedFormat Res_1920_1080_50

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

接続された画面 (EDID メタデータから読み取り) とビデオデバイスの両方が、このコネクタで 50 フレーム/秒で 1920 x 1080 の解像度のビデオをサポートしているかどうかを報告します。

返される結果の値スペース:

True/False

False: 形式はサポートされていません。
True: 形式はサポートされています。

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 ConnectedDevice SupportedFormat
Res _ 1920 _ 1080 _ 50
*s Video Output Connector 1 ConnectedDevice SupportedFormat
Res _ 1920 _ 1080 _ 50: True
** end
```

xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice SupportedFormat Res_1920_1080_60

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

接続された画面 (EDID メタデータから読み取り) とビデオデバイスの両方が、このコネクタで 60 フレーム/秒で 1920 x 1080 の解像度のビデオをサポートしているかどうかを報告します。

返される結果の値スペース:

True/False

False: 形式はサポートされていません。
True: 形式はサポートされています。

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 ConnectedDevice SupportedFormat
Res _ 1920 _ 1080 _ 60
*s Video Output Connector 1 ConnectedDevice SupportedFormat
Res _ 1920 _ 1080 _ 60: True
** end
```

xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice SupportedFormat Res_1920_1200_50

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

接続された画面 (EDID メタデータから読み取り) とビデオデバイスの両方が、このコネクタで 50 フレーム/秒で 1920 x 1200 の解像度のビデオをサポートしているかどうかを報告します。

返される結果の値スペース:

True/False

False: 形式はサポートされていません。
True: 形式はサポートされています。

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 ConnectedDevice SupportedFormat
Res _ 1920 _ 1200 _ 50
*s Video Output Connector 1 ConnectedDevice SupportedFormat
Res _ 1920 _ 1200 _ 50: True
** end
```

xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice SupportedFormat Res_1920_1200_60

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

接続された画面 (EDID メタデータから読み取り) とビデオデバイスの両方が、このコネクタで 60 フレーム/秒で 1920 x 1200 の解像度のビデオをサポートしているかどうかを報告します。

返される結果の値スペース:

True/False

False: 形式はサポートされていません。
True: 形式はサポートされています。

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 ConnectedDevice SupportedFormat
Res _ 1920 _ 1200 _ 60
*s Video Output Connector 1 ConnectedDevice SupportedFormat
Res _ 1920 _ 1200 _ 60: True
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice SupportedFormat Res_2560_1080_60

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

接続された画面 (EDID メタデータから読み取り) とビデオデバイスの両方が、このコネクタで 60 フレーム/秒で 2560 x 1080 の解像度のビデオをサポートしているかどうかを報告します。

返される結果の値スペース:

True/False

False: 形式はサポートされていません。
True: 形式はサポートされています。

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 ConnectedDevice SupportedFormat
Res _ 2560 _ 1080 _ 60
*s Video Output Connector 1 ConnectedDevice SupportedFormat
Res _ 2560 _ 1080 _ 60: True
** end
```

xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice SupportedFormat Res_2560_1440_60

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

接続された画面 (EDID メタデータから読み取り) とビデオデバイスの両方が、このコネクタで 60 フレーム/秒で 2560 x 1440 の解像度のビデオをサポートしているかどうかを報告します。

返される結果の値スペース:

True/False

False: 形式はサポートされていません。
True: 形式はサポートされています。

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 ConnectedDevice SupportedFormat
Res _ 2560 _ 1440 _ 60
*s Video Output Connector 1 ConnectedDevice SupportedFormat
Res _ 2560 _ 1440 _ 60: True
** end
```

xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice SupportedFormat Res_2880_1200_60

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

接続された画面 (EDID メタデータから読み取り) とビデオデバイスの両方が、このコネクタで 60 フレーム/秒で 2880 x 1200 の解像度のビデオをサポートしているかどうかを報告します。

返される結果の値スペース:

True/False

False: 形式はサポートされていません。
True: 形式はサポートされています。

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 ConnectedDevice SupportedFormat
Res _ 2880 _ 1200 _ 60
*s Video Output Connector 1 ConnectedDevice SupportedFormat
Res _ 2880 _ 1200 _ 60: True
** end
```

xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice SupportedFormat Res_3440_1440_60

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

接続された画面 (EDID メタデータから読み取り) とビデオデバイスの両方が、このコネクタで 60 フレーム/秒で 3440 x 1440 の解像度のビデオをサポートしているかどうかを報告します。

返される結果の値スペース:

True/False

False: 形式はサポートされていません。
True: 形式はサポートされています。

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 ConnectedDevice SupportedFormat
Res _ 3440 _ 1440 _ 60
*s Video Output Connector 1 ConnectedDevice SupportedFormat
Res _ 3440 _ 1440 _ 60: True
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice SupportedFormat Res_3840_1600_60

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

接続された画面 (EDID メタデータから読み取り) とビデオデバイスの両方が、このコネクタで 60 フレーム/秒で 3840 x 1600 の解像度のビデオをサポートしているかどうかを報告します。

返される結果の値スペース:

True/False

False: 形式はサポートされていません。
True: 形式はサポートされています。

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 ConnectedDevice SupportedFormat
Res _ 3840 _ 1600 _ 60
*s Video Output Connector 1 ConnectedDevice SupportedFormat
Res _ 3840 _ 1600 _ 60: True
** end
```

xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice SupportedFormat Res_3840_1620_60

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

接続された画面 (EDID メタデータから読み取り) とビデオデバイスの両方が、このコネクタで 60 フレーム/秒で 3840 x 1620 の解像度のビデオをサポートしているかどうかを報告します。

返される結果の値スペース:

True/False

False: 形式はサポートされていません。
True: 形式はサポートされています。

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 ConnectedDevice SupportedFormat
Res _ 3840 _ 1620 _ 60
*s Video Output Connector 1 ConnectedDevice SupportedFormat
Res _ 3840 _ 1620 _ 60: True
** end
```

xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice SupportedFormat Res_3840_2160_30

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

接続された画面 (EDID メタデータから読み取り) とビデオデバイスの両方が、このコネクタで 30 フレーム/秒で 3840 x 2160 の解像度のビデオをサポートしているかどうかを報告します。

返される結果の値スペース:

True/False

False: 形式はサポートされていません。
True: 形式はサポートされています。

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 ConnectedDevice SupportedFormat
Res _ 3840 _ 2160 _ 30
*s Video Output Connector 1 ConnectedDevice SupportedFormat
Res _ 3840 _ 2160 _ 30: True
** end
```

xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice SupportedFormat Res_3840_2160_60

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール: 管理者、インテグレータ、USER

接続された画面 (EDID メタデータから読み取り) とビデオデバイスの両方が、このコネクタで 60 フレーム/秒で 3840 x 2160 の解像度のビデオをサポートしているかどうかを報告します。

返される結果の値スペース:

True/False

False: 形式はサポートされていません。
True: 形式はサポートされています。

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 ConnectedDevice SupportedFormat
Res _ 3840 _ 2160 _ 60
*s Video Output Connector 1 ConnectedDevice SupportedFormat
Res _ 3840 _ 2160 _ 60: True
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Video Output Connector [n] Connected

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール : 管理者、インテグレータ、USER

デバイス (ディスプレイなど) が出力コネクタに接続されているかどうかを示します。ディスプレイがスタンバイモードになると、ビデオ デバイスはディスプレイを検出できない場合があります。ディスプレイが物理的に接続されている場合でも、コネクタ ステータスは False/Unknown を返します。

返される結果の値スペース:

False/True/Unknown

True: デバイスはビデオ出力コネクタに接続されています。

False: ビデオ出力コネクタに何も接続されていません。

例:

```
xStatus ビデオ出力コネクタ 1 接続済み
*s Video Output Connector 1 Connected: True
** end
```

xStatus Video Output Connector [n] HDCP State

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ステータスは、出力が HDCP をサポートしているかどうかをレポートし、サポートしている場合は、接続された画面に向けたHDCPリンクの状態を報告します。

返される結果の値スペース:

サポートされていない/非アクティブ/認証されていない/認証済み

Authenticated: HDCP リンクが確立され、安定しています。コネクタは HDCP で保護されたコンテンツを送信できます。

非アクティブ: コネクタは HDCP をサポートしている可能性がありますが、現在は HDCP で保護されたコンテンツを許可しないように構成されています (ビデオ出力コネクタ [n] HDCPPolicy 設定を参照してください)。

未認証: コネクタは HDCP で保護されたコンテンツを許可するようにセットアップされていますが、コネクタに画面が接続されていないか、デバイスが画面へのリンクを確立する処理中です。リンクが不安定な場合、デバイスはこの状態のままになるか、非アクティブに戻ります。

サポートなし: コネクタは HDCP をサポートしていないため、サポートするようにセットアップできません。

例:

```
xStatus ビデオ出力コネクタ 2 HDCP の状態
*s ビデオ出力コネクタ 2 HDCP 状態: 未認証
** end
```

xStatus ビデオ出力コネクタ [n] HDCP バージョン

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

指定されたビデオ出力コネクタ [n] で使用されている現在のバージョンを示します。

返される結果の値スペース:

なし/HDCP_v1x/HDCP_v2x

HDCP_v1x: ビデオ出力コネクタは HDCP バージョン 1.x を使用しています。

HDCP_v2x: ビデオ出力コネクタは HDCP バージョン 2.x を使用しています。

なし: HDCP はビデオ出力コネクタで有効になっていません。

例:

```
xStatus ビデオ出力コネクタ [n] HDCP バージョン
*s ビデオ出力コネクタ [n] HDCP バージョン: HDCP _ v1x
** end
```

xStatus ビデオ出力コネクタ [n] モニタロール

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ビデオ出力コネクタに接続されたデバイスにどのビデオストリームが表示されるかを示します。

返される結果の値スペース:

第一/内部設定/プレゼンテーションのみ/レコーダー/第二/第三

1 番目/2 番目/3 番目: 複数モニタ設定でのモニタの役割。単一画面のセットアップでは、First、Second、Third の違いはありません。

PresentationOnly: アクティブな場合、プレゼンテーションビデオストリームを表示します。

レコーダー: ローカルのメインビデオを含むすべての参加者を表示します。アクティブな場合、プレゼンテーションも表示します。

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 MonitorRole
*s Video Output Connector 1 MonitorRole: First
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus ビデオ出力コネクタ [n] 解像度 高さ

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ビデオ出力コネクタの解像度の高さをピクセル単位で示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 Resolution Height
*s Video Output Connector 1 Resolution Height: 1080
** en
```

xStatus Video Output Connector [n] Resolution RefreshRate

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ビデオ出力コネクタの解像度のリフレッシュレート (Hz) を表示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 Resolution RefreshRate
*s Video Output Connector 1 Resolution RefreshRate: 60
** end
```

xStatus Video Output Connector [n] Resolution Width

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ビデオ出力コネクタの解像度の幅をピクセル単位で示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus ビデオ出力コネクタ 1 の解像度の幅
*s Video Output Connector 1 Resolution Width: 1920
** end
```

xStatus ビデオ出力コネクタ [n] タイプ

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

コネクタのタイプを表示します。

返される結果の値スペース:

HDMI/LCD

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 Type
*s Video Output Connector 1 Type: HDMI
** end
```

xStatus ビデオ出力 HDMI パススルーステータス

適用対象: RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

HDMI-USB コンバーターが接続されている HDMI 出力で、マイクとカメラからの音声とビデオをストリーミングするようにデバイスがセットアップされているかどうかを報告します (Video Output HDMI Passthrough OutputConnector 設定を参照してください)。ステータスはビデオ出力 HDMI パススルー開始/停止コマンドで変更されます。

このステータスは、ラップトップからの発信機能に関連しています。詳細については、ビデオ出力 HDMI パススルーの許可設定を参照してください。

このステータスは Room 55 Dual および Room 70 Dual には適用されません。

返される結果の値スペース:

アクティブ/非アクティブ

アクティブ: デバイスは、関連する HDMI 出力で音声またはビデオをストリーミングするようにセットアップされています。

非アクティブ: デバイスは、関連する HDMI 出力で音声またはビデオをストリーミングするようにセットアップされていません。

例:

```
xStatus Video Output HDMI Passthrough Status
*s Video Output HDMI Passthrough Status: Active
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Video Output Monitor [n] Backlight

適用対象: Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama DeskPro Board

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

統合型スクリーンのバックライトレベルを返します。レベルは xCommand Video Output Monitor Backlight Set で設定されています。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Video Output Monitor 1 Backlight
*s Video Output Monitor 1 Backlight: 80
** end
```

xStatus Video Output Monitor [n] Calibrated

適用対象: RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ディスプレイの調整状況を表示します。

返される結果の値スペース:

True/False

True: ディスプレイは調整されています。
False: ディスプレイは調整されていません。

例:

```
xStatus ビデオ出力 モニタ 1 調整済み
*s Video Output Monitor 1 Calibrated: True
** end
```

xStatus Video Output Monitor [n] ColorTemperature Selected

適用対象: Room70/Room55D Room70G2 RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

xCommand Video Output Monitor Color Select で設定されているモニタの色温度を返します。

返される結果の値スペース:

4900/5500/6500/7200/9300/10500/12000/User

例:

```
xStatus Video Output Monitor 1 ColorTemperature Selected
*s Video Output Monitor 1 ColorTemperature Selected: 6500
** end
```

xStatus Video Output Monitor [n] Configured

適用対象: RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ディスプレイの設定状況を表示します。

返される結果の値スペース:

True/False

True: 表示は設定済みです。
False: ディスプレイは設定されていません。

例:

```
xStatus Video Output Monitor 1 Configured
*s Video Output Monitor 1 Configured: True
** end
```

xStatus ビデオ出力モニタ [n] ファームウェアバージョン

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

モニタのファームウェア バージョンを表示します。このステータスフィールドは、サポートされている LG モニタに接続している場合にのみ表示されます。

返される結果の値スペース:

文字列

モニタのファームウェア バージョンです。

例:

```
xStatus Video Output Monitor 1 FirmwareVersion
*s Video Output Monitor 1 FirmwareVersion: ""
** end
```

xStatus Video Output Monitor [n] IpAddress

適用対象: RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ディスプレイの IP アドレスが表示されます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Video Output Monitor 1 IpAddress
*s Video Output Monitor 1 IpAddress: "xxxxxxxxx"
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus ビデオ出力モニタ [n] 製造元

適用対象: RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

画面の製造元を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Video Output Monitor 1 Manufacturer
*s Video Output Monitor 1 Manufacturer: "ManufacturerName"
** end
```

xStatus ビデオ出力 モニタ [n] 製造元 ID

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

接続済みの画面の 3 文字の製造元 PnP (プラグアンドプレイ) ID コードを表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

製造元の id コードです。

例:

```
xStatus Video Output Monitor 1 ManufacturerId
*s Video Output Monitor 1 ManufacturerId: "ABC"
** end
```

xStatus ビデオ出力モニタ [n] MDC ID

適用対象: RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ディスプレイの MDC Id を表示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus Video Output Monitor 1 MDC Id
*s Video Output Monitor 1 MDC Id: xxxxxxx
** end
```

xStatus Video Output Monitor [n] MDC Port

適用対象: RoomPanorama/Room70Panorama

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ディスプレイの MDC ポートを表示します。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus ビデオ出力 モニタ 1 MDC ポート
*s ビデオ出力 モニタ 1 MDC ポート: xxxxxxx
** end
```

xStatus Video Output Monitor [n] ModelName

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

モニタのモデル名を表示します。このステータスフィールドは、サポートされている LG モニタに接続している場合にのみ表示されます。

返される結果の値スペース:

文字列

モニタのモデル名です。

例:

```
xStatus Video Output Monitor 1 ModelName
*s Video Output Monitor 1 ModelName: ""
** end
```

xStatus Video Output Monitor [n] Position

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

モニタの設置場所が右側か左側かを示します。デュアル スクリーン デバイスにのみ適用されます。

返される結果の値スペース:

左/右

例:

```
xStatus ビデオ出力モニタ 1 位置
*s ビデオ出力 モニタ 1 の位置: 左
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus ビデオ出力モニタ [n] シリアル番号

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

CDDC (クライアント端末データ収集機能) により報告されたモニタのシリアル番号を返します。それが利用できない場合、EDID (拡張ディスプレイ識別データ) からの情報が報告されます (存在する場合)。どちらも利用できない場合は、空の文字列が返されます。

返される結果の値スペース:

文字列

モニタのシリアル番号です。

例:

```
xStatus Video Output Monitor 1 SerialNumber
*s Video Output Monitor 1 SerialNumber: ""
** end
```

xStatus ビデオ出力モニタ [n] 温度

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

モニタの温度を表示します。このステータスフィールドは、サポートされている LG モニタに接続している場合にのみ表示されます。

返される結果の値スペース:

標準/高

正常: モニタの温度は正常です。

High: モニタの温度が高すぎます。

例:

```
xStatus ビデオ出力モニタ 1 の温度
*s Video Output Monitor 1 Temperature: Normal
** end
```

xStatus ビデオ出力ウェブカメラモード

適用対象: RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

システムをウェブカムとして使用するには、USB 接続を確立する必要があります。このステータスは、USB 接続の現在の状態と、音声またはビデオがストリーミングされているかどうかを示します。「ビデオ ストリーミング」とは、デバイスのカメラによってキャプチャされたフレームが、ビデオ ストリームとして USB 接続経由で継続的に送信されることを意味します。

返される結果の値スペース:

切断/接続/ストリーミング/ストリーミングオーディオのみ

接続済み: USB 接続が確立されていますが、コンテンツはストリーミングされていません。

切断: USB 接続が確立されていません。

ストリーミング: ビデオがストリーミング配信されています。

StreamingAudioOnly: ビデオはストリーミングされていませんが、音声はストリーミングされています。

例:

```
xStatus Video Output Webcam Mode
*s Video Output Webcam Mode: StreamingAudioOnly
** end
```

xStatus Video Output Webcam Status

適用対象: RoomKitMini RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

このステータスは、デバイスが現在ウェブカムとして動作しているかどうかを示します。ウェブカムとして動作している場合、デバイスは邪魔しないモードに設定されます。

Room Kit Mini では、Video Output Webcam USBMode 設定を使用して、ビデオの接続時またはビデオのストリーミング開始時に、USB モード (および着信拒否モード) に入るかどうかをコントロールできます。他のデバイスでは、ビデオが USB 接続経由でストリーミングされている場合にのみ、この状態になります。

返される結果の値スペース:

アクティブ/非アクティブ

例:

```
xStatus Video Output Webcam Status
*s Video Output Webcam Status: Inactive
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Video Presentation PIPPosition

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

画面上のプレゼンテーション画像の位置を示します。

返される結果の値スペース:

左中央/右中央/左下/右下/中央上/左上/右上/ドック左下/ドック中央左

例:

```
xStatus Video Presentation PIPPosition
*s Video PIP Presentation Position: CenterLeft
** end
```

xStatus Video Selfview FullscreenMode

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ、USER

自分の映像が全画面モードに設定されているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus Video Selfview FullscreenMode
*s Video Selfview FullscreenMode: Off
** end
```

xStatus Video Selfview Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ、USER

セルフビュー モードが設定されているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus Video Selfview Mode
*s Video Selfview Mode: Off
** end
```

xStatus Video Selfview OnMonitorRole

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ、USER

自分の映像が含まれるモニタを識別します (ある場合)。

返される結果の値スペース:

First/Second/Third

例:

```
xStatus Video Selfview OnMonitorRole
*s Video Selfview OnMonitorRole: First
** end
```

xStatus Video Selfview PIPPosition

適用対象: すべての製品

必要なユーザーロール：管理者、インテグレータ、USER

画面上のセルフビュー画像の位置を示します。

返される結果の値スペース:

CenterLeft/CenterRight/LowerLeft/LowerRight/UpperCenter/UpperLeft/UpperRight

例:

```
xStatus Video Selfview PIPPosition
*s Video Selfview PIPPosition: LowerRight
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

WebEngine ステータス

xStatus WebEngine Features Signage

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デジタル サイネージ機能が有効になっているかどうかを示します。ウェブエンジンモードとスタンバイサイネージモードの両方の設定がOnの場合にのみ、有効 (On) になります。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus WebEngine Features Signage
*s WebEngine Features Signage: On
** end
```

xStatus ウェブエンジンの機能

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ウェブ エンジンが有効かどうかを示します。[ウェブエンジン モード] 設定が [On] の場合、有効 (On) になります。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus WebEngine Features WebEngine
*s WebEngine Features WebEngine: On
** end
```

xStatus WebEngine Features WebRTC

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

WebRTC がデバイスで有効になっているかどうかを示します。

WebRTCを通じて、Webex デバイスおよびパーソナルモードのデバイスを使用する参加者は、WebRTC ミーティング (例えば、Microsoft Teams および Google Meet) に招待された場合、One Button to Push (OBTP) を使用して、デバイスから直接ミーティングに参加できます。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus WebEngine Features WebRTC
*s Web エンジン機能 WebRTC: On
** end
```

xStatus WebEngine LogLevel

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ウェブエンジンに設定されているログレベルを返します。詳細については、WebEngine Logging Set コマンドを参照してください。

返される結果の値スペース:

情報/警告/エラー/致命的/詳細

例:

```
xStatus ウェブエンジン ログレベル
*s WebEngine LogLevel: Verbose
** end
```

xStatus WebEngine LogLevelVerbosity

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ウェブエンジンに設定されている、洗練された Verbose ログレベルを返します。詳細については、WebEngine Logging Set コマンドを参照してください。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus ウェブエンジン LogLevelVerbosity
*s WebEngine LogLevelVerbosity: -1
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus WebEngine Tracing CustomCategories

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

返される結果の値スペース:

文字列

カスタム カテゴリのリストを返します (Web エンジン トレースの開始 コマンドの CustomCategories および Mode パラメータを参照)。カスタムカテゴリが使用されていない場合、このステータスは空の文字列を返します。

例:

```
xStatus WebEngine Tracing CustomCategories
*s WebEngine Tracing CustomCategories: ""
** end
```

xStatus ウェブエンジンのトレース継続時間

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

トレースの最初の継続時間を秒単位で返します (WebEngine Tracing Start コマンドの Duration パラメータを参照)。トレースが終了すると、-1 が設定されます。

返される結果の値スペース:

整数

例:

```
xStatus WebEngine Tracing Duration
*s WebEngine Tracing Duration: 600
** end
```

xStatus WebEngine Tracing Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

現在のトレースに使用されるモードを返します (WebEngine Tracing Start コマンドの Mode パラメータを参照してください)。トレースが終了すると、空の文字列に設定されます。

返される結果の値スペース:

WebDeveloper/InputLatency/Rendering/JavascriptAndRendering/FrameViewer/Custom/Off

例:

```
xStatus WebEngine Tracing Mode
*s WebEngine Tracing Mode: Rendering
** end
```

xStatus WebEngine Tracing Systrace

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

Android Systrace 形式を使用するかどうかを返します (WebEngine トレースの開始コマンドの Systrace パラメータを参照してください)。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus WebEngine Tracing Systrace
*s WebEngine Tracing Systrace: On
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

Webex 状況

xStatus Webex エアギャップ ステータス

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デバイスがエアギャップ操作用に構成されているかどうか。

返される結果の値スペース:

無効/有効

例:

```
xStatus Webex エアギャップステータス
** end
```

xStatus Webex DeveloperId

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

この ID は、developer.webex.com でクラウド xAPI 呼び出しをデバイスに送信できます。
Cloud xAPI を使用すると、Webex クラウド サービスまたはOnプレミス サービスに登録されていて、デバイス用の Webex Edge にリンクされているデバイスにコマンドとステータス要求を送信できます。ほとんどの xAPI リクエストでは、このステータスを使用して取得できる deviceId が必要です。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Webex DeveloperId
*s Webex DeveloperId: "********************"
** end
```

xStatus Webex DevicePersonalization Hotdesking SessionStatus

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

このステータスは、ホットデスキングでセットアップされたデバイスに適用されます。デバイスが予約されているかどうかをレポートします。

返される結果の値スペース:

空き/予約済み

例:

```
xStatus Webex デバイスパーソナライゼーション ホットデスクング SessionStatus
*s Webex DevicePersonalization Hotdesking SessionStatus: 予約済み
** end
```

xStatus Webex DevicePersonalization Personalized

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

ユーザが QR コードまたはその他の方法を使用してサインインすると、個人アカウントが共有デバイスを引き継ぎ、一時的に使用するためにパーソナライズされます。

返される結果の値スペース:

True/False

True: デバイスがログインしたユーザ用にパーソナライズされていることを示します。

False: デバイスが共有されたままであり、特定のユーザ向けにパーソナライズされないことを示します。

例:

```
xStatus Webex DevicePersonalization Personalized
** end
```

xStatus Webex ドメイン

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デバイスが Webex に接続するために使用するベース ドメイン。「xCommand Webex Registration AirGap Prepare」で設定されているドメインを確認します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Webex ドメイン
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

xStatus Webex Meetings InstantMeeting の空き状況

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デバイスでインスタント Webex ミーティングを開始できるかどうかを示します。

インスタント Webex ミーティングは共有デバイスでのみ利用できます。Webex の最適化されたエクスペリエンスが有効なデバイスでは、デバイスが Webex クラウドサービスに登録されているか、または Webex Edge にリンクされている必要があります。

返される結果の値スペース:

利用可能/利用不可

利用可能: デバイスからインスタント Webex ミーティングを開始できます。

利用不可: デバイスからはインスタント Webex ミーティングを開始することができません。

例:

```
xStatus Webex Meetings InstantMeeting の空き状況
*Webex Meetings InstantMeeting の空き状況: 利用可能
** end
```

xStatus Webex Meetings 参加プロトコル

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デバイスが通話用の Webex クラウド サービスを使用して Webex Meetings に参加できるかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

SIP/Webex

SIP: デバイスは、通話に常にOnプレミス インフラストラクチャを使用します。通話プロトコルは SIP です。

Webex: すべての要件が満たされている場合、デバイスは通話に Webex クラウド サービスを使用します (Webex Meetings の JoinProtocol 設定を参照してください)。それ以外の場合、通話プロトコルは SIP になります。

例:

```
xStatus Webex Meetings JoinProtocol
*s Webex Meetings JoinProtocol: SIP
** end
```

xStatus Webex Services 暫定ステータス

適用対象: RoomBar RoomBarPro RoomKitEQX CodecEQ CodecPro Room70G2 RoomPanorama/ Room70Panorama DeskPro DeskMini Desk BoardPro BoardProG2

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

匿名ログレポートとメトリックの暫定アクティベーション サービスが実行中かどうか、およびその状態。

返される結果の値スペース:

無効/エラー/OK/試行中

例:

```
xStatus Webex Services 暫定ステータス
** end
```

xStatus Webex サービス Proximity GuestToken

適用対象: すべての製品

パーソナルモードのデバイスの Webex Devices Cloud xAPI サービスでは利用できません。

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

devices.webex.com と共に使用できる端末固有のコードを提供します。コードは定期的に変更されることに注意してください。

このステータスは、クラウド登録済みデバイスでのみ利用できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Webex サービス Proximity GuestToken
*s Webex Services Proximity GuestToken: "6K2-WEC-7UZ"
** end
```

xStatus Webex Status

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デバイスと Webex クラウド サービス間の接続のステータスを報告します。クラウドサービスが稼働中の場合、ステータスは登録済みをレポートします。デバイスが CUCM または VCS などのOnプレミスサービスに登録されている場合、ステータスは無効をレポートします。

返される結果の値スペース:

無効/エラー/登録済み/登録中/停止

例:

```
xStatus Webex Status
*s Webex Status: Disabled
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

WebRTC ステータス

xStatus WebRTC Provider GoogleMeet Availability

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

デバイスが GoogleMeet ボタンまたはミーティング招待状のいずれかから、GoogleMeet ミーティングに参加できるかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

利用可能/利用不可

例:

```
xStatus WebRTC Provider GoogleMeet Availability
*s WebRTC Provider GoogleMeet Availability: Available
** end
```

xStatus WebRTC Provider MicrosoftTeams Availability

適用対象: すべての製品

必要なユーザ役割: ADMIN、USER

[MSTeams] ボタンまたはミーティング招待状のいずれかから、デバイスが Microsoft Teams ミーティングに参加できるかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

利用可能/利用不可

例:

```
xStatus WebRTC Provider MicrosoftTeams Availability
*s WebRTC プロバイダ MicrosoftTeams 可用性: 利用可能
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

第 6 章

コマンドの概要

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

サポートされているコマンドの表

こちらの表には、RoomOS を実行しているデバイスでサポートされている構成、コマンド、ステータスの完全なリストが記載されています 11.32。

設定 655
コマンド 684
ステータス 704

テーブルに関する情報

1. *どのデバイスが設定、ステータス、またはコマンドをサポートするか*

   すべてのタイプのデバイスでサポートされているエントリもあれば、より小さなサブセットにのみ存在するエントリもあります。

   対象となるデバイスは次のとおりです。

   - Desk シリーズ:
     Desk Pro、Desk、Desk Mini
   - ルーム シリーズ:
     Codec EQ、Codec Pro、Codec Plus、Room Bar、Room Bar Pro、Room Kit、Room Kit Mini、Room Kit EQX、Room 55、Room 55 Dual、Room 70、Room 70 G2、Room Panorama、Room 70 Panorama
   - ボードシリーズ:
     Board Pro (55/75)、Board Pro G2 (55/75)、Board (55/55S/70/70S/85S)

2. *どのコールサービスが設定、ステータス、またはコマンドをサポートするか*

   API で使用できる設定、コマンド、およびステータスの一部は、Onプレミスの登録済みデバイスにのみ適用されます。上記は、Webex に登録されているデバイスには適用されません。これらのアイテムは「Onプレミスのみ」とマークされています。

   H.323、SIP、NTP、CUCM、LDAP、Proximity、および遠端カメラ制御に関連するすべてのものが、適用できない設定、コマンドおよびステータスのすべてです。

3. *各構成、ステータス、またはコマンドへのアクセス方法*

   構成: デバイスのウェブインタフェースからすべての構成にアクセスすることができます。サブセットはデバイスの API の一部でもあります。

   コマンド: デバイスの API からのみコマンドを発行できます。

   ステータス: デバイスの API から、一覧表示されたステータスをリクエストすることができます。デバイスのウェブインターフェイスから他のステータスにアクセスできます。

4. *構成、ステータス、またはコマンドを使用するために必要なユーザーの役割*

   1 つのユーザーアカウントに、1 つまたは複数の以下のユーザーロールを割り当てることができます。

   - 管理者 (A)
   - 監査 (Au)
   - インテグレータ (I)
   - ルーム管理 (R)
   - ユーザー (U)

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

設定	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
アプリ WallpaperBundles HalfwakeImage	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
音声コネクタのセットアップ	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
Audio DefaultVolume	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	あいう
音声イーサネット暗号化	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
音声イーサネット SAPDiscovery アドレス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
Audio Ethernet SAPDiscovery Mode	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
音声入力 ARC [n] モード	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	X	X	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
音声入力 イーサネット [n] チャンネル [1..8] ゲイン	-	-	-	-	X	-	-	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	ウェブ、API	A I
音声入力 Ethernet[n] チャンネル [1..4] レベル	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
音声入力 イーサネット [n] チャンネル [1..8] レベル	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	-	X	-	-	ウェブ、API	A I
音声入力 イーサネット [n] チャンネル [1..4] モード	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
音声入力 イーサネット [n] チャンネル [1..8] モード	-	-	-	-	X	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
Audio Input Ethernet[n] Channel[1..4] Pan	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
音声入力 イーサネット [n] チャンネル [1..8] パン	-	-	-	-	X	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
オーディオ入力イーサネット [n] チャンネル [1..4] ゾーン	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
音声入力 イーサネット [n] チャンネル [1..8] ゾーン	-	-	-	-	X	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
音声入力 イーサネット [n] EchoControl モード	-	-	-	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
Audio Input Ethernet [n] EchoControl NoiseReduction	-	-	-	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
音声入力 イーサネット [n] イコライザー ID	-	-	-	-	X	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
音声入力 イーサネット [n] イコライザー モード	-	-	-	-	X	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
音声入力イーサネット [n] モード	-	-	-	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
音声入力 HDMI [n] レベル	X	-	X	X	-	X	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	-	ウェブ、API	A I
音声入力 HDMI [n] ゲイン	-	-	-	-	X	-	-	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	ウェブ、API	A I
音声入力 HDMI [n] モード	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
Audio Input HDMI [n] VideoAssociation MuteOnInactiveVideo	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
音声入力 マイク [n] チャンネル	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I

X: サポートあり -: サポートなし

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

設定	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
音声入力 マイク [n] EchoControl モード	-	-	-	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
Audio Input Microphone [n] EchoControl Dereverberation	-	-	-	X	-	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
Audio Input Microphone [n] EchoControl NoiseReduction	-	-	-	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
音声入力 マイク [n] イコライザー ID	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
音声入力 マイク [n] イコライザー モード	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
音声入力マイク [n] レベル	-	-	-	X	-	X	-	-	-	X	X	X	X	X	X	-	X	-	-	ウェブ、API	A I
音声入力マイク [n] ゲイン	-	-	-	-	X	-	-	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	ウェブ、API	A I
音声入力マイク [n] モード	X	X	X	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
音声入力マイク [n] のミュートオーバーライド	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
Audio Input Microphone [n] Pan	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
音声入力 マイク [n] ファントム電源	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
Audio Input Microphone [n] VideoAssociation MuteOnInactiveVideo	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
Audio Input Microphone [n] VideoAssociation VideoInputSource	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
Audio Input Microphone [n] Zone	-	-	-	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
Audio Input MicrophoneMode	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
音声 マイク ビームミックス入力	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
音声入力 USBC [n] レベル	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	-	ウェブ、API	A I
音声入力 USBC [n] ゲイン	-	-	-	-	X	-	-	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	ウェブ、API	A I
音声入力 USBC [n] モード	X	X	X	X	X	-	-	X	X	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
Audio Input USBC [n] VideoAssociation MuteOnInactiveVideo	X	X	X	X	X	-	-	X	X	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
Audio Input USBInterface [n] EchoControl Mode	-	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
音声入力 USB インタフェース [n] レベル	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
音声入力 USB インタフェース [n] ゲイン	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I

X: サポートあり -: サポートなし

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

設定	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
Audio Input USBInterface [n] Mode	-	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
Audio Input USBInterface [n] Zone	-	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
Audio Input USBMicrophone [n] EchoControl Mode	X	X	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
Audio Input USBMicrophone [n] Gain	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	ウェブ、API	A I
音声入力 USB マイク [n] レベル	X	X	X	X	-	X	X	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	-	-	ウェブ、API	A I
音声入力 USB マイク [n] ゾーン	X	X	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
音声入力 WebView [n] モード	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
オーディオマイクロフォン AGC	-	-	-	X	X	X	-	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
Audio Microphones HdmiPassthrough MuteButton	-	-	-	-	-	X	-	-	-	X	X	X	X	-	X	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
音声マイクのノイズ除去モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
ミュートが有効な音声マイク	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
音声 マイク ニアトーカーセクターモード	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
Audio Microphones PhantomPower	-	-	-	-	X	X	-	X	X	X	-	X	-	-	X	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
Audio Microphones UsbPassthrough MuteButton	X	X	X	X	X	-	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
オーディオマイクのVoiceActivityDetectorモード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
Audio Output ARC [n] Delay DelayMs	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
Audio Output ARC [n] Delay Direct DelayMs	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
音声出力 ARC [n] 遅延モード	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
Audio Output ARC [n] Mode	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
オーディオ出力 ARC [n] 超音波	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
Audio Output ConnectorSetup	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
Audio Output Ethernet [n] Delay DelayMs	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
Audio Output Ethernet [n] Delay Direct DelayMs	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
オーディオ出力イーサネット [n] 遅延モード	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
オーディオ出力イーサネット [n] イコライザー ID	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
オーディオ出力イーサネット [n] イコライザーモード	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I

X: サポートあり -: サポートなし

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

設定	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
オーディオ出力イーサネット [n] ゲイン	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
オーディオ出力イーサネット [n] レベル	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
音声出力 イーサネット [n] モード	-	-	-	-	X	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
Audio Output HDMI [n] Delay DelayMs	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
Audio Output HDMI [n] Delay Direct DelayMs	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
音声出力 HDMI [n] 遅延モード	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
音声出力 HDMI [n] レベル	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
音声出力 HDMI [n] ゲイン	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
音声出力 HDMI [n] モード	-	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	-	X	X	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
オーディオ出力 HDMI [n] 超音波	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
Audio Output InternalSpeaker Mode	X	X	X	-	X	X	-	X	-	X	-	X	X	X	X	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
Audio Output Line [n] Channel	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
音声出力回線 [n] の遅延 DelayMs	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
Audio Output Line [n] Delay Direct DelayMs	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
音声出力回線 [n] 遅延モード	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
音声出力回線 [n] イコライザ ID	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
音声出力回線 [n] イコライザモード	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
音声出力回線 [n] レベル	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
音声出力回線 [n] ゲイン	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
Audio Output Line [n] Mode	-	-	-	-	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
Audio Output Line [n] OutputType	-	-	-	-	X	X	-	X	X	X	-	X	-	-	X	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
オーディオ出力ライン [n] 超音波	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
音声出力 USBC [n] モード	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
Audio Output USBInterface [n] Delay DelayMs	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
Audio Output USBInterface [n] Delay Direct DelayMs	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
オーディオ出力 USB インターフェース [n] 遅延モード	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I

X: サポートあり -: サポートなし

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

設定	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
Audio Output USBInterface [n] Mode	-	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
オーディオ出力 USB インターフェース [n] 超音波	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
音声パン モード	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
Audio Panning HeadsetAnalog BinauralProcessing	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A
Audio Panning HeadsetAnalog Mode	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A
Audio Panning HeadsetUSB BinauralProcessing	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A
Audio Panning HeadsetUSB Mode	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A
音声の配置	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A
Audio SoundsAndAlerts DTMFFeedback	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
音声、サウンドとアラートの着信音	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	あいう
音声 サウンドとアラート リング音量	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	あいう
Audio Ultrasound MaxVolume	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
音声 USB モード	X	X	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
音声 USB 音量コントロール キャプチャモード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Audio USB VolumeControl Capture Value	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Audio USB VolumeControl Playback Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	あいう
Audio USB VolumeControl Playback Value	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Bluetooth 許可	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A U
Bluetooth カスタムビーコンデータ	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A U
Bluetooth カスタムビーコンモード	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A U
Bluetooth 対応	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A U
Bluetooth LEAdvertisementOutputLevel	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A U
Bookings AdhocBooking BookAhead Enabled	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Bookings AdhocBooking BookingTimeout	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Bookings AdhocBooking Enabled	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Bookings AllowDecline	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A

X: サポートあり -: サポートなし

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

設定	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
Bookings CheckIn AutoCheckInDuration	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Bookings CheckIn Enabled	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Bookings CheckIn WindowDuration	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Bookings DeclinableBookingType	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Bookings MaxDuration	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ブッキング プロトコル優先	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
BYOD HidForwarding Enabled	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
BYOD QR コード ペアリング	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	-	-	ウェブ、API	A
BYOD タッチ転送が有効	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	-	-	ウェブ、API	A I
BYOD USBCXapi	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A
CallHistory Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
CallHistory Recents DisplayName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Cameras Background Enabled	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A U
Cameras Background UserImagesAllowed	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A
Cameras Camera [n] AssignedSerialNumber	-	-	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
Cameras Camera [n] Backlight DefaultMode	-	-	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
カメラ カメラ [n] 明るさアルゴリズム	-	-	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
Cameras Camera [n] Brightness DefaultLevel	-	-	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
Cameras Camera [n] Brightness Mode	-	-	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
Cameras Camera [n] ExcludedArea	-	-	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
Cameras Camera [n] Flip	-	-	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
カメラ カメラ [n] フォーカス モード	-	-	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
カメラ カメラ [n] のガンマレベル	-	-	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
カメラ カメラ [n] ガンマモード	-	-	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
Cameras Camera [n] IrCutFilter Mode	-	-	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
Cameras Camera [n] IrCutFilter Threshold	-	-	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I

X: サポートあり -: サポートなし

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

設定	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
Cameras Camera [n] Mirror	-	-	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
Cameras Camera [n] PtzAutoFraming	-	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A U
カメラ カメラ [n] スタンバイモード	-	-	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
Cameras Camera [n] VideoFormat	-	-	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
Cameras Camera [n] Whitebalance Compensation Level	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
カメラ カメラ [n] ホワイトバランスモード	-	-	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
カメラ カメラ [n] ホワイトバランスレベル	-	-	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
カメラ カメラの色彩度 レベル	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
カメラ カメラの露出補正レベル	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
Cameras Camera Framerate	-	-	-	-	-	X	X	-	-	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	ウェブ、API	A
カメラの電源周波数	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
Cameras PresenterTrack CameraPosition Pan	-	-	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
Cameras PresenterTrack CameraPosition Tilt	-	-	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
Cameras PresenterTrack CameraPosition Zoom	-	-	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
カメラ PresenterTrack コネクタ	-	-	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
Cameras PresenterTrack Enabled	-	-	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
Cameras PresenterTrack PresenterDetectedStatus	-	-	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
Cameras PresenterTrack TriggerZone	-	-	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
Cameras SpeakerTrack DefaultBehavior	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
[カメラ] > [スピーカー トラック] > [フレーム] > [モード]	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Cameras SpeakerTrack Frames RowConfiguration	-	-	-	-	X	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	-	X	-	ウェブ、API	A U
Cameras SpeakerTrack GroupAndSpeaker Mode	-	-	-	-	X	-	-	X	X	-	X	-	X	-	-	-	-	X	-	ウェブ、API	A U
Cameras SpeakerTrack HeadDetectorRange	-	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A U
カメラ スピーカートラック ミーティングゾーン エリア	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Cameras SpeakerTrack MeetingZone Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U

X: サポートあり -: サポートなし

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

設定	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
Cameras SpeakerTrack MultiCamera CalibrationMonitoring	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A U
Cameras SpeakerTrack ZoomRange MaxZoomFactor	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	X	X	-	ウェブ、API	A U
Cameras SpeakerTrack Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
Cameras SpeakerTrack Closeup	-	-	-	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	あいう
カメラ SpeakerTrack トラッキングモード	-	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
Cameras SpeakerTrack ConnectorDetection Mode	-	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
Cameras SpeakerTrack ConnectorDetection CameraLeft	-	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
Cameras SpeakerTrack ConnectorDetection CameraRight	-	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
Cameras SpeakerTrack Whiteboard Mode	-	-	-	-	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	-	-	-	ウェブ、API	A I U
カメラの立体視モード	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	ウェブ、API	A U
Conference ActiveControl Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A
Conference AutoAnswer Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Conference AutoAnswer Mute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
電話会議自動応答の待ち時間	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Conference CallProtocolIPStack	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Conference CapsetFilter	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A
会議 DefaultCall プロトコル	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Conference DefaultCall Rate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
Conference DefaultCall Webex Rate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
Conference Diagnostics DegradedQualityNotifications	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
電話会議 DoNotDisturbのデフォルトタイムアウト	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
Conference Diagnostics StreamStatusOverlay	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Conference EmbeddedApp NotificationsOnly	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
会議の暗号化モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A

X: サポートあり -: サポートなし

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

設定	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
Conference EndToEndEncryption Identity PreferredDomain	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Conference FarEndControl Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
電話会議の相手先コントロール信号機能	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A
相手側会議メッセージモード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A
Conference HideNonVideo OnCall Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Conference JoinLeaveNotifications	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Conference MaxReceiveCallRate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Conference MaxTransmitCallRate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Conference MaxMultisiteReceiveRate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A
Conference MaxMultisiteTransmitRate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A
Conference MicUnmuteOnDisconnect Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Conference Multipoint Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A
Conference MultiStream Mode	-	-	-	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	-	-	-	ウェブ、API	A
Conference IncomingMultisiteCall Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Conference PeopleFocus OnCall Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Conference Presentation OnPlacedOnHold	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Conference Presentation RelayQuality	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Conference Webex CallProtocolIPStack	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
FacilityService Service [n] CallType	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	-	-	ウェブ、API	A I
FacilityService Service [n] Name	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	-	-	ウェブ、API	A I
FacilityService Service [n] Number	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	-	-	ウェブ、API	A I
FacilityService Service [n] Type	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	-	-	ウェブ、API	A I
Files Services OneDrive TemporaryPersonalSignIn	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
ファイル サービス Webex 保存先ユーザ	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
GPIO ピン [n] モード	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
H323 認証モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A

X: サポートあり -: サポートなし

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

設定	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
H323 Authentication LoginName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A
H323 認証パスワード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A
H323 通話セットアップ モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A
H323 暗号化 AES256 に対応	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A
H323 暗号化キーサイズ	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A
H323 ゲートキーパーアドレス	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A
H323 H323Alias E164	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A
H323 H323Alias ID	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A
H323 NAT モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A
H323 NAT アドレス	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A
H323 ポート割り当て	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A
HttpClient モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
HttpClient AllowHTTP	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
HttpClient AllowInsecureHTTPS	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
HttpClient UseHttpProxy	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
HttpFeedback TlsVerify	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
HttpFeedback UseHttpProxy	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Logging CloudUpload Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A
Logging Debug Bluetooth	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Logging Debug Wifi	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Logging External Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Logging External Protocol	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Logging External Server Address	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Logging External Server Port	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Logging External TlsVerify	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ロギング内部モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A

X: サポートあり -: サポートなし

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

設定	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
ログモード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Macros EvaluateTranspiled	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
マクロモード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
マクロの自動開始	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Macros Diagnostics JavascriptErrors	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Macros QuickJSEngine	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
マクロ無応答タイムアウト	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
MicrosoftTeams Diagnostics ShowUnsupportedConsoleNotification	X	-	-	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A
MicrosoftTeams CVI CrossTenant	X	-	-	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A
MicrosoftTeams のログレベル	X	-	-	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A
MicrosoftTeams ログモード	X	-	-	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A
MicrosoftTeams Zoom クロスローンチ	X	-	-	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A
ネットワーク [n] DNS DNSSEC モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ネットワーク [n] DNS ドメイン名	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ネットワーク [n] DNS サーバ [m] アドレス	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Network [n] Firewall Incoming H323	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Network [n] Firewall Incoming Pairing	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ネットワーク [n] ファイアウォール 着信 SIP	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ネットワーク [n] FQDN	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ネットワーク [n] IEEE8021X モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ネットワーク [n] IEEE8021X TlsVerify	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ネットワーク [n] IEEE8021X UseClientCertificate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ネットワーク [n] IEEE8021X アイデンティティ	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ネットワーク [n] IEEE8021X パスワード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ネットワーク [n] IEEE8021X AnonymousIdentity	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ネットワーク [n] IEEE8021X Eap Md5	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A

X: サポートあり -: サポートなし

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

設定	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
Network [n] IEEE8021X Eap Ttls	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ネットワーク [n] IEEE8021X Eap Tls	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ネットワーク [n] IEEE8021X Eap Peap	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ネットワーク [n] IPStack	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ネットワーク [n] IPv4 の割り当て	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ネットワーク [n] IPv4 アドレス	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ネットワーク [n] IPv4 ゲートウェイ	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ネットワーク [n] IPv4 インターフェース識別子	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ネットワーク [n] IPv4 サブネットマスク	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ネットワーク [n] IPv6 の割り当て	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ネットワーク [n] IPv6 アドレス	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ネットワーク [n] IPv6 ゲートウェイ	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Network [n] IPv6 DHCPOptions	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ネットワーク [n] IPv6 インターフェイス識別子	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ネットワーク [n] MTU	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ネットワーク [n] QoS モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ネットワーク [n] QoS Diffserv 音声	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ネットワーク [n] QoS Diffserv ビデオ	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ネットワーク [n] QoS Diffserv データ	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ネットワーク [n] QoS Diffserv シグナリング	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ネットワーク [n] QoS Diffserv ICMPv6	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ネットワーク [n] QoS Diffserv NTP	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Network [n] RemoteAccess Allow	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ネットワーク [n] 速度	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
ネットワーク [n] トラフィック制御モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ネットワーク [n] VLAN 音声モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A

X: サポートあり -: サポートなし

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

設定	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
ネットワーク [n] VLAN 音声 VlanId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ネットワークサービス CDP モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
NetworkServices CommonProxy	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
NetworkServices DiscoveryProtocol SystemName	X	X	X	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A
ネットワークサービス H323 モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A
ネットワークサービス HTTP モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
NetworkServices HTTP プロキシ認証方法	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
NetworkServices HTTP Proxy LoginName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
NetworkServices HTTP プロキシ モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
NetworkServices HTTP プロキシ PACUrl	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
NetworkServices HTTP プロキシ パスワード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
NetworkServices HTTP プロキシ URL	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ネットワークサービス HTTPS OCSP モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ネットワークサービス HTTPS OCSP URL	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
NetworkServices HTTPS Server MinimumTLSVersion	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
NetworkServices HTTPS StrictTransportSecurity	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
NetworkServices HTTPS VerifyClientCertificate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ネットワークサービス LLDP モード	X	X	X	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A
ネットワークサービス NTP モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A
NetworkServices NTP サーバ [n] アドレス	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A
NetworkServices NTP サーバ [n] キー	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A
NetworkServices NTP Server [n] KeyId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A
NetworkServices NTP Server [n] KeyAlgorithm	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A
NetworkServices PTP 優先順位	-	-	-	-	X	-	-	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	ウェブ、API	A
ネットワークサービス SIP モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ネットワークサービス SMTP モード	X	X	X	X	X	-	X	X	X	-	X	-	-	-	-	X	X	X	-	ウェブ、API	A

X: サポートあり -: サポートなし

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

設定	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
ネットワークサービス SMTP サーバ	X	X	X	X	X	-	X	X	X	-	X	-	-	-	-	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ネットワークサービス SMTP ポート	X	X	X	X	X	-	X	X	X	-	X	-	-	-	-	X	X	X	-	ウェブ、API	A
NetworkServices SMTP ユーザ名	X	X	X	X	X	-	X	X	X	-	X	-	-	-	-	X	X	X	-	ウェブ、API	A
NetworkServices SMTP パスワード	X	X	X	X	X	-	X	X	X	-	X	-	-	-	-	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ネットワークサービス SMTP 送信元	X	X	X	X	X	-	X	X	X	-	X	-	-	-	-	X	X	X	-	ウェブ、API	A
NetworkServices SMTP セキュリティ	X	X	X	X	X	-	X	X	X	-	X	-	-	-	-	X	X	X	-	ウェブ、API	A
NetworkServices SNMP CommunityName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
ネットワークサービス SNMP モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
ネットワークサービス SNMP SysNameSource	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
ネットワークサービス SNMP システム連絡先	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
NetworkServices SNMP SystemLocation	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
ネットワークサービス SSH キー交換アルゴリズム レガシー許可	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ネットワークサービス SSH モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ネットワーク サービス SSH ホストキーアルゴリズム	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ネットワークサービス UPnP モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ネットワークサービス UPnP タイムアウト	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ネットワークサービス ウェブソケット	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ネットワークサービスのウェルカムテキスト	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
NetworkServices Wifi Allowed	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
[ネットワーク][サービス][Wi-Fi 設定][周波数帯域]	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ネットワークサービス Wi-Fi が有効	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
NetworkServices XMLAPI モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Peripherals ActivePen Enabled	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A
周辺機器 InputDevice モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	X	X	-	ウェブ、API	A
Peripherals Pairing CiscoTouchPanels EmcResilience	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
周辺機器 ペアリング CiscoTouchPanels HttpProxy	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A

X: サポートあり -: サポートなし

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

設定	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
周辺機器 ペアリング CiscoTouchPanels リモートペアリング	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Peripherals Profile Cameras	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
Peripherals Profile Cameras	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
周辺機器プロファイルコントロールシステム	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
周辺機器 プロファイル マイク アナログ	-	-	-	X	X	X	-	X	X	X	-	-	-	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
周辺機器 プロファイル マイク イーサネット	-	-	-	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
Peripherals Profile Microphones USBMicrophone	X	X	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
Peripherals Profile Microphones USBInterface	-	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	-	X	X	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
周辺機器プロファイル ネットワークスイッチ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
周辺機器 プロファイル タッチパネル	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
周辺機器のセキュリティ証明書 SyncToPeripheralsが有効化されています	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
電話帳サーバ [n] ID	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
電話帳サーバ [n] ページネーション	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A
Phonebook Server [n] TlsVerify	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A
電話帳サーバ [n] タイプ	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
電話帳サーバ [n] URL	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Provisioning Connectivity	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A U
CUCM CallManagementRecords CallDiagnostics のプロビジョニング	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Provisioning ExternalManager Address	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A U
Provisioning ExternalManager AlternateAddress	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A U
Provisioning ExternalManager Protocol	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A U
Provisioning ExternalManager Path	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A U
外部マネージャ ドメインをプロビジョニングしています	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A U
プロビジョニング モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U

X: サポートあり -: サポートなし

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

設定	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
プロビジョニングログイン名	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A U
プロビジョニングパスワード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A U
Provisioning RoomType CameraLayout	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Provisioning TlsVerify	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Provisioning WebexEdge	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Proximity AlternatePort Enabled	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
近接通信モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A U
Proximity Services CallControl	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Proximity Services ContentShare FromClients	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Proximity Services ContentShare ToClients	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
リモートアクセスモード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
RemoteAccess ShowTapIndicator	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
RoomAnalytics AmbientNoiseEstimation Interval	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
RoomAnalytics 周囲ノイズ推定モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
RoomAnalytics PeopleCountOutOfCall	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
RoomAnalytics PeoplePresenceDetector	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	あいう
RoomAnalytics PeoplePresence 入力ヘッド検知器	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
RoomAnalytics PeoplePresence 入力超音波	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
RoomAnalytics 残響時間間隔	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
RoomAnalytics 残響時間モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	あいう
RoomAnalytics RoomInUse InCall	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
RoomAnalytics RoomInUse LocalUsage	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
RoomAnalytics T3 アラーム検出モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
RoomAnalytics T3AlarmDetection タイムアウト	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
RoomCleanup AutoRun ContentType TemporaryAccounts	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
RoomCleanup AutoRun ContentType WebData	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A

X: サポートあり -: サポートなし

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

設定	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
RoomCleanup AutoRun ContentType Whiteboards	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
RoomCleanup AutoRun HourOfDay	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
RoomReset コントロール	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
RoomScheduler BookingTimeout	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
RoomScheduler が有効になりました	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
UserInterface RoomScheduler OverlayOpacity	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
UserInterface RoomScheduler State Available Color	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
UserInterface RoomScheduler State Busy Color	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
UserInterface RoomScheduler State Pending Color	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
RTP ポート範囲の開始	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
RTP Ports Range Stop	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
RTP 音声ポート範囲 Webex 開始	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
RTP Audio Ports Range Webex Stop	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
RTP ビデオポート範囲の開始	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
RTP ビデオポート範囲の停止	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
RTP ビデオ ポート範囲 Webex 開始	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
RTP Video Ports Range Webex Stop	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
セキュリティ監査ログモード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	au
Security Audit OnError Action	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	au
セキュリティ監査サーバアドレス	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	Au
セキュリティ監査サーバポート	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	Au
セキュリティ監査サーバーのポート割り当て	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	Au
セキュリティ CSR キーサイズ	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
セキュリティ登録キーサイズ	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
セキュリティ Fips モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Security Session FailedLoginsLockoutTime	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A

X: サポートあり -: サポートなし

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

設定	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
Security Session InactivityTimeout	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Security Session MaxFailedLogins	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
セキュリティセッション MaxSessionsPerUser	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Security Session MaxTotalSessions	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Security Session ShowLastLogon	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Security Xapi WebSocket ApiKey Allowed	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
センサー レーダー モード	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A
センサー超音波モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
シリアルポートモード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
SerialPort ボーレート	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
SerialPort LoginRequired	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
シリアルポート アウトバウンド モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	-	X	X	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
シリアルポート 送信ポート [n] ボーレート	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	-	X	X	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
SerialPort 送信ポート [n] 説明	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	-	X	X	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
SerialPort Outbound Port [n] Parity	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	-	X	X	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
SIP ANAT	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
SIP 認証ユーザ名	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
SIP 認証パスワード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
SIP DefaultTransport	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
SIP 表示名	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
SIP Ice DefaultCandidate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A
SIP Ice モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A
SIP 回線	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
SIP リッスンポート	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
SIP メールボックス	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
SIP MinimumTLSVersion	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A

X: サポートあり -: サポートなし

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

設定	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
SIP PreferredIPSignaling	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
SIP プロキシ [n] アドレス	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
SIP TlsVerify	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
SIP トランスポートセキュリティ証明書検証モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
SIP ターンサーバ	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A
SIP Turn UserName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A
SIP Turn Password	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A
SIP の種類	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
SIP URI	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Standby BootAction	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Standby BrightnessDelay	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
Standby Control	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
Standby Delay	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
Standby Halfwake Screensaver	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
スタンバイレベル DeepSleep 遅延	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
Standby Level DeepSleep Mode	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
スタンバイ レベルのネットワーク遅延	-	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
スタンバイ レベルのネットワーク モード	-	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
スタンバイ ハーフウェイク モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
スタンバイ サイネージの音声	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
スタンバイ サイネージ インタラクション モード	X	X	X	X	X	-	X	X	X	-	X	-	-	-	-	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
スタンバイ サイネージ モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
Standby Signage RefreshInterval	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
スタンバイ サイネージ URL	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
Standby StandbyAction	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
Standby WakeupAction	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U

X: サポートあり -: サポートなし

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

設定	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
Standby WakeupAtMeetingStart	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
Standby WakeupOnPairing	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
Standby WakeupOnMotionDetection	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
SystemUnit Name	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
SystemUnit ブロードキャスト名	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
SystemUnit CrashReporting Advanced	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
システムユニットクラッシュレポートモード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
システムユニットクラッシュレポート URL	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
SystemUnit CustomDeviceId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
SystemUnit 拡張機能のマウスサポート	X	-	-	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A
システムユニットハードウェア USBC [n] モード	-	X	X	X	X	-	-	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A
SystemUnit SoftwareUpgrade Provider	X	-	-	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A
SystemUnit SoftwareUpgrade TruncateCop	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
SystemUnit SoftwareUpgrade WebCache Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
SystemUnit SoftwareUpgrade WebCache Url	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ThousandEyes の ConnectionString	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Time DateFormat	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Time TimeFormat	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
タイムゾーン (Time zone)	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Time OfficeHours Enabled	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Time OfficeHours OutsideOfficeHours Standby AutoWakeup	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Time OfficeHours OutsideOfficeHours Standby Delay	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Time OfficeHours WorkDay End	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Time OfficeHours WorkDay Start	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
時間 月曜日の勤務時間の勤務地	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A

X: サポートあり -: サポートなし

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

設定	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
Time OfficeHours WorkWeek Tuesday	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Time OfficeHours WorkWeek Wednesday	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Time OfficeHours WorkWeek Thursday	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Time OfficeHours WorkWeek Friday	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Time OfficeHours WorkWeek Saturday	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Time OfficeHours WorkWeek Sunday	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
UserInteraction RaiseHand CMS	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A U
UserInterface Accessibility IncomingCallNotification	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
UserInterface Accessibility ScreenReader Default Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
UserInterface Accessibility ScreenReader Gesture	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
UserInterface Accessibility ScreenReader Speed	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ユーザ インターフェイス アシスタント モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
UserInterface Assistant ProactiveMeetingJoin	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
UserInterface Bookings AdhocBooking DefaultTitle	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
UserInterface Bookings AdhocBooking TimeSlotSize	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
UserInterface Bookings AdhocBooking UseDefaultTitle	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
UserInterface Bookings Visibility AllDayMeetings	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
UserInterface Bookings Visibility EarlyJoin	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
UserInterface Bookings Visibility NonJoinableMeetings	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
UserInterface Bookings Visibility JoinedParticipants Avatars	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
UserInterface Bookings Visibility MeetingReminder	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
UserInterface Bookings Visibility Organizer	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
UserInterface Bookings Visibility Personal FullDayCalendar	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
UserInterface Bookings Visibility Personal NonJoinableMeetings	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U

X: サポートあり -: サポートなし

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

設定	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
UserInterface Bookings Visibility TentativeMeetings	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
UserInterface Bookings Visibility Title	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
ユーザ インターフェイス ブランディングのアウェイクブランディング カラー	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
UserInterface CameraControl Presets Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
UserInterface ContactInfo Type	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
UserInterface CustomMessage	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
ユーザインターフェイス 12 月のテーマベータ版	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
UserInterface DevicePersonalization QRCodeNotification	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
UserInterface Features Share MTRAutoSelectSource	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
ユーザーインターフェイスのインスタントミーティング招待状	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
UserInterface WallpaperFillMode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
UserInterface CustomWallpaperOverlay	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
UserInterface Diagnostics Notifications	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ユーザーインターフェイス 機能 カレンダーの開始	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	あいう
UserInterface Features Call AudioMute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
ユーザインターフェイスの機能 カメラコントロールの呼び出し	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
UserInterface Features Call End	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
UserInterface Features Call HdmiPassthrough	-	-	-	-	-	X	-	-	-	X	X	X	X	-	X	-	-	-	-	ウェブ、API	A I U
UserInterface Features Call JoinGoogleMeet	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
UserInterface Features Call JoinMicrosoftTeamsCVI	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
UserInterface Features Call JoinMicrosoftTeamsDirectGuestJoin	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
UserInterface Features Call JoinZoom	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
ユーザーインターフェース機能コール JoinWebex	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
UserInterface Features Call Keypad	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U

X: サポートあり -: サポートなし

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

設定	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
UserInterface Features Call LayoutControls	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
UserInterface Features Call MidCallControls	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
UserInterface Features Call MusicMode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
UserInterface Features Call ParticipantList	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
UserInterface Features Call SelfviewControls	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
ユーザ インターフェイス機能 通話開始	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
UserInterface Features Call VideoMute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
UserInterface Features Call Webcam	-	-	-	X	X	-	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I U
UserInterface Features Files Start	X	X	X	X	X	-	X	X	X	-	X	-	-	-	-	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
UserInterface Features HideAll	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
UserInterface Features Share MTRShareExperience	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
UserInterface Features Share Start	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
UserInterface Features Whiteboard Start	X	X	X	X	X	-	X	X	X	-	X	-	-	-	-	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
ユーザーインターフェイスのヘルプのヒント	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
UserInterface HomeScreen Dashboard	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
UserInterface HomeScreen Peripherals WebApp AllowInsecureHttps	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
UserInterface HomeScreen Peripherals WebApp URL	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ユーザ インターフェイス キートーン モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
ユーザ インターフェース キオスク モード	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
ユーザインターフェイス キオスク URL	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
UserInterface Language	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
UserInterface LedControl Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
UserInterface LedControl OutsideOfficeHours	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
UserInterface LiveAnnotation AvailabilityForPresenter	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
UserInterface LiveAnnotation Enabled	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
UserInterface LiveAnnotation EnabledOutOfCall	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I

X: サポートあり -: サポートなし

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

設定	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
UserInterface MeetingJoin CVITenants	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ユーザインタフェースのミュート警告	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
UserInterface NameAndSiteLabels Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
UserInterface OSD EncryptionIndicator	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
UserInterface OSD HalfwakeMessage	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
UserInterface OSD Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
UserInterface OSD Output	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
UserInterface Phonebook DefaultSearchFilter	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
ユーザインターフェイス電話帳モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
UserInterface Proximity Notifications	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
UserInterface RoomScheduler AmbientTemperature Show	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ユーザインターフェイス ルームスケジューラー 端末パーソナライゼーション QR コードペアリング	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ユーザインターフェイス RoomScheduler モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
UserInterface RoomScheduler PeopleCount Current	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
UserInterface RoomStatusMenu Visibility	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ユーザーインターフェイス画面ロックポリシー	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
UserInterface ScreenLock Workspace Allowed	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ユーザインターフェイスセキュリティモード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
UserInterface SettingsMenu Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
UserInterface SettingsMenu Visibility	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ユーザ インターフェイス サウンド効果モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
ユーザインターフェイステーマ名	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
ユーザインターフェイスの壁紙	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
UserInterface WebcamOnlyMode	-	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A
ユーザ インターフェイス ホワイトボード アクティビティインジケータ	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A

X: サポートあり -: サポートなし

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

設定	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
ユーザ インターフェイス ホワイトボードの削除	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
UserInterface Whiteboard ShareInCall	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
ユーザ管理 LDAP 管理フィルター	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ユーザ管理 LDAP 管理グループ	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ユーザ管理 LDAP 属性	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ユーザ管理 LDAP ベース DN	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
UserManagement LDAP BindDN	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
UserManagement LDAP BindPassword	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ユーザ管理 LDAP 暗号化	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ユーザ管理 LDAP メンバー属性	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ユーザ管理 LDAP 最小 TLS バージョン	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ユーザ管理 LDAP モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ユーザ管理 LDAP サーバアドレス	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ユーザ管理 LDAP サーバポート	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
UserManagement LDAP VerifyServerCertificate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
UserManagement PasswordPolicy Complexity MinimumDigits	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
UserManagement PasswordPolicy Complexity MinimumLength	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
UserManagement PasswordPolicy Complexity MinimumLowercase	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
UserManagement PasswordPolicy Complexity MinimumSpecial	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ユーザ管理パスワードポリシー複雑度 最小大文字	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
UserManagement PasswordPolicy MaxLifetime	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ユーザ管理パスワードポリシー再利用制限	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Video ActiveSpeaker DefaultPIPPosition	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
ビデオ DefaultLayoutFamily Local	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A

X: サポートあり -: サポートなし

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

設定	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
Video DefaultLayoutFamily LocalContent	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Video DefaultLayoutFamily Remote	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Video DefaultMainSource	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Video Input AirPlay Beacon	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Video Input AirPlay DiscoveryInstructions NetworkName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Video Input AirPlay DiscoveryInstructions ShowNetworkInfo	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ビデオ入力 AirPlay モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ビデオ入力 AirPlay パスワード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ビデオ入力 AirPlay プレゼンテーションの選択	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ビデオ入力 AirPlay セキュリティモード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Video Input CameraConfigMode	-	-	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
Video Input Connector [n] CameraControl CameraId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
ビデオ入力コネクタ [n] CameraControl モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
ビデオ入力コネクタ [n] CEC モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
ビデオ入力コネクタ [n] HDCP モード	-	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
Video Input Connector [n] InputSourceType	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
ビデオ入力コネクタ [n] 最大解像度	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
ビデオ入力コネクタ [n] 名	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
ビデオ入力コネクタ [n] オプティマルデフィニション プロファイル	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
Video Input Connector [n] OptimalDefinition Threshold60fps	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ビデオ入力コネクタ [n] 優先解像度	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
Video Input Connector [n] PresentationSelection	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
ビデオ入力コネクタ [n] 品質	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
Video Input Connector [n] RGBQuantizationRange	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
ビデオ入力コネクタ [n] 変換	X	X	X	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I

X: サポートあり -: サポートなし

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

設定	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
ビデオ入力コネクタ [n] の可視性	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
ビデオ入力、Miracast モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Video Input Miracast MaxBitrate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ビデオ入力の Miracast PIN の長さ	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Video Input Miracast PresentationSelection	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ビデオ入力の [Miracast] 品質	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
Video Input Miracast Transport	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Video Monitors	X	X	X	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
ビデオ出力コネクタ [n] の明るさ	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	ウェブ、API	A U
Video Output Connector [n] BrightnessMode	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A U
ビデオ出力コネクタ [n] CEC モード	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
ビデオ出力コネクタ [n] コンテンツタイプ	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
ビデオ出力コネクタ [n] HDCPForce1_4	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Video Output Connector [n] HDCPPolicy	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Video Output Connector [n] Location HorizontalOffset	X	-	-	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
Video Output Connector [n] Location VerticalOffset	X	-	-	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
Video Output Connector [n] MonitorRole	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
ビデオ出力コネクタ [n] 解像度	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Video Output Connector [n] RGBQuantizationRange	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
ビデオ出力 HDMI パススルー可	-	-	-	-	-	X	-	-	-	X	X	X	X	-	X	-	-	-	-	ウェブ、API	A
ビデオ出力 HDMI パススルー HDMIUsb コンバーターモード	-	-	-	-	-	X	-	-	-	X	X	X	X	-	X	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
ビデオ出力 HDMI パススルー HDMIUsbConverter Name	-	-	-	-	-	X	-	-	-	X	X	X	X	-	X	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
ビデオ出力 HDMI パススルー出力コネクタ	-	-	-	-	-	X	-	-	-	X	X	X	X	-	X	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
ビデオ出力 HDMI パススルー自動切断が有効	-	-	-	-	-	X	-	-	-	X	X	X	X	-	X	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
ビデオ出力 HDMI パススルー自動切断遅延	-	-	-	-	-	X	-	-	-	X	X	X	X	-	X	-	-	-	-	ウェブ、API	A I

X: サポートあり -: サポートなし

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

設定	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
ビデオ出力ミラーリングタイプ	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
ビデオ出力ウェブカメラ USB モード	-	-	-	X	X	-	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
ビデオ出力コネクタ [n] ホワイトバランスレベル	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	ウェブ、API	A U
Video Presentation DefaultPIPPosition	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
ビデオプレゼンテーション デフォルトソース	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
ビデオプレゼンテーションの優先順位	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ビデオ 自分の映像のデフォルト フルスクリーン モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
ビデオのセルフビューのデフォルト モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
Video Selfview Default OnMonitorRole	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
ビデオセルフビューのデフォルト PIP 位置	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
ビデオセルフビュー通話中モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
Video Selfview OnCall Duration	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
音声コントロール ウェイクワード モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
WebEngine Certificates RevocationChecks NetworkAccess	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
WebEngine Features AllowDeviceCertificate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
WebEngine Features CanvasOopRasterization	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
WebEngine Features GpuRasterization	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
WebEngine Features LocalWebAppManagement	X	X	X	X	X	-	X	X	X	-	X	-	-	-	-	X	X	X	-	ウェブ、API	A
WebEngine Features Peripherals AudioOutput	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
WebEngine Features Peripherals WebGL	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
WebEngine Features WebGL	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
WebEngine Features SipUrlHandler	X	X	X	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	X	-	ウェブ、API	A
WebEngine の機能 Xapi Peripherals AllowedHosts Hosts	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
WebEngine FpsCounter	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
WebEngine MinimumTLSVersion	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ウェブ エンジン モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A

X: サポートあり -: サポートなし

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

設定	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama / Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
WebEngine RemoteDebugging	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
ウェブ エンジン UseHttpProxy	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Webex CloudProximity GuestShare	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Webex CloudProximity 手動ペアリング	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Webex CloudUpgrades モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A
Webex DevicePersonalization Features Whiteboard SignInRequired	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Webex デバイスパーソナライゼーション タスクベースサインイン	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Webex Hotdesking DefaultBookingEndTime	X	X	X	X	X	-	-	X	X	-	-	-	-	-	-	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Webex Meetings AIAssistantAutoSummarize が利用可能	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Webex Meetings HttpProxyForMedia モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Webex Meetings 参加プロトコル	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A
Webex Meetings MeetingChatNotifications Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
Webex Meetings ミーティングチャットプレビュー	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Webex Privacy AllowUsageDataLogging	X	X	X	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A
Webex 近接モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
Webex アップグレードチャネル	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
WebRTC EndCallTimeout	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
WebRTC インタラクション モード	X	X	X	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	X	-	ウェブ、API	A
WebRTC Provider MicrosoftTeams CompatibilityMode	X	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	-	-	ウェブ、API	A
ズームの DefaultDomain	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Zoom DialStringOptions	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A
Zoom EnhancedCallControls	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A

X: サポートあり -: サポートなし

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

コマンド	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama/ Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
AirPlay KeyEvent Back	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
AirPlay KeyEvent Click	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
AirPlay KeyEvent Down	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
AirPlay KeyEvent FastForward	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
AirPlay KeyEvent FastReverse	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
AirPlay KeyEvent Left	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
AirPlay キーイベントの再生	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
AirPlay KeyEvent Right	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
AirPlay KeyEvent Up	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
AirPlay ResetPairedDevices	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
音声診断の高度な実行	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
音声診断 AecReverb リセット	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
Audio Diagnostics AecReverb Run	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
Audio Diagnostics MeasureDelay	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
Audio Equalizer List	-	-	-	-	X	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	X	X	-	API	A I
音声イコライザーの更新	-	-	-	-	X	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	X	X	-	API	A I
Audio LocalInput Add	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	-	API	A I
Audio LocalInput AddConnector	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	-	API	A I
Audio LocalInput Remove	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	-	API	A I
Audio LocalInput RemoveConnector	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	-	API	A I
Audio LocalInput Update	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	-	API	A I
Audio LocalInput Ethernet Deregister	-	-	-	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	X	X	-	API	A I
Audio LocalInput Ethernet PacketStatisticsReset	-	-	-	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	X	X	-	API	A I
Audio LocalInput Ethernet Register	-	-	-	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	X	X	-	API	A I
音声ローカル出力の追加	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	-	API	A I
Audio LocalOutput AddConnector	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	-	API	A I

X: 対応 -: 未対応

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

コマンド	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama/ Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
Audio LocalOutput ConnectInput	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	-	API	A I
Audio LocalOutput DisconnectInput	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	-	API	A I
Audio LocalOutput Ethernet Deregister	-	-	-	-	X	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	X	X	-	API	A I
Audio LocalOutput Ethernet Register	-	-	-	-	X	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	X	X	-	API	A I
Audio LocalOutput Remove	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	-	API	A I
Audio LocalOutput RemoveConnector	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	-	API	A I
Audio LocalOutput Update	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	-	API	A I
Audio LocalOutput UpdateInputGain	X	-	-	-	-	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	-	API	A I
Audio Microphones MusicMode Start	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	あいう
Audio Microphones MusicMode Stop	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	あいう
Audio Microphones Mute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	あいう
Audio Microphones NoiseRemoval Activate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
Audio Microphones NoiseRemoval Deactivate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
Audio Microphones Passthrough Start	-	-	-	-	-	X	-	-	-	X	X	X	X	-	X	-	-	-	-	API	A I
Audio Microphones Passthrough Stop	-	-	-	-	-	X	-	-	-	X	X	X	X	-	X	-	-	-	-	API	A I
Audio Microphones ToggleMute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
Audio Microphones Unmute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
Audio RemoteOutput ConnectInput	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	-	API	A I
Audio RemoteOutput DisconnectInput	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	-	API	A I
Audio RemoteOutput UpdateInputGain	X	-	-	-	-	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	-	API	A I
音声選択	X	X	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	API	A U
音声設定の消去	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	-	API	A I
音声設定のリセット	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	-	API	A I
Audio Sound Play	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	あいう
Audio Sound Stop	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	あいう
Audio SpeakerCheck	-	-	-	-	-	-	-	X	-	-	-	X	X	X	-	-	-	-	-	API	あいう

X: 対応 -: 未対応

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

コマンド	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama/ Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
Audio SoundsAndAlerts Ringtone List	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	あいう
Audio SoundsAndAlerts Ringtone Play	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	あいう
Audio SoundsAndAlerts Ringtone Stop	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
Audio Volume Decrease	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
Audio Volume Increase	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
Audio Volume Mute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
音声の音量設定	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
音声の音量を既定に設定	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
Audio Volume ToggleMute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
音声の音量 ミュート解除	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
Audio VuMeter Start	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
Audio VuMeter Stop	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
Audio VuMeter StopAll	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
Bluetooth ストリーミング次へ	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	API	A I U
Bluetooth ストリーミングの一時停止	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	API	A I U
Bluetooth ストリーミング再生	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	API	あいう
Bluetooth Streaming Previous	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	API	あいう
Bookings Book	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
予約チェックイン	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Bookings CheckOut	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Bookings Clear	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
ブッキングの削除	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Bookings Edit	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
予約の延長	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
予約の取得	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
ブッキングリスト	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U

X: 対応 -: 未対応

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

コマンド	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama/ Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
Bookings NotificationSnooze	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Bookings Respond	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Bookings Put	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Call Accept	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Call Disconnect	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
DTMFSend を呼び出す	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Call FarEndControl Camera Move	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Call FarEndControl Camera Stop	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Call FarEndControl RequestCapabilities	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Call FarEndControl RoomPreset Activate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Call FarEndControl RoomPreset Store	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
通話先端末コントロール ソースの選択	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Call FarEndMessage Send	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	API	A U
通話転送	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	API	A U
通話保留	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Call Ignore	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
通話に参加	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
[コール拒否(Call Reject)]	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
通話再開	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Call UnattendedTransfer	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	API	A U
CallHistory AcknowledgeAllMissedCalls	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
CallHistory AcknowledgeMissedCall	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
CallHistory DeleteAll	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
CallHistory DeleteEntry	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
CallHistory Get	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
CallHistory Recents	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U

X: 対応 -: 未対応

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

コマンド	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama/ Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
Camera Boot	-	-	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	-	-	X	X	-	API	A U
Camera FactoryReset	-	-	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	-	-	X	X	-	API	A U
Camera InstallationTilt Ramp	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	API	A
カメラ位置リセット	-	-	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	-	-	X	X	-	API	A I U
Camera PositionSet	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	あいう
Camera Preset Activate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Camera Preset ActivateDefaultPosition	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
カメラ プリセットの編集	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
カメラ プリセット リスト	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
カメラ プリセットの削除	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
カメラ プリセットの表示	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
カメラ プリセットの保存	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Camera Ramp	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
Cameras Stereoscopic Mute	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	API	A I U
Cameras Stereoscopic Unmute	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	API	A I U
カメラのトリガーオートフォーカス	-	-	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	-	-	X	X	-	API	A U
Camera TriggerWhitebalance	-	-	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	-	-	X	X	-	API	A U
カメラの AutoFocus 診断の開始	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	API	A I
Cameras AutoFocus Diagnostics Stop	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	API	A I
Cameras Background Clear	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	API	A I U
Cameras Background Delete	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	API	A I U
Cameras Background Fetch	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	API	あいう
Cameras Background ForegroundParameters Reset	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	API	あいう
Cameras Background ForegroundParameters Set	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	API	あいう
Cameras Background Get	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	API	あいう
Cameras Background List	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	API	あいう

X: 対応 -: 未対応

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

コマンド	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama/ Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
Cameras Background Set	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	API	あいう
Cameras Background Upload	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	API	あいう
Cameras PresenterTrack ClearPosition	-	-	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	-	-	-	X	X	-	API	あいう
Cameras PresenterTrack Set	-	-	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	-	-	-	X	X	-	API	あいう
Cameras PresenterTrack StorePosition	-	-	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	-	-	-	X	X	-	API	あいう
Cameras SpeakerTrack Activate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Cameras SpeakerTrack Closeup Activate	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Cameras SpeakerTrack Closeup Deactivate	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Cameras SpeakerTrack Deactivate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Cameras SpeakerTrack Calibration Diagnostics Start	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	-	API	A I U
Cameras SpeakerTrack Calibration Diagnostics Stop	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	-	API	あいう
Cameras SpeakerTrack BackgroundMode Activate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Cameras SpeakerTrack BackgroundMode Deactivate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
カメラ SpeakerTrack 診断の開始	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	あいう
Cameras SpeakerTrack Diagnostics Stop	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	あいう
Cameras SpeakerTrack Frames Activate	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Cameras SpeakerTrack Frames Deactivate	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Cameras SpeakerTrack Set	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
Cameras SpeakerTrack ViewLimits Activate	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I
Cameras SpeakerTrack ViewLimits Deactivate	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I
Cameras SpeakerTrack ViewLimits StorePosition	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I
Cameras SpeakerTrack Whiteboard ActivatePosition	-	-	-	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	-	-	-	API	A U
Cameras SpeakerTrack Whiteboard AlignPosition	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	API	A U
カメラ SpeakerTrack ホワイトボードの設定距離	-	-	-	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	-	-	-	API	A U
カメラ SpeakerTrack ホワイトボードの保存位置	-	-	-	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	-	-	-	API	A U
Conference AdmitAll	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U

X: 対応 -: 未対応

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

コマンド	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama/ Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
電話会議認証応答	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
Conference DoNotDisturb Activate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	あいう
Conference DoNotDisturb Deactivate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	あいう
Conference EndMeeting	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Conference Hand Lower	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Conference Hand Raise	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Conference HardMute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Conference Lock	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Conference LowerAllHands	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Conference MeetingAssistant Start	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Conference MeetingAssistant Stop	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Conference MuteAll	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
電話会議参加時ミュート	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
電話会議参加者の追加	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Conference Participant Admit	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Conference Participant Disconnect	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Conference Participant LowerHand	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Conference Participant MoveToLobby	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Conference Participant Mute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
電話会議参加者リスト検索	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Conference PeopleFocus Activate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Conference PeopleFocus Deactivate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Conference Reaction Disable	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Conference Reaction Enable	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Conference Reaction Send	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Conference Recording Pause	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U

X: 対応 -: 未対応

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

コマンド	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama/ Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
Conference Recording Resume	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Conference Recording Start	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Conference Recording Stop	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
電話会議 メール招待状の送信	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
Conference SkinTone	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Conference Participant TransferRole	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
電話会議 同時通訳 言語の選択	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Conference SimultaneousInterpretation SetMixer	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
電話会議の発言者ロックの解除	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	API	A U
電話会議の発言者ロックの設定	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	API	A U
Conference TransferHostAndLeave	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
診断の実行	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
ダイヤル	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
GPIO ManualState Set	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	-	-	-	-	API	A U
HttpClient Allow Hostname Add	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
HttpClient Allow Hostname Clear	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
HttpClient 許可ホスト名リスト	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
HttpClient Allow Hostname Remove	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
HttpClient の削除	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
HttpClient の取得	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
HttpClient Patch	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
HttpClient Post	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
HttpClient Put	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
HTTP フィードバック登録解除	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
HTTP フィードバックの有効化	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
HttpFeedback Register	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A

X: 対応 -: 未対応

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

コマンド	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama/ Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
Logging AddEvent	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Logging ExtendedLogging Start	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Logging ExtendedLogging Stop	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Logging SendLogs	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
マクロ ログの消去	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
マクロ ログの取得	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Macros Macro Activate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Macros Macro Deactivate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Macros Macro Get	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Macros Macro Remove	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Macros Macro RemoveAll	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Macros Macro Rename	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Macros Macro Roles Set	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
マクロ マクロの保存	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Macros Runtime Restart	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Macros Runtime Start	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Macros Runtime Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Macros Runtime Stop	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
メッセージの送信	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I
MicrosoftTeams のインストール	X	-	-	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	-	-	-	X	X	-	API	A
MicrosoftTeams Join	X	-	-	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	-	-	-	X	X	-	API	あいう
MicrosoftTeams List	X	-	-	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	-	-	-	X	X	-	API	A
MicrosoftTeams Reset	X	-	-	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	-	-	-	X	X	-	API	A
MicrosoftTeams SignOut	X	-	-	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	-	-	-	X	X	-	API	A
MicrosoftTeams SoftwareUpgrade	X	-	-	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	-	-	-	X	X	-	API	A
Network SMTP VerifyConfig	X	X	X	X	X	-	X	X	X	-	X	-	-	-	-	X	X	X	-	API	A U

X: 対応 -: 未対応

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

コマンド	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama/ Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
ネットワーク SNMP USM ユーザーの追加	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
ネットワーク SNMP USM ユーザーの削除	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
ネットワーク SNMP USM ユーザリスト	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
ネットワーク Wi-Fi 設定	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Network Wifi Connect	X	X	X	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	X	X	-	API	A U
ネットワーク Wi-Fi の削除	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
ネットワーク Wi-Fi リスト	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
ネットワーク Wi-Fi スキャンの開始	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
ネットワーク Wi-Fi スキャンの停止	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
周辺機器の接続	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R U
Peripherals DeviceManagement Disable	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Peripherals DeviceManagement Enable	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Peripherals HeartBeat	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R U
周辺機器リスト	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R
Peripherals Pairing PinPairing Start	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
周辺機器 ペアリング ピンペアリング停止	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
周辺機器 ペアリング ペアリング解除	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
周辺機器の消去	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Peripherals Security Certificates Services Activate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Peripherals Security Certificates Services Delete	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Peripherals Security Certificates Services Enrollment SCEP Request	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I
Peripherals Security Certificates Services Enrollment SCEP Renewal Request	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I
Peripherals Security Certificates Services Show	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Peripherals TouchPanel Configure	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I

X: 対応 -: 未対応

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

コマンド	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama/ Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
Peripherals UserManagement User Add	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Peripherals UserManagement User Delete	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
周辺機器 ユーザ管理 ユーザ 取得	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Peripherals UserManagement User List	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
周辺機器 ユーザ管理 ユーザ 変更	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Peripherals UserManagement User Passphrase Set	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Peripherals UserManagement User Unblock	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
電話帳の連絡先の追加	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
電話帳の連絡先の削除	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
電話帳の連絡先の変更	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Phonebook ContactMethod Add	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Phonebook ContactMethod Delete	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Phonebook ContactMethod Modify	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
電話帳フォルダの追加	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
電話帳フォルダの削除	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
電話帳フォルダの変更	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
電話帳検索	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
プレゼンテーションの開始	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
プレゼンテーションの停止	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Provisioning CompleteUpgrade	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Provisioning PostponeUpgrade	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Provisioning CUCM ExtensionMobility Login	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	API	A U
Provisioning CUCM ExtensionMobility Logout	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	API	A U
Provisioning RoomType Activate	-	-	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	-	-	-	-	X	-	API	A I
プロビジョニング サービスの取得	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Proximity Services Activate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U

X: 対応 -: 未対応

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

コマンド	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama/ Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
Proximity Services Deactivate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
RemoteAccess EndSession	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
会議室クリーンアップのキャンセル	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
会議室クリーンアップの実行	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
RoomPreset を有効にする	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
RoomPreset Clear	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
RoomPreset Store	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
セキュリティ証明書 CA の追加	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
セキュリティ証明書 CA の削除	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
セキュリティ証明書 CA 表示	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
セキュリティ証明書 CSR 作成	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
セキュリティ証明書 CSR リンク	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
セキュリティ証明書 CUCM CTL の削除	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
セキュリティ証明書 CUCM CTL 表示	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Security Certificates CUCM ITL Show	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Security Certificates CUCM MIC Show	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Security Certificates Services Activate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
セキュリティ証明書サービスの追加	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Security Certificates Services Deactivate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Security Certificates Services Delete	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Security Certificates Services Enrollment Profiles Delete	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I
セキュリティ証明書サービス登録プロファイルの一覧	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I
Security Certificates Services Enrollment SCEP Profiles Set	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I
Security Certificates Services Enrollment SCEP Request	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I
Security Certificates Services Enrollment SCEP Renewal Request	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I

X: 対応 -: 未対応

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

コマンド	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama/ Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
Security Certificates Services Show	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Security Certificates ThirdParty Disable	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Security Certificates ThirdParty Enable	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Security Certificates ThirdParty List	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Security Certificates ThirdParty Show	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
セキュリティ証明書 Webex 表示	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
セキュリティ証明書 WebexIdentity 表示	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
セキュリティ暗号リスト	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Security ClientSecret Populate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
セキュリティの持続性	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	API	A
セキュリティセッション取得	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A Au I R U
セキュリティセッションリスト	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
セキュリティセッションの終了	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
SerialPort PeripheralControl Send	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	-	-	X	-	X	X	-	API	A I
Standby Activate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	あいう
Standby Deactivate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	あいう
Standby Halfwake	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I
Standby ResetHalfwakeTimer	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
スタンバイ タイマーのリセット	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
SystemUnit Boot	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	あいう
SystemUnit DeveloperPreview Activate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
SystemUnit DeveloperPreview Deactivate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
SystemUnit FactoryReset	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
SystemUnit FirstTimeWizard を停止	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
SystemUnit Notifications RemoveAll	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
SystemUnit OptionKey の追加	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A

X: 対応 -: 未対応

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

コマンド	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama/ Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
SystemUnit OptionKey List	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
SystemUnit OptionKey Remove	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
SystemUnit OptionKey RemoveAll	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
SystemUnit ProductPlatform Set	-	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	API	A
SystemUnit SignInBanner Clear	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
SystemUnit SignInBanner Get	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
SystemUnit SignInBanner Set	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
SystemUnit ソフトリセット	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
SystemUnit SoftwareUpgrade	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
SystemUnit WelcomeBanner Clear	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
SystemUnit WelcomeBanner Get	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A Au I R U
SystemUnit WelcomeBanner Set	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Time DateTime Get	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
時間 日時 設定	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
UserInterface Accessibility ScreenReader Set	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
ユーザ インターフェイス ブランディング クリア	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I
ユーザ インターフェイス ブランディングの削除	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
ユーザ インターフェイス ブランディングの取得	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
ユーザインターフェイス ブランディング 取得	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
更新されたユーザ インターフェイス ブランディング	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
ユーザ インターフェイス ブランディングのアップロード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	あいう
UserInterface Extensions Clear	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R
ユーザ インターフェイス拡張機能のエクスポート	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R
UserInterface Extensions Icon Delete	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R U

X: 対応 -: 未対応

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

コマンド	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama/ Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
UserInterface Extensions Icon DeleteAll	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R U
UserInterface Extensions Icon Download	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R U
ユーザインターフェイス拡張機能アイコンの取得	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R U
ユーザインターフェイス拡張機能アイコン 取得	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R U
UserInterface Extensions Icon List	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R U
UserInterface Extensions Icon Upload	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R U
UserInterface Extensions List	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R U
ユーザ インターフェイス拡張パネルがクリックされました	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R U
UserInterface Extensions Panel Close	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R U
UserInterface Extensions Panel Open	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R U
UserInterface Extensions Panel Remove	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R
UserInterface Extensions Panel Save	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R
ユーザ インターフェイス拡張機能パネルの更新	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R U
ユーザ インターフェイス拡張機能セット	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R
UserInterface Extensions WebApp Save	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R
ユーザ インターフェイス拡張機能 WebWidget の削除	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R
UserInterface Extensions WebWidget Save	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R
ユーザ インターフェイス拡張機能ウィジェット アクション	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R U

X: 対応 -: 未対応

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

コマンド	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama/ Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
UserInterface Extensions Widget SetValue	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R
UserInterface Extensions Widget UnsetValue	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R
ユーザインターフェイス LedControl カラーセット	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I
UserInterface Message Alert Clear	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R U
ユーザ インターフェイス メッセージ警告の表示	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R
ユーザ インターフェイス メッセージ プロンプトの消去	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R U
UserInterface Message Prompt Display	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R
UserInterface Message Prompt Response	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R U
UserInterface Message Rating Clear	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R U
UserInterface Message Rating Display	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R
UserInterface Message Rating Response	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R U
UserInterface Message TextInput Clear	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R U
UserInterface Message TextInput Display	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R
UserInterface Message TextInput Response	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R U
UserInterface Message TextLine Clear	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R U
ユーザ インターフェイス メッセージ テキスト行の表示	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R
UserInterface Presentation ExternalSource Add	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R
UserInterface Presentation ExternalSource List	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R
UserInterface Presentation ExternalSource Remove	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R
UserInterface Presentation ExternalSource RemoveAll	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R

X: 対応 -: 未対応

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

コマンド	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama/ Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
UserInterface Presentation ExternalSource Select	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R U
UserInterface Presentation ExternalSource State Set	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R
UserInterface ScreenLock AdminInitiateRecovery	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
UserInterface Translation Override Clear	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
UserInterface Translation Override Get	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
UserInterface Translation Override Set	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
UserInterface WallpaperBundle Clear	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
ユーザインターフェイス壁紙バンドル リスト	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
UserInterface WallpaperBundle Set	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
UserInterface WebView Clear	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	あいう
UserInterface WebView Display	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	あいう
ユーザ管理 リモートサポートユーザ作成	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
ユーザ管理 リモートサポートユーザーの削除	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
UserManagement RemoteSupportUser DisablePermanently	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
UserManagement RemoteSupportUser GetState	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
UserManagement User Add	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
UserManagement User Delete	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
UserManagement User Get	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
UserManagement User List	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
UserManagement User Modify	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
UserManagement User Passphrase Change	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A Au I R U
UserManagement User Passphrase Set	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
UserManagement User Unblock	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
UserPresence CustomStatus Clear	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	あいう

X: 対応 -: 未対応

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

コマンド	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama/ Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
UserPresence CustomStatus GetRecentsList	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	あいう
UserPresence CustomStatus Set	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	あいう
Video ActiveSpeakerPIP Set	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
ビデオ CEC 入力キークリック	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I
Video CEC Output KeyClick	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	X	X	-	API	A I
ビデオ CEC 出力 SendActiveSourceRequest	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	X	X	-	API	A I
Video CEC Output SendInactiveSourceRequest	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	X	X	-	API	A I
Video Graphics Clear	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
Video Graphics Text Display	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	あいう
ビデオ入力 メインビデオ ミュート	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	あいう
ビデオ入力 メインビデオ ミュート解除	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	あいう
Video Input Miracast Activate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	あいう
Video Input Miracast Deactivate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	あいう
Video Input Miracast PinAttemptsReset	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	あいう
Video Input SetMainVideoSource	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	X	X	-	API	あいう
Video Layout HideNonVideo Activate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Video Layout HideNonVideo Deactivate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
ビデオ レイアウト レイアウトファミリ セット	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Video Layout SetLayout	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Video Layout StageParticipants Reset	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Video Layout StageParticipants Set ById	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Video Layout StageParticipants Set ByName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
ビデオ マトリックスの割り当て	-	-	-	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	-	-	X	X	-	API	A I U
ビデオ マトリックスのリセット	-	-	-	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	-	-	X	X	-	API	A I U
Video Matrix Swap	-	-	-	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	-	-	X	X	-	API	A I U
ビデオ マトリックスの割り当て解除	-	-	-	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	-	-	X	X	-	API	A I U

X: 対応 -: 未対応

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

コマンド	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama/ Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
Video Output HDMI Passthrough Start	-	-	-	-	-	X	-	-	-	X	X	X	X	-	X	-	-	-	-	API	A U
Video Output HDMI Passthrough Stop	-	-	-	-	-	X	-	-	-	X	X	X	X	-	X	-	-	-	-	API	A U
Video Output Monitor Backlight Set	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	X	-	X	-	-	-	API	A
Video Output Monitor Color Select	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	X	-	-	-	-	-	API	A
ビデオ出力モニタのリセット	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	-	X	-	-	-	API	A
Video PresentationPIP Set	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Video PresentationView Set	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Video Selfview Set	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
WebEngine AllowInsecureHttps Add	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
WebEngine AllowInsecureHttps List	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
WebEngine AllowInsecureHttps Remove	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
WebEngine AllowInsecureHttps RemoveAll	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
WebEngine DeleteStorage	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
WebEngine Logging Set	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
WebEngine MediaAccess Add	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
WebEngine MediaAccess List	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
WebEngine MediaAccess Remove	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
WebEngine MediaAccess RemoveAll	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
WebEngine Tracing Start	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Web エンジン トレースの停止	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Webex 参加	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	あいう
Webex Meetings のインスタントミーティングの開始	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Webex 登録エアギャップの準備	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Webex 登録のキャンセル	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Webex Registration ConvertToCloud	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	API	A
Webex Registration Logout	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A

X: 対応 -: 未対応

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

コマンド	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama/ Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
Webex 登録の開始	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Webex ソフトウェアのアップグレード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Webex ソフトウェアの検証	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
WebRTC Join	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	あいう
WebRTC Provider Current Diagnostics Send	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	あいう
WebRTC Provider GoogleMeet MeetingNumber Validate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Whiteboard Email Cancel	X	X	X	X	X	-	X	X	X	-	X	-	-	-	-	X	X	X	-	API	A I
Whiteboard Email Send	X	X	X	X	X	-	X	X	X	-	X	-	-	-	-	X	X	X	-	API	A I

X: 対応 -: 未対応

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

ステータス	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama/ Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
Audio Devices Bluetooth ActiveProfile	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Audio Devices HandsetUSB ConnectionStatus	X	X	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Audio Devices HandsetUSB Cradle	X	X	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	ウェブ、API	A I U
音声デバイス ヘッドセットアナログ接続状況	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I U
Audio Devices HeadsetUSB ConnectionStatus	X	X	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Audio Devices HeadsetUSB Description	X	X	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Audio Devices HeadsetUSB Manufacturer	X	X	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Audio Input Connectors Ethernet [n] Mute	-	-	-	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I U
音声入力コネクタ イーサネット [n] パケット損失の合計	-	-	-	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Audio Input Connectors Ethernet [n] PacketsReceived Total	-	-	-	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Audio Input Connectors Ethernet [n] StreamName	-	-	-	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Audio Input Ethernet DiscoveredStream [n] Channels	-	-	-	-	X	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Audio Input Ethernet DiscoveredStream [n] MediaIP	-	-	-	-	X	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Audio Input Ethernet DiscoveredStream [n] Name	-	-	-	-	X	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Audio Input Ethernet DiscoveredStream [n] OriginIP	-	-	-	-	X	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Audio Input Ethernet DiscoveredStream [n] Status	-	-	-	-	X	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I U
音声出力コネクタ イーサネット [n] チャネル	-	-	-	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
Audio Output Connectors Ethernet [n] DelayMs	-	-	-	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I U
音声出力コネクタ イーサネット [n] MediaIP	-	-	-	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
Audio Output Connectors Ethernet [n] StreamName	-	-	-	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I
音声入力コネクタ HDMI [n] ミュート	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
音声入力コネクタ 回線 [n] ミュート	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Audio Input Connectors Microphone [n] ConnectionStatus	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	-	X	-	-	X	-	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Audio Input Connectors Microphone [n] EcReferenceDelay	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	X	-	-	-	ウェブ、API	A I U

X: サポートあり -: サポートなし

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

ステータス	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama/ Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
Audio Input Connectors Microphone [n] Mute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Audio Input Connectors USBC [n] Mute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Audio Output Connectors USBInterface [n] DelayMs	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
音声入力ローカル入力 [n] AGC	X	-	-	-	X	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I U
音声入力ローカル入力 [n] チャンネル	X	-	-	-	X	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I U
音声入力ローカル入力 [n] コネクタ [n]	X	-	-	-	X	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Audio Input LocalInput [n] Direct	X	-	-	-	X	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Audio Input LocalInput [n] MixerMode	X	-	-	-	X	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I U
音声入力ローカル入力 [n] ミュート	X	-	-	-	X	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I U
音声入力ローカル入力 [n] 名	X	-	-	-	X	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Audio Input RemoteInput [n] CallId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Audio Input RemoteInput [n] Role	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Audio Microphones MusicMode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Audio Microphones Mute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	あいう
Audio Microphones NoiseRemoval	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
Audio Microphones VoiceActivityDetector Activity	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Audio Output Connectors ARC [n] DelayMs	-	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I U
Audio Output Connectors ARC [n] Mode	-	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I U
Audio Output Connectors HDMI [n] DelayMs	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	-	-	-	ウェブ、API	あいう
Audio Output Connectors HDMI [n] MicPassthrough	-	-	-	-	-	X	-	-	-	X	X	X	X	-	X	-	-	-	-	ウェブ、API	A I
音声出力コネクタ HDMI [n] モード	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	-	-	-	ウェブ、API	A I U
Audio Output Connectors InternalSpeaker [n] DelayMs	-	-	-	X	X	X	X	-	-	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I U
Audio Output Connectors InternalSpeaker [n] Mode	-	-	-	X	X	-	X	-	-	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I U
Audio Output Connectors Line [n] ConnectionStatus	-	-	-	-	X	X	-	X	X	X	-	X	-	-	X	X	X	X	-	ウェブ、API	あいう
Audio Output Connectors Line [n] DelayMs	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	あいう
Audio Output LocalOutput [n] AutoconnectRemote	X	-	-	-	X	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I U

X: サポートあり -: サポートなし

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

ステータス	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama/ Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
音声出力 ローカル出力 [n] チャンネル	X	-	-	-	X	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Audio Output LocalOutput [n] Connector [n]	X	-	-	-	X	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Audio Output LocalOutput [n] Input [n] Gain	X	-	-	-	X	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I U
音声出力ローカル出力 [n] スピーカー	X	-	-	-	X	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Audio Output LocalOutput [n] Name	X	-	-	-	X	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I U
音声出力ローカル出力 [n] ボリュームコントロール	X	-	-	-	X	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Audio Output MeasuredHdmiArcDelay	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Audio Output MeasuredHdmiDelay	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	あいう
Audio Output ReportedHdmiCecDelay	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	あいう
Audio Output RemoteOutput [n] CallId	X	-	-	-	X	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Audio Output RemoteOutput [n] Input [n] Gain	X	-	-	-	X	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I U
オーディオ出力 RemoteOutput [n] 役割	X	-	-	-	X	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Audio SelectedDevice	X	X	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Audio Ultrasound Volume	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
音声 USB 接続状況のキャプチャ	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
音声 USB 接続状況 再生	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
音声 USB 製品	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Audio USB SerialNumber	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Audio USB TerminalType Capture	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	あいう
Audio USB TerminalType Playback	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	あいう
Audio USB VolumeControl Capture Max	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Audio USB VolumeControl Capture Min	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Audio USB VolumeControl Capture Value	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Audio USB VolumeControl Playback Max	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	あいう
Audio USB VolumeControl Playback Min	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	あいう
Audio USB VolumeControl Playback Value	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U

X: サポートあり -: サポートなし

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

ステータス	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama/ Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
Audio Volume	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Audio VolumeHandsetUsb	X	X	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Audio VolumeHeadsetAnalog	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I U
Audio VolumeHeadsetBluetooth	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Audio VolumeHeadsetUsb	X	X	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Audio VolumeInternal	X	X	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Audio VolumeMute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Bluetooth ストリーミングアルバム	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A U
Bluetooth ストリーミングアーティスト	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A U
Bluetooth ストリーミングの継続時間	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A U
Bluetooth ストリーミングの状態	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A U
Bluetooth ストリーミングタイトル	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A U
Bookings Availability Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Bookings Availability TimeStamp	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
ブッキングの現在の ID	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Call [n] AnswerState	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Call [n] AttendedTransferFrom	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A U
[n] CallbackNumber に発信します	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Call [n] CallType	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Call [n] DeviceType	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Call [n] Direction	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Call [n] DisplayName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
[n] 通話の継続時間	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Call [n] Encryption Type	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Call [n] FacilityServiceId	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	-	X	ウェブ、API	あいう
Call [n] HoldReason	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U

X: サポートあり -: サポートなし

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

ステータス	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama/ Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
Call [n] Ice	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Call [n] PlacedOnHold	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Call [n] Protocol	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Call [n] ReceiveCallRate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	あいう
Call [n] RemoteNumber	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
コール [n] の状況	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Call [n] TransmitCallRate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Cameras Background Image	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I R U
Cameras Background Mode	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I R U
Cameras Camera [n] Capabilities Options	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I R U
Cameras Camera [n] Connected	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I R U
Cameras Camera [n] DetectedConnector	-	-	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I R U
Cameras Camera [n] Flip	-	-	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I R U
カメラ カメラ [n] フレームレート	X	X	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	ウェブ、API	A I R U
Cameras Camera [n] HardwareID	-	-	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I R U
Cameras Camera [n] Lenses [n] Lens	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I R U
Cameras Camera [n] LightingConditions	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I R U
Cameras Camera [n] MacAddress	-	-	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I R U

X: サポートあり -: サポートなし

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

ステータス	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama/ Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
カメラ カメラ [n] 製造元	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I R U
Cameras Camera [n] Model	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I R U
Cameras Camera [n] Position Focus	-	-	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I R U
Cameras Camera [n] Position Lens	-	-	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I R U
Cameras Camera [n] Position Pan	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I R U
Cameras Camera [n] Position Roll	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I R U
Cameras Camera [n] Position Tilt	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I R U
Cameras Camera [n] Position Zoom	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I R U
カメラ カメラ [n] シリアル番号	-	-	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I R U
Cameras Camera [n] SoftwareID	-	-	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	-	X	X	X	-	ウェブ、API	A I R U
カメラ PresenterTrack の可用性	-	-	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I R U
Cameras PresenterTrack PresenterDetected	-	-	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I R U
Cameras PresenterTrack Status	-	-	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I R U
Cameras SpeakerTrack ActiveConnector	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I R U
Cameras SpeakerTrack Availability	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I R U
Cameras SpeakerTrack BackgroundMode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I R U

X: サポートあり -: サポートなし

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

ステータス	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama/ Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
Cameras SpeakerTrack Behavior Active	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I R U
Cameras SpeakerTrack Closeup Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I R U
Cameras SpeakerTrack Frames Availability	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I R U
Cameras SpeakerTrack Frames Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I R U
Cameras SpeakerTrack State	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I R U
Cameras SpeakerTrack Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I R U
Cameras SpeakerTrack ViewLimits Pan	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I R U
Cameras SpeakerTrack ViewLimits Status	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I R U
Cameras SpeakerTrack ViewLimits Tilt	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I R U
Cameras SpeakerTrack ViewLimits Zoom	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I R U
Cameras Stereoscopic Calibrated	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	ウェブ、API	A I R U
カメラの立体視ステータス	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	ウェブ、API	A I R U
Capabilities Conference MaxActiveCalls	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Capabilities Conference MaxAudioCalls	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Capabilities Conference MaxCalls	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Capabilities Conference MaxVideoCalls	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference ActiveSpeaker CallId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A U
Conference Call [n] AuthenticationRequest	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	あいう

X: サポートあり -: サポートなし

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

ステータス	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama/ Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
Conference Call [n] BookingId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference Call [n] Capabilities AdmitFromLobby	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference Call [n] Capabilities DisableReactions	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
電話会議通話 [n] 機能の DTMF	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference Call [n] Capabilities EnableReactions	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference Call [n] Capabilities EndMeeting	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference Call [n] Capabilities EmergencyCallCapability	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference Call [n] Capabilities HardMute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference Call [n] Capabilities FarendMessage Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A U
Conference Call [n] Capabilities FECC Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference Call [n] Capabilities FECC NumberOfPresets	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A U
Conference Call [n] Capabilities FECC NumberOfSources	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A U
Conference Call [n] Capabilities FECC Source [n] Name	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
電話会議 [n] 機能 FECC ソース [n] オプション	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference Call [n] Capabilities FECC Source [n] SourceId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference Call [n] Capabilities Hold	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference Call [n] Capabilities IsModerator	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference Call [n] Capabilities IxChannel Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A U
Conference Call [n] Capabilities LockControl	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference Call [n] Capabilities LowerAllHands	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference Call [n] Capabilities LowerParticipantsHand	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U

X: サポートあり -: サポートなし

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

ステータス	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama/ Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
Conference Call [n] Capabilities MeetingAssistant Start	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference Call [n] Capabilities MeetingAssistant Stop	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference Call [n] Capabilities MoveToLobby	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference Call [n] Capabilities MuteAll	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference Call [n] Capabilities MuteOnEntry	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference Call [n] Capabilities ParticipantAdd	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference Call [n] Capabilities ParticipantDisconnect	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference Call [n] Capabilities ParticipantList	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference Call [n] Capabilities ParticipantMute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference Call [n] Capabilities ParticipantRequestUnmute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference Call [n] Capabilities Presentation	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference Call [n] Capabilities RaiseHand	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference Call [n] Capabilities Reactions	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference Call [n] Capabilities Recording Pause	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference Call [n] Capabilities Recording Resume	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference Call [n] Capabilities Recording Start	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference Call [n] Capabilities Recording Stop	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference Call [n] Capabilities SelfMute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
電話会議 [n] の機能 TransferHostAndLeave	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference Call [n] Capabilities UnmuteAll	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference Call [n] EventCenter Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference Call [n] HardMuted	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference Call [n] Locked	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference Call [n] Manufacturer	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U

X: サポートあり -: サポートなし

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

ステータス	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama/ Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
Conference Call [n] MeetingAssistantEnabled	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference Call [n] MeetingPlatform	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference Call [n] Meeting	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference Call [n] MicrophonesMuted	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference Call [n] ProximityCall	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
電話会議 [n] 挙手	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference Call [n] Recording	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
電話会議 [n] 同時通訳言語 [n] 言語コード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
電話会議 [n] 同時通訳 言語 [n] 言語名	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference Call [n] SimultaneousInterpretation MixerLevel	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference Call [n] SimultaneousInterpretation SelectedLanguage	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference Call [n] SessionType	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference Call [n] Sip SessionId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference Call [n] SoftwareID	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference Call [n] Streamed	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference Call [n] Transcoded	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference Call [n] Webex MeetingInviteLink	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference DoNotDisturb	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	あいう
Conference EndToEndEncryption Availability	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain Certificate [n] Fingerprint	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain Certificate [n] NotAfter	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain Certificate [n] NotBefore	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U

X: サポートあり -: サポートなし

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

ステータス	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama/ Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain Certificate [n] PrimaryName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain Certificate [n] PublicKeyAlgorithm	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain Certificate [n] SerialNumber	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain Certificate [n] SignatureAlgorithm	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain Certificate [n] Subject [n] Name	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity CertificateChain Certificate [n] Validity	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity Identity	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference EndToEndEncryption ExternalIdentity Verification	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain Certificate [n] Fingerprint	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain Certificate [n] NotAfter	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain Certificate [n] NotBefore	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain Certificate [n] PrimaryName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain Certificate [n] PublicKeyAlgorithm	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain Certificate [n] SerialNumber	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain Certificate [n] SignatureAlgorithm	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U

X: サポートあり -: サポートなし

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

ステータス	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama/ Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain Certificate [n] Subject [n] Name	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference EndToEndEncryption InternalIdentity CertificateChain Certificate [n] Validity	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference EndToEndEncryption InternalIdentity Identity	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference EndToEndEncryption InternalIdentity Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference EndToEndEncryption InternalIdentity Verification	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference HideNonVideo Active	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference HideNonVideo Available	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
電話会議回線 [n] モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A U
Conference Multipoint Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference PeopleFocus Active	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference PeopleFocus Available	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference Presentation CallId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I R U
Conference Presentation LocalInstance [n] DirectShare	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I R U
Conference Presentation LocalInstance [n] SendingMode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I R U
Conference Presentation LocalInstance [n] Source	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I R U
Conference Presentation Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I R U
Conference Presentation Whiteboard BoardUrl	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference Presentation Whiteboard Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Conference SelectedCallProtocol	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
電話会議発言者ロック通話 ID	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U

X: サポートあり -: サポートなし

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

ステータス	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama/ Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
Conference SpeakerLock Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
診断メッセージ [n] の説明	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
診断メッセージ [n] レベル	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Diagnostics Message [n] References	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
診断メッセージ [n] タイプ	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
GPIO ピン [n] の状態	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	X	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A I U
H323 ゲートキーパーアドレス	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A U
H323 ゲートキーパーポート	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A U
H323 Gatekeeper Reason	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A U
H323 ゲートキーパーの状況	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A U
H323 Mode Reason	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A U
H323 モード ステータス	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A U
HttpFeedback [n] Expression [n]	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
HttpFeedback [n] Format	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
HttpFeedback [n] Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
HttpFeedback [n] URL	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
ICE Call [n] MediaLine [n] ローカル候補	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
ICE Call [n] MediaLine [n] ローカル IP	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
ICE Call [n] MediaLine [n] ローカル トランスポート	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
ICE Call [n] MediaLine [n] Remote Candidate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
ICE Call [n] MediaLine [n] リモート IP	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
ICE Call [n] MediaLine [n] Remote XtlsFqdnHost	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
ICE Call [n] MediaPath	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
ICE Call [n] NegotiationTime	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
ICE 通話 [n] の結果	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Logging ExtendedLogging Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U

X: サポートあり -: サポートなし

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

ステータス	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama/ Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
Logging ExtendedLogging PacketDump	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Logging ExtendedLogging RenderingDump	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Audio ChannelRole	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Audio Channels	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Audio Mute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Audio Protocol	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Direction	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Encryption	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Netstat Bytes	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Netstat ChannelRate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Netstat EndToEndDelay	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
MediaChannels コール [n] チャネル [n] Netstat ジッター	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Netstat LastIntervalLost	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Netstat LastIntervalReceived	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Netstat Loss	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Netstat MaxJitter	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
MediaChannels コール [n] チャネル [n] ネットスタット パケット	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Netstat RoundTripTime	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] ParticipantId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Type	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U

X: サポートあり -: サポートなし

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

ステータス	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama/ Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
MediaChannels Call [n] Channel [n] Video ChannelRole	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Video ConcealmentType	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Video FrameRate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Video intraFrames	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Video Protocol	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Video ResolutionX	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Video ResolutionY	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Audio Channels	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Audio Protocol	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Encryption	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] EncryptionType	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Netstat Bytes	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Netstat ChannelRate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Netstat Jitter	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Netstat LastIntervalLost	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Netstat LastIntervalReceived	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U

X: サポートあり -: サポートなし

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

ステータス	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama/ Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Netstat Loss	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Netstat MaxJitter	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Netstat Packets	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
MediaChannels DirectShare [n] チャネル [n] タイプ	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Video FrameRate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Video Protocol	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
MediaChannels DirectShare [n] Channel [n] Video ResolutionX	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
メディアチャネル DirectShare [n] チャネル [n] ビデオ解像度 Y	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
MediaChannels Miracast [n] Channel [n] Audio Channels	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
MediaChannels Miracast [n] Channel [n] Audio Protocol	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
MediaChannels Miracast [n] Channel [n] Encryption	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
MediaChannels Miracast [n] Channel [n] EncryptionType	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
MediaChannels Miracast [n] Channel [n] Netstat Bytes	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
MediaChannels Miracast [n] Channel [n] Netstat ChannelRate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
MediaChannels Miracast [n] Channel [n] Netstat Jitter	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
MediaChannels Miracast [n] Channel [n] Netstat LastIntervalLost	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
MediaChannels Miracast [n] Channel [n] Netstat LastIntervalReceived	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U

X: サポートあり -: サポートなし

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

ステータス	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama/ Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
MediaChannels Miracast [n] Channel [n] Netstat Loss	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
MediaChannels Miracast [n] Channel [n] Netstat MaxJitter	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
メディア チャネル、Miracast [n]、チャネル [n]、NetStat パケット	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
MediaChannels Miracast [n] Channel [n] Video FrameRate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
MediaChannels Miracast [n] Channel [n] Video Protocol	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
MediaChannels Miracast [n] Channel [n] Video ResolutionX	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
MediaChannels Miracast [n] Channel [n] Video ResolutionY	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
MicrosoftTeams Calling InCall	X	-	-	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A U
MicrosoftTeams CVI CrossTenant	X	-	-	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A U
MicrosoftTeams HardwareAccelerator Decoder [n] CroppedHeight	X	-	-	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A U
MicrosoftTeams HardwareAccelerator Decoder [n] CroppedWidth	X	-	-	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A U
MicrosoftTeams ハードウェア アクセラレータ デコーダー [n] Fps	X	-	-	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A U
MicrosoftTeams ハードウェアアクセラレータ デコーダー [n] FrameCount	X	-	-	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A U
MicrosoftTeams ハードウェア アクセラレータ デコーダー [n] の高さ	X	-	-	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A U
MicrosoftTeams ハードウェア アクセラレータ デコーダー [n] 出力モード	X	-	-	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A U
MicrosoftTeams HardwareAccelerator Decoder [n] SamplePeriodUs	X	-	-	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A U
MicrosoftTeams ハードウェア アクセラレータ デコーダー [n] の幅	X	-	-	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A U

X: サポートあり -: サポートなし

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

ステータス	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama/ Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
MicrosoftTeams HardwareAccelerator Encoder [n] Fps	X	-	-	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A U
MicrosoftTeams HardwareAccelerator Encoder [n] FrameCount	X	-	-	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A U
MicrosoftTeams HardwareAccelerator Encoder [n] Height	X	-	-	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A U
MicrosoftTeams HardwareAccelerator Encoder [n] InputMode	X	-	-	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A U
MicrosoftTeams HardwareAccelerator Encoder [n] SamplePeriodUs	X	-	-	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A U
MicrosoftTeams ハードウェア アクセラレータ エンコーダー [n] の幅	X	-	-	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A U
MicrosoftTeams ペアリングが有効	X	-	-	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A U
MicrosoftTeams Software Version Android	X	-	-	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A U
MicrosoftTeams Software Version Authenticator	X	-	-	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A U
MicrosoftTeams Software Version MicrosoftIntune	X	-	-	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A U
MicrosoftTeams ソフトウェア バージョン OEMAgent	X	-	-	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A U
MicrosoftTeams Software Version TeamsAdminAgent	X	-	-	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A U
MicrosoftTeams Software Version TeamsApp	X	-	-	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A U
MicrosoftTeams Software VersionCode Authenticator	X	-	-	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A U
MicrosoftTeams ソフトウェアバージョンコード MicrosoftIntune	X	-	-	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A U
MicrosoftTeams Software VersionCode OEMAgent	X	-	-	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A U
MicrosoftTeams Software VersionCode TeamsAdminAgent	X	-	-	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A U
MicrosoftTeams Software VersionCode TeamsApp	X	-	-	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A U
MicrosoftTeams のユーザーがサインインしました	X	-	-	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A U
ネットワーク [n] ActiveInterface	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U

X: サポートあり -: サポートなし

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

ステータス	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama/ Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
ネットワーク [n] CDP アドレス	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Network [n] CDP Capabilities	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
ネットワーク [n] CDP DeviceId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Network [n] CDP Duplex	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
ネットワーク [n] CDP プラットフォーム	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
ネットワーク [n] CDP ポート ID	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Network [n] CDP PrimaryMgmtAddress	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
ネットワーク [n] CDP SysName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
ネットワーク [n] CDP SysObjectID	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
ネットワーク [n] CDP バージョン	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
ネットワーク [n] CDP VoIPApplianceVlanID	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
ネットワーク [n] CDP VTPMgmtDomain	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
ネットワーク [n] DNS ドメイン名	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
ネットワーク [n] DNS サーバ [n] アドレス	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
ネットワーク [n] イーサネット Mac アドレス	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Network [n] Ethernet Speed	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I
ネットワーク [n] FQDN	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Network [n] IEEE8021X Reason	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
ネットワーク [n] IEEE8021X ステータス	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
ネットワーク [n] IPv4 アドレス	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
ネットワーク [n] IPv4 ゲートウェイ	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
ネットワーク [n] IPv4 サブネットマスク	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
ネットワーク [n] IPv6 アドレス	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
ネットワーク [n] IPv6 ゲートウェイ	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Network [n] IPv6 LinkLocalAddress	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
ネットワーク [n] LLDP シャシー ID	X	X	X	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A U

X: サポートあり -: サポートなし

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

ステータス	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama/ Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
Network [n] LLDP Chassis IDType	X	X	X	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A U
Network [n] LLDP Duplex	X	X	X	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A U
ネットワーク [n] LLDP ポート ID	X	X	X	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A U
Network [n] LLDP Port IDType	X	X	X	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A U
Network [n] LLDP PrimaryMgmtAddress	X	X	X	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A U
Network [n] LLDP SysDescr	X	X	X	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A U
ネットワーク [n] LLDP SysName	X	X	X	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A U
ネットワーク [n] LLDP 音声 VLANID	X	X	X	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A U
ネットワーク [n] VLAN 音声 VlanId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Network [n] Wifi ProfileID	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
ネットワーク [n] Wi-Fi BSSID	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
ネットワーク [n] Wi-Fi チャンネル	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Network [n] Wifi CLMVersion	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Network [n] Wifi Connectivity	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
ネットワーク [n] Wi-Fi 周波数	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Network [n] Wifi FWVersion	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Network [n] Wifi InterfaceEnabled	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Network [n] Wifi InterfaceReason	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Network [n] Wifi KeyMgmt	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
ネットワーク [n] Wifi Mac アドレス	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Network [n] Wifi Noise	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Network [n] Wifi Phase2Method	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Network [n] Wifi RawSSID	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Network [n] Wifi Reason	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
ネットワーク [n] Wi-Fi 地域	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Network [n] Wifi RSSI	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U

X: サポートあり -: サポートなし

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

ステータス	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama/ Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
Network [n] Wifi ScanResult [n] AuthType	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Network [n] Wifi ScanResult [n] RawSSID	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Network [n] Wifi ScanResult [n] SignalLevel	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
ネットワーク [n] Wi-Fi スキャン結果 [n] SSID	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
ネットワーク [n] Wifi SNR	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
ネットワーク [n] Wi-Fi 速度	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
ネットワーク [n] Wi-Fi SSID	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
ネットワーク [n] Wi-Fi 状況	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
ネットワーク [n] Wifi SW バージョン	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Network [n] Wifi ToolsVersion	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Network [n] Wifi Type	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
NetworkServices NTP CurrentAddress	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A U
NetworkServices NTP サーバ [n] アドレス	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A U
NetworkServices NTP 状況	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A U
NetworkServices UPnP Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Peripherals ConnectedDevice [n] DRAM	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Peripherals ConnectedDevice [n] ハードウェア情報	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I R U
Peripherals ConnectedDevice [n] ID	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I R U
Peripherals ConnectedDevice [n] Location	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I R U
Peripherals ConnectedDevice [n] Model	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I R U
Peripherals ConnectedDevice [n] Name	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I R U
Peripherals ConnectedDevice [n] NetworkAddress	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I R U

X: サポートあり -: サポートなし

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

ステータス	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama/ Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
Peripherals ConnectedDevice [n] Role	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I R U
Peripherals ConnectedDevice [n] RoomAnalytics AirQuality Index	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I R U
Peripherals ConnectedDevice [n] RoomAnalytics AmbientTemperature	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I R U
Peripherals ConnectedDevice [n] RoomAnalytics RelativeHumidity	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I R U
Peripherals ConnectedDevice [n] Security Certificates LastSynced	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I R U
Peripherals ConnectedDevice [n] SerialNumber	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I R U
Peripherals ConnectedDevice [n] SoftwareInfo	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I R U
Peripherals ConnectedDevice [n] Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I R U
Peripherals ConnectedDevice [n] Type	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I R U
Peripherals ConnectedDevice [n] UpgradeFailureReason	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I R U
Peripherals ConnectedDevice [n] UpgradeStatus	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I R U
Peripherals ConnectedDevice [n] UpgradeURL	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I R U
Peripherals PinPairing PinVisibleOnScreen	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I R U
Peripherals PinPairing RetriesRemaining	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I R U
Peripherals PinPairing TimeRemaining	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I R U
Peripherals Stylus [n] Presence	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I R U

X: サポートあり -: サポートなし

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

ステータス	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama/ Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
CUCM カスタマイズチェックサムのプロビジョニング	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Provisioning CUCM ExtensionMobility Enabled	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A U
Provisioning CUCM ExtensionMobility LastLoggedInUserId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A U
Provisioning CUCM ExtensionMobility LoggedIn	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A U
プロビジョニングの理由	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Provisioning RoomType	-	-	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	-	-	-	X	-	ウェブ、API	A U
プロビジョニング サーバ	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Provisioning Software Current CompletedAt	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
プロビジョニングソフトウェアの現在の URL	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
プロビジョニングソフトウェアの現行バージョン ID	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Provisioning Software UpgradeStatus LastChange	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Provisioning Software UpgradeStatus Message	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
プロビジョニングソフトウェアのアップグレード状況のフェーズ	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Provisioning Software UpgradeStatus SessionId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Provisioning Software UpgradeStatus Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Provisioning Software UpgradeStatus Urgency	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Provisioning Software UpgradeStatus URL	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Provisioning Software UpgradeStatus VersionId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
プロビジョニングのステータス	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Provisioning WebexCalling Reason	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Provisioning WebexCalling Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
近接通信サービスの可用性	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
RemoteAccess Availability Reason	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
RoomAnalytics AmbientNoise Level A	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
RoomAnalytics AmbientTemperature	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A U

X: サポートあり -: サポートなし

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

ステータス	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama/ Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
RoomAnalytics Engagement CloseProximity	X	X	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
RoomAnalytics PeopleCount Capacity	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
RoomAnalytics PeopleCount Current	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
RoomAnalytics PeoplePresence	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
RoomAnalytics RelativeHumidity	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A U
RoomAnalytics ReverberationTime LastRun	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
RoomAnalytics ReverberationTime MeasurementState	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
RoomAnalytics ReverberationTime Middle RT60	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	あいう
RoomAnalytics ReverberationTime Octaves [n] CenterFrequency	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	あいう
RoomAnalytics ReverberationTime Octaves [n] RT60	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
RoomAnalytics RoomInUse	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
RoomAnalytics Sound Level A	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
RoomAnalytics T3Alarm Detected	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
RoomAnalytics UltrasoundPresence	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
RoomPreset [n] が定義されました	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
RoomPreset [n] の説明	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
RoomPreset [n] タイプ	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Security Persistency CallHistory	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A U
セキュリティ持続性の構成	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A U
Security Persistency DHCP	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A U
Security Persistency InternalLogging	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A U
Security Persistency LocalPhonebook	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	ウェブ、API	A U
センサー レーダー モード	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	-	ウェブ、API	A U
SIP AlternateURI エイリアス [n] URI	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
SIP AlternateURI プライマリ URI	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U

X: サポートあり -: サポートなし

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

ステータス	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama/ Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
[XCP認証(SIP Authentication)]	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
SIP CallForward DisplayName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
SIP CallForward Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
SIP CallForward URI	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
SIP Mailbox MessagesWaiting	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
SIP メールボックス URI	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
SIP プロキシ [n] アドレス	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
SIP Proxy [n] Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
SIP 登録 [n] 認証	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
SIP 登録 [n] の理由	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
SIP 登録 [n] 状況	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
SIP 登録 [n] URI	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
SIP Secure	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
SIP Verified	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
スタンバイ レベル	-	X	X	X	X	-	-	X	X	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I R U
スタンバイ状態	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I R U
SystemUnit ブロードキャスト名	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
SystemUnit Extensions Microsoft Supported	X	-	-	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A U
SystemUnit 開発者プレビュー モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
システムユニットハードウェアの DRAM	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
SystemUnit Hardware HasWifi	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
SystemUnit ハードウェア メインボード リビジョン	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
SystemUnit ハードウェアモジュール互換性レベル	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
SystemUnit ハードウェアモジュール DeviceId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
SystemUnit ハードウェアモジュールのシリアル番号	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U

X: サポートあり -: サポートなし

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

ステータス	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama/ Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
SystemUnit ハードウェア監視ファン [n] の状況	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
SystemUnit Hardware Monitoring Temperature Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
SystemUnit ハードウェア UDI	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
SystemUnit ハードウェア USBC [n] が接続されました	X	X	X	X	X	-	-	X	X	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A U
SystemUnit LastShutdownReason	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
SystemUnit LastShutdownTime	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
SystemUnit Notifications Notification [n] Text	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
SystemUnit Notifications Notification [n] Type	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
SystemUnit ProductId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
SystemUnit ProductPlatform	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
SystemUnit ProductType	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
システム単位ソフトウェアの表示名	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
SystemUnit ソフトウェア名	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
SystemUnit ソフトウェア OptionKeys AVIntegrator	-	-	-	-	X	-	-	X	X	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	あいう
SystemUnit Software OptionKeys DeveloperPreview	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
SystemUnit Software OptionKeys Encryption	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
SystemUnit Software OptionKeys MultiSite	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
SystemUnit Software OptionKeys RemoteMonitoring	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
SystemUnit Software ReleaseDate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
SystemUnit Software Version	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
SystemUnit State CameraLid	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A U
SystemUnit State NumberOfActiveCalls	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I R U
SystemUnit State NumberOfInProgressCalls	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I R U
SystemUnit State NumberOfSuspendedCalls	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U

X: サポートあり -: サポートなし

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

ステータス	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama/ Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
SystemUnit State Subsystem Application	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
SystemUnit State System	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
システムユニットの稼働時間	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
ThousandEyes Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
ThousandEyes バージョン	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
時刻 システム時間	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
ユーザ インターフェイスのアクセシビリティ スクリーンリーダー モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
UserInterface Branding CustomId Background	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	X	X	-	ウェブ、API	A I U
UserInterface Branding CustomId Branding	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
UserInterface Branding CustomId HalfwakeBackground	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
UserInterface Branding CustomId HalfwakeBranding	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	あいう
UserInterface ContactInfo ContactMethod [n] Number	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
UserInterface ContactInfo Name	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
ユーザ インターフェイス拡張機能ウィジェット [n] 値	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I R U
UserInterface Extensions Widget [n] WidgetId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I R U
ユーザーインターフェイス 機能 カレンダーの開始	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	あいう
UserInterface Features Call AudioMute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
UserInterface Features Call Breakouts	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
ユーザインターフェイスの機能 カメラコントロールの呼び出し	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
UserInterface Features Call End	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
UserInterface Features Call HdmiPassthrough	-	-	-	-	-	X	-	-	-	X	X	X	X	-	X	-	-	-	-	ウェブ、API	A I U
UserInterface Features Call JoinGoogleMeet	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U

X: サポートあり -: サポートなし

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

ステータス	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama/ Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
ユーザーインターフェース機能コール JoinWebex	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
UserInterface Features Call JoinZoom	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
UserInterface Features Call Keypad	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
UserInterface Features Call LayoutControls	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
UserInterface Features Call MidCallControls	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
UserInterface Features Call MusicMode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
UserInterface Features Call ParticipantList	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
UserInterface Features Call SelfviewControls	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
ユーザ インターフェイス機能 通話開始	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
UserInterface Features Call VideoMute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
UserInterface Features Call Webcam	-	-	-	X	X	-	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A I U
UserInterface Features Files Start	X	X	X	X	X	-	X	X	X	-	X	-	-	-	-	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
UserInterface Features Share Start	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
UserInterface Features Whiteboard Start	X	X	X	X	X	-	X	X	X	-	X	-	-	-	-	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
UserInterface LedControl Color	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
ユーザインターフェースの OSD 出力	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
画面ロック状況のユーザインターフェイス	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
UserInterface SettingsMenu Visibility	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
UserInterface Translation Override Checksum	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
UserInterface WebView [n] ErrorDescription	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
UserInterface WebView [n] ErrorType	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	あいう
UserInterface WebView [n] HttpResponseStatusCode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	あいう
UserInterface WebView [n] Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
ユーザインタフェース WebView [n] タイプ	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
ユーザインタフェース WebView [n] URL	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Webex Services UserPresence CustomStatus	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U

X: サポートあり -: サポートなし

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

ステータス	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama/ Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
Webex Services UserPresence Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Video ActiveSpeaker PIPPosition	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Video HdmiOutput	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Video Input AirPlay Activity	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Video Input AirPlay Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
ビデオ入力コネクタ [n] が接続されました	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] DeviceType	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] LogicalAddress	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] Name	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] PowerStatus	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	あいう
Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] VendorId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	あいう
Video Input Connector [n] SignalState	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Video Input Connector [n] SourceId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Video Input Connector [n] Type	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
ビデオ入力 DirectShare [n] ピア アドレス	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	あいう
Video Input DirectShare [n] Peer PeripheralID	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	あいう
ビデオ入力 DirectShare [n] タイプ	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
ビデオ入力 メインビデオミュート	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Video Input MainVideoSource	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Video Input Miracast Channel	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	あいう
Video Input Miracast PinAttemptsLeft	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
ビデオ入力の Miracast 状況	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
ビデオ入力、Miracast トランスポート	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U

X: サポートあり -: サポートなし

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

ステータス	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama/ Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
ビデオ入力ソース [n] の可用性	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Video Input Source [n] ConnectorId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	あいう
Video Input Source [n] FormatStatus	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	あいう
Video Input Source [n] MediaChannelId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
ビデオ入力ソース [n] 解像度 高さ	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Video Input Source [n] Resolution RefreshRate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Video Input Source [n] Resolution Width	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Video Layout ActiveSpeakerOnStage	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Video Layout CurrentLayouts ActiveLayout	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Video Layout CurrentLayouts AvailableLayouts [n] LayoutName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Video Layout CurrentLayouts DefaultLayout	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Video Layout LayoutFamily Local	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Video Layout LayoutFamily Remote	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
ビデオレイアウト LocalStageUpdatesDisallowed	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
ビデオレイアウト SelfOnStage	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Video Layout StageActiveSpeakerIndex	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
ビデオレイアウト StageControlledByHost	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Video Layout StageParticipant [n] CallId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Video Layout StageParticipant [n] ParticipantId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Video Monitors	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Video Output Connector [n] Connected	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] DeviceType	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	あいう
Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] LogicalAddress	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	あいう
Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] Name	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U

X: サポートあり -: サポートなし

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

ステータス	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama/ Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] PowerStatus	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] VendorId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Video Output Connector [n] ConnectedDevice Name	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	あいう
Video Output Connector [n] ConnectedDevice PreferredFormat	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	あいう
Video Output Connector [n] ConnectedDevice ScreenSize	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Video Output Connector [n] ConnectedDevice SupportedFormat Res_1920_1080_50	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Video Output Connector [n] ConnectedDevice SupportedFormat Res_1920_1080_60	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Video Output Connector [n] ConnectedDevice SupportedFormat Res_1920_1200_50	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Video Output Connector [n] ConnectedDevice SupportedFormat Res_1920_1200_60	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Video Output Connector [n] ConnectedDevice SupportedFormat Res_2560_1080_60	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Video Output Connector [n] ConnectedDevice SupportedFormat Res_2560_1440_60	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Video Output Connector [n] ConnectedDevice SupportedFormat Res_2880_1200_60	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Video Output Connector [n] ConnectedDevice SupportedFormat Res_3440_1440_60	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Video Output Connector [n] ConnectedDevice SupportedFormat Res_3840_1600_60	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Video Output Connector [n] ConnectedDevice SupportedFormat Res_3840_1620_60	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Video Output Connector [n] ConnectedDevice SupportedFormat Res_3840_2160_30	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U

X: サポートあり -: サポートなし

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

ステータス	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama/ Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
Video Output Connector [n] ConnectedDevice SupportedFormat Res_3840_2160_60	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
ビデオ出力コネクタ [n] が接続されました	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	あいう
ビデオ出力コネクタ [n] HDCP 状態	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
ビデオ出力コネクタ [n] HDCP バージョン	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Video Output Connector [n] MonitorRole	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Video Output Connector [n] Resolution Height	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Video Output Connector [n] Resolution RefreshRate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
ビデオ出力コネクタ [n] 解像度の幅	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
ビデオ出力コネクタ [n] タイプ	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
ビデオ出力 HDMI パススルーステータス	-	-	-	-	-	X	-	-	-	X	X	X	X	-	X	-	-	-	-	ウェブ、API	A U
Video Output Monitor [n] Backlight	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	X	-	X	-	-	-	ウェブ、API	A U
Video Output Monitor [n] Calibrated	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A U
ビデオ出力用モニタ [n] 色温度が選択されています	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	X	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A U
ビデオ出力モニタ [n] が設定されました	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A U
ビデオ出力モニタ [n] ファームウェアバージョン	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Video Output Monitor [n] IpAddress	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A U
ビデオ出力モニタ [n] の製造元	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A U
Video Output Monitor [n] ManufacturerId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
ビデオ出力モニタ [n] MDC ID	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A U
ビデオ出力 モニタ [n] MDC ポート	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	ウェブ、API	A U
Video Output Monitor [n] ModelName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Video Output Monitor [n] Position	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
ビデオ出力モニタ [n] のシリアル番号	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
ビデオ出力モニタ [n] 温度	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
ビデオ出力ウェブカメラ モード	X	X	X	X	X	-	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A U
Video Output Webcam Status	X	X	X	X	X	-	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A U

X: サポートあり -: サポートなし

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

ステータス	デスク Pro	Desk Mini	Desk	Room Bar	Room Bar Pro	Room Kit	Room Kit Mini	Room Kit EQX	Codec EQ	Codec Plus	Codec Pro	Room 55 Dual / Room 70	Room 70 G2	Room Panorama/ Room 70 Panorama	Room 55	Board	Board Pro	Board Pro G2	Onプレミスのみ	ウェブ インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
Video Presentation PIPPosition	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
ビデオ セルフビュー フルスクリーン モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
ビデオのセルフビュー モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Video Selfview OnMonitorRole	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
Video Selfview PIPPosition	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A I U
WebEngine Features Signage	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
WebEngine Features WebEngine	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Web エンジンの機能 WebRTC	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
ウェブエンジン ログレベル	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
WebEngine LogLevelVerbosity	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
WebEngine Tracing CustomCategories	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Web エンジン トレースの継続時間	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Web エンジン トレース モード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
WebEngine Tracing Systrace	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Webex エアギャップ ステータス	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Webex 開発者 ID	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Webex デバイスパーソナライゼーション ホットデスクング セッション状況	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Webex DevicePersonalization Personalized	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Webex ドメイン	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Webex Meetings InstantMeeting の利用可否	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Webex Meetings 参加プロトコル	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Webex Services Provisional Status	X	X	X	X	X	-	-	X	X	-	X	-	X	X	-	-	X	X	-	ウェブ、API	A U
Webex サービス Proximity GuestToken	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
Webex 稼働状況	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
WebRTC プロバイダ GoogleMeet の可用性	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U
WebRTC プロバイダー MicrosoftTeams の可用性	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	ウェブ、API	A U

X: サポートあり -: サポートなし

A: 管理者 Au: 監査 I: インテグレータ R: ルーム管理 U: ユーザー

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

第 7 章

付録

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

切断原因タイプ

通話が切断されると、以下のパラメータがログに記録されます。
切断原因タイプは切断イベント (xEvent) で使用されます。

CauseType	通話が切断された理由を示す文字列値です。多くの可能な値があり、これらはダウンストリームで変更できます。例として、OtherLocal、LocalDisconnect、UnknownRemoteSite、LocalBusy、LocalReject、InsufficientSecurity、OtherRemote、RemoteDisconnect、RemoteBusy、RemoteRejected、RemoteNoAnswer、CallForwarded、NetworkRejected が挙げられます。
CauseString	切断の原因に関する追加情報を提供するために使用できる文字列です。これは空の可能性があります。
OrigCallDirection	元の通話の方向 (発信または着信) です。
RemoteURI	通話のリモートアドレスです。
通話 ID	通話の一意の識別子。
原因コード	SIP および Q.850 で定義されている切断原因コードを提供します。
CauseOrigin	SIP、Q.850、内部。
CauseValue	Proprietary. 代わりに *CauseType* と *CauseCode* を使用してください。

例:

```
xEvent DisconnectEvent

*e CallDisconnect CauseValue: 1
    原因の種類:「LocalDisconnect」
    原因文字列: ""
    OrigCallDirection: "outgoing"
    RemoteURI: "firstname.lastname@company.com"
    CallId: 89
    原因コード: 0
    CauseOrigin: SIP
** end
```


© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

Cisco Web サイトのユーザ ドキュメント

すべての Cisco コラボレーションデバイスのユーザーマニュアルは、►https://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints にあります。

次の短いリンクを使用して、RoomOS ソフトウェアを実行しているデバイスのドキュメントを検索することをお勧めします。

Room シリーズ:

►https://www.cisco.com/go/room-docs

Desk シリーズ:

►https://www.cisco.com/go/desk-docs

Board シリーズ:

►https://www.cisco.com/go/board-docs

特定のドキュメントを検索するには、*ドキュメント* をクリックして、そのドキュメントが属するカテゴリを検索します。

例えば、API ガイドを見つけるには、*ドキュメンテーション* をクリックし、*リファレンス > コマンドリファレンス*を検索します。

カテゴリとドキュメント タイプ

これらのリストは、ドキュメントタイプが属するカテゴリを示します。すべてのタイプのドキュメントを、すべてのタイプのデバイスで利用できるわけではありません。

インストールとアップグレード >インストールおよびアップグレードガイド

- *インストールガイド:*
  端末の組み立てと設置の方法
- *スタート ガイド:*
  デバイスを初めて起動するために必要な初期設定
- *RCSI ガイド:* 規制コンプライアンスおよび安全性情報

管理と操作 >管理および操作ガイド

- *スタート ガイド:*
  デバイスを初めて起動するために必要な初期設定
- *管理者ガイド:*
  端末の設定と管理に必要な情報
- *スペアパーツの概要、スペアパーツ交換ガイド、ケーブルスキーマ:* ケーブルの接続とスペアパーツの交換の際に役立つ情報

保守と運用 >エンドユーザガイド

- *ユーザガイド:*
  端末の使用方法
- *クイックリファレンスガイド:*
  端末の主な機能の使用方法

参照 >コマンド リファレンス

- *API リファレンス ガイド:*
  端末の公開 API のリファレンス ガイド

参照 >テクニカル リファレンス

- *CAD 描画:*
  寸法付きのデバイスの2D CAD描画

[設定] >構成ガイド

- *カスタマイズガイド:*
  ユーザインターフェイスのカスタマイズ方法、会議室コントロールをプログラムするための会議端末 API の使用方法、マクロの作成、音声コンソールを使用した高度な音声設定の構成、その他のカスタマイズについて説明しています。

リリースと互換性 >リリースノート

- *ソフトウェア リリース ノート*

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved

Cisco の連絡先

当社のウェブサイトでは、世界中の Cisco 連絡先の概要をご覧いただけます。

► https://www.cisco.com/go/offices をご覧ください

本社

Cisco Systems, Inc.

170 West Tasman Dr.

San Jose, CA 95134 USA

知的財産権

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている式、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

Cisco が採用している TCP ヘッダー圧縮機能は、UNIX オペレーティング システムの UCB (University of California, Berkeley) のパブリック ドメイン バージョンとして、UCB が開発したプログラムを採用したものです。All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコシステムズおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコシステムズまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

★定型★このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。★定型★マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワーク トポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

すべての印刷されたコピーおよび複製されたソフトコピーは管理外のコピーと見なされ、元のオンラインバージョンを参照して最新版を確認する必要があります。

シスコは世界各国 200 箇所にオフィスを開設しています。アドレス、電話番号、ファックス番号の一覧は、Cisco のウェブサイト www.cisco.com/go/offices に記載されています。

Cisco および Cisco ロゴは、Cisco またはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。Cisco の商標一覧は www.cisco.com/go/trademarks をご覧ください。記載されているサードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。「パートナー」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1110R)

D15502.13
RoomOS 11.32
10-2025

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved